



Course Evaluation Report

授業評価報告書

2022



国立大学法人

鳴門教育大学

Naruto University of Education

修士課程	2
科目一覧	3
集計分析	4
専門職学位課程	91
科目一覧	92
集計分析	94
学校教育教員養成課程	328
はしがき	329
1. 調査の概要	330
2. 教養基礎科目に対する評価結果の分析	331
3. 教育実践コア科目に対する評価結果の分析	332
4. 教職共通科目に対する評価結果の分析	333
5. 専修専門科目に対する評価結果の分析	334
あとがき	335
科目一覧	336
集計分析	339
参考資料（報告書の概要）	781

修士課程

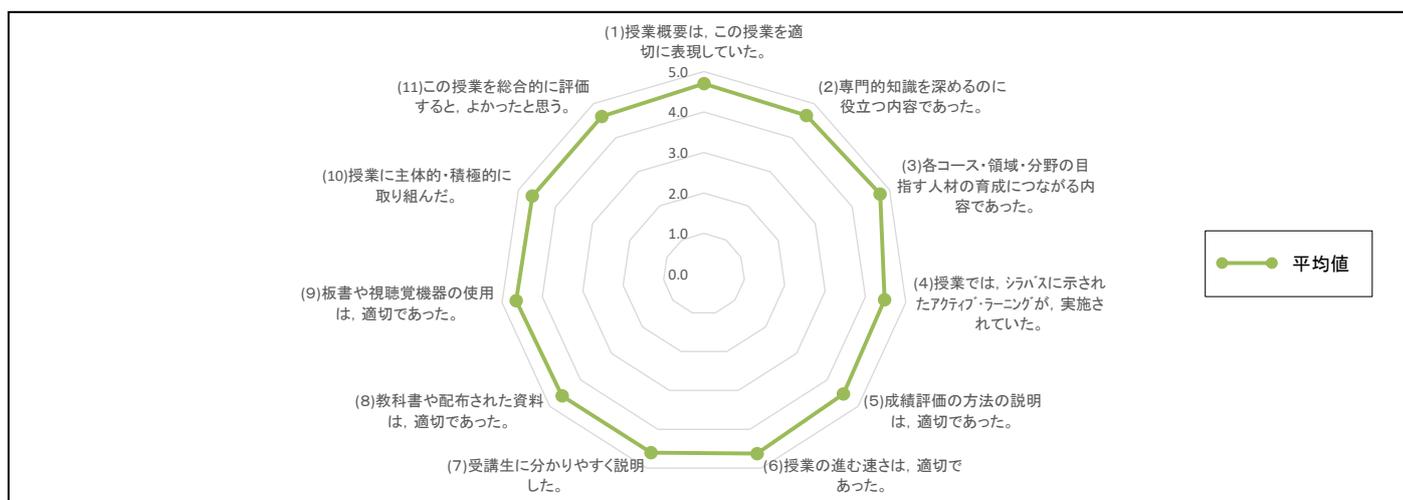
No.	授業科目番号	授業科目番号	クラス名称	担当教職員氏名
1	M1AA010C	子どものころへのアプローチ	—	吉井 健治
2	M1AA020C	臨床心理学統計法	—	古川 洋和
3	M1AA030C	福祉分野に関する理論と支援の展開	—	川西 哲也
4	M1AA040C	教育分野に関する理論と支援の展開	—	今田 雄三
5	M1AA050C	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開	—	黒澤 良輔
6	M1AA060C	心の健康教育に関する理論と実践	—	吉井 健治
7	M1AA065C	人間関係特論	—	木村 昌紀
8	M1AA070C	臨床心理学研究 I	—	久米 禎子
9	M1AA080C	臨床心理学研究 II	—	葛西 真記子
10	M1AA090C	臨床心理面接研究 I	—	吉井 健治
11	M1AA100C	臨床心理面接研究 II	—	粟飯原 良造
12	M1AA120E	臨床心理学研究法特論	—	葛西 真記子
13	M1AA130E	臨床心理面接演習	—	粟飯原 良造
14	M1AA140E	臨床心理査定演習 II	—	川西 哲也
15	M1AA160C	保健医療分野に関する理論と支援の展開	—	今田 雄三
16	M1AA170C	産業・労働分野に関する理論と支援の展開	—	古川 洋和
17	M1AA181C	臨床心理査定演習 I（心理的アセスメント）	—	吉井 健治
18	M1AA190C	心理支援に関する理論と実践	—	久米 禎子
19	M1AA200C	家族関係・集団・地域社会における心理支援	—	粟飯原 良造
20	M1BA010C	心の発達・教育創造研究	—	山崎 勝之
21	M1BA020E	心の発達・教育創造演習	—	山崎 勝之
22	M1BA030C	心理教育科学研究	—	内田 香奈子
23	M1BA040E	心理教育科学演習	—	内田 香奈子
24	M1BA050E	心理・教育科学測定・評価演習	—	山崎 勝之
25	M1BA060E	予防教育開発・実施演習	—	山崎 勝之
26	M1CA010C	臨床人間関係(知的障害・肢体不自由・病弱)	—	高橋 眞琴
27	M1CA020C	生心理学	—	田中 淳一
28	M1CA030E	障害心理学研究方法演習	—	田中 淳一
29	M1CA040C	障害臨床学特論	—	田中 淳一
30	M1CA050C	障害発達支援国際比較研究	—	田中 淳一
31	M1DA010C	社会認識の方法	—	眞野 豊
32	M1DA020E	社会分析の実践	—	眞野 豊
33	M1DA030C	現代の子どもと学校教育	—	谷村 千絵
34	M1DA040C	現代教育人間論	—	金野 誠志
35	M1DA050C	コミュニケーションと環境	—	金野 誠志
36	M1DA060C	環境と文化	—	田村 和之
37	M1DA070C	文化とコミュニケーション	—	金野 誠志
38	M1DA080E	人間と文化 I	—	金野 誠志
39	M1DA090E	人間と文化 II	—	太田 直也
40	M1DA100E	人間と環境 I	—	田村 和之
41	M1DA130E	人間とコミュニケーション II	—	谷村 千絵
42	M1DA140C	自然科学の世界：進化生物学をモデルとして	—	工藤 慎一
43	M1FA010C	国際教育人間論	—	石村 雅雄
44	M1FA020E	教育研究・調査	—	石坂 広樹
45	M1FA030C	国際教育特論	—	石村 雅雄
46	M1FA040E	国際教育演習	—	小澤 大成
47	M1FA050C	国際教育協力研究	—	石坂 広樹
48	M1FA060C	国際教育協力特論 I	—	石村 雅雄
49	M1FA070C	国際教育協力特論 II	—	小澤 大成
50	M1FA080C	国際教育授業開発	—	小澤 大成
51	M1FA090E	国際教育協力演習	—	石坂 広樹
52	M1FA100E	国際教育総合セミナー I	—	石村 雅雄
53	M1FA110E	国際教育総合セミナー II	—	石村 雅雄
54	M1FA120E	日本型学校教育課程の特徴と展開	—	石村 雅雄
55	M1GA010C	国際教育数学内容論	—	日下 智志
56	M1GA020C	数学教育協力研究	—	日下 智志
57	M1GA030C	数学教育協力授業研究	—	日下 智志
58	M1GA040C	数学教育協力教材開発研究	—	日下 智志
59	M1GA050C	国際教育理科内容論	—	武田 清
60	M1GA060C	理科教育協力研究	—	寺島 幸生
61	M1GA070E	理科教育協力授業研究	—	寺島 幸生
62	M1GA080E	理科教育協力教材開発研究	—	武田 清
63	M1GA200C	地球環境	—	田村 和之
64	M1HA010C	日本語文法研究	—	田中 大輝
65	M1HA020C	日本語音声表現研究	—	田中 大輝
66	M1HA030C	日本語語彙論	—	田中 大輝
67	M1HA040C	社会言語学研究	—	永田 良太
68	M1HA050C	言語習得・発達論	—	宮部 真由美
69	M1HA060C	日本語教育学研究	—	宮部 真由美
70	M1HA070C	日本語教育法研究（日本語教育観察実習）	—	廣田 知子
71	M1HA080E	日本語教育学演習	—	宮部 真由美
72	M1HA090E	日本語教育法演習（日本語教育グループ実習）	—	廣田 知子
73	M1HA100P	日本語教育実習	—	田中 大輝
74	M1HA110C	日本文化研究	—	廣田 知子
75	M1HA120C	日本語 I	—	田中 大輝
76	M1HA130C	日本語 II	—	廣田 知子
77	M1HA140C	日本語 III	—	田中 大輝
78	M1HA150C	日本語 IV	—	宮部 真由美
79	M1HA160C	日本事情・日本文化	—	廣田 知子
80	M1IA010C	異文化コミュニケーション研究	—	眞野 美穂
81	M1IA030E	言語コミュニケーション演習	—	ジエード マーエツ
82	M1IA040C	英語文化研究	—	前田 一平
83	M1IA050E	英語文化演習	—	前田 一平
84	M1IA060E	ライティング・スキル I	—	鎌田スガフ・リツ
85	M1IA070E	ライティング・スキル II	—	鎌田スガフ・リツ
86	M1IA080E	プレゼンテーション・スキル I	—	ジエード マーエツ
87	M1IA090E	プレゼンテーション・スキル II	—	ジエード マーエツ

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	1	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	子どものころへのアプローチ	回答者数	40	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	吉井 健治, 小倉 正義, 葛西 真記子, 廣瀬 雄一, 高橋 眞琴, 田中 淳一, 山崎 勝之, 内田 香奈子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	30	8	2	0	0	4.7
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	28	10	2	0	0	4.7
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	32	6	2	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	24	14	0	1	1	4.5
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	28	7	3	2	0	4.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	28	10	1	1	0	4.6
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	27	11	1	1	0	4.6
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	26	12	2	0	0	4.6
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	29	8	3	0	0	4.7
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	29	8	2	1	0	4.6
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	28	10	1	1	0	4.6



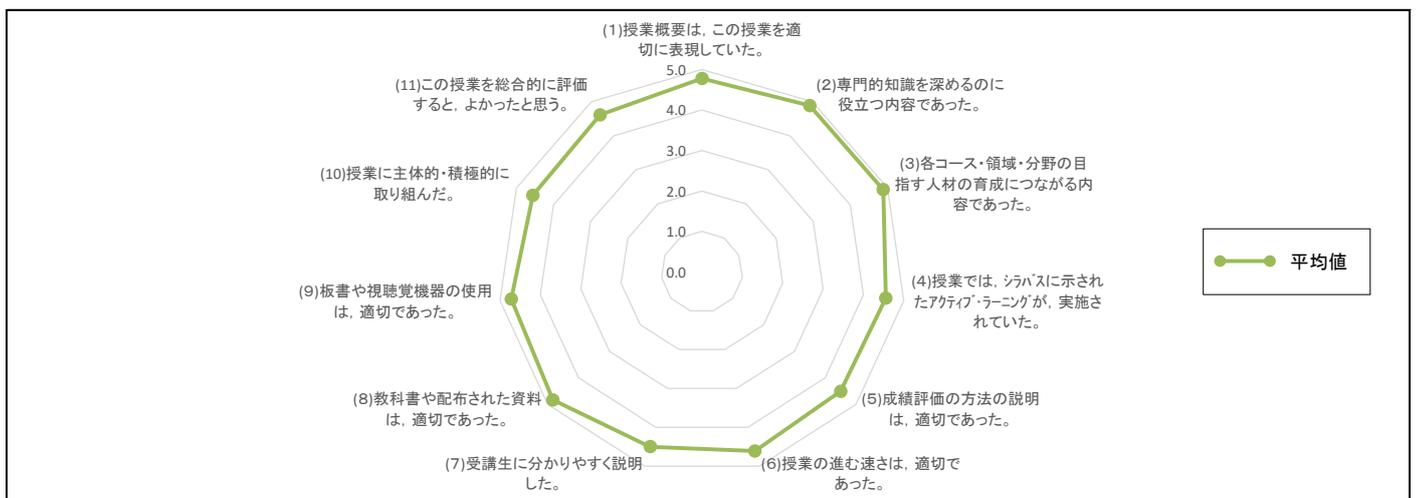
<教員のコメント>

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	2	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	臨床心理学統計法	回答者数	18	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	古川 洋和				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	14	4	0	0	0	4.8
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	16	2	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	16	2	0	0	0	4.9
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	12	4	2	0	0	4.6
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	13	2	2	1	0	4.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	13	3	2	0	0	4.6
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	13	2	2	1	0	4.5
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	16	1	1	0	0	4.8
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	14	3	1	0	0	4.7
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	6	1	0	0	4.6
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	14	2	1	1	0	4.6



<教員のコメント>

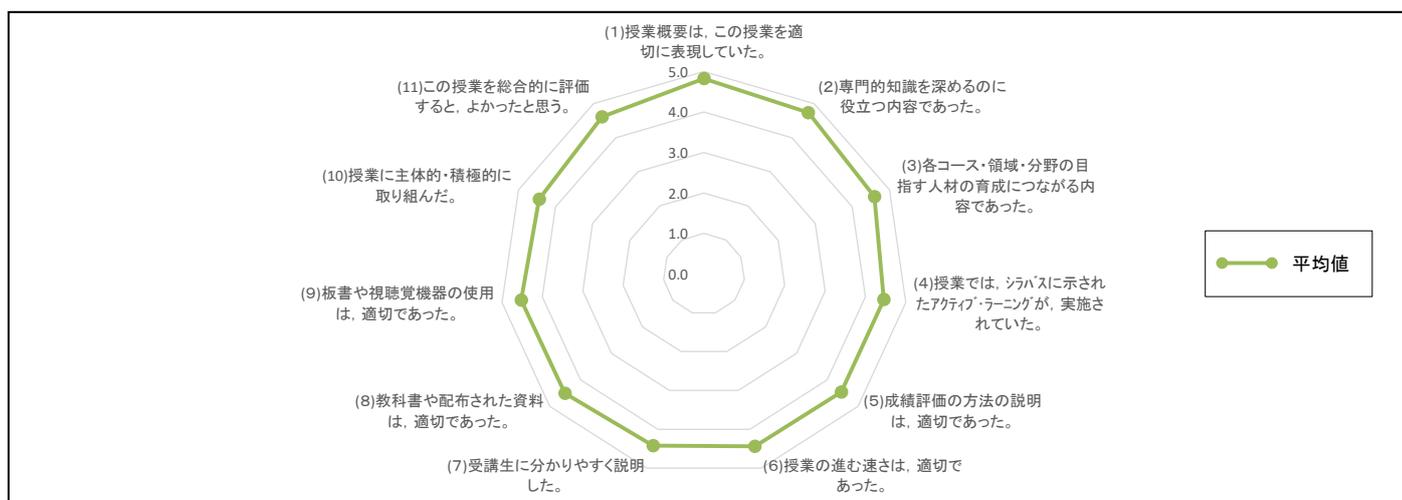
「臨床心理学統計法」は、臨床心理学領域に在籍する大学院生を想定した内容で構成している。また、学部課程で心理学統計法の単位を修得していることを前提として内容を構成しているため、専門性の高い科目である。しかしながら、内容等に関する評定は高い値であるため、以降も同様の内容および方法にて開講する。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	3	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	福祉分野に関する理論と支援の展開		回答者数	57	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	川西 智也, 小倉 正義, 廣瀬 雄一, 高橋 眞琴, 田中 淳一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	47	10	0	0	0	4.8
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	44	11	2	0	0	4.7
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	40	13	3	0	1	4.6
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	33	17	7	0	0	4.5
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	33	19	4	0	1	4.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	34	15	7	1	0	4.4
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	32	19	4	2	0	4.4
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	37	13	6	1	0	4.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	36	15	6	0	0	4.5
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	34	14	9	0	0	4.4
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	39	14	4	0	0	4.6



<教員のコメント>

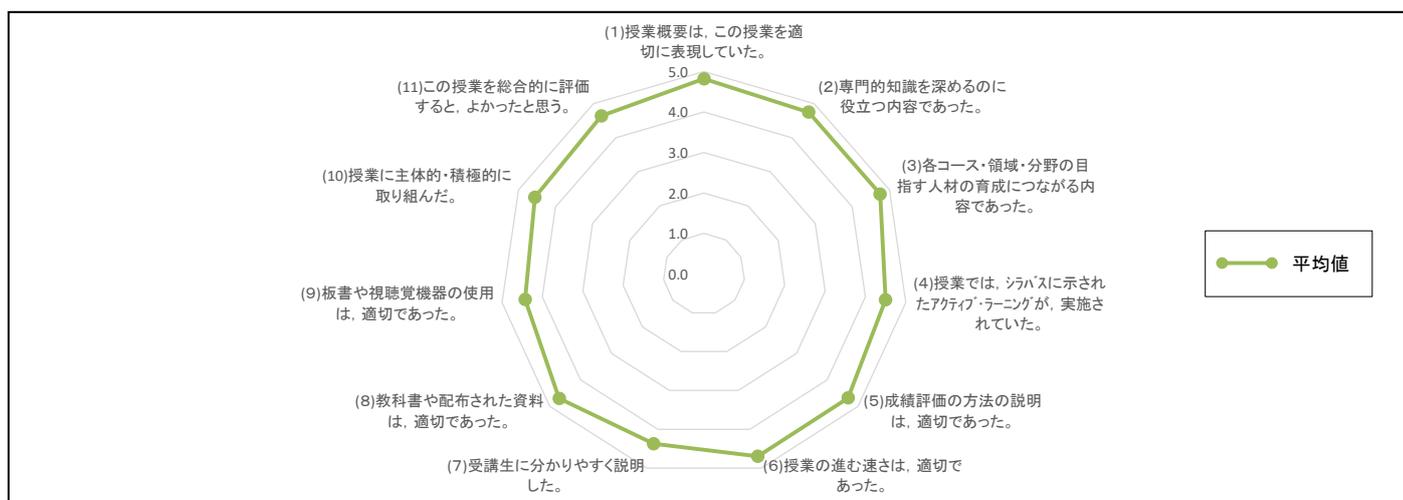
総合評価である項目(11)の回答は平均値が4.6で、約7割が5と回答しており、授業全体について一定水準の評価は得られたと考えられる。また、(1)～(10)の各評価項目の回答は平均値が4.4～4.8の範囲内にあり、いずれの項目においても一定水準の評価は得られたと考えられる。本授業は福祉分野における様々なトピックを扱っており、学習内容は多岐にわたるが、自由記述では本授業の「よかったと思われる点」として、福祉分野を幅広く学べたことが複数挙げられていた。一方、「改善すべきと思われる点」として、試験の出題範囲が広く、試験対策に苦勞することが挙げられていた。出題範囲は事前に提示しているが、その範囲を少し絞るなど、今後の工夫の余地はあると思われる。また、具体的な事例を知りたいとの記述もあり、この点も今後、教材作りに反映していきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	4	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	教育分野に関する理論と支援の展開		回答者数	56	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	今田 雄三, 吉井 健治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	46	10	0	0	0	4.8
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	46	7	2	1	0	4.8
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	42	14	0	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	35	16	3	2	0	4.5
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	41	12	3	0	0	4.7
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	42	11	3	0	0	4.7
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	30	20	3	3	0	4.4
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	41	13	2	0	0	4.7
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	34	13	8	1	0	4.4
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	34	19	3	0	0	4.6
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	37	18	1	0	0	4.6



<教員のコメント>

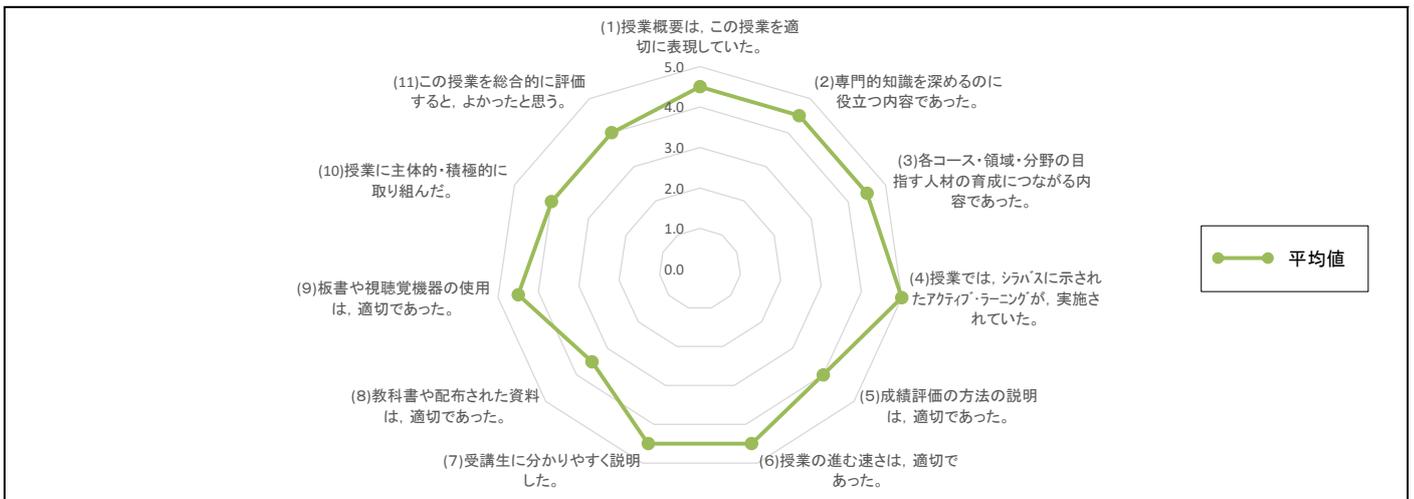
質問11項目全てにおいて、評価の平均値が4点以上であり、うち9項目では評価の平均値が4.5点以上であり、総合評価(11)「この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。」では4.6点と評価されており、本授業は受講生からは高い評価を得られたものとする。自由記述では、本授業のよかった点として「ビデオ教材を用いて実際のカウンセリングの様子がわかった」「幅広い内容が網羅され勉強になった」「自分でアセスメントや面接方針を考える機会があり勉強になった」といった意見が挙げられていた。授業の改善点としては「マイクの声が聞こえにくい時があった」「もっと受講生同士で話し合う活動を取り入れて欲しかった」といった書き込みがあった。今年度はコロナ感染防止のためディスカッションが行えなかったが、次年度以降実施できるように考えたい。その他の意見として「わかりやすい授業だった」という意見が多かった。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	5	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	司法・犯罪分野に関する理論と支援の展開		回答者数	2	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	黒澤 良輔, 小倉 正義				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	1	0	0	0	4.5
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	0	1	0	0	4.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	1	0	0	0	4.5
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	0	0	1	0	3.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	2	0	0	0	4.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	0	1	0	0	4.0



<教員のコメント>

・まず、当初は対面授業で、複数の課題について討議し、学生が自ら考え、まとめることを意図していたので、オンライン形式であったために、学生と教員との間でうまく相互交流・コミュニケーションできなかったことから、当初の授業の目的・意図が分かりにくくなってしまったことを反省している。

・特に、資料について、オンラインのため事前に読むように指示した後、その確認や配布意図を説明する時間が不十分になってしまったと思う。

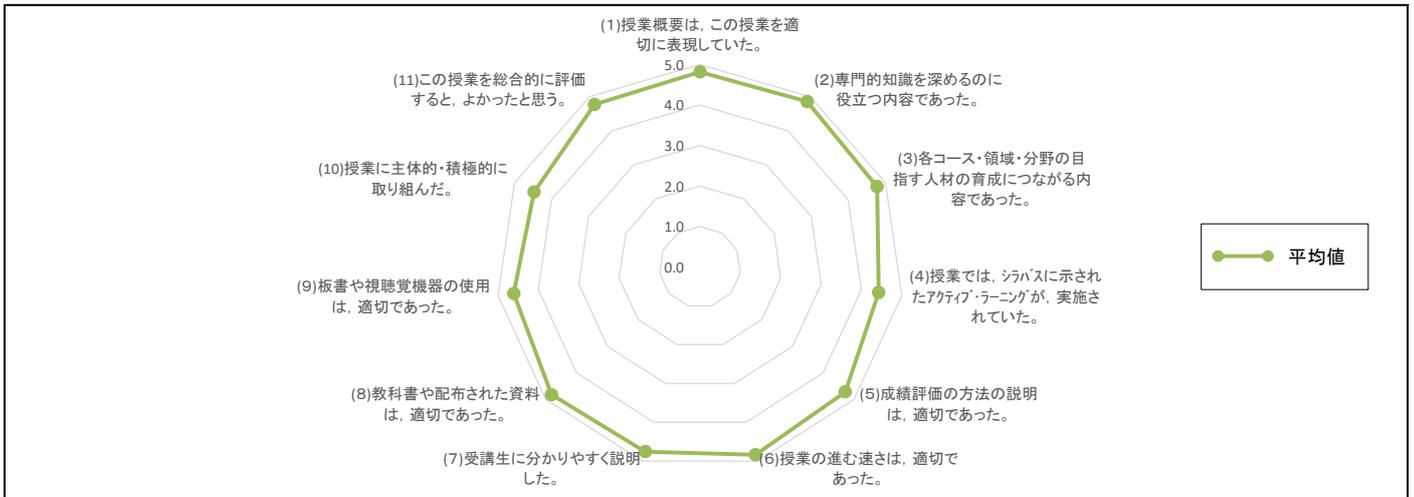
・今後対面授業では、授業時間内で資料を再度確認する時間を設けるとともに、資料の目的・意味についても十分説明した上、学生同士で討議する時間をしっかりととり、討議結果について教員との間で綿密なやり取りが行えるように努めていきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	6	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	心の健康教育に関する理論と実践		回答者数	49	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	吉井 健治, 今田 雄三, 山崎 勝之, 内田 香奈子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	40	9	0	0	0	4.8
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	42	7	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	38	11	0	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	31	11	5	1	1	4.4
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	37	10	2	0	0	4.7
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	41	8	0	0	0	4.8
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	38	10	1	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	42	5	2	0	0	4.8
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	34	11	4	0	0	4.6
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	27	18	4	0	0	4.5
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	39	9	1	0	0	4.8



<教員のコメント>

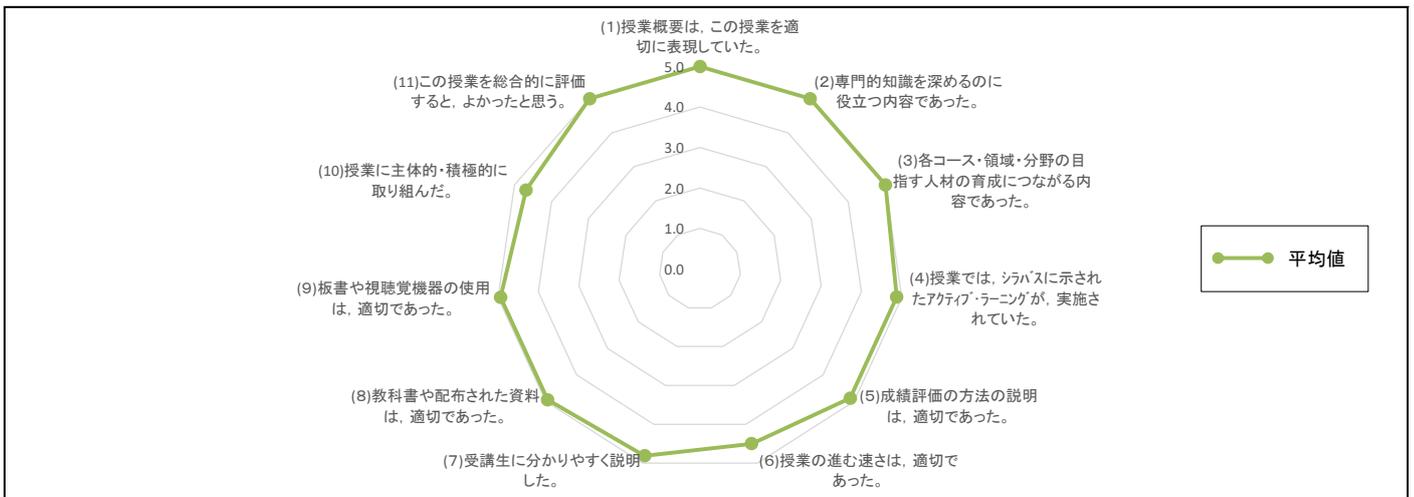
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	7	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	人間関係特論	回答者数	16	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	木村 昌紀, 古川 洋和				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	16	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	16	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	16	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	14	2	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	14	2	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	12	1	2	1	0	4.5
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	14	1	1	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	15	1	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	15	1	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	5	0	0	0	4.7
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	16	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

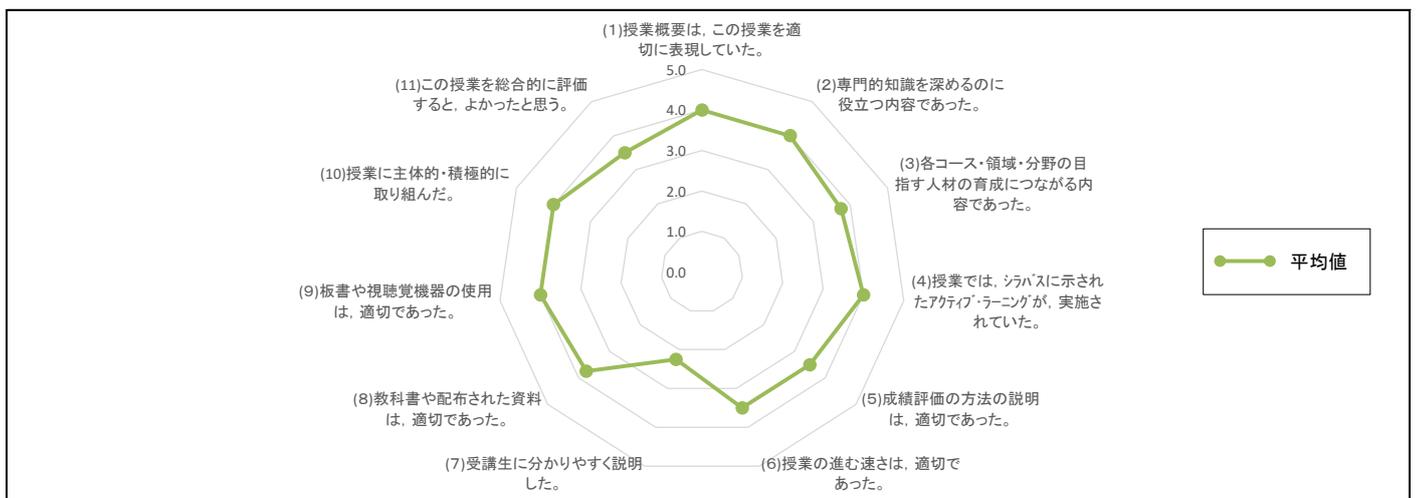
本年度の集中講義「人間関係特論」を担当させていただきました。木村昌紀です。至らない点もあったと思いますが、良い評価をしていただき、どうもありがとうございました。数年ぶりの対面の集中講義でもあり、とても嬉しく感じています。講義内容は、社会心理学の中で、特にコミュニケーションと対人関係について、基礎的かつ重要な内容を中心に、できるだけ幅広く、相互の関連性を意識しながら講義を心がけました。加えて、特定分野の踏み込んだ話や、最新の知見の紹介も可能な範囲で行うようにしました。一方で、いろいろ盛り込んだ分、情報量が多くなり過ぎたかもしれません。内容を充実させながら、情報を厳選して最適を探っていきたいと思っています。熱心な受講生ばかりで授業もшыやすく、いただいた質問やコメントで大変勉強になりました。教育現場におられる方やカウンセラーや福祉職を目指す方が多いこともあり、とてもあたたかいコメントをたくさんいただき、励みになりました。3日間気持ちよく授業させていただきました。ありがとうございました。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	8	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	臨床心理学研究 I	回答者数	4	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	久米 禎子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	2	1	0	0	4.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	2	1	0	0	4.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	2	0	1	0	3.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	1	2	1	0	0	4.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	1	1	1	0	3.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	1	1	1	0	3.5
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	1	0	2	1	2.3
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	1	2	0	0	3.8
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	2	1	0	0	4.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	2	0	0	4.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	1	1	1	0	3.5



<教員のコメント>

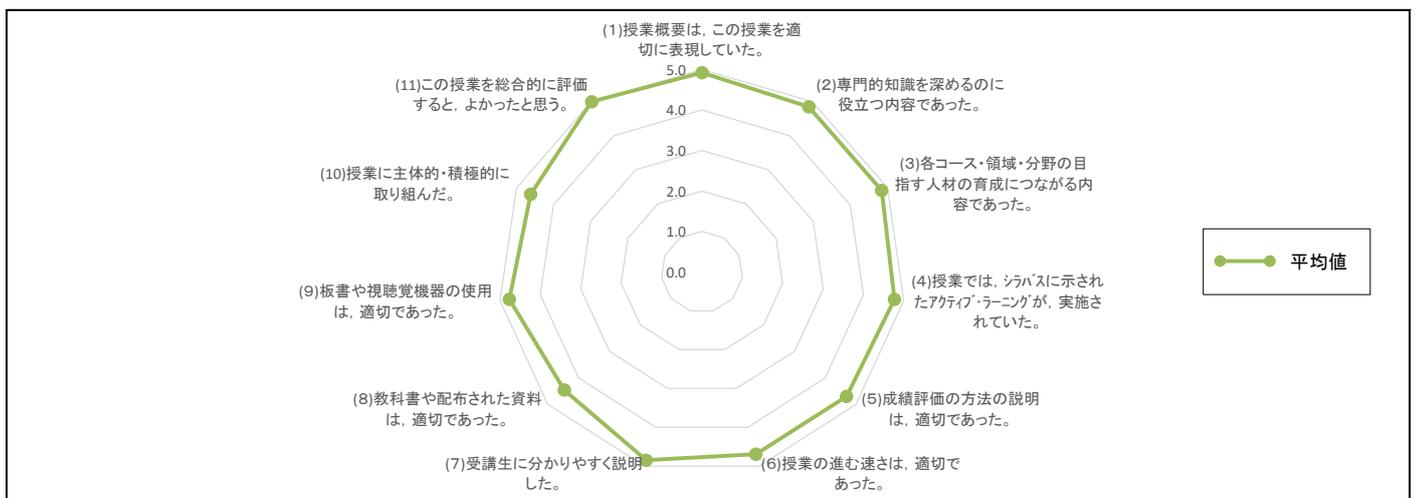
知識を伝達するというよりも、学生自身が主体的に考え、取り組むことに重きを置く内容であったため、理解度という点では個人差が大きかったものと思われる。個々のレポートへのフィードバックが十分でなかった点は今後見直し、どういった点で考えを深めるべきかそれぞれの学生が把握できるようにしたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	9	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	臨床心理学研究Ⅱ	回答者数	13	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	葛西 真記子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	12	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	11	2	0	0	0	4.8
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	11	2	0	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	11	1	1	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	10	2	1	0	0	4.7
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	9	4	0	0	0	4.7
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	11	2	0	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	8	3	2	0	0	4.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	10	3	0	0	0	4.8
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	10	2	0	1	0	4.6
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	13	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

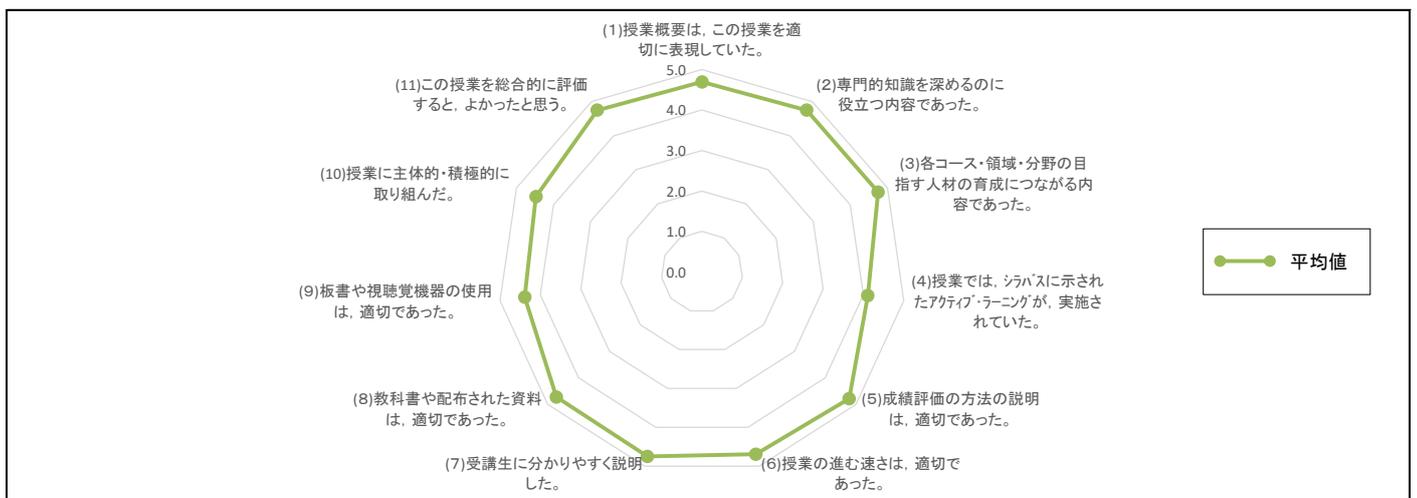
本授業の総合評価は、5.0であり、回答したすべての学生が高評価をしている。少し評価の低かった「(8)教科書や配布された資料は、適切であった。4.5」については、教科書として提示していたものをもっと活用する必要があると思われる。毎回配布するレジメや資料を中心に授業を行い、教科書については、3、4回の講義で使用した程度であったため、「どちらともいえない」が2名いたのだと思う。今後の改善点としては回答者数の少なさである。33名中13名のみでの回答であったのは、授業最後に、一斉にアクセスして評価するように指示したが、途中で辞めた者やアクセスできなかった者がいたのであろう。これまでの紙面での評価の場合は、100%の回答であったので、今後どのような指示をすればさらに回答数が増やせるのか検討する必要がある。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	10	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	臨床心理面接研究 I	回答者数	36	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	吉井 健治, 葛西 真記子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	26	9	1	0	0	4.7
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	29	6	0	1	0	4.8
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	29	5	2	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	15	14	4	2	1	4.1
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	28	8	0	0	0	4.8
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	27	7	2	0	0	4.7
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	28	7	1	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	27	8	1	0	0	4.7
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	21	10	4	0	1	4.4
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	22	11	2	0	1	4.5
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	30	5	0	0	1	4.8



<教員のコメント>

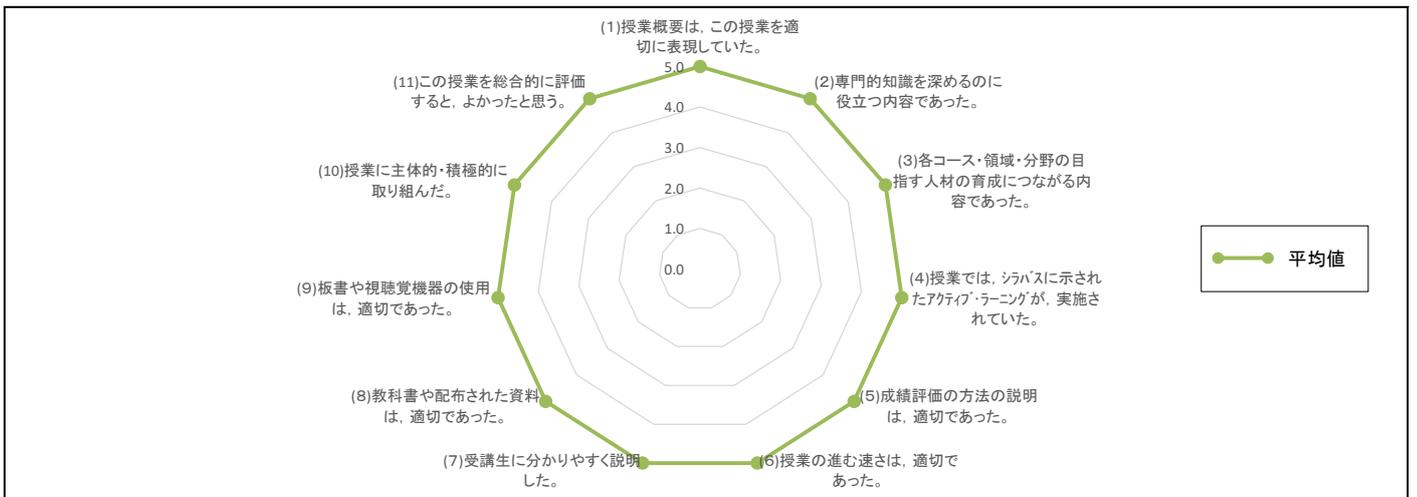
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	11	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	臨床心理面接研究Ⅱ	回答者数	1	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	粟飯原 良造				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

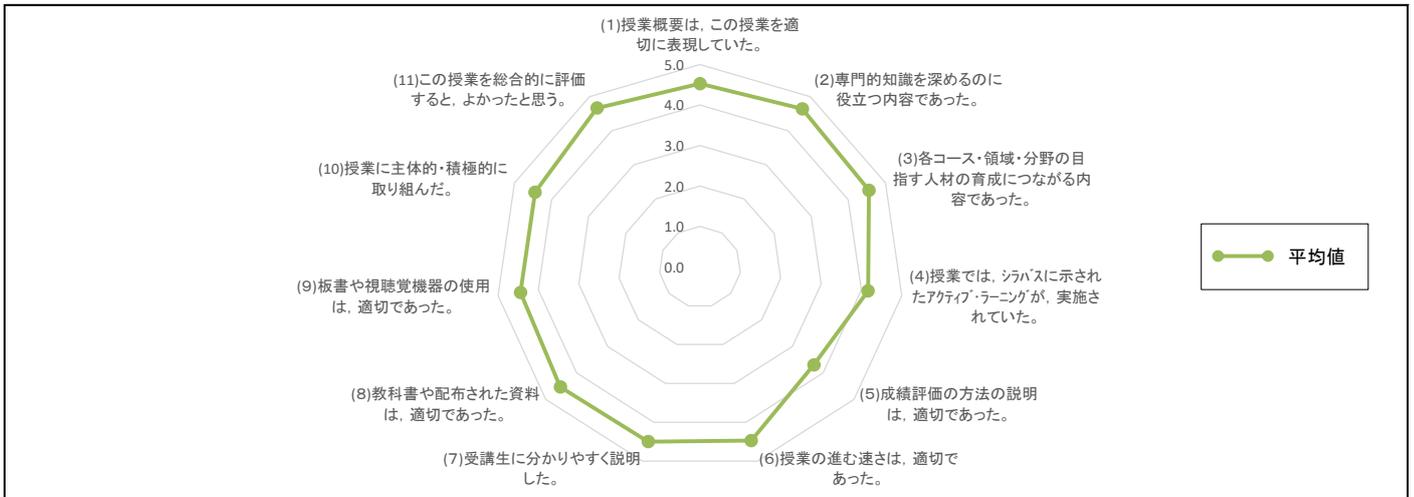
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	12	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	臨床心理学研究法特論	回答者数	36	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	葛西 真記子, 粟飯原 良造, 今田 雄三, 小倉 正義, 吉井 健治, 川西 智也, 久米 禎子, 廣瀬 雄一, 古川 洋和				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	21	14	0	1	0	4.5
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	23	13	0	0	0	4.6
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	22	12	2	0	0	4.6
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	14	15	6	1	0	4.2
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	10	11	10	4	1	3.7
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	20	14	1	1	0	4.5
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	21	13	1	1	0	4.5
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	21	13	2	0	0	4.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	18	16	2	0	0	4.4
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	19	14	3	0	0	4.4
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	25	10	1	0	0	4.7



<教員のコメント>

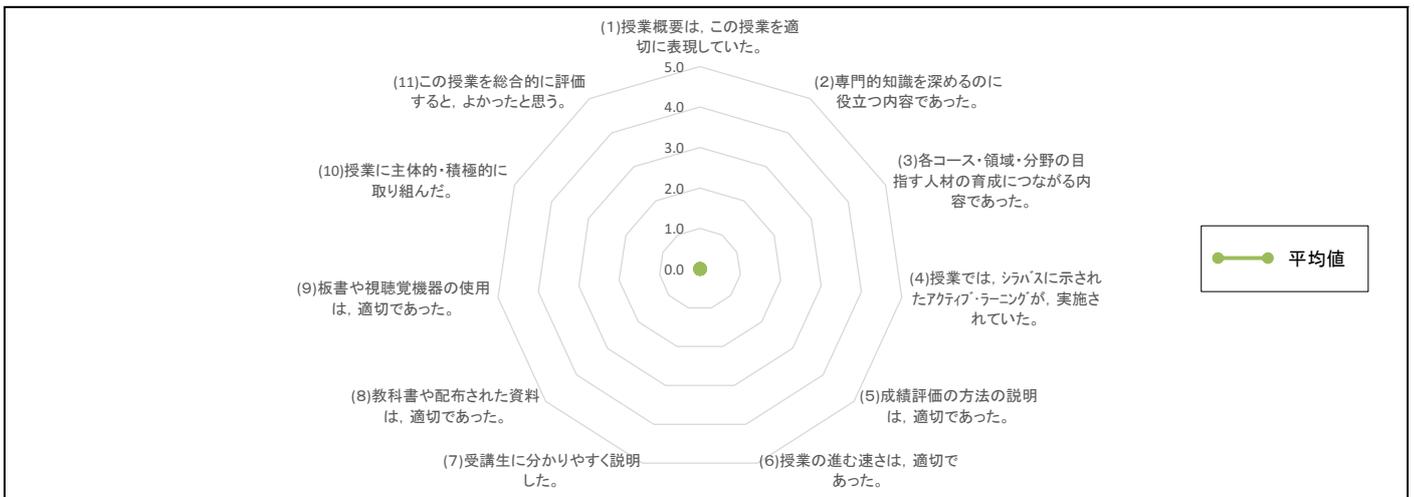
本授業は臨床コース臨床心理学領域の教員全員による私コリス形式の授業であり、授業全体の評価が具体的にすべての講義についてなのか、各教員に対するものなのかはわからない。この点については評価の仕方を今後検討する必要があると思われる。全体としての評価として捉えるならば、「総合評価 4.7」と高評価であり、全体として受講生の満足は得られたと思われる。少し評価の低い「(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。3.7」と「(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。4.2」についてであるが、この授業の評価についてはこれからの各学生の研究にかける能力が身に付いたかどうかで行っていたが、学生側からはわかりにくかったようである。今後、評価表法について具体的に示していきたい。アクティブラーニングについては、すべての教員が実施したわけではなく、偏っていたのであろう。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	13	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	臨床心理面接演習	回答者数	0	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	粟飯原 良造, 今田 雄三, 葛西 真記子, 吉井 健治, 川西 智也, 久米 禎子, 廣瀬 雄一, 古川 洋和				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	0	0	0	0	—
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	0	0	0	0	—
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	0	0	0	0	—
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

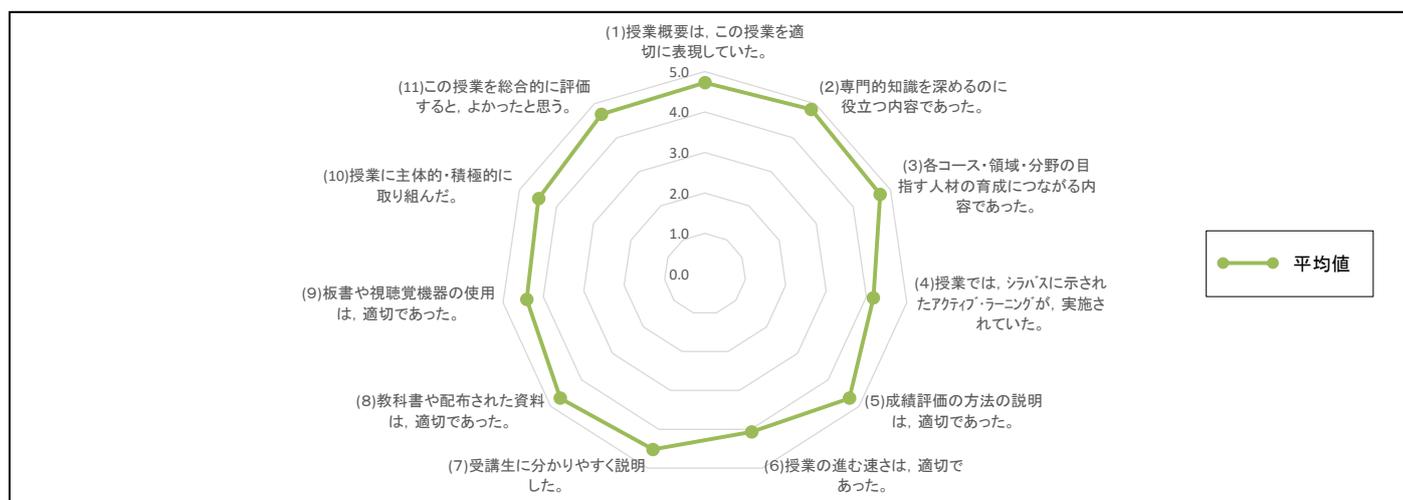
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	14	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	臨床心理査定演習Ⅱ	回答者数	29	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	川西 智也, 今田 雄三				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	22	6	1	0	0	4.7
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	25	3	1	0	0	4.8
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	23	5	0	1	0	4.7
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	14	7	7	1	0	4.2
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	23	3	3	0	0	4.7
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	12	11	3	2	1	4.1
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	19	8	1	0	1	4.5
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	23	4	1	1	0	4.7
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	18	5	6	0	0	4.4
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	18	8	2	1	0	4.5
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	22	6	0	1	0	4.7



<教員のコメント>

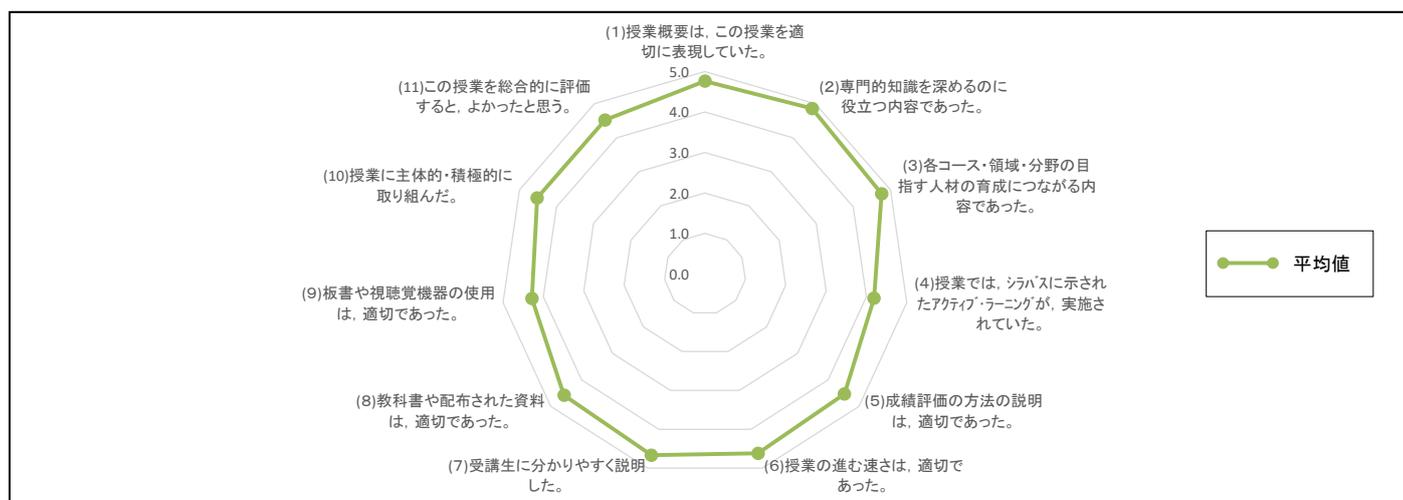
総合評価である項目(11)の回答は平均値が4.7で、約3/4が5と回答しており、授業全体について一定水準の評価は得られたと考えられる。また、(1)～(10)の各評価項目の回答は平均値が4.1～4.8の範囲内にあり、いずれの項目においても一定水準の評価は得られたと考えられる。項目(4)アクティブ・ラーニング(AL)の実施については、平均値が4.2と、他の項目に比べて低かった。本授業では心理検査の演習や検査事例の検討でALを取り入れているが、スコアリングや解釈の概説に費やす時間も多し。これを反映しての得点と思われる。項目(6)授業の進む速さについても、平均値が4.1と、他の項目に比べて低かった。主担当者としては、スコアリングの概説を丁寧に行おうと時間をかけたために、授業後半のスコアリングの解釈に費やす時間が少々短くなった実感がある。授業全体のスケジュールを意識することを心がけたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	15	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	保健医療分野に関する理論と支援の展開		回答者数	21	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	今田 雄三, 古川 洋和				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	16	5	0	0	0	4.8
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	18	3	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	16	5	0	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	10	6	4	1	0	4.2
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	13	6	2	0	0	4.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	14	6	1	0	0	4.6
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	15	5	1	0	0	4.7
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	14	6	0	1	0	4.6
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	10	8	2	1	0	4.3
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	12	8	1	0	0	4.5
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	12	8	1	0	0	4.5



<教員のコメント>

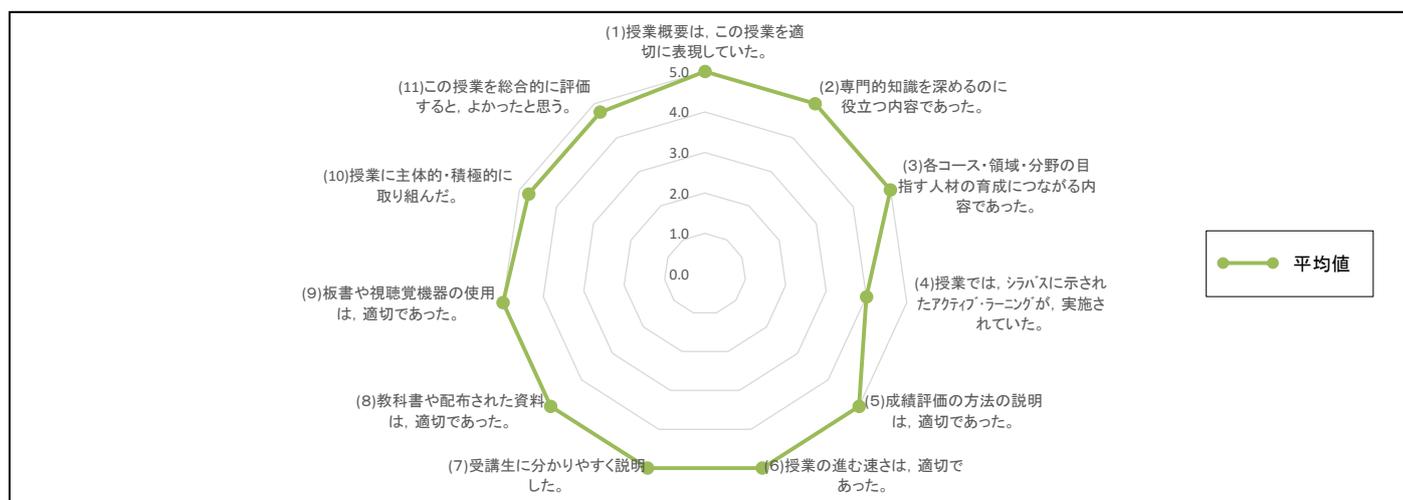
質問11項目全てにおいて、評価の平均値が4点以上であり、うち9項目では評価の平均値が4.5点以上であり、総合評価(11)「この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。」では4.5点と評価されており、本授業は受講生からは高い評価を得られたものとする。自由記述では、本授業のよかった点として「説明がわかりやすかった」「レジュメがわかりやすかった」「実習に向けて必要な知識や何を学んでいけばよいかの方向性が示されていた」といった意見が挙げられていた。授業の改善点としては「特になし」との書き込みのみが示されていた。その他の意見として「試験問題の難しさ」について言及されていたが、本授業は公認心理師の受験資格取得のための実習参加に必要な知識が十分に取得されていることを担保することを想定しており、受講生には難しいと感じられたのかもしれないが、その水準に到達することを目指して学習に取り組んでもらいたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	16	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	産業・労働分野に関する理論と支援の展開		回答者数	4	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	古川 洋和				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	3	0	0	0	1	4.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	3	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

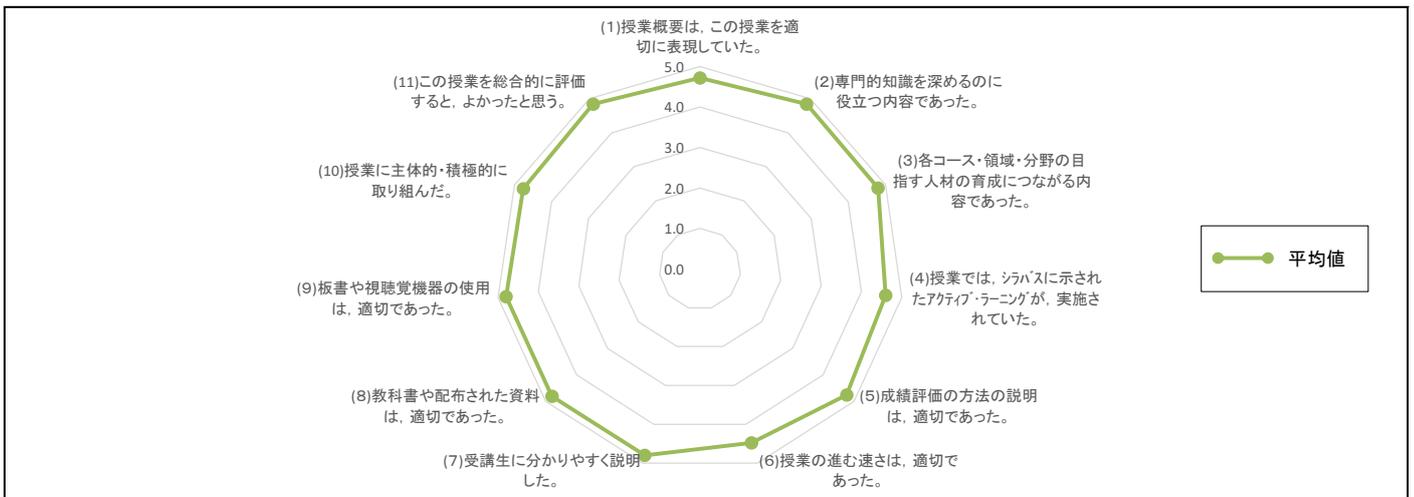
「産業・労働分野に関する理論と支援の展開」は公認心理師養成に係る大学院科目であり、臨床心理学領域に在籍する大学院生を想定した内容ならびに公認心理師試験の出題基準に準じた内容で構成している。アクティブラーニングに関する評価値が1名のみ低い値であったが、本講義はアクティブラーニング自体を実施していないため、評価の誤りであることが窺える。講義内容に関する評価値は十分に高いため、以降も同様の内容および方法にて開講する。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	17	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	臨床心理査定演習 I（心理的アセスメント）		回答者数	25	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	吉井 健治, 粟飯原 良造, 今田 雄三, 小倉 正義, 川西 智也, 久米 禎子, 廣瀬 雄一				

（5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	18	7	0	0	0	4.7
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	21	4	0	0	0	4.8
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	20	5	0	0	0	4.8
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	15	10	0	0	0	4.6
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	20	4	1	0	0	4.8
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	16	5	4	0	0	4.5
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	20	5	0	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	20	5	0	0	0	4.8
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	20	5	0	0	0	4.8
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	19	6	0	0	0	4.8
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	21	4	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

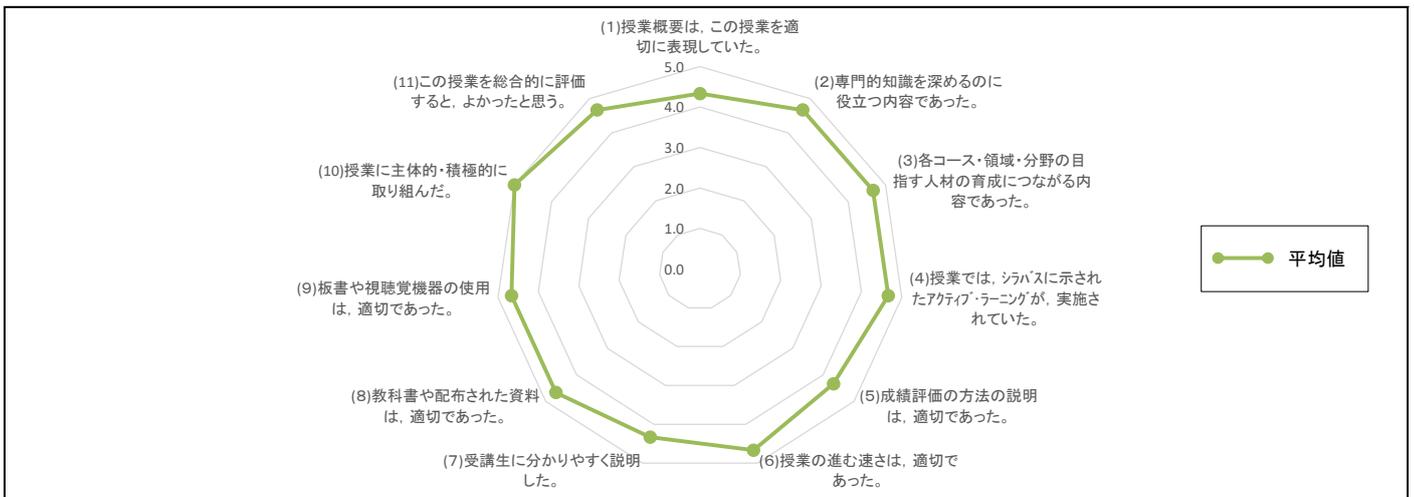
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	18	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	心理支援に関する理論と実践	回答者数	3	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	久米 禎子, 葛西 真記子, 古川 洋和				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	2	0	0	0	4.3
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	2	1	0	0	0	4.7
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	2	0	0	0	4.3
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	2	0	0	0	4.3
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	1	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

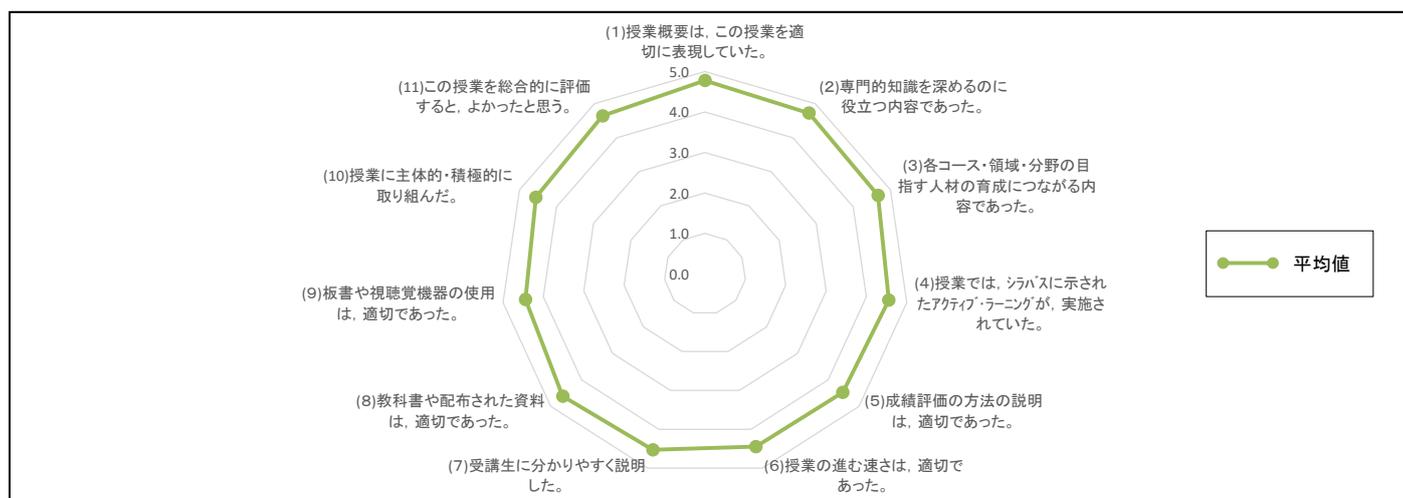
基礎的内容を扱っており、目標も明確なため、学生にとっては分かりやすく、取り組みやすかったものと思われる。今後の実習にもつながる入門的な内容を扱っているため、引き続き内容や方法を工夫しながら、学生が十分学修内容を習得できるようすすめたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	19	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	家族関係・集団・地域社会における心理支援に関する理論と実践（家族心理学特論）		回答者数	36	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	粟飯原 良造, 川西 智也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	29	6	1	0	0	4.8
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	27	8	1	0	0	4.7
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	25	10	1	0	0	4.7
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	22	12	2	0	0	4.6
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	20	13	3	0	0	4.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	19	14	3	0	0	4.4
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	21	13	2	0	0	4.5
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	22	14	0	0	0	4.6
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	19	14	3	0	0	4.4
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	22	12	2	0	0	4.6
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	24	11	1	0	0	4.6



<教員のコメント>

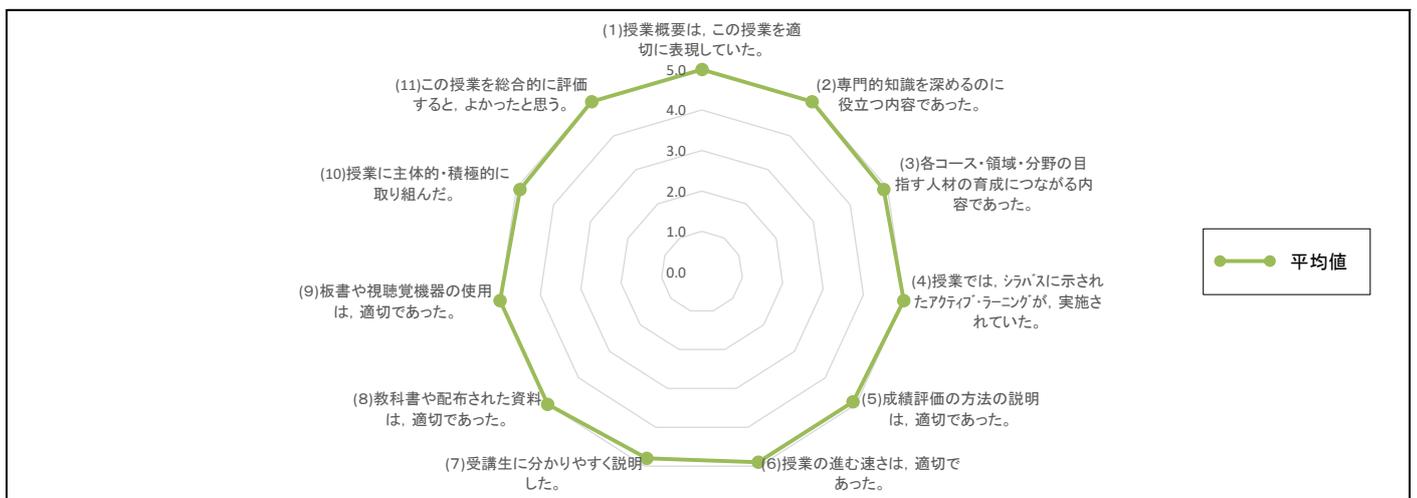
総合評価である項目(11)の回答は平均値が4.6で、約2/3が5と回答しており、授業全体について一定水準の評価は得られたと考えられる。また、(1)～(10)の各評価項目の回答は平均値が4.4～4.8の範囲内にあり、いずれの項目においても一定水準の評価は得られたと考えられる。自由記述では、資料の印刷を希望する意見があった。Moodleが普及し、授業時に印刷した資料を用いない受講生も増えたが、印刷した資料の配布を望む受講生の声もあることを認識に留めておきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	20	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	心の発達・教育創造研究	回答者数	10	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	山崎 勝之				

（5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	10	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	10	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	8	2	0	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	10	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

総合評価は5.0で、他も最低で4.8と高値の評価となった。この結果は、受講生にとっては本授業が満足の行くものであったと判断される。自由記述も肯定的な評価が多く、この点においても受講生の評価は高かったものと判断される。

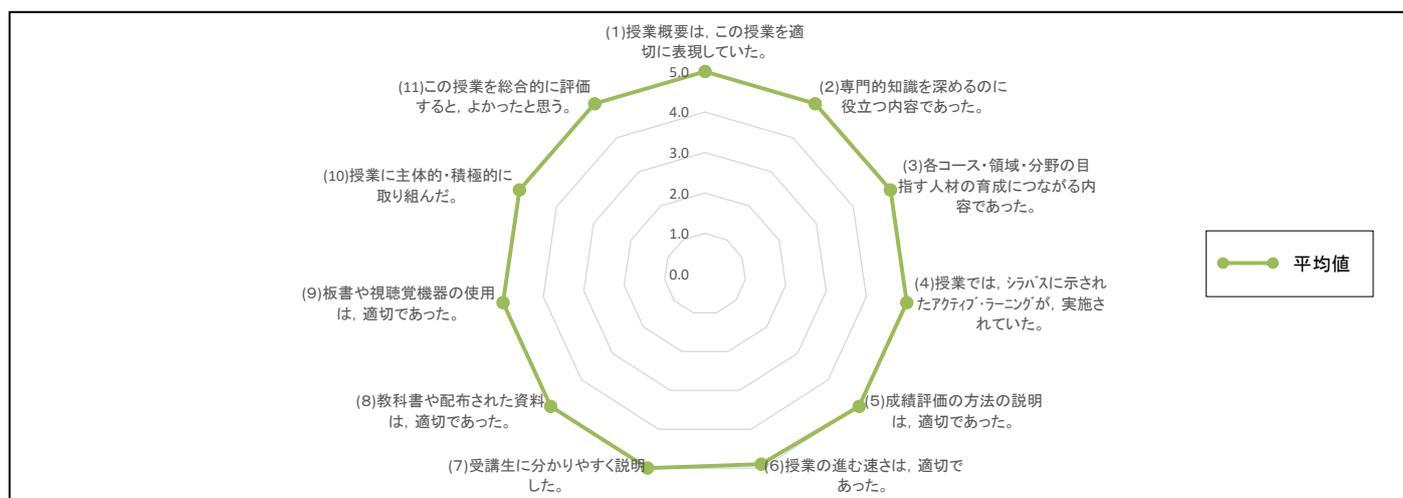
単なる知識の獲得ではなく、独創性、論理性、発信力の育成に重点を置いた本授業の目標が達成されたと判断される。受講生にとっては理論的に難解な授業であったと思われるが、このような水準の授業でも、方法論を工夫し、受講生の真摯な姿勢に支えられ、授業目標が達成されたと考えられる。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	21	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	心の発達・教育創造演習		回答者数	10	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	山崎 勝之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	10	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	10	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	10	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	10	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

総合評価は5.0で、その他細部の評価も一つが4.9以外はすべて5.0であった。ほぼすべて5.0での評価を受け、この授業の改善点を考えてみたが、現在の良好な授業内容と運営をさらに高める方向を考えることになろう。

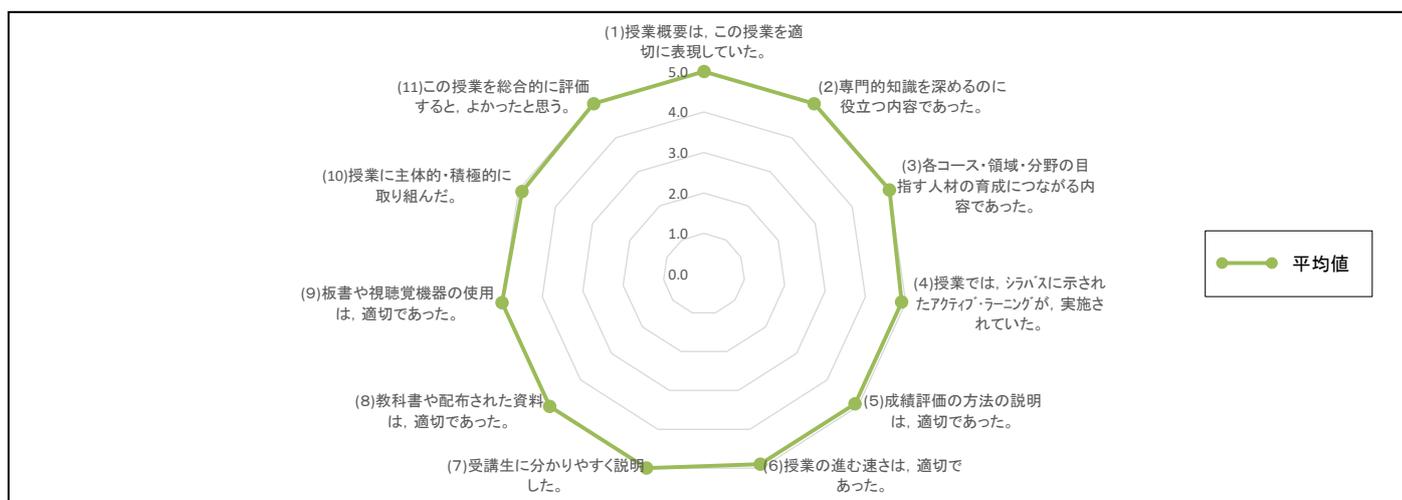
前期の「心の発達・教育創造研究」と本授業は一連の授業で、この授業をもって、最終目標である獨創性、論理性、発信力の育成が完了するように計画され、ほぼ目標が達成されたものと判断できる。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	22	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	心理教育科学研究	回答者数	10	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	内田 香奈子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	10	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	9	1	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	10	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	10	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

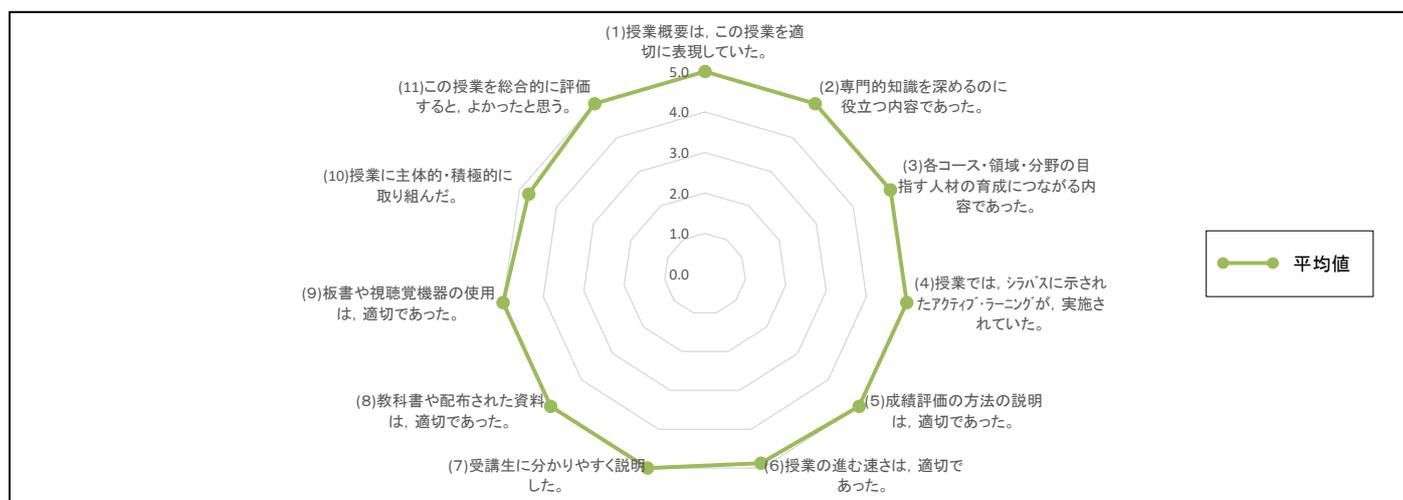
本授業では、領域としてより専門性の高い内容を提供するため、心理学の基礎研究に関する知見を分かりやすく説明するように心がけた。また、現場での実践内容については、より詳しい解説を加えながら、教員が小中学校の教師役を、受講生が児童・生徒役となり、授業を体験してもらった。その結果、総合評価は5.0となり、各項目も4.9以上と高い数値を得ることができた。コメントも理論と実践をバランスよく学ぶことができたなど、総じて肯定的なフィードバックであった。なお、本授業は毎年他コースからも数名受講することがある。できる限りそれぞれのニーズに合う内容が提供できるよう、これからも授業内容をブラッシュアップしたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	23	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	心理教育科学演習	回答者数	8	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	内田 香奈子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	8	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	8	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	8	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	4.8
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	8	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

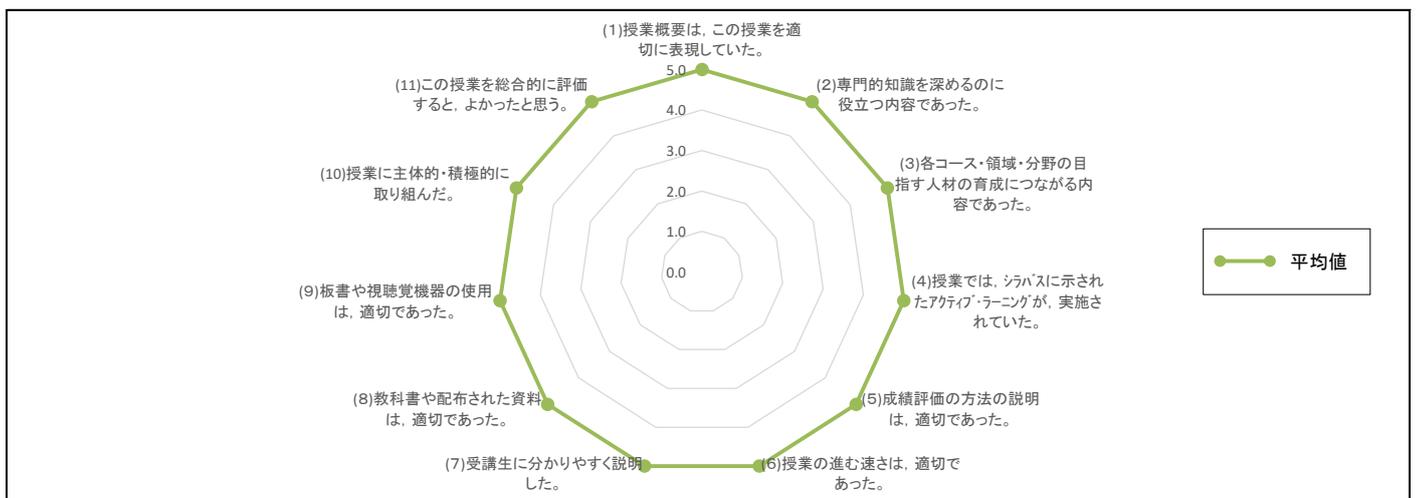
本授業では自ら論文を読み、エビデンスを抽出し、その上で簡単な予防教育プログラムを構築できることを目指した授業を展開した。その結果、総合評価が5.0、各項目も4.8以上の評価となった。コメント欄からも実際に教育プログラムを作成できる点や、どのように研究が実践に活かされるのかを体系的に学ぶことが出来る点などへの評価があった。なお、授業への主体的・積極的な取り組みに関する得点が若干ではあるが低い値を示していた。グループでの活動が多いため、作業量に偏りが出ることもあり、取り組み方に違いが出た可能性もある。次回からは今年度以上にきめ細くサポートしたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	24	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	心理・教育科学測定・評価演習	回答者数	9	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	山崎 勝之, 内田 香奈子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	9	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	9	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	9	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	9	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

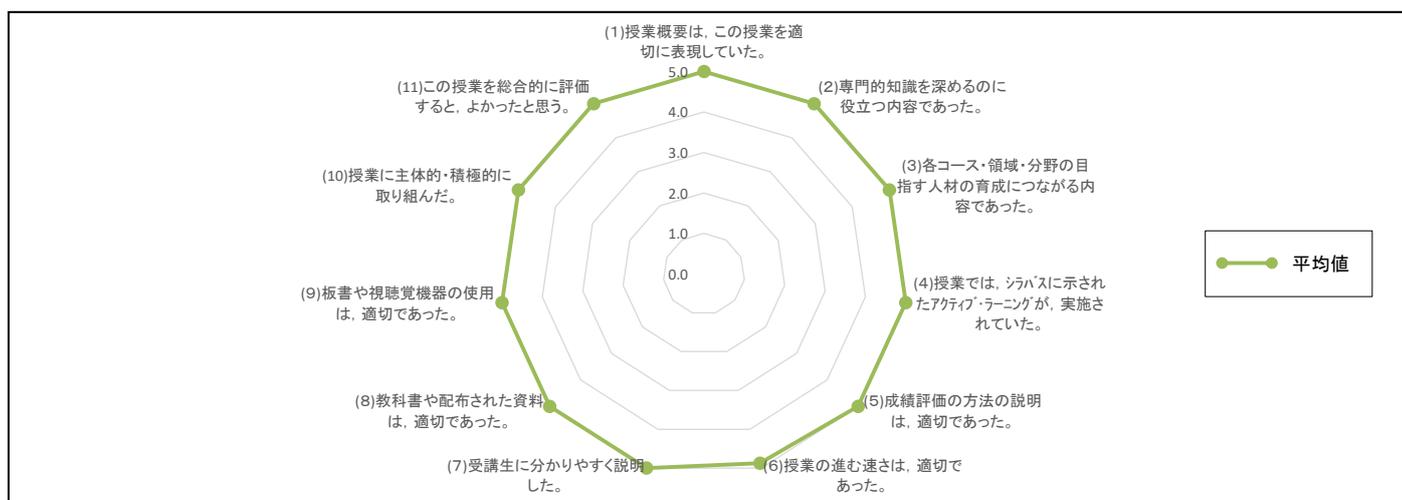
総合評価は5.0で、細部の評価もすべて5.0であった。本授業は2人の教員で実施されたオムニバス授業となる。前半は因果関係の究明方法と歪みのない測定方法の考察と考案という、心理学研究では研究上もっとも重要なテーマを扱った。後半は実際にデータの統計的分析方法をアプリケーションを利用して実際に体験する授業であった。つまり、研究上の理論面と実践面が融合した興味深い授業となり、これらの点が学生に高く評価されたものと判断される。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	25	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	予防教育開発・実施演習		回答者数	8	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	山崎 勝之, 内田 香奈子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	8	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	8	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	8	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	8	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

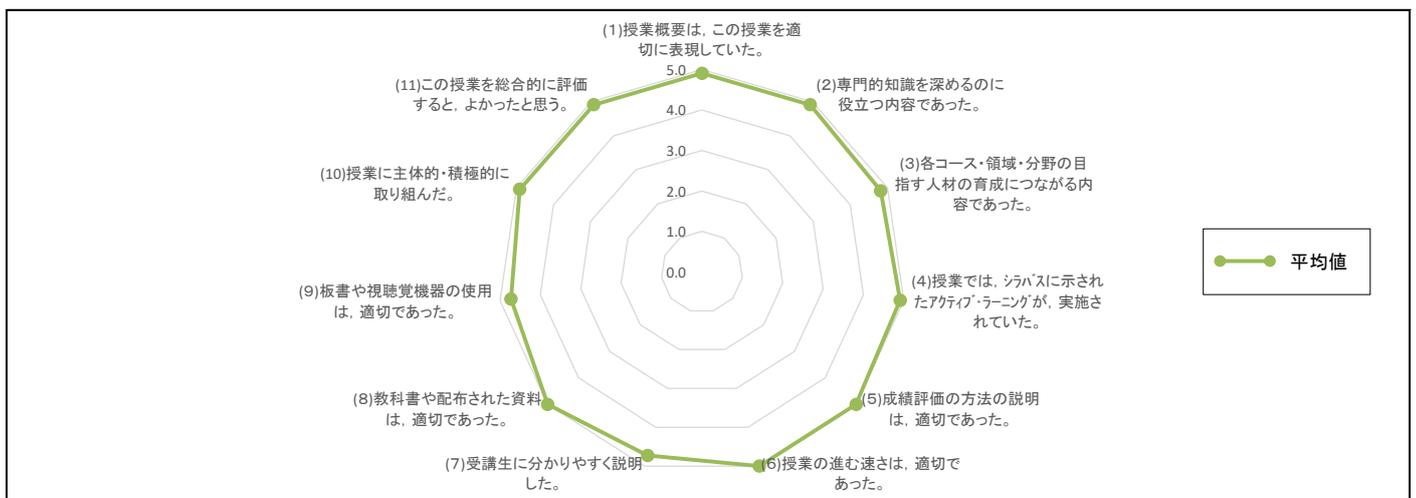
総合評価は5.0で, 細部の評価も1つのみ4.9で他はすべて5.0であった。本授業は通年で実施された授業となる。教員が2人でオムニバスで実施し, 前半は, 本学で開発された予防教育の理論と方法をその変遷とともに演習形式で学び, 後半はその予防教育を実施できる実践力を培った。つまり, 本授業をもって, 予防教育の理論, 目的, 方法の理解, そして, 実践力が培われ, 予防教育を実際に運営, 指導できる力が備えることができたことになる。これらの予防教育についての総合的な学習の諸点が, 学生に高く評価されたものと判断される。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	26	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	臨床人間関係(知的障害・肢体不自由・病弱不自由・病弱・視覚障害・聴覚障害)		回答者数	11	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	高橋 眞琴				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	10	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	10	0	1	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	10	1	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	10	0	0	1	0	4.7
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	9	1	1	0	0	4.7
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	10	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

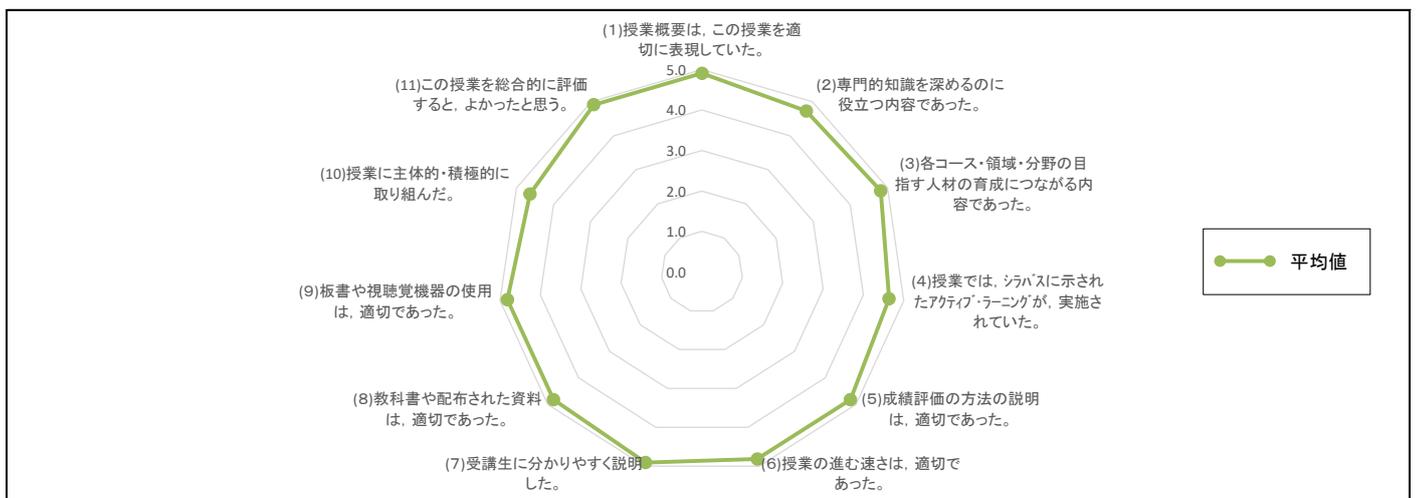
概ね良好な評価であったと考えられるが、一部内容理解が必要であった学生がいたことが、今回のアンケートでわかったため、今後の参考とし、適時、理解状況の確認をしようにしたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	27	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	生理心理学	回答者数	11	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	田中 淳一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	10	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	8	3	0	0	0	4.7
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	9	2	0	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	9	1	0	1	0	4.6
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	10	0	1	0	0	4.8
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	10	0	1	0	0	4.8
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	10	1	0	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	9	2	0	0	0	4.8
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	9	2	0	0	0	4.8
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	4	0	0	0	4.6
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	10	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

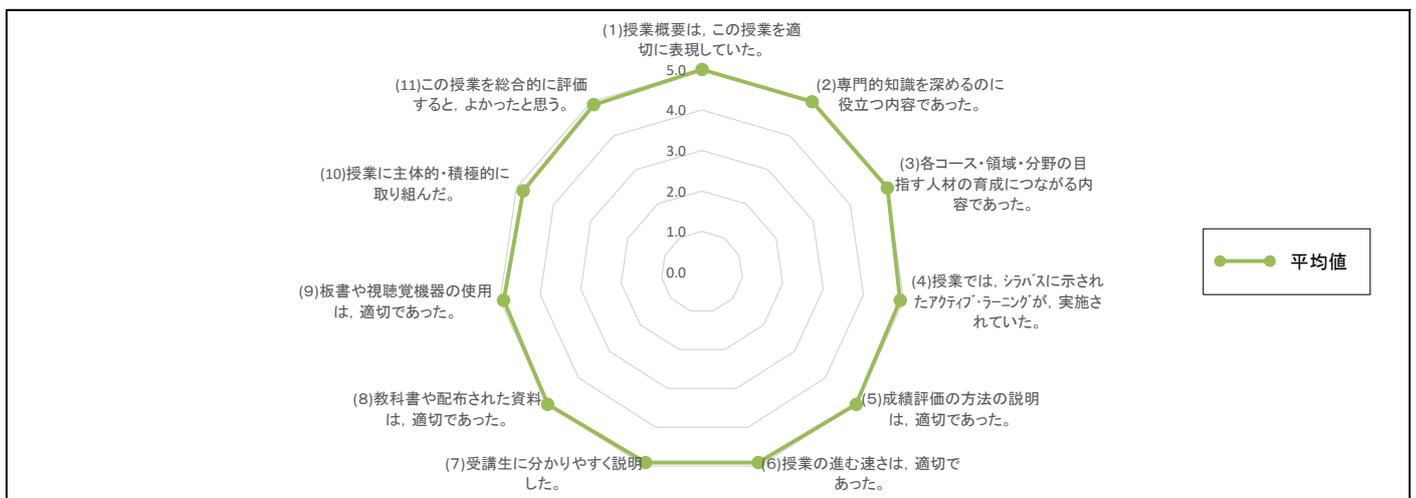
概ね良好な評価であった。1名が回答しているアクティブラーニングの項目については、新型コロナウイルス感染症の対応が授業実施時に求められていたが、今後は、感染症法の位置付けが5類に変更になるため参考にした。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	28	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	障害心理学研究方法演習		回答者数	11	人
コース	心理臨床コース				
担当教員名	田中 淳一, 高橋 眞琴				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	11	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	10	1	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	10	1	0	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	10	1	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	4.8
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	10	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

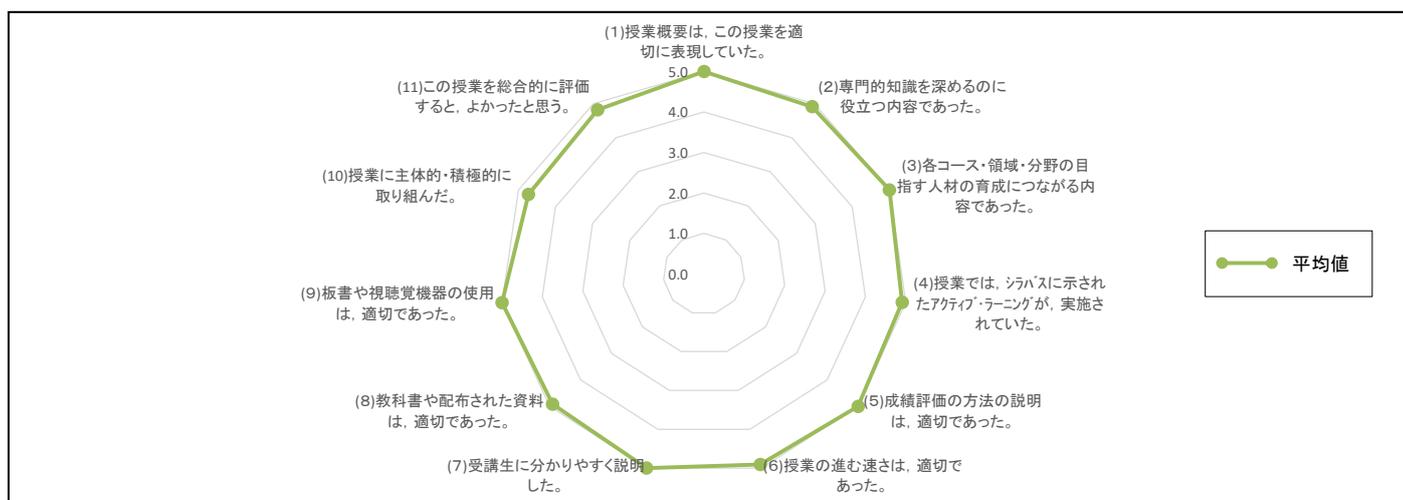
オムニバスの科目であったが, 様々な角度で研究方法について, 取り上げた。概ね良好な回答であった。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	29	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	障害臨床学特論	回答者数	11	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	田中 淳一, 高橋 眞琴				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	11	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	10	1	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	11	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	1	1	0	0	4.7
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	9	2	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

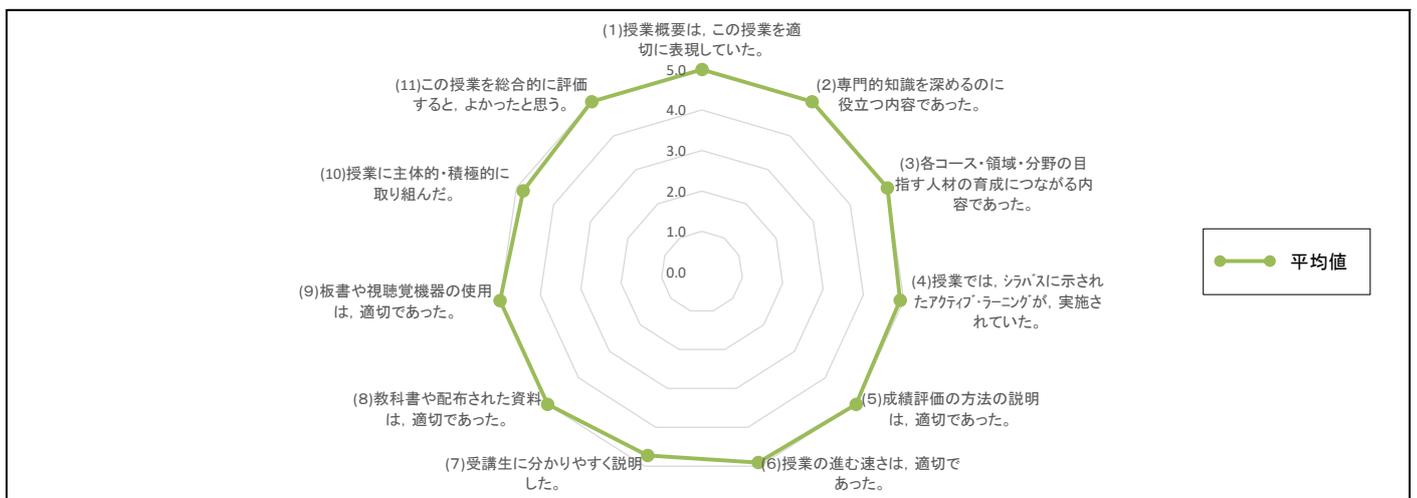
オムニバスの科目であったが, 様々な支援や実践方法を取り上げた。概ね良好な回答であった。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	30	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	障害発達支援国際比較研究	回答者数	11	人	
コース	心理臨床コース				
担当教員名	田中 淳一, 高橋 眞琴				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	11	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	10	1	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	10	0	0	1	0	4.7
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	4.8
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	11	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

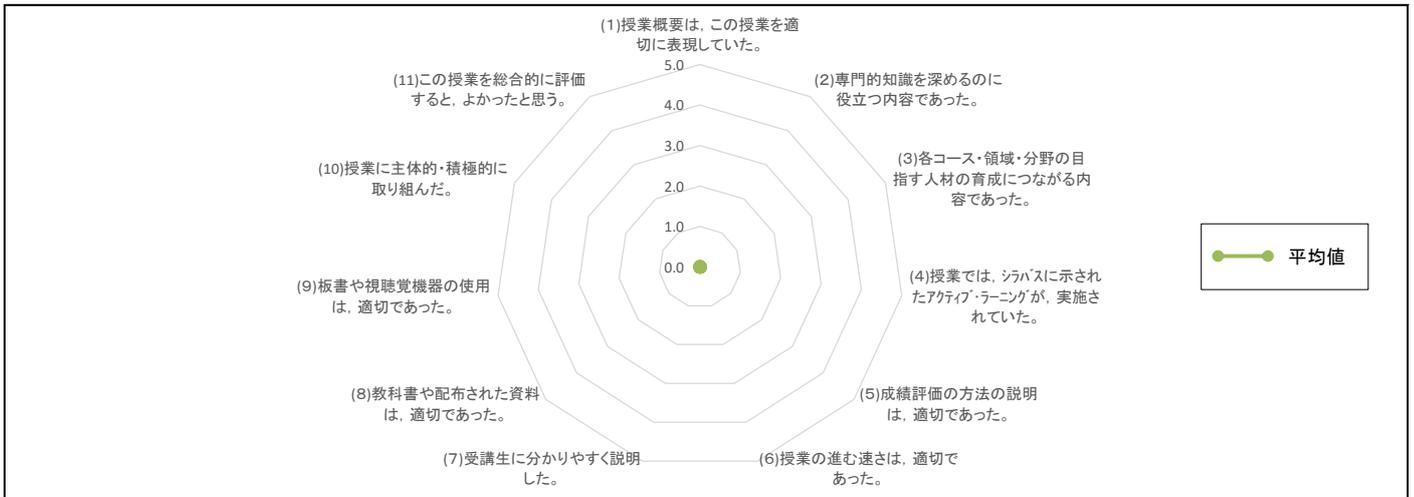
オムニバスの科目であったが, 各国の発達支援の方法について, 取り上げた。概ね良好な回答であったが, 1名の「わかりやすく説明した」の項目については, 各国の支援方法を外国語で理解することになるので, アカデミックチューター等の活用により専門用語の理解を促したい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	31	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	社会認識の方法	回答者数	0	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	0	0	0	0	—
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	0	0	0	0	—
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	0	0	0	0	—
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

この授業では、受講者の希望を踏まえて前半では、ジェンダー及びセクシュアリティに関する先行研究を紹介し、女性や少数派の人々がどのように差別と向き合ってきたのかを概説した。また、授業の後半では、差別問題における多数派（マジョリティ）の責任を考えるために、沖縄を取り巻く問題についての文献を取り上げて講義を行った。具体的には、野村浩也（2005）『無意識の植民地主義』を章ごとに担当を決めて報告及び議論を行った。学生たちは、この文献講義を通して、多数派の人々が差別問題から距離をとったり、無関心でいられたりすることを「特権」や「ポジショナリティ」といった概念で理解することができることを学んだ。

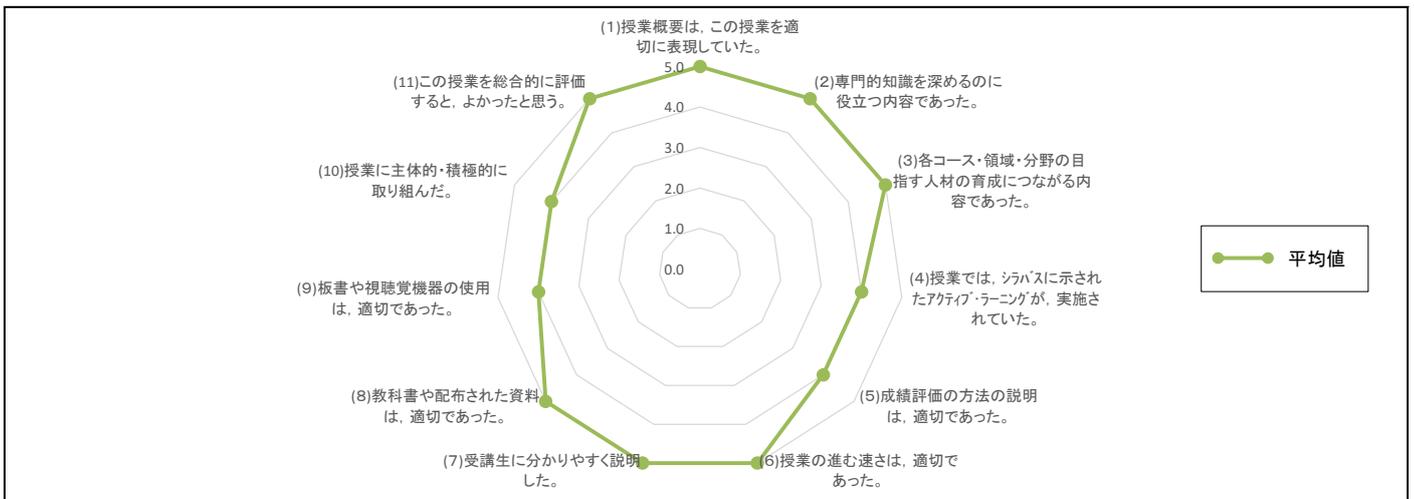
この授業は、正規の受講者が2名と聴講生1名の3人を対象に実施したが、どの受講者も授業中の議論には積極的に参加していたことから、関心の高い受講者が受講していたと思われる。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	32	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	社会分析の実践	回答者数	1	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

この授業では、前半にテキスト(森岡清志 2013『ガイドブック社会調査 第2版』)を講読して、社会調査の理論や基本的な方法について学習した。具体的には、質的調査と量的調査の特徴について整理し、調査対象の選び方や分析方法について基本的な考え方を習得させた。また、実際の社会調査で得られたデータを用いて分析方法を実践した。こうした社会調査の基本的な学びを踏まえて、後半では、受講者それぞれの研究関心に基づいて、調査の計画や、調査結果の分析過程などについて報告し、全員で検討を行った。

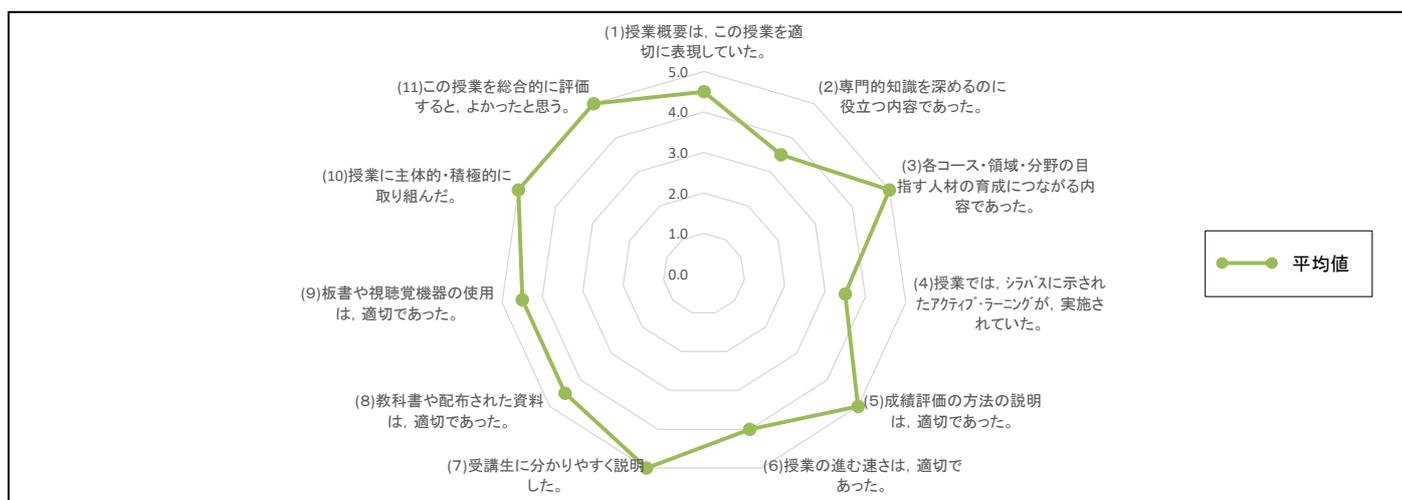
この授業は、正規の受講者4名と聴講生1名の計5人が受講したが、どの学生も修士論文で社会調査の実施を考えており、授業には積極的に参加していた。授業アンケートに回答した一人の学生の結果を見ると、総合評価は5であり、受講者は概ね講義の内容や方法に満足していたと思われる。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	33	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	現代の子どもと学校教育	回答者数	2	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	谷村 千絵				

（5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	1	0	0	0	4.5
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	1	1	0	0	3.5
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	1	1	0	0	3.5
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	0	1	0	0	4.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	0	0	0	0	5.0



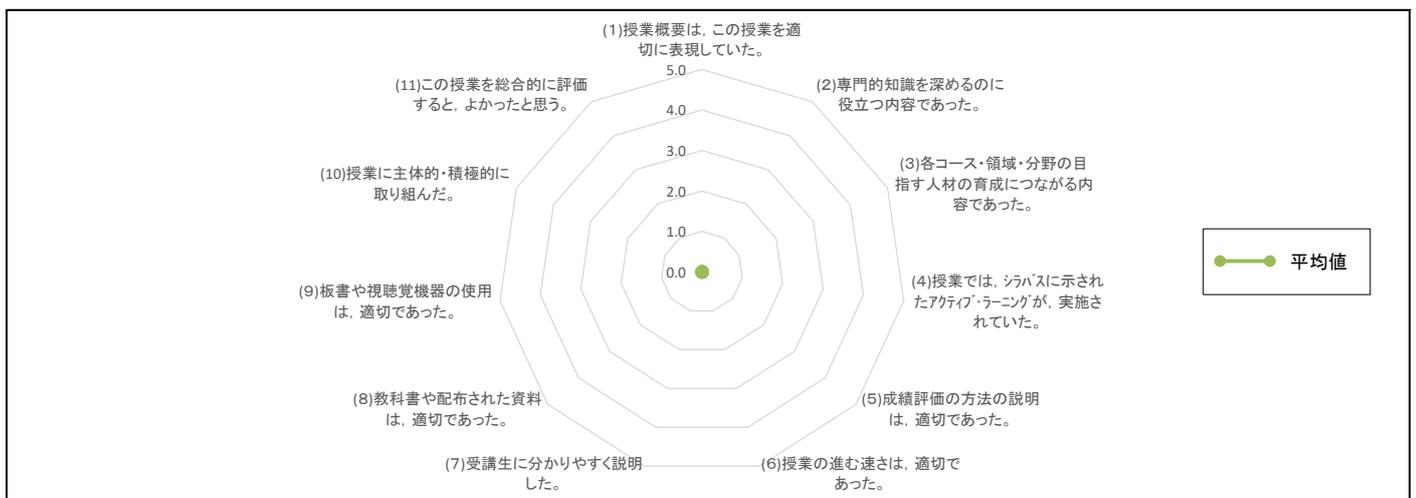
<教員のコメント>

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	34	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	現代教育人間論	回答者数	0	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	畠野 誠志, 谷村 千絵, 太田 直也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	0	0	0	0	—
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	0	0	0	0	—
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	0	0	0	0	—
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

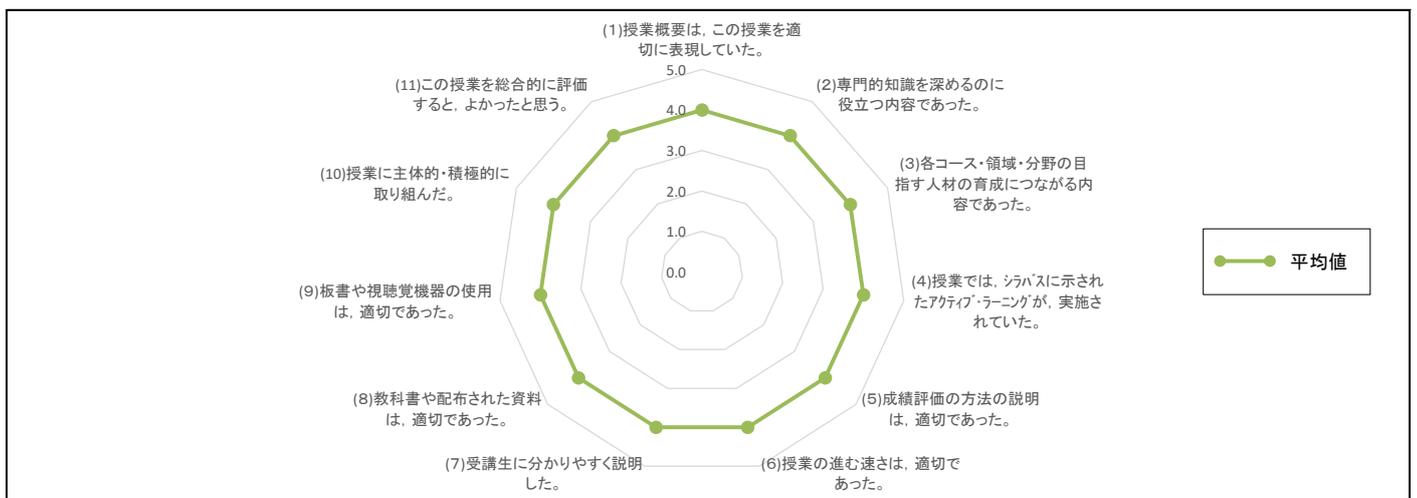
現代の至る哲学的思考の変遷と教育との繋がりについて、演習を含め学習を展開した。受講生が非常に少なかったため、十分な対話を重ねながら、学習者の主体性を活かした授業となったと考える。一方で、最終回での授業評価について、授業内での評価をする時間がとれなかったことが、回答者が0だった要因だと考える。次年度開講する場合、留意しておきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	35	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	コミュニケーションと環境	回答者数	1	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	金野 誠志, 谷村 千絵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	1	0	0	0	4.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	1	0	0	0	4.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	0	1	0	0	0	4.0



<教員のコメント>

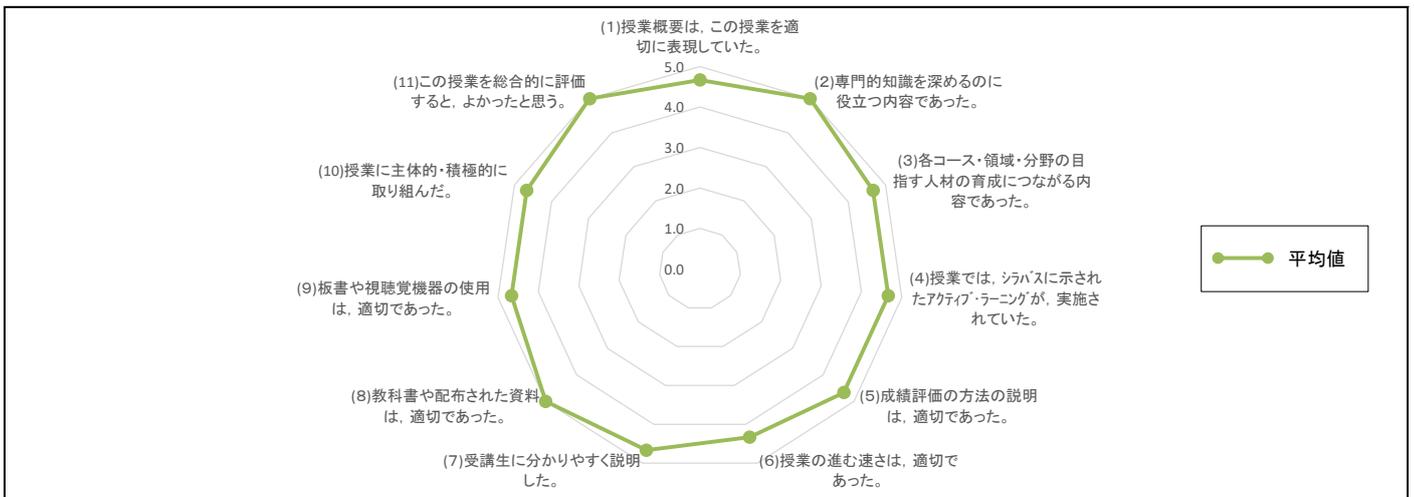
受講者3類の内回答者1名であったため、そのまま数値を受け止めることには疑問が残る。授業内容については、先行研究及びその分析とともに、受講者であれば、どのように考えていくか問いながら、批判的思考を重視したものであった。従って、受け身の授業態度であった受講者に対しては、常に自分の考えを表現し続けることを求められるため、多少の負担はあったかと考える。しかし、大学院の授業であるのでその程度のことは当然と考えてもらいたい。今後も、考え続ける授業は続けていくようにしたいが、受講者のレディネスが多様であることも、相程度は、検討したい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	36	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	環境と文化	回答者数	3	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	田村 和之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	2	1	0	0	0	4.7
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	2	0	0	0	4.3
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

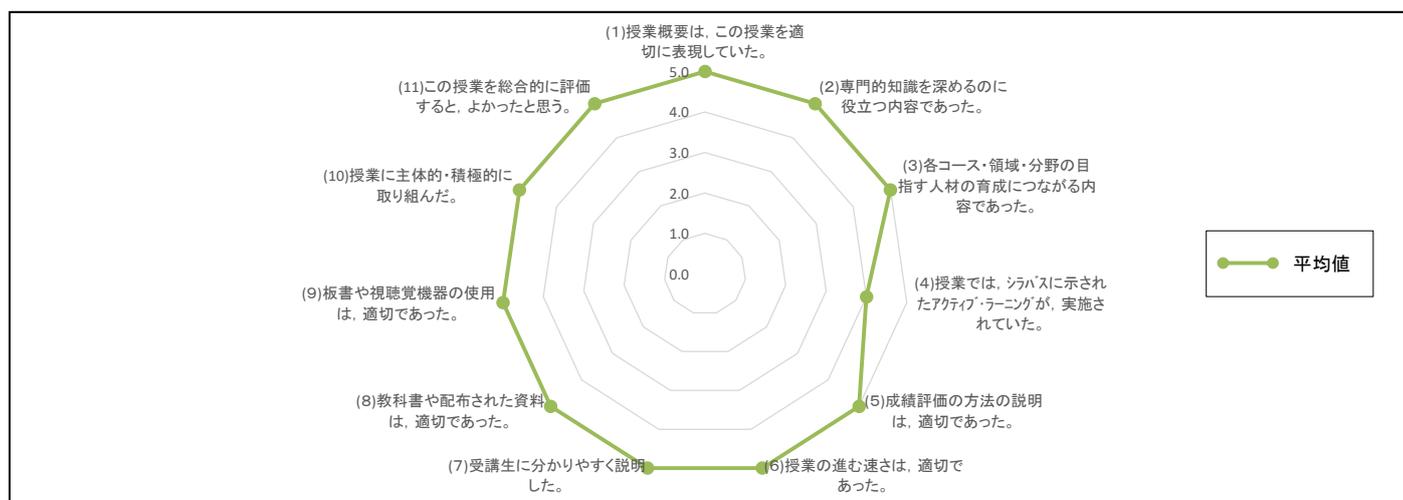
いくつかの項目で4をつけた人がいたが、概ね5の評価をいただいております。総合評価も5.0となっていました。授業の1講義が使用している教科書の1章となっているので、講義時間が長い時や短い時がある。また授業中の質問によっては授業時間である90分を超えてしまう場合もあった。そのような場合でも過去の講義を動画で録画してあるため、moodle上で講義できなかった部分を視聴してもらうことが可能であった。一部の学生からは授業時間で講義を終了してほしかったという意見もあったが、過去の授業では特に時間が足りなくなったこともほとんどなかったため、今回は特別だったと思われる。それ以外では、小テストが復習するのに非常に役立つという意見が複数あり、学生も楽しんで学ぶことができていたようである。来年度はもう少し授業の進め方に注意して時間内に講義を終えるように気をつけたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	37	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	文化とコミュニケーション	回答者数	1	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	金野 誠志, 太田 直也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

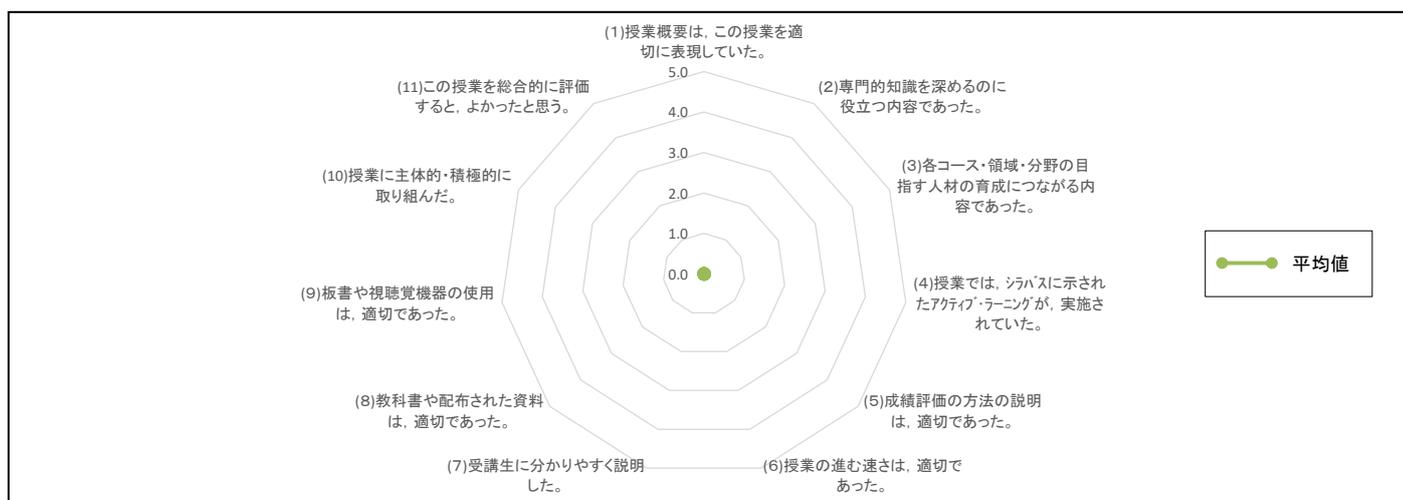
受講者が1名の授業であった。「授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた」という点についてのみ、評価が4であったが、1人の受講者でアクティブラーニングというのは、ある程度制限される。そういうこともあり、やむを得ないことと考える。むしろ、受講者1名でもこの項目に4の評価が下されたこと自体、肯定的に考えていくことには、無理がないと考える。次年度、この授業が開講されるか否かは不明であるが、引き続き、基盤となる事項は継続していきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	38	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	人間と文化 I	回答者数	0	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	金野 誠志, 太田 直也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	0	0	0	0	—
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	0	0	0	0	—
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	0	0	0	0	—
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

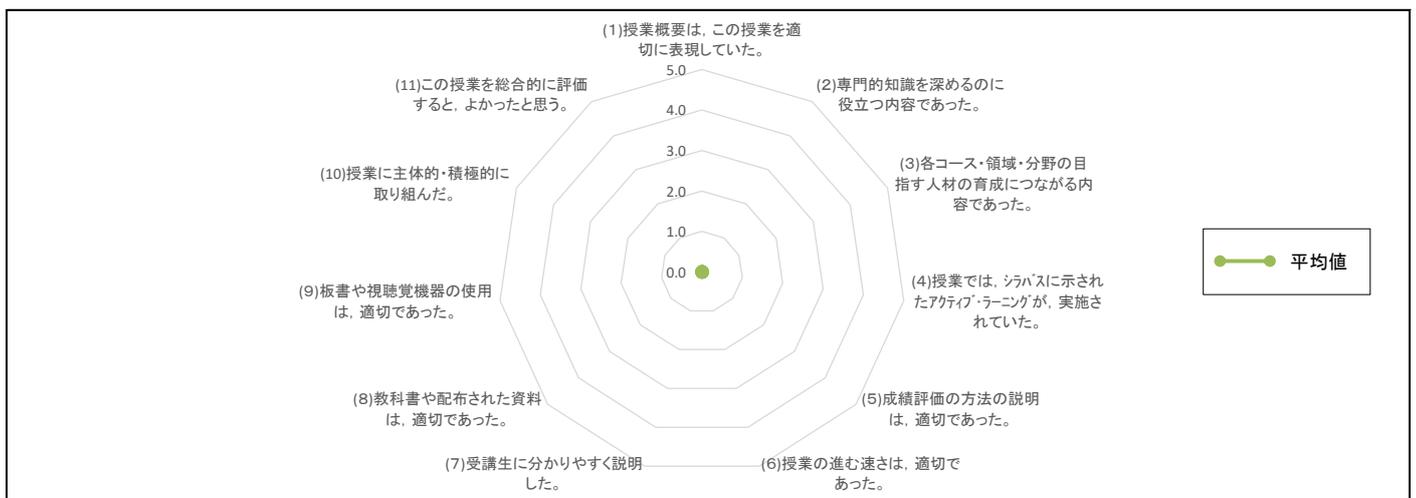
受講者が1名の授業であった。よって、十分な対話を重ねながら、学習者の主体性を活かした授業となったと考える。一方で、最終回での授業評価について、授業内での評価をする時間がとれなかったことが、回答者が0だった要因だと考える。次年度開講する場合、留意しておきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	39	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	人間と文化Ⅱ	回答者数	0	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	太田 直也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	0	0	0	0	—
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	0	0	0	0	—
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	0	0	0	0	—
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

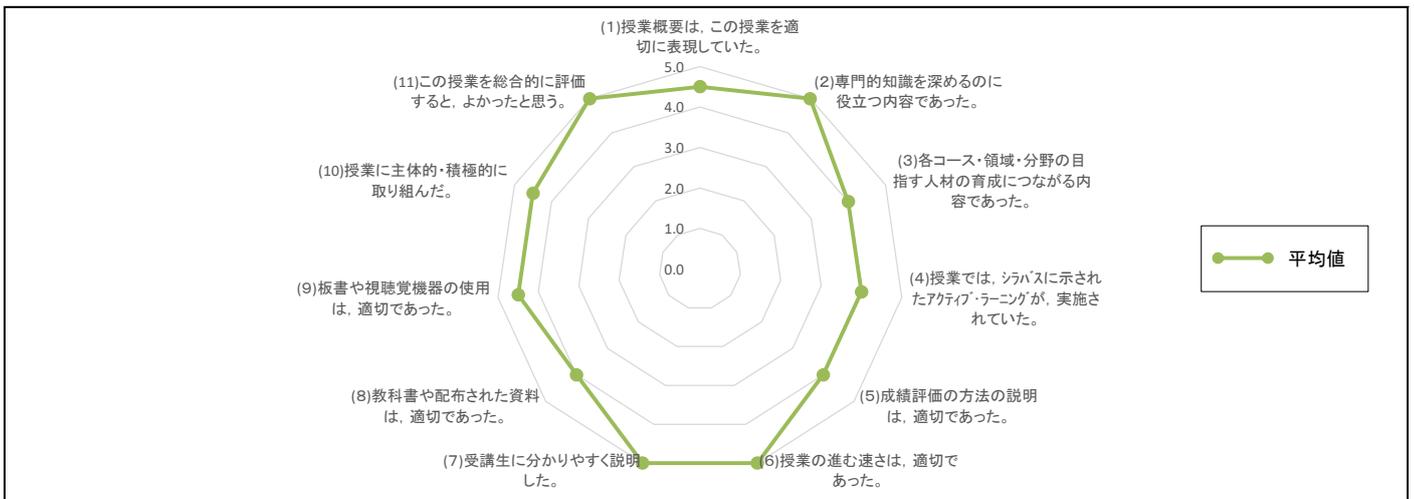
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	40	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	人間と環境 I	回答者数	2	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	田村 和之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	1	0	0	0	4.5
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	2	0	0	0	4.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	2	0	0	0	4.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	2	0	0	0	4.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	2	0	0	0	4.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

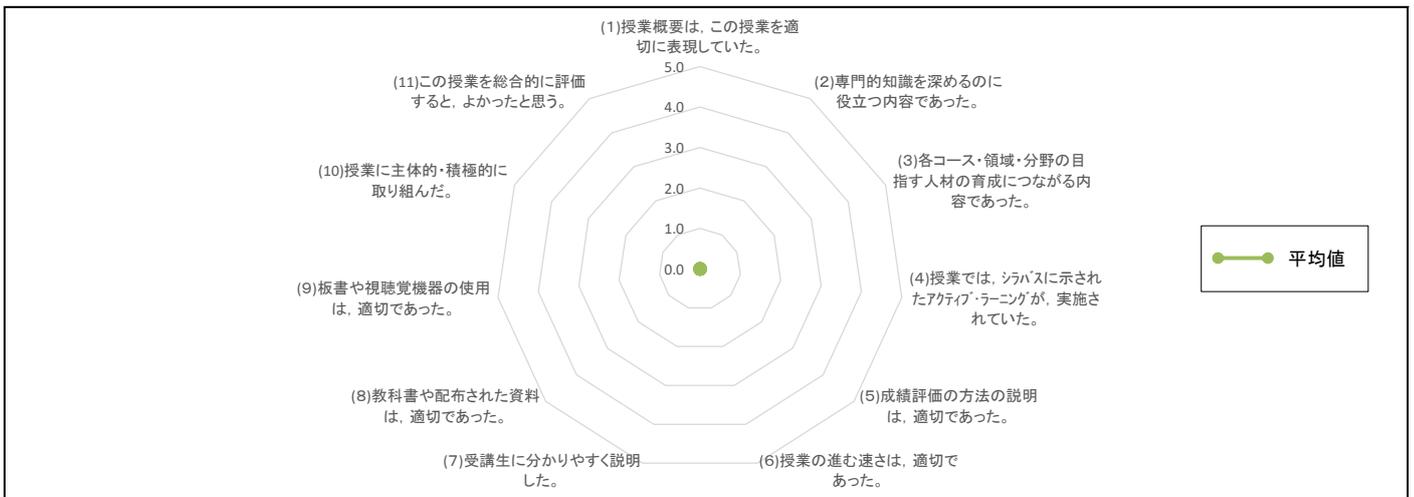
本授業は学生の発表とその後のディスカッションが中心の授業となっている。そのため、授業内容は環境教育・ESDに関係することではあっても、受講者によってその内容が毎年変わってくる。また、受講者も総合コースだけではなく、グローバル教育コースの学生がいるため、授業で扱うテーマの幅が想定より広がってしまう場合もある。ただ、全体としては学生も楽しんで受講しており、発表とディスカッションを繰り返すことで学生自身もパワーポイントによる発表のスキルを徐々に身につけていくことが確認できた。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	41	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	人間とコミュニケーションⅡ	回答者数	0	人	
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	谷村 千絵, 金野 誠志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	0	0	0	0	—
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	0	0	0	0	—
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	0	0	0	0	—
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

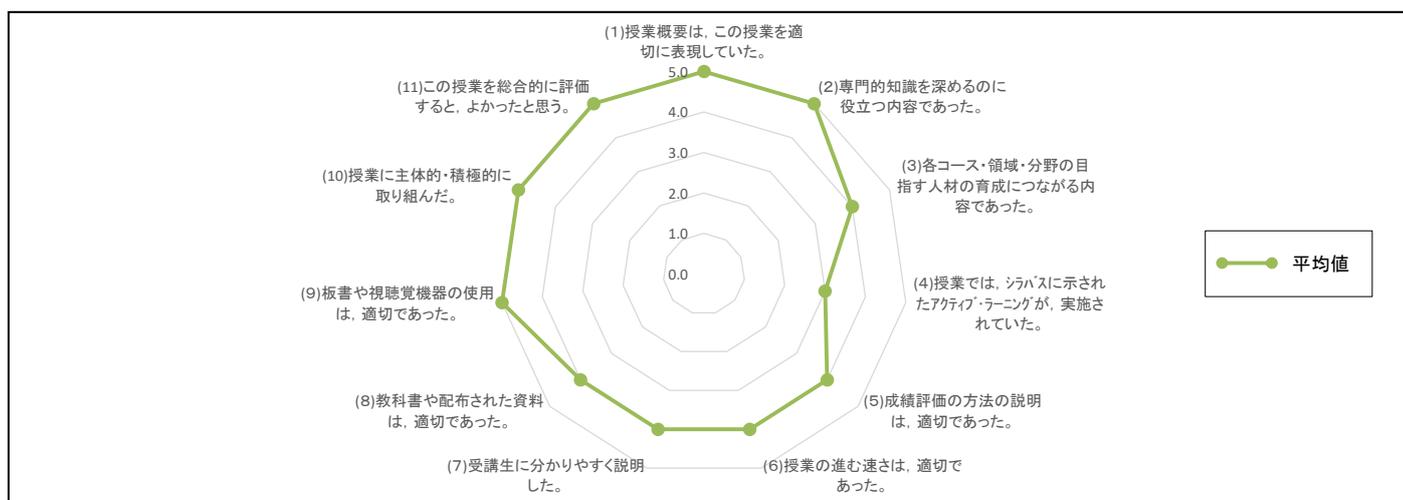
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	42	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	自然科学の世界：進化生物学をモデルとして		回答者数	1	人
コース	現代教育課題総合				
担当教員名	工藤 慎一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	0	1	0	0	3.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	1	0	0	0	4.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

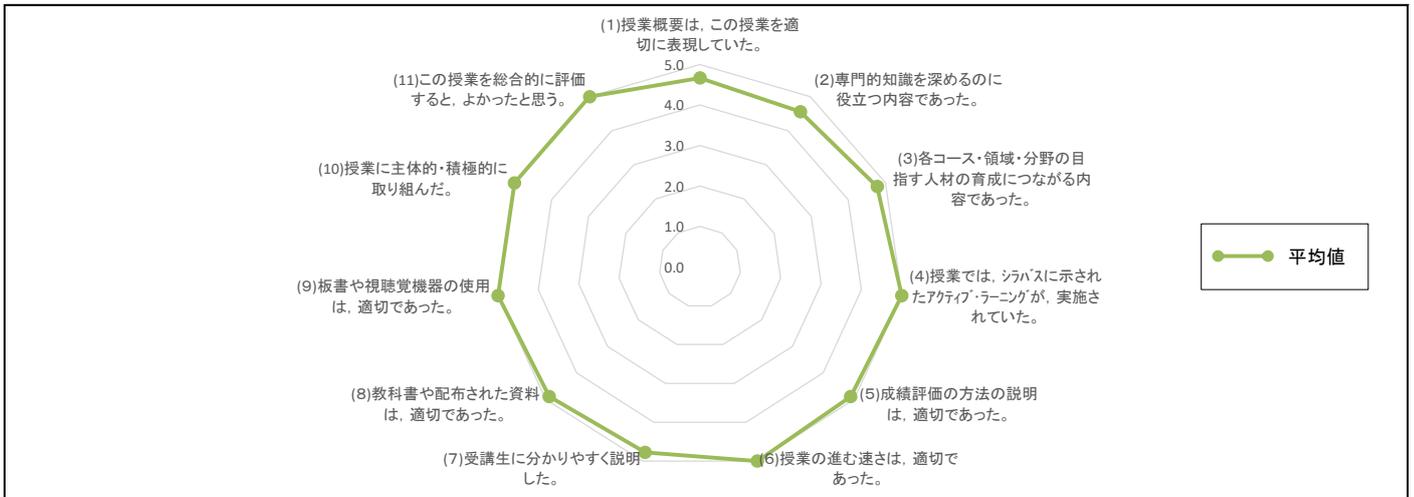
わずか1名の受講者によるアンケート回答だが、回答結果を見る限り特に改善すべき点は見当たらない。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	43	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	国際教育人間論		回答者数	9	人
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	石村 雅雄, 小澤 大成, 石坂 広樹, 日下 智志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	7	1	1	0	0	4.7
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	6	2	1	0	0	4.6
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	7	2	0	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	9	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	8	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	7	2	0	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	8	1	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	9	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

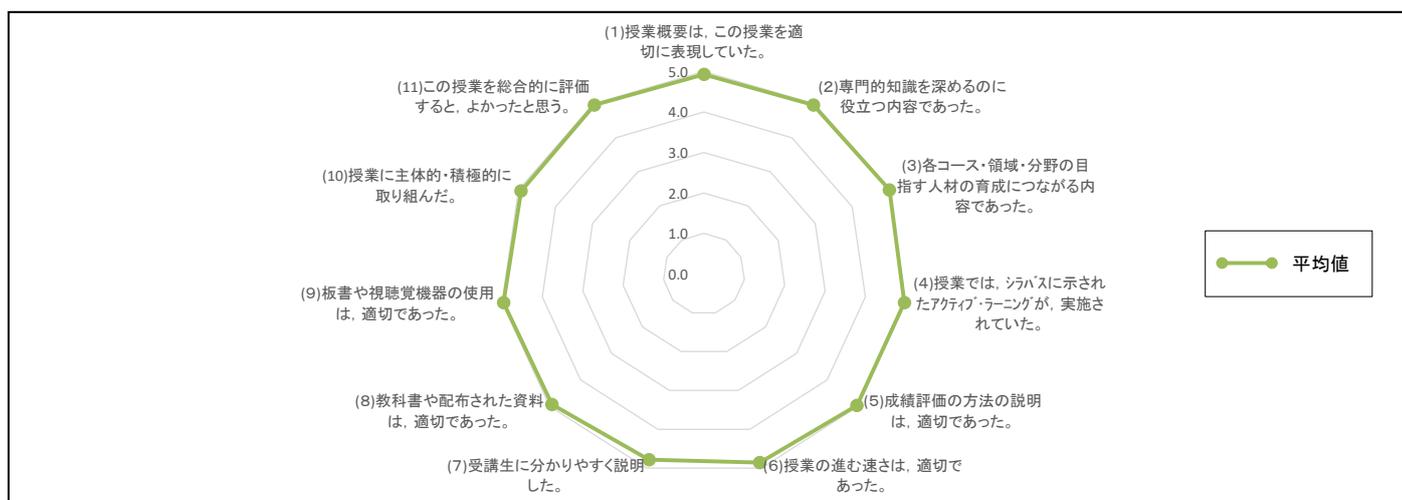
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	44	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	教育研究・調査	回答者数	28	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	石坂 広樹, 小澤 大成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	26	2	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	27	1	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	28	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	27	1	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	27	1	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	24	4	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	23	4	1	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	26	2	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	27	1	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	27	0	1	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	27	1	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

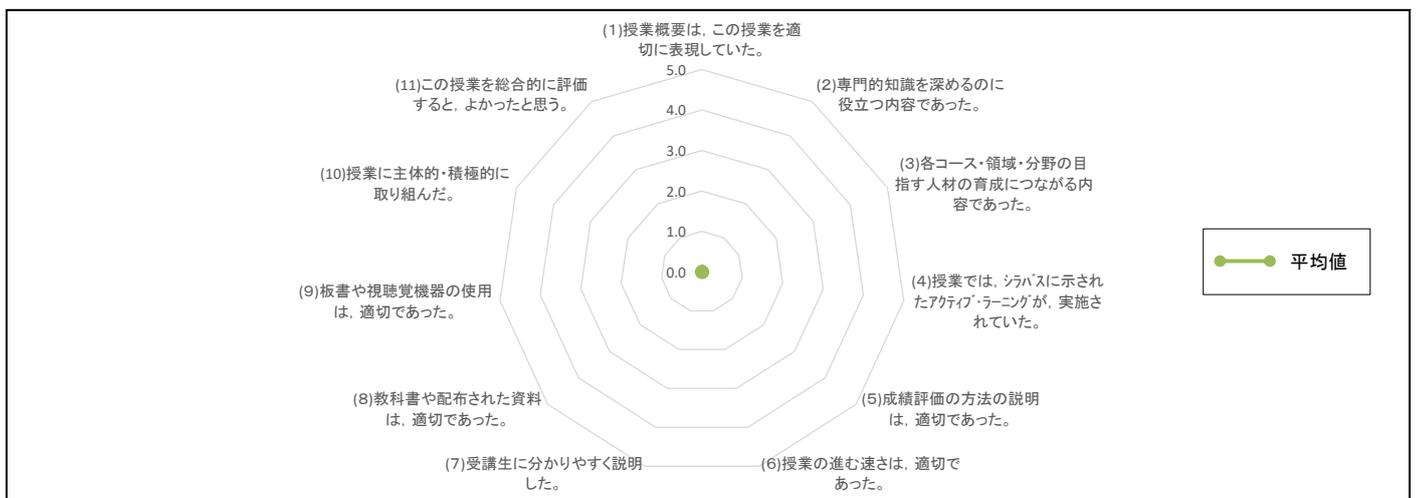
総合評価点が5.0だったことから、学生の満足度が高かったことが確認できた。自由回答のコメントを見ると日本語資料がもっとほしいとの意見があることから、日本語の参考文献などについて授業において積極的に紹介したいと考える。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	45	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	国際教育特論	回答者数	0	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	石村 雅雄, 小澤 大成, 乾 美紀				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	0	0	0	0	—
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	0	0	0	0	—
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	0	0	0	0	—
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

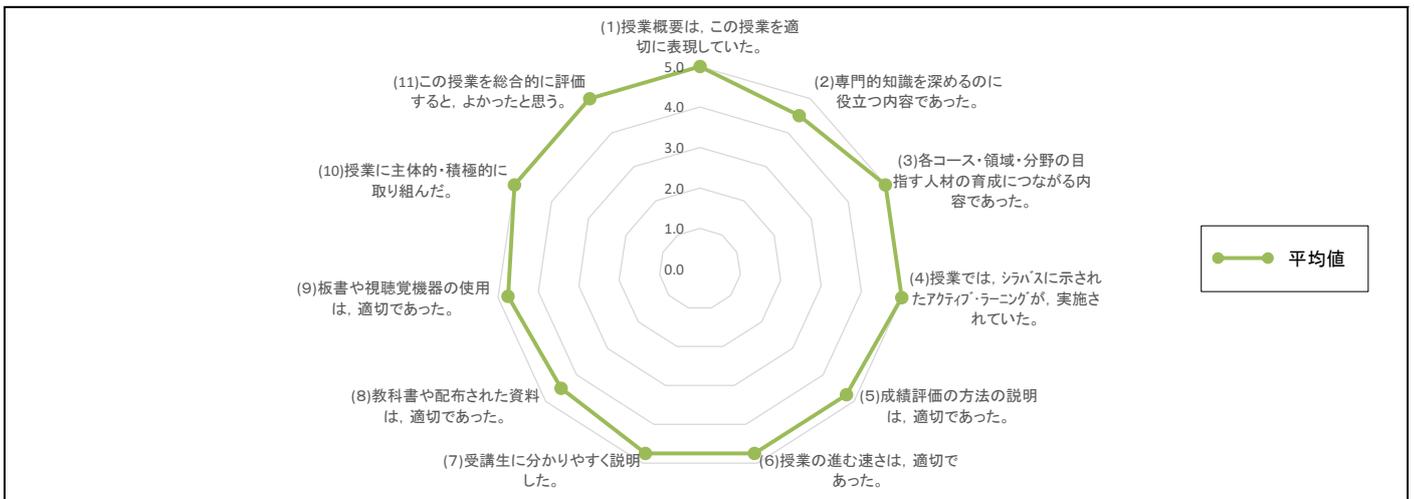
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	46	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	国際教育演習	回答者数	4	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	小澤 大成, 石村 雅雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	2	2	0	0	0	4.5
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	3	1	0	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	2	2	0	0	0	4.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

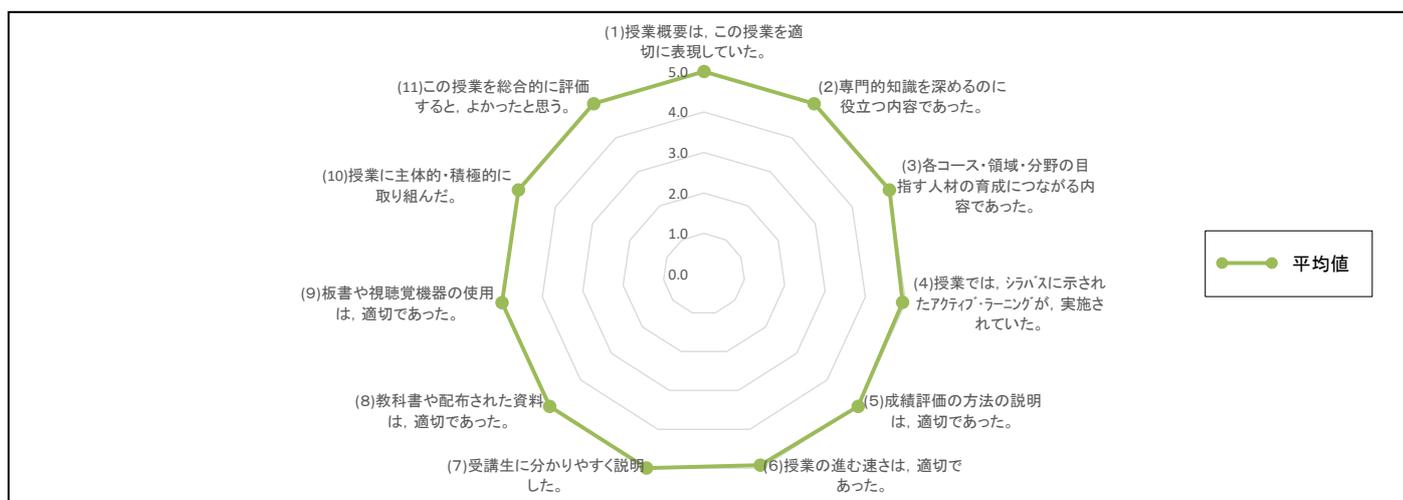
総合評価は5.0であった。この高い評価の要因として「受講者それぞれによる国際理解教育の模擬授業を見ることができ、今後の指導の参考になった。」「模擬授業を通して他の学生のアイデアも学ぶことができたため非常に勉強になった。」など、受講生が主体的に参加する授業で学ぶものも多かったためと考えられる。他方、「1回の授業で2人が模擬授業を行うと、時間が少し足りないように感じた。理想としては、他の学生からコメントや感想など、もう少し聞ける時間があるとさらに深まるのではないかと感じた。」とフィードバックを要望する意見があり、次年度以降に改善していきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	47	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	国際教育協力研究	回答者数	13	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	石坂 広樹, 石村 雅雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	13	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	13	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	13	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	12	1	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	13	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	12	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	13	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	13	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	13	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	13	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	13	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

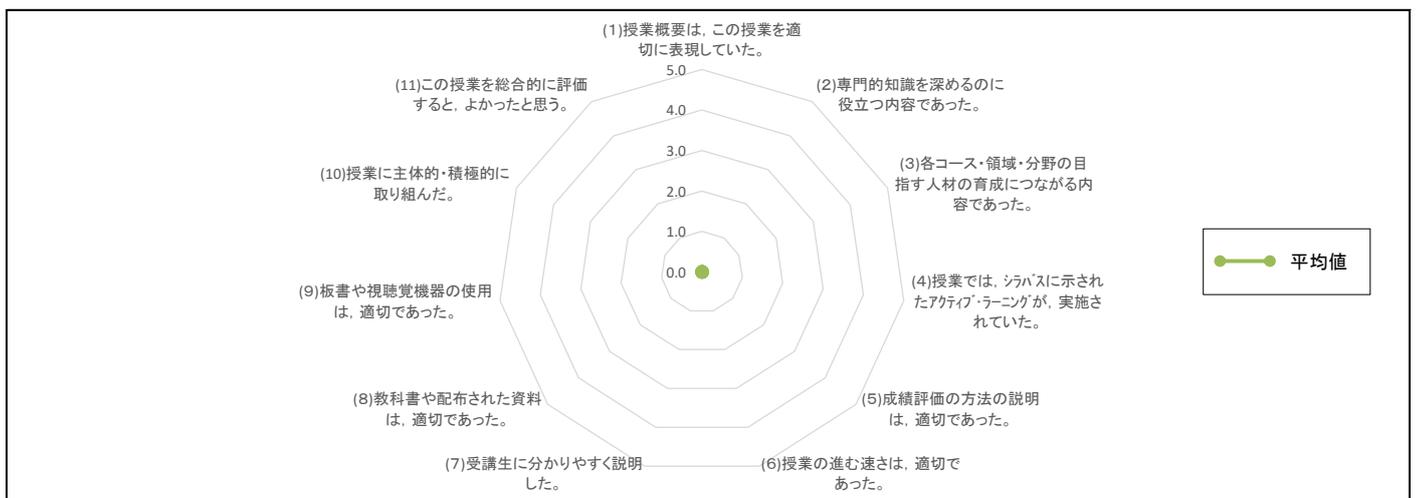
総合評価点が5.0だったことから、学生の満足度が高かったことが確認できた。学生の発表課題に関する解説を改善し、的確な内容が発表内容に含まれるように今後配慮したい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	48	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	国際教育協力特論 I		回答者数	0	人
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	石村 雅雄, 石坂 広樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	0	0	0	0	—
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	0	0	0	0	—
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	0	0	0	0	—
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	0	0	0	0	—
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

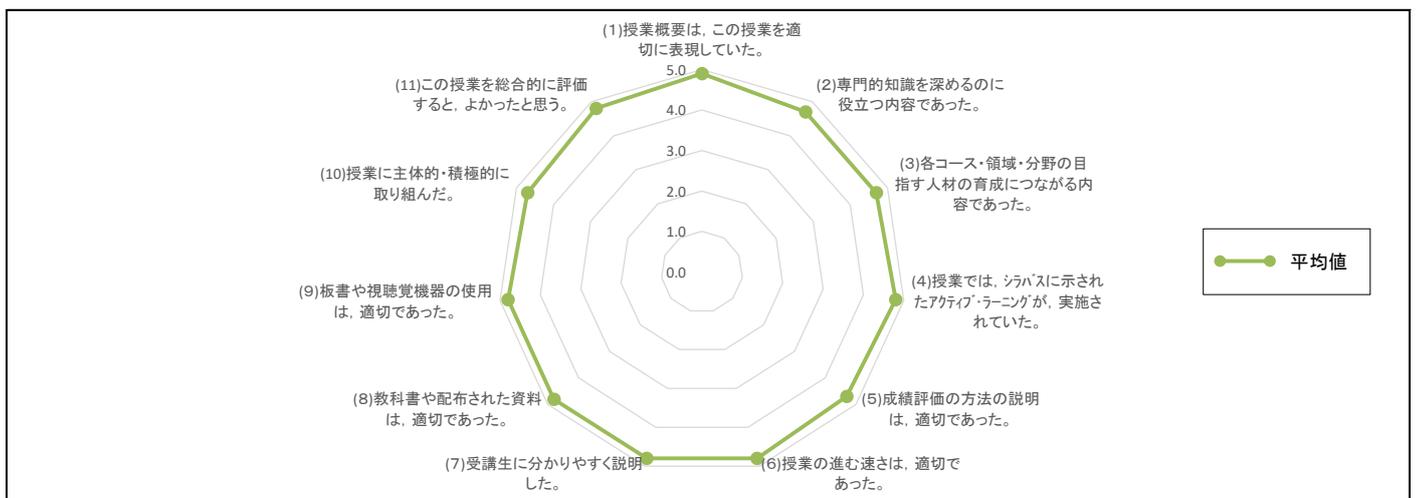
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	49	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	国際教育協力特論Ⅱ	回答者数	10	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	小澤 大成, 石村 雅雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	8	1	1	0	0	4.7
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	8	1	1	0	0	4.7
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	9	0	1	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	8	1	1	0	0	4.7
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	8	2	0	0	0	4.8
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	9	0	1	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	9	0	1	0	0	4.8
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	8	2	0	0	0	4.8
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	8	1	1	0	0	4.7
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	9	0	1	0	0	4.8



<教員のコメント>

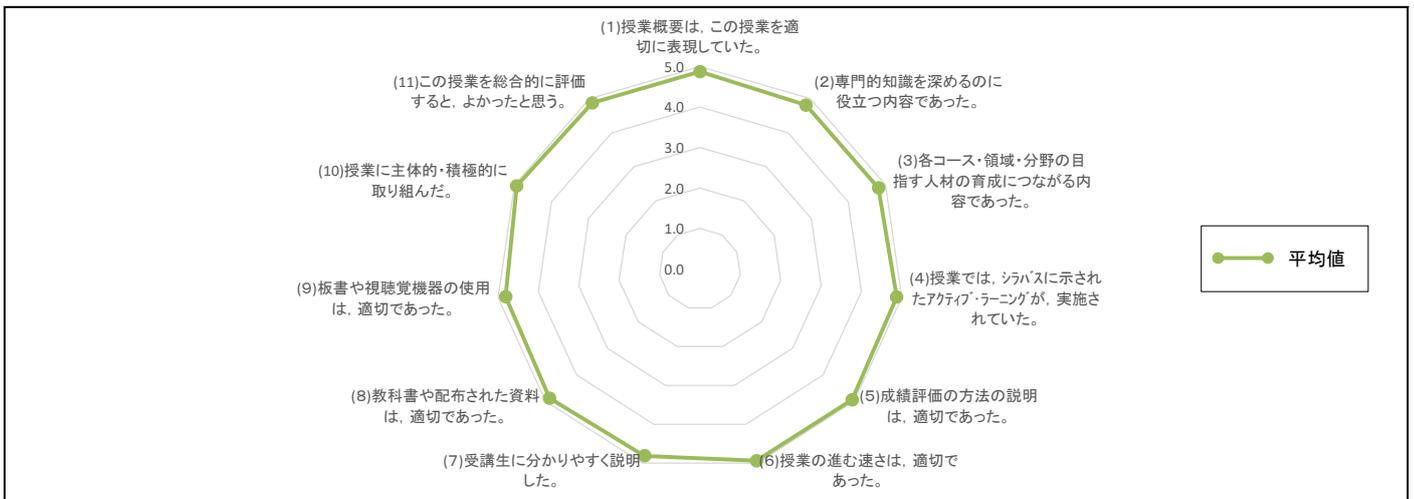
総合評価は4.8であった。この高い評価は「授業研究による授業改善方法を学べた」「グループごとに改善提案に基づく授業を実施したのでそれを比較しより深く学ぶことができた」ことがその要因として考えられる。他方、「自分たちが実施した提案授業について、参加者の助言を踏まえ改善し、再度実施したい」という意見もあり、限られた時間の中で助言に対する反応をどのように可視化するかが今後の課題である。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	50	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	国際教育授業開発	回答者数	16	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	小澤 大成, 石坂 広樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	14	2	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	13	3	0	0	0	4.8
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	13	3	0	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	14	2	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	15	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	15	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	13	3	0	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	14	2	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	13	3	0	0	0	4.8
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	15	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	14	2	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

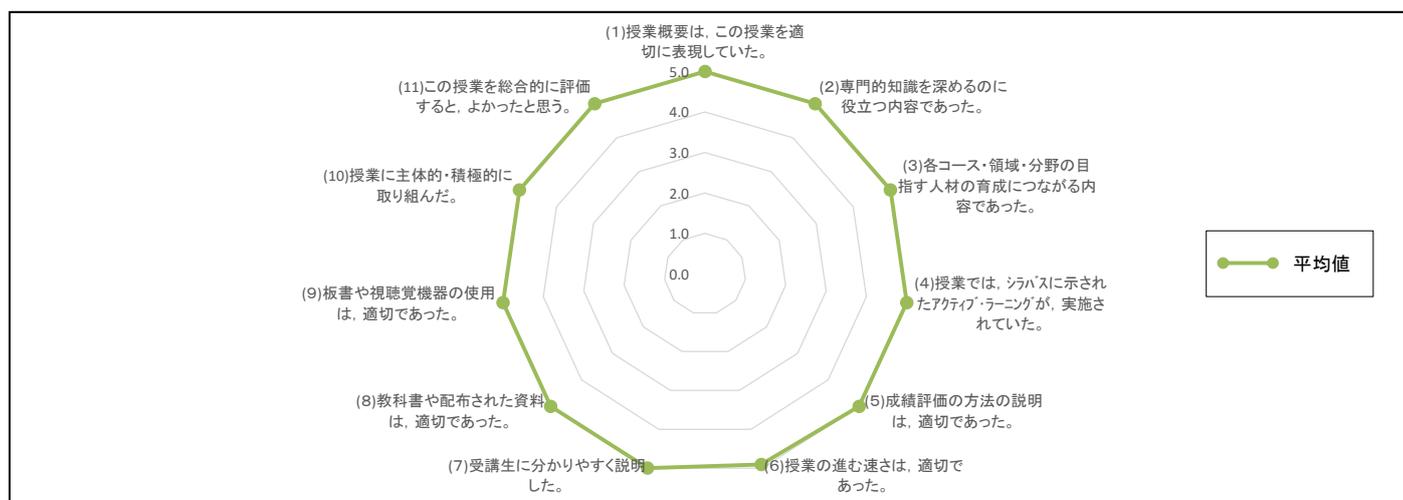
総合評価は4.8であった。この高い評価は、各参加者がそれぞれの国のカリキュラムに基づく授業を計画実施し、それぞれ自国の教育と比較・考察できたことが大きな要因と考えられる。受講生は異なる国の出身者、様々な強化の教員であり、多様な授業に活発に参加することで深い学びができたと考えられる。今後の課題としては、受講生が多く、授業実施に多くの時間を要するため、いかに参加者間の議論を深めるかである。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	51	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	国際教育協力演習	回答者数	11	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	石坂 広樹, 小澤 大成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	11	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	11	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	11	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	11	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

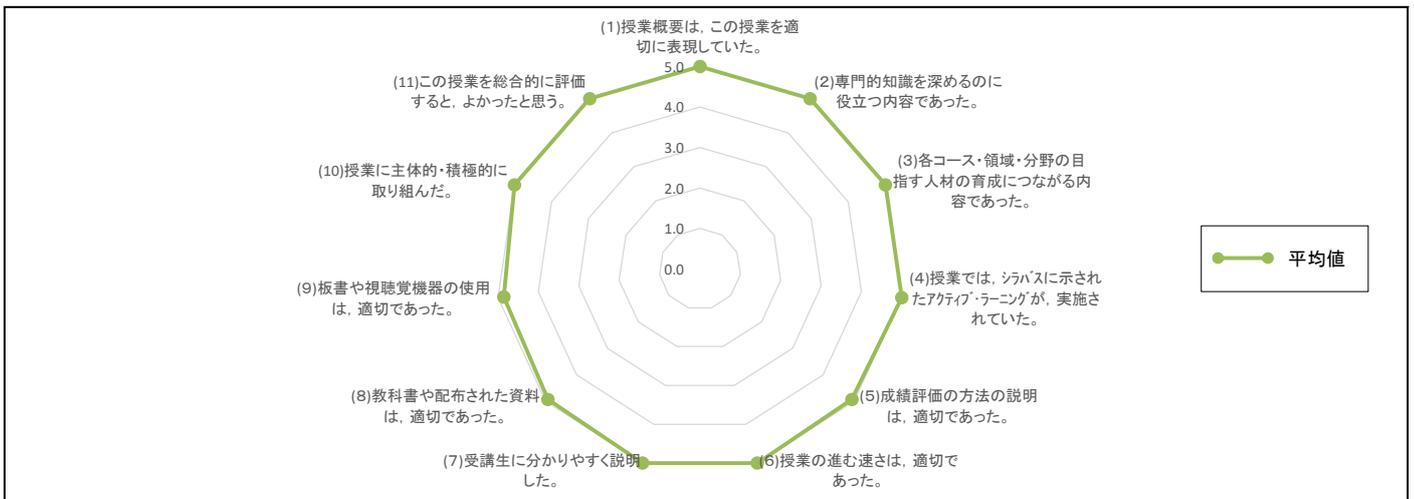
総合評価点が5.0だったことから、学生の満足度が高かったことが確認できた。学生のグループワークの結果をグループ間でお互いに評価・講評できるセッションも設けて議論をより豊かなものになりたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	52	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	国際教育総合セミナー I		回答者数	14	人
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	石村 雅雄, 小澤 大成, 武田 清, 石坂 広樹, 日下 智志, 童 安侑				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	14	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	14	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	14	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	14	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	13	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	14	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	14	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	13	1	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	12	2	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	14	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	14	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

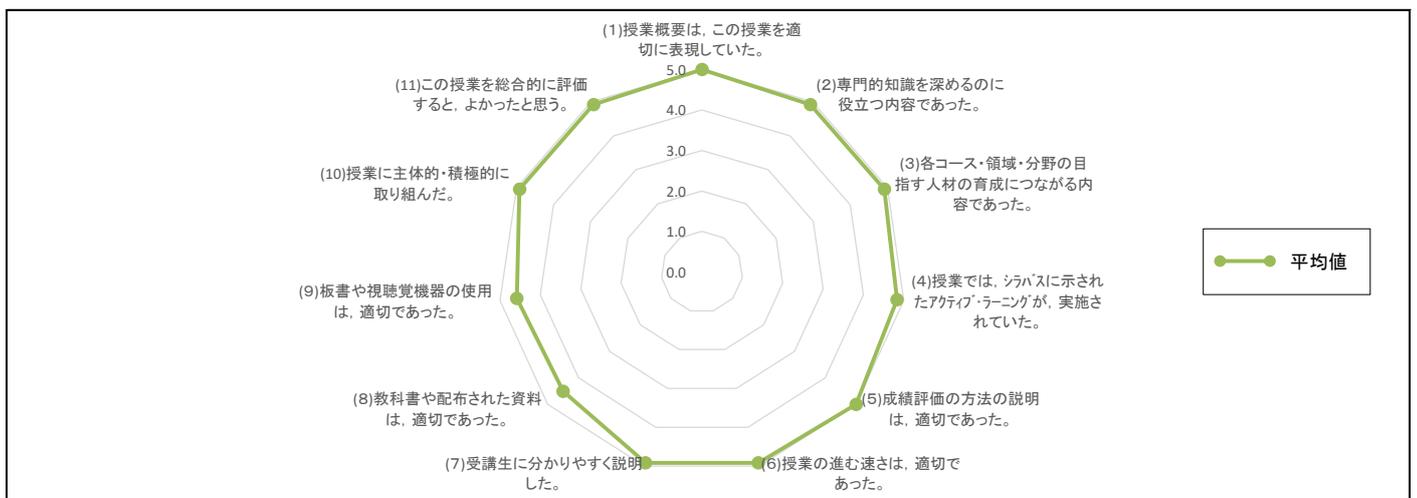
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	53	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	国際教育総合セミナーⅡ	回答者数	12	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	石村 雅雄, 小澤 大成, 武田 清, 石坂 広樹, 日下 智志, 童 安侑				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	12	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	11	1	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	11	1	0	0	0	4.9
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	10	2	0	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	12	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	11	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	11	1	0	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	7	4	1	0	0	4.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	8	3	1	0	0	4.6
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	11	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

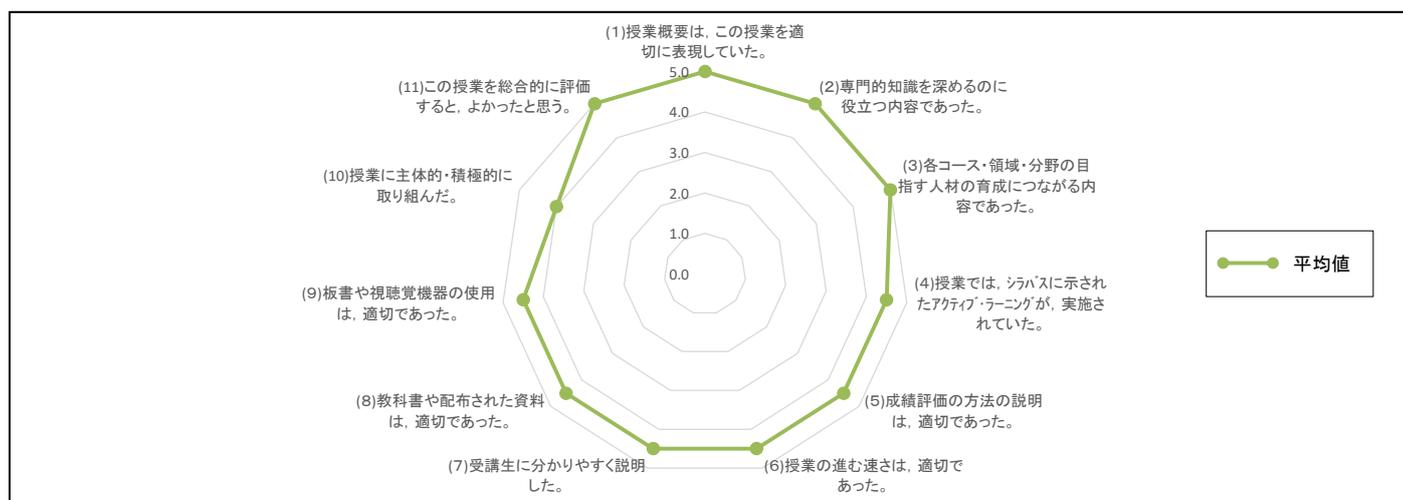
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	54	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	日本型学校教育課程の特徴と展開		回答者数	2	人
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	石村 雅雄, 小澤 大成, 石坂 広樹, 日下 智志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	1	0	0	0	4.5
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	1	0	0	4.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	0	0	0	0	5.0



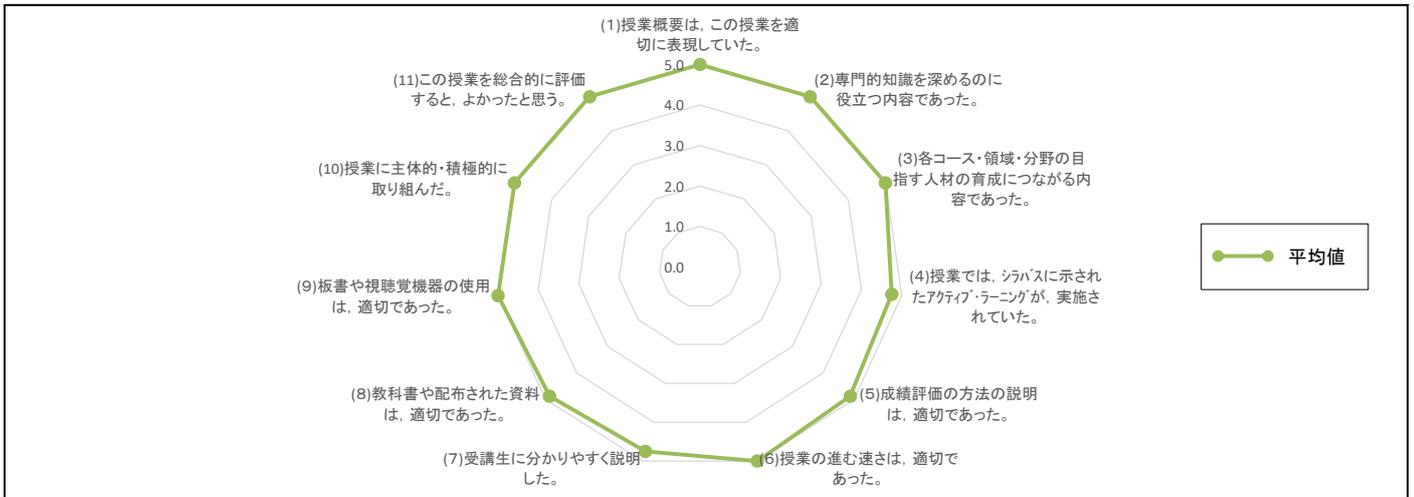
<教員のコメント>

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	55	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	国際教育数学内容論		回答者数	8	人
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	日下 智志, 石坂 広樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	8	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	6	2	0	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	6	2	0	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	8	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

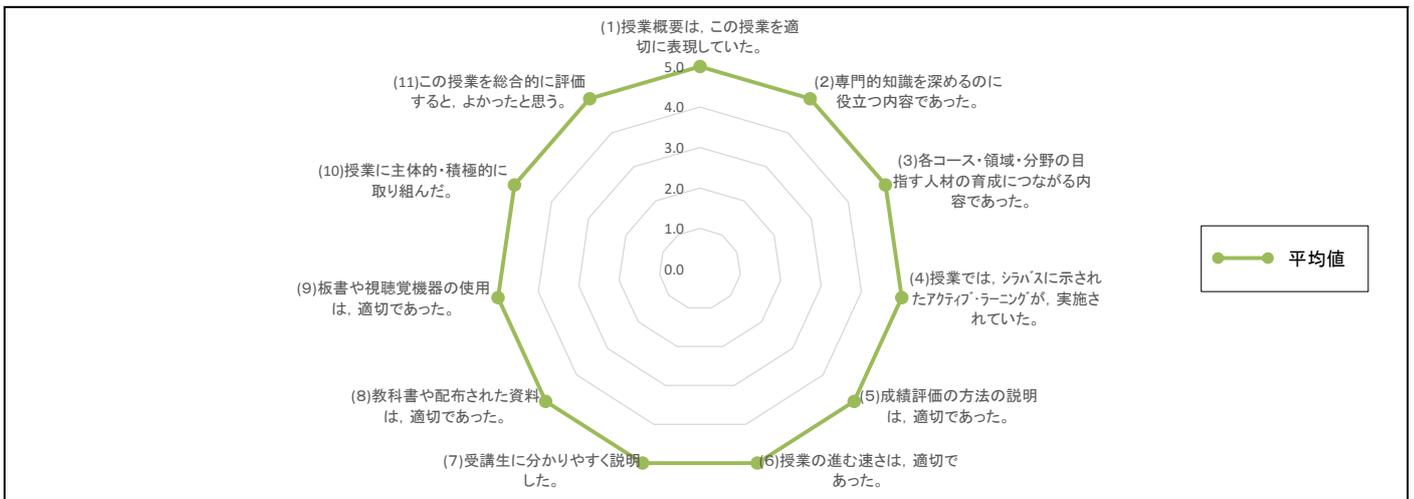
すべての項目において4以上の評価で総合評価も5.0であった。GeoGebraやスクラッチなどこれまでに使ったことのないアプリケーションで理論と実践を学べたというコメントが多くあった。また、ICTを使った実践的な授業であるというコメントもあった。今年度は、GeoGebraとスクラッチで作成した授業教材をYouTubeで公開するという試みを行った。受講者が簡単にアクセスできて自国に戻った後も活用できるという点で有効であるため、来年度も続けていきたい。また、受講者のほとんどが留学生のため、PCの活用能力に関する差が大きい。できる学生とできない学生の差が激しいため、ペアワークやグループワークを活用しながら、その差をできるだけ緩和していくことが来年度の課題である。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	56	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	数学教育協力研究	回答者数	9	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	日下 智志, 石坂 広樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	9	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	9	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	9	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	9	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

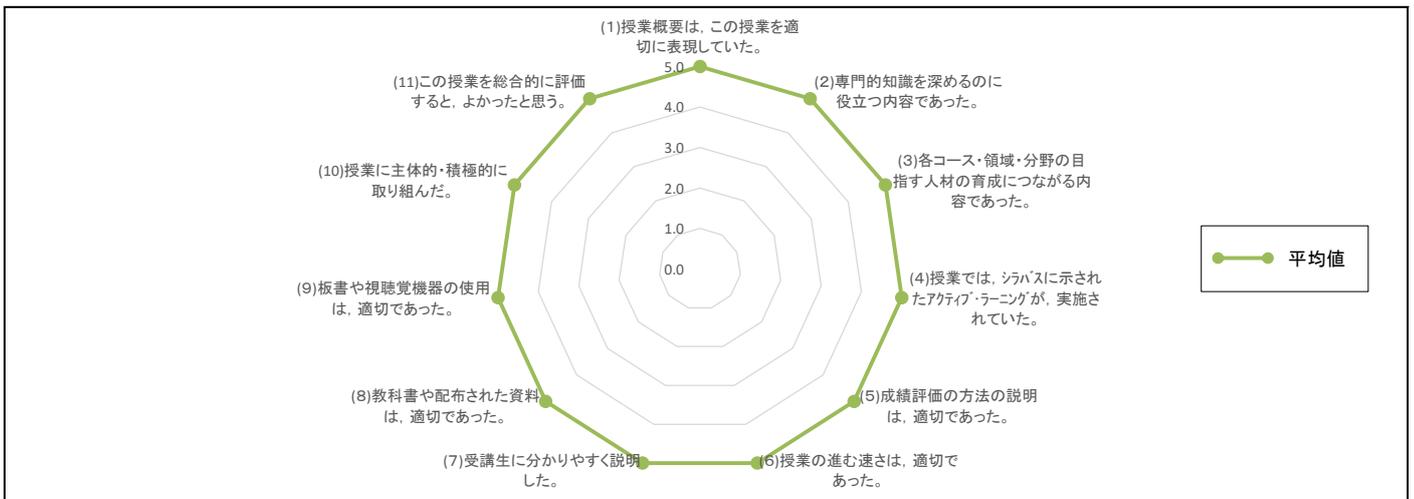
すべての項目において5の評価であった。日本の数学カリキュラムについて学習し、自国のものと比較分析するとうのが主な授業内容であるが、カリキュラムの構成原理や数学教育の目的を深く知ることができたというコメントがあった。また、今回も10か国以上の国の受講者がいたが、それぞれの国の数学カリキュラムを比較して、相対的に分析することができるという点を評価している学生もいた。来年度も今年度と同様の形式で進めていきたいと考えている。ロイロノートなどのICTを授業に活用して、授業をさらに発展させていきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	57	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	数学教育協力授業研究	回答者数	8	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	日下 智志, 坂井 武司				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	8	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	8	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	8	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	8	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

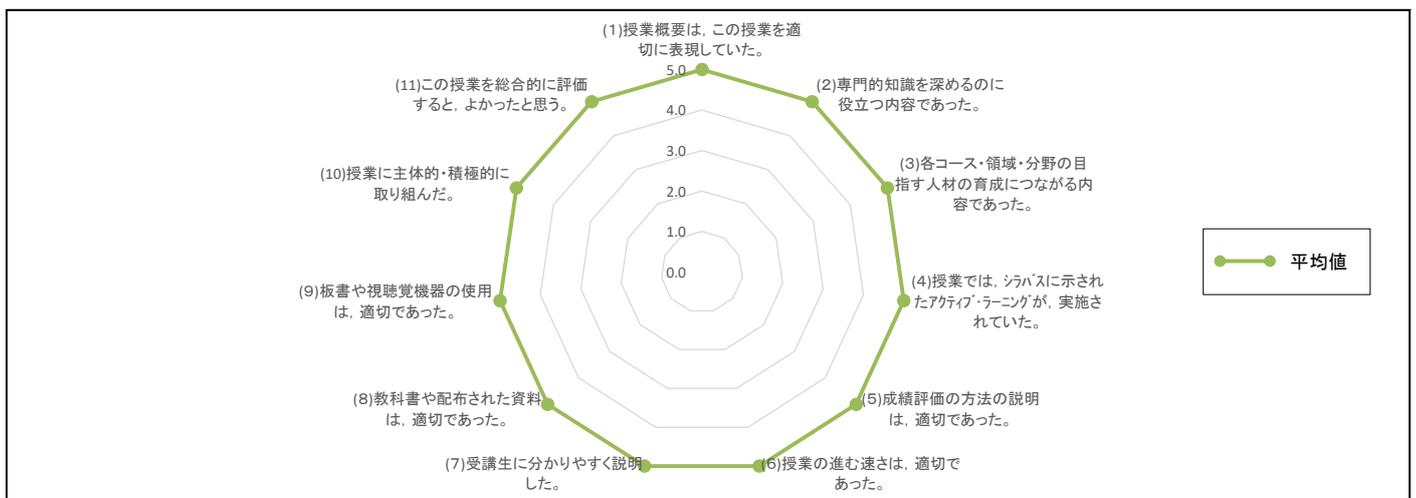
すべての項目において5の評価であった。日本の数学授業の特徴や授業研究について学習し、実際にどのような観点で授業を観察するかについて、それぞれが授業観察シートを作成した。その活動を通して、授業を見る視点を国籍が違う他の参加者と共有できたことが参加者にとってとても勉強になったようである。来年度も同様の形式で実施しようと考えている。来年度は作成した授業観察シートを使ってお互いの授業を観察しあう活動も含めていきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	58	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	数学教育協力教材開発研究	回答者数	7	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	日下 智志, 赤井 秀行				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	7	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	7	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	7	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	7	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	7	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	7	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	7	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

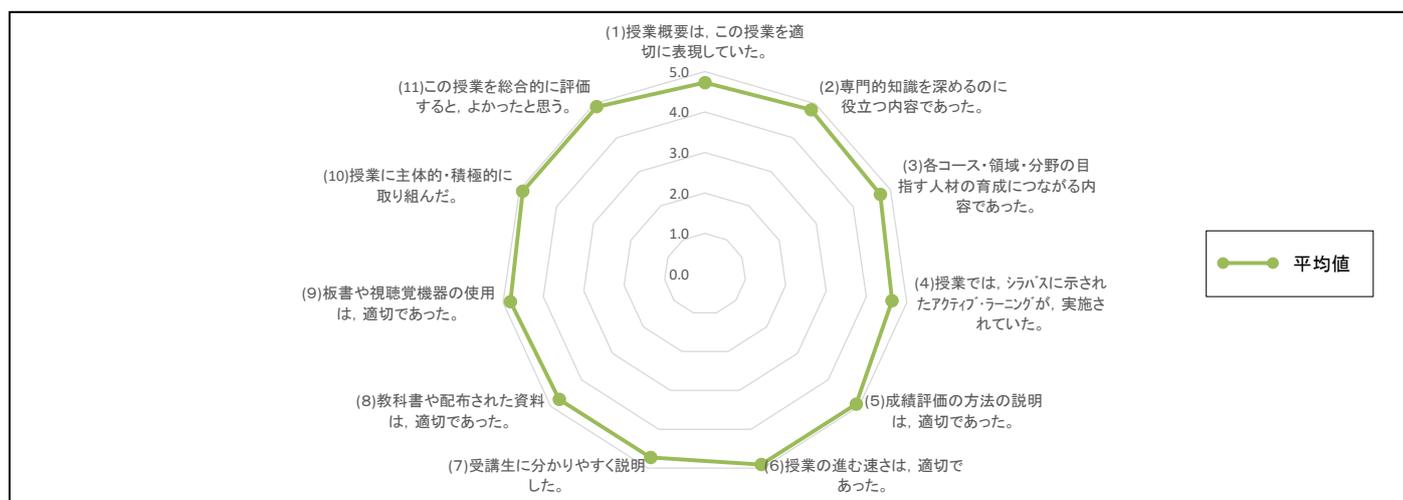
すべての項目において5の評価であった。数学の領域ごとに教材開発の原理を説明し、具体的な教材を作成した。教材開発の視点について深く学べたというコメントが多くあった。また、数学の授業における教材の重要性について深めることができたというコメントもあった。8時間をご担当いただいた赤井先生の授業の内容に対する感謝のコメントも多くあった。来年度も同様の形式で授業を続けるが、ICTを活用した教材作成や、参加者の国で実際に活用することを想定した議論ができるよう改善していきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	59	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	国際教育理科内容論	回答者数	11	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	武田 清, 寺島 幸生				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	9	1	1	0	0	4.7
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	10	0	1	0	0	4.8
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	9	1	1	0	0	4.7
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	8	2	1	0	0	4.6
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	10	0	0	1	0	4.7
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	10	0	0	1	0	4.7
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	10	0	1	0	0	4.8
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	10	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

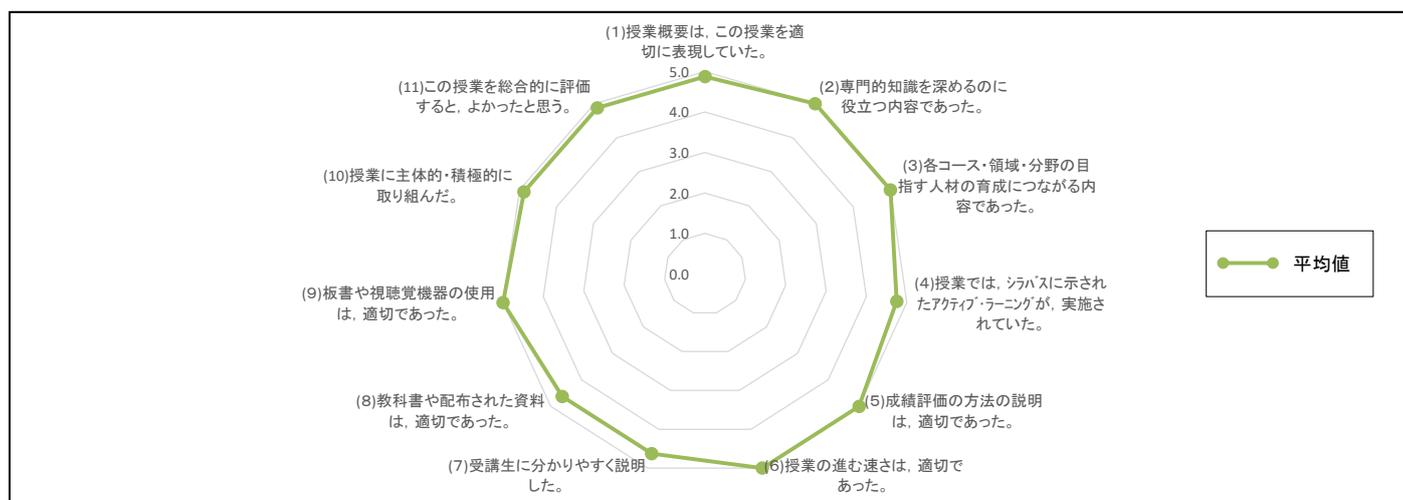
The textbook may be a little bit advanced because it is introduction to college chemistry. Because the class aims to make lessons dealing with the newly acquired knowledge. So required some knowledge about high school chemistry which is still too far for some attendants. I would consider to change the text for the next academic year.

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	60	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	理科教育協力研究	回答者数	8	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	寺島 幸生, 武田 清				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	7	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	7	0	1	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	7	0	0	1	0	4.6
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	7	0	0	1	0	4.6
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	7	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

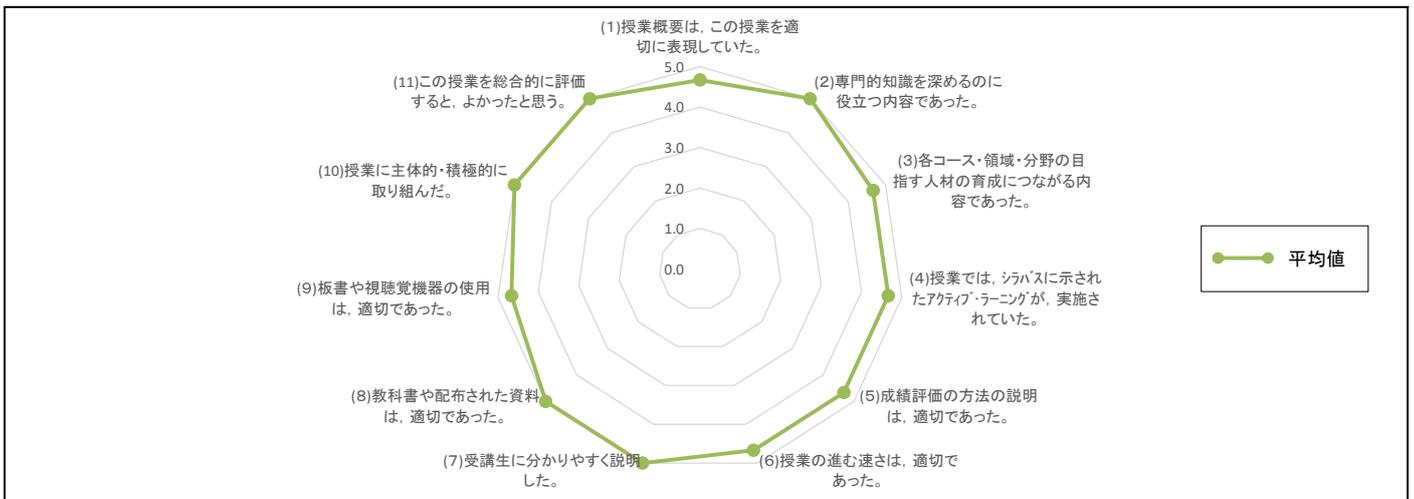
(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。(6)授業の進む速さは、適切であった。(7)受講生に分かりやすく説明した。(8)教科書や配布された資料は、適切であった。(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。の各項目において、平均値4.6以上の高評価が得られた。実際に、受講生は高い目的意識と学修意欲を示しながら、授業に主体的に参加することができていた。また、授業前後の予習復習にも意欲的に取り組み、授業の課題として提出されたプレゼンテーションやレポートは総じて質の高いものであった。模擬授業やプレゼンテーションなどの学習者主体の学修活動を取り入れたことが高い授業評価の要因として考えられる。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	61	評価実施日	令和4年12月1日		
授業科目名	理科教育協力授業研究		回答者数	3	人
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	寺島 幸生, 武田 清				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	2	1	0	0	0	4.7
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

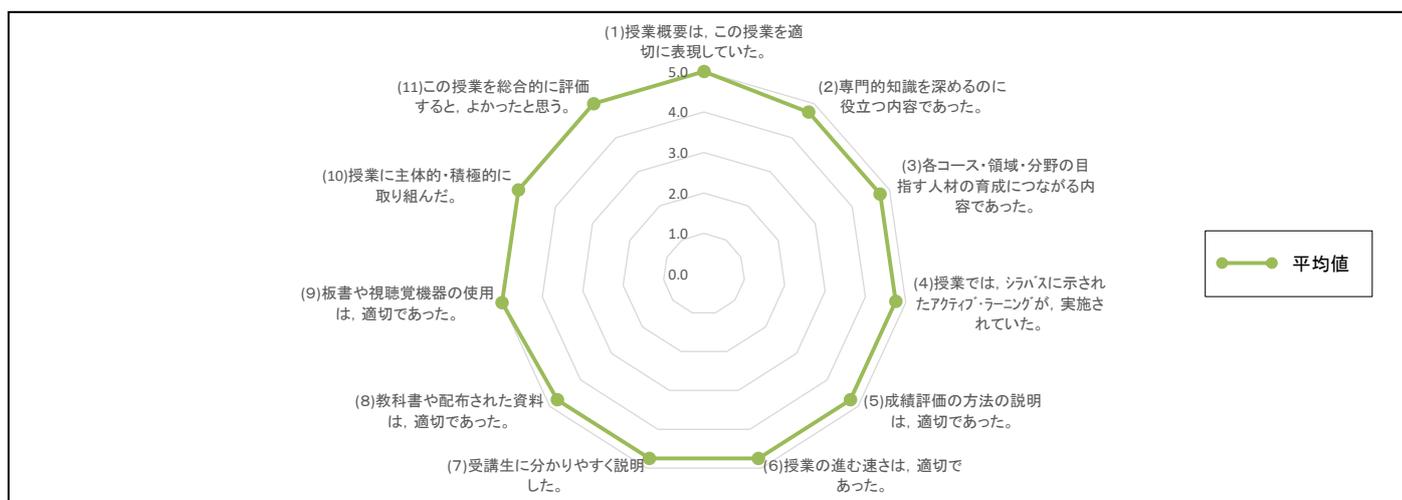
(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。(6)授業の進む速さは、適切であった。(7)受講生に分かりやすく説明した。(8)教科書や配布された資料は、適切であった。(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。の各項目において、平均値4.7以上の高評価が得られた。実際に、受講生は高い目的意識と学修意欲を示しながら、授業に主体的に参加することができていた。また、授業時間外にも意欲的に学修に取り組み、授業の課題として授業実践や最終レポートは総じて質の高いものであった。授業実践を含む学習者主体の学修活動を取り入れたことが高い授業評価の要因として考えられる。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	62	評価実施日	令和4年11月25日		
授業科目名	理科教育協力教材開発研究	回答者数	4	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	武田 清, 寺島 幸生				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	3	1	0	0	0	4.8
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	3	1	0	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

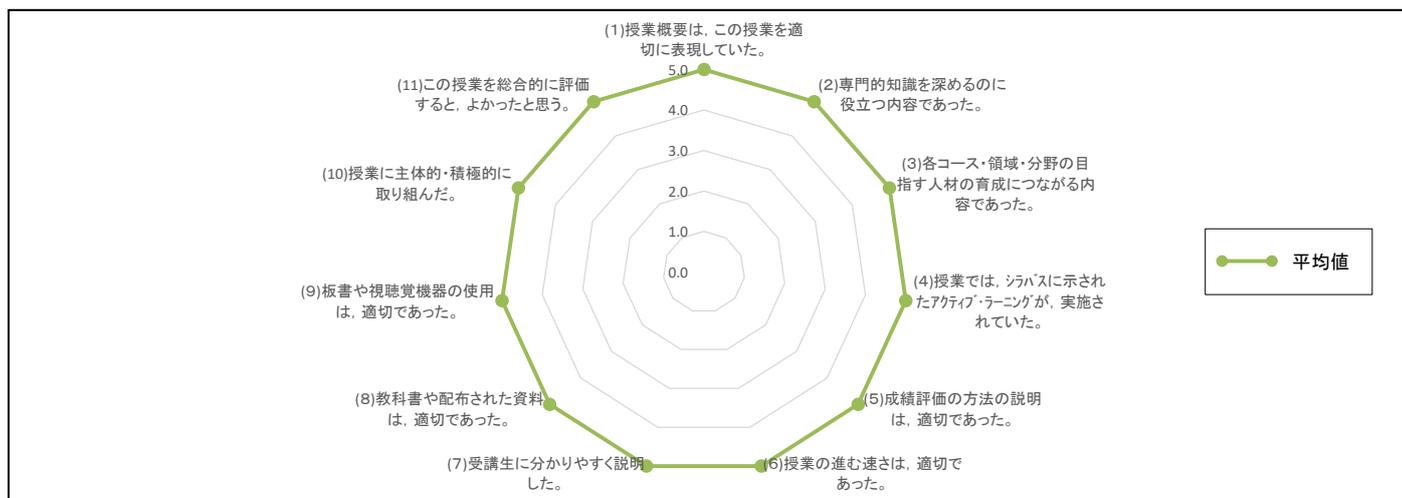
The comments are mostly positive. One is about the lesson study was not enough for carry on the practical lesson. It is serious for us to find time of the extra lessons. This has to be the next challenge of us.

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	63	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	地球環境	回答者数	1	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	田村 和之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

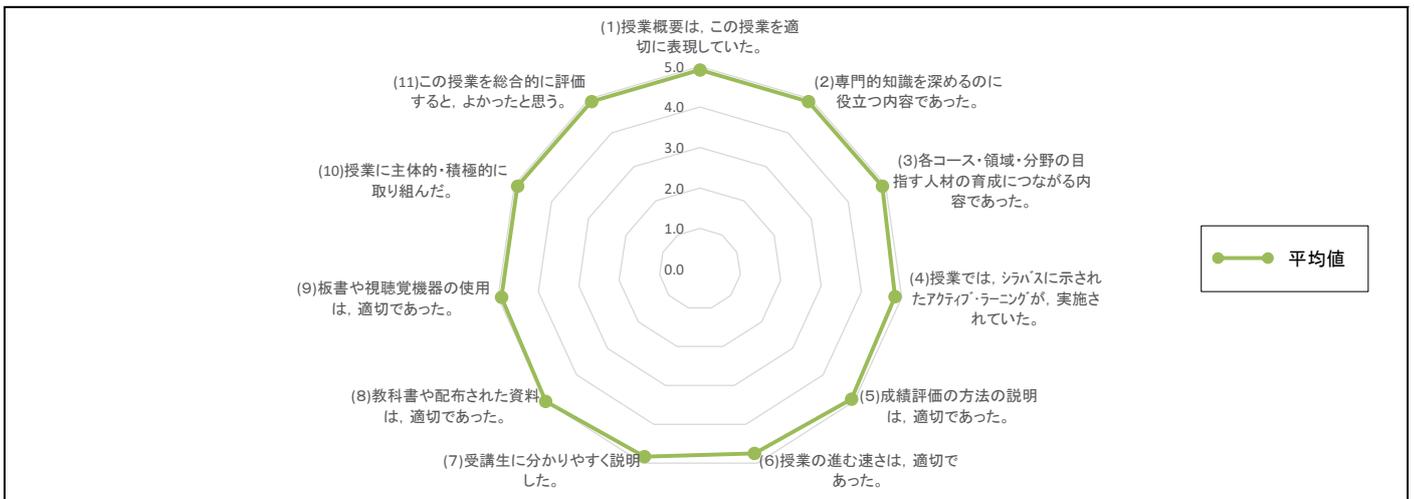
本授業は上の『環境と文化（旧カリキュラム）』の新カリキュラムの名称であり、同じ時間に同じ教室で行なっている。（そのため、同じコメントを以下に記入する。）
 いくつかの項目で4をつけた人がいたが、概ね5の評価をいただけており、総合評価も5.0となっていた。
 授業の1講義が使用している教科書の1章となっているので、講義時間が長い時や短い時がある。また授業中の質問によっては授業時間である90分を超えてしまう場合もあった。そのような場合でも過去の講義を動画で録画してあるため、moodle上で講義できなかった部分を視聴してもらうことが可能であった。一部の学生からは授業時間で講義を終了してほしかったという意見もあったが、過去の授業では特に時間が足りなくなったこともほとんどなかったので、今回は特別だったと思われる。
 それ以外では、小テストが復習するのに非常に役立ったという意見が複数あり、学生も楽しんで学ぶことができていたようである。
 来年度はもう少し授業の進め方に注意して時間内に講義を終えるように気をつけたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	64	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	日本語文法研究	回答者数	12	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	田中 大輝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	11	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	11	1	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	11	1	0	0	0	4.9
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	10	2	0	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	11	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	10	1	1	0	0	4.8
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	10	2	0	0	0	4.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	12	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	11	1	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	11	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

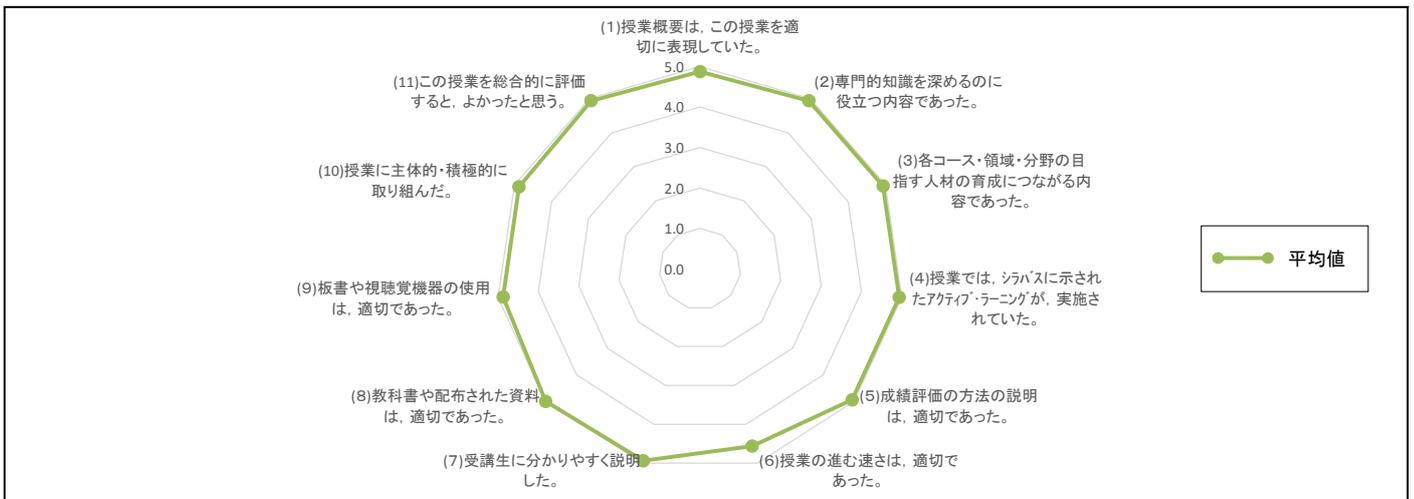
本授業では、日本語文法のうち、特に、日本語教師としての基礎的事項、および、日本語学習者が誤りやすい項目について理解を深めることで、日本語学習者に対して適切な文法指導ができるようになることを目標とした。授業評価アンケートの自由記述の項目では、「授業をただ受けるだけではなく、毎回授業の初めに前回のコメントカードへの先生からのコメントがあり非常にためになった。また、グループで調査を行い発表するのも非常に良い経験になった」、「一番印象に残っているのは先生が授業のたびに私達にたくさんの資料を用意して参考させてくれることです。」など、授業の方法を高く評価する声が多く見られた。一方で、「もう少し授業のスピードが早くてよかった。」など、授業の進め方に関して検討を求める声も出ていた。今後に向けて改善に取り組みたい。(注：引用部は原文ママである。)

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	65	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	日本語音声表現研究	回答者数	16	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	田中 大輝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	14	2	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	15	1	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	15	1	0	0	0	4.9
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	15	1	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	15	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	11	3	2	0	0	4.6
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	15	1	0	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	16	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	15	0	1	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	14	2	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	15	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

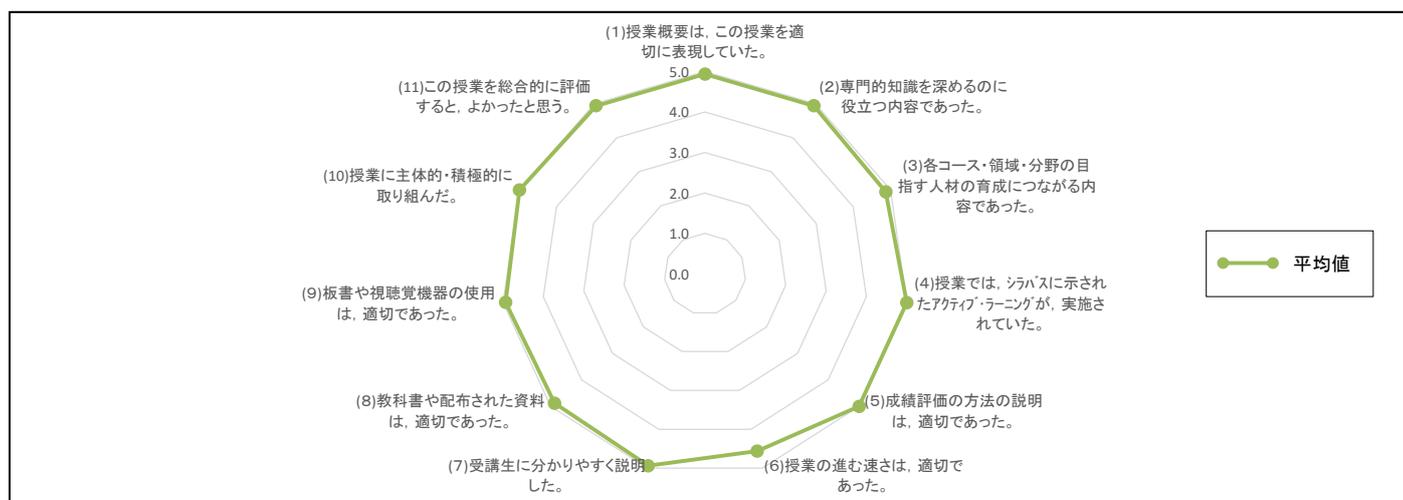
本授業では、日本語音声のうち、特に、日本語教師としての基礎的事項、および、日本語学習者が誤りやすい項目について理解を深めることで、日本語学習者に対して適切な音声指導ができるようになることを目標とした。授業評価アンケートの自由記述の項目では、「学習者に対する細かな配慮を感じられ、学習者としての立場だけでなく授業者としても学ぶことが多かった。」、「小テストでこまめに知識の定着を確認できた。」など、担当教員の授業者としての姿勢や受講者の理解を促すための工夫を高く評価する声が多く見られた。一方で、「人数が多く、教室の後ろまで人が埋まる時に前のスライドの文字が見にくい時があった。」、「部屋が少し暗すぎる時がある。」など、資料の提示の仕方や学習環境について不自由を感じていたという声も出ていた。今後に向けて改善に取り組みたい。(注：引用部は原文ママである。)

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	66	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	日本語語彙論	回答者数	16	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	田中 大輝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	15	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	15	1	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	14	2	0	0	0	4.9
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	16	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	16	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	10	5	1	0	0	4.6
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	15	1	0	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	15	0	1	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	15	1	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	16	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	15	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

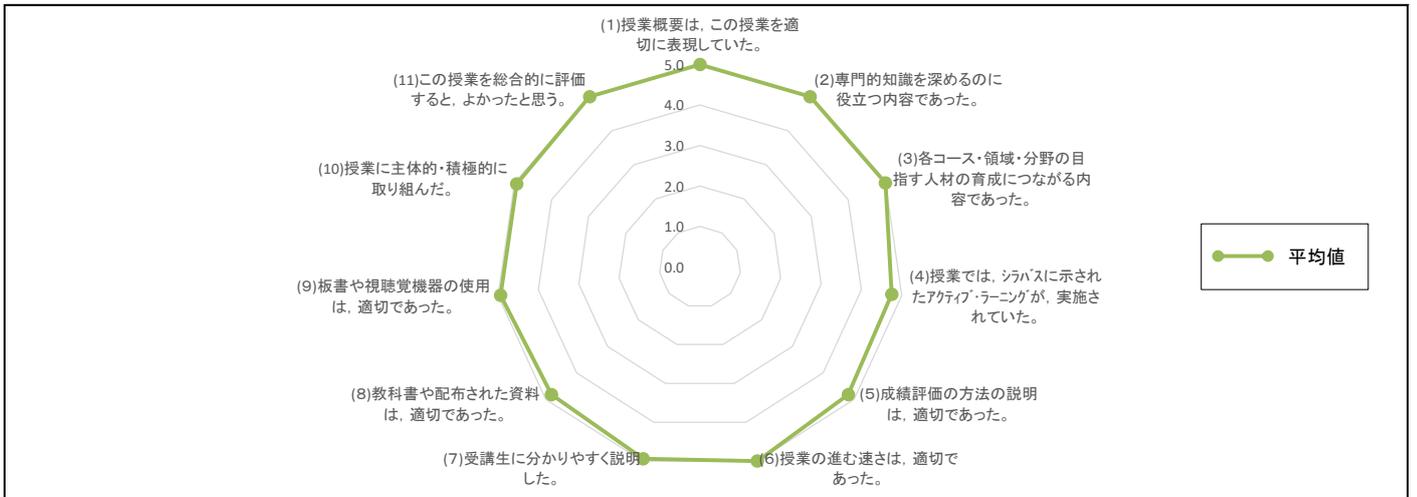
本授業では、日本語語彙のうち、特に、日本語教師としての基礎的事項、および、日本語学習者が誤りやすい項目について理解を深めることで、日本語学習者に対して適切な語彙指導ができるようになることを目標とした。授業評価アンケートの自由記述の項目では、「専門知識だけではなく、プレゼンテーションやチームワークなどいろいろを勉強して、ためになったと思う。」、「グループワークがあり、メンバーと交流しながら意見を深めることができる。」など、グループでのディスカッションを豊富に取り入れたことを高く評価する声が多く見られた。一方で、「グループによって1人への負担がとて大きくなる傾向にある」、「…や授業時のグループワークは大変よかったが、その時間をもう少し減らして、「語の意味」を習いたかった気がする。」など、グループ活動については改善を求める声も出ていた。今後に向けて検討したい。(注：引用部は原文ママである。)

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	67	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	社会言語学研究	回答者数	16	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	永田 良太				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	16	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	16	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	16	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	13	2	1	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	14	1	1	0	0	4.8
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	16	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	15	1	0	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	14	1	1	0	0	4.8
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	15	1	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	15	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	16	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

本授業は、「ことばのバリエーション」、「会話の仕組み」、「言語意識」、「言語政策」という観点から、普段無意識に使用している日本語の実態と使用規則について意識化するとともに、日本語教師として必要な社会言語学的知識を身につけることを目標とした。このような授業目標を達成する上で、留学生や様々なコースの学生の参加が得られたことは有意義であった。留学生の参加が得られたことで、他の言語との比較を通して日本語の社会言語学的特徴が明らかになるとともに、日本語学習者としての視点からの発言により、習得上の問題点を確認することができた。昨年度に引き続き、オンラインでの開講となったが、受講生からは活発に意見が出され、議論を深めることができた。

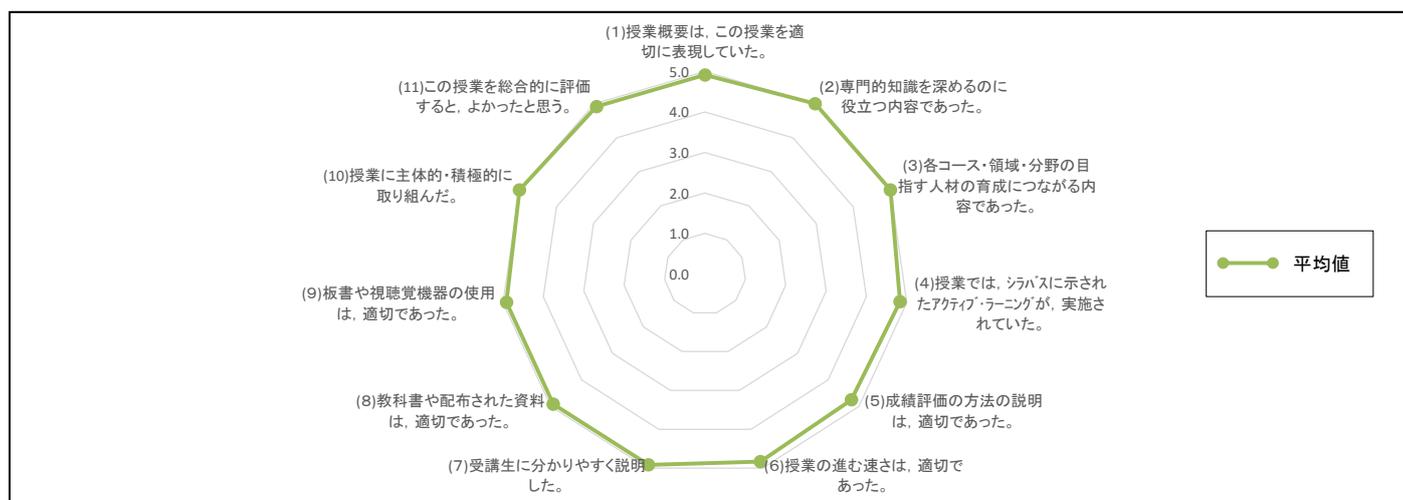
今回の評価結果を見ると、いずれの項目も高い評価を得ており、本授業に対して受講者自身も達成感を感じているものと思われる。今後は、評価の観点をさらに明確にするとともに、オンライン上でのアクティブ・ラーニングの改善に努めたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	68	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	言語習得・発達論	回答者数	12	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	宮部 真由美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	11	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	12	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	12	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	10	2	0	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	10	1	1	0	0	4.8
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	11	0	1	0	0	4.8
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	11	1	0	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	11	1	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	11	1	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	12	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	11	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

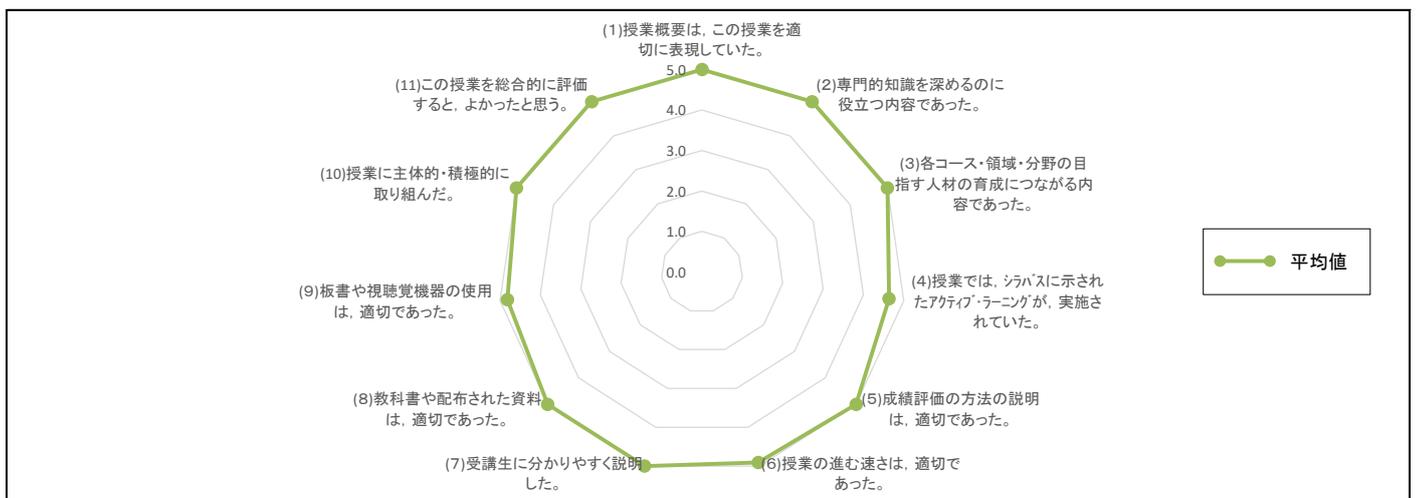
第二言語習得について学ぶことは、多くの学生にとって初めてであることから、教科書を使い、予習と復習をしてもらうことで、授業を進めていった。予習と復習は負担であったと思う。また、留学生にとっては、日本語の専門書に近い内容の教科書は難しかったと思われる。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	69	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	日本語教育学研究	回答者数	11	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	宮部 真由美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	11	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	8	2	1	0	0	4.6
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	10	1	0	0	0	4.9
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	11	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	11	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	9	2	0	0	0	4.8
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	11	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

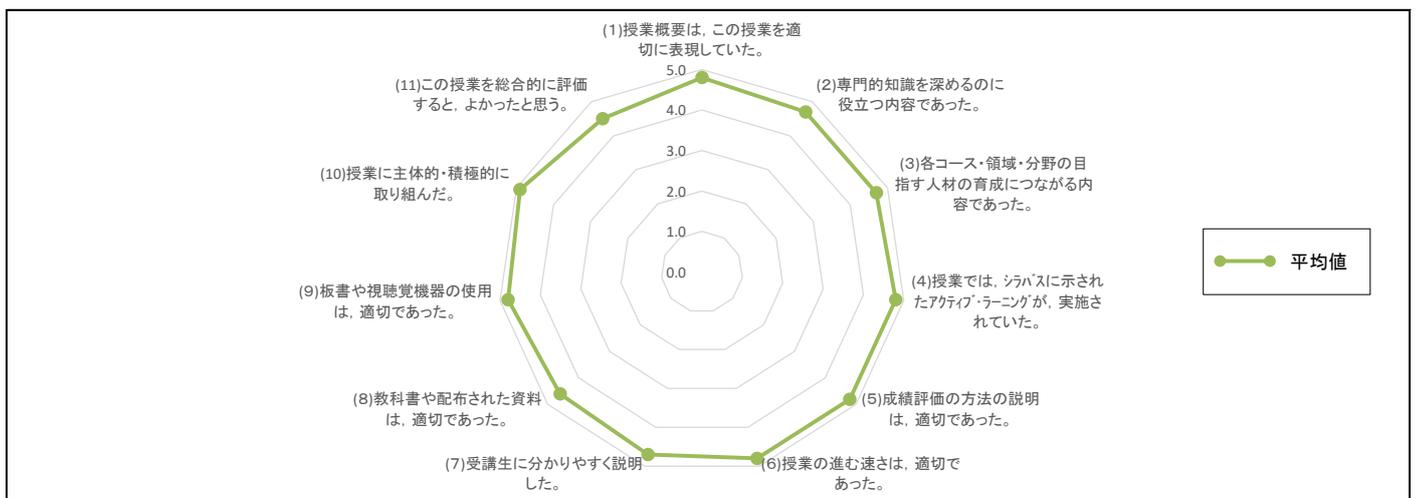
多くの学生が、学部で日本語学や日本語教育学に関する授業を受けてこなかったこともあり、講義部分が多めとなる授業であった。教科書を使っており、その内容について予習と復習を課した。そのため大変だったと思うが、多くの学生がしっかりと課題をこなしていた。発表がよかったという意見が多く、実際に発表内容も発表を聞く学生にあわせて工夫されたものであった。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	70	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	日本語教育法研究（日本語教育観察実習）		回答者数	10	人
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	廣田 知子				

（5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	9	0	1	0	0	4.8
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	8	1	1	0	0	4.7
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	8	1	1	0	0	4.7
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	9	0	1	0	0	4.8
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	9	0	1	0	0	4.8
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	9	0	1	0	0	4.8
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	8	1	1	0	0	4.7
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	7	2	1	0	0	4.6
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	9	0	1	0	0	4.8
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	7	1	2	0	0	4.5



<教員のコメント>

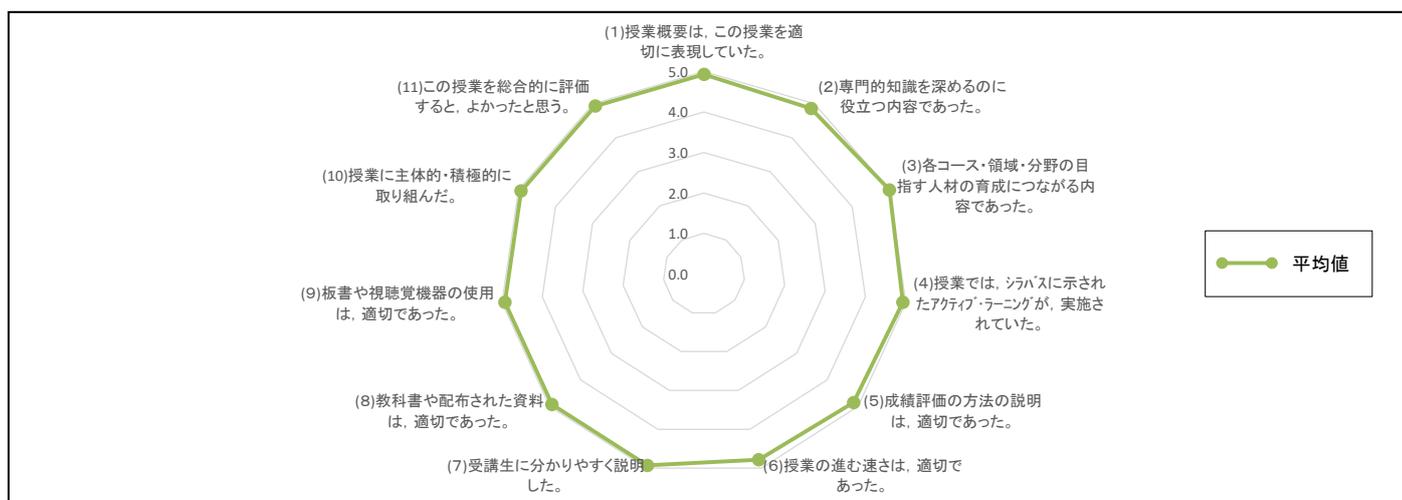
この授業自体は、日本語教育実習につながる実践的なもので、大変役に立ったというコメントが多かった。見学と理論の時間の割合をどのくらいにすればいいのかというのが、毎年悩む点である。見学させていただく日本語補講の先生方のご都合や、受講生の時間割、受講人数にもよるので、プランニングは慎重に行い、見学が多くなるとすれば、途中で1回フィードバックを入れるといった配慮も必要だと感じた。私自身は今年度退職なので、今までの経験を後任の先生にもお伝えして、より良い観察実習になるよう引き継ぎたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	71	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	日本語教育学演習	回答者数	14	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	宮部 真由美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	13	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	12	2	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	14	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	13	1	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	12	2	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	12	1	1	0	0	4.8
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	13	1	0	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	13	1	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	13	1	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	13	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	13	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

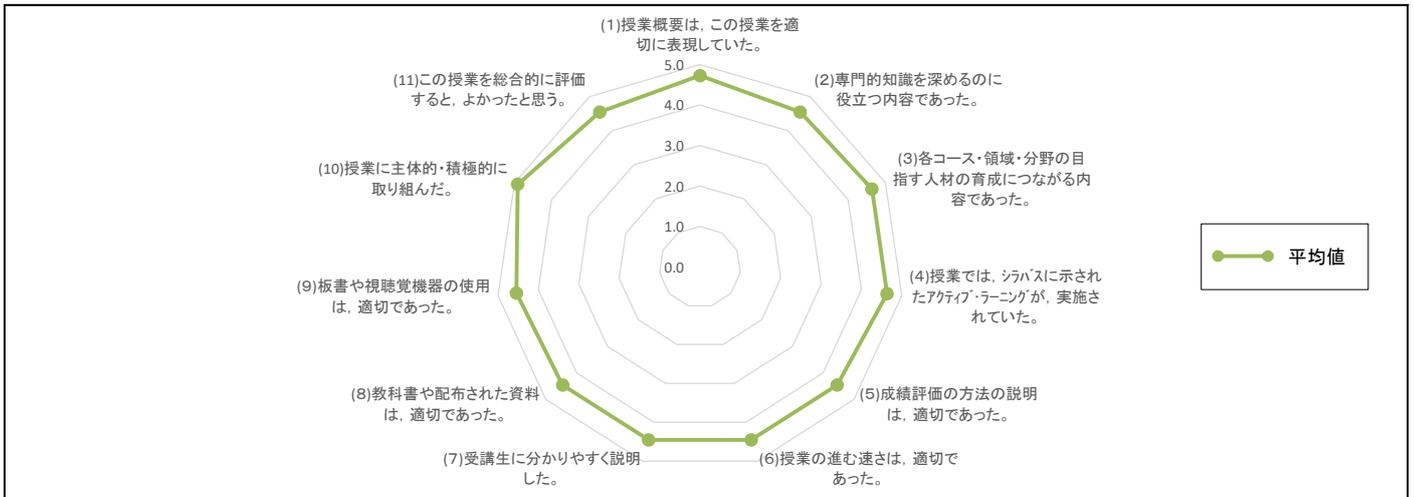
日本語に関する課題に対し、予習を行なったうえで、各グループでそれぞれの考えをディスカッションし、全体で共有するという形の授業であった。グループで話し合うことにより、適切な説明にたどり着く場合がほとんどであったが、十分ではない場合や複数の考え方があられる場合は教員から説明を加えるようにし、日本語を分析する力をつけることにとり着いた学生が多かったように思う。ただ、今学期は授業日が変則的となり、予習等に負担が多かったのではないかとと思う。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	72	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	日本語教育法演習（日本語教育グループ実習）		回答者数	11	人
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	廣田 知子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	8	3	0	0	0	4.7
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	7	3	1	0	0	4.5
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	8	2	1	0	0	4.6
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	8	2	1	0	0	4.6
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	6	4	1	0	0	4.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	7	2	2	0	0	4.5
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	7	2	2	0	0	4.5
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	7	2	2	0	0	4.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	8	1	2	0	0	4.5
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	4.9
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	7	3	1	0	0	4.5



<教員のコメント>

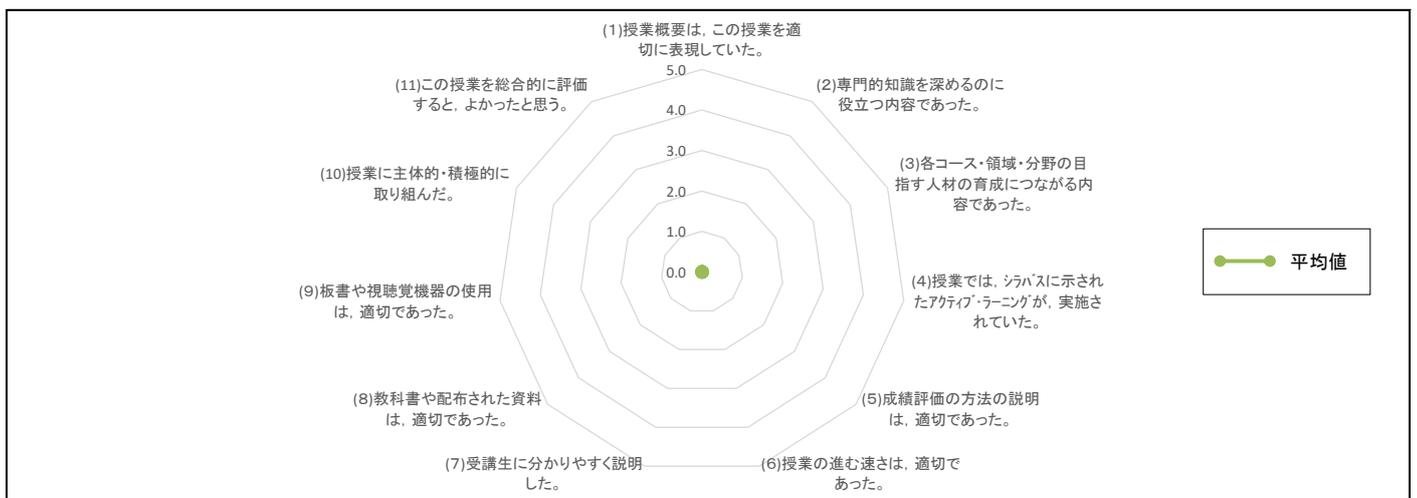
前期の観察実習を経て、実際に模擬授業を行うのだが、経験値の違う2名（原則的には、中国人留学生1名と日本人学生1名）がペアで行ったので、日本人受講者の負担が増えてしまったことが反省点である。互いに教え合うというよりも、日本人学生が中国人留学生の指導にあたったペアもあった。今年度初めての試みとして、日本語補講履修生を招いて、学習者役として参加してもらうことができたのは、よかったと思う。反面、教案の書き方や理論面にもっと時間を割いてほしいという意見も見られたので、基礎的知識やスキルを増やす時間をもっと取る必要があると思った。他の科目の前期・後期の配置も含めたシラバスの再考を求める意見もあったので、真摯に受け止めて、分野の今後の課題とした。毎回の模擬授業のあとで、教員の意見も述べたつもりだが、あまり意見やアドバイスをもらったという実感がなかったようなので、みんなのディスカッション時間と最後の教員のコメントのバランスも再考する必要がある。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	73	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	日本語教育実習	回答者数	0	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	田中 大輝, 廣田 知子, 宮部 真由美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は, この授業を適切に表現していた。	0	0	0	0	0	—
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが, 実施されていた。	0	0	0	0	0	—
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は, 適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(6)授業の進む速さは, 適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	0	0	0	0	—
	(8)教科書や配布された資料は, 適切であった。	0	0	0	0	0	—
	(9)板書や視聴覚機器の使用は, 適切であった。	0	0	0	0	0	—
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると, よかったと思う。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

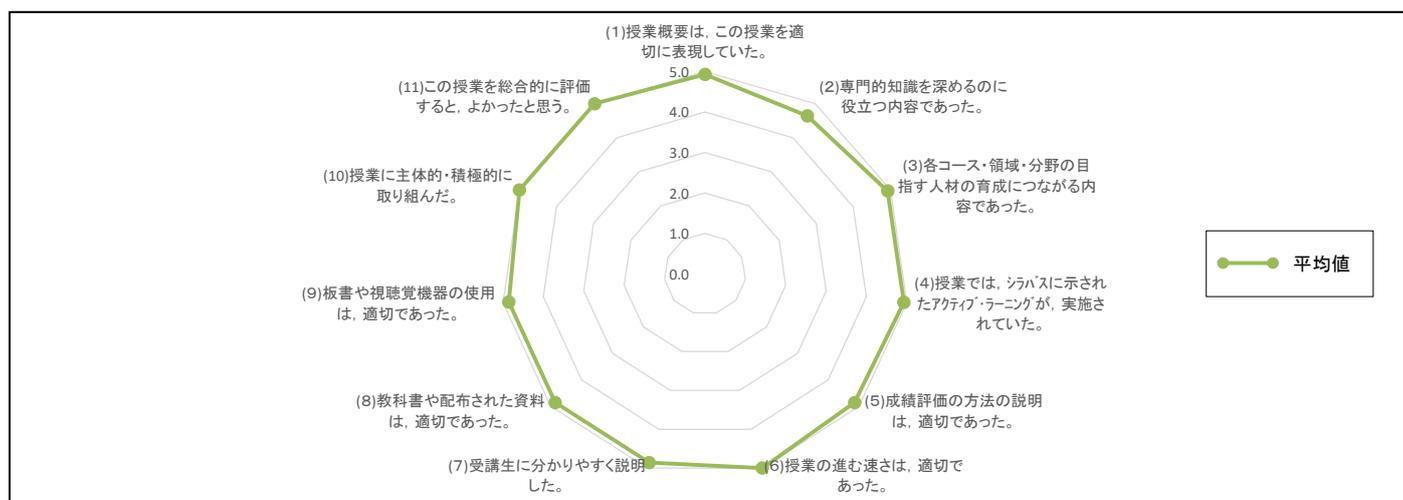
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	74	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	日本文化研究	回答者数	14	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	廣田 知子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	13	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	11	2	0	1	0	4.6
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	13	1	0	0	0	4.9
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	13	1	0	0	0	4.9
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	12	2	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	14	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	13	0	1	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	12	2	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	12	2	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	14	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	14	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

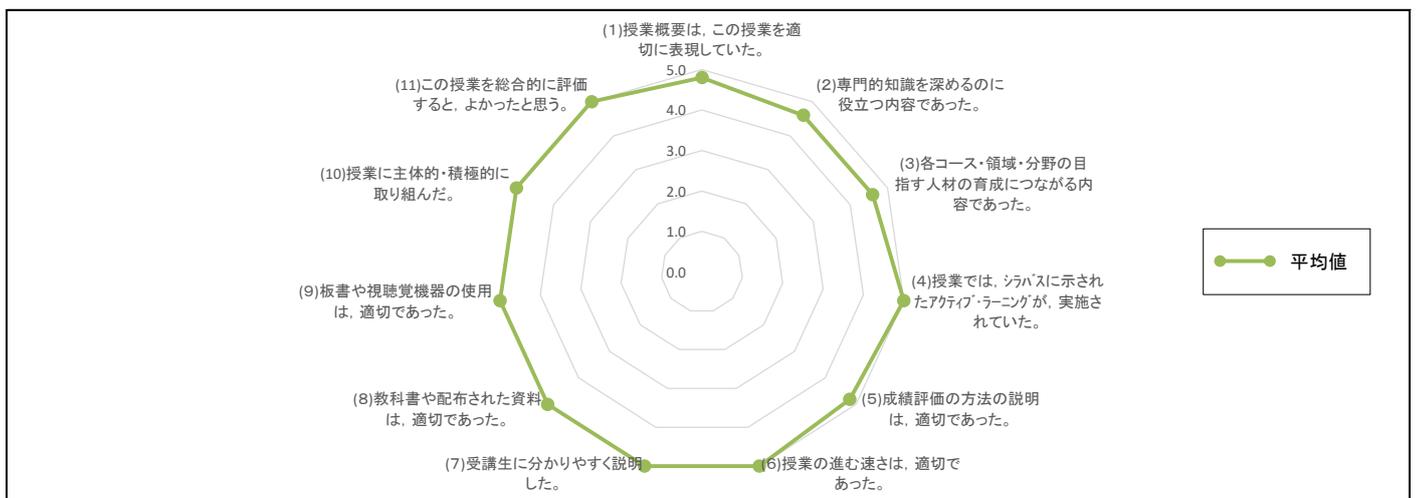
今年度初めて、オンラインでタイのチャンカセム・ラチャバット大学の学生とつないで、授業参加してもらった。この試みは、より文化を伝えたいというモチベーションにつながり、よかったようである。ただ、学習者のレベルはあまり日本語がわからない初級者であったため、授業を行うのが難しかったというコメントもあった。タイの学生に関しては、希望者を募って、毎回違う学生であったので、正確な日本語レベル把握は難しい点もあったが、教員同士が連絡を密にとって、準備がスムーズに進められるよう配慮すべきであった。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	75	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	日本語 I	回答者数	5	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	田中 大輝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	3	2	0	0	0	4.6
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	3	2	0	0	0	4.6
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	5	0	0	0	0	5.0



＜教員のコメント＞

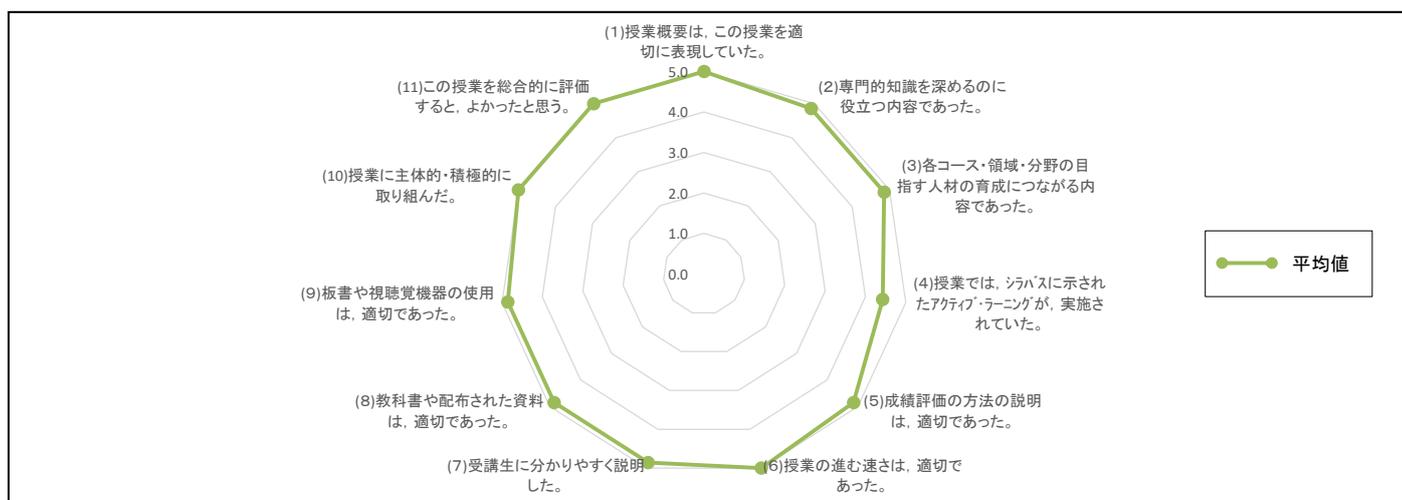
本授業では、本学で学ぶ留学生たちに身近な関心事について情報収集ができる力を身につけさせることを第一の目的とした。また、日本の文化・ことばについての理解を深めること、自国の文化・ことばとの相違点・共通点を考えさせること、自国・日本以外の国の文化・ことばに関心を持たせること、を第二の目的とした。参加者は留学生14名（大学院生5名，研究生等の聴講9名；中国11名、タイ2名、ミャンマー1名）であり、来日できていない学生が多かったため、授業形態は対面授業をMicrosoft Teamsで配信するハイブリッド型とした。その後、来日が叶って対面で参加できる学生が少しずつ増えていったが、全員が対面で参加できるようになったのは最終回のみであった。今後もハイブリッド型で授業を実施する機会はあると思われるので、オンラインでの参加者が不利益を被らないための工夫を、今後も引き続き検討していきたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	76	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	日本語Ⅱ	回答者数	7	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	廣田 知子				

（5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	6	1	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	6	1	0	0	0	4.9
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	6	0	0	0	1	4.4
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	6	1	0	0	0	4.9
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	7	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

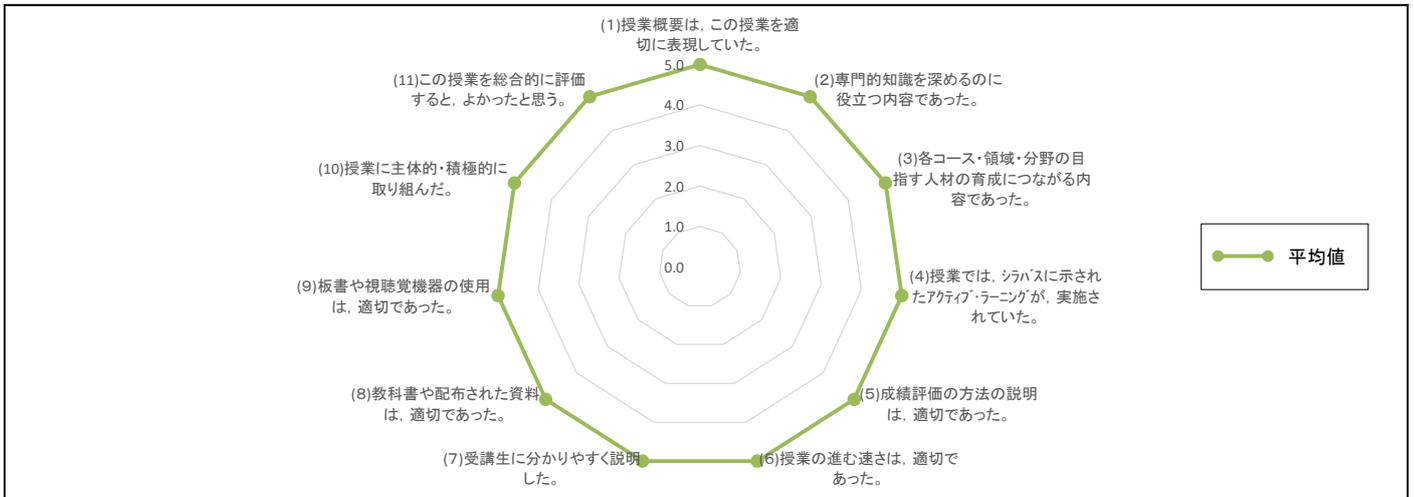
前半は主に、徳島新聞の「鳴潮」の要約を行なった。意見の中に、要約文の回数が少なくなった方がいいというものがあったが、私自身は「Practice makes perfect.」だと思っているので、何回も失敗を繰り返しつつ練習することが上達につながると思う。反省すべき点は、要約文を作るポイントとして、「すべきこと」だけでなく「しない方がいい」ところも明らかにしてほしいという意見があったので、フィードバックの際に、その説明ももっと丁寧にやるべきであったと思う。確かに、そうした方が、学習者の立場としては、どんなふうにするにすればいい要約文が作れるのかが、もっと明確になったことであろう。後半は、アウトプットとして、自分の故郷について発表する機会を設けた。同じ中国からの留学生同士だが、お互いの地方について知らないことも多々あったであろうし、相互にコミュニケーションできるいい機会になったと思う。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	77	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	日本語Ⅲ	回答者数	2	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	田中 大輝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

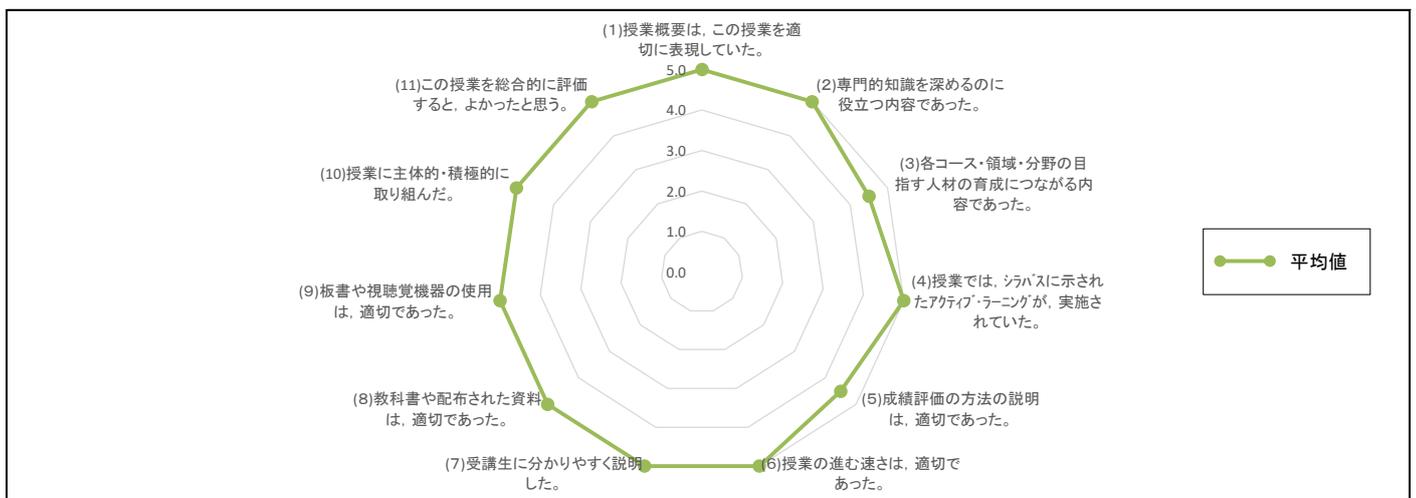
本授業では、大学で学ぶ留学生たちに、自分の経験や考えをスピーチとして適切に表現できる力を身に付けさせることを第一の目的とした。また、「ことばを使わないコミュニケーション」をテーマとして、日本・自国・それ以外の国における人々の考え方や表現法の共通点・相違点について理解を深めることを第二の目的とした。参加者は留学生9名（大学院生2名、研究生等の聴講7名；中国6名、タイ2名、ミャンマー1名）であり、授業前に全員が来日を控えていたため、特に必要が生じた場合を除き、授業はすべて対面のみで行うことができた。本授業は参加者の日本語能力に著しい隔たりが見られた（N1レベル～N3レベル）ため、学習目標の設定の仕方や授業の進捗等に難しさを感じながらの授業運営となったのであるが、今後も、できる限り幅広い参加者に満足を与えられるよう、最善を尽くしたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	78	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	日本語Ⅳ	回答者数	2	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	宮部 真由美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

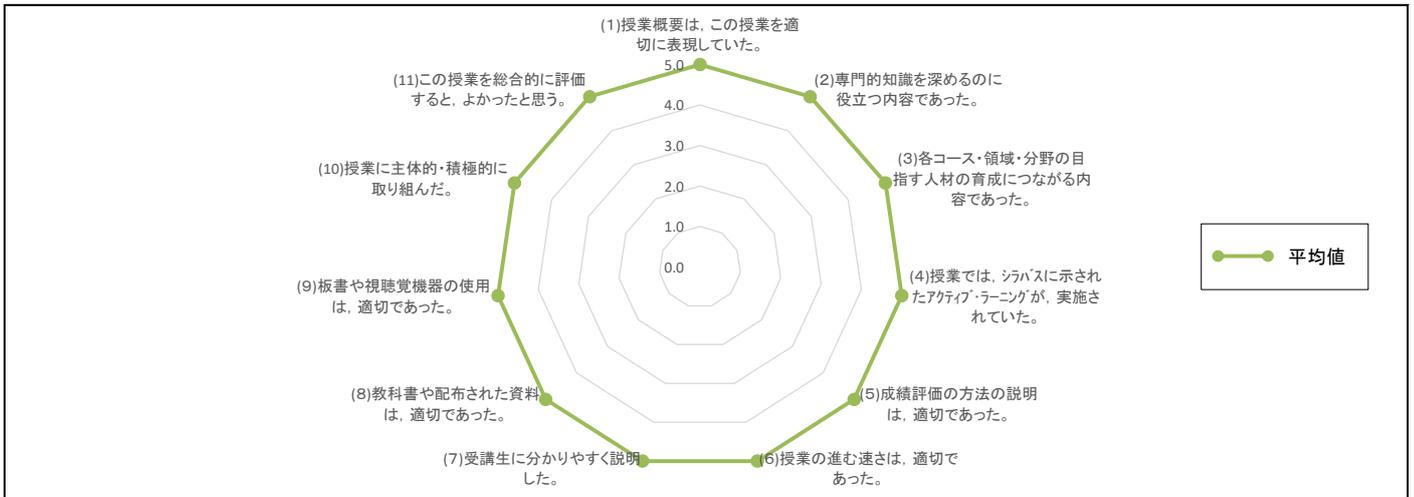
この授業は留学生対象の日本語の授業である。毎回の授業に課題があり、その課題について授業で日本語の問題点などをクラスで共有しながら修正していく形で進めた。どの学生もしっかりと取り組んでいた。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	79	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	日本事情・日本文化	回答者数	2	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	廣田 知子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

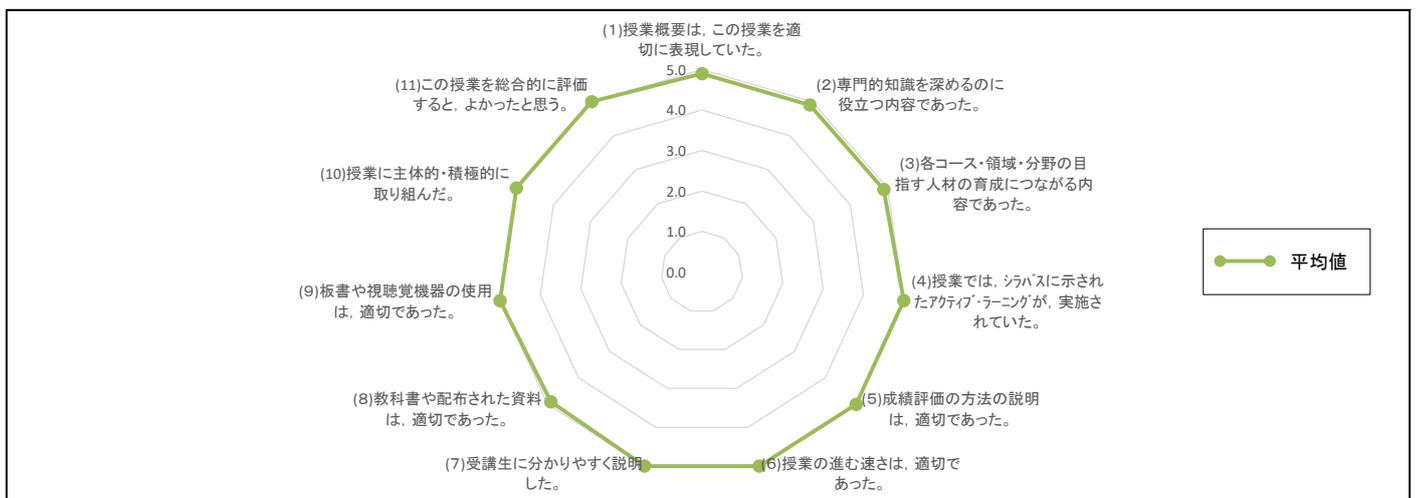
日本文化について、外部講師を2回お招きして「浦安の舞」と「床本」という日本人もなかなか深く知ることのない機会を得たのは良かったと思う。反省点としては、教員側の都合で、やむを得なかったのだが、事前学習と外部講師の実際の授業とのタイムラグがあり、内容を忘れてしまったというコメントがあったので、もう少し全体的にスムーズにつながるようなシラバスを組むべきであったと思われる。理論だけではなく、なるべく実践的に文化を学べるよう、インプットとアウトプットのバランスを考えた。受講生も文化についての発表では、一生懸命調べて、自分自身の知識も増やし、皆さんへうまく伝える努力も行えたと思う。この授業をきっかけに、より深く日本文化への興味を持ってもらえれば、今後もそのような授業ができるよう授業づくりへの努力が必要だと思われる。留学生が中心の授業ではあるが、そこに日本人受講生が加わることで、お互いに学び合える場となっているので、来年度以降も、積極的な日本人受講生の参加を望みたい。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	80	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	異文化コミュニケーション研究	回答者数	10	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	眞野 美穂				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	10	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	10	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	9	1	0	0	0	4.9
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	10	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

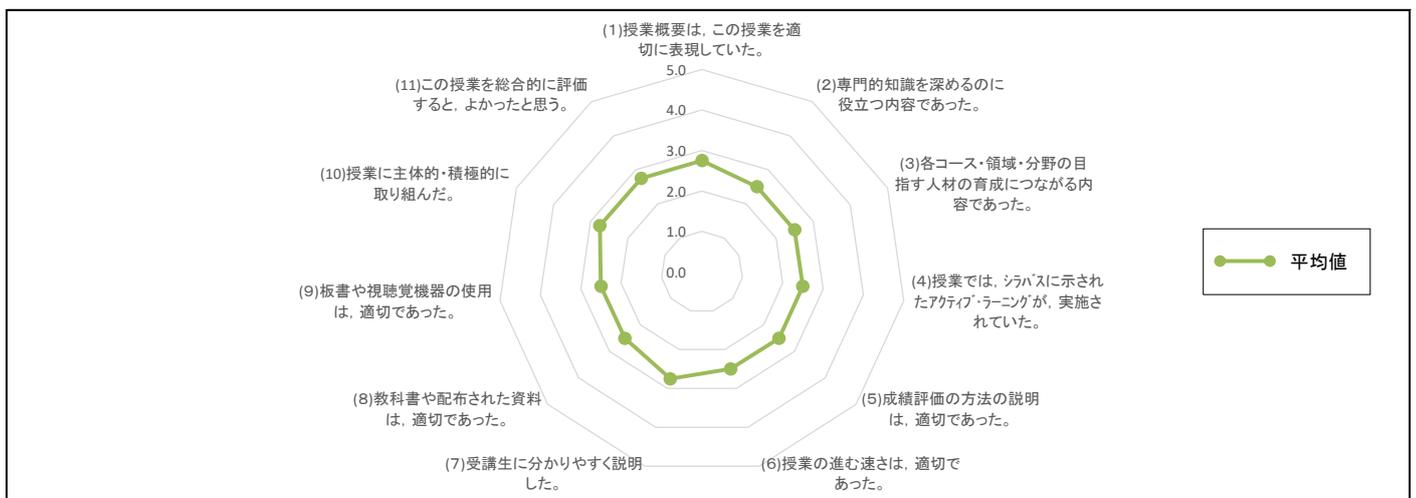
授業評価アンケート結果を見る限り、概ね目標を達成できたように思う。自由記述欄の感想からも、授業形式が適切であったことが分かり、安心している。ディスカッション形式の場合、特に今回の異文化コミュニケーションのような授業の場合、参加者のこれまでの経験や知識、そして他者についての想像力などに拠るところが大きい。今回は受講生の積極的な参加に助けられて授業を良い方向に進めることができたと考えている。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	81	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	言語コミュニケーション演習	回答者数	4	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	1	0	0	2	2.8
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	0	2	0	0	2	2.5
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	2	0	0	2	2.5
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	2	0	0	2	2.5
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	2	0	0	2	2.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	2	0	0	2	2.5
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	1	0	0	2	2.8
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	2	0	0	2	2.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	2	0	0	2	2.5
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	2	0	1	2.8
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	1	0	0	2	2.8



<教員のコメント>

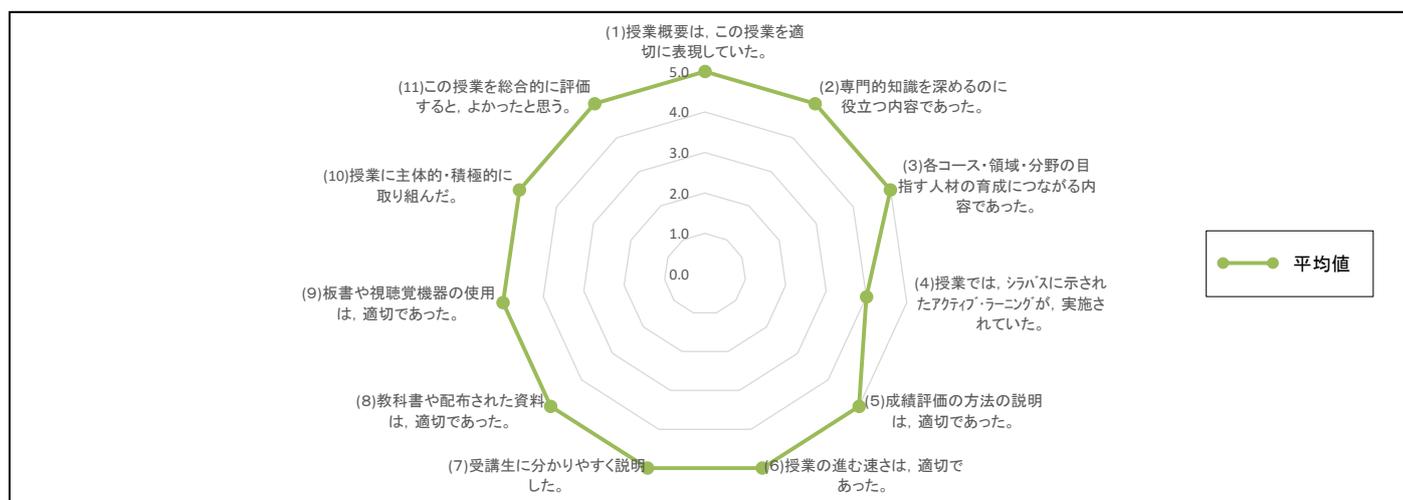
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	82	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語文化研究	回答者数	2	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	前田 一平				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	2	0	0	0	4.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

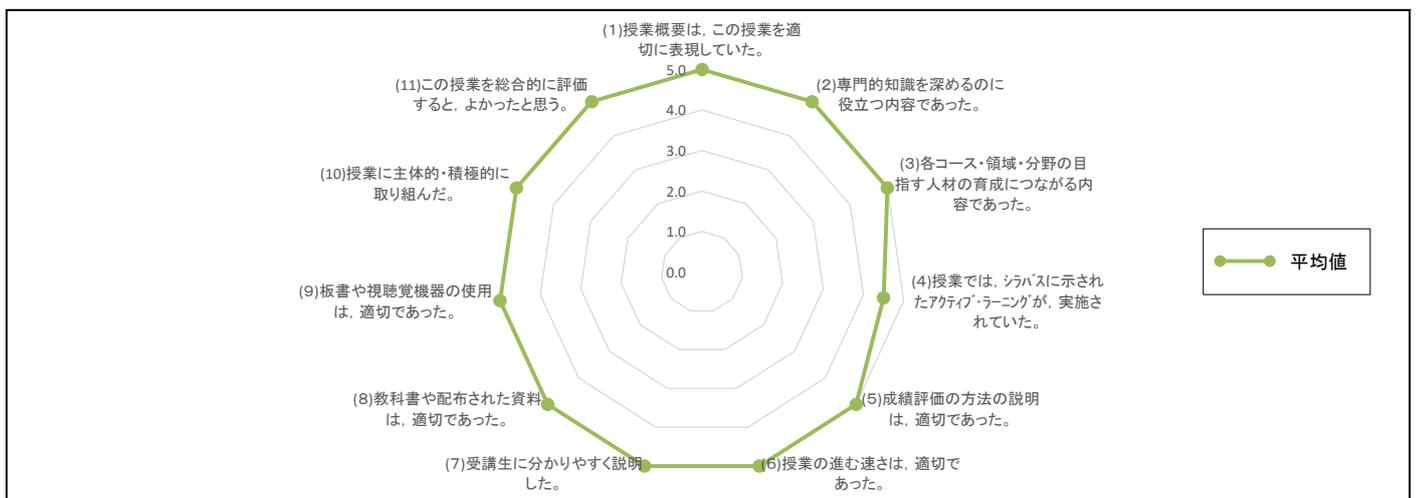
受講生は少なく、2名であったが、いずれも熱心な学生で、本授業の内容であるアジア系アメリカ人と日系アメリカ文学に深い関心を示してくれた。私は定年退職後、特命教授として自分の研究領域からかなりはずれたグローバル教育コースに配属されたので、私の専門であるアメリカ文学の授業を、グローバル教育コースに沿うよう、人種理解や異文化理解を前景化した内容に変更を余儀なくされた。短期間で専門外の授業を構築することは非常に困難であったが、受講生たちの授業評価がとても高いのを見ると、定年退職後の苦勞が報われた思いである。ただ、現場主義が先行する教員養成において、教科書的な異文化理解ではなく、人の思いや感情をみつめる文学・文化研究が教員養成課程において欠落し、授業を受けた学生が初めてその大切さと意義にめざめるとい現象を目の当たりにしている。しかし、残念ながら、私の本授業担当は本年度で最後になりました。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	83	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	英語文化演習	回答者数	2	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	前田 一平				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

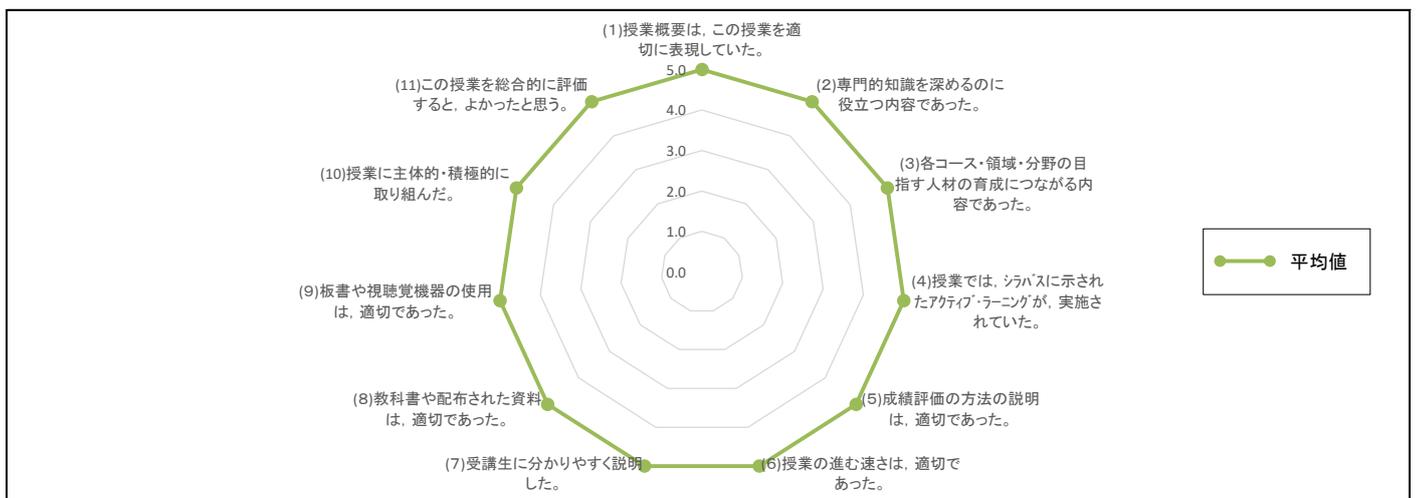
本授業の受講生は4名で、グローバル教育コースにおける私の授業が、徐々にではあるが、学生の評価を受けるようになってきていることを実感する。実際、学生たちからそのような話を聞くことが多くなった。受講生たちは元中学校英語教員や英語教員志望者たちであったので、中学校英語教科書に掲載されている文学作品の読みをテーマにした本授業は彼ら／彼女らの関心を大いに高めたと実感している。それは、授業評価、特に受講生による個別のコメントによく表現されている。本授業は私の専門のアメリカ文学を英語教育の実践に結びつけるために研究を重ね、学会のシンポジウムで発表し、高い評価を受けて学会誌に掲載されたものである。それが受講生にも高く評価されたことは、この上ない喜びである。残念ながら、この授業担当も本年度で終了なので、次年度は嘱託講師を継続する学部英語コースの授業として本授業を生かしていく予定である。

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	84	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	ライティング・スキルI	回答者数	1	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	鎌田スザン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

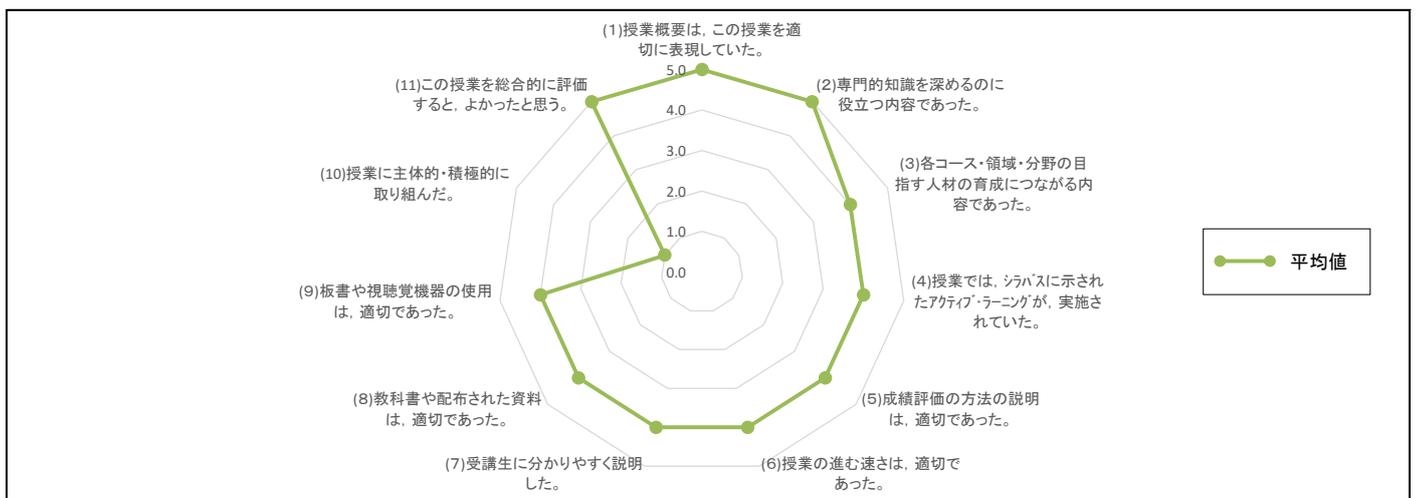
-

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	85	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	ライティング・スキルⅡ	回答者数	1	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	鎌田スザン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	0	1	0	0	0	4.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	1	1.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

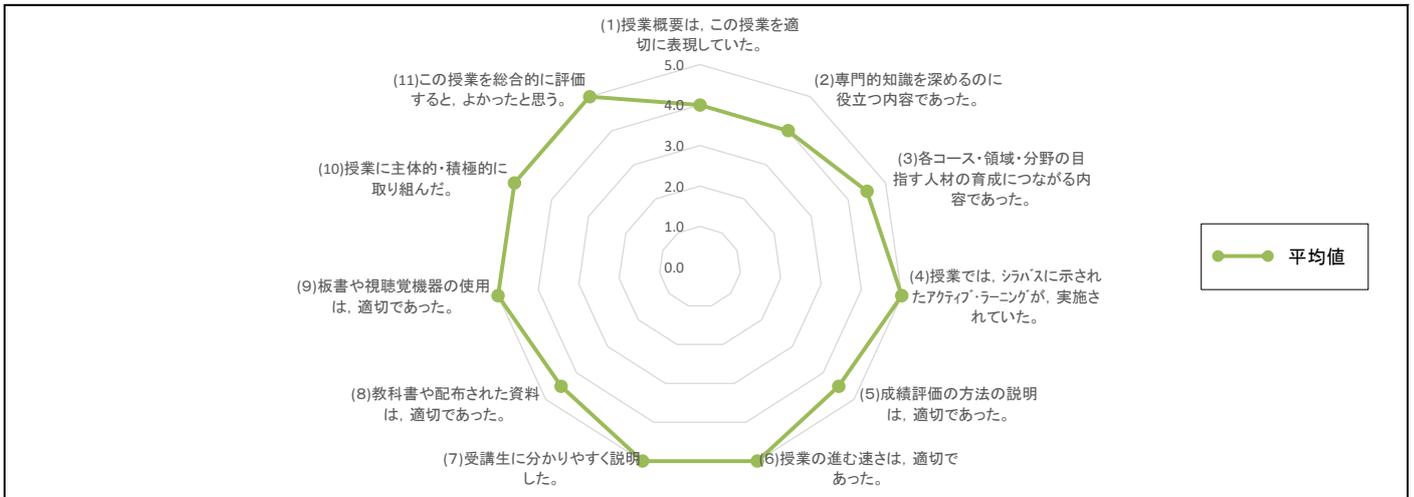
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	86	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	プレゼンテーション・スキル I	回答者数	2	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	1	0	1	0	0	4.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	0	1	0	0	4.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

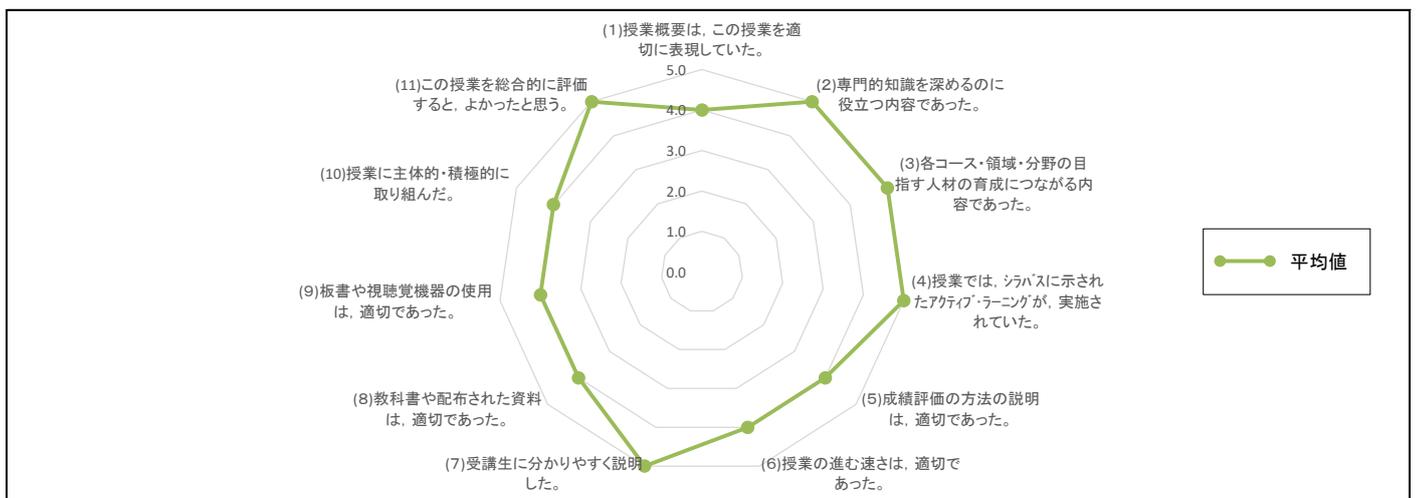
—

大学院（修士課程）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	87	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	プレゼンテーション・スキルⅡ	回答者数	1	人	
コース	グローバル教育コース				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
授業の内容について	(1)授業概要は、この授業を適切に表現していた。	0	1	0	0	0	4.0
	(2)専門的知識を深めるのに役立つ内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)各コース・領域・分野の目指す人材の育成につながる内容であった。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが、実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
教員の授業の進め方について	(5)成績評価の方法の説明は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(6)授業の進む速さは、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)受講生に分かりやすく説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)教科書や配布された資料は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
	(9)板書や視聴覚機器の使用は、適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
あなたの授業への取り組みについて	(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
総合評価	(11)この授業を総合的に評価すると、よかったと思う。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

—

專門職学位課程

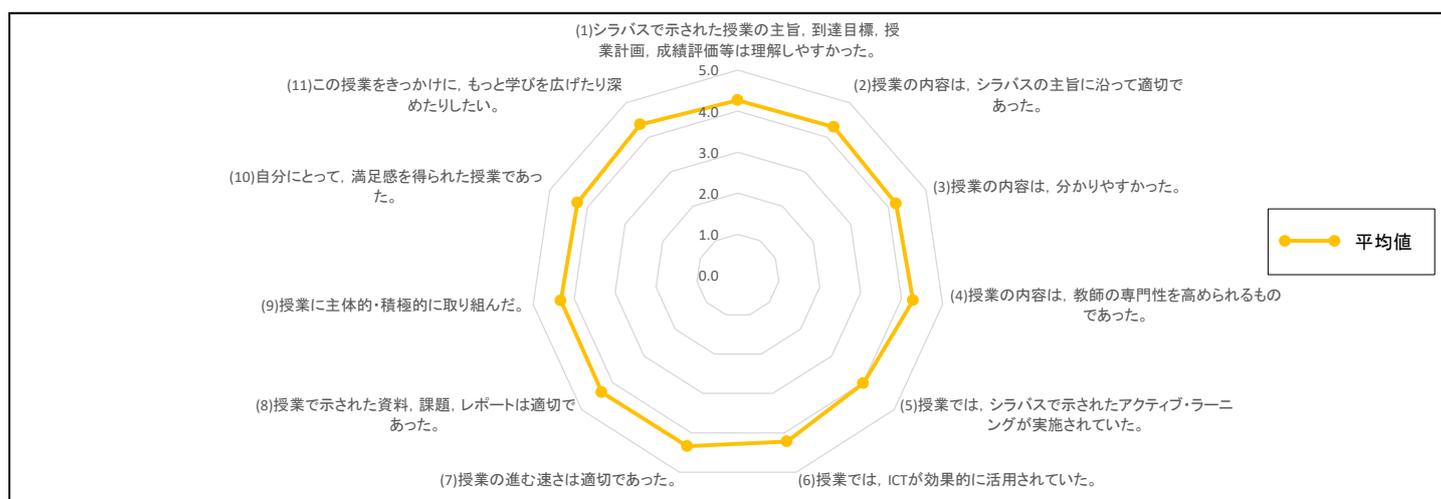
No.	授業科目番号	授業科目番号	クラス名称	担当教職員氏名
264	PPAA051E	コンピテンシー・ベースの幼児教育	遠隔教育	湯地 宏樹
265	PPAA060E	小学校への接続・連携を見通した幼児教育	遠隔教育	塩路 晶子
266	PPAA060E	小学校への接続・連携を見通した幼児教育	—	塩路 晶子
267	PPAA070E	子ども家族支援の実践と課題	遠隔教育	木村 直子
268	PPAA070E	子ども家族支援の実践と課題	—	木村 直子
269	PPAA080E	家庭教育支援演習	遠隔教育	木村 直子
270	PPAA080E	家庭教育支援演習	—	木村 直子
271	PPAA090E	幼児教育マネジメント演習	—	佐々木 晃
272	PPAA090E	幼児教育マネジメント演習	遠隔教育	佐々木 晃
273	PPAA100E	幼児教育におけるICTの活用	—	湯地 宏樹
274	PPAA110E	園の組織マネジメントの理論と実践	遠隔教育	佐々木 晃
275	PPAA120E	幼児教育実践フィールド研究Ⅰ	遠隔教育	塩路 晶子
276	PPAA130E	幼児教育実践フィールド研究Ⅱ	遠隔教育	塩路 晶子
277	PPBA010E	特別支援教育 キャリア教育・進路指導A	—	大谷 博俊
278	PPBA020E	特別支援教育 キャリア教育・進路指導B	—	大谷 博俊
279	PPBA030E	特別支援教育における心理行動支援A	—	高原 光恵
280	PPBA040E	特別支援教育における心理行動支援B	—	高原 光恵
281	PPBA050E	特別支援教育における医療・教育の連携A	—	小倉 正義
282	PPBA060E	特別支援教育における医療・教育の連携B	—	伊藤 弘道
283	PPBA070E	特別支援教育 心理学・教育学の連携A	—	島田 恭仁
284	PPBA080E	特別支援教育 心理学・教育学の連携B	—	島田 恭仁
285	PPCA010E	リーダーシップとコミュニケーション	—	前田 洋一
286	PPCA020E	地域の教育課題と教育行政の実務	—	藤井 伊佐子
287	PPCA030E	教育法規実践演習	—	石村 雅雄
288	PPCA040E	学校危機管理の実践	—	阪根 健二
289	PPCA050E	学校防災教育の開発	—	阪根 健二
290	PPCA060E	学校における加わらばつ'メントの推進	—	村川 雅弘
291	PPCA070E	家庭・地域・学校の連携構築	—	大林 正史
292	PPCA080E	学校ビジョンの構築と教職員の組織化	—	久我 直人
293	PPCA090E	教職員の人材育成と校内研修	—	芝山 明義
294	PPDA010E	子ども理解と支援	—	池田 誠喜
295	PPDA011E	学校心理学	—	池田 誠喜
296	PPDA020E	いじめ・不登校等事例検討	—	小坂 浩嗣
297	PPDA021E	生徒指導事例検討	—	小坂 浩嗣
298	PPDA030E	いじめ・不登校等チーム支援とコーディネート	—	池田 誠喜
299	PPDA031E	チーム支援とコーディネート	—	池田 誠喜
300	PPDA040E	集団づくりとグループアプローチ	—	小坂 浩嗣
301	PPDA050E	道徳教育の理論と実践	—	池田 誠喜
302	PPDA080E	道徳教育と特別活動の理論と実践	—	池田 誠喜
303	PPEA010E	教育評価の実践と事例分析	—	皆川 直凡
304	PPEA020E	学校教育におけるICT活用と情報デザイン	—	藤原 伸彦
305	PPEA030E	総合的な学習の時間のカリキュラム開発	遠隔教育	村川 雅弘
306	PPEA030E	総合的な学習の時間のカリキュラム開発	—	村川 雅弘
307	PPEA040E	校種間連携に視座した教材・教具の開発演習	—	泰山 裕
308	PPEA050E	学習者の心理とアクティブラーニング	—	泰山 裕
309	PPEA060E	ワークショップ型研修の技法	遠隔教育	村川 雅弘
310	PPEA060E	ワークショップ型研修の技法	—	村川 雅弘
311	PPEA070E	1人1台タブレット時代の授業改善・教育改善	—	藤村 裕一
312	PPEA080E	教科・研究主任の力量形成	—	皆川 直凡
313	PPEA080E	教科・研究主任の力量形成	遠隔教育	西村 公孝
314	PPFA010E	学習指導要領と教育課程 A	—	藤原 伸彦
315	PPFA020E	学習指導要領と教育課程 B	—	藤原 伸彦
316	PPFA030E	教育実践の事例研究 A	—	木下 光二
317	PPFA040E	教育実践の事例研究 B	—	木下 光二
318	PPFA050E	生徒指導実践演習 A	—	葛上 秀文
319	PPFA060E	生徒指導実践演習 B	—	葛上 秀文
320	PPFA070E	学級経営実践演習 A	—	江川 克弘
321	PPFA080E	学級経営実践演習 B	—	江川 克弘

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	88	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	カリキュラムデザインの理論と実践	回答者数	68	人	
授業区分	共通科目（第1領域）				
担当教員名	余郷 裕次, 鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	31	26	9	2	0	4.3
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	31	26	11	0	0	4.3
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	28	29	8	3	0	4.2
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	32	25	9	2	0	4.3
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	25	26	12	3	2	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	29	28	9	1	1	4.2
(7)授業の進む速さは適切であった。	29	33	6	0	0	4.3
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	31	30	7	0	0	4.4
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	31	28	9	0	0	4.3
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	30	29	6	3	0	4.3
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	35	24	8	1	0	4.4



<教員のコメント>

カリキュラムデザインの理論と実践では、前半、国語科教育の立場から、カリキュラムの歴史と現状について講義し、後半、音楽科教育の立場から、カリキュラムとそれに基づく授業の実践について講義した。受講者は、111名と多人数であったため、受講者一人ひとりから積極的受講態度を引き出すには困難を感じた。それは、評価の平均値が4点前半半にとどまったことに反映していると考えられる。しかし、平均値は全体としてバランス良くきれいな円グラフを描いている。自由記述のコメントにも、好意的な感想が多く寄せられた。全体としては、好評価を得たものと考えている。ただし、アクティブ・ラーニングの数値が4.0であり、11項目中最低であった。111名の受講生に対して、どのようにアクティブ・ラーニングを組織するかが、今後の課題である。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	89	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	カリキュラムデザインの理論と実践			回答者数	26
区分	共通科目（第1領域）				
担当教員名	山森 直人, 速水 多佳子, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	12	10	4	0	0	4.3
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	14	9	3	0	0	4.4
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	12	11	3	0	0	4.3
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	17	6	2	1	0	4.5
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	13	10	3	0	0	4.4
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	11	9	1	0	3.8
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	12	9	4	1	0	4.2
(8)授業の進む速さは適切であった。	12	9	4	1	0	4.2
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	9	11	4	0	2	4.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	12	3	0	0	4.3
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	10	13	3	0	0	4.3
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	19	5	2	0	0	4.7



<教員のコメント>

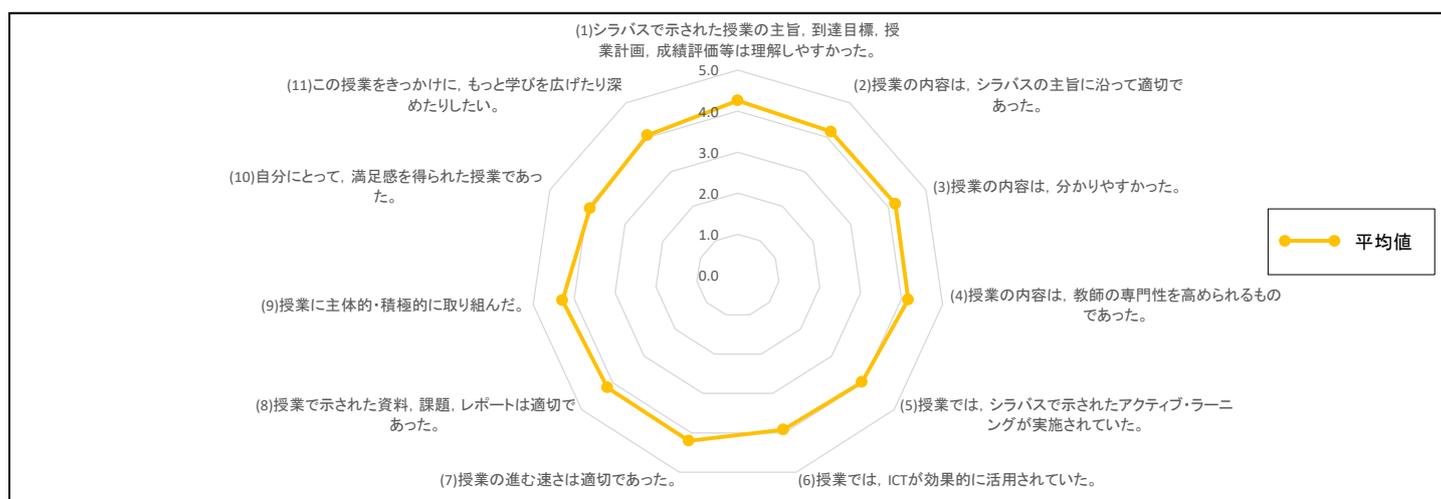
授業評価アンケートの結果, 11項目中10項目が平均値4ポイント以上であったことをふまえると, 本授業は受講者にとって好評であったと考える。4ポイントを下った項目は「(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。」(平均値3.8)であった。シラバスには, 本授業に取り入れるアクティブ・ラーニングの方法として「ディスカッション」と「質疑応答」を記していた。それを行うために, 最終回(第8回)に, オンライン・ライブ形式の授業を実施し, 課題に対する教師からのフィードバックや学生間で意見交換の機会を設けたが, 自由記述の回答も考慮すると, 物足りなさを感じた学生もあったようである。オンデマンド形式を中心とする授業形態であるため, 個別自主学習に偏ってしまう状況があることは否めないが, 学生間, 学生・教師間の交流をより促すために, Moodleのフォーラム機能等を活用して意見や疑問を共有したり, より少人数で対応できるようなライブ形式授業(最終回)の進め方等を工夫すること(例えば, Zoomのブレイクアウトルーム機能の活用など)で対応したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	90	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	教科カリキュラムの構成と理論		回答者数	74	人
授業区分	共通科目（第1領域）				
担当教員名	伊藤 直之, 福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	36	23	13	2	0	4.3
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	32	25	15	1	1	4.2
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	34	25	11	3	1	4.2
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	34	25	10	3	2	4.2
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	29	23	14	7	1	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	29	24	10	8	3	3.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	32	28	12	1	1	4.2
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	36	22	11	3	2	4.2
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	34	27	13	0	0	4.3
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	29	24	12	5	4	3.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	31	24	14	2	3	4.1



<教員のコメント>

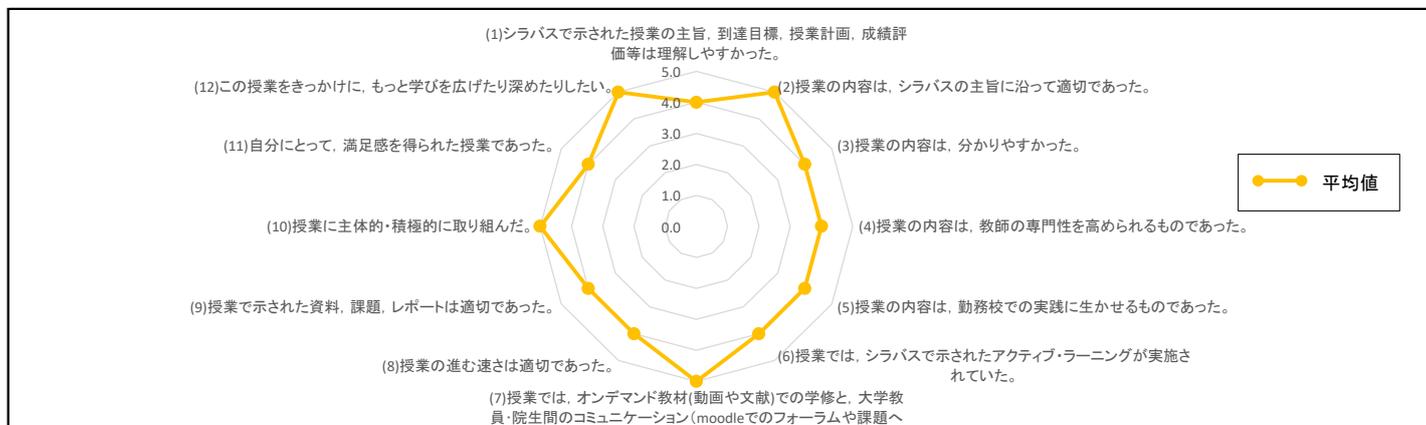
受講生からは好意的な意見と否定的な意見が混在している。その原因は、担当科目の内容と担当教員の専門性が合致していないところにあり、担当教員の選定過程に問題がある。次年度は担当教員が変更となるため、改善が見込まれる。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	91	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	教科カリキュラムの構成と理論		回答者数	1	人
区分	共通科目（第1領域）				
担当教員名	幾田 伸司, 伊藤 直之, 秋田 美代, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	0	0	0	4.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

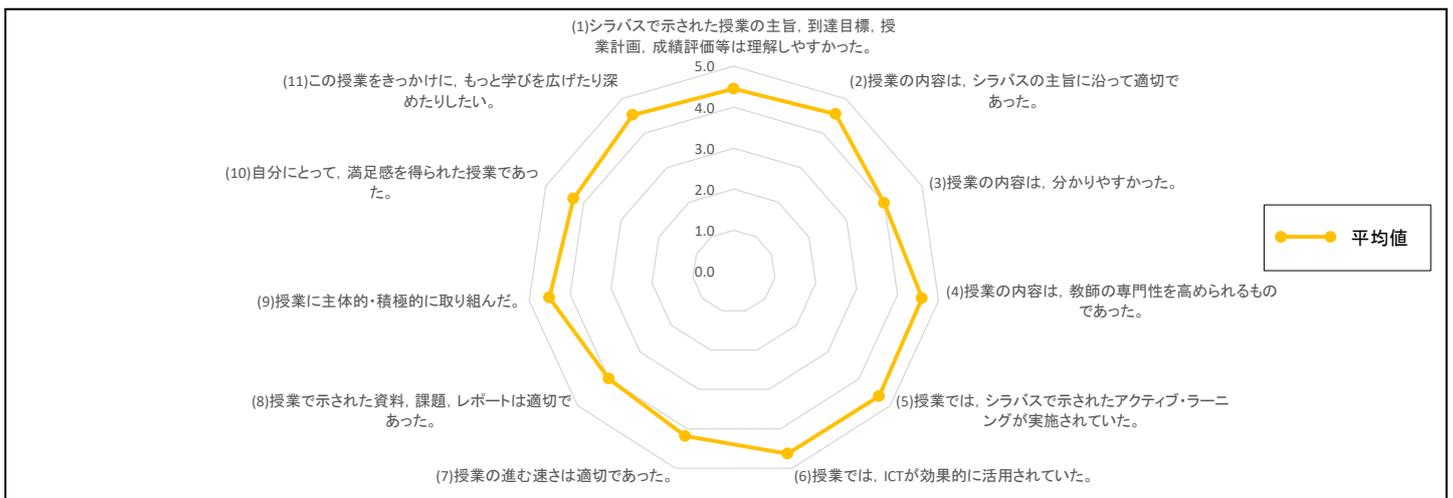
回答数が少ないが、総体的には肯定的な評価であった。初年度であり、課題の量や授業の進度などが過度の負担にならないかは懸案事項だったが、課題提出状況などから見ても概ね適切であったと捉えている。コンテンツの内容に対する評価も良好なので、今年度の内容を踏まえてブラッシュアップを図りたい。オンライン授業の課題として、受講者相互の交流をどう仕組みかがある。本授業では討議の場としてフォーラムを設置しているが、十分に活用されたわけではない。次年度以降の課題としたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	92	評価実施日	令和4年6月9日		
授業科目名	授業の理論と実践	回答者数	87	人	
授業区分	共通科目（第2領域）				
担当教員名	早田 透, 阪東 哲也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	48	31	7	1	0	4.4
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	52	31	4	0	0	4.6
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	33	28	19	7	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	54	31	2	0	0	4.6
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	58	27	2	0	0	4.6
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	56	30	1	0	0	4.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	39	32	10	5	1	4.2
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	34	28	17	7	1	4.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	49	33	5	0	0	4.5
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	45	24	15	2	1	4.3
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	50	33	4	0	0	4.5



<教員のコメント>

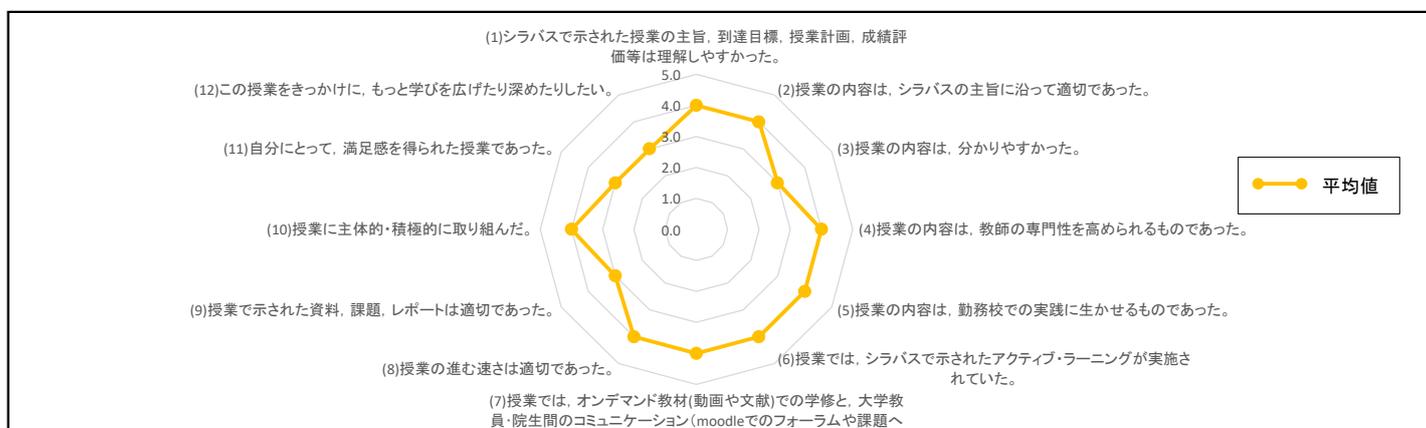
授業は計画通りに実施され, その意図や実現目標については概ね了解されたものであることがアンケートより読み取れる。このため, 内容に関しては概ね十分な水準を満たしているものとして判断できる。次年度以降に内容を更新する際も, 本年と同様の傾向で授業を作成していきたい。一方, レポートの案内や頻度, 連絡方法など, 授業の運営については極僅かながら改善を求める声もあった。こうした声を精査し, 必要に応じてこうした講義の形式を整えていきたい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	93	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	授業の理論と実践	回答者数	1	人	
区分	共通科目（第2領域）				
担当教員名	早藤 幸隆, 山木 朝彦, 泰山 裕				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	1	0	0	3.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション (moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む) を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	1	0	0	0	4.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	1	0	0	3.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	1	0	0	3.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	1	0	0	3.0



<教員のコメント>

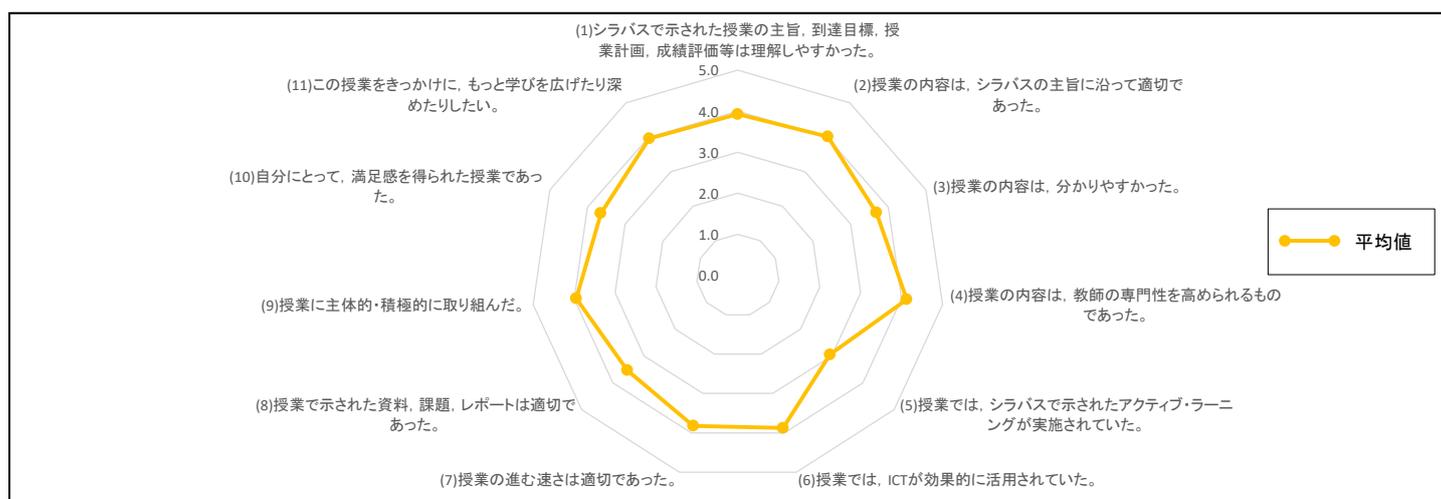
授業評価者の記入が1名のため, コメント不可能。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	94	評価実施日	令和4年6月3日		
授業科目名	教育評価の理論と実践	回答者数	56	人	
授業区分	共通科目（第2領域）				
担当教員名	井上 奈穂, 寺島 幸生				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	19	26	4	2	5	3.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	24	21	3	4	4	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	17	20	9	4	6	3.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	23	23	6	2	2	4.1
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	6	16	11	11	2.9
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	20	18	11	5	2	3.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	20	18	10	4	4	3.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	15	19	10	5	7	3.5
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	23	21	3	4	5	3.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	21	16	5	6	8	3.6
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	25	15	9	3	4	4.0



<教員のコメント>

授業の構成, 内容についてはおおむね満足している様子であったが, すべてオンラインでの実施であったことに対し, 対面での他の学生との対話などの時間が欲しかったというコメントが多く見られた。2023年度は, 対話の時間を増やし, よりよい評価になるよう, 努力したい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	95	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	教育評価の理論と実践	回答者数	0	人	
区分	共通科目（第2領域）				
担当教員名	山田 芳明, 佐伯 昭彦, 皆川 直凡, 井上 奈穂				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

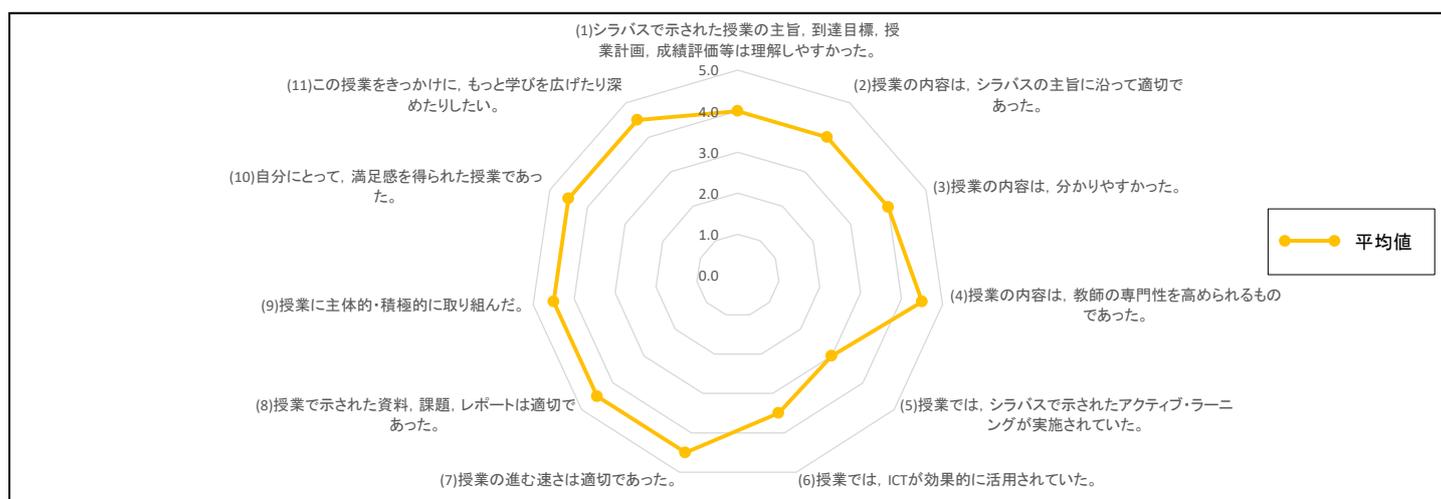
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	96	評価実施日	令和4年6月6日		
授業科目名	生徒指導の理論と実践	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（第3領域）				
担当教員名	池田 誠喜, 岡田 康孝, 阿形 恒秀				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	2	0	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	2	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	2	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	1	0	0	0	4.5
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	1	3.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	1	0	3.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	1	0	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	1	0	0	0	4.5



<教員のコメント>

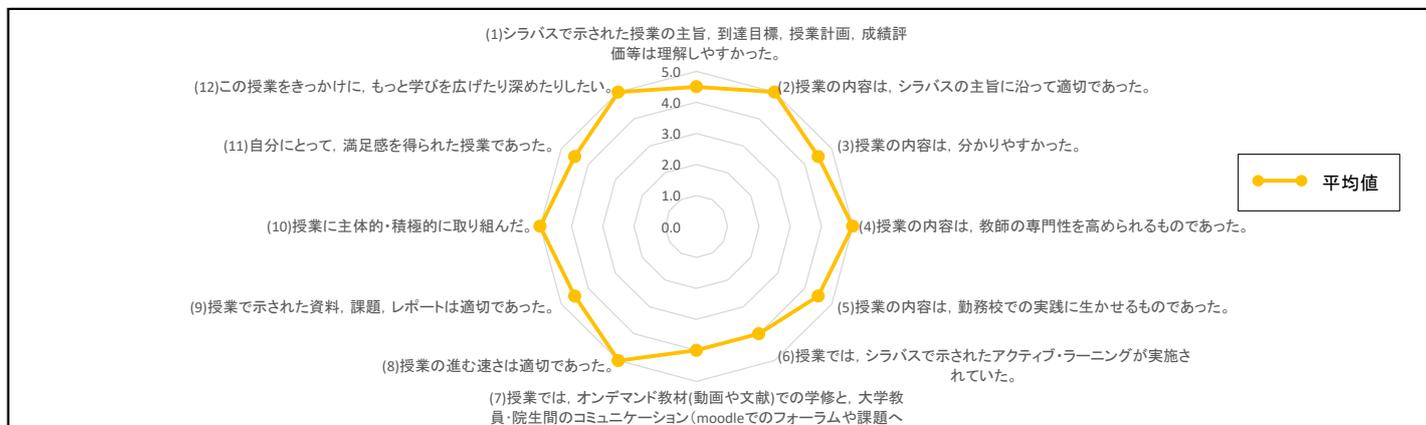
授業評価について、しっかりとしたアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価回答割合が低くなっており、次年度改善したい。授業内容としては、生徒指導は実態がつかみにくいものであり、現場でも多様な理解と取組が行われているため、生徒指導を相対化して捉えるとともに実際に役立つものとして考えることが必要と考えている。本評価ではサンプル数が少ないため明確な判断ができないが、その点について授業者としてはさらなる工夫が必要であると考えている。また、アクティブラーニングやICTの効果的な活用についての項目があるが、適材適所で必要な場面で活用できるようにしたい。オムニバスで授業実施しているため、授業方法はワンパターンではないが、より、わかりやすく、関心が高まる授業となるよう工夫したい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	97	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	生徒指導の理論と実践	回答者数	2	人	
区分	共通科目（第3領域）				
担当教員名	池田 誠喜, 岡田 康孝, 阿形 恒秀				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	1	1	0	0	0	4.5
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	0	0	0	4.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	1	0	1	0	0	4.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	1	0	0	0	4.5
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

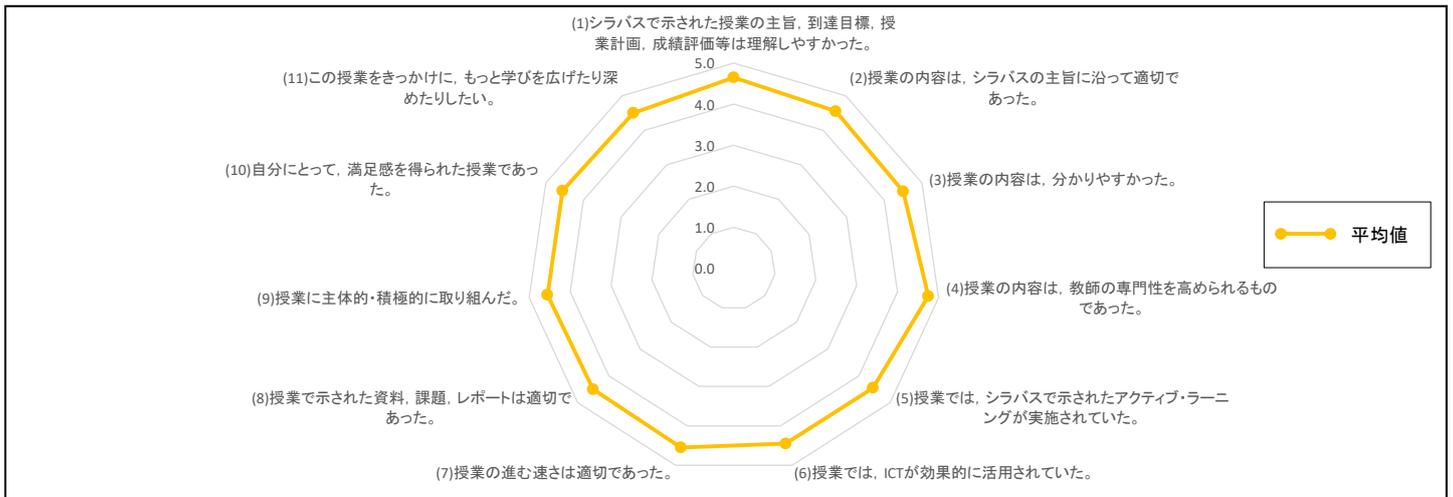
授業評価について、しっかりとアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価回答割合が低くなっており、次年度改善したい。授業内容としては、生徒指導は実態がつかみにくいものであり、現場でも多様な理解と取組が行われているため、生徒指導と同様に実際に役立つものとして考えることが必要と考えている。授業者としてはさらなる工夫が必要であると考えている。オムニバスで授業実施しているため、授業方法はワンパターンではないが、より、わかりやすく、関心が高まる授業となるよう工夫したい。遠隔の授業では、受講生の負担を「できるだけ少なくするように心がけているため、レポートを課さずに、オンライン教材での受講時に回答提出するなどの工夫を行なった。今後、受講生の負担を考慮しながらより、効果的な授業方法について検討したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	98	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	教育相談の理論と実践	回答者数	20	人	
授業区分	共通科目（第3領域）				
担当教員名	小坂 浩嗣, 池田 誠喜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	13	7	0	0	0	4.7
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	11	9	0	0	0	4.6
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	12	7	0	1	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	15	5	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	5	3	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	11	7	2	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	13	5	2	0	0	4.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	13	5	1	1	0	4.5
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	12	7	1	0	0	4.6
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	13	6	0	1	0	4.6
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	12	6	2	0	0	4.5



<教員のコメント>

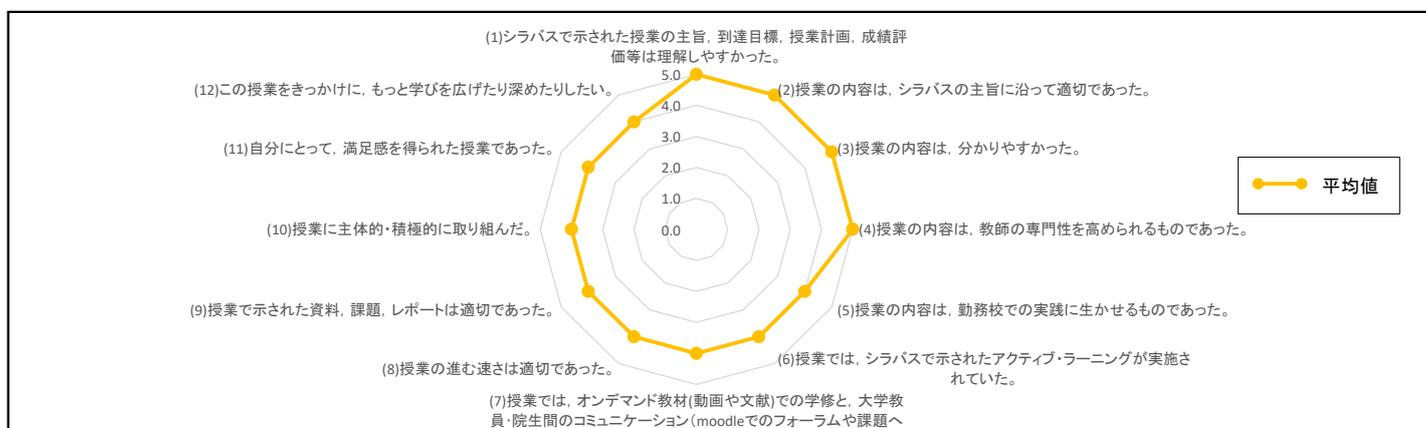
回答を求めた11項目全体の平均は4.6であった。カテゴリー別では、<シラバスの内容>2項目は4.7、<授業の内容>3項目は4.6、<AL&ICT>2項目は4.5、<教員の授業の進め方>2項目は4.5、<授業に対する姿勢・満足度・意義について>3項目は4.6であった。すべての分析項目において4.5以上の結果を得たことから、総合的に高い評価を得たと考えられる。全体ならびに項目別の全10項目に4.5以上の高い評価を得た。従来より取り組んできた①授業計画を授業者間で綿密に摺り合わせたこと、②理論や原理を基に実践的内容を考察したこと、③最新の情報を更新したことが評価に繋がったと考える。ただ、アクティブラーニングについては、話し合う課題の明確化が次年度の課題だと考える。この点をを踏まえ、より良い授業を追求していく姿勢と受講生のニーズを聴く謙虚な姿勢をもって、来年度も授業改善に取り組んでいきたい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	99	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	教育相談の理論と実践	回答者数	1	人	
区分	共通科目（第3領域）				
担当教員名	小坂 浩嗣, 阿形 恒秀				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション (moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む) を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	1	0	0	0	4.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	0	0	0	4.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	1	0	0	0	4.0



<教員のコメント>

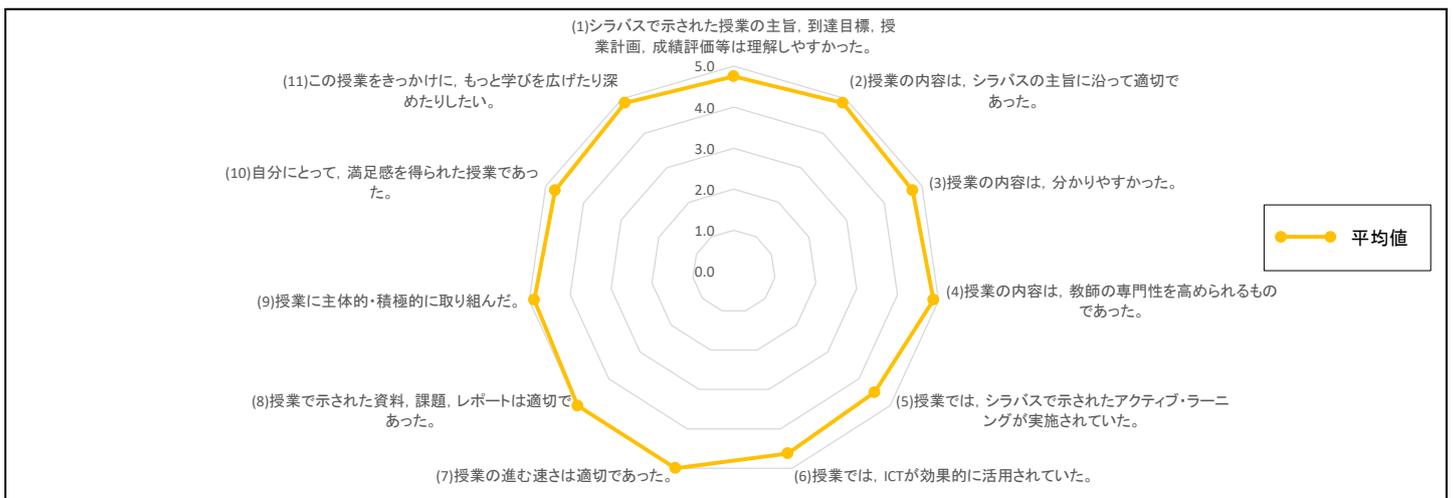
回答者が1名のみだったので, コメントを控える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	100	評価実施日	令和4年6月8日		
授業科目名	学級経営の理論と実践		回答者数	8	人
授業区分	共通科目（第4領域）				
担当教員名	池田 誠喜, 久我 直人, 阪根 健二				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	6	2	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	6	2	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	7	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	4	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	6	1	1	0	0	4.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	6	2	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	7	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

授業評価について、しっかりとしたアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価回答割合が低くなっており、次年度改善したい。授業内容としては、学級経営は生徒指導と同様に実態がつかみにくいものであり、現場でも多様な理解と取組が行われているため、実際に役立つものとして考えることが必要と考えている。本評価ではサンプル数が少ないため明確な判断ができないが、その点について授業者としてはさらなる工夫が必要であると考えている。また、アクティブラーニングやICTの効果的な活用についての項目があるが、適材適所で必要な場面で活用できるようにしたい。オムニバスで授業実施しているため、授業方法はワンパターンではないが、より、わかりやすく、関心が高まる授業となるよう工夫したい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	101	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	学級経営の理論と実践	回答者数	0	人	
区分	共通科目（第4領域）				
担当教員名	池田 誠喜, 久我 直人, 阪根 健二				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

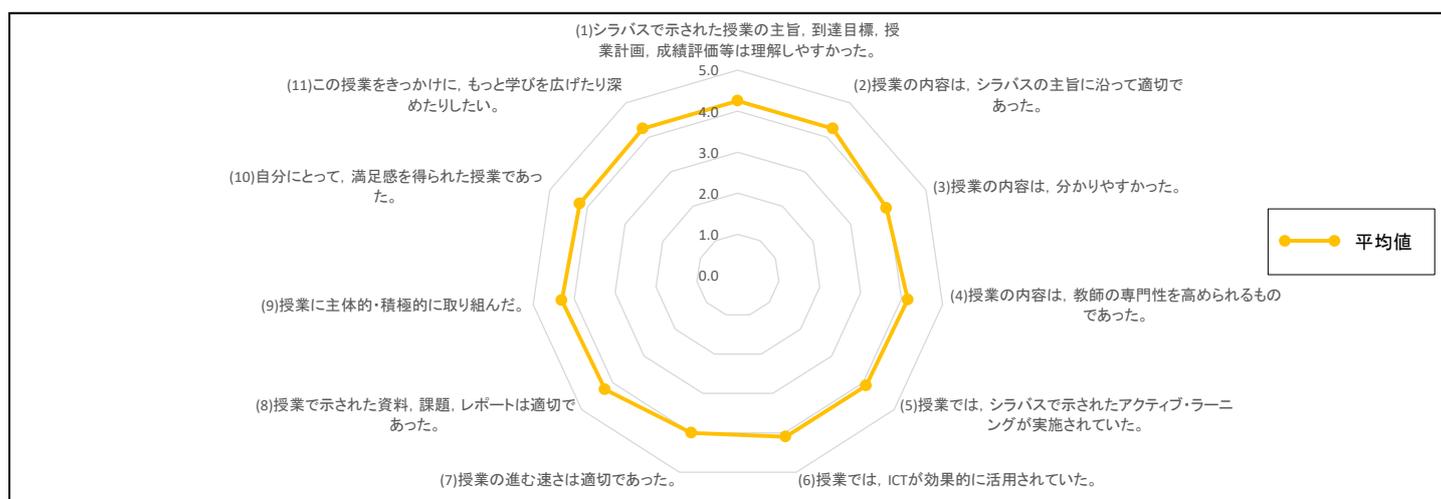
授業評価について、しっかりとアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価回答がなく、次年度改善したい。授業内容としては、学級経営は生徒指導と同様に実態がつかみにくいものであり、現場でも多様な理解と取組が行われているため、実際に役立つものとして考えることが必要と考えている。授業者としてはさらなる工夫が必要であると考えている。オムニバスで授業実施しているため、授業方法はワンパターンではないが、より、わかりやすく、関心が高まる授業となるよう工夫したい。遠隔の授業では、受講生の負担を「できるだけ少なくするように心がけているため、レポートを課さずに、オンライン教材での受講時にオンラインテキスト方式やフォームスでの回答を求めるなどの工夫を行なった。今後、さらに、受講生の負担を考慮しながらより、効果的な授業方法について検討したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	102	評価実施日	令和4年8月3日		
授業科目名	学校組織マネジメントの理論と実践	回答者数	20	人	
授業区分	共通科目（第4領域）				
担当教員名	久我 直人, 大林 正史, 芝山 明義				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	6	13	1	0	0	4.3
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	13	1	0	0	4.3
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	9	6	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	7	9	4	0	0	4.2
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	7	4	1	0	4.1
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	12	3	0	0	4.1
(7)授業の進む速さは適切であった。	6	9	4	1	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	7	11	2	0	0	4.3
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	12	1	0	0	4.3
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	8	8	4	0	0	4.2
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	8	9	3	0	0	4.3



<教員のコメント>

全ての項目で一定の評価を得ることができた（全ての項目で4.0以上であった）。

授業内容において、今日的な教育課題に対応した理論と実践事例を系統的に配置したことが挙げられる。特に、学校組織マネジメントにかかる実践事例を多く取り上げると共に、事例に内包される教育理論を可視化し、組織化しにくい学校の組織化のメカニズムを理論的に組み上げる思考を促したことが、受講者の理解と納得につながったと考える。さらに、学校ビジョンの形成等、具体的なマネジメントの作業課題を通して、学校を俯瞰することが受講者の学びにつながったと考える。

また、授業方法において、事例に対する受講者の質問に答える等、応答的なやりとりの中で授業を展開したことや、具体的な作業課題について、グループワークを通して、院生同士の交流の場を設定したことも、受講者の能動性を引き出し、評価につながったと分析する。

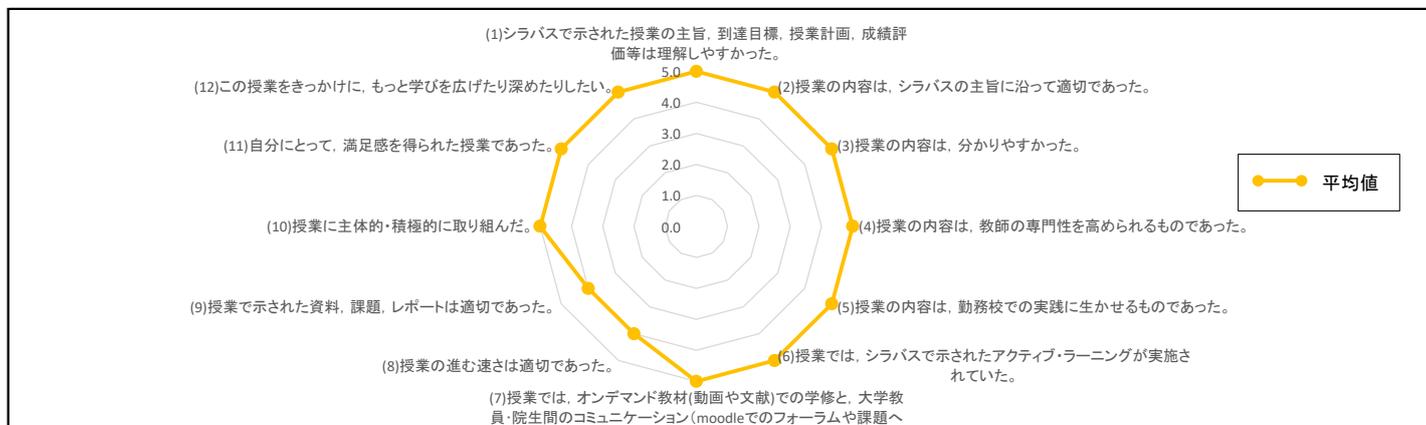
今後、課題の負担等について再検討し、次年度の授業設計に生かしたい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	103	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	学校組織マネジメントの理論と実践	回答者数	1	人	
区分	共通科目（第4領域）				
担当教員名	久我 直人, 大林 正史, 芝山 明義				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

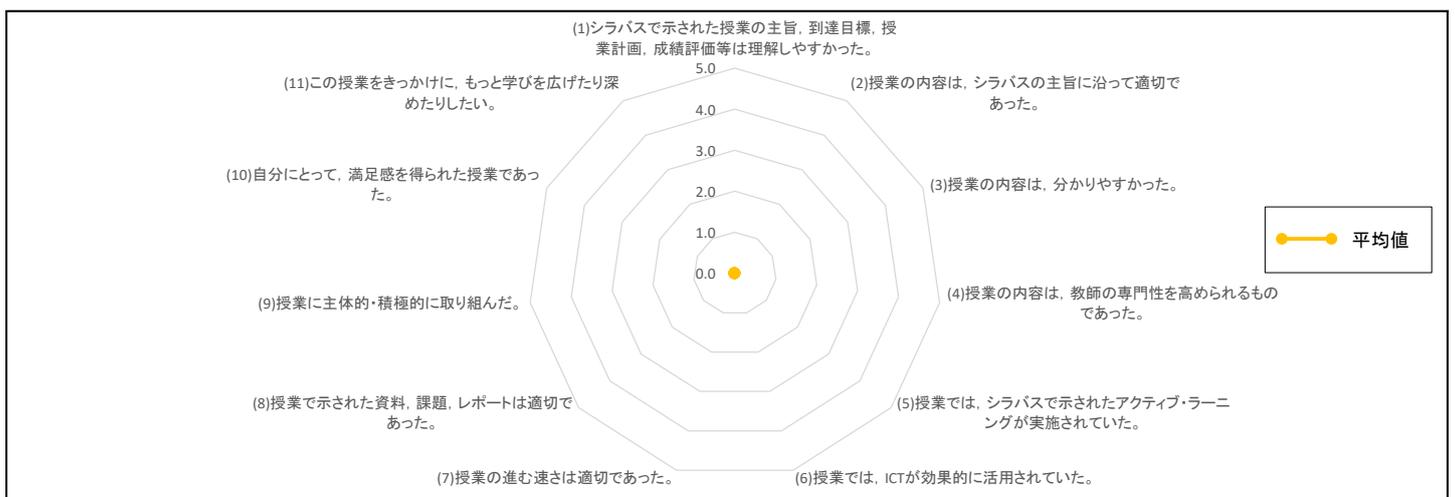
評価者が少なく分析に耐えないと思われるが、高評価であった。
 授業内容において、今日的な教育課題に対応した理論と実践事例を系統的に配置したことが挙げられる。特に、学校組織マネジメントにかかる実践事例を多く取り上げると共に、事例に内包される教育理論を可視化し、組織化しにくい学校の組織化のメカニズムを理論的に組み上げる思考を促したことが、受講者の理解と納得につながったと考える。さらに、学校ビジョンの形成等、具体的なマネジメントの作業課題を通して、学校を俯瞰することが受講者の学びにつながったと考える。
 また、授業方法において、事例に対する受講者の質問に答える等、応答的なやりとりの中で授業を展開したことや、具体的な作業課題について、グループワークを通して、院生同士の交流の場を設定したことも、受講者の能動性を引き出し、評価につながったと分析する。
 今後、課題の負担等について再検討し、次年度の授業設計に生かしたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	104	評価実施日	令和4年6月3日		
授業科目名	今日的な教育課題とその対応 I	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（第5領域）				
担当教員名	塩路 晶子, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

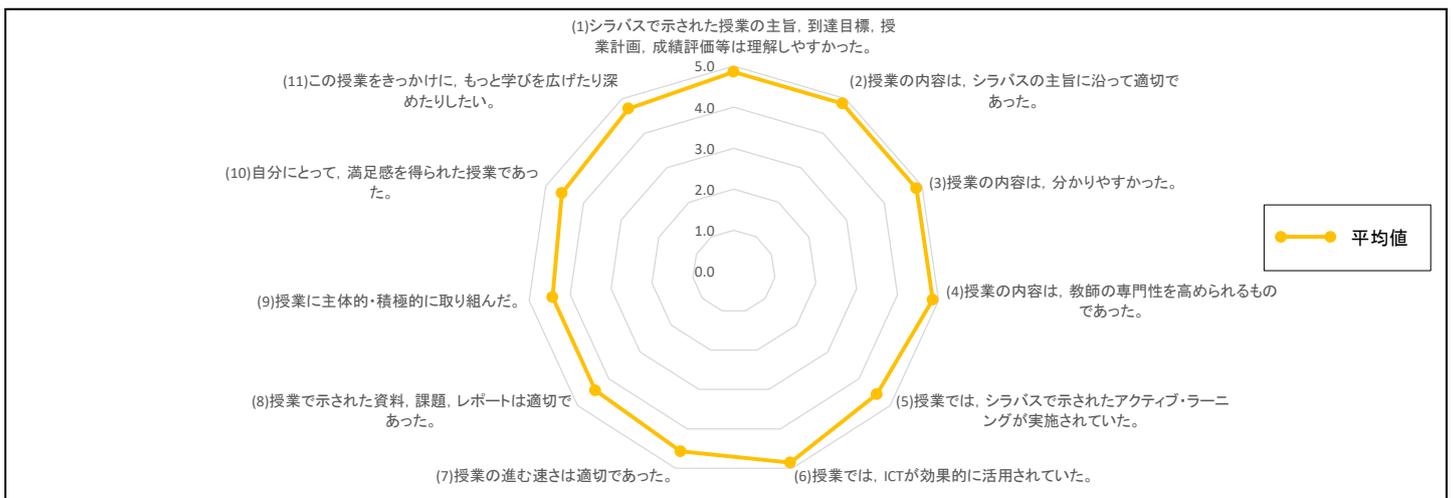
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	105	評価実施日	令和4年6月3日		
授業科目名	Society5.0に向けた教育の情報化・情報教育		回答者数	7	人
授業区分	共通科目（第5領域）				
担当教員名	藤村 裕一, 藤原 伸彦, 泰山 裕				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	6	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	6	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	6	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	0	0	0	4.6
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	6	1	0	0	0	4.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	1	1	0	0	4.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	2	1	0	0	4.4
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	4	0	0	0	4.4
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	3	0	0	0	4.6
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	2	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

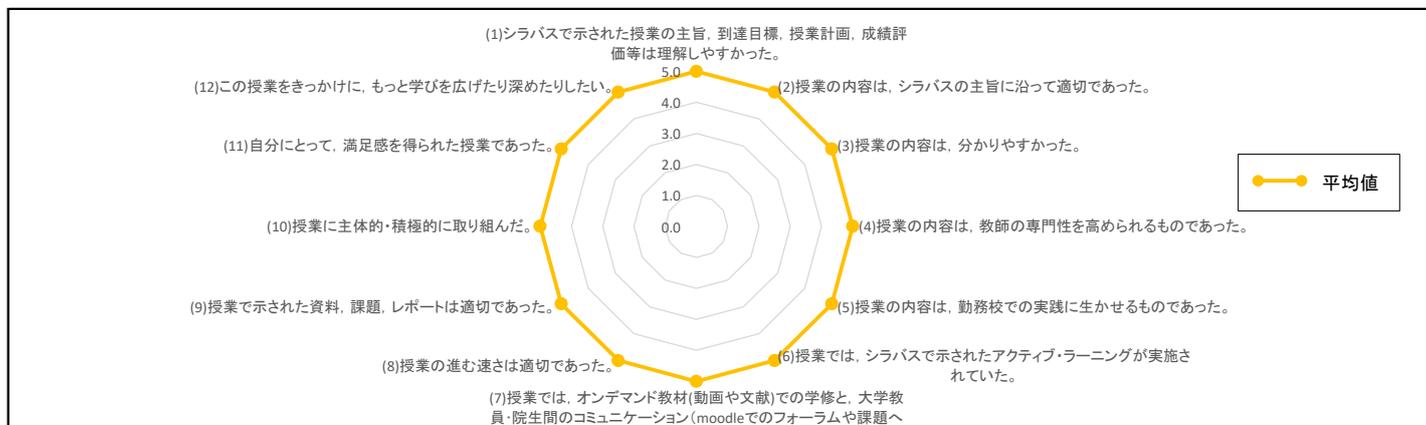
—

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	106	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	Society5.0に向けた教育の情報化・情報教育		回答者数	2	人
区分	共通科目（第5領域）				
担当教員名	藤村 裕一, 藤原 伸彦, 泰山 裕				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション (moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む) を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

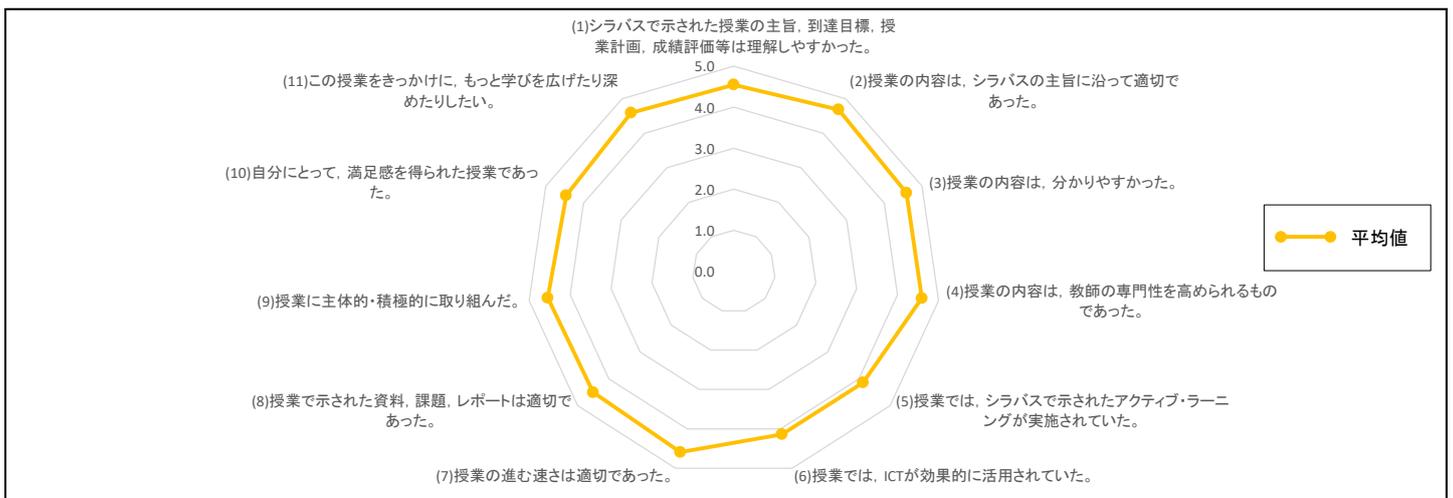
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	107	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	今日的な特別支援教育の課題とその対応	回答者数	22	人	
授業区分	共通科目（第5領域）				
担当教員名	伊藤 弘道, 大谷 博俊, 小倉 正義, 井上 とも子, 高原 光恵, 坂口 純子, 粟飯原 良造				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	12	10	0	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	15	7	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	14	7	1	0	0	4.6
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	14	7	1	0	0	4.6
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	8	4	1	0	4.1
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	9	10	1	1	1	4.1
(7)授業の進む速さは適切であった。	13	9	0	0	0	4.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	13	7	2	0	0	4.5
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	12	10	0	0	0	4.5
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	12	8	2	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	14	7	1	0	0	4.6



<教員のコメント>

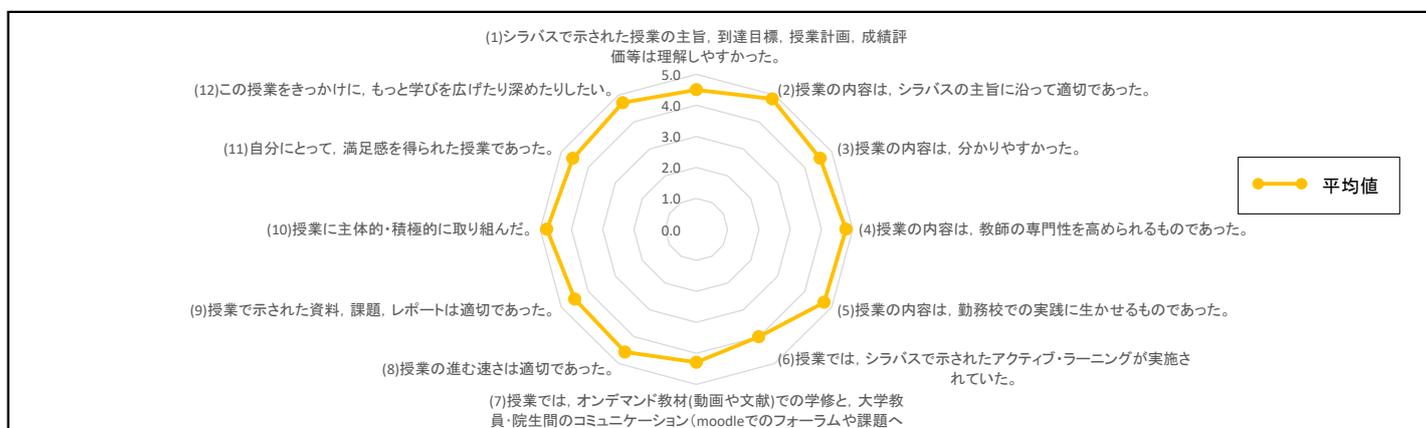
本授業では、今日的な特別支援教育の課題、特に発達障害に関して取り扱っている。本授業での院生の到達目標であるが、教育学・心理学・医学各分野の視座を得て「(1)発達障害のある児童生徒への実践経験を省察し、自身の実践の意味や課題を明らかにできること」、「(2)教育実践の充実・改善に必要な専門的知識と技能を活用できること」である。院生からの授業評価結果であるが、回答率が低い条件下ではあるが、各項目に渡り、平均値として概ね4点台であり、基本的には問題ない授業内容であったと考えられた。コロナ関連の感染予防と対話的な授業の両立・バランスは今後も課題であるが、今回の結果を参考に今後の授業改善に日々努めていきたい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	108	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	今日的な特別支援教育の課題とその対応			回答者数	14人
区分	共通科目（第5領域）				
担当教員名	伊藤 弘道, 大谷 博俊, 小倉 正義, 井上 とも子, 高原 光恵, 坂口 純子, 粟飯原 良造				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	8	5	1	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	12	2	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	9	4	1	0	0	4.6
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	11	3	0	0	0	4.8
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	10	4	0	0	0	4.7
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	9	1	1	0	4.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	7	5	1	1	0	4.3
(8)授業の進む速さは適切であった。	11	1	1	1	0	4.6
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	10	2	1	1	0	4.5
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	3	0	0	0	4.8
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	9	4	1	0	0	4.6
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	10	4	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

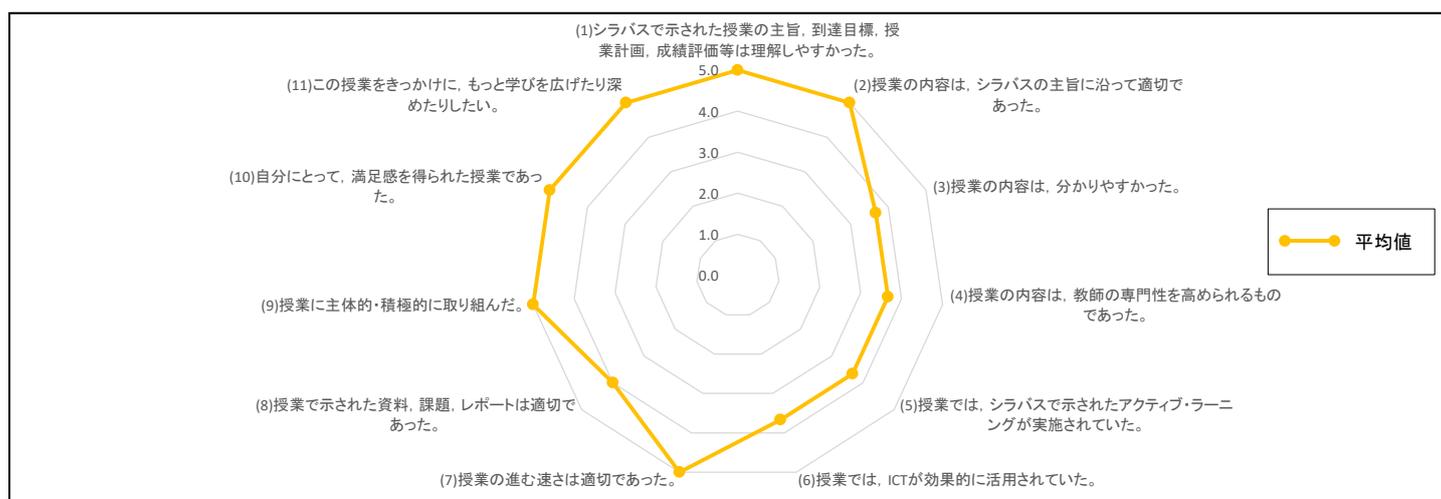
本授業では、今日的な特別支援教育の課題、特に発達障害に関して遠隔形式で取り扱っている。本授業での院生の到達目標であるが、教育学・心理学・医学各分野の視座を得て「(1)発達障害のある児童生徒への実践経験を省察し、自身の実践の意味や課題を明らかにできること」、「(2)教育実践の充実・改善に必要な専門的知識と技能を活用できること」である。院生からの授業評価結果であるが、回答率が高くない条件下ではあるが、各項目に渡り、平均値として概ね4点台であり、基本的には問題ない授業内容であったと考えられた。対面形式の同授業科目のアンケート調査結果との比較でも特に大きな差は認められなかった。今回の結果を参考に今後の授業改善に日々努めていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	109	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習 I 音楽	回答者数	3	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	鉄口 真理子, 森 正, 頃安 利秀, 山根 秀憲, 山田 啓明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	2	0	0	3.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	2	0	0	3.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	2	0	0	3.7
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	0	1	0	3.7
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	1	1	0	0	4.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

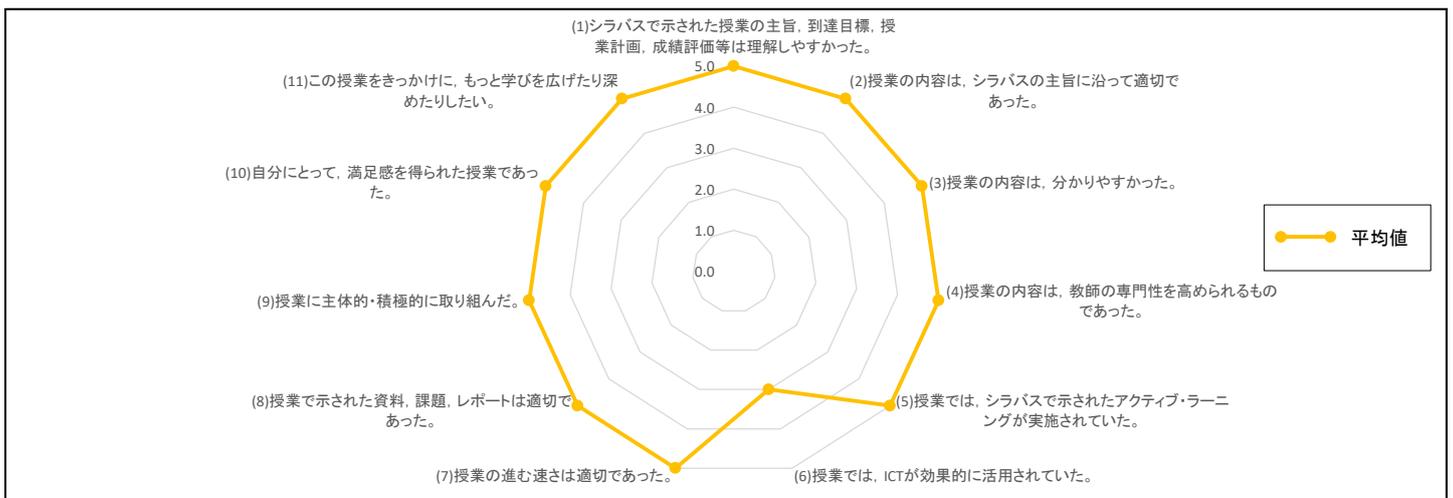
本授業は課題設定フィールドワークに向け、学校支援と音楽科授業との関連に関して文献購読から考察し、実践での子どもをどのように見たらよいか、その視点について検討する。加えて現段階での各自の問題意識に即した教材選択、模擬授業の構想、実際の模擬授業を組み込んでいる。その結果、項目(1)(2)(7)(9)(10)(11)に関しては適切という結果が得られた。(3)(4)(5)に関しては、学卒生、現職教員等、各自のニーズに応じた改善を検討したい。(8)に関しては、授業を通してMoodleに資料をまとめる等、学生がわかりやすいよう工夫していくことをコース内担当教員と情報共有していきたい。各担当の課題については学生の学修状況に応じて適正化をはかることが可能と考えている。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	110	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習 I 美術	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	山田 芳明, 栗原 慶, 鈴木 久人, 内藤 隆, 小川 勝, 山木 朝彦, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	1	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

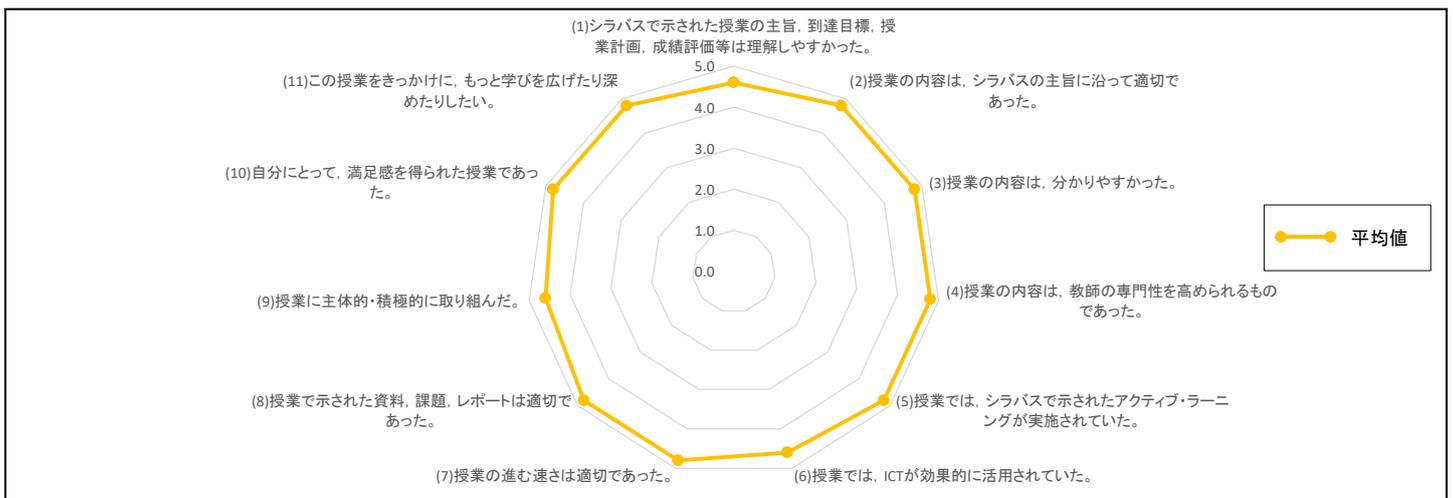
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	111	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習 I 国語	回答者数	5	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	幾田 伸司, 原 卓志, 余郷 裕次, 平川 恵実子, 構 大樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	2	0	0	0	4.6
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	2	0	0	0	4.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	2	0	0	0	4.6
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

本授業では模擬授業を課すなどの演習を取り入れ、個別班に分かれての授業作りを行ったこともあり、全体としては肯定的に評価されたと思う。受講者自身が主体的・積極的に取り組めたという実感を持ってたこと、個々の関心に沿った授業作りができたこと、学卒院生が大学教員や現職院生からの支援を受けられたことも、こうした評価の一因であろう。授業形態全般は、次年度以降も踏襲していきたい。

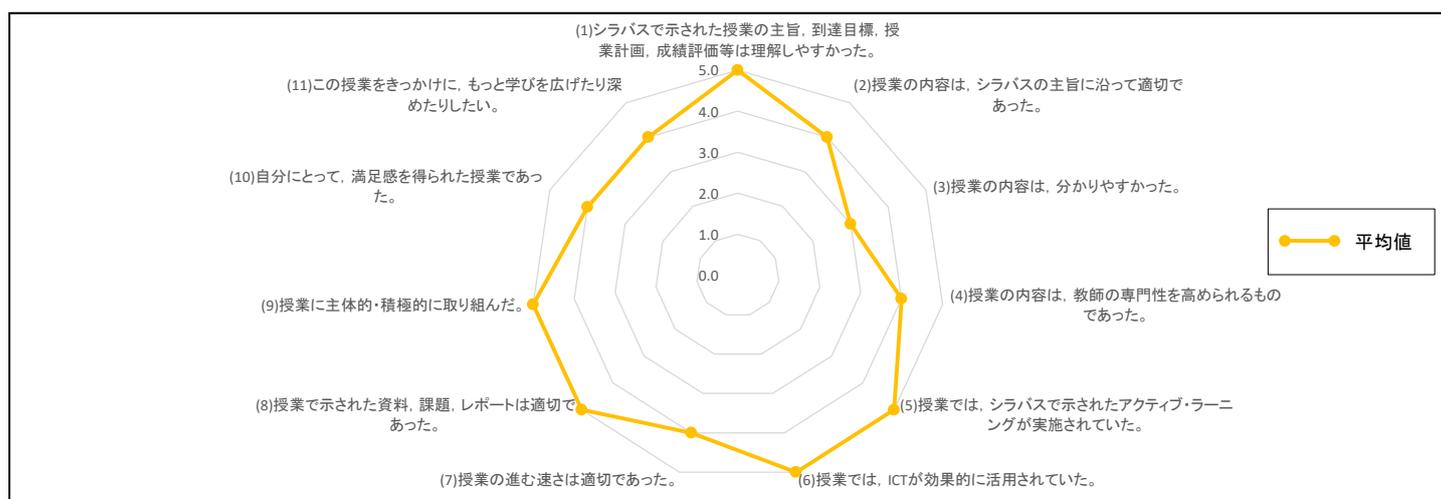
一方、シラバス、ICT活用については、課題があるわけではないが相対的には低かった。国語科の特性としてICT機器を積極的に取り入れる場面が多くはないこともあるが、検討の余地はある。模擬授業の実施をゴールとして演習・実践・討議を行うという流れを踏みながら、課題の内容や進め方について担当教員で検討し、次年度以降につなげたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	112	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習 I 英語	回答者数	1	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	山森 直人, 数下 克彦, 佐藤 美智子, ジェラード マーシェソ, 木口 圭子, 森山 俊成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	1	0	0	3.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	0	0	0	4.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	1	0	0	0	4.0



<教員のコメント>

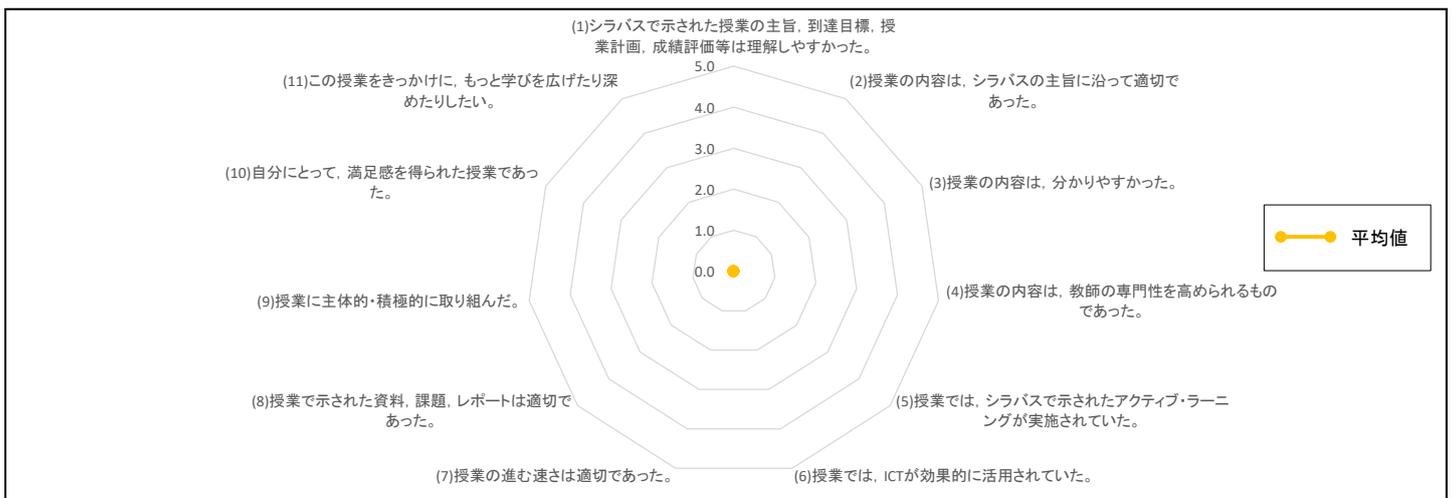
回答者数が少ないため, ここでは結果に基づく分析を控えたい。
 本授業は1年次のフィールドワークの事前指導に相当する授業であるが, どのような内容を扱うかについては, 検討が必要な部分である。現在のところ, 外国語（英語）教育の高度な実践力を育成するために, 後期の同科目Ⅱを含めて英語科教育コース教員全員で, 学生の2年間の学びの基盤を整えることを, 本授業の主要なコンセプトとしている。Ⅰでは, 特に1年次のフィールドワークに向け, 何を課題とするかを考えさせる授業を展開している。これまでの, 本授業担当の経験をふまえて, 学校の外国語（英語）科教育に求められる「高度な実践力」の意味を, コーススタッフで追究・共有し, 本授業を展開していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	113	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習 I 社会		回答者数	0	人
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	伊藤 直之, 青葉 暢子, 麻生 多間, 立岡 裕士, 原田 昌博, 井上 奈穂, 畠山 輝雄, 町田 哲, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

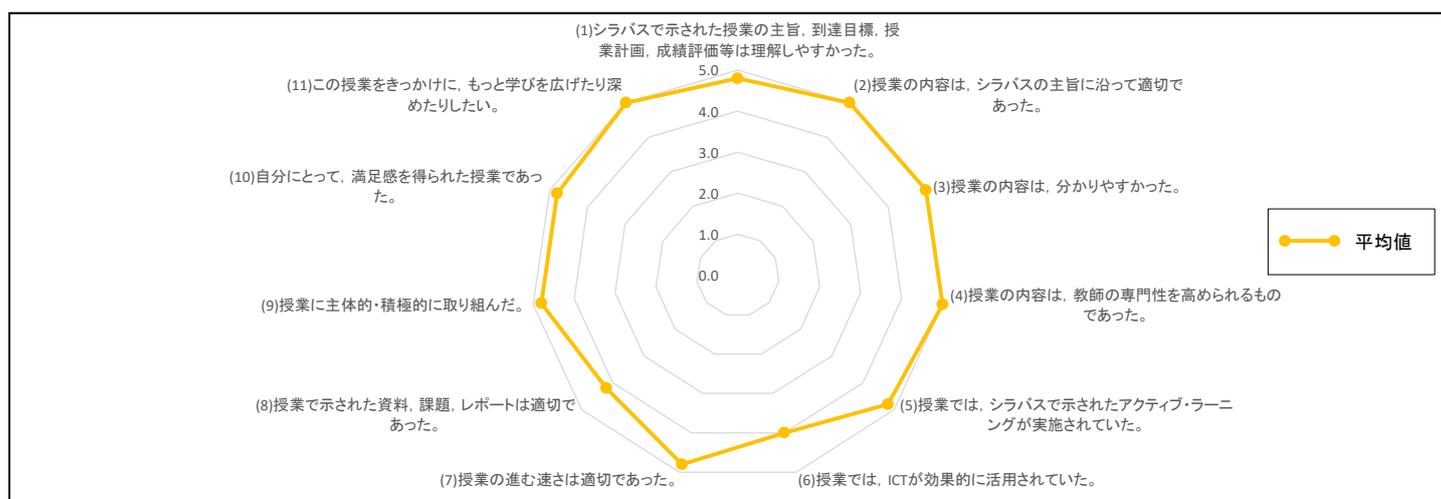
当該授業は社会科教育コースの全教員でゼミ指導学生対象に実施されており, そのアンケート記入が徹底していなかった。次年度には周知方法を改善したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	114	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅰ 数学	回答者数	5	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	秋田 美代, 佐伯 昭彦, 宮口 智成, 関 行宏, 早田 透, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	1	2	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	1	4.2
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

本授業の目的は、フィールドワークにおいて求められる、算数科・数学科の授業の構想、展開、省察の基礎を理解し、算数科・数学科における授業実践の在り方を理解することである。数学の認識特性を踏まえた学習指導理論を基に、教材研究と学習指導案の作成を行い、作成した学習指導案にしたがって模擬授業と模擬授業検討会を実施した。

各質問項目の評価平均値は4.2から5.0であった。受講者からは、授業についてのよかった点に対しては、「既習事項から自分で気付かせるためのアプローチを学ぶことができた」という意見があった。これらのことから、本年度の受講生については、児童生徒に自分で知識を創らせるための算数科・数学科の授業の構想、展開、省察の基礎を理解し、算数科・数学科における授業実践の在り方を理解し、授業の目的を概ね達成できたと考えられた。

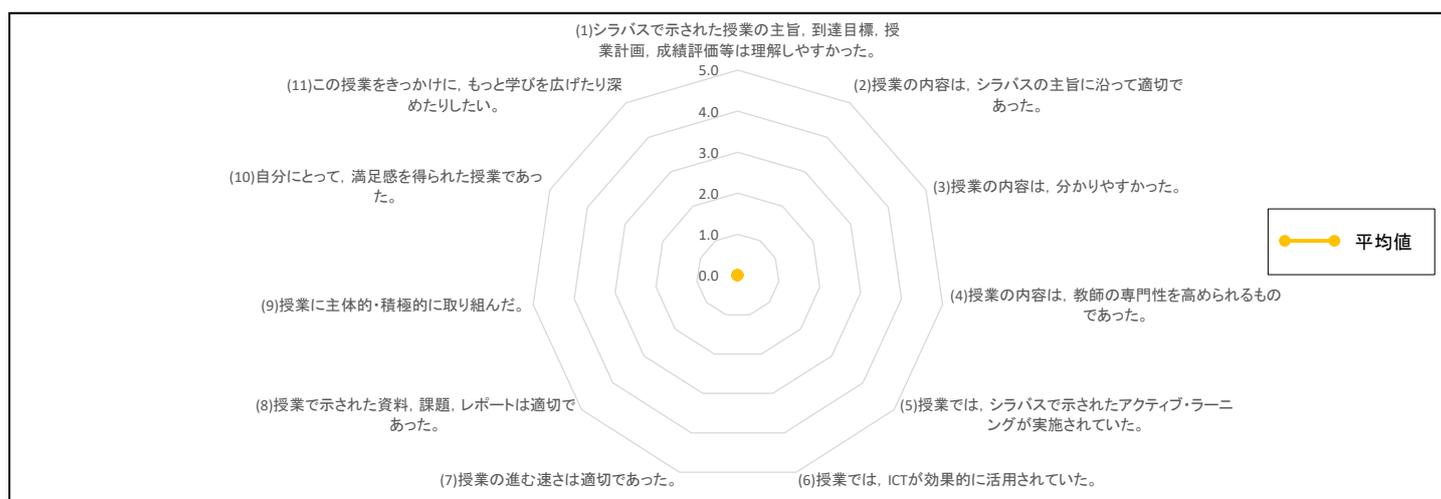
授業では、受講者が意見を十分に述べて互いの考えについて共通理解を図ることができていた。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	115	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習 I 理科	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	早藤 幸隆, 本田 亮, 武田 清, 佐藤 勝幸, 胸組 虎胤, 粟田 高明, 寺島 幸生, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

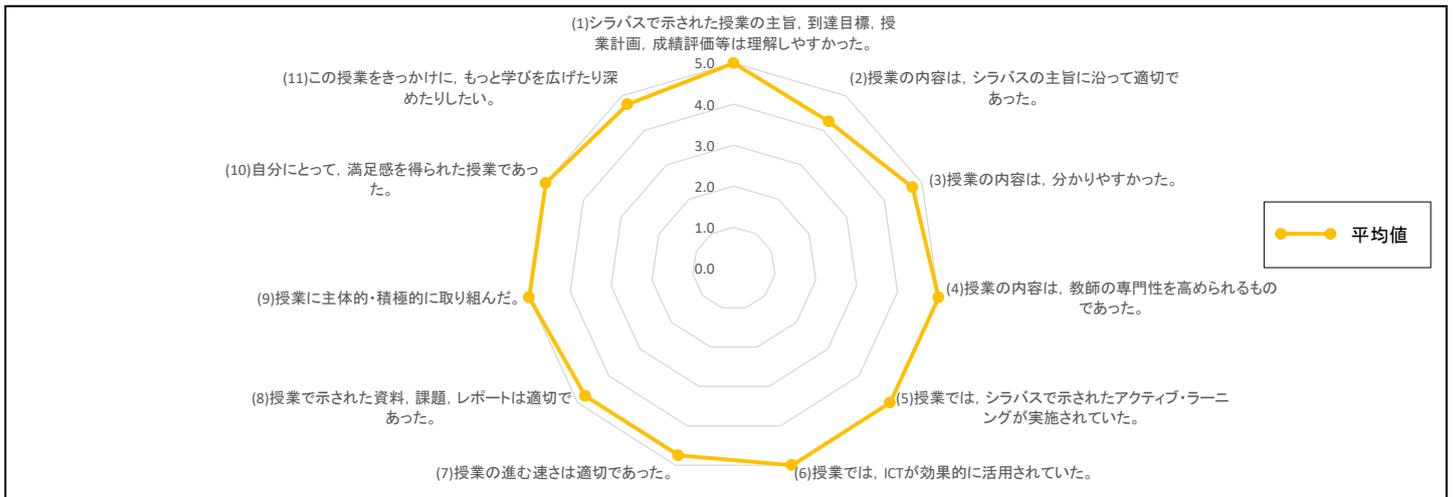
授業評価者の記入がないため, コメント不可能。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	116	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習 I 技術・工業・情報			回答者数	4人
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	米延 仁志, 伊藤 陽介, 曾根 直人, 宮下 晃一, 宮本 賢治, 阪東 哲也, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	1	1	0	0	4.3
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

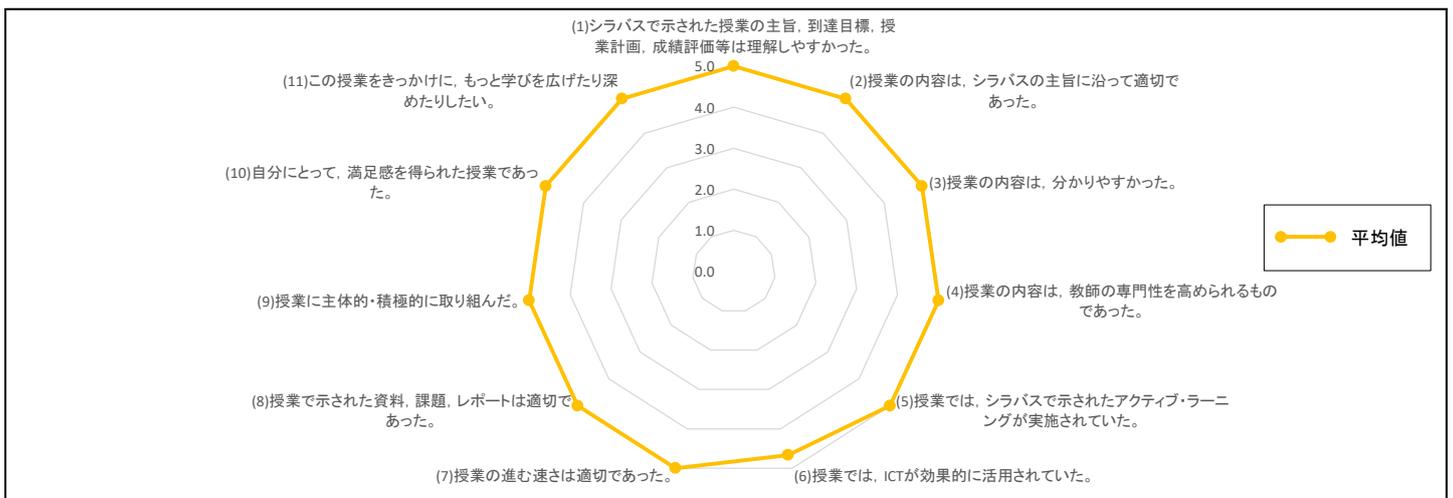
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	117	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習 I 家庭	回答者数	3	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	金 貞均, 坂本 有芳, 西川 和孝, 速水 多佳子, 福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	1	0	0	0	4.7
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

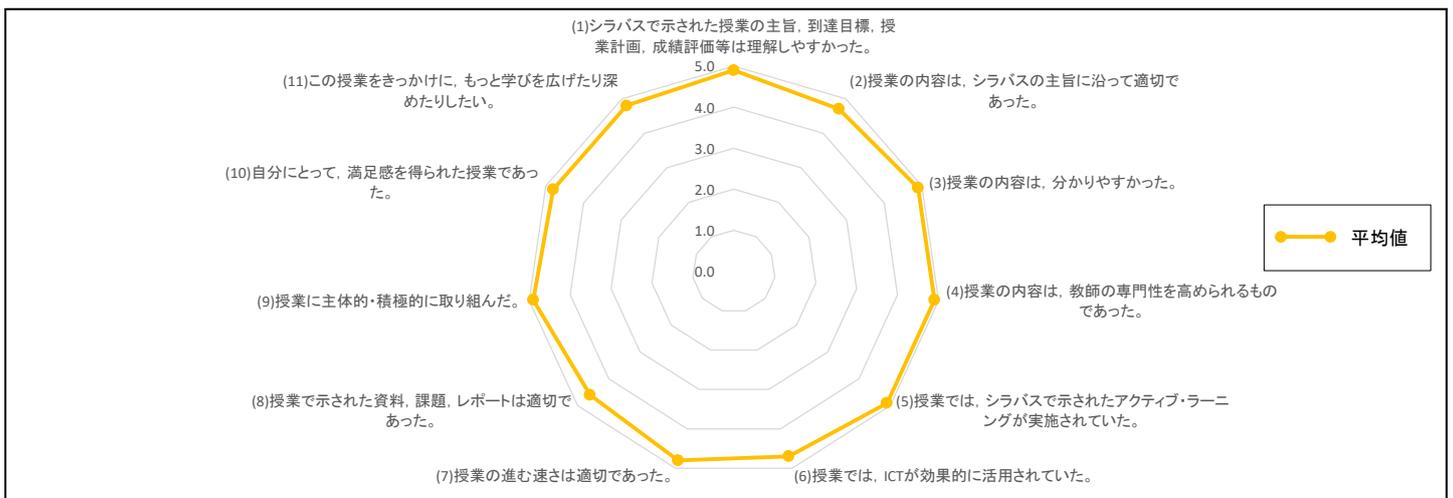
本授業では家庭科の専門領域別に学習指導案と教材を構想し、マイクロティーチングの実施とその後の授業検討を通して授業省察を行った。受講生ら同士の授業省察を通して自身の課題を明らかにし、他者の授業実践から学び合う、授業の全プロセスを通して授業実践力とチーム力を高め合うことができた。本授業に対する受講生らの評価は高く、授業成果に満足していた。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	118	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習 I 体育	回答者数	10	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	湯口 雅史, 松井 敦典, 南 隆尚, 田中 弘之, 藤田 雅文, 綿引 勝美, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	9	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	8	1	1	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	9	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	9	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	4.9
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	7	3	0	0	0	4.7
(7)授業の進む速さは適切であった。	8	2	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	7	2	1	0	0	4.6
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	8	2	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	8	2	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

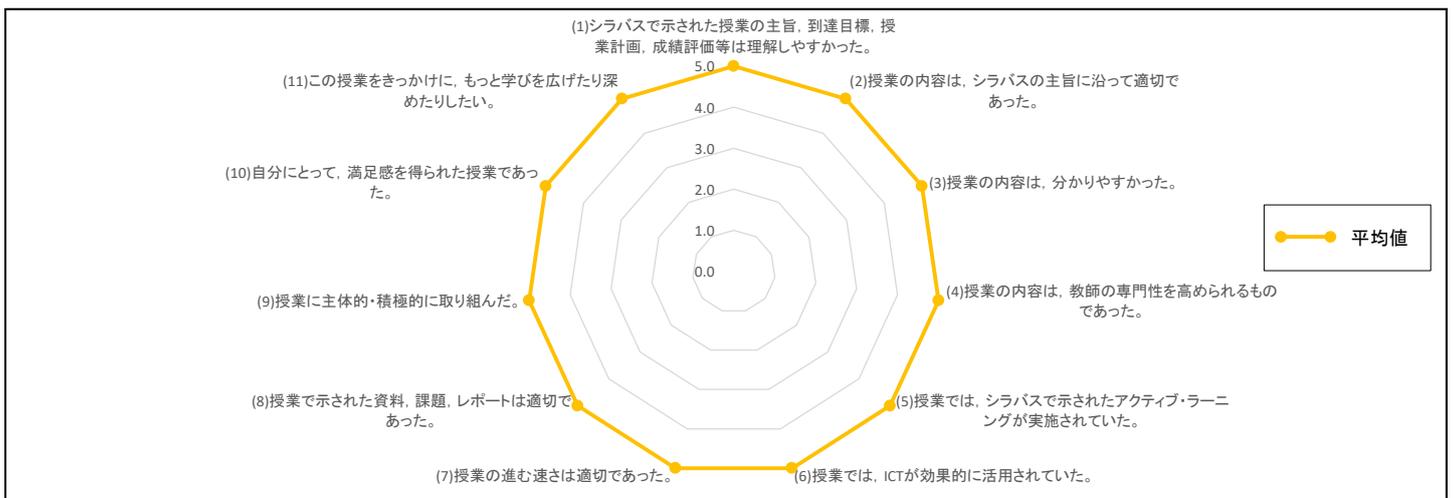
本授業は, オムニバス形式による保健体育科教育コースの先生方の, 競技専門の立場から運動をあまり得意としない子へのかかわりや運動技能を高めるための教材の考え方等, 多様な視点から体育・保健体育の授業を考えていくという, 学生主体の授業スタイルが授業評価に繋がったと考える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	119	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	学校支援のための教育総合実践演習Ⅰ 総合	回答者数	1	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	金野 誠志, 谷村 千絵, 坂本 有芳, 胸組 虎胤, 田村 和之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

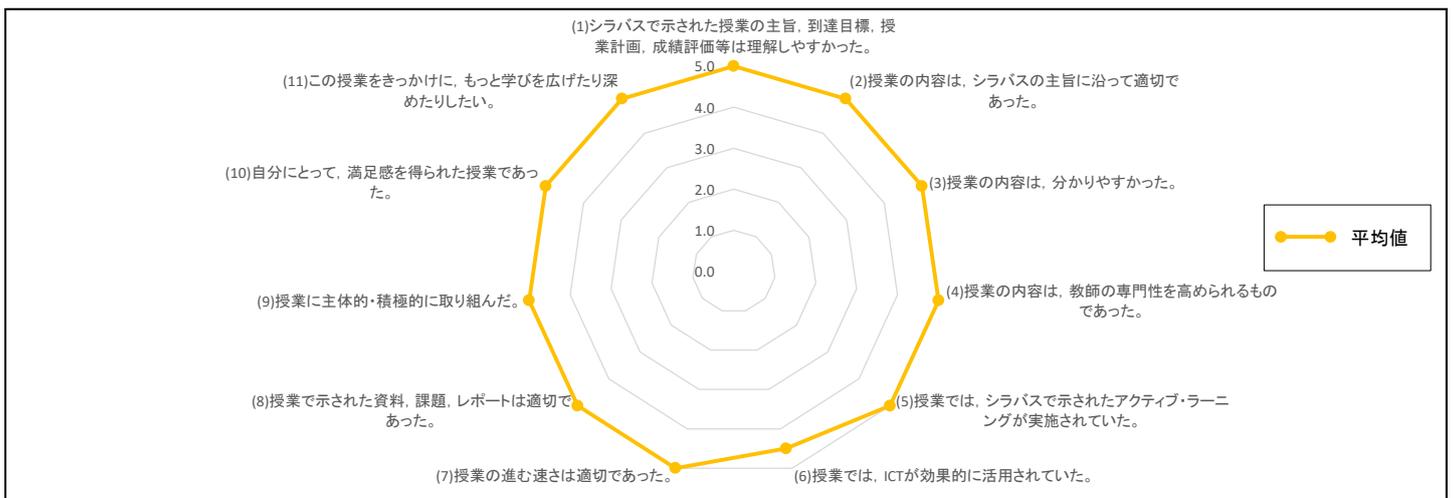
最終回の授業で授業評価について言及はしたが、受講者3名の内回答者1名であった。受講者は、いずれも現職教員であり、それぞれの研究の希望内容や方法に応じた資料を提示し、最終報告書を書くことを目指すために直結した授業内容を提供したつもりである。よって、参加者も主体的対話的で深い学びをできたものとする。同時に、学習する切実生も、自公社からは十分受け止めることができた。よって、この方向性は、次年度も継続して進めていきたいと考えている。受講者の校種が、小学校・中学校・高等学校と多様であったことも、自らの校種の常識を疑いつつ、新鮮な態度で授業に臨むことができた意義は大きかったと考える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	120	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 音楽	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	鉄口 真理子, 森 正, 頃安 利秀, 山根 秀憲, 山田 啓明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



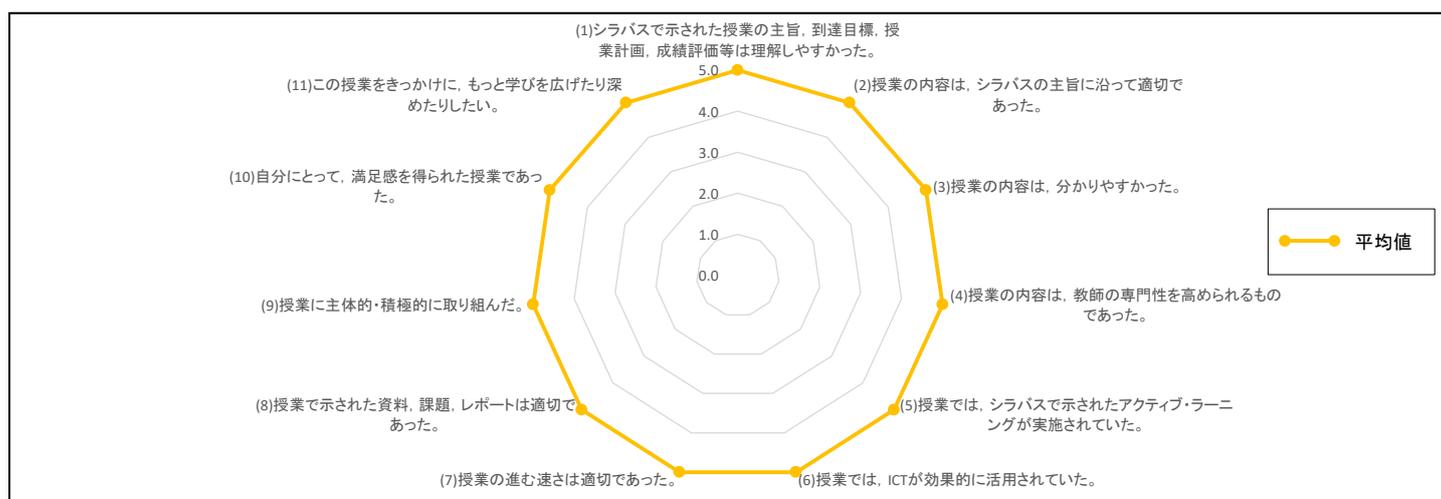
<教員のコメント>
 本授業は課題設定フィールドワークの省察および課題フィールドワークに向けた準備として、音楽科教育に関する文献購読、授業分析の演習に取り組んでいる。加えて次年度の課題設定とその課題に即した教材選択、模擬授業の構想、実際の模擬授業を組み込んでいる。特に最後の模擬授業ではコース全教員および学部生が参加し、子ども役としてのコメント、各教員からの専門性に応じたコメントを出すようにし、課題フィールドワークでの研究授業の準備・精選に務めた。その結果、(6)以外は適切という結果が得られた。ICTの活用は担当毎に違いがあるため、適切に活用していけるよう担当教員間で意識づけをはかりたい。また、履修者全員の回答が得られていないことから、次年度以降は授業時間内でアンケート回答時間を確保する等、工夫したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	121	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 美術		回答者数	1	人
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	山木 朝彦, 栗原 慶, 鈴木 久人, 内藤 隆, 山田 芳明, 小川 勝, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

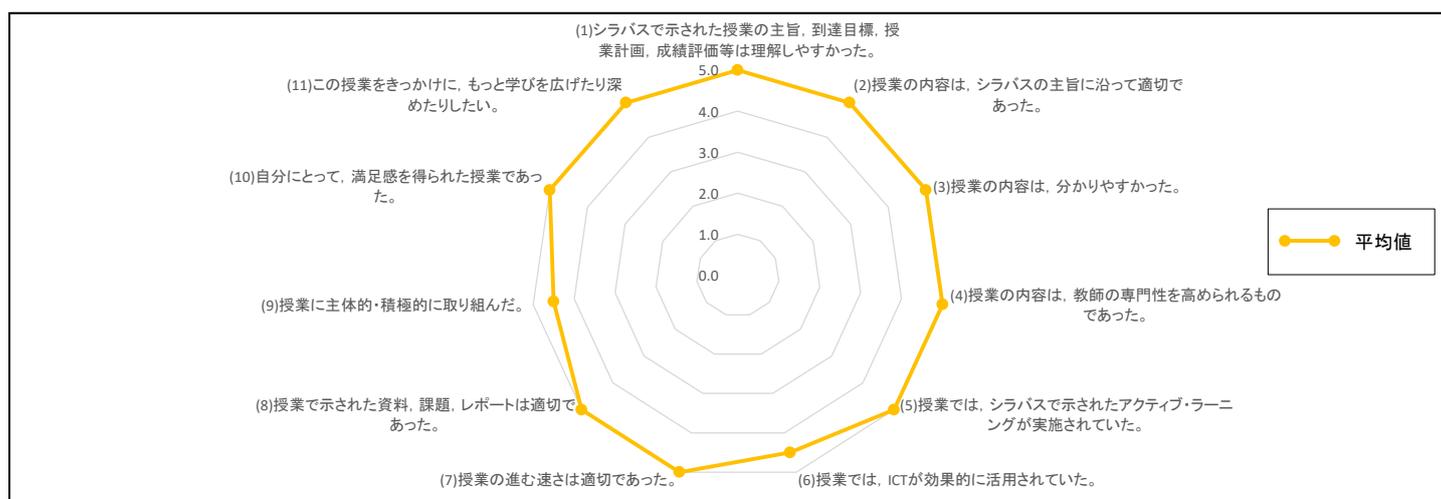
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	122	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 国語	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	幾田 伸司, 原 卓志, 余郷 裕次, 平川 恵実子, 構 大樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

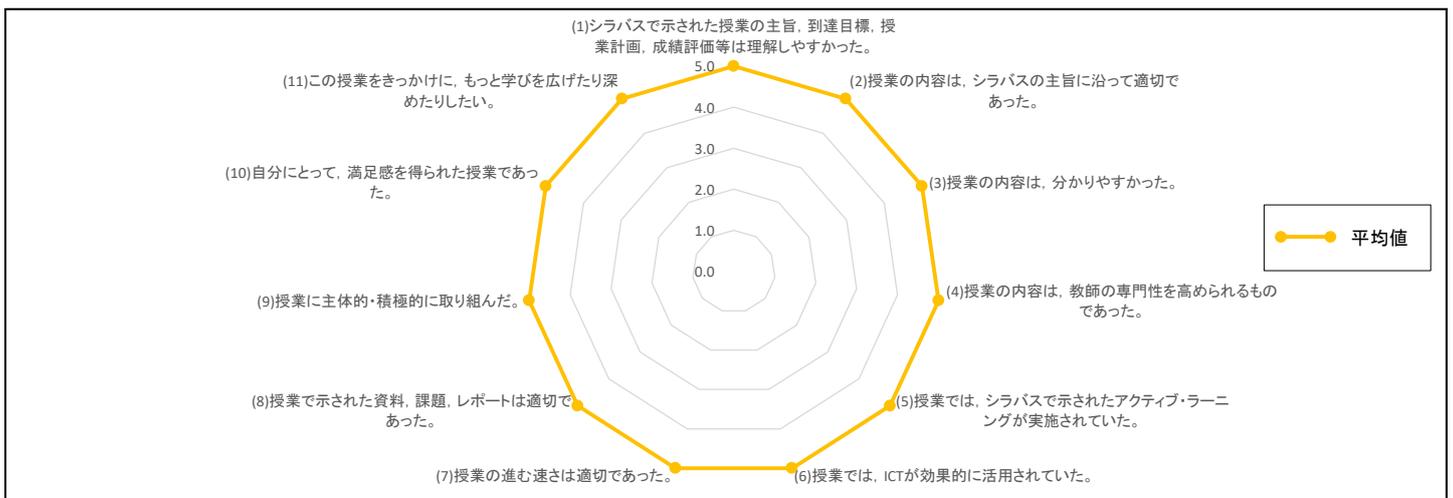
回答数が少なかったが、授業に対する総体的な評価は高かった。少人数であること、受講者自身の課題に沿った演習であることなどから、受講者が主体的・積極的に取り組めたことがこうした評価の一因であろう。今年度は現職院生、学卒院生が受講しており、異なった立場の院生間で交流できたこともよかったようである。個々の課題に沿って演習を進める授業形式は踏襲しながら、課題の内容や進め方について担当教員で検討し、次年度以降につなげたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	123	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 英語	回答者数	1	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	山森 直人, 数下 克彦, 佐藤 美智子, ジェラード マーシェソ, 木口 圭子, 森山 俊成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

回答者数が少ないため, ここでは結果に基づく分析を控えたい。

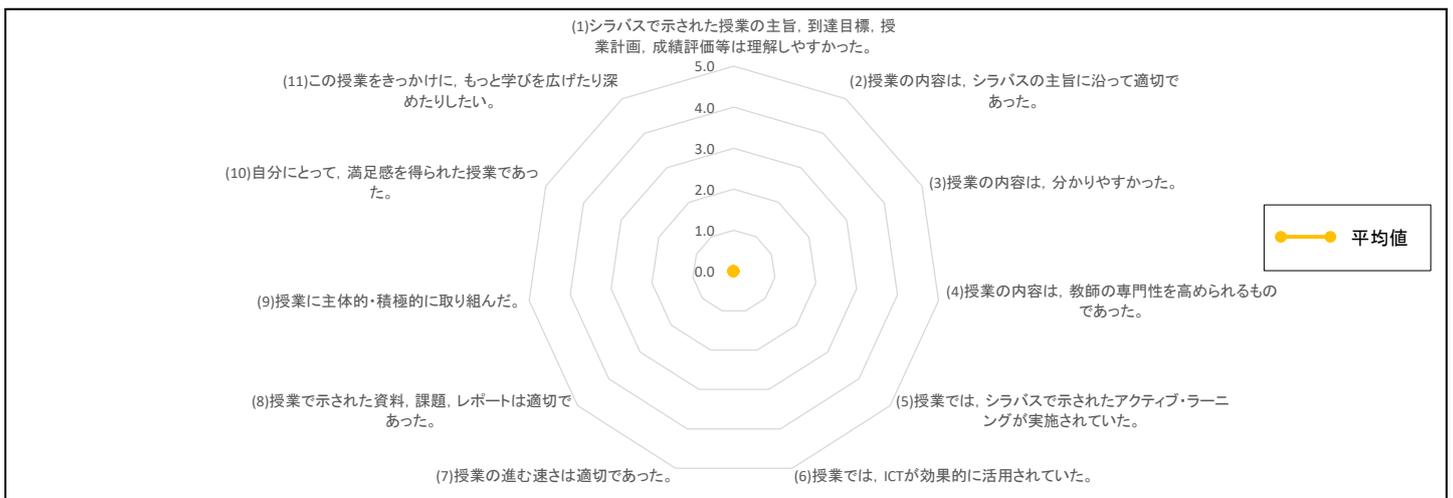
本授業は1年次のフィールドワークの事後指導に相当する授業であるが, どのような内容を扱うかについては, 検討が必要な部分である。現在のところ, 外国語(英語)教育の高度な実践力を育成するために, 前期の同科目Ⅰを含めて英語科教育コース教員全員で, 学生の2年間の学びの基盤を整えさせることを, 本授業の主要なコンセプトとしている。Ⅱでは, 特に1年次のフィールドワークでの経験をふまえ, 2年次のフィールドワークにおける実践・研究の方向づけを行っている。学校の外国語(英語)科教育に求められる「高度な実践力」の意味をコーススタッフで追究・共有し, 本授業を展開していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	124	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 社会	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	伊藤 直之, 青葉 暢子, 麻生 多間, 立岡 裕士, 原田 昌博, 井上 奈穂, 畠山 輝雄, 町田 哲, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

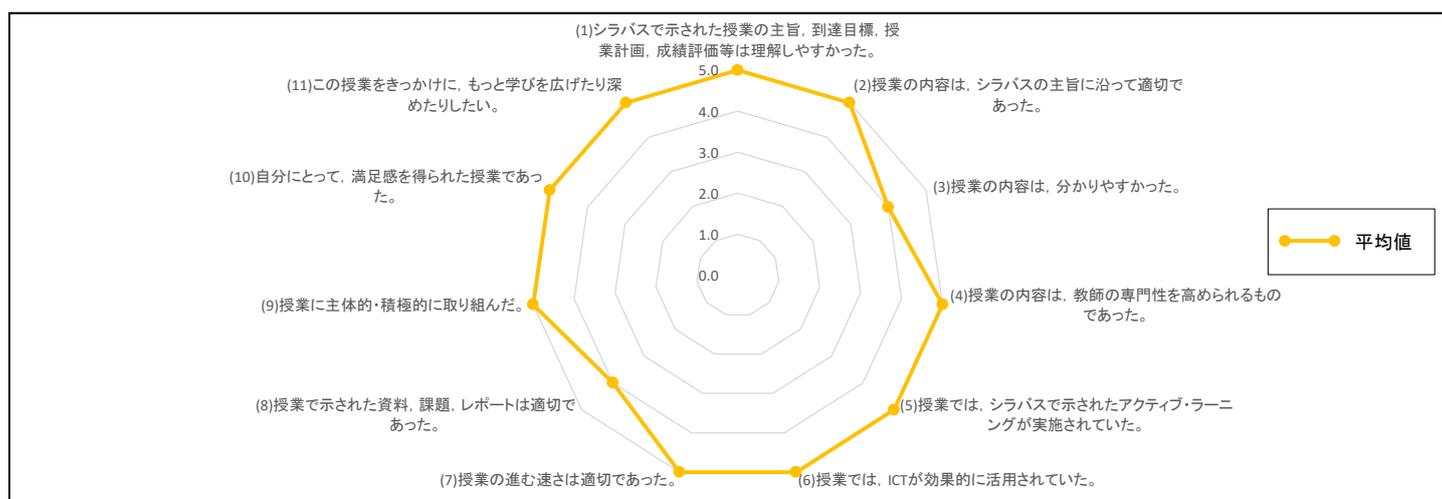
当該授業は社会科教育コースの全教員でゼミ指導学生対象に実施されており, そのアンケート記入が徹底していなかった。次年度には周知方法を改善したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	125	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 数学	回答者数	1	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	佐伯 昭彦, 秋田 美代, 宮口 智成, 関 行宏, 早田 透, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

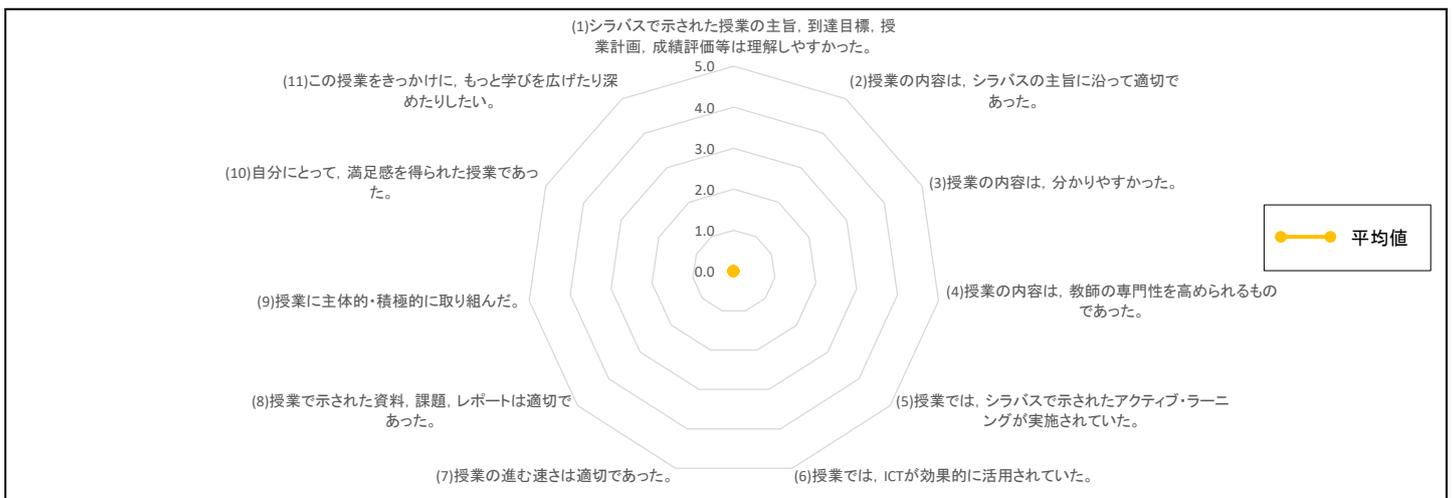
本講義では、数学書の輪読を通じて、より高度な立場から小・中・高の教科書の内容を精査するという、教科専門的な視点から見ても専門性の高い内容が取り扱われた。それにも関わらず、良い評価が得られたのは、将来教職に就くにあたって自身の専門性の不足・強化の必要性に学生自身が気づき得たことが主な要因であると考えている。自由記述では「毎回の発表と授業後のレポートが大変だったが、かなり勉強する機会になったので結果的に良かった」があり、教職大学院の内容は教授法がメインであるべきことは論を俟たないが、学生自身は教科専門的な内容に関する専門性も身につけたいという意向をもっていることがこの記述から読み取れる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	126	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 理科		回答者数	0	人
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	佐藤 勝幸, 早藤 幸隆, 本田 亮, 武田 清, 胸組 虎胤, 粟田 高明, 寺島 幸生, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

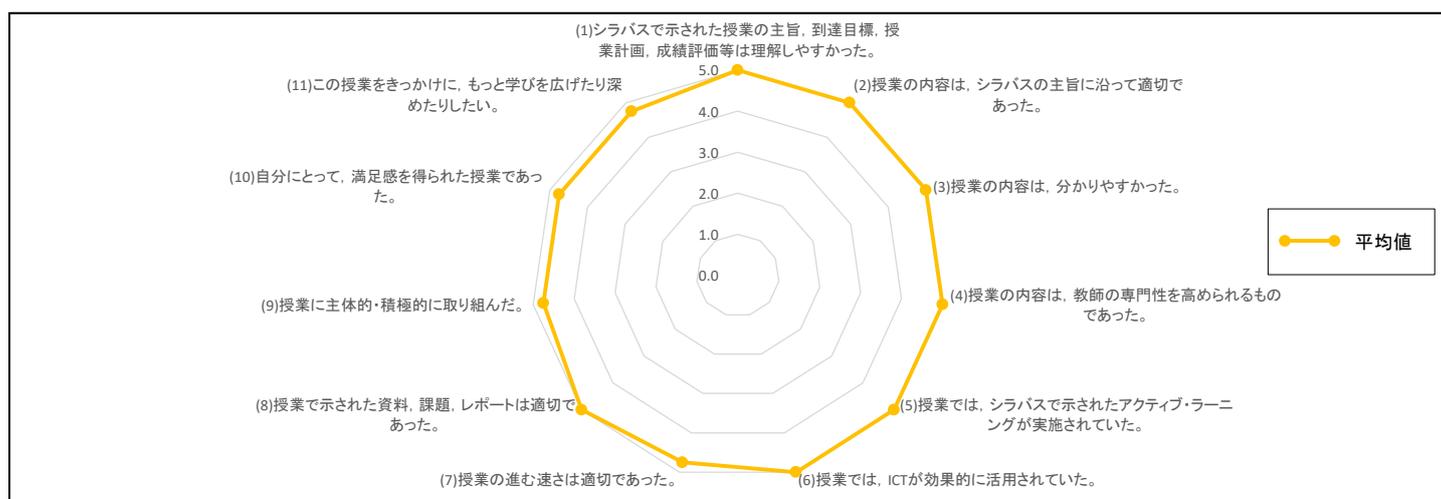
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	127	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 技術・工業・情報		回答者数	4	人
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	阪東 哲也, 米延 仁志, 伊藤 陽介, 曾根 直人, 宮下 晃一, 宮本 賢治, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

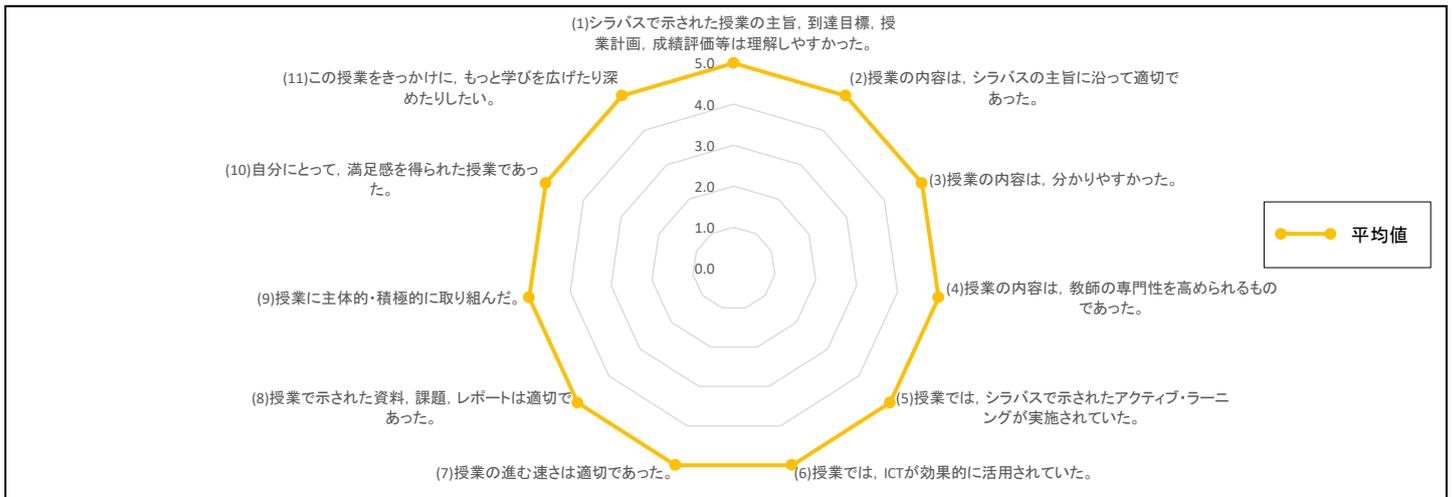
全体的に高評価であった。自身が取り組んでいる教育研究を評価できるように, 授業内容を工夫していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	128	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 家庭	回答者数	4	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	西川 和孝, 金 貞均, 坂本 有芳, 速水 多佳子, 福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



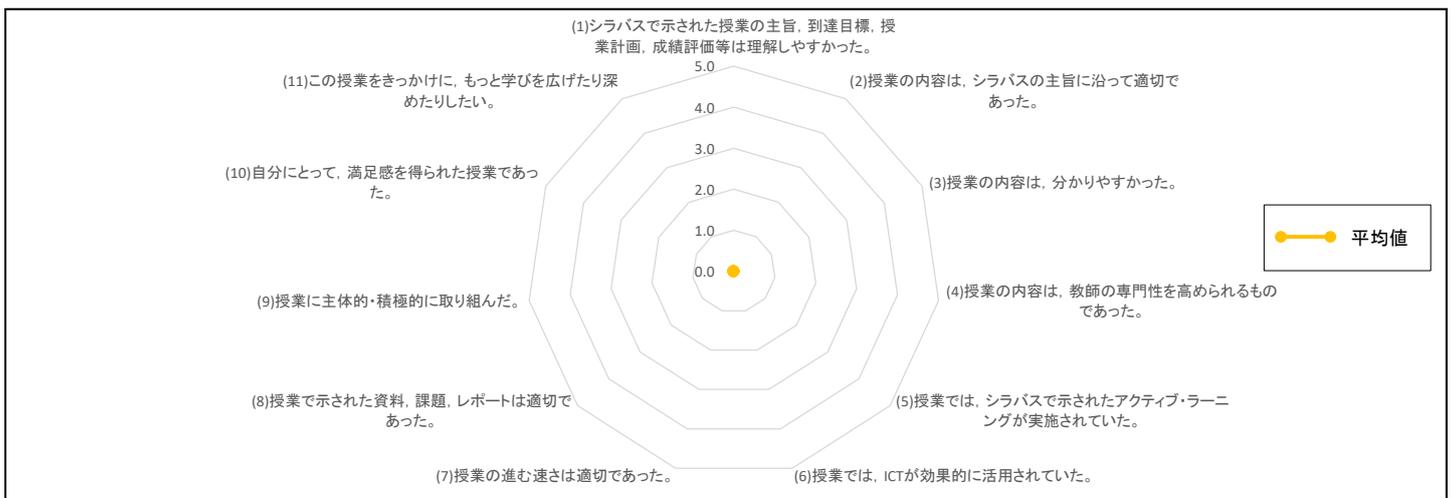
<教員のコメント>
 すべての質問項目が5点だったため、特に問題ないと思われる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	129	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	学校支援のための教科教育実践演習Ⅱ 体育			回答者数	0 人
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	湯口 雅史, 松井 敦典, 南 隆尚, 田中 弘之, 藤田 雅文, 綿引 勝美, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

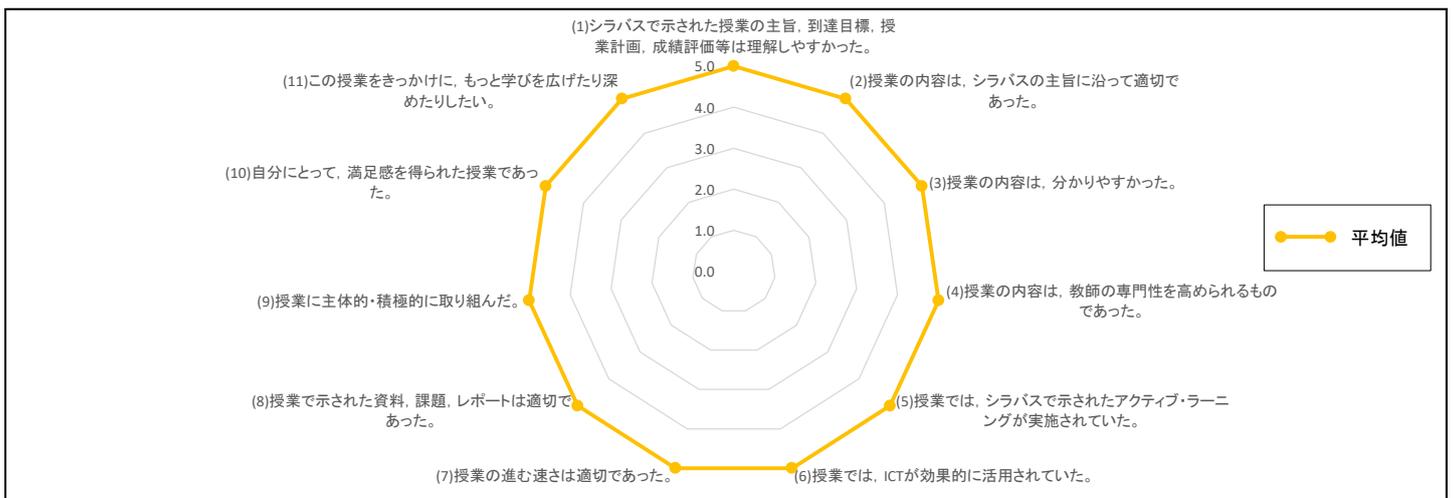
ゼミ単位で, F Wで得た知見をまとめ成果報告書に生かせるよう指導している。12月に合同ゼミを実施し, 成果報告書作成について意見交換を行い, まとめる見通しと課題を共有した。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	130	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	学校支援のための教育総合実践演習Ⅱ 総合	回答者数	1	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	田村 和之, 谷村 千絵, 金野 誠志, 坂本 有芳, 胸組 虎胤				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

本年度から始まった新しい授業であり、しかも本年度はストレートの学生がおらず、現職教員3名での授業となった。学外における様々な教育活動に参加・参観することで、どのように指導や支援をしていくかを実際に学生に体験してもらい、その後の授業で参加者した学生が感じたこと・学んだことを発表してもらい、教員も含めてディスカッションを行った。

学校現場とは違う雰囲気や受講生（現職教員）が普段指導している児童・生徒と違う年齢層ということもあり、学生にとっては非常に有意義な授業となったようである。

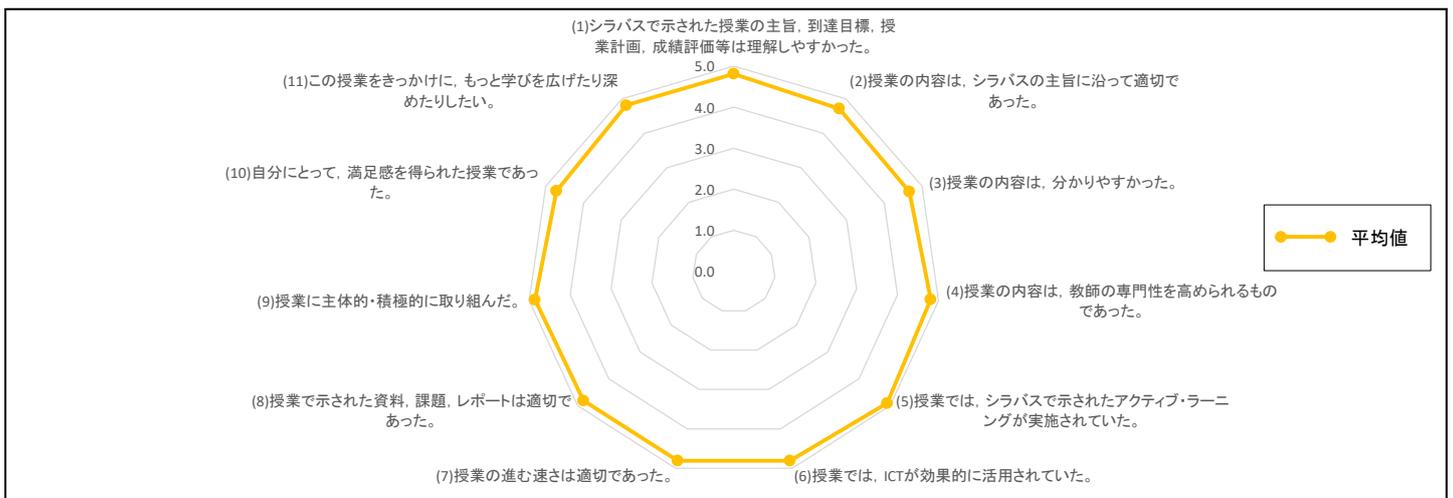
来年度は受講生がガラッと変わり、現職教員はいない代わりに、全員がストレートの学生となるので、授業内容をもう一度確認して工夫を行ってきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	131	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	チーム総合演習（教育課題解決のためのプランニング）		回答者数	21	人
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	前田 洋一, 久我 直人, 大林 正史, 芝山 明義, 竹内 敏, 藤田 完, 池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 皆川 直凡, 泰山 裕				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	17	4	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	15	6	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	15	5	1	0	0	4.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	18	2	1	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	2	0	0	0	4.9
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	18	2	1	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	18	2	1	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	18	2	1	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	19	1	1	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	16	4	1	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	18	2	1	0	0	4.8



<教員のコメント>

評価平均値はどの項目も4.7以上であった。受講生の満足度の高さがうかがえる。授業はPBLをベースに行った。自由記述には、「成人学習における理想的なPBLが展開された授業だった。自己決定の場があり、協働力を高める機会があり、試行錯誤する場面があり、と自分が実践するときのヒントになる仕掛けがたくさんちりばめられていた。」とありようにその効果が大きいことが分かる。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	132	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	教育課題探究	回答者数	0	人	
区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	池田 誠喜, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子, 塩路 晶子, 久我 直人, 前田 洋一, 大林 正史, 芝山 明義, 竹内 敏, 藤田 完, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 藤村 裕一, 竹内 敏, 藤田 完, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 藤村 裕一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

授業評価について、しっかりとしたアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価回答がなく、次年度改善したい。授業方法としては、コースごとにゼミナール形式等様々な方法で授業を実施している。そのため、授業評価項目に沿った一律な授業評価が適当であるかという課題があり、次年度以降、授業評価について検討したい。本授業は、実践研究および最終成果報告書の作成にかかわり、他の科目（洋二・学校教育リフレクション、教育実践研究1）と連動した目標を設定しているため、各授業の評価とともに統合した評価を実施する必要があり、その点についても実現するよう整理していきたい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	133	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	幼児・学校教育リフレクション	回答者数	0	人	
区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	池田 誠喜, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子, 塩路 晶子, 久我 直人, 前田 洋一, 大林 正史, 芝山 明義, 竹内 敏, 藤田 完, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 藤村 裕一, 竹内 敏, 藤田 完, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 藤村 裕一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

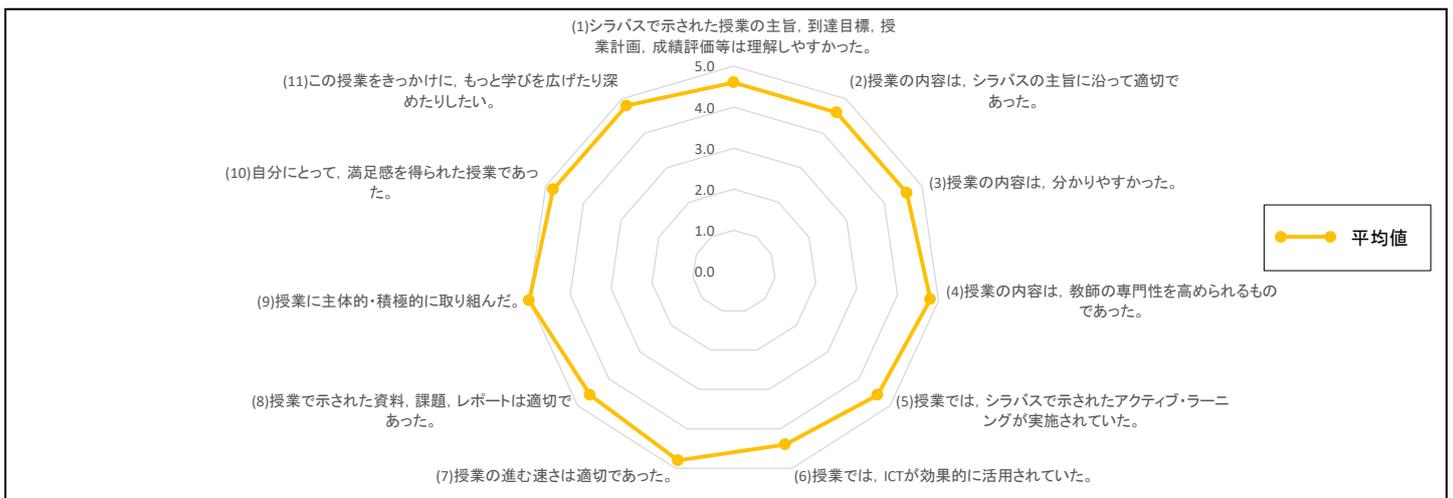
授業評価について、しっかりとアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価回答がなく、次年度改善したい。授業方法としては、コースごとにゼミナール形式等様々な方法で授業を実施している。そのため、授業評価項目に沿った一律な授業評価が適当であるかという課題があり、次年度以降、授業評価について検討したい。本授業は、実践研究および最終成果報告書の作成にかかわり、他の科目（教育第探究、教育実践研究1）と連動した目標を設定しているため、各授業の評価とともに統合した評価を実施する必要があり、その点についても実現するよう整理していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	134	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	教職協働実践演習 I 特別支援	回答者数	5	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	井上 とも子, 伊藤 弘道, 大谷 博俊, 小倉 正義, 高原 光恵, 坂口 純子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	2	0	0	0	4.6
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	2	0	0	0	4.6
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	2	0	0	0	4.6
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	0	0	4.6
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	3	0	0	0	4.4
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	2	0	0	0	4.6
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

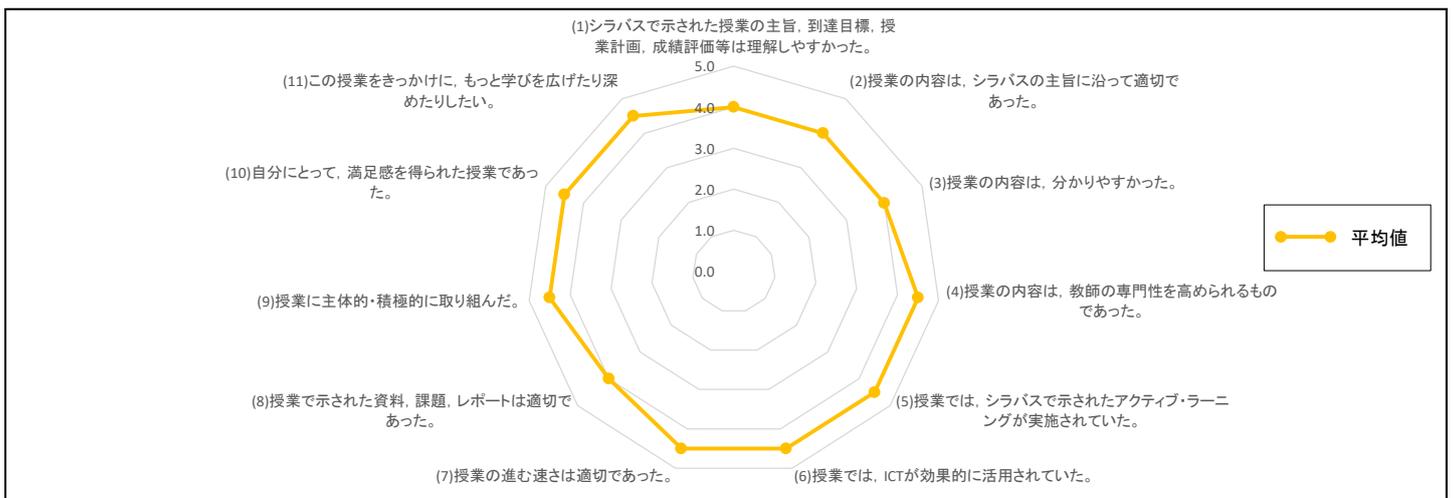
評価点についてどの項目も4 or 5であり、授業として実習として満足してもらえたと考えられる。この高い評価点は、授業の構成のみならず、院生一人一人が熱心にかつ、積極的に取り組んだという評価であることにほかならない。特に通級による指導実習はほぼ1年間に渡り、保護者や教員の参観のもとに実習しなければならず毎回緊張を強いられると共に準備が怠れない心理的圧迫もあったに違いない。今年度最後の通級指導実習であったため、実習中のカンファレンスなどに教員の思いも込めた授業となり、教材教具の片付けについても、非常にチームワークよく、積極的に力を発揮しての実習となったことが、今後の教育現場での活躍に発展していくことを期待せざるを得ない。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	135	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	教職協働実践演習 I 幼児	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	木村 直子, 塩路 晶子, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	2	0	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	2	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	2	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	1	0	0	0	4.5
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	2	0	0	0	4.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	1	0	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	1	0	0	0	4.5



<教員のコメント>

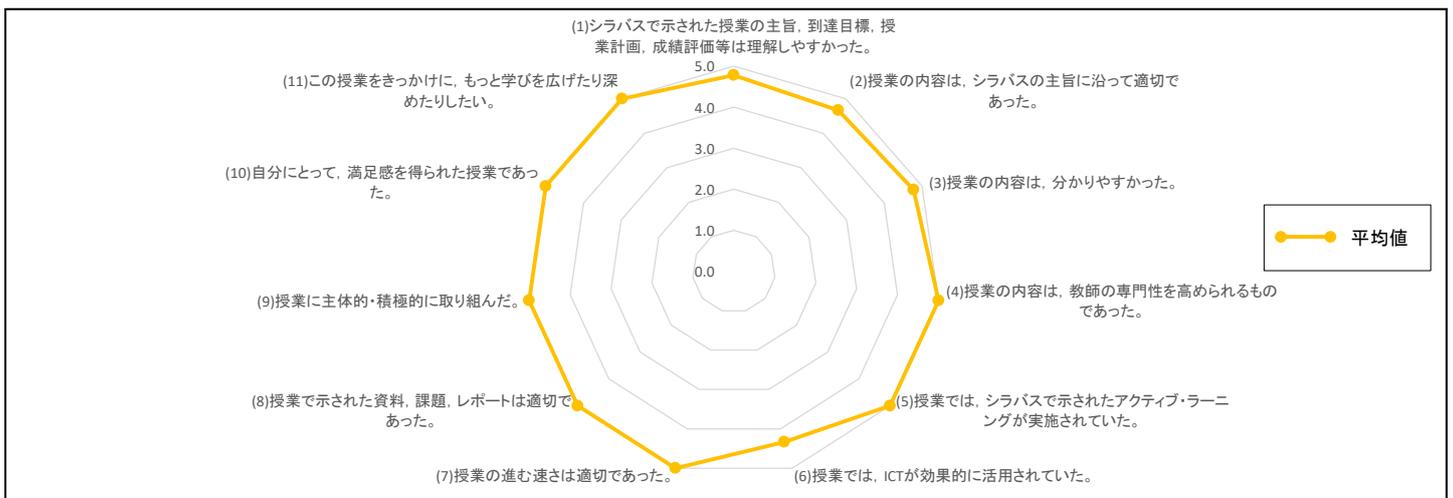
本授業は、教職協働力を育成することを目的に、学卒院生と現職院生が協働して保育実践に取り組んだ。今年度は、通学は学卒院生のみであったため、遠隔の同授業を受講する院生との協働を行うことにした。通学の院生は、保育に参加観察し、子ども理解を深めたり、教材研究を行ったり、指導案の作成等にも取り組んだ。遠隔の現職院生は、学卒院生の記録や教材研究に助言指導をし、若手保育者との協働のあり方を中心に学んだ。遠隔院生と通学院生の事例や記録、教材研究を通じた協働は、非常に実践的で創造的なものとなった。その結果、シラバス等で示していた授業の主旨や目的を超え、発展的な内容となった。この点が学生にとってシラバス等で示された授業の主旨や目的と自らがやっている課題の繋がりが分かりづらくなったと考える。授業最終回に学生とともに、取り組んだ課題を振り返り、何を学んだのかを明確化する時間を持つことができれば、さらに学びが深まったと反省する。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	136	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	教職協働実践演習 I 教職系_特支・幼児除	回答者数	9	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	北濱 亮, 久我 直人, 前田 洋一, 大林 正史, 芝山 明義, 竹内 敏, 藤田 完, 池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 皆川 直凡, 泰山 裕, 川上 綾子, 木下 光二, 葛上 秀文, 皆川 直凡, 泰山 裕, 川上 綾子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	8	0	1	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	7	1	1	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	7	2	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	9	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	2	2	0	0	4.3
(7)授業の進む速さは適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	9	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	9	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

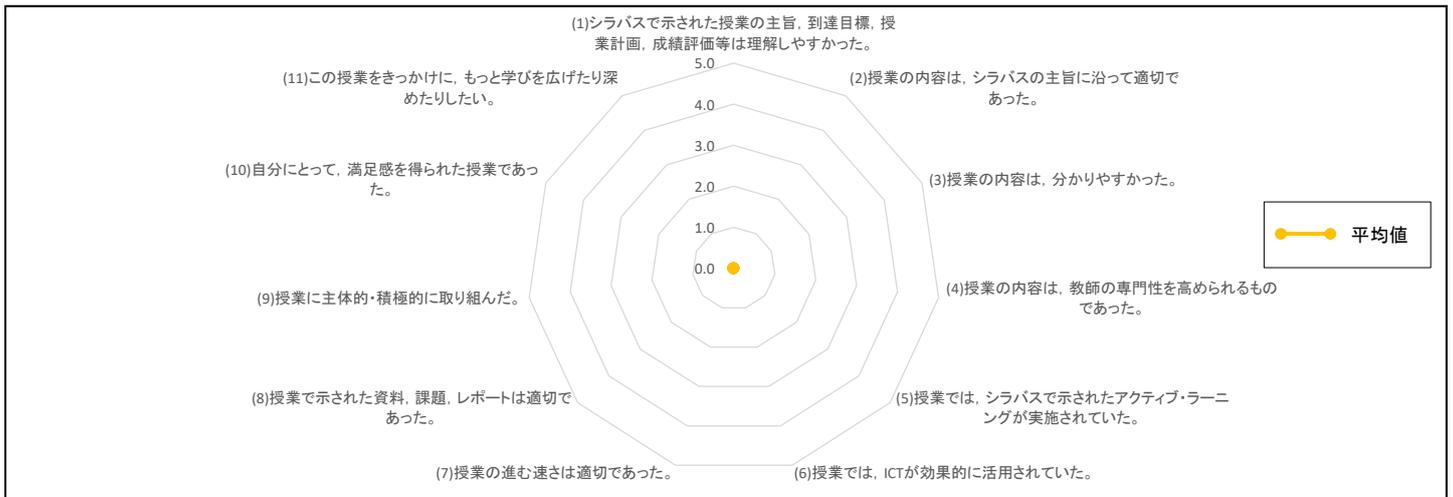
平均値が約4.8と高く, 記述内容は肯定的な意見ばかりであった。来年度も引き続き, 模擬授業や授業検討会を実施しながら協働力を高めていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	137	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	教職協働実践演習 I 遠隔・幼児	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	塩路 晶子, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

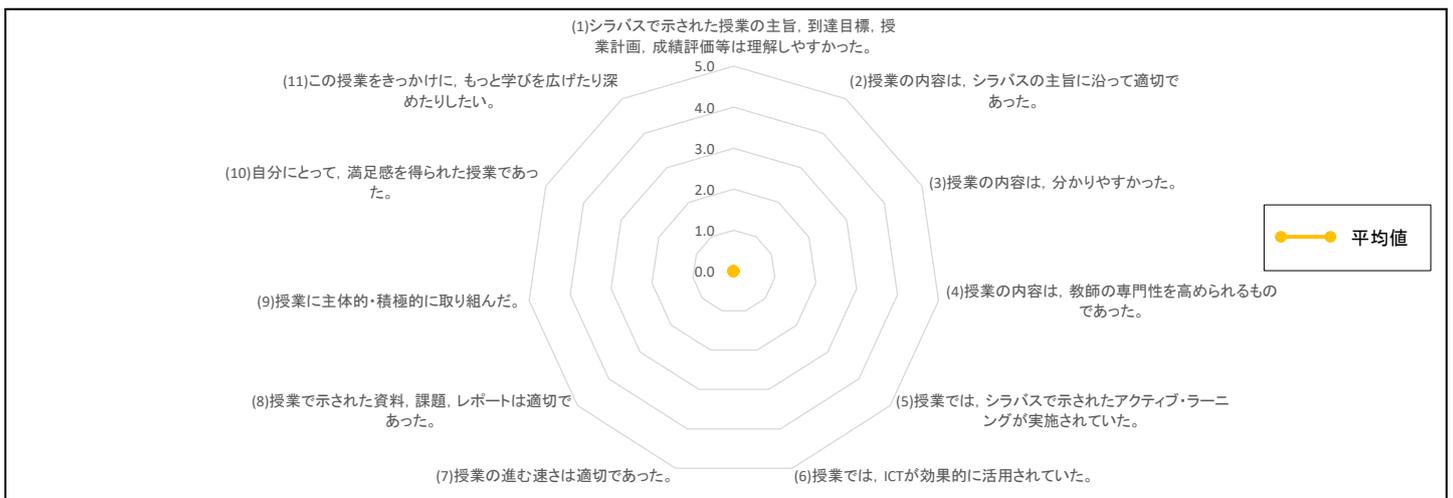
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	138	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	教職協働実践演習 I 遠隔・現職3コース		回答者数	0	人
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	泰山 裕, 久我 直人, 前田 洋一, 阪根 健二, 藤井 伊佐子, 大林 正史, 芝山 明義, 竹内 敏, 藤田 完, 池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 藤村 裕一, 皆川 直凡, 西村 公孝, 小坂 浩嗣				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

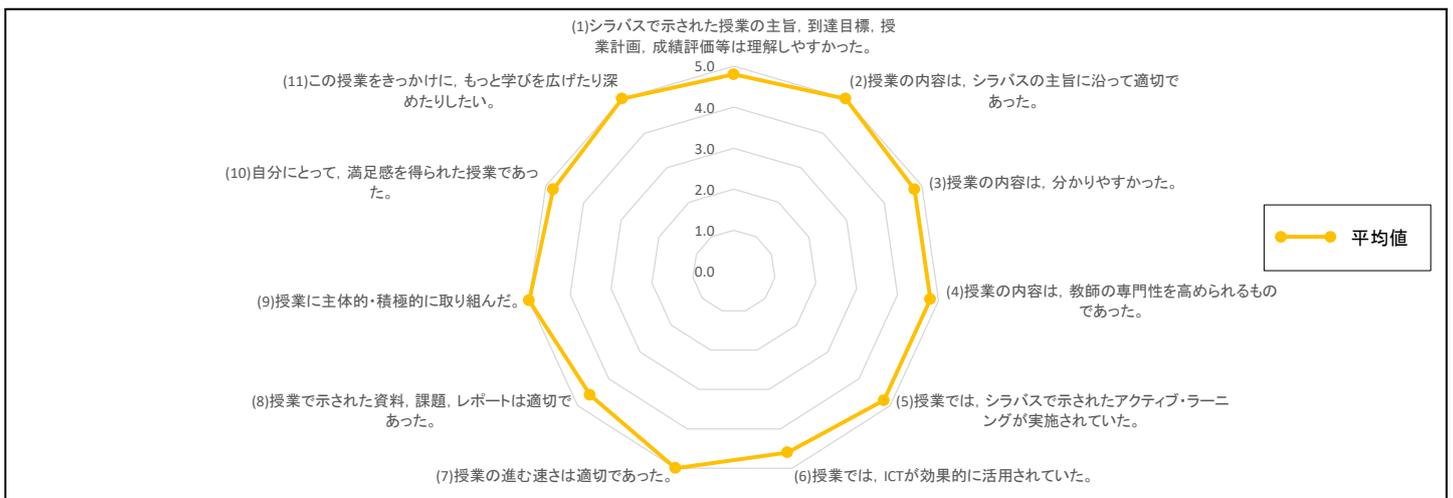
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	139	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	教職協働実践演習Ⅱ 特別支援	回答者数	5	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	大谷 博俊, 伊藤 弘道, 小倉 正義, 井上 とも子, 高原 光恵, 坂口 純子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	2	0	0	0	4.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	2	0	0	0	4.6
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

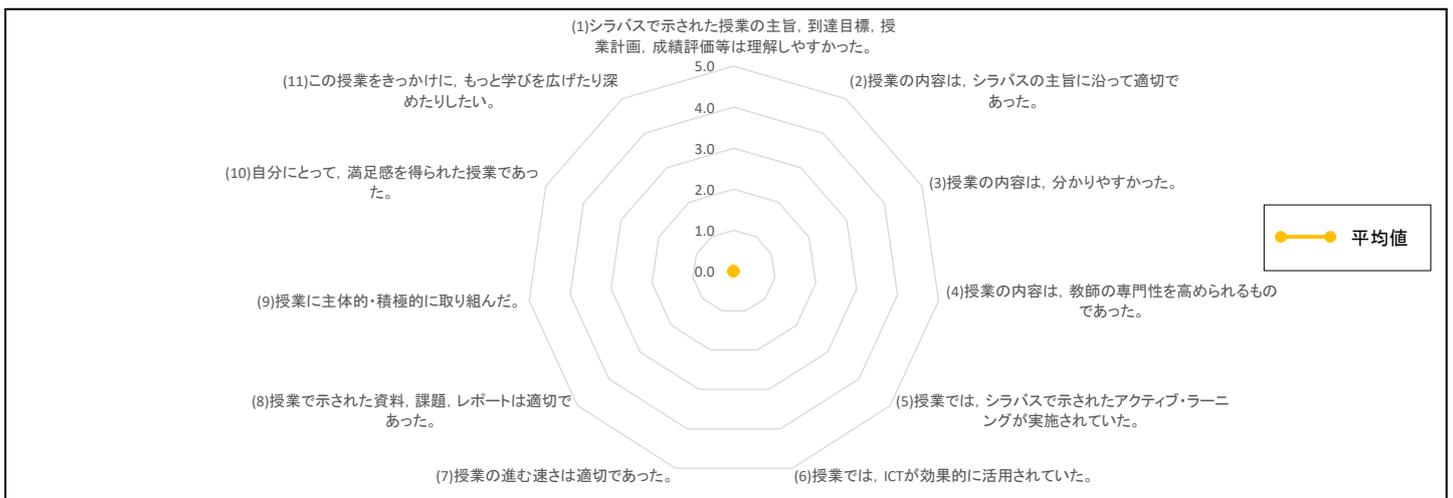
質問項目の評価平均値は4.6以上であり、受講生は本授業を非常に肯定的に捉えていると判断できる。特に学びを広げ、深めるための契機を問う設問では、全受講生が「そう思う（5.0）」と回答しており、この点は特筆に値するのではないだろうか。今、「学び続ける教師」が求められているが、本授業もその資質能力の涵養に貢献できたと考えられるからである。また、受講生の授業に対する姿勢（主体性・積極性）も全受講生が「そう思う（5.0）」と回答しており、自由記述の回答（例えば、「先生方からそれぞれの専門分野での情報提供や助言、授業展開をしていただき貴重な学びとなった」）を照合すると、オムニバスにより、各教員が工夫を凝らして授業を進めることで、学びの意欲を維持できたと考えられる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	140	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	教職協働実践演習Ⅱ 幼児	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	塩路 晶子, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

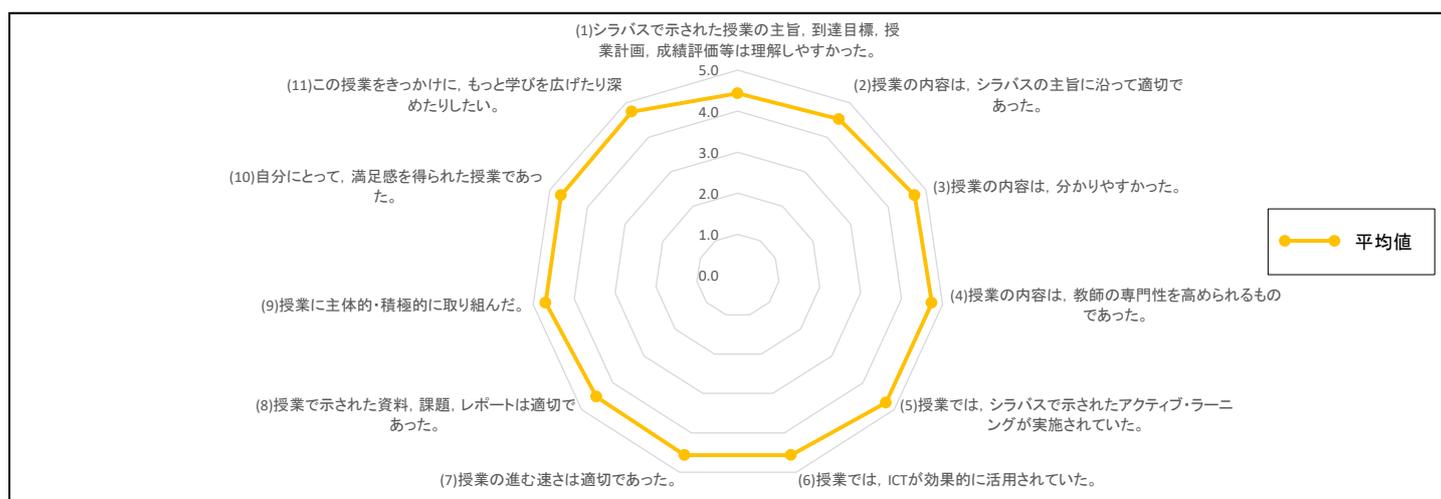
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	141	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	教職協働実践演習Ⅱ 教職系_特支・幼児除	回答者数	23	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	北濱 亮, 久我 直人, 前田 洋一, 大林 正史, 芝山 明義, 竹内 敏, 藤田 完, 池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 皆川 直凡, 泰山 裕, 川上 綾子, 木下 光二, 葛上 秀文, 皆川 直凡, 泰山 裕, 川上 綾子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	14	7	1	0	1	4.4
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	16	5	1	0	1	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	16	7	0	0	0	4.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	17	6	0	0	0	4.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	6	0	0	0	4.7
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	14	8	1	0	0	4.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	15	6	2	0	0	4.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	15	5	3	0	0	4.5
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	18	3	2	0	0	4.7
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	17	5	1	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	17	6	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

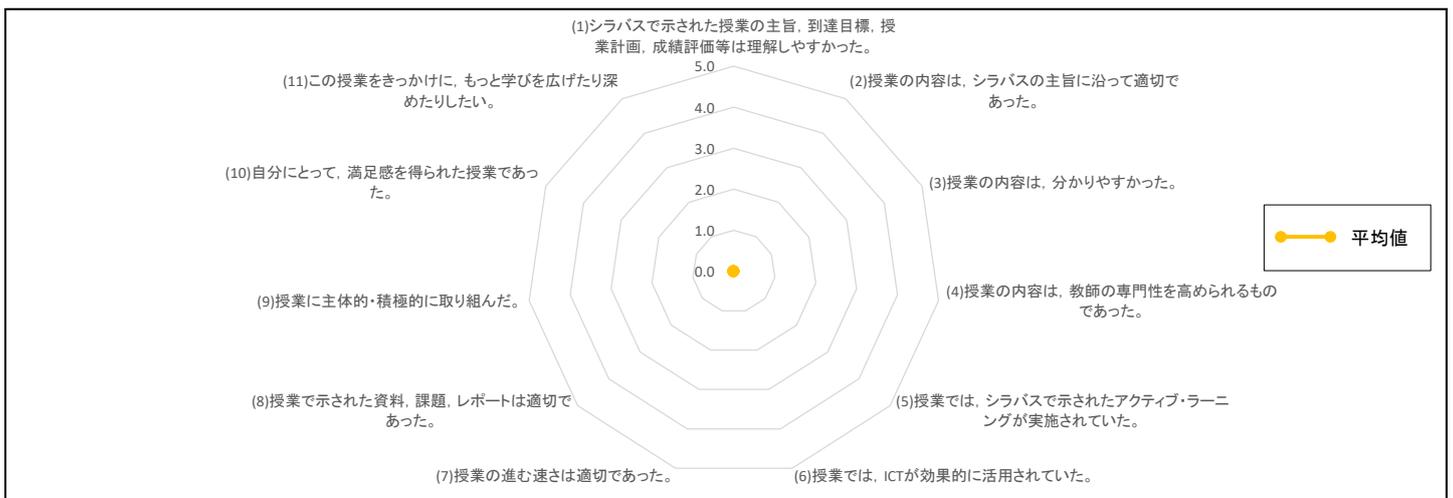
平均値が約4.6で, 肯定的な意見が多かった。
 今年度, 「教職協働実践演習Ⅰ・Ⅱ」が各コースに分かれて実施することとなったため, 授業実施時期や内容等が一部流動的になり, 見通しが立ちにくい状況になっていた。来年度から本格的に各コースの実施となるため, シラバスや授業実施時期, 内容等改善されると考える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	142	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	教職協働実践演習Ⅱ 遠隔・幼児	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	塩路 晶子, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

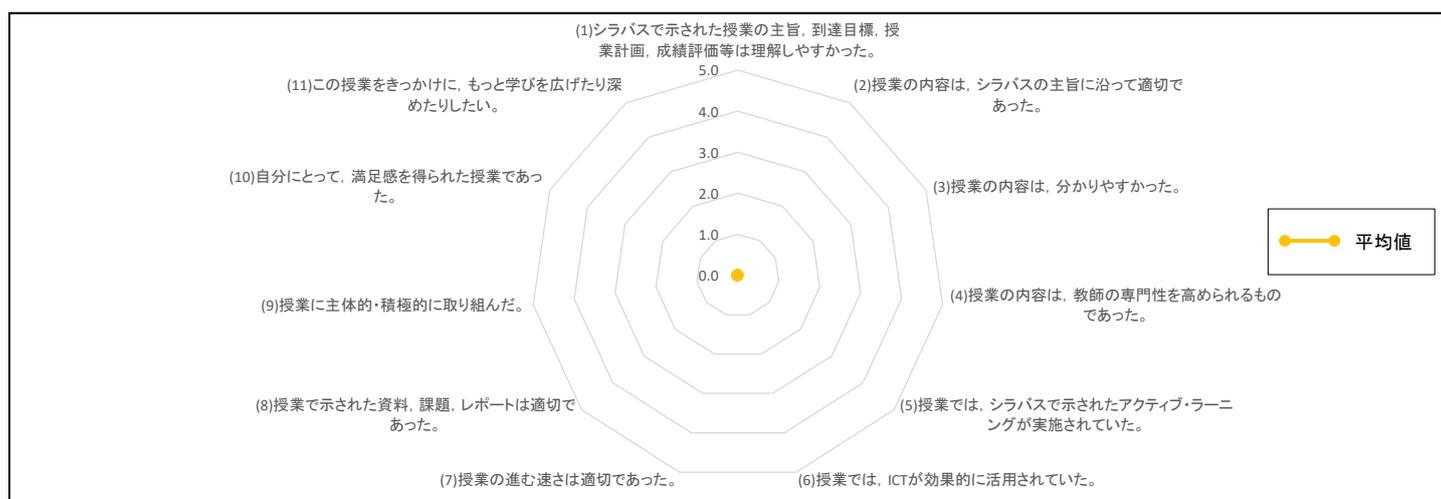
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	143	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	教職協働実践演習Ⅱ 遠隔・現職3コース	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	大林 正史, 久我 直人, 前田 洋一, 阪根 健二, 藤井 伊佐子, 芝山 明義, 竹内 敏, 藤田 完, 池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 藤村 裕一, 皆川 直凡, 西村 公孝, 泰山 裕, 岡田 康孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

2023年2月に、受講者23名に対して、本授業の授業評価を実施するようお願いするメールを出した。メールには、回答期限と、URL、授業科目コードを明記した。しかし、本授業の授業評価に回答した者は、0名であった。よって、授業内容についてコメントすることはできない。

授業評価の回答者がいなかった主な原因の1つとして、教職協働実践演習Ⅱ（遠隔・現職3コース）が7月、12月、2月に実施されており、その授業内容が院生に十分認識されていなかったことが挙げられる。

そこで、次年度については、授業評価回答者数を増やすため、次の2点の改善策を実施する。

①年度当初に、教職協働実践演習Ⅱについて、説明する文書を、受講者全員に対してメールで添付する。そこに、2月の構想発表後に、授業評価をしていただくことを説明する。

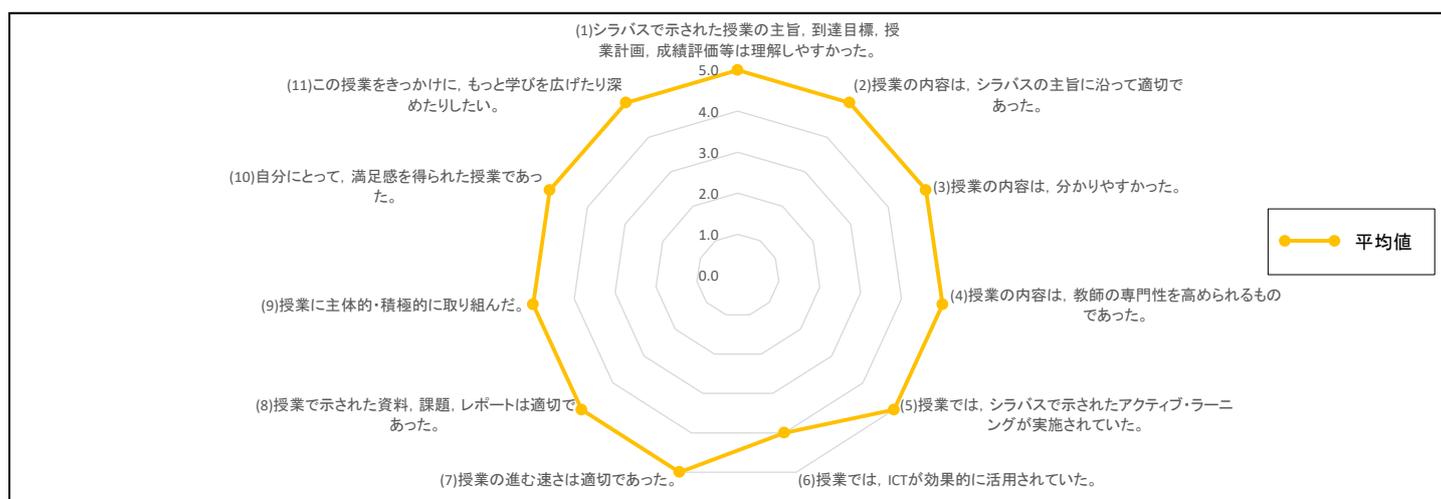
②2月の構想発表後に、教職協働実践演習Ⅱ（遠隔・現職3コース）の授業評価をしていただくようお願いする。そこに、この授業の内容についても、説明を加える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	144	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 音楽	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	山田 啓明, 森 正, 頃安 利秀, 山根 秀憲, 鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	2	0	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

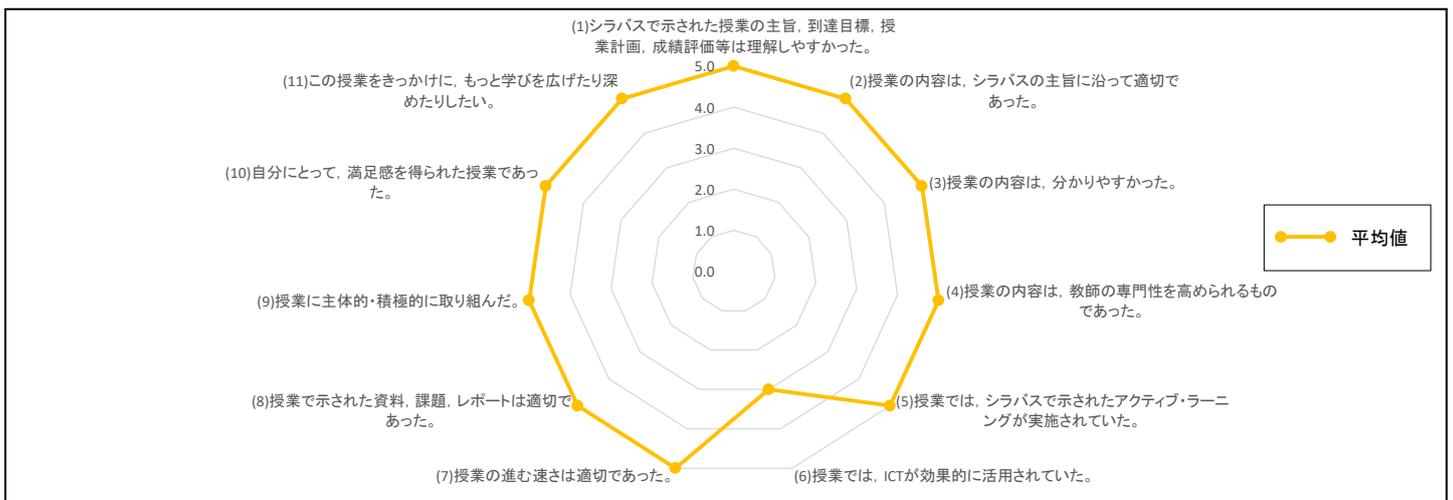
本授業の受講生は2人だけであり, 対面でのディスカッションや様々な楽器の実技指導だったため, 授業内にICTが入る余地は全くなかったため, この評価には納得している。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	145	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 美術	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	鈴木 久人, 栗原 慶, 内藤 隆, 山田 芳明, 小川 勝, 山木 朝彦, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	1	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

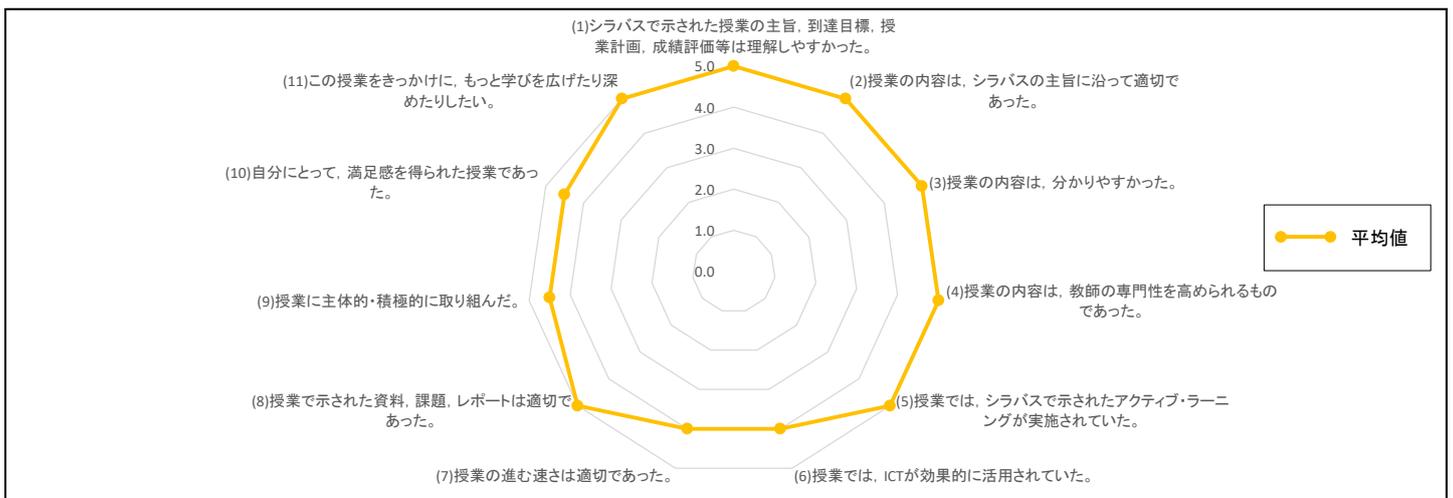
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	146	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 特別支援	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	高原 光恵, 伊藤 弘道, 大谷 博俊, 小倉 正義, 井上 とも子, 坂口 純子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	2	0	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	1	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	1	0	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

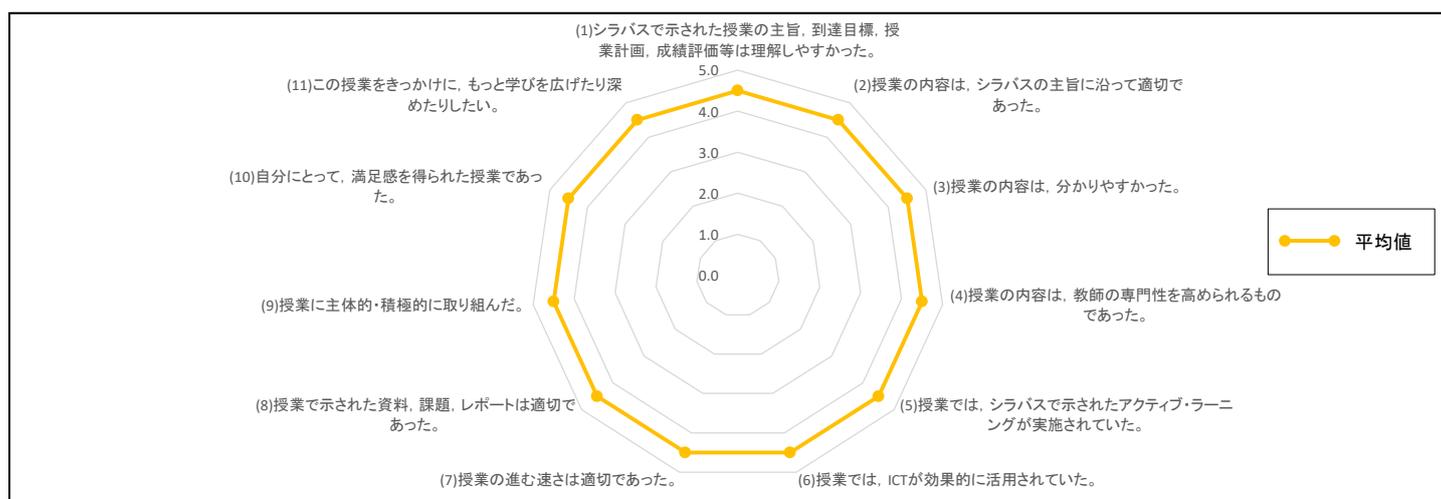
回答者数2名の結果からではあるが、概ね高評価であった。各質問に対し、「そう思う」ではなく「ややそう思う」の回答選択があったのは、質問(6)ICTの効果的な活用、(9)授業への主体的・積極的取り組み、(10)満足感に関する項目であった。また、「どちらともいえない」の選択回答があったのは、(7)授業の進む速さに関してであった。授業内容（専門性、わかりやすさ、用いた資料や課題の適切さなど）については高評価であったため、今後もこの質を維持していくこと、そしてICT活用や授業進度に関しては若干の改善の余地があること、さらに受講生自身の主体性・積極性をより高められるよう留意することが今後の注意点であろう。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	147	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 国語	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	余郷 裕次, 幾田 伸司, 原 卓志, 平川 恵実子, 構 大樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	1	0	0	0	4.5
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	1	0	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	1	0	0	0	4.5



<教員のコメント>

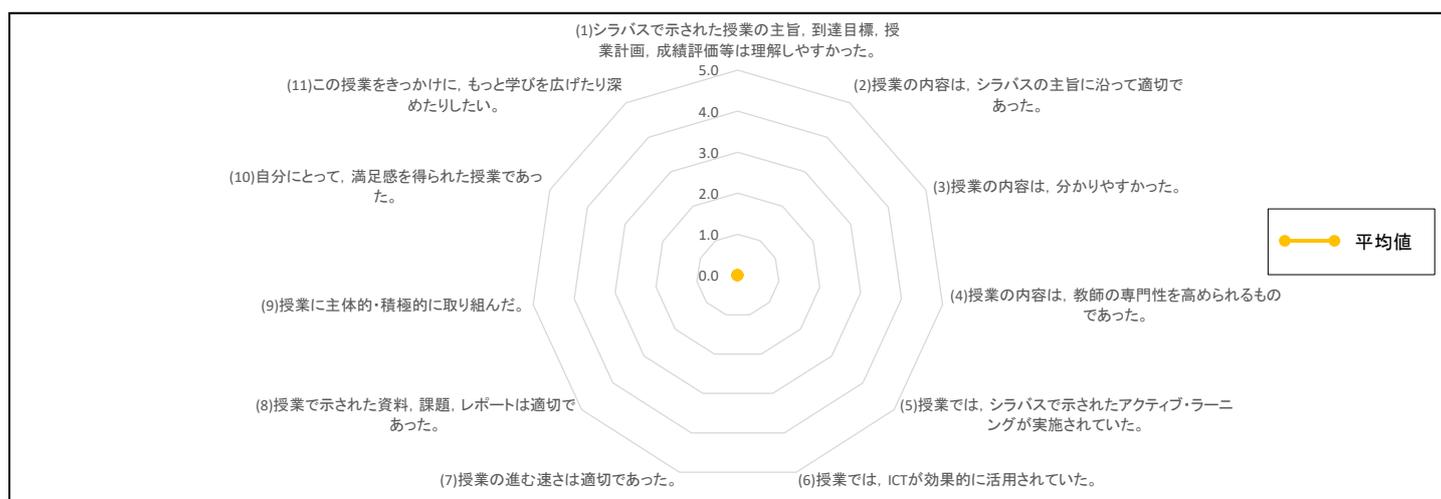
教職基礎力開発演習 I は, 受講者の希望校種に即して, 教材を選択し, 教材研究に基づき指導案を作成した。各自作成した指導案を相互に検討するとともに, 教員による指導を行った。修正された指導案に基づき模擬授業を実施し, 相互批評を行うとともに, 教員による指導を行った。受講者が少人数であったため, 演習の目的は十分に達成できたと考えている。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	148	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 英語	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	数下 克彦, 山森 直人, 佐藤 美智子, ジェラード マーシェソ, 木口 圭子, 森山 俊成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

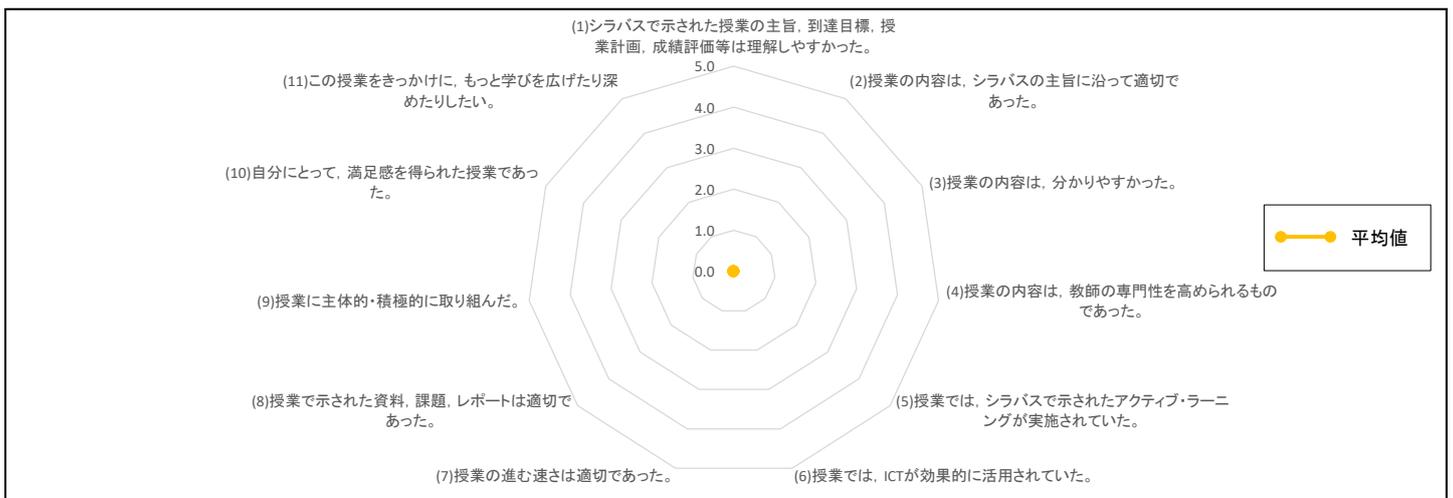
担当教員代表者である, 私, 数下が授業評価を行うことを失念し, 受講生の皆さん, 他の担当教員方, 大学に大変なご迷惑をおかけしたことをお詫びします。2023年はしっかり行う所存である。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	149	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 社会	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	伊藤 直之, 青葉 暢子, 麻生 多間, 立岡 裕士, 原田 昌博, 井上 奈穂, 畠山 輝雄, 町田 哲, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

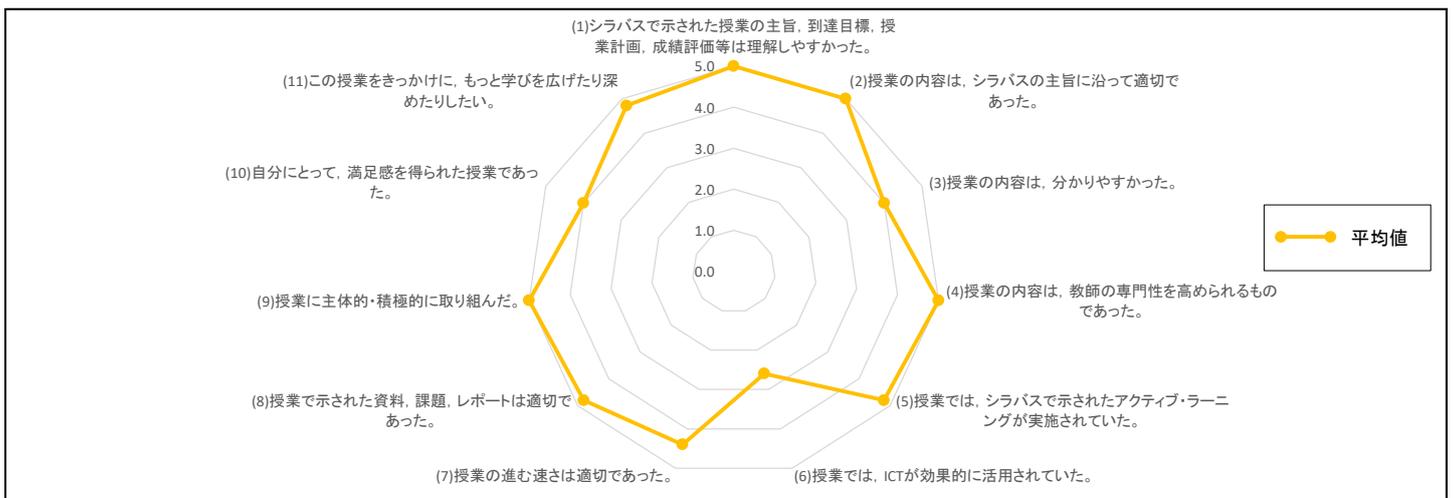
当該授業は社会科教育コースの全教員でゼミ指導学生対象に実施されており, そのアンケート記入が徹底していなかった。次年度には周知方法を改善したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	150	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 数学	回答者数	5	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	山中 仁, 秋田 美代, 佐伯 昭彦, 宮口 智成, 関 行宏, 早田 透				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	1	1	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	2	0	2	2.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	1	1	0	0	4.4
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	1	4.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

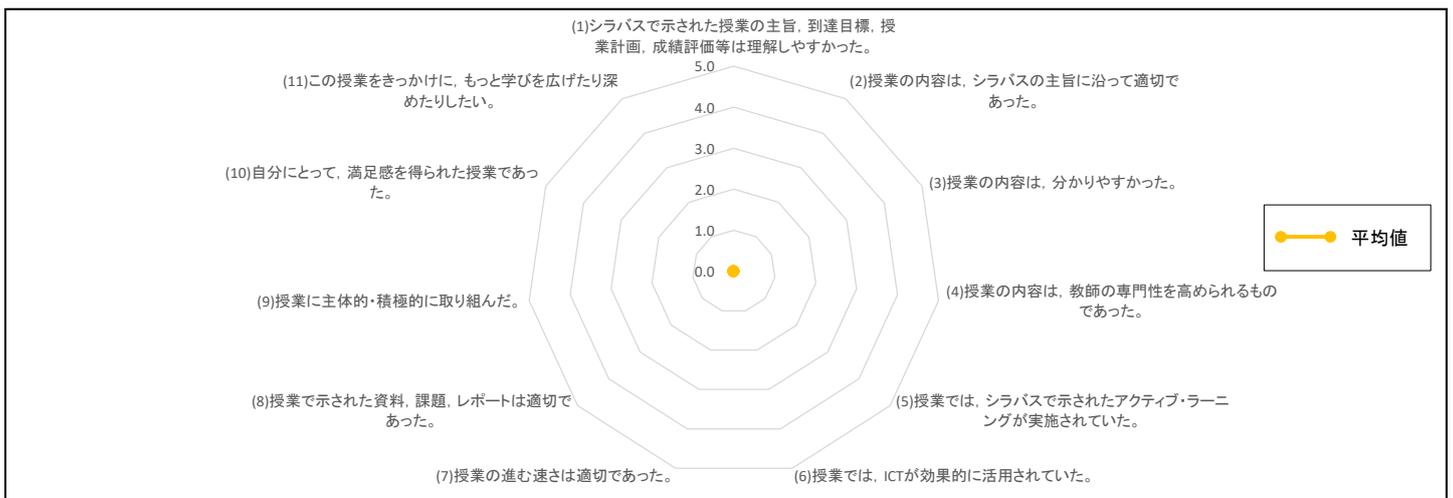
全体として良い評価が得られており、コメントにも「数学を勉強する方法が身につきました。」と記載があることから、「大学院入学後の早い段階で今までの自身の数学学習に対する認識を改めてほしい」という授業者側の思いが伝わったものとする。唯一評価が低いのは(6)のICTの利用であるが、本講義は学習法の自体を教示することを目的の1つとしているため、見栄えの良いプレゼンよりも、教員自身が実際に黒板に記述する様子を見せることの方が遥かに重要である。また、学生自身の発表により黒板という媒体に慣れることも目的の1つとしている。アナログであっても基礎基本を定着させる方針をとることが肝要であると考えている(ICTは決して万能な道具ではなく、長所と短所をもっていることに注意したい)。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	151	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 理科	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	佐藤 勝幸, 早藤 幸隆, 本田 亮, 武田 清, 胸組 虎胤, 粟田 高明, 寺島 幸生, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

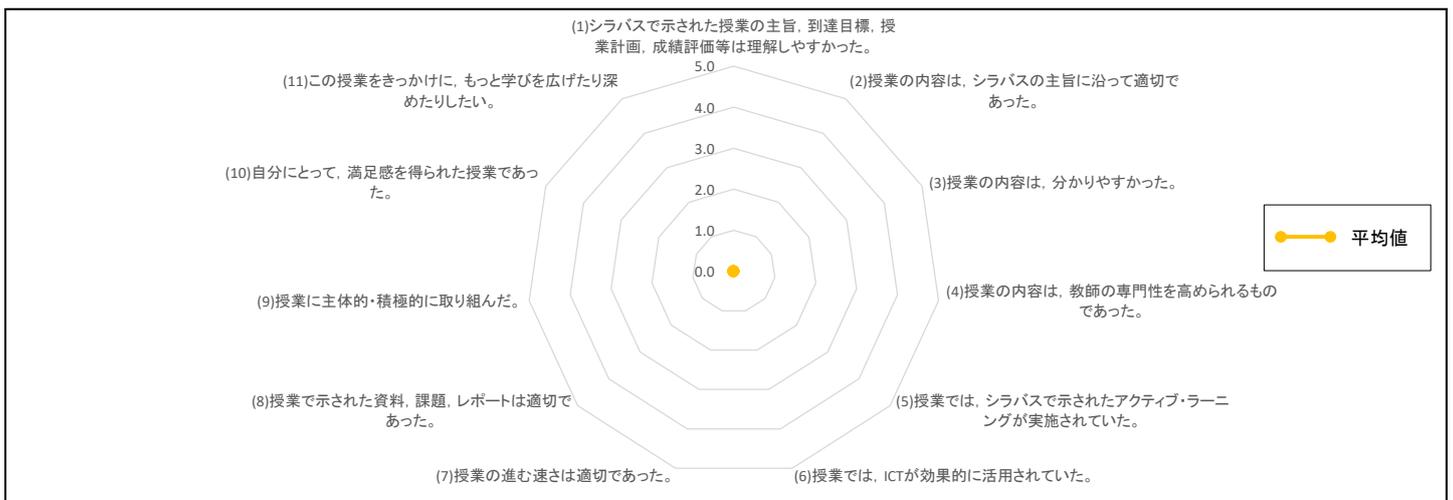
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	152	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 技術・工業・情報	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	伊藤 陽介, 曽根 直人, 宮下 晃一, 宮本 賢治, 米延 仁志, 阪東 哲也, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

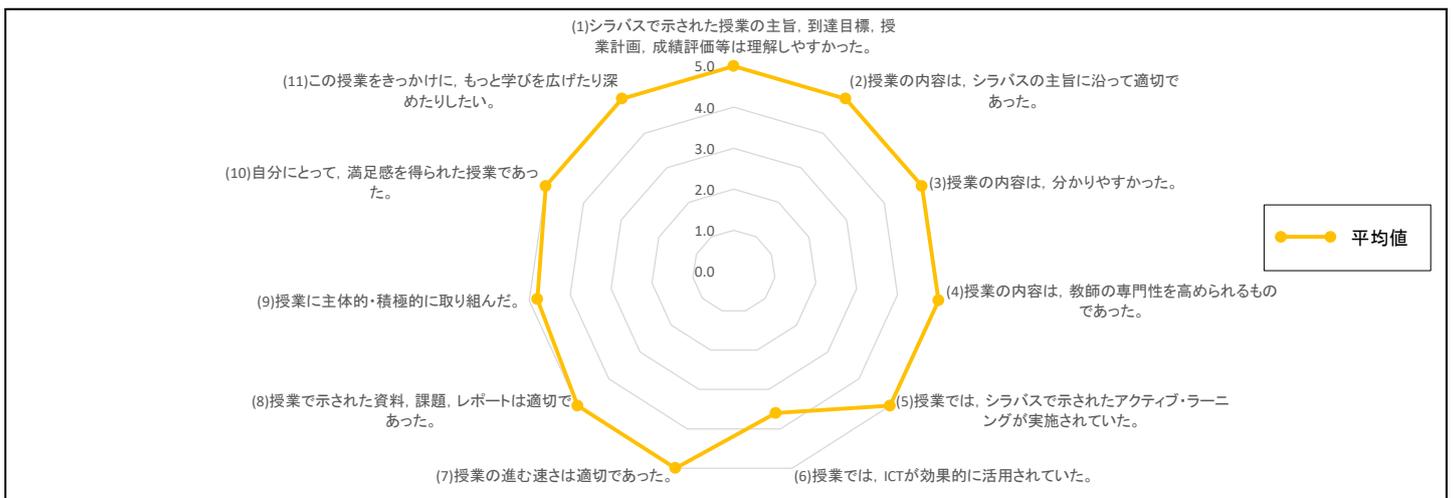
回答数が0のため, コメントできない。次年度は回答するように大学院生に依頼する必要がある。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	153	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 家庭	回答者数	5	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	坂本 有芳, 金 貞均, 西川 和孝, 速水 多佳子, 福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	1	1	0	1	3.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

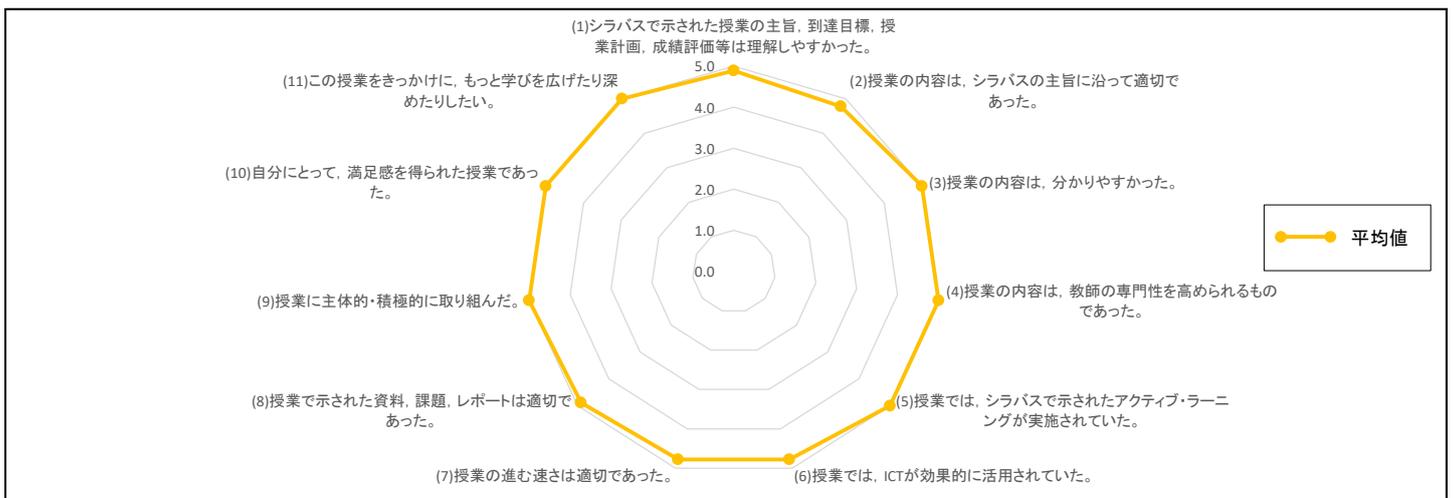
家庭コース5人の教員によるオムニバス授業であり、シラバスが示す内容の理解しやすさ、シラバスに沿った授業、授業の分かりやすさ、専門性を高められる内容、アクティブラーニングの実施、授業の速度、示される資料や課題、満足度など、いずれも平均値が5の最高得点であった。唯一、評価が3点台となったのは授業におけるICT活用である。
 教員採用試験対策を重視した授業で、家庭科の専門知識を分野別に確認し、深める内容であるため、特段、ICTの活用を図る必然性がないことが大きな理由である。
 教育実践のための授業においてICT活用を図ることで対応したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	154	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 体育	回答者数	9	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	湯口 雅史, 松井 敦典, 南 隆尚, 田中 弘之, 藤田 雅文, 綿引 勝美, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	8	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	8	0	1	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	9	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	9	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	7	2	0	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	7	2	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	8	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	9	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	9	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

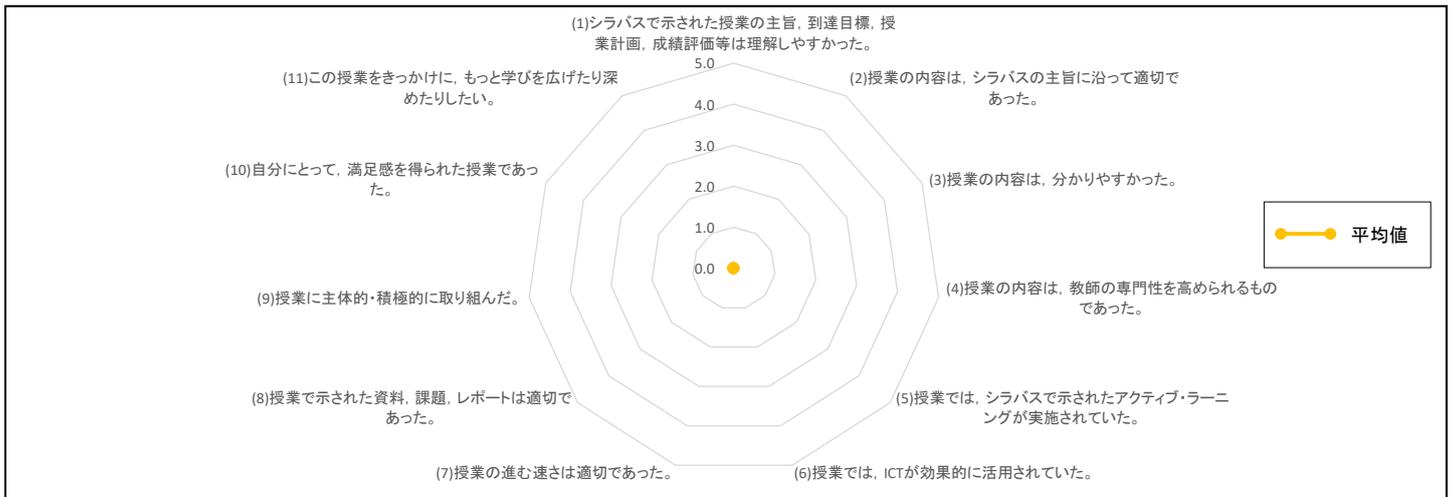
本授業は, オムニバス形式による保健体育科教育コースの先生方の, 競技専門の立場から授業づくりについて学ぶ時間である。基本的には, グループで授業デザインを作成する。作成中に各競技の専門の立場から助言を行い, 授業イメージをもたせた。このような, 専門の立場からの適切な助言が, 授業評価に繋がっていると考えられる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	155	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 幼児	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	塩路 晶子, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

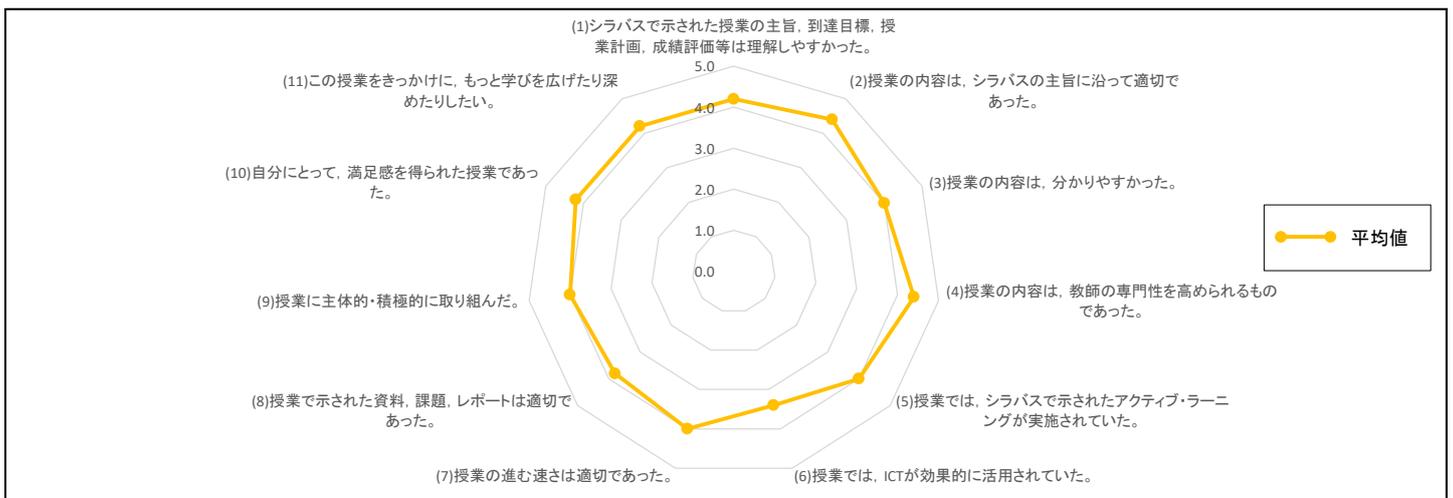
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	156	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教職基礎力開発演習 I 教員養成特別	回答者数	5	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	北濱 亮, 久我 直人, 前田 洋一, 大林 正史, 芝山 明義, 竹内 敏, 藤田 完, 池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 皆川 直凡, 泰山 裕, 川上 綾子, 木下 光二, 葛上 秀文, 皆川 直凡, 泰山 裕, 川上 綾子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	2	0	0	4.2
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	1	1	0	0	4.4
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	3	1	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	1	1	0	0	4.4
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	2	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	2	0	1	3.4
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	1	2	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	2	2	0	0	3.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	3	1	0	0	4.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	2	1	0	0	4.2
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	2	0	0	4.2



<教員のコメント>

平均値が約4.0であった。

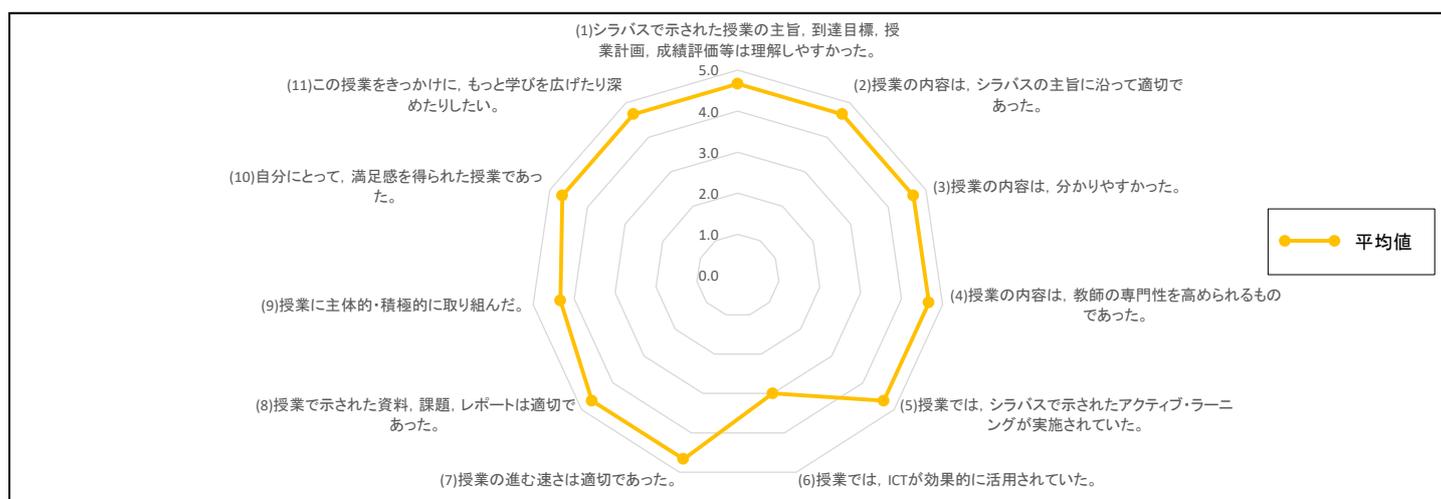
本授業では部屋ごとに院生が分かれ, 少人数規模で実施されているため, ICTを使用する必要性が低く, ICT活用の質問項目で評価が低い値になっていると考える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	157	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 国語	回答者数	3	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	余郷 裕次, 幾田 伸司, 原 卓志, 平川 恵実子, 構 大樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	1	0	0	0	4.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	4.7
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	1	0	1	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	4.3
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	1	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	1	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

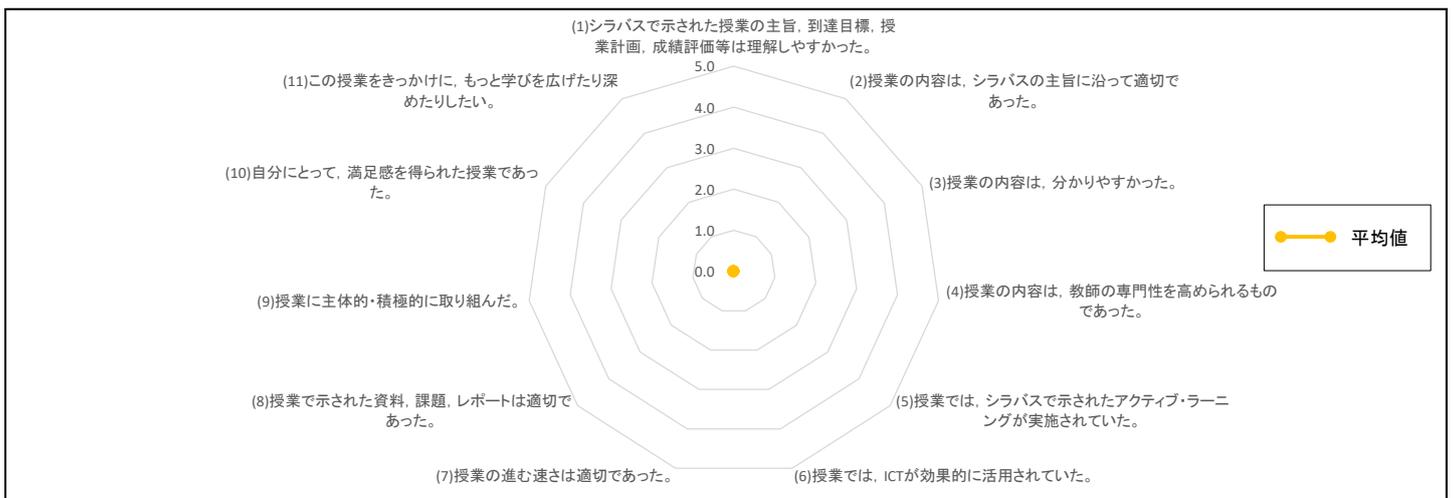
教職基礎力開発演習Ⅱは、各自が教科教育課題設定フィールドワークで設定した教育課題について取り組み、各自の教材や単元に基づく研究と授業案とを報告した。各自が自身の課題について取り組み発表することがメインであったため、「(6)授業では、ICTが効果的に活用されていた。」の項目が3.0と、極端に低い数値となった。しかし、実際は、各自の探求過程や発表において、ICT機器が適切に使用されていたと考えている。その他の評価が、4.7であったことから、本演習は、目標を達成できたと考えている。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	158	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 理科	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	佐藤 勝幸, 早藤 幸隆, 本田 亮, 武田 清, 胸組 虎胤, 粟田 高明, 寺島 幸生, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

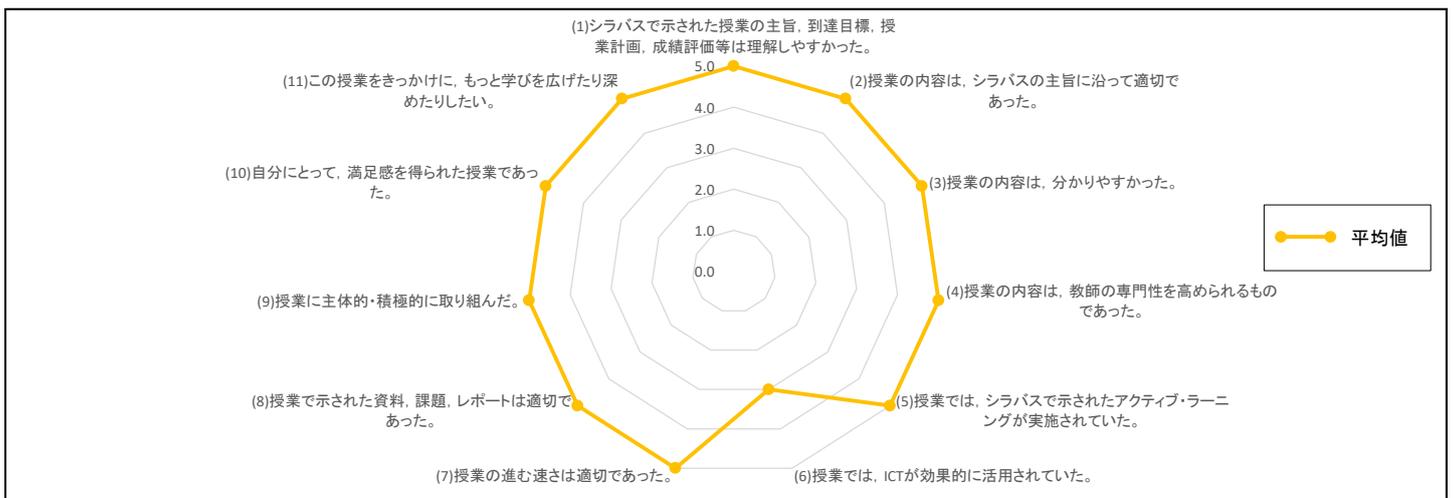
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	159	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 家庭	回答者数	1	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	坂本 有芳, 金 貞均, 西川 和孝, 速水 多佳子, 福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	1	0	0	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

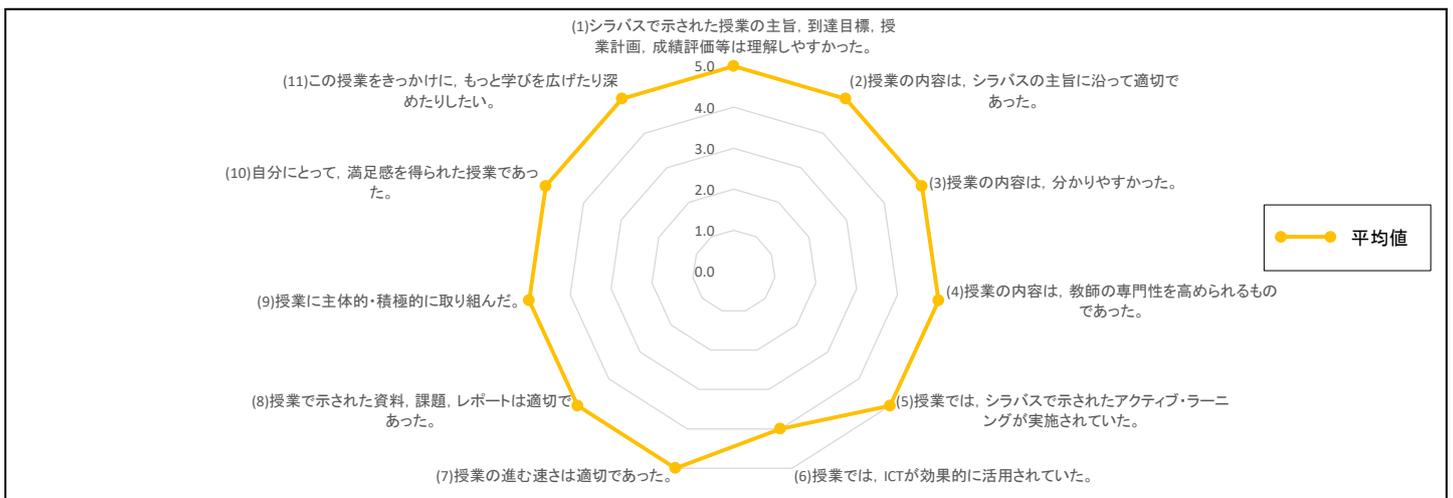
家庭コース5人の教員によるオムニバス授業であり、シラバスが示す内容の理解しやすさ、シラバスに沿った授業、授業の分かりやすさ、専門性を高められる内容、アクティブラーニングの実施、授業の速度、示される資料や課題、満足度など、いずれも平均値が5の最高得点であった。唯一、評価が3点台となったのは授業におけるICT活用である。教員採用試験対策を重視した授業で、家庭科の専門知識を分野別に確認し、深める内容であるため、特段、ICTの活用を図る必然性がないことが大きな理由である。教育実践のための授業においてICT活用を図ることで対応したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	160	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 音楽	回答者数	1	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	山田 啓明, 森 正, 頃安 利秀, 山根 秀憲, 鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

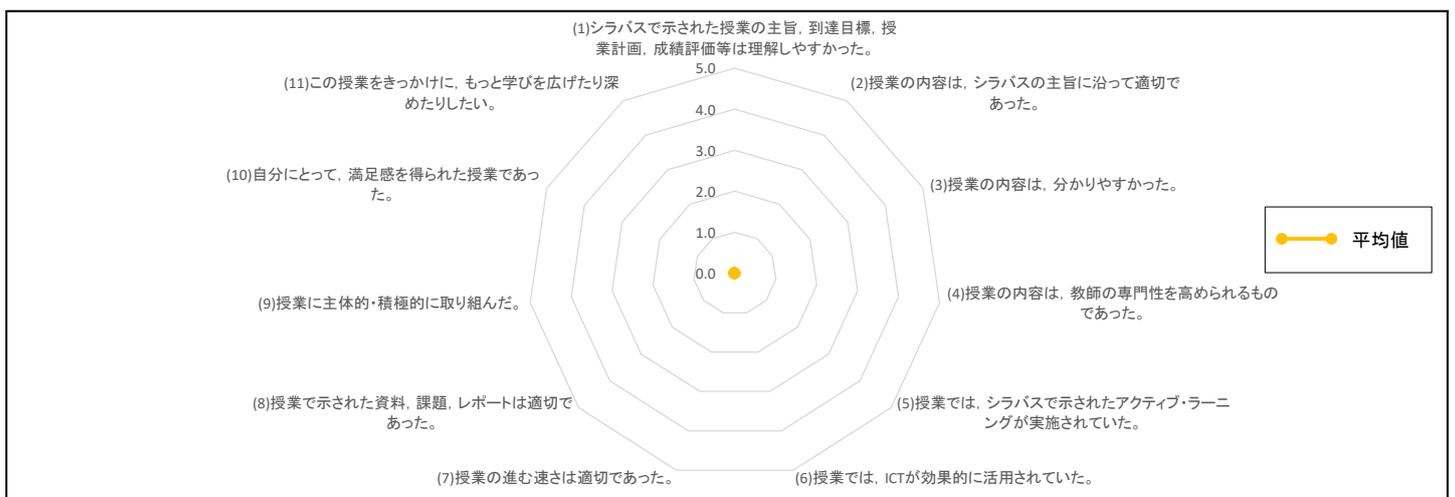
授業が1対1の対面授業であり, 管楽器の術技レッスンや音楽理論の説明を実際にホワイトボードでおこなったりと, 授業内にICTが入る余地は全くなかったため, この評価には納得している。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	161	評価実施日	令和4年8月3日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 美術	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	山田 芳明, 栗原 慶, 鈴木 久人, 内藤 隆, 小川 勝, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

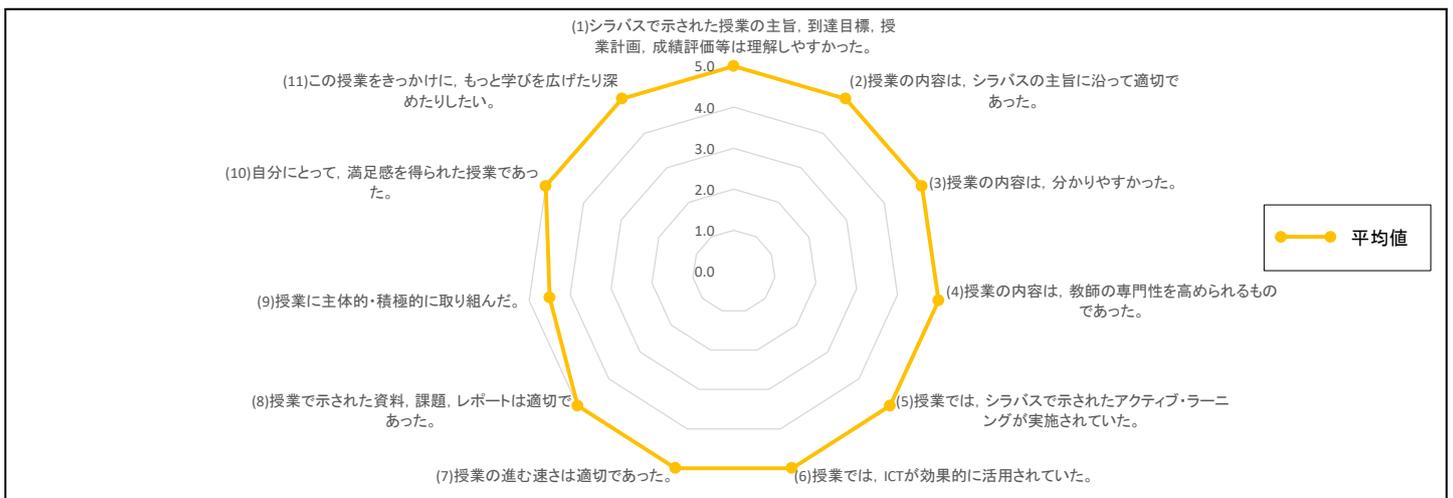
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	162	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 特別支援	回答者数	2	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	大谷 博俊, 伊藤 弘道, 小倉 正義, 井上 とも子, 高原 光恵, 坂口 純子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

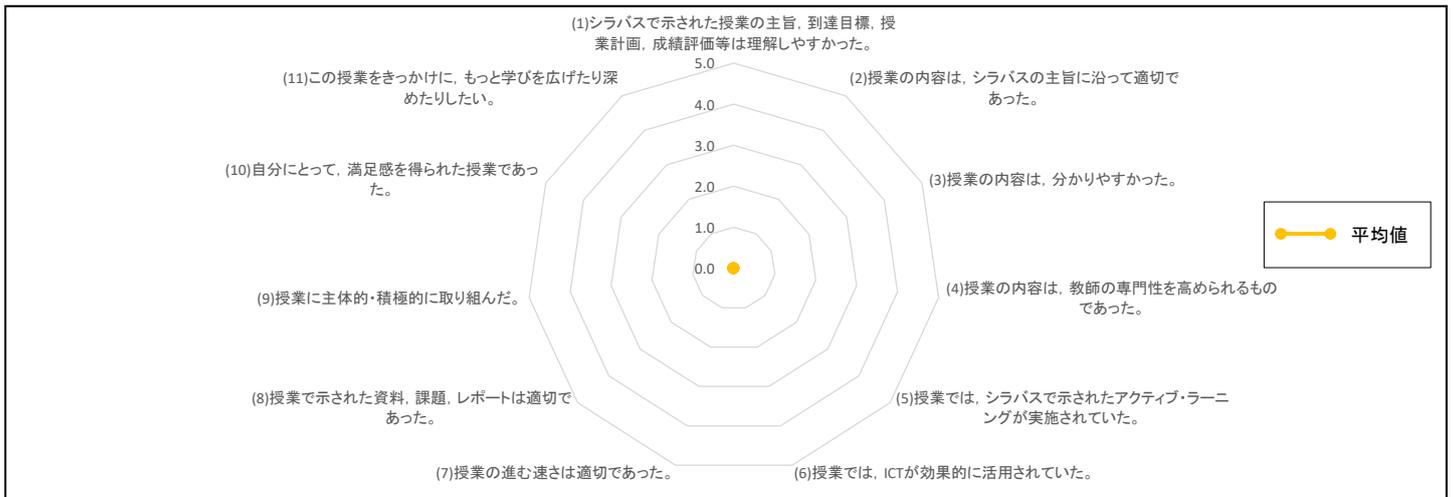
質問項目の評価平均値は受講生の受講態度に関する1項目を除き、全て5.0であり、受講生は本授業を非常に肯定的に捉えていると判断できる。自由記述の回答が得られていないが、オムニバスにより、各教員が工夫を凝らして授業を進めることで、本授業は学卒院生の教職実践力を高めることにつながったと考えられる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	163	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 幼児	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	塩路 晶子, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

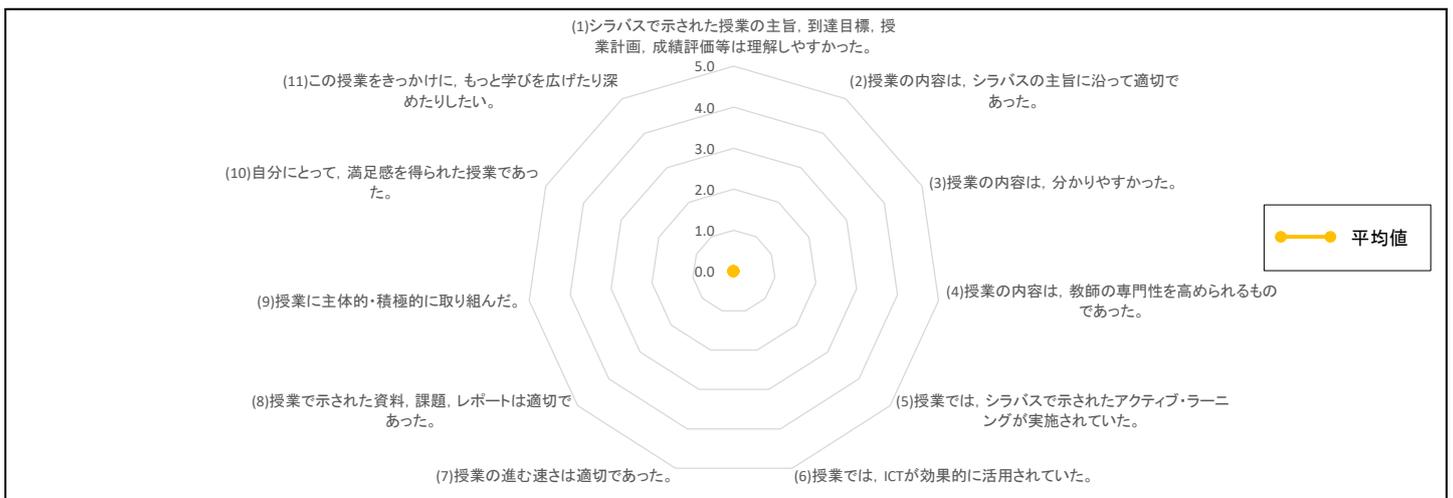
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	164	評価実施日	令和4年8月3日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 英語	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	数下 克彦, 山森 直人, 佐藤 美智子, ジェラード マーシェソ, 木口 圭子, 森山 俊成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



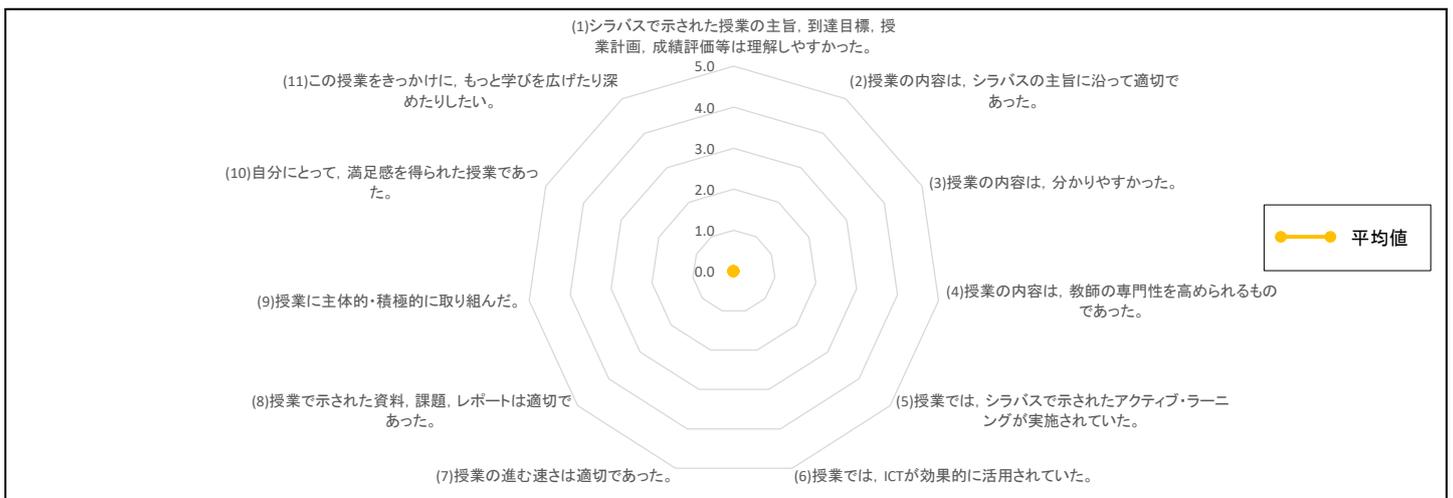
<教員のコメント>
 担当教員代表者である, 私, 数下が授業評価を行うことを失念し, 受講生の皆さん, 他の担当教員方, 大学に大変なご迷惑をおかけしたことをお詫びします。2023年はしっかり行う所存である。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	165	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 社会	回答者数	0	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	伊藤 直之, 青葉 暢子, 麻生 多間, 立岡 裕士, 原田 昌博, 井上 奈穂, 畠山 輝雄, 町田 哲, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

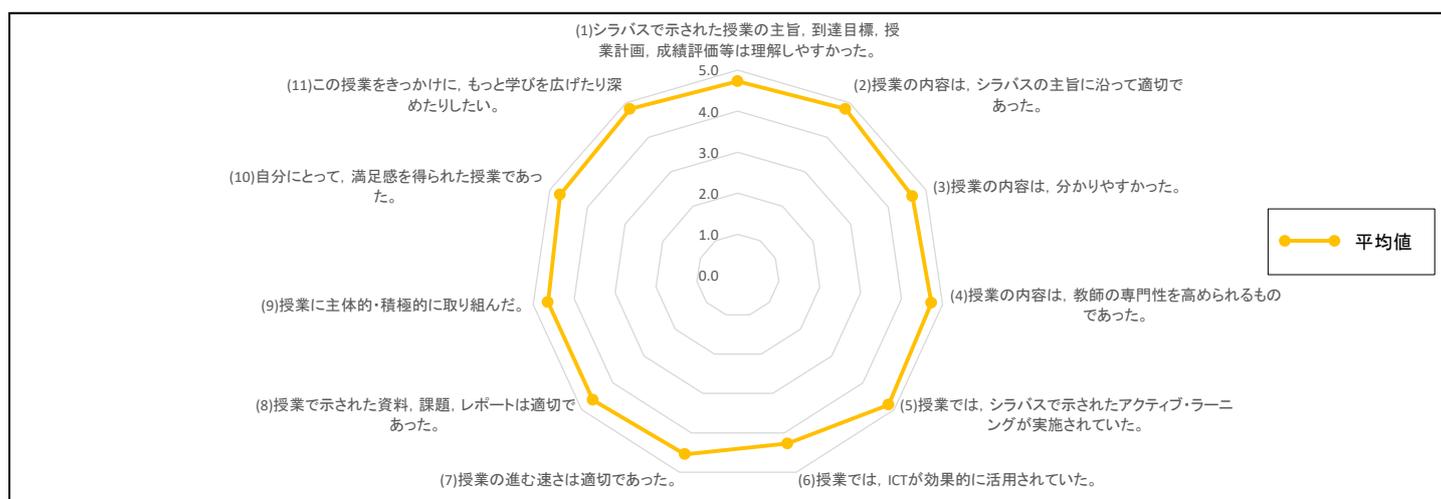
当該授業は社会科教育コースの全教員でゼミ指導学生対象に実施されており, そのアンケート記入が徹底していなかった。次年度には周知方法を改善したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	166	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 数学	回答者数	11	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	宮口 智成, 秋田 美代, 佐伯 昭彦, 関 行宏, 早田 透, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	8	3	0	0	0	4.7
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	9	2	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	7	4	0	0	0	4.6
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	8	3	0	0	0	4.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	2	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	6	2	3	0	0	4.3
(7)授業の進む速さは適切であった。	7	3	1	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	8	2	1	0	0	4.6
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	4	0	0	0	4.6
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	8	3	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	9	2	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

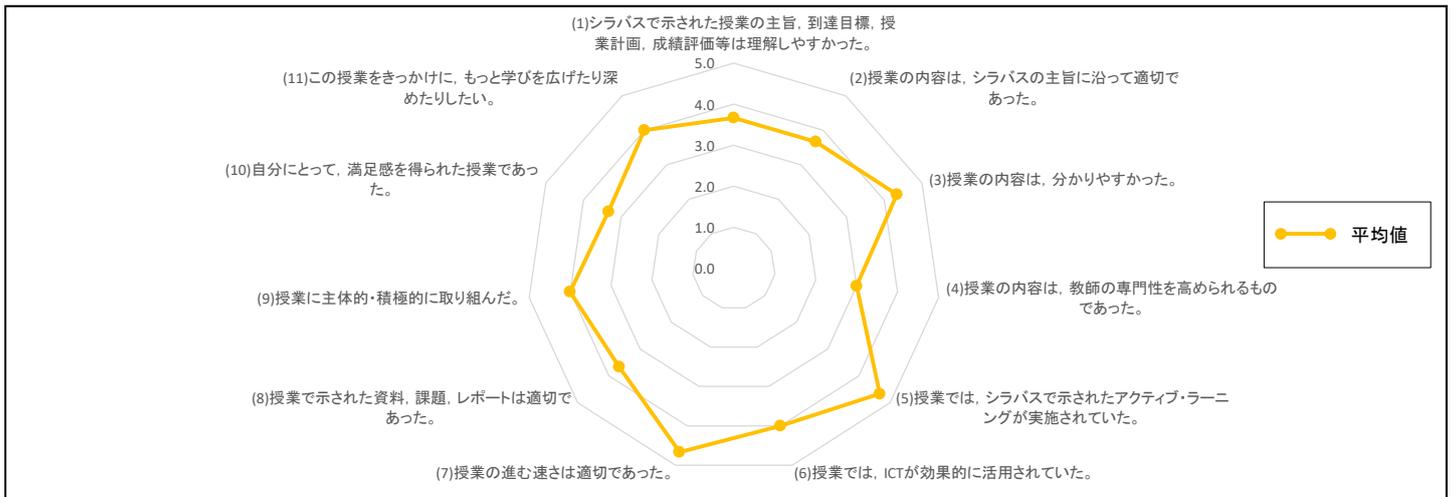
どの項目も概ね高評価であるといえるが、「(6) 授業では, ICTが効果的に活用されていた」の項目の評価が 4.3 と低評価であった。授業では, geogebra やプログラミング, Excel の利用など, ICT 活用に関する内容を一部に盛り込んでいたが, この評価結果から, ICT の効果的な活用が今後の大きな課題であることが伺える。また、「(7) 授業の進む速さは適切であった」の項目も 4.5 と比較的低い評価となっている。これは, 受講生の希望就職先の校種が, 小学校, 中学校, 高等学校と多岐に渡ることから, 数学的な学力差が大きいことが一因である。これに対する対策として, 時間外学習を取り入れることと, 成績評価方法における工夫を考えている。具体的には, (a) 事前に課題を与えて反転学習の形態を取る。さらに, (b) 授業中に積極的に質問をした学生に加点をするなどの成績評価に対する改善を進める。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	167	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 技術・工業・情報	回答者数	3	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	伊藤 陽介, 曽根 直人, 宮下 晃一, 宮本 賢治, 米延 仁志, 阪東 哲也, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	2	1	0	0	3.7
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	2	1	0	0	3.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	2	0	0	0	4.3
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	1	1	1	0	3.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	4.7
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	1	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	2	1	0	0	3.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	3	0	0	0	4.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	2	0	0	3.3
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	1	0	4.0



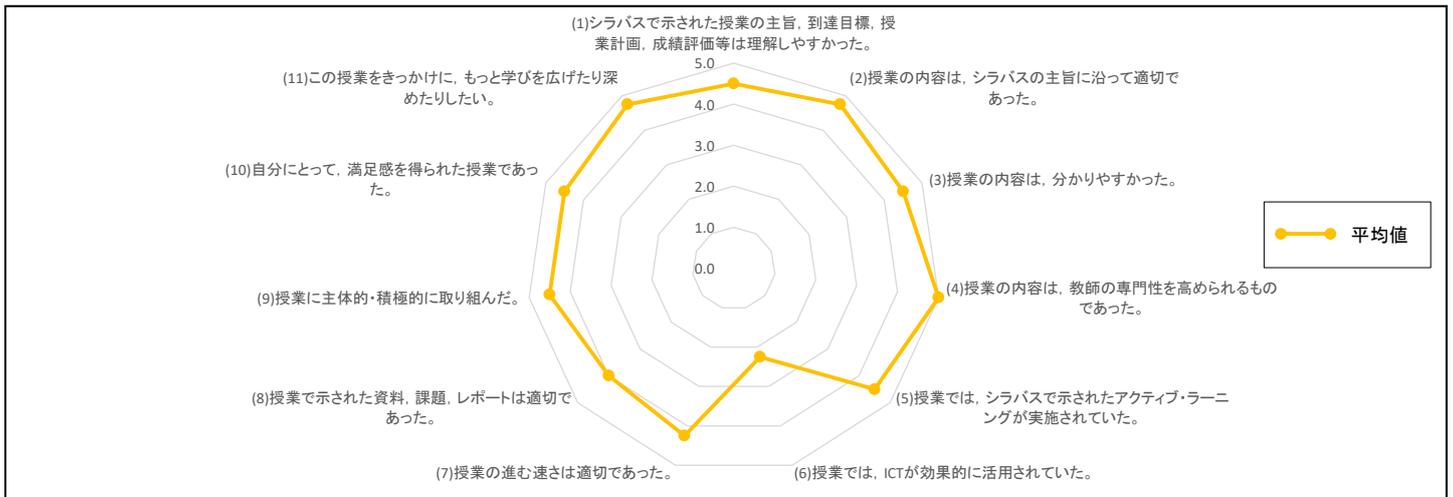
<教員のコメント>
 ややシラバスと実際の授業内容に合致しない点があったようであるが, 概ね教師の専門性が高められる授業であったと推測される。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	168	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 体育	回答者数	4	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	湯口 雅史, 松井 敦典, 南 隆尚, 田中 弘之, 藤田 雅文, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	2	0	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	1	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	1	1	0	2	2.3
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	1	1	0	0	4.3
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	2	1	0	0	4.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	2	0	0	0	4.5
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	2	0	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

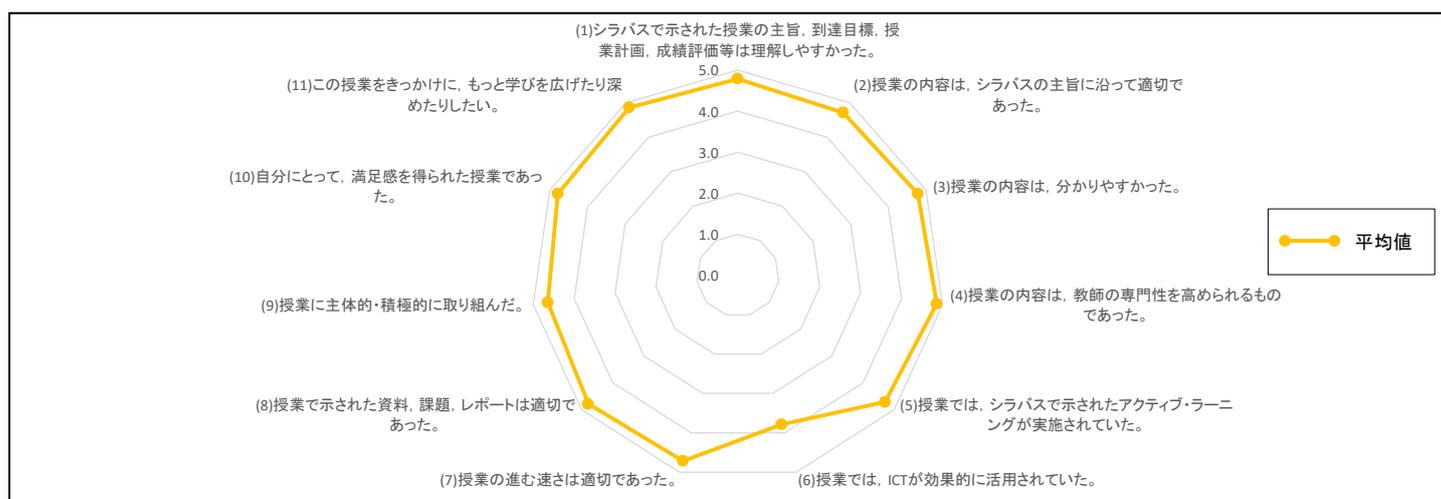
教科専門の内容を少し拡大し, 体育経営や学級経営等の実践的な内容について, 現場に出たときに疑問に思うだろうことや不安に思っていることを出し合い, ディスカッションを通じて納得解を求めていくという授業を行った結果, このような授業評価になったと考える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	169	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教職基礎力開発演習Ⅱ 教員養成特別	回答者数	14	人	
授業区分	共通科目（共通科目選択群）				
担当教員名	北濱 亮, 久我 直人, 前田 洋一, 大林 正史, 芝山 明義, 竹内 敏, 藤田 完, 池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 岡田 康孝, 皆川 直凡, 泰山 裕, 川上 綾子, 木下 光二, 葛上 秀文, 皆川 直凡, 泰山 裕, 川上 綾子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	11	3	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	10	4	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	11	3	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	12	2	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	4	0	0	0	4.7
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	5	4	0	1	3.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	10	4	0	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	11	3	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	5	0	0	0	4.6
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	11	3	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	12	2	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

平均値は約4.7と高く, 肯定的な記述が多かった。教員採用試験を控えた院生が対象であり, ニーズに合った授業内容になったためであるとする。ICT活用の項目については, 教職基礎力開発演習Ⅰ同様, 使用する必要性が低いためであるとする。

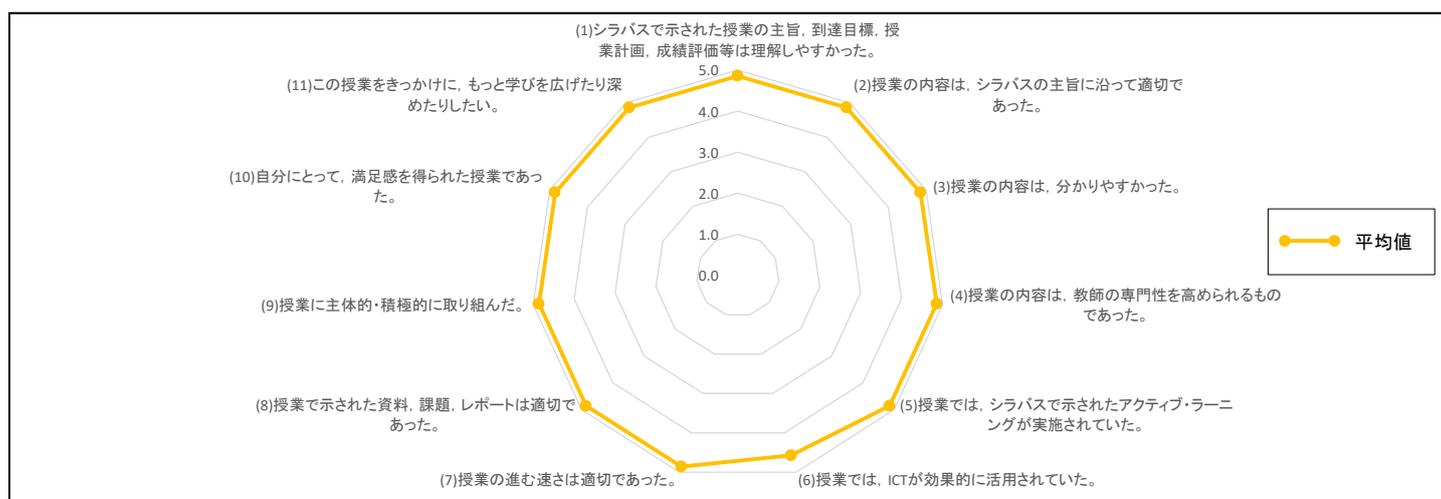
自由記述にあった「授業回数を増やしてほしい」については, 本授業以外にも希望者を募って模擬授業等を行っているため, そういった機会を活用してほしい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	170	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	言語コミュニケーション教育（国語）の内容構成演習		回答者数	7	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	原 卓志, 余郷 裕次				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	6	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	6	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	6	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	4.9
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	3	0	0	0	4.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	6	1	0	0	0	4.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

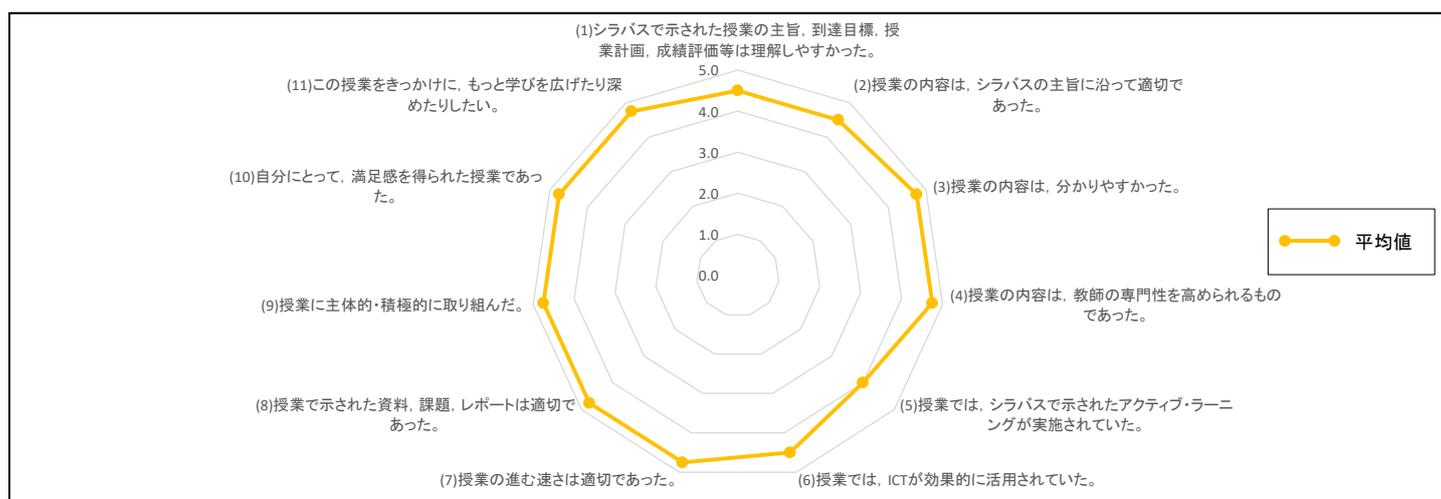
予想以上に高評価が得られた。
講義だけに偏ることなく、受講生に考えてもらい、グループディスカッションを中心に取り上げたことが高評価につながったのだと考える。
今後も、考える授業を構想していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	171	評価実施日	令和4年10月25日		
授業科目名	言語文化教育（国語）の内容構成演習		回答者数	4	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	平川 恵実子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	2	0	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	2	0	0	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	1	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	2	0	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

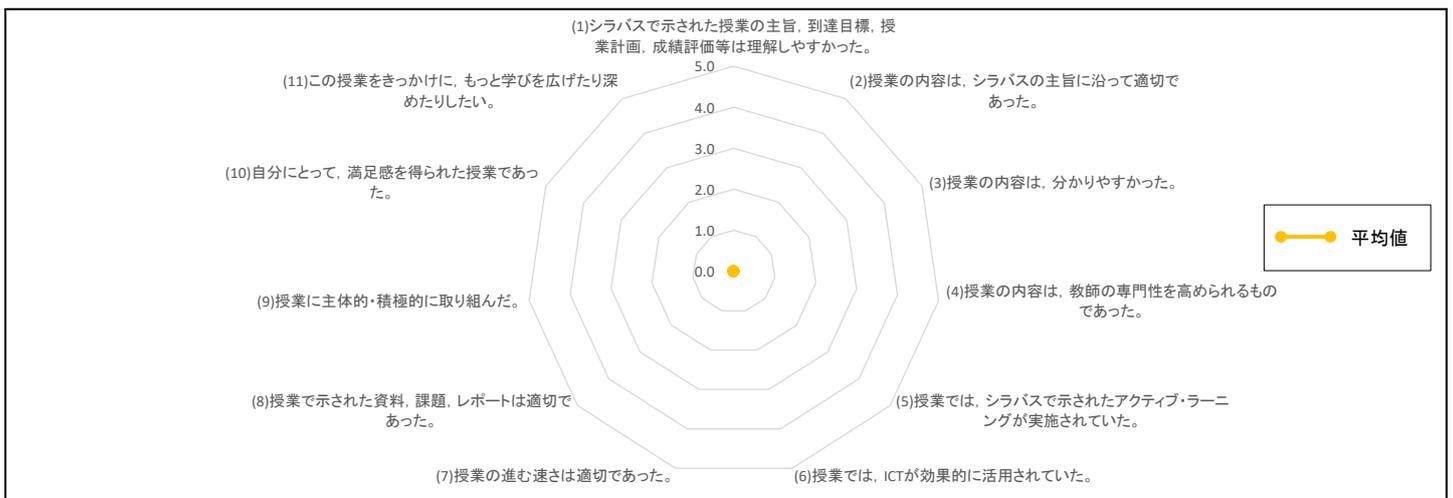
学卒院生も現職院生も古典文学を面白がってくれたようで良かった。
 今後も受講生の発表やコメントの機会を確保したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	172	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	言語コミュニケーション教育（国語）の教材開発演習		回答者数	0	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	幾田 伸司, 原 卓志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

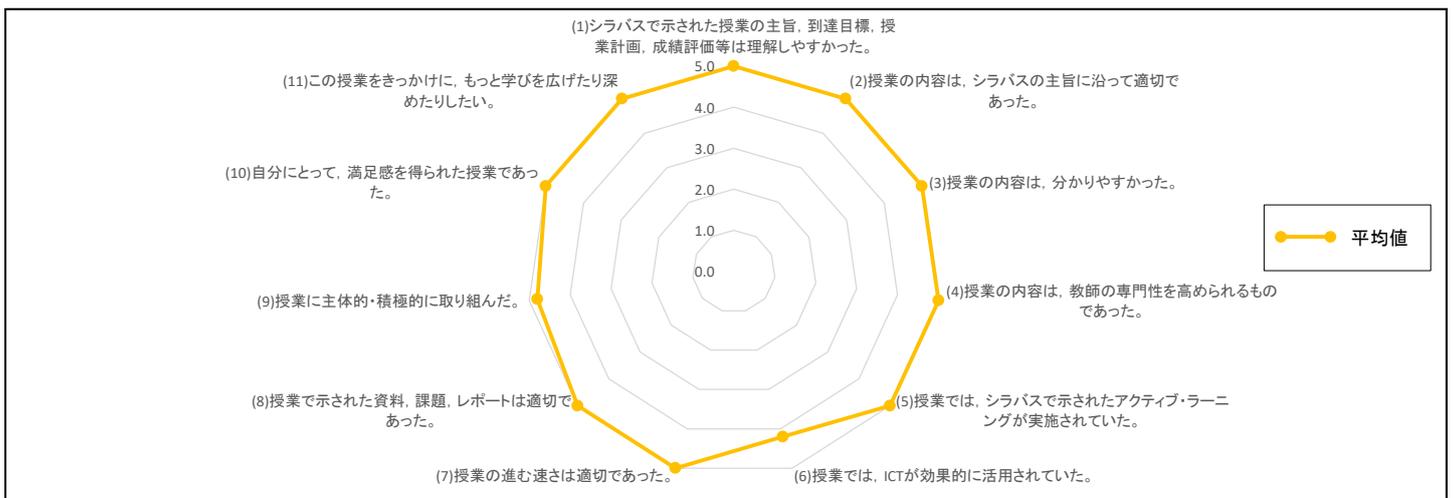
授業者の病欠により最終回の対面授業を休講としたため、アンケートの指示が行き届かなかった。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	173	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	言語文化教育（国語）の教材開発演習		回答者数	5	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	余郷 裕次，構 大樹				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらともいえない，2：ややそう思わない，1：そう思わない）

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨，到達目標，授業計画，成績評価等は理解しやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は，シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は，分かりやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は，教師の専門性を高められるものであった。	5	0	0	0	0	5.0
(5)授業では，シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
(6)授業では，ICTが効果的に活用されていた。	3	0	2	0	0	4.2
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料，課題，レポートは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって，満足感を得られた授業であった。	5	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに，もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	0	0	0	0	5.0



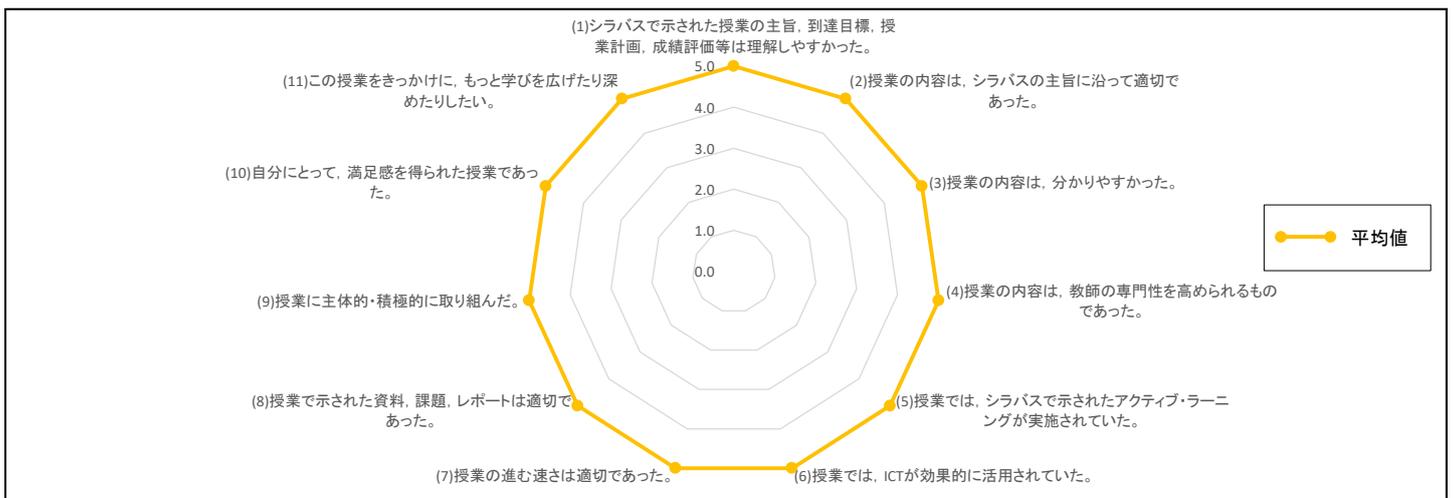
<教員のコメント>
 言語文化教育（国語）の教材開発演習では、各自が、希望する校種等に基づいて、教材開発を行った。その際、自身の言語表現パフォーマンスも含めた教材開発を行うことを課題とした。言語表現パフォーマンスの導入として、教師自身が絵本の読み聞かせを行った、この点に関しては、自由記述に「12自分が読み聞かせをしてもらう機会は少ないので、楽しかったです。」とあり、好評価を得たと考えている。全体として、11項目中、9項目が5.0の評価であり、本演習の目的を達成したと考えている。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	174	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	言語コミュニケーション教育（国語）の学習指導と授業デザイン		回答者数	2	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	幾田 伸司，構 大樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨，到達目標，授業計画，成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は，シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は，分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は，教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では，シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では，ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料，課題，レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって，満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに，もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



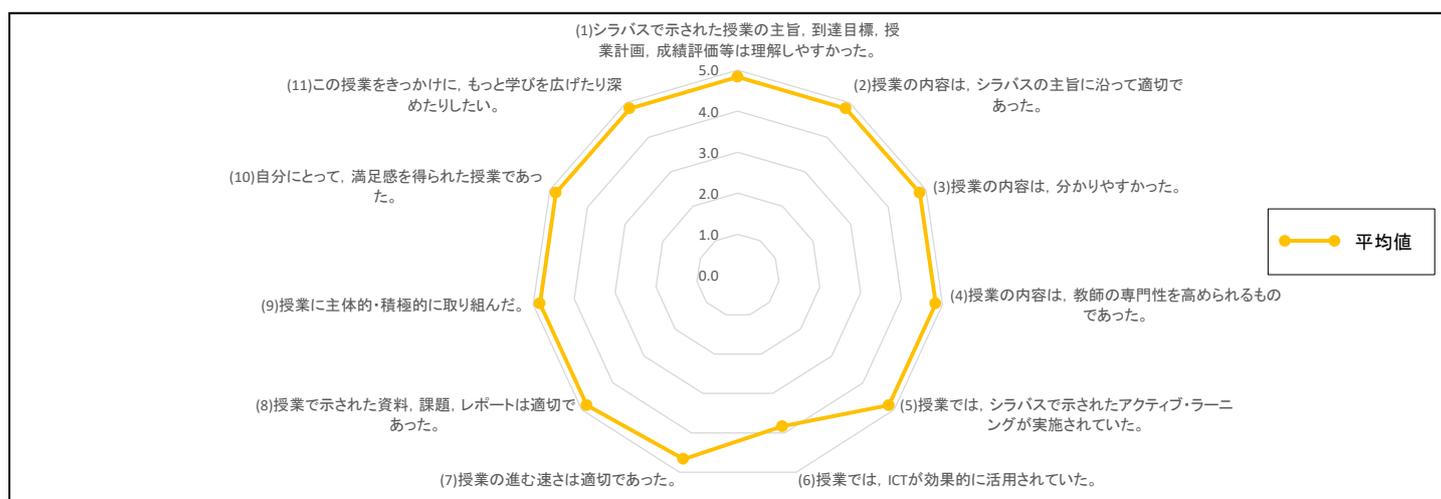
<教員のコメント>
 回答数が少なかったが、授業に対する総体的な評価は非常に高かった。テキストを決めてそれぞれが先行研究や作品分析を報告する課題であったため、他の授業同様に受講者が主体的に取り組めたことが一因であろう。ディスカッションでも受講者同士で質問や意見交流ができ、教員が解説する時間がないほどであった。現職院生、学卒院生が受講しており、様々な立場からの読みを交流できたこともよかったようである。
 担当教員が変わって初めての授業であったため、テキストの選定、配付資料、課題の設定などは手探りの面もあった。授業形式は踏襲しながら、時間配分や難度と合わせて検討し、次年度以降につなげたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	175	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	言語文化教育（国語）の学習指導と授業デザイン			回答者数	6人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	幾田 伸司, 平川 恵実子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	1	3	0	0	3.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	0	1	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

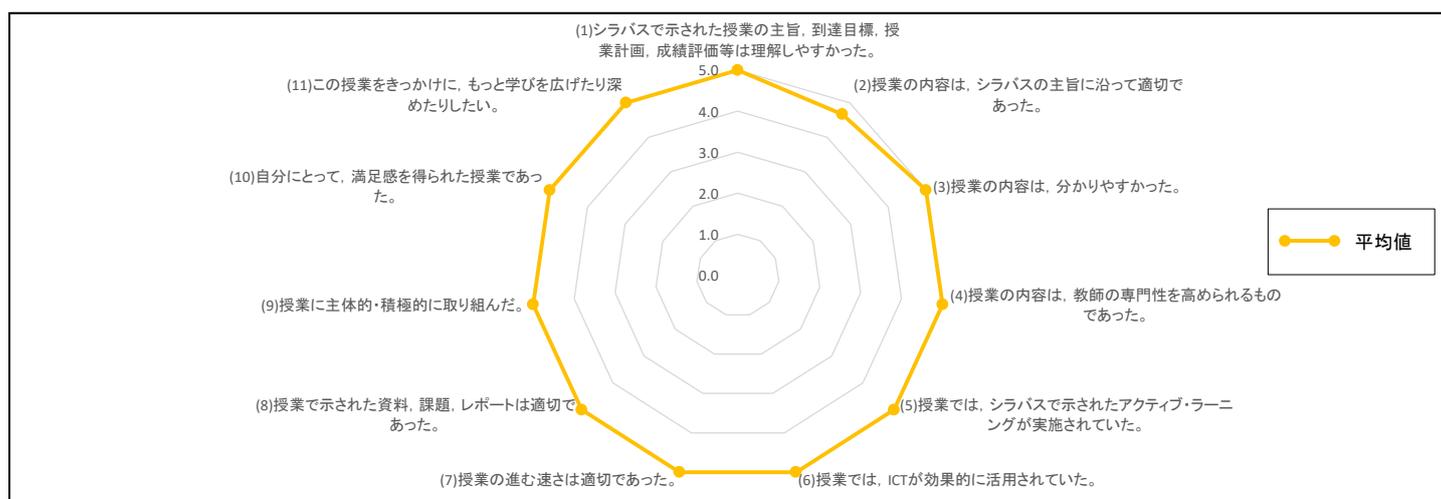
ワークショップ形式を多く取り入れ、受講者が主体的・積極的に参加してくれたこともあって、全般的には肯定的な評価が多かった。現職院生が多く受講しており、討議では学卒院生と現職院生の双方からの意見が交流できた。実践的な視点からの意見も交わされ、多様な意見の交流が行えたように捉えている。ICT機器の活用については、半数がそれほど高くない評価であった。ディスカッション中心に授業を進めているため、授業内でICT機器を活用する場面はほとんどなかったためである。ICT機器の利活用に関する授業者の力量の問題でもあるが、ディスカッションでの支援ツールとしての活用なども検討したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	176	評価実施日	令和4年10月26日		
授業科目名	言語コミュニケーション教育（英語）の内容構成演習		回答者数	3	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	数下 克彦, 佐藤 美智子, 森山 俊成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

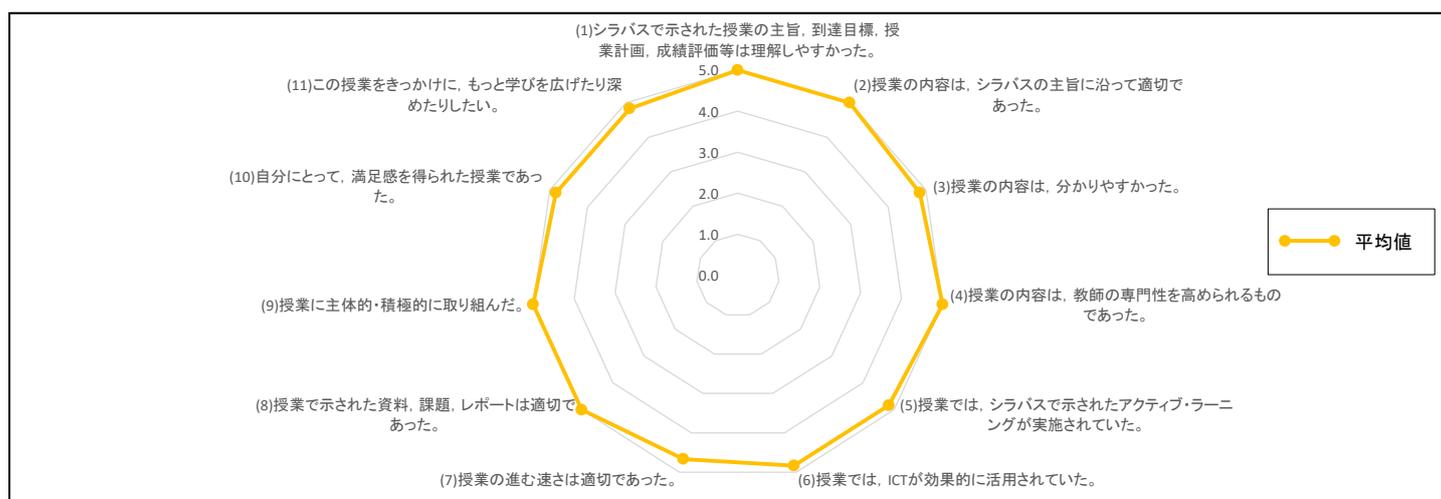
質問項目(3)「授業の内容は, シラバスの趣旨に沿って適切であった。」の評価平均値が4.7であった以外, 他の質問項目の評価平均値は, 5点満点であった。このことから, この授業は受講者にとって満足いくものであったと, 担当教員は自負している。しかし, シラバスの趣旨と授業内容の間に齟齬がなかったかどうか, 検討する。自由記述の「良かった点」として, 「正反対の意見を持った2人の先生からの全く異なる視点の話が聞けて興味深かった。」という意見があり, とかく「正解は何か。」に拘るのではなく, 多様な見方・意見を歓迎する態度が本学の学生にあるのは素晴らしいことであると思った。その他, 肯定的な意見として, 「校種間の比較や学習指導要領の確認, 文法などの英語の知識など, これから必要なことを考え方を学べて有意義であった。」などがあった一方, 「レポートを書くなら, 先生につきA41枚のほうが書きやすいと思った。」という意見があり, これからは教員1人ずつ別のレポートを書いてもらうようにする。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	177	評価実施日	令和4年10月31日		
授業科目名	言語文化教育（英語）の内容構成演習		回答者数	6	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山森 直人, 木口 圭子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	6	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	6	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	1	0	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	0	1	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	6	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

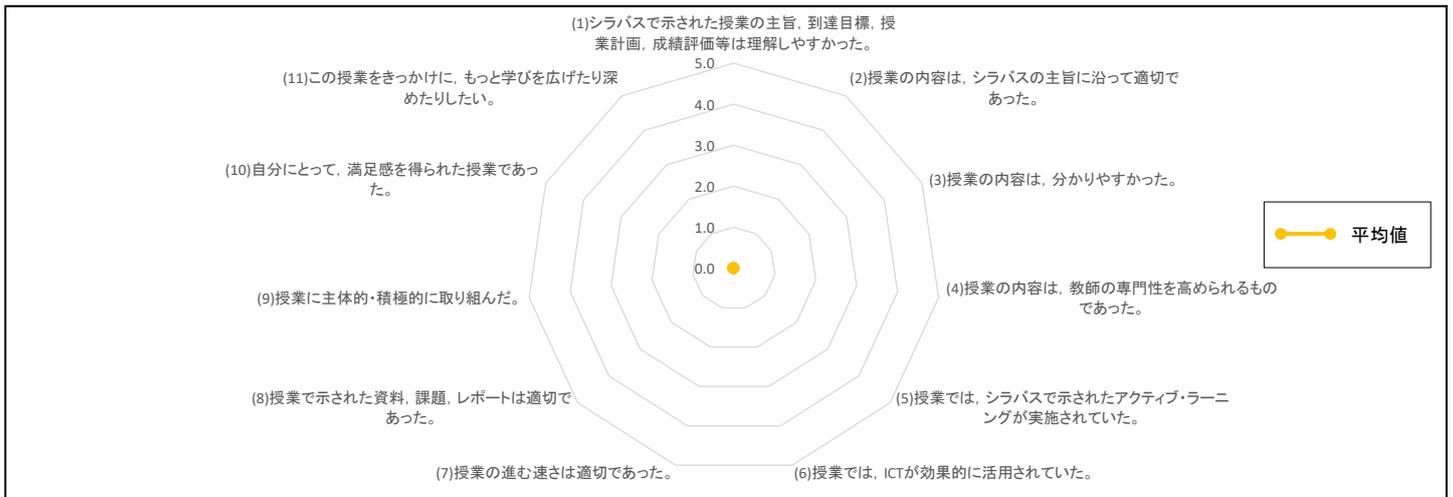
11の質問項目の平均値が4.7から5.0であったことをふまえると, 本授業は好評であったと考える。後期前半の授業で, 毎週連続2コマの授業であったため, 講義の時間を可能な限り短縮し, 学生による発表やディスカッションを中心に授業を展開した。今後も講義と演習のバランスを考慮しつつ, 授業を展開したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	178	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	言語コミュニケーション教育（英語）の教材開発演習		回答者数	0	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	佐藤 美智子, 森山 倭成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

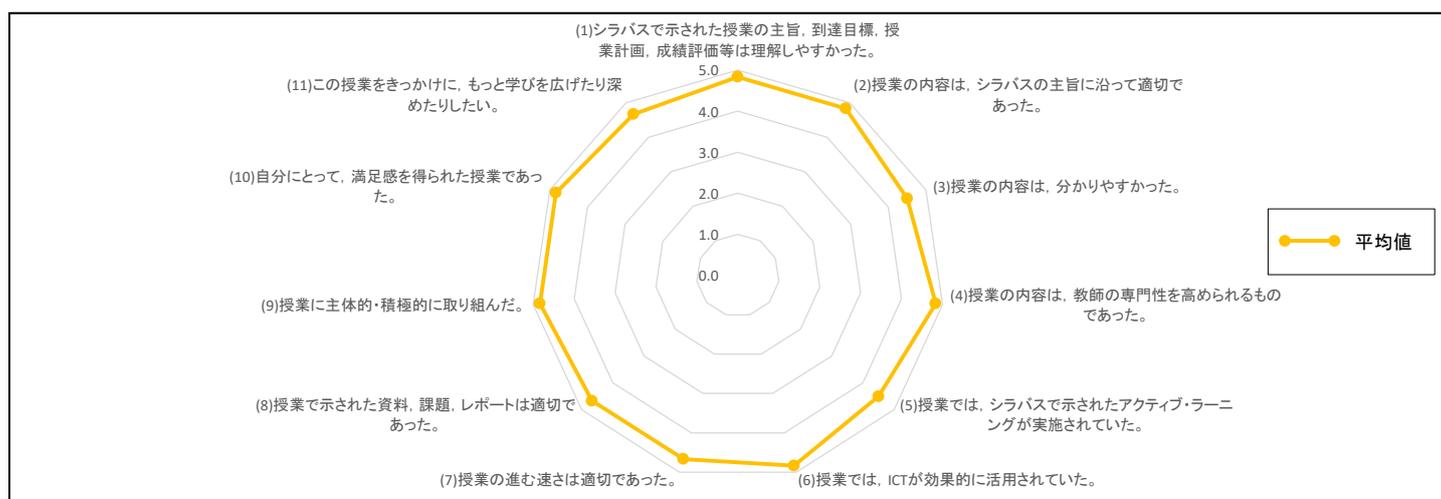
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	179	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	言語文化教育（英語）の教材開発演習		回答者数	6	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山森 直人, 木口 圭子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	3	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	1	0	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	2	0	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	2	0	0	0	4.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	2	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

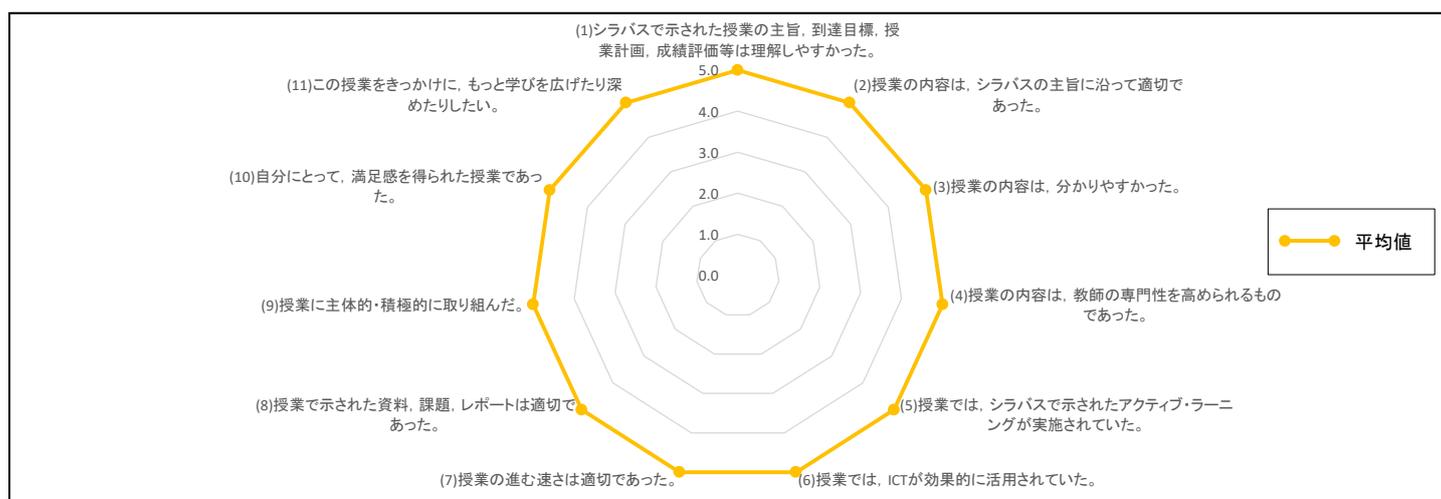
11の質問項目の平均値が4.5以上（回答者全員が4以上を選択）であったことをふまえると、本授業は好評であったと考える。「(3)授業の内容は, 分かりやすかった。」「(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。」については他の項目に比べ相対的に平均値が低い。学生同士のディスカッションの機会を増やすことを通して授業内容の理解を促すことで、両項目への対応ができると思う。そのような考えのもと、講義と演習のバランスを意識し、授業を展開したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	180	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	言語コミュニケーション教育（英語）の学習指導と授業デザイン		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	ジェラード マーシェソ, 佐藤 美智子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

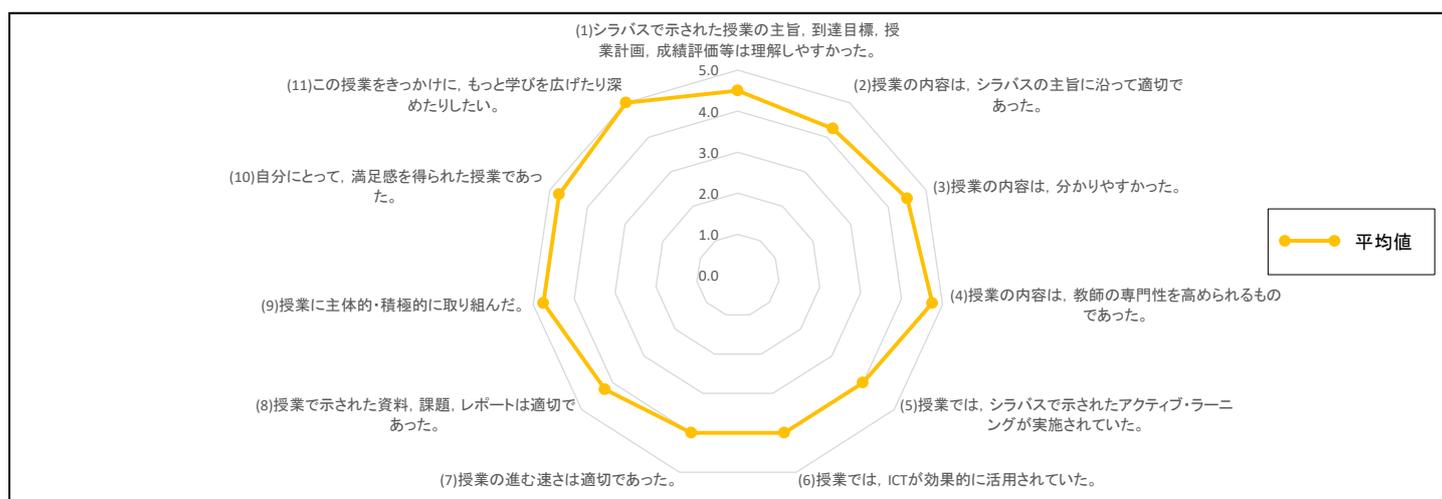
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	181	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	言語文化教育（英語）の学習指導と授業デザイン		回答者数	4	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山森 直人, ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	2	0	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	1	1	0	0	4.3
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	2	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	2	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	2	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	1	0	1	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	1	1	0	0	4.3
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

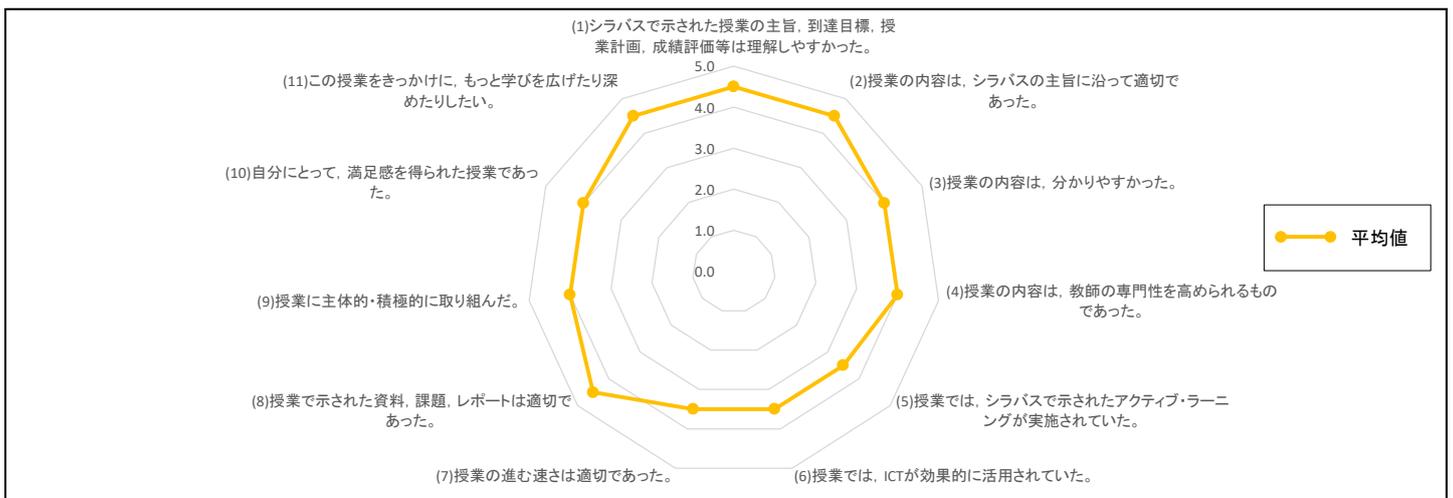
11の質問項目の平均値が4.0以上であったことをふまえると, 本授業は好評であったと考える。「(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。」「(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。」「(7)授業の進む速さは適切であった。」については他の項目に比べ相対的に平均値が低い。個人的に担当した回では, 授業が講義中心になってしまった感があり, その結果, (5)(6)(7)の平均値が低くなったのではないかと考える。授業の内容・方法に関する担当教員間の連携を十分に図るとともに, 講義と演習のバランスを意識し, 授業を展開したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	182	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	社会認識教育（地理歴史）の内容構成演習A			回答者数	2 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	立岡 裕士, 畠山 輝雄, 伊藤 直之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	1	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	1	0	0	4.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	1	0	0	3.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	1	1	0	0	3.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	1	1	0	0	3.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	2	0	0	0	4.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	1	0	0	4.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	1	0	0	0	4.5



<教員のコメント>

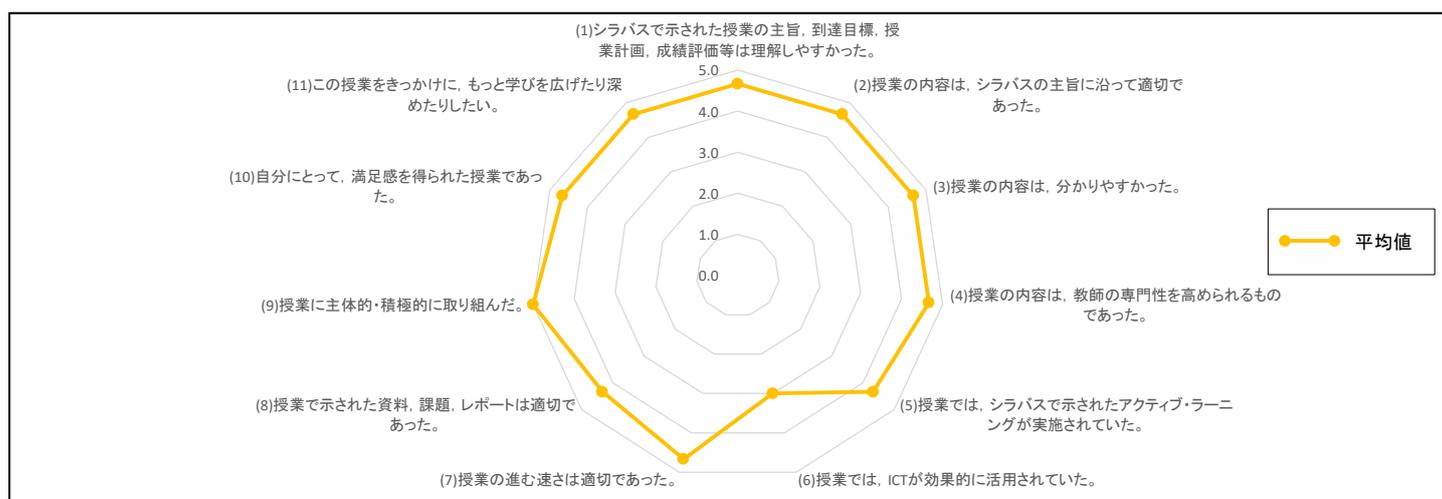
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	183	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	社会認識教育（地理歴史）の内容構成演習B		回答者数	3	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	原田 昌博，町田 哲				

（5:そう思う，4:ややそう思う，3:どちらともいえない，2:ややそう思わない，1:そう思わない）

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨，到達目標，授業計画，成績評価等は理解しやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
(2)授業の内容は，シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は，分かりやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
(4)授業の内容は，教師の専門性を高められるものであった。	2	1	0	0	0	4.7
(5)授業では，シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	1	0	0	4.3
(6)授業では，ICTが効果的に活用されていた。	1	0	1	0	1	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(8)授業で示された資料，課題，レポートは適切であった。	1	2	0	0	0	4.3
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって，満足感を得られた授業であった。	2	1	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに，もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	1	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

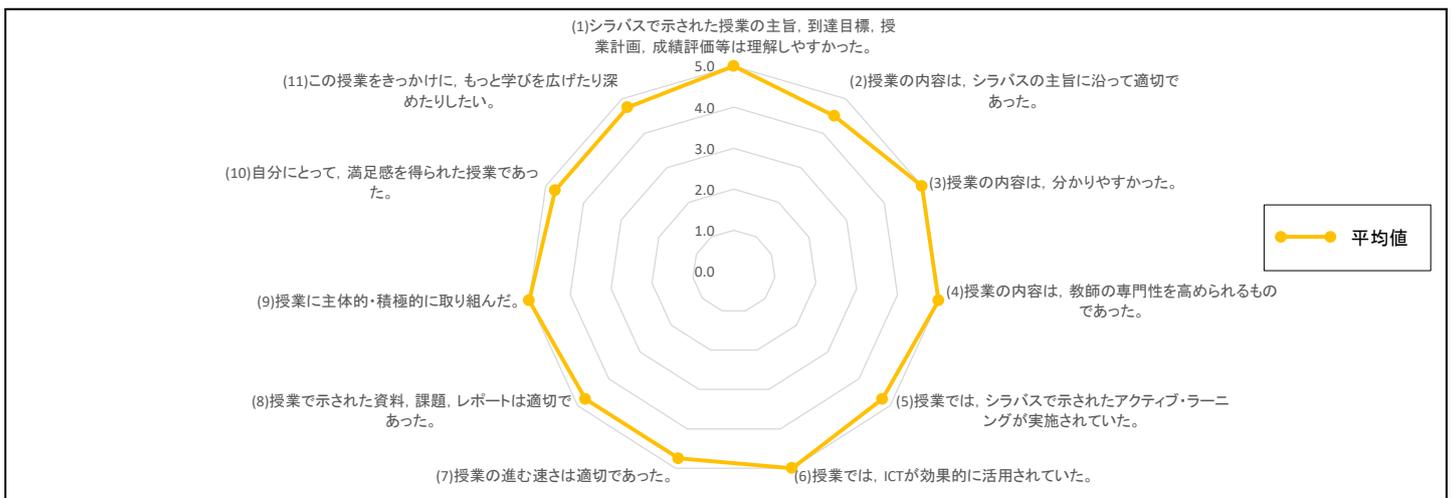
本授業は、歴史の持つ特性（歴史とは何か）を理解した上で、「政治史」と「社会史」の視点から日本史・世界史の教科内容を分析し、教材を研究する上での視点や方法を習得することを目的としている。今年度は受講生が4名で3名が評価を行った。ICT活用に関する質問を除く各質問項目ともすべてが平均値で「4.3～5.0」と評価されており、授業担当者としては、概ね本講義の目標を達成できたと考えている。本授業への満足度に関しても「4.7」の結果がでており、概ね受講生が満足するものになったと結論づけることができる。来年度はさらに内容の精選を図り、受講生の授業実践に資する授業を目指したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	184	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	社会認識教育（地理歴史）の教材開発演習A		回答者数	4	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	畠山 輝雄, 立岡 裕士, 伊藤 直之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	0	1	0	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

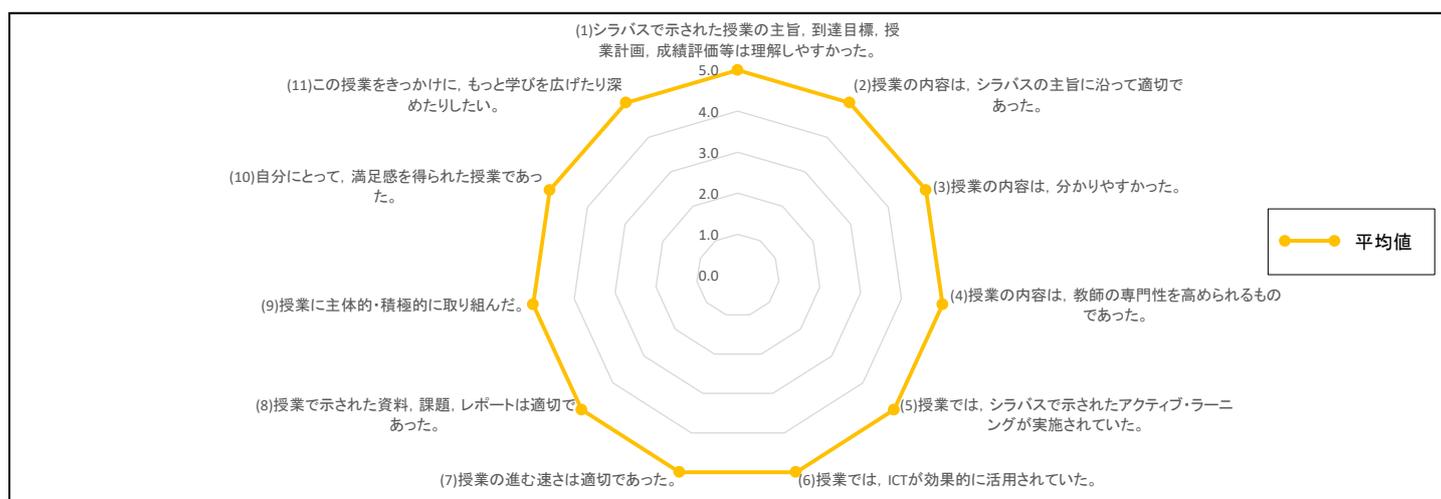
少人数ではあったが、おおむね良好な評価であった。次年度も、本年度を踏まえ、より院生が中心となって議論のできるような授業に努めたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	185	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	社会認識教育（地理歴史）の教材開発演習B		回答者数	3	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	町田 哲, 原田 昌博				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

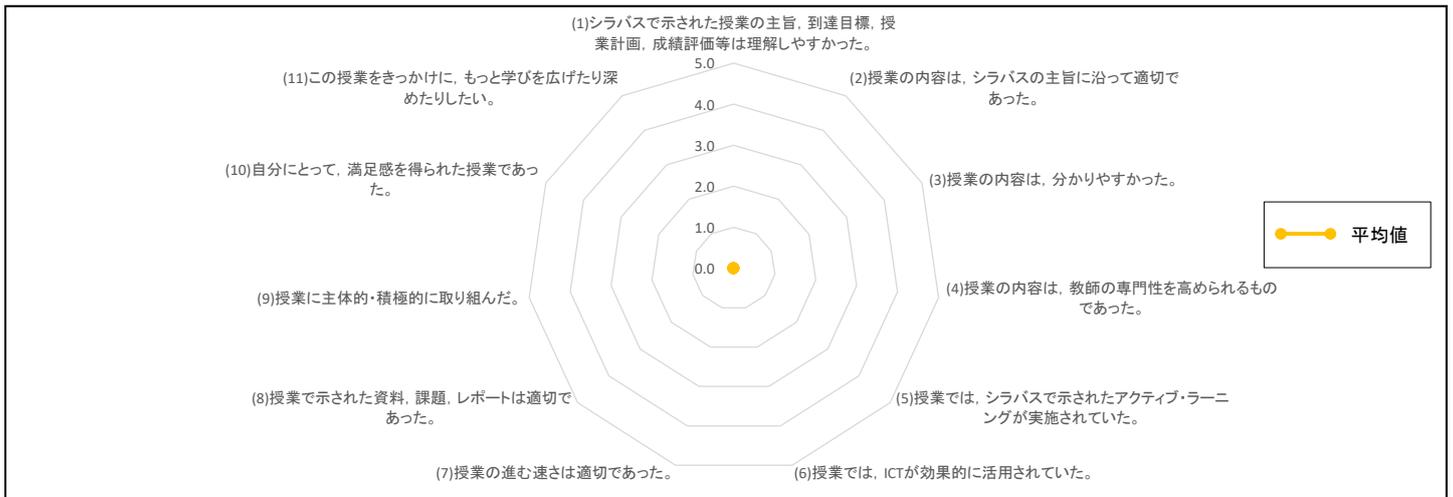
本授業は、社会認識の形成を目的とした歴史分野の教材開発を目的としている。そのため、歴史分野における教材は、学問に裏付けられた史料・文献における解釈の多様性を考慮することが必要となる。そこで、歴史分野の教材特性を活かした教材の提案・開発を、演習形式で展開した。アンケート結果によれば、「中高の歴史教育は少しずつ変わっている箇所もあるが、未だに政治史中心の展開であり、なぜそのような出来事が起こったのか、どのようなストーリーがあるかということが軽視されている。教材研究を深く行うことの重要性が改めて理解できた」という評価が得られるなど（自由記述）、ほぼ受講生の満足を得られる結果が得られたことがうかがえる。今後もより学習効果を高めることが出来る授業を展開したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	186	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	社会認識教育（地理歴史）の学習指導と授業デザインA			回答者数	0 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	伊藤 直之, 立岡 裕士, 畠山 輝雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

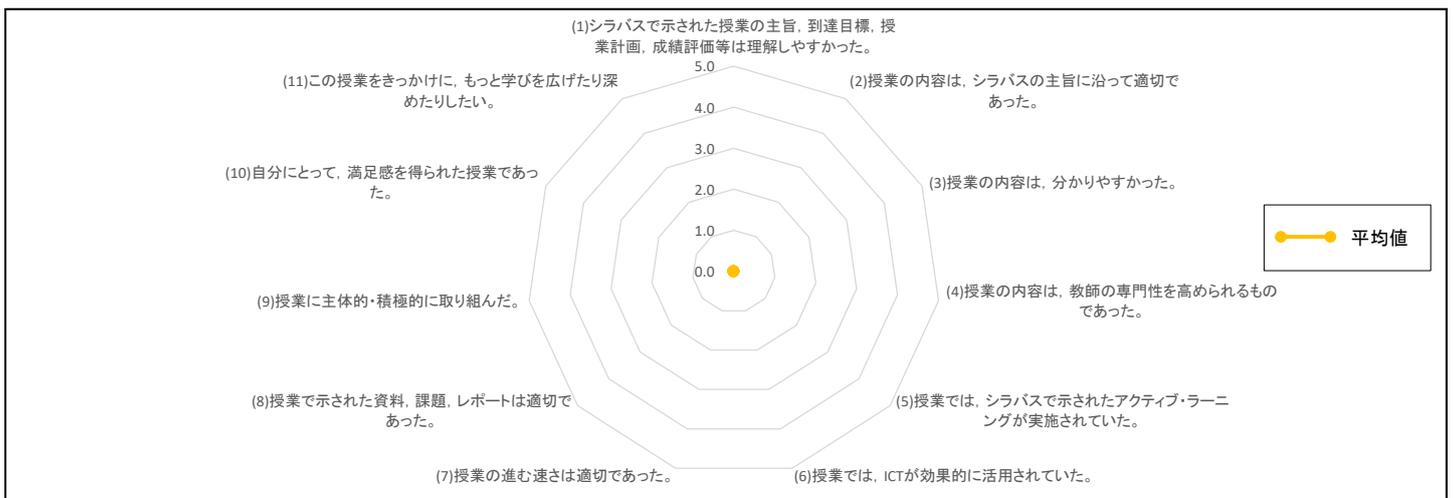
当該授業はわずか2名の受講で実施されており, そのアンケート記入が個人特定につながる恐れがあったため, 受講生の自由意志に任せた。次年度には周知方法を改善したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	187	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	社会認識教育（地理歴史）の学習指導と授業デザインB			回答者数	0 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山内 敏男				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

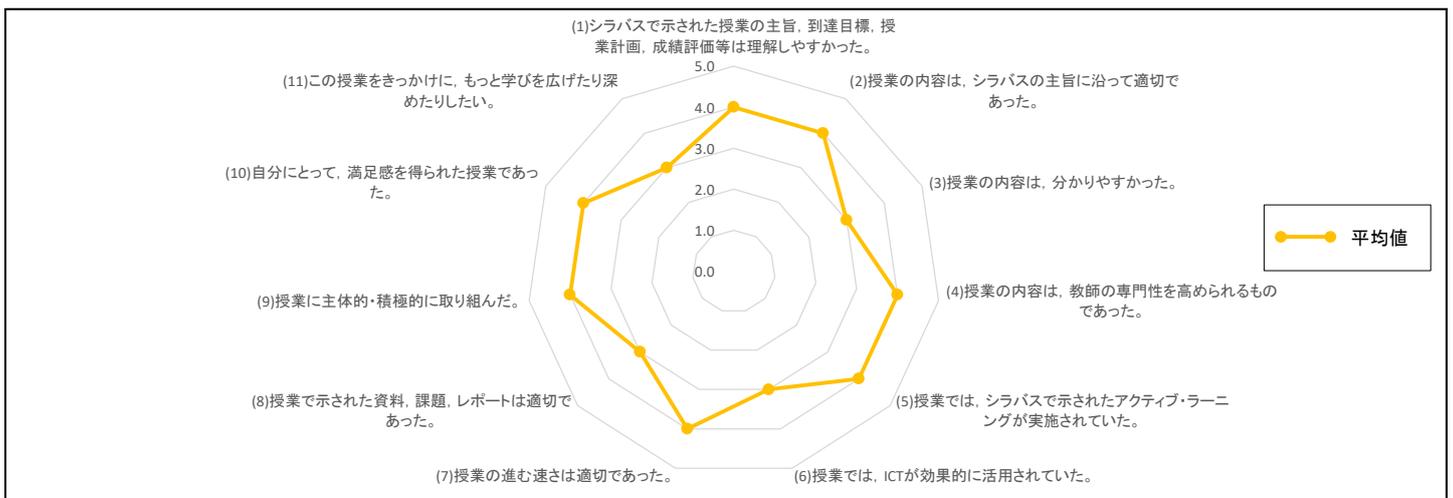
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	188	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	社会認識教育（公民）の内容構成演習A		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	眞野 豊, 青葉 暢子, 麻生 多聞, 井上 奈穂				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	1	0	0	3.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	1	0	0	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	1	0	0	3.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	0	0	0	4.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	1	0	0	3.0



<教員のコメント>

この授業の前半では、アルベール・メンミの差別理論やフランツ・ファノンのポスト・コロニアリズム理論などを取り上げて、現代社会が直面する差別問題や多様性共存について講義した。授業の中盤では、社会や人の多様性を教える授業の具体例をいくつか紹介し、その内容について考察した。授業の後半には、二つのチームに分かれて、社会科公民分野において多様性共存をどう教えるかを課題として、模擬授業を考え実践させた。一つのチームは、SNS上における人権侵害やトラブルについて取り上げ、もう一つのチームは、宗教と人権保障に係る問題をテーマに授業を行い、現代的な問題を社会科でどう取り上げ、教えていくべきかについて議論した。

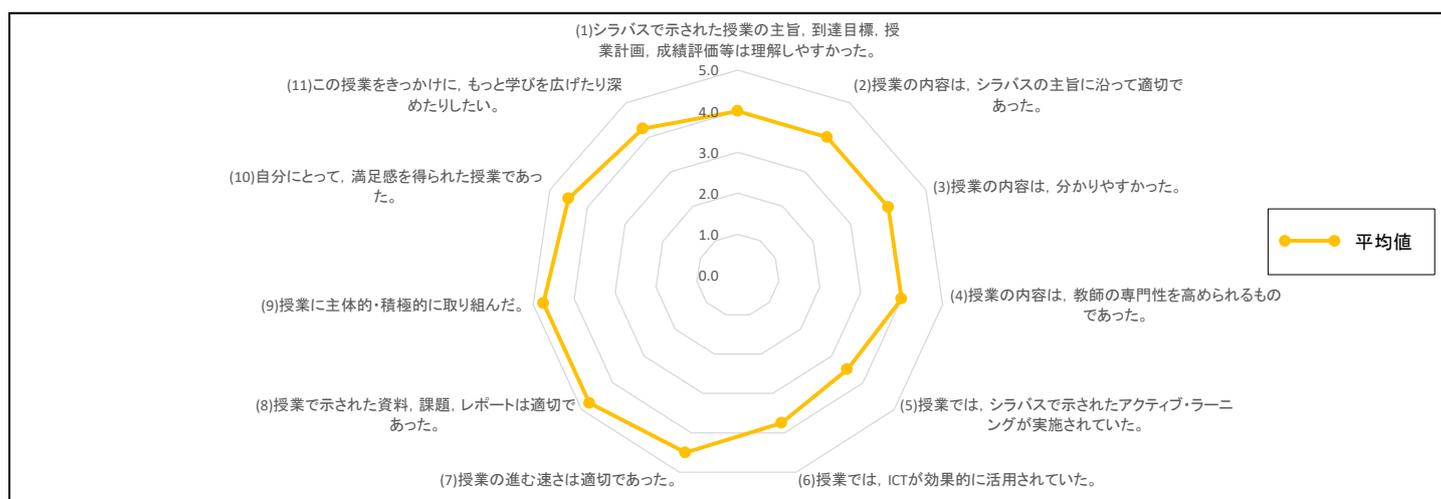
授業アンケートへ回答した1人学生の結果をみると、授業内容の分かりやすさについて課題があったと考えられる。学生の反応や理解度を確かめながら、資料や課題の提示の仕方を変えていくなど今後は改善が必要であると考えられる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	189	評価実施日	令和4年10月31日		
授業科目名	社会認識教育（公民）の内容構成演習B		回答者数	4	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	青葉 暢子, 麻生 多聞, 井上 奈穂, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	1	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	0	0	0	1	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	0	0	1	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	0	1	4.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	1	0	1	3.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	1	0	0	1	3.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	0	1	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	0	1	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	1	1	0	0	4.3



<教員のコメント>

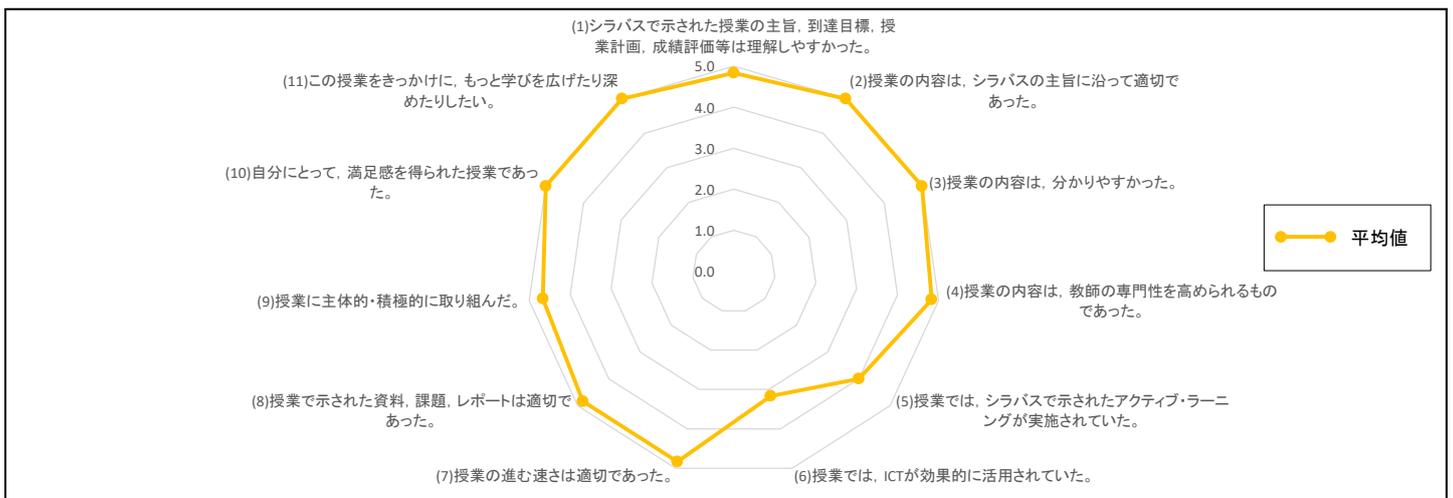
少人数の授業のため, 学生の理解を確認しながら授業を進めることができるのが良かった。授業評価に対する指摘については今後の授業の参考にしたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	190	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	社会認識教育（公民）の教材開発演習A		回答者数	6	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	麻生 多聞, 青葉 暢子, 井上 奈穂, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	6	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	0	1	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	2	1	1	3.2
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	0	1	0	0	4.7
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	6	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

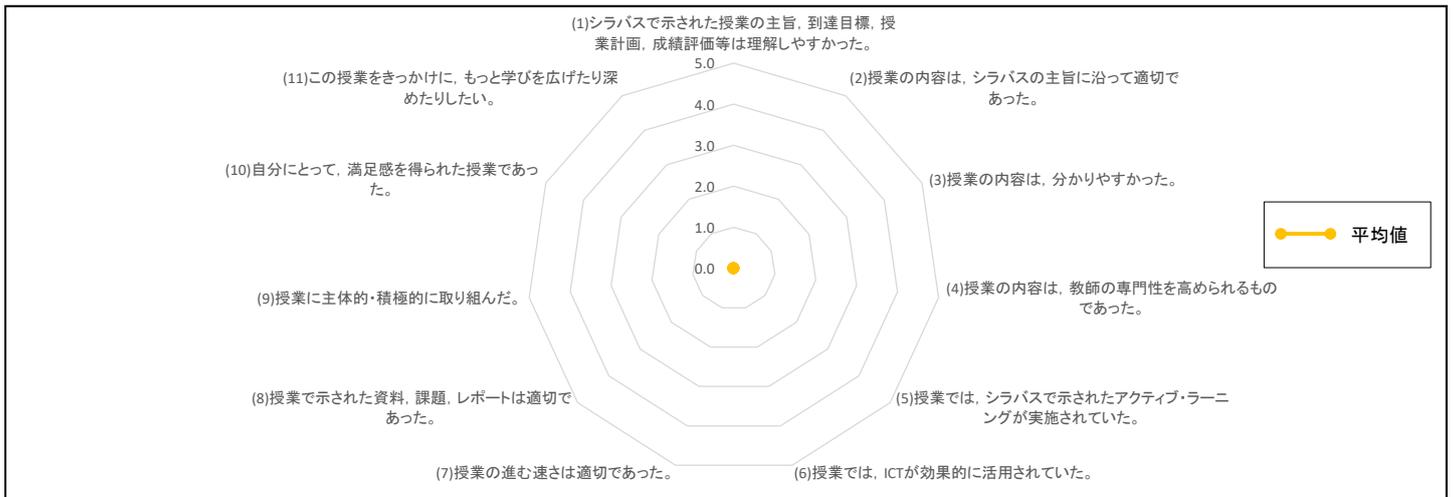
多くの質問項目において高い点数がついており有難く思います。私は、大学院・学部を問わず、すべての担当授業で、小中高の教科書とリンクし、憲法学の専門的知見を反映させたオリジナルのレジュメを用意し、教員志望の学生が将来の教職における授業実践で参考にすることができるようにと考えながら、教育に従事しています。このような形が確立できたのはここ2年ほどのことであり、受講生にとって有用であるかどうか気になっていましたので、この評価結果に安堵しました。ただ、自由記述では、政治的中立性をめぐる配慮を求める指摘もありました。この点は憲法学という政治的価値に関わる学問領域を担当する者として留意しているつもりでしたが、それが十分ではないことに気づかされるものでした。次年度以降、より一層の留意を心掛けたいと思います。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	191	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	社会認識教育（公民）の教材開発演習B		回答者数	0	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	青葉 暢子, 麻生 多聞, 井上 奈穂, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

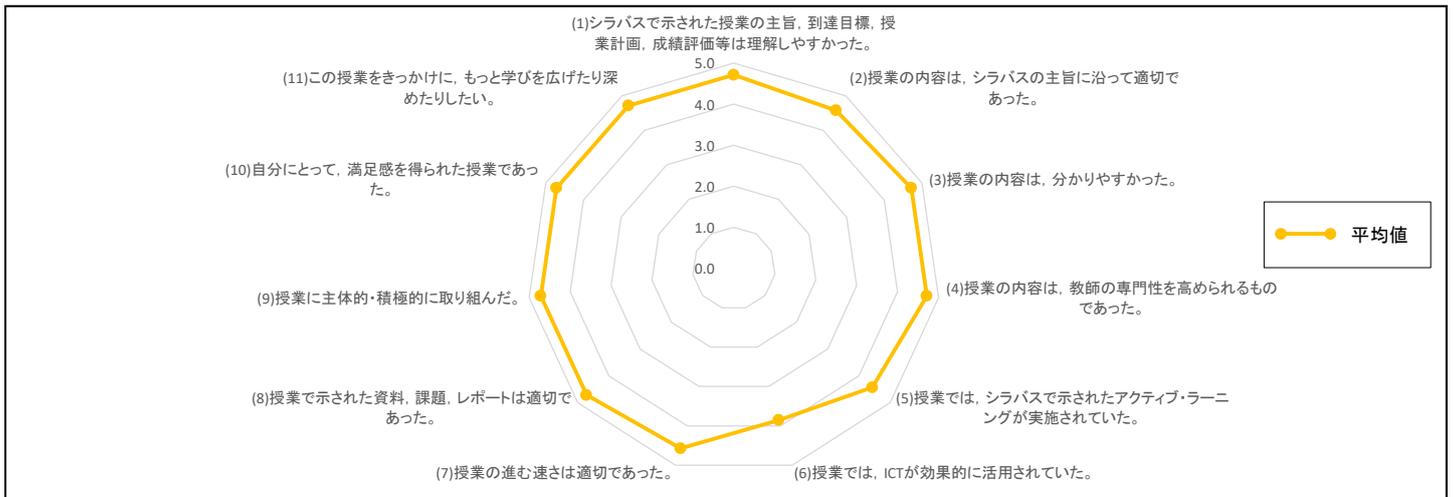
回答者なし

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	192	評価実施日	令和4年10月31日		
授業科目名	社会認識教育（公民）の学習指導と授業デザインA		回答者数	7	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	井上 奈穂, 青葉 暢子, 麻生 多間, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	6	0	1	0	0	4.7
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	1	1	0	0	4.6
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	6	0	1	0	0	4.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	6	0	1	0	0	4.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	2	0	0	4.4
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	0	2	0	1	3.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	1	1	0	0	4.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	6	0	1	0	0	4.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	6	0	1	0	0	4.7
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	6	0	1	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	0	1	0	0	4.7



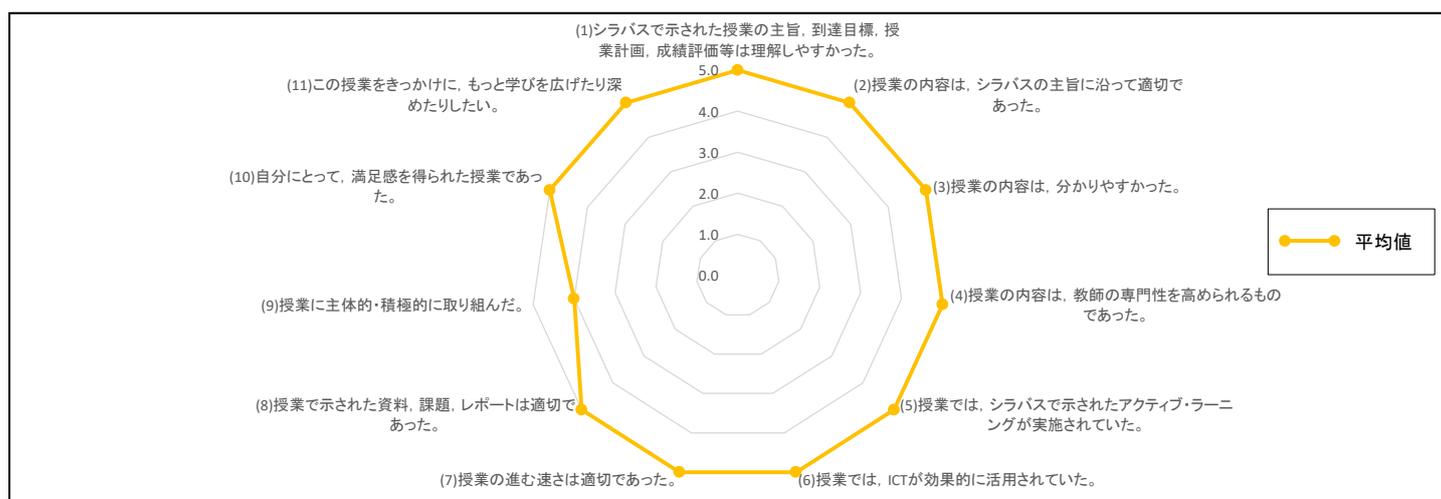
<教員のコメント>
 おおむね満足できる結果といえる。ICTの活用という点で不十分という指摘があったので、次回以降はその点をより充実させていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	193	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	社会認識教育（公民）の学習指導と授業デザインB		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	井上 奈穂, 青葉 暢子, 麻生 多間, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

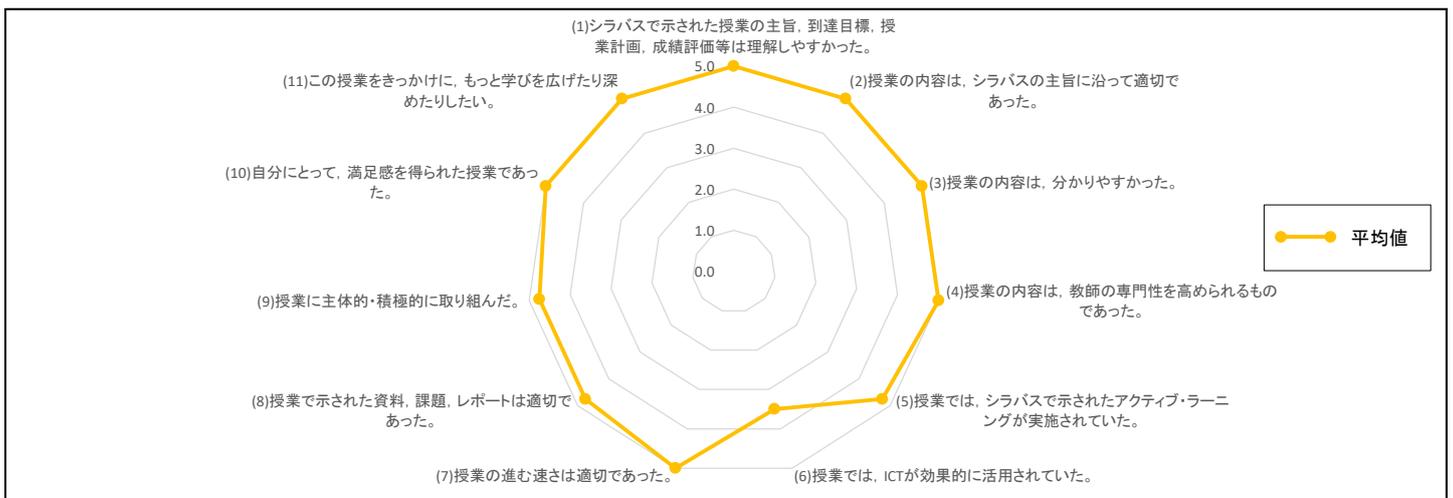
おおむね満足できる結果といえる。ICTの活用という点で不十分という指摘があったので, 次回以降はその点をより充実させていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	194	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	数理認識教育（数学）の内容構成演習A		回答者数	4	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山中 仁, 秋田 美代, 佐伯 昭彦, 宮口 智成, 関 行宏, 早田 透				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	2	2	0	0	3.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

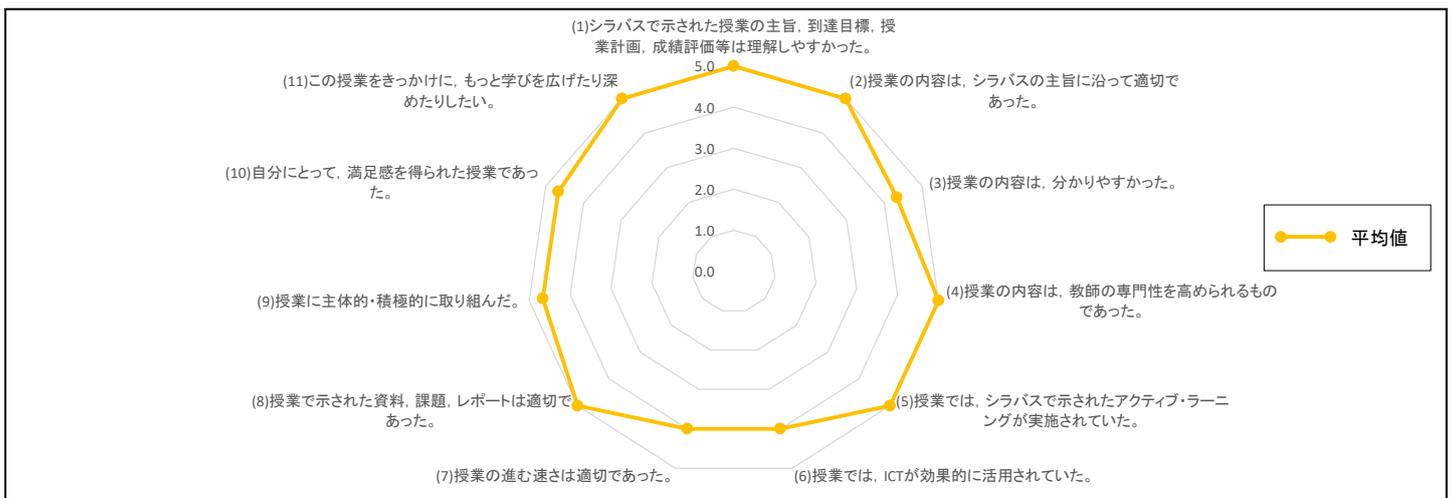
(6)のICTの利用以外はすべての項目で4.8を超えており、好評であったことが伺える。本講義の目的の1つはつまずきに着目した内容構成において1つのフォーマットを提供することで、今後の創意工夫に給するための基盤を提供することにあつたが、「一つのフォーマットができたと言うことが大きな良さだと思いました。」というコメントがあり、こちらの意図が伝わったことがわかる。また、本講義は教科専門と教科教育のTTで行われたが、「佐伯先生からは教育学的な内容、山中先生から数学的内容で指摘アドバイスを頂けたので、どちらの観点からも問題を捉えることができよかつた。」というコメントがあつた。ICTの利活用については本講義は学生同士のディスカッションが主であり、ICTがそもそも有効かという問題もあることに留意しつつ、検討を重ねていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	195	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	数理認識教育（数学）の内容構成演習B		回答者数	3	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	関 行宏, 秋田 美代, 佐伯 昭彦, 宮口 智成, 早田 透, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	1	0	0	4.3
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	1	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	1	1	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	1	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

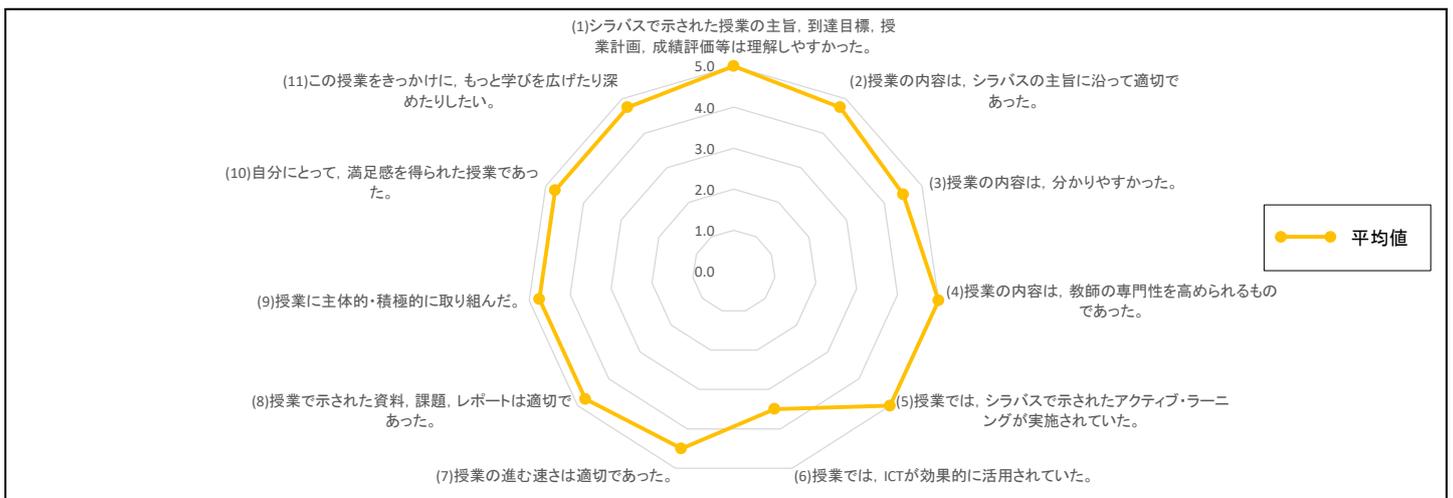
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	196	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	数理認識教育（数学）の教材開発演習A		回答者数	4	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	早田 透, 秋田 美代, 佐伯 昭彦, 宮口 智成, 関 行宏, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	2	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	2	2	0	0	3.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	2	0	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

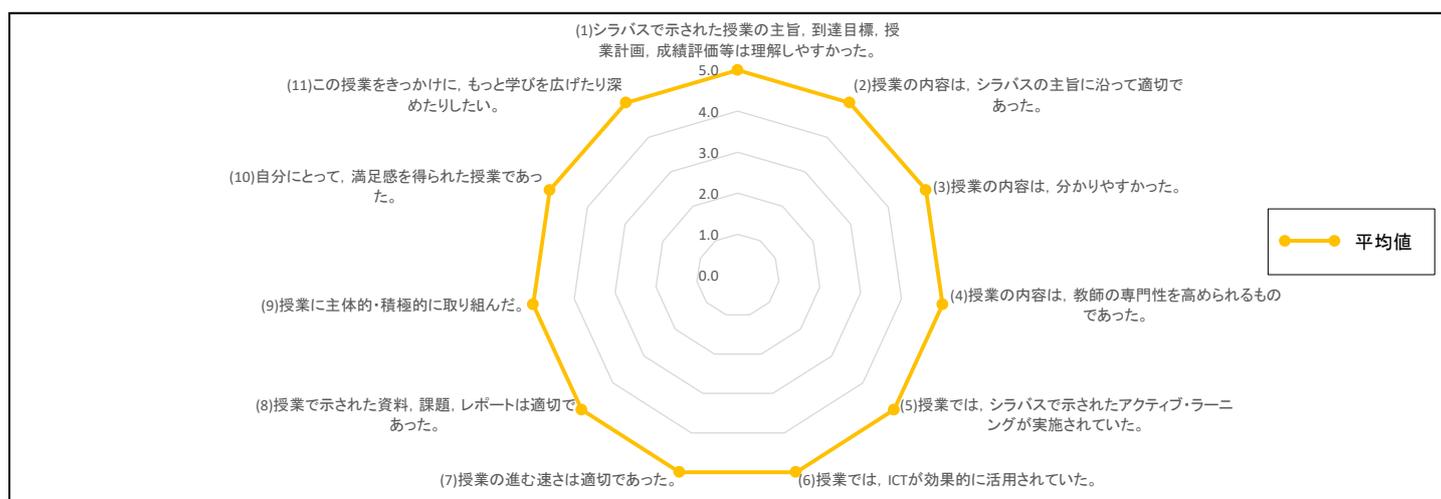
授業は計画通りに実施され, その意図や実現目標については概ね了解されたものであることがアンケートより読み取れる。このため, 内容に関しては概ね十分な水準を満たしているものとして判断できる。次年度以降に内容を更新する際も, 本年と同様の傾向で授業を作成していきたい。なお, ICTという「方法」に関する項目は, 本授業においては学生の選択する「内容(どの領域を調べるか)」に依存するため, 考慮していない。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	197	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	数理認識教育（数学）の教材開発演習B		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	宮口 智成, 秋田 美代, 佐伯 昭彦, 関 行宏, 早田 透, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

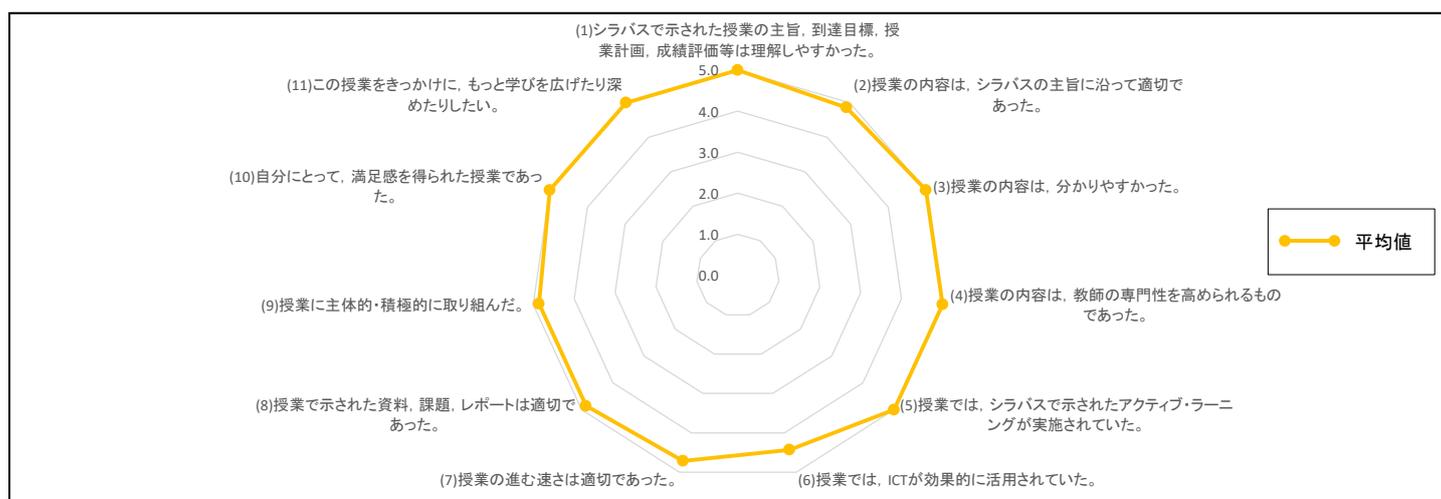
どの項目も高評価であるため、授業は概ねうまく進められたのではないかと判断する。ただし、受講生が少ないことから、実情を反映したデータであると考えことはできない。さらに工夫が必要な点を見出し、改善していくことが不可欠である。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	198	評価実施日	令和4年10月31日		
授業科目名	数理認識教育(数学)の学習指導と授業デザインA		回答者数	7	人
授業区分	専門科目(教科領域力)				
担当教員名	秋田 美代, 佐伯 昭彦, 宮口 智成, 関 行宏, 早田 透, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	7	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	7	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	2	1	0	0	4.4
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	2	0	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	7	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	7	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

本授業の目的は、数学の認識特性を踏まえた学習指導理論を基に、算数科・数学科の目標が実現できる授業のデザインと検討を行うことであった。算数科・数学科の目標が実現できるように、数学の学習における認知特性に焦点を当て、学習者が数学の特性に沿って先の数学や日常生活で数学を活用する力を高める授業デザインと学習指導ができるようにすることをねらいとしていた。

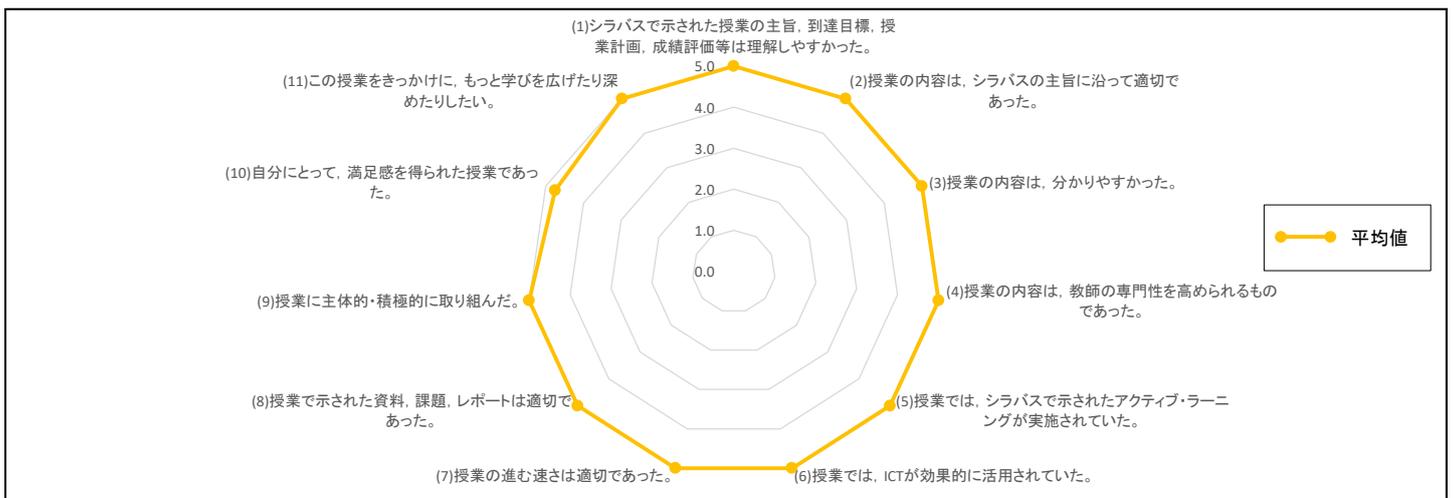
各質問項目の評価平均値は4.4から5.0であった。受講者からは、授業についてのよかった点に対しては、「1つの単元を議論して深く考えられ、深く学べた」、「授業作成の知識を深められた」、「議論の場により考えを深められた」との記述があった。これらのことから、本年度の受講生については、教員としての専門性や実践力を高め、授業の目的を概ね達成できたと考えられた。次年度の課題としては、授業におけるICTの活用がある。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	199	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	数理認識教育(数学)の学習指導と授業デザインB		回答者数	4	人
授業区分	専門科目(教科領域力)				
担当教員名	佐伯 昭彦, 秋田 美代, 宮口 智成, 関 行宏, 早田 透, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

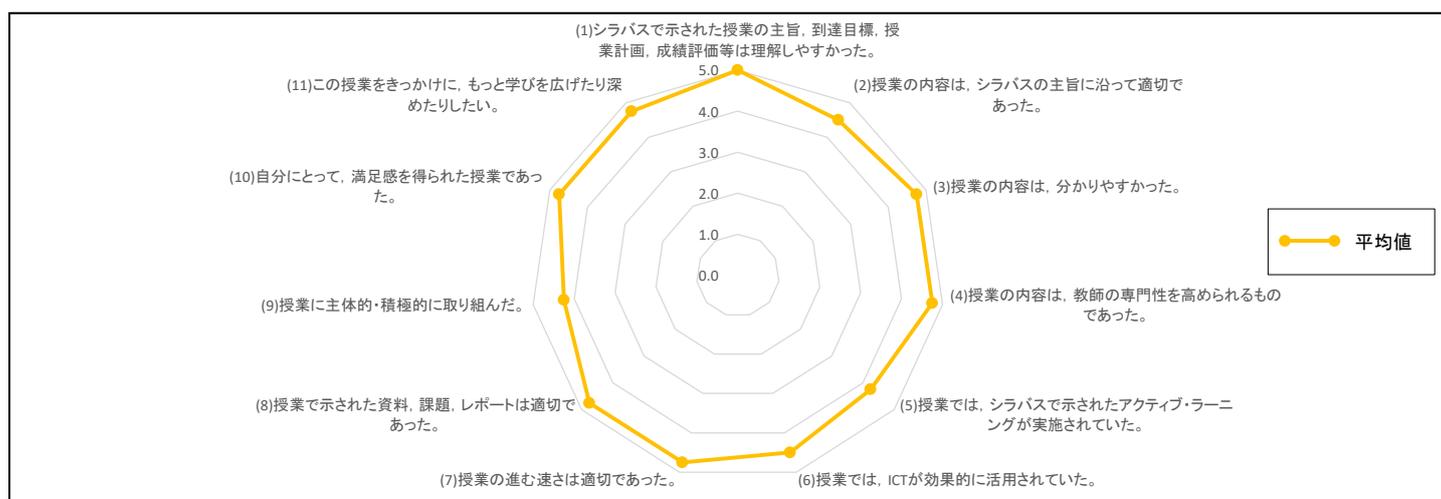
本授業では, 数学の認知特性を踏まえた学習指導理論を基に, 算数科・数学科の目標が実現できるようなICT (GeoGebra) を活用した代数と幾何に関する授業のデザインと検討を行った。具体的には, ICTを活用して生徒が主体的に解析と統計の規則や性質等を発見し, それを数学的に論証する内容の授業をデザインし, 模擬授業を行うとともにその評価と改善を行った。授業評価アンケート調査では, 1項目が4.8で, その他が全て5.0であった。さらに, 学生の自由記述「Geogebraの活用した授業設計ができ, 指導を受けることが出来た」や「ICTの有効性を高めることができた」から, 本授業の目的は概ね達成できたと考える。本授業における授業デザイン-プレゼン-評価-改善の一連の活動は, 数学専門の教員, 数学教育の教員, 学卒学生, 現職学生が議論を通して協働で行った。このことが, 好意的な評価を得た要因になったと考える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	200	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	自然科学教育（理科）の内容構成演習A	回答者数	4	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	粟田 高明, 早藤 幸隆, 本田 亮				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	2	0	0	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	1	0	0	4.3
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	2	0	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	3	0	0	0	4.3
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

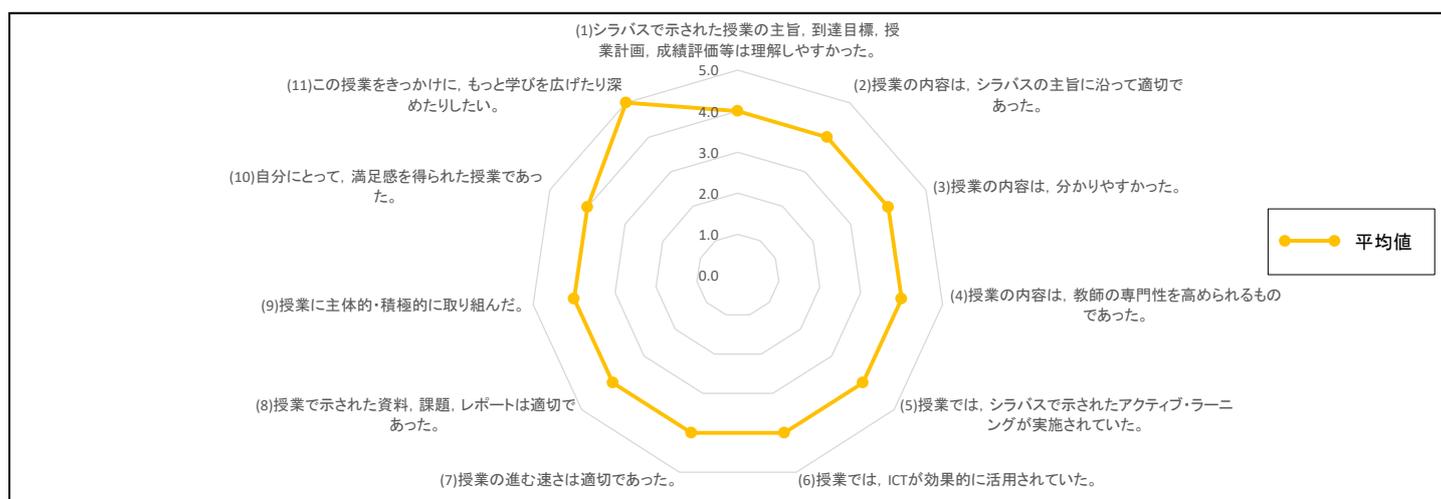
自然科学史を振り返り, 自然科学の教科内容の理解を深める授業内容とした。授業評価は概ね好評であった。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	201	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	自然科学教育（理科）の内容構成演習B	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	胸組 虎嵐, 佐藤 勝幸, 寺島 幸生, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	0	0	0	4.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

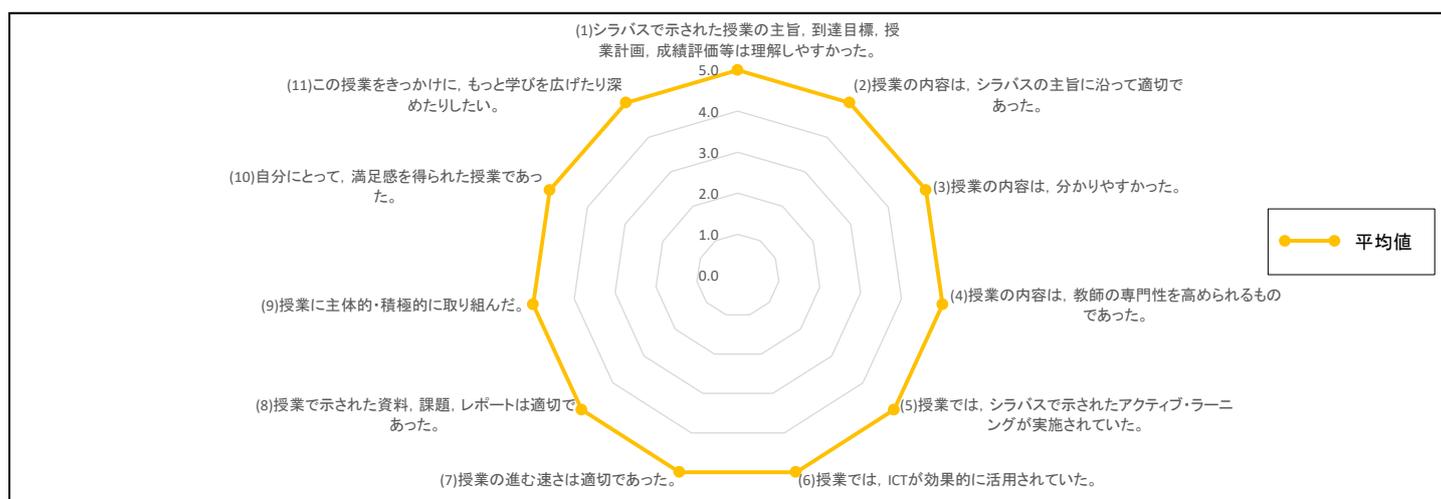
受講者全員5名にアンケートへの回答を頼みましたが、回答者がわずか1名であり確かな評価であるとは必ずしも言えません。しかし、その1人の回答者は最終的学びを広げたり深めたいという結論を出しています。来年度以降、毎回学生さんの反応を見ながら常に改善をしていきたいと考えます。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	202	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	自然科学教育（理科）の教材開発演習A		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	本田 亮, 早藤 幸隆, 武田 清				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

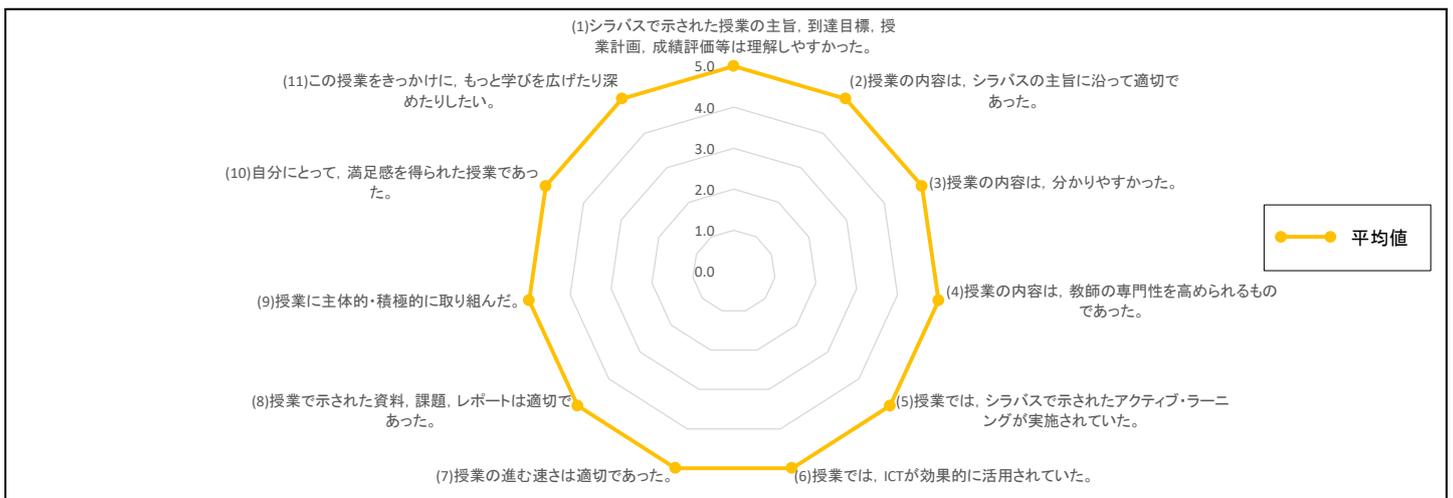
受講者が4人いたなか, 回答者は1人である。その回答内容は, すべての項目に対し「5:そう思う」が選ばれており, 自由記述が無い結果となっている。このようなものへの「教員のコメント」は無意味であり, 担当教員はそれを見つることができない。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	203	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	自然科学教育（理科）の教材開発演習B		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	佐藤 勝幸, 胸組 虎胤, 寺島 幸生, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

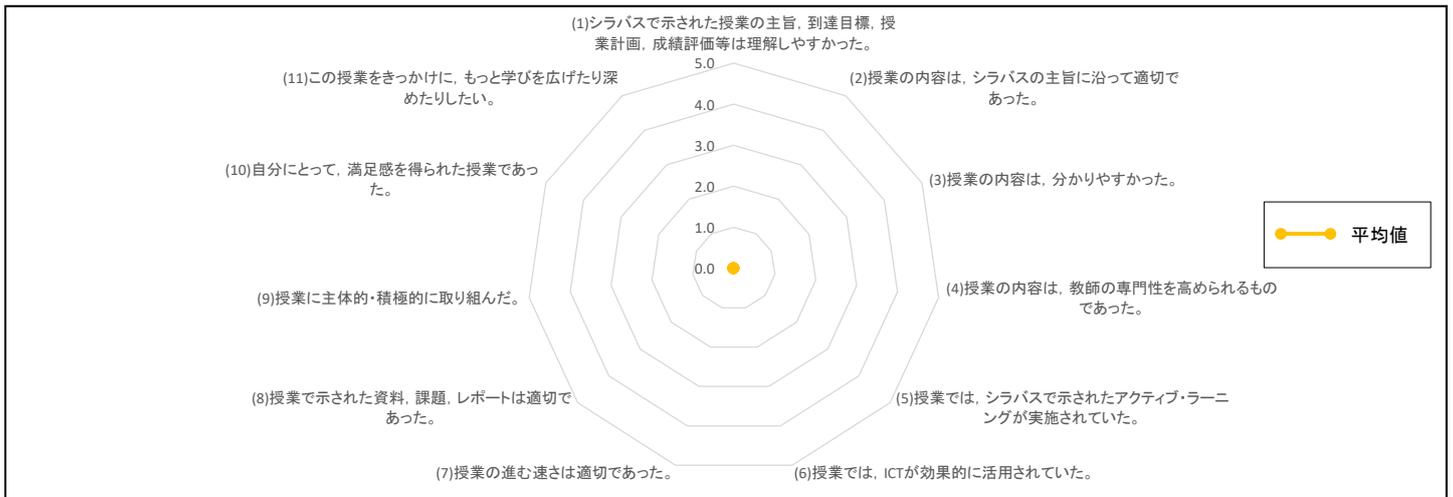
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	204	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	自然科学教育（理科）の学習指導と授業デザインA		回答者数	0	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	早藤 幸隆, 本田 亮, 粟田 高明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

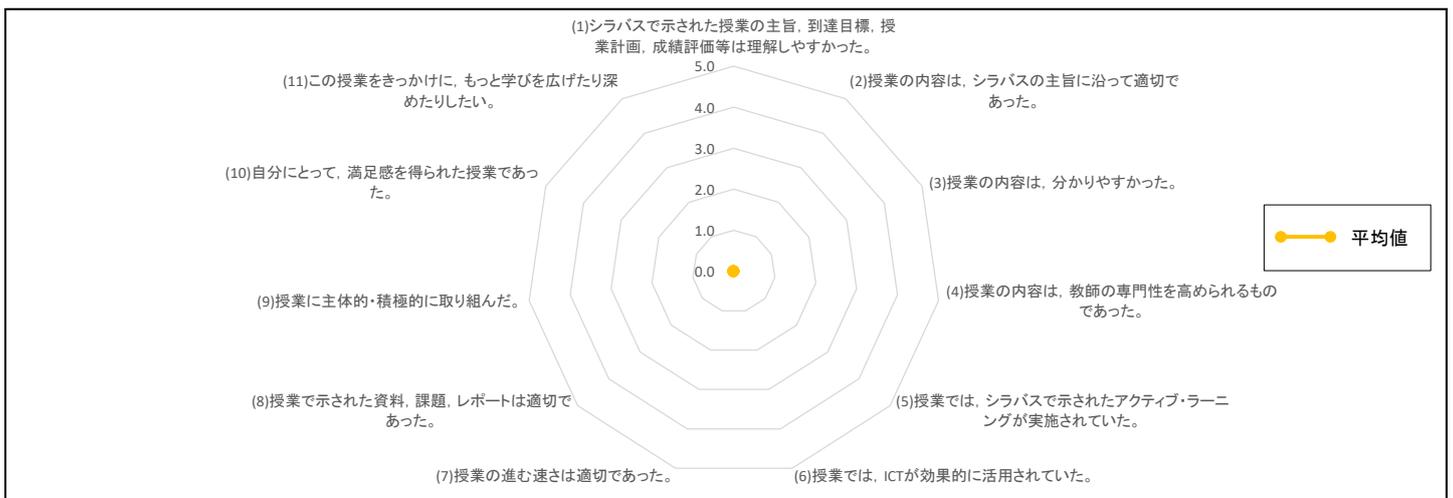
授業評価者の記入がないため, コメント不可能。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	205	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	自然科学教育（理科）の学習指導と授業デザインB			回答者数	0 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	福地 里菜, 佐藤 勝幸, 胸組 虎胤, 寺島 幸生				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



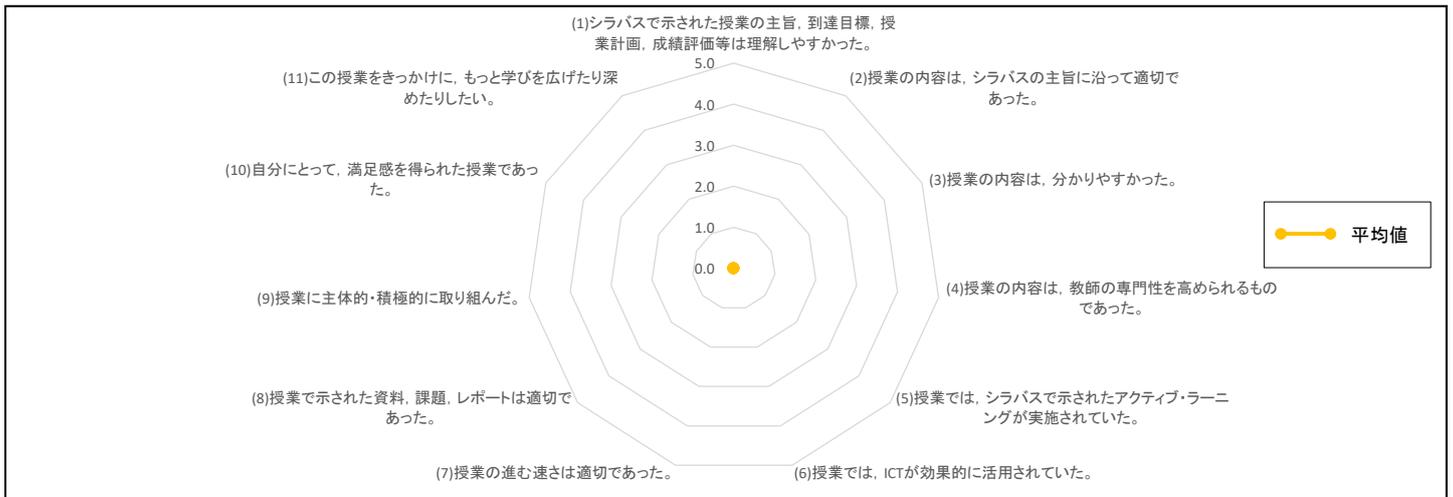
<教員のコメント>
 (空白のため入力しない)

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	206	評価実施日	令和4年10月31日		
授業科目名	ものづくり教育(技・工)の内容構成演習A	回答者数	0	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	米延 仁志, 宮本 賢治, 宮下 晃一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

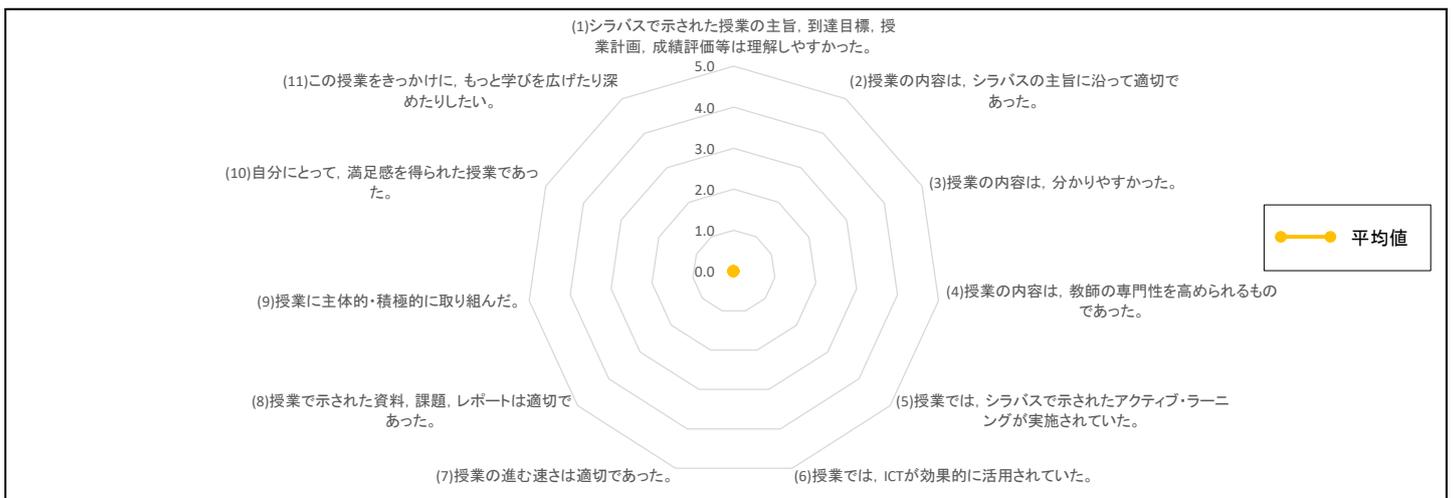
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	207	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	ものづくり教育（技・工）の内容構成演習B			回答者数	0 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	宮本 賢治, 米延 仁志, 宮下 晃一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

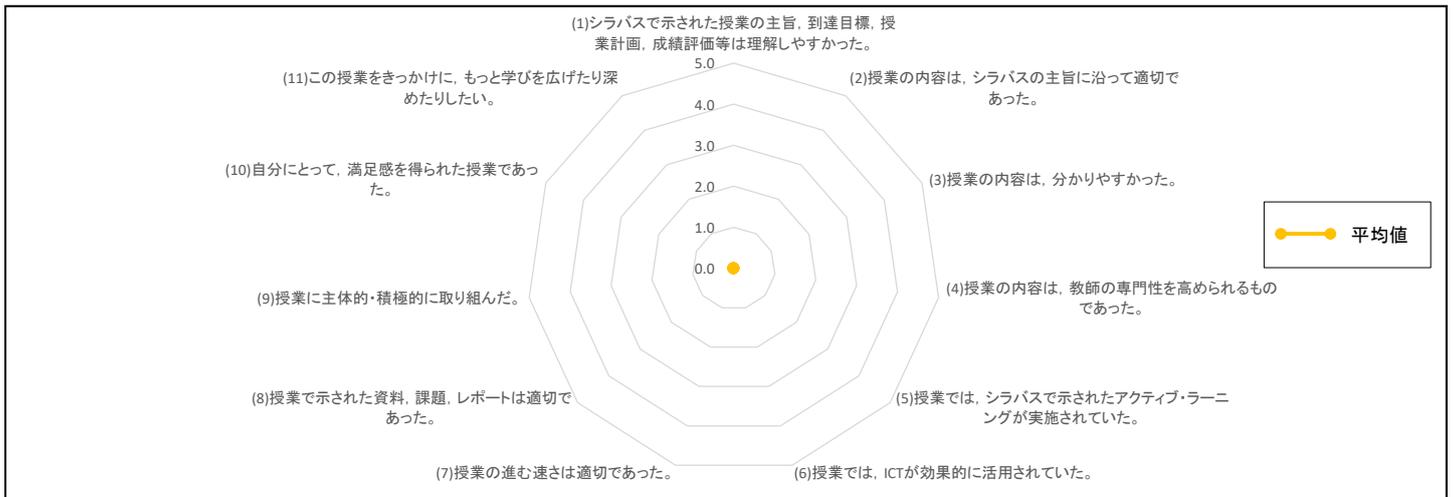
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	208	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	ものづくり教育（技・工）の教材開発演習A		回答者数	0	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	米延 仁志, 宮本 賢治, 宮下 晃一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

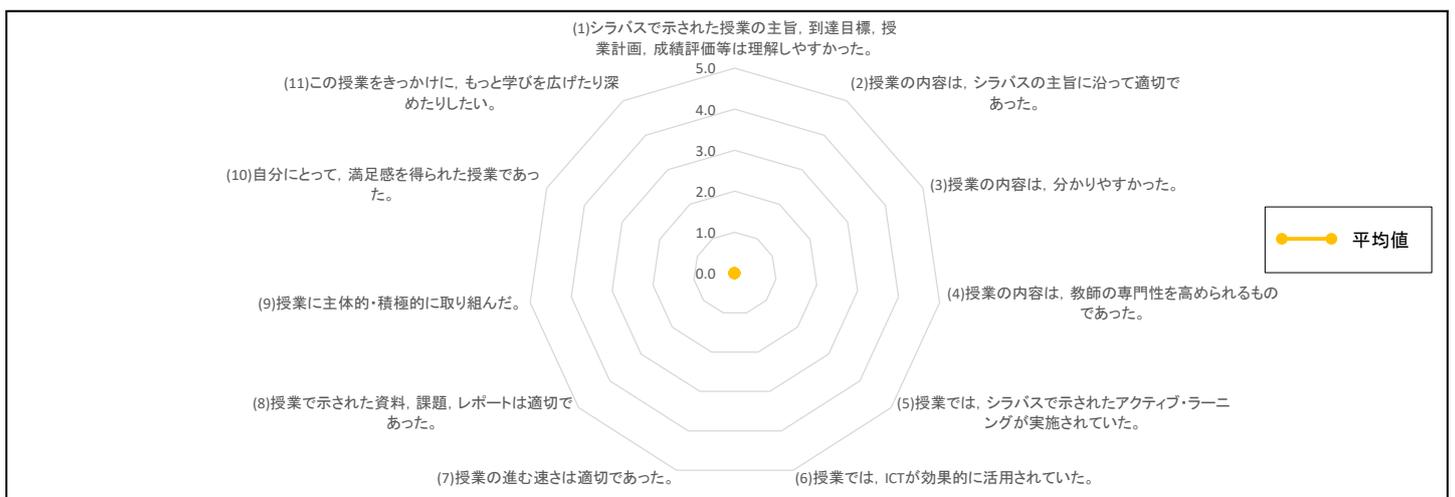
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	209	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	ものづくり教育（技・工）の教材開発演習B			回答者数	0 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	宮本 賢治, 米延 仁志, 宮下 晃一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

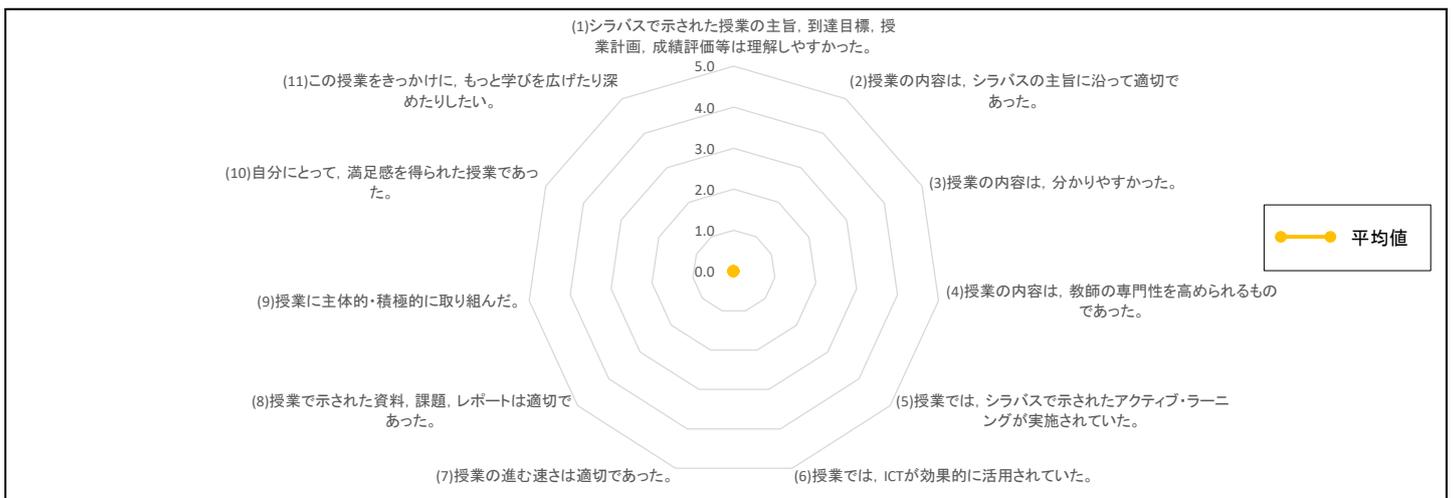
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	210	評価実施日	令和4年10月26日		
授業科目名	ものづくり教育(技・工)の学習指導と授業デザインA		回答者数	0	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	宮下 晃一, 米延 仁志, 宮本 賢治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

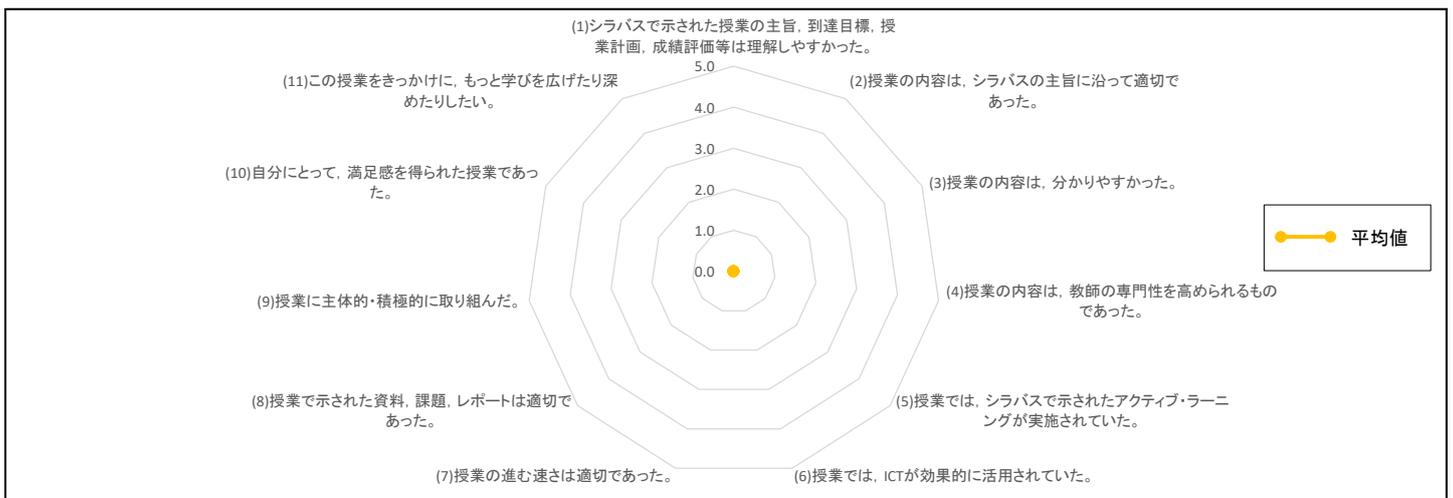
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	211	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	ものづくり教育(技・工)の学習指導と授業デザインB	回答者数	0	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	宮下 晃一, 米延 仁志, 宮本 賢治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

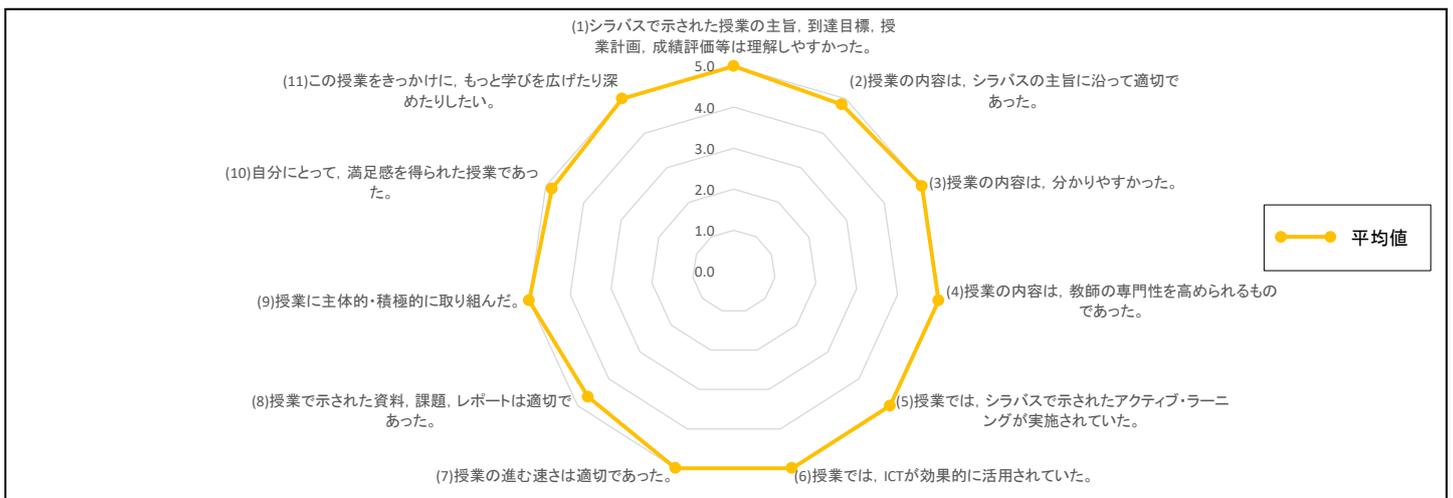
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	212	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	ICT教育（情報）の内容構成演習A		回答者数	6	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	曽根 直人, 阪東 哲也, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	6	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	6	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	6	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	6	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	6	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	0	1	0	0	4.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

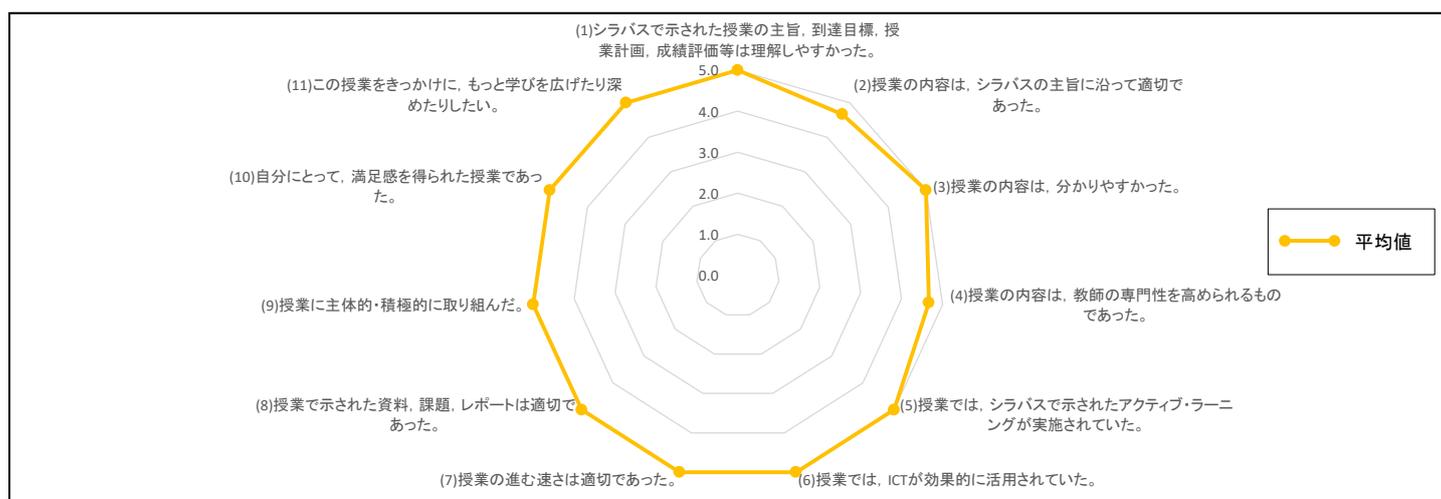
高校の情報で利用されることを目的とした動画教材(NHK for School)を用いて, 情報の授業における指導法について学んだ。参加者による発表やディスカッションを取り入れたこともあり, 授業への積極的な参加がみられたことが高い評価につながったと思われる。ただ, より深い学びへと続けるためには, 各自の事前の予習や予備知識が不足しており, 利用した動画教材を反転授業のように事前に確認してもらうような指導も検討する必要がある。自由記述では「みんなで授業内容について理解を深められたこと。」「それぞれの担当内容を詳しく学ぶことができた。」といった評価があった。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	213	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	ICT教育（情報）の内容構成演習B	回答者数	3	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	曽根 直人, 阪東 哲也, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	1	0	0	0	4.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

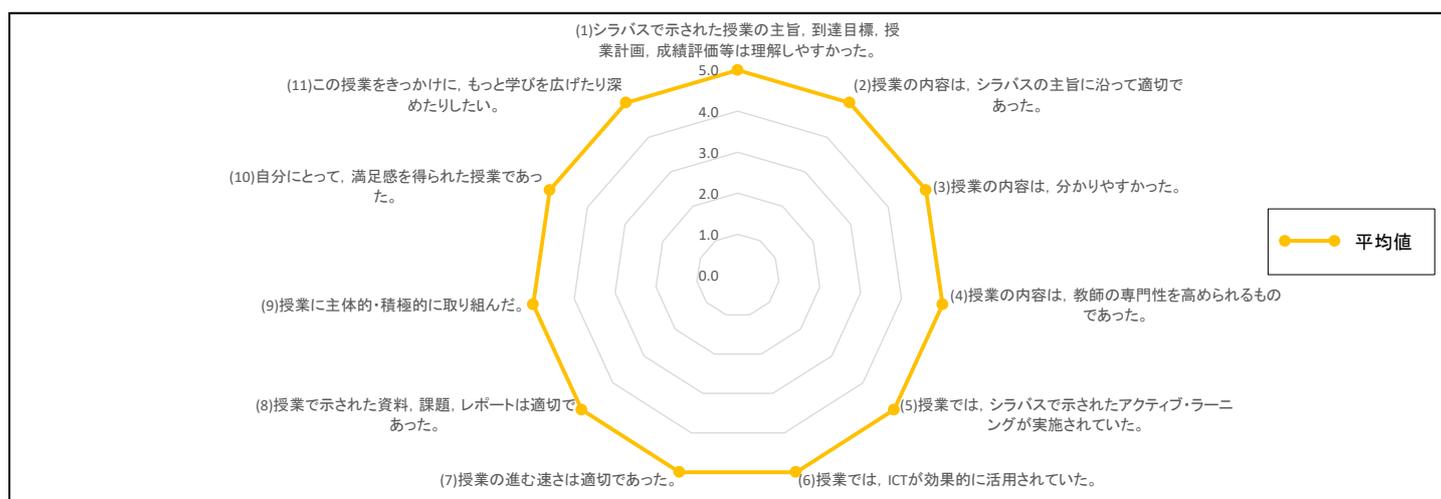
情報に関連する授業の実践事例報告を元に, どのような授業が行なわれているか, 使われた教材はどうかなどを学んだ。それぞれの事例について学生による発表を聞きそれについてディスカッションするスタイルでの授業としたが, 担当した事例についてはよく調べて発表していた。自由記述にも「学びを発表するスタイルで, 自分自身学びが深まったように感じる。」とあり, 高い評価が得られたと考える。ただし, 担当した事例以外についての予習に関してはまだ改善する余地があると考え。事前に予習することにより, さらに学びを深めることができるとおもうが, 今後は自主的に予習をするような工夫を取り入れた授業を展開したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	214	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	ICT教育（情報）の教材開発演習A		回答者数	3	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	伊藤 陽介, 曾根 直人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

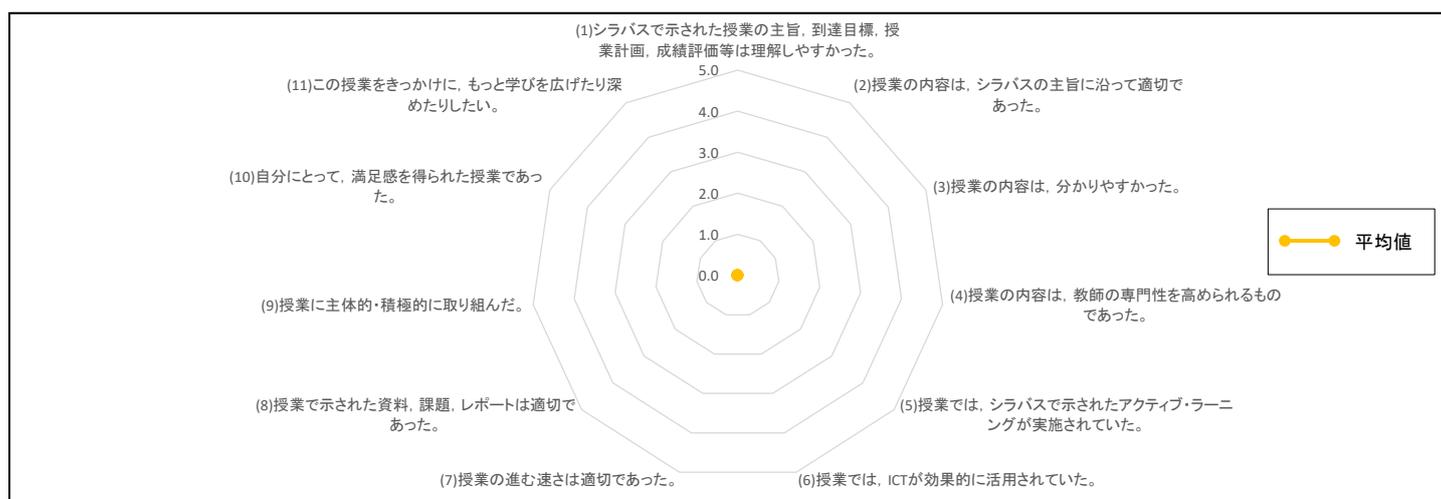
受講者全員が満点の回答であり, 本授業の趣旨や内容は充実したものであったと推測される。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	215	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	ICT教育（情報）の教材開発演習B		回答者数	0	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	伊藤 陽介, 曾根 直人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

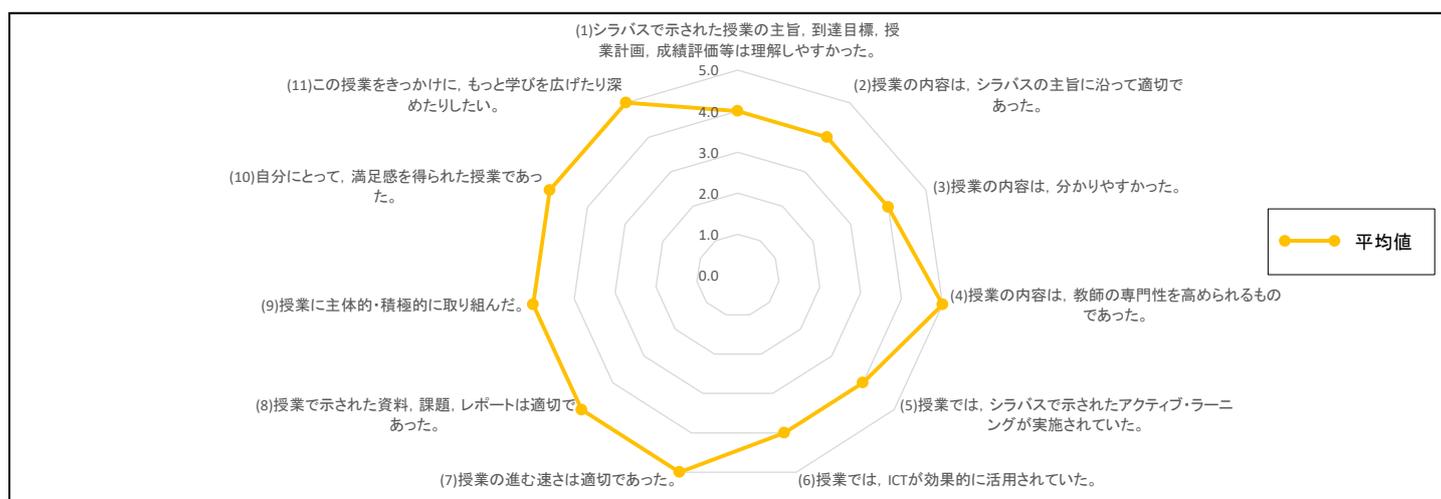
回答数が0のため, コメントできない。次年度は回答するように大学院生に依頼する必要がある。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	216	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	ICT教育（情報）の学習指導と授業デザインA			回答者数	1 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	菊地 章, 阪東 哲也, 伊藤 陽介, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

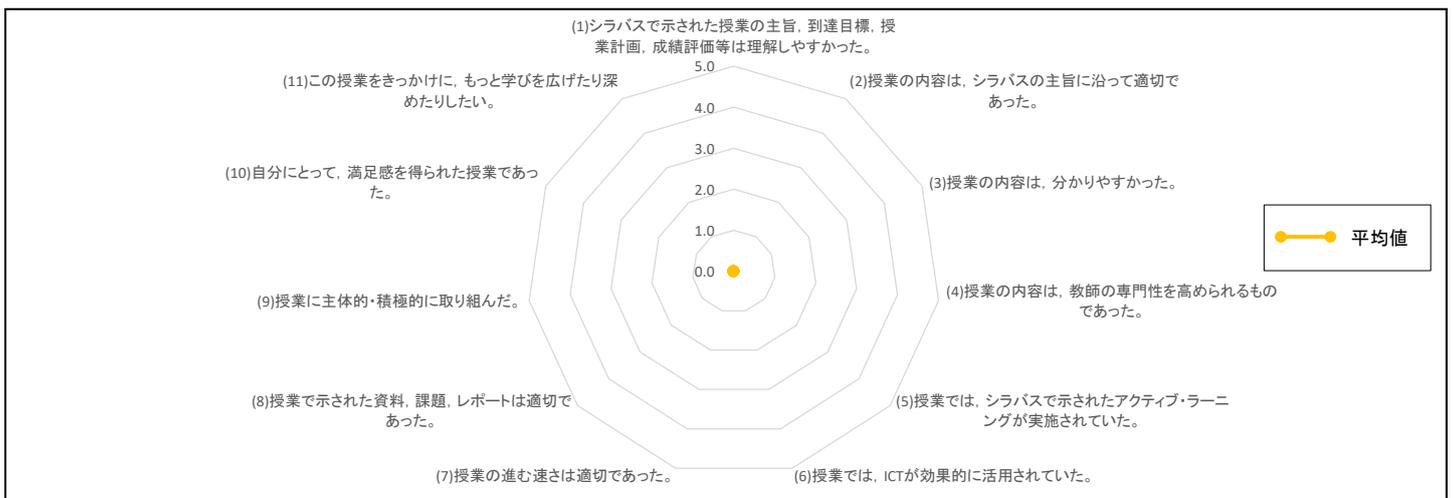
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	217	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	ICT教育（情報）の学習指導と授業デザインB			回答者数	0 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	菊地 章, 阪東 哲也, 伊藤 陽介, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

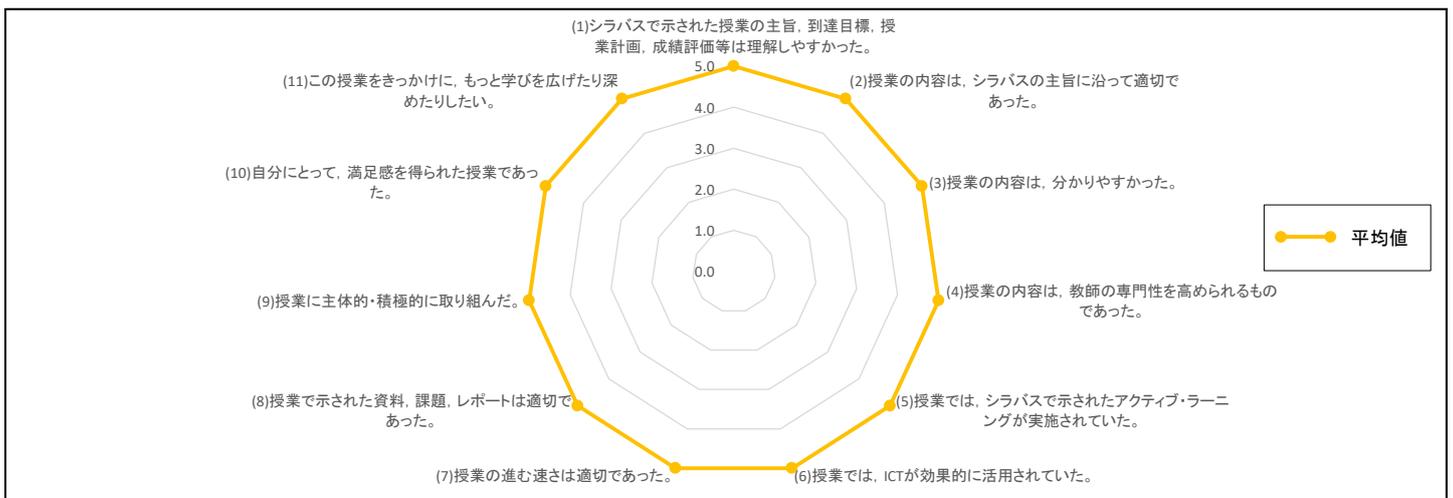
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	218	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	生活科学教育（家庭）の内容構成演習		回答者数	3	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	金 貞均, 西川 和孝, 福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

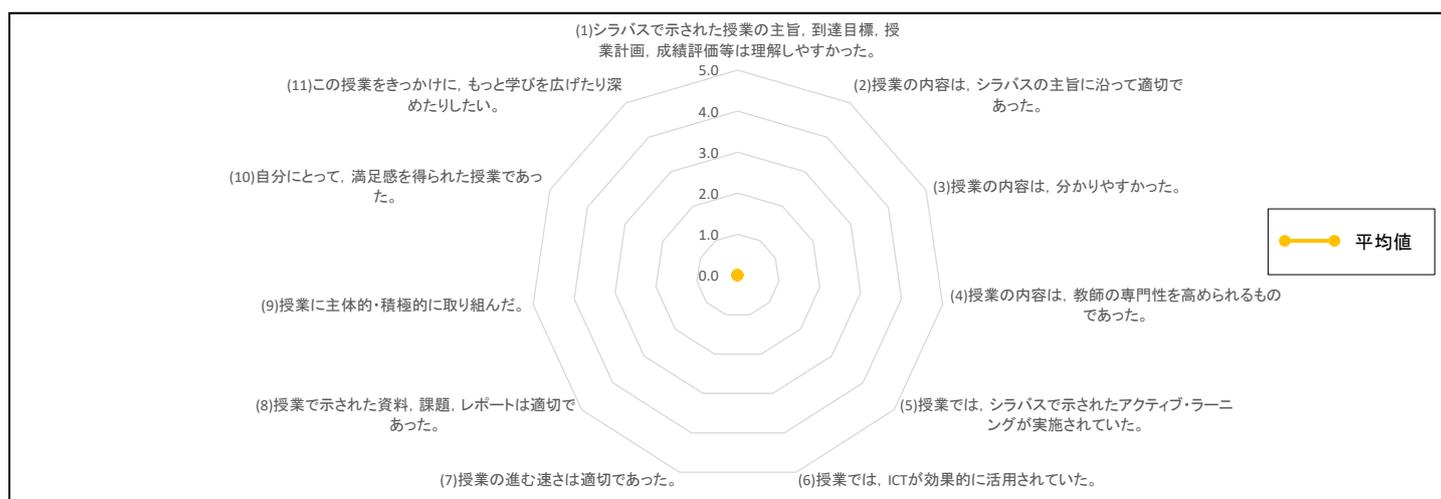
本授業では各学校段階での家庭科の教科内容について、家庭科の基盤となる家政学から考察し、教科内容について理解を深めたうえで、教育実践との関連性と課題を探ることを目指して行った。専門としての教科内容と実践の往還といった学びの土台に「実践を通じた理論の検証と深化」を意識した授業を工夫した。本授業に対する受講生らの評価は高く、授業成果に満足していた。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	219	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	生活創造教育（家庭）の内容構成演習	回答者数	0	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	坂本 有芳, 速水 多佳子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

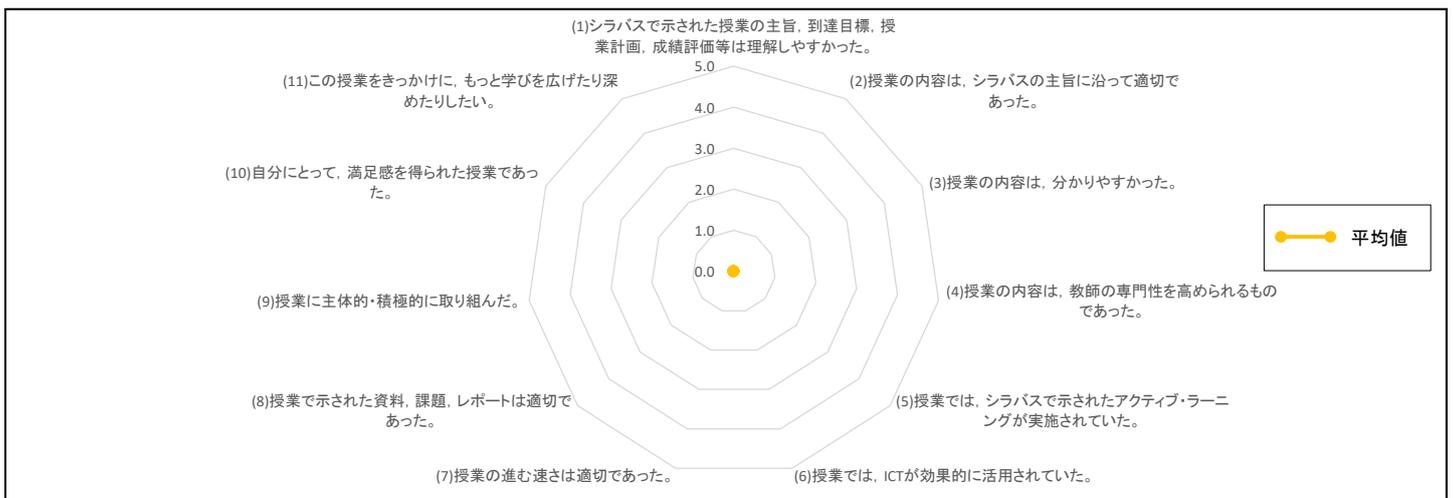
回答者が0人であった。授業時間中に回答のための時間を設けることができず、後日にメールでの依頼となったため、評価アンケートに回答してもらうことができなかった。次年度以降は授業中に回答ができるよう、時間配分に留意したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	220	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	生活科学教育（家庭）の教材開発演習		回答者数	0	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	西川 和孝, 金 貞均, 福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

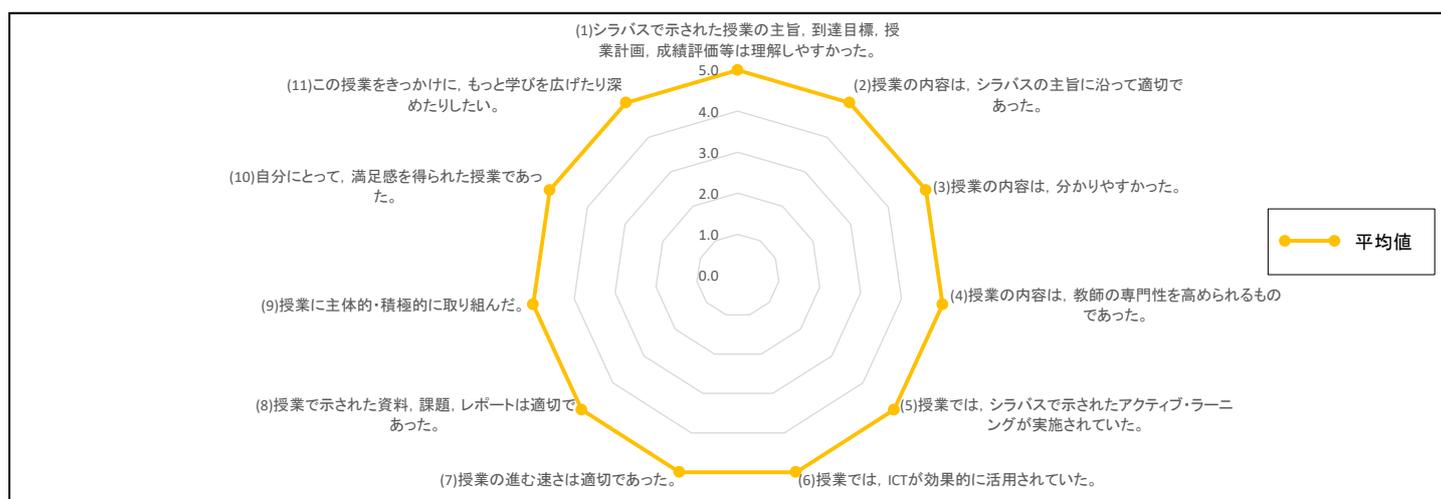
何度も院生に呼びかけたが、回答がなかった。今後はこのようなことがないように取り組みたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	221	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	生活創造教育（家庭）の教材開発演習	回答者数	4	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	速水 多佳子, 坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

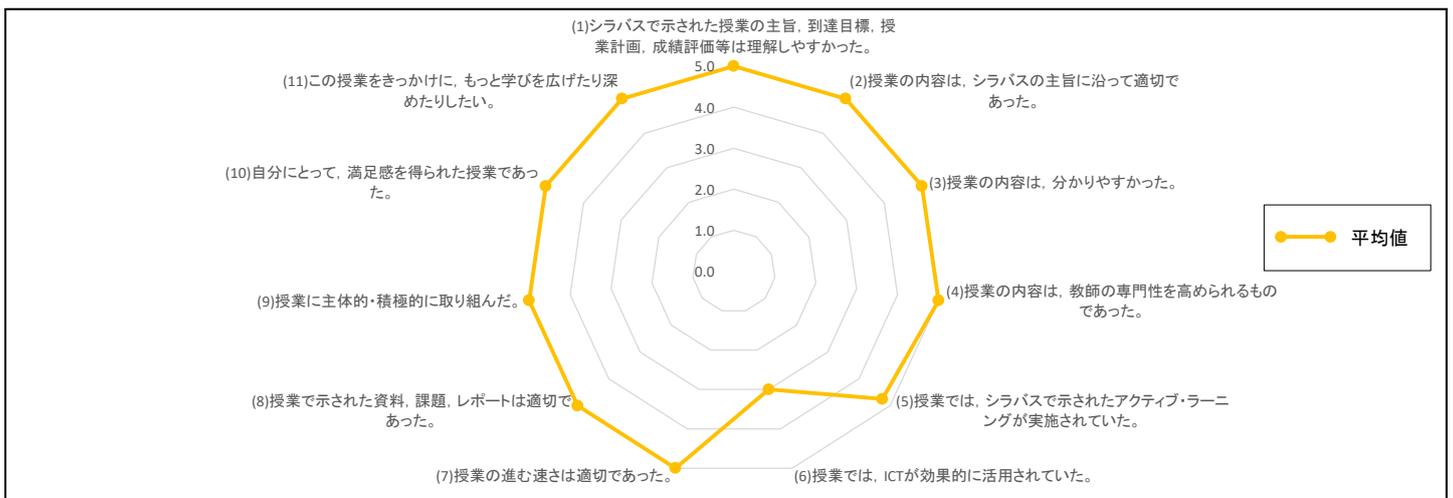
本授業の受講生は、6名であり、中学校家庭科教員志望2名、高等学校家庭科教員志望3名、現職の小学校教諭1名という内訳であった。授業は、授業づくりにあたる基礎的な内容から、指導方法などについてを具体的に教材を扱いながら進めた。小中高の系統性を重視し、学習指導要領の内容に沿うような教材の開発を目指した。現職院生がおられたので、学校現場の様子等を紹介していただくことができ、学卒院生にとっては非常に有意義な時間となった。また、現職院生にとっては、学卒院生の教材に対する考え方や発想が刺激になっている様子が見られた。学生のニーズに応じた授業内容であったため、すべての評価項目が5.0となったと思われる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	222	評価実施日	令和4年10月31日		
授業科目名	生活科学教育（家庭）の学習指導と授業デザイン		回答者数	4	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	福井 典代, 金 貞均, 西川 和孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	2	0	1	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

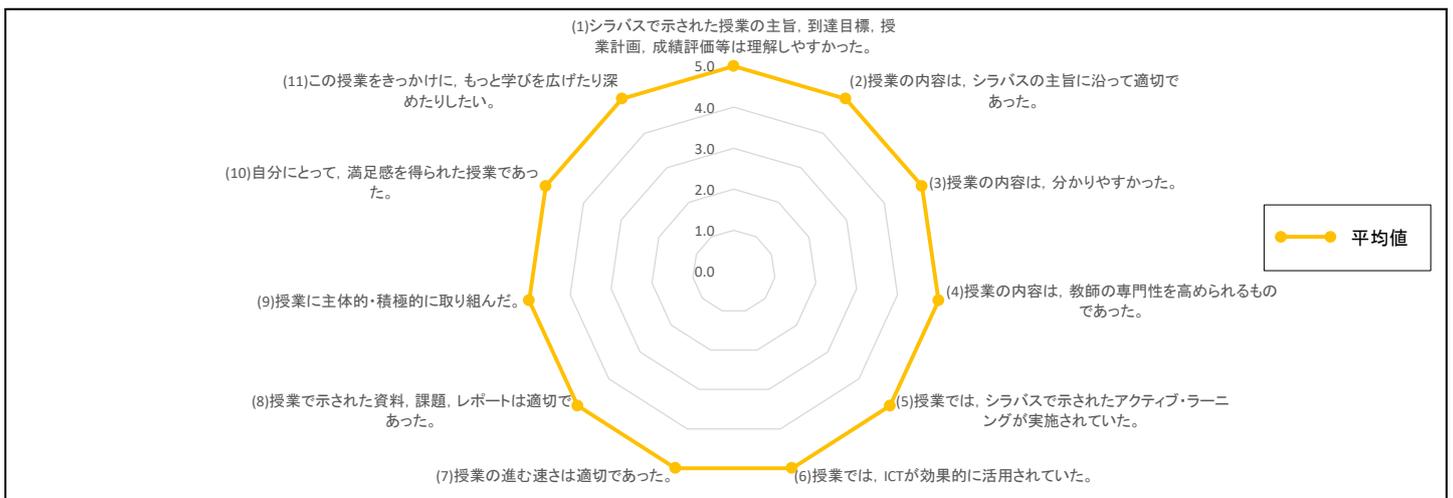
この授業では, 家政学の認知特性を踏まえた学習指導理論をもとに, 学習課題の分析力や授業設計力などの向上を目的としている。本年度は被服製作実習を行い, 和服の縫製に関する基礎・基本について, 実習を通して学習した。自ら縫製工程を理解することにより, 授業設計が容易になる。学生による授業評価では, 概ね良好な結果が得られた。しかしながら, 「(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。」の質問項目に対する評価が低かった。受講生が4名であり, 実技指導においては, 教員が繰り返し個別に指導しているため, 今回の授業ではICTは必要なかった。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	223	評価実施日	令和4年10月25日		
授業科目名	生活創造教育（家庭）の学習指導と授業デザイン		回答者数	4	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	速水 多佳子, 坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

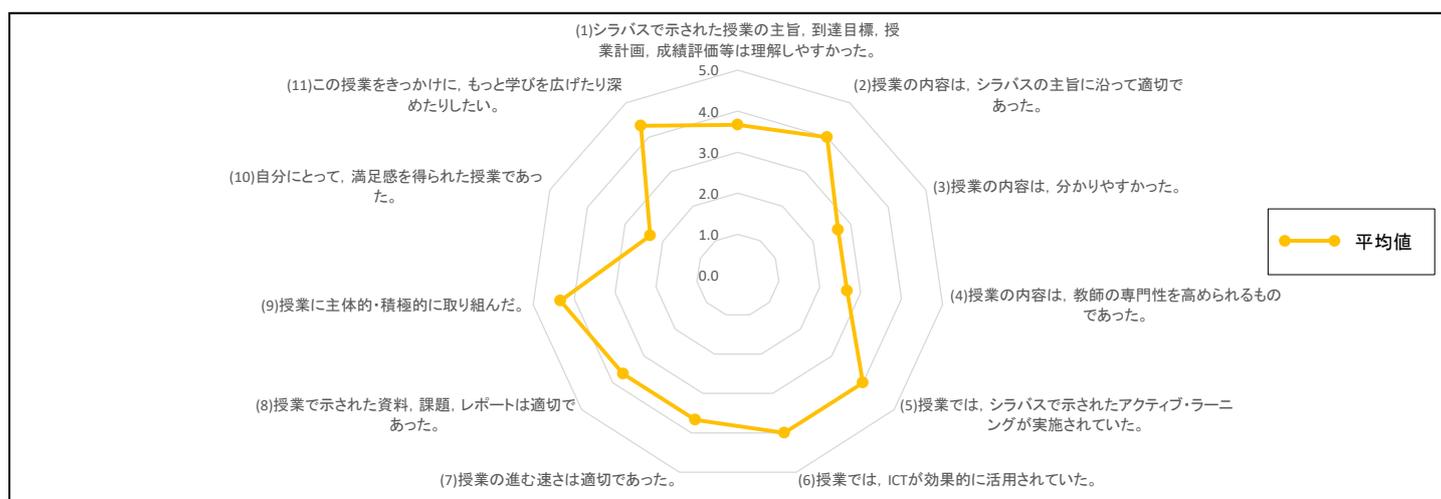
本授業の受講生は、6名であり、中学校家庭科教員志望2名、高等学校家庭科教員志望3名、現職の小学校教諭1名という内訳であった。授業は、日本家庭科教育学会編「生きる力をそなえた子どもたち」（学文社）をテキストとして用いた。学生がテキストからトピックスを選択して内容をまとめ、その内容と関連した家庭科の教材について発表するという形で毎時間の授業を進めた。小中高校の家庭科の授業の観点から、ディスカッションをする時間を毎時間、設けるようにしたことで、理解が深まったと考える。教員を目指している、または現職教員であるという学生のニーズに応じた授業となったため、すべての評価が5.0であったと考える。次年度以降も学校支援につながるような授業づくりを進めていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	224	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	演奏芸術表現教育（音楽）の内容構成演習A		回答者数	3	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲, 鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	1	0	1	0	3.7
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	1	1	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	1	0	1	2.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	1	0	2	0	2.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	3	0	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	3	0	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	2	1	0	0	3.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	1	0	1	0	3.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	2	0	0	0	4.3
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	0	1	1	2.3
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	2	0	0	0	4.3



<教員のコメント>

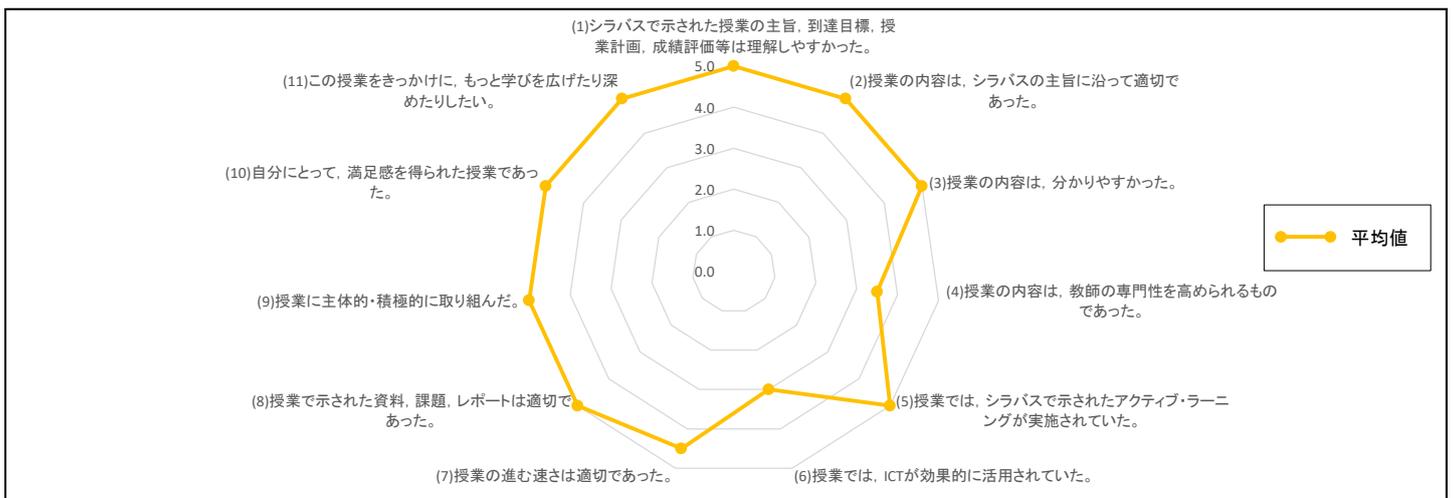
本授業に対する学生による評価について、授業者として理解に苦しむ点が多くある。質問事項の(5)(6)(7)では平均点が約3.9であるにもかかわらず、質問(3)(4)では2.7となっており、学生の評価に自己矛盾が生じている。つまり授業はアクティブ・ラーニングで実施され、ICTが効果的に活用され、進む速さは適切であるにもかかわらず、授業の内容がわかりにくかったと評価している。また提出課題(レポート)については、本来授業が全て終わってから書くべきもので、提出前に変更しても特に困るようなものではない。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	225	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	演奏芸術表現教育（音楽）の内容構成演習B		回答者数	2	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山田 啓明, 山根 秀憲, 鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	1	0	3.5
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	1	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

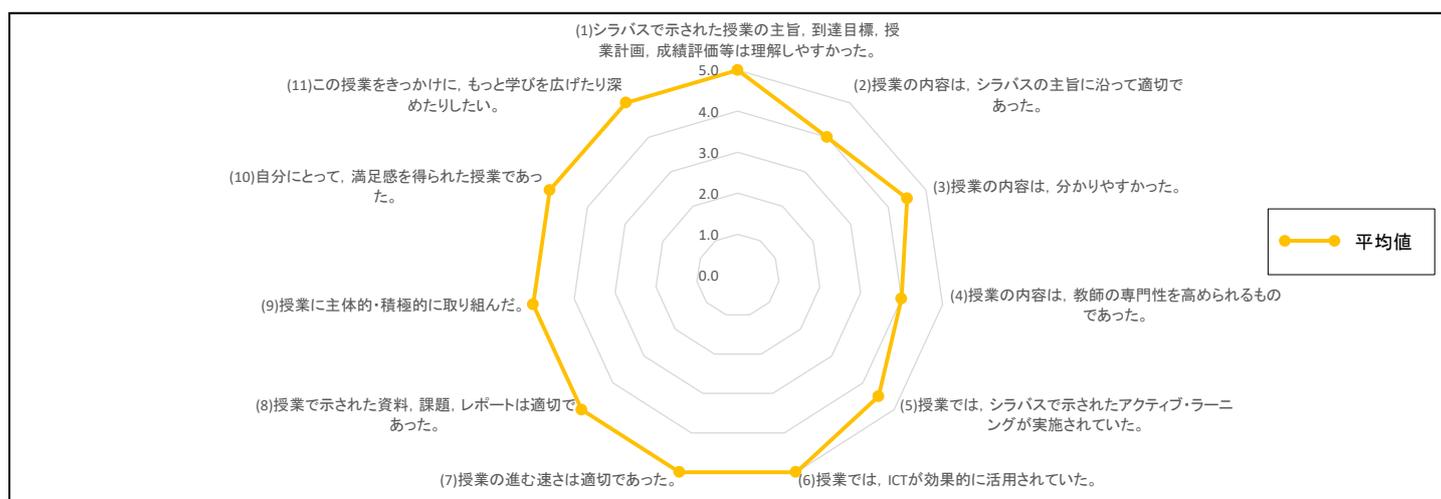
本授業では, 指揮法について実技指導を行った。歌唱共通教材を使って指揮の基本的な図形および運動について一人一人が実際に歌いながら指揮をするという活動ばかりだったので, ICTの使用についての評価のポイントが低かったのは当然である。ただ, 「教師の専門性を高められる」については評価が低かったのはちょっと心外である。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	226	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	音楽表現・鑑賞教育（音）の教材開発演習A		回答者数	2	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山根 秀憲, 鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	1	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	1	0	0	4.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

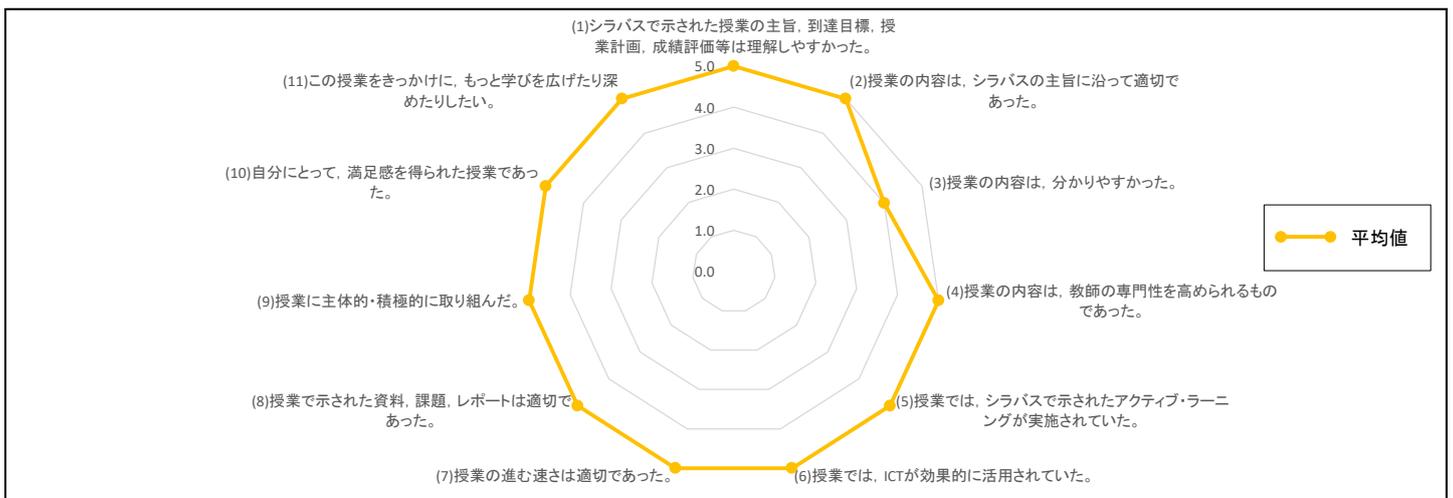
受講者は、学卒2名、現職1名であった。受講者からの聞き取りによると、(1)リコーダーの理解、(2)世界の民族音楽の学習、の2点が学習したい内容であることがわかった。(1)音楽の授業で用いるリコーダーについてのさらなる理解が必要、との意見があったため、アルト・リコーダーのための楽曲の理解と指導する際の注意点について理解を深めた。(2)教科書では、世界の民族音楽に関する教材が載せられている。その中から、授業者の対応できる内容として、1.アイリッシュ・ミュージック(ティンホイッスル、アイリッシュ・ダンスの音楽)、2.篠笛(多様な篠笛)、3.馬頭琴、4.二胡、について、実際にこれらの楽器の演奏体験を交えながら、学習を深めた。こうした体験は、今後の教師自身の継続した学習への道筋をつけることができたと思われる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	227	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	音楽表現・鑑賞教育（音）の教材開発演習B		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	鉄口 真理子, 山根 秀憲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

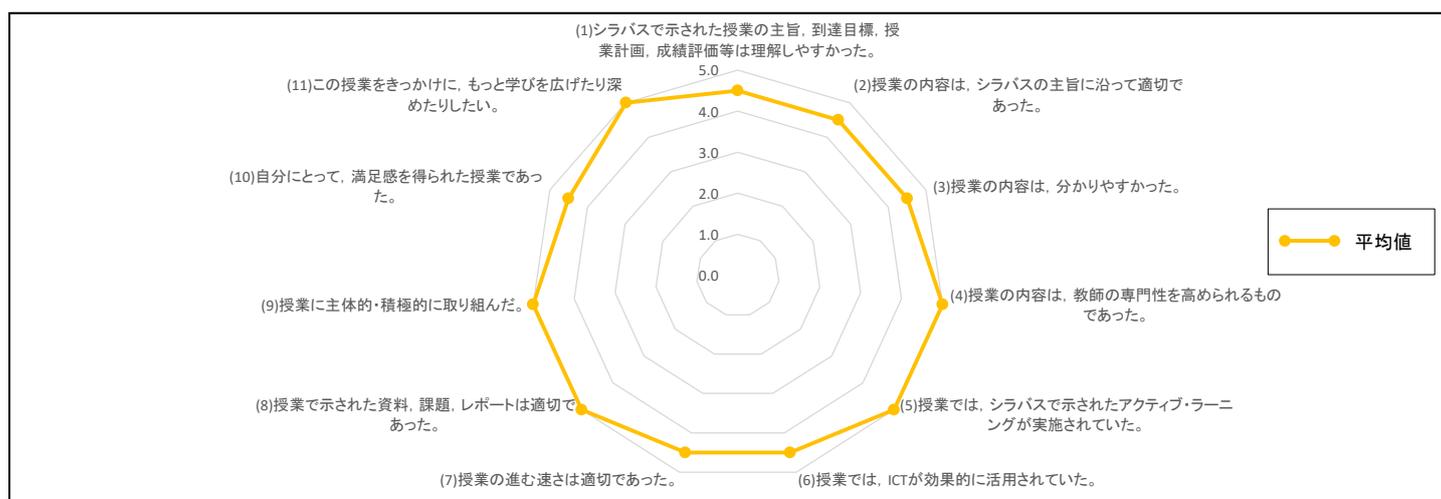
本授業では、授業実践においてどのような教材を選択したらよいのか、または新しい教材をどのように開発すればよいか、その視点を教科内容論に基づいて講義し、実際の教材開発に取り組むようにしている。履修者の校種は様々だが、前半に基本的な教材研究の視点について理解した上で、後半は自身の校種に合わせて教材を選択し、各自教材研究、教材開発に取り組み、それをもとに協同で教材研究を深めるようにしている。その結果、(3)以外は適切であったと思われる。(3)授業内容の理解に関しては、少人数でもあることから、個々の学生の状況に合わせてフィードバックや復習を取り入れながらより理解しやすいものにしていくため、担当教員間の連携をはかりたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	228	評価実施日	令和4年10月25日		
授業科目名	演奏芸術表現教育（音）の学習指導と授業デザインA	回答者数	2	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	鉄口 真理子, 森 正, 山田 啓明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	1	0	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

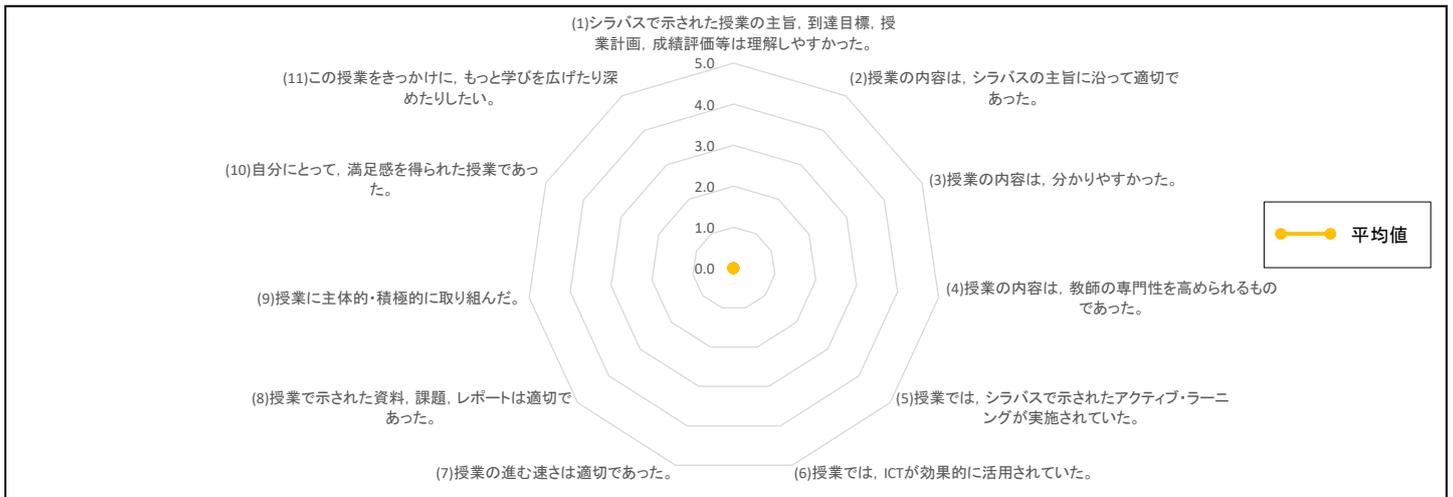
本授業では、授業デザインの枠組みに関して、芸術教育の原理とされる「生成の原理」に基づいて解説し、それに基づいて授業づくりに取り組んでいる。履修者の校種は多様のため、各自の希望する教材を選択させる、または教員から提案する中から選択するようにし、授業内および課題として授業づくりに取り組み、最後に模擬授業を行う。模擬授業では、授業者と、授業者以外の履修者と教員が子ども役を努め、気づいたことを出し合う場を設定し、そこで出てきた意見をもとに授業を再構成し、課題となる指導案作成につなげられるようにしている。その結果、概ね適切という結果が得られた。ただし、履修者全員の回答が得られていないことから、次年度以降は授業時間内でアンケート回答時間を確保する等、工夫したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	229	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	演奏芸術表現教育（音）の学習指導と授業デザインB	回答者数	0	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	森 正, 鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

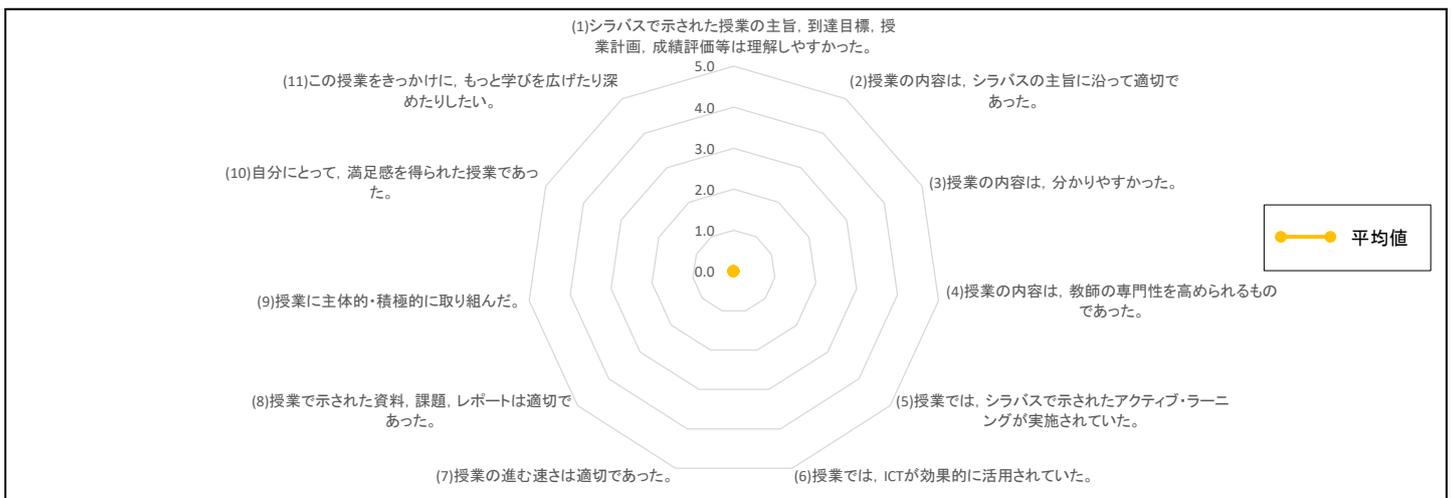
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	230	評価実施日	令和4年10月31日		
授業科目名	造形芸術表現教育（美術）の内容構成演習A		回答者数	0	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	鈴木 久人, 小川 勝, 山木 朝彦, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

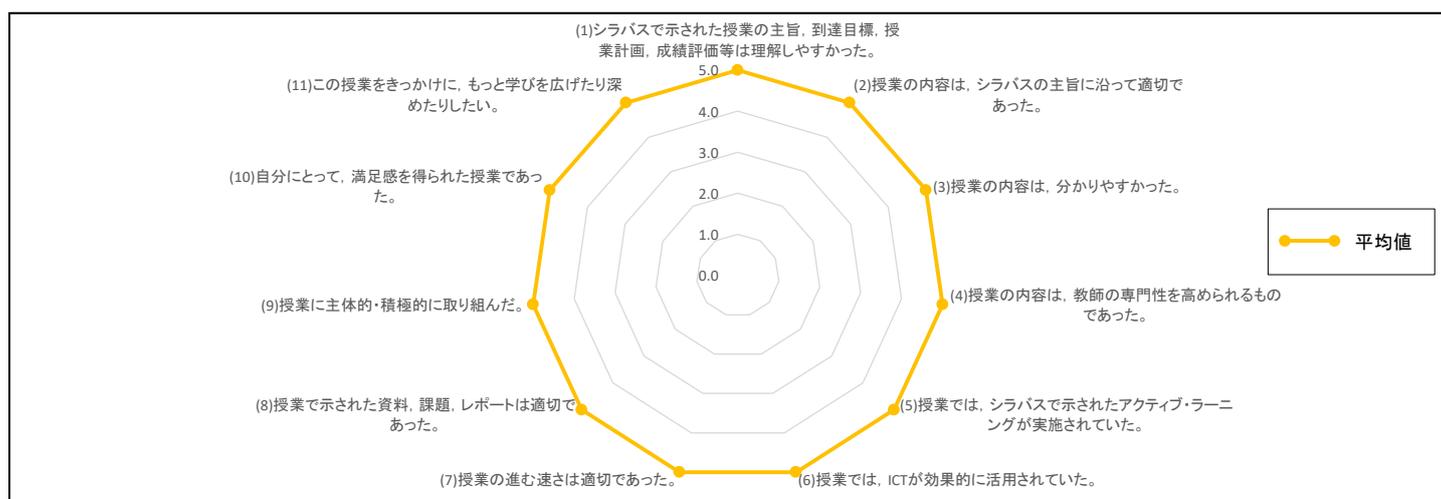
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	231	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	造形芸術表現教育（美術）の内容構成演習B		回答者数	2	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	内藤 隆, 栗原 慶, 山田 芳明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

本授業では、応用美術（デザイン・工芸）の視点から授業内容構成を行っていくことを目的に、まず各種の資料を紹介しながらデザイン・工芸等の適応表現に関する教育内容について考究した。さらにデザイン・工芸作品について知識に基づく鑑賞能力を高めるべく、各種の素材文化や技術発展にまつわる歴史的背景を紹介し、これらを通して授業構成に求められる条件や特色を探らせた。また、デザイン・工芸それぞれの素材やテーマに基づいた制作演習も行うことで、それぞれの制作方法による魅力を再確認し、知識と実技制作を構成しながら、できるだけ楽しみつつ表現力を高めていく内容構成を検討した。

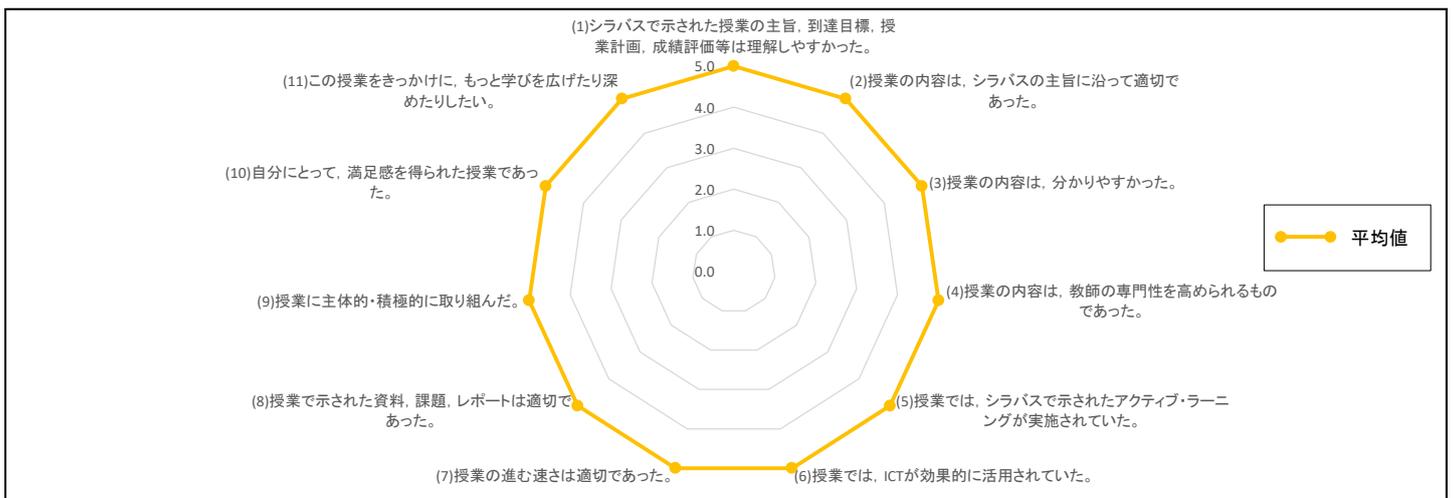
授業評価の点数として5.0という評価を受けているが、2名の受講生は極めて興味深くこの授業を受講し、内容検討・討議・制作のいずれにおいても積極的に進めてくれており、この姿勢によって本授業の高評価がもたらされている所が大きいと考えている。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	232	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	造形芸術表現教育（美術）の教材開発演習A			回答者数	2 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	栗原 慶, 内藤 隆, 山田 芳明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

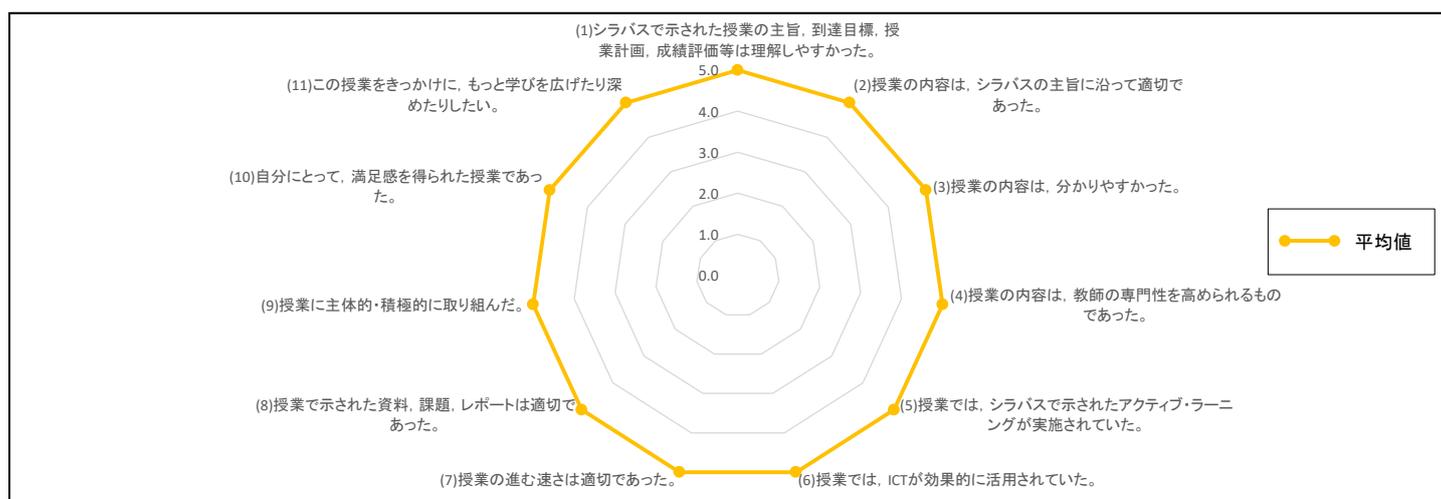
本授業では、応用美術（デザイン・工芸）の視点から教材開発を行うために、後期前半で行った内容構成演習での学びを深め、実材に触れた経験から得た制作過程の要素を授業期間中盤までに抽出した。イメージを具現化していくための方法もデザインと工芸では異なる面があるため、材料からの発想すること、明確な目的に向かって発想することの違いを検討させた。また、デザインと工芸それぞれの現代に至る歴史的背景を振り返りながら重要と思われる事項を議論した。次に、2年次のフィールドワークで行う授業研究の題材を思案する段階であるため、研究課題の選定とそれに基づいたパワーポイントでの授業案作成を行い発表させ助言した。美術科の指導においては、教師自らが教材で扱う実材を熟知しその加工の技能や造形思考についての判断を備えておく必要があり、実材を扱いながら思考の展開を行ったことが、5.0という評価につながったと考える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	233	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	造形芸術表現教育（美術）の教材開発演習B			回答者数	2人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	小川 勝, 鈴木 久人, 山木 朝彦, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

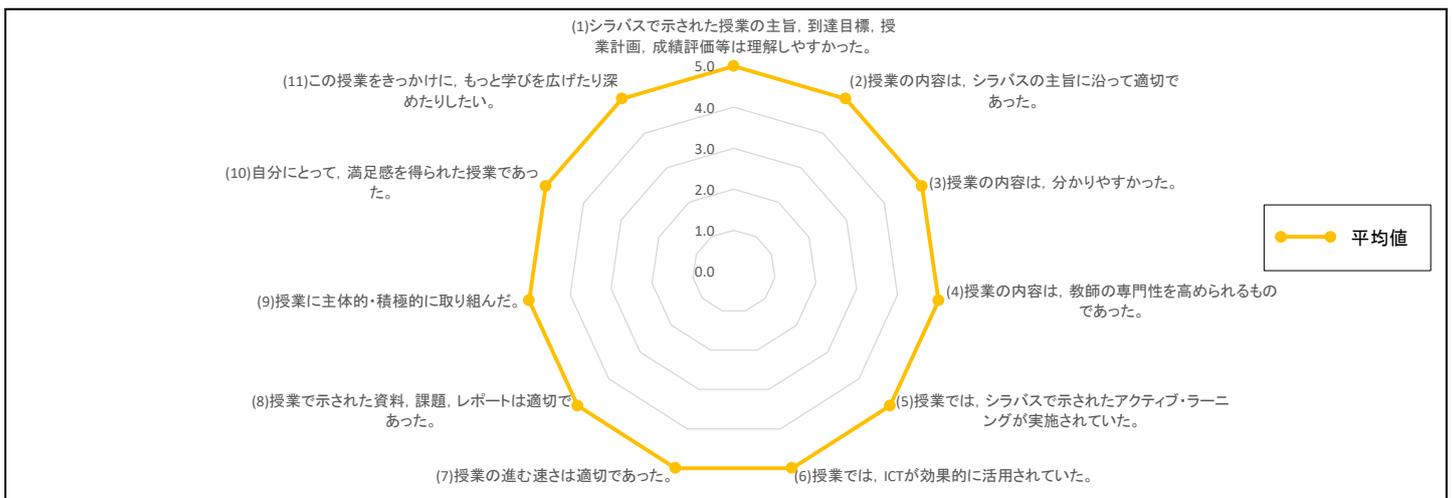
授業評価アンケートの結果は概ね肯定的なものでしたが、この結果に甘んずることなく、今後も質・内容ともに授業のアップデートをしていきます。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	234	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	造形芸術表現教育（美）の学習指導と授業デザインA		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山木 朝彦, 栗原 慶, 鈴木 久人, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

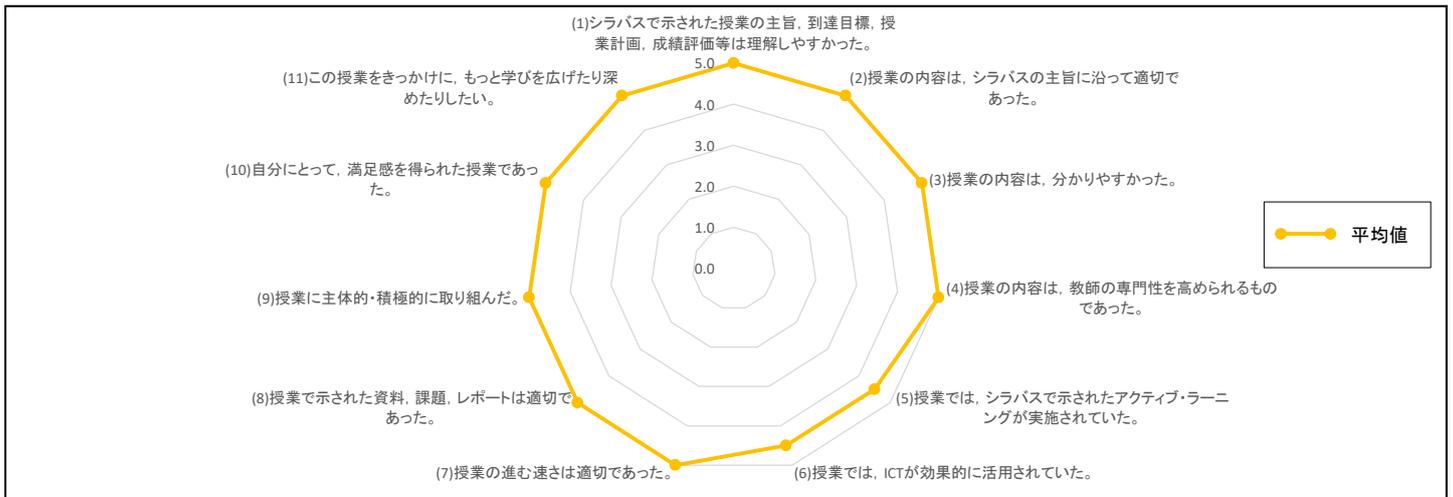
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	235	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	造形芸術表現教育（美）の学習指導と授業デザインB			回答者数	2人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山田 芳明, 内藤 隆, 小川 勝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

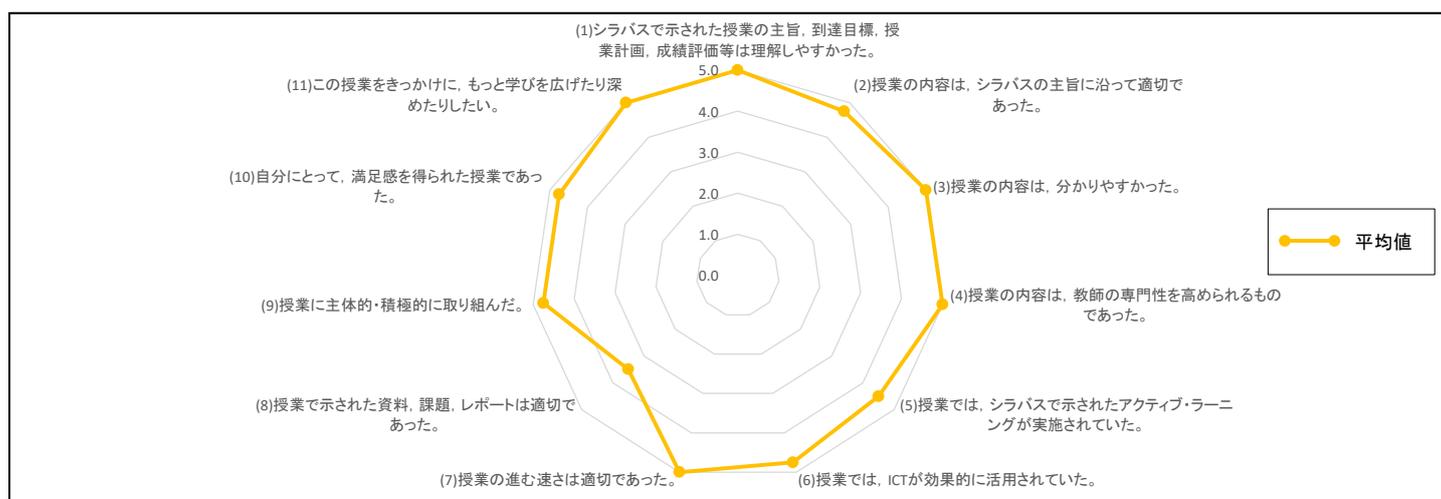
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	236	評価実施日	令和4年10月31日		
授業科目名	健康・スポーツ教育（体）の内容構成演習A		回答者数	4	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	藤田 雅文, 松井 敦典, 南 隆尚, 湯口 雅史, 田中 弘之, 綿引 勝美, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	1	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	1	0	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	1	0	1	3.5
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

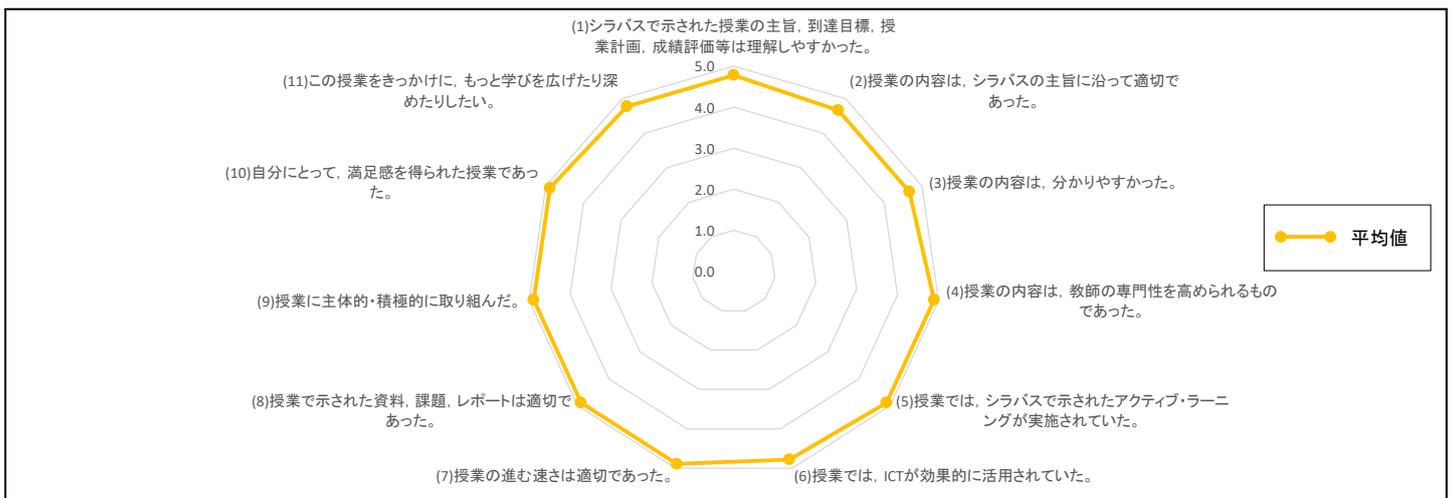
本授業は陸上運動・器械運動・水泳・ボール運動・表現運動の学習内容と運動技術の指導法を理解させる演習であり, 5名の教員によるオムニバス授業である。4名の受講者による授業評価の結果は, ほぼ全てが4.5以上の高い評価を得ているが, 8「資料, 課題, レポートは適切であった」が, 3.5とやや低い評価になっている。自由記述が無いため, その具体は把握できないが来年度に向けて改善していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	237	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	健康・スポーツ教育（体）の内容構成演習B			回答者数	9人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	藤田 雅文, 松井 敦典, 南 隆尚, 湯口 雅史, 田中 弘之, 綿引 勝美, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	2	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	3	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	6	3	0	0	0	4.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	8	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	0	0	0	4.9
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	7	2	0	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	8	1	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	8	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	8	1	0	0	0	4.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	7	2	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

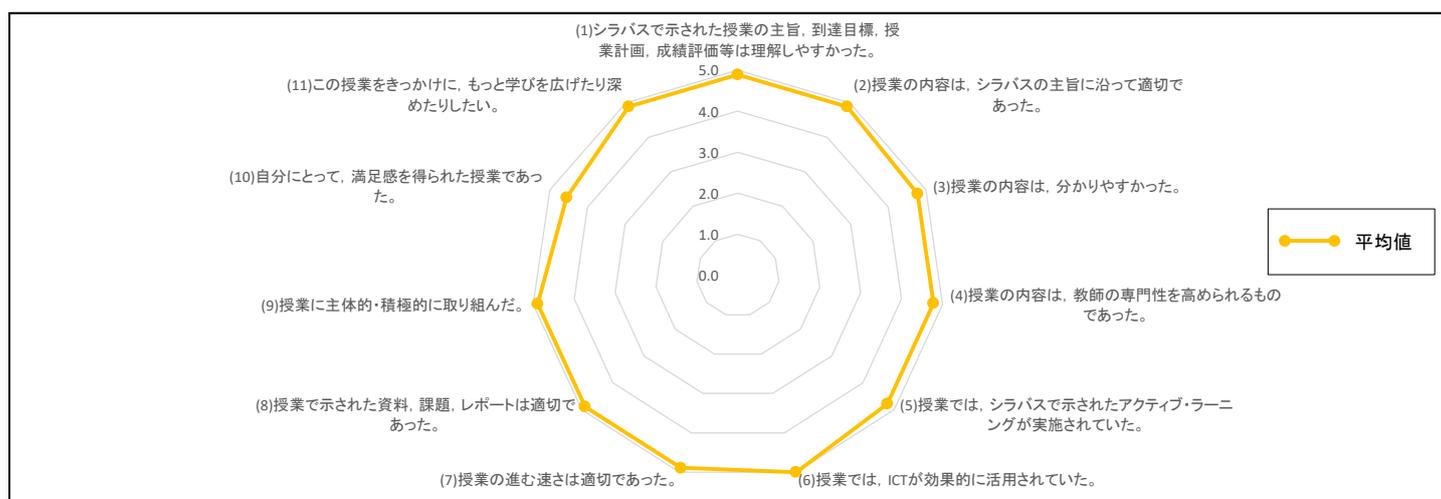
本授業は、武道・野外活動、小・中・高の保健、中・高の体育理論の学習内容と指導法を理解させる演習であり、4名の教員によるオムニバス授業である。9名の受講者による授業評価の結果は、全てが4.7以上の高い評価を得ていたため、来年度以降も同様の授業展開をしていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	238	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	健康・スポーツ教育（体）の教材開発演習A		回答者数	9	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	松井 敦典, 南 隆尚, 湯口 雅史, 田中 弘之, 藤田 雅文, 綿引 勝美, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	8	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	8	1	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	7	2	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	7	2	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	9	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	8	1	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	8	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	4	0	0	0	4.6
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	8	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

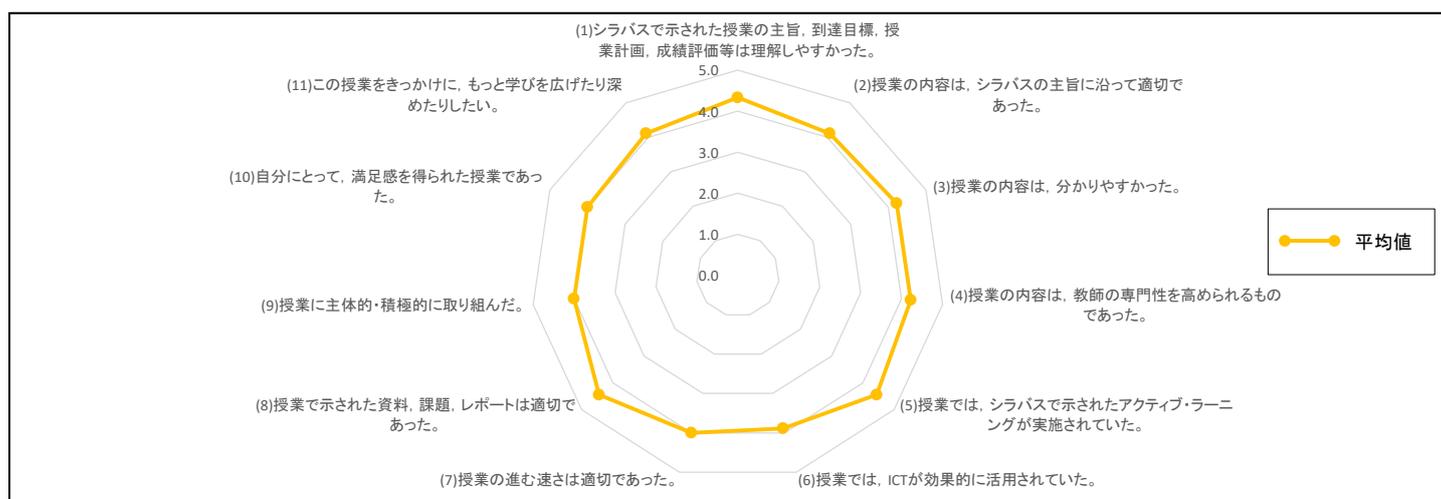
本授業は, 教職大学院の保健体育科に関する内容論を中心に, 他の2つの演習科目「健康・スポーツ教育（体育）の内容構成演習」, 「健康・スポーツ教育（体育）の学習指導と授業デザイン」と連動させて展開している。特に, 各運動種目単位でこれら三演習授業を展開させるため, 時間枠を融通させてある運動種目を同時期にまとめて取り扱えるように調整している。受講生からはすべての項目において高評価が得られており, 授業開設の方法とその内容に問題はなく, 適切であると考えられる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	239	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	健康・スポーツ教育（体）の教材開発演習B		回答者数	9	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	松井 敦典, 南 隆尚, 湯口 雅史, 田中 弘之, 藤田 雅文, 綿引 勝美, 泉 彩夏, 木原 資裕				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	6	1	1	1	0	4.3
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	4	0	0	1	4.1
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	2	1	1	0	4.2
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	3	0	0	1	4.2
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	1	0	0	4.4
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	4	1	0	1	3.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	3	1	0	1	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	7	1	0	0	1	4.4
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	5	0	0	1	4.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	3	1	0	1	4.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	4	0	0	1	4.1



<教員のコメント>

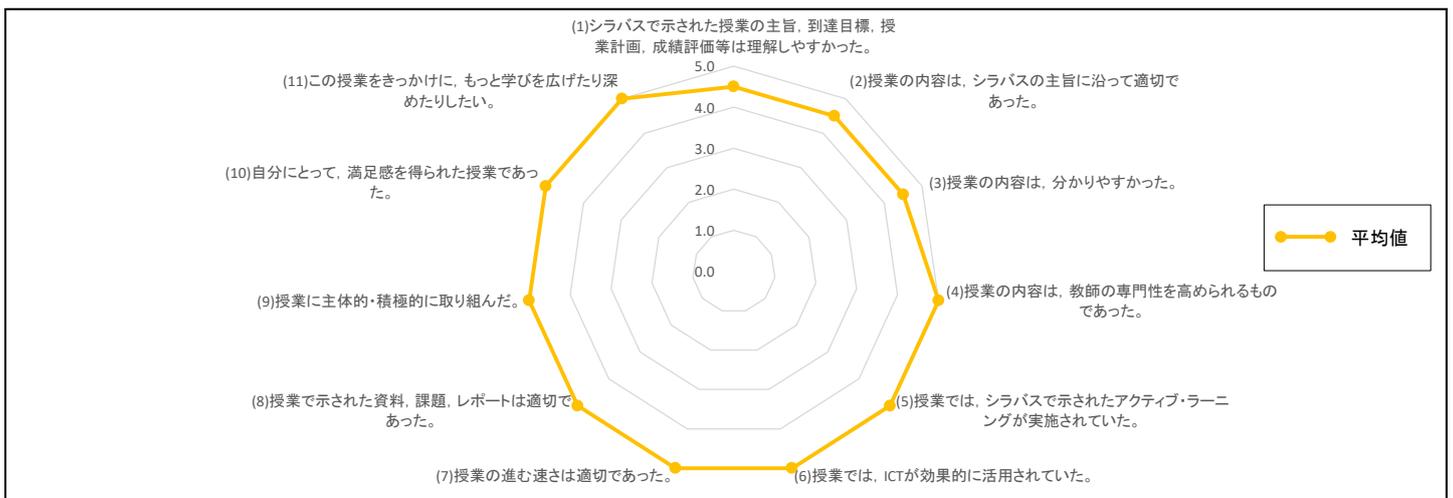
本授業は, 教職大学院の保健体育科に関する内容論を中心に, 他の2つの演習科目「健康・スポーツ教育（体育）の内容構成演習」, 「健康・スポーツ教育（体育）の学習指導と授業デザイン」と連動させて展開している。特に, 各運動種目単位でこれら三演習授業を展開させるため, 時間帯を融通させてある運動種目を同時期にまとめて取り扱えるように調整している。ほとんどの受講生からはすべての項目において高評価が得られており, 概ね適切であると考えられる。ただし, 本科目の後半(B)だけを受講していた1名については, 三演習授業の組み替えにより内容の偏った授業を受講する結果となり, それに応じて低評価している面も見受けられる。保健体育科の内容は, 理論の各分野と運動種目を掛け合わせた内容となるため, 苦肉の策としてこのような方法を採用しているが, 今後の検討課題でもある。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	240	評価実施日	令和4年10月25日		
授業科目名	健康・スポーツ教育（体）の学習指導と授A			回答者数	2人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	南 隆尚, 松井 敦典, 湯口 雅史, 田中 弘之, 藤田 雅文, 綿引 勝美, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	1	0	0	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	1	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

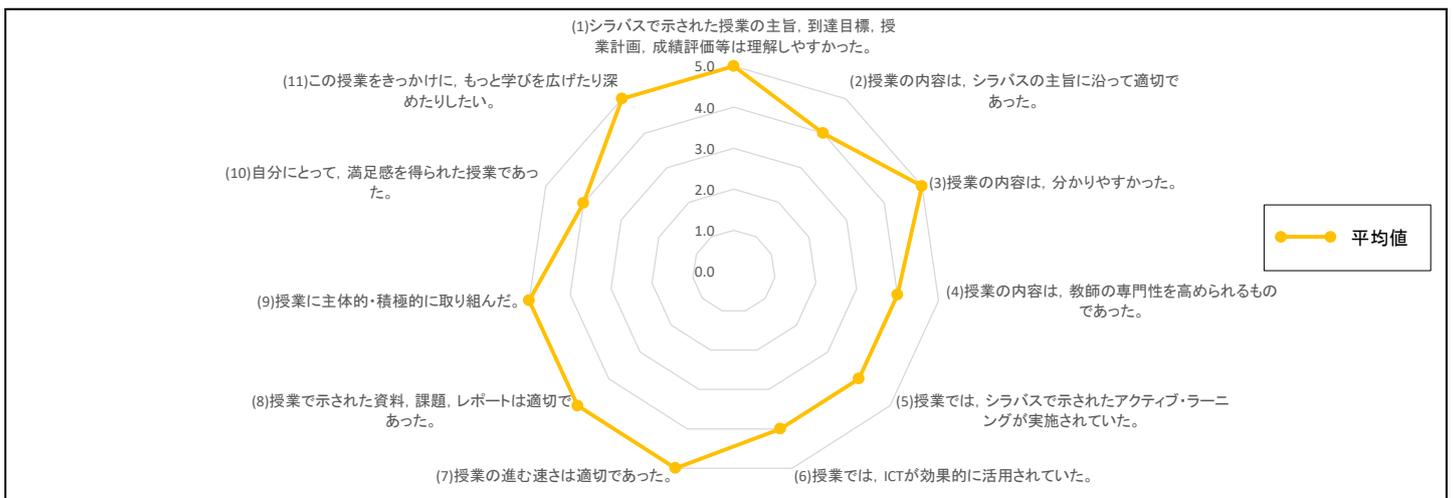
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	241	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	健康・スポーツ教育（体）の学習指導と授B		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	南 隆尚, 松井 敦典, 湯口 雅史, 田中 弘之, 藤田 雅文, 綿引 勝美, 泉 彩夏, 小島 理永				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	0	0	0	4.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

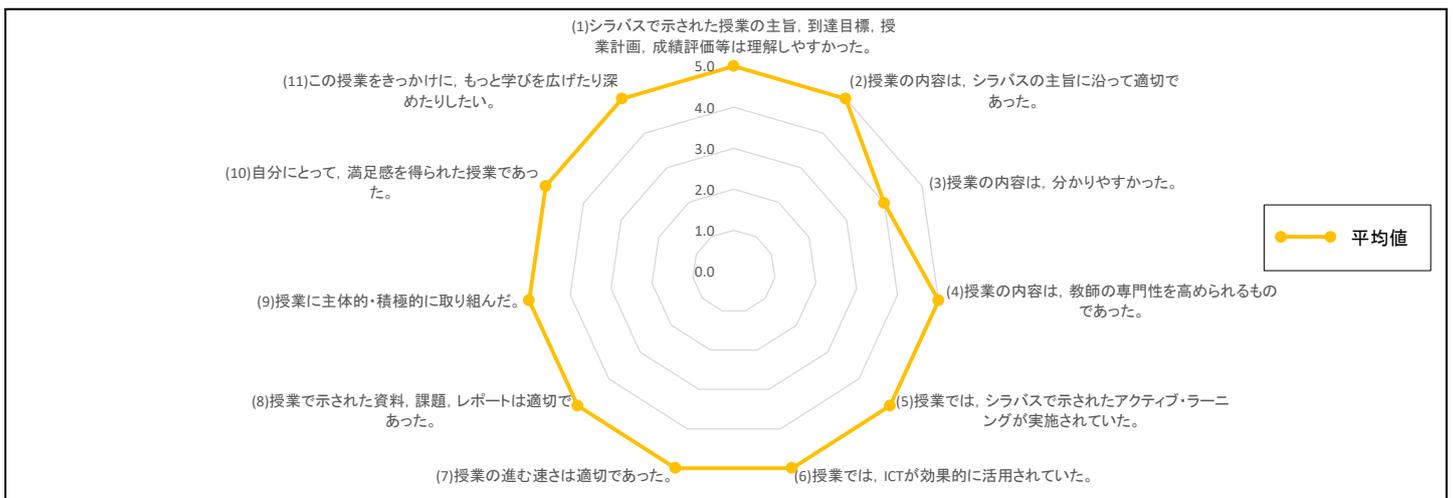
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	242	評価実施日	令和4年6月8日		
授業科目名	STEAMと教科横断の教育的探究	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（教育総合力）				
担当教員名	胸組 虎嵐				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

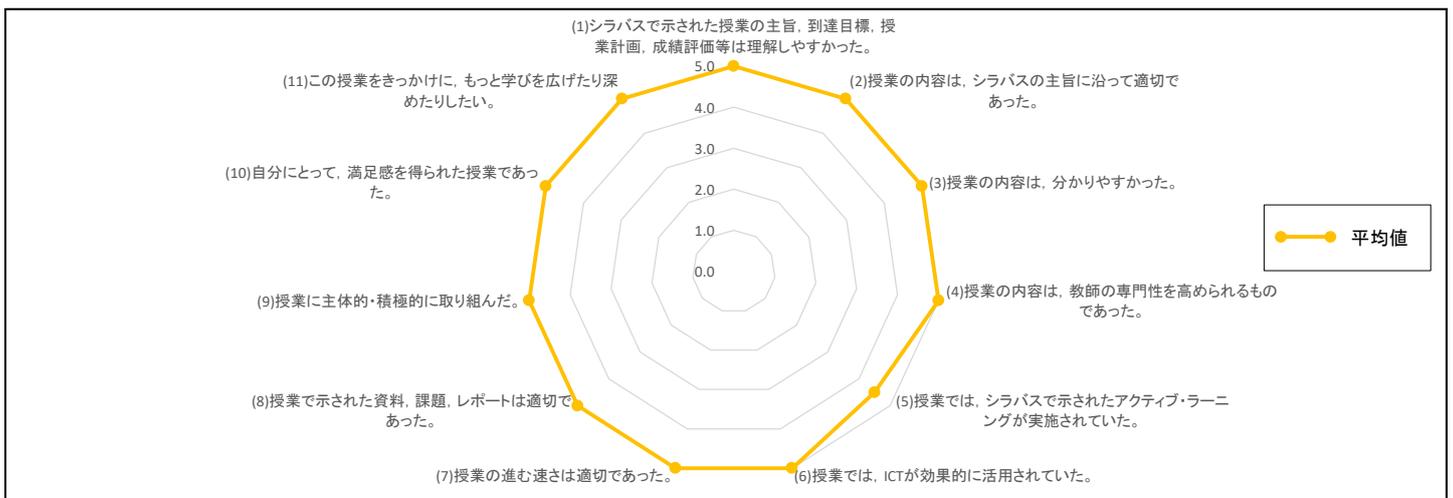
受講者全員7名にアンケートへの回答を頼みましたが、回答者がわずか1名であり確かな評価であるとは必ずしも言えません。この授業について、わかりやすい差に問題があるとの回答でした。まずは学生さんの知識把握を行い、その上での授業進行の水準と速度を設計すべきと考えます。しかし、その1人の回答者は最終的学びを広げたり深めたいという結論を出しています。来年度以降、毎回学生さんの反応を見ながら常に改善をしていきたいと考えます。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	243	評価実施日	令和4年8月3日		
授業科目名	STEAMと教科横断の授業デザイン	回答者数	2	人	
授業区分	専門科目（教育総合力）				
担当教員名	胸組 虎嵐				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

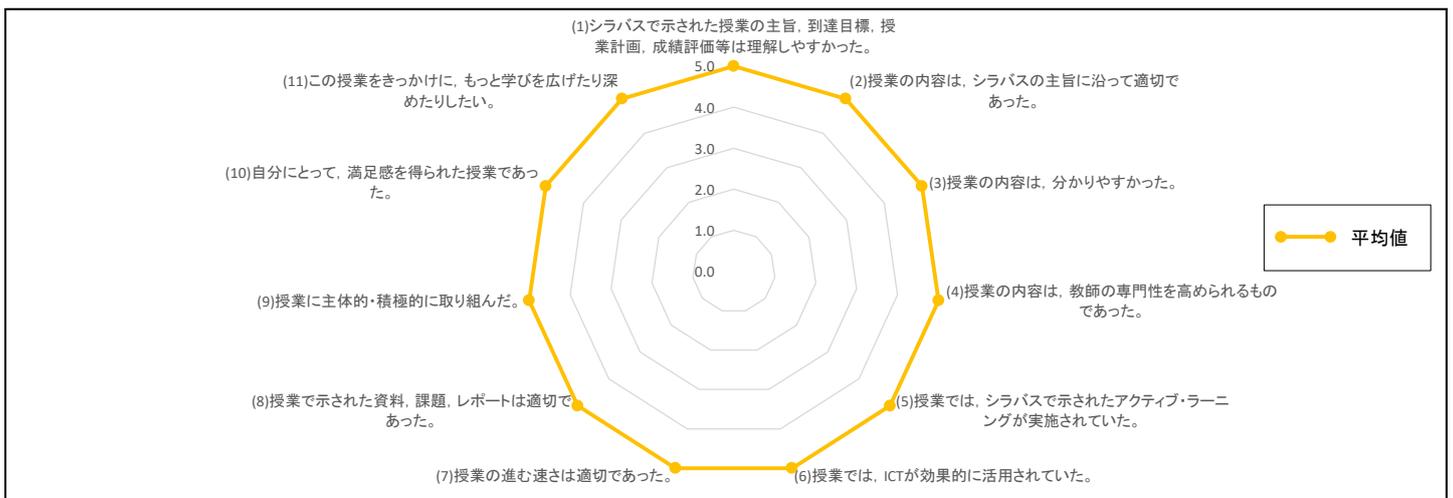
受講者全員3名にアンケートへの回答を頼みましたが、回答者がわずか2名であり確かな評価であるとは必ずしも言えません。ただ、この授業のアクティブラーニング性について少し疑問を示していました。しかし、その2人の回答者は最終的学びを広げたり深めたいという結論を出しています。来年度以降、毎回学生さんの反応を見ながら常に改善をしていきたいと考えます。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	244	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	消費と生活の教育総合デザイン	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（教育総合力）				
担当教員名	坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

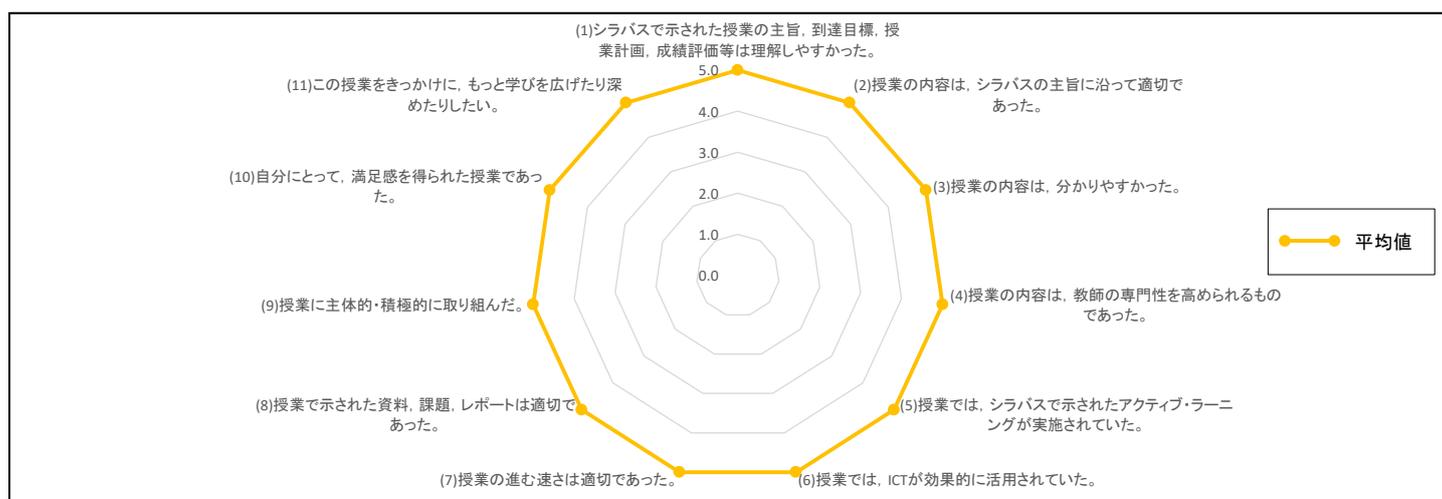
シラバスが示す内容の理解しやすさ、シラバスに沿った授業、授業の分かりやすさ、専門性を高められる内容、アクティブラーニングの実施、授業におけるICTの効果的な活用、授業の速度、示される資料や課題、満足度など、いずれも平均値が5の最高得点であった。授業では持続可能な消費の実践をテーマに、ICTをフルに活用した調べ学習など様々な主体的・対話的な学習を取り入れた形式で実施したため、受講生からも「実際にICTを活用して小人数で取組むことができ、理解を深めることができた。」というコメントが寄せられた。ただし回答者は1名であったため、過大に参考にすることはできないことに留意が必要である。次年度は受講生の多くから回答を得ることができるよう、授業時間での調査実施を心掛けたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	245	評価実施日	令和4年6月9日		
授業科目名	環境と人間の教育的探究		回答者数	1	人
授業区分	専門科目（教育総合力）				
担当教員名	田村 和之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

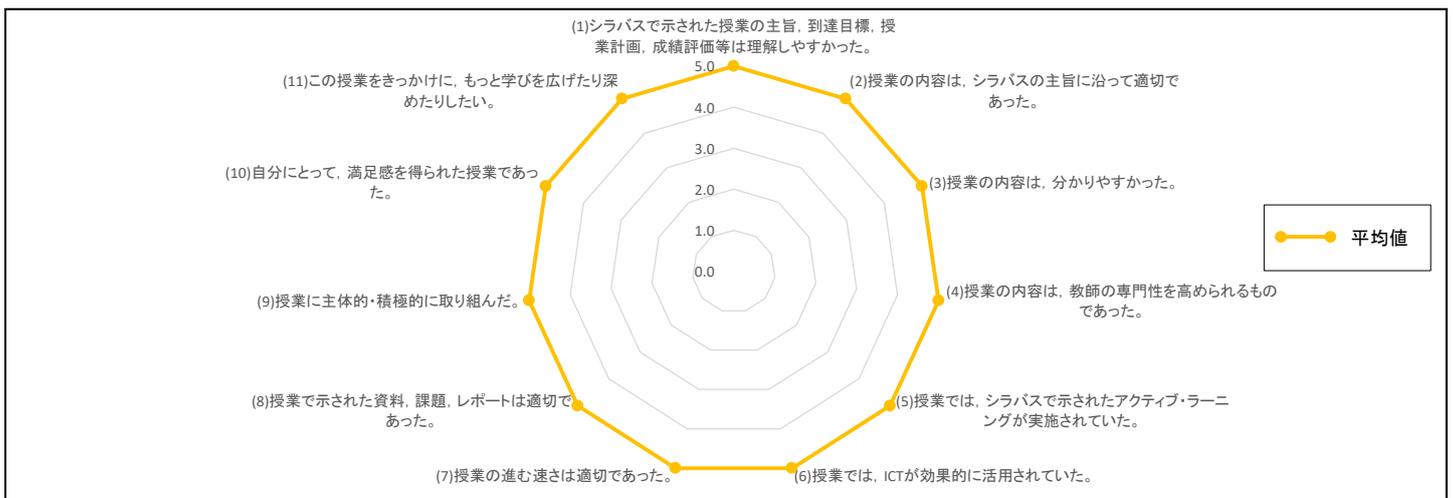
受講生は11名居たが、授業評価を提出したのは1名のみであった。また、コメントは何もなく、評価はすべて5となっていた。教職大学院の8週で終了する授業としては初めての授業であり、今まで行っていた15週で1つの授業とは全く違い、非常に駆け足で進める必要があった。受講生からの評価はほとんどなかったものの、普段の授業では受講生の発表とその後のディスカッションという形態の授業であり、学生には毎回何かを発言してもらうようにした。受講生も毎回の授業を非常に楽しみにしていたようだったので、来年度も同様に継続していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	246	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	環境と人間の教育総合デザイン	回答者数	4	人	
授業区分	専門科目（教育総合力）				
担当教員名	田村 和之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

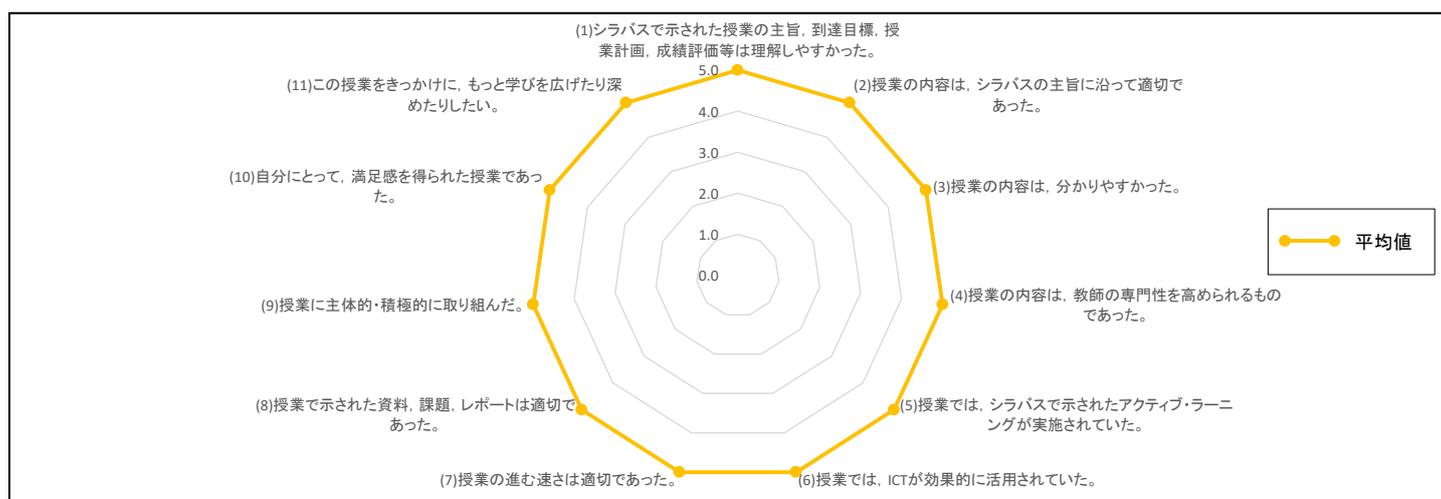
受講生5名中4人が評価を提出しているが、全員が評価5であり、コメントも肯定的なものとなっていた。
 授業携帯は『環境と人間の教育的探究』と同様で学生がテーマに沿った発表を行い、その後全員でディスカッションを行うという形式である。この形態は学生が主体的になる上に、教科ではなく「総合」的な考え方を身につけることができるので、非常に評価がよくなったと思われる。
 来年度以降も同様の授業を継続していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	247	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	国際理解の教育的探究	回答者数	2	人	
授業区分	専門科目（教育総合力）				
担当教員名	金野 誠志, 太田 直也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

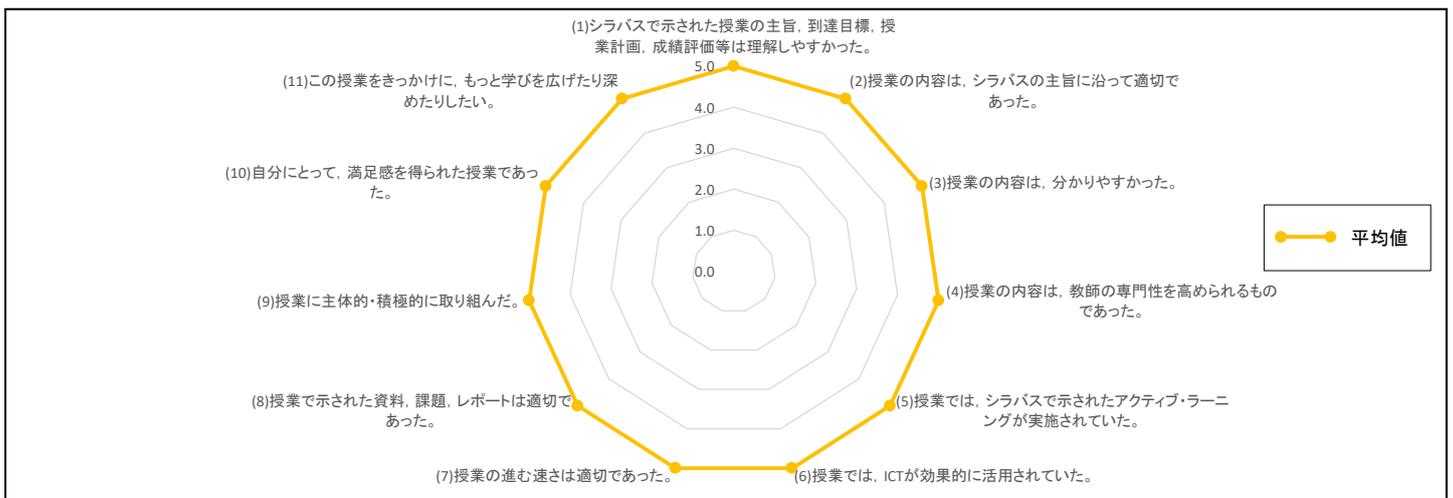
受講者7名の授業であった。多面的な様相を表している現代の文化的状況を、文化遺産を取り上げつつ、それを自分自身や児童生徒がどのように受け止めていく必要があるか検討した内容であった。とすれば、法体系の中にあつて遺産の重要性が指摘されているからということ根拠に、「グローバルな価値」「リージョナルな価値」「ナショナルな価値」「非真正でローカルな価値」「真正でローカルな価値」を「グローバルな価値」を最上位に置いたヒエラルヒーの中で理解しがちな現状の教育を批判的に考察し、その対応策を検討していくという内容で進めたことは、受講者の新しい教育上の視点を生成したと考える。今後も、取り上げる具体例をその時々社会情勢にあわせて検討しつつ、進めていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	248	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	国際理解の教育総合デザイン	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（教育総合力）				
担当教員名	金野 誠志, 太田 直也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

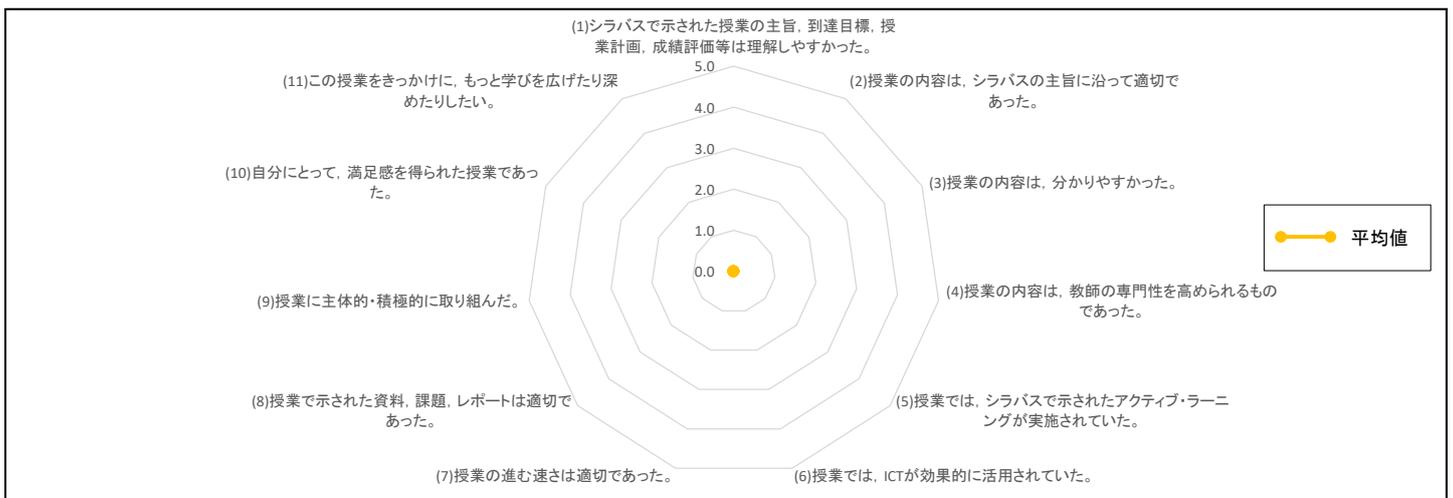
受講者3名の授業であった。内回答者1名であった。国際理解という枠組みの中で文化的要素として、言語に関する部分を少し強調した内容であった。受講者も、グローバルコースと教育探究総合コースの院生であり、授業内容そのものに当初より興味関心が高かった。授業中でも、わずかに3名であったが、積極的な発言や議論も見られ、主体的、対話的で深い学びを実現できた時間も結構あったと考えている。この方向性は、次年度も継続して進めていきたいと考えている。受講者の内1名が現職教員で、他の2名が学卒院生であったという組み合わせも、功を奏した様に考える。実際の社会で、あるいはがっこうで生徒と接している者としての意見は、授業の中では貴重であり、受講者のバランスを活かす子は重要であると考えている。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	249	評価実施日	令和5年2月15日		
授業科目名	ことば・文化・社会 教科横断型単元の構成とカリキュラム			回答者数	0 人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	原田 昌博, 平川 恵実子, 構 大樹, 森山 俊成, 立岡 裕士, 町田 哲, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

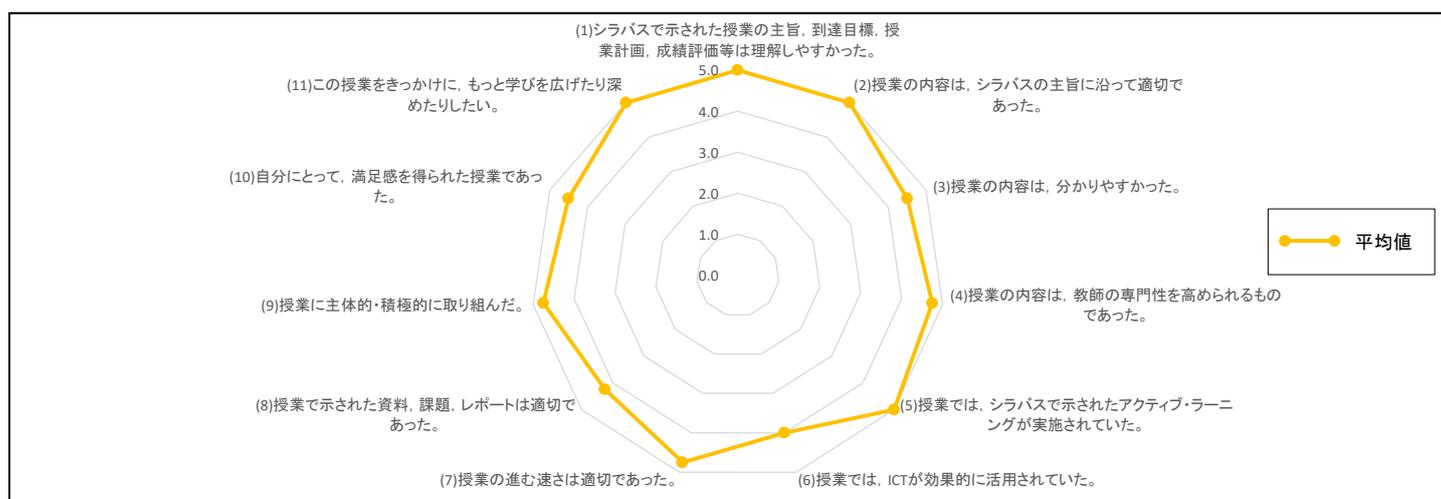
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	250	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	ことば・文化・社会 教科横断型単元の学習指導と授業デザイン			回答者数	4人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	伊藤 直之, 原 卓志, 余郷 裕次, 薮下 克彦, 木口 圭子, 眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	2	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	2	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	1	1	0	0	4.3
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	2	0	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

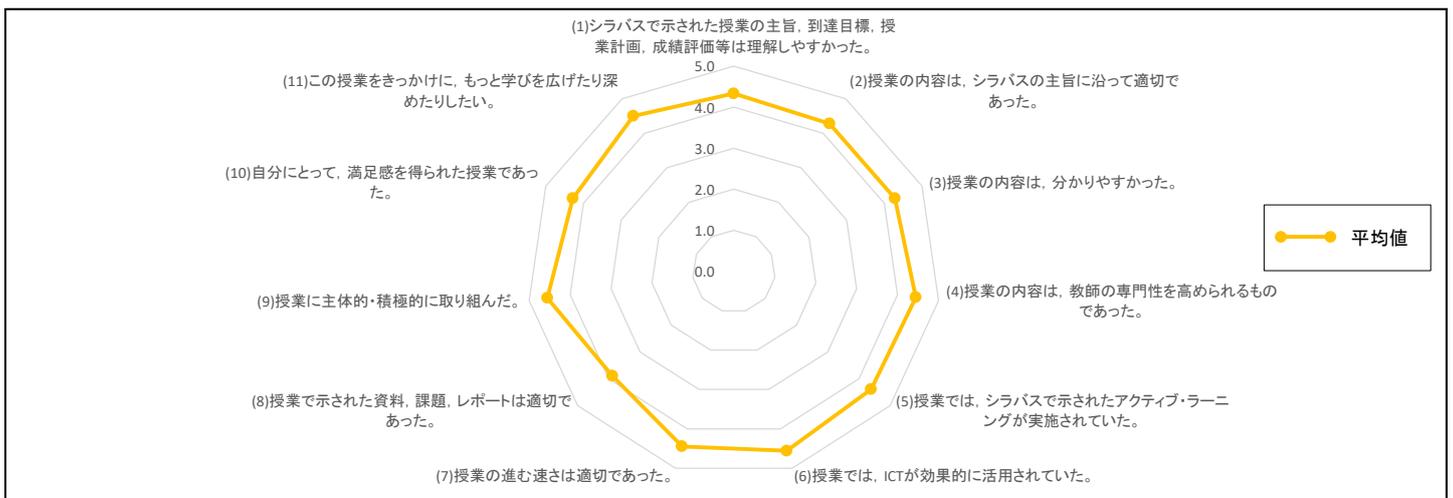
受講生からは好意的な意見が多くをしめている。その原因は、担当科目の内容と担当教員の専門性が合致していたところによる。次年度は新生には非開講となるため、在学生のみの実施になるが、さらなるブラッシュアップを図りたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	251	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	数学・理科・技術・工業・情報・家庭を往還した教科横断型単元の構成とカリキュラム		回答者数	18	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	福井 典代, 秋田 美代, 佐伯 昭彦, 宮口 智成, 関 行宏, 早田 透, 山中 仁, 粟田 高明, 宮下 晃一, 金 貞均, 西川 和孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	9	8	0	0	1	4.3
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	10	5	2	0	1	4.3
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	11	4	1	1	1	4.3
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	11	5	1	1	0	4.4
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	4	2	1	0	4.4
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	11	6	1	0	0	4.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	11	5	1	1	0	4.4
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	10	2	1	4	1	3.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	12	5	0	1	0	4.6
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	11	4	1	1	1	4.3
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	12	5	0	0	1	4.5



<教員のコメント>

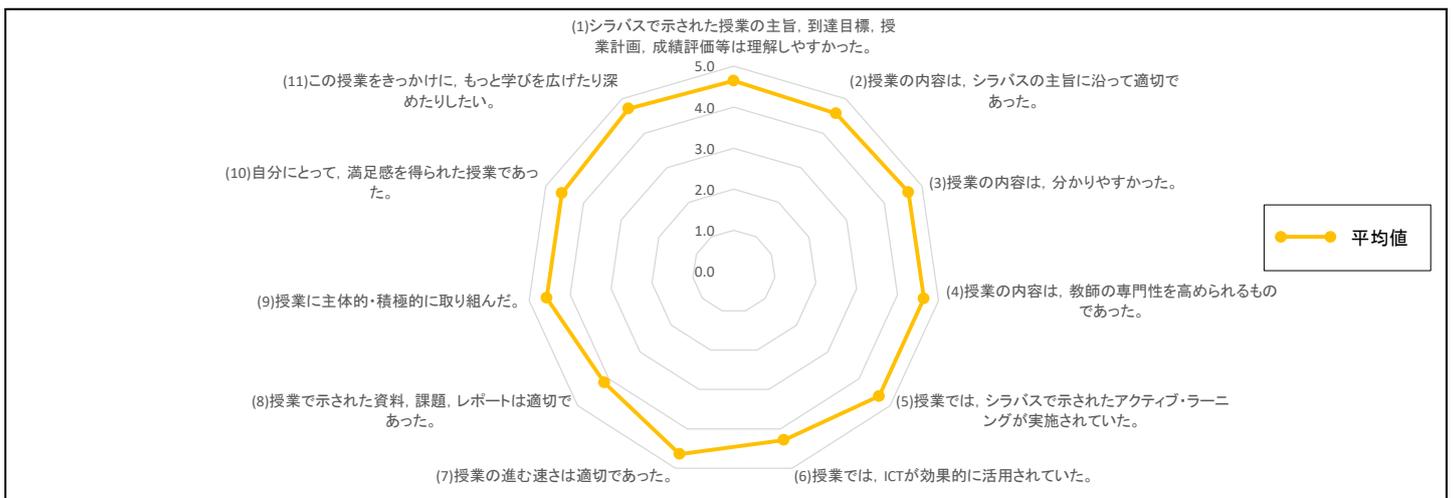
この授業では, 数学, 理科, 技術・工業・情報, 家庭の各教科の専門的な内容をもとに, 教科横断型の学習指導ができる資質・能力の育成を行っている。学生の授業評価では, 概ね良好な結果が得られた。しかしながら, 「(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。」の質問項目において3.9となり, 他の項目より若干低い評価となった。今後, 授業に関する課題やレポートの内容について検討する必要がある。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	252	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	数学・理科・技術・工業・情報・家庭を往還した教科横断型単元の学習指導と授業デザイン		回答者数	14	人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	宮口 智成, 秋田 美代, 佐伯 昭彦, 関 行宏, 早田 透, 山中 仁, 粟田 高明, 菊地 章, 坂本 有芳, 速水 多佳子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	9	5	0	0	0	4.6
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	10	2	2	0	0	4.6
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	10	3	1	0	0	4.6
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	9	5	0	0	0	4.6
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	3	1	0	0	4.6
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	7	4	3	0	0	4.3
(7)授業の進む速さは適切であった。	10	3	1	0	0	4.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	7	3	3	1	0	4.1
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	4	1	0	0	4.6
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	9	4	1	0	0	4.6
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	10	4	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

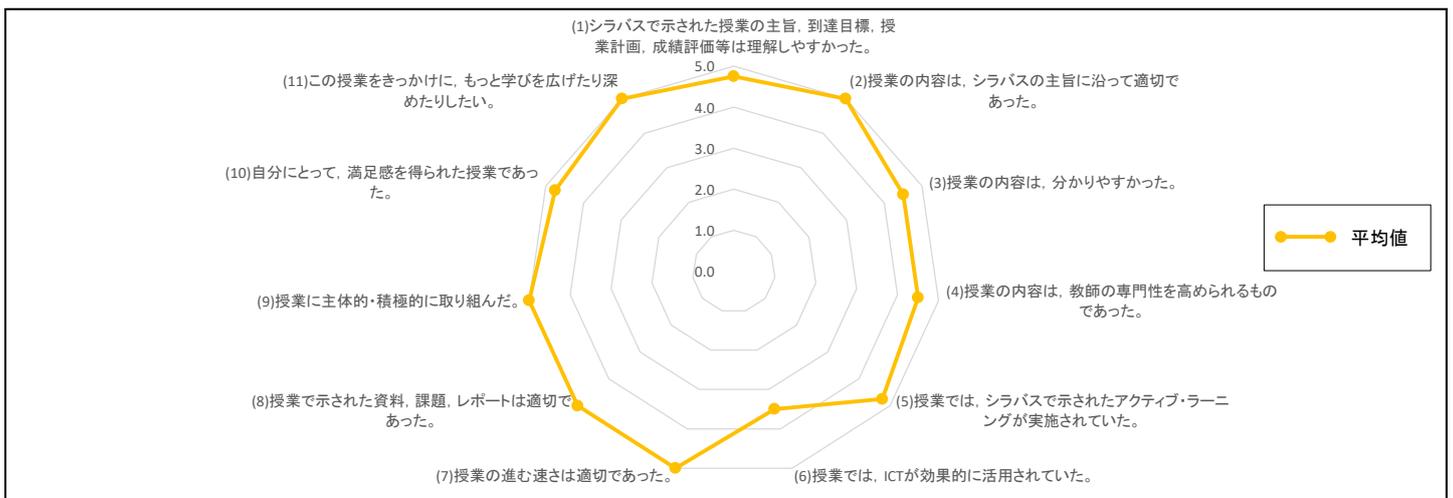
どの項目も概ね高評価であるといえるが、「(8) 授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった」の項目の評価が 4.1 と低評価であった。この点に関連して、自由記述欄には「一部課題の負担が大きく大変だった」という意見がある。この授業は 4 人の教員がオムニバス方式で進めていることから、課題を出す回数が多くなるのは致し方ない面もある。しかし、個々の課題やレポートの負担を再度検討し直す必要がある。もちろん、授業で配付する資料等を改善していくことは不可欠であると考えられる。また、「(6) 授業では, ICTが効果的に活用されていた」の項目も 4.5 と比較的低い評価となっている。この評価結果から、各分野の授業内容の中で ICT を効果的に活用できる部分を特定した上で、ICT の効果的な活用方法を検討していくことが今後の大きな課題であることが伺える。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	253	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	身体・表現・文化 教科横断型単元の構成	回答者数	4	人	
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山田 芳明, 頃安 利秀, 山田 啓明, 栗原 慶, 内藤 隆, 松井 敦典, 綿引 勝美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	1	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	1	0	0	4.5
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	3	0	0	3.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

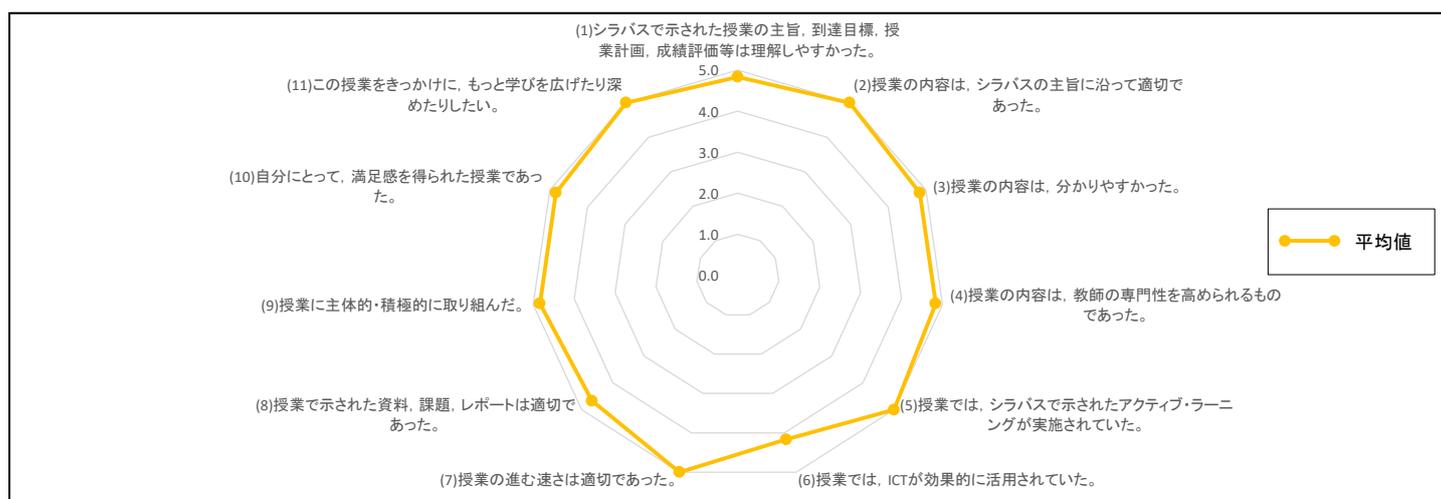
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	254	評価実施日	令和5年2月15日		
授業科目名	身体・表現・文化 教科横断型単元の学習指導と授業デザイン			回答者数	6人
授業区分	専門科目（教科領域力）				
担当教員名	山田 芳明, 頃安 利秀, 山田 啓明, 栗原 慶, 内藤 隆, 松井 敦典, 綿引 勝美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	1	2	0	0	4.2
(7)授業の進む速さは適切であった。	6	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	0	1	0	0	4.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

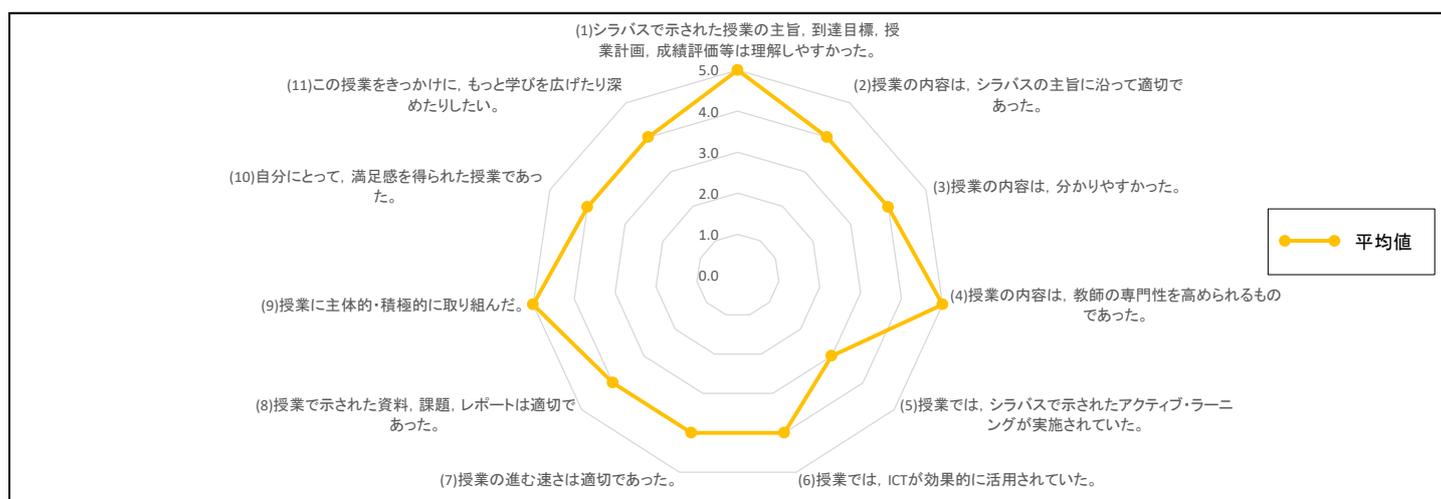
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	255	評価実施日	令和5年2月15日		
授業科目名	乳幼児期から児童期の発達心理と保育	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	田村 隆宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	3.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	0	0	0	4.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	1	0	0	0	4.0



<教員のコメント>

ほとんどの項目で4~5の評価を得ていることから, 概ね好評価が得られたと捉えられる。ただし唯一3評価であった「授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた」については, 当初, 対面で実施する予定であったが, コロナ禍の状況によって, オンライン実施となったことが影響している。対面実施が可能となれば, 改善される見通しである。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	256	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	乳幼児期から児童期の発達心理と保育	回答者数	0	人	
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	田村 隆宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

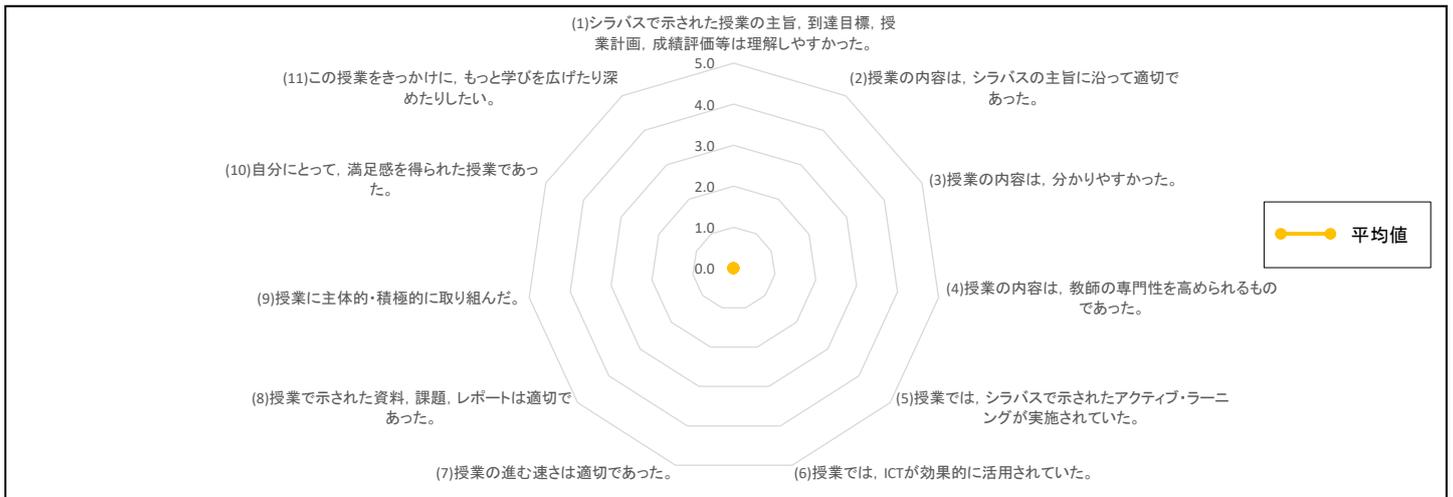
登録していた受講生が途中回から受稿を取やめたため記入事項なし

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	257	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	子どもの心理発達の理論と実践	回答者数	0	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	浜崎 隆司				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

—

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	258	評価実施日	令和4年8月1日		
授業科目名	幼児期から児童期の子どもの発達と支援	回答者数	0	人	
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	田村 隆宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

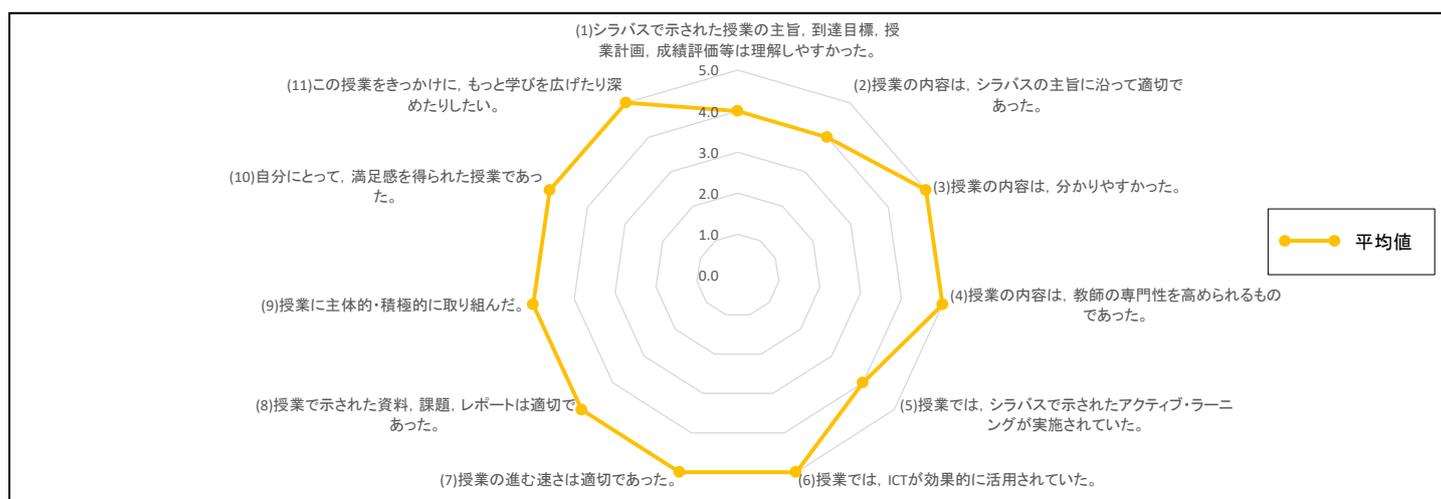
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	259	評価実施日	令和4年10月26日		
授業科目名	幼児期から児童期の子どもの発達と支援	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	田村 隆宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

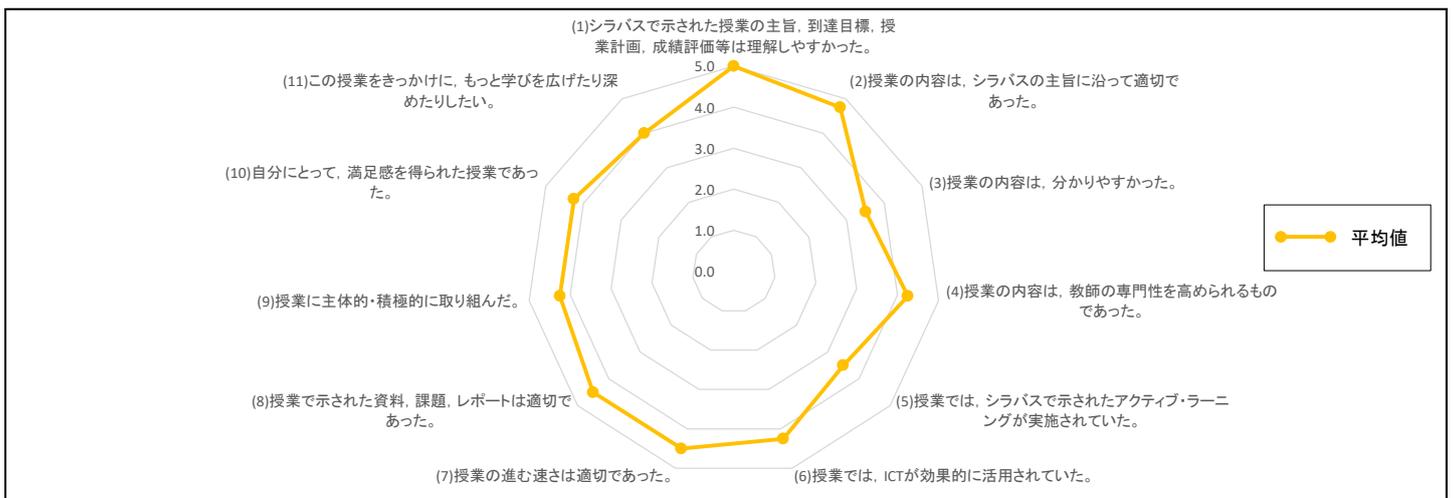
すべての項目で4~5の評価を得ていることから, 概ね好評価が得られたと捉えられる。特に4の評価を得た3項目はシラバスの記入事項と授業内容の対応に関するものであったことから, 今後はシラバスの内容との整合性をさらに精練化させる必要がある。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	260	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	幼児教育の理論と実践	回答者数	4	人	
授業区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	塩路 晶子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	2	0	0	1	3.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	1	0	4.3
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	0	0	1	3.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	0	0	1	0	4.3
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	2	0	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	0	1	0	0	4.5
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	1	0	4.3
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	1	1	0	0	4.3
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	1	4.0



<教員のコメント>

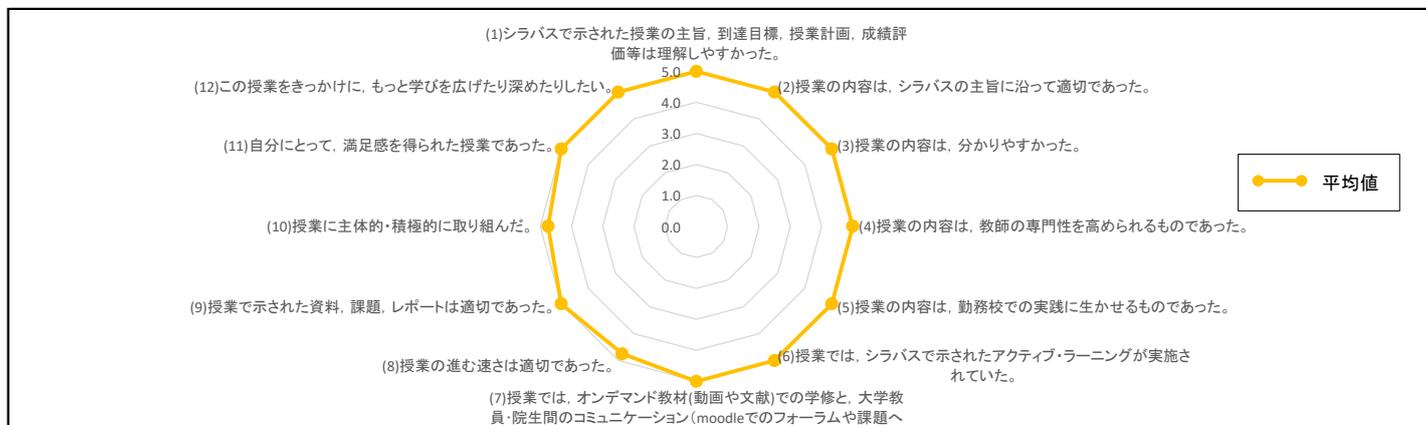
本授業は、歴史的視点や、海外の保育の状況をふまえて、環境を通じた保育という現代日本の乳幼児教育について概説し理解を促すことを目的としている。2項目以外は4.0以上の評価でこの目的はおおむね達成されたと考えている。しかし声が聞き取りづらかったという自由記述のコメントもあり、講義者がマスクを着用していたという原因も考えられるが、マイクを使用するなどして改善したい。また受講生にとっては十分なアクティブラーニングを実施したと受け取られていない側面もあり、受講生同士のディスカッションを取り入れるなど、さらに次年度以降の改善に向けて真摯に取り組みたい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	261	評価実施日	令和4年8月5日		
授業科目名	幼児教育の理論と実践	回答者数	4	人	
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	塩路 晶子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	3	1	0	0	0	4.8
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	0	0	0	0	5.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

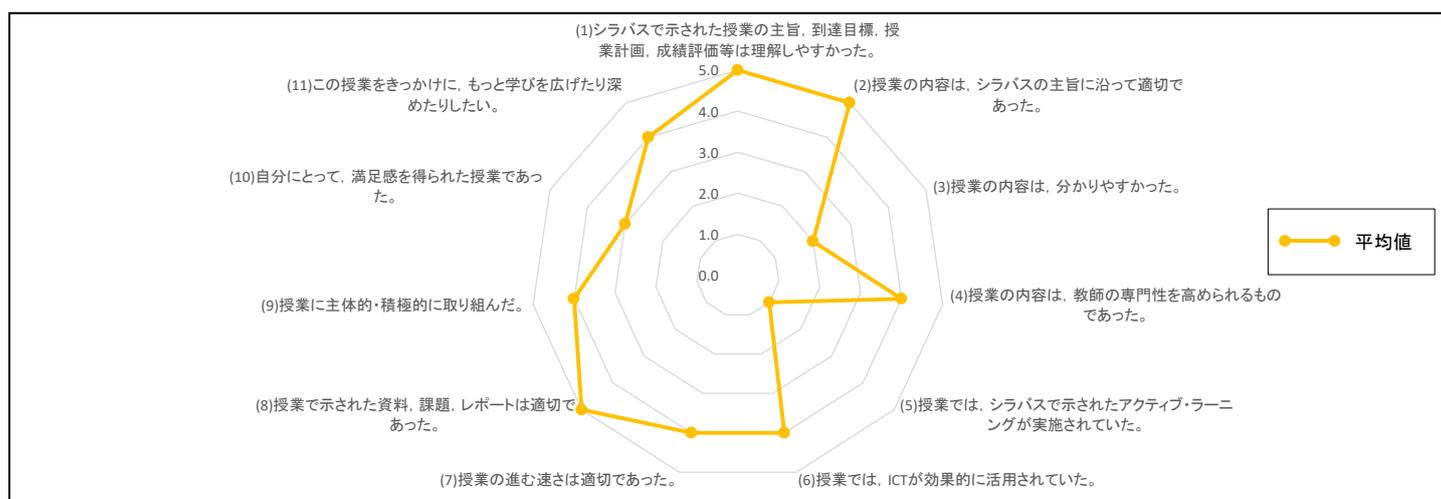
本授業は、歴史的視点や、海外の保育の状況をふまえつつ、環境を通した保育という現代日本の乳幼児教育について概説し理解を促すことを目的としている。すべての評価項目が4.8以上と高い値であり、この目的はおおむね到達できたと考えている。受講生の自由記述からは、歴史的な観点や海外の事例と、現代の日本の幼児教育をつなげて考えることができ、分かりやすい授業であったと高く評価されていることがわかった。遠隔の授業であるため、実際に恩物などに触れることができず、受講生により体感してもらおうことができるような工夫を次年度以降も考えていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	262	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	遊びの原理に立つ幼児教育	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	1	0	2.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	1	0	0	0	4.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	1	1.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	1	0	0	3.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	1	0	0	0	4.0



<教員のコメント>

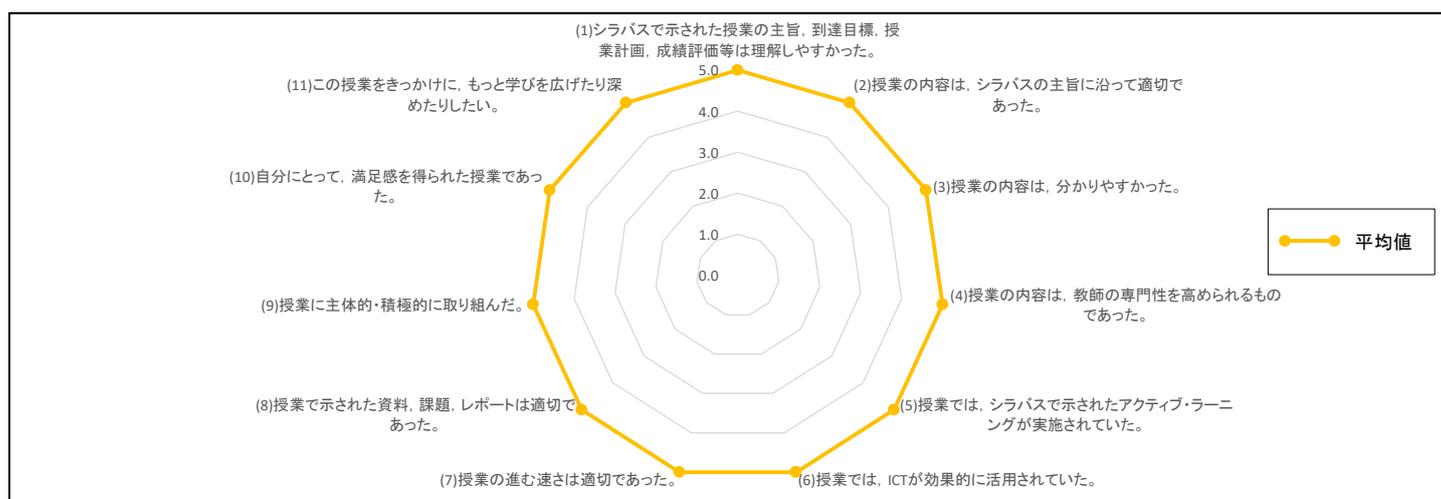
本授業の受講者数は7名中1名の授業評価の結果である。質問項目3, 5, 10については3以下であった。自由記述が「小学校教諭をするときには, 子どもがあそびひたる, 学びひたることができるようにしたい」とあった。「先生がいつも一方的に話す場面が多かった。学生同士が対話する場面を増やすのはどうか」と指摘があった。コロナ下でグループ討議を控えていたが, 来年度はアクティブ・ラーニングを積極的に取り入れたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	263	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	コンピテンシー・ベースの幼児教育	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	湯地 宏樹				

（5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない）

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

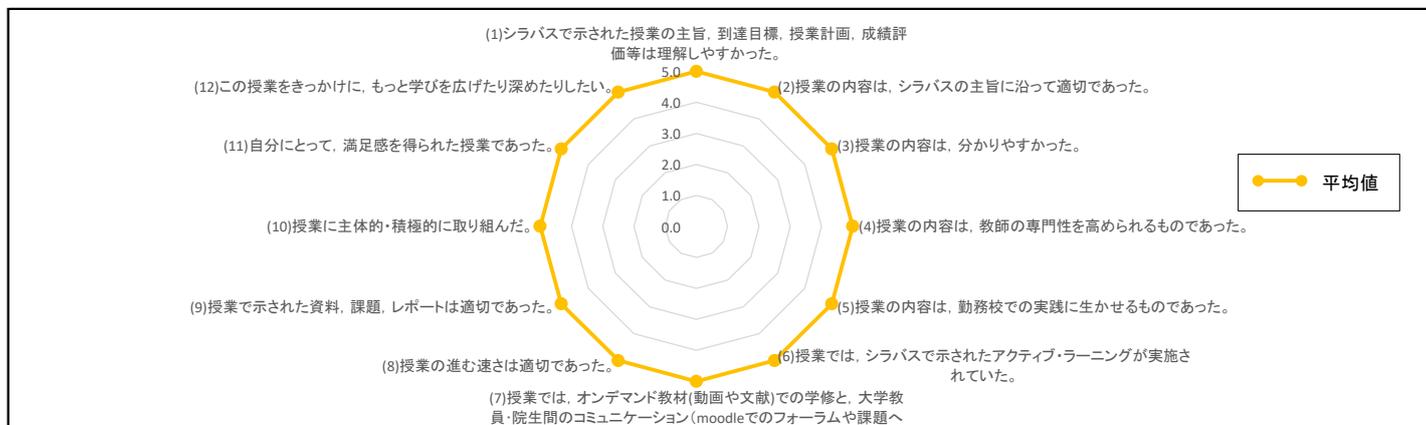
本授業の受講者数は1名中1名の授業評価の結果である。すべての項目が「5」であった。自由記述が「動画があったため、事例を通して考えることができ「遊びについて改めて考えるきっかけとなった。より深く学んでいきたい」とあった。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	264	評価実施日	令和4年8月3日		
授業科目名	コンピテンシー・ベースの幼児教育		回答者数	2	人
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

本授業の受講者数は2名中2名の授業評価の結果である。すべての項目が「5」であった。自由記述が「動画があったため、事例を通して考えることができた」「小学校の先生と交流が出来たことにより、より幼児教育を広く理解することができた」「国や世界の動向について、最新の情報が得られ学びが深まる講義もあれば、過去の研究をさかのぼって専門的な部分を追求できる講義もあり、毎回とても充実していました」とあった。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	265	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	小学校への接続・連携を見通した幼児教育	回答者数	0	人	
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	塩路 晶子, 湯地 宏樹, 木下 光二				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

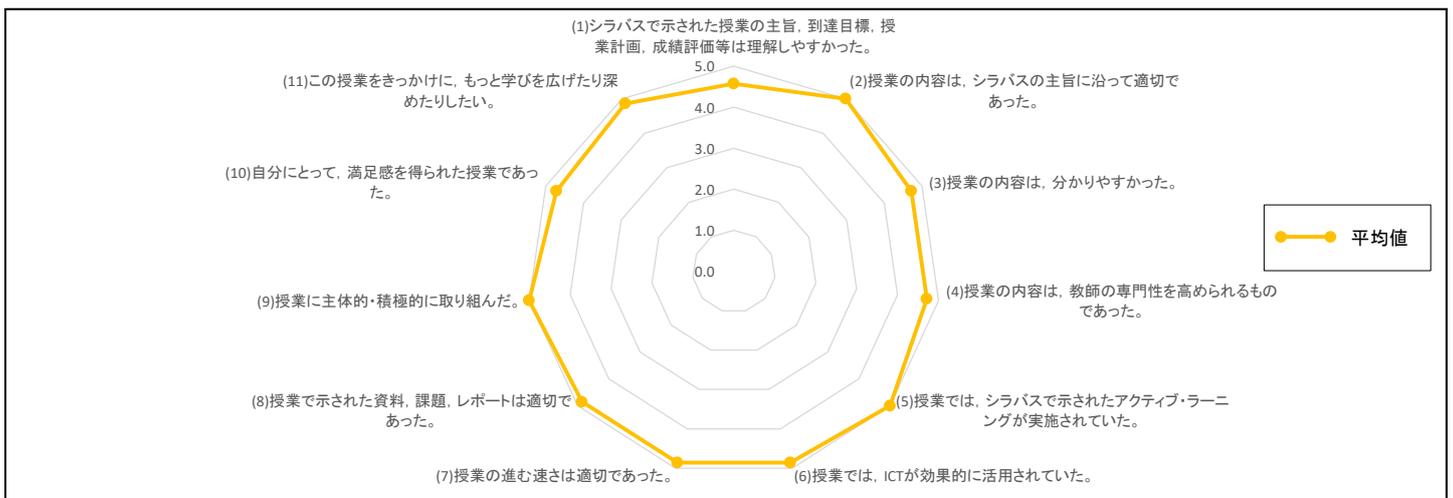
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	266	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	小学校への接続・連携を見通した幼児教育	回答者数	7	人	
授業区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	塩路 晶子, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	3	0	0	0	4.6
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	7	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	2	0	0	0	4.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	2	0	0	0	4.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	6	1	0	0	0	4.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	2	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

本授業は、幼小の接続・連携について、歴史的観点と共に、海外の教育事例の観点を概観しつつ、幼稚園教育要領の「幼稚園教育において育みたい資質・能力」をふまえて、幼児期のどのような姿が小学校以降の子どもの姿につながっていくのか、また、小学校教育を見通したときに、その基盤となる幼児教育の在り方とはどのようなものか、ということについて学ぶことを目的としている。

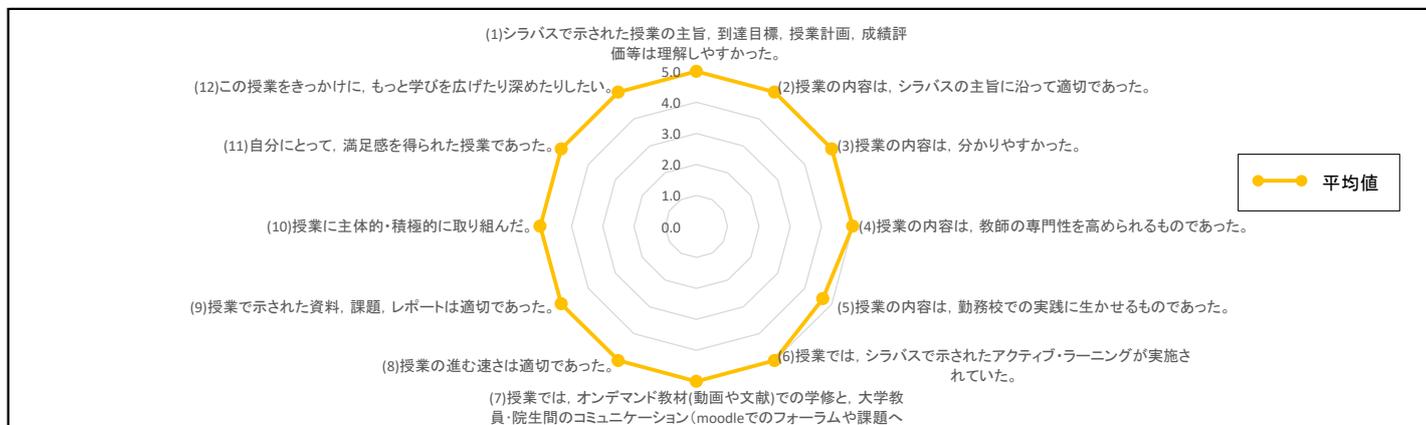
すべての評価項目が4.6以上の値であり、この授業の目的はおおむね到達できたと考えている。受講生の自由記述からは、知る機会がなかった幼小連携についての知識を深めることが有意義であったとのコメントがあった。講義内容を理解しつつ、受講生が互いに学び合うことができるように、次年度も工夫を重ねていきたい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	267	評価実施日	令和5年2月15日		
授業科目名	子ども家族支援の実際と課題	回答者数	3	人	
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	2	1	0	0	0	4.7
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	3	0	0	0	0	5.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	0	0	0	0	5.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	0	0	0	0	5.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

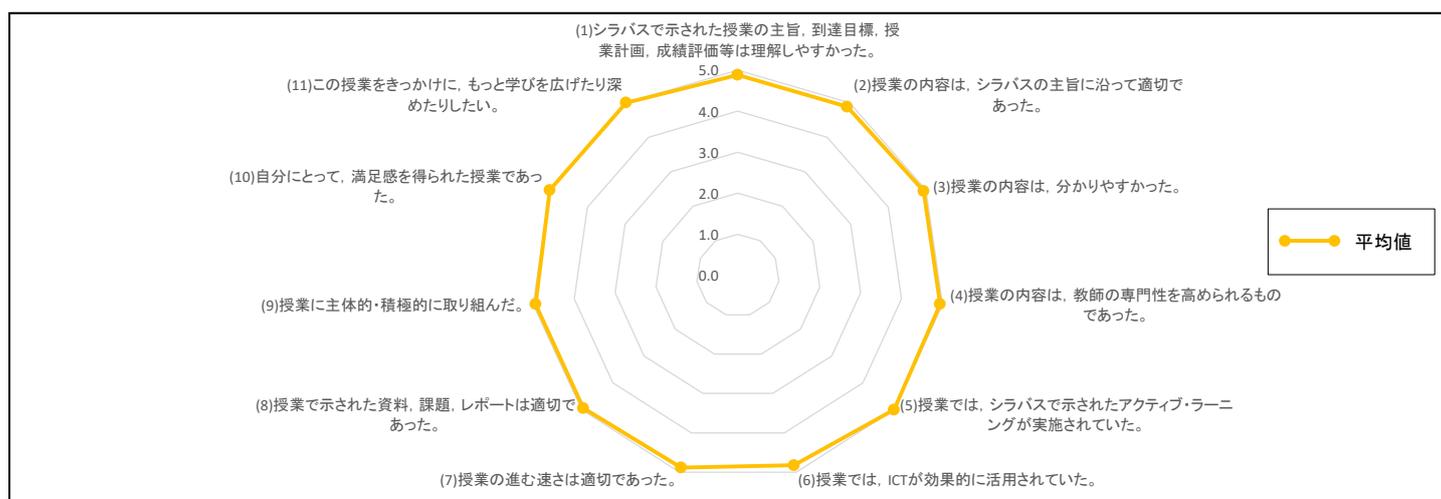
今年度より新たに始まった遠隔大学院での授業であり、オンタイムにZOOMでつながる授業と、オンデマンドで動画や資料から学ぶ授業を組み合わせたハイブリッド授業で実施した。受講者は3名と少なかったため、昼間の本授業と連動させ、同じ題材についての意見交換をmoodleのフォーラムを活用して実施する工夫を試みた。その結果受講者のアンケートの自由記述にもあるように、「フォーラムで昼間の学生さんや私達のような遠隔の院生など立場の違う、世代も違う人たちとの考えの示し合いがあれば、さらに広い視野をもって問題に向き合えると思った。」と授業工夫が評価され、効果的な授業に繋がられた。またこの授業では「虐待」「発達障害」「子どもの貧困・ヤングケアラー」など現代の子どもと家族を取り巻く問題をトピックスとして扱ったのだが、「実際にvideo視聴をすることで問題点が具体的に考えられた。資料も勉強になった。」「社会問題の課題とも位置づけられる「貧困」や「虐待」、「就学にあたっての対応」などの実態に即した問題と向き合うことができた授業であった。」「教師としての考え方や対応についても考えさせられる部分が大いにあった。」「他人事ではないと気付かされた上で何が出来るか考えさせられたことが非常に意義深く心に刻まれた。」「教育と関連した社会全体の問題に向き合う授業はとても学ぶ価値がある有意義なものだと感じた」と、授業内容が現職の先生方にとっても意義のあるものだったことが実感できた。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	268	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	子ども家族支援の実際と課題	回答者数	17	人	
授業区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	15	2	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	15	2	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	16	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	16	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	15	1	1	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	15	2	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	16	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	16	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	17	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	17	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

今年度も様々なコースの方が履修して下さい、30名の受講があった。今年度は本学の原則に従い対面授業を中心に実施したため、年明けの1月には感染者が拡大したこともあり、最終授業を欠席した学生からの授業評価を十分に得ることは難しかったが、回答いただいた全ての受講生が、満足感が得られた(5)として、さらに学びたい(5)と評価した。このことは、授業内容及び授業方法に工夫を重ねてきた成果と考えている。コメントを書いて下さった院生からは、「受講生の様々な意見を聞いたこと」「ディスカッションしながら考えを深められたこと。全員の意見を聞く機会があったのがとてもよかったです」「子ども達の現状や課題に対して、グループや全体で意見交換することで、深めることができました。」など授業方法に関することや「子どもについて考えるだけでなく、保護者についても考えるとても貴重な時間となりました。」「教職につく人は全員受けたほうがいいと思った内容でした。もっと受けたいと思う授業でした。」など授業内容を深く理解された肯定的なコメントが多く、次年度の授業にも活かしていきたい。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	269	評価実施日	令和4年8月3日		
授業科目名	家庭教育支援演習	回答者数	1	人	
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

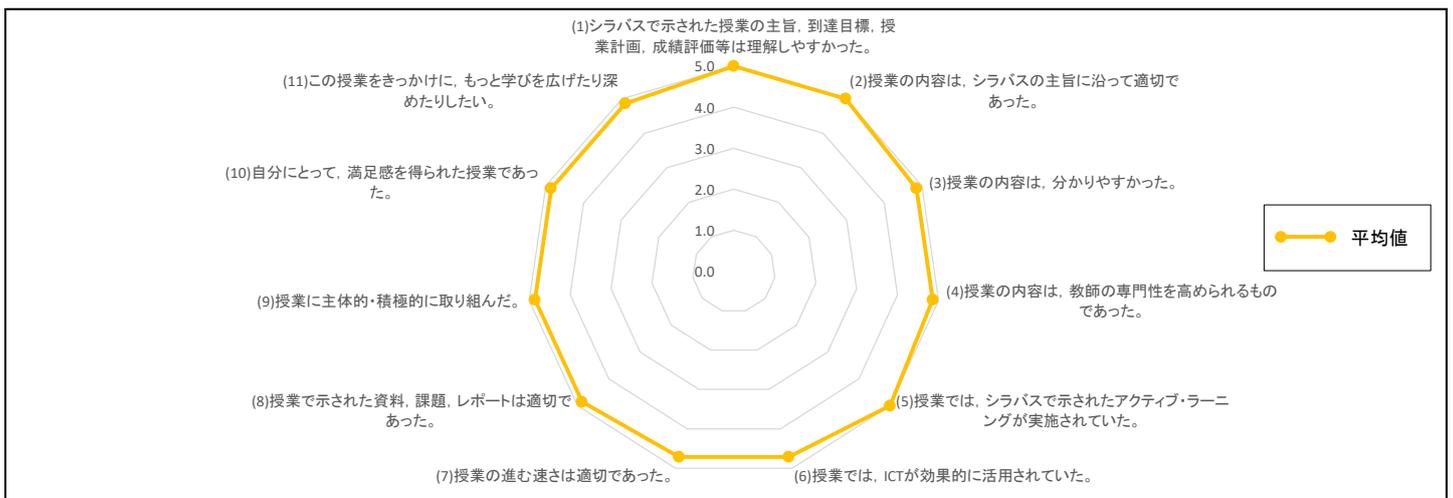
今年度より新たに始まった遠隔大学院での授業であり、授業者としても効果的な授業をオンラインによって実施することができるか不安もあった。オンタイムにZOOMでつながる授業と、オンデマンドで動画や資料から学ぶ授業を組み合わせたハイブリッド授業で実施した。遠隔授業のため受講者は多くはなかったが、受講者のアンケートの自由記述より「保護者会、面談、説明会等で、直ぐに役立ちそうな、注意すべき点や、話しの入り方など、学ぶ事ができた。」と具体的な授業効果や意義が感じられ、学びにつながったと考える。引き続き、受講者の実践力や専門性の向上に資するように、受講者一人一人のニーズを捉えた丁寧な授業を心がけたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	270	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	家庭教育支援演習	回答者数	7	人	
授業区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	7	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	6	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	6	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	2	0	0	0	4.7
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	2	0	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	6	1	0	0	0	4.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

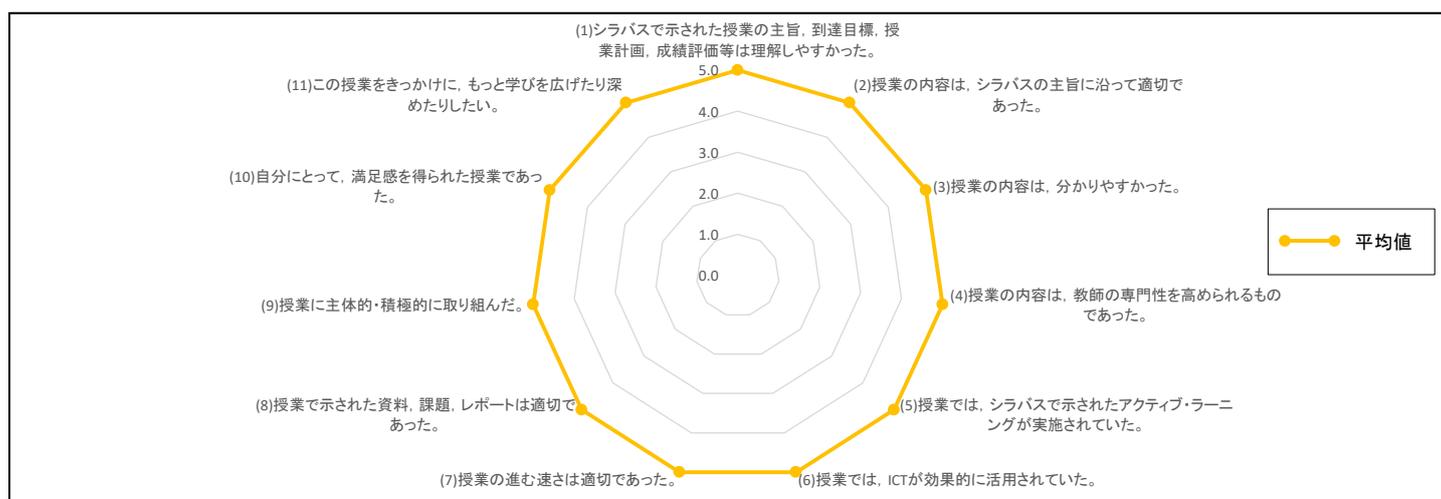
今年度も様々なコースの方が履修してくださり、総合的に多くの院生の満足に繋がっていた。院生からのコメントにおいては、「家庭教育支援について知識を得るだけでなく、考え方を広げ、深めることが出来た。」「考えを共有しながら高め合授業で、勉強になった。」「アクティブラーニングができる非常に良い時間でした。」「講義を受けて自分の知識の更新ができた。今後に生かされると思われる内容ばかりだった。」「話し合いをする時間が多くて色々な人の意見を聞くことができた。」「内容が深く・わかりやすく、自分の研究にとってとても示唆を与えてくれる授業となりました。」「家庭教育支援の意義や意味について考える機会になり、また方法もさまざまな形があるため、いろんな方法で支援していくことの大切さを知ることができました。」など肯定的な意見が多かった。次年度に向けてICTの効果的な活用や課題の在り方を工夫し、さらに院生の学びが深められる授業となるよう授業改善を図っていききたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	271	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	幼児教育マネジメント演習	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	佐々木 晃				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

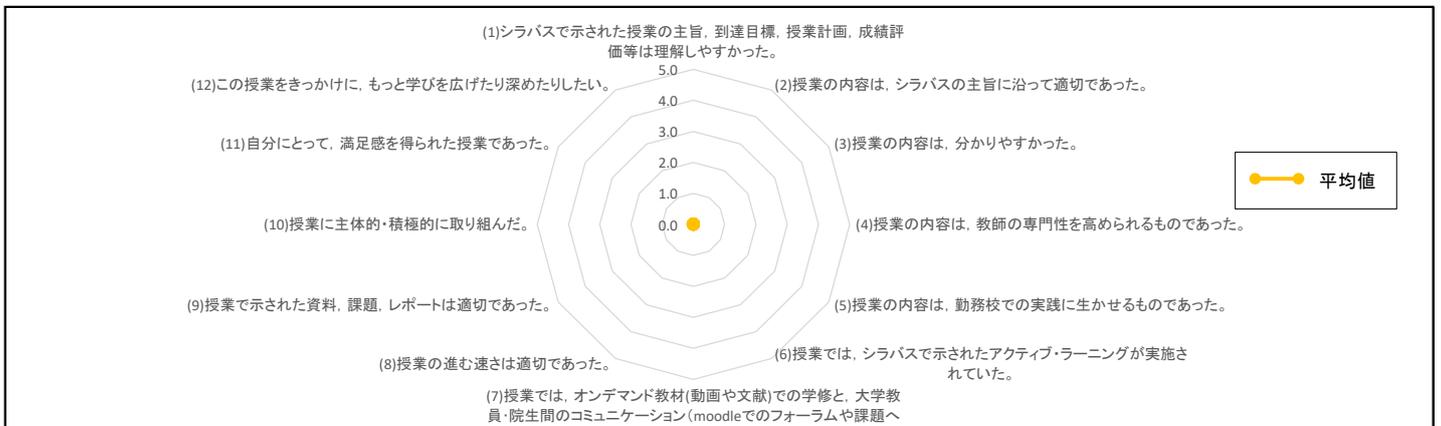
履修者が1名で、管理職経験もまだないという状況であったので幼児教育界全体の課題の分析とそれらを踏まえたマネジメントの展開を「もし、自分が管理職となって理想の園づくりを進めるなら」という未来指向型の授業構成と内容を提案しました。具体的なデータを取り上げて現場の抱える課題についてディスカッションしたり、マネージメント戦略を練るワークショップをしたりしながら、幼児教育界を変えていく若い力を育成したいと願って分析力とデザイン力を付けられるようにしました。評価は5であるが、「履修者が自分以外いない」という明白な事実から、5以外の評価がしにくかったことも考えられるので、この点については配慮が必要かと思われる。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	272	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	幼児教育マネジメント演習	回答者数	0	人	
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	佐々木 晃				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

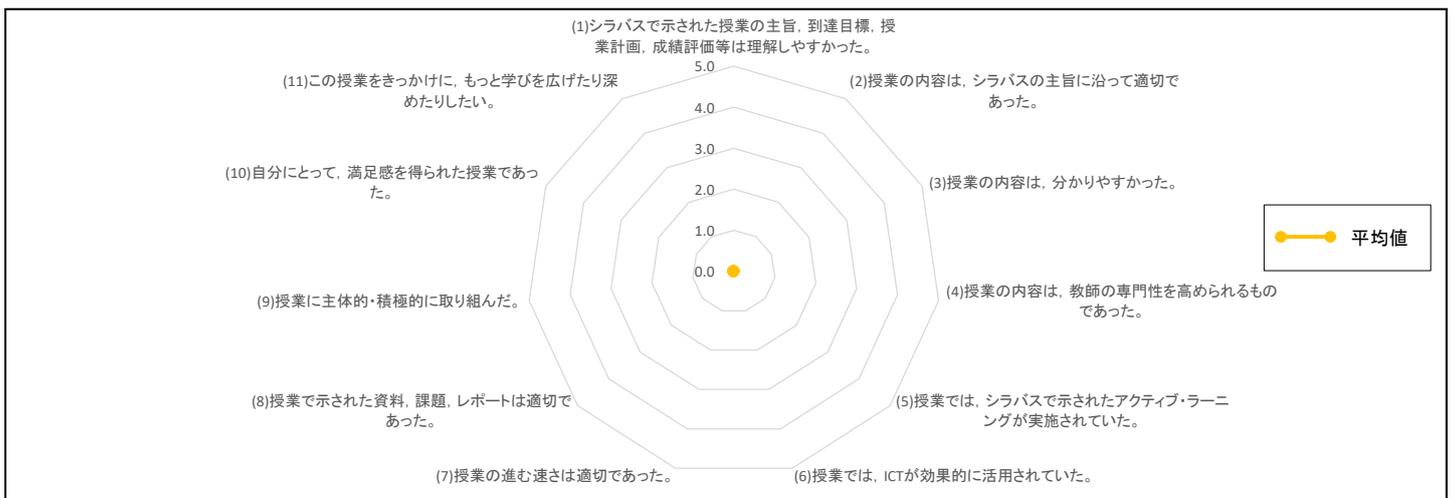
履修者へ評価についての依頼が徹底できておらず、評価が得られていないことが、最大の問題であったと反省しています。この授業は幼児教育界の抱える課題と履修者の所属する園の課題を対比させながら、マネジメントの課題と有効な方略について提案していく力を付けることであったが、この目的についてはふれることなく展開することができたと考えます。授業の内容については8回中3回の双方向の遠隔授業を行い、履修者の保育現場で起きている課題についてディスカッションし、解決のための具体的なマネジメントを考え、授業後の実践に繋がれたことに成果があったと思います。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	273	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	幼児教育におけるICTの活用	回答者数	0	人	
授業区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	湯地 宏樹, 田村 隆宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

本授業の受講者数は1名中いたが、授業評価をしていない。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	274	評価実施日	令和5年2月13日		
授業科目名	園の組織マネジメントの理論と実践		回答者数	0	人
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	佐々木 晃				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

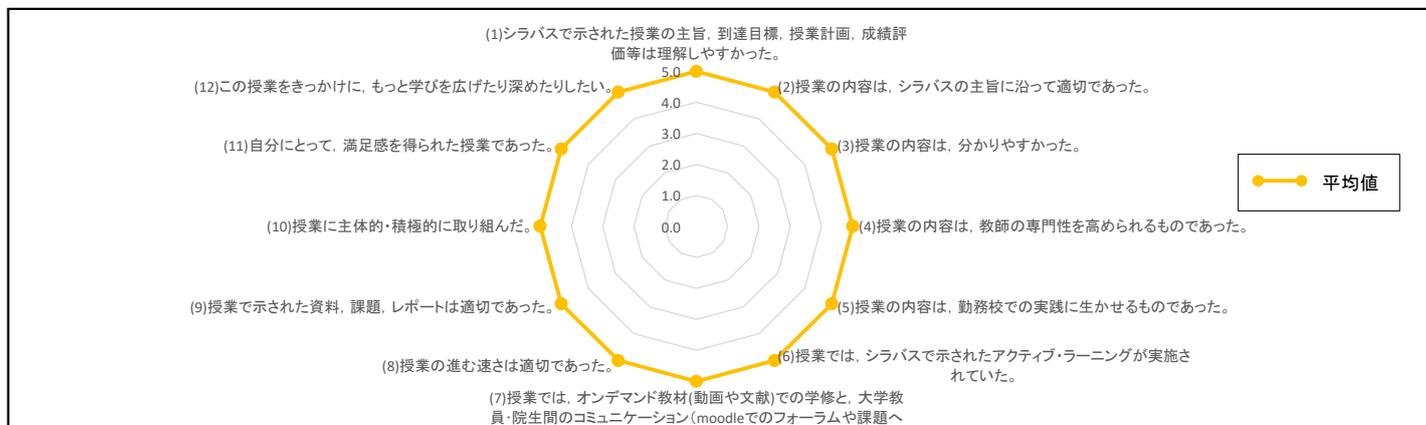
履修者へ評価についての依頼が徹底できておらず、評価が得られていないことが、最大の問題であったと反省しています。この授業は履修者の所属する園の課題を分析し、実際の学校評価の評価項目の設定やマネジメントの方略について提案していく力を付けることであったが、この目的についてはぶれることなく展開することができたと考えます。授業の内容については8回中3回の双方向の遠隔授業を行い、履修者の保育現場で起きている課題についてディスカッションし、多様なマネジメント戦略について学習することに成果があったと思います。また、担当教員はじめ履修者達の多様な実践に触れて、自園の解決のための具体的なマネジメントを考え、授業後の実践に直結させられたこともよかったと思います。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	275	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	幼児教育実践フィールド研究 I	回答者数	5	人	
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	塩路 晶子, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	5	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション (moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む) を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	5	0	0	0	0	5.0
(8)授業の進む速さは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	0	0	0	0	5.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

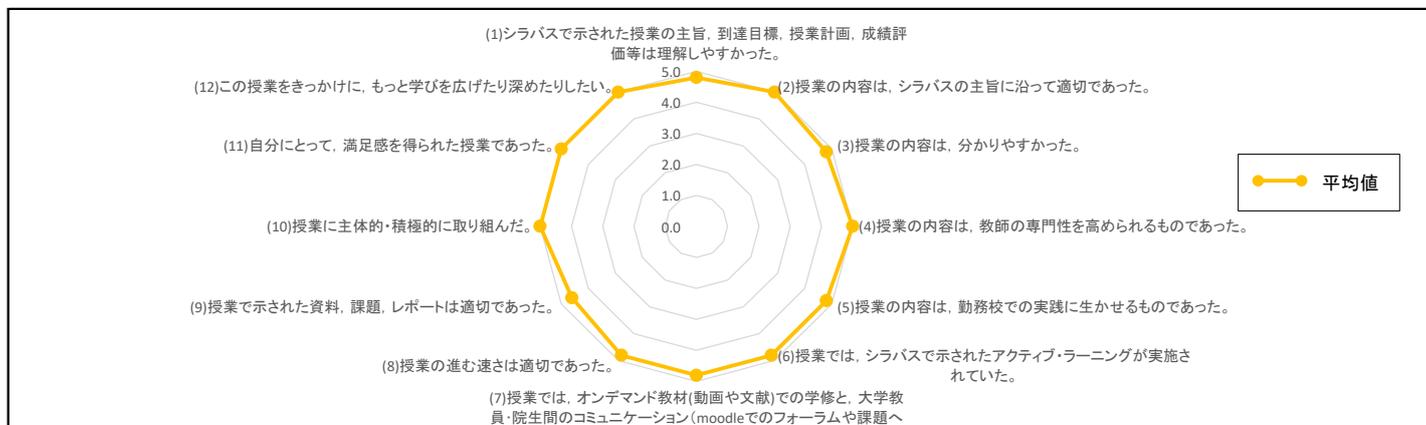
遠隔の授業であるが、スクーリングとして実施した。附属幼稚園の保育に参加観察することを通して、保育の環境構成や保育者の意図について深く学ぶことができ、また、他の受講生ともディスカッションすることができ、自園での保育に生かしていきたい、という意欲的なコメントが自由記述から多数読み取ることができた。すべての評価項目が5点満点で高い評価を得ることができた。次年度以降も引き続き、受講生の学びに資するように努めていく。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	276	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	幼児教育実践フィールド研究Ⅱ	回答者数	5	人	
区分	専門科目（幼児教育実践力）				
担当教員名	塩路 晶子, 佐々木 晃, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	0	0	0	0	5.0
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	4	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	4	1	0	0	0	4.8
(8)授業の進む速さは適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	1	0	0	4.6
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	0	0	0	0	5.0
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

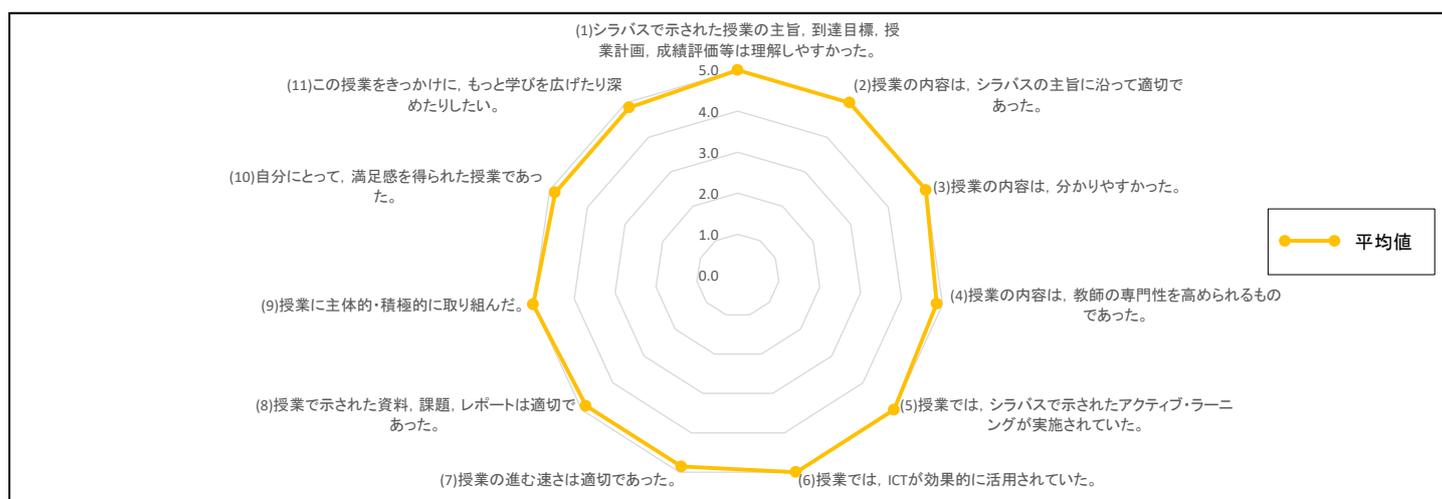
遠隔の授業であるが、スクーリングとして実施した。附属幼稚園の公開研究会や運動会などの行事に参加観察することを通して、様々な学びを深めることができた、と自由記述から読み取ることができた。すべての評価項目が4.8以上で高い評価をえることができた。日程や持ち物等のすみやかな連絡等についても、受講生がスムーズに授業に取り組むことができるように、次年度以降も引き続き努めていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	277	評価実施日	令和4年10月25日		
授業科目名	特別支援教育 キャリア教育・進路指導A	回答者数	7	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	大谷 博俊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	7	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	7	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	6	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	7	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	6	1	0	0	0	4.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

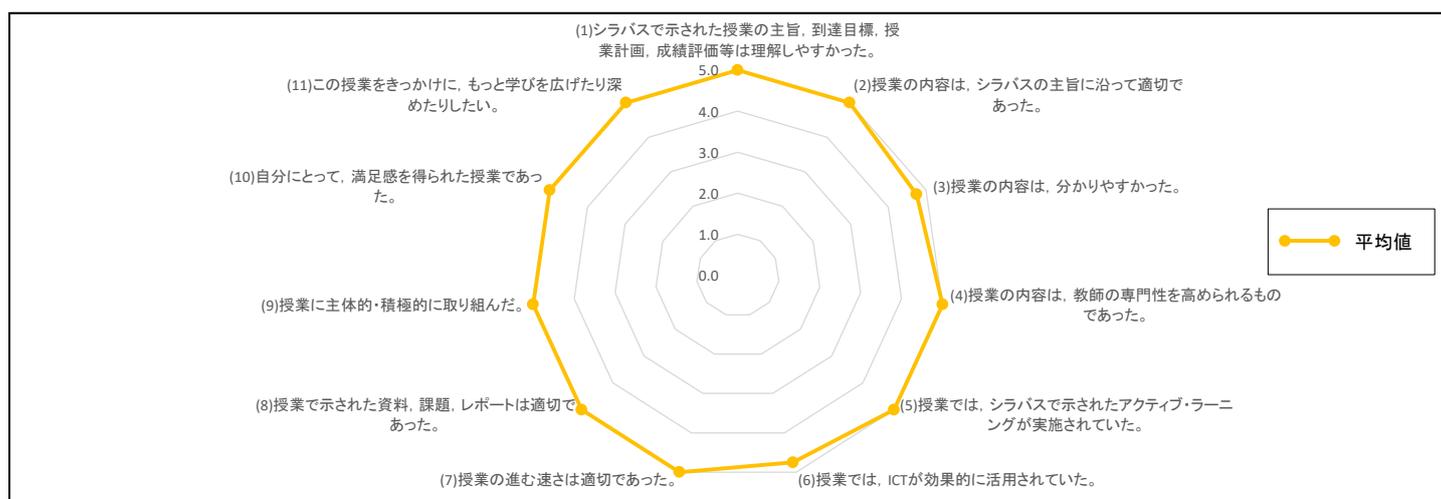
質問項目の評価平均値は4.9以上であり、受講生は本授業を非常に肯定的に捉えていると判断できる。特に全受講生が「そう思う」と回答している項目が、全項目中の5割を超えており、本授業の設計は適当であったといえるのではないだろうか。その主な理由について、自由記述の回答から推測すれば、フィールドワークが影響していると考えられる。また対面授業に、新たに導入したオンラインホワイトボードを導入し、活用したことも評価されており、次年度においても授業計画に組み込んでいきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	278	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	特別支援教育 キャリア教育・進路指導B	回答者数	4	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	大谷 博俊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	1	0	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

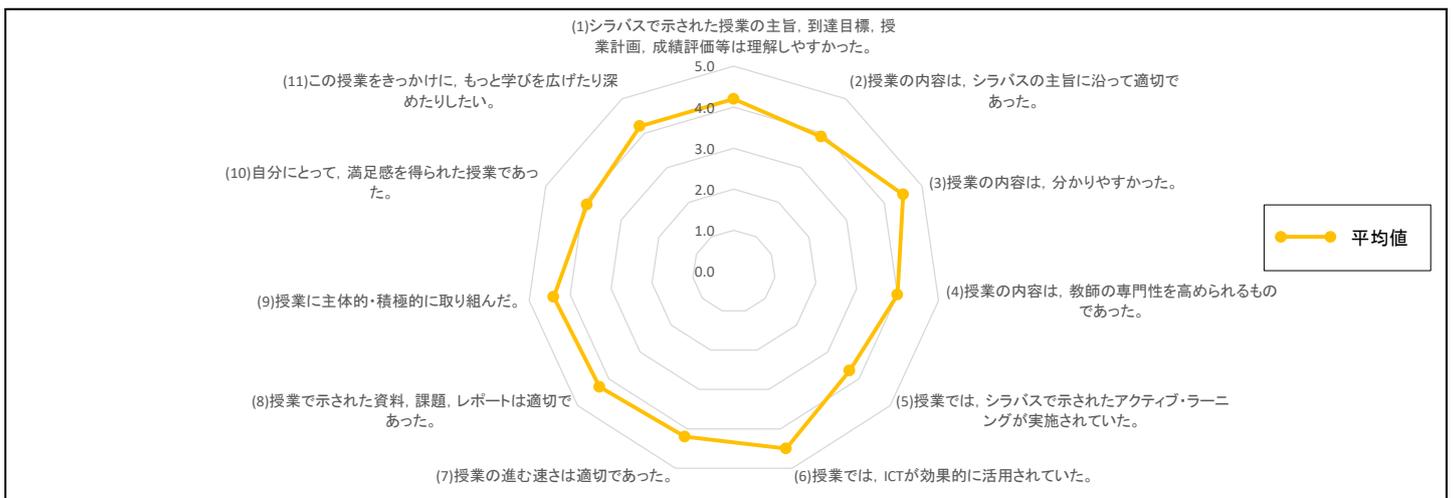
質問項目の評価平均値は4.8以上であり、受講生は本授業を非常に肯定的に捉えていると判断できる。特に全受講生が「そう思う」と回答している項目が、全項目中の8割を超えており、本授業の設計は適当であったと考えられる。その主な理由について、自由記述の回答から推測すれば、キャリア教育・進路指導Aと連動し、一貫した授業内容としていることと、フィールドワークと講義における省察の往還が影響していると考えられる。一方、新型コロナウイルス感染症による制限への言及が見られることから、社会状況の変化を勘案しつつ、今後の授業設計について検討していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	279	評価実施日	令和4年10月26日		
授業科目名	特別支援教育における心理行動支援A	回答者数	10	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	高原 光恵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	5	3	1	1	0	4.2
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	3	1	2	0	3.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	5	0	0	0	4.5
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	3	2	1	0	4.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	6	0	1	1	3.7
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	6	3	1	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	3	1	1	0	4.2
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	5	1	0	0	4.3
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	4	1	0	0	4.4
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	3	2	0	1	3.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	4	2	0	0	4.2



<教員のコメント>

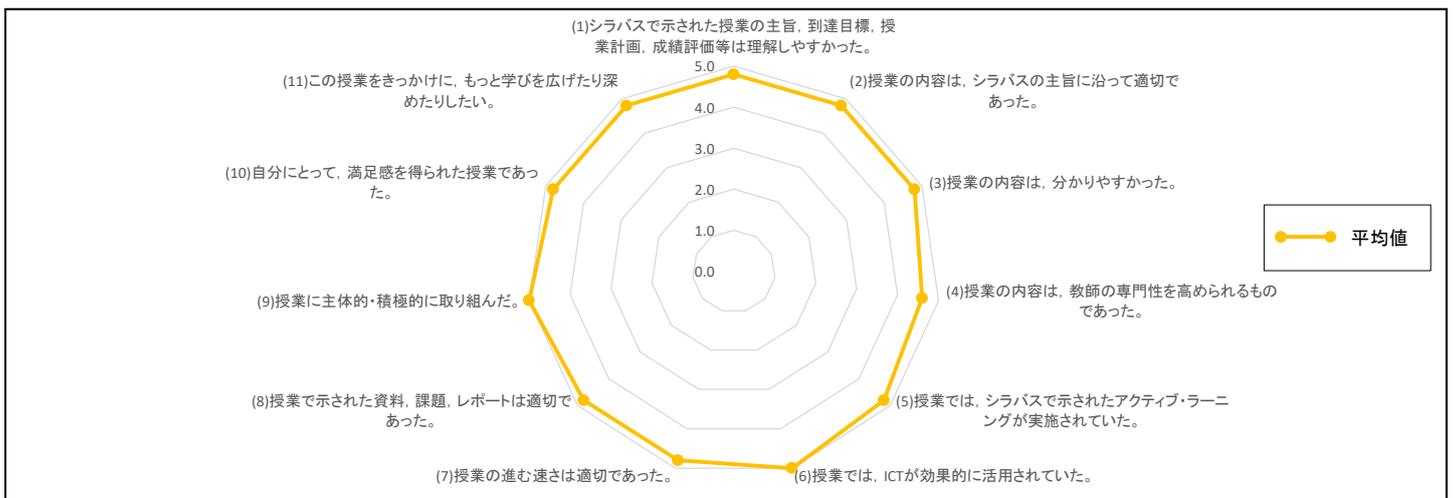
回答者数は約半数であったが、自由記述も多く、丁寧に回答されたと感じる。評価にばらつきのある項目はシラバスに関連したものが多く、授業初回ではシラバス確認後の受講は少なかったが、受講するに従って、あるいは評価の段階でシラバスが活用されることが推測される。今回、対面授業方式とオンライン授業方式を並行して行った。対面あるいは両者間でのディスカッションの機会が十分に確保できず、今後、工夫が必要なところと考える。自由記述からは、実習科目が過密な受講生は、対面とオンラインの並行実施が必須である様子がうかがえた。さまざまな受講環境を考慮し、今後もオンライン方式は維持していこうと思う。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	280	評価実施日	令和5年2月15日		
授業科目名	特別支援教育における心理行動支援B	回答者数	5	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	高原 光恵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	2	0	0	0	4.6
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

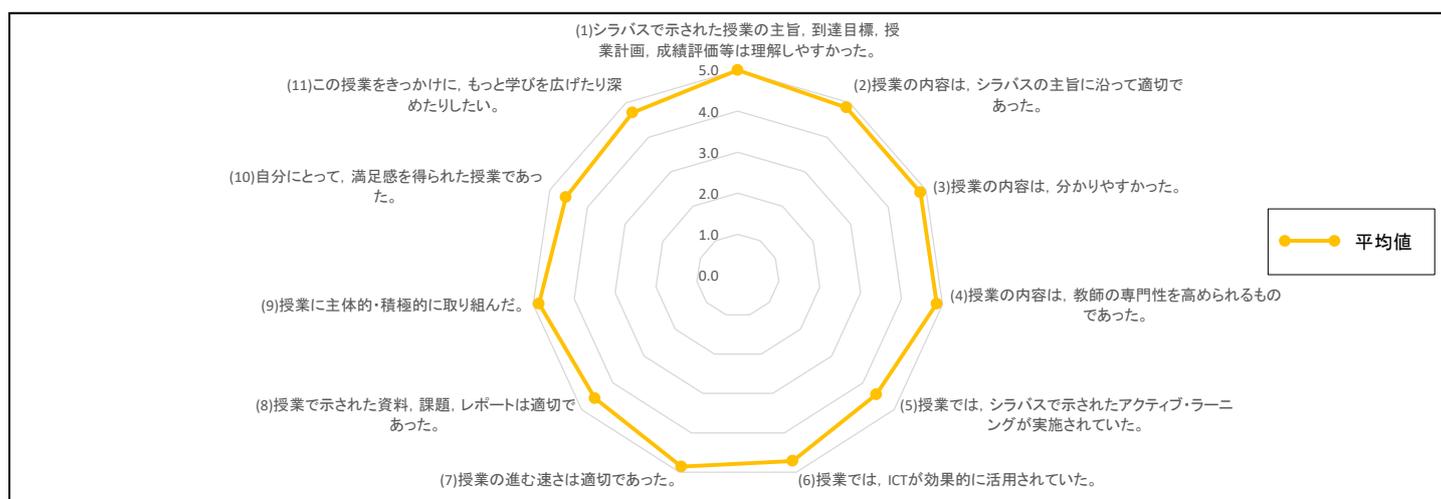
回答者数は約半数であったが、自由記述も多く、丁寧に回答されたと感じる。回答者が全員「そう思う」を選択したのは、効果的なICT活用と、主体的な受講に関する項目であった。対面授業とオンライン授業を並行実施する形態での演習であったが、各受講生がプレゼンテーションの準備やディスカッションの実施方法に工夫を凝らして取り組んでいたことによる結果と思われる。自由記述からは、受講生同士の学び合いが好評であった。さまざまな経験ある大学院生同士が、一定の知識や情報を得た上で率直に意見を交わせる場を、今後も取り入れていきたい。なお、聞き役になりやすい受講生に対しては発言機会をより意識的に設けることについて提案があった。積極的傾聴か受身的な参加が見極めながら、いずれの受講生も積極的に取り組めるよう工夫していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	281	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	特別支援教育における医療・教育の連携A	回答者数	7	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	小倉 正義, 伊藤 弘道				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	6	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	6	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	4	0	0	0	4.4
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	2	0	0	0	4.7
(7)授業の進む速さは適切であった。	6	1	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	1	1	0	0	4.6
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	1	1	0	0	4.6
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	2	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

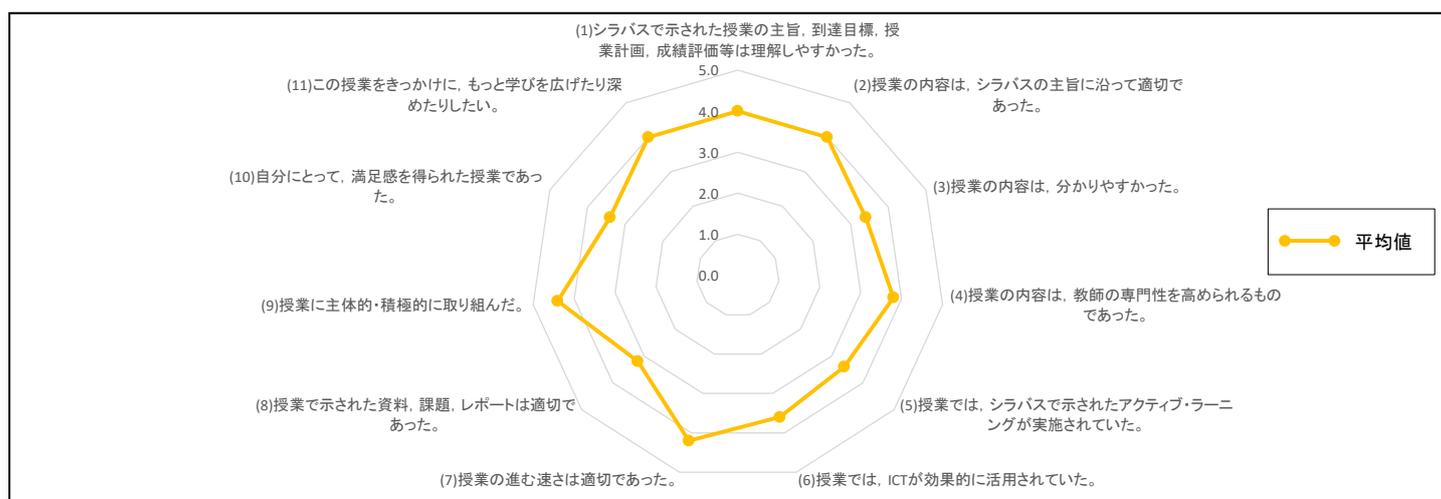
受講生の学びの様子、発表内容、そしてアンケート結果を総合的にみて、授業の趣旨や到達目標はある程度達成できたことが考えられる。アンケートの自由記述の結果から、受講者の興味関心のできる限り合わせる形で授業を進めたこと、受講者が主体的に参加できるように自ら調べ発表する機会を設けたこと、テーマについて受講生間で議論をしてもらい、さらに理解が深まるように工夫したことなどが効果的であったと思われる。また、基本は対面での授業を行いながらも、Moodleを活用したことで、学生の個別学習のしやすさや学生同士の学びの共有につながったように思われた。今後は、この授業で学んだことが、普通の学生の主体的な学びにつながったり、学校現場において課題解決のヒントとして使ってもらったりできるように、さらにアクティブ・ラーニングの方法を工夫していきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	282	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	特別支援教育における医療・教育の連携B	回答者数	5	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	伊藤 弘道, 小倉 正義				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	2	0	1	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	2	0	1	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	3	1	1	0	3.4
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	1	1	1	0	3.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	2	0	1	3.4
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	2	1	1	0	3.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	4	0	0	0	4.2
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	1	2	0	1	3.2
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	3	0	0	0	4.4
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	1	2	1	0	3.4
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	2	0	1	0	4.0



<教員のコメント>

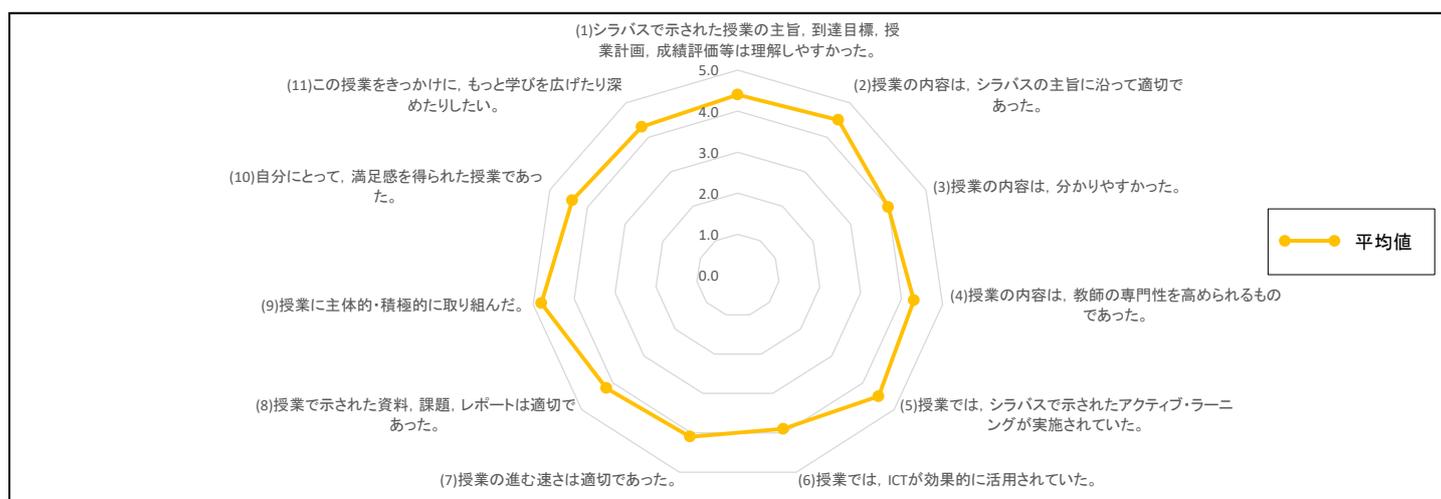
本授業の目的であるが、発達障害児、病弱児、肢体不自由児など特別支援教育の対象となる児について、主として医療の観点から、テーマを毎回決め、少人数のグループにて文献研究を行い、この分野の研究について理解を深め、あわせて、プレゼンテーション、討論などを実践することにより、特別支援教育の対象児に対する医療的観点からのより深い理解をすすめることである。本年度もコロナ禍の影響があり、授業中の感染予防の観点から、対話的な活動はある程度制限して行った。院生からの授業評価結果であるが、回答率が低い条件下ではあるが、各質問項目とも評価点数にばらつきがみられた。コロナ関連の感染予防と対話的な授業の両立・バランスは今後も課題であるが、今後とも授業の内容、方法について改善を行っていきたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	283	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	特別支援教育 心理学・教育学の連携A	回答者数	10	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	島田 恭仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	6	0	0	0	4.4
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	5	0	0	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	8	1	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	3	2	0	0	4.3
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	5	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	9	1	0	0	3.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	7	1	0	0	4.1
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	4	2	0	0	4.2
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	8	2	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	4	1	0	0	4.4
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	5	1	0	0	4.3



<教員のコメント>

評定平均は4.31だった。項目(1)(2)(5)(9)で受講生全員が4または5の評定をしたことから、「シラバスは理解しやすく適切であり、アクティブラーニングが実施されていて、主体的・積極的に取り組むことができた」と感じた学生が多いことが分かった。心理検査の実施法をグループで実習し、検査結果にもとづいて児童の特性を理解し、教育実践につなげてゆくという主旨・目標に沿った授業が、受講生の主体性・積極性の向上に役立ったと思われる。

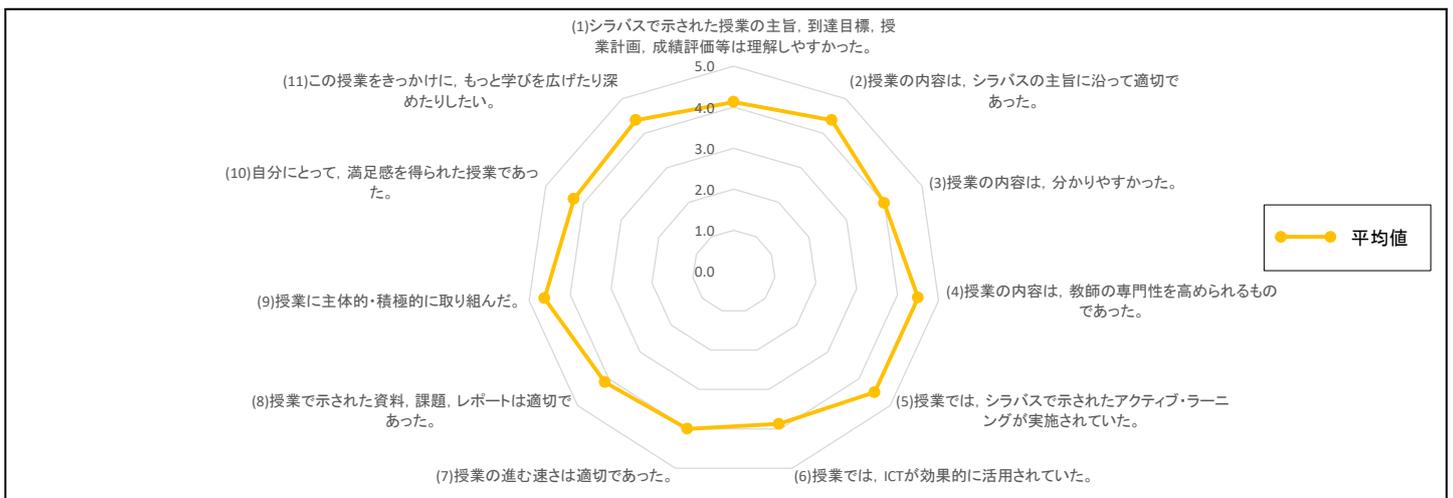
一方、記述回答では、「手元に資料が一つしかないので採点が難しかった」等の意見があった。検査の取り扱いが厳しく、数値の換算表をコピーで配布できなかったためである。また、コピー配布するためには、非常に沢山の表のコピーを取り、授業のたびに配布と回収を繰り返す手間がかかる。次年度は、重要な換算表だけ全員に配布しておいて、終了後に検査用紙と一緒に回収する等の工夫をしたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	284	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	特別支援教育 心理学・教育学の連携B	回答者数	8	人	
授業区分	専門科目（発達支援力）				
担当教員名	島田 恭仁, 小倉 正義				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	7	0	0	0	4.1
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	3	5	0	0	0	4.4
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	6	1	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	4	4	0	0	0	4.5
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	1	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	3	3	0	0	3.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	4	2	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	5	1	0	0	4.1
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	3	0	0	0	4.6
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	6	0	0	0	4.3
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	3	1	0	0	4.4



<教員のコメント>

評定平均は4.25だった。項目(1)(2)(4)(9)(10)で受講生全員が4または5の評定をしたことから、「シラバスは理解しやすく、授業は教師の専門性を高める内容でアクティブラーニングが実施され、主体的・積極的に取り組んで満足感を得ることができた」と感じた学生が多いことが分かった。認知検査をグループで実習し、児童の認知特性を把握して、教育実践につなげてゆく体験が、主体性・積極性・満足感の向上に役立ったと思われる。

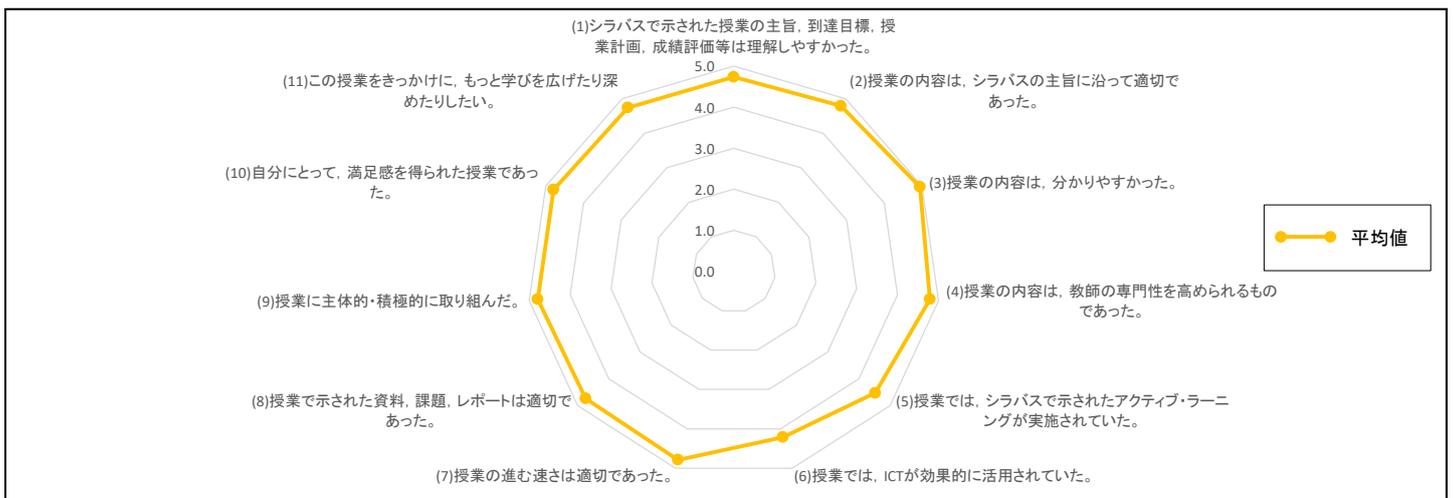
一方、記述回答では、「検査結果の解釈にもっと時間をかけて欲しい」等の意見があった。担当者2名で盛沢山な内容をこなすため、検査の実習を入れるには時間的に少し厳しく、ホームワークを課して改善を図ったが、検査結果の解釈に十分な時間をかけることはできなかった。次年度は、テスター・子ども・記録のロールプレーを一巡だけして、その他のデータはこちらから提供する等の工夫をしたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	285	評価実施日	令和4年6月9日		
授業科目名	リーダーシップとコミュニケーション	回答者数	19	人	
授業区分	専門科目（マネジメントカ）				
担当教員名	前田 洋一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	14	5	0	0	0	4.7
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	15	4	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	18	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	15	4	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	3	3	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	7	9	3	0	0	4.2
(7)授業の進む速さは適切であった。	15	4	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	14	5	0	0	0	4.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	16	2	1	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	17	1	0	1	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	15	3	1	0	0	4.7



<教員のコメント>

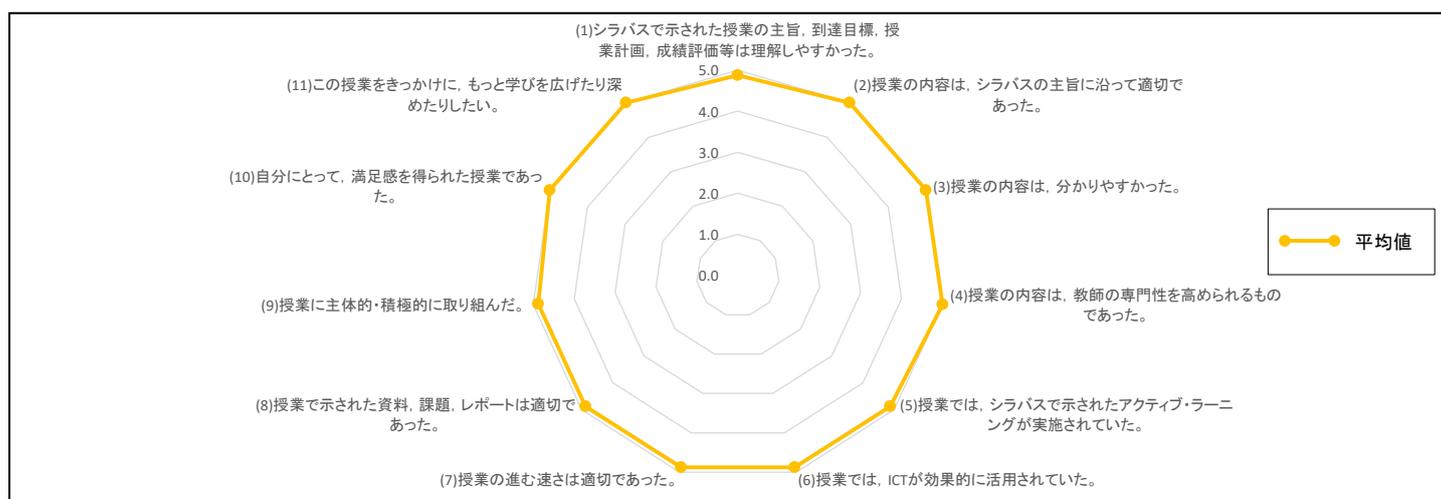
評価平均値は「(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた」が4.2であったがそれ以外ほどの項目も4.7以上であった。自由記述にあるように、「リーダーシップに関する理論や実践事例を分かりやすく説明してくださり, 周りの学生方とも学びを深め合うことができ, 充実した時間を過ごすとともに実践の中で生かせるものを獲得することができた。」とあり, 受講者同士のディスカッションもありそれも効果的に反応したものと考えている。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	286	評価実施日	令和5年2月14日		
授業科目名	地域の教育課題と教育行政の実務		回答者数	8	人
授業区分	専門科目（マネジメントカ）				
担当教員名	藤井 伊佐子, 前田 洋一, 竹内 敏, 藤田 完				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	8	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	8	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	8	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	4.9
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	7	1	0	0	0	4.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	8	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	8	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

5件法により、11項目中5項目で全員が評価「5」他も平均値「4.9」であり、授業評価結果は高かった。授業やフィールドワークは全て複数の教員で担当し、授業に臨む姿勢やレポート、施策立案とポンチ絵作成・発表等を総括した結果、教師の専門性を高める授業が実施できたと考える。以下の自由記述から、次年度も基本的にはこのシラバスに沿って実施し、後者の意見を踏まえ履修者増加に努めたい。

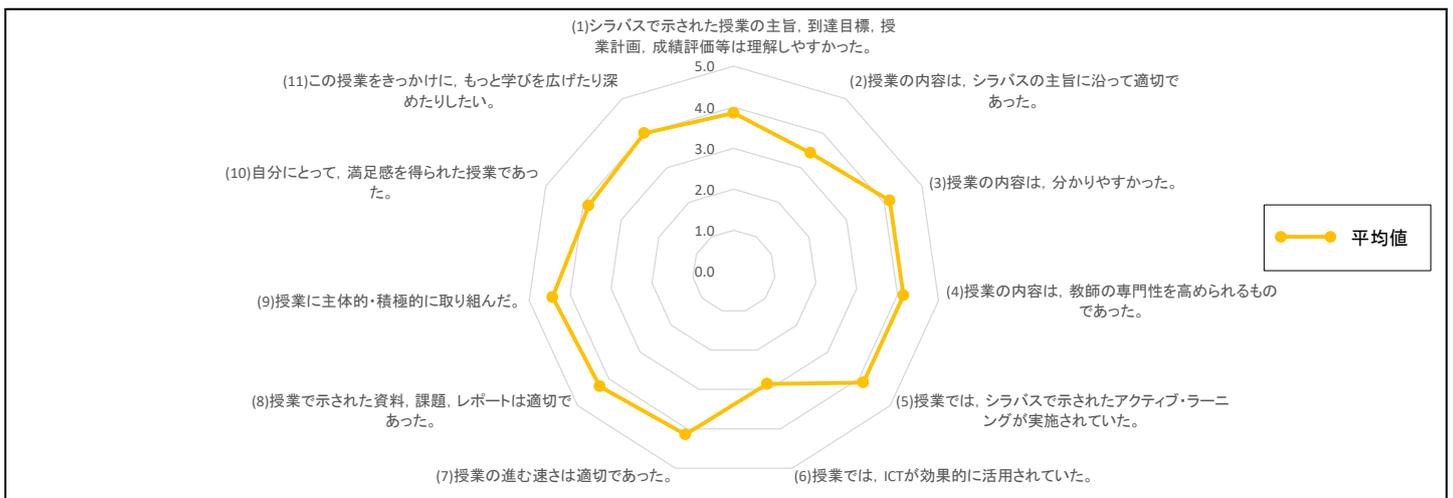
- ・三部構成となっており、知識の獲得・教育委員会のフィールドワーク・グループでの施策立案と、様々な学び方が経験できたことがよかった。毎時間、教授陣の講義の準備がとても熱心で手厚いものだったので、受講者にとって達成感や充実感のある講義だった。講義内容の改善を繰り返し、より良い講義にしようと考えてくださっている熱意が伝わってきた。
- ・非常にいい講義内容なので、ICTや生徒指導の方は受講すると、今後のキャリアに役立つと思いました。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	287	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	教育法規実践演習	回答者数	7	人	
授業区分	専門科目（マネジメントカ）				
担当教員名	石村 雅雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	3	1	1	0	3.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	3	2	0	1	3.4
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	2	0	0	1	4.1
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	0	0	2	0	4.1
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	0	1	0	4.1
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	2	3	1	1	2.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	4	1	0	0	4.1
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	3	3	1	0	0	4.3
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	2	1	0	0	4.4
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	1	0	1	1	3.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	4	1	0	2	0	4.0



<教員のコメント>

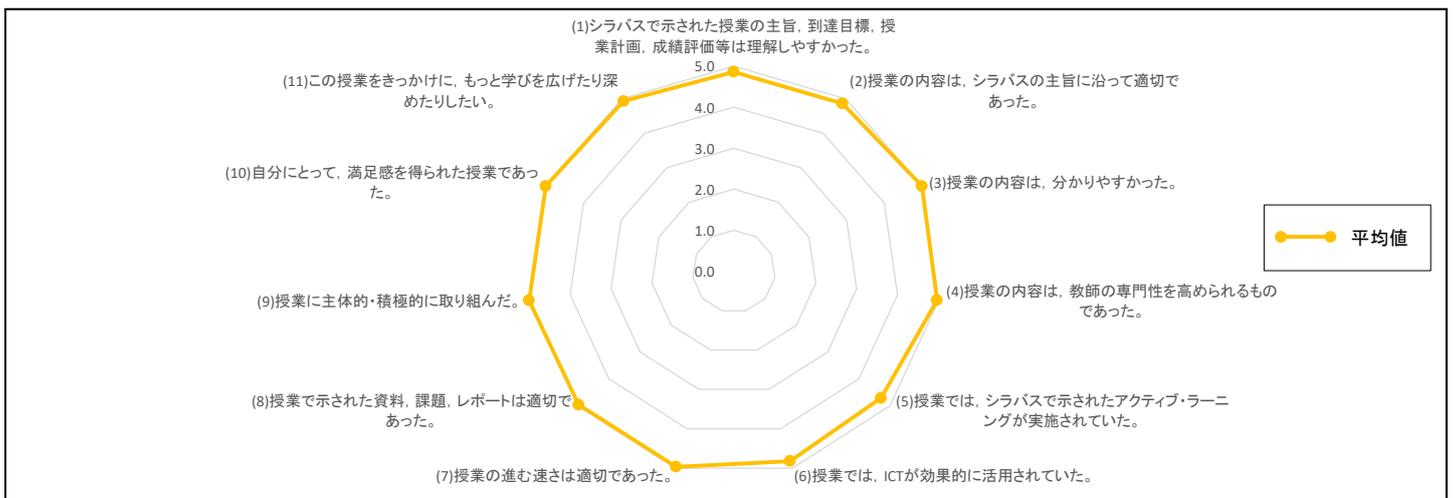
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	288	評価実施日	令和4年6月6日		
授業科目名	学校危機管理の実践	回答者数	28	人	
授業区分	専門科目（マネジメントカ）				
担当教員名	阪根 健二				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	24	4	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	24	4	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	28	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	27	1	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	22	4	2	0	0	4.7
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	23	5	0	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	27	1	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	27	1	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	28	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	28	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	26	2	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

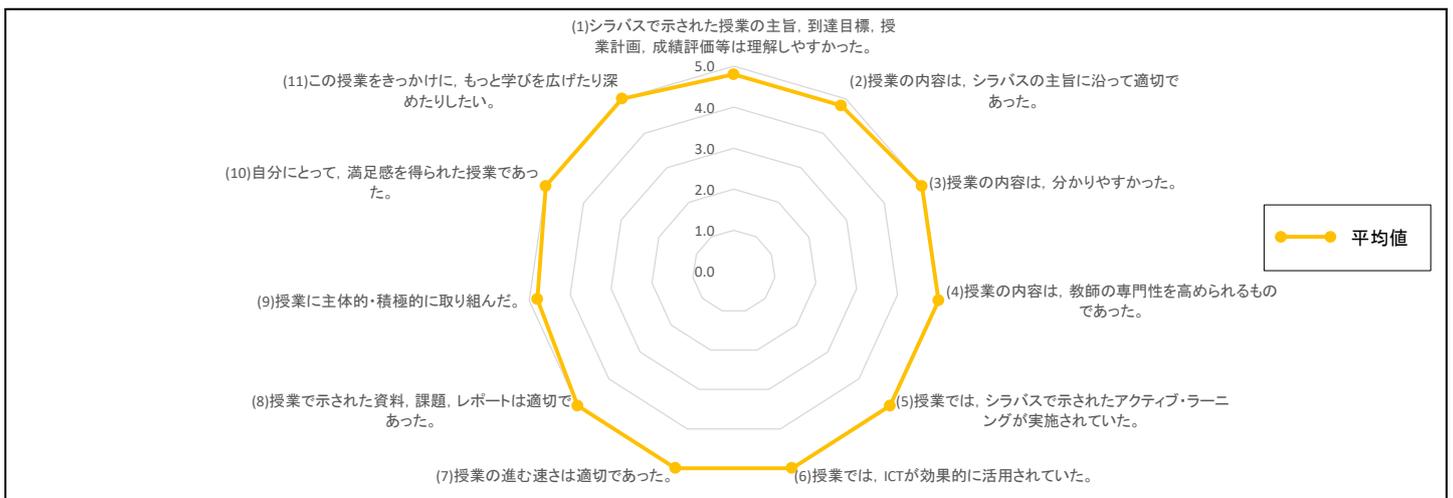
授業評価では概ね高評価であったことで、目的は十分達成できたものと思われる。特に多くの実例をもとに構成された授業であり、最新の問題解決手法（SHELL分析）を取り入れたことが能動的な演習であり、これも高評価につながったものと思われる。また、ゲストとして海上自衛隊徳島教育群司令を招へいし、安全指導の具体例を学んだことも有意義だったと思われる。自由記述では、「対面授業、オンデマンド、外部からの講師のお話、グループでのSHELL分析の演習など、バランスよく織り交ぜられていて、なおかつそれぞれの内容も良かったので、毎時間とても楽しみに意欲的に講義に臨むことができた」という声があった一方、盛りだくさんのため、「授業の中で、生徒どうしの話し合い活動を増やしてほしいかった、全国各地かつ世代の違う方々と交流できる場なのでその機会が必要である」という意見は、今後の改善点だと思われる。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	289	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	学校防災教育の開発	回答者数	5	人	
授業区分	専門科目（マネジメントカ）				
担当教員名	阪根 健二				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	5	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

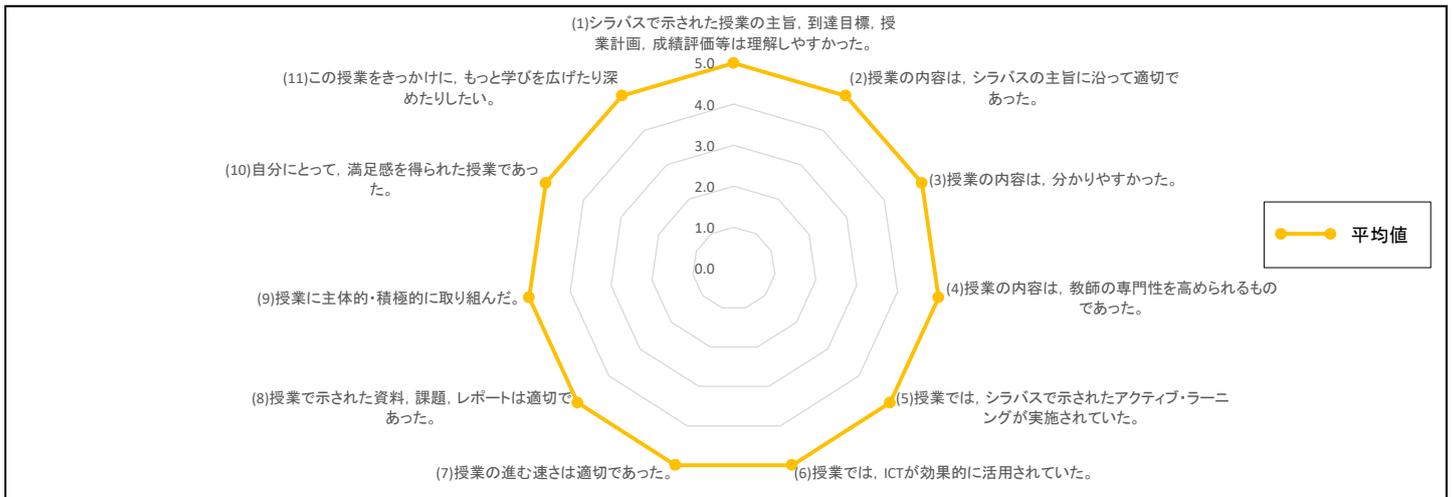
授業評価では概ね高評価であったことで、目的は十分達成できたものと思われる。自由記述では、「学校防災教育という最重要課題に、アクティブに取り組む場を設けていた点、受講生の積極的な姿勢を十分にくみ取ってもらえる授業構成を組まれていた点、担当教授の考えの根底にある「教育への熱い思い」が伝わってきた点」が評価のポイントだったようだ。ただ、後期前半という設定から、学卒院生は実習と重なり、補講を用意したものの、幾分物取りなさを感じたようだ。また、愛媛大学と香川大学からの遠隔での受講もあり、授業構成には工夫の必要はあった。それでも「危機管理マニュアルの点検は、自校の学校防災に正面から向き合い、教師自身が自分事として考える機会になり、よかった。他にも自分では知り得なかったことたくさん知ることができ、学びがありました」と好意的に受け取ってもらっている。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	290	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	学校における加付プログラム推進	回答者数	2	人	
授業区分	専門科目（マネジメントカ）				
担当教員名	村川 雅弘				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

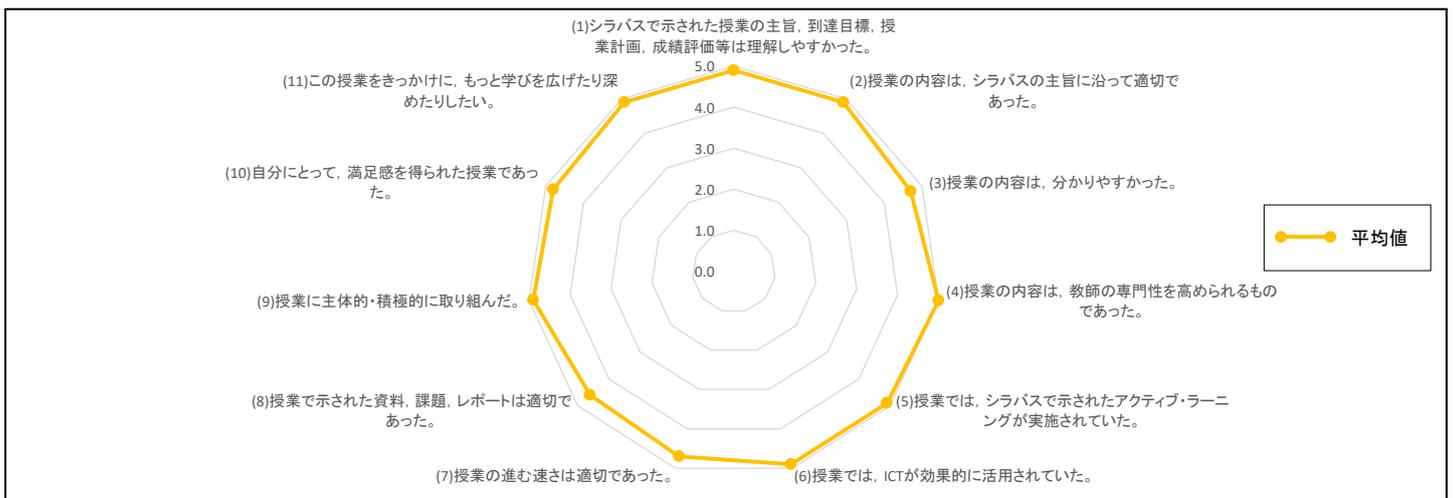
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	291	評価実施日	令和4年10月28日		
授業科目名	家庭・地域・学校の連携構築	回答者数	10	人	
授業区分	専門科目（マネジメントカ）				
担当教員名	大林 正史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	9	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	9	1	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	7	3	0	0	0	4.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	10	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	4.9
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	9	1	0	0	0	4.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	7	3	0	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	6	4	0	0	0	4.6
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	8	2	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	9	1	0	0	0	4.9



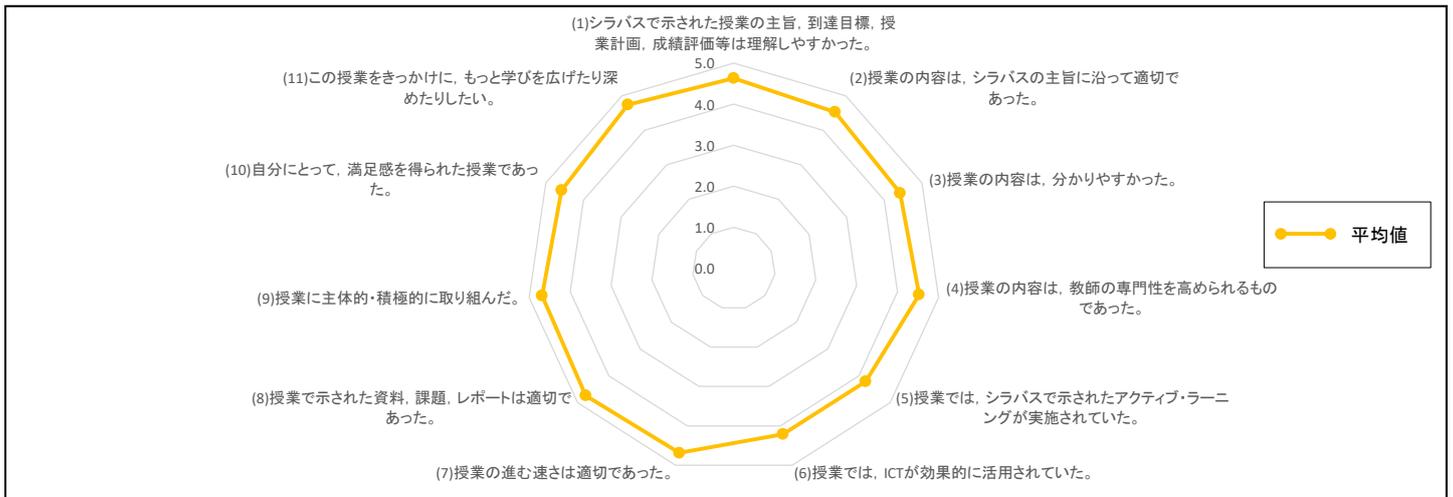
<教員のコメント>
 各項目の平均値は4.6～5.0であり、授業の目的は達成されたと考える。
 本授業では、事前に、私自身が読んで面白かった各授業のテーマに関する文献を読んでもらい、ミニレポートを事前を書いてもらっている。授業では、院生は、ミニレポートをもとに、小グループで、簡単なディスカッションを行い、発表している。その後、私がテーマについて、発表を踏まえて解説を行い、最後に院生は、コメントカードに、授業についての質問や意見を書いている。そして、翌週の最初に、コメントカードについて、私が言及するという流れで授業を行っている。
 上記の学習過程により、現職院生と卒院生は、自身の経験と、他者の経験、文献の記述内容を自分なりに結びつけて認識するようになったことがうかがえた。こうしたことは、本授業の意図するところである。アンケート結果から、この過程での学習による教育効果は、少なくないことがわかる。そのため、次年度も、この基本的な学習過程を踏襲したいと考えている。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	292	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	学校ビジョンの構築と教職員の組織化		回答者数	19	人
授業区分	専門科目（マネジメントカ）				
担当教員名	久我 直人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	15	2	1	1	0	4.6
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	14	3	0	2	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	13	4	0	1	1	4.4
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	13	4	1	1	0	4.5
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	4	2	1	1	4.2
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	11	5	1	0	2	4.2
(7)授業の進む速さは適切であった。	15	2	2	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	16	1	2	0	0	4.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	15	2	2	0	0	4.7
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	15	2	1	0	1	4.6
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	15	3	1	0	0	4.7



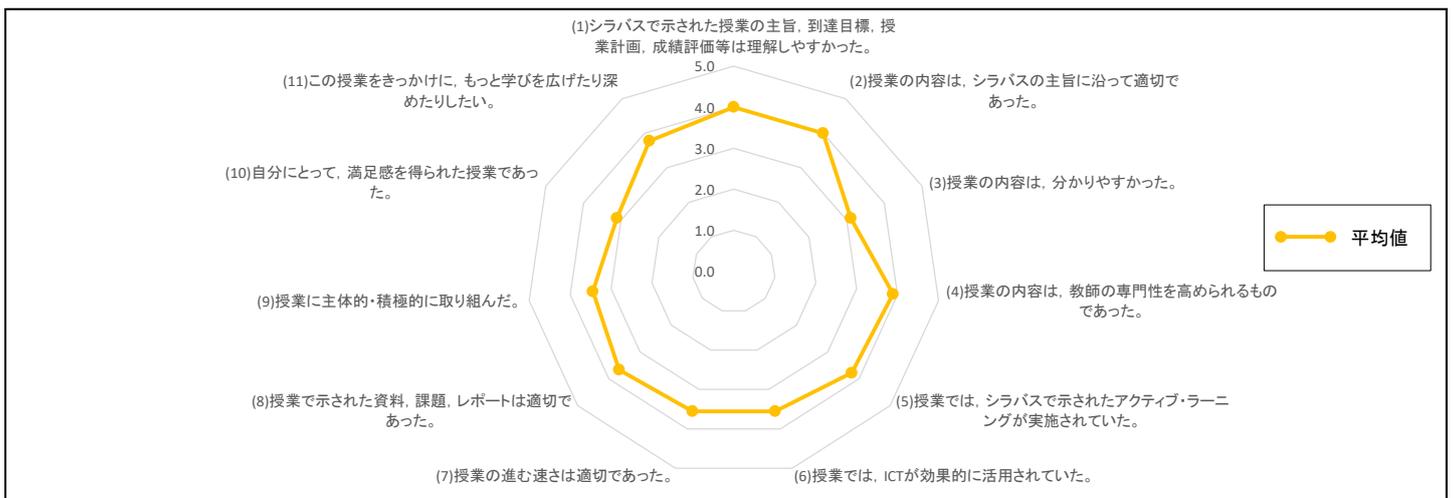
<教員のコメント>
 全ての項目で高い評価を得ることができた（11項目のうち8項目で4.5以上であった）。その理由として、学校組織マネジメントにかかる実践事例を多く取り上げると共に、事例に内包される教育理論を可視化し、組織化しにくい学校の組織化のメカニズムを理論的に組み上げる思考を促したことが、受講者の理解と納得につながったと考える。さらに、学校ビジョンの形成等、具体的なマネジメントの手続きについて、事例を用いて講義することで受講者の学びにつながったと考える。授業方法においても、事例に対する受講者の質問に答えたり、受講生同士のグループワークを取り入れたりし、応答的なやりとりの中で授業を展開した。授業感想にかかる返信にも好意的な感想が寄せられた。そのことも高い授業満足度に繋がったと捉えられる。今後、陰性相互の交流の時間の確保等、授業展開にかかる時間配分等について再検討し、さらに次年度の授業設計に生かしたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	293	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	教職員の人材育成と校内研修	回答者数	9	人	
授業区分	専門科目（マネジメントカ）				
担当教員名	芝山 明義				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	7	1	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	9	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	4	2	3	0	3.1
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	5	1	1	0	3.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	4	0	0	3.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	5	4	0	0	3.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	6	2	1	0	3.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	6	3	0	0	3.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	4	5	0	0	3.4
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	4	2	3	0	3.1
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	5	3	0	0	3.8



<教員のコメント>

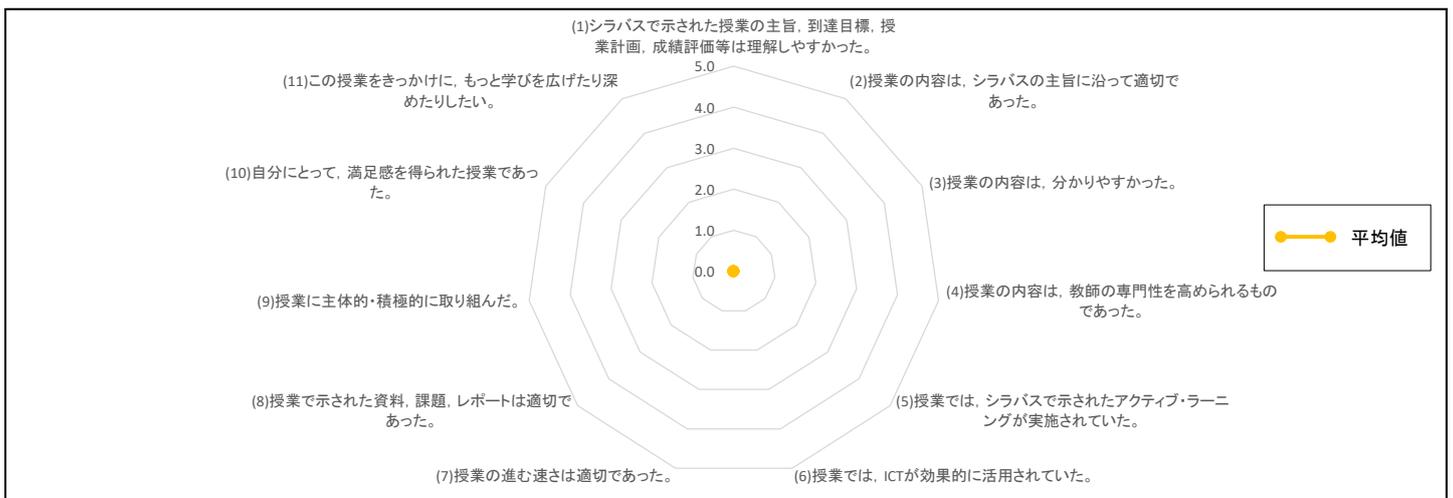
受講生16名中9名の回答で, 各項目の平均値は3.1~4.0の範囲に留まった。回答の自由記述では, 「改善してほしい点」に, 受講生が相互に話し合ったり, 意見を出し合い考えを深めたりする機会, 総じて「アクティブラーニングを取り入れた学びの機会」の増加の要望が多数あった。グループ協議の回に加え, 講義中心の回での受講生の相互学習方を工夫したい。他に講義の改善, 配付資料の電子化への要望等にもできる限り対応したい。「良かった点」は, 配付資料(量的に豊富, 質的に多様・詳細)とグループ協議(校種別の相互分析・情報交換と置籍校園の振り返りの機会)への言及が多かった。教職員の人材育成と校内研修では, 教員免許状更新講習制度の終了に伴う教員研修・育成に係る教育政策の転換等も考慮し, 今後の実践力の確かな育成に向けて, 有効性と満足感を高める授業の構成や展開を丁寧に検討し, 改善に努めたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	294	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	子ども理解と支援	回答者数	0	人	
授業区分	専門科目（子ども対応力）				
担当教員名	池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 皆川 直凡				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

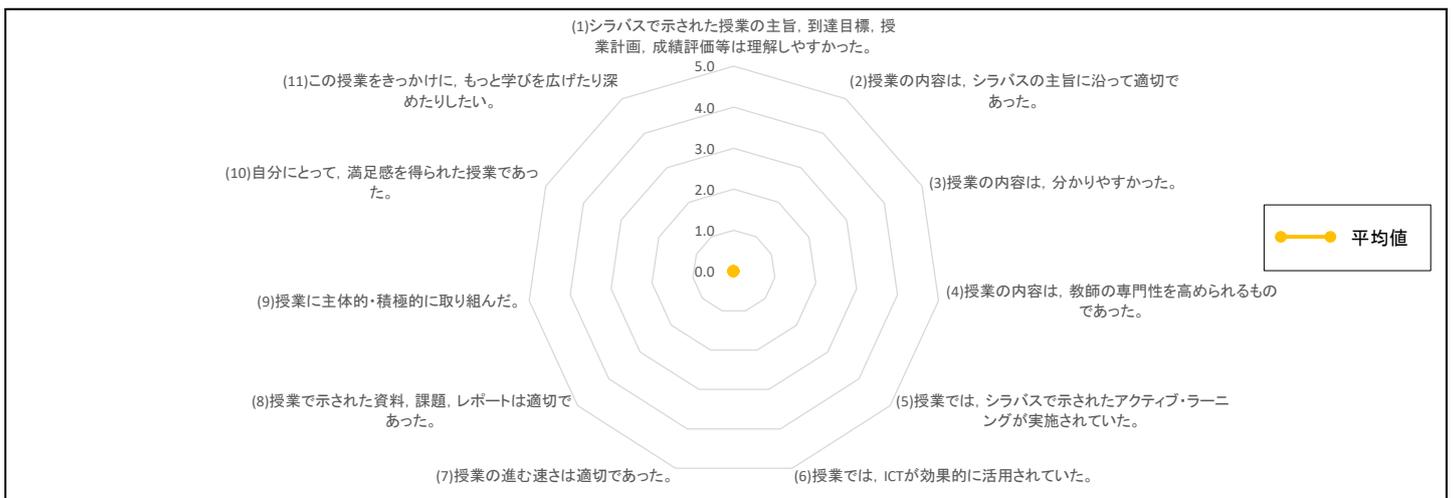
授業評価について、しっかりとしたアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価回答がなく、次年度改善したい。本授業科目は選択の専門科目にもかかわらず、50名を超える大学院生が受講しており、関心のある内容だと考えている。現在の学校教育の状況及びニーズを踏まえ、学校現場で活用できる理論や技法について内容を検討し改善しながら進めたいと考えている。本授業はオムニバスで授業実施しているため、授業方法はワンパターンではないが、より、わかりやすく、関心が高まる授業となるよう、さらなる工夫を行いたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	295	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	学校心理学	回答者数	0	人	
授業区分	専門科目（生徒指導力）				
担当教員名	池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 皆川 直凡				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

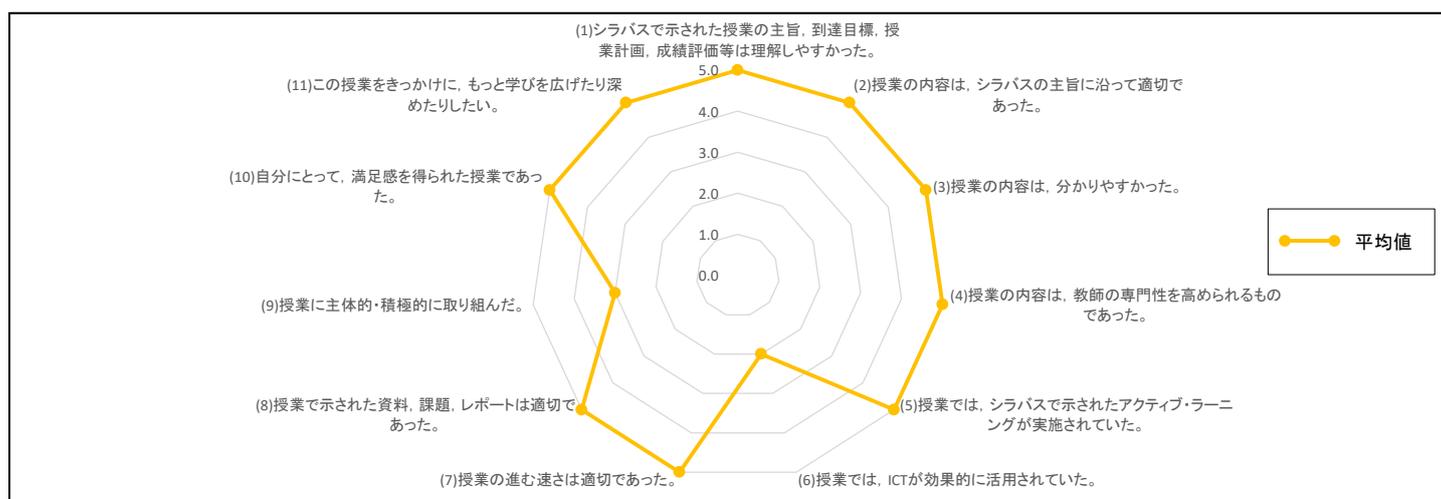
授業評価について、しっかりとしたアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価回答がなく、次年度改善したい。本授業科目は選択の専門科目にもかかわらず、50名を超える大学院生が受講しており、関心のある内容だと考えている。現在の学校教育の状況及びニーズを踏まえ、学校現場で活用できる理論や技法について内容を検討し改善しながら進めたいと考えている。本授業はオムニバスで授業実施しているため、授業方法はワンパターンではないが、より、わかりやすく、関心が高まる授業となるよう、さらなる工夫を行いたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	296	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	いじめ・不登校等事例検討	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（子ども対応力）				
担当教員名	小坂 浩嗣, 池田 誠喜, 岡田 康孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	1	0	2.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	1	0	0	3.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

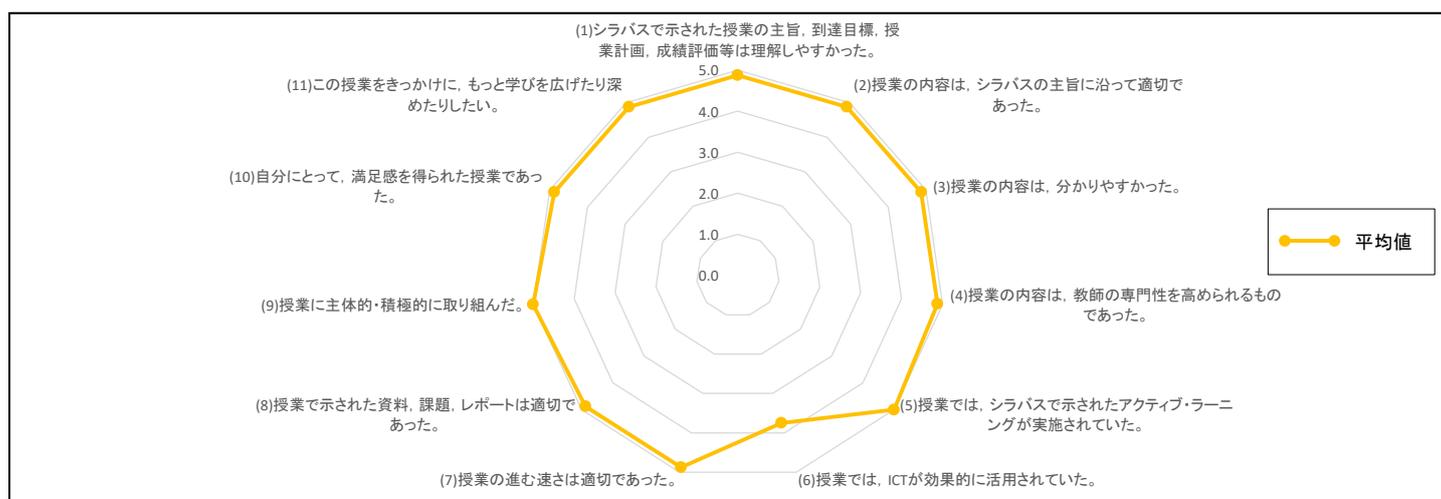
回答を求めた11項目全体の平均は4.8であった。カテゴリー別では、<シラバスの内容>2項目は4.9、<授業内容>3項目は4.9、<AL&ICT>2項目は4.4、<教員の授業の進め方>2項目は4.9、<授業に対する姿勢・満足度・意義>3項目は4.9であった。すべての分析項目において4.4以上の結果を得たことから、総合的に非常に高い評価を得たと考えられる。項目別では全11項目中10項目に4.9以上の高い評価を得た。その理由としては、授業や事例検討の意義を解説したこと、受講生が真摯に事例に臨んだこと、グループ編成を校種混合させたこと、多様な事例に触れ検討できたことが挙げられる。課題に、ICTの活用を挙げたいが事例を扱う授業内容から工夫の余地があり検討したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	297	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	生徒指導事例検討	回答者数	8	人	
授業区分	専門科目（生徒指導力）				
担当教員名	小坂 浩嗣, 池田 誠喜, 岡田 康孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	7	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	7	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	0	5	0	0	3.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	8	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	7	1	0	0	0	4.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	7	1	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

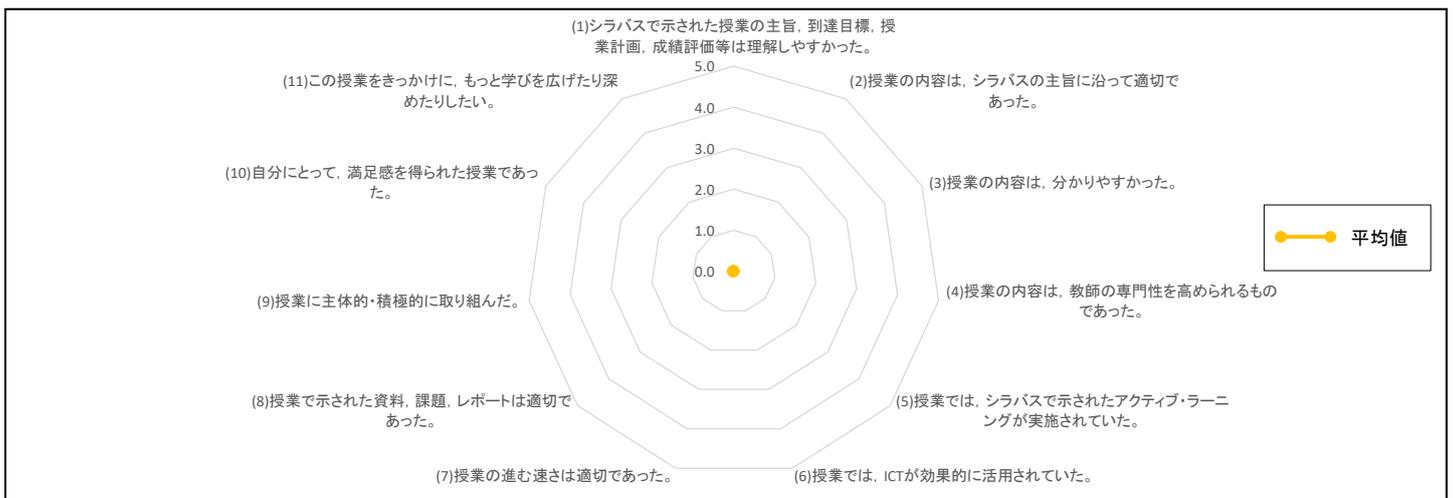
回答を求めた11項目全体の平均は4.8であった。カテゴリー別では、<シラバスの内容>2項目は4.9、<授業内容>3項目は4.9、<AL&ICT>2項目は4.4、<教員の授業の進め方>2項目は4.9、<授業に対する姿勢・満足度・意義>3項目は4.9であった。すべての分析項目において4.4以上の結果を得たことから、総合的に非常に高い評価を得たと考えられる。項目別では全11項目中10項目に4.9以上の高い評価を得た。その理由としては、授業や事例検討の意義を解説したこと、受講生が真摯に事例に臨んだこと、グループ編成を校種混合させたこと、多様な事例に触れ検討できたことが挙げられる。課題に、ICTの活用を挙げたいが事例を扱う授業内容から工夫の余地があり検討したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	298	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	いじめ・不登校等チーム支援とコーディネート	回答者数	0	人	
授業区分	専門科目（子ども対応力）				
担当教員名	池田 誠喜, 岡田 康孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

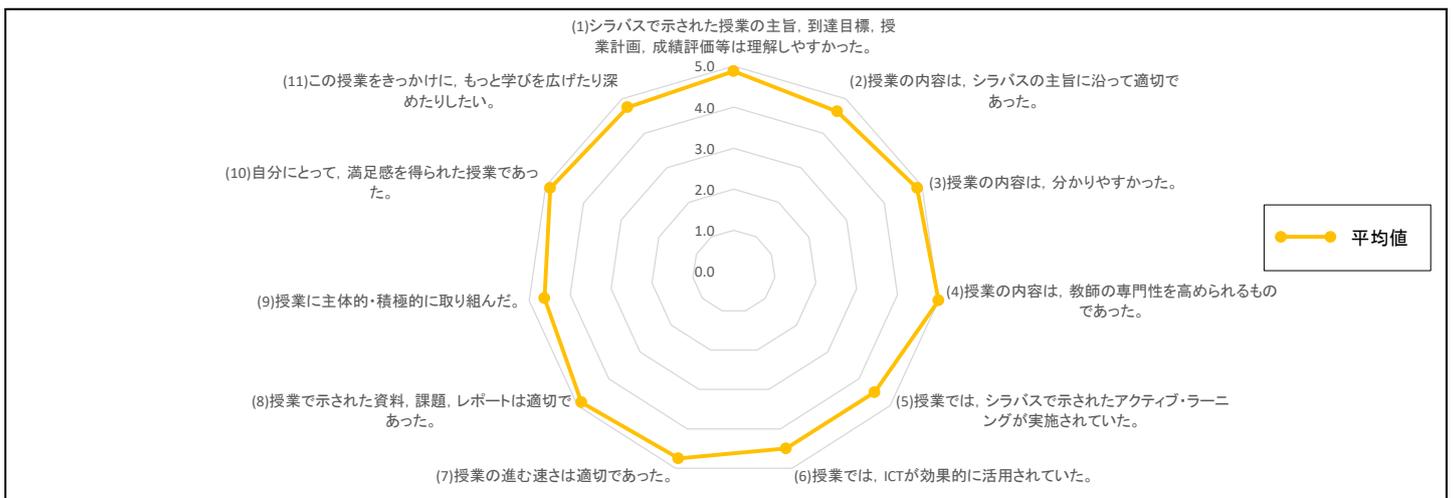
授業評価について、しっかりとしたアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価を実施できず次年度改善したい。本年度も、昨年度に続きコロナ対応で関係機関に訪問して施設を見学することができず授業内容としては不十分であった。受講者もその点について残念に感じていた。関係機関で勤務されている方より、ご講演いただき知見を深める点については達成できたと考えている。引き続き、コロナ対応下での実施の工夫等について検討したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	299	評価実施日	令和4年8月2日		
授業科目名	チーム支援とコーディネート	回答者数	8	人	
授業区分	専門科目（生徒指導力）				
担当教員名	池田 誠喜, 岡田 康孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	5	3	0	0	0	4.6
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	7	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	8	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	4	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	4	0	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	6	2	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	7	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	3	0	0	0	4.6
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	7	1	0	0	0	4.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	2	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

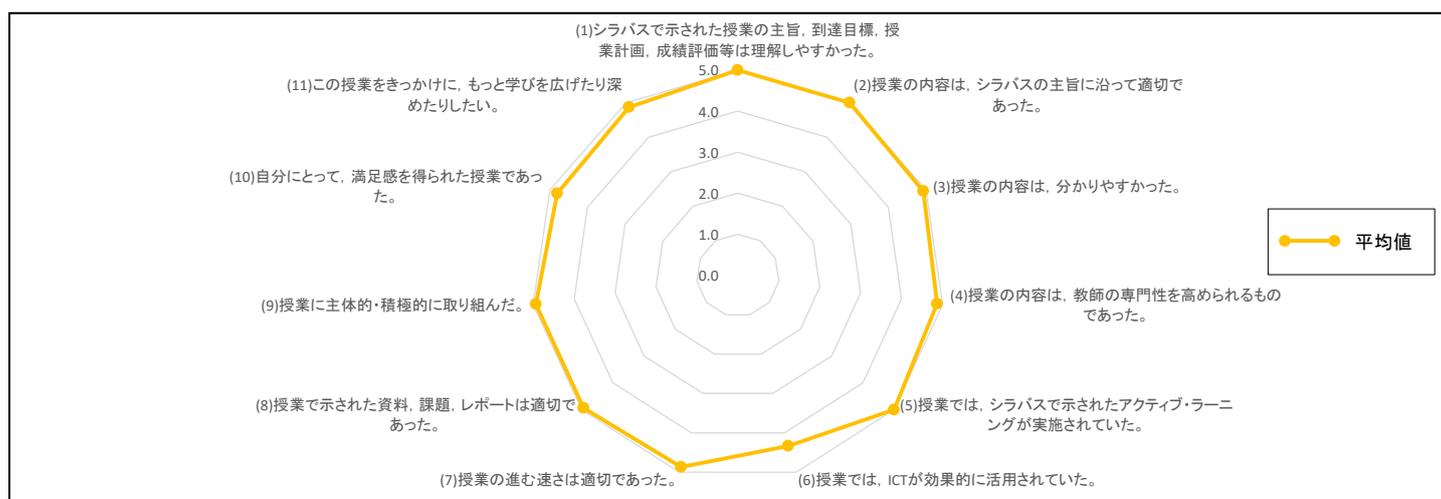
授業評価について、しっかりとしたアナウンスと評価時間の確保が不十分だったため、受講者の評価回答割合が低くなっており、次年度改善したい。回答数が少なかったが、質問項目の平均値が4.5以上で、本授業の目標到達としては、一定の成果があったと考えている。本年度もkボコに対応で関係機関に訪問して施設を見学することができず、授業内容としては不十分であった。受講者もその点について残念に感じていた。関係機関の勤務されている方からそれぞれ講演いただいて、知見を深める点については達成できたと考えている。引き続き、コロナ対応下での実施の工夫等について検討したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	300	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	集団づくりとグループアプローチ	回答者数	15	人	
授業区分	専門科目（生徒指導力）				
担当教員名	小坂 浩嗣, 岡田 康孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	15	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	15	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	14	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	13	2	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	7	6	2	0	0	4.3
(7)授業の進む速さは適切であった。	13	2	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	14	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	14	1	0	0	0	4.9
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	12	3	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	13	2	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

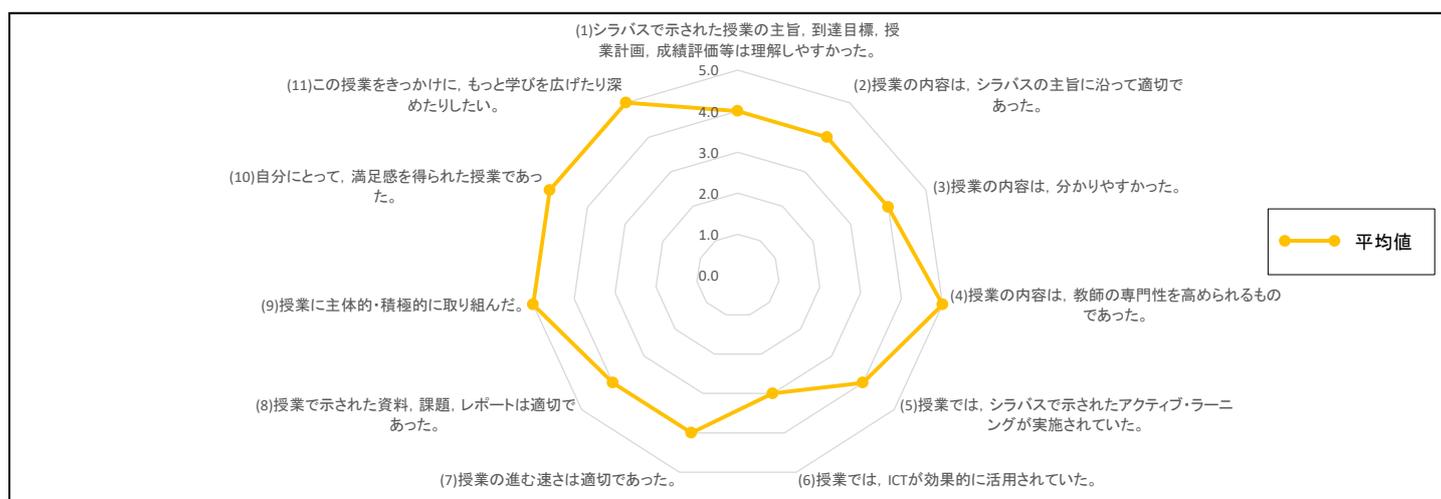
回答を求めた11項目全体の平均は4.8であった。カテゴリー別では、<シラバスの内容>2項目は5.0、<授業の内容>3項目は4.9、<AL&ICT>2項目は4.6、<教員の授業の進め方>2項目は4.9、<授業に対する姿勢・満足・意義>3項目は4.9であった。以上の結果から、授業全体について総合的に非常に高い評価を得たと考えられる。項目別では、<授業の内容>のうち「教師の専門性を高められるものであった」、<授業に対する姿勢・満足度・意義>の3項目に4.9の高い評価を得たことから、受講生が高い関心をもって積極的に授業に臨み、実践力の修得に役立ったと考える。この要因は、受講生を主体にした演習形態であったこと、役立つ具体的内容であったことが自由記述から読み取れた。課題として、グループワークづくりを授業時間内で確保できる工夫を検討したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	301	評価実施日	令和4年10月25日		
授業科目名	道徳教育の理論と実践	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（子ども対応力）				
担当教員名	池田 誠喜, 岡田 康孝, 金野 誠志				

（5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない）

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	1	0	0	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	1	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

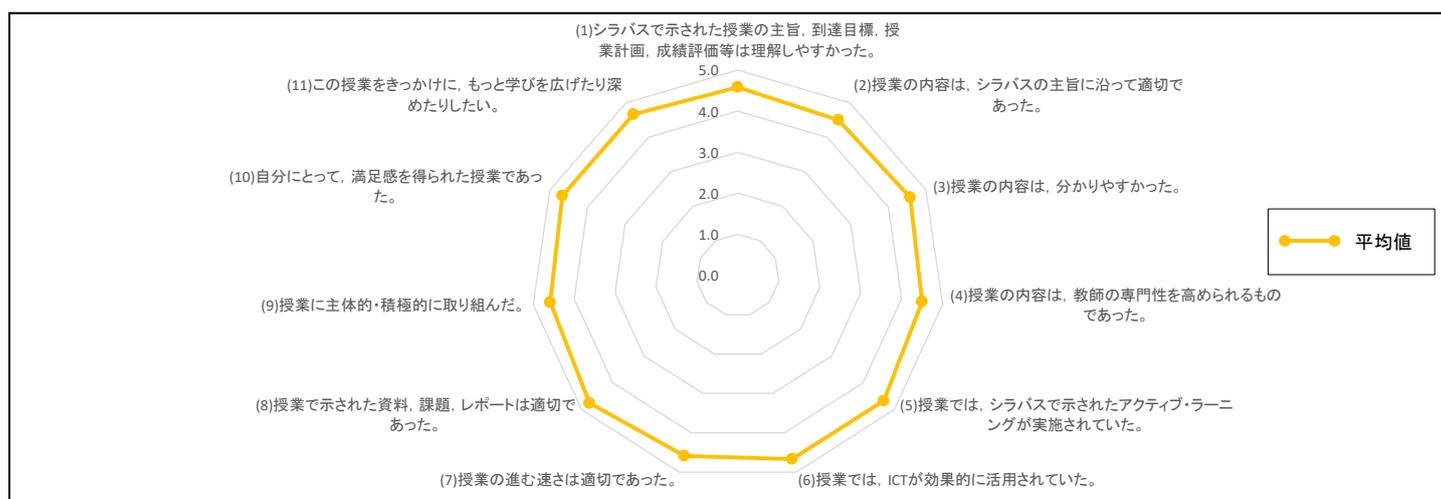
本授業科目は、旧カリキュラムの科目で読み替えである。質問項目の平均値が4.0以上で、本授業の目標到達としては、一定の成果があったと考えている。一方で、どちらとも言えないという評価も見られ、全ての項目において受講生が納得できるような工夫と姿勢について引き続き取り組む必要がある。道徳教育は、授業および学級活動と学校教育全体で取り組む内容になっており、その意味では、道徳の理解と人の生き方にかかわる内容として大学院生が捉える必要があると考えている。本授業は、その点においてまだ不十分な面がある。改めて、それらについて理解を深めることができるよう工夫したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	302	評価実施日	令和4年10月25日		
授業科目名	道徳教育と特別活動の理論と実践	回答者数	12	人	
授業区分	専門科目（生徒指導力）				
担当教員名	池田 誠喜, 岡田 康孝, 金野 誠志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	5	0	0	0	4.6
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	6	6	0	0	0	4.5
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	7	5	0	0	0	4.6
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	6	6	0	0	0	4.5
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	4	0	0	0	4.7
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	8	4	0	0	0	4.7
(7)授業の進む速さは適切であった。	8	3	1	0	0	4.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	9	3	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	8	3	1	0	0	4.6
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	9	2	1	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	8	4	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

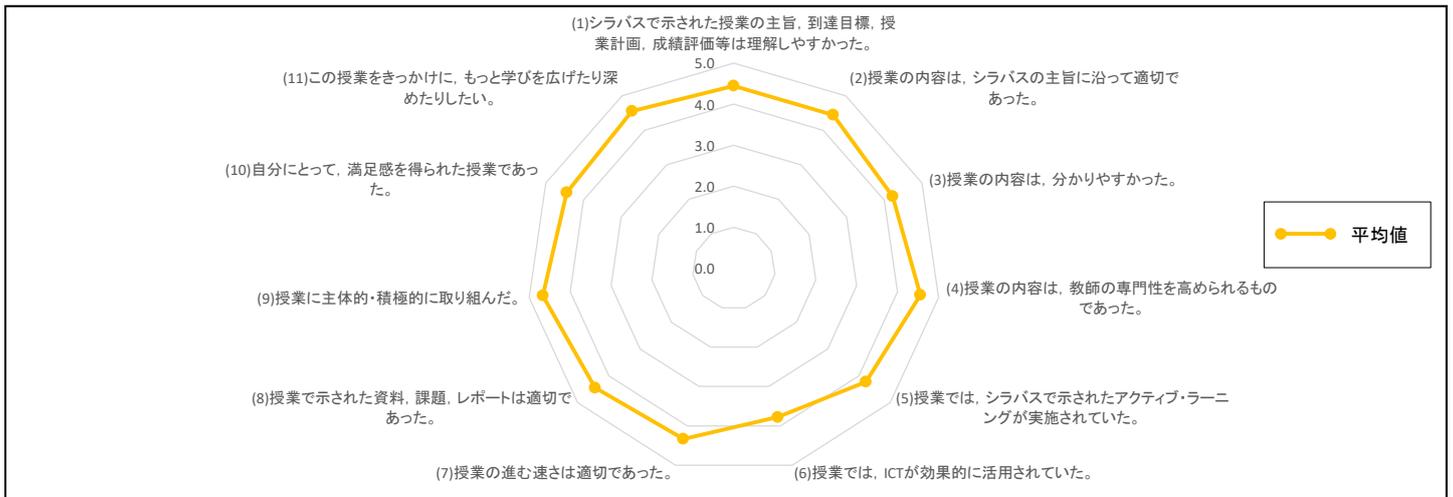
質問項目の平均値が4.5以上で、本授業の目標到達としては、一定の成果があったと考えている。一方で、どちらとも言えないという評価も若干見られ、全ての項目において受講生が納得できるような工夫と姿勢について引き続き取り組む必要がある。道徳教育と特別活動は、授業および学級活動と学校教育全体で取り組む内容になっており、その意味では、道徳・特別活動それぞれの理解と道徳と特別活動を関連させた理解、さらに、人の生き方にかかわる内容として大学院生が捉える必要があると考えている。本授業は、その点においてまだ不十分な面がある。改めて、それらについて理解を深めることができるよう工夫したい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	303	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	教育評価の実際と事例分析		回答者数	9	人
授業区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	皆川 直凡, 西村 公孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	5	3	1	0	0	4.4
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	5	0	0	0	4.4
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	5	1	0	0	4.2
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	4	0	0	0	4.6
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	7	0	0	0	4.2
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	3	2	3	1	0	3.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	6	0	0	0	4.3
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	5	0	0	0	4.4
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	6	3	0	0	0	4.7
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	5	0	0	0	4.4
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	4	0	0	0	4.6



<教員のコメント>

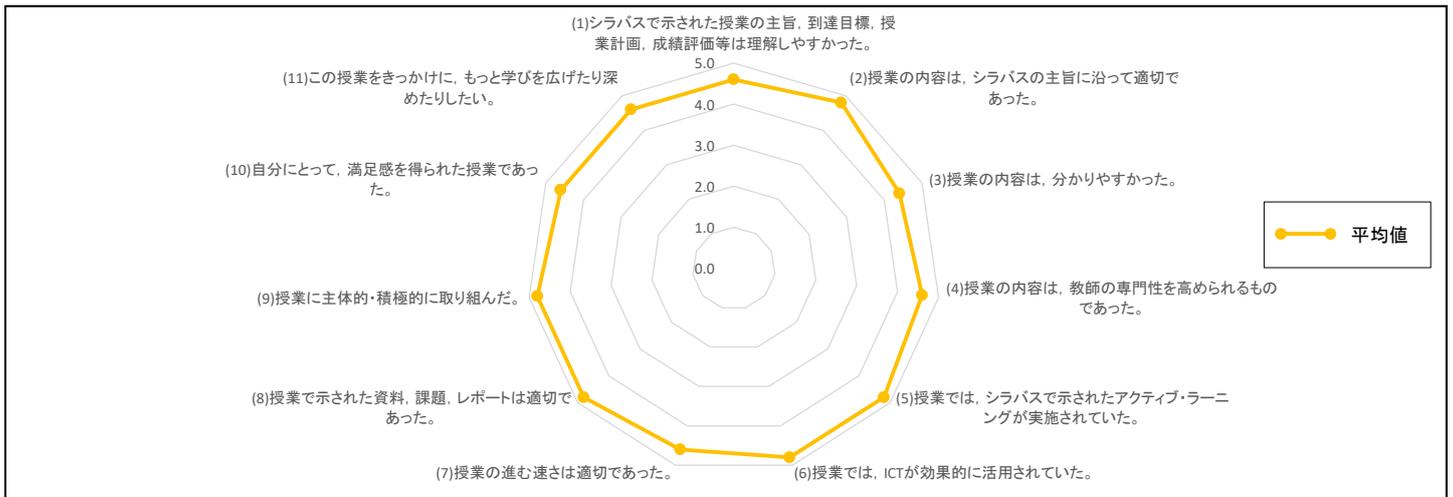
本授業は, 教師の専門性を高め, 主体的・積極的な取り組みを促し, 学びを広げたり深めたりするきっかけとなる内容であったと考えられる。一方, 内容のわかりやすさや進む速さ, アクティブ・ラーニングの実施という点においては改善の余地がある。ICTの効果的活用については, たしかに課題を残した。本評価結果を踏まえ, 授業改善に取り組む所存である。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	304	評価実施日	令和4年8月3日		
授業科目名	学校教育におけるICT活用と情報デザイン	回答者数	5	人	
授業区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	藤原 伸彦, 泰山 裕				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	3	2	0	0	0	4.6
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	3	1	1	0	0	4.4
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	2	0	0	0	4.6
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	1	0	0	0	4.8
(7)授業の進む速さは適切であった。	3	2	0	0	0	4.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	3	2	0	0	0	4.6
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	3	2	0	0	0	4.6



<教員のコメント>

—

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	305	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	総合的な学習の時間のカリキュラム開発	回答者数	0	人	
区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	村川 雅弘				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

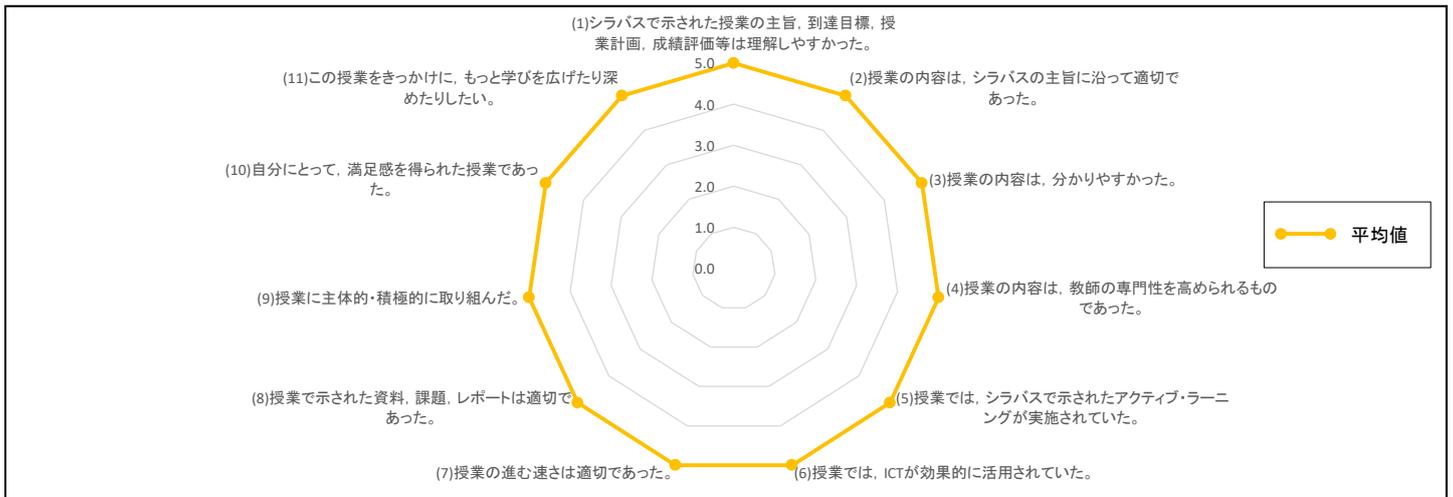
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	306	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	総合的な学習の時間のカリキュラム開発	回答者数	2	人	
授業区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	村川 雅弘				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	0	0	0	0	5.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

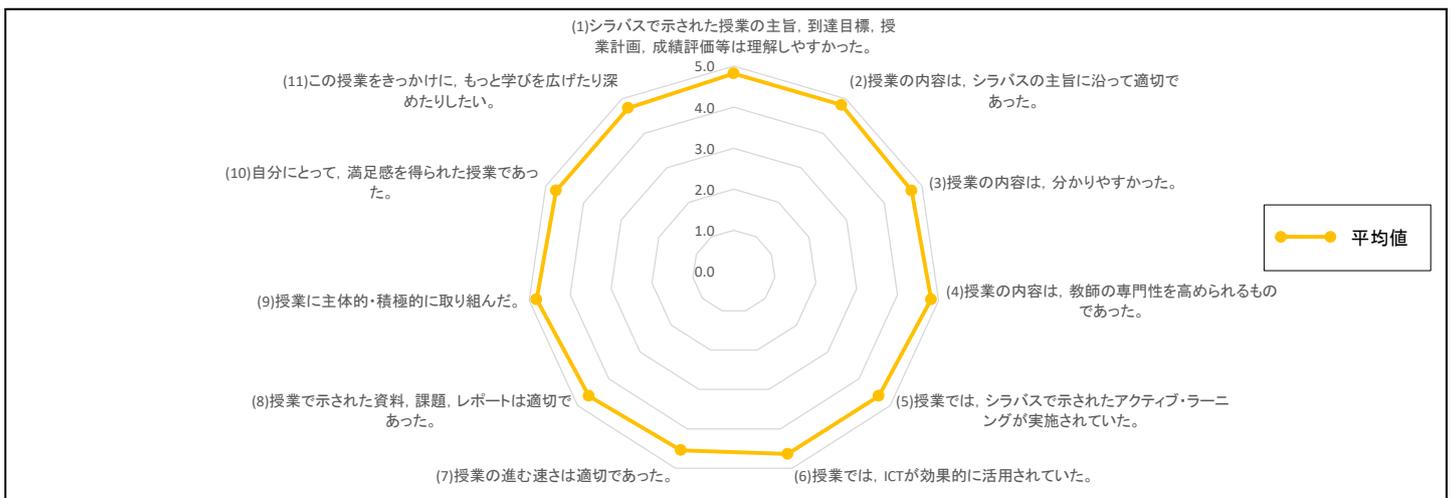
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	307	評価実施日	令和4年10月27日		
授業科目名	校種間連携に視座した教材・教具の開発演習			回答者数	11人
授業区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	泰山 裕, 西村 公孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	9	2	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	9	2	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	8	3	0	0	0	4.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	9	2	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	0	0	0	4.6
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	7	4	0	0	0	4.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	7	3	1	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	7	4	0	0	0	4.6
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	8	3	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	8	3	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

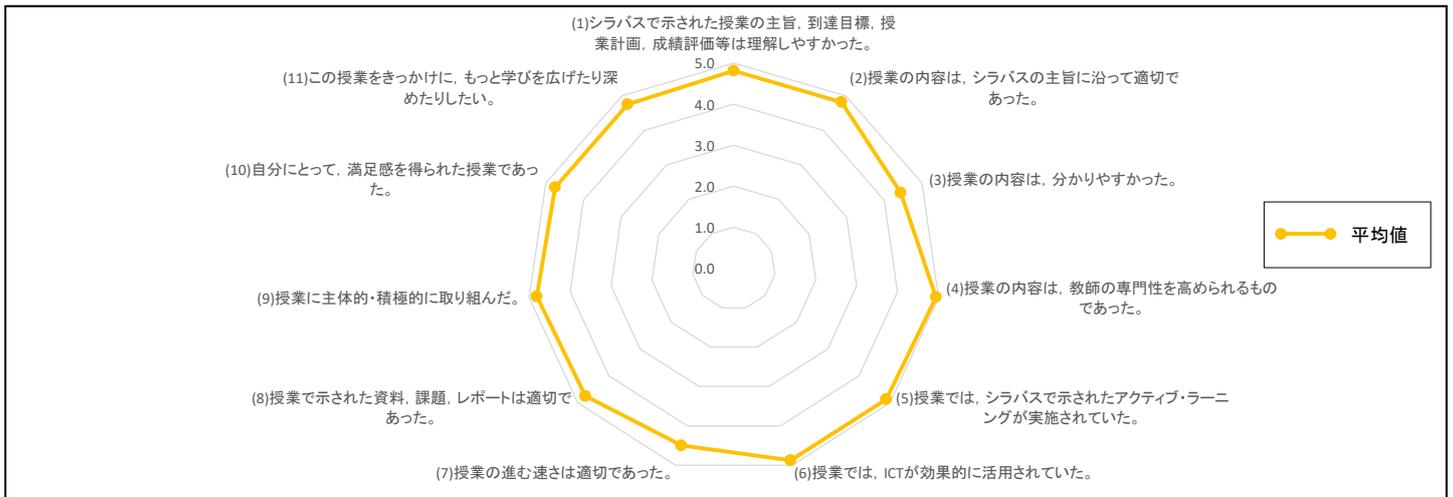
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	308	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	学習者の心理とアクティブラーニング			回答者数	16人
授業区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	泰山 裕, 皆川 直凡				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	13	3	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	13	3	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	9	5	2	0	0	4.4
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	15	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	0	1	0	0	4.9
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	14	2	0	0	0	4.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	9	6	1	0	0	4.5
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	12	4	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	13	3	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	12	4	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	12	4	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

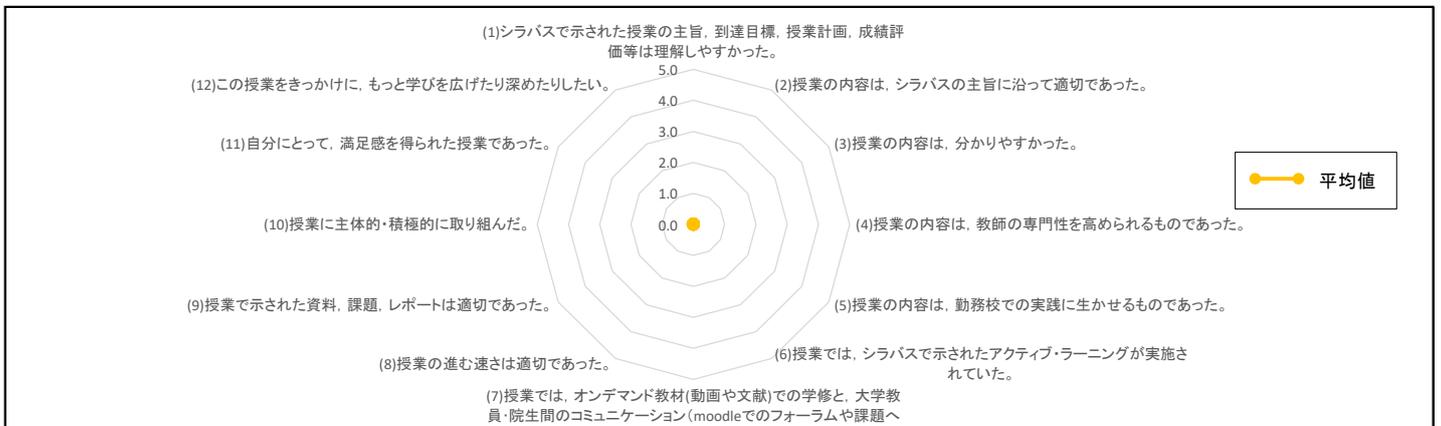
—

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	309	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	ワークショップ型研修の技法	回答者数	0	人	
区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	村川 雅弘				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション(moodleでのフォーラムや課題へのコメント、メールなど文字による通信を含む)を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

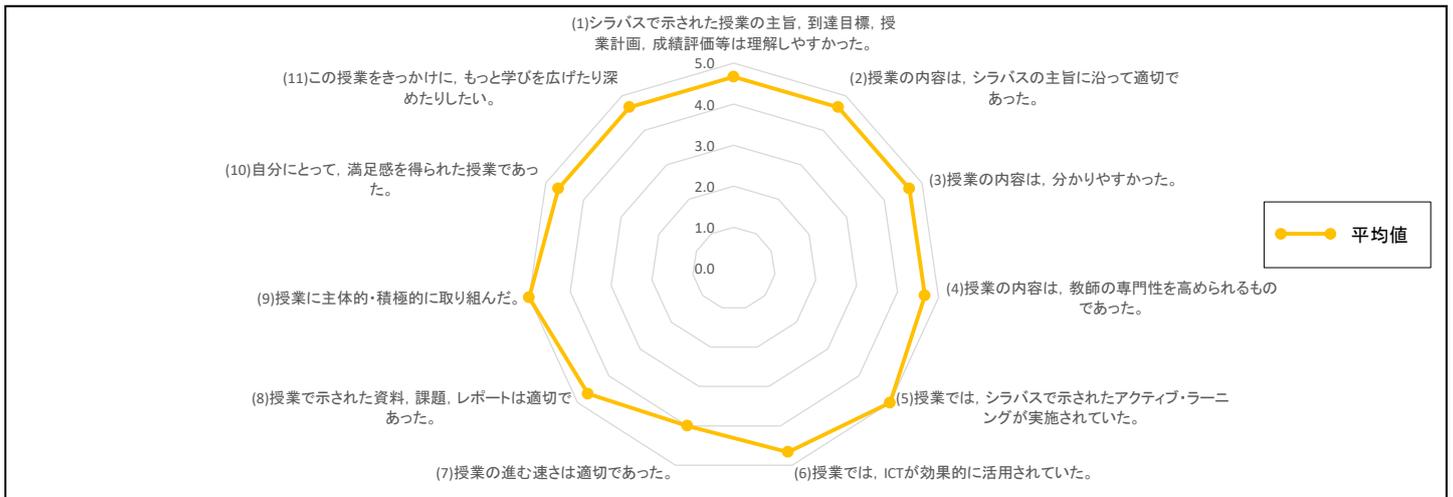
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	310	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	ワークショップ型研修の技法	回答者数	3	人	
授業区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	村川 雅弘				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	1	0	0	0	4.7
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	2	1	0	0	0	4.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	2	1	0	0	0	4.7
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	3	0	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	2	1	0	0	0	4.7
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	1	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	1	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

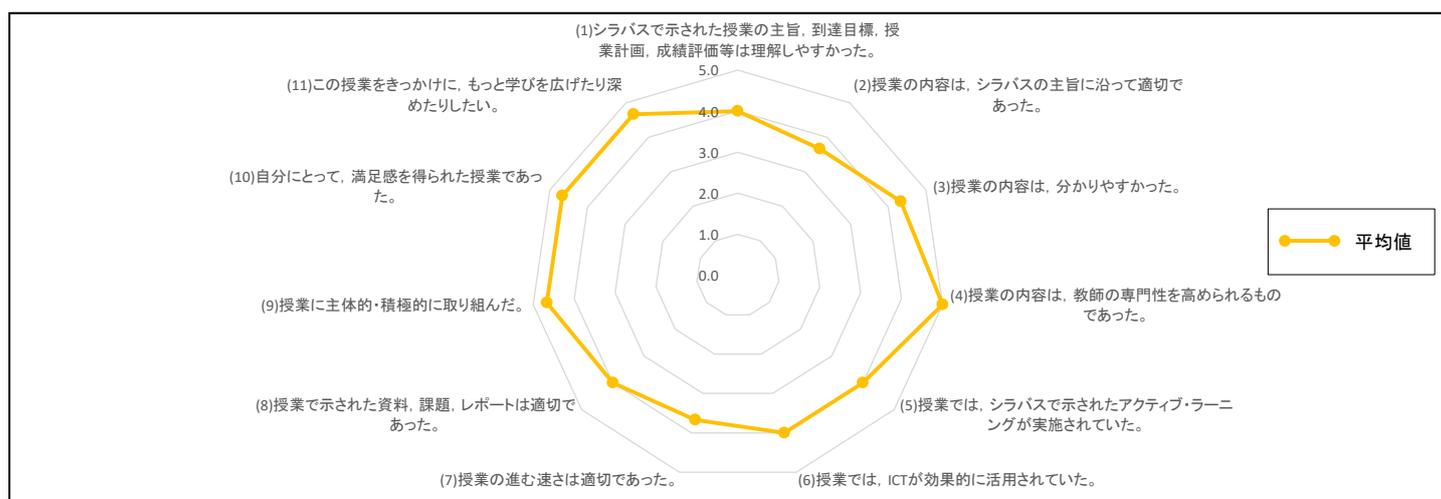
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	311	評価実施日	令和5年2月15日		
授業科目名	1人1台タブレット時代の授業改善・教育改善		回答者数	3	人
授業区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	藤村 裕一, 竹口 幸志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	1	1	0	0	4.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	2	1	0	0	3.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	2	0	1	0	0	4.3
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	3	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	1	0	0	4.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	1	1	1	0	0	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	2	1	0	0	3.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	1	1	0	0	4.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	2	1	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	2	1	0	0	0	4.7



<教員のコメント>

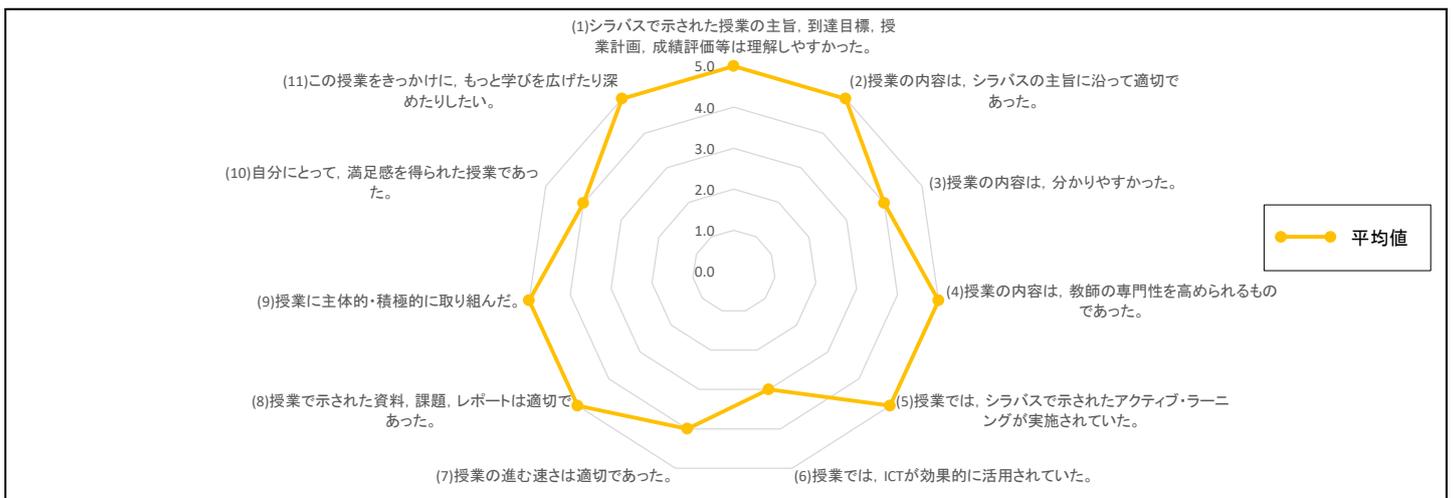
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	312	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教科・研究主任の力量形成	回答者数	1	人	
授業区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	皆川 直凡, 西村 公孝, 泰山 裕				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	1	0	0	0	0	5.0
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	1	0	0	0	4.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	1	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	0	0	1	0	0	3.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	0	1	0	0	0	4.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	1	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	1	0	0	0	4.0
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	1	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

評価者の回答からは, ICTの効果的活用を除く項目で, 満足感を得られたことがうかがえる。自由記述のコメントも本授業の特徴をよく捉え, 改善の方向性を指し示す内容であったと考えられる。ICTの効果的活用については, たしかに課題を残した。本評価結果を踏まえ, 授業改善に取り組む所存である。回答率を上げる努力も必要であると考え。

大学院（専門職学位課程・遠隔）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	313	評価実施日	令和4年8月4日		
授業科目名	教科・研究主任の力量形成	回答者数	0	人	
区分	専門科目（学習指導改善力）				
担当教員名	西村 公孝, 皆川 直凡, 泰山 裕				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	0	0	0	0	0	—
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	0	0	0	0	0	—
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	0	0	0	0	0	—
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	0	0	0	0	0	—
(5)授業の内容は, 勤務校での実践に生かせるものであった。	0	0	0	0	0	—
(6)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
(7)授業では, オンデマンド教材(動画や文献)での学修と, 大学教員・院生間のコミュニケーション (moodleでのフォーラムや課題へのコメント, メールなど文字による通信を含む) を通じた学修が適切に組み合わせられていた。	0	0	0	0	0	—
(8)授業の進む速さは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(9)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	0	0	0	0	0	—
(10)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
(11)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	0	0	0	0	0	—
(12)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	0	0	0	0	0	—



<教員のコメント>

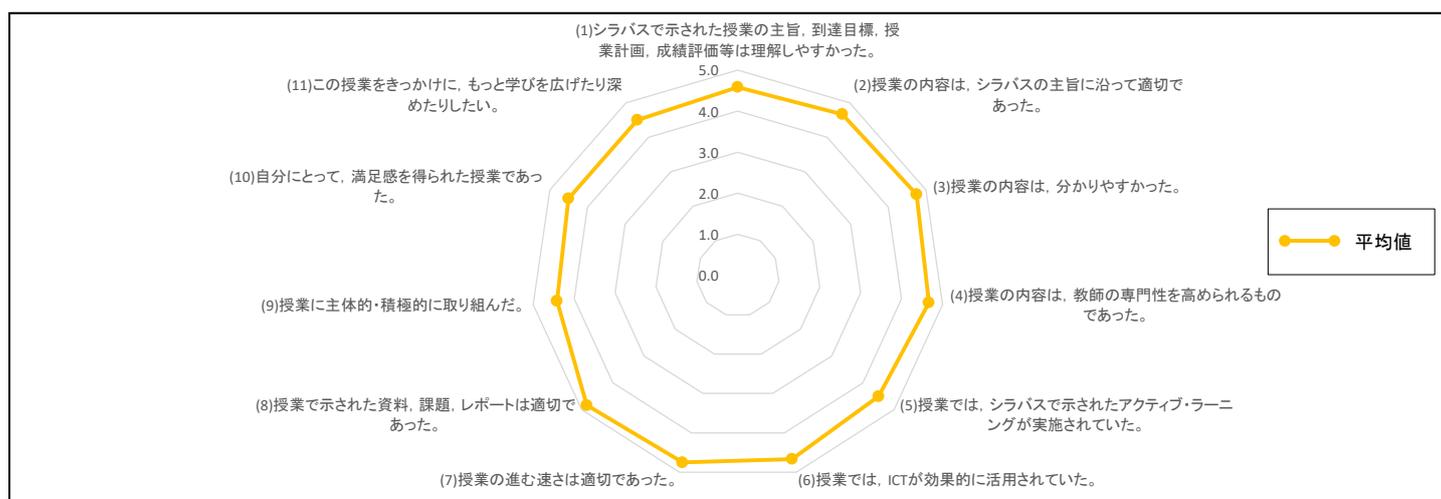
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	314	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	学習指導要領と教育課程 A	回答者数	12	人	
授業区分	専門科目（教職実践力）				
担当教員名	藤原 伸彦, 北濱 亮				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	7	5	0	0	0	4.6
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	8	4	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	9	3	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	8	4	0	0	0	4.7
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	6	0	0	0	4.5
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	8	4	0	0	0	4.7
(7)授業の進む速さは適切であった。	9	3	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	10	2	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	3	2	0	0	4.4
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	6	6	0	0	0	4.5
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	6	6	0	0	0	4.5



<教員のコメント>

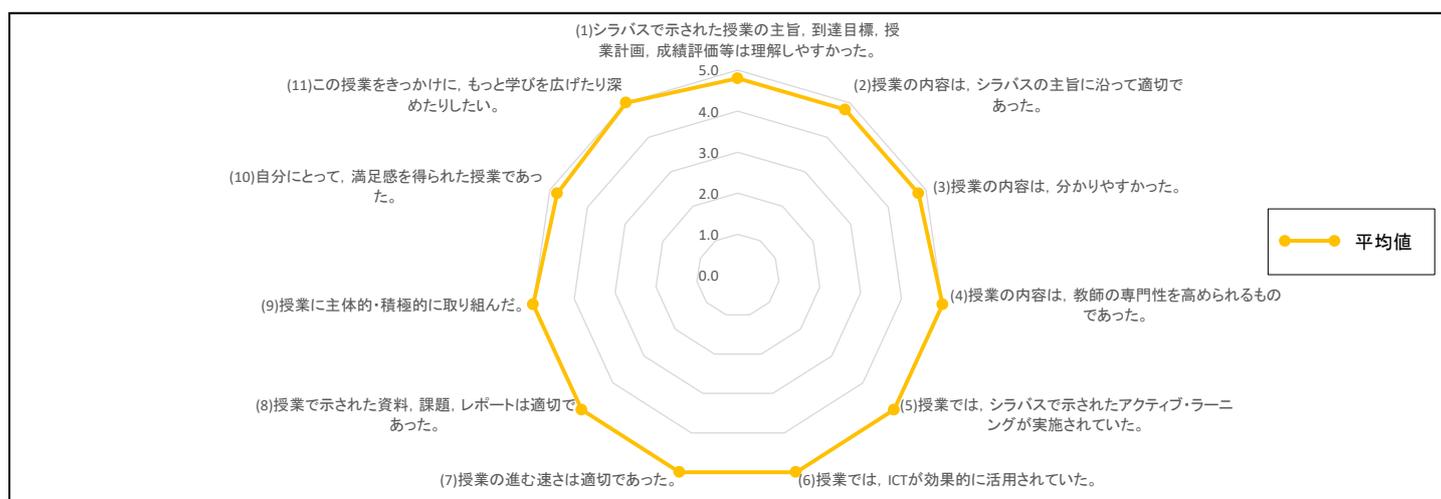
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	315	評価実施日	令和4年10月25日		
授業科目名	学習指導要領と教育課程B	回答者数	5	人	
授業区分	専門科目（教職実践力）				
担当教員名	藤原 伸彦, 北濱 亮				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	1	0	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	4	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	0	0	0	0	5.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	1	0	0	0	4.8
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

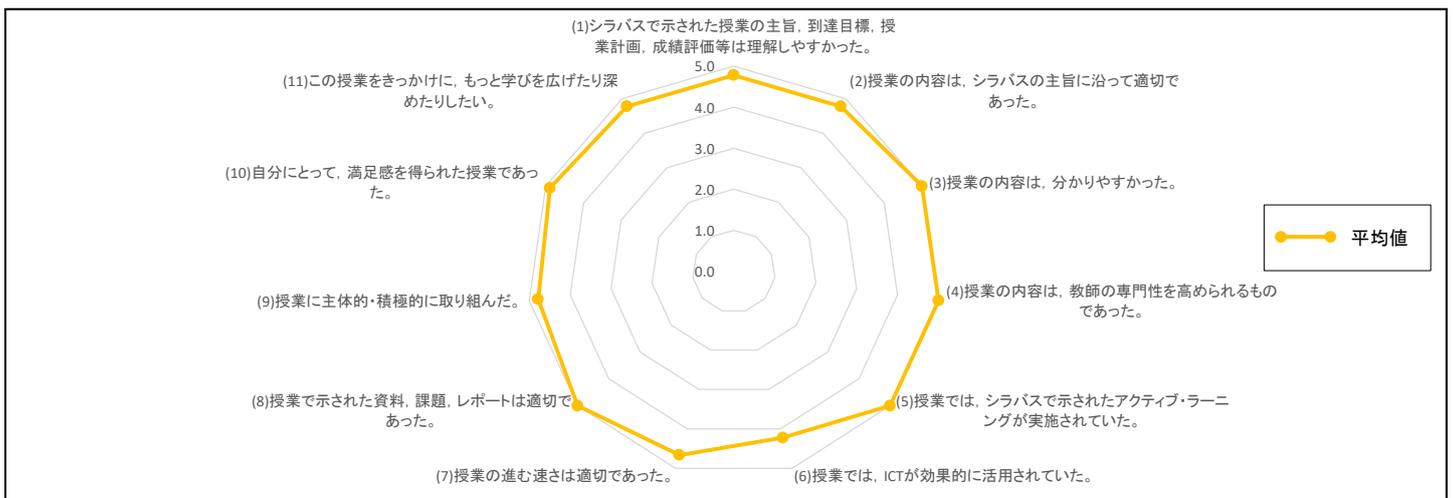
—

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	316	評価実施日	令和4年6月6日		
授業科目名	教育実践の事例研究 A	回答者数	9	人	
授業区分	専門科目（教職実践力）				
担当教員名	木下 光二, 川上 綾子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	8	0	1	0	0	4.8
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	8	0	1	0	0	4.8
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	9	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	9	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	5	1	3	0	0	4.2
(7)授業の進む速さは適切であった。	7	1	1	0	0	4.7
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	8	1	0	0	0	4.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	7	2	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

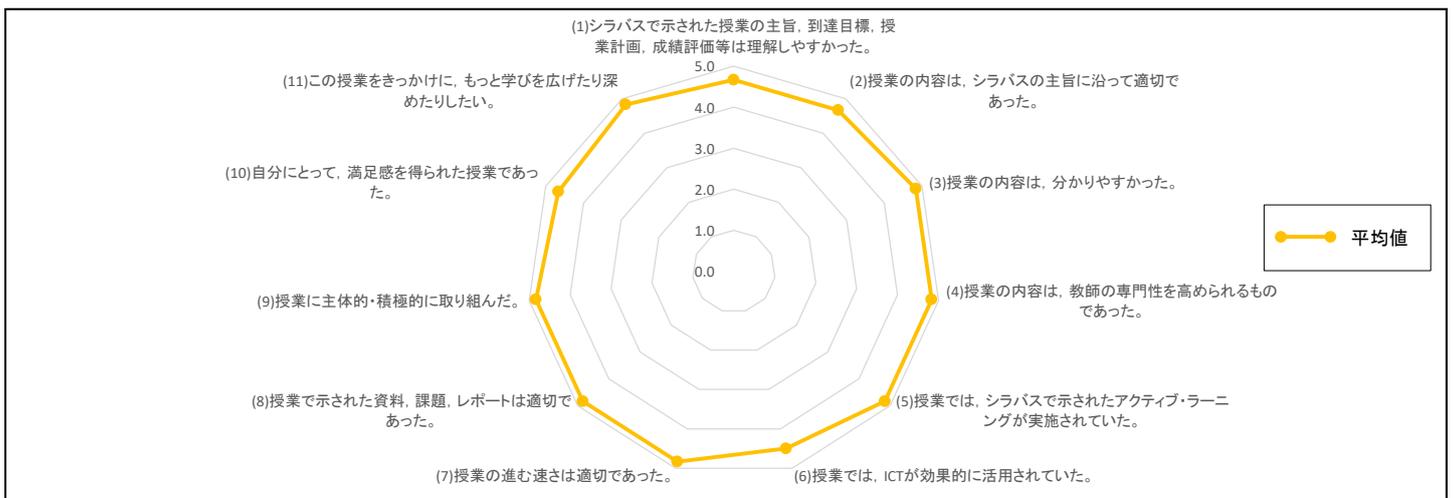
本授業は、実際に附属学校を訪問し、子どもの姿から学ぶことをコンセプトにしている。コロナ禍にも関わらず、殆どの質問項目において平均値が4.7以上という評価になっていることから、概ねその目的は達成されたと考える。中でも質問項目3、4、5、8においては全員が5の評価をし、質問項目1、2、10においても、9名中8名が5の評価をしていることから学生にとっても満足できる内容であったことが窺える。幼小間の接続が重要視されている今日、小学校教員志望の学生にとって、附属幼稚園を訪問し、保育実践や幼児期の子どもの姿から学ぶことは今後の貴重な経験となろう。また、自由記述においても、「実際に観察実習で現場を見学できたことが貴重だった。」「学びを深めることができました。」という評価が得られたことから、学生にとって満足できる授業であったことが窺える。次年度も継続して学校現場との連携を図り、有意義な授業となるよう努めたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	317	評価実施日	令和4年10月31日		
授業科目名	教育実践の事例研究 B	回答者数	6	人	
授業区分	専門科目（教職実践力）				
担当教員名	木下 光二, 川上 綾子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	4	2	0	0	0	4.7
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	4	2	0	0	0	4.7
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	5	1	0	0	0	4.8
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	5	1	0	0	0	4.8
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	1	1	0	0	4.5
(7)授業の進む速さは適切であった。	5	1	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	5	1	0	0	0	4.8
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	4	2	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	5	1	0	0	0	4.8



<教員のコメント>

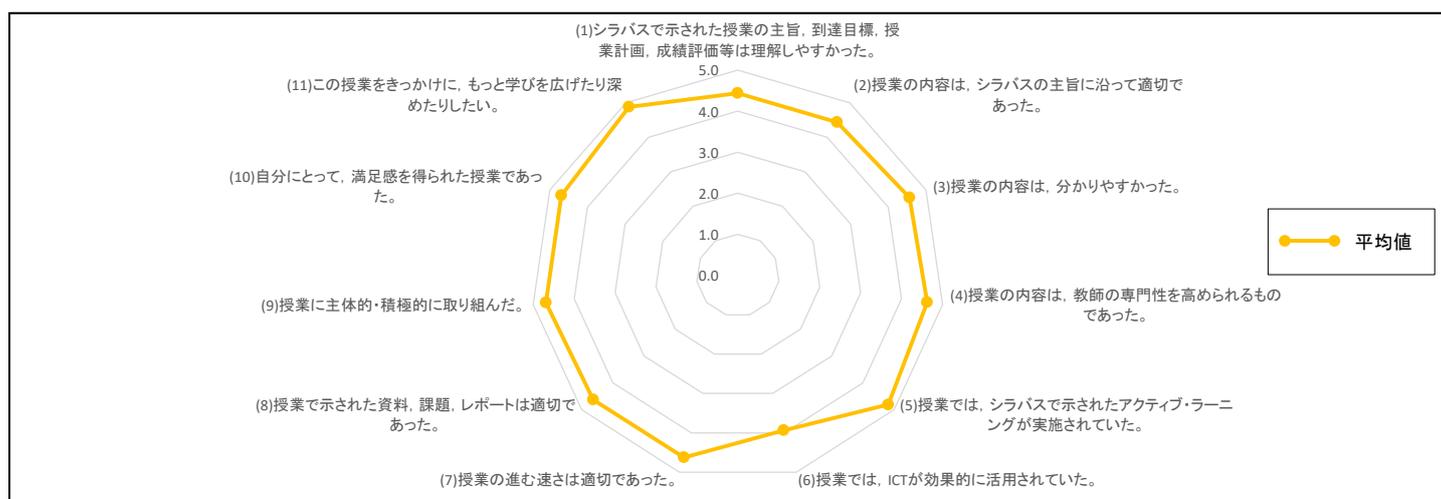
本授業は、教育実践の事例研究 A と同様に、実際に附属学校を訪問し、子どもの姿から学ぶことをコンセプトにしている。コロナ禍にも関わらず、殆どの質問項目において平均値が 4.7 以上という評価になっていることから、概ねその目的は達成されたと考えられる。中でも質問項目 3、4、7、5、7、8、11 において 6 名中 5 名が 5 の評価をしていることから学生にとっても満足できる内容であったことが窺える。また、自由記述においても、「附属幼稚園や小学校へ行って、貴重な経験をすることができた。」「実際に現場の様子を見学し、先生の話聞くことができた点。」という評価が見られたことから、学生にとって満足できる授業であったことが窺える。次年度も継続して学校現場との連携を図り、有意義な授業となるよう努めたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	318	評価実施日	令和4年6月3日		
授業科目名	生徒指導実践演習 A	回答者数	16	人	
授業区分	専門科目（教職実践力）				
担当教員名	葛上 秀文				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	8	7	1	0	0	4.4
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	8	7	1	0	0	4.4
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	10	5	1	0	0	4.6
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	11	4	1	0	0	4.6
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	3	0	0	0	4.8
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	6	3	7	0	0	3.9
(7)授業の進む速さは適切であった。	10	6	0	0	0	4.6
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	10	6	0	0	0	4.6
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	5	0	0	0	4.7
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	11	5	0	0	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	14	2	0	0	0	4.9



<教員のコメント>

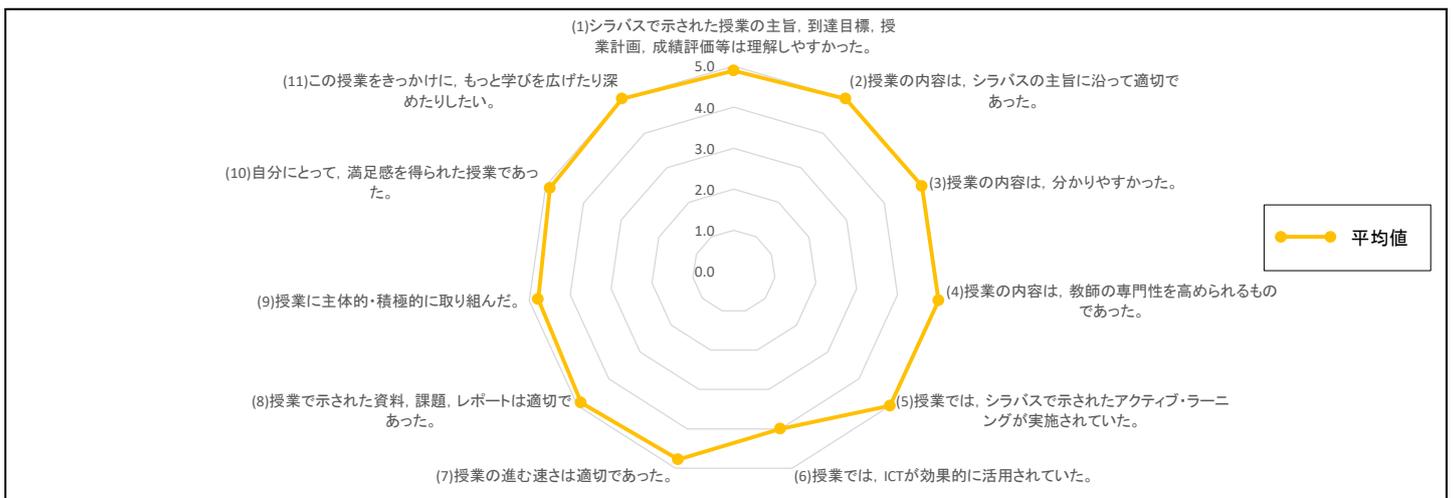
全般的に高い評価が得られた。特に、(11) この授業をきっかけに、もっと学びを広げたり深めたりしたい。という項目に4.9と高い評価があった。授業で終わるのではなく、これからの実戦を経験する中で、学び続ける基盤となり得たことは、授業の本当のねらいとなる。一方、ICTについては、評価が低かった。授業内容からいって、活用する場面が少なく、致し方ない点もある。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	319	評価実施日	令和5年2月15日		
授業科目名	生徒指導実践演習B	回答者数	9	人	
授業区分	専門科目（教職実践力）				
担当教員名	葛上 秀文				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	8	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	9	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	9	0	0	0	0	5.0
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	9	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	0	0	0	0	5.0
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	4	3	1	0	1	4.0
(7)授業の進む速さは適切であった。	7	2	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	8	1	0	0	0	4.9
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	4.8
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	8	1	0	0	0	4.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	9	0	0	0	0	5.0



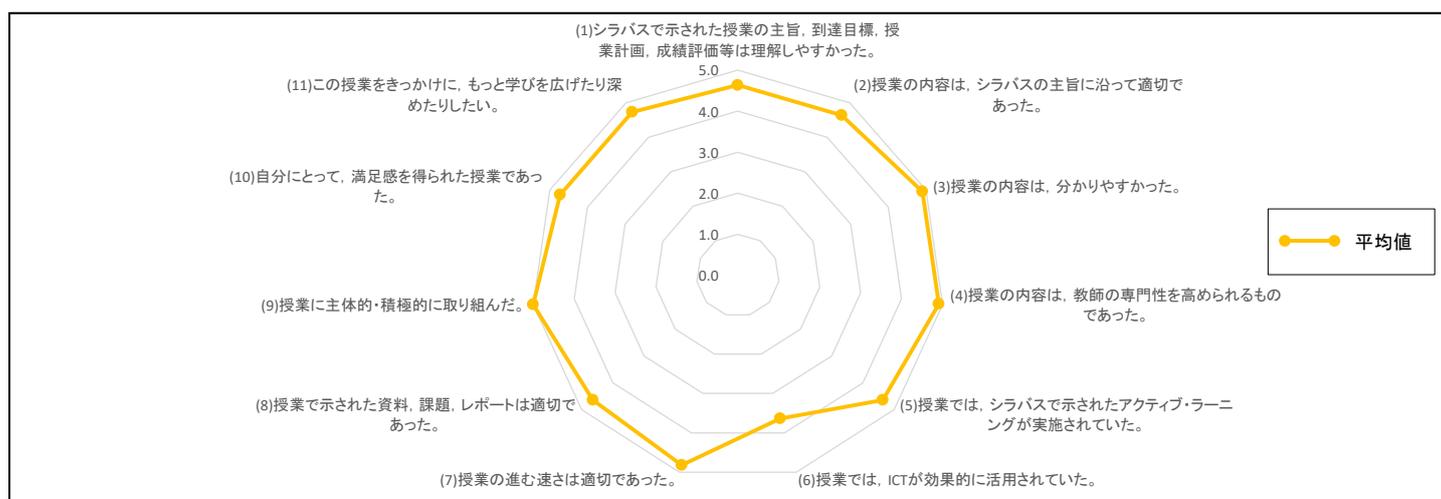
<教員のコメント>
 全体的に高い評価が得られた。実習で経験した事例を、院生同士で協議するスタイルとしたが、今後、教師となった際にも活用できるスタイルを意識したもので、自由記述を見ても、その点についての評価があった。ICTについては、実際に活用するケースが少なく、次年度はペーパーレスとして、議論できるスタイルを取り入れたい。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	320	評価実施日	令和4年6月3日		
授業科目名	学級経営実践演習 A	回答者数	11	人	
授業区分	専門科目（教職実践力）				
担当教員名	江川 克弘, 金森 三枝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	8	2	1	0	0	4.6
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	8	2	1	0	0	4.6
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	10	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	10	1	0	0	0	4.9
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	0	2	0	0	4.6
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	6	1	0	2	2	3.6
(7)授業の進む速さは適切であった。	9	2	0	0	0	4.8
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	9	1	0	1	0	4.6
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	11	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	10	0	0	1	0	4.7
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	10	0	0	1	0	4.7



<教員のコメント>

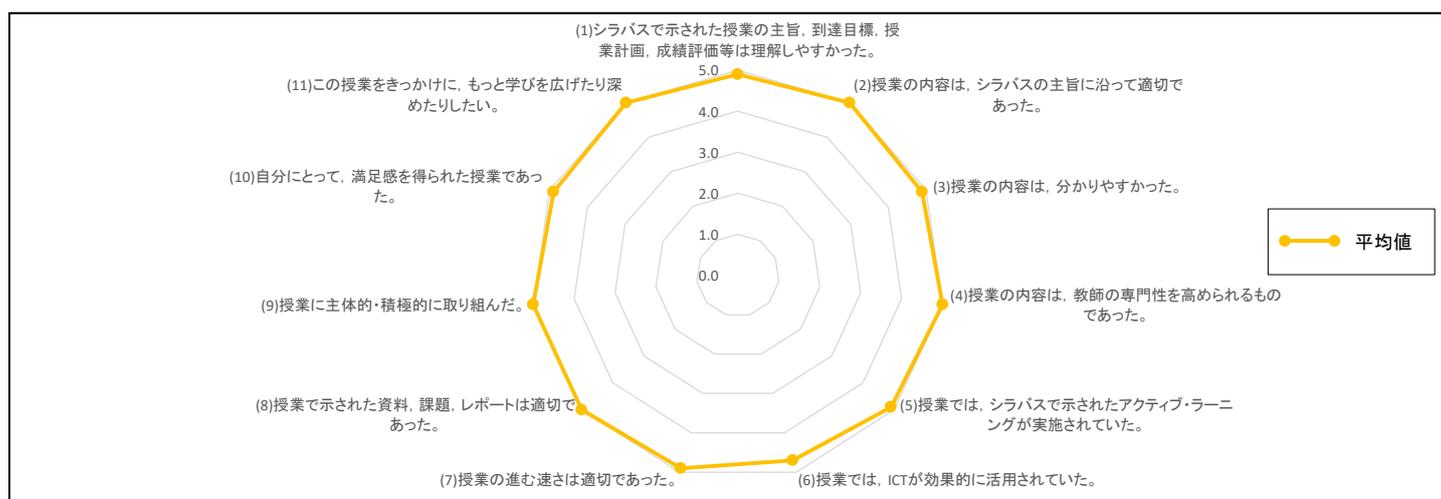
本授業は総体的に高い評価を得ていると考えられる。特に「(9) 授業に主体的・積極的に取り組んだ」においては評価の平均値が5.0（最高値）であり、授業の内容が学生たちにとって興味・関心のあるものであったことが伺える。しかし、「(6) 授業ではICTが効果的にかつようされていた」においては評価の平均値が3.6となっており、他の項目に比べて格段に低い。本授業において、グループで仮定の学級を想定し、目指す学級像と、それを達成するための具体的方策を話し合って決め、それを発表するという主要な学習活動があった。その際、紙媒体によるレジュメで発表を行うようにしていた。この発表時にICTを用いて発表を行わせ、各グループの発表データを共有させるなどの工夫があれば、授業内で効果的であるだけでなく自身の学びを整理してポートフォリオにする際も有用であったのではないかと考える。次年度は気をつけて実施すべきであると考えます。

大学院（専門職学位課程・通学）授業評価アンケート調査結果の集計分析

No.	321	評価実施日	令和5年2月10日		
授業科目名	学級経営実践演習B	回答者数	10	人	
授業区分	専門科目（教職実践力）				
担当教員名	江川 克弘, 金森 三枝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:ややそう思わない, 1:そう思わない)

質問項目	評価選択人数					平均値
	5	4	3	2	1	
(1)シラバスで示された授業の主旨, 到達目標, 授業計画, 成績評価等は理解しやすかった。	9	1	0	0	0	4.9
(2)授業の内容は, シラバスの主旨に沿って適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
(3)授業の内容は, 分かりやすかった。	9	1	0	0	0	4.9
(4)授業の内容は, 教師の専門性を高められるものであった。	10	0	0	0	0	5.0
(5)授業では, シラバスで示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	4.9
(6)授業では, ICTが効果的に活用されていた。	8	1	1	0	0	4.7
(7)授業の進む速さは適切であった。	9	1	0	0	0	4.9
(8)授業で示された資料, 課題, レポートは適切であった。	10	0	0	0	0	5.0
(9)授業に主体的・積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	5.0
(10)自分にとって, 満足感を得られた授業であった。	9	1	0	0	0	4.9
(11)この授業をきっかけに, もっと学びを広げたり深めたりしたい。	10	0	0	0	0	5.0



<教員のコメント>

全評価項目において平均値が4.7以上であり、本授業は総じて高い評価を得ていると言える。特に「(4) 授業の内容は、教師の専門性を高められるものであった」や「(11) この授業をきっかけに、もっと学びを広げたり深めたりしたい」では評価の平均値が5.0（最高値）であり、教職を志す学生にとって本授業は有用であり、かつ学び続ける教師としての素養も醸成できたと考えられる。本授業では、個人で自分の理想とする学級像とそれを達成するための具体的方策を詳細に考えて発表を行うという学習活動が主である。個人発表ではあるものの、それらを考える際にはグループで相談やディスカッションを行ったり担当教員から支援・助言を受けたりする。そのため、自身の考えが深まったり様々な視点に気づけたりしたと考えられる。このような授業の進め方であったので上記のような高評価であったと考えられる。次年度も同様に実施することが適切であると考えられる。

学校教育教員養成課程

高等教育機関である大学において、その教育の質を向上させることは重要な責務である。その教育の重要な部分を担っているのが他ならぬ授業である。つまり、授業の検証、省察、改善を不断に行っていくことによって、教育の質の向上を図って行かなければならないということである。

その際の貴重な資料となるものが、学生による授業評価アンケートである。本学では受講生が3人以下の授業科目や、実地教育専門部会が別にアンケートを実施する実地教育科目、卒業研究を除き、開講する全ての授業科目において学生の授業評価アンケートを実施している。

本学学士課程は、これまで豊かな教養と人間性、教育・教科等に関する専門的知識の上に立った確かな教育実践力が習得できるように教員養成コア・カリキュラムを編成してきた。しかし今日的な課題に対応できる教員を養成すべく、令和5年度入学生より現代的教育課題をコアにした新たなカリキュラムに基づく授業科目が開始される。いわゆる過渡期に入るのである。そのため、本年度が従来の教育実践力の習得を目指したコア・カリキュラムに基づく授業科目の総括となるとも言える。

また、近年はMoodle、Teams、Zoom等のオンラインを併用した授業が行われるなどの授業形態も多様化しており、こうした授業等が、学生の学びにとって有効に働いているのか等についても検証し、不断に改善を行って行かなければならない。さらに、アクティブラーニングに基づく学生の主体的な学びについても検証し、改善を図る必要がある。

そして、授業評価アンケートに基づく一つ一つの授業科目の検証と改善はもとより、その成果を2023（令和5）年度より開講予定である新規科目へとつなげていくことが期待される。

教員の方々が、学生における授業評価アンケートを、授業の改善に是非役立てて頂けることを期待している。

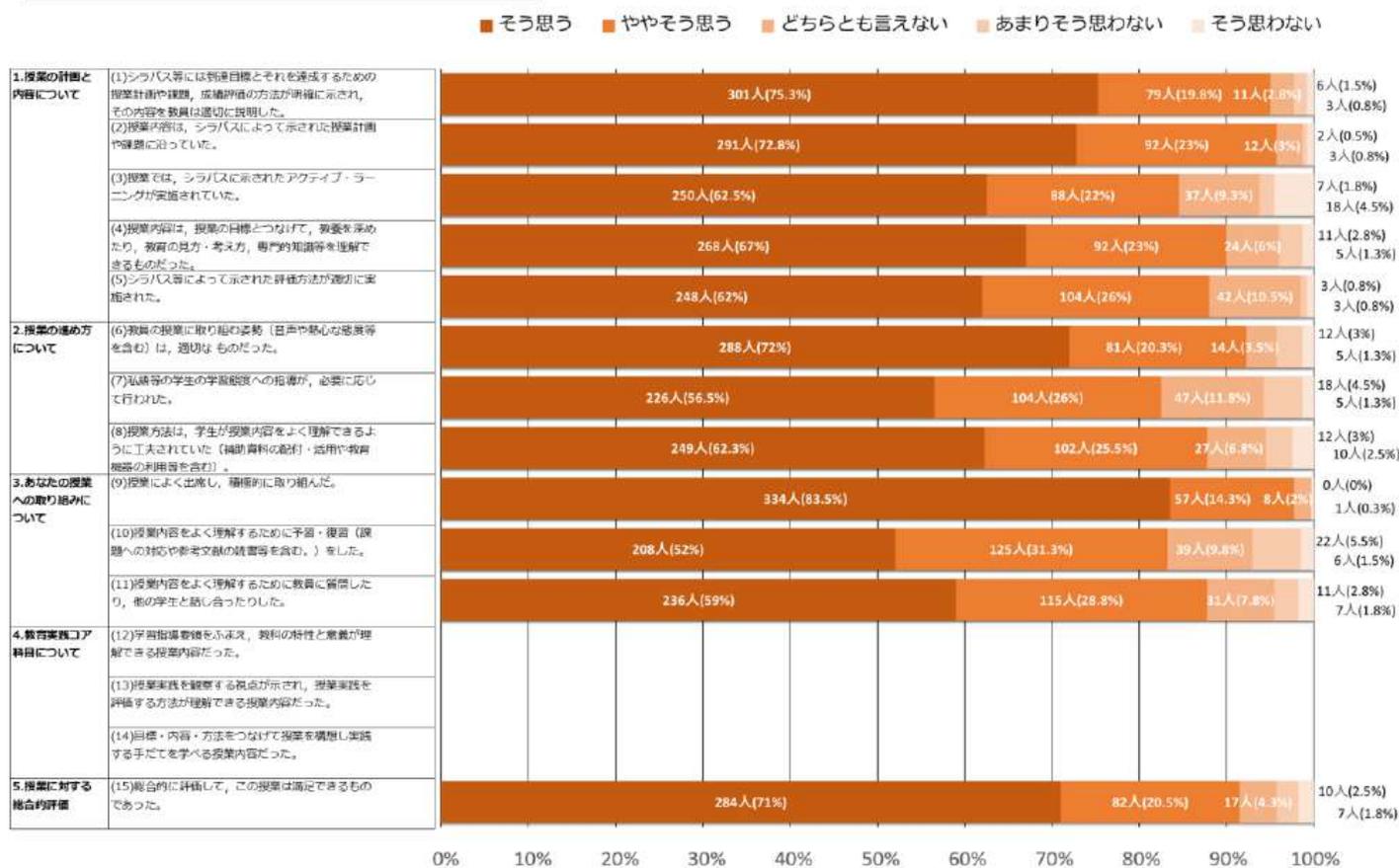
2022（令和4）年度 学校教育学部教務委員会
委員長 山田 芳明

1. 調査の概要

○調査方法	<ul style="list-style-type: none"> 2020（令和2）年度からオンライン方式（Microsoft Forms）によりアンケートを実施している。 																		
○対象	<ul style="list-style-type: none"> 原則として、開講した全授業科目（嘱託講師担当の科目を含む）を対象とする。 受講生が3人以下の授業科目、実地教育科目及び卒業研究は除く。実地教育科目については実地教育専門部会が本調査とは別にアンケートを行っている。 																		
○調査項目	<ul style="list-style-type: none"> 学校教育学部教務委員会が作成したアンケート様式を使用した。 最終回の授業を担当する教員が、アンケート回答様式の QR コード(URL)と授業コードを伝えて受講生に回答を依頼する。受講生が回答したデータは教務課へ自動送信される。回答は無記名とする。 質問は、三つの大項目の下に3～5の下位項目を設ける（教育実践コア科目については、さらに一つの大項目（下位項目は3）を加える（下記の大項目4））とともに、最後に授業の総合的評価を訊ねる形式を採った。 大項目1から5は以下のとおりである。 <ol style="list-style-type: none"> 授業の計画と内容について（質問項目：5） 授業の進め方について（質問項目：3） あなたの授業への取り組みについて（質問項目：3） 教育実践コア科目について（質問項目：3） 授業に対する総合的評価（質問項目：1） 各質問に対する回答は、「5 そう思う」、「4 ややそう思う」、「3 どちらとも言えない」、「2 あまりそう思わない」、「1 そう思わない」という五つの選択肢から一つを選ばせる形式を採る。 																		
○有効回答数、実施授業科目数	<table border="1" data-bbox="427 1285 1433 1626"> <thead> <tr> <th>授業区分</th> <th>有効回答数</th> <th>授業科目数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>教養基礎科目</td> <td>400</td> <td>23</td> </tr> <tr> <td>教育実践コア科目</td> <td>242</td> <td>10</td> </tr> <tr> <td>教職共通科目</td> <td>1,500</td> <td>82</td> </tr> <tr> <td>専修専門科目</td> <td>1,426</td> <td>242</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>3,568</td> <td>357</td> </tr> </tbody> </table>	授業区分	有効回答数	授業科目数	教養基礎科目	400	23	教育実践コア科目	242	10	教職共通科目	1,500	82	専修専門科目	1,426	242	合 計	3,568	357
授業区分	有効回答数	授業科目数																	
教養基礎科目	400	23																	
教育実践コア科目	242	10																	
教職共通科目	1,500	82																	
専修専門科目	1,426	242																	
合 計	3,568	357																	
○備考	<ul style="list-style-type: none"> 従来の報告書では、大項目1、2、4、5の平均値を総合評価としている。項目ごとの平均値とともに有効性について検討の余地がある数字ではあるが、データの集計作業は本専門委員会の埒外にあるため、従来通り掲載されている。 																		

2. 教養基礎科目に対する評価結果の分析

図1 教養基礎科目に対する評価結果



「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が、最も多い項目で約7%（28人）であり、全体として良好な状態であるといえる。

特に、総合的評価については「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が、約4%（17人）であり、かなり良好な状態にある。このことは、教養基礎として学ぶべきであると本学が規定している内容が、学生にとって肯定的に受け入れられていることを示唆している。そのため、各教員は今後とも現状の路線に従って授業の質を維持・向上していくことが望まれる。

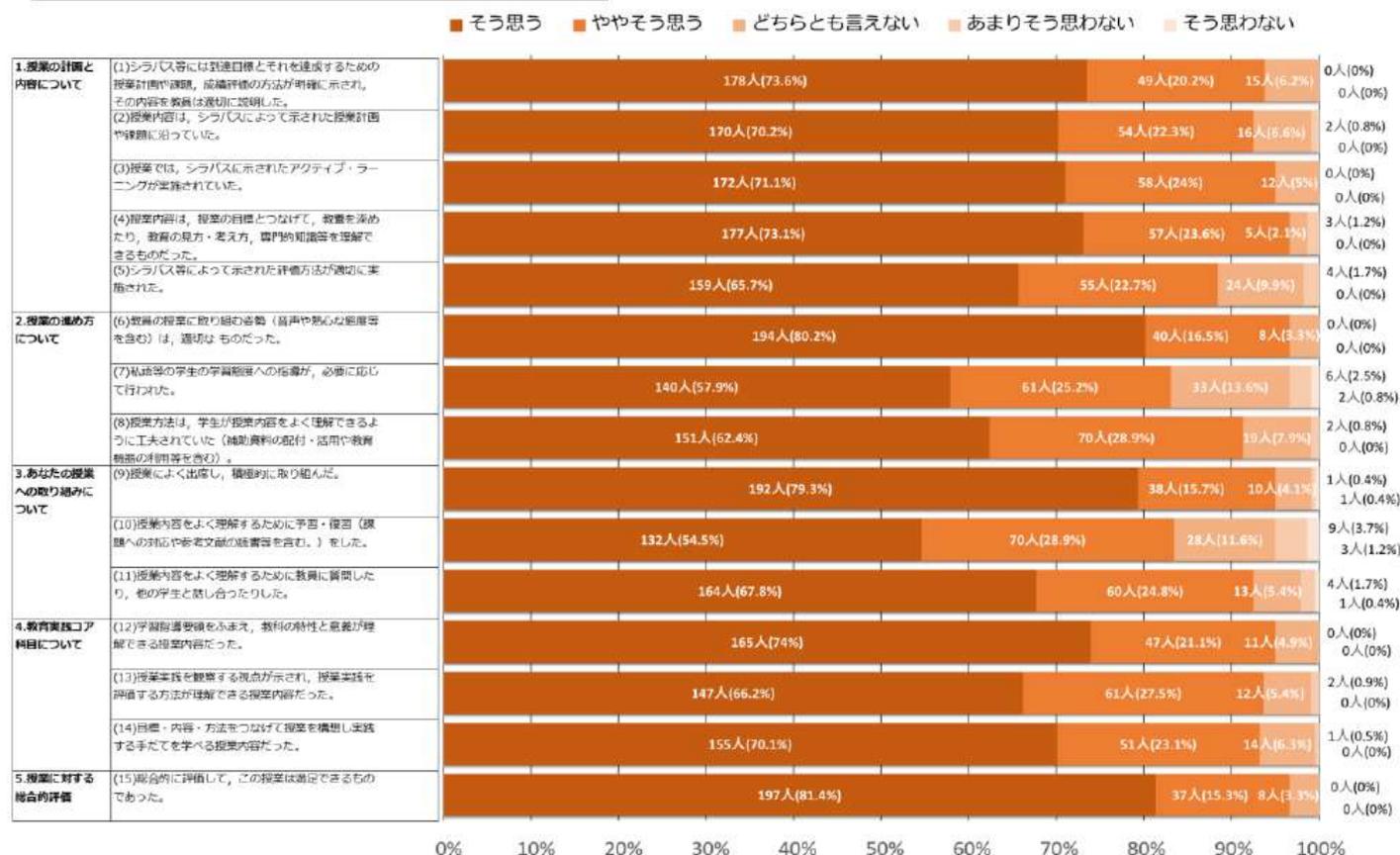
具体的に改善点していくべき点としては、「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた人数が5%（20人）を超えた次の項目が挙げられる：グラフ上部から順に「1-(3)アクティブ・ラーニングの実施」「2-(7)私語等への注意」「2-(8)授業方法の工夫」「3-(10)予習・復習の実施」。

これらのうち、特に「1-(3)アクティブ・ラーニングの実施」と「3-(10)予習・復習の実施」が改善のポイントであると言える。

前者については、教員側によるシラバス・講義の改善も必要であるものの、大多数の学生が肯定的な回答をしている以上、大規模な改善の必要性は薄いといえる。そのため、この結果は、「アクティブ・ラーニングが何か、何のためにいつどこで行うか」という教員側の意図が、一部の学生に十分伝わっていない可能性を示唆している。

また、後者についても、予習・復習の重要性や、教員からの指示といったことが一部の学生に十分に伝わっていない可能性が考えられる。こうした可能性を考慮しながら、教員が自らの意図を学生により積極的に伝えていくことが、今後求められる改善である。

図2 教育実践コア科目に対する評価結果



2022（令和4）年度に実施された、教育実践コア科目に対する授業評価の有効回答人数は242人であった。

図2は、教育実践コア科目に対する評価結果を表す。

図2から、5つの大項目の下に設けられた15の質問項目の全てで、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が80%以上であったことが分かる。

大項目「5 授業に対する総合的評価」の質問項目「総合的に評価してこの授業が満足できるものであった」に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の人数はそれぞれ、234人であり、有効回答人数の約97%であることが分かる。教育実践コア科目は全体として学生から満足できるものと評価されていると言える。

高い評価ではあるが今後の授業改善を意識し、各項目において「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の割合が90%に満たない質問項目を取り上げ、その特徴を検討する。

まずは昨年度に引き続き80%台となっている項目は、「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」（83%）や「授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む）をした」（83%）であった。今後学生の学習態度への指導や予習・復習の促しなど、学生が自ら主体的に学ぶ機会が増えるよう配慮していく必要がある。

また、教育実践コア科目において特設されている3項目については、「学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。」（95%）、「授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。」（94%）、「目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。」（93%）となっており、いずれも高い評価であった。教育実践コア科目は、学生が取得を目指している免許教科や教育実習に直結する授業であり、受講する多くの学生が自己の将来像に照らした授業の意義を実感できていることがうかがえる。

4. 教職共通科目に対する評価結果の分析

図3 教職共通科目に対する評価結果



2022（令和4）年度に実施された教職共通科目に対する授業評価アンケートの有効回答人数は1,500人であった。

図3は、教職共通科目に対する評価結果を表している。

5つの大項目の下に設けられた12の質問項目の全てで、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生が80%以上であったことが分かる。

大項目「5 授業に対する総合的評価」の質問項目「総合的に評価してこの授業が満足できるものであった」に対して、「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の人数はそれぞれ、1,403人であり、有効回答人数の約94%であることが分かる。前年の約88%より増加しており、教職共通科目は全体として学生から満足できるものと評価されていると言えよう。

各項目において「そう思う」、「ややそう思う」と回答した学生の割合が90%に満たない質問項目を取り上げ、その特徴を検討する。

「授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。」（86%）となっている。これについてはアクティブ・ラーニングの意味に対する学生の理解やシラバスの未確認などの問題等も含め、次年度以降の改善が求められる。

「私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた」（81%）や「授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした」（83%）については教職共通科目に限らず課題となっており、「授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。」（86%）と併せて、学生の主体的な学びや課題解決的な思考を充実させていくための工夫が求められる。

図4 専修専門科目に対する評価結果



「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が、最も多い項目で61人（約4%）であり、全ての項目に対してその人数が5%を超えていない。このため、全体として極めて良好な状態であるといえることができる。

特に、総合的な満足度に関しては「あまりそう思わない」と「そう思わない」を合わせた割合が15人（約1%）と、極めて高評価である。このことは、本学における専門科目が、学生の学びたいというニーズにかなりの程度合致していることを示唆している。そのため、各教員は授業において大幅な変更や改善を行うというよりも、今後とも現状の路線に従って、着実に授業の質を維持・向上していくことが望まれる。

高い評価の中にも改善点を探していくならば、「そう思う」の割合が最も少ない項目は予習・復習に関わる項目である。教員の側から予習・復習の重要性や価値を改めて伝えるとともに、学生への負担も考慮しながら適切な範囲での予習・復習を促していくことが今後必要である。

また、そのことと関連する形で、「教員への質問や他の学生との相談」という項目も「そう思う」の割合が若干少なくなっている。どちらに対して学生が「そう思わなかった」のかは不明だが、教員への質問は学生にとってはハードルが高い可能性がある。

よって、この2つの項目ともに、教員と学生のコミュニケーションを円滑にすることで、ある程度改善を測ることが可能であると考えられる。Teams、Moodleといったデジタルツールは学生と教員を結びつける有力なコミュニケーションツールであり、これらを活用して教員と学生間の意思疎通をスムーズにすることが、今後の改善策として考えられる。

新型コロナウイルス感染の世界的な拡大を受け、感染防止対策を目的とした緊急避難的な形でのオンライン授業の実施が求められた2020（令和2）年度に対し、2021（令和3）年度、2022（令和4）年度は感染拡大予防の対策をしながら、通常の学校生活として機能し始めた時期といえる。

なお、授業評価の方法は、2020（令和2）年度、2021（令和3）年度を踏襲し、オンラインで回答する方法で実施された。本年度の授業評価結果も、上記のコロナ禍や授業評価方法変更の影響を強く受けていると推察される。

授業評価を実施した科目数は357（昨年度は331）とほぼ同程度であった。有効回答数は3,568（2021（令和3）年度3,205、2020（令和2）年度3,727、2019（令和元）年度7,565）であり、コロナ禍に入った2020（令和2）年度の半減状態が続いた。この点からアンケート用紙がない状態で、オンラインでの回答を学生に依頼することの難しさが分かる。

しかし、オンラインでの授業評価アンケート実施は、効率良く集計できる利点がある上、スマホ世代の学生にとっても馴染みやすい方法であるので、さらに回答数が増えるように実施方法を工夫して継続することが望ましい。

教養基礎科目・教育実践コア科目・教職共通科目・専修専門科目のそれぞれにおいて、「授業に対する総合評価」の「5」の回答率が70%以上、「4」と併せて90%以上であり、昨年度と同じような結果であった。また、これまでと同様、いずれの領域においても、概して学生から肯定的な評価が示されたものの、2つの課題が見いだされた。

1. 「アクティブ・ラーニング」の実施についての項目が、低い科目が多い点。
2. 「予習・復習」の実施についての項目が、低い科目が多い点。

1.の指摘は、「アクティブ・ラーニングが何か、何のためにいつどこで行うか」という教員側の意図が、一部の学生に十分伝わっていない可能性を示唆している。アクティブ・ラーニングの意味に対する学生の理解やシラバスの未確認などの問題等も含め、次年度以降の改善が求められる。

2.については、授業科目全般にわたっており、教員が自らの意図を学生により積極的に伝えていくことが、今後一層求められる。

2022（令和4）年度もコロナ禍の影響を大きく受けた授業であったが、概ね従来通りの総合評価がなされたことは、教職員と学生が困難な中でも真摯に良い大学教育の実現に努力した結果であり、関係者としてまずは胸をなでおろした。

また、2023（令和5）年5月8日から新型コロナウイルス感染症が「5類感染症」の位置づけになった。そのため、コロナ感染症対策以前のような授業を提供できるように、全教員の更なる工夫と努力が求められる。

本報告書がその一助となれば幸いである。

2022（令和4）年度 学校教育学部教務委員会
学生による授業評価専門部会
主査 西川 和孝

学部 (学校教育学部)

No.	授業科目番号	授業科目番号	クラス名称	担当教職員氏名
322	05010100	日本国憲法	—	麻生 多聞
323	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(幼児)	湯地 宏樹
324	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(学教)	藤原 伸彦
325	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(国語)	幾田 伸司
326	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(英語)	佐藤 美智子
327	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(社会)	立岡 裕士
328	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(算数・数学)	秋田 美代
329	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(理科)	寺島 幸生
330	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(音楽)	鉄口 真理子
331	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(図工・美術)	山木 朝彦
332	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(体育・保健)	湯口 雅史
333	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(技術)	阪東 哲也
334	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(家庭)	速水 多佳子
335	05010110	教職実践演習 (幼・小・中・高)	(特別支援)	田中 淳一
336	05020020	開発と環境	—	青葉 暢子
337	05020120	人口と食糧問題	—	宮口 智成
338	05020220	科学技術と社会	—	伊藤 陽介
339	05020310	人権確立の歴史	—	芝山 明義
340	05020420	東洋の文化研究	—	小川 勝
341	05020430	阿波学 (地域文化研究)	—	畠山 輝雄
342	05030100	健康・スポーツ科学 I	—	藤田 雅文
343	05030200	健康・スポーツ科学 II	—	南 隆尚
344	05040010	基礎情報教育	A	阪東 哲也
345	05040010	基礎情報教育	B	阪東 哲也
346	05040110	実践情報教育 I	A	大野 将樹
347	05040110	実践情報教育 I	B	大野 将樹
348	05040120	実践情報教育 II	A	曾根 直人
349	05040120	実践情報教育 II	B	曾根 直人
350	05040130	実践情報教育 III	—	鈴木 直美
351	05050010	英語コミュニケーション I	鎌田ガブ・リ	
352	05050010	英語コミュニケーション I	ジャネット・マソ	
353	05050010	英語コミュニケーション I	アレク ニムヤク	
354	05050010	英語コミュニケーション I	D	ナリ・M・マドック
355	05050010	英語コミュニケーション I	E	ジャッソン・D・フォル
356	05050020	英語コミュニケーション II	A	ジャッソン・D・フォル
357	05050020	英語コミュニケーション II	B	アレク ニムヤク
358	05050020	英語コミュニケーション II	C	ナリ・M・マドック
359	05050020	英語コミュニケーション II	D	ジャネット・マソ
360	05050020	英語コミュニケーション II	E	鎌田ガブ・リ
361	05050030	英語コミュニケーション III	A	アレク ニムヤク
362	05050030	英語コミュニケーション III	B	ナリ・M・マドック
363	05050030	英語コミュニケーション III	C	鎌田ガブ・リ
364	05050030	英語コミュニケーション III	D	ジャッソン・D・フォル
365	05050030	英語コミュニケーション III	E	ジャネット・マソ
366	05050040	英語コミュニケーション IV	A	ジャネット・マソ
367	05050040	英語コミュニケーション IV	B	鎌田ガブ・リ
368	05050040	英語コミュニケーション IV	C	ジャッソン・D・フォル
369	05050040	英語コミュニケーション IV	D	アレク ニムヤク
370	05050040	英語コミュニケーション IV	E	ナリ・M・マドック
371	05050050	英語コミュニケーション V	—	ジャネット・マソ
372	05050110	英語リーディング I	A	薮下 克彦
373	05050110	英語リーディング I	B	フロレス 祐子
374	05050110	英語リーディング I	C	西島 俊彦
375	05050120	英語リーディング II	A	小笠原 麻衣子
376	05050120	英語リーディング II	B	木口 圭子
377	05050120	英語リーディング II	C	森山 佳成
378	05050210	英会話	—	鎌田ガブ・リ
379	05050310	ドイツ語 I	—	シート・ス・オコ
380	05050510	中国語 I	—	金 英傑
381	05050711	初等英語科教育論 (新課程)	—	山森 直人
382	05050741	特別支援教育概論 (新課程)	A	川田 人包
383	05050741	特別支援教育概論 (新課程)	B	川田 人包
384	05060010	幼児教育実践基礎演習	—	田村 隆宏
385	05060030	幼児教育実践	—	湯地 宏樹
386	05060111	学校教育実践 I (授業設計) (新課程)	—	川上 綾子
387	05060151	学校教育実践 II (授業観察) (新課程)	—	木下 光二
388	05060161	学校教育実践 III (子ども・学級理解) (新)	—	木下 光二
389	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(国語)	原 卓志
390	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(英語)	山森 直人
391	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(社会)	眞野 豊
392	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(算数・数学)	関 行宏
393	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(理科)	寺島 幸生
394	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(音楽)	山田 啓明
395	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(図工・美術)	山木 朝彦
396	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(体育・保健)	藤田 雅文
397	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(技術)	宮下 晃一
398	05060210	初等中等教育実践基礎演習	(家庭)	金 貞均
399	05060210	初等中等教育実践基礎演習	学校教育実践	江川 克弘
400	05060310	初等中等教科教育実践 I	(国語)	余郷 裕次
401	05060310	初等中等教科教育実践 I	(英語)	佐藤 美智子
402	05060310	初等中等教科教育実践 I	(社会)	伊藤 直之
403	05060310	初等中等教科教育実践 I	(算数・数学)	早田 透
404	05060310	初等中等教科教育実践 I	(理科)	武田 清
405	05060310	初等中等教科教育実践 I	(音楽)	鉄口 真理子
406	05060310	初等中等教科教育実践 I	(図工・美術)	小川 勝
407	05060310	初等中等教科教育実践 I	(体育・保健)	湯口 雅史
408	05060310	初等中等教科教育実践 I	(技術)	米延 仁志
409	05060310	初等中等教科教育実践 I	(家庭)	金 貞均

No.	授業科目番号	授業科目番号	クラス名称	担当教職員氏名	
410	05060320	初等中等教科教育実践 II	(国語)	平川 惠美子	
411	05060320	初等中等教科教育実践 II	(英語)	山森 直人	
412	05060320	初等中等教科教育実践 II	(社会)	伊藤 直之	
413	05060320	初等中等教科教育実践 II	(算数・数学)	佐伯 昭彦	
414	05060320	初等中等教科教育実践 II	(理科)	栗田 高明	
415	05060320	初等中等教科教育実践 II	(音楽)	森 正	
416	05060320	初等中等教科教育実践 II	(図工・美術)	山田 芳明	
417	05060320	初等中等教科教育実践 II	(体育・保健)	藤田 雅文	
418	05060320	初等中等教科教育実践 II	(技術)	宮下 晃一	
419	05060320	初等中等教科教育実践 II	(家庭)	福井 典代	
420	05060330	初等中等教科教育実践 III	(国語)	幾田 伸司	
421	05060330	初等中等教科教育実践 III	(英語)	山森 直人	
422	05060330	初等中等教科教育実践 III	(社会)	井上 奈穂	
423	05060330	初等中等教科教育実践 III	(算数・数学)	秋田 美代	
424	05060330	初等中等教科教育実践 III	(理科)	武田 清	
425	05060330	初等中等教科教育実践 III	(音楽)	鉄口 真理子	
426	05060330	初等中等教科教育実践 III	(図工・美術)	小川 勝	
427	05060330	初等中等教科教育実践 III	(体育・保健)	松井 敦典	
428	05060330	初等中等教科教育実践 III	(技術)	伊藤 陽介	
429	05060330	初等中等教科教育実践 III	(家庭)	速水 多佳子	
430	05060440	特別支援教育実践基礎演習	—	高橋 眞琴	
431	05070100	教職論	—	阪根 健二	
432	05080100	人間形成原論	—	谷村 千絵	
433	05080301	教育心理学 (発達心理を含む) (新課程)	—	皆川 直凡	
434	05080400	教育制度・経営論	—	石村 雅雄	
435	05080500	教育社会学	—	葛上 秀文	
436	05090101	教育課程論 (校種間連携を含む。)	—	幾田 伸司	
437	05090300	初等国語科教育論	A	幾田 伸司	
438	05090300	初等国語科教育論	B	余郷 裕次	
439	05090400	初等社会科教育論	A	井上 奈穂	
440	05090400	初等社会科教育論	B	坂田 大輔	
441	05090500	算数科教育論	A	早田 透	
442	05090500	算数科教育論	B	早田 透	
443	05090600	初等理科教育論	—	本田 亮	
444	05090700	生活科教育論	—	金野 誠志	
445	05090800	初等音楽科教育論	A	川内 由子	
446	05090800	初等音楽科教育論	B	川内 由子	
447	05090900	図画工作科教育論	A	山田 芳明	
448	05090900	図画工作科教育論	B	山木 朝彦	
449	05091000	体育科教育論	—	湯口 雅史	
450	05091100	初等家庭科教育論	—	福井 典代	
451	05091200	道德教育指導論	—	池田 誠喜	
452	05091300	特別活動指導論	A	岡田 康孝	
453	05091300	特別活動指導論	B	五宝 友哉	
454	05091400	幼児教育課程論	—	湯地 宏樹	
455	05091510	保育内容総論	—	塩路 晶子	
456	05091600	保育内容 (人間関係)	—	佐々木 晃	
457	05091700	保育内容 (環境)	—	塩路 晶子	
458	05091800	保育内容 (言葉)	—	田村 隆宏	
459	05091901	保育内容 (表現 I) (新課程)	—	湯地 宏樹	
460	05092001	保育内容 (表現 II) (新課程)	—	谷口 幹也	
461	05092100	保育内容 (健康)	—	佐々木 晃	
462	05092401	教育工学 (新課程)	—	川上 綾子	
463	05092402	教育工学 (情報通信技術の活用を含む。)	—	川上 綾子	
464	05092511	幼児理解と保育実践の心理学 (新課程)	—	田村 隆宏	
465	05092601	生徒指導論 (進路指導を含む。)	(新課程)	—	池田 誠喜
466	05092602	いじめ防止論 (新課程)	—	池田 誠喜	
467	05092711	教育相談論 (新課程)	—	吉井 健治	
468	05092810	中等国語科教材論	—	余郷 裕次	
469	05092820	中等国語科教育論	—	原 卓志	
470	05092830	中等国語科授業論	—	幾田 伸司	
471	05092840	国語科教育特論	—	千種 彰典	
472	05092910	英語科教育論 I	—	山森 直人	
473	05092920	英語科教育論 II	—	山森 直人	
474	05092930	英語科教育論 III	—	山森 直人	
475	05092940	英語科教育論 IV	—	山森 直人	
476	05093010	中等社会科教育論	—	永田 成文	
477	05093020	中等社会科授業論	—	井上 奈穂	
478	05093030	地理歴史科教育論	—	山田 秀和	
479	05093040	社会科・地理歴史科教材論	—	伊藤 直之	
480	05093050	公民科教育論	—	井上 奈穂	
481	05093060	社会科・公民科教材論	—	井上 昌善	
482	05093110	数学科教育論	—	早田 透	
483	05093120	数学科教材論	—	早田 透	
484	05093130	数学科授業論	—	早田 透	
485	05093140	数学科教育特論	—	秋田 美代	
486	05093210	中等理科教育論 I	—	佐藤 勝幸	
487	05093220	中等理科教育論 II	—	栗田 高明	
488	05093230	中等理科教育論 III	—	佐藤 勝幸	
489	05093240	中等理科教育論 IV	—	武田 清	
490	05093310	中等音楽科教育論	—	川内 由子	
491	05093320	中等音楽科授業論	—	鉄口 真理子	
492	05093331	中等音楽科教材論 (新課程)	—	鉄口 真理子	
493	05093340	中等音楽科教育特論	—	鉄口 真理子	
494	05093410	美術科教育論	—	山田 芳明	
495	05093420	美術科授業論	—	山木 朝彦	
496	05093430	美術科教材論	—	山田 芳明	
497	05093440	美術科教育特論 (新課程)	—	山木 朝彦	

No.	授業科目番号	授業科目番号	クラス名称	担当教職員氏名
498	05093510	保健体育科教育論Ⅰ	—	綿引 勝美
499	05093520	保健体育科教育論Ⅱ	—	湯口 雅史
500	05093530	保健体育科教育論Ⅲ	—	南 陸尚
501	05093540	保健体育科教育論Ⅳ	—	松井 敦典
502	05093610	技術科教育論Ⅰ	—	吉浦 正純
503	05093620	技術科教育論Ⅱ	—	吉浦 正純
504	05093630	技術科教育論演習Ⅰ	—	吉浦 正純
505	05093640	技術科教育論演習Ⅱ	—	吉浦 正純
506	05093650	工業科教育論Ⅰ	—	宮本 賢治
507	05093660	工業科教育論Ⅱ	—	宮下 晃一
508	05093670	情報科教育論Ⅰ	—	森山 潤
509	05093680	情報科教育論Ⅱ	—	森山 潤
510	05093710	中等家庭科教育論	—	速水 多佳子
511	05093720	中等家庭科授業論	—	速水 多佳子
512	05093730	中等家庭科教材論	—	西川 和孝
513	05093740	中等家庭科教育特論	—	速水 多佳子
514	05120601	学校教育心理学演習（新課程）	—	皆川 直凡
515	05121001	総合的な学習の時間の指導法（旧課程）	—	村川 雅弘
516	05121201	乳幼児教育研究法Ⅱ（新課程）	—	田村 隆宏
517	05140100	初等国語	A	余郷 裕次
518	05140100	初等国語	B	千種 彰典
519	05140200	初等社会	—	伊藤 直之
520	05140300	算数	A	佐伯 昭彦
521	05140300	算数	B	佐伯 昭彦
522	05140400	初等理科	—	本田 亮
523	05140500	生活	A	田岡 佳美
524	05140500	生活	B	田岡 佳美
525	05140600	初等音楽Ⅰ	—	山田 啓明
526	05140700	図画工作Ⅰ	A	鈴木 久人
527	05140700	図画工作Ⅰ	B	内藤 隆
528	05140700	図画工作Ⅰ	C	石井 一次
529	05140700	図画工作Ⅰ	D	白石 謙二
530	05140800	初等体育Ⅰ	—	藤田 雅文
531	05140900	初等音楽Ⅱ	—	山田 啓明
532	05141000	図画工作Ⅱ	—	内藤 隆
533	05141200	初等家庭	—	坂本 有芳
534	05141300	初等英語（新課程）	—	荻下 克彦
535	05141401	幼児と健康（新課程）	—	佐々木 晃
536	05141402	幼児と人間関係（新課程）	—	佐々木 晃
537	05141403	幼児と環境（新課程）	—	塩路 晶子
538	05141404	幼児と言葉（新課程）	—	田村 隆宏
539	05141405	幼児と表現（新課程）	—	加藤 あや子
540	05150100	保育原論	—	湯地 宏樹
541	05150111	社会的養護Ⅰ（新課程）	—	木村 直子
542	05150120	社会福祉論	—	木村 直子
543	05150131	子どもの理解と援助（新課程）	—	田村 隆宏
544	05150141	子ども家庭支援の心理学（新課程）	—	木村 直子
545	05150151	子育て支援（新課程）	—	木村 直子
546	05150161	子ども家庭福祉（新課程）	—	木村 直子
547	05150171	子どもの保健（新課程）	—	伊藤 弘道
548	05150191	子どもの健康と安全（新課程）	—	小川 由紀子
549	05150210	子どもの食と栄養	—	馬場 公恵
550	05150221	子ども家庭支援論（新課程）	—	田辺 昌吾
551	05150231	社会的養護Ⅱ（新課程）	—	金子 龍太郎
552	05151001	乳児保育Ⅰ（新課程）	—	塩路 晶子
553	05151002	乳児保育Ⅱ（新課程）	—	塩路 晶子
554	05151400	乳幼児教育研究法Ⅰ	—	塩路 晶子
555	05160100	国語学概論（音声言語・文章表現を含む。）	—	刀田 絵美子
556	05160200	国語学Ⅰ	—	齊藤 学
557	05160300	国語学Ⅱ	—	原 卓志
558	05160400	国語学特論Ⅰ	—	原 卓志
559	05160600	語学・文学総合演習Ⅰ（国語学）	—	原 卓志
560	05161100	国文学概論（国文学史を含む。）	—	構 大樹
561	05161200	国文学Ⅰ	—	館 健一
562	05161300	国文学Ⅱ	—	平川 恵実子
563	05161400	国文学特論Ⅰ	—	構 大樹
564	05161500	国文学特論Ⅱ	—	平川 恵実子
565	05161600	語学・文学総合演習Ⅱ（国文学）	—	平川 恵実子
566	05162100	漢文学概論	—	佐伯 雅宣
567	05162200	語学・文学総合演習Ⅲ（漢文学）	—	高西 成介
568	05163100	書写Ⅰ	—	黒橋 由加里
569	05163200	書写Ⅱ	—	黒橋 由加里
570	05163300	書写Ⅲ	—	黒橋 由加里
571	05170100	英語基礎研究	—	森山 優成
572	05170200	英語学概論	—	荻下 克彦
573	05170300	学習英文法	—	荻下 克彦
574	05170400	英語音声学	—	森山 優成
575	05170500	英語学研究Ⅰ	—	荻下 克彦
576	05170600	英語学研究Ⅱ	—	森山 優成
577	05171100	英文講読	—	前田 一平
578	05171200	英文学史	—	木口 圭子
579	05171300	米文学史	—	前田 一平
580	05171400	英米文学研究Ⅰ	—	木口 圭子
581	05171500	英米文学研究Ⅱ	—	前田 一平
582	05172100	英語オーラルコミュニケーションⅠ	—	ジエート マーヰ
583	05172200	英語オーラルコミュニケーションⅡ	—	鎌田がーん・リ
584	05172300	ライティングⅠ	—	ジエート マーヰ
585	05172400	ライティングⅡ	—	鎌田がーん・リ
586	05173100	比較文化研究Ⅰ	—	鎌田がーん・リ
587	05173200	比較文化研究Ⅱ	—	ジエート マーヰ

No.	授業科目番号	授業科目番号	クラス名称	担当教職員氏名
588	05180100	日本史学概論	—	町田 哲
589	05180200	日本史学特論Ⅰ（古代・中世）	—	衣川 仁
590	05180300	日本史学特論Ⅱ（近世・近代）	—	町田 哲
591	05180400	外国史概論	—	原田 昌博
592	05180500	外国史特論	—	原田 昌博
593	05180700	史学演習	—	町田 哲
594	05180800	史料講読	—	町田 哲
595	05181100	人文地理学特論	—	畠山 輝雄
596	05181300	地理学概論	—	畠山 輝雄
597	05181400	地理学演習	—	畠山 輝雄
598	05181500	地理学実習	—	畠山 輝雄
599	05181600	地理学野外実習	—	畠山 輝雄
600	05181700	地誌学概論	—	立岡 裕士
601	05181800	地誌学特論	—	立岡 裕士
602	05181900	地図学概論	—	立岡 裕士
603	05182100	法律学概論（国際法を含む。）	—	麻生 多間
604	05182200	法律学特論	—	麻生 多間
605	05182300	法律学演習	—	麻生 多間
606	05183100	社会学概論	—	眞野 豊
607	05183200	社会学特論	—	眞野 豊
608	05183300	社会学実習	—	眞野 豊
609	05183400	経済学概論	—	青葉 暢子
610	05183600	経済学演習	—	青葉 暢子
611	05183700	情報経済論	—	青葉 暢子
612	05184100	哲学・倫理学概論	—	石田 三千雄
613	05184200	哲学・倫理学特論	—	石田 三千雄
614	05184300	哲学・倫理学演習	—	石田 三千雄
615	05190100	代数学Ⅰ	—	守安 一峰
616	05190200	代数学Ⅱ	—	片山 真一
617	05190300	代数学Ⅲ	—	平野 康之
618	05190400	代数学特論	—	平野 康之
619	05191100	幾何学Ⅰ	—	山中 仁
620	05191200	幾何学Ⅱ	—	山中 仁
621	05191300	幾何学Ⅲ	—	山中 仁
622	05191400	幾何学特論	—	山中 仁
623	05192100	解析学Ⅰ	—	関 行宏
624	05192200	解析学Ⅱ	—	関 行宏
625	05192300	解析学Ⅲ	—	関 行宏
626	05192400	解析学特論	—	関 行宏
627	05193100	確率・統計学	—	宮口 智成
628	05193200	確率・統計学特論	—	宮口 智成
629	05194100	計算数学	—	宮口 智成
630	05195100	基礎数学Ⅰ	—	宮口 智成
631	05195200	基礎数学Ⅱ	—	宮口 智成
632	05200200	中等理科（物理学分野）	—	栗田 高明
633	05200301	物理学Ⅰ（新課程）	—	栗田 高明
634	05200400	物理学Ⅱ	—	本田 亮
635	05201100	物理学実験Ⅰ	—	本田 亮
636	05201200	物理学実験Ⅱ	—	本田 亮
637	05202200	中等理科（化学分野）	—	武田 清
638	05202301	化学Ⅰ（新課程）	—	胸組 虎胤
639	05202400	化学Ⅱ	—	胸組 虎胤
640	05202500	化学Ⅲ	—	武田 清
641	05203100	化学実験Ⅰ	—	武田 清
642	05203200	化学実験Ⅱ	—	胸組 虎胤
643	05204200	中等理科（生物学分野）	—	小汐 千春
644	05204301	生物学Ⅰ（新課程）	—	練原 渉
645	05204400	生物学Ⅱ	—	工藤 慎一
646	05205100	生物学実験Ⅰ	—	工藤 慎一
647	05205200	生物学実験Ⅱ	—	佐藤 勝幸
648	05206200	中等理科（地学分野）	—	足立 奈津子
649	05206301	地学Ⅰ（新課程）	—	福地 里菜
650	05206400	地学Ⅱ	—	福地 里菜
651	05207100	地学実験Ⅰ（野外実習）	—	福地 里菜
652	05207200	地学実験Ⅱ	—	福地 里菜
653	05210100	ソルフェージュ	—	山田 啓明
654	05211100	声楽（合唱を含む。）	—	頃安 利秀
655	05211200	日本の伝統音楽（日本の伝統的な歌唱を含む）	—	丸岡 安砂乃
656	05211300	声楽基礎Ⅰ	—	頃安 利秀
657	05211400	声楽基礎Ⅱ	—	頃安 利秀
658	05212100	器楽（合奏及び伴奏を含む。）	—	森 正
659	05212200	日本の伝統音楽（和楽器）	—	横山 佳世子
660	05212300	ピアノ基礎Ⅰ	—	森 正
661	05212400	ピアノ基礎Ⅱ	—	森 正
662	05212500	ピアノⅠ	—	森 正
663	05212700	管弦打楽器基礎Ⅰ	—	山根 秀憲
664	05212800	管弦打楽器基礎Ⅱ	—	山根 秀憲
665	05212900	管弦打楽器Ⅰ	—	山根 秀憲
666	05213100	指揮法Ⅰ	—	山田 啓明
667	05213200	指揮法Ⅱ	—	山田 啓明
668	05213500	合奏	—	山根 秀憲
669	05214100	音楽の理論と歴史	—	松岡 みち子
670	05214310	音楽通論	—	松岡 みち子
671	05214600	作曲法	—	松岡 みち子
672	05220100	絵画Ⅰ	—	鈴木 久人
673	05220200	絵画Ⅱ	—	鈴木 久人
674	05220300	絵画材料研究	—	鈴木 久人
675	05220400	絵画特別演習Ⅰ	—	鈴木 久人
676	05220500	絵画特別演習Ⅱ	—	鈴木 久人
677	05220600	素描	—	鈴木 久人

No.	授業科目番号	授業科目番号	クラス名称	担当教職員氏名
678	05221100	彫刻 I	—	武内 優記
679	05221200	彫刻 II	—	武内 優記
680	05221400	彫刻特別演習	—	武内 優記
681	05222100	構成・デザイン I	—	内藤 隆
682	05222200	構成・デザイン II	—	内藤 隆
683	05223110	工芸 I	—	栗原 慶
684	05223120	工芸 II	—	栗原 慶
685	05224100	美術理論・美術史 I	—	小川 勝
686	05231300	運動方法 I	—	藤田 雅文
687	05231600	運動方法IV	—	土岡 大介
688	05231701	運動方法 V (新課程)	—	林 夏木
689	05231800	運動方法VI	—	南 隆尚
690	05231901	運動方法VII (新課程)	—	福多 尚英
691	05232001	運動方法VIII (新課程)	—	南 隆尚
692	05234010	体育哲学 I	—	綿引 勝美
693	05234020	体育哲学 II	—	綿引 勝美
694	05234030	体育心理学 I	—	中塚 健太郎
695	05234040	体育心理学 II	—	中塚 健太郎
696	05234050	体育経営管理学 I	—	藤田 雅文
697	05234060	体育経営管理学 II	—	藤田 雅文
698	05234070	体育社会学 I	—	佐藤 充宏
699	05234080	体育社会学 II	—	佐藤 充宏
700	05234090	運動学 I	—	松井 敦典
701	05234100	運動学 II	—	松井 敦典
702	05235100	生理学 I	—	田中 弘之
703	05235200	生理学 II	—	田中 弘之
704	05236100	衛生学・公衆衛生学 I	—	泉 彩夏
705	05236200	衛生学・公衆衛生学 II	—	泉 彩夏
706	05237100	学校保健 I	—	泉 彩夏
707	05237200	学校保健 II	—	泉 彩夏
708	05240100	材料加工学 I	—	米延 仁志
709	05241100	材料加工学 II	—	米延 仁志
710	05241200	工業材料概論	—	米延 仁志
711	05242100	機械基礎 (実習を含む。)	—	宮下 晃一
712	05242201	機械工学 (新課程)	—	宮下 晃一
713	05242400	設計製図	—	宮下 晃一
714	05243100	電気基礎 (実習を含む。)	—	宮本 賢治
715	05243200	電気工学	—	宮本 賢治
716	05243300	電子工学	—	宮本 賢治
717	05244100	情報技術基礎 (実習を含む。)	—	伊藤 陽介
718	05244200	情報処理	—	菊地 章
719	05245100	栽培 (実習を含む。)	—	米延 仁志
720	05245201	生物システム工学 (新課程)	—	米延 仁志
721	05247100	情報社会と情報倫理	—	竹口 幸志
722	05247200	情報エレクトロニクスとコンピュータ	—	美井野 優
723	05247300	ソフトウェア演習 (実習を含む。)	—	伊藤 陽介
724	05247501	情報回路とシステム制御 (新課程)	—	菊地 章
725	05247600	情報システム (実習を含む。)	—	曾根 直人
726	05247700	情報技術 (実習を含む。)	—	伊藤 陽介
727	05247800	情報通信 (実習を含む。)	—	菊地 章
728	05247900	情報ネットワーク演習 (実習を含む。)	—	曾根 直人
729	05248000	マルチメディアと教育技術 (実習を含む。)	—	阪東 哲也
730	05248100	マルチメディアとシミュレーション	—	菊地 章
731	05248200	情報と職業	—	山口 直木
732	05250100	家庭経営学概論	—	坂本 有芳
733	05250200	家族論	—	岡部 千鶴
734	05250301	消費生活論 (新課程)	—	坂本 有芳
735	05250400	家庭経営学演習	—	坂本 有芳
736	05251100	被服学概論 (被服製作実習を含む。)	—	福井 典代
737	05251200	衣生活学	—	福井 典代
738	05251300	被服学実験	—	福井 典代
739	05251400	被服構成実習	—	福井 典代
740	05252100	食物学概論	—	西川 和孝
741	05252201	食品栄養学 (新課程)	—	西川 和孝
742	05252400	調理実習	—	西川 和孝
743	05252500	食物学実験	—	西川 和孝
744	05253100	住居学概論 (製図を含む。)	—	金 貞均
745	05253200	住生活学	—	金 貞均
746	05253300	住居設計・製図	—	金 貞均
747	05254100	保育学 (実習及び家庭看護を含む。)	—	磯部 香
748	05255100	家庭電気・機械及び情報処理	—	山本 耕司
749	05261400	障害児教育概説 I	—	高橋 眞琴
750	05261600	知的障害者の心理	—	島田 恭仁
751	05261700	知的障害者の生理・病理	—	田中 淳一
752	05261800	知的障害教育 I	—	大谷 博俊
753	05261900	知的障害教育 II	—	高橋 眞琴
754	05262000	肢体不自由者の心理・生理・病理	—	伊藤 弘道
755	05262100	肢体不自由教育	—	須田 正信
756	05262200	病弱者の心理・生理・病理	—	伊藤 弘道
757	05262300	病弱教育	—	武田 鉄郎
758	05262400	重複・LD等の特性	—	伊藤 弘道
759	05262500	重複・LD等教育総論	—	森 慶子
760	05262600	視覚障害者の心理・生理・病理	—	高原 光恵
761	05262710	聴覚障害者の心理・生理・病理	—	島田 亜紀
762	05262800	視覚障害者教育論	—	牟田口 辰己
763	05262900	聴覚障害者教育論	—	加藤 哲則

学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

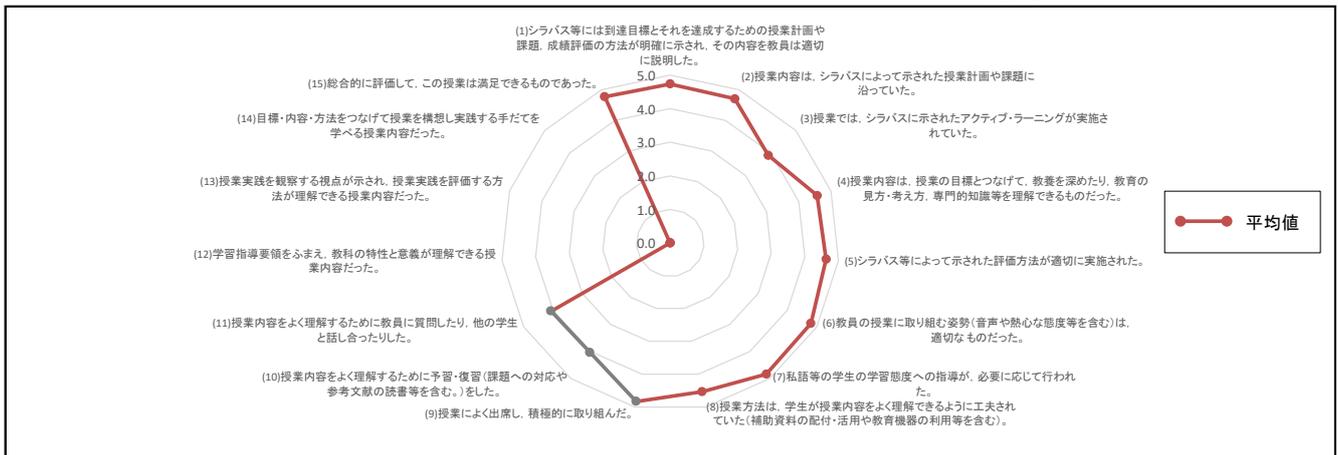
No.	322	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	日本国憲法	回答者数	30	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	麻生 多間				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	23	6	1	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	22	7	1	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	8	7	1	2	3.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	19	9	2	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	21	7	2	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	26	3	0	1	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	27	1	2	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	20	7	2	1	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	26	3	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	11	6	2	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	12	3	2	1	4.1
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	24	5	1	0	0	4.8

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

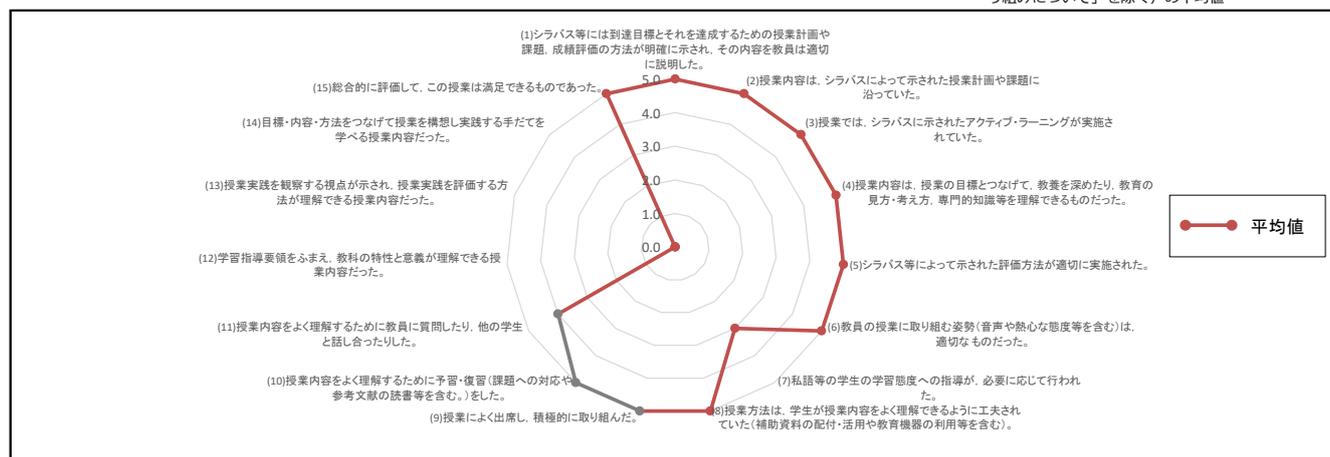
No.	323	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（幼児）	回答者数	1	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	湯地 宏樹, 田村 隆宏, 佐々木 晃, 塩路 晶子, 木村 直子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	3.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	4.0
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

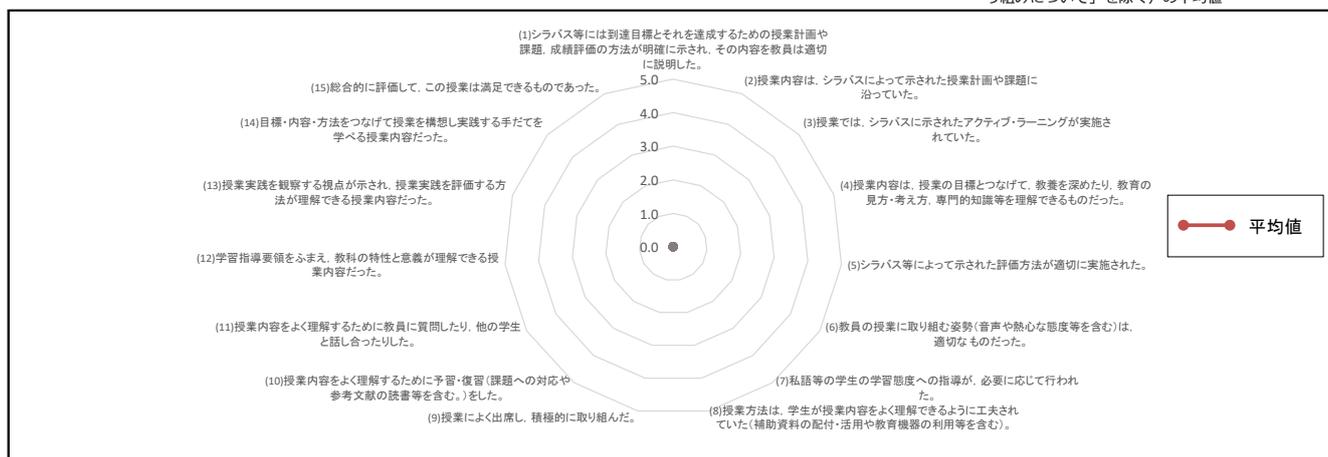
No.	324	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（学教）	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	藤原 伸彦				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

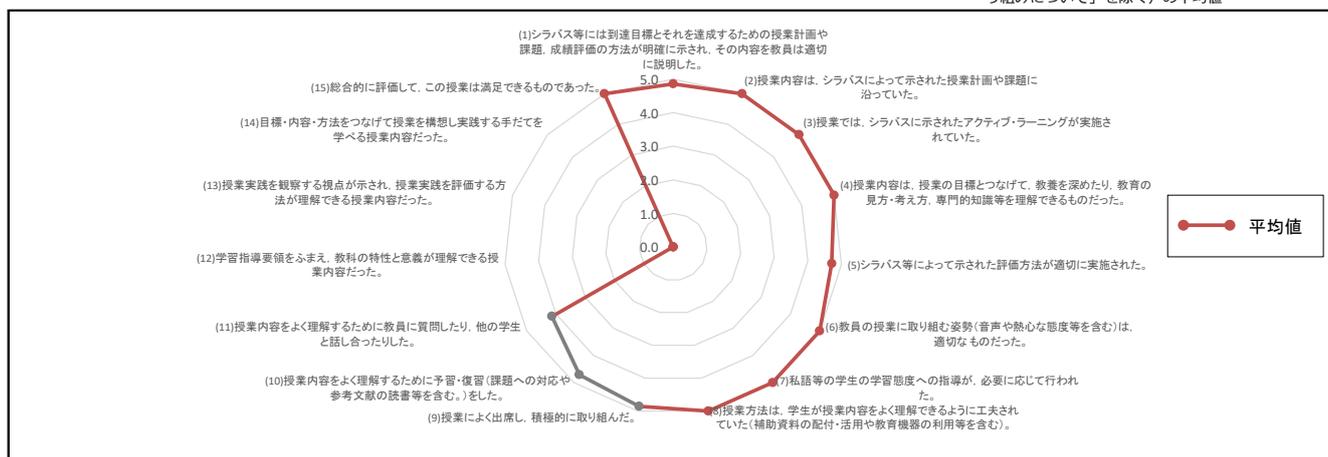
No.	325	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（国語）	回答者数	7	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	幾田 伸司, 余郷 裕次				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	4.7
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	0	0	0	0	5.0
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	2	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	1	1	1	0	4.1
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

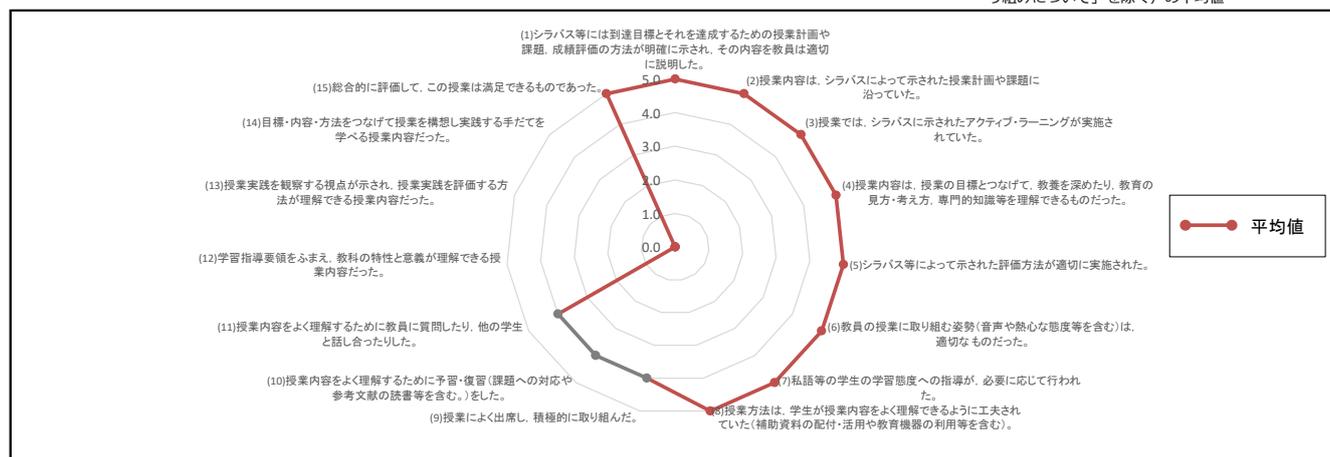
No.	326	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（英語）	回答者数	1	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	佐藤 美智子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

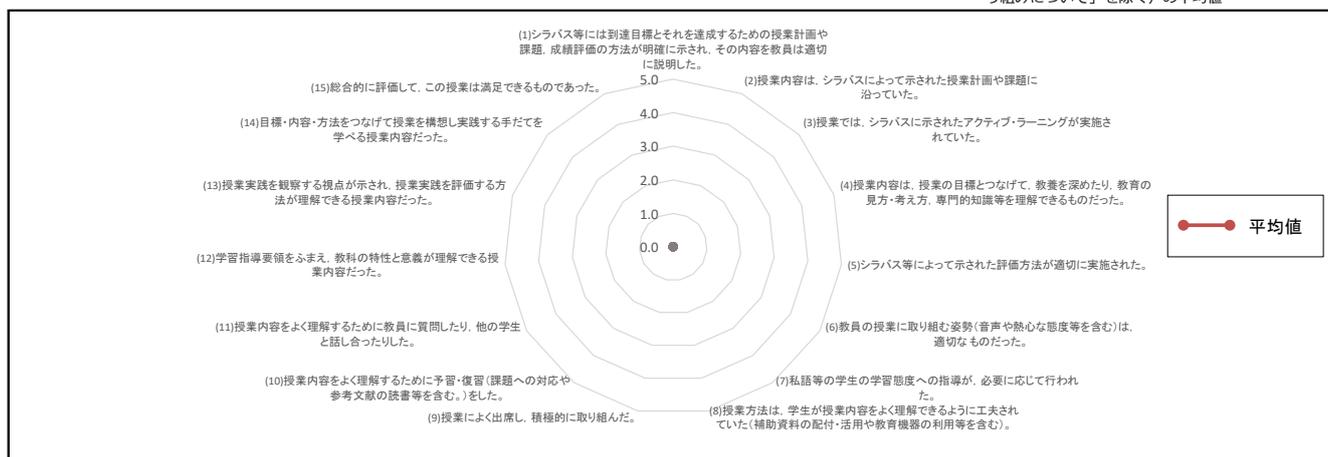
No.	327	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（社会）	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	立岡 裕士, 井上 奈穂				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2. 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3. あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4. 教育実践コア科目について	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

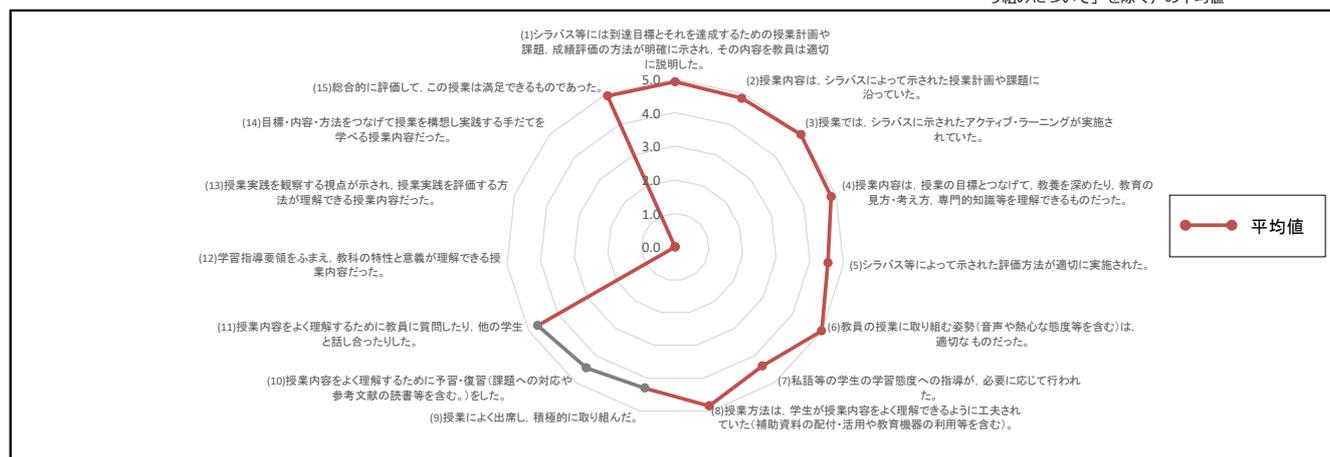
No.	328	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（算数・数学）	回答者数	13	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	秋田 美代, 山中 仁				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	1	0	0	0	4.9
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	2	0	0	0	4.8
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	0	0	0	0	5.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	11	2	0	0	0	4.8
	(5) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	1	0	0	4.5
2. 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	13	0	0	0	0	5.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	6	1	0	0	4.4
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	2	0	0	0	4.8
3. あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	3	3	0	0	4.3
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	5	1	0	0	4.5
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	4	0	0	0	4.7
4. 教育実践コア科目について	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	12	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

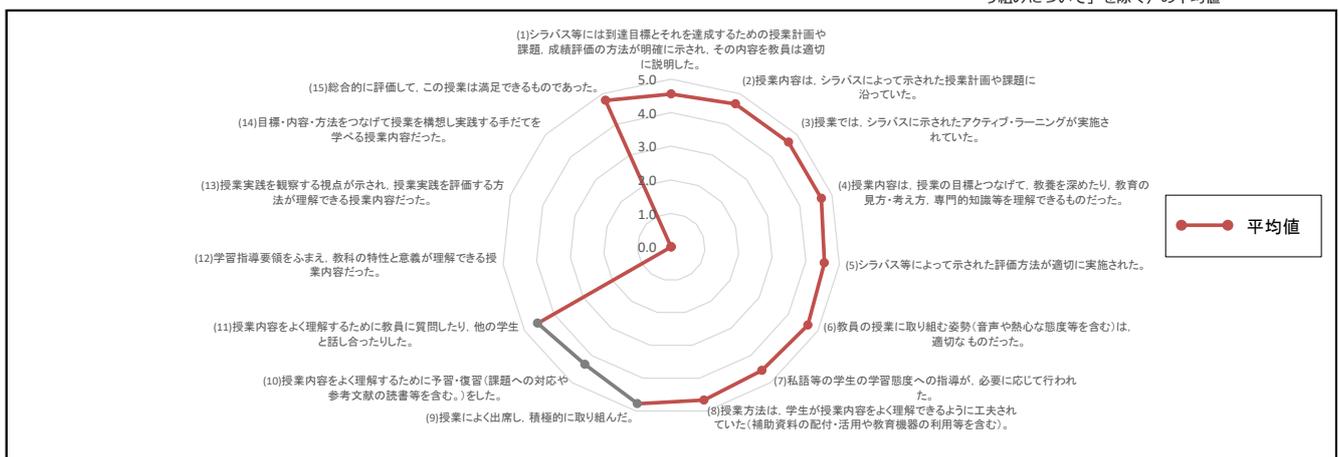
No.	329	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（理科）	回答者数	9	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	寺島 幸生, 粟田 高明, 本田 亮, 早藤 幸隆, 武田 清, 胸組 虎胤, 工藤 慎一, 佐藤 勝幸, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	4	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	3	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	3	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	3	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	4	0	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	3	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	4	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	3	0	1	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	2	1	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

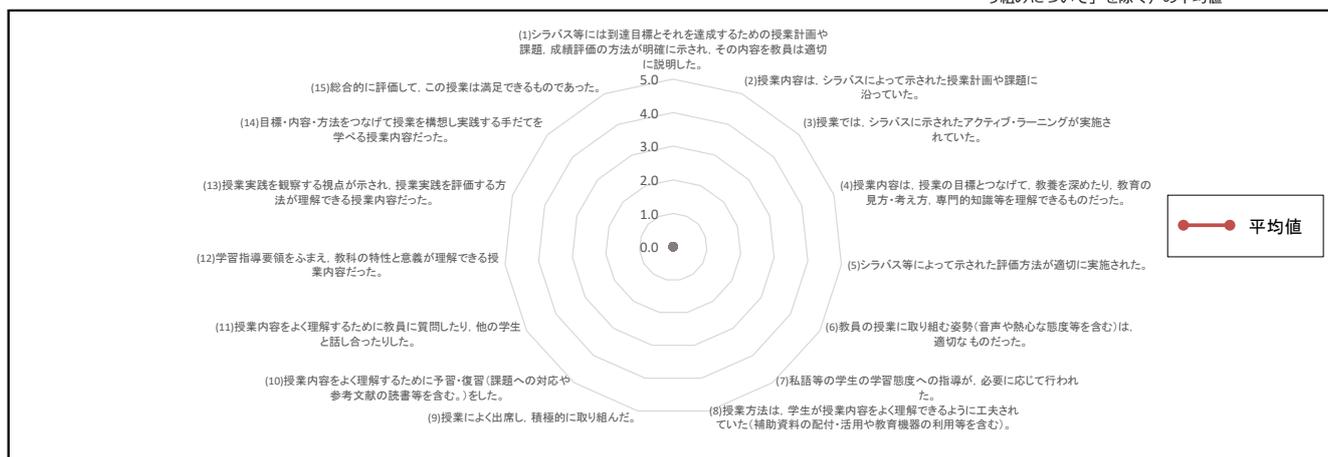
No.	330	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（音楽）	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	鉄口 真理子, 森 正, 頃安 利秀, 山根 秀憲, 山田 啓明				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2. 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3. あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4. 教育実践コア科目について	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

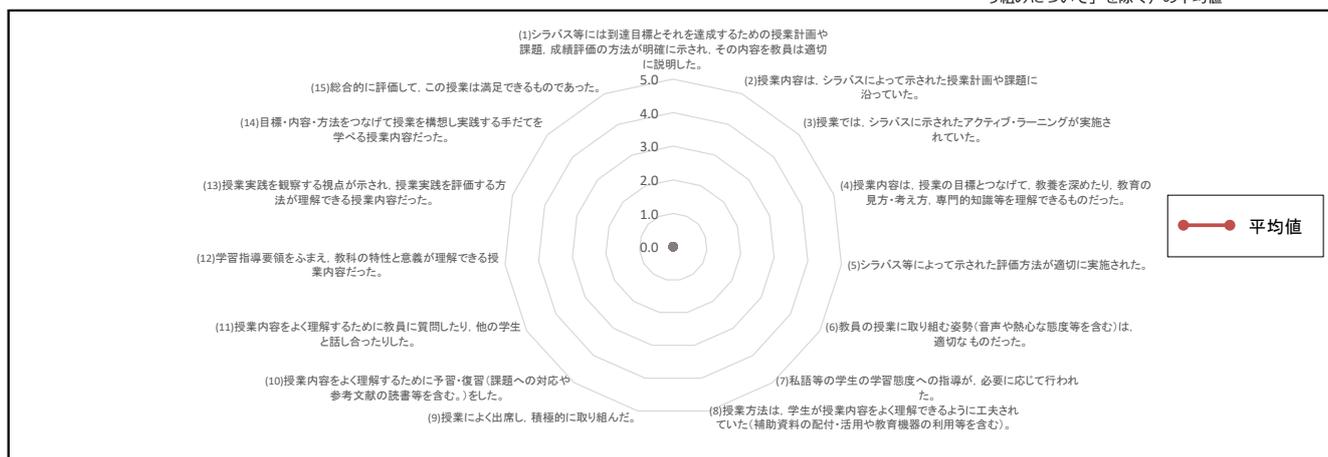
No.	331	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（図工・美術）		回答者数	0	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	山木 朝彦, 山田 芳明, 小川 勝, 鈴木 久人, 栗原 慶, 内藤 隆, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

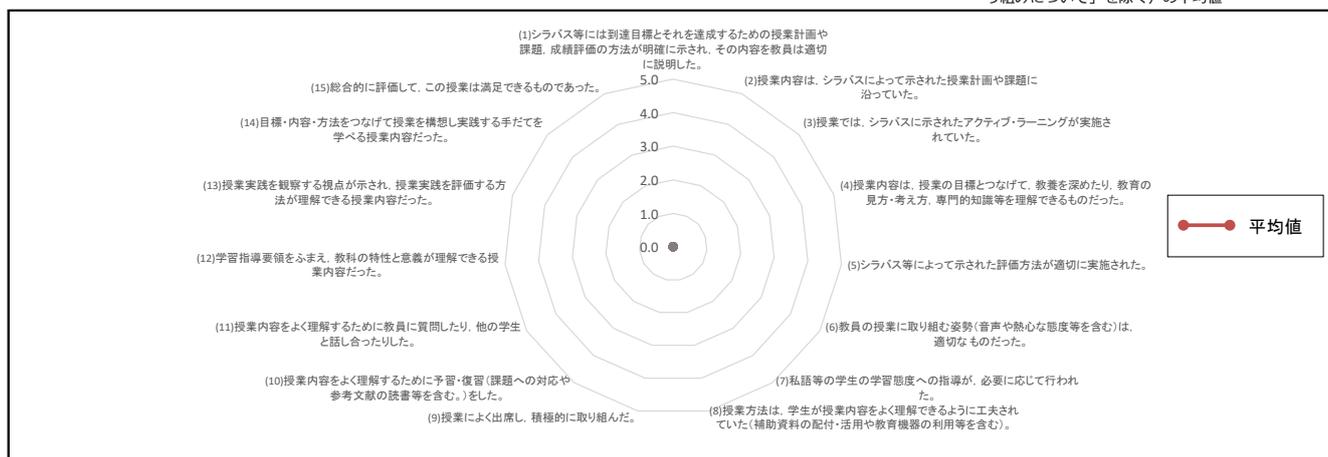
No.	332	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（体育・保体）	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	湯口 雅史, 田中 弘之, 綿引 勝美, 藤田 雅文, 松井 敦典, 南 隆尚, 泉 彩夏				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2. 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3. あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4. 教育実践コア科目について	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

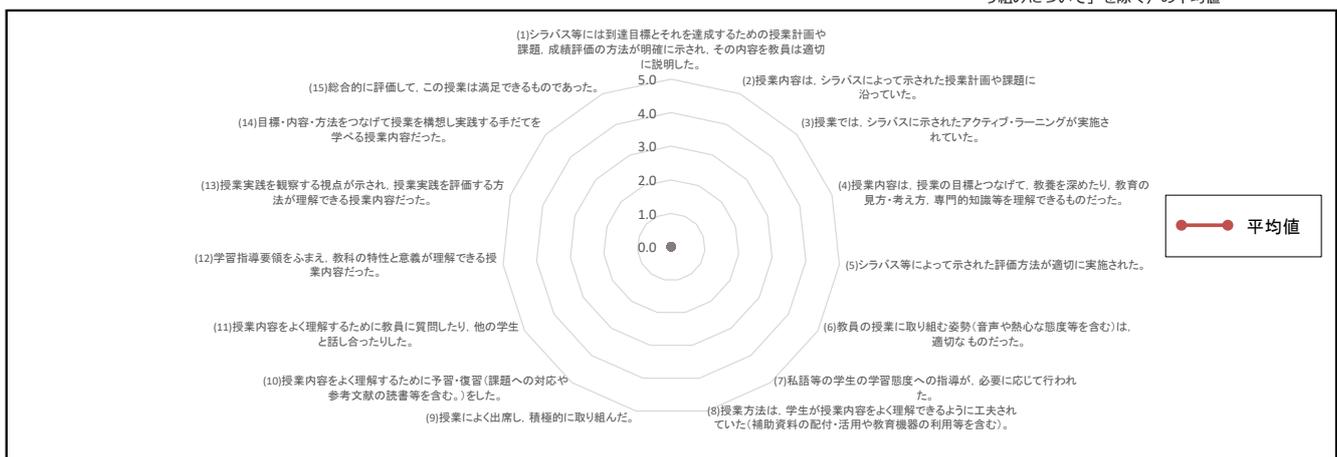
No.	333	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（技術）	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	阪東 哲也, 伊藤 陽介, 宮下 晃一, 宮本 賢治, 米延 仁志, 曾根 直人, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

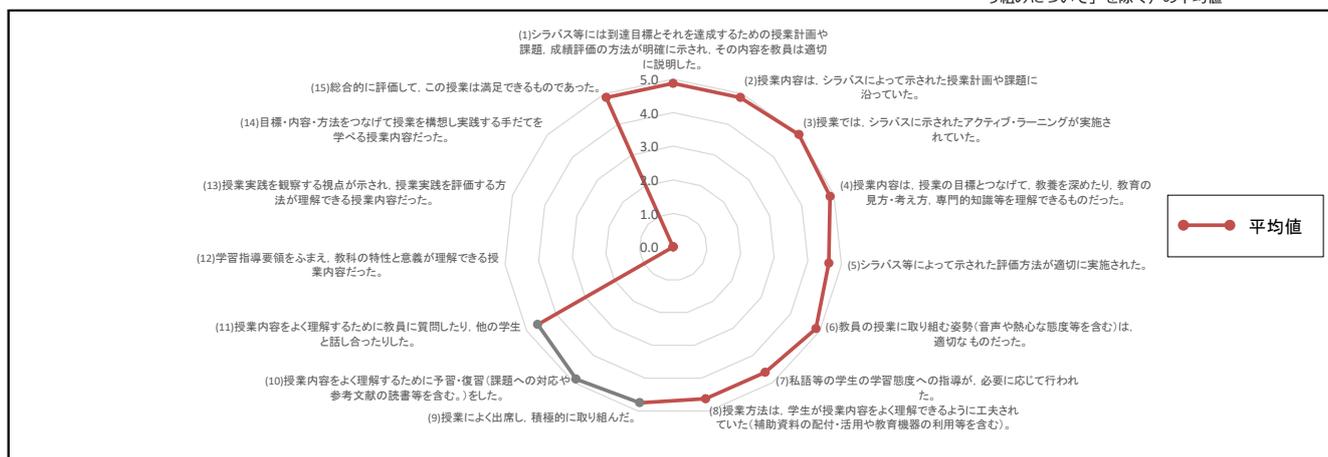
No.	334	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（家庭）	回答者数	8	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	速水 多佳子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	1	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	3	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

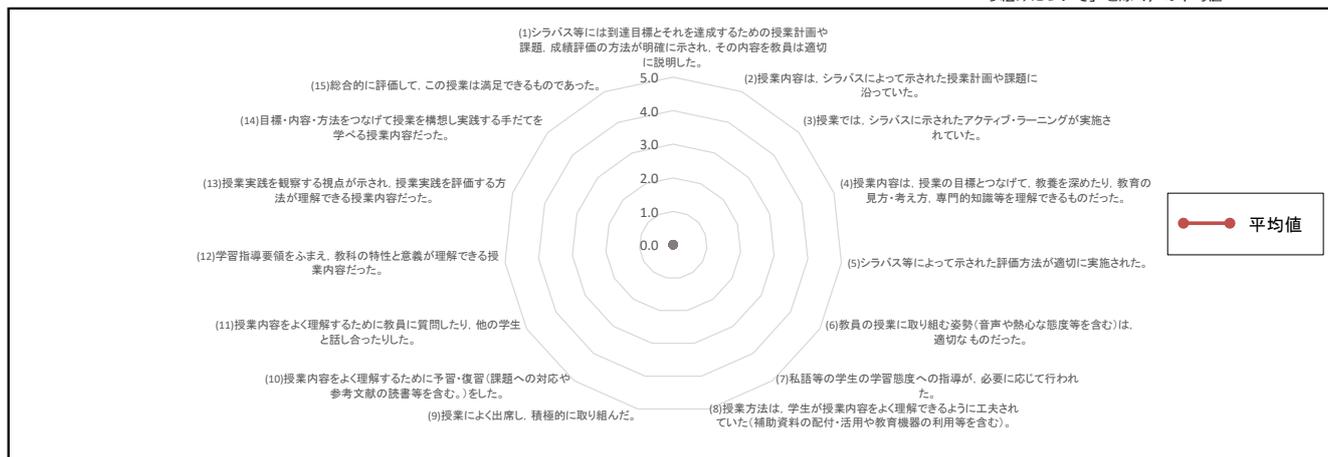
No.	335	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教職実践演習（幼・小・中・高）（特別支援）	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	田中 淳一, 高原 光恵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

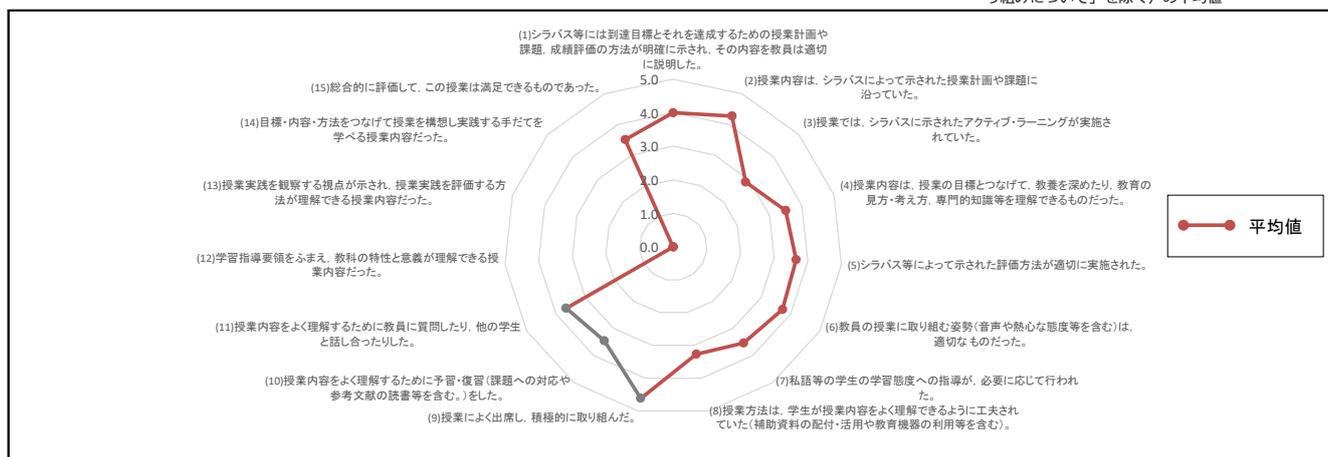
No.	336	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	開発と環境	回答者数	26	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	青葉 暢子, 田村 和之, 島山 輝雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	12	7	3	3	1	4.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	6	3	1	1	4.3
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	6	4	3	8	2.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	6	6	3	3	3.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	7	9	2	1	3.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	11	6	3	3	3	3.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	10	2	9	2	3	3.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	10	3	3	5	3.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	17	8	1	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	10	2	6	2	3.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	7	4	4	2	3.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	11	1	2	5	3.5

総合評価	3.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

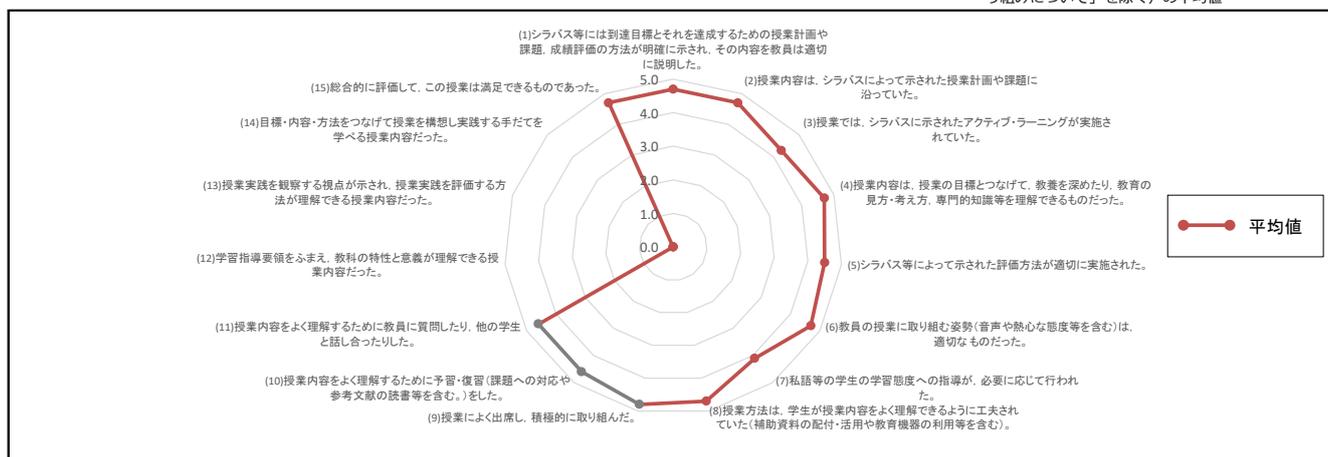
No.	337	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	人口と食糧問題	回答者数	10	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	宮口 智成, 西川 和孝, 畠山 輝雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	3	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	5	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	3	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	7	1	0	0	4.1
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	3	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	4	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	2	1	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	3	0	0	0	4.7

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

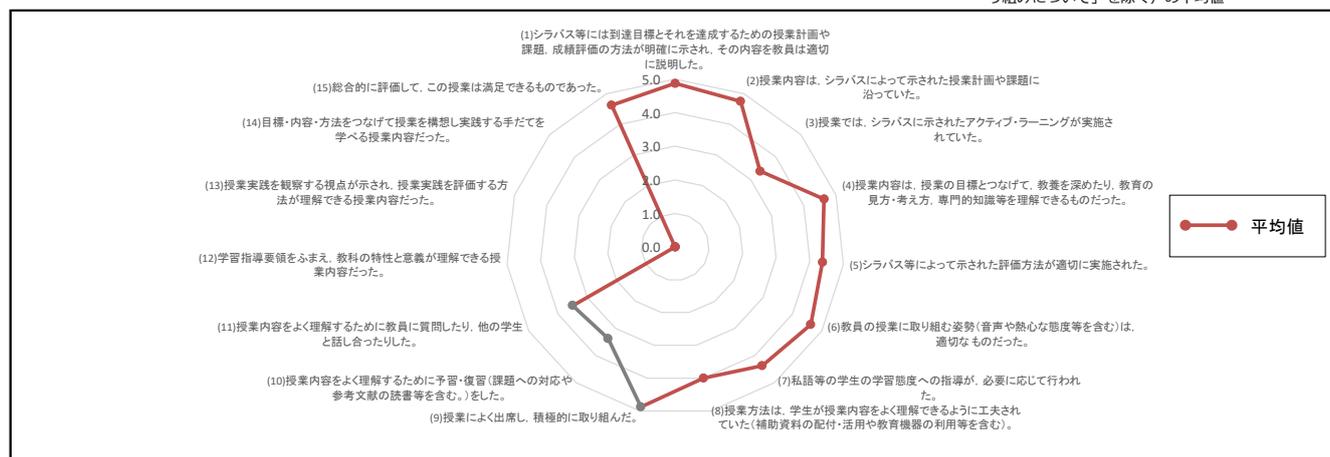
No.	338	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	科学技術と社会	回答者数	8	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	伊藤 陽介, 宮下 晃一, 阪東 哲也, 胸組 虎胤, 工藤 慎一, 粟田 高明, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	1	2	1	3.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	0	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	0	0	0	4.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	3	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	3	1	0	0	4.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	4	0	0	1	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	2	1	3	0	3.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	1	2	1	1	3.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	1	1	0	0	4.6

総合評価	4.4
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

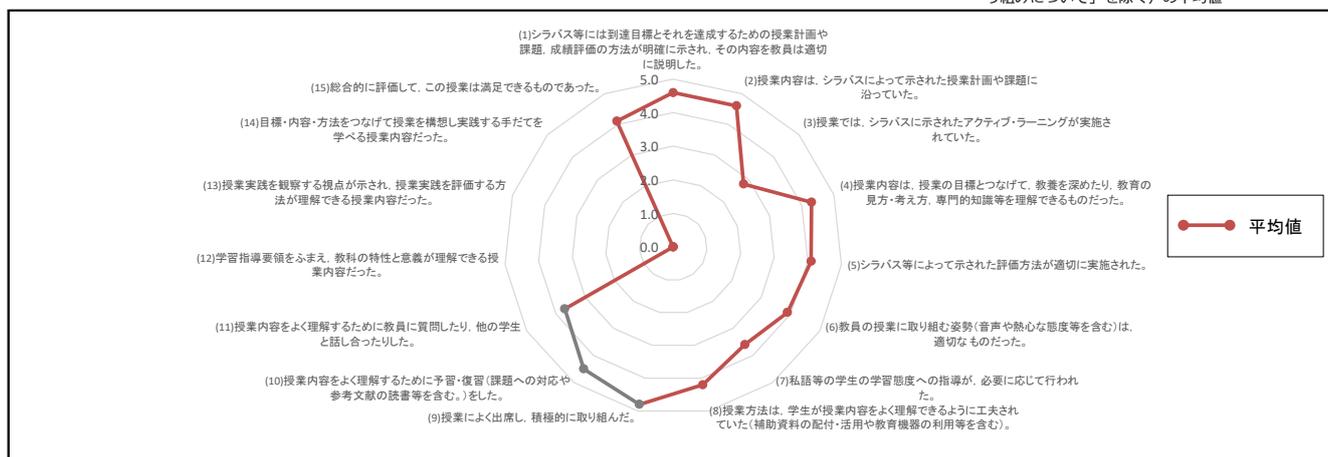
No.	339	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	人権確立の歴史	回答者数	10	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	芝山 明義, 高橋 眞琴, 大谷 博俊, 井上 とも子, 町田 哲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	4	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	4	0	0	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	3	1	3	2.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	1	0	4.3
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	3	3	0	0	4.1
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	6	1	1	0	3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	4	2	2	0	3.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	6	1	0	0	4.2
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	7	1	2	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	5	1	2	0	3.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	6	0	1	0	4.1

総合評価	4.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

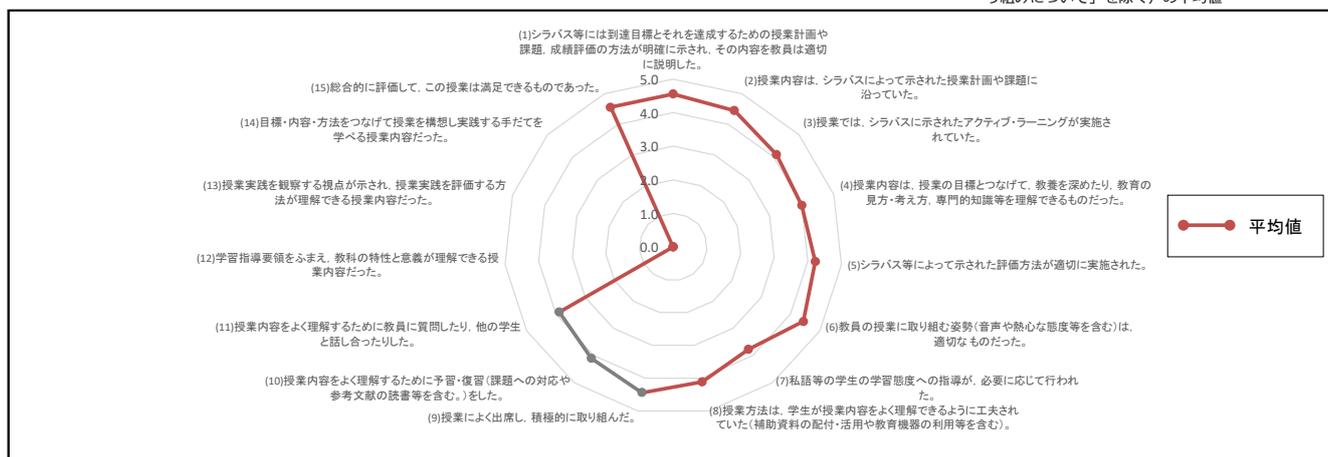
No.	340	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	東洋の文化研究	回答者数	9	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	小川 勝, 平川 恵実子, 山根 秀憲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	4	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	0	0	0	4.4
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	4	2	0	0	4.1
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	7	1	0	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	1	0	0	4.2
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	5	0	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	5	3	0	0	3.8
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	4	2	0	0	4.1
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	5	0	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	6	1	0	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	6	2	0	0	3.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	4	0	0	0	4.6

総合評価	4.2
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

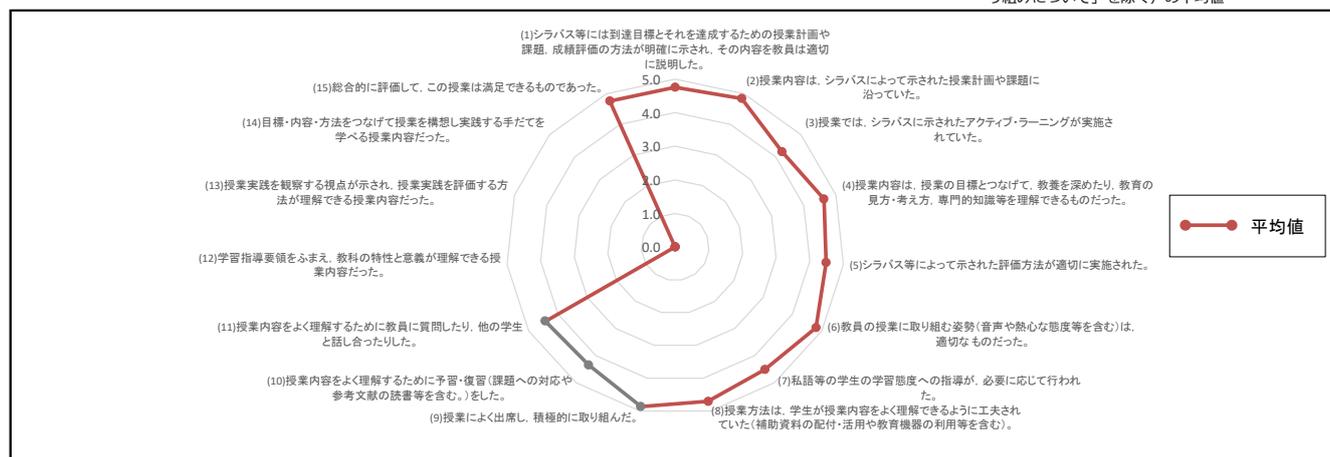
No.	341	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	阿波学（地域文化研究）	回答者数	37	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	畠山 輝雄, 内藤 隆, 皆川 直凡, 久米 禎子, 小倉 正義, 田村 隆宏, 立岡 裕士, 町田 哲, 眞野 豊, 栗原 慶, 南 隆尚, 宮下 晃一, 藤原 伸彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	28	9	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	31	6	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	18	12	6	0	1	4.2
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	24	12	1	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	21	13	3	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	30	7	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	23	10	4	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	26	11	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	32	5	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	17	16	4	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	21	12	3	1	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	28	9	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

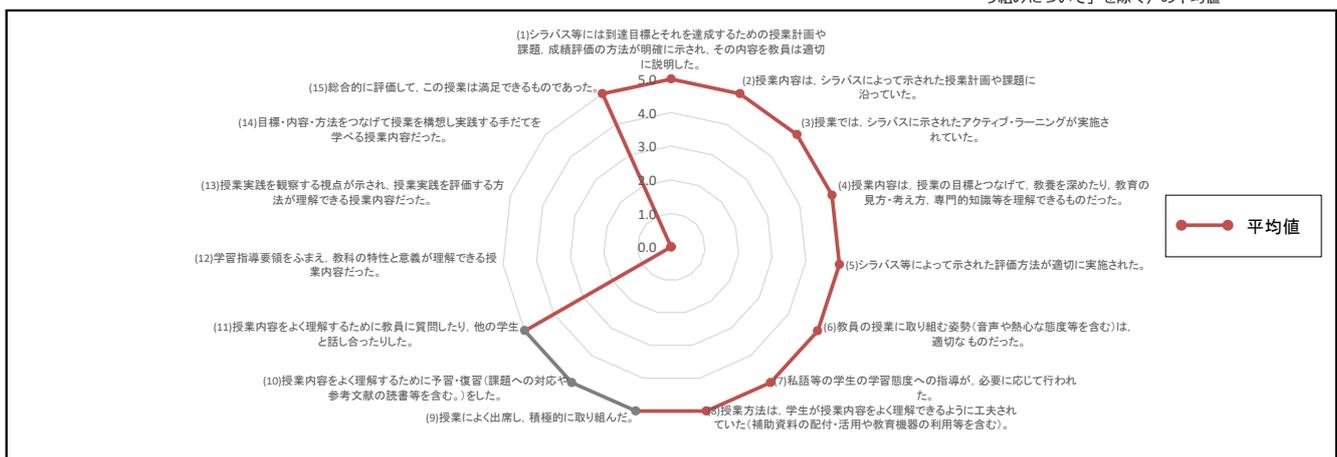
No.	342	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	健康・スポーツ科学 I	回答者数	1	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	藤田 雅文, 松井 敦典, 南 隆尚, 綿引 勝美, 田中 弘之, 泉 彩夏, 小島 理永, 宮本 賢作				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

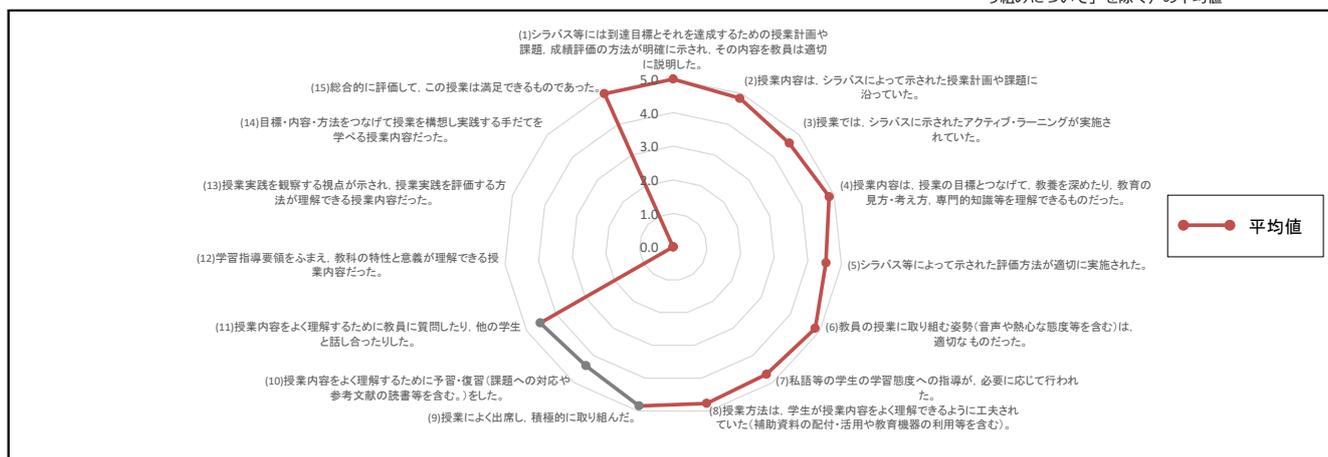
No.	343	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	健康・スポーツ科学Ⅱ	回答者数	13	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	南 隆尚, 綿引 勝美, 松井 敦典, 田中 弘之, 西本 浩章, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	13	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	1	2	0	0	4.6
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	11	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	0	3	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	11	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	9	4	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	3	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	11	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	7	4	2	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	6	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	13	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

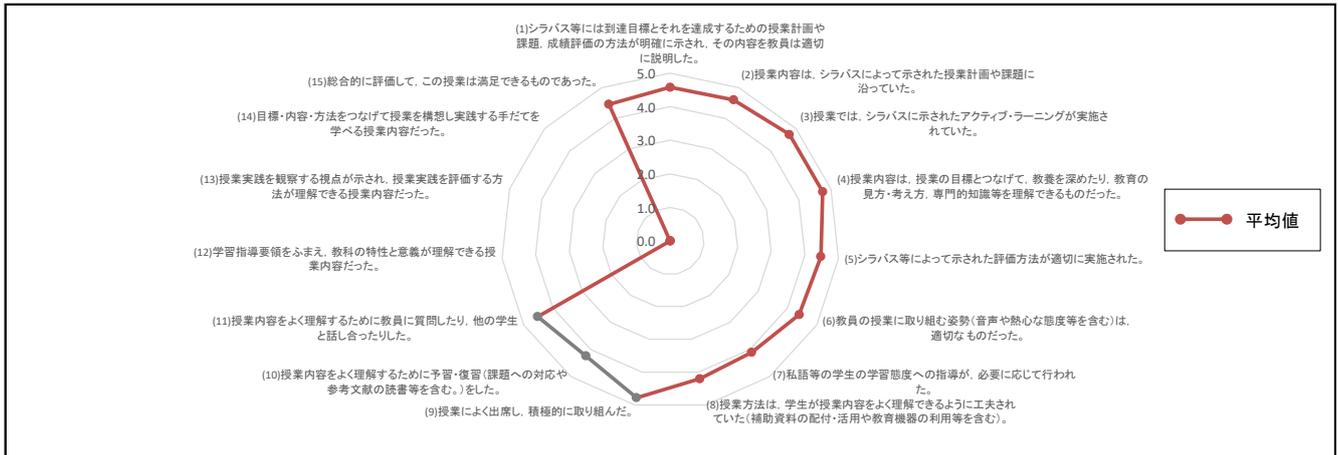
No.	344	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	基礎情報教育 A	回答者数	50	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	阪東 哲也, 曾根 直人, 宮口 智成, 藤原 伸彦, 美井野 優, 大野 将樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	30	19	1	0	0	4.6
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	31	18	1	0	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	38	11	1	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	37	13	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	27	21	1	1	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	26	20	2	2	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	23	16	4	7	0	4.1
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	27	11	7	5	0	4.2
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	42	5	3	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	26	15	5	3	1	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	31	14	5	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	29	16	4	1	0	4.5

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

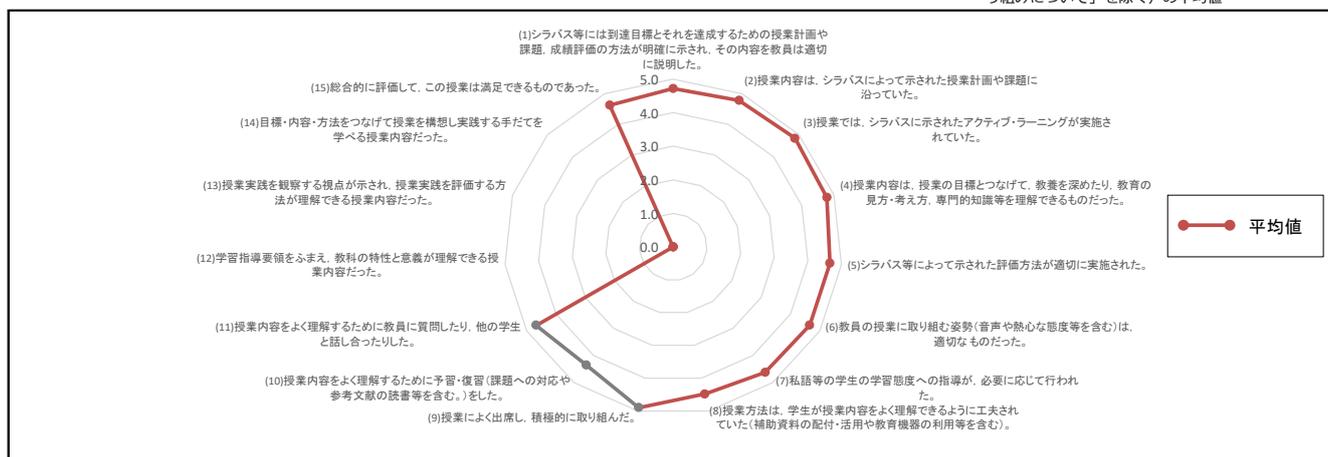
No.	345	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	基礎情報教育 B	回答者数	50	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	阪東 哲也, 曾根 直人, 宮口 智成, 藤原 伸彦, 美井野 優, 大野 将樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	40	7	2	1	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	40	9	1	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	43	6	1	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	42	5	3	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	37	9	4	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	38	9	1	2	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	35	12	2	1	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	32	12	4	2	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	46	3	1	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	26	17	6	1	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	37	10	3	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	36	9	5	0	0	4.6

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

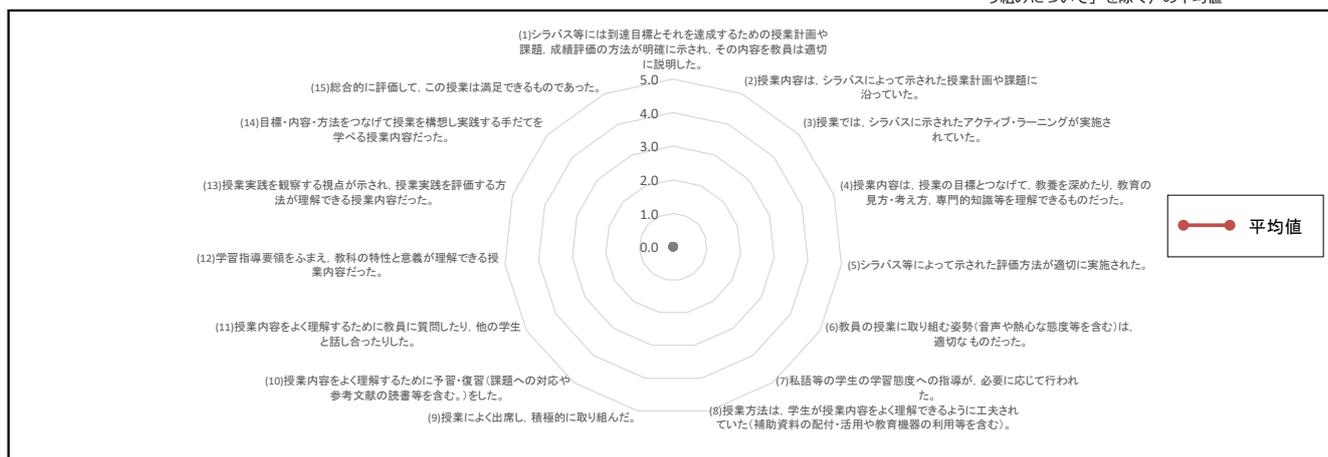
No.	346	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	実践情報教育 I A	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	大野 将樹, 阪東 哲也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

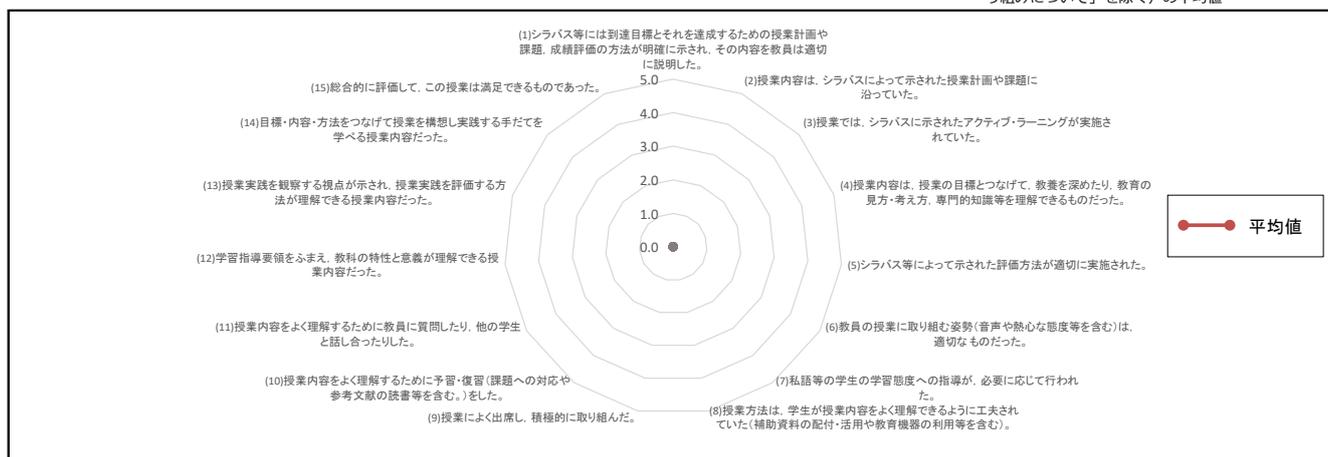
No.	347	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	実践情報教育 I B	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	大野 将樹, 阪東 哲也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

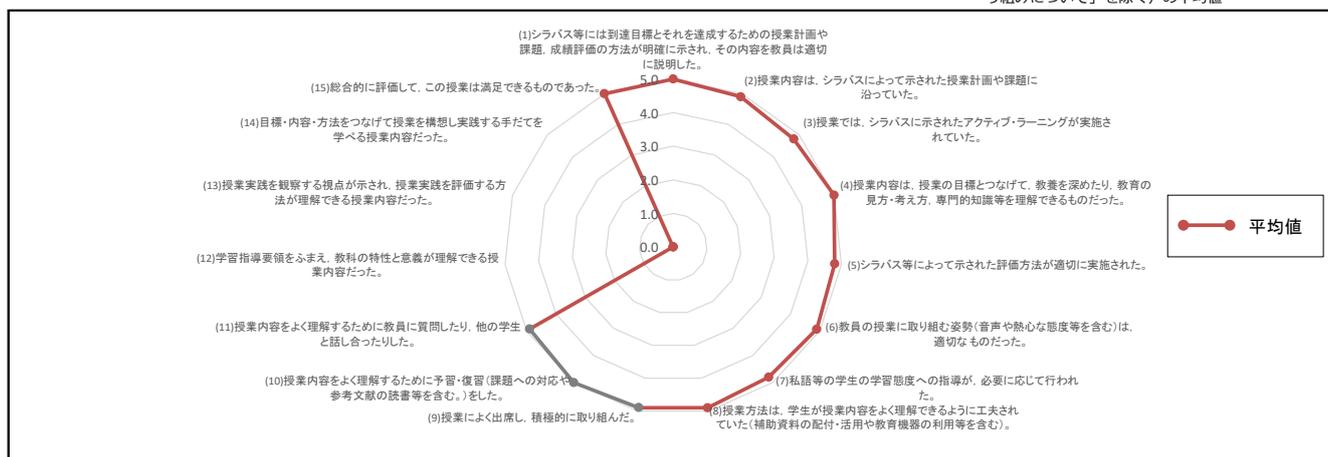
No.	348	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	実践情報教育Ⅱ A	回答者数	10	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	曾根 直人, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	10	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	10	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	2	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	1	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

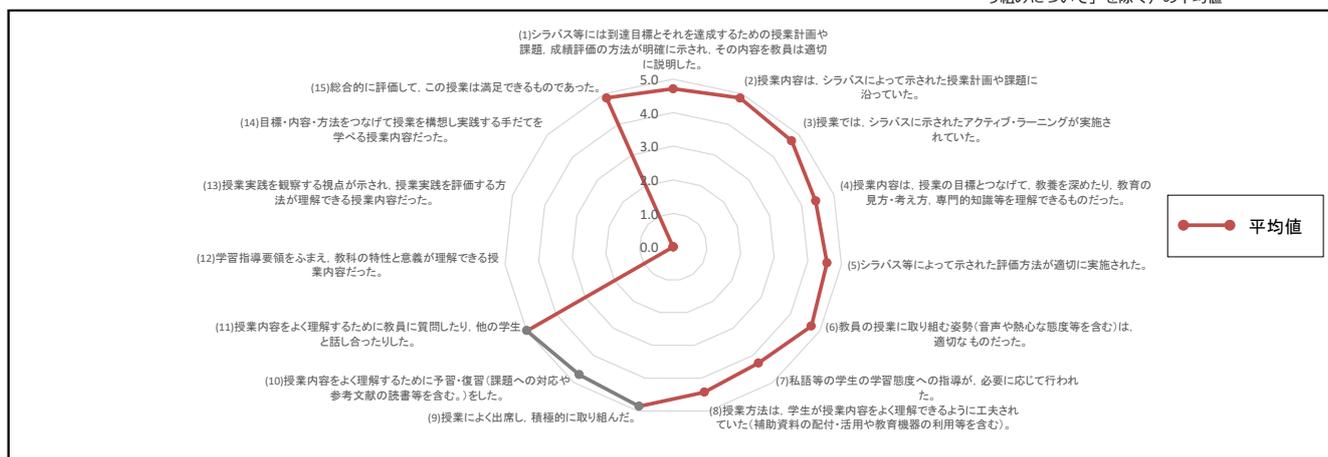
No.	349	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	実践情報教育Ⅱ B	回答者数	7	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	曾根 直人, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	0	1	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	1	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	1	0	0	4.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	0	1	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	0	1	1	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	1	0	1	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	0	1	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

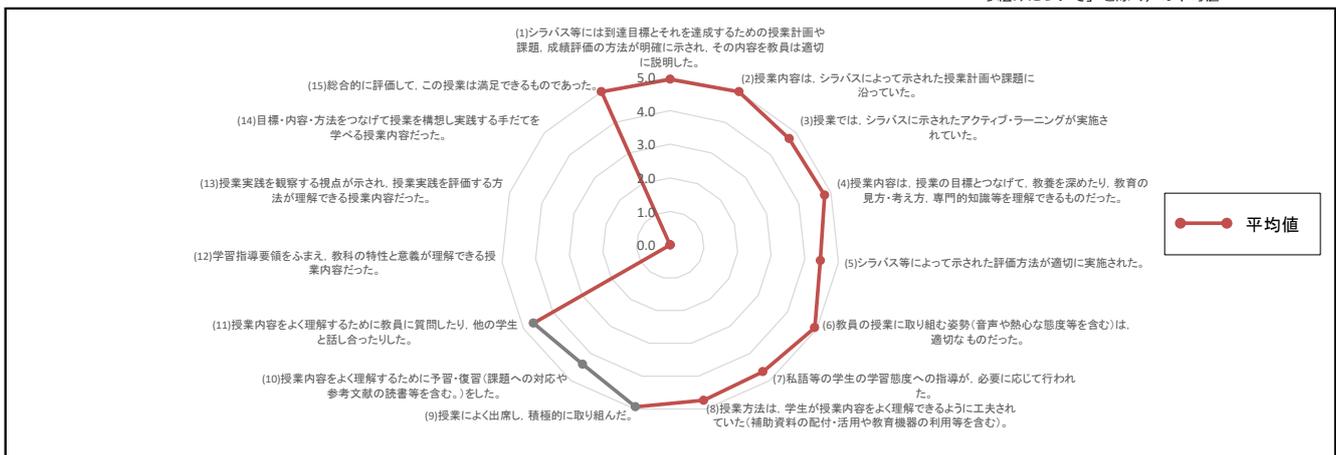
No.	350	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	実践情報教育Ⅲ	回答者数	15	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	鈴木 直美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	14	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	2	1	0	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	12	3	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	4	2	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	10	5	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	4	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	14	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	4	1	1	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	10	5	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	15	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

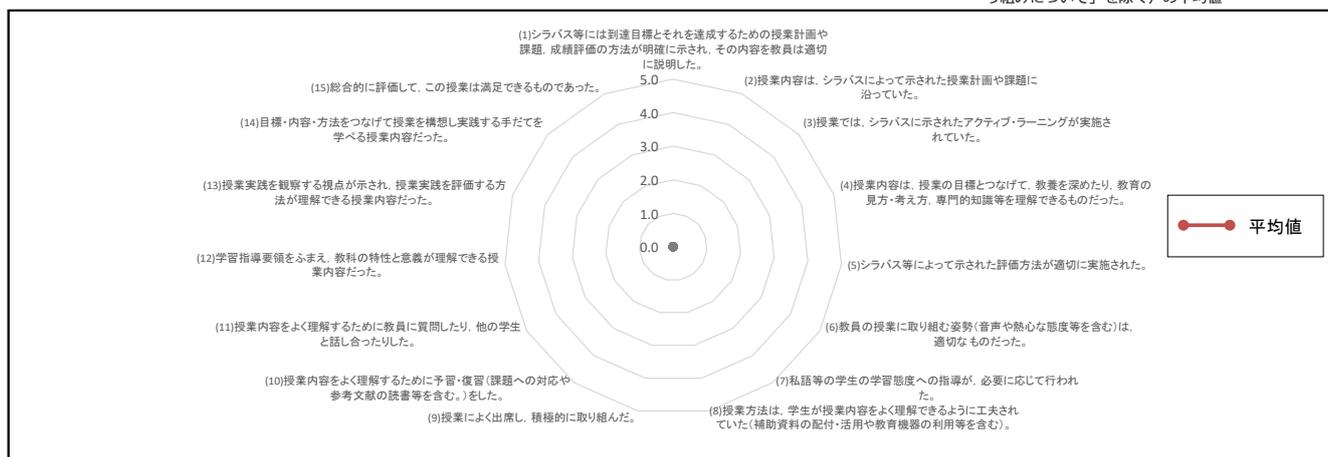
No.	351	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーション I A	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	鎌田スザン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

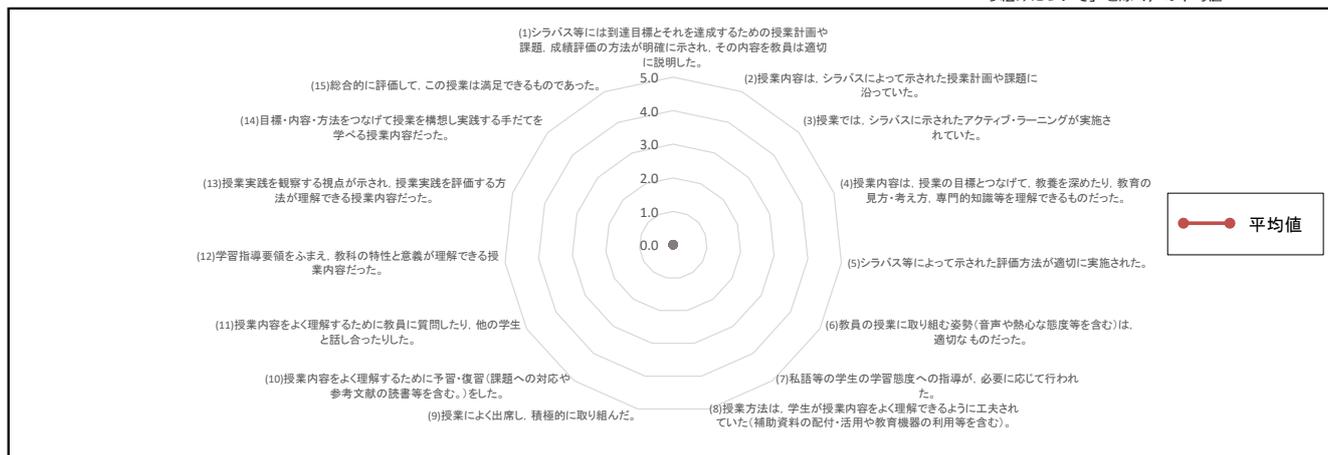
No.	352	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーション I B	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

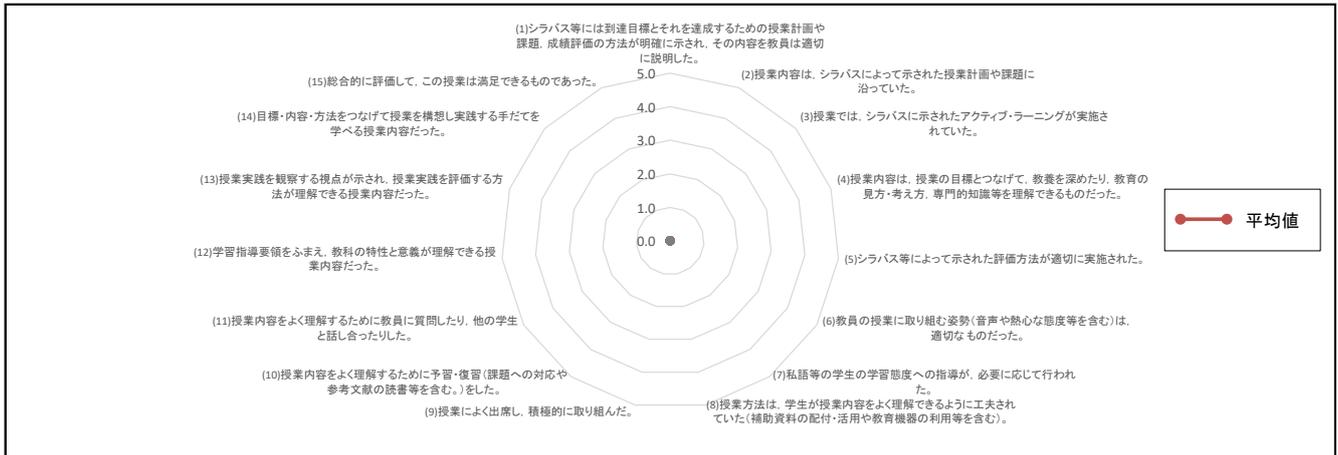
No.	353	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーション I C	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	アーレン ニムチャック				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

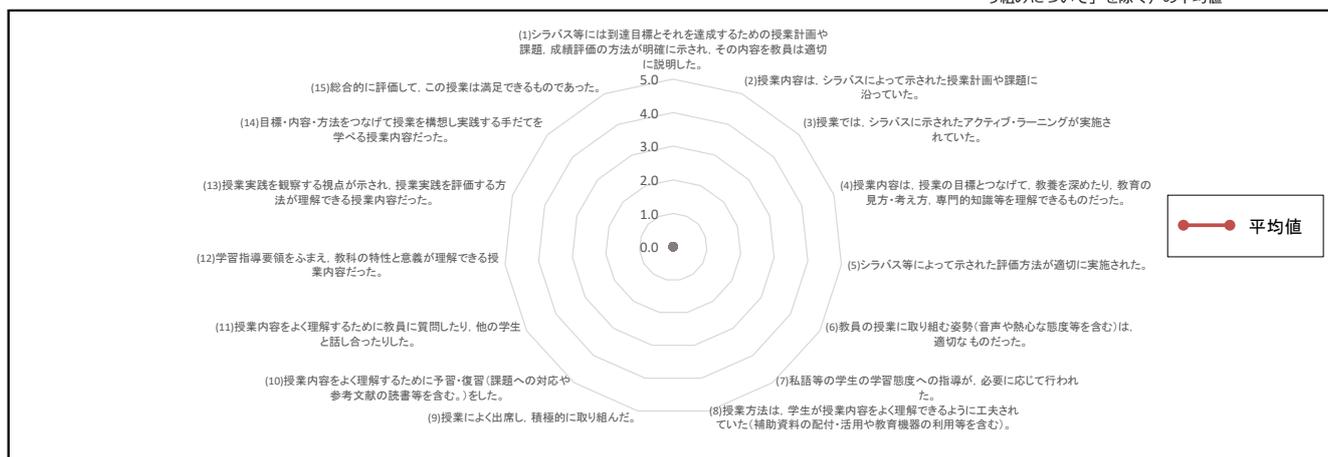
No.	354	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーション I D	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ノトリー・M・マドックス				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

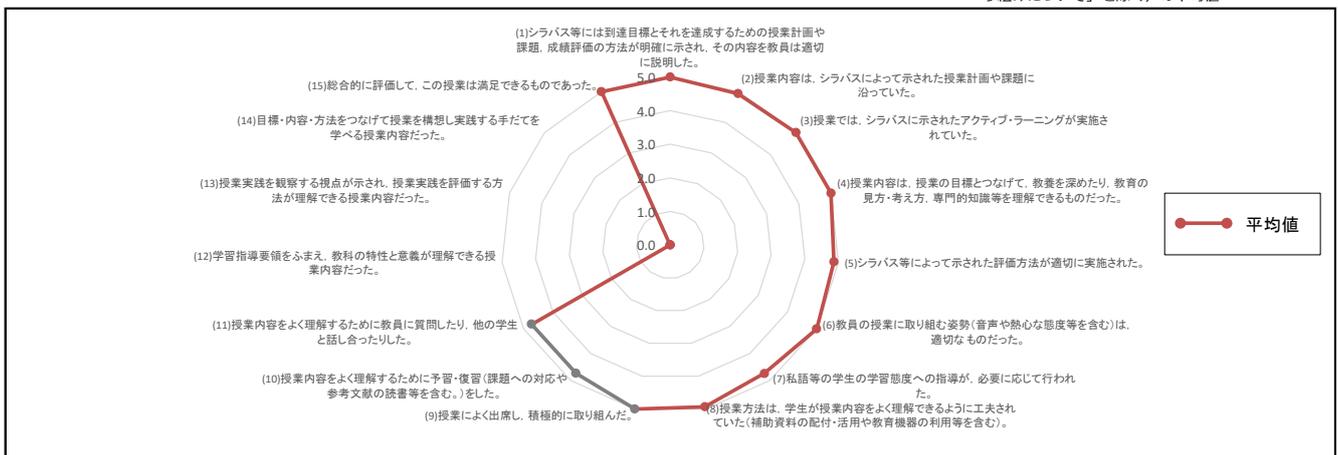
No.	355	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーション I E	回答者数	15	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ジョナサン・D・フロレス				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	15	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	15	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	2	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	15	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	12	2	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	14	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	15	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	11	4	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	12	2	1	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	15	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

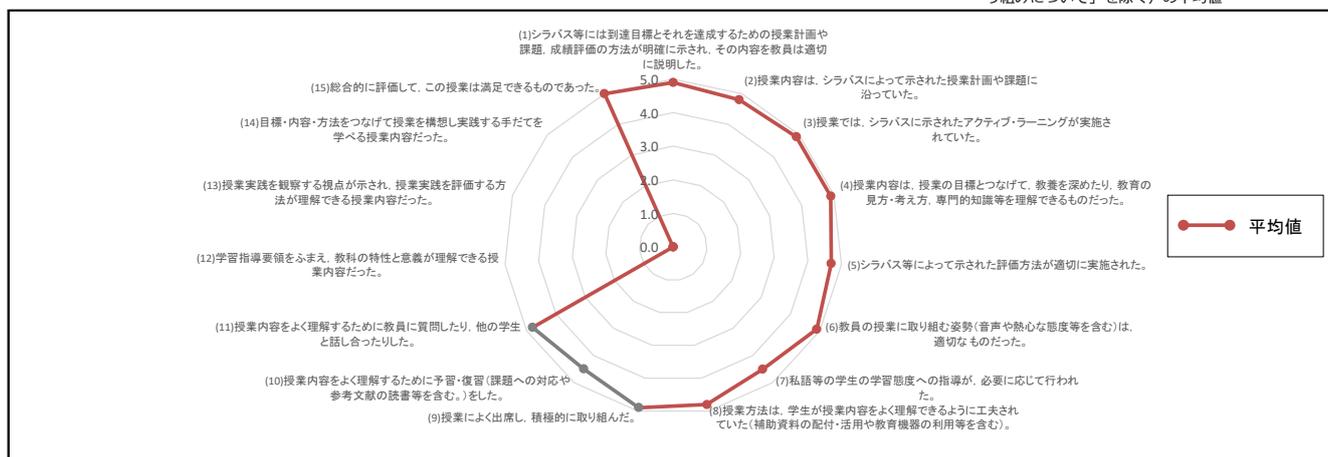
No.	356	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅡ A	回答者数	10	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ジョナサン・D・フロレス				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	1	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	1	2	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	3	1	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	8	2	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

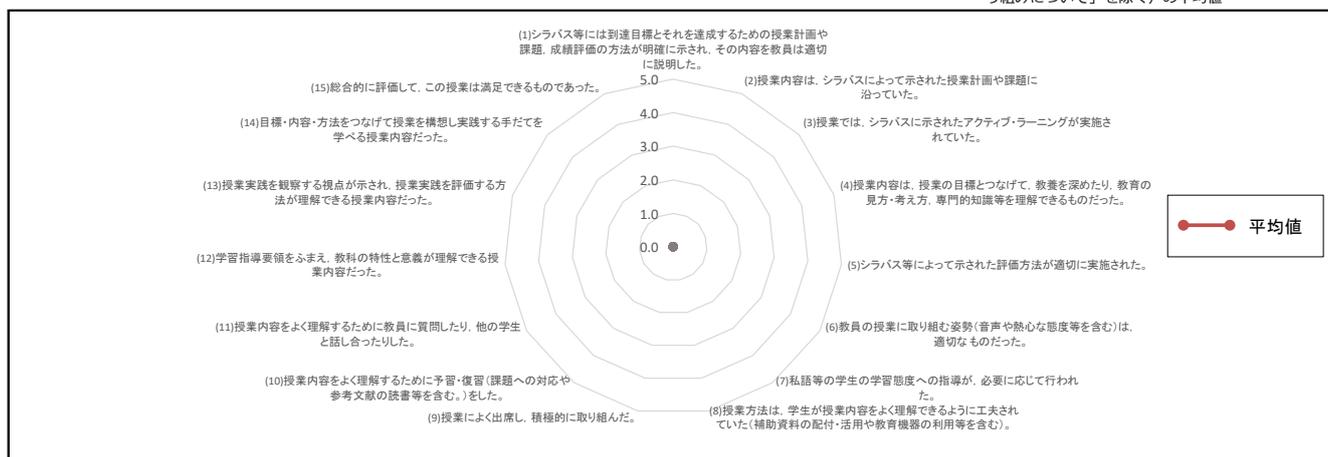
No.	357	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅡ B	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	アーレン ニムチャック				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

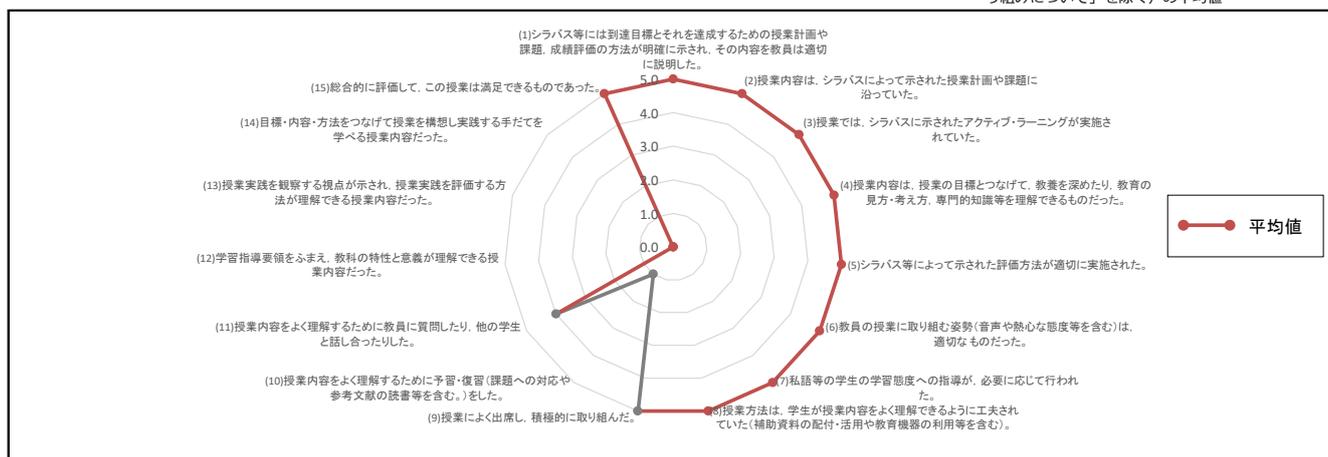
No.	358	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅡ C	回答者数	1	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ノトリー・M・マドックス				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	1	1.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

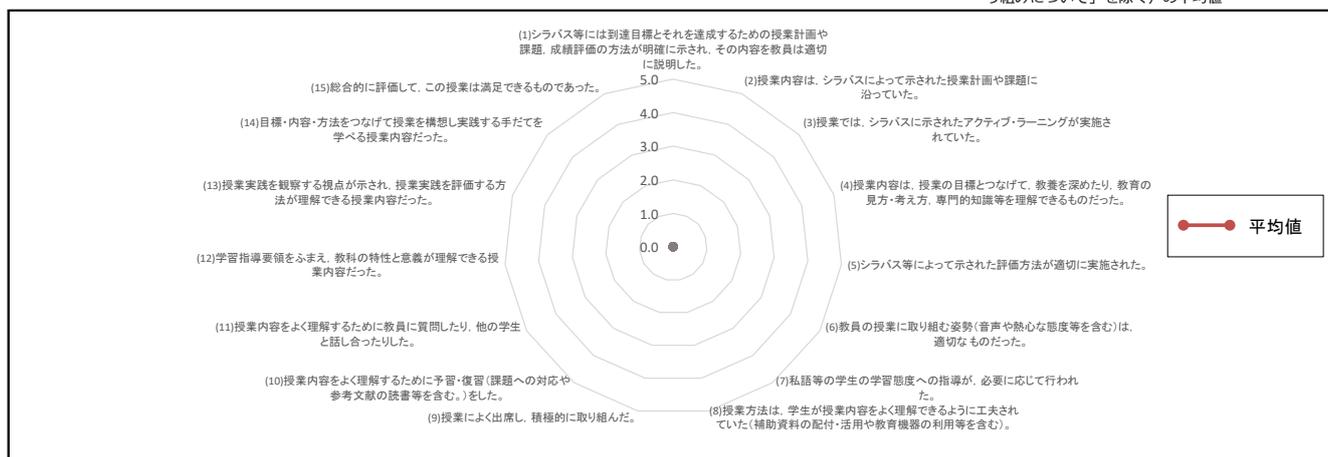
No.	359	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅡ D	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

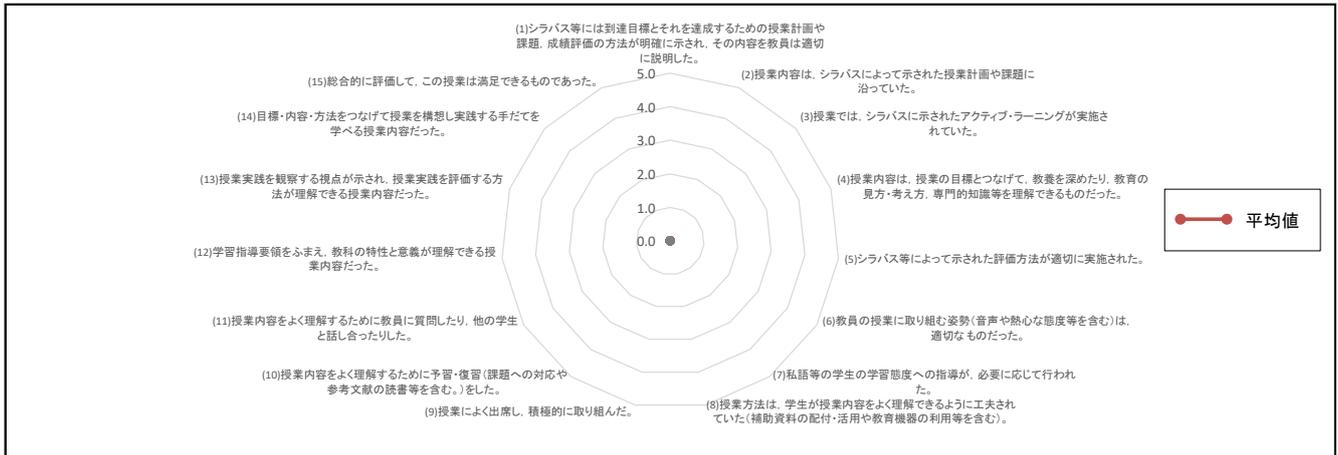
No.	360	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅡ E	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	鎌田スザン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

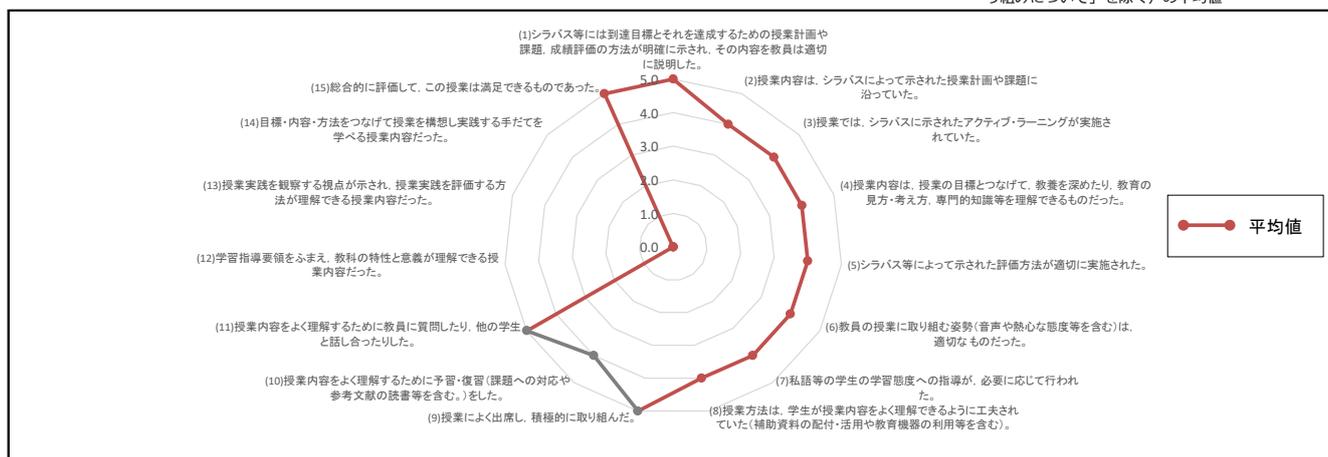
No.	361	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅢ A	回答者数	1	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	アーレン ニムチャック				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.2
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

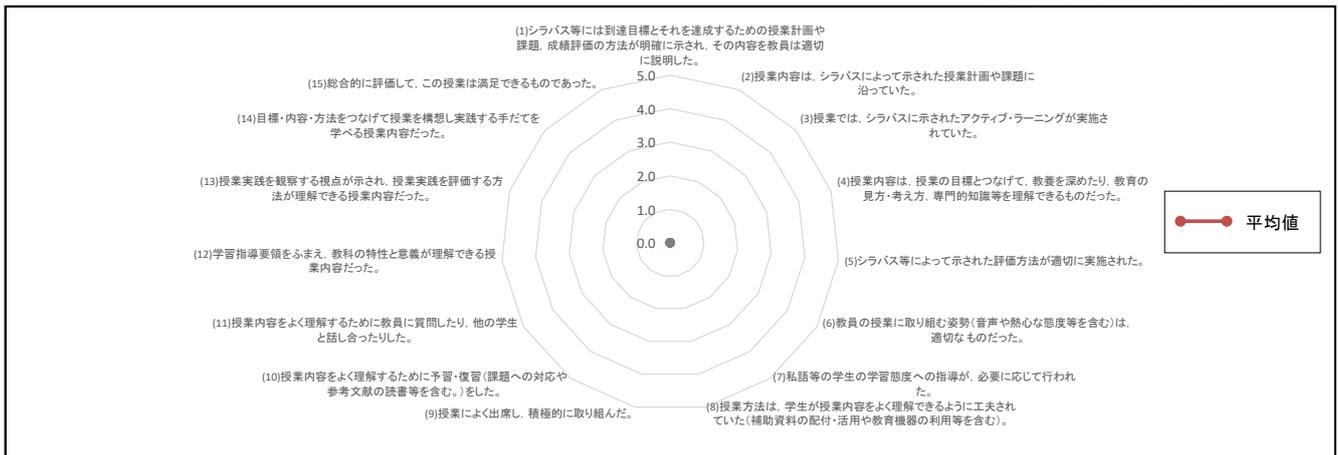
No.	362	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅢ B	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ノトリー・M・マドックス				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

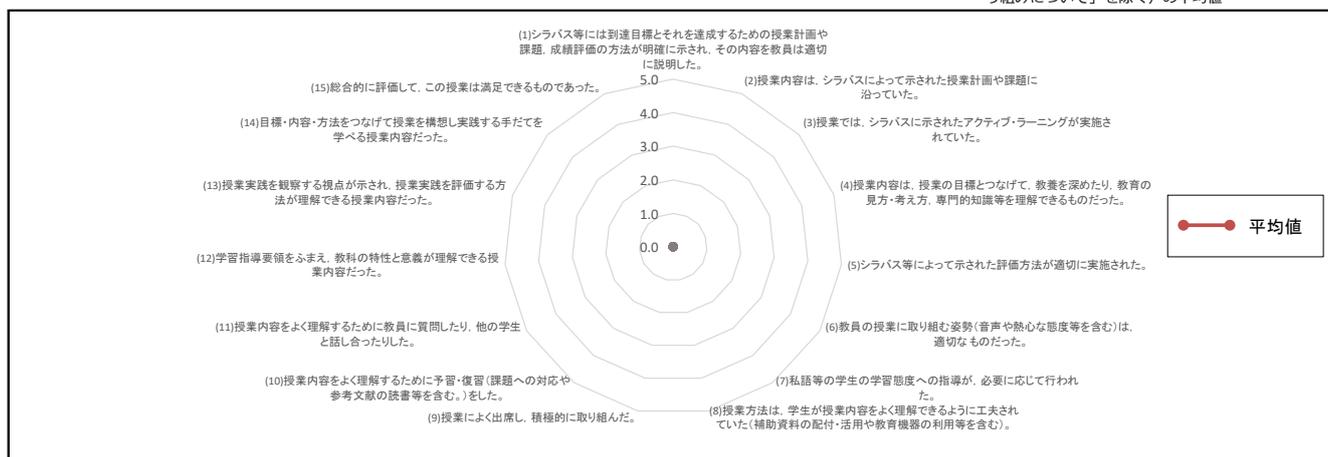
No.	363	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅢ C	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	鎌田スザン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

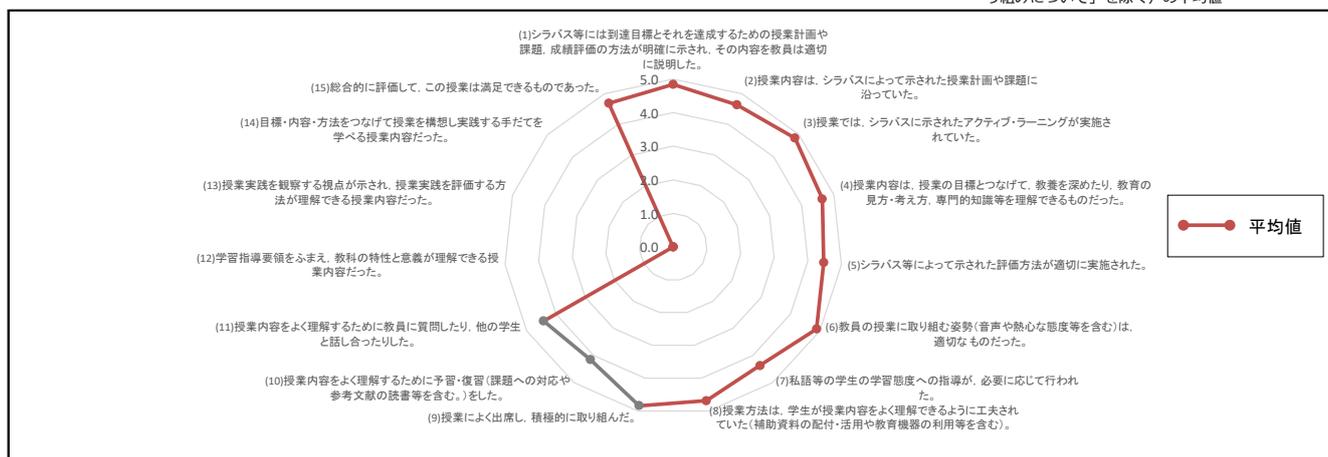
No.	364	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅢ D	回答者数	19	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ジョナサン・D・フロレス				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	16	3	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	3	2	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	16	3	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	12	7	0	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	4	3	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	17	2	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	10	6	3	0	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	4	1	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	16	3	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	8	1	2	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	9	1	0	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	14	4	1	0	0	4.7

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

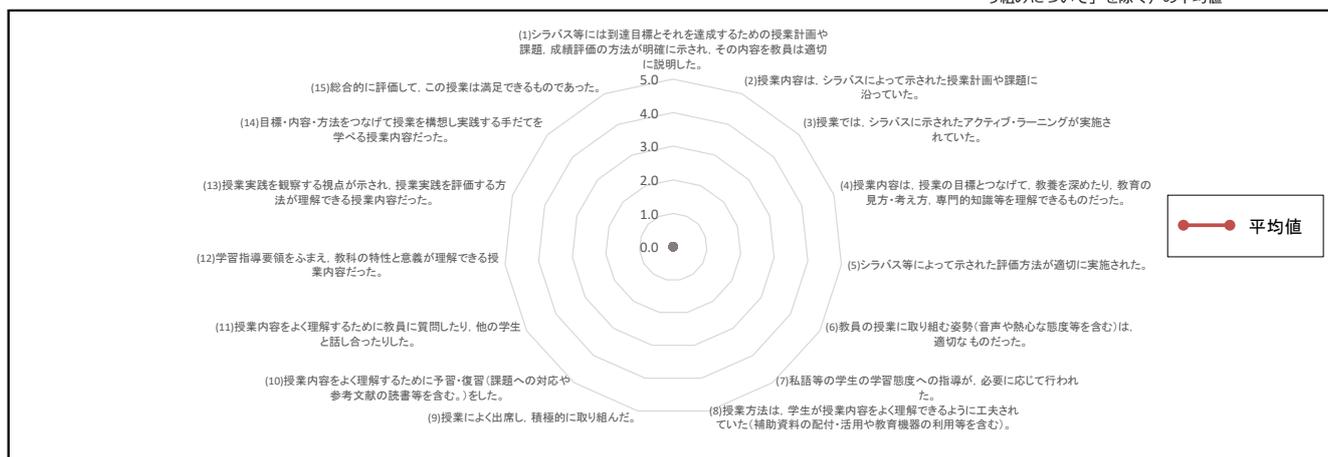
No.	365	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅢ E	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

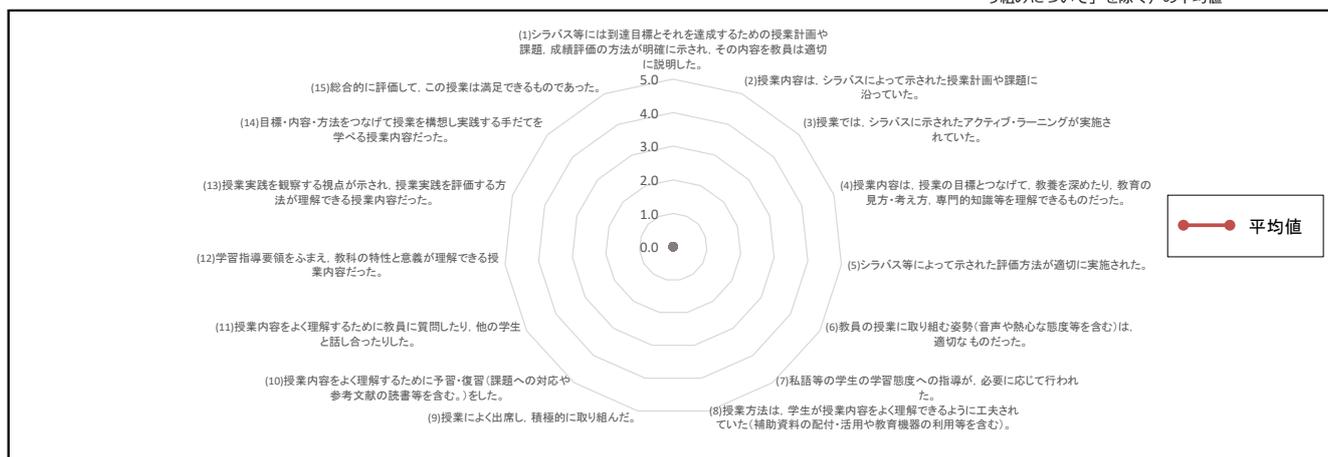
No.	366	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅣ A	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

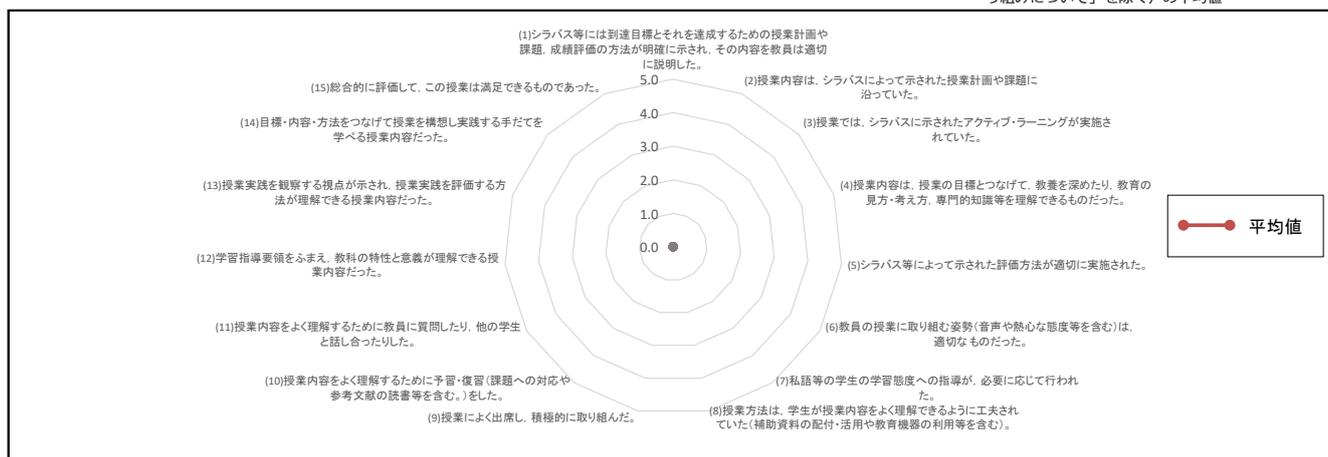
No.	367	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅣ B	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	鎌田スザーン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

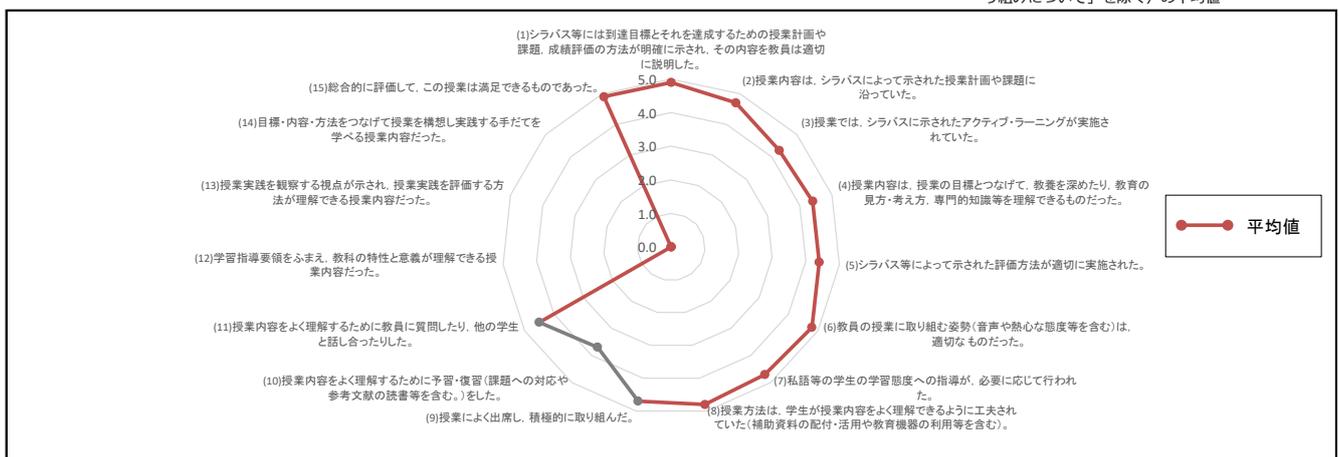
No.	368	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅣ C	回答者数	10	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ジョナサン・D・フロレス				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	1	0	1	4.3
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	1	1	0	4.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	2	0	0	4.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	0	1	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	1	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	0	1	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	3	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	2	2	1	1	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	5	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

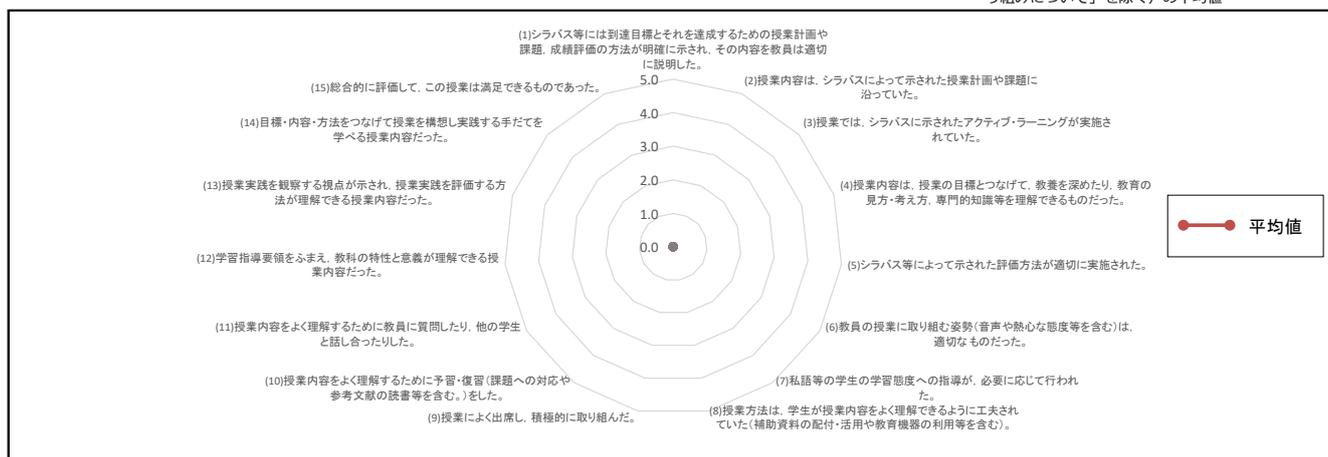
No.	369	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅣ D	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	アーレン ニムチャック				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

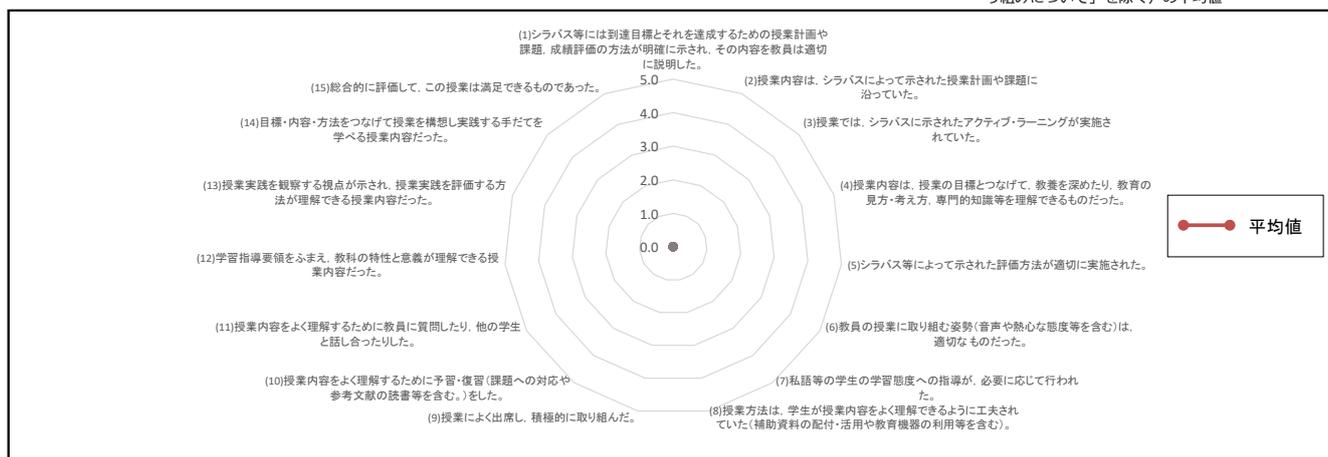
No.	370	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅣ E	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ノトリー・M・マドックス				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

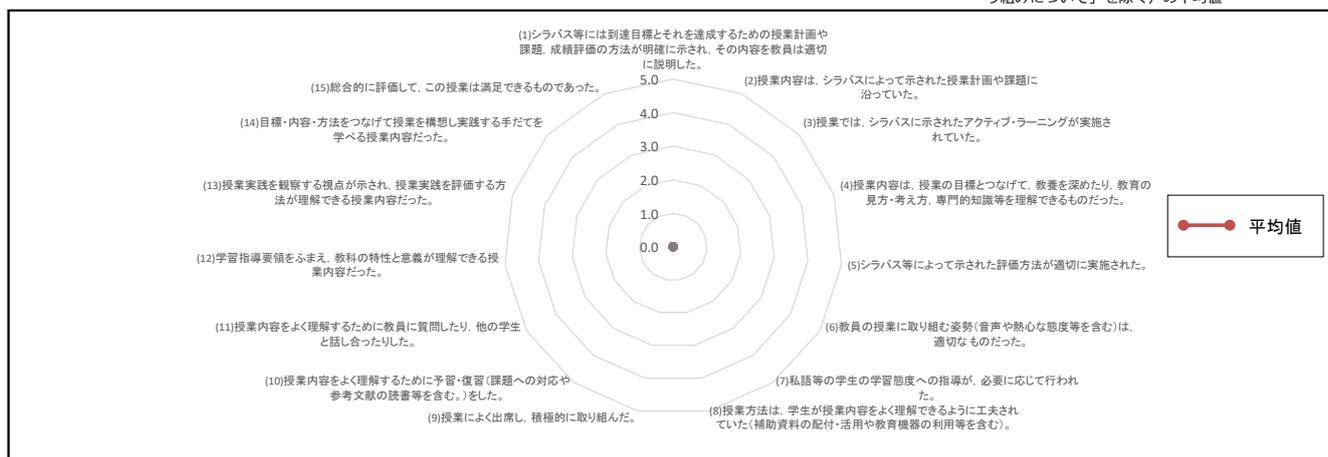
No.	371	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	英語コミュニケーションⅤ	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

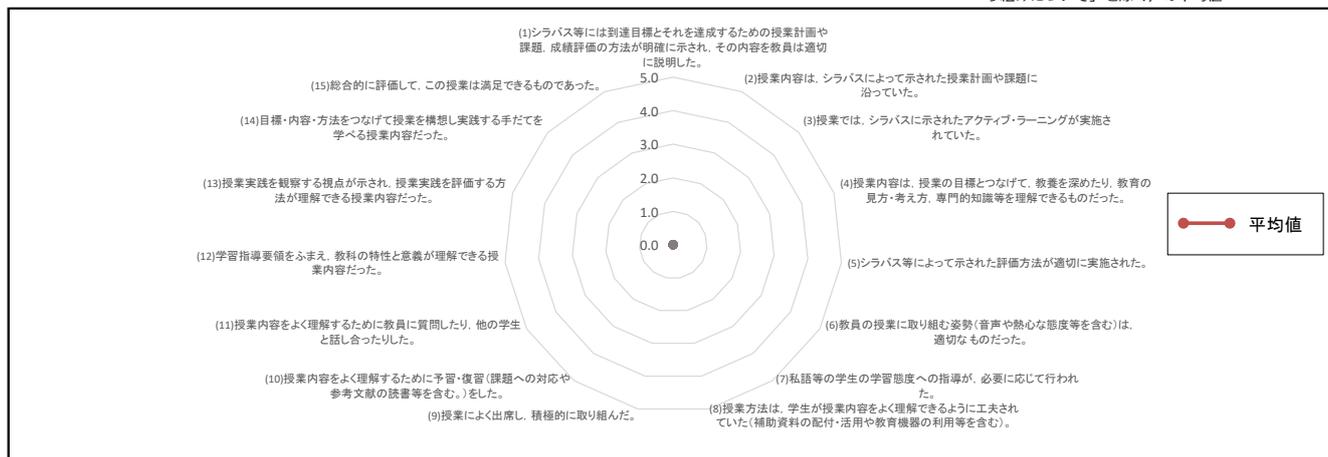
No.	372	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	英語リーディング I A	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	数下 克彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

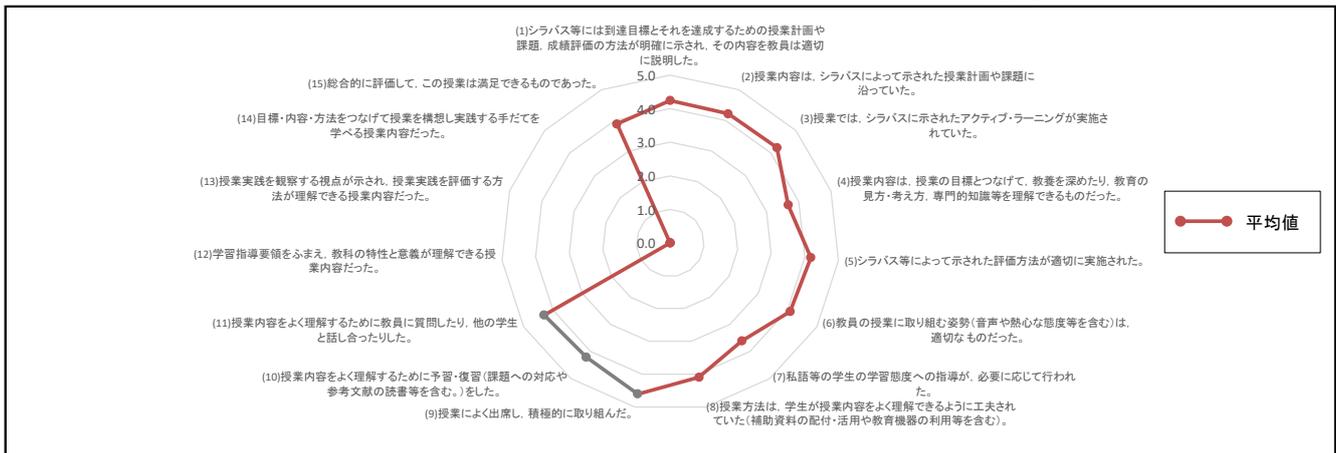
No.	373	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	英語リーディング I B	回答者数	33	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	フロレス 祐子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	20	7	2	2	2	4.2
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	11	2	1	2	4.2
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	18	9	4	0	2	4.2
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	13	5	8	5	2	3.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	18	7	6	0	2	4.2
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	18	6	5	2	2	4.1
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	10	8	9	4	2	3.6
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	18	8	3	0	4	4.1
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	25	5	2	0	1	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	18	8	4	2	1	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	22	4	4	1	2	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	15	8	3	5	2	3.9

総合評価	4.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

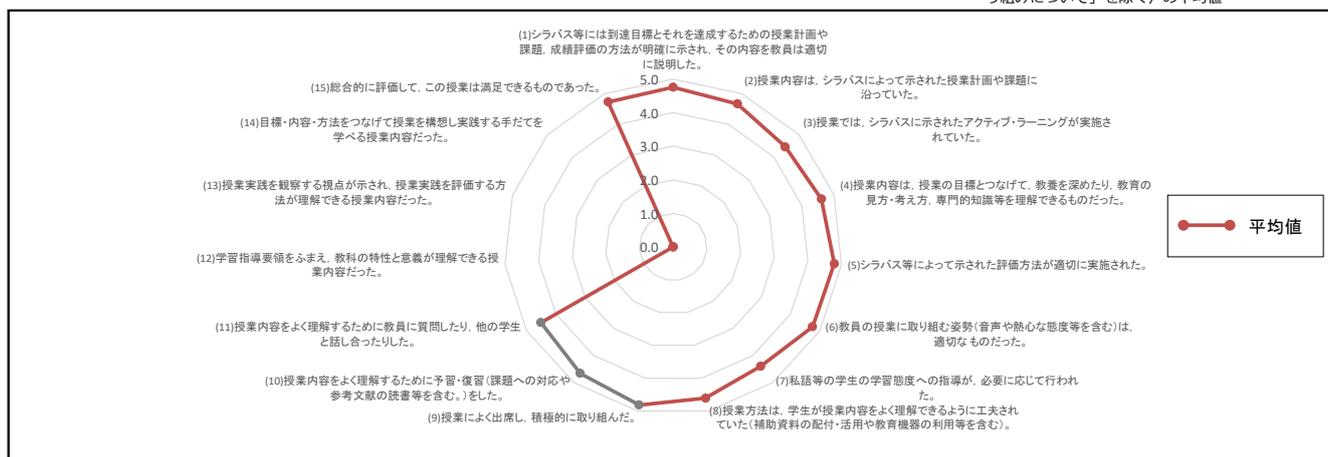
No.	374	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	英語リーディング I C	回答者数	33	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	西島 俊彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	26	6	1	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	7	2	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	17	14	2	0	0	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	23	8	1	1	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	26	7	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	27	5	0	1	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	17	13	2	1	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	23	7	3	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	27	6	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	24	8	0	1	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	21	10	1	0	1	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	27	4	1	1	0	4.7

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

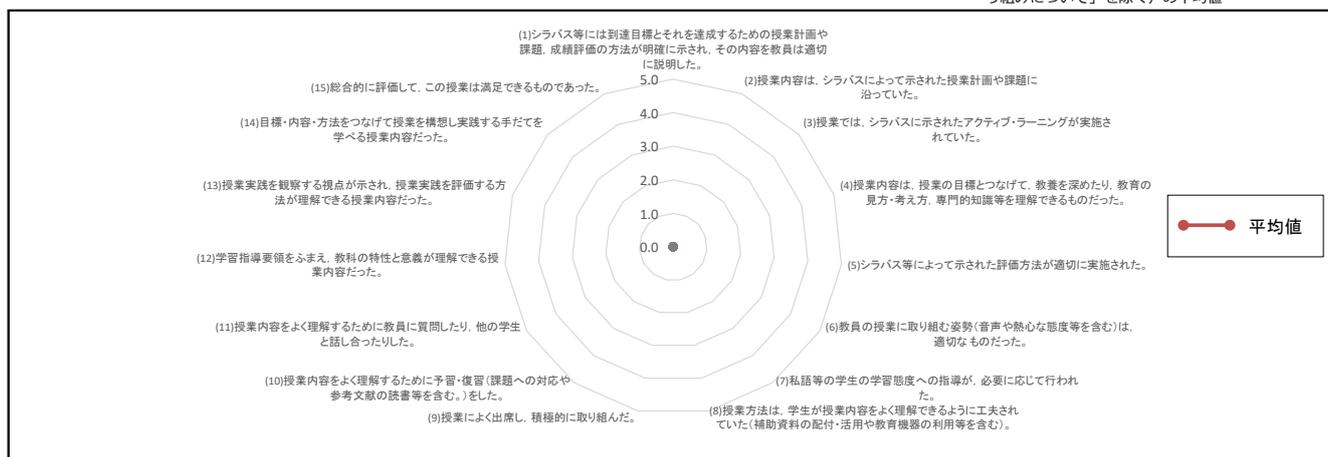
No.	375	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	英語リーディングⅡ A	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	小笠原 麻衣子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

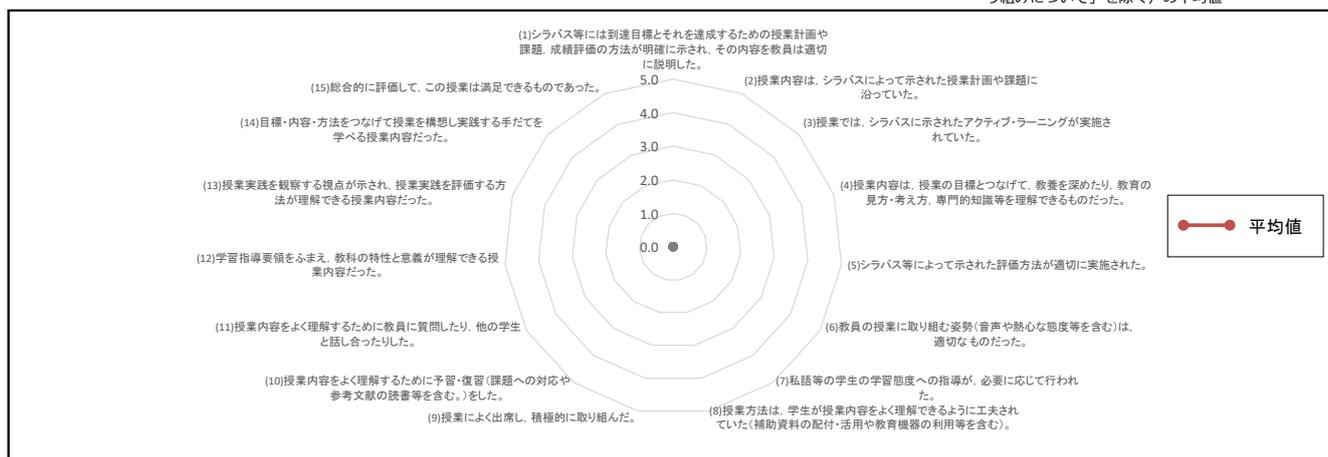
No.	376	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	英語リーディングⅡ B	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	木口 圭子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

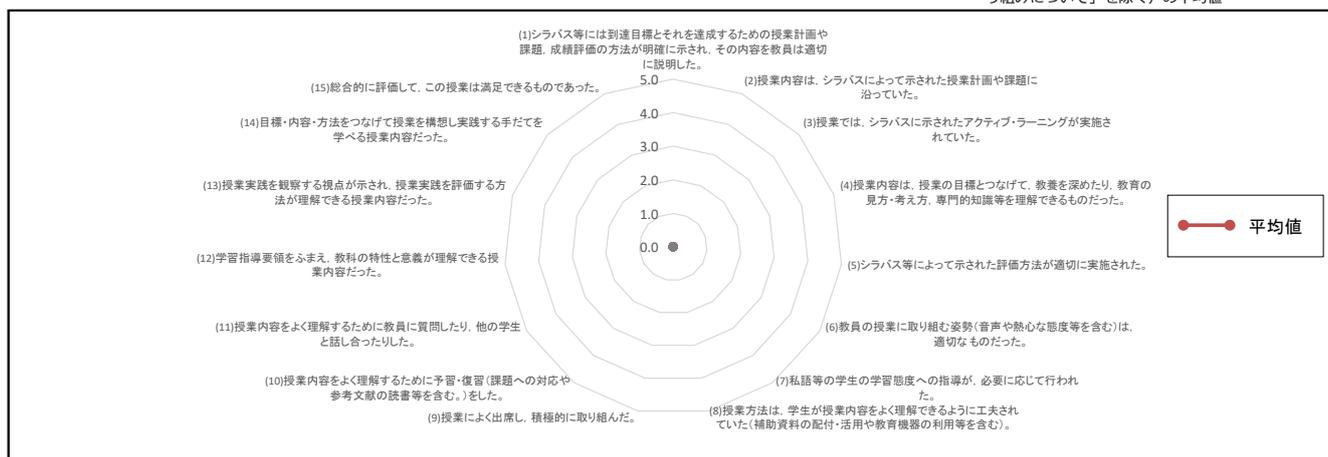
No.	377	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	英語リーディングⅡ C	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	森山 倭成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

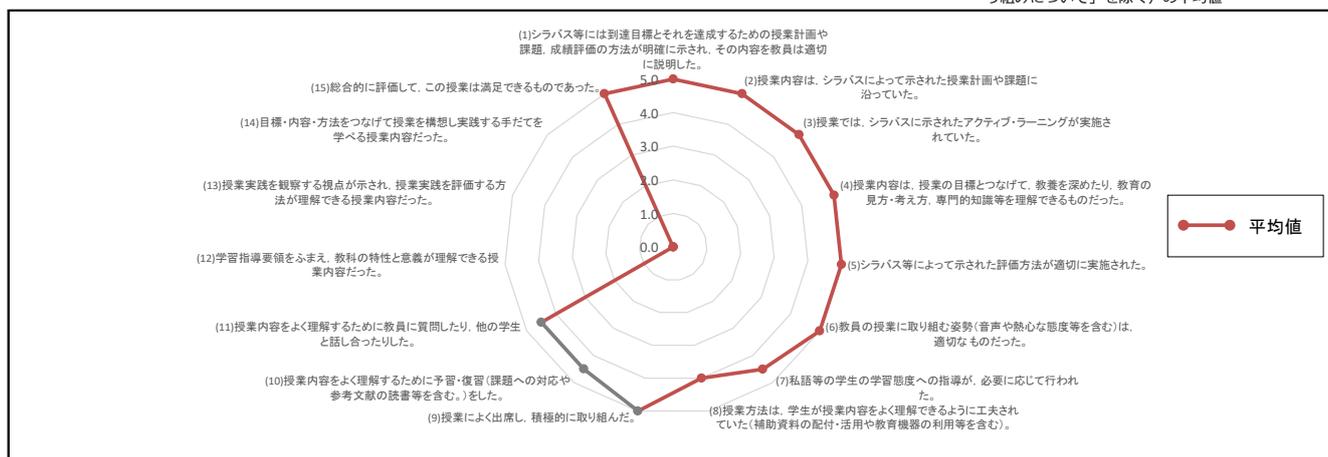
No.	378	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	英会話	回答者数	2	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	鎌田スザン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	2	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

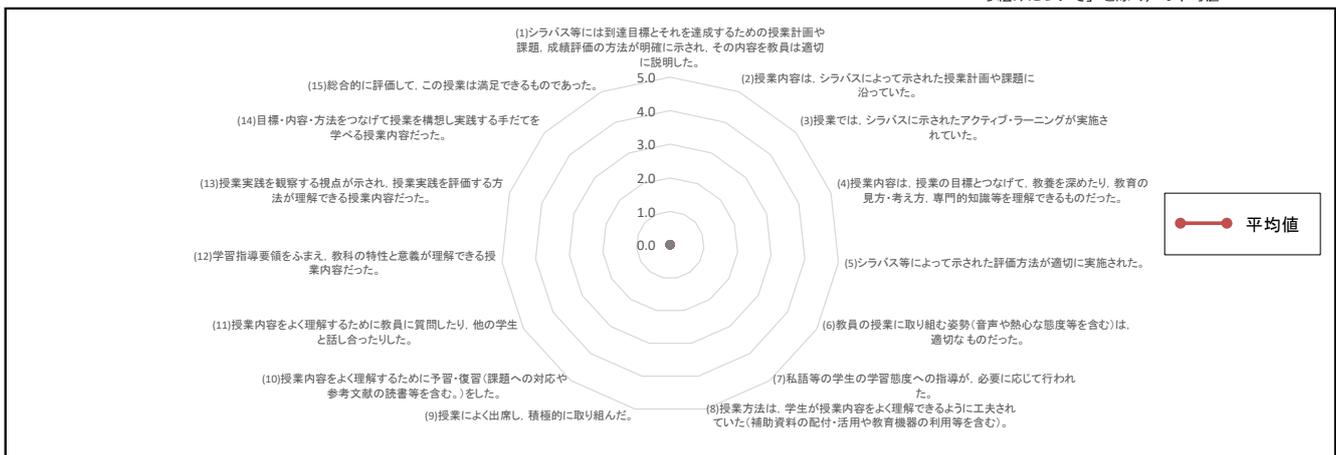
No.	379	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	ドイツ語 I	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	シートゲス・オラフ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

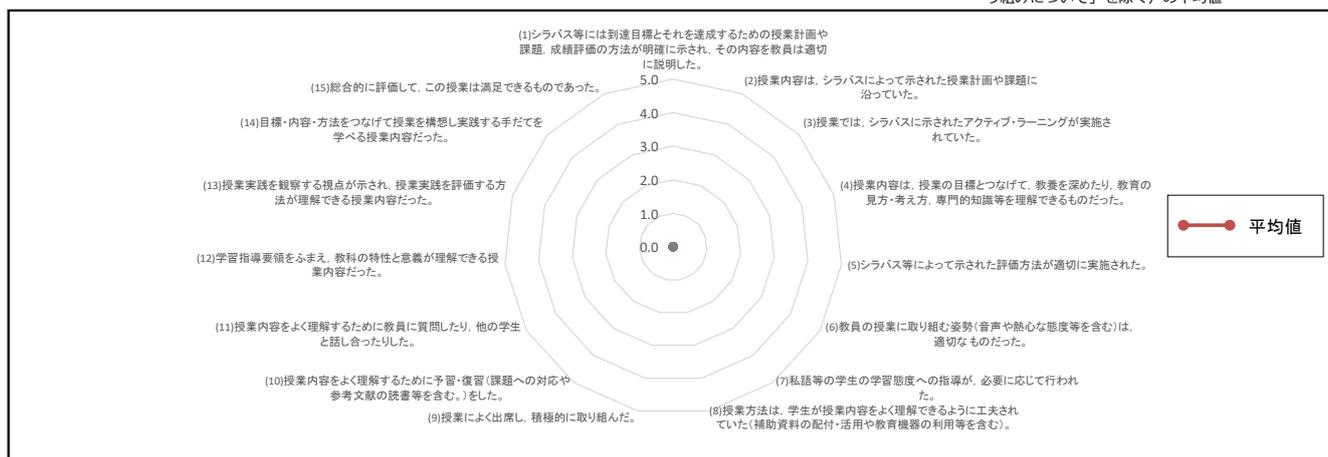
No.	380	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	中国語 I	回答者数	0	人	
区分	教養基礎科目				
担当教員名	金 英傑				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

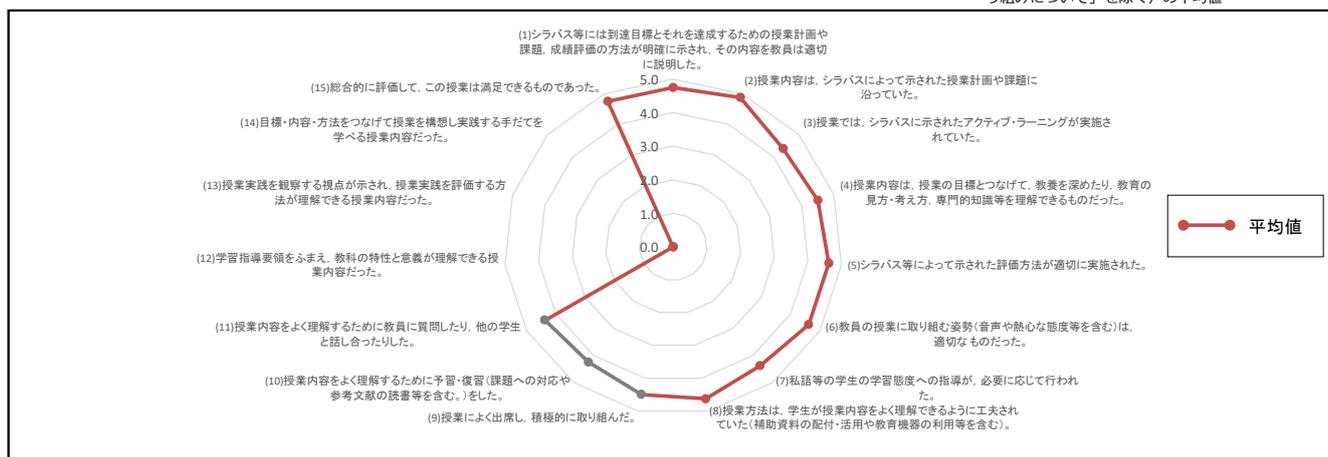
No.	381	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	初等英語科教育論（新課程）	回答者数	8	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山森 直人, 佐藤 美智子, ジェラード マーシェソ, 竹内 陽子, 段本 みのり				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	3	1	0	0	4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	3	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	3	1	0	0	4.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	3	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	2	1	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	3	0	1	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	3	1	0	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

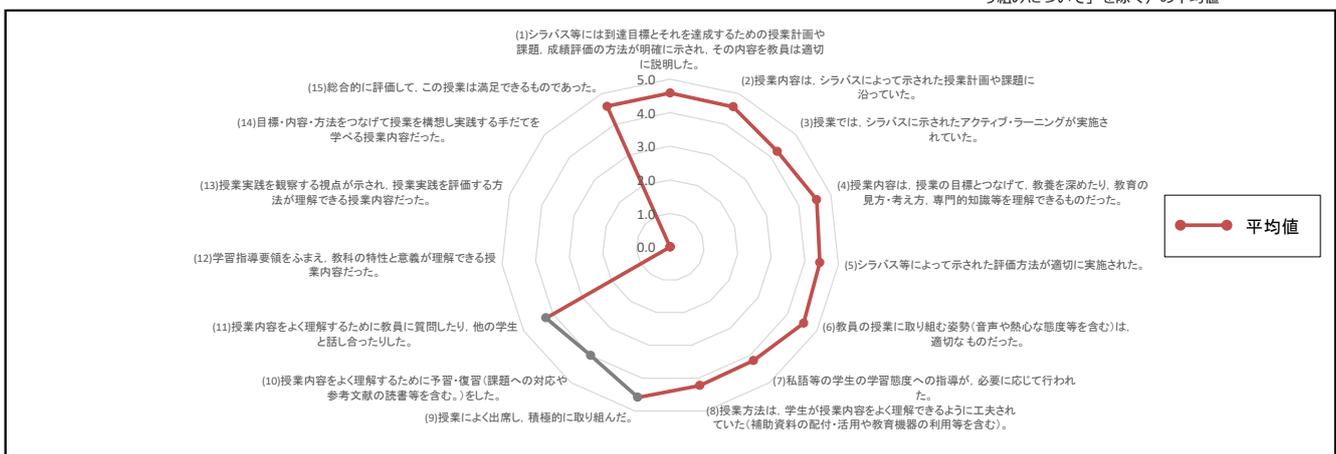
No.	382	評価実施日	令和4年11月28日		
授業科目名	特別支援教育概論（新課程） A	回答者数	58	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	川田 人包				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	36	20	2	0	0	4.6
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	37	17	4	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	26	24	5	3	0	4.3
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	36	19	2	1	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	33	19	5	1	0	4.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	35	20	3	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	23	25	8	2	0	4.2
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	25	24	6	3	0	4.2
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	39	14	5	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	22	20	10	6	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	27	22	6	2	1	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	36	20	2	0	0	4.6

総合評価	4.4
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

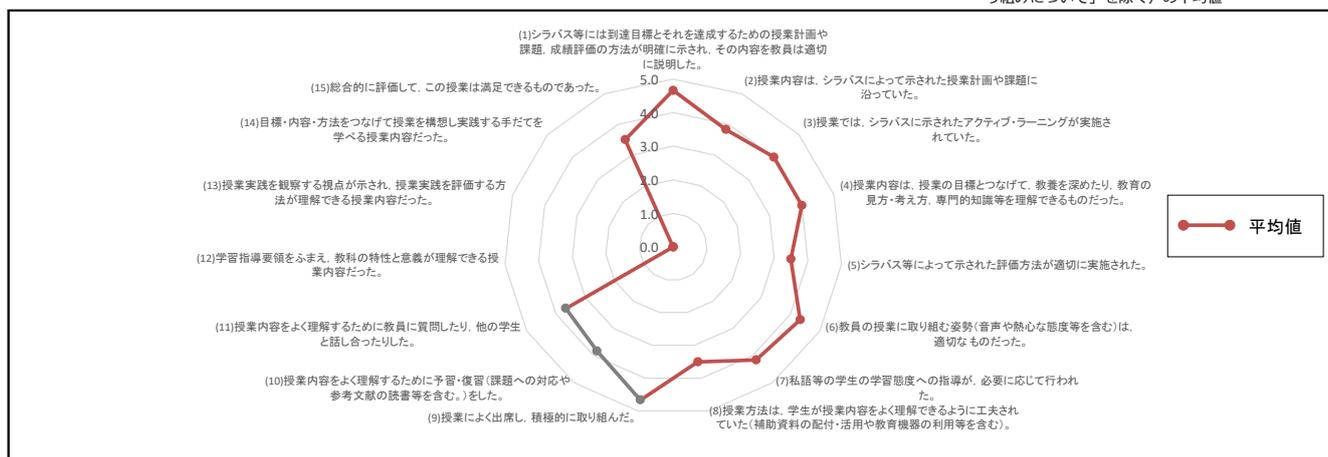
No.	383	評価実施日	令和4年11月25日		
授業科目名	特別支援教育概論（新課程） B	回答者数	6	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	川田 人包				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	4	0	1	0	3.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	4	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	0	1	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	2	1	0	3.5
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	2	1	0	0	4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	3	1	0	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	2	0	1	3.5
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	0	0	1	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	4	0	0	1	3.7
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	5	0	0	1	3.5

総合評価	3.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

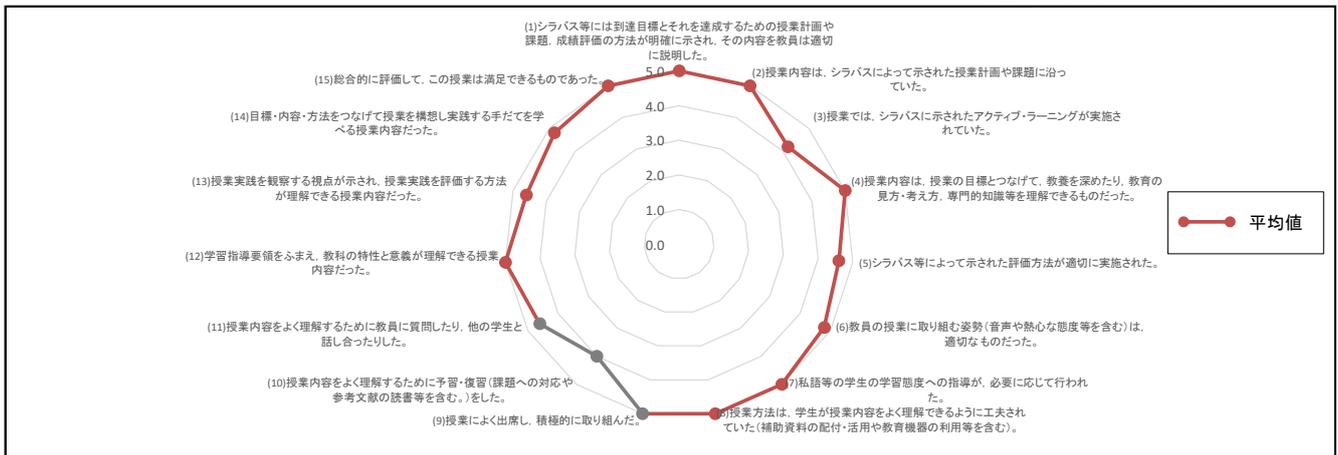
No.	384	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	幼児教育実践基礎演習	回答者数	5	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	田村 隆宏, 湯地 宏樹, 佐々木 晃, 塩路 晶子, 木村 直子, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	2	0	0	4.2
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	3	1	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	2	0	0	0	4.6
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	1	0	0	0	4.8
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

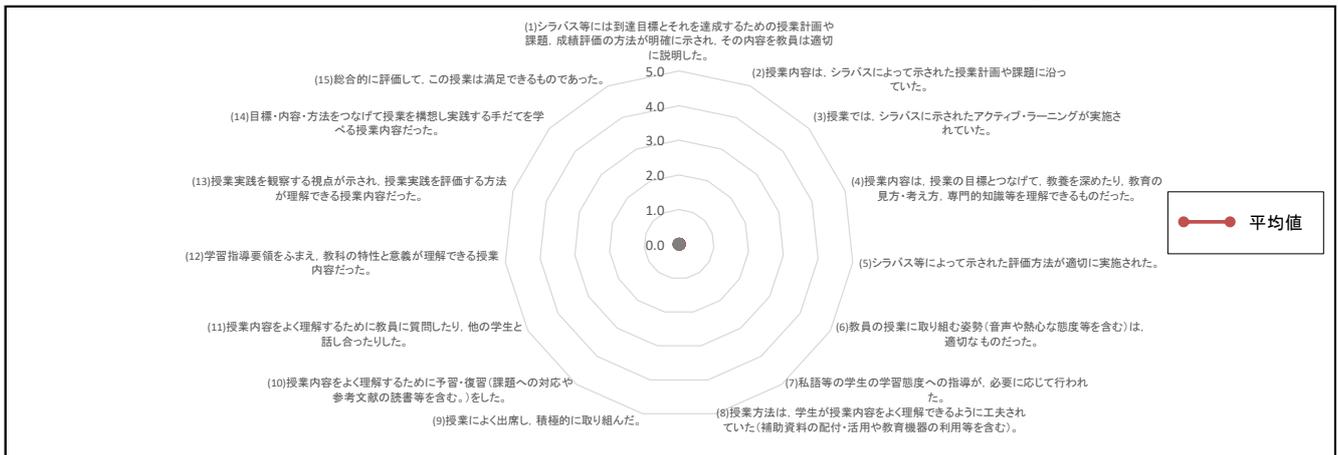
No.	385	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	幼児教育実践	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	湯地 宏樹, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

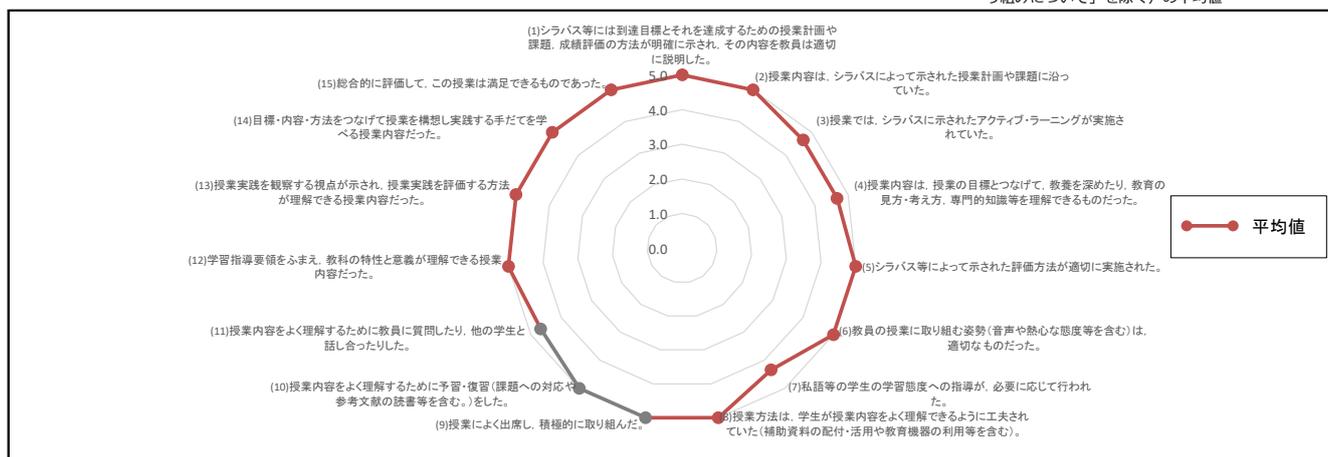
No.	386	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	学校教育実践 I (授業設計) (新課程)	回答者数	3	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	川上 綾子, 江川 克弘				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	0	1	0	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

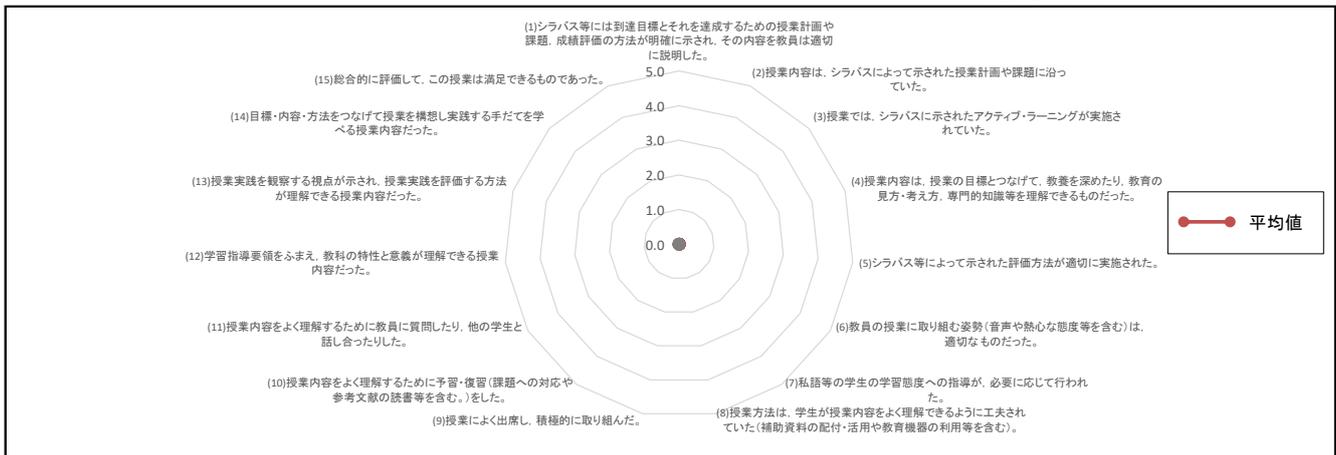
No.	387	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	学校教育実践Ⅱ（授業省察）（新課程）		回答者数	0	人
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	木下 光二, 金森 三枝, 北濱 亮				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

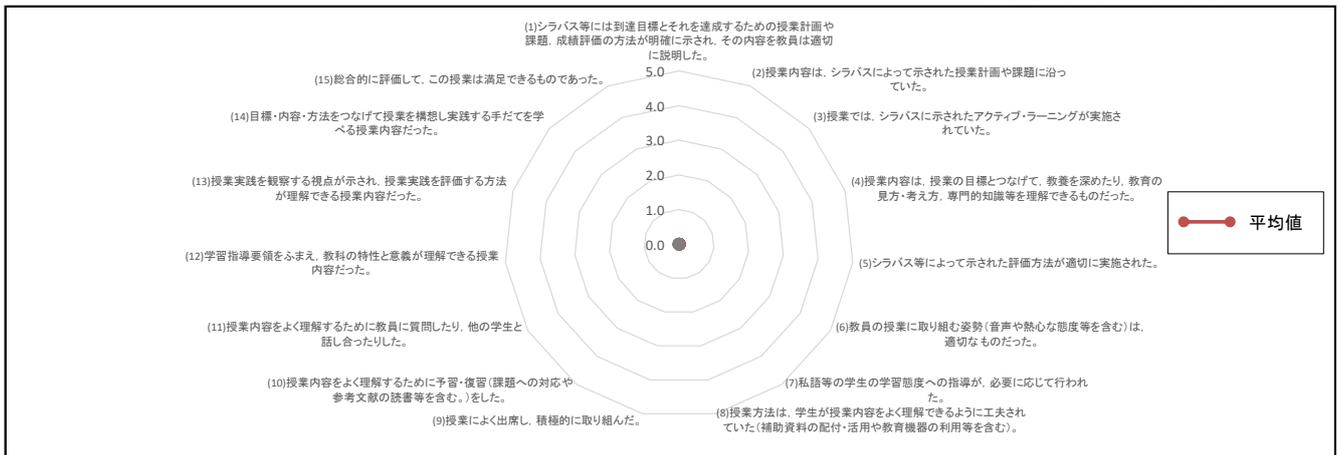
No.	388	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	学校教育実践Ⅲ（子ども・学級理解）（新）		回答者数	0	人
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	木下 光二				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

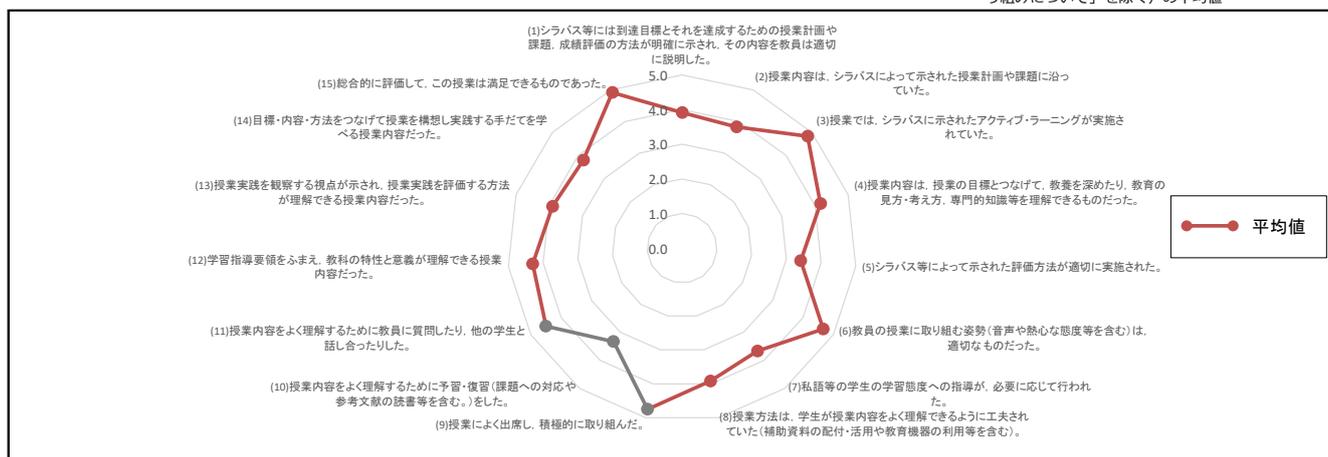
No.	389	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (国語)	回答者数	12	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	原 卓志, 平川 恵実子, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	3	5	0	0	3.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	4	1	0	3.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	8	1	0	0	4.2
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	7	1	0	3.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	4	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	5	4	1	0	3.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	4	3	1	0	3.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	1	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	3	5	1	1	3.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	1	1	1	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	5	1	0	0	4.3
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	4	2	1	0	3.9
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	4	4	0	0	3.8
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	11	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.1
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

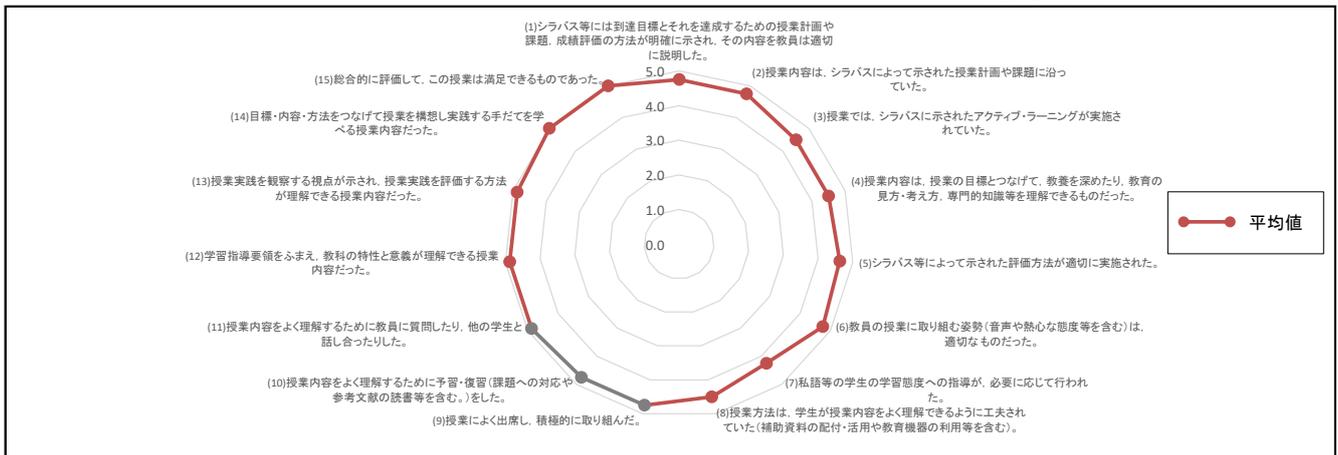
No.	390	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (英語)	回答者数	8	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	山森 直人, 薮下 克彦, 佐藤 美智子, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	4	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	1	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	1	1	1	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	4	0	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	0	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	2	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	0	4.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	0	4.9
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	8	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

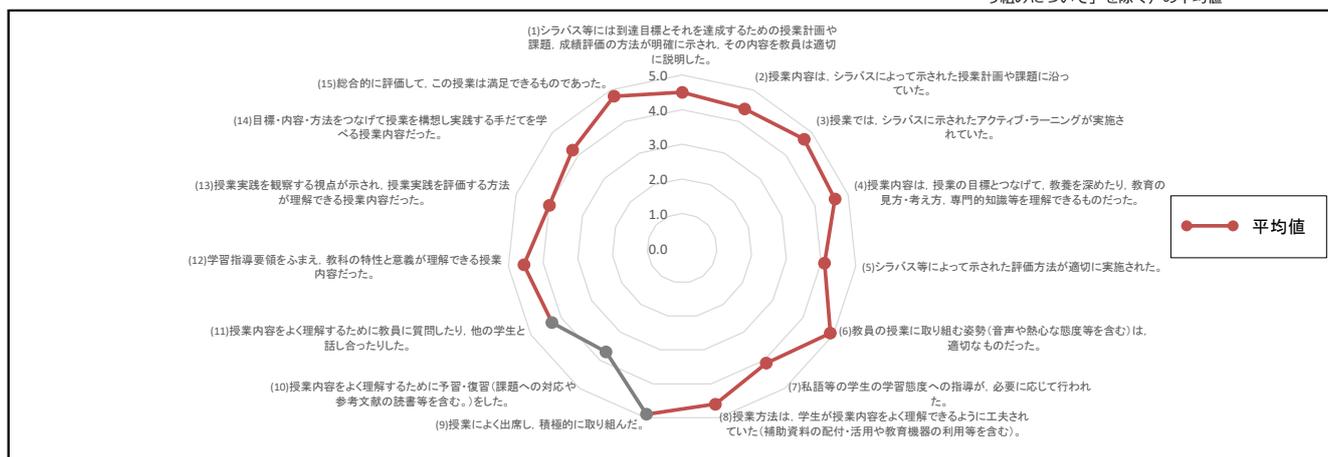
No.	391	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (社会)	回答者数	10	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	眞野 豊, 畠山 輝雄, 伊藤 直之, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	5	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	6	0	0	0	4.4
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	3	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	4	0	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	3	3	0	0	4.1
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	1	4	0	0	4.1
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	4	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	2	4	1	0	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	1	3	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	4	0	0	0	4.6
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	5	2	0	0	4.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	5	1	0	0	4.2
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

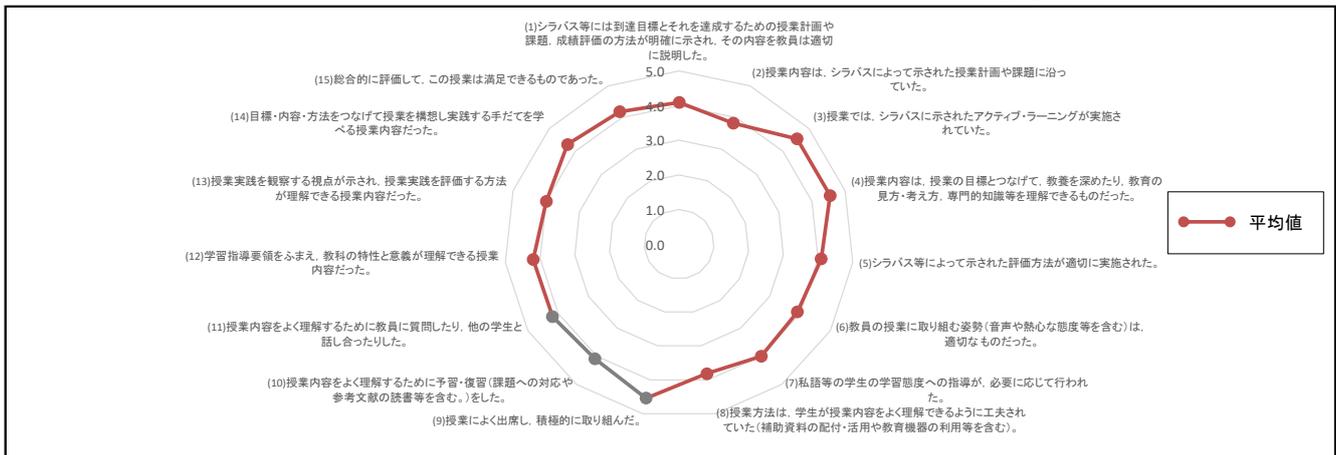
No.	392	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (算数・数学)	回答者数	11	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	関 行宏, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	4	3	0	0	4.1
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	3	1	0	3.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	2	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	3	1	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	4	3	0	0	4.1
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	4	4	0	0	3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	3	4	0	0	4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	4	3	1	0	3.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	2	0	1	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	2	2	0	1	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	7	1	0	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	6	1	0	0	4.2
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	4	3	0	0	4.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	3	2	0	0	4.3
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	3	3	0	0	4.2

総合評価	4.1
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

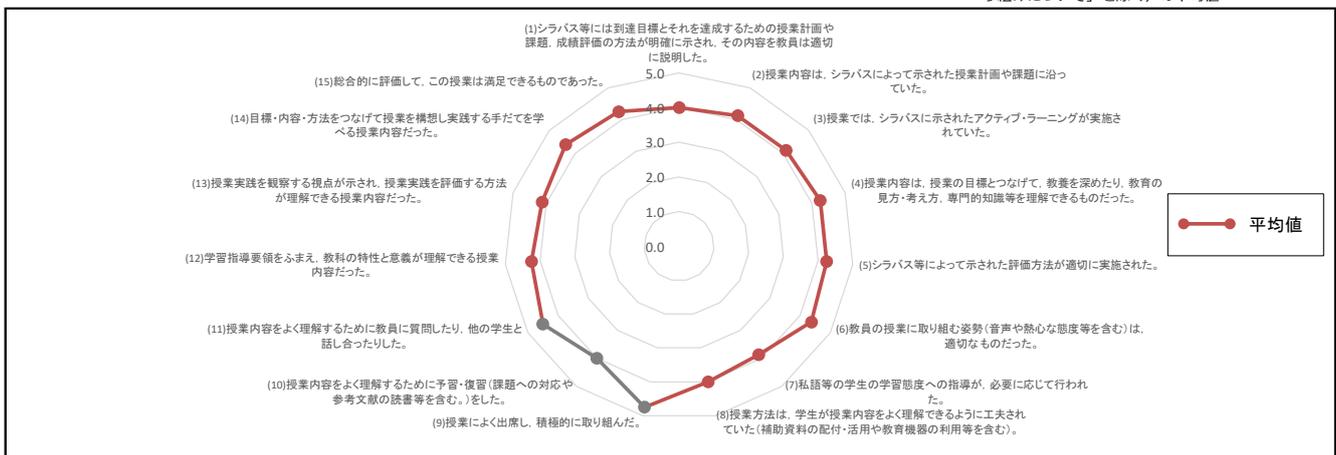
No.	393	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (理科)	回答者数	8	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	寺島 幸生, 工藤 慎一, 早藤 幸隆, 本田 亮, 粟田 高明, 胸組 虎胤, 武田 清, 佐藤 勝幸, 福地 里菜, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	2	3	0	0	4.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	2	0	0	4.1
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	5	1	0	0	4.1
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	4	1	0	0	4.3
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	4	1	0	0	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	3	1	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	1	2	0	1	3.9
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	4	2	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	0	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	1	2	1	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	2	1	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	4	1	0	0	4.3
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	5	1	0	0	4.1
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	3	1	0	0	4.4
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	2	2	0	0	4.3

総合評価	4.2
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

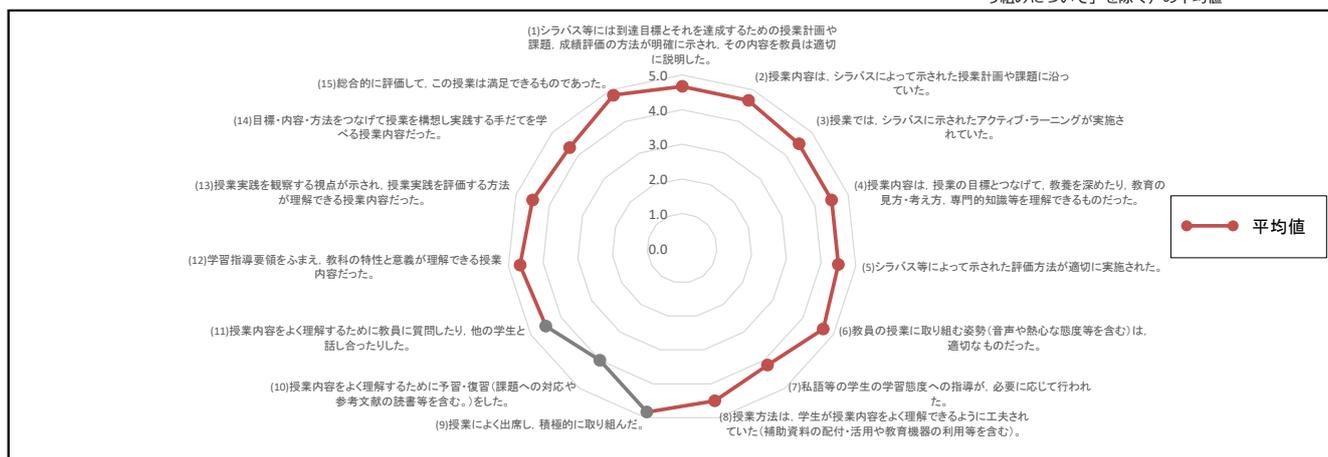
No.	394	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (音楽)	回答者数	6	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	山田 啓明, 鉄口 真理子, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	0	1	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	1	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	1	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	0	1	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	3	1	0	0	4.2
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	1	1	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	3	0	1	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	3	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	1	0	0	4.7
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	3	0	0	0	4.5
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	1	0	1	0	4.3
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.5
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

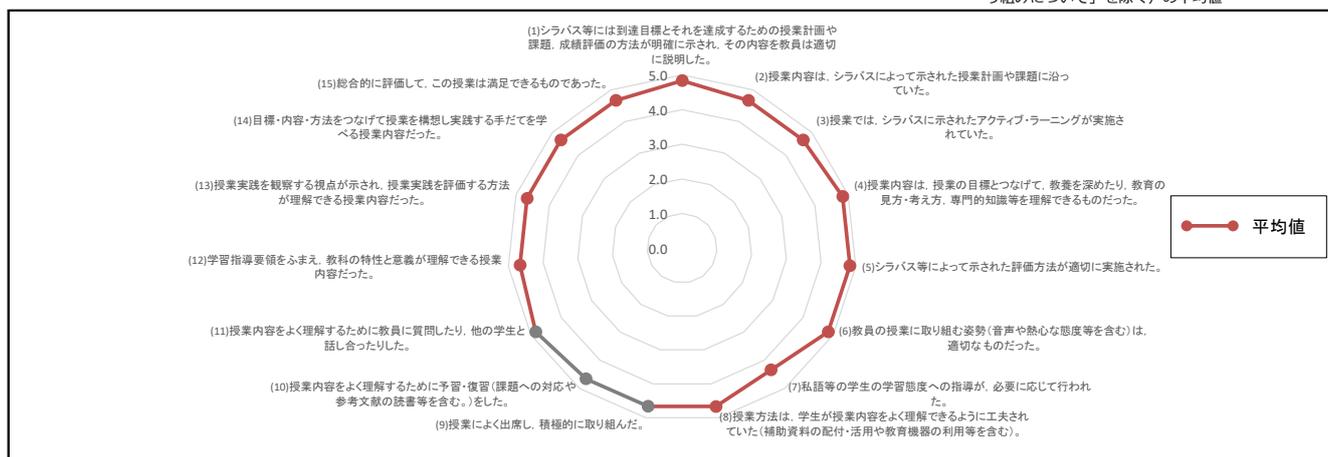
No.	395	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (図工・美術)	回答者数	6	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	山木 朝彦, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	4	0	0	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	0	1	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	2	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	1	0	0	4.7
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	0	1	0	0	4.7
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	0	1	0	0	4.7
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	0	1	0	0	4.7

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

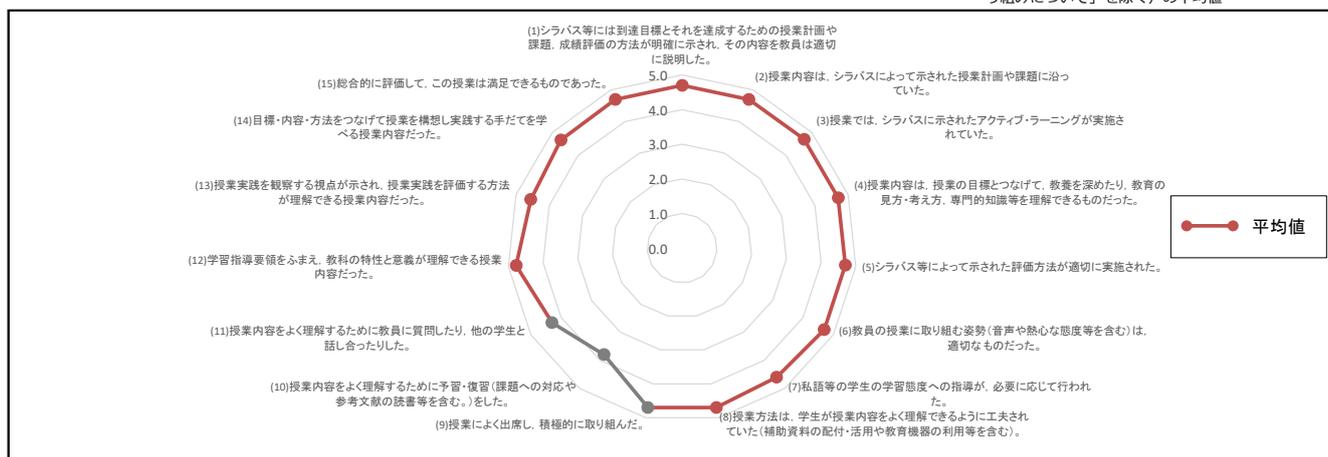
No.	396	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (体育・保体)	回答者数	10	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	藤田 雅文, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	1	1	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	1	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	1	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	1	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	1	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	3	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	2	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	1	1	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	8	1	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	3	0	3	0	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	4	0	1	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	2	0	0	0	4.8
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	2	1	0	0	4.6
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	1	1	0	0	4.7
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	1	1	0	0	4.7

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

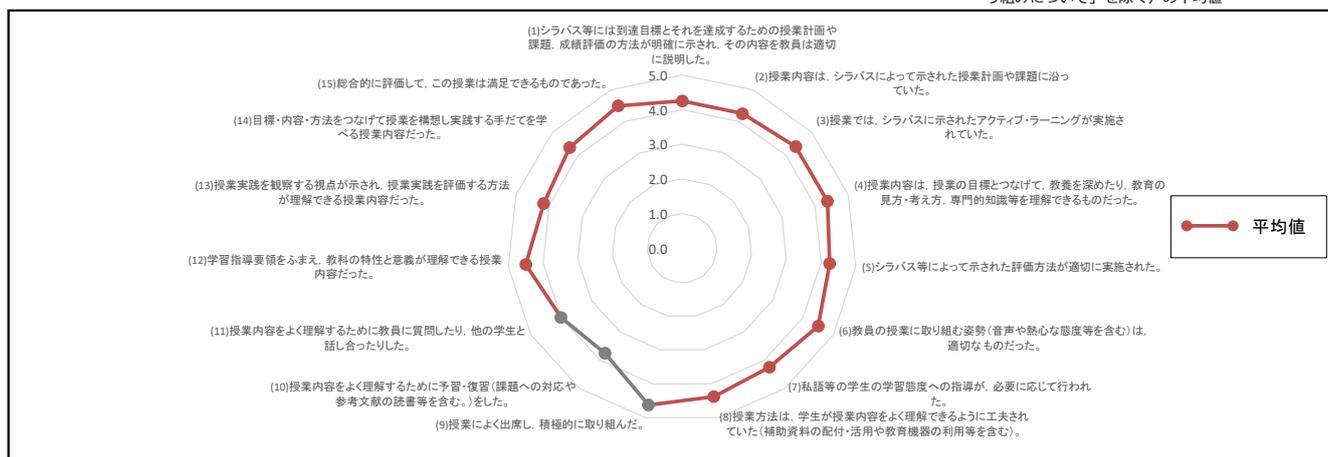
No.	397	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (技術)	回答者数	8	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	宮下 晃一, 伊藤 陽介, 宮本 賢治, 米延 仁志, 曾根 直人, 阪東 哲也, 美井野 優, 菊地 章, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	4	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	4	1	0	0	4.3
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	5	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	5	0	0	0	4.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	6	0	0	0	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	4	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	3	0	1	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	5	0	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	3	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	3	2	1	0	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	4	2	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	1	1	0	0	4.5
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	5	0	0	0	4.2
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	4	0	0	0	4.3
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	4	0	0	0	4.5

総合評価	4.3
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

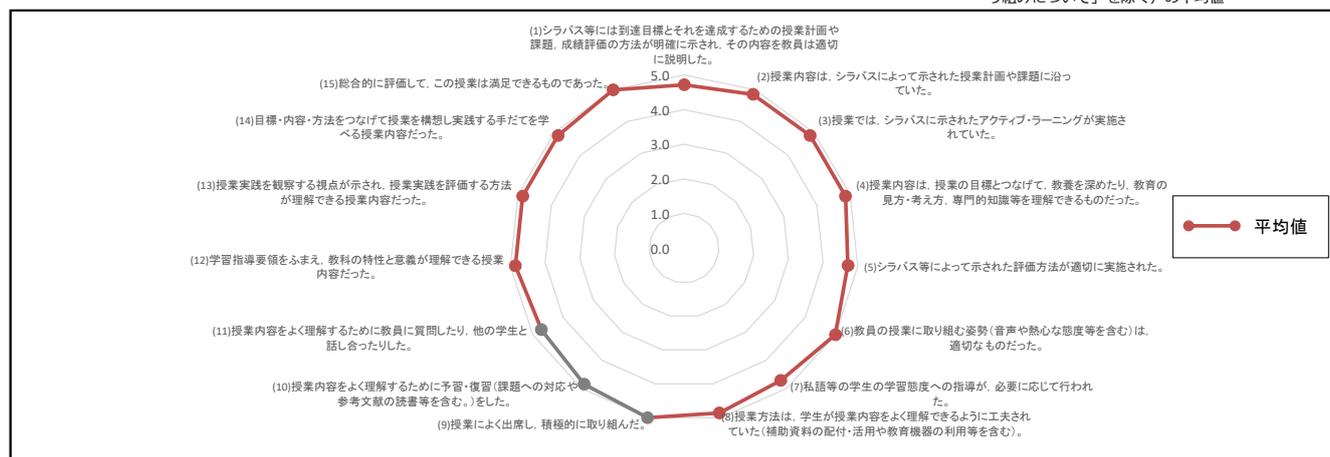
No.	398	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 (家庭)	回答者数	7	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	金 貞均, 西川 和孝, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	2	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	1	0	0	0	4.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	6	1	0	0	0	4.9
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	1	0	0	0	4.9
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

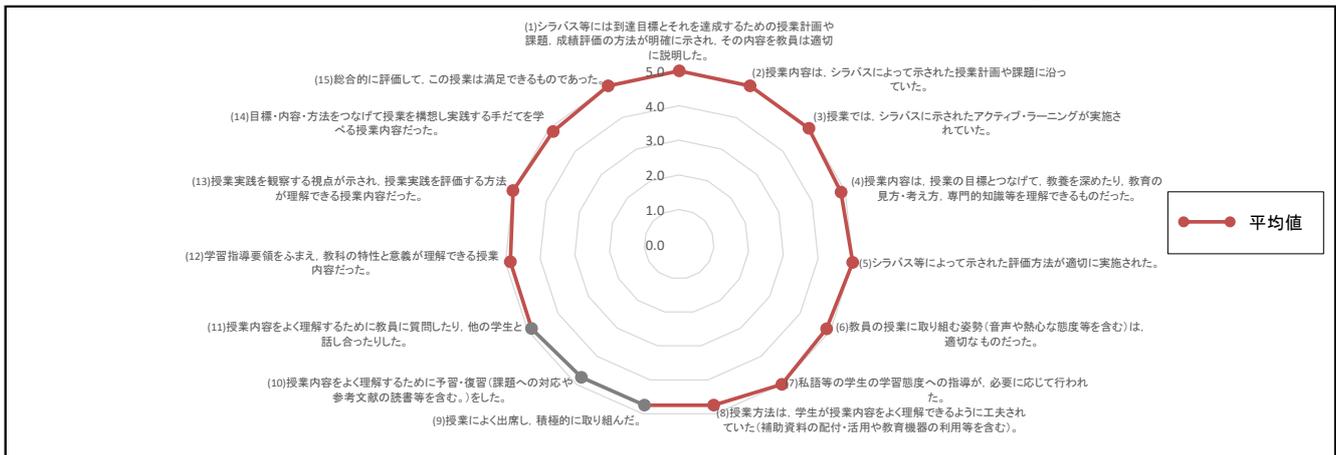
No.	399	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等中等教育実践基礎演習 学校教育実践	回答者数	8	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	江川 克弘, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	8	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	0	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	7	0	1	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	1	0	0	0	4.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	1	0	0	0	4.9
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

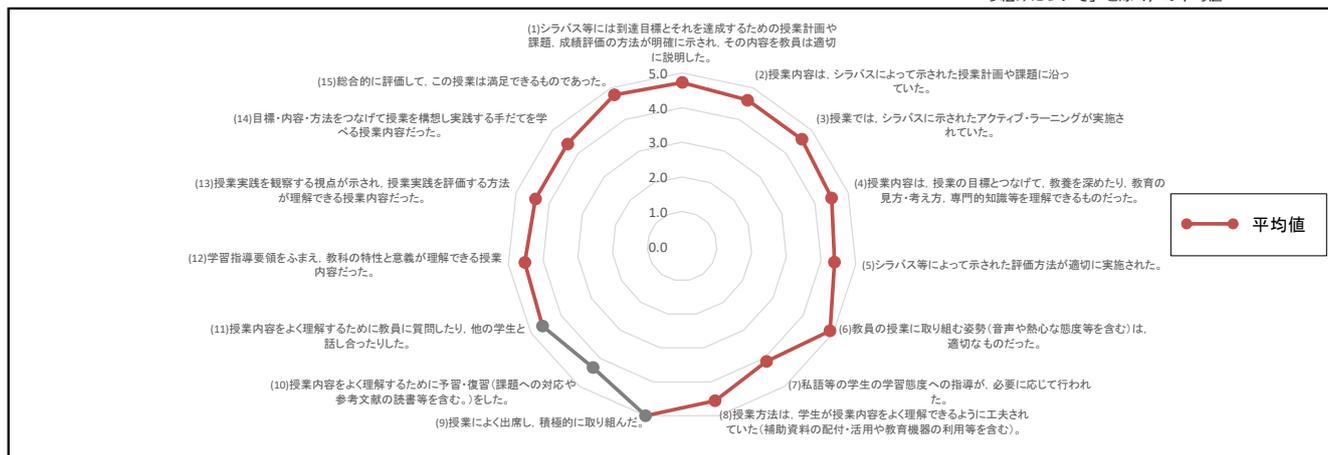
No.	400	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (国語)	回答者数	18	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	余郷 裕次, 原 卓志, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	13	5	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	5	1	0	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	5	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	11	6	0	1	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	7	2	0	0	4.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	16	2	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	7	3	1	0	4.1
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	11	6	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	18	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	8	8	2	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	13	3	2	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	10	6	1	0	0	4.5
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	8	8	1	0	0	4.4
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	9	6	2	0	0	4.4
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	14	4	0	0	0	4.8

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

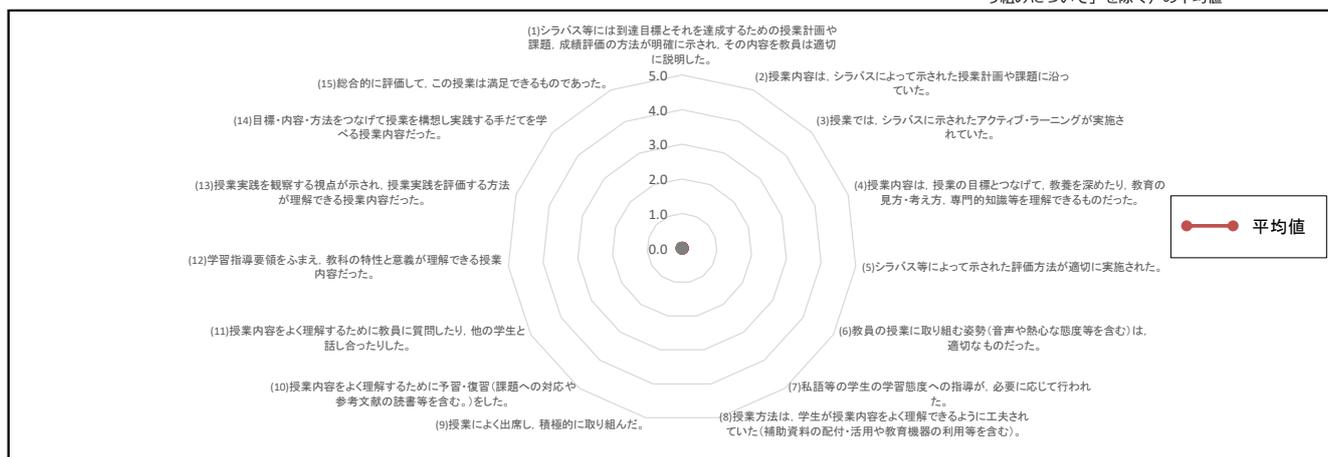
No.	401	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (英語)	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	佐藤 美智子, 藪下 克彦, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

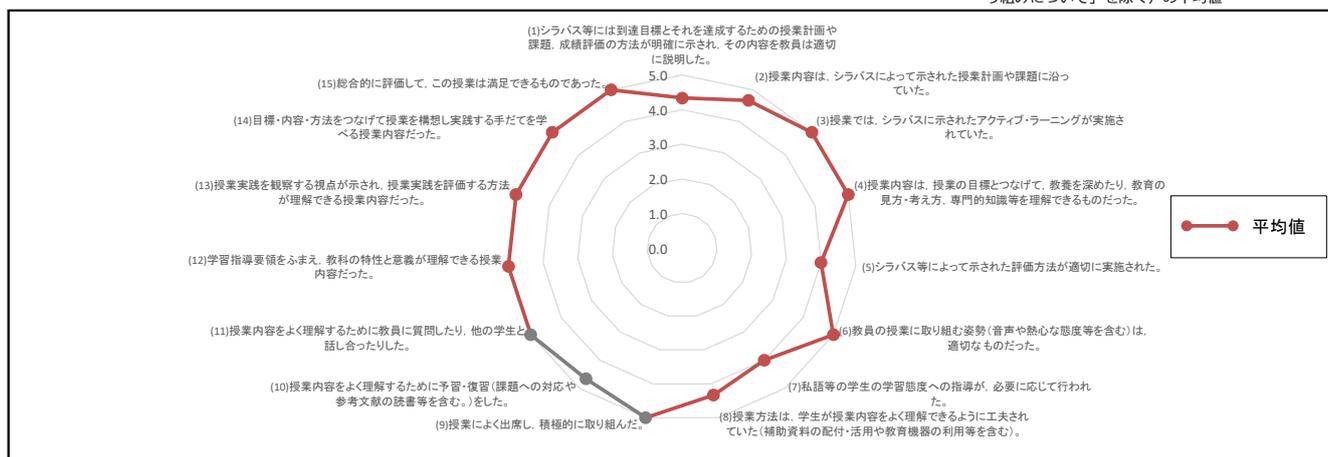
No.	402	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (社会)	回答者数	3	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	伊藤 直之, 青葉 暢子, 立岡 裕土, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	2	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	1	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	1	1	0	0	4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	0	1	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

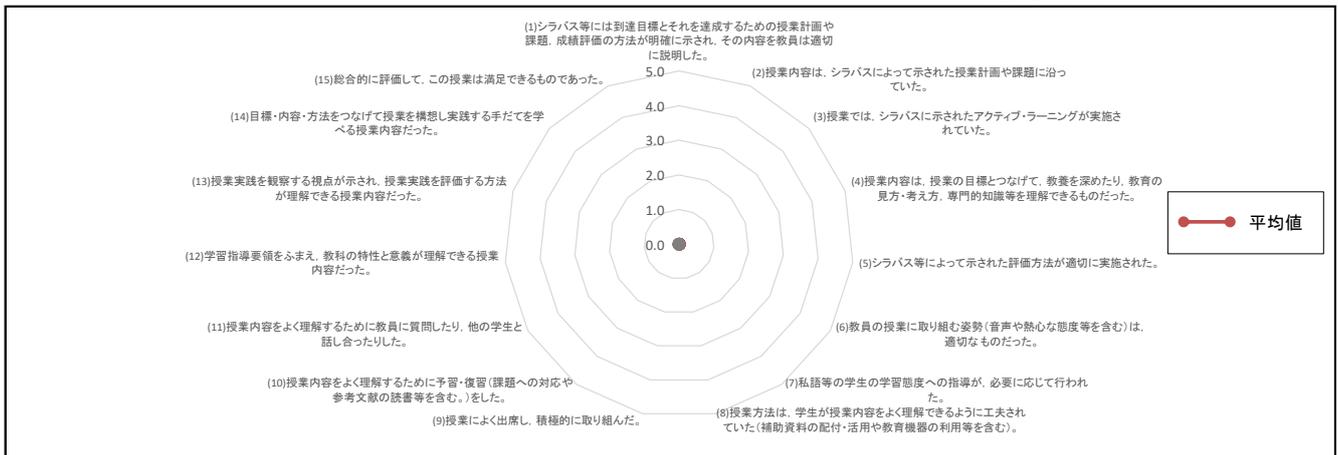
No.	403	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (算数・数学)	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	早田 透, 湯地 宏樹, 関 行宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

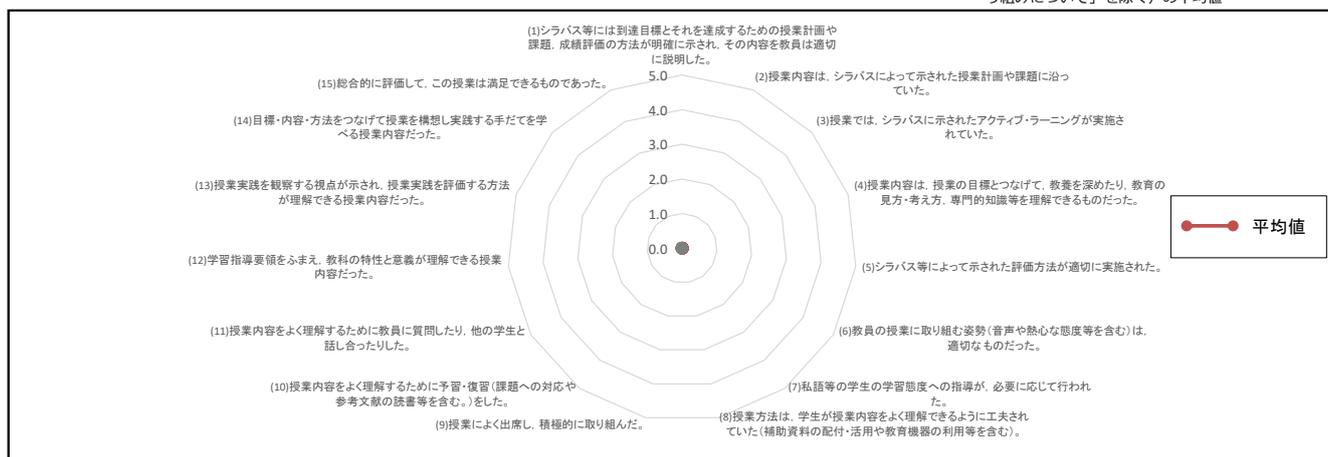
No.	404	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (理科)	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	武田 清, 工藤 慎一, 本田 亮, 早藤 幸隆, 粟田 高明, 寺島 幸生, 胸組 虎胤, 佐藤 勝幸, 湯地 宏樹, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

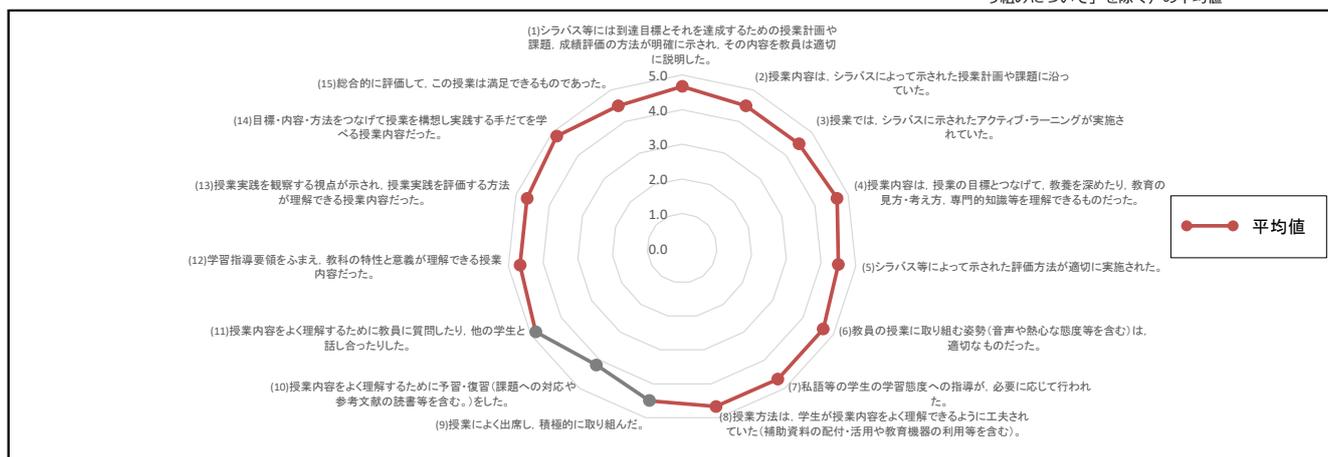
No.	405	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (音楽)	回答者数	6	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	鉄口 真理子, 頃安 利秀, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	0	0	0	4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	0	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	2	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	1	1	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	5	0	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	2	0	0	0	4.7
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	2	0	0	0	4.7
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	1	0	0	0	4.8
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	1	1	0	0	4.5

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

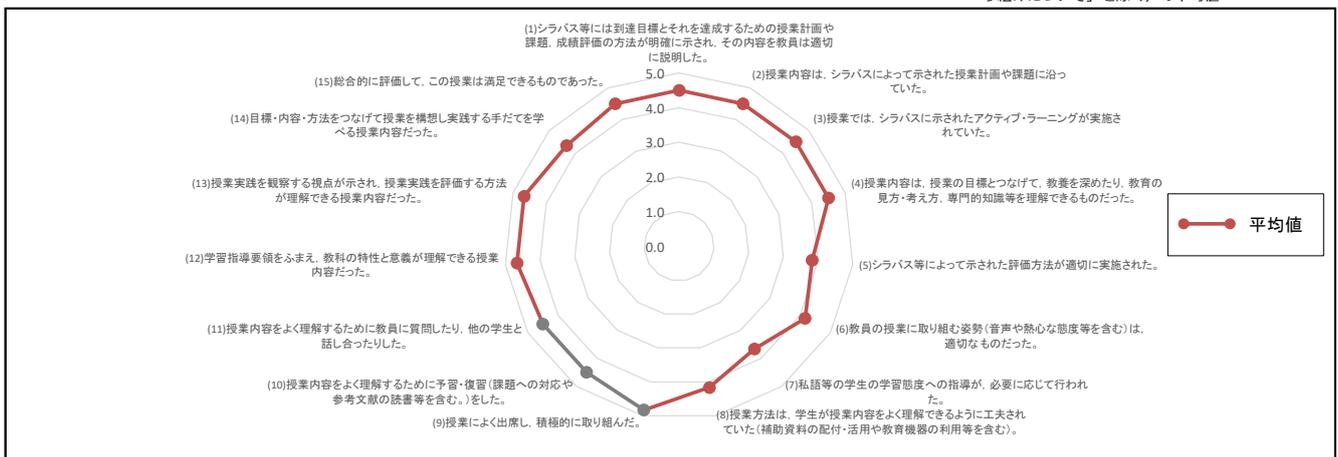
No.	406	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (図工・美術)	回答者数	6	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	小川 勝, 山田 芳明, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	1	1	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	1	0	0	4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	1	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	3	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	2	1	1	0	3.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	1	2	0	0	4.2
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	2	0	2	0	3.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	3	1	0	0	4.2
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	3	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	3	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	1	0	0	4.7
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	2	0	0	0	4.7
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	2	1	0	0	4.3
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	3	0	0	0	4.5

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

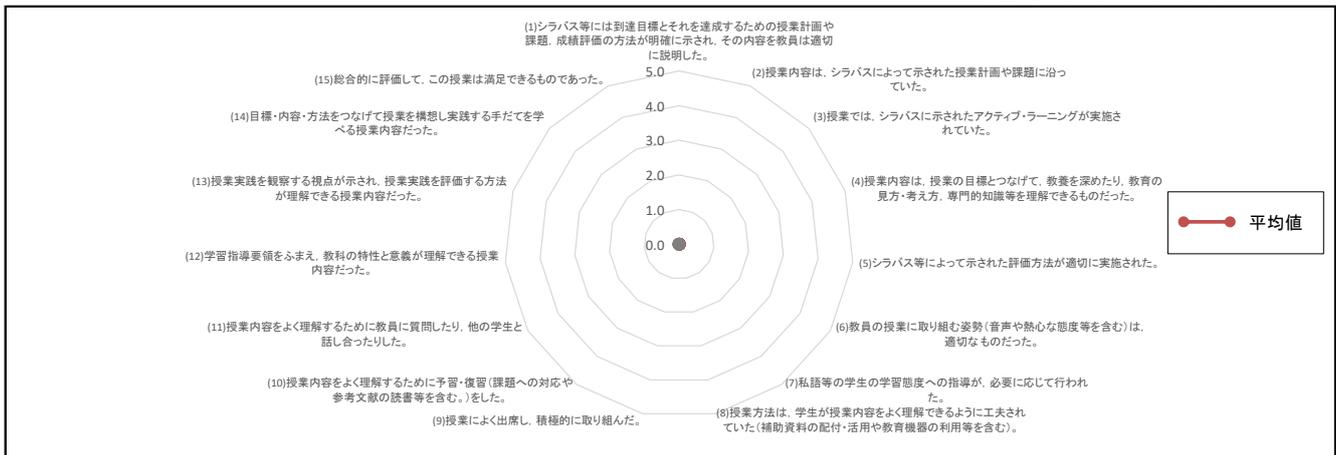
No.	407	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (体育・保健)	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	湯口 雅史, 綿引 勝美, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

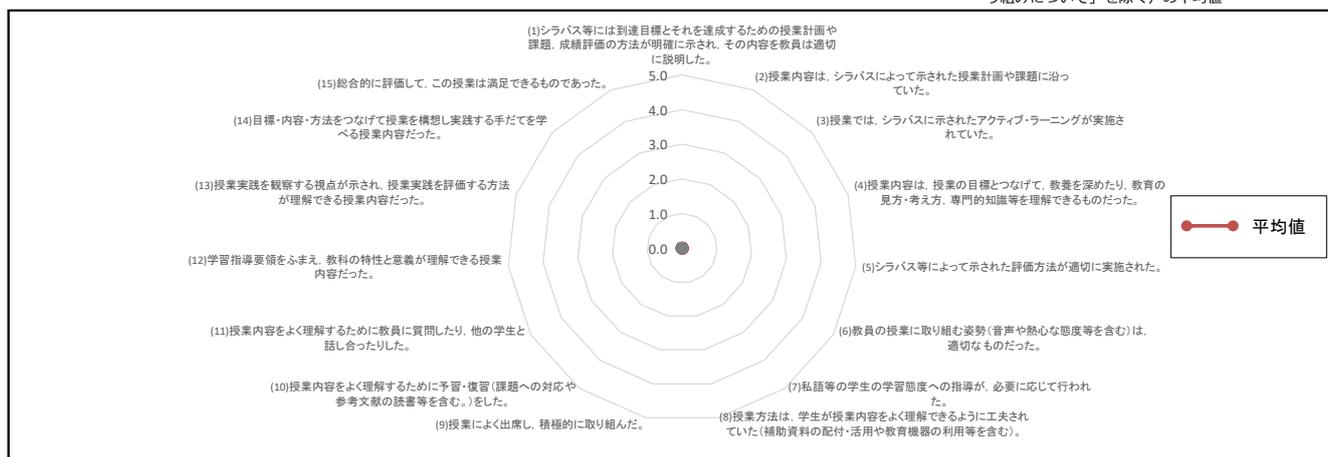
No.	408	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (技術)	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	米延 仁志, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

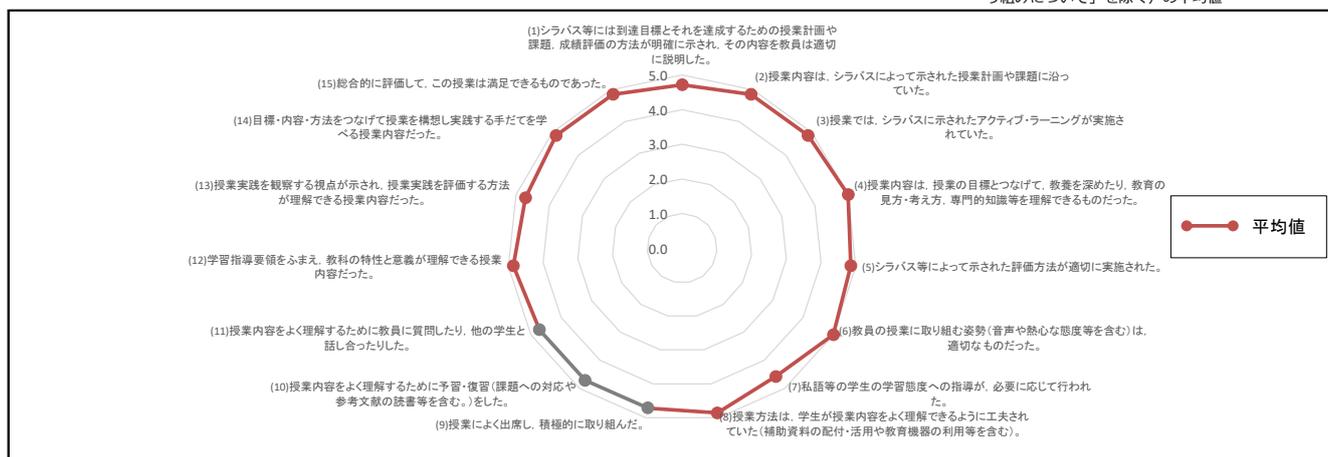
No.	409	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	初等中等教科教育実践 I (家庭)	回答者数	7	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	金 貞均, 福井 典代, 速水 多佳子, 西川 和孝, 坂本 有芳, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	1	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	2	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	2	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	6	1	0	0	0	4.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	2	0	0	0	4.7
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	6	1	0	0	0	4.9
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

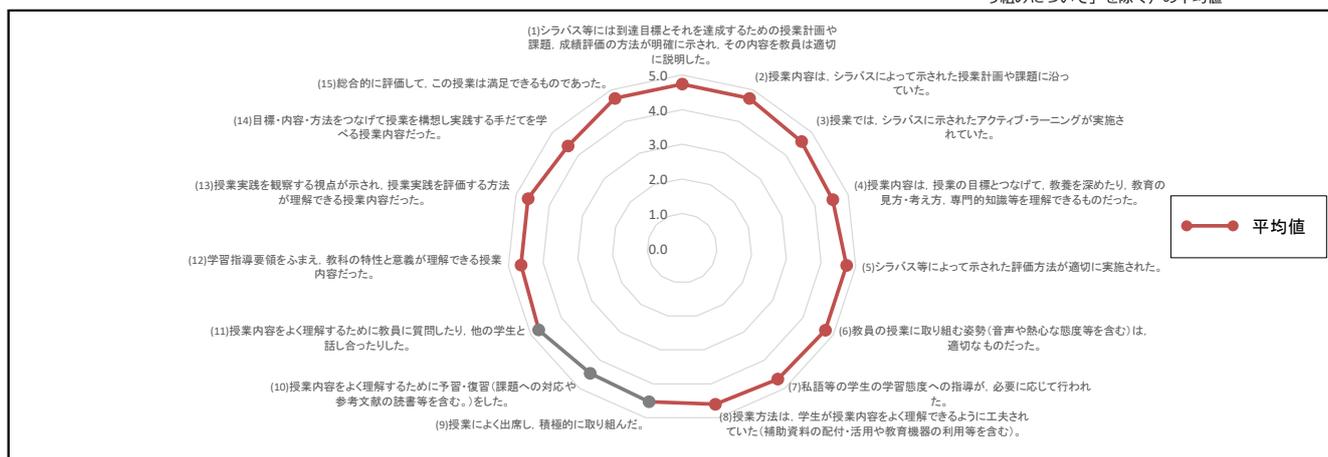
No.	410	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (国語)	回答者数	15	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	平川 恵実子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	11	4	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	4	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	6	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	7	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	4	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	11	4	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	10	5	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	6	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	7	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	6	1	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	11	4	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	4	0	0	0	4.6
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	4	0	0	0	4.6
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	4	1	0	0	4.4
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	11	4	0	0	0	4.7

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

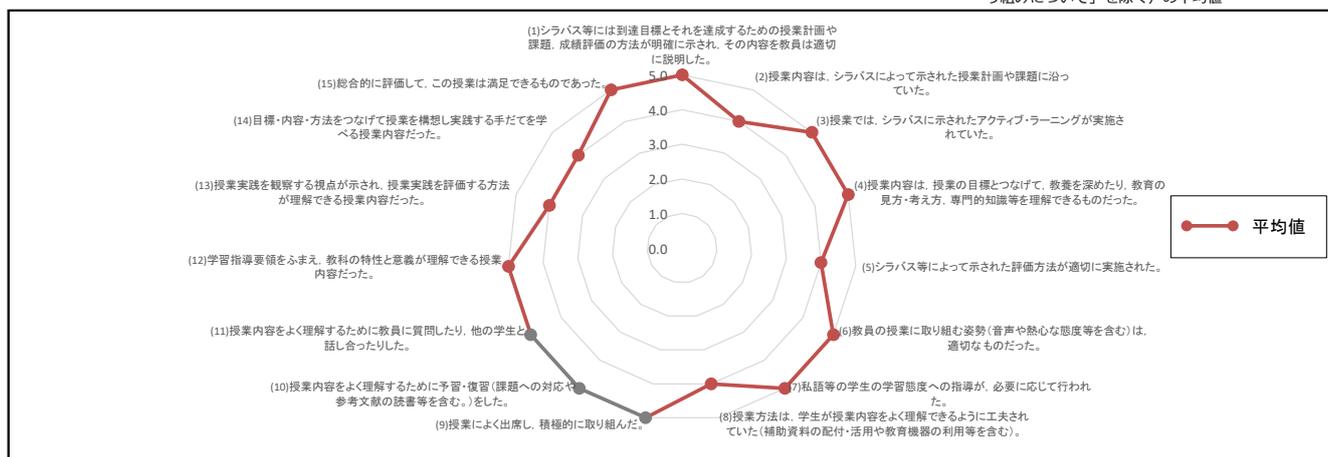
No.	411	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (英語)	回答者数	1	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	山森 直人, 森山 俊成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	1	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	1	0	0	0	4.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	1	0	0	0	4.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

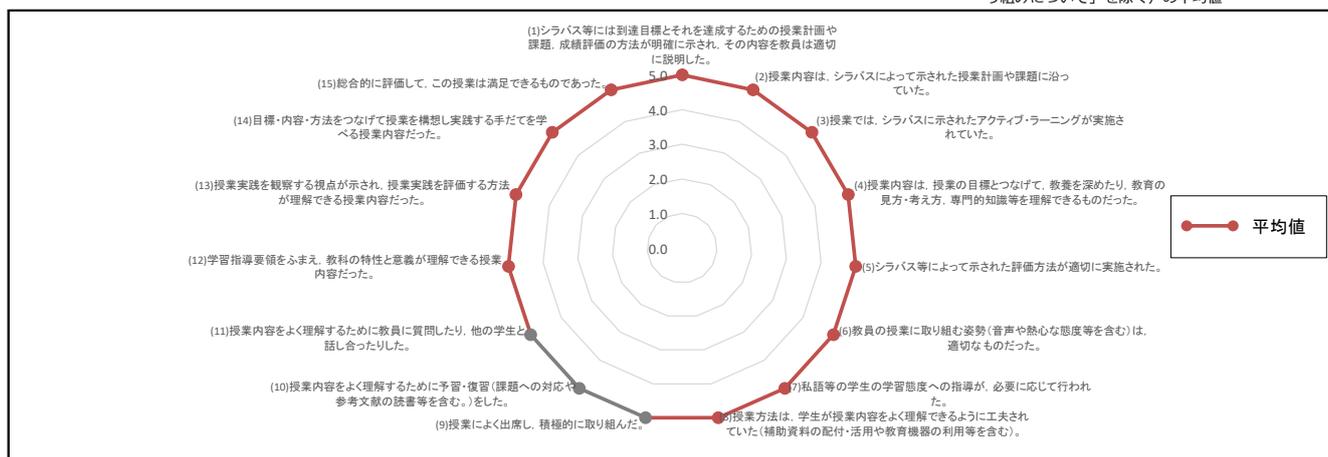
No.	412	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (社会)	回答者数	2	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	伊藤 直之, 町田 哲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

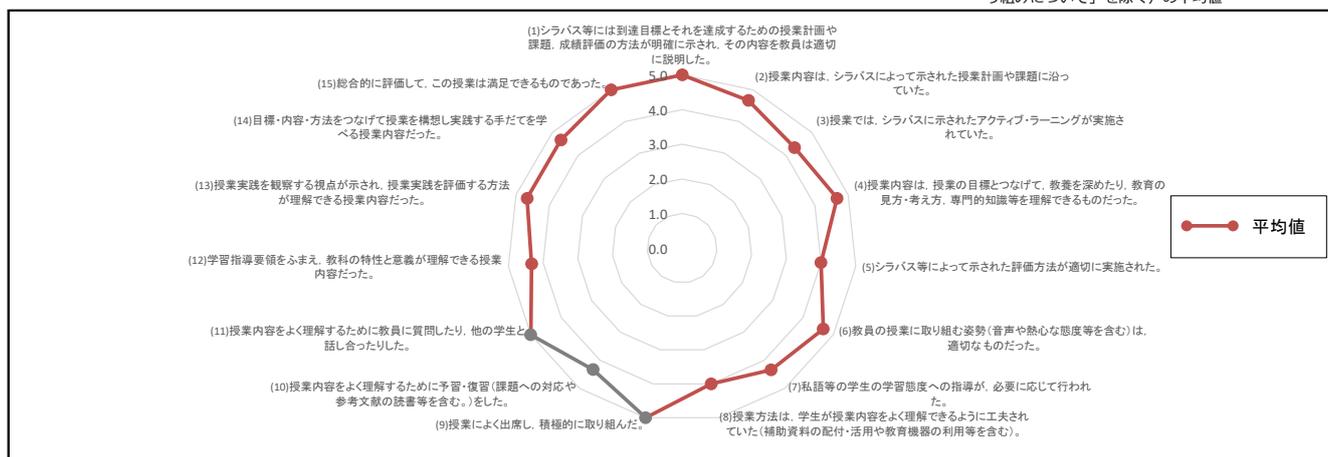
No.	413	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (算数・数学)	回答者数	3	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	佐伯 昭彦, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	1	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	0	1	0	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	1	1	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	0	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	2	0	1	0	0	4.3
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	2	1	0	0	0	4.7
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	2	1	0	0	0	4.7
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

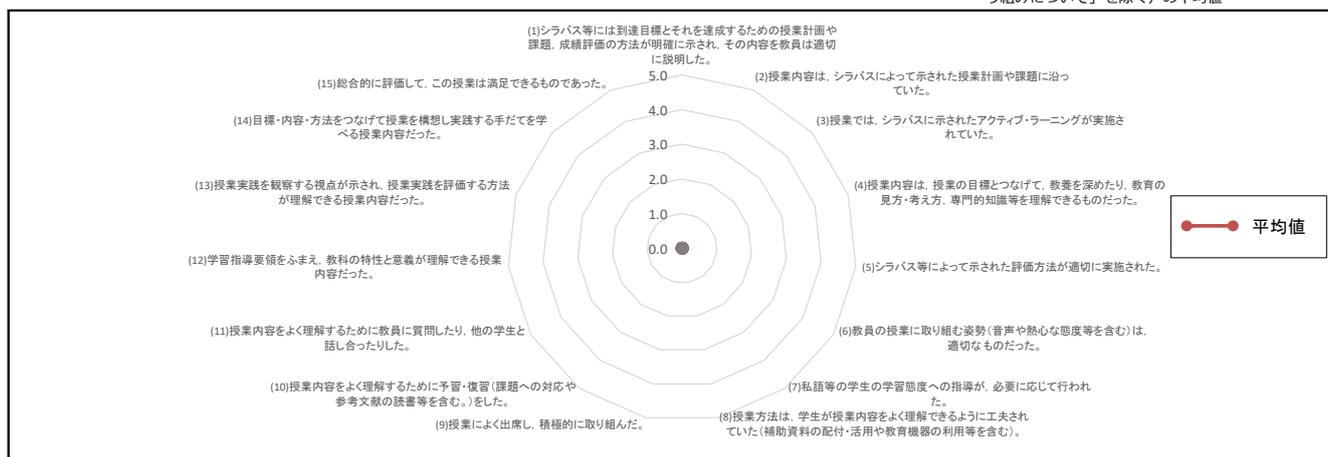
No.	414	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (理科)	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	粟田 高明, 早藤 幸隆, 胸組 虎胤, 本田 亮, 寺島 幸生, 武田 清, 工藤 慎一, 福地 里菜, 佐藤 勝幸				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

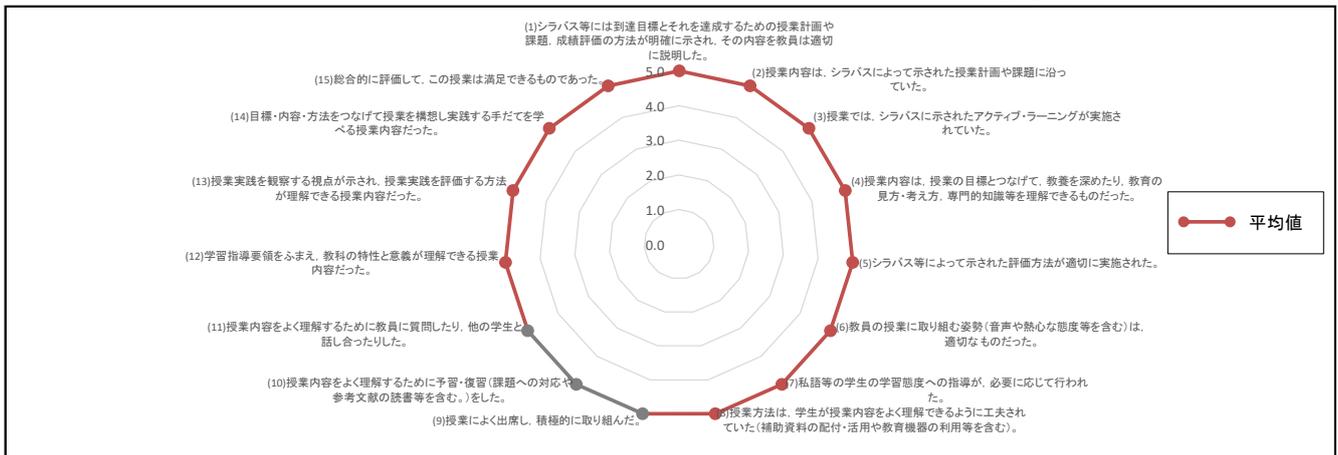
No.	415	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (音楽)	回答者数	3	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	森 正, 山田 啓明, 鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

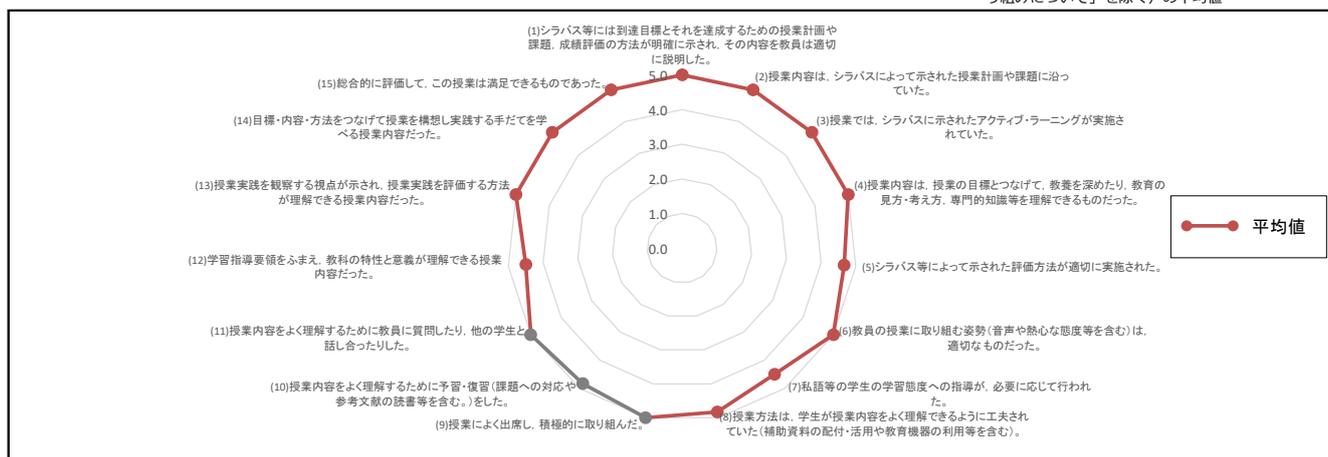
No.	416	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (図工・美術)	回答者数	6	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	山田 芳明, 鈴木 久人, 栗原 慶				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	0	1	0	0	4.5
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

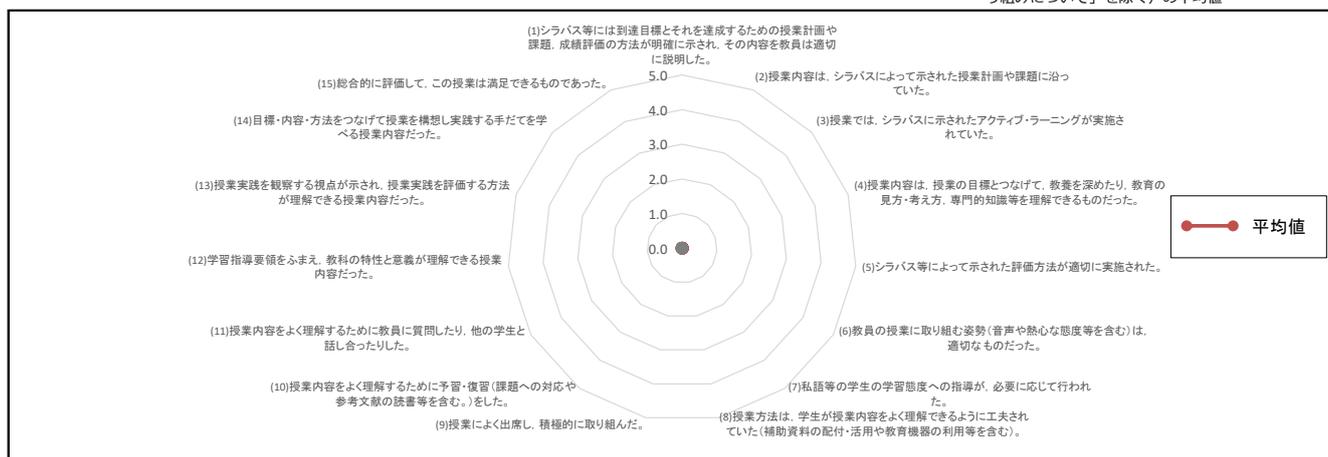
No.	417	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (体育・保健)	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	藤田 雅文, 南 隆尚				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

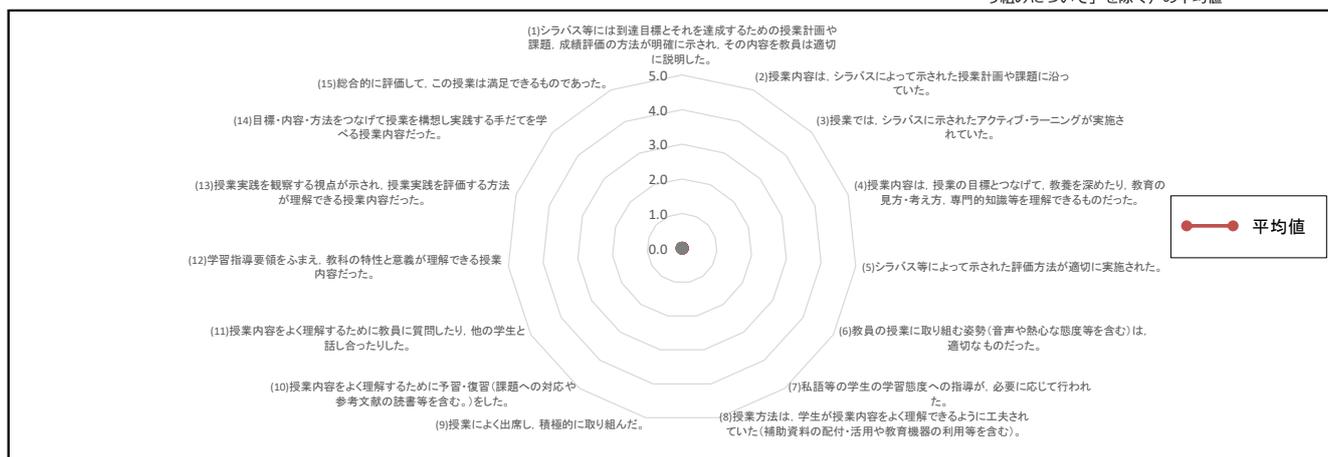
No.	418	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (技術)	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	宮下 晃一, 宮本 賢治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

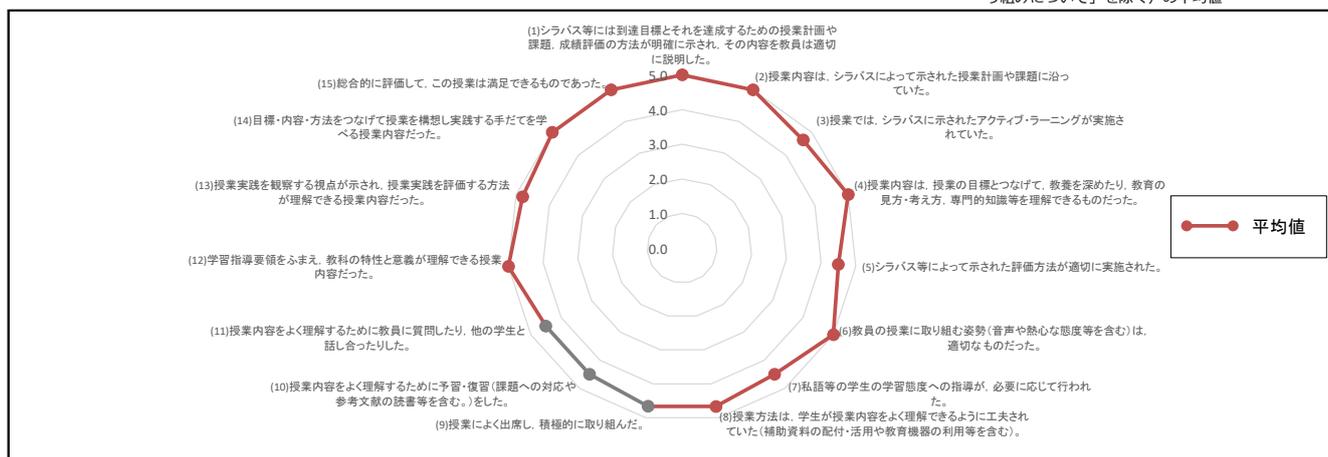
No.	419	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅱ (家庭)	回答者数	6	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	福井 典代, 速水 多佳子, 坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	3	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	3	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	3	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	1	0	0	0	4.8
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

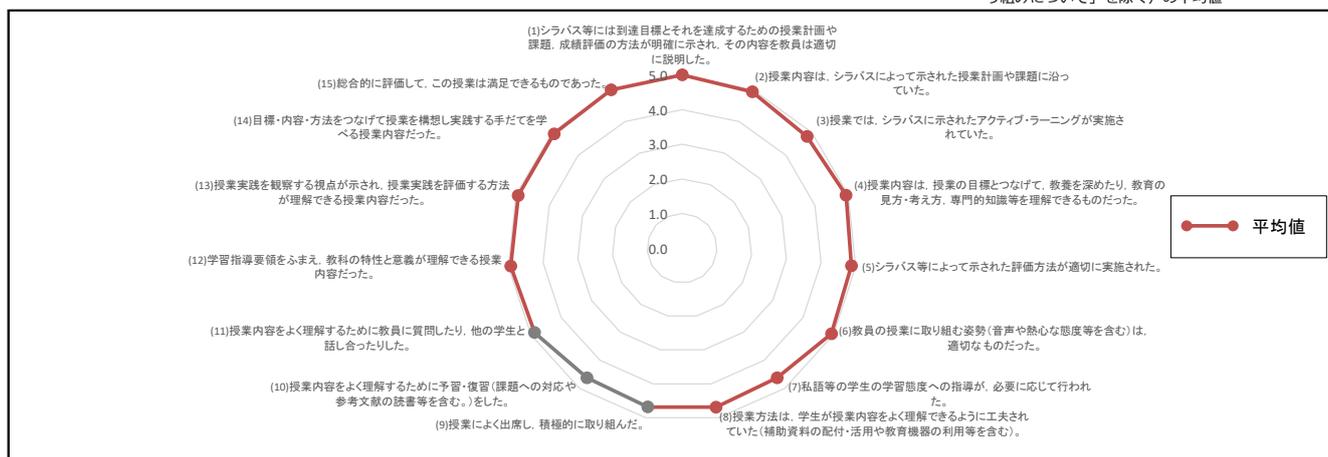
No.	420	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (国語)	回答者数	16	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	幾田 伸司				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	16	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	3	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	15	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	14	2	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	15	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	12	2	2	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	11	5	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	12	3	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	12	2	2	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	14	2	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	14	1	0	0	0	4.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	14	1	0	0	0	4.9
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	14	1	0	0	0	4.9
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	16	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

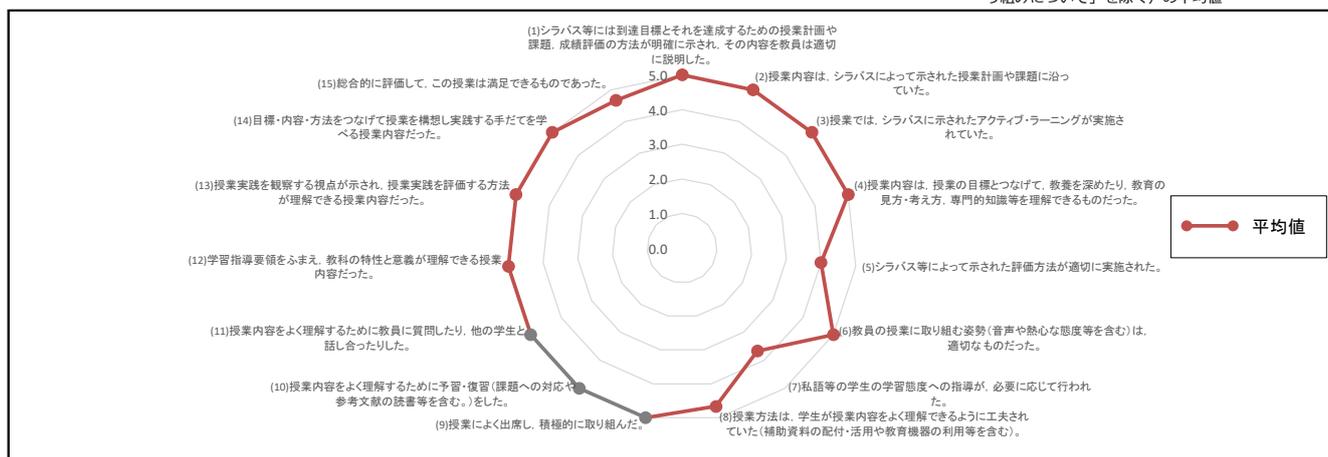
No.	421	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (英語)	回答者数	3	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	山森 直人, 佐藤 美智子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	1	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	0	0	0	1	3.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	1	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	4.7

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

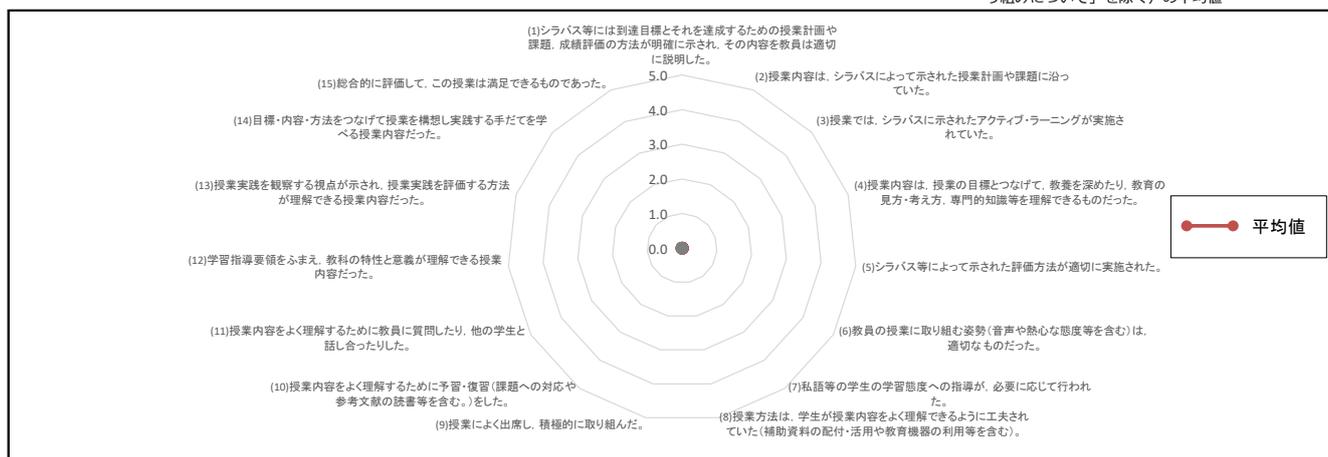
No.	422	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (社会)	回答者数	0	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	井上 奈穂, 麻生 多聞				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	0	0	0	0	0	—
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

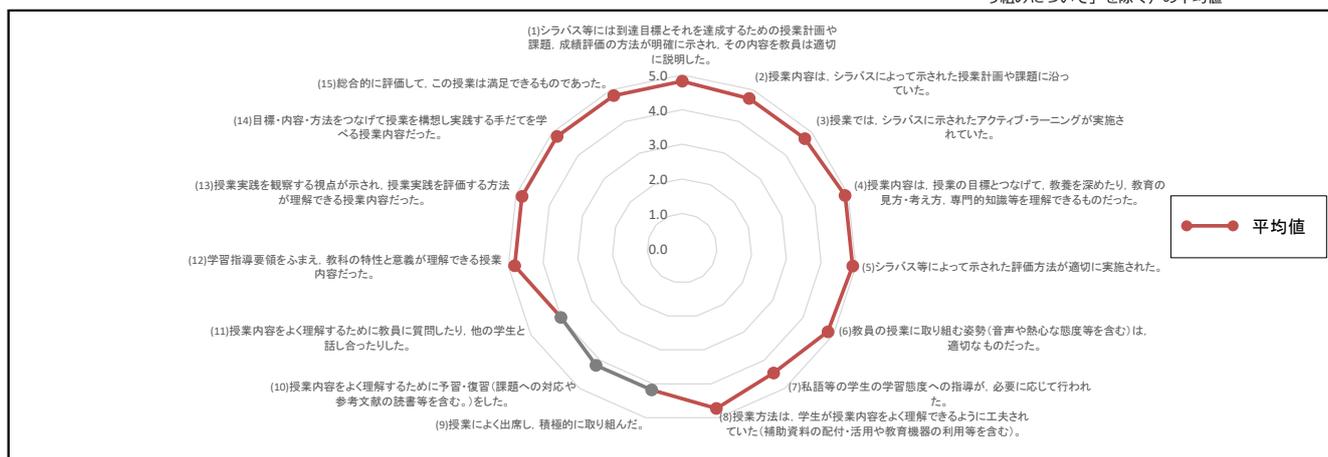
No.	423	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (算数・数学)	回答者数	11	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	秋田 美代, 山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	1	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	1	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	10	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	4	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	1	1	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	3	1	0	1	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	5	0	0	1	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	3	2	0	1	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	9	2	0	0	0	4.8
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	9	2	0	0	0	4.8
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	9	2	0	0	0	4.8
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

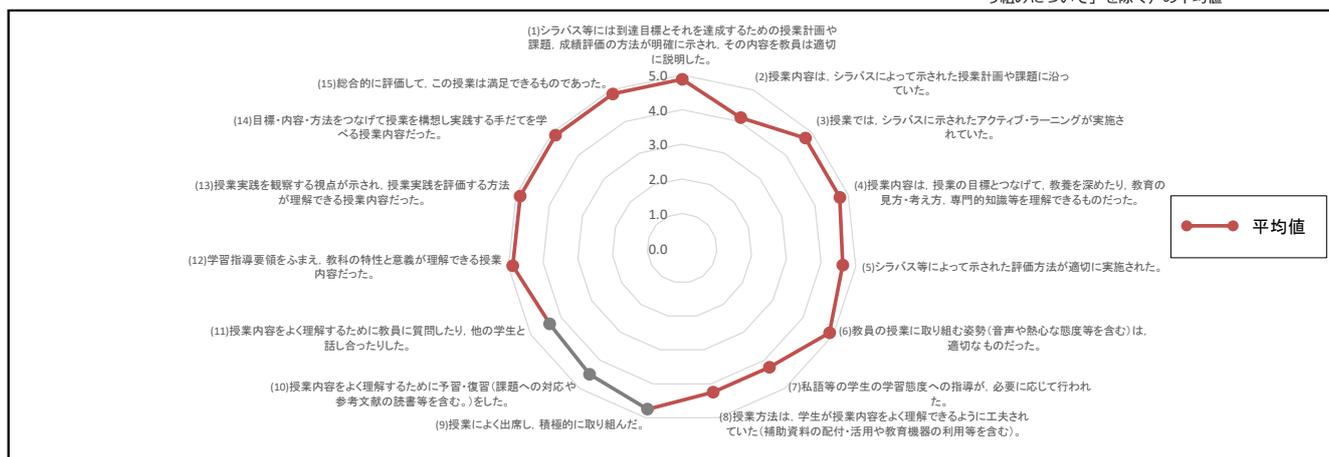
No.	424	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (理科)	回答者数	8	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	武田 清, 本田 亮, 佐藤 勝幸, 工藤 慎一, 早藤 幸隆, 寺島 幸生, 栗田 高明, 胸組 虎胤, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	3	2	0	0	4.1
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	4	1	0	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	4	1	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	2	1	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	1	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	0	4.9
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	7	1	0	0	0	4.9
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	7	1	0	0	0	4.9
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

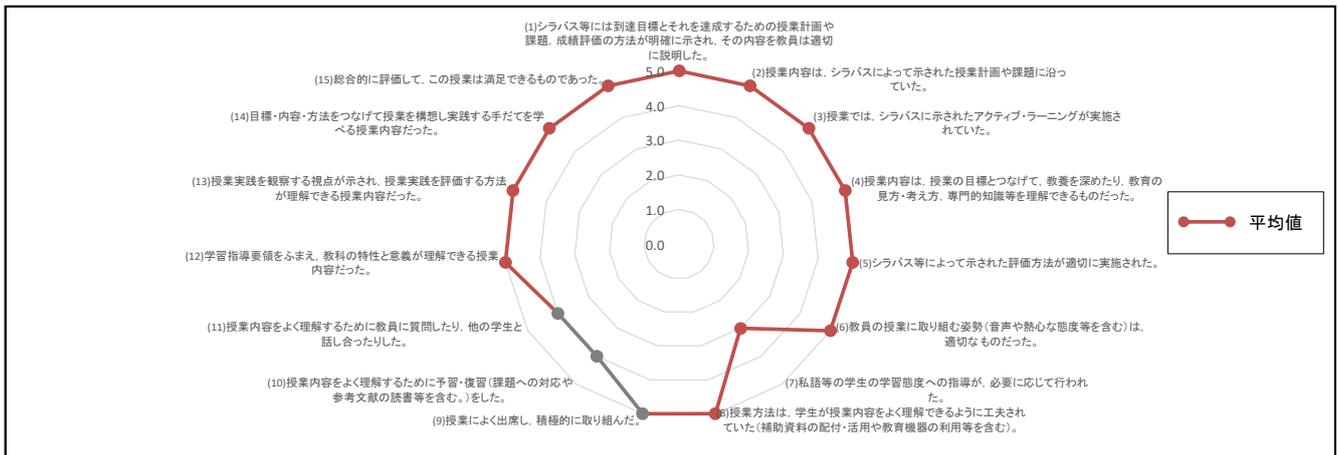
No.	425	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (音楽)	回答者数	1	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	鉄口 真理子, 松岡 みち子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	3.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

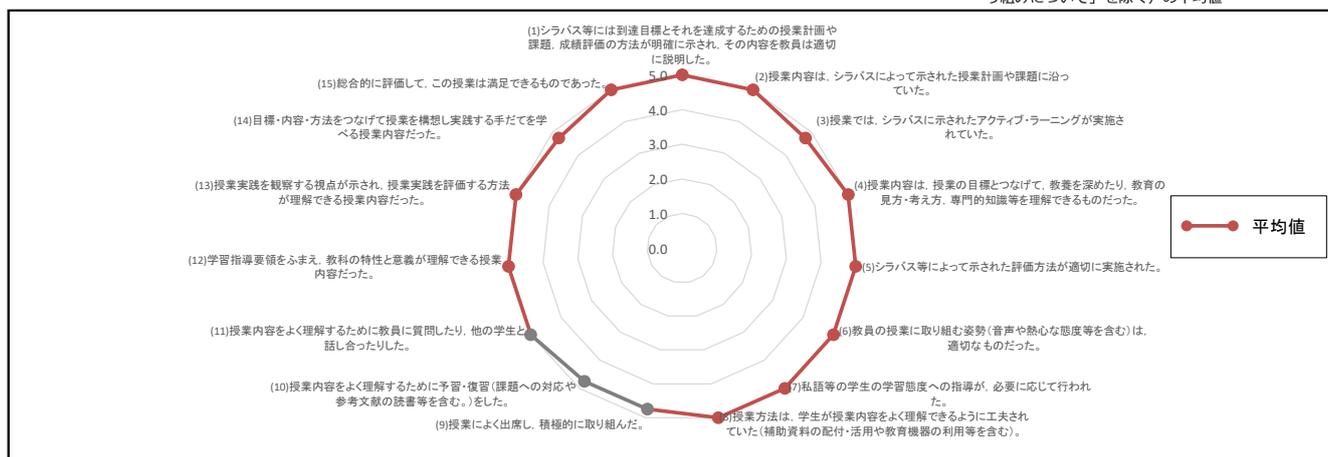
No.	426	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (図工・美術)	回答者数	4	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	小川 勝, 内藤 隆, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	3	1	0	0	0	4.8
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

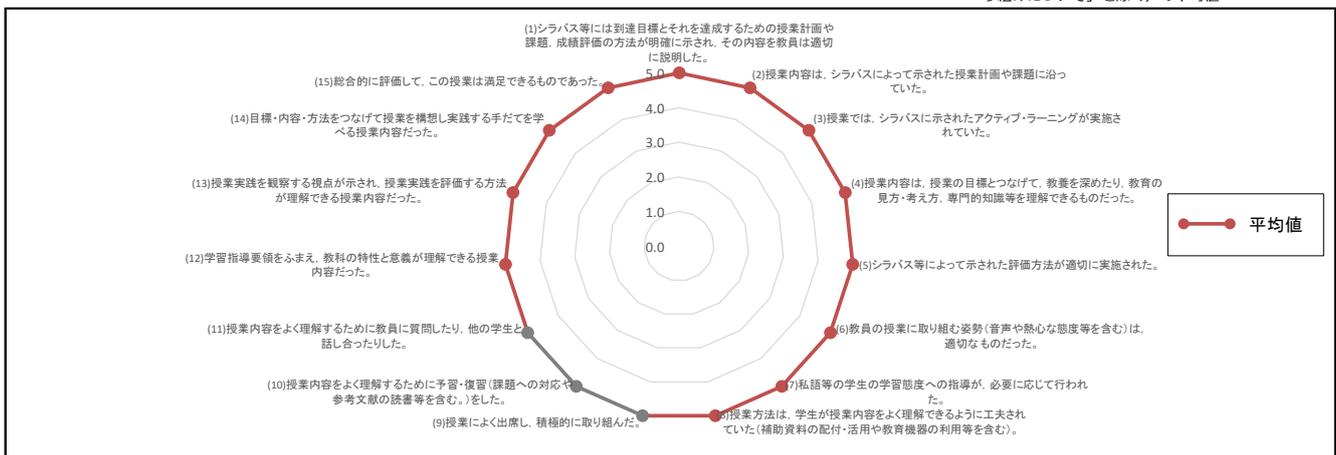
No.	427	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (体育・保健)	回答者数	1	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	松井 敦典, 田中 弘之, 南 隆尚				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	1	0	0	0	0	5.0
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

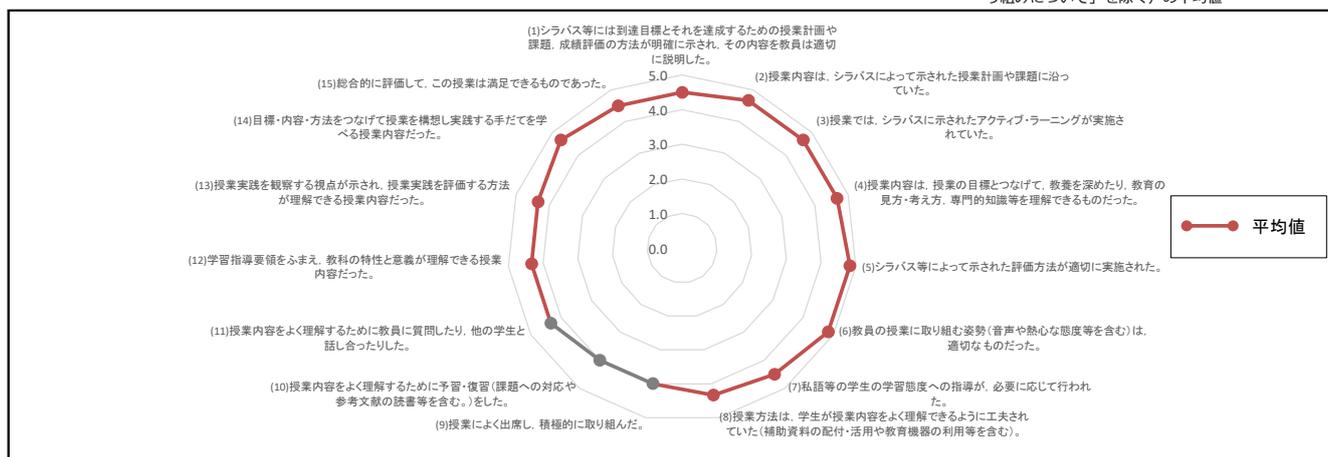
No.	428	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (技術)	回答者数	6	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	伊藤 陽介, 阪東 哲也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	3	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	2	1	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	2	2	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	2	2	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	2	1	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	3	2	1	0	0	4.3
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	1	0	1	0	4.3
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	2	0	0	0	4.7
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	3	0	0	0	4.5

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

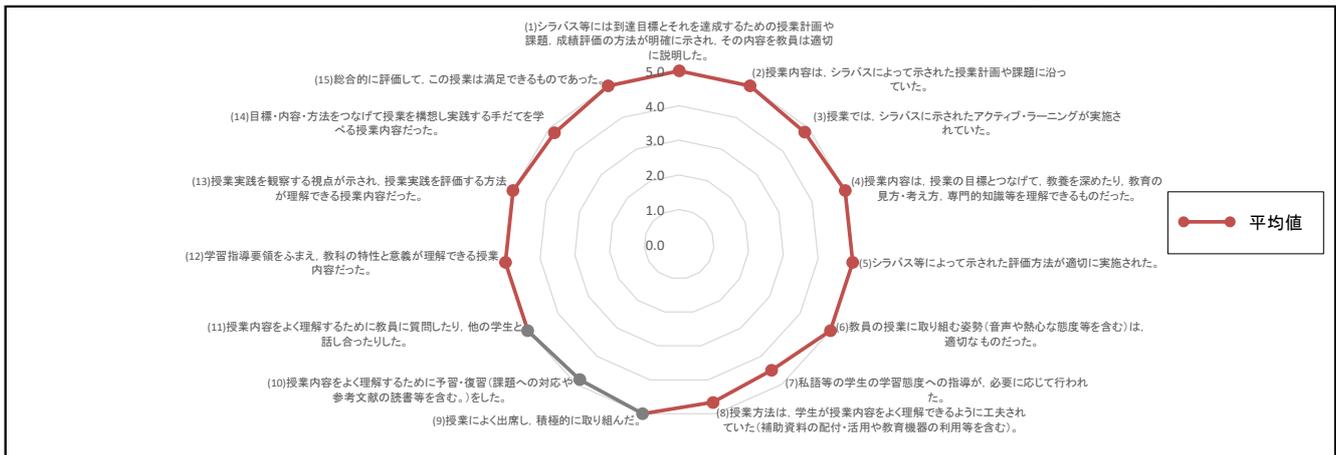
No.	429	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等中等教科教育実践Ⅲ (家庭)	回答者数	6	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	速水 多佳子, 西川 和孝, 金 貞均				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	5.0
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	5	0	0	0	0	5.0
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	4	1	0	0	0	4.8
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

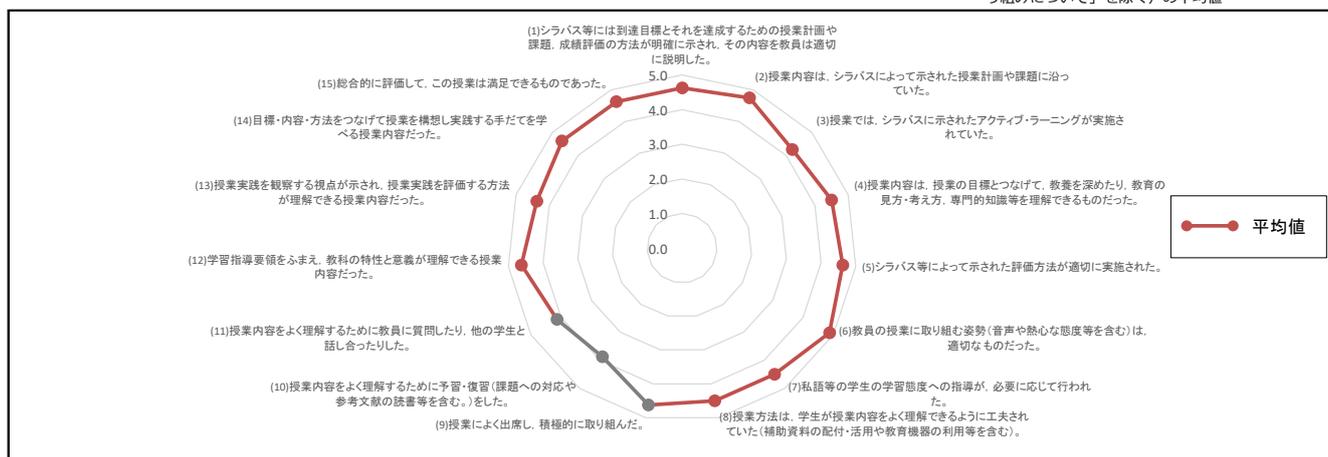
No.	430	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	特別支援教育実践基礎演習	回答者数	8	人	
区分	教育実践コア科目				
担当教員名	高橋 眞琴, 田中 淳一, 高原 光恵, 大谷 博俊, 小倉 正義, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらともいえない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	3	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	2	0	0	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	1	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	2	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	2	1	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	3	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	2	2	1	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	4	0	1	0	4.1
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。	5	3	0	0	0	4.6
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。	4	3	1	0	0	4.4
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。	5	3	0	0	0	4.6
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	3	0	0	0	4.6

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

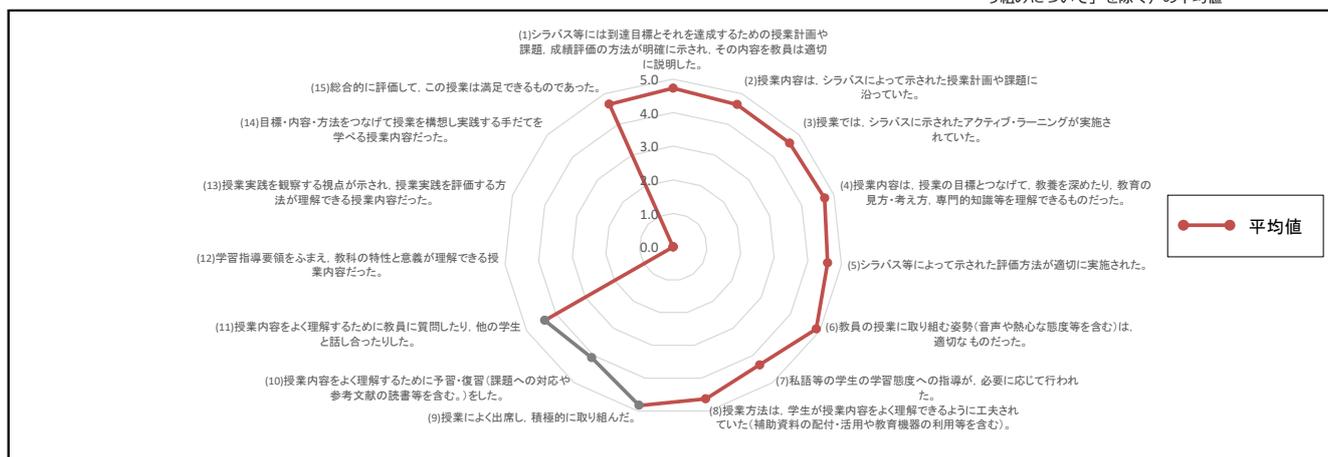
No.	431	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	教職論	回答者数	78	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	阪根 健二, 湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	59	17	2	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	57	15	5	1	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	55	18	4	1	0	4.6
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	58	17	3	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	54	16	8	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	71	5	2	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	41	25	10	2	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	53	21	4	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	67	9	2	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	37	22	12	3	4	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	45	22	7	4	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	57	17	3	0	1	4.7

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

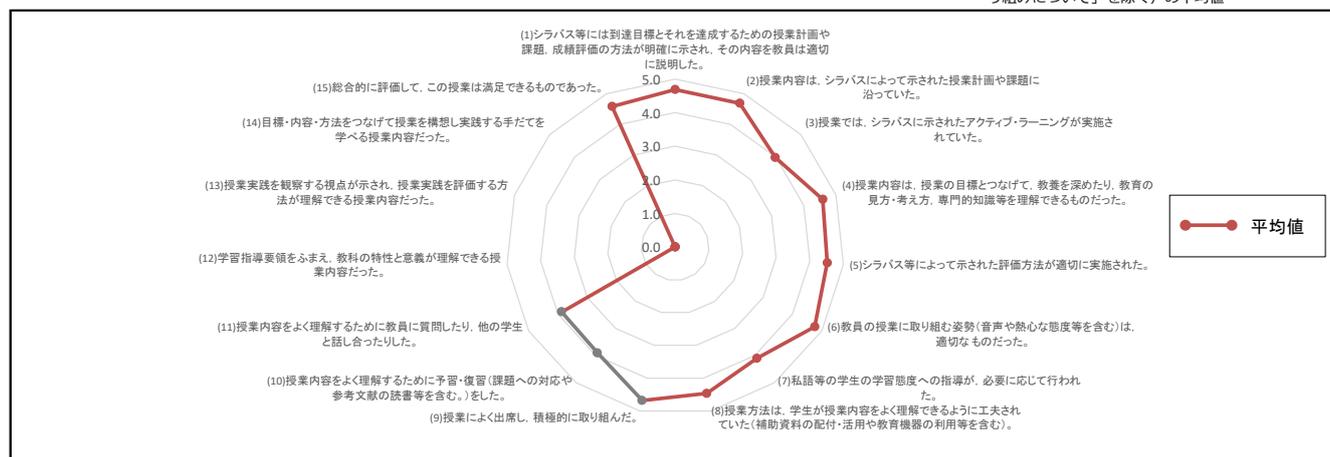
No.	432	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	人間形成原論	回答者数	106	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	谷村 千絵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	76	27	3	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	78	23	5	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	42	32	24	4	4	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	67	34	5	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	64	33	9	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	86	16	3	1	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	49	28	21	7	1	4.1
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	55	45	6	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	76	26	4	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	34	44	15	10	3	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	36	35	24	8	3	3.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	71	29	4	1	1	4.6

総合評価	4.5
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

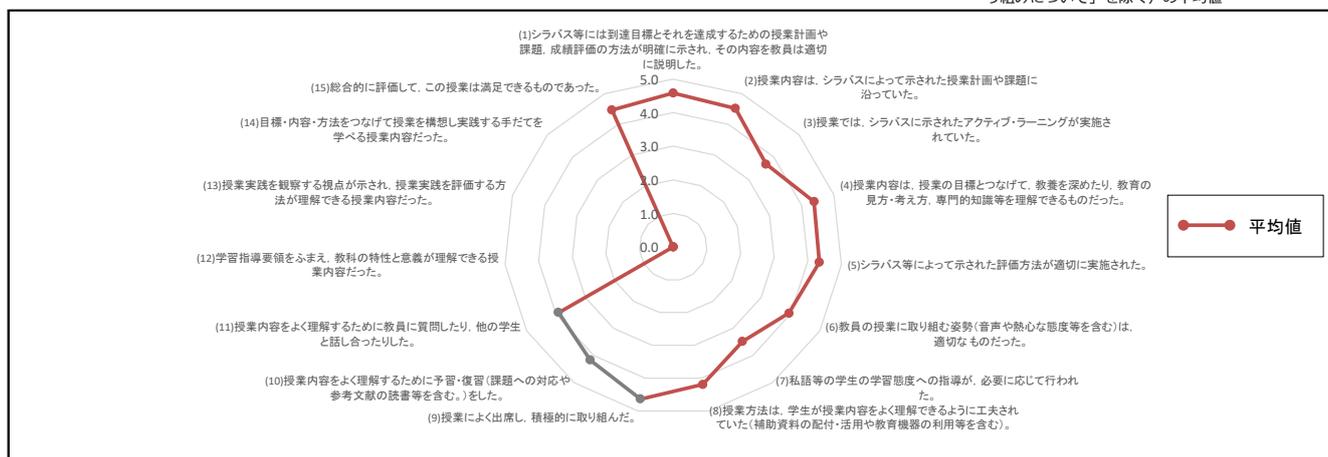
No.	433	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	教育心理学(発達心理を含む) (新課程)		回答者数	58	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	皆川 直凡, 田村 隆宏, 内田 香奈子, 高原 光恵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	39	16	2	0	1	4.6
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	33	24	0	0	1	4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	23	13	11	3	8	3.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	33	18	4	2	1	4.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	30	20	7	0	1	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	24	14	15	3	2	3.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	18	8	24	0	8	3.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	25	25	4	2	2	4.2
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	42	13	2	0	1	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	27	21	6	1	3	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	26	17	6	2	7	3.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	41	10	3	1	3	4.5

総合評価	4.2
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

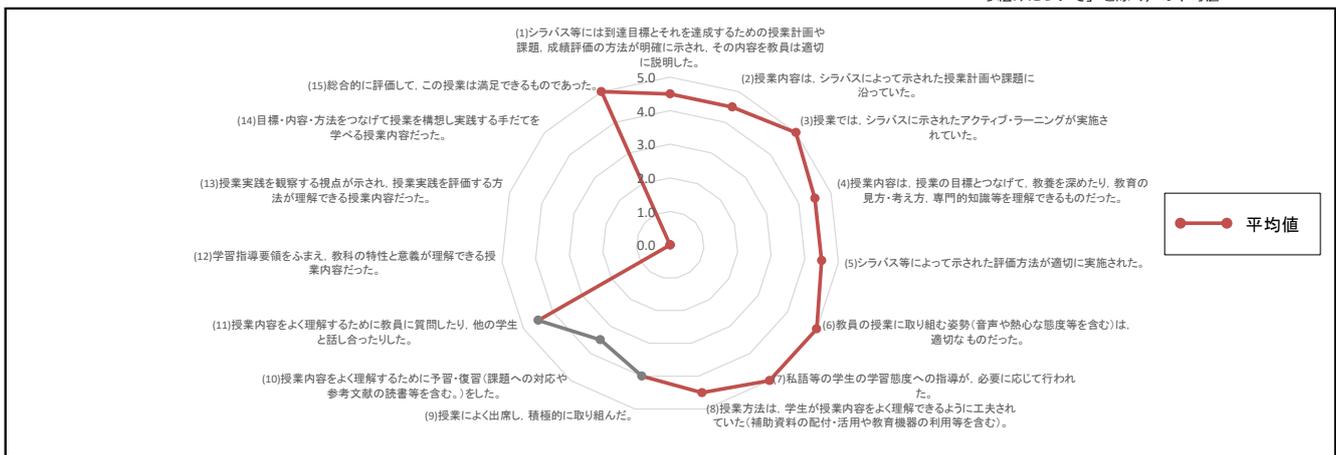
No.	434	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	教育制度・経営論	回答者数	2	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	石村 雅雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	2	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	1	1	0	0	3.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

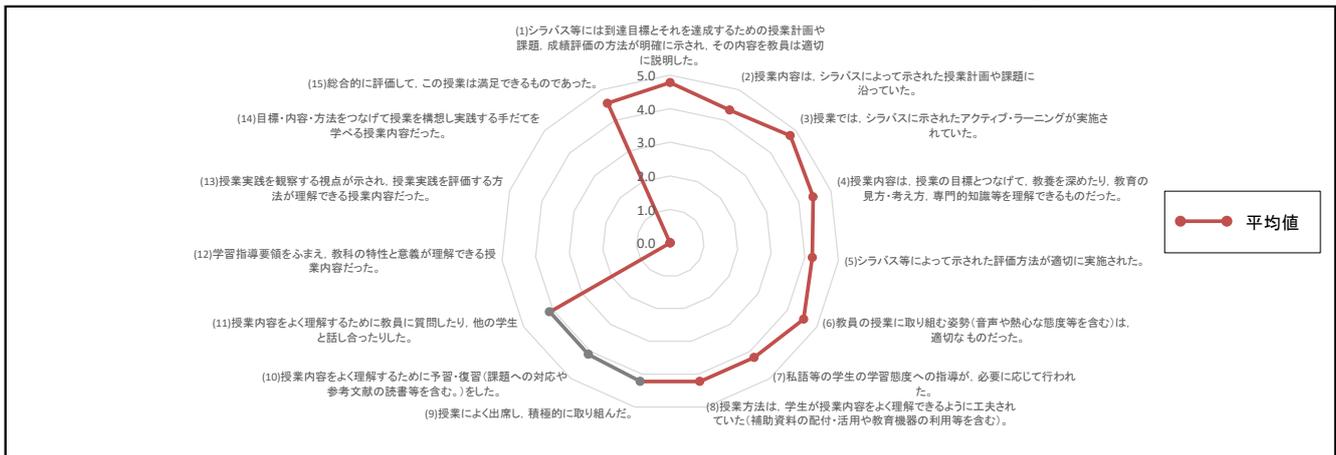
No.	435	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教育社会学	回答者数	9	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	葛上 秀文				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	4	1	0	0	4.3
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	5	0	0	0	4.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	5	1	0	0	4.2
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	4	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	3	2	0	0	4.2
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	5	1	0	0	4.2
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	3	2	0	0	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	5	0	1	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	3	1	1	0	4.1
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	4	0	0	0	4.6

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

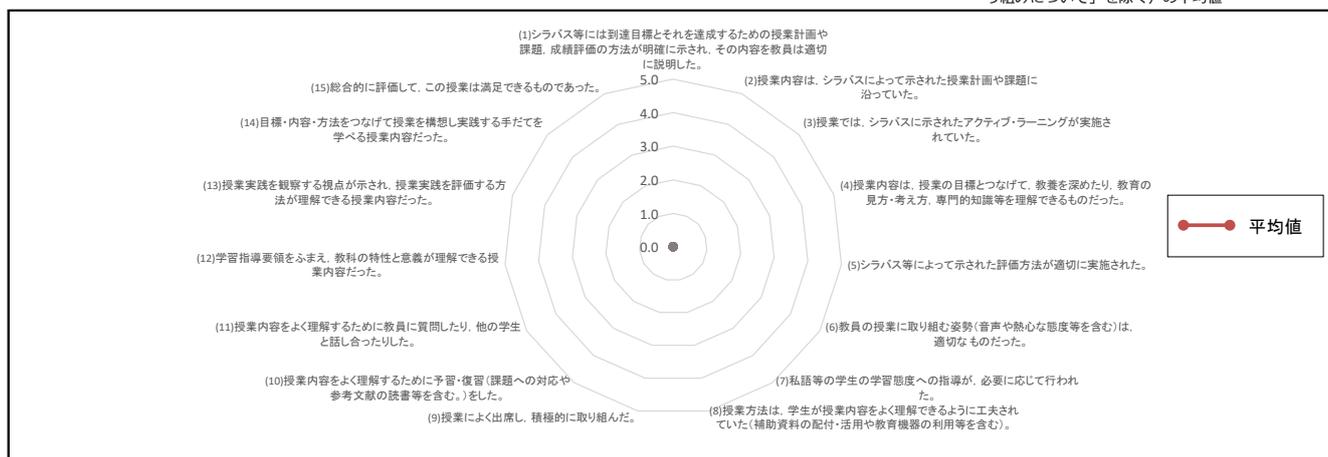
No.	436	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	教育課程論（校種間連携を含む。）		回答者数	0	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	幾田 伸司, 前田 洋一, 井上 奈穂, 山田 芳明, 早藤 幸隆				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

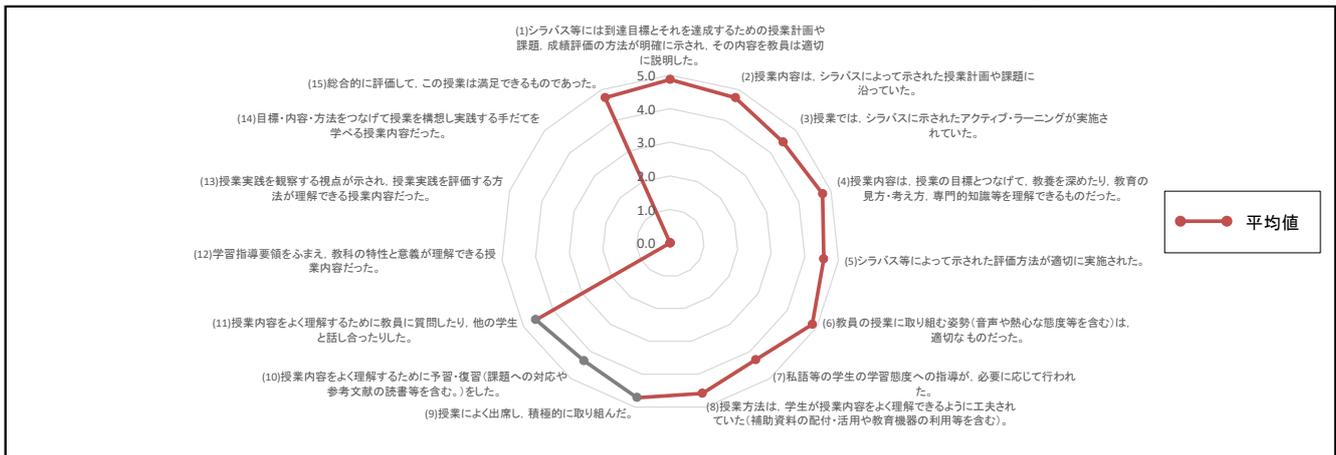
No.	437	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等国語科教育論 A	回答者数	53	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	幾田 伸司				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	46	7	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	41	10	2	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	34	15	1	2	1	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	39	14	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	34	15	4	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	45	8	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	30	13	6	4	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	32	20	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	40	11	2	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	27	19	5	2	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	37	12	3	0	1	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	42	9	1	1	0	4.7

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

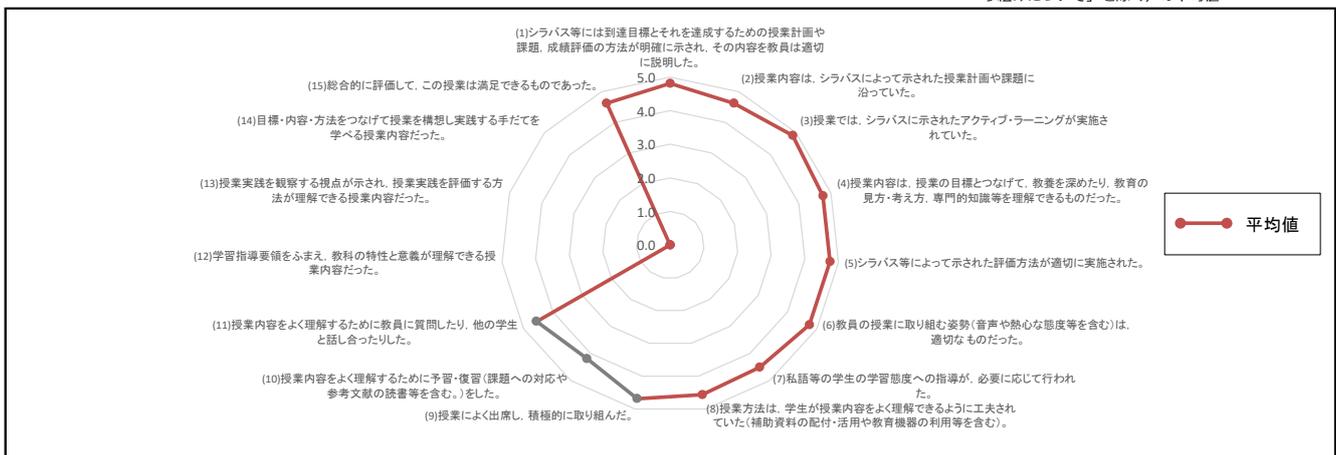
No.	438	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等国語科教育論 B	回答者数	16	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	余郷 裕次				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	13	3	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	2	2	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	2	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	13	2	1	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	4	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	1	0	1	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	11	4	0	0	1	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	5	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	13	2	0	1	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	5	2	0	1	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	3	0	0	1	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	6	0	0	0	4.6

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

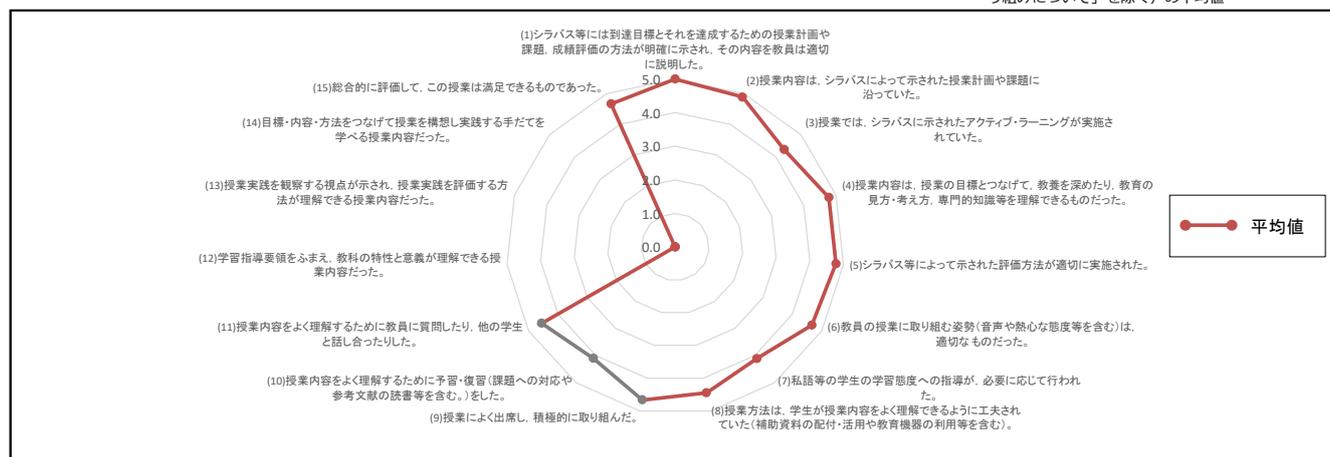
No.	439	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等社会科教育論 A	回答者数	9	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	井上 奈穂				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	4	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	1	1	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	4	2	0	0	4.1
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	0	1	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	3	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	6	1	0	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	1	0	1	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	3	0	0	0	4.7

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

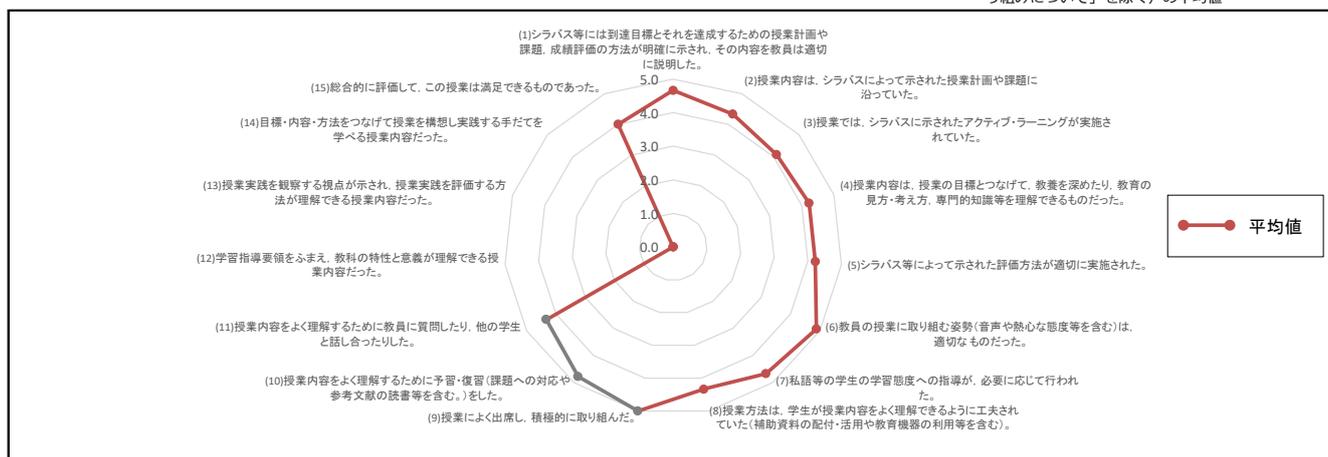
No.	440	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	初等社会科教育論 B	回答者数	9	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	坂田 大輔				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	1	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	1	4.3
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	1	1	4.1
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	0	0	1	4.2
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	1	0	1	4.2
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	3	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	2	0	0	1	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	2	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	1	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	0	1	1	1	4.0

総合評価	4.4
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

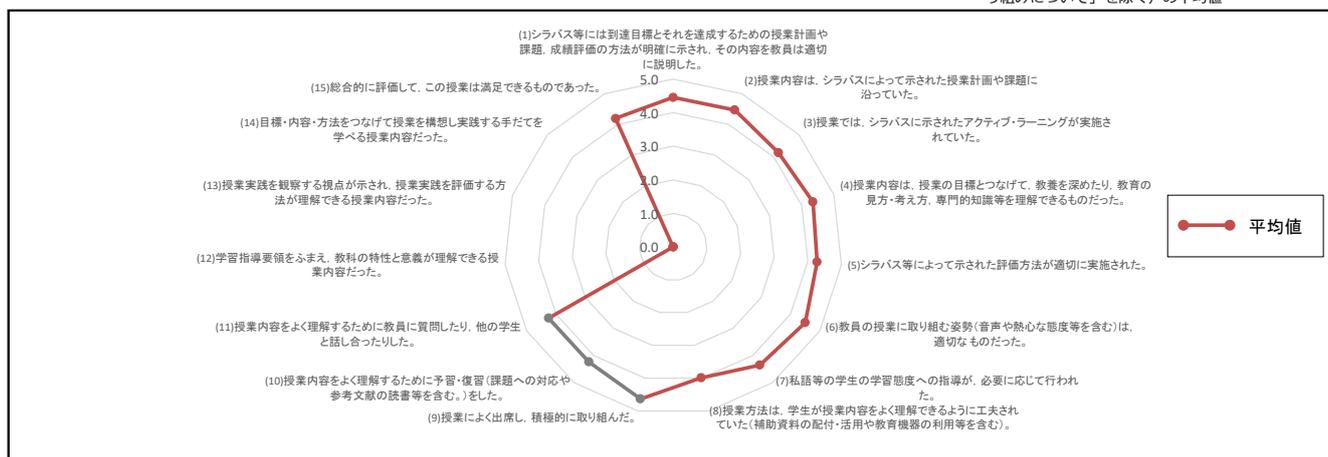
No.	441	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	算数科教育論 A	回答者数	79	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	早田 透				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	48	23	5	2	1	4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	46	26	6	0	1	4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	33	32	10	4	0	4.2
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	43	24	10	0	2	4.3
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	40	24	13	1	1	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	48	25	4	2	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	40	27	12	0	0	4.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	31	26	16	2	4	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	55	19	5	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	38	25	13	3	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	37	28	11	3	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	36	27	11	5	0	4.2

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

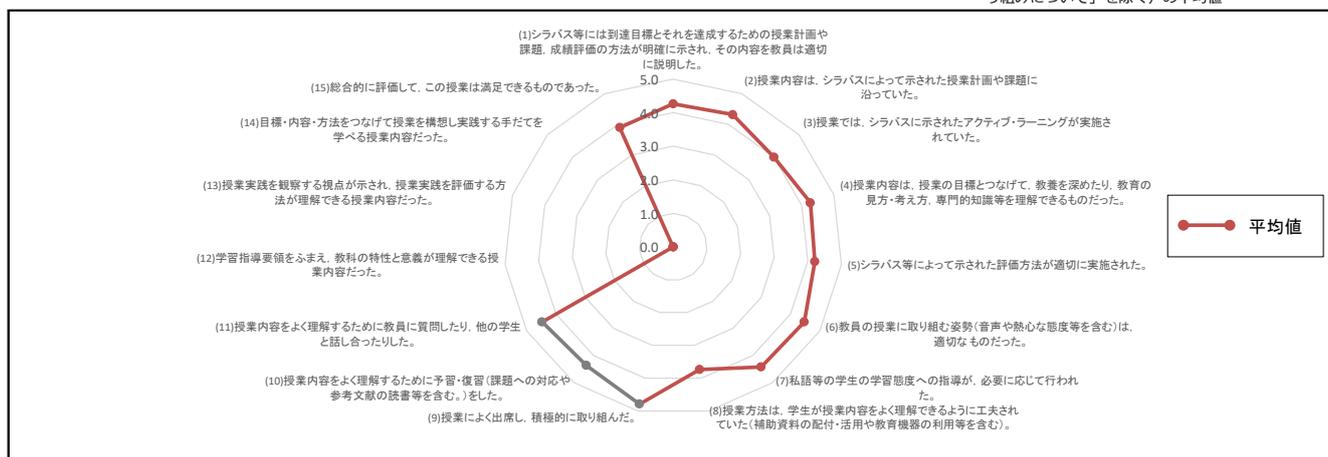
No.	442	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	算数科教育論 B	回答者数	19	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	早田 透				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	6	4	0	0	4.3
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	5	4	0	0	4.3
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	5	7	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	8	3	0	0	4.3
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	9	3	0	0	4.2
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	12	4	3	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	12	3	4	0	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	5	5	3	0	3.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	15	4	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	8	2	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	11	6	2	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	5	5	2	0	3.9

総合評価	4.2
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

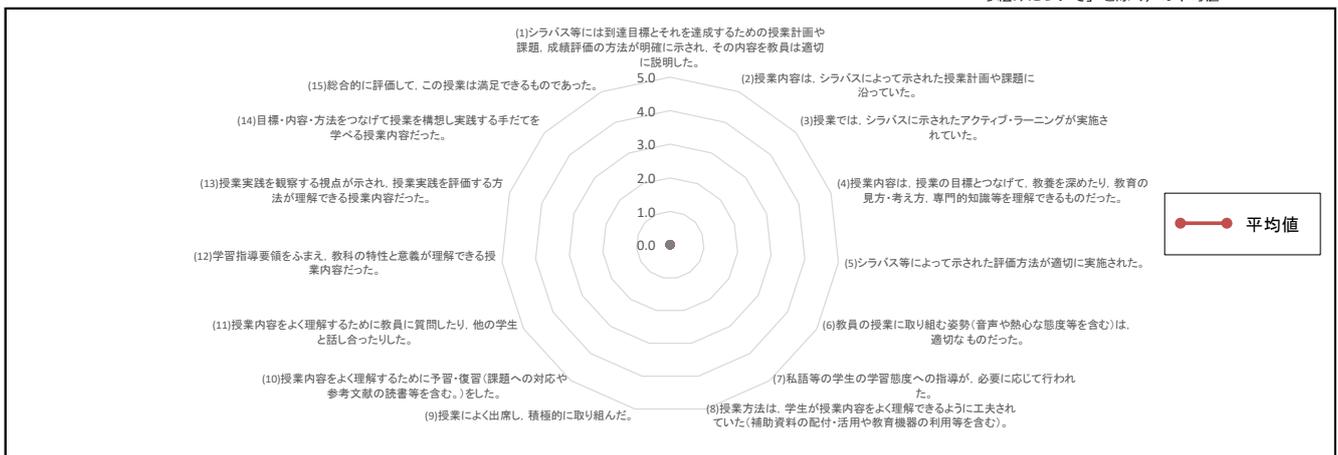
No.	443	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	初等理科教育論	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	本田 亮, 佐藤 勝幸, 早藤 幸隆, 寺島 幸生, 福地 里菜, 糸田川 裕史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

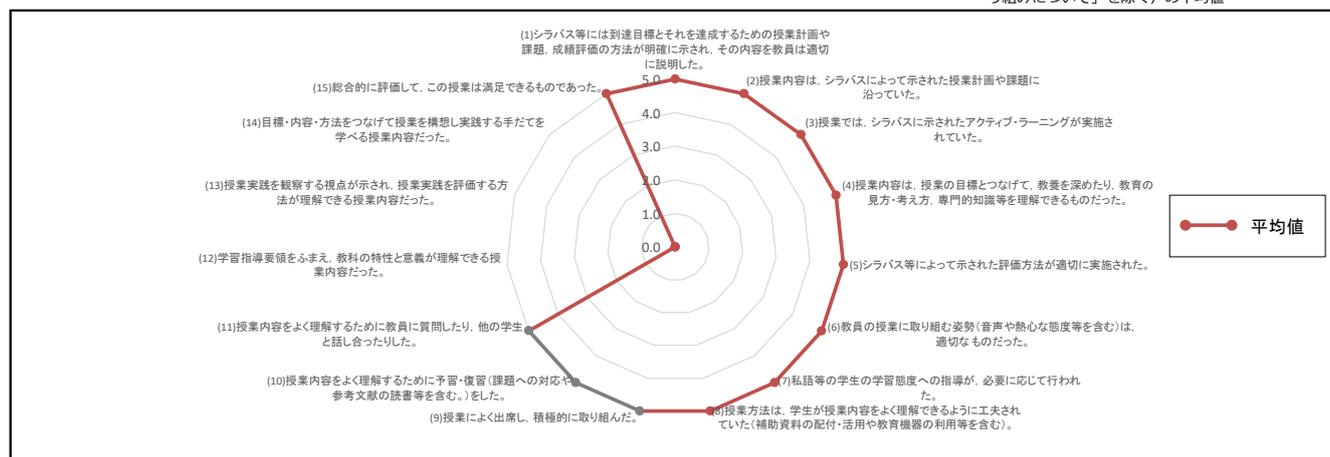
No.	444	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	生活科教育論	回答者数	2	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	金野 誠志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

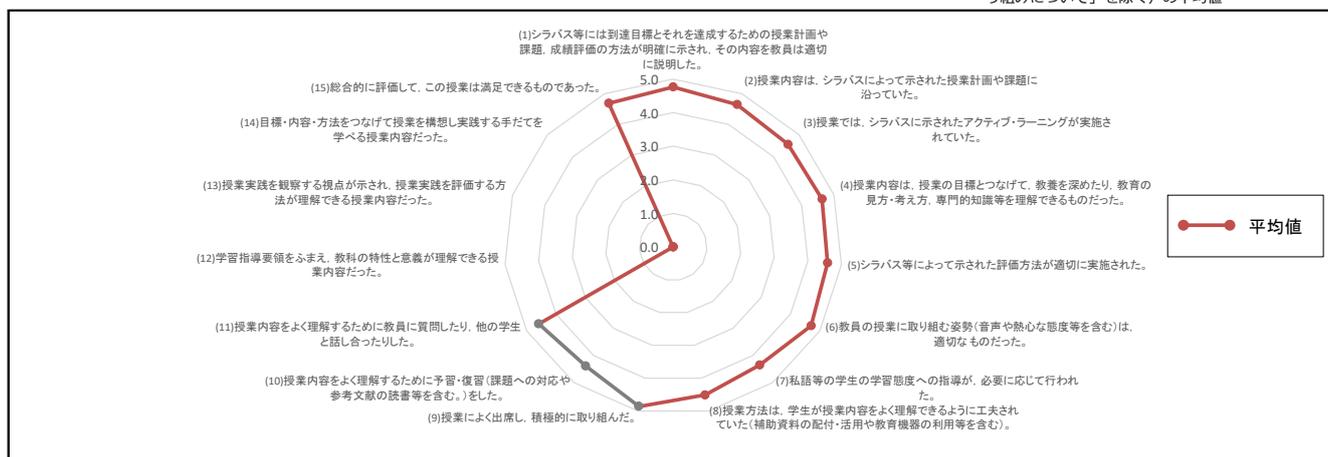
No.	445	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	初等音楽科教育論 A	回答者数	51	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	川内 由子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	40	10	1	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	36	12	3	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	34	13	3	1	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	35	14	1	1	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	34	13	4	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	39	9	3	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	28	16	4	3	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	31	16	3	1	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	45	5	1	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	30	13	7	0	1	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	36	10	4	1	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	38	11	1	1	0	4.7

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

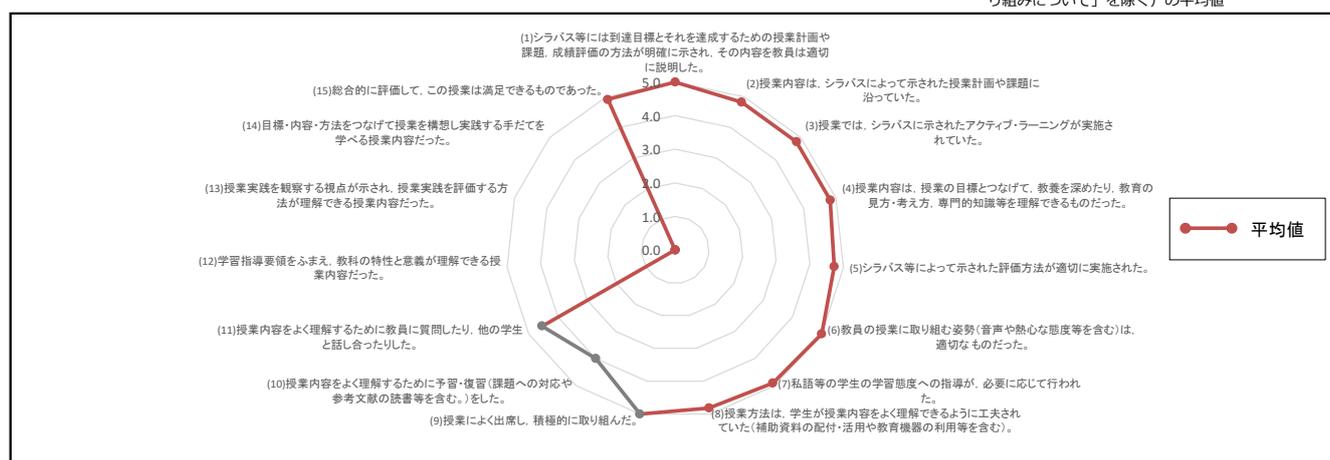
No.	446	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	初等音楽科教育論 B	回答者数	11	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	川内 由子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	11	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	11	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	10	1	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	11	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	2	1	1	1	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	3	1	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

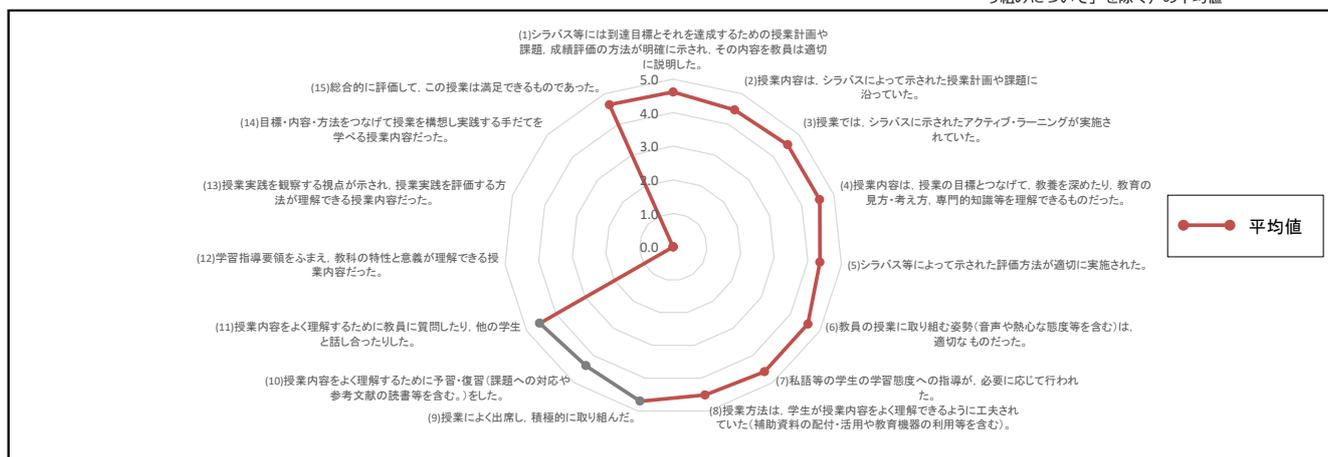
No.	447	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	図画工作科教育論 A	回答者数	47	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山田 芳明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	30	16	1	0	0	4.6
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	26	17	4	0	0	4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	28	17	2	0	0	4.6
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	28	17	2	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	23	19	4	1	0	4.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	30	15	2	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	30	15	2	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	26	19	2	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	34	12	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	23	21	2	0	1	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	31	13	2	0	1	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	33	11	3	0	0	4.6

総合評価	4.5
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

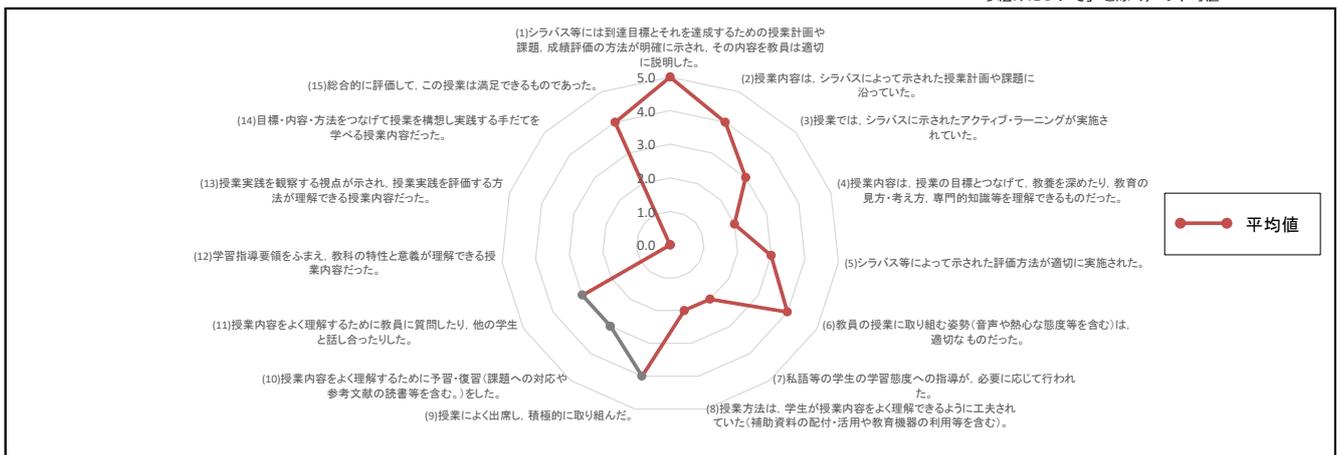
No.	448	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	図画工作科教育論 B	回答者数	1	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山木 朝彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	3.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	1	0	2.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	3.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	1	0	2.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	1	0	2.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	1	0	0	3.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	3.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	4.0

総合評価	3.2
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

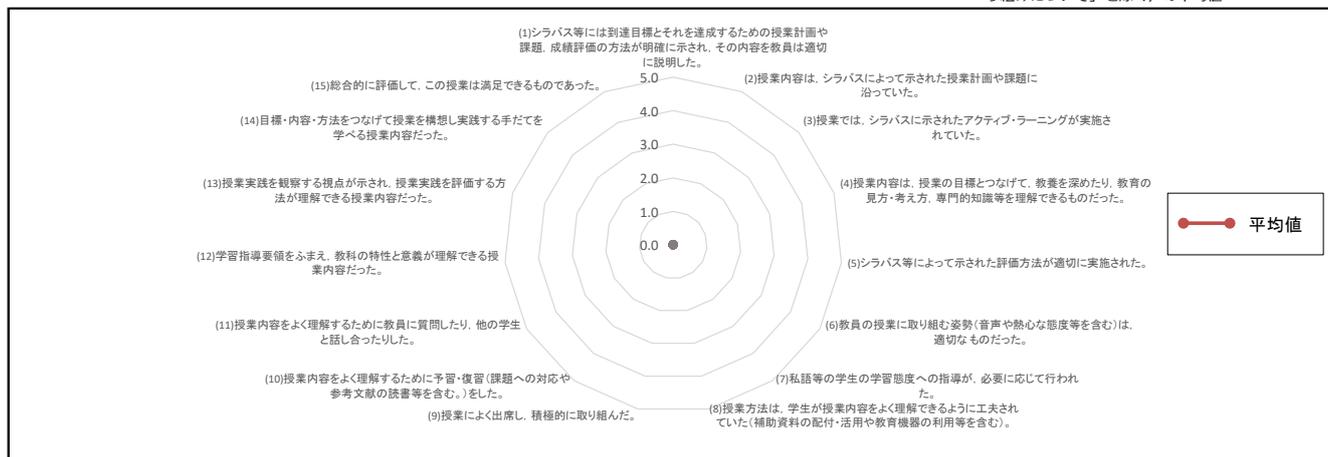
No.	449	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	体育科教育論	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	湯口 雅史, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

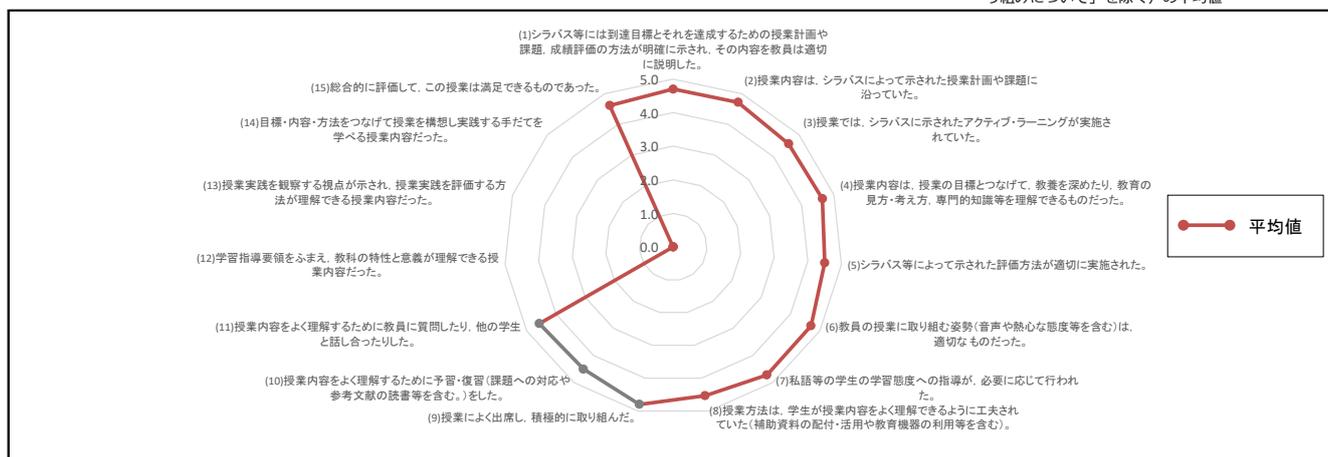
No.	450	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	初等家庭科教育論	回答者数	105	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	福井 典代, 速水 多佳子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	78	23	4	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	79	22	4	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	71	25	9	0	0	4.6
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	73	27	4	1	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	63	34	7	0	1	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	78	23	4	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	81	19	4	1	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	65	31	9	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	86	17	2	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	63	32	10	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	69	30	4	1	1	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	73	27	2	2	1	4.6

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

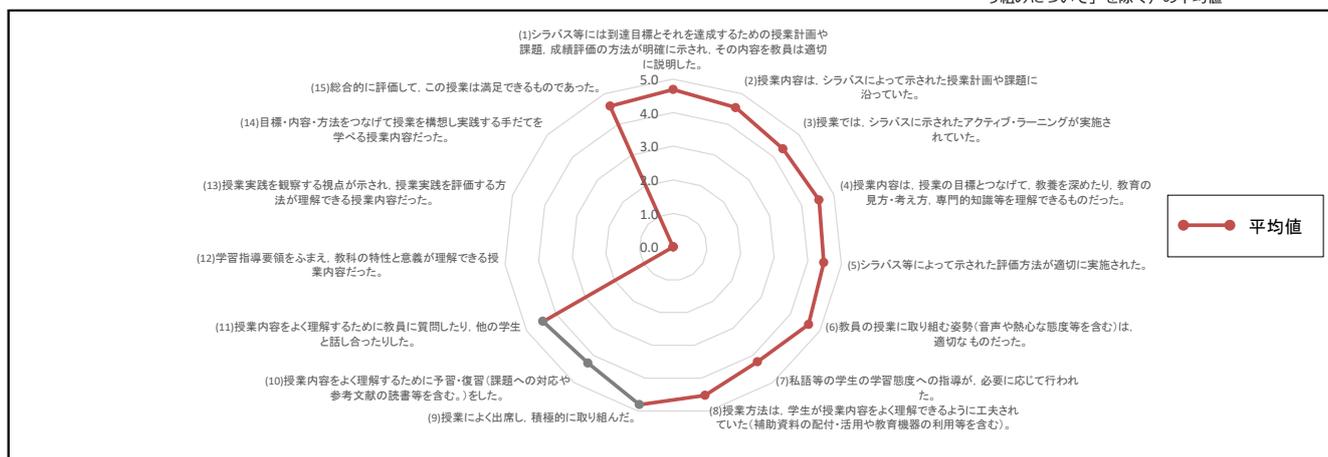
No.	451	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	道徳教育指導論	回答者数	103	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	池田 誠喜, 岡田 康孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	72	30	1	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	59	41	3	0	0	4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	50	44	6	3	0	4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	62	37	2	1	1	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	60	34	7	2	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	65	37	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	45	40	15	3	0	4.2
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	60	37	6	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	85	16	2	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	45	43	14	1	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	60	32	9	1	1	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	70	27	3	3	0	4.6

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

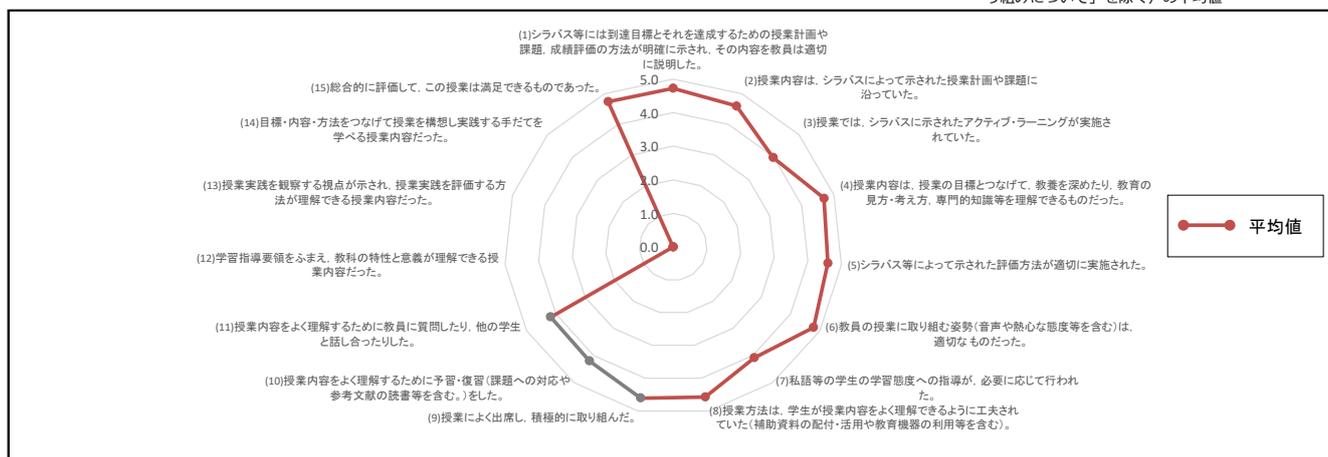
No.	452	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	特別活動指導論 A	回答者数	87	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	岡田 康孝, 藤田 完				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	66	18	3	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	57	26	3	1	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	46	13	14	8	6	4.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	63	21	3	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	59	21	7	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	70	14	2	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	45	15	17	9	1	4.1
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	55	27	5	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	58	25	3	1	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	44	27	9	4	3	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	47	21	10	6	3	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	66	19	2	0	0	4.7

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

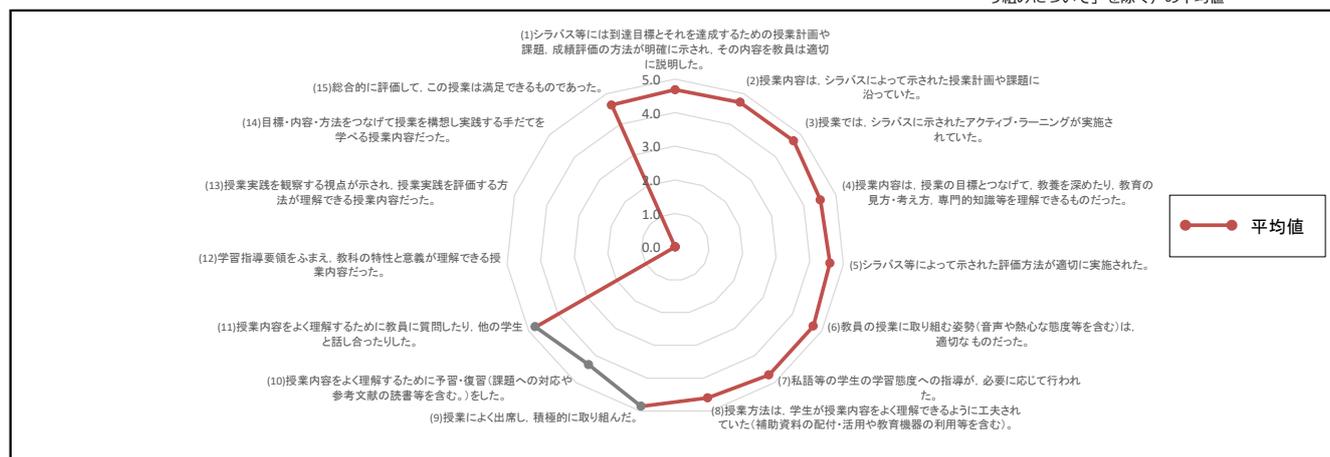
No.	453	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	特別活動指導論 B	回答者数	35	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	五宝 友哉				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	27	6	1	1	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	25	10	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	27	7	0	1	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	21	12	1	1	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	25	6	4	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	28	4	3	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	27	6	2	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	23	10	2	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	30	5	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	24	3	5	2	1	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	28	6	1	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	25	8	1	1	0	4.6

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

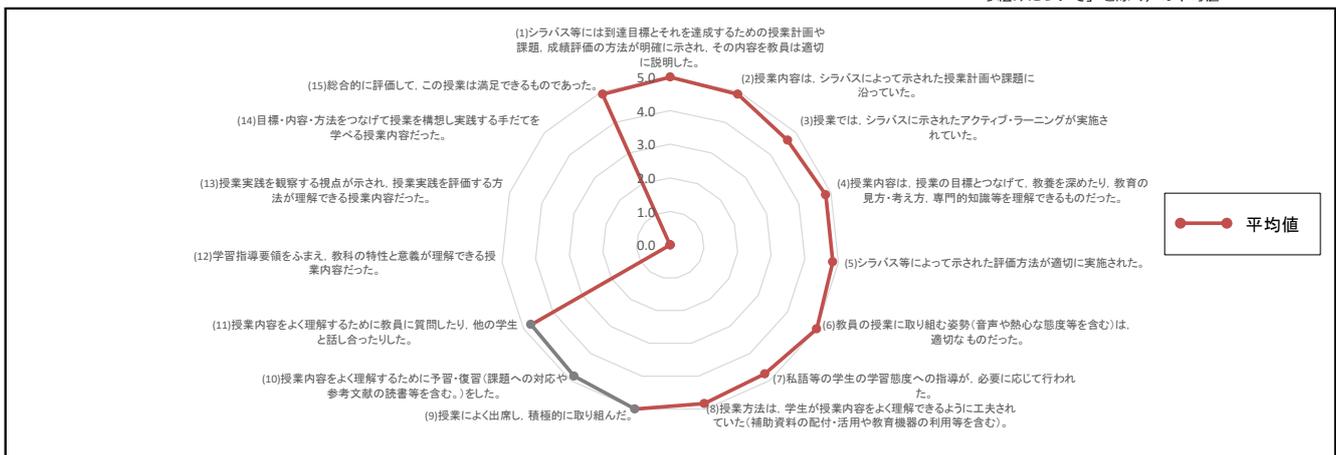
No.	454	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	幼児教育課程論	回答者数	12	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項		評価選択人数					平均値
		5	4	3	2	1	
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	4	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	12	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	9	3	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	2	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	10	1	1	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	11	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

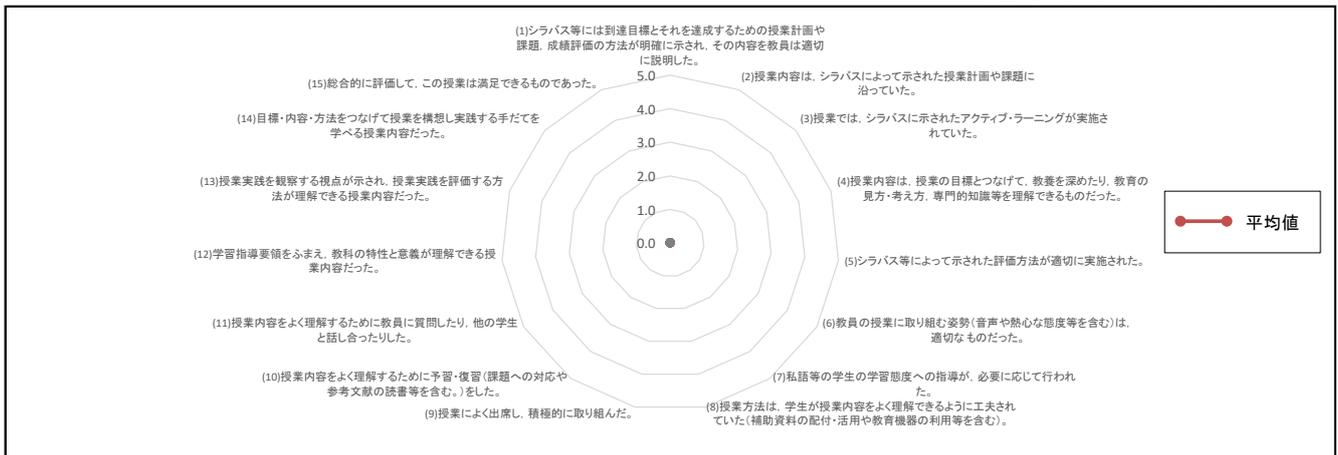
No.	455	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	保育内容総論		回答者数	0	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	塩路 晶子, 田村 隆宏, 湯地 宏樹, 佐々木 晃				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

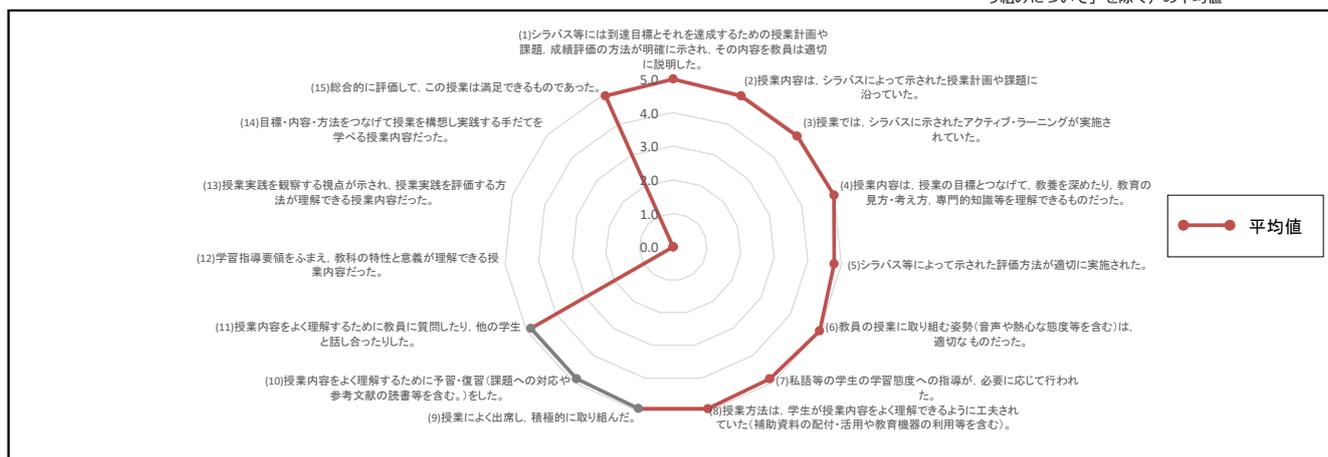
No.	456	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	保育内容（人間関係）	回答者数	14	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	佐々木 晃				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	14	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	14	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	1	1	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	12	2	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	13	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	12	2	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	2	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	13	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

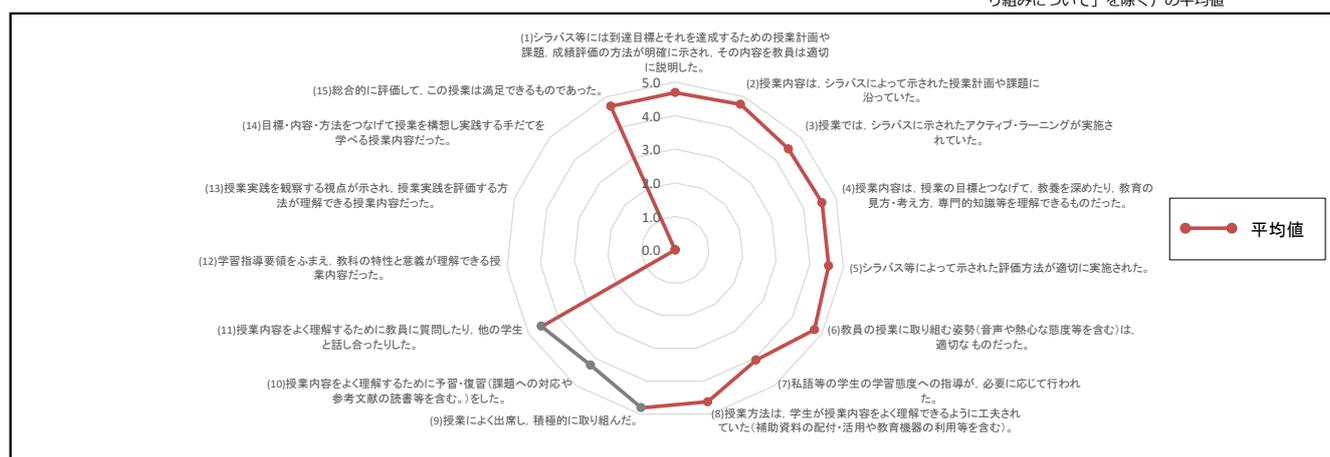
No.	457	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	保育内容（環境）	回答者数	16	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	塩路 晶子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	2	0	1	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	1	0	1	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	2	1	0	1	4.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	12	3	0	0	1	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	5	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	14	1	0	1	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	5	2	2	0	4.1
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	1	1	1	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	3	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	4	4	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	11	3	2	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	13	2	0	1	0	4.7

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

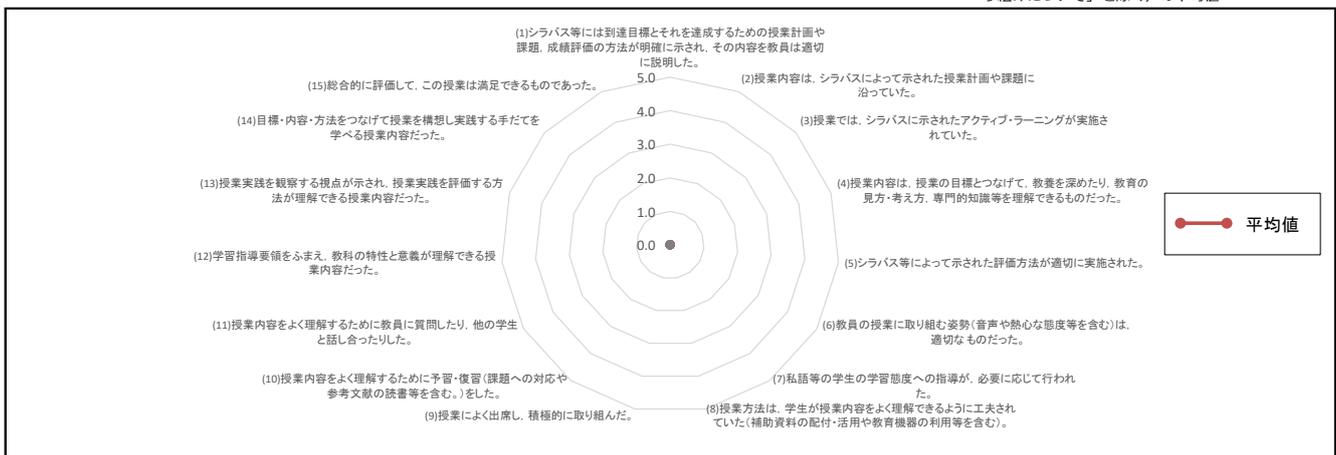
No.	458	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	保育内容（言葉）	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	田村 隆宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

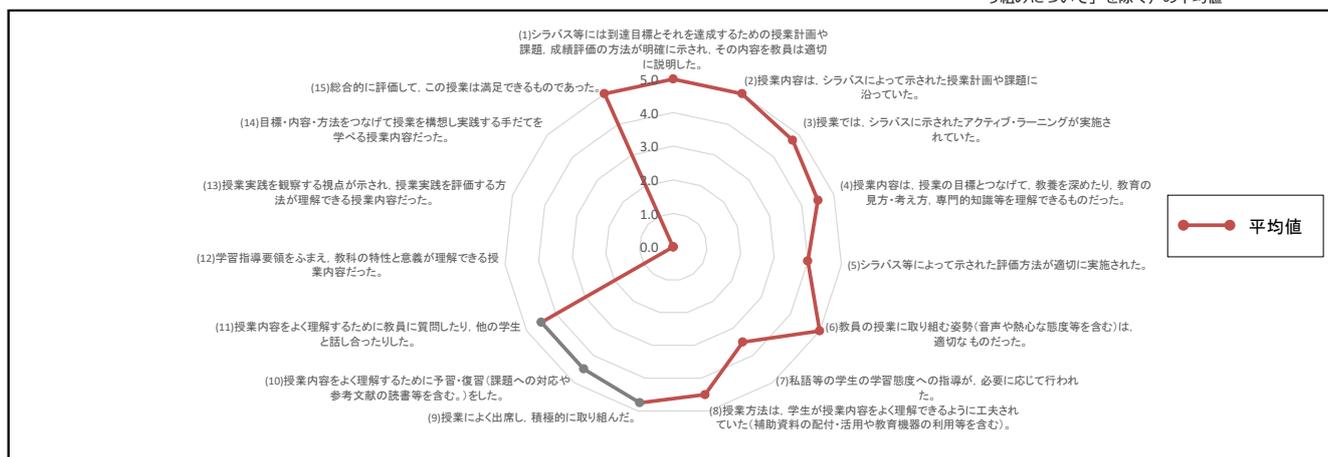
No.	459	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	保育内容（表現Ⅰ）（新課程）	回答者数	4	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	湯地 宏樹, 山田 啓明				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	2	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	1	0	0	4.0
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	3	0	0	3.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	2	0	0	0	4.5
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	2	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	4.5
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

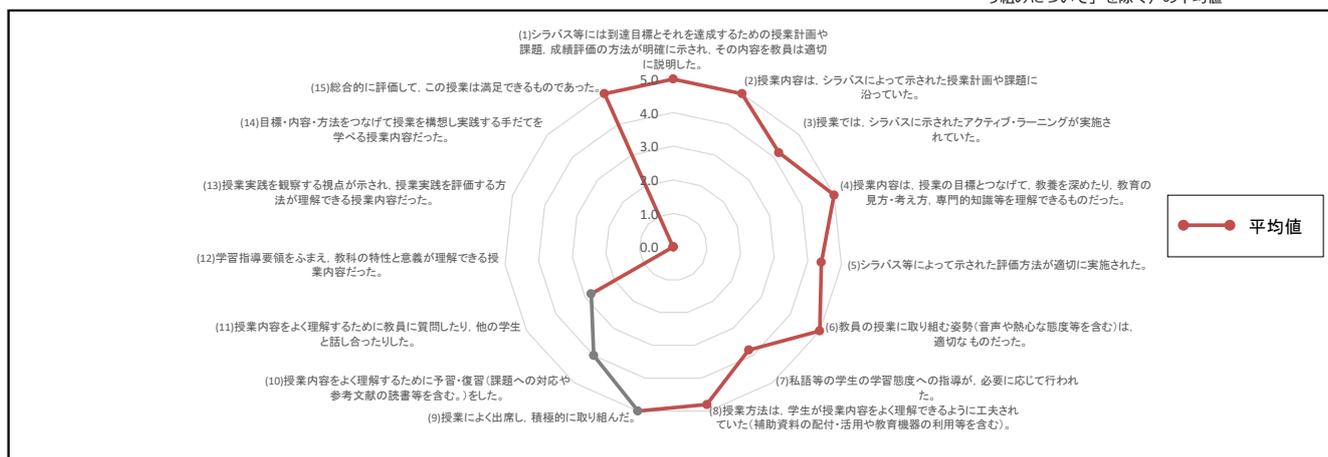
No.	460	評価実施日	令和4年8月27日		
授業科目名	保育内容（表現Ⅱ）（新課程）	回答者数	5	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	谷口 幹也				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	1	0	0	4.2
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	1	0	0	4.4
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	3	0	0	3.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	4.8
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	2	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	1	0	2	2.8
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

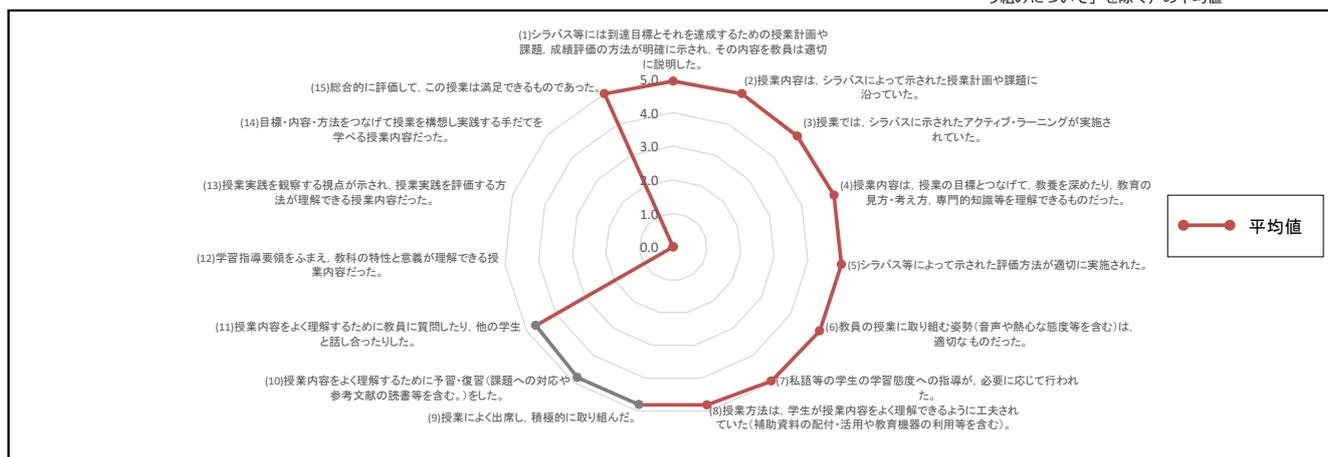
No.	461	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	保育内容（健康）	回答者数	16	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	佐々木 晃				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	15	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	16	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	16	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	16	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	15	1	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	3	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	13	3	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	3	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	13	2	0	1	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	16	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

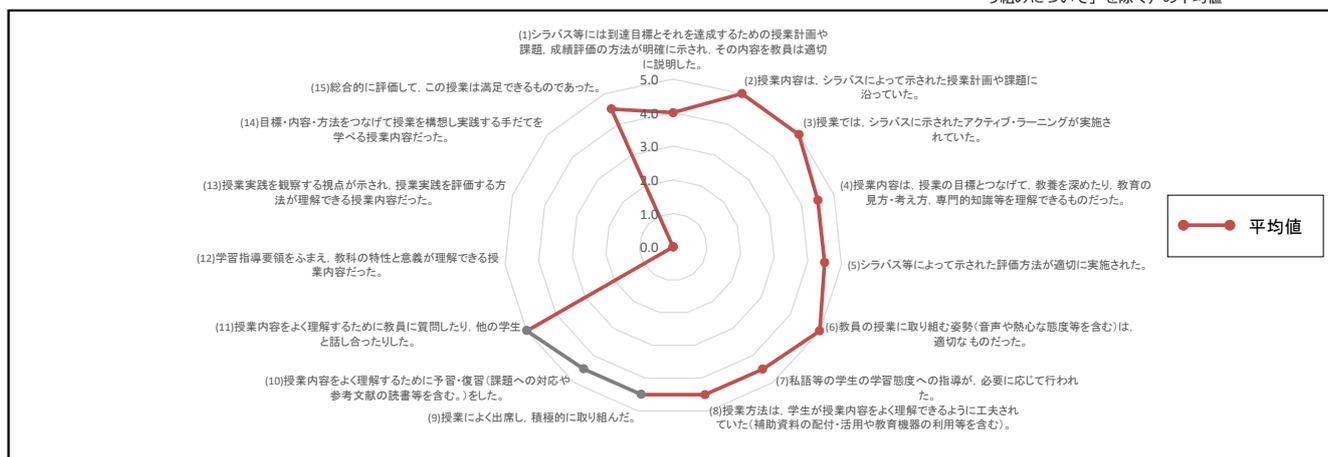
No.	462	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教育工学（新課程）	回答者数	2	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	川上 綾子, 藤原 伸彦, 江川 克弘, 泰山 裕, 小倉 正義, 竹口 幸志				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	2	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	4.5
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	4.5
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	5.0
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	4.5

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

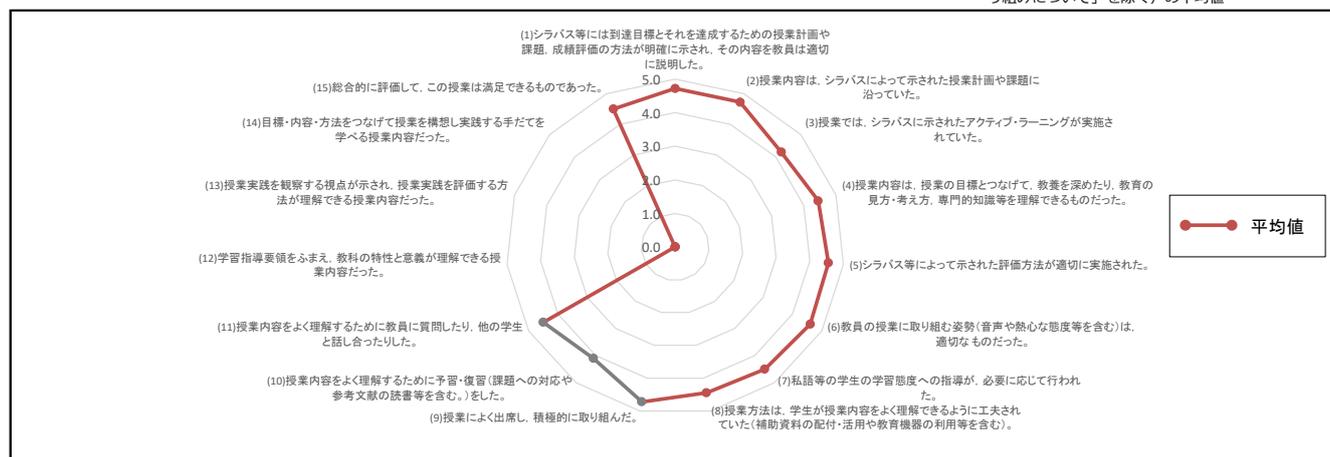
No.	463	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	教育工学（情報通信技術の活用を含む。）	回答者数	18	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	川上 綾子, 藤原 伸彦, 江川 克弘, 泰山 裕, 小倉 正義, 竹口 幸志				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	13	5	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	5	0	0	0	4.7
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	7	2	1	0	4.2
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	11	5	1	1	0	4.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	6	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	12	5	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	11	5	2	0	0	4.5
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	4	3	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	14	3	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	6	5	0	0	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	7	1	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	11	5	2	0	0	4.5

総合評価	4.5
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

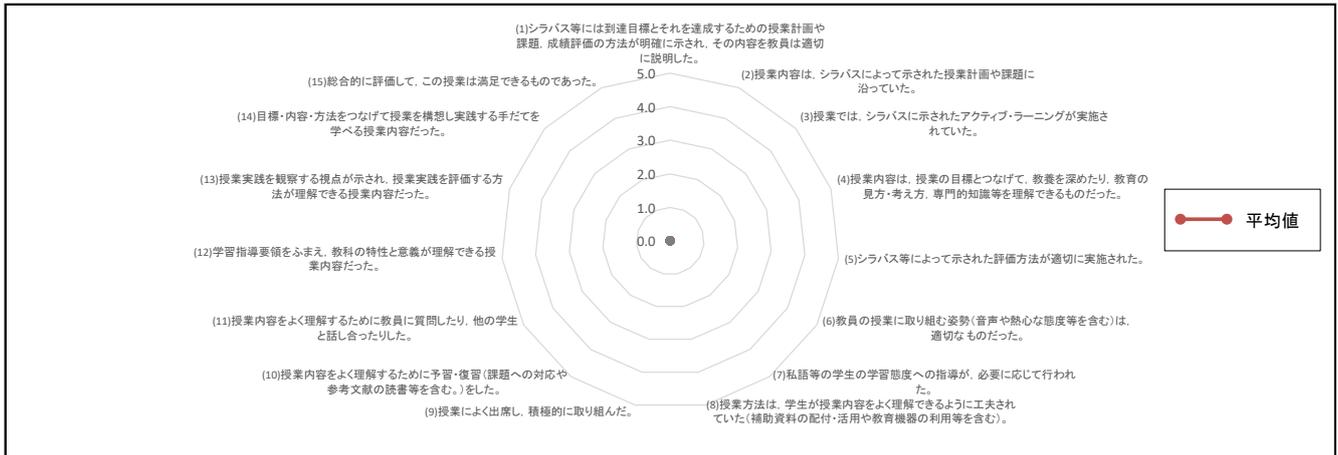
No.	464	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	幼児理解と保育実践の心理学（新課程）		回答者数	0	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	田村 隆宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

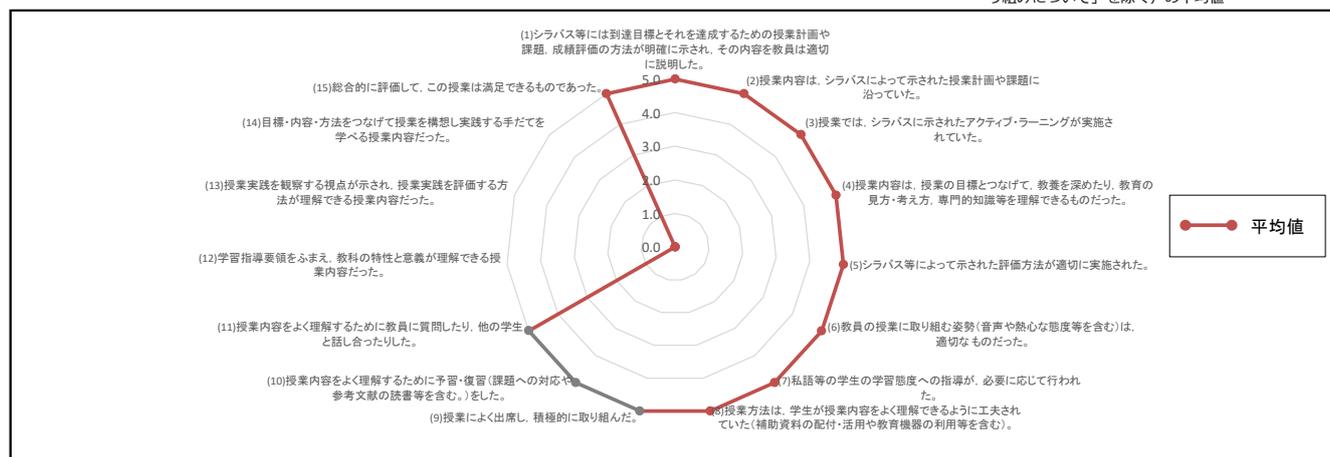
No.	465	評価実施日	令和4年11月29日		
授業科目名	生徒指導論（進路指導を含む。）（新課程）	回答者数	1	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 阿形 恒秀, 岡田 康孝				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

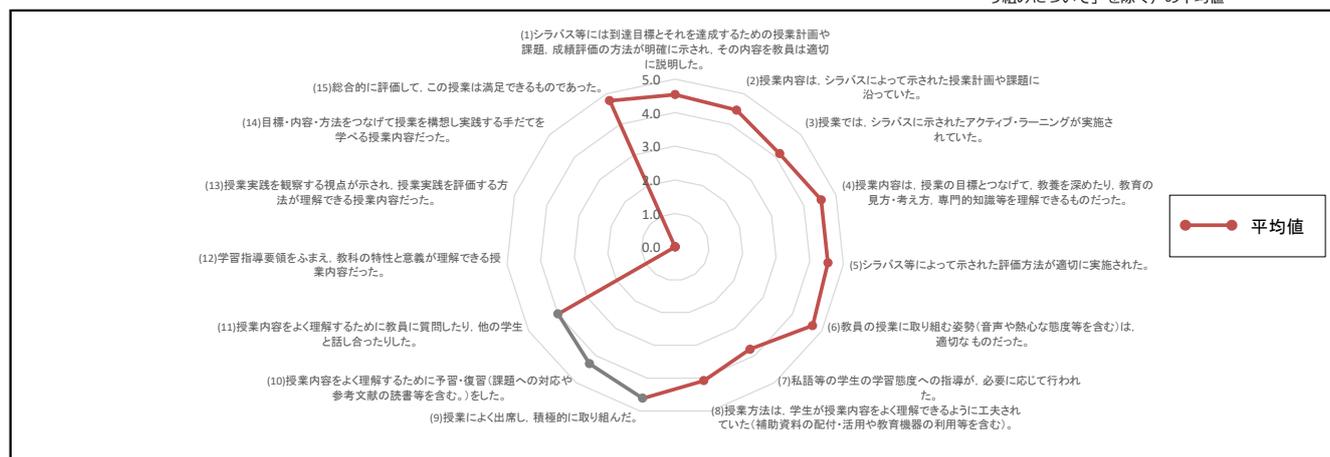
No.	466	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	いじめ防止論（新課程）	回答者数	13	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	池田 誠喜, 小坂 浩嗣, 阿形 恒秀, 岡田 康孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	6	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	7	0	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	6	1	1	0	4.2
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	6	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	6	0	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	4	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	6	2	2	0	3.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	7	1	1	0	4.1
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	5	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	5	2	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	5	1	2	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	3	0	0	0	4.8

総合評価	4.4
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

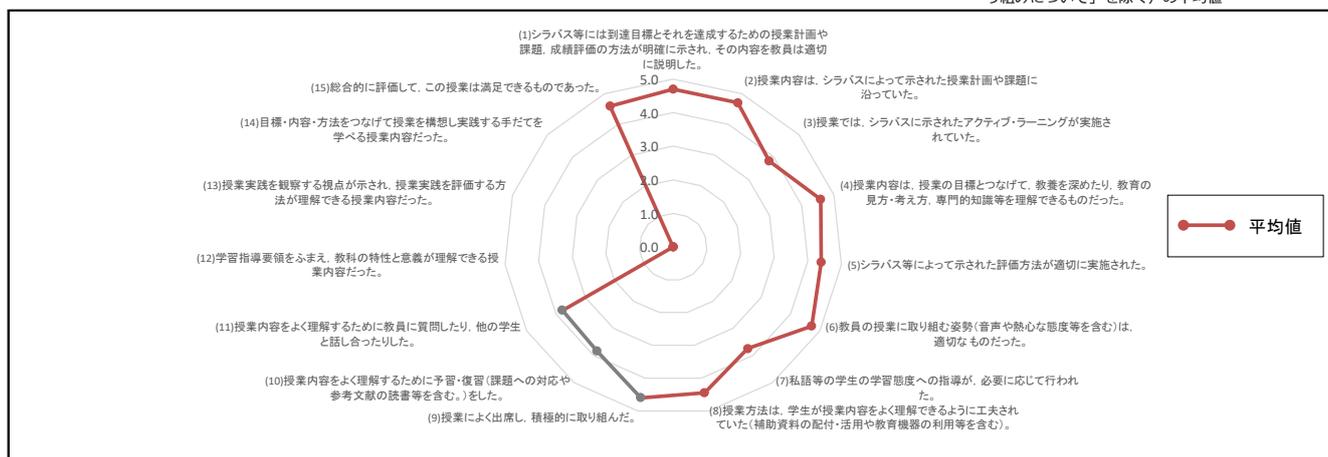
No.	467	評価実施日	令和4年6月3日		
授業科目名	教育相談論（新課程）	回答者数	110	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	吉井 健治, 廣瀬 雄一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	80	27	3	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	80	27	3	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	45	29	13	17	6	3.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	68	38	4	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	57	40	13	0	0	4.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	81	28	1	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	36	30	29	10	5	3.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	58	43	9	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	74	31	3	1	1	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	38	35	24	7	6	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	43	32	12	14	9	3.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	72	33	4	0	1	4.6

総合評価	4.4
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

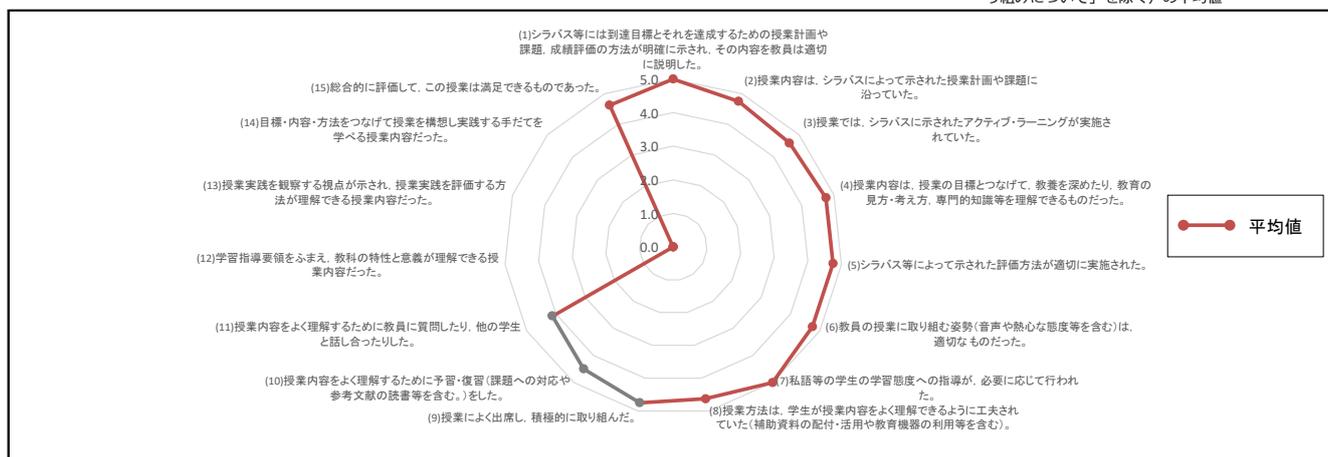
No.	468	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	中等国語科教材論	回答者数	8	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	余郷 裕次				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	2	1	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	3	2	0	0	4.1
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	3	0	0	0	4.6

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

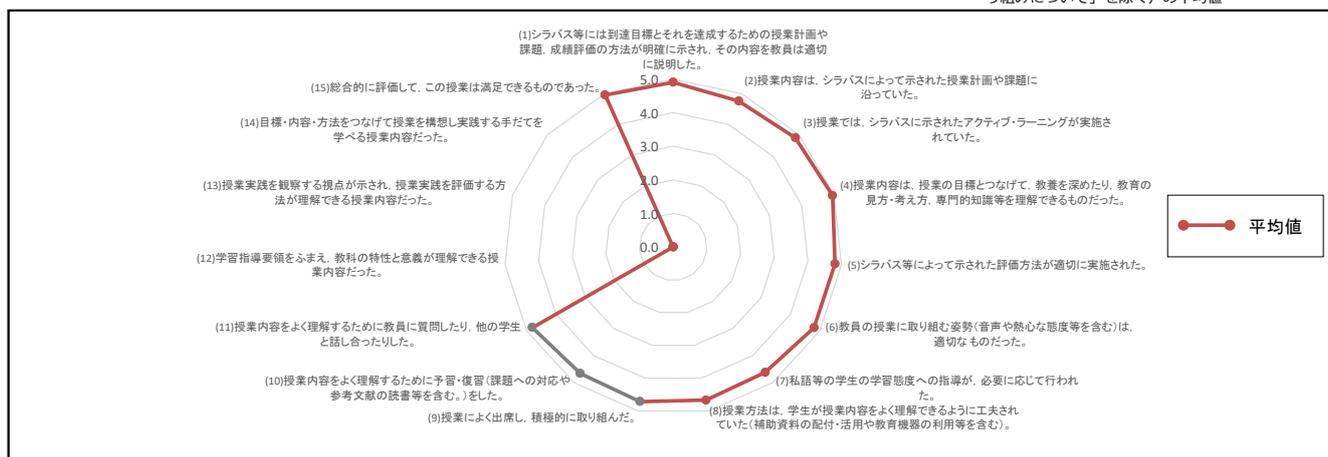
No.	469	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	中等国語科教育論	回答者数	21	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	原 卓志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	19	2	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	3	1	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	1	1	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	20	1	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	18	2	1	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	18	2	1	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	16	2	3	0	0	4.6
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	7	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	16	4	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	15	5	1	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	18	2	1	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	20	1	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

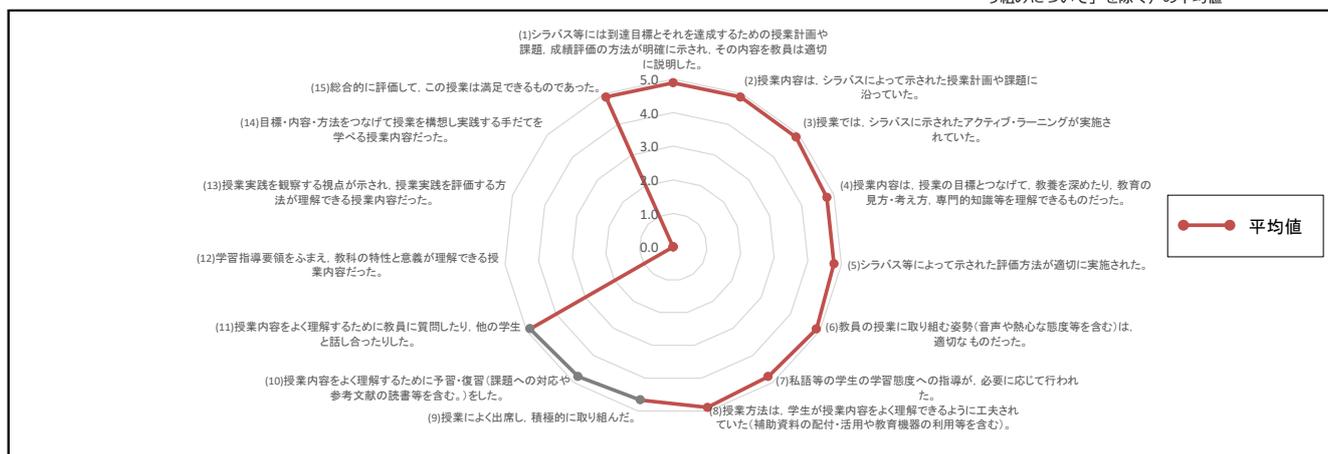
No.	470	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	中等国語科授業論	回答者数	9	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	幾田 伸司				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	0	1	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	1	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	2	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	1	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

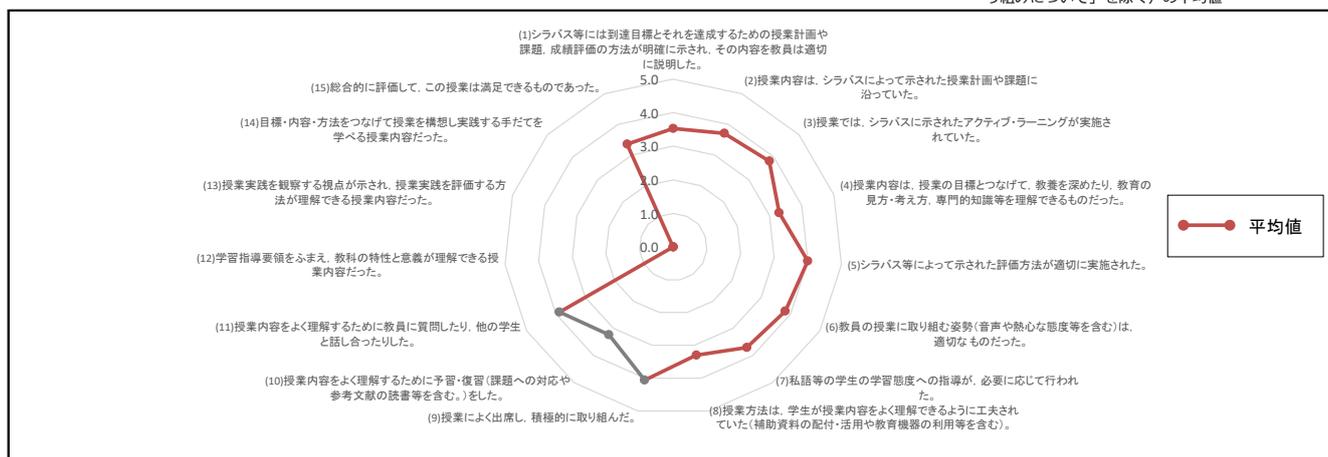
No.	471	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	国語科教育特論	回答者数	17	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	千種 彰典				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	4	2	3	2	3.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	4	4	2	1	3.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	5	4	1	1	3.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	5	3	2	3	3.3
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	5	3	2	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	3	3	1	2	3.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	4	6	2	0	3.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	6	4	1	3	3.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	7	3	1	0	4.1
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	6	4	4	1	3.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	6	5	1	0	3.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	5	4	1	3	3.4

総合評価	3.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

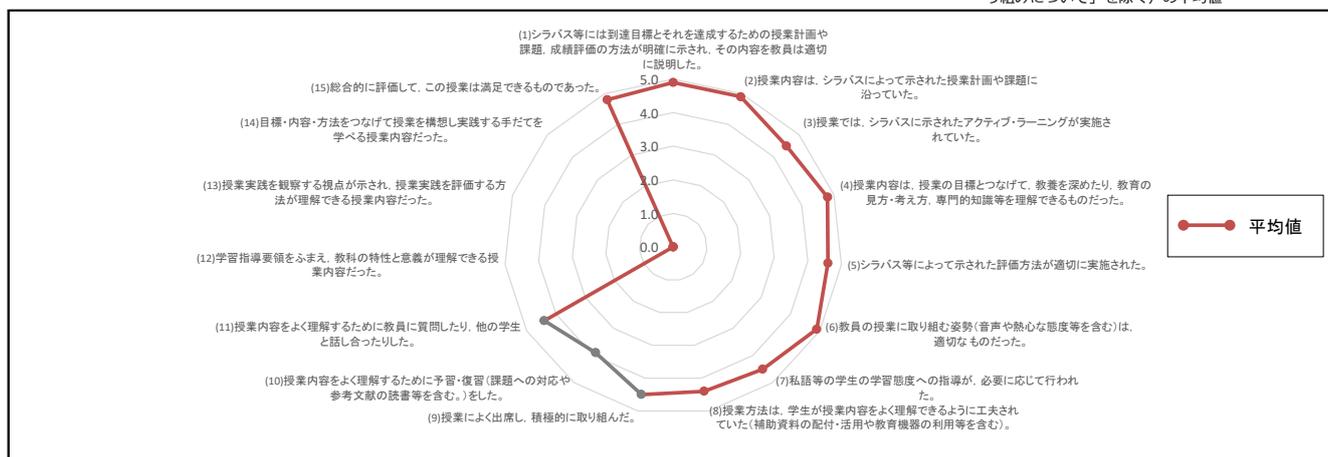
No.	472	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	英語科教育論 I	回答者数	10	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山森 直人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	1	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	3	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	6	0	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	1	2	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	4	2	1	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	3	0	1	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	0	1	0	0	4.8

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

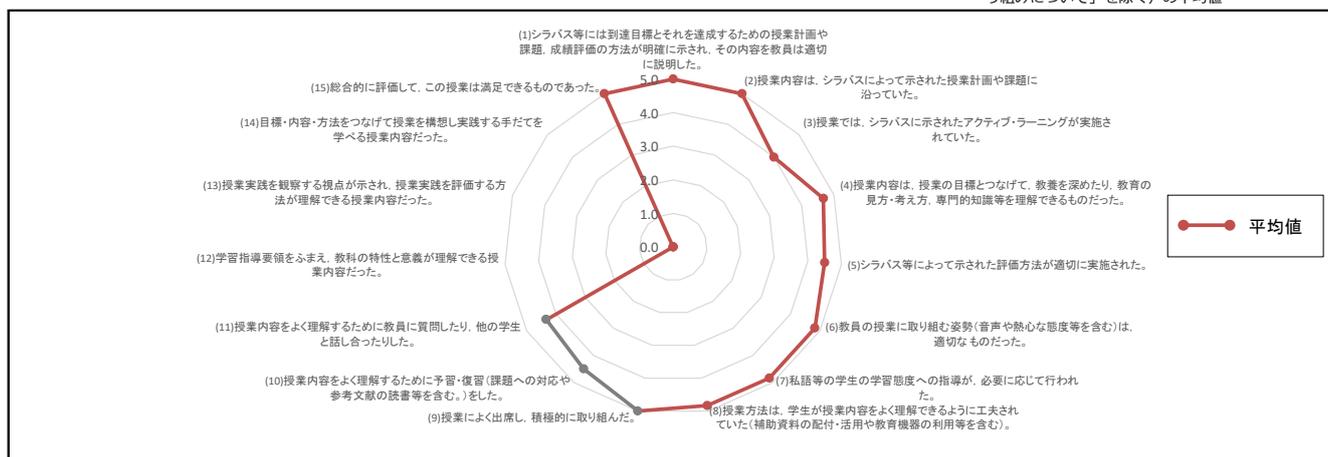
No.	473	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	英語科教育論Ⅱ	回答者数	6	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山森 直人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	0	1	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	1	1	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	2	1	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

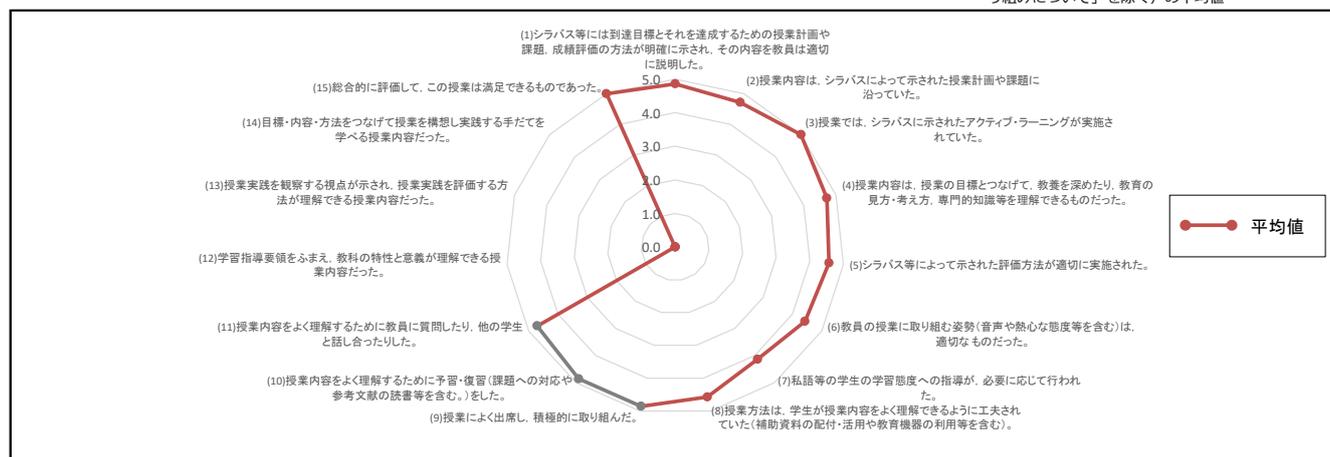
No.	474	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	英語科教育論Ⅲ	回答者数	7	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山森 直人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	1	0	1	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	2	2	0	0	4.1
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

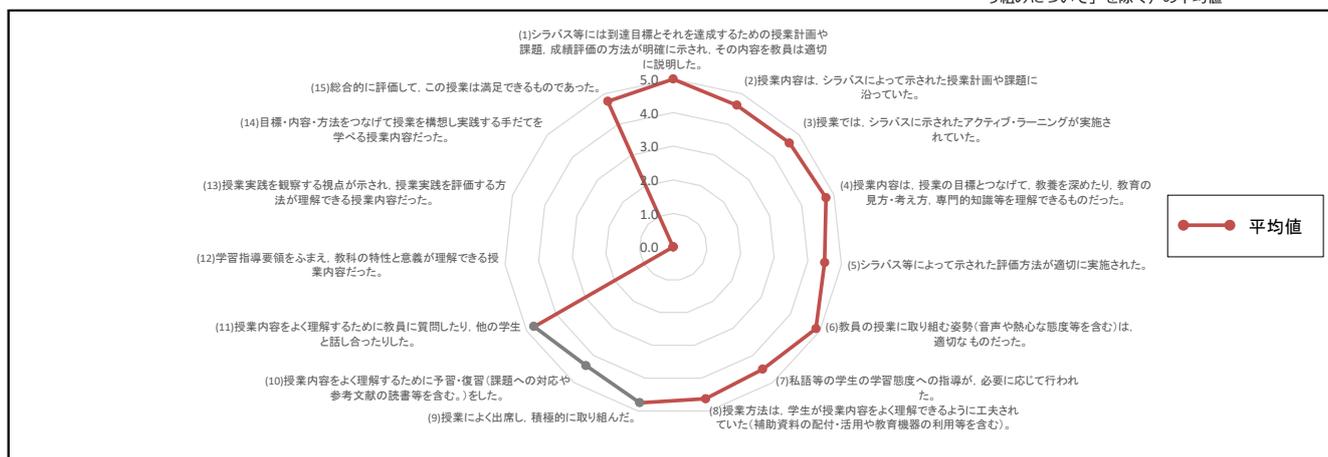
No.	475	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語科教育論Ⅳ	回答者数	8	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山森 直人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	0	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	2	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	3	1	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	0	1	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

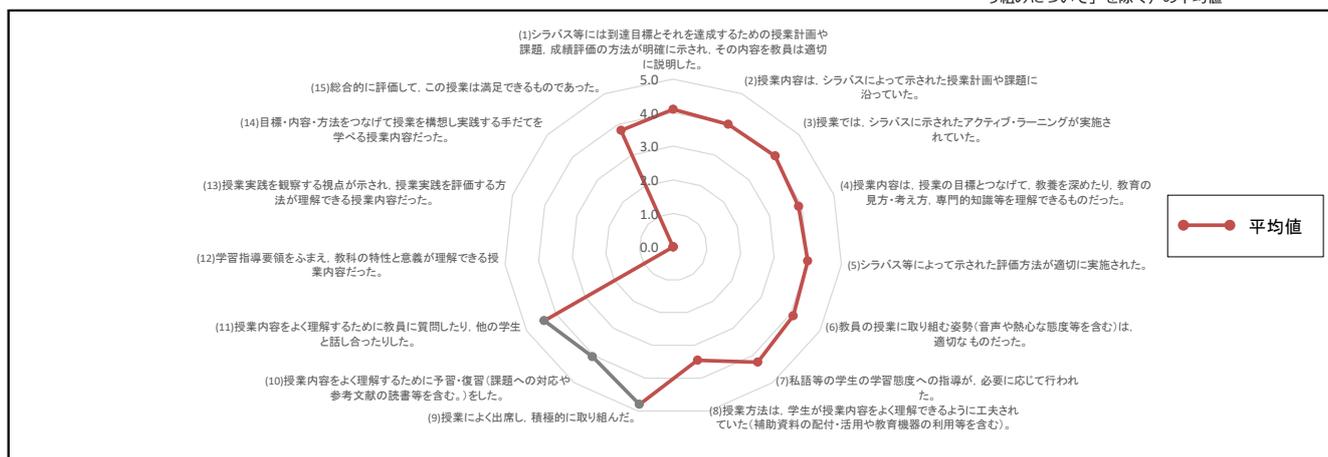
No.	476	評価実施日	令和4年12月19日		
授業科目名	中等社会科教育論	回答者数	20	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	永田 成文				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	10	5	3	1	1	4.1
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	8	1	2	1	4.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	4	1	3	1	4.1
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	5	5	1	1	3.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	8	4	0	1	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	5	5	1	0	4.1
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	11	5	3	0	1	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	3	3	6	1	3.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	16	4	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	8	8	2	1	1	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	10	8	2	0	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	3	4	3	1	3.8

総合評価	4.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

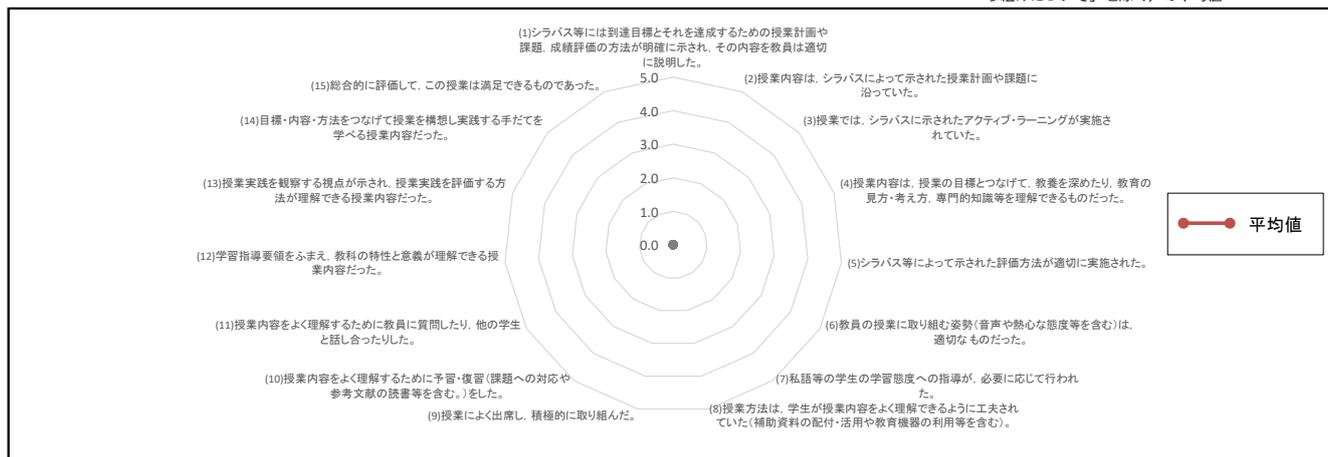
No.	477	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	中等社会科授業論	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	井上 奈穂				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

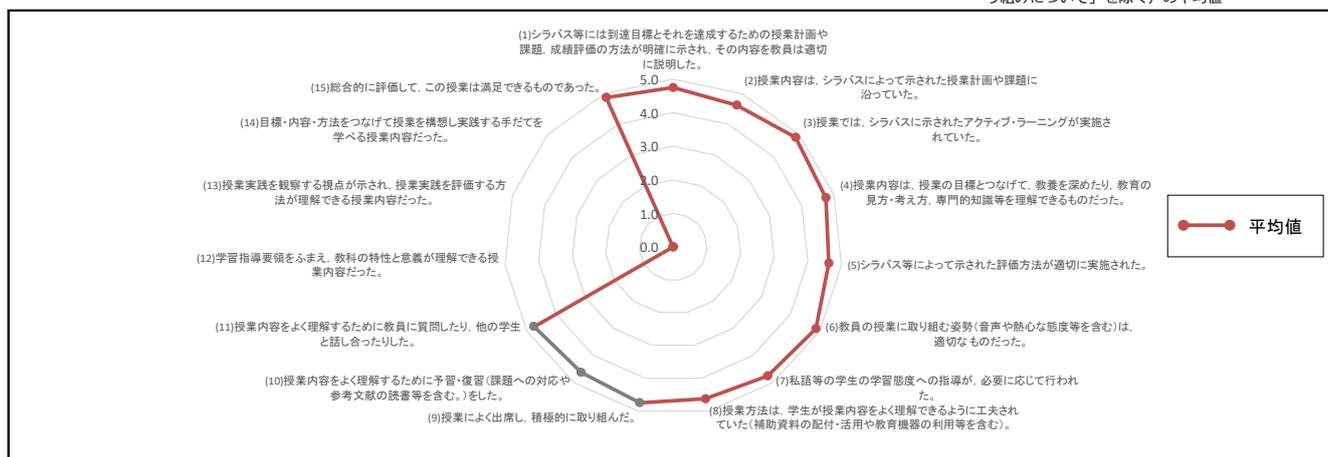
No.	478	評価実施日	令和4年8月29日		
授業科目名	地理歴史科教育論	回答者数	8	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山田 秀和				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	0	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	0	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	2	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	1	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

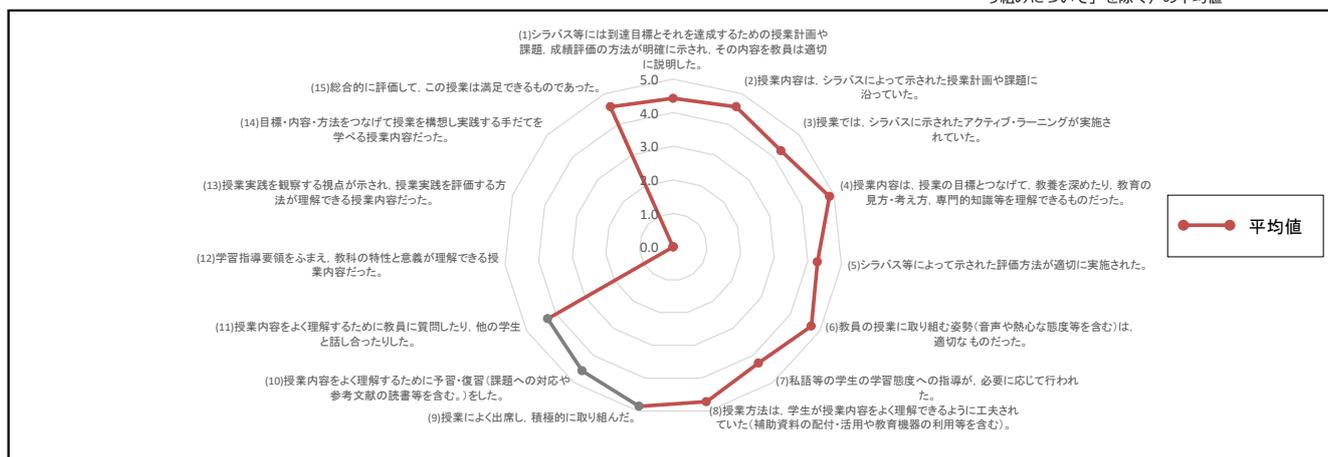
No.	479	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	社会科・地理歴史科教材論	回答者数	7	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	伊藤 直之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	2	1	0	0	4.4
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	1	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	5	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	3	1	0	0	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	0	1	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	1	2	0	0	4.3
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	3	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	3	1	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	0	0	1	0	4.6

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

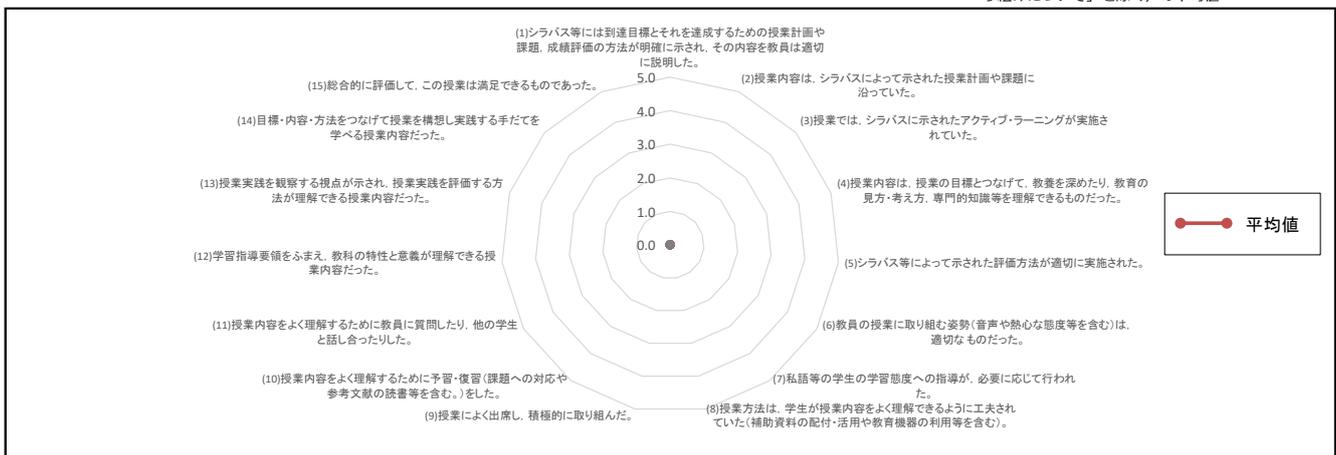
No.	480	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	公民科教育論	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	井上 奈穂				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

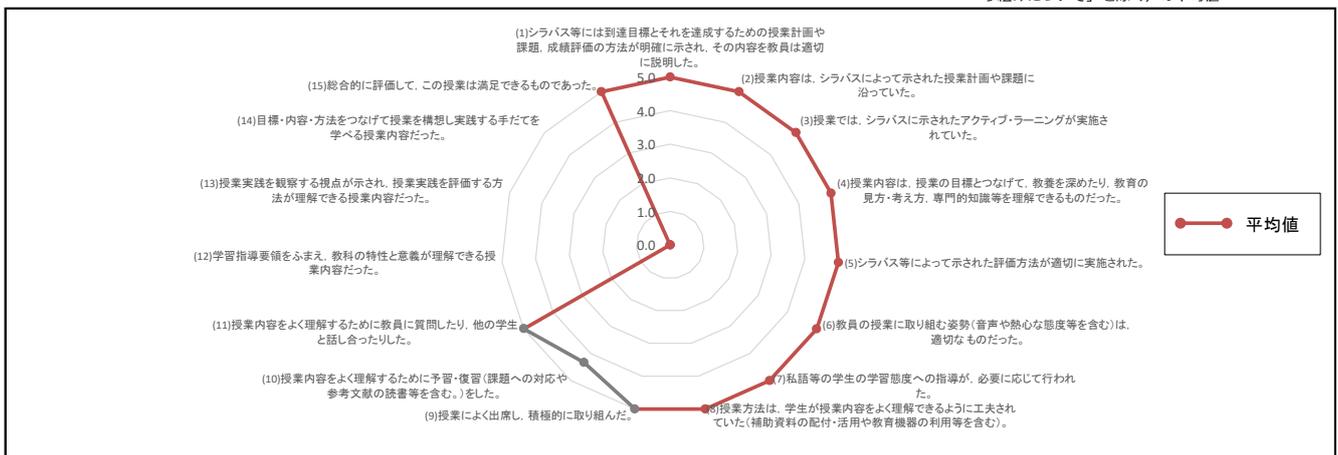
No.	481	評価実施日	令和4年12月23日		
授業科目名	社会科・公民科教材論		回答者数	3	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	井上 昌善				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	2	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

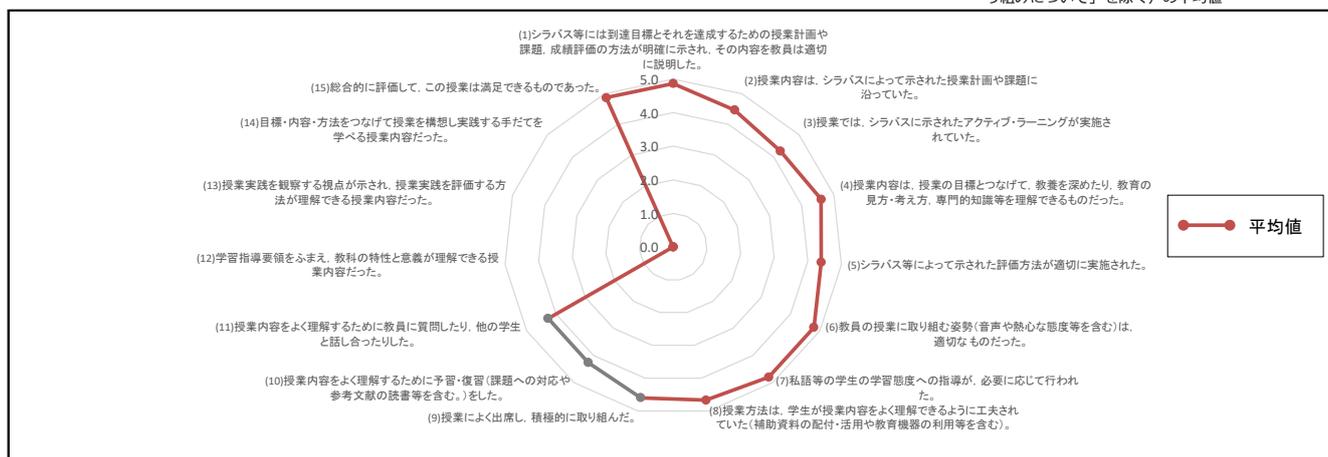
No.	482	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	数学科教育論	回答者数	15	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	早田 透				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	13	2	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	3	1	1	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	3	2	0	1	4.3
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	11	3	0	1	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	3	3	0	0	4.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	13	1	1	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	12	3	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	3	1	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	11	2	2	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	5	3	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	5	0	2	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	13	2	0	0	0	4.9

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

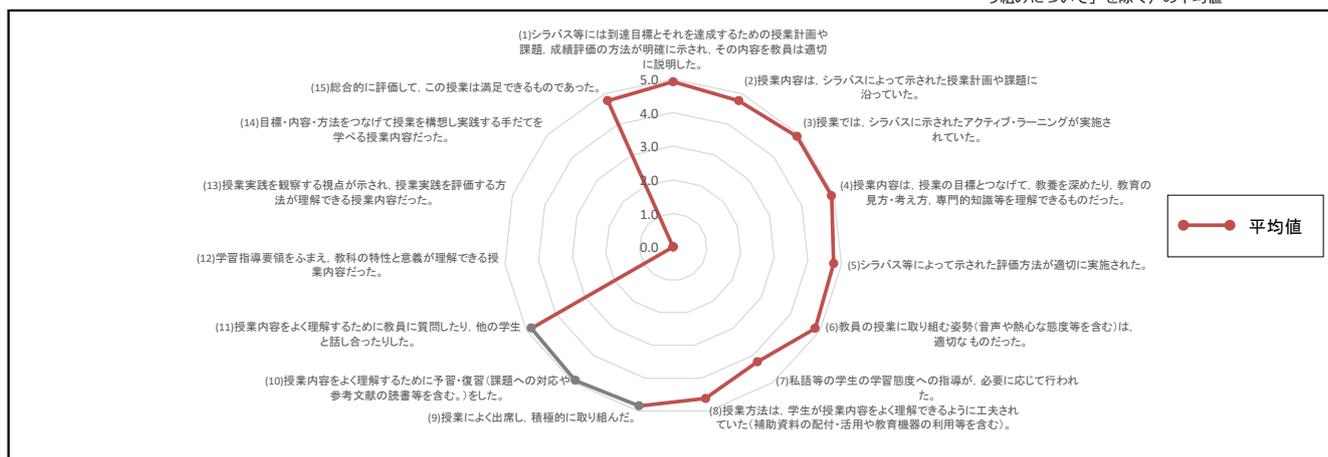
No.	483	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	数学科教材論	回答者数	13	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	早田 透				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	12	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	3	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	12	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	3	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	11	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	3	2	1	0	4.2
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	5	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	11	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	12	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	11	2	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	3	0	0	0	4.8

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

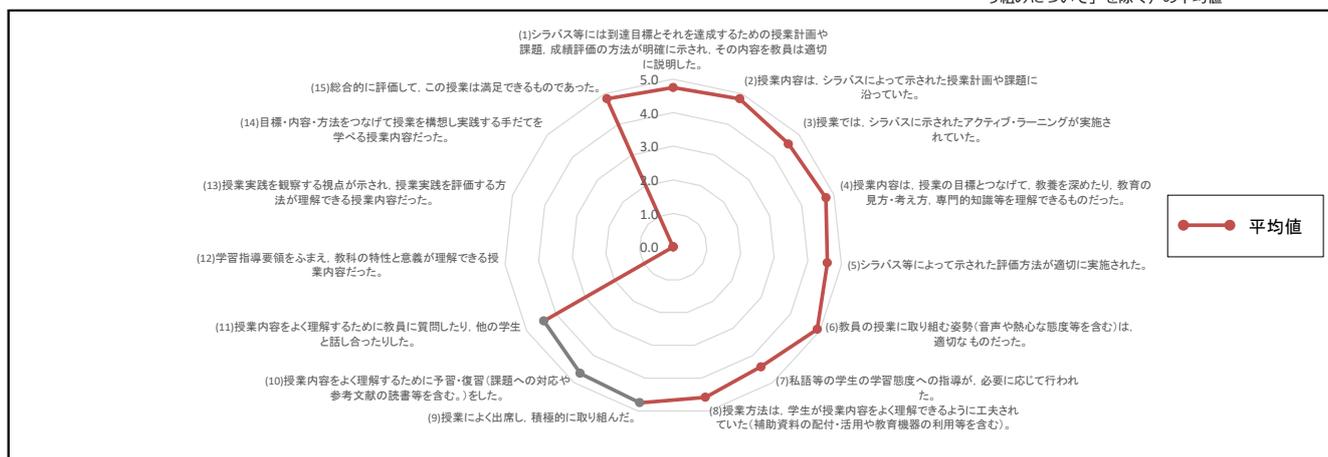
No.	484	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	数学科授業論	回答者数	12	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	早田 透				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	3	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	5	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	3	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	2	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	11	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	3	2	0	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	3	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	1	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	2	1	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	3	2	0	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

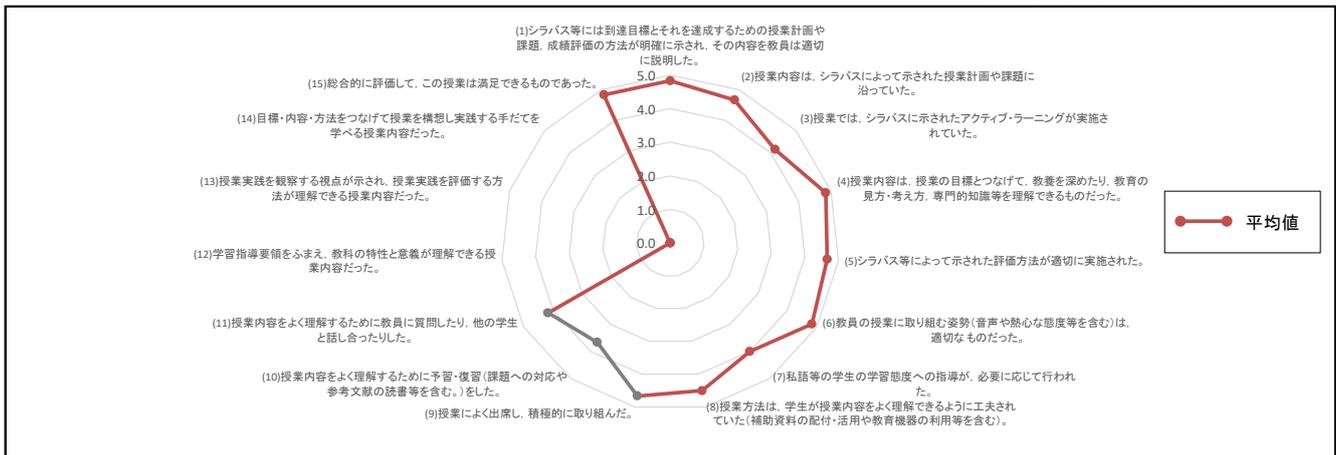
No.	485	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	数学科教育学特論		回答者数	6	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	秋田 美代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	2	0	0	4.2
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	1	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	2	2	0	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	1	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	2	1	0	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	0	1	1	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

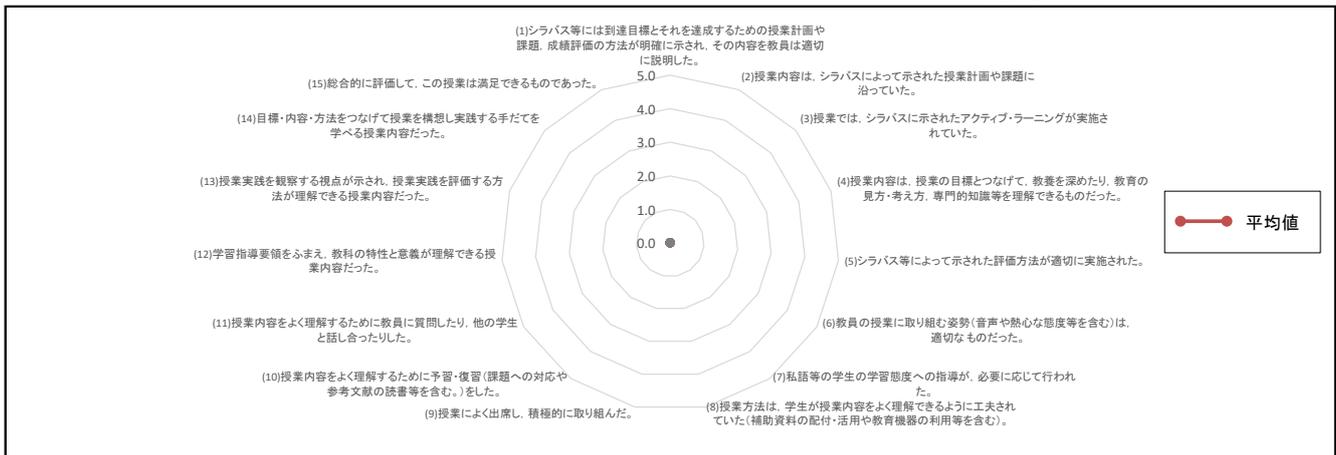
No.	486	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	中等理科教育論 I	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	佐藤 勝幸, 早藤 幸隆, 寺島 幸生				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

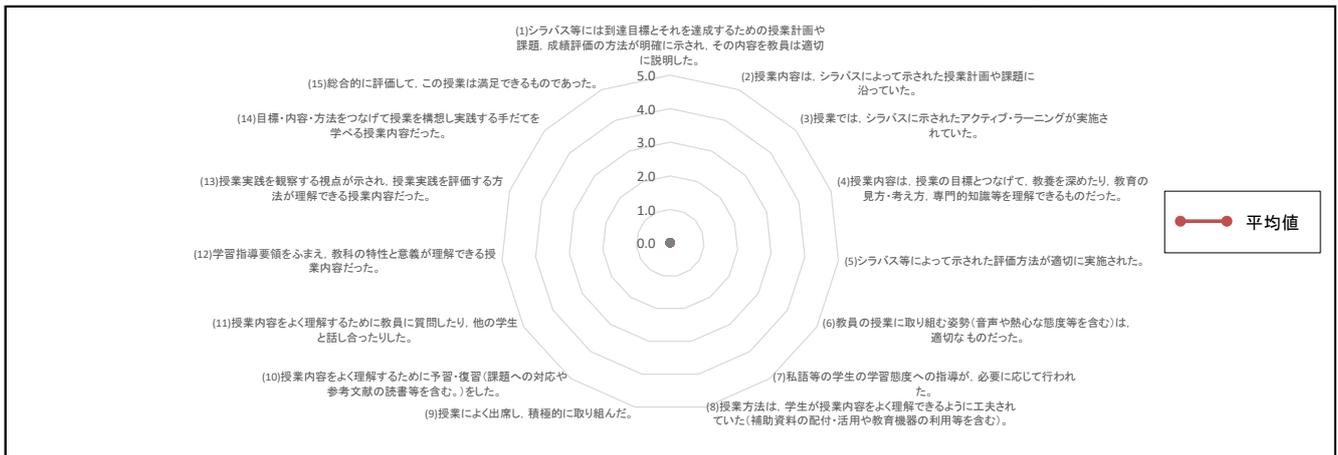
No.	487	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	中等理科教育論Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	粟田 高明, 早藤 幸隆				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

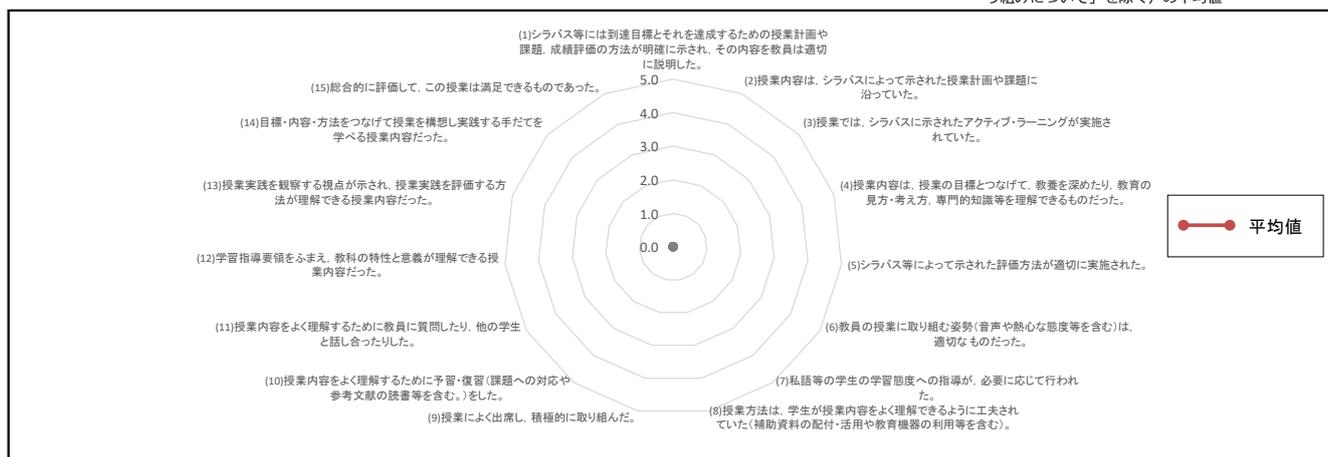
No.	488	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	中等理科教育論Ⅲ	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	佐藤 勝幸, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

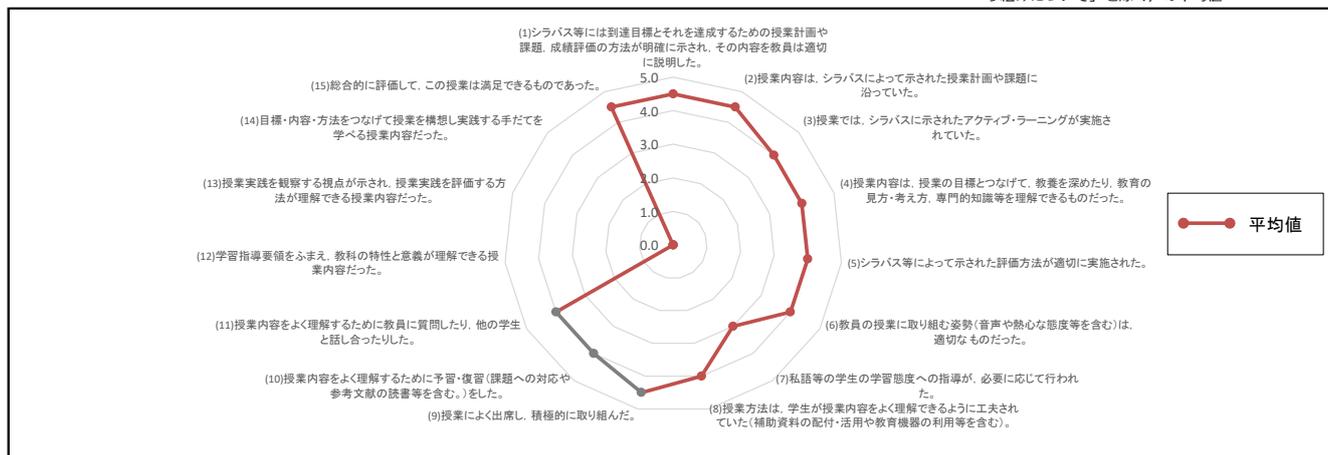
No.	489	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	中等理科教育論Ⅳ	回答者数	2	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	武田 清, 寺島 幸生, 早藤 幸隆, 本田 亮, 工藤 慎一, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	2	0	0	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	2	0	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	2	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	1	0	1	0	3.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	2	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	2	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	4.5

総合評価	4.1
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

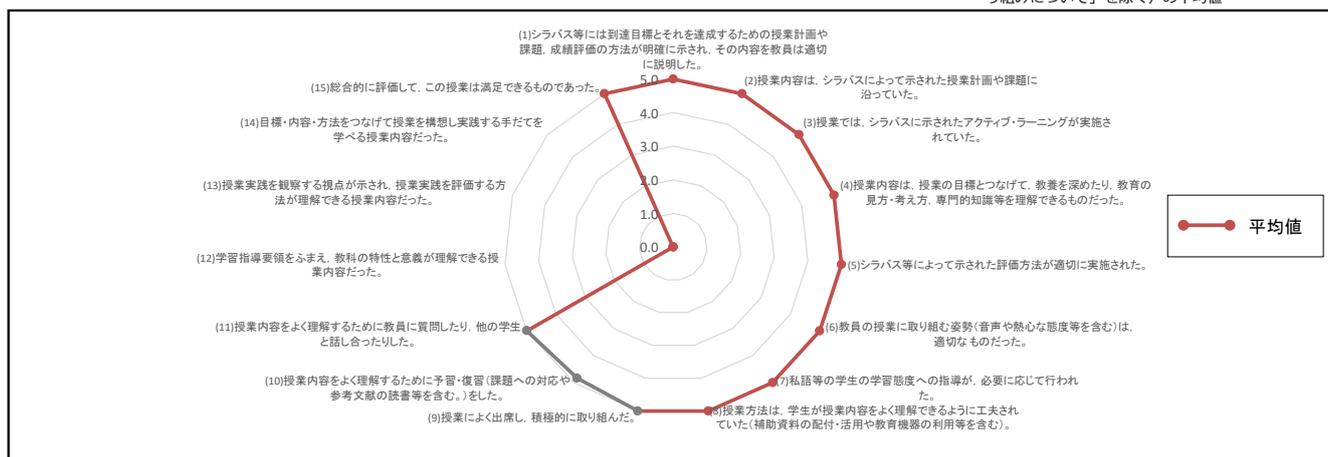
No.	490	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	中等音楽科教育論	回答者数	6	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	川内 由子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

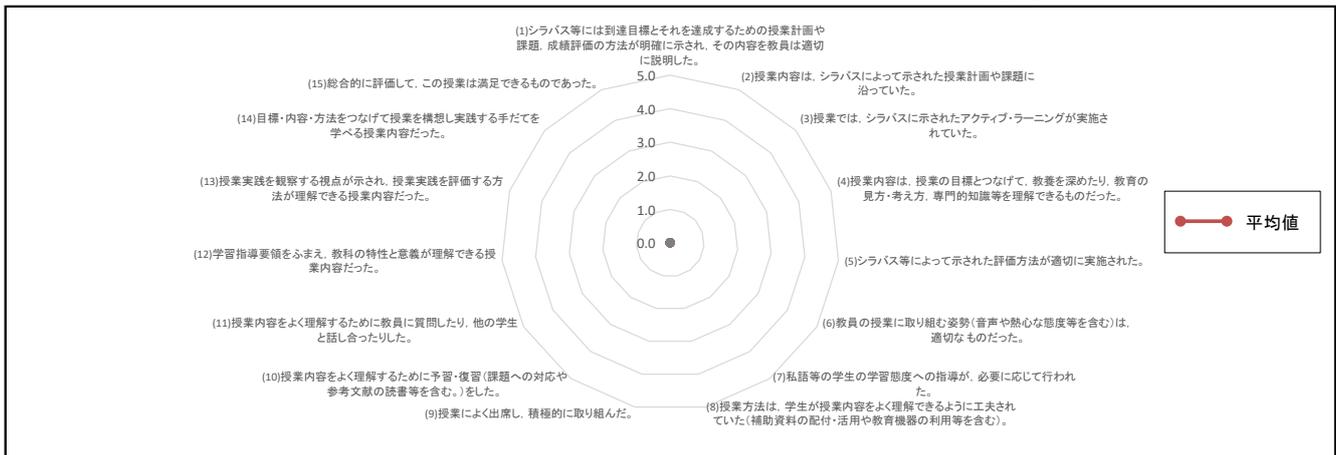
No.	491	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	中等音楽科授業論	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

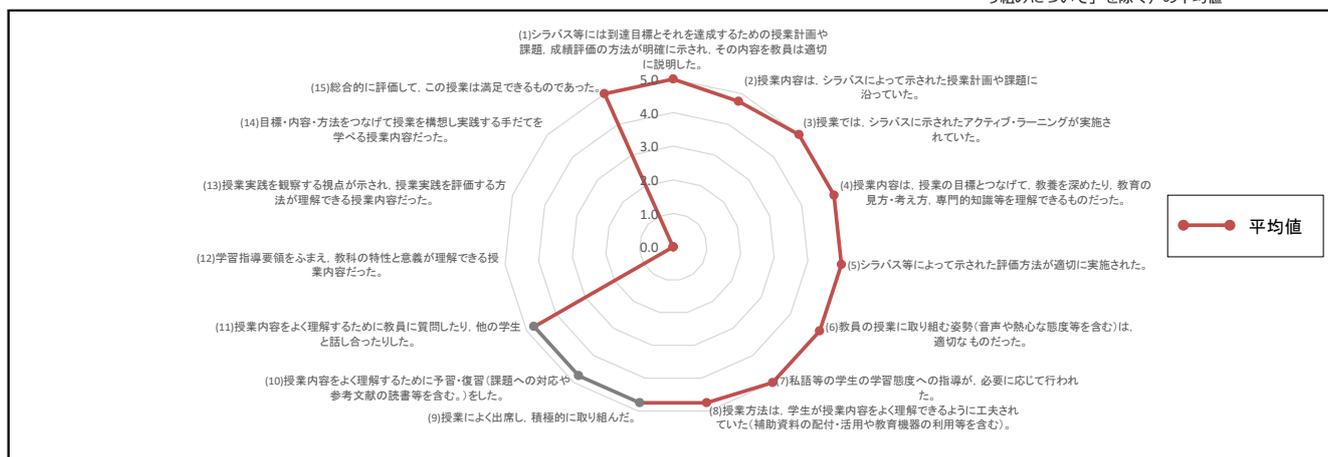
No.	492	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	中等音楽科教材論（新課程）	回答者数	4	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	鉄口 真理子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

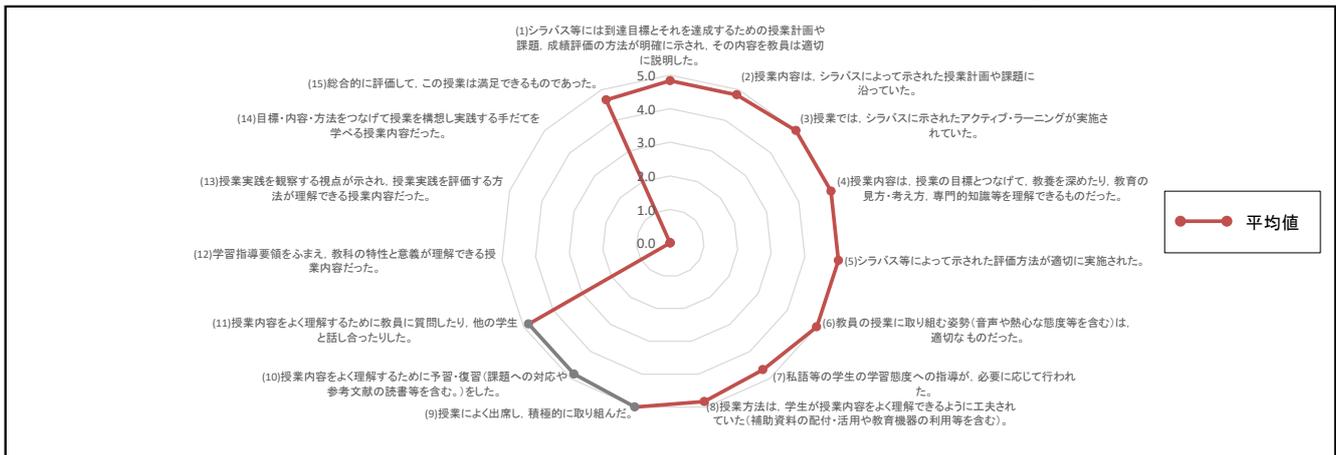
No.	493	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	中等音楽科教育特論	回答者数	6	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	鉄口 真理子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	0	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	0	1	0	0	4.7

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

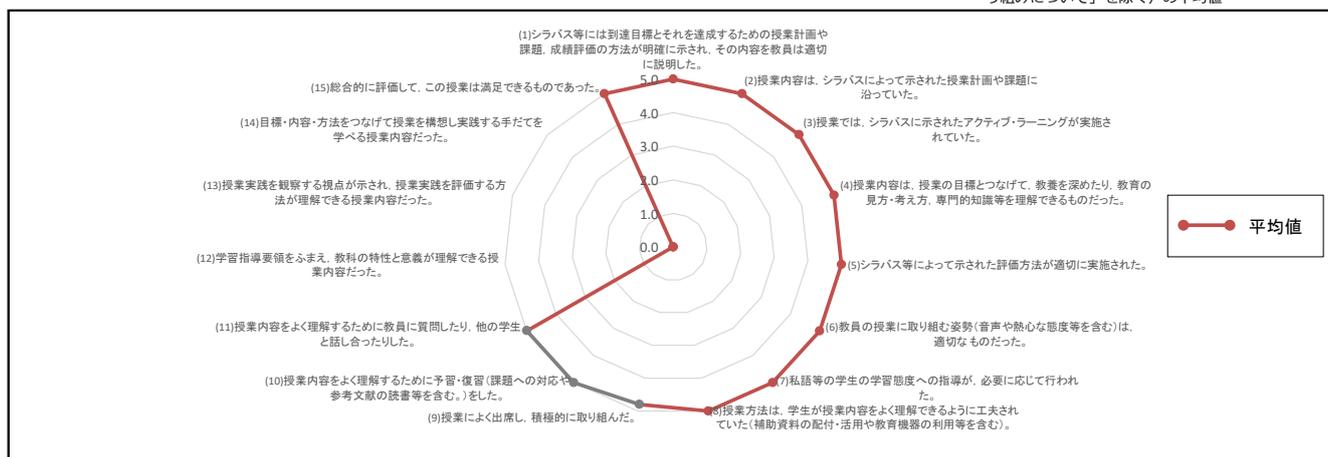
No.	494	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	美術科教育論	回答者数	5	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山田 芳明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

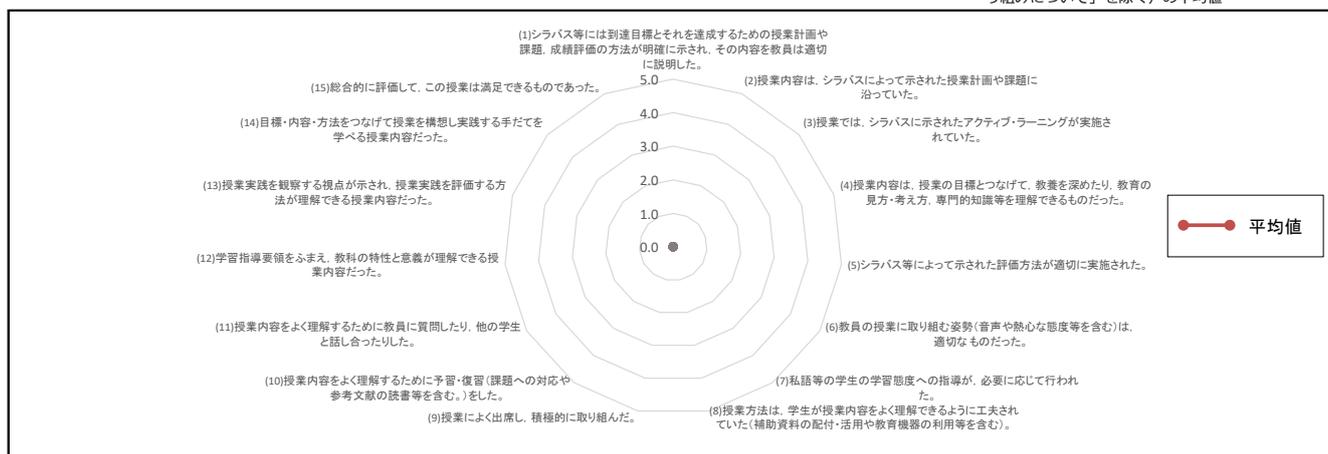
No.	495	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	美術科授業論	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山木 朝彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

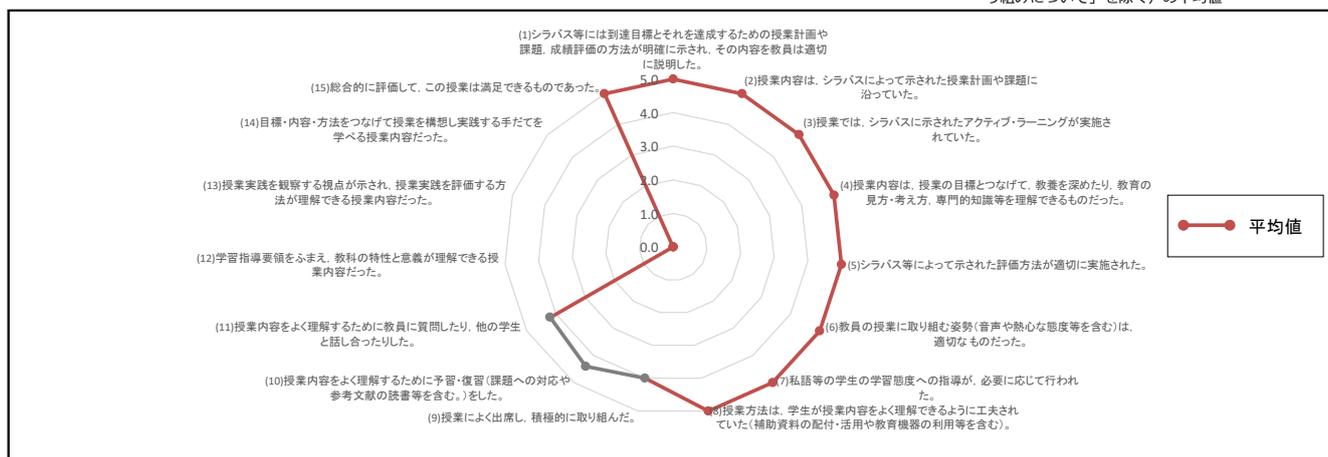
No.	496	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	美術科教材論	回答者数	5	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山田 芳明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	2	0	1	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	0	0	1	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	1	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

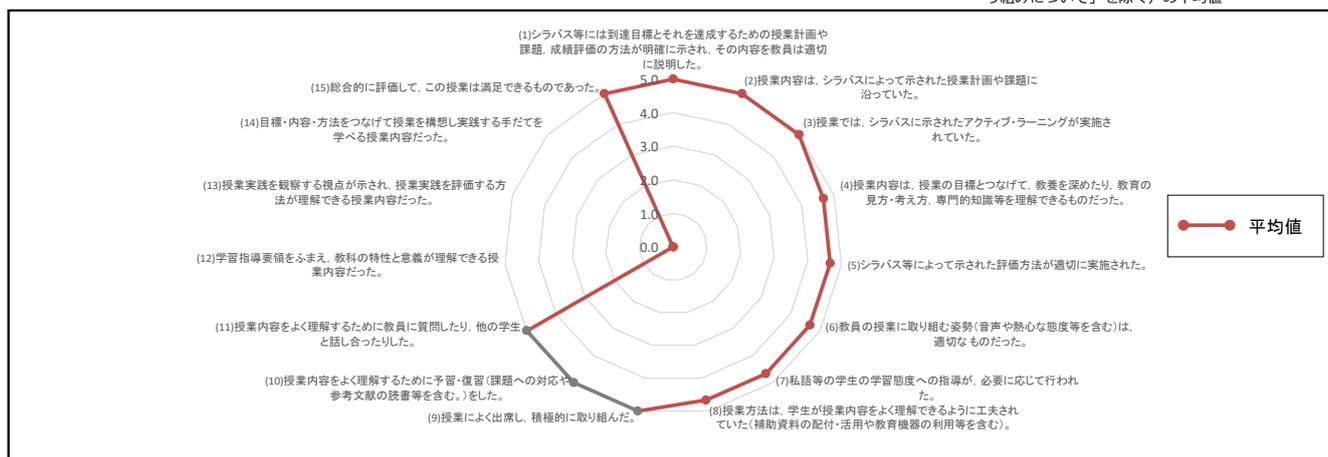
No.	497	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	美術科教育特論（新課程）	回答者数	3	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	山木 朝彦				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

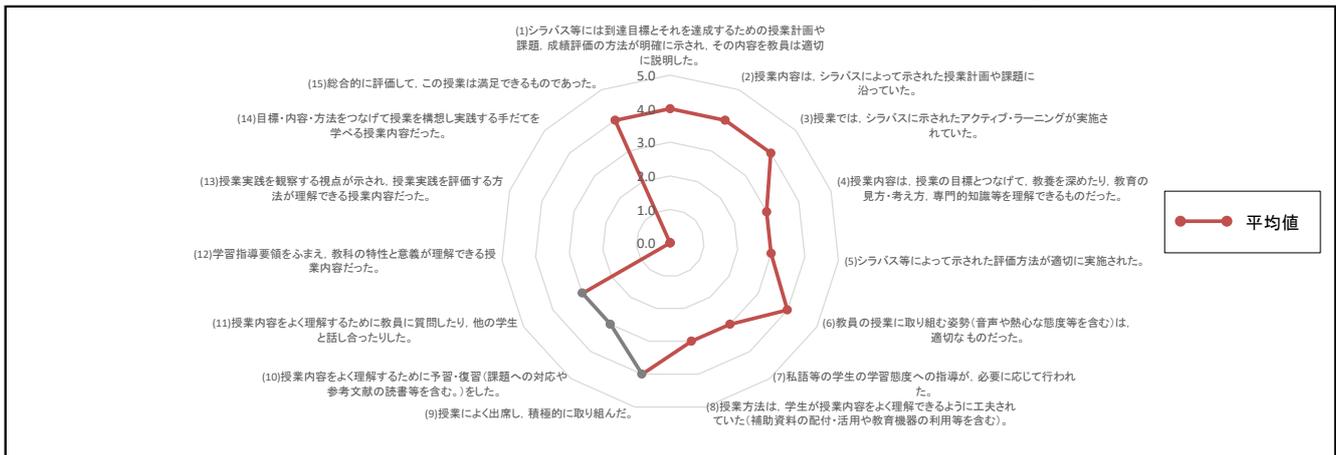
No.	498	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	保健体育科教育論 I	回答者数	1	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	綿引 勝美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	1	0	0	3.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	3.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	3.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	1	0	0	3.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	1	0	0	3.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	3.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	4.0

総合評価	3.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

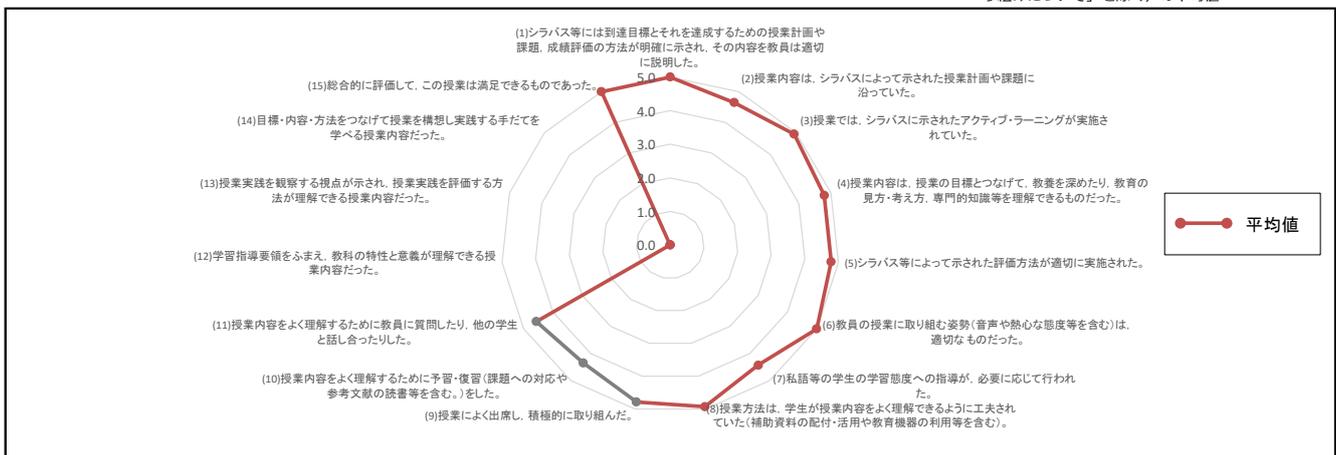
No.	499	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	保健体育科教育論Ⅱ	回答者数	14	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	14	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	5	0	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	11	3	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	1	1	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	9	2	3	0	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	1	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	5	2	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	4	1	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	14	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

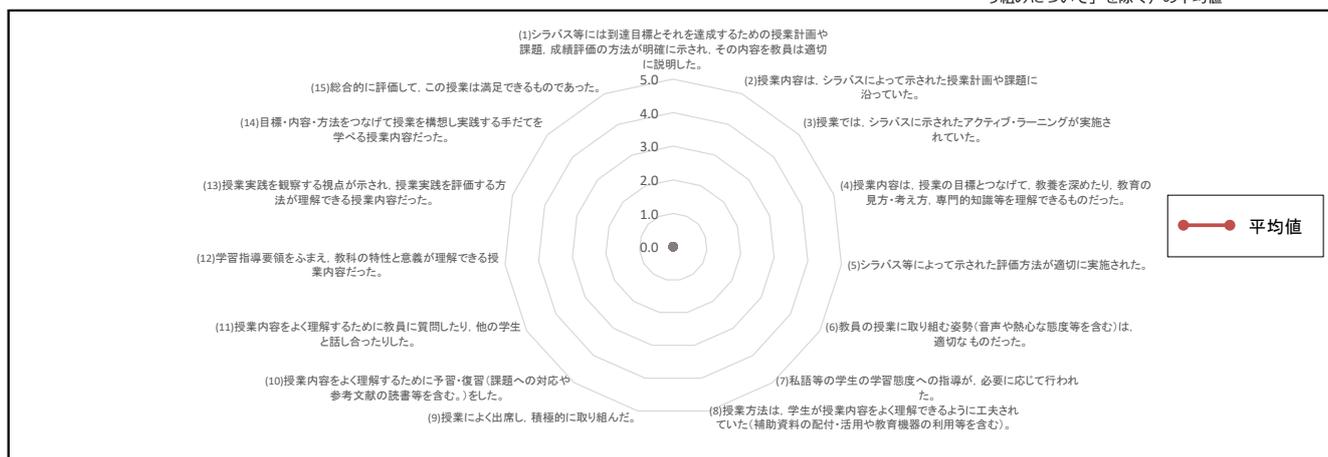
No.	500	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	保健体育科教育論Ⅲ		回答者数	0	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	南 隆尚				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

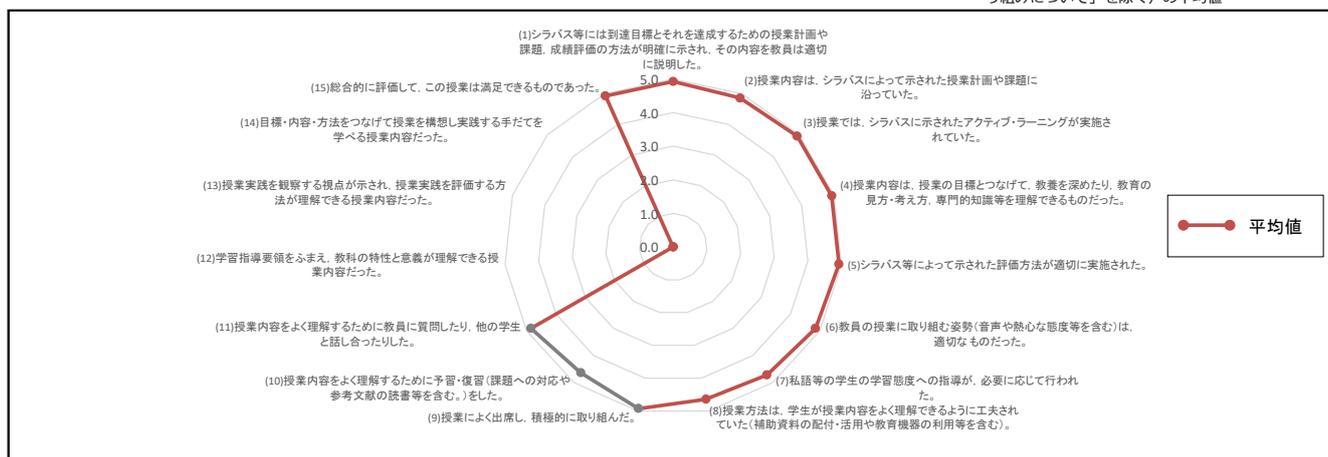
No.	501	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	保健体育科教育論Ⅳ	回答者数	14	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	松井 敦典, 湯口 雅史				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	13	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	2	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	13	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	13	0	1	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	10	4	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	3	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	13	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	10	3	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	12	2	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	13	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

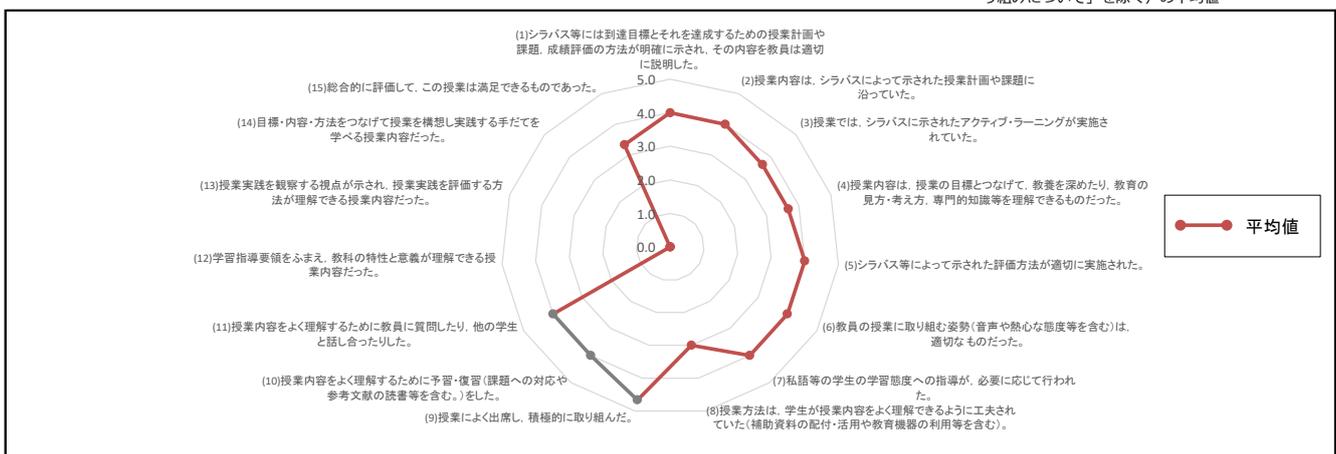
No.	502	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	技術科教育論 I		回答者数	3	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	吉浦 正純				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	1	1	0	0	4.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	3	0	0	0	4.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	1	0	0	3.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	2	1	0	0	3.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	3	0	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	3	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	3	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	1	1	1	0	3.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	3	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	3	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	2	0	1	0	3.3

総合評価	3.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

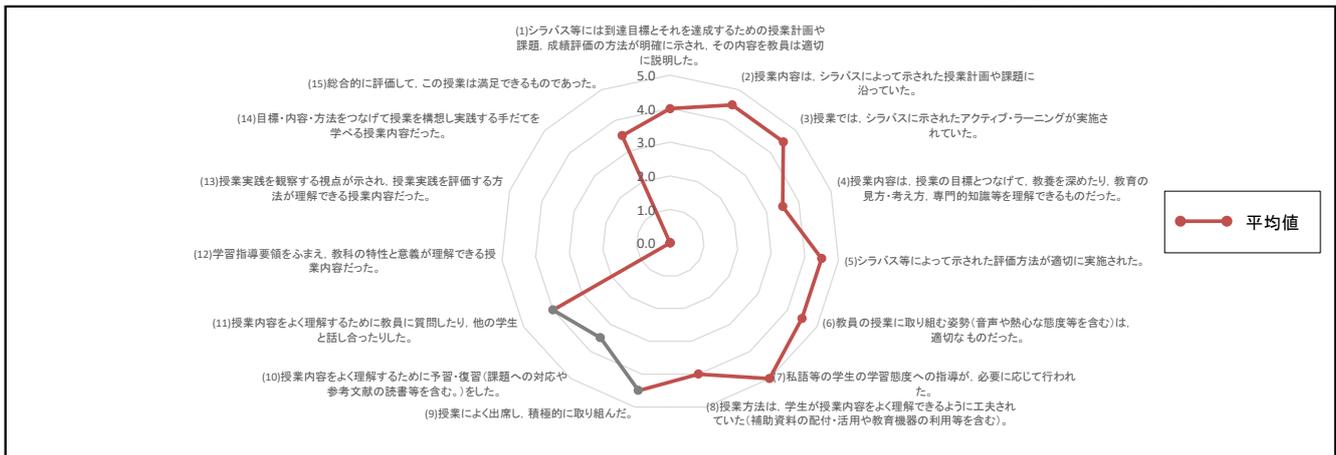
No.	503	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	技術科教育論Ⅱ	回答者数	2	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	吉浦 正純				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	1	0	0	4.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	1	0	0	3.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	1	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	1	1	0	0	3.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	1	1	0	0	3.5

総合評価	4.2
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

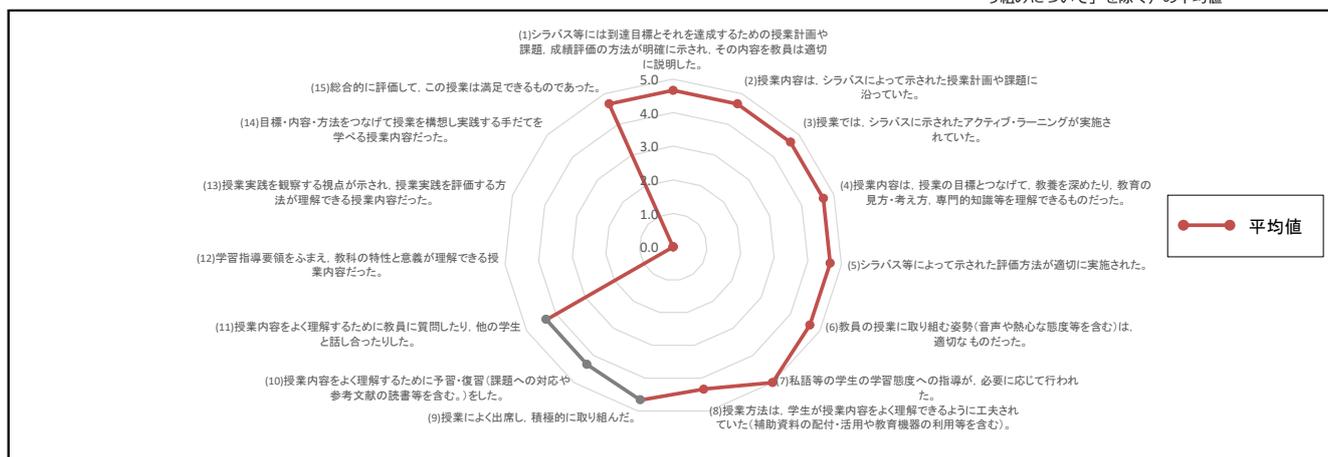
No.	504	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	技術科教育論演習 I	回答者数	3	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	吉浦 正純				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	1	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	4.7

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

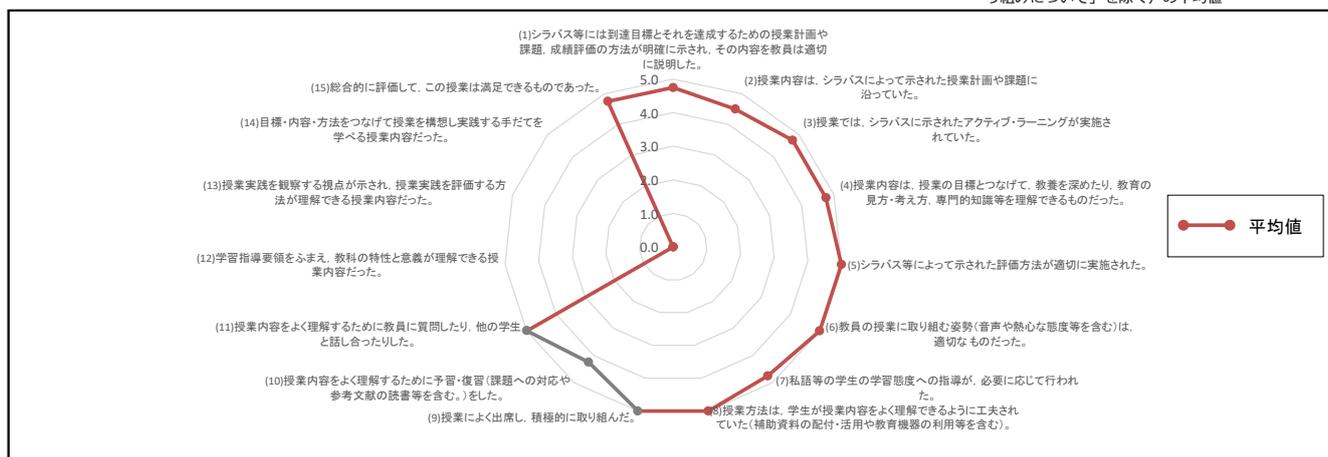
No.	505	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	技術科教育論演習Ⅱ	回答者数	4	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	吉浦 正純				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	0	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

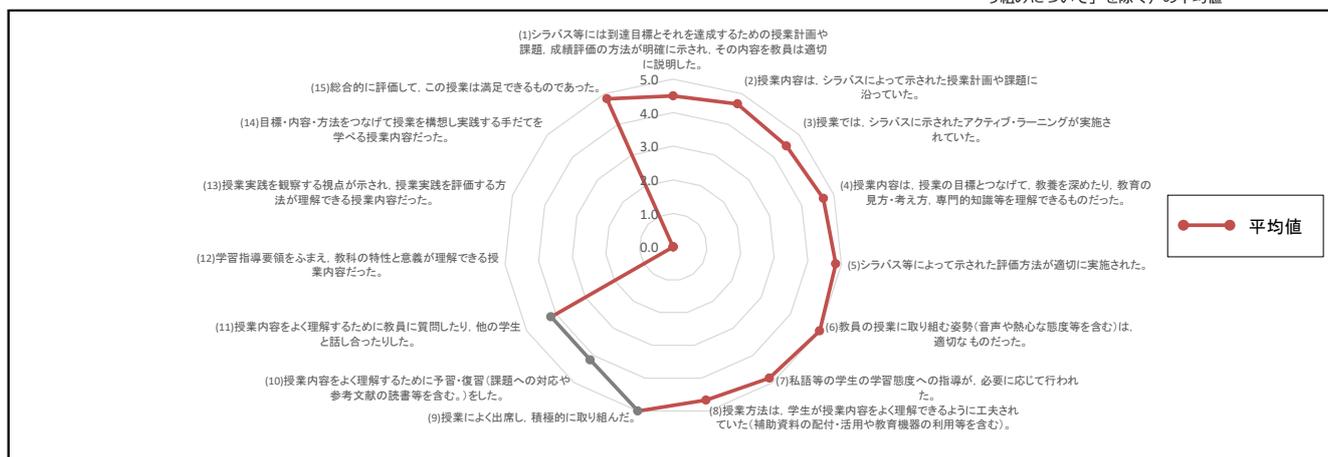
No.	506	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	工業科教育論 I	回答者数	6	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	宮本 賢治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	1	0	0	4.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	1	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	1	0	0	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	1	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	1	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	1	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	3	1	0	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

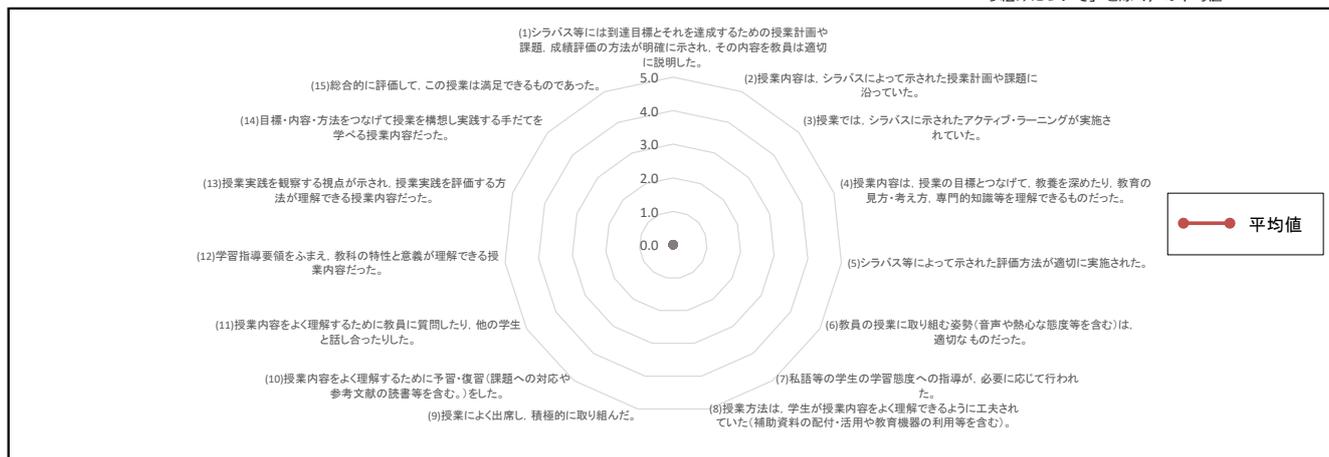
No.	507	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	工業科教育論Ⅱ		回答者数	0	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	宮下 晃一, 米延 仁志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

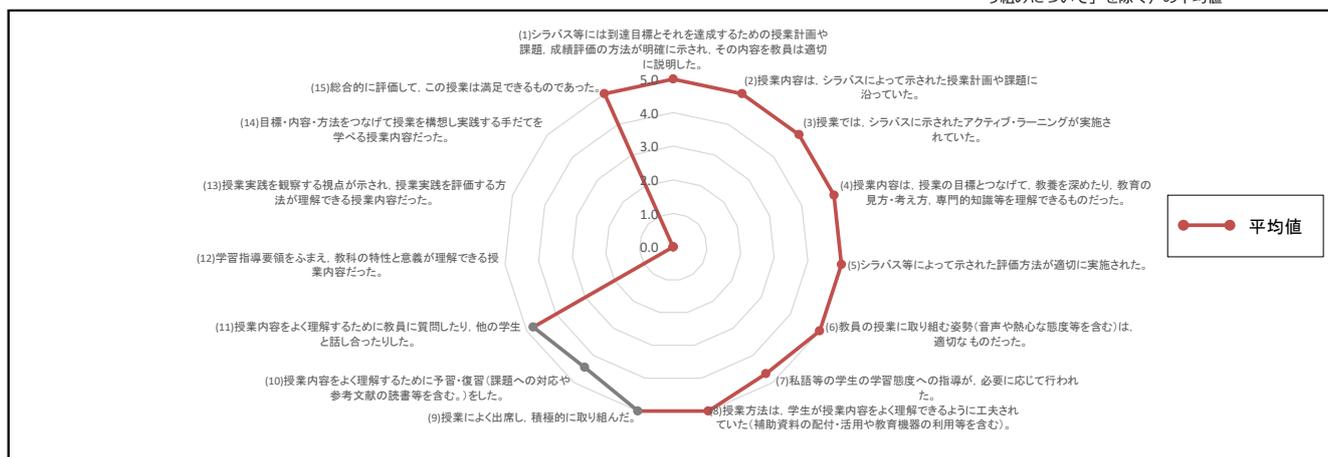
No.	508	評価実施日	令和4年8月29日		
授業科目名	情報科教育論 I	回答者数	9	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	森山 潤				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	9	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	1	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	9	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	3	1	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	2	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

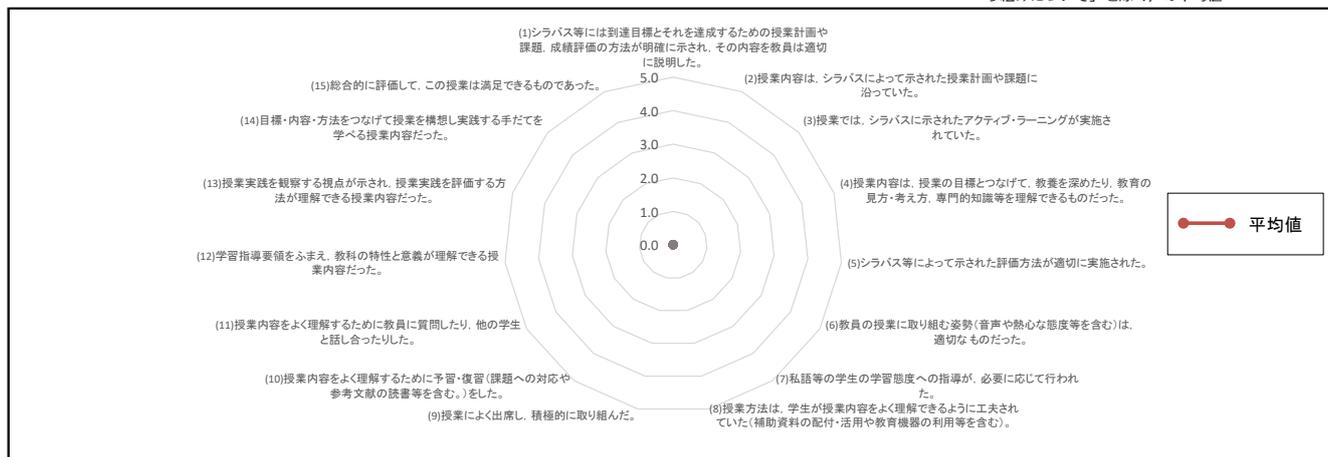
No.	509	評価実施日	令和4年12月27日		
授業科目名	情報科教育論Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	森山 潤				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

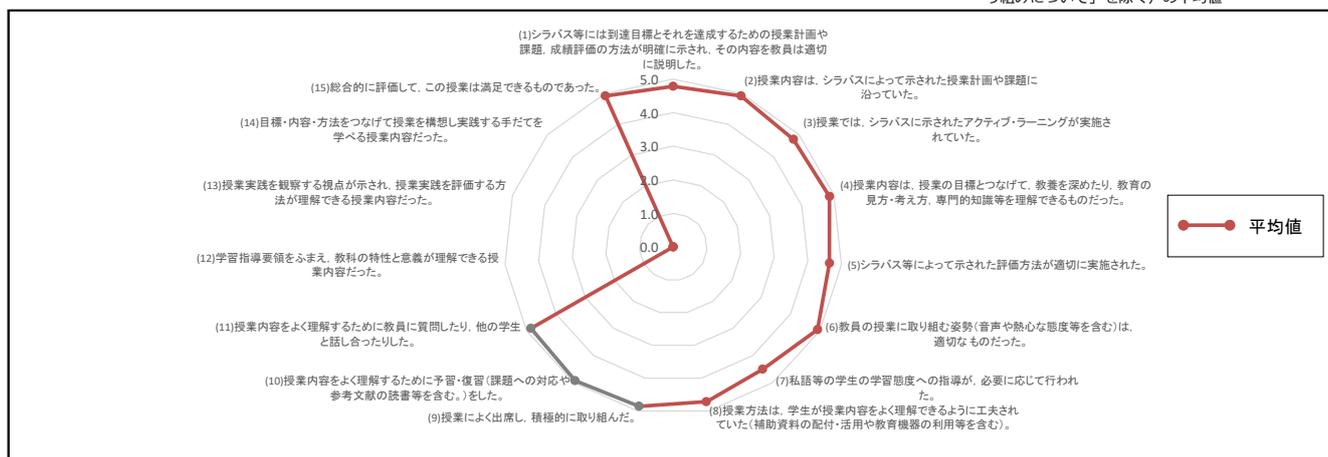
No.	510	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	中等家庭科教育論	回答者数	14	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	速水 多佳子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	11	3	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	3	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	12	2	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	3	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	13	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	5	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	4	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	2	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	2	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	13	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

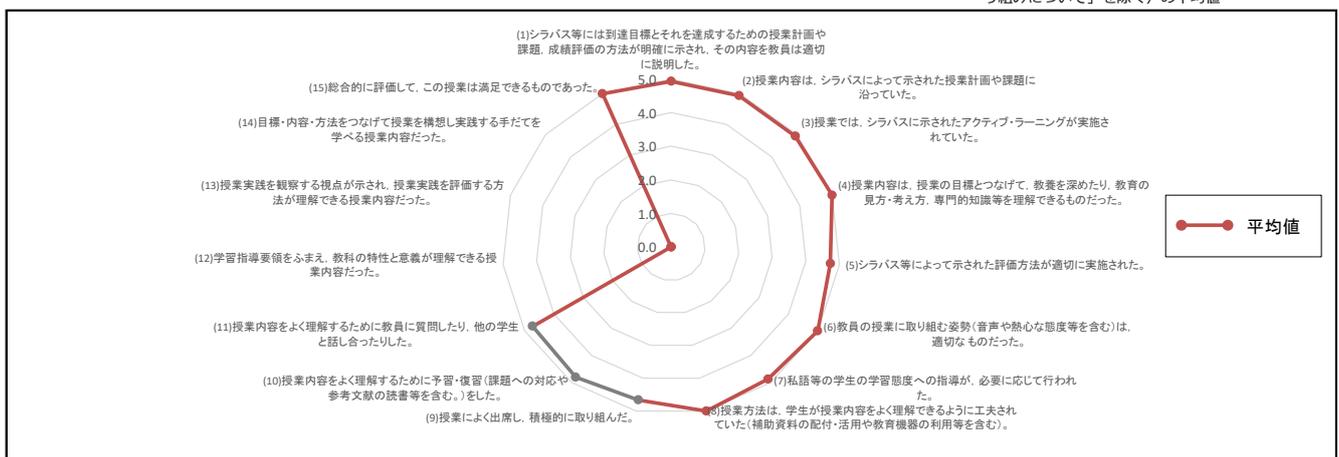
No.	511	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	中等家庭科授業論	回答者数	15	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	速水 多佳子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	14	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	15	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	0	2	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	15	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	13	2	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	11	3	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	12	3	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	11	4	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	15	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

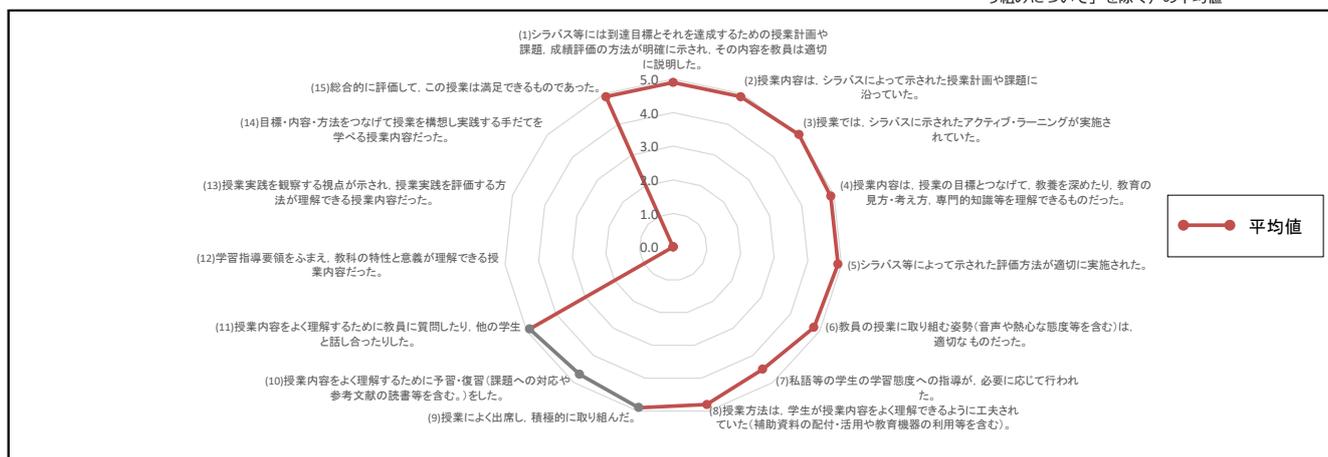
No.	512	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	中等家庭科教材論	回答者数	10	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	西川 和孝, 金 貞均, 坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	1	2	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	7	3	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	9	1	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

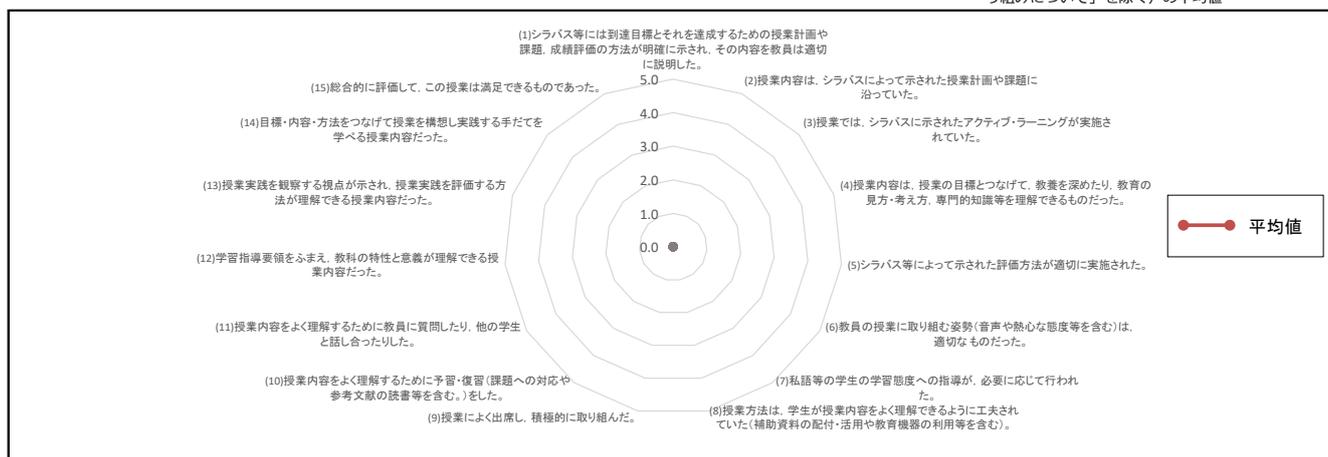
No.	513	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	中等家庭科教育特論	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	速水 多佳子, 金 貞均, 西川 和孝, 福井 典代, 坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

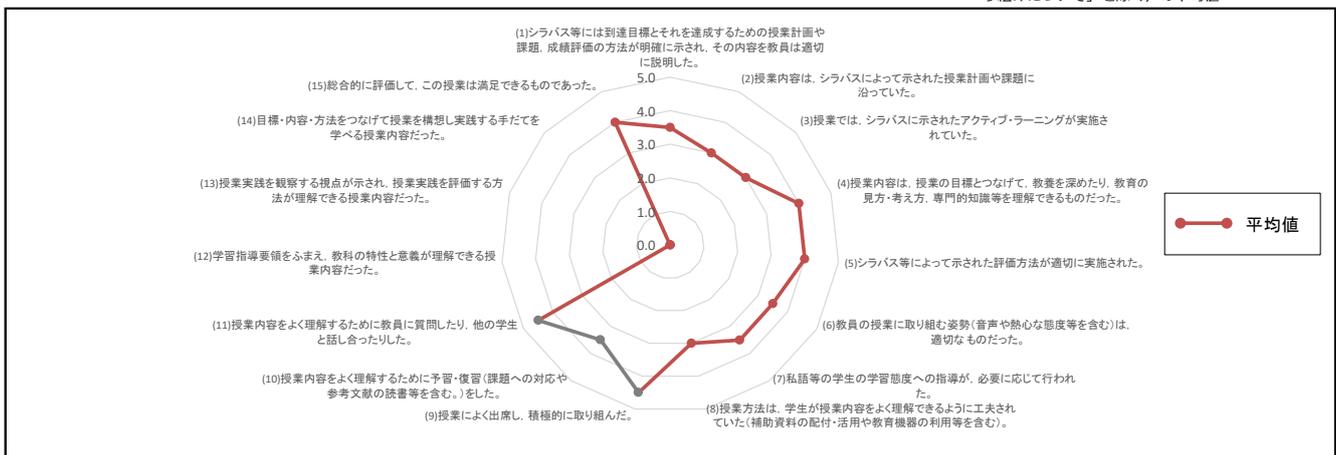
No.	514	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	学校教育心理学演習（新課程）		回答者数	2	人
区分	教職共通科目				
担当教員名	皆川 直凡				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	1	0	0	3.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	1	0	3.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	1	0	3.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	2	0	0	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	2	0	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	1	0	0	3.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	1	0	0	3.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	2	0	0	3.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	1	0	3.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	2	0	0	0	4.0

総合評価	3.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

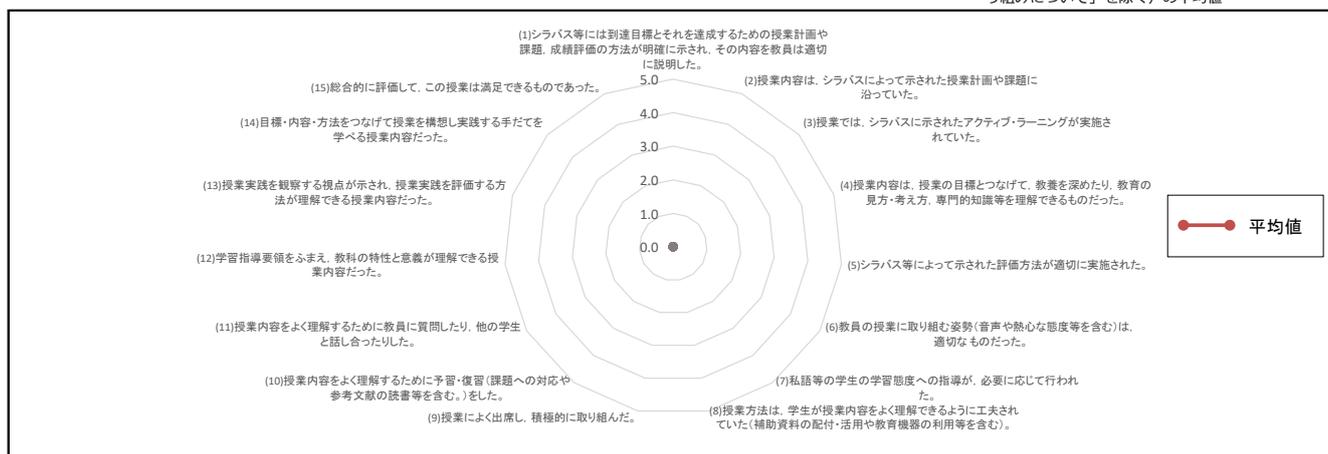
No.	515	評価実施日	令和4年12月24日		
授業科目名	総合的な学習の時間の指導法	回答者数	0	人	
区分	教職共通科目				
担当教員名	村川 雅弘				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

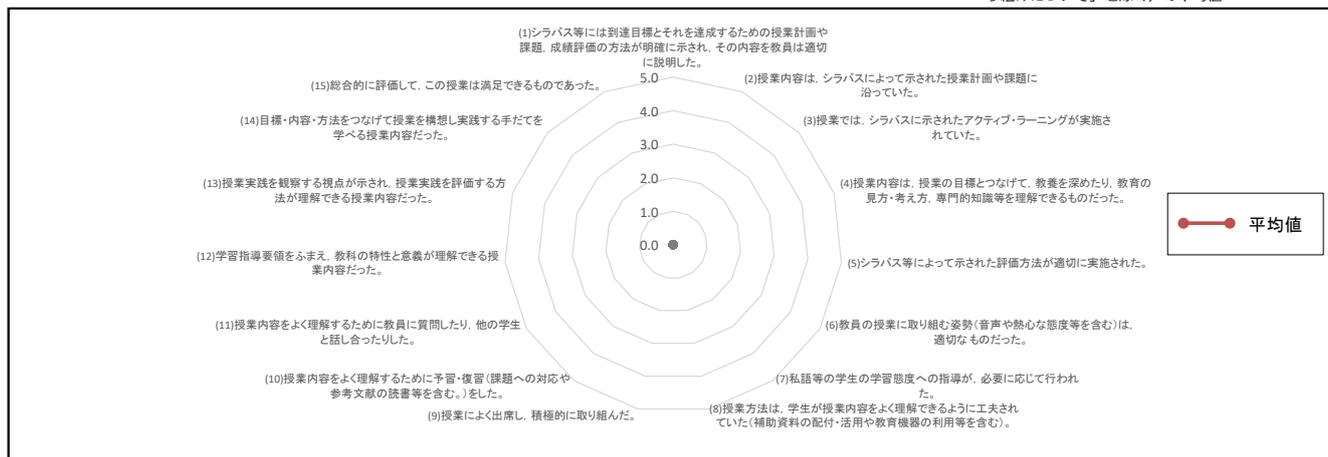
No.	516	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	乳幼児教育研究法Ⅱ（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	田村 隆宏, 湯地 宏樹, 佐々木 晃, 塩路 晶子, 木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

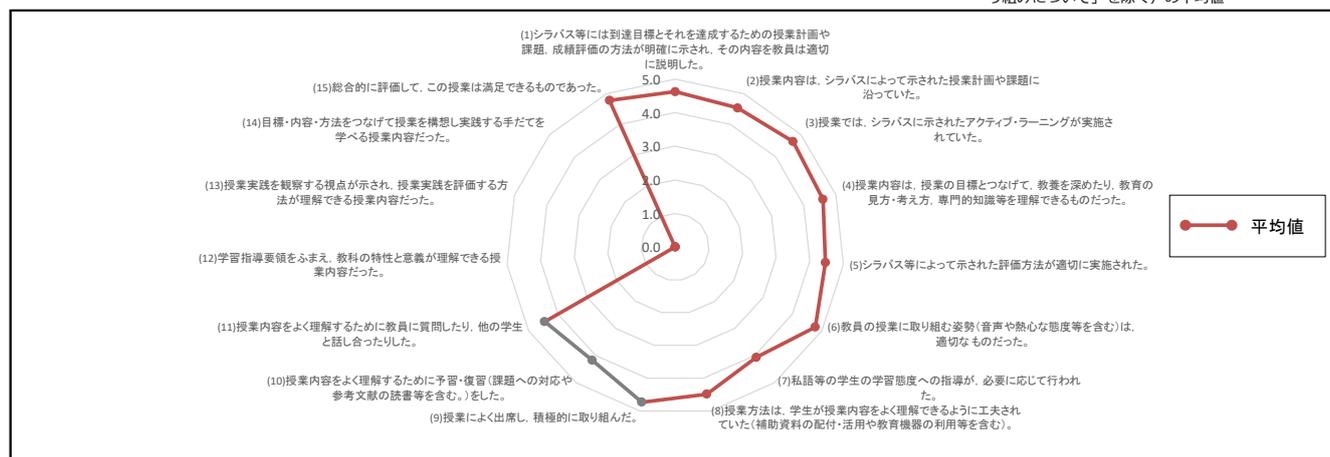
No.	517	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	初等国語 A	回答者数	86	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	余郷 裕次				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	58	25	2	1	0	4.6
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	52	30	3	0	1	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	62	21	3	0	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	55	27	4	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	48	30	8	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	70	13	3	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	34	30	18	2	2	4.1
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	53	25	6	1	1	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	65	19	2	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	35	34	14	3	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	50	26	9	1	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	69	15	2	0	0	4.8

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

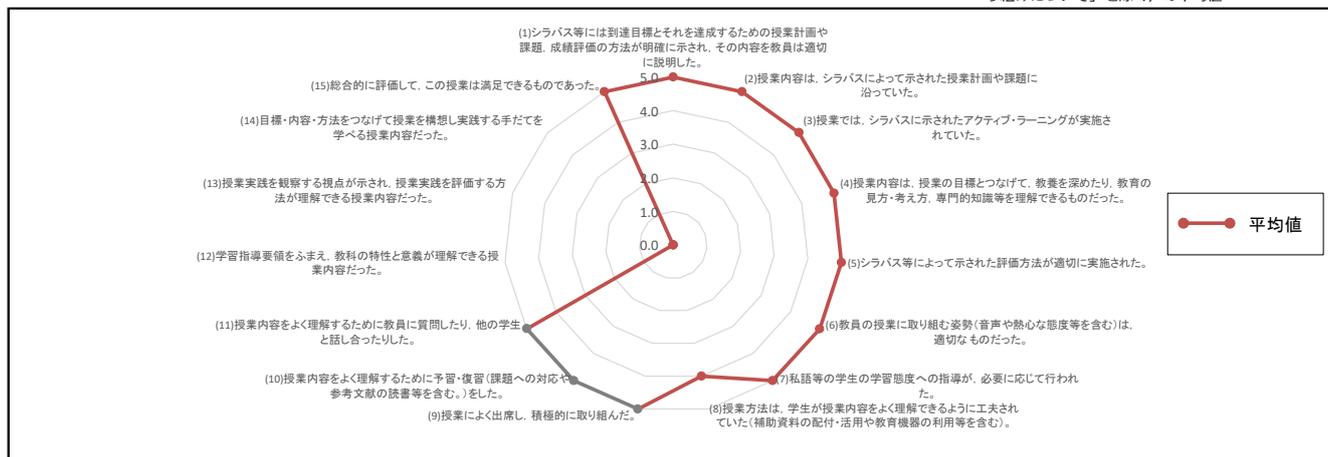
No.	518	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	初等国語 B	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	千種 彰典				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

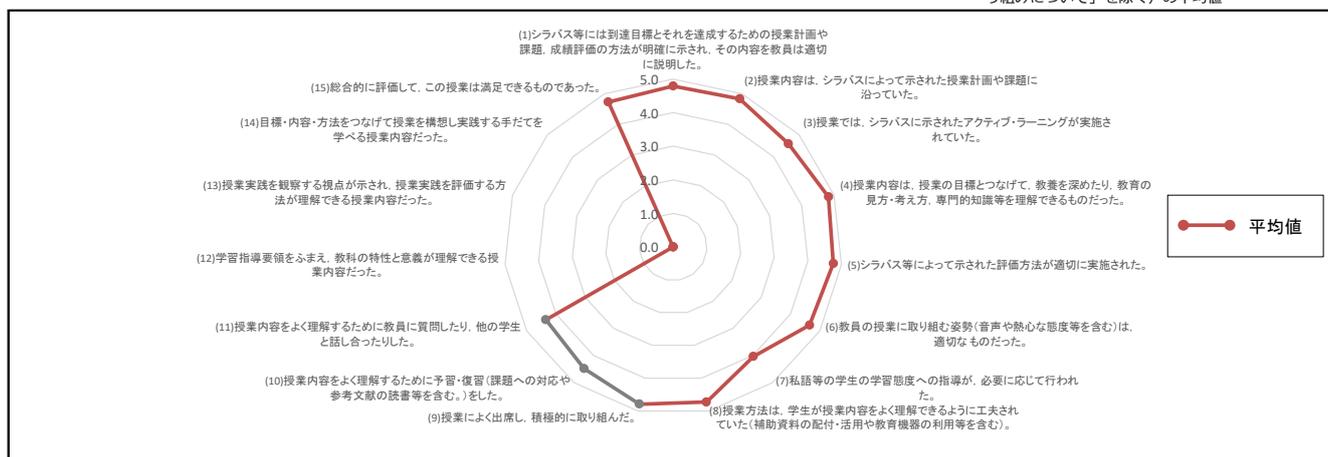
No.	519	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	初等社会	回答者数	29	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	伊藤 直之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	23	6	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	5	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	8	2	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	24	5	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	23	5	1	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	20	8	1	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	13	6	8	2	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	21	8	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	24	4	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	19	5	5	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	16	8	4	1	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	21	8	0	0	0	4.7

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

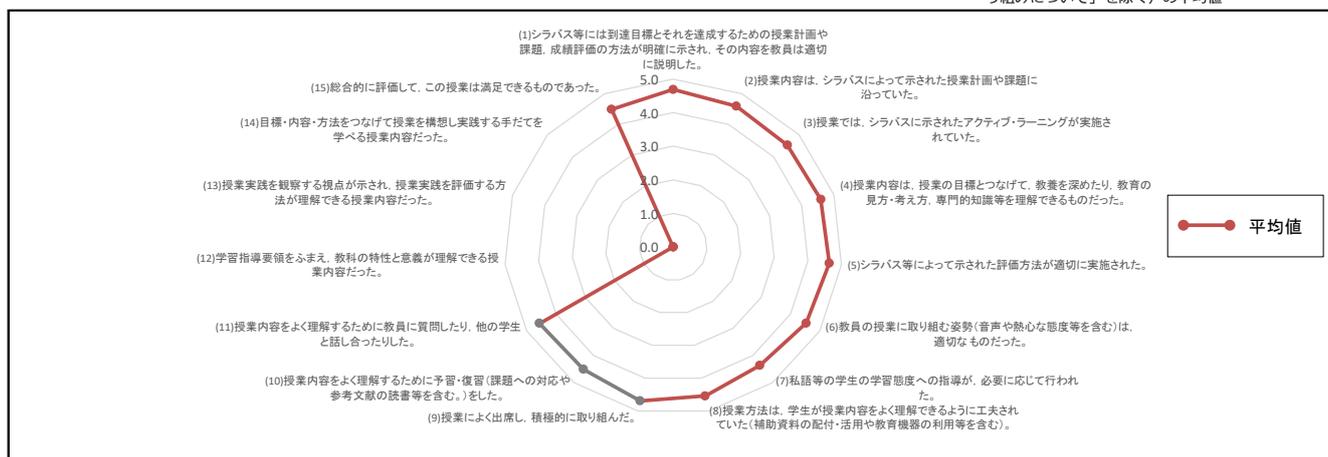
No.	520	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	算数 A	回答者数	39	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	佐伯 昭彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	28	10	1	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	27	9	2	1	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	26	10	2	0	1	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	25	12	2	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	26	12	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	25	10	4	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	21	11	7	0	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	26	8	5	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	29	8	2	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	25	9	5	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	27	7	5	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	24	10	5	0	0	4.5

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

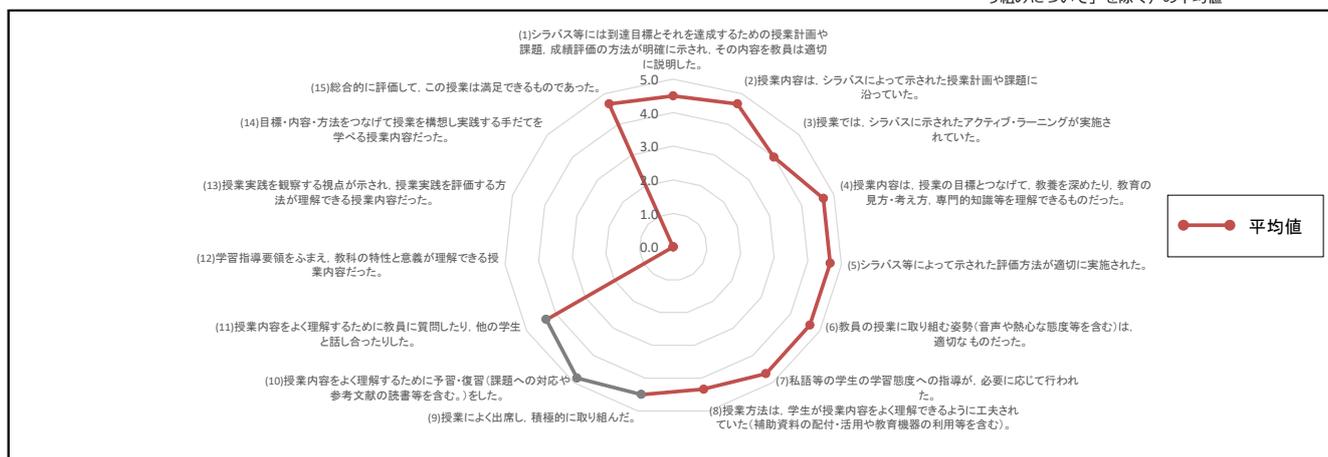
No.	521	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	算数 B	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	佐伯 昭彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	1	0	0	4.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	1	1	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	2	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	2	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	1	1	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	1	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	4.7

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

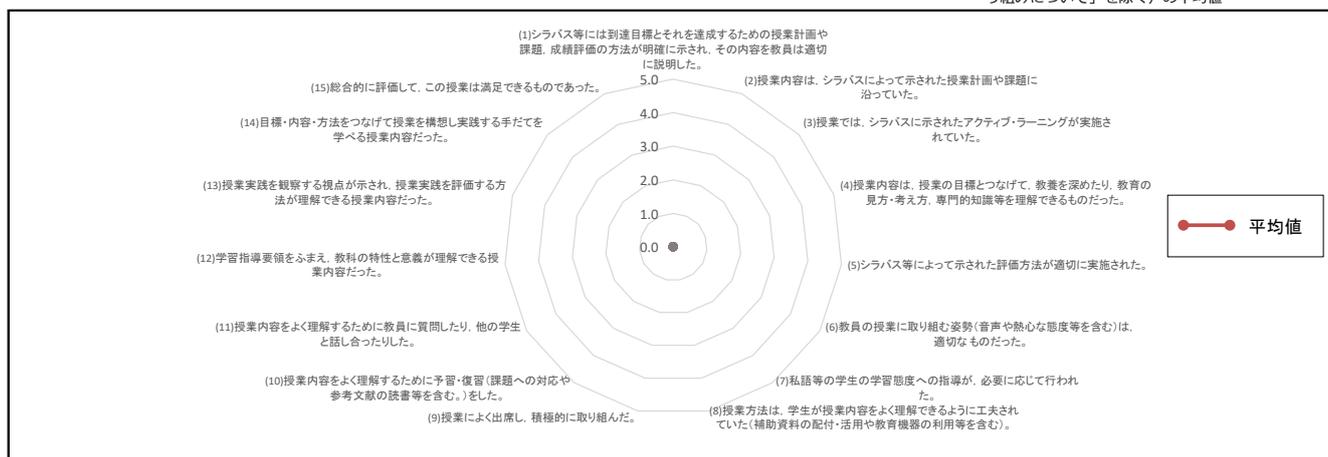
No.	522	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	初等理科	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	本田 亮, 武田 清, 佐藤 勝幸, 福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

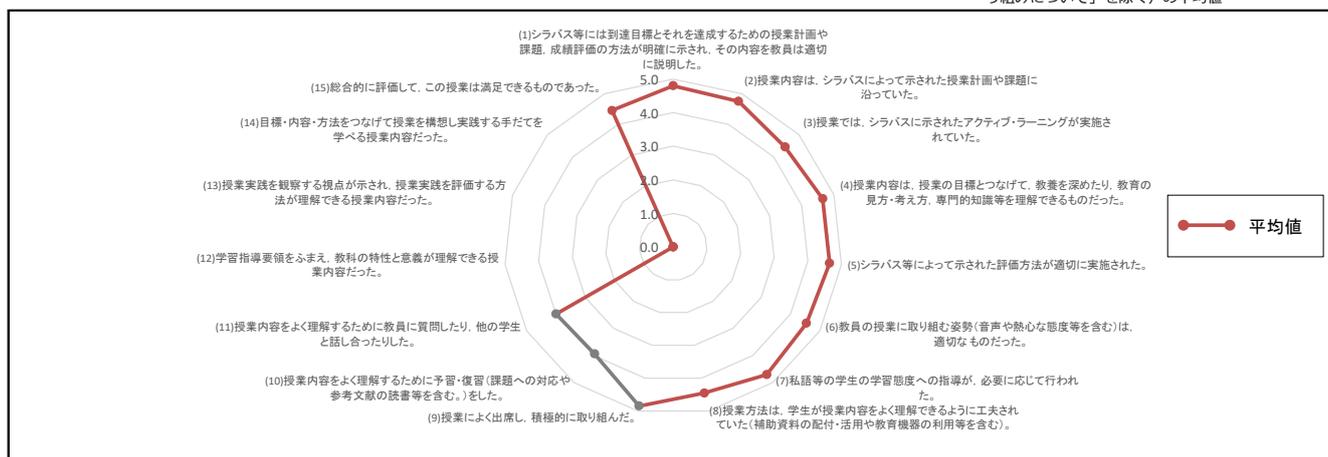
No.	523	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	生活 A	回答者数	20	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	田岡 佳美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	16	4	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	5	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	4	2	1	0	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	14	5	1	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	14	5	1	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	4	1	1	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	15	4	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	8	0	1	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	17	3	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	4	5	1	1	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	7	3	1	1	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	11	7	2	0	0	4.5

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

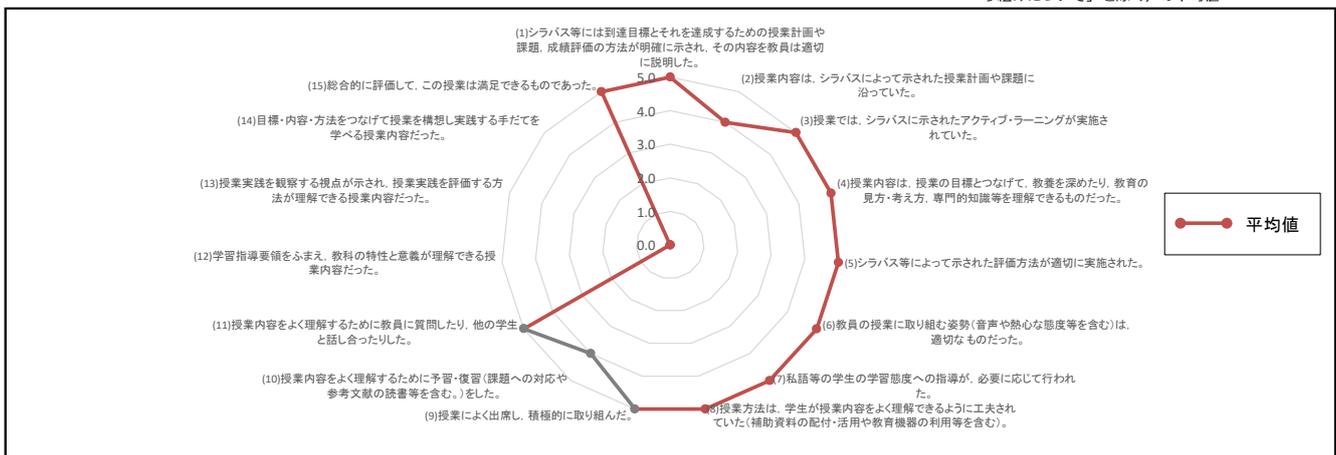
No.	524	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	生活 B	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	田岡 佳美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

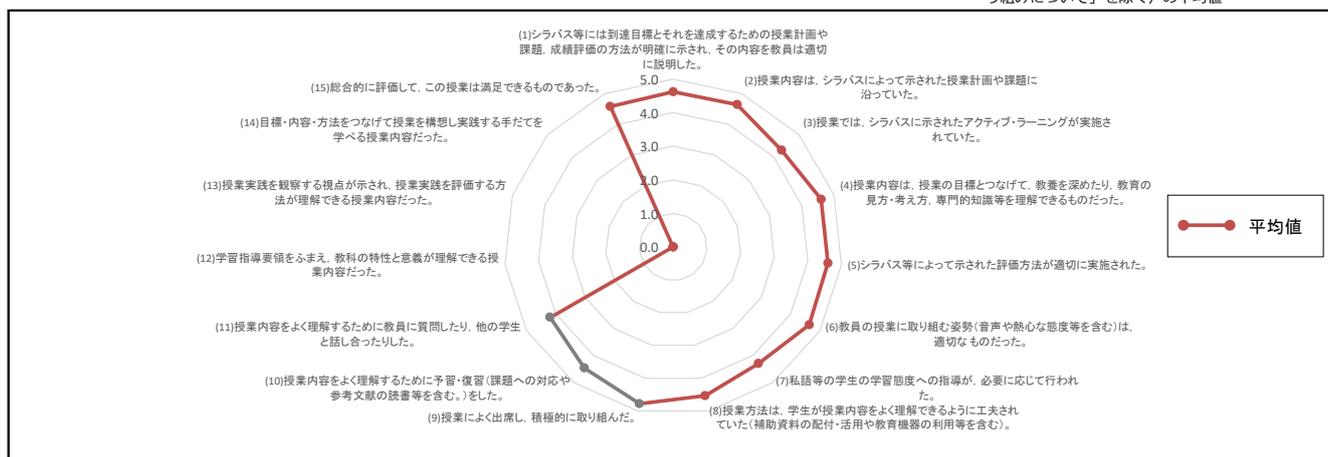
No.	525	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	初等音楽 I	回答者数	45	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山田 啓明, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲, 鉄口 真理子, 真鍋 美恵, 朝香 友貴				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	29	15	1	0	0	4.6
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	30	14	1	0	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	25	13	4	2	1	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	27	18	0	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	29	14	2	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	31	12	2	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	25	11	7	1	1	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	28	13	4	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	36	8	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	25	17	2	1	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	23	13	4	5	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	30	11	4	0	0	4.6

総合評価	4.5
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

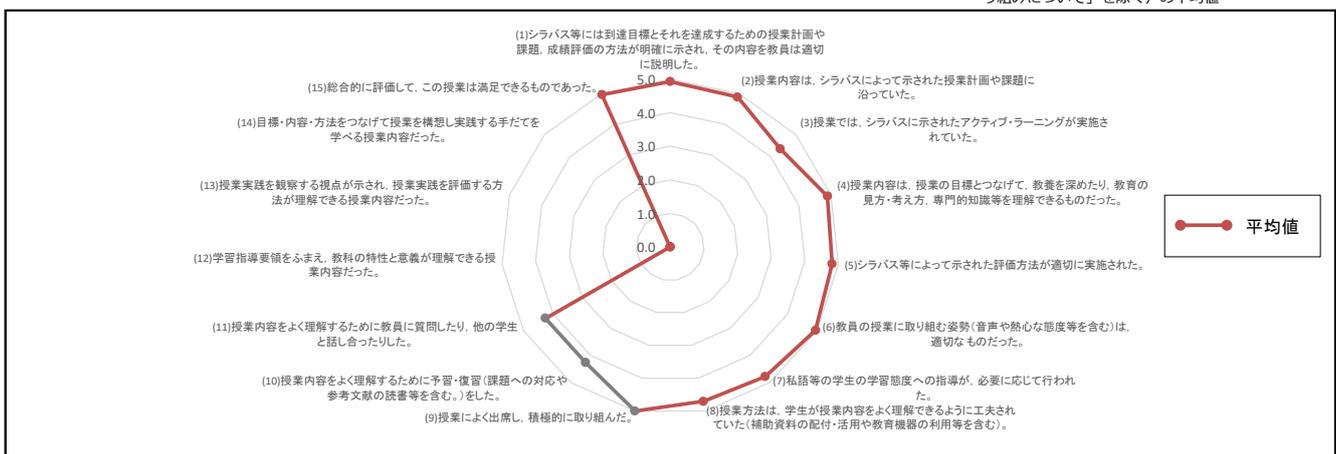
No.	526	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	図画工作 I A	回答者数	27	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鈴木 久人, 栗原 慶				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	25	2	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	24	3	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	18	4	3	1	1	4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	24	3	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	23	3	1	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	26	1	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	22	4	1	0	0	4.8
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	19	8	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	27	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	16	4	5	2	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	15	6	4	2	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	26	1	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

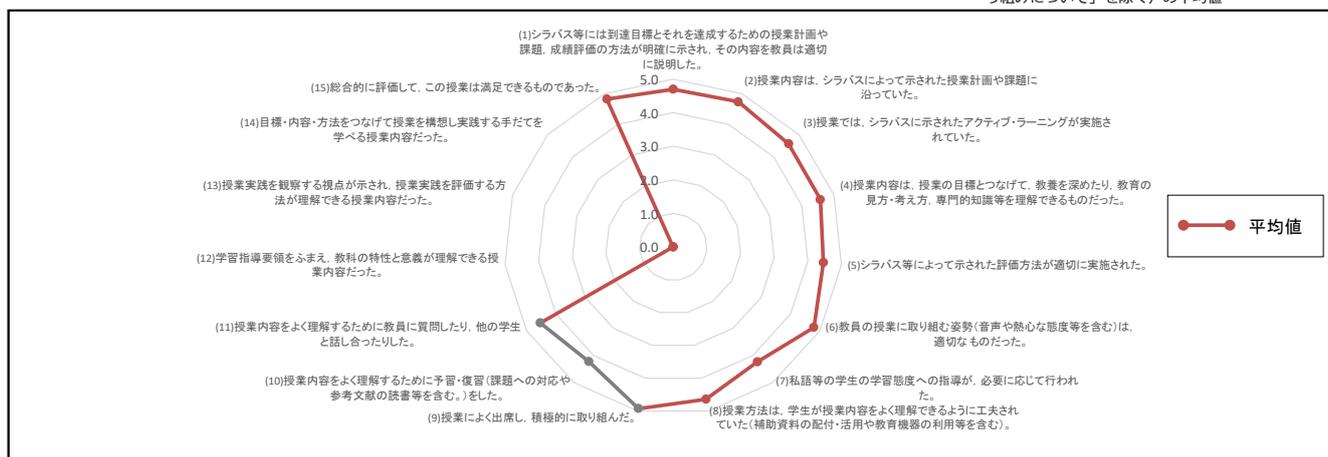
No.	527	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	図画工作 I B	回答者数	56	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	内藤 隆, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	42	13	0	0	1	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	43	11	2	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	39	12	4	1	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	35	18	3	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	33	16	7	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	46	9	1	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	28	16	9	3	0	4.2
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	39	15	1	1	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	52	4	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	29	14	10	3	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	34	18	4	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	46	10	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

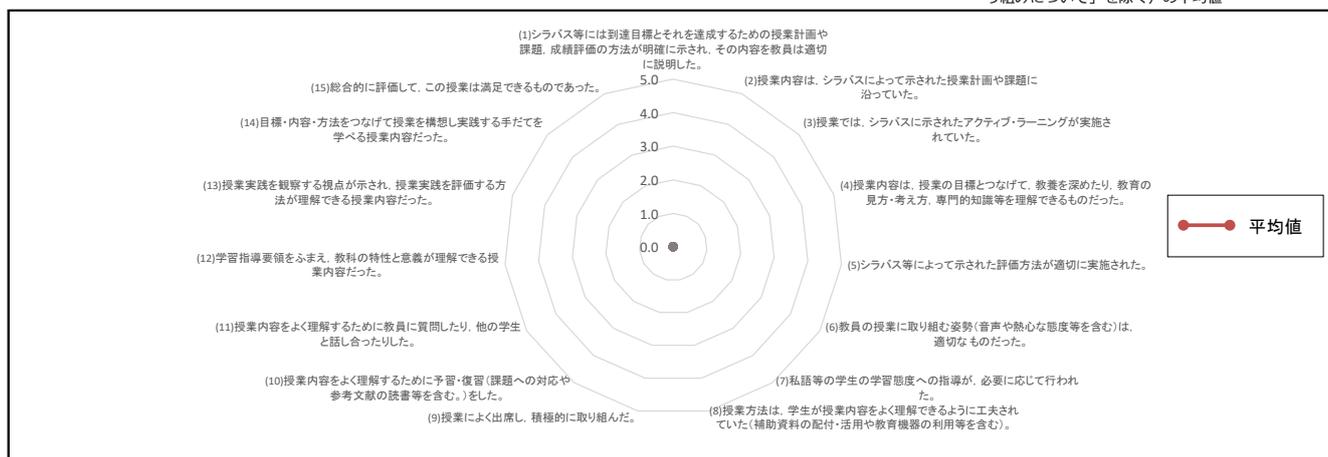
No.	528	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	図画工作 I C	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	石井 一次				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

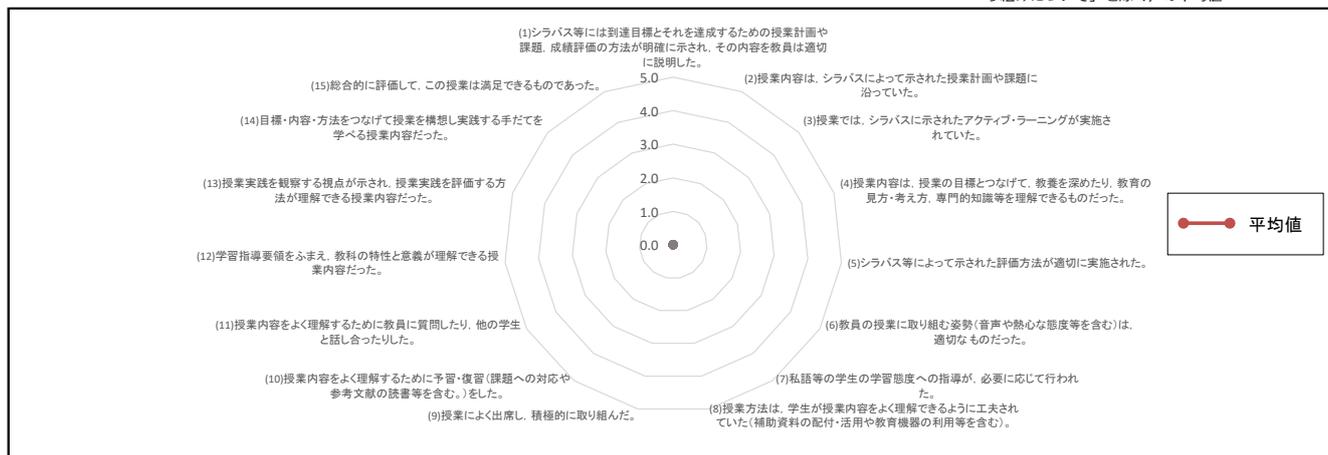
No.	529	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	図画工作 I D	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	白石 謙二				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

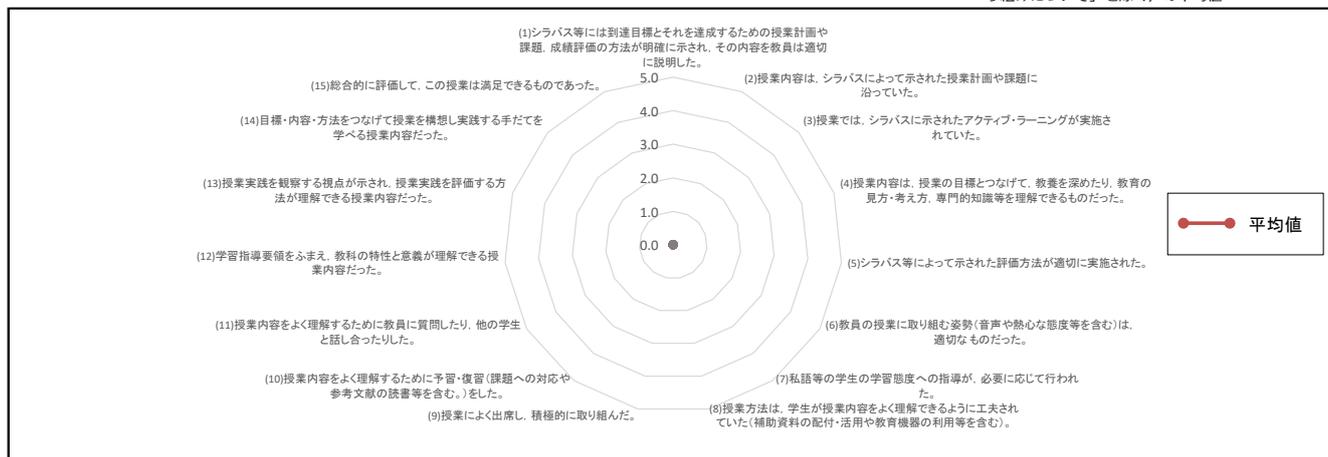
No.	530	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	初等体育 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	藤田 雅文, 松井 敦典, 田中 弘之, 南 隆尚, 綿引 勝美, 林 夏木				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

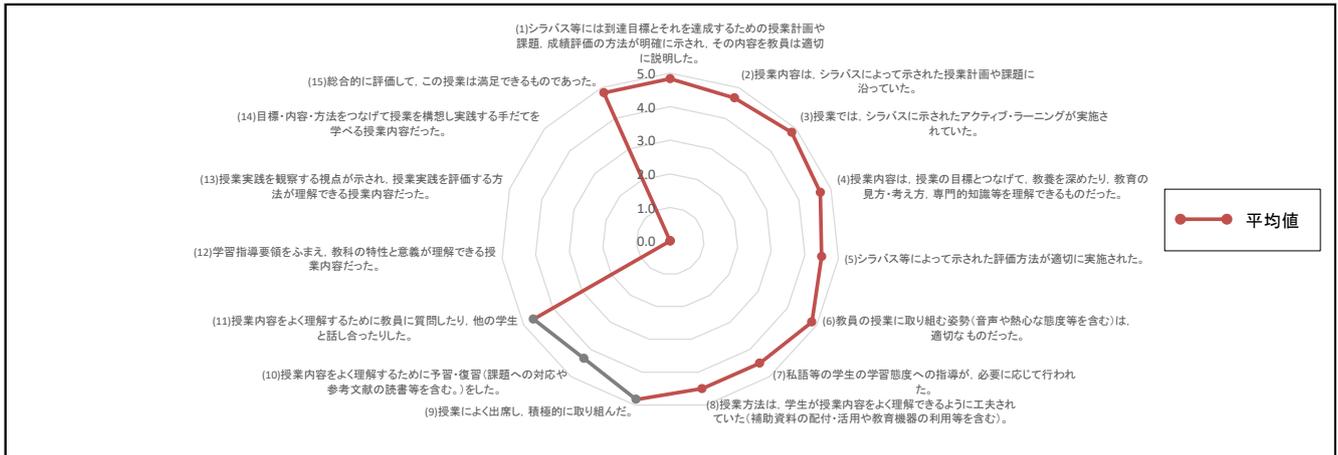
No.	531	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	初等音楽Ⅱ	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山田 啓明, 頃安 利秀, 森 正, 山根 秀憲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	1	1	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	3	2	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

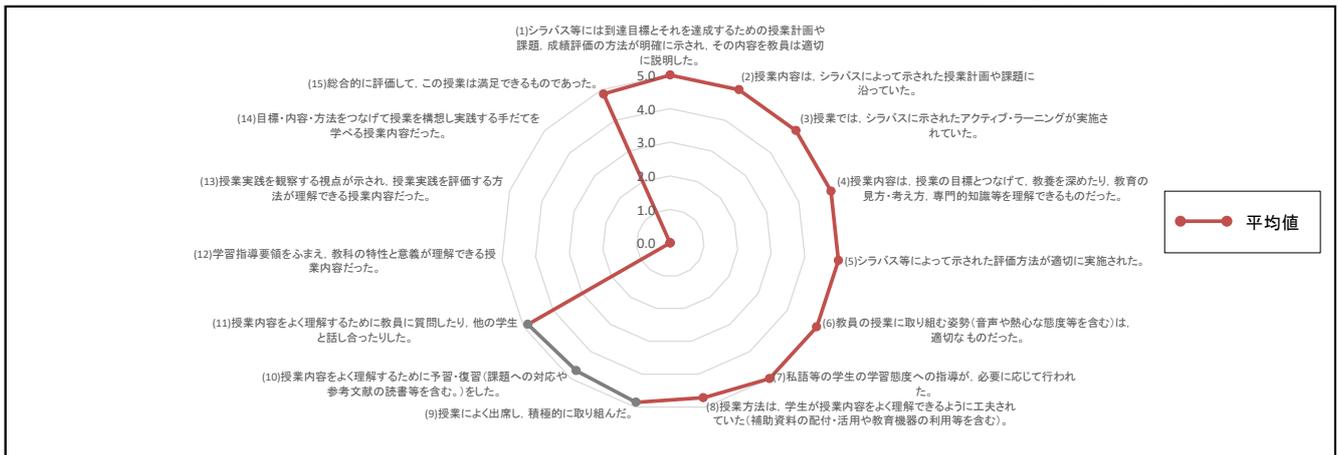
No.	532	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	図画工作Ⅱ	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	内藤 隆, 武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	2	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	4.9

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

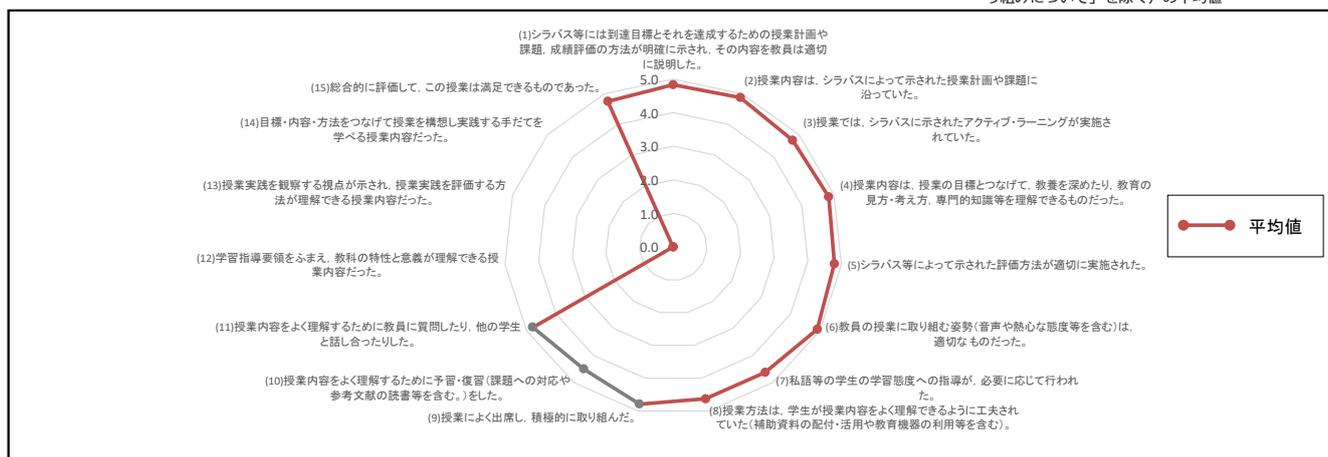
No.	533	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	初等家庭	回答者数	24	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	坂本 有芳, 福井 典代, 金 貞均, 西川 和孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	20	4	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	21	3	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	4	1	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	20	4	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	20	3	1	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	22	2	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	15	9	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	15	9	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	19	5	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	16	5	2	1	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	19	5	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	19	4	1	0	0	4.8

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

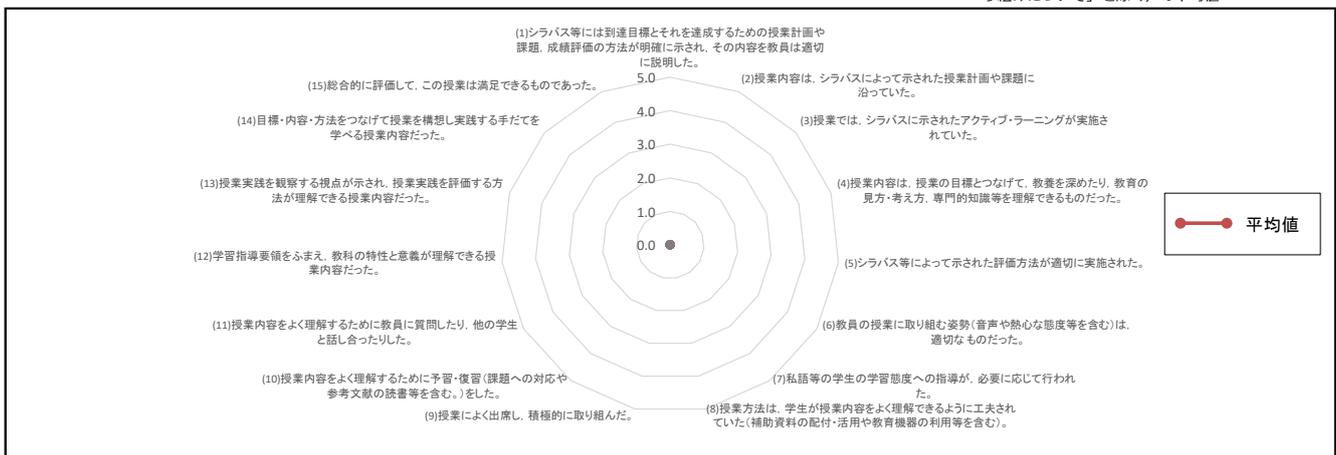
No.	534	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	初等英語（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	数下 克彦, 眞野 美穂, 佐藤 美智子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

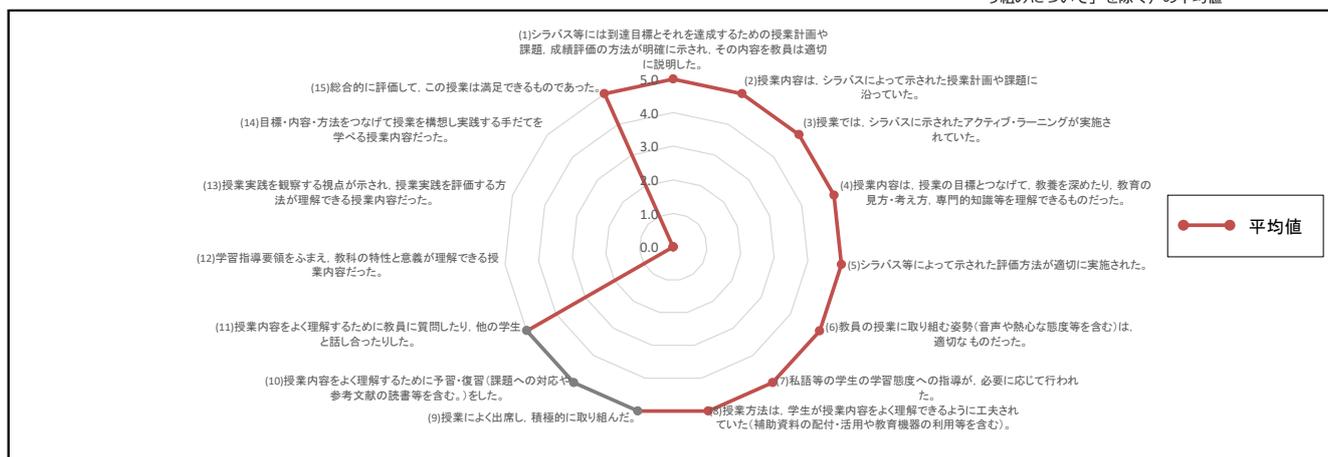
No.	535	評価実施日	令和4年11月25日		
授業科目名	幼児と健康（新課程）	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	佐々木 晃				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

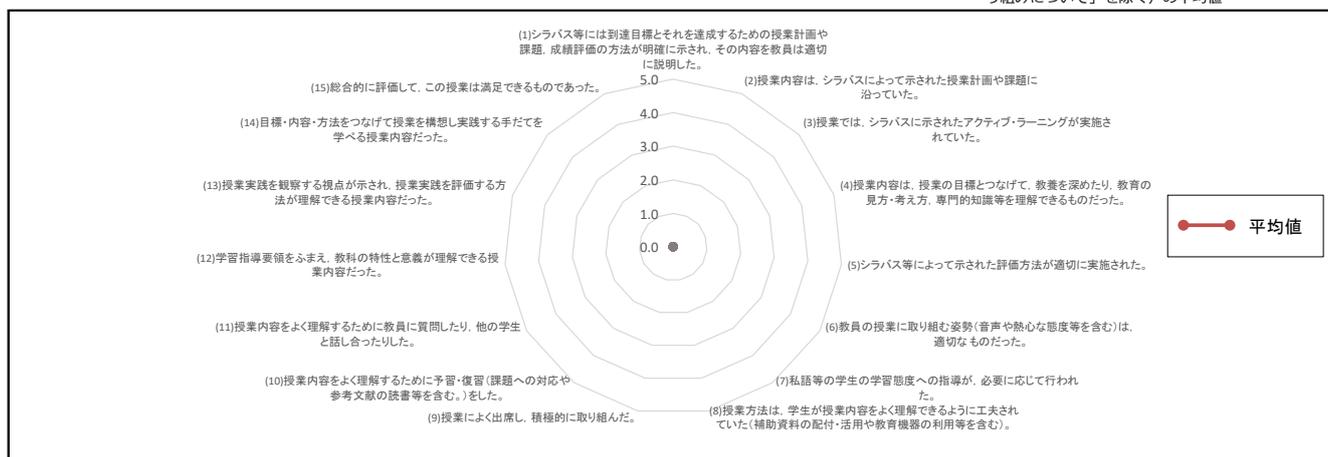
No.	536	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	幼児と人間関係（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	佐々木 晃				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

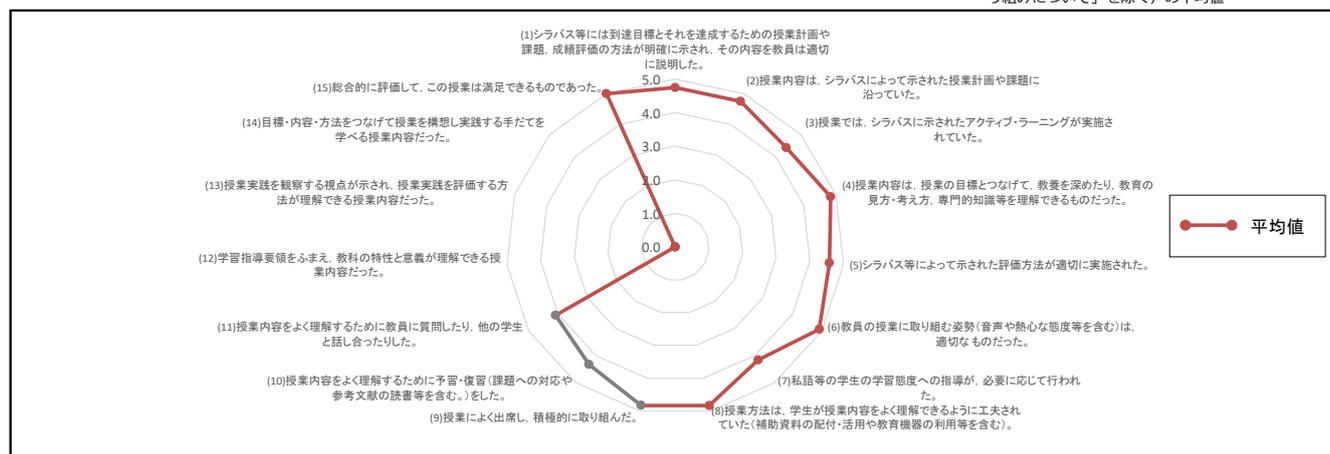
No.	537	評価実施日	令和4年12月1日		
授業科目名	幼児と環境（新課程）	回答者数	12	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	塩路 晶子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	9	3	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	3	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	0	1	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	6	3	2	1	0	4.2
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	10	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	4	2	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	4	5	3	0	0	4.1
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	12	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

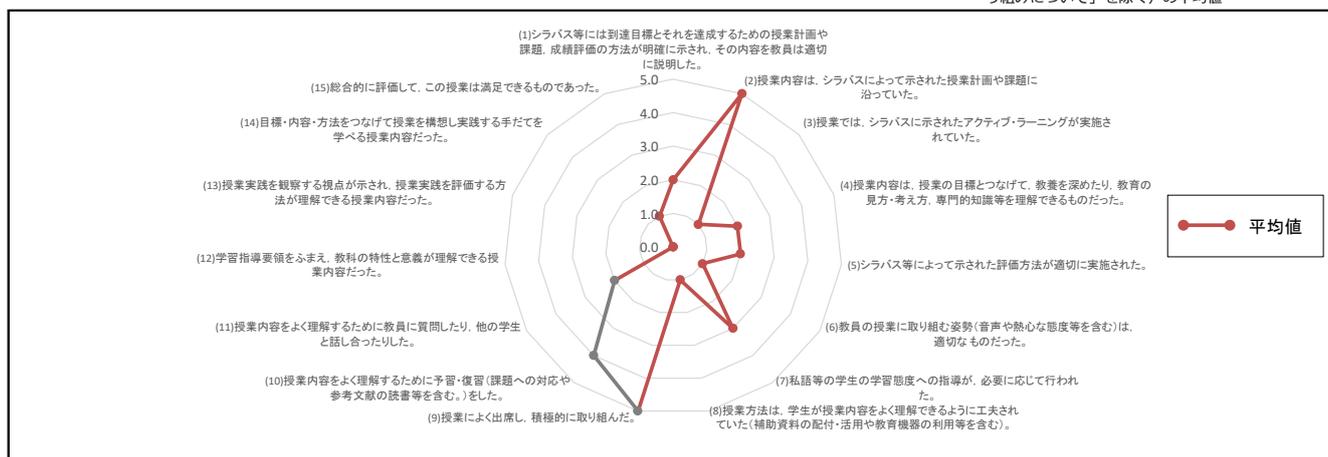
No.	538	評価実施日	令和5年6月9日		
授業科目名	幼児と言葉（新課程）	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	田村 隆宏				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	1	0	2.0
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	1	1.0
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	1	0	2.0
	(5) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	1	0	2.0
2. 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	1	1.0
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	3.0
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	1	1.0
3. あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	1	0	2.0
4. 教育実践コア科目について	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	1	1.0

総合評価	2.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

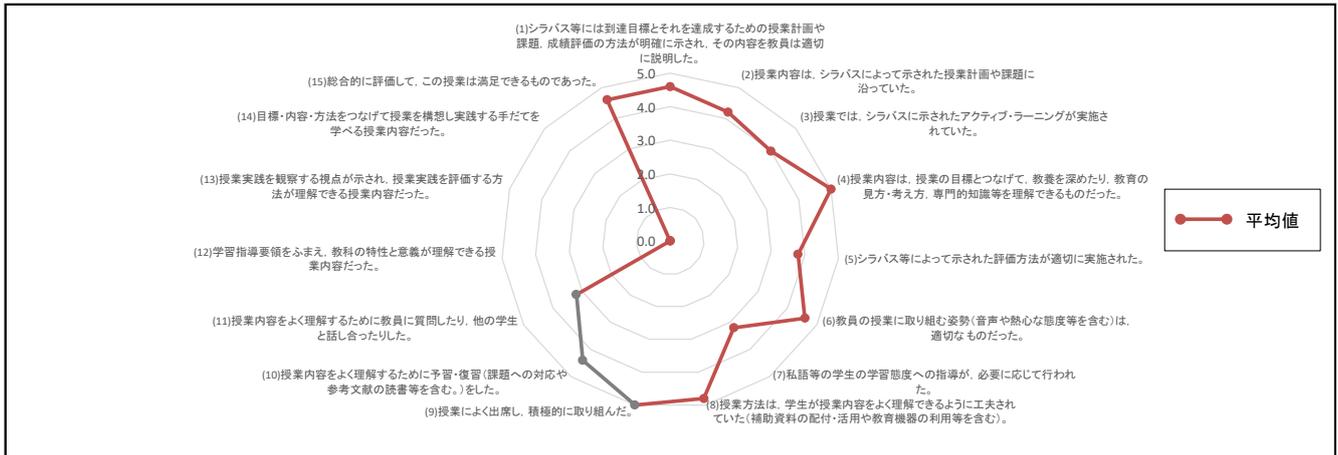
No.	539	評価実施日	令和4年8月24日		
授業科目名	幼児と表現（新課程）	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	加藤 あや子, 谷口 幹也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	0	1	0	0	4.6
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	2	1	0	0	4.2
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	2	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	2	2	0	0	3.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	0	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	1	2	0	1	3.2
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	2	2	1	0	3.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	0	1	0	0	4.6

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

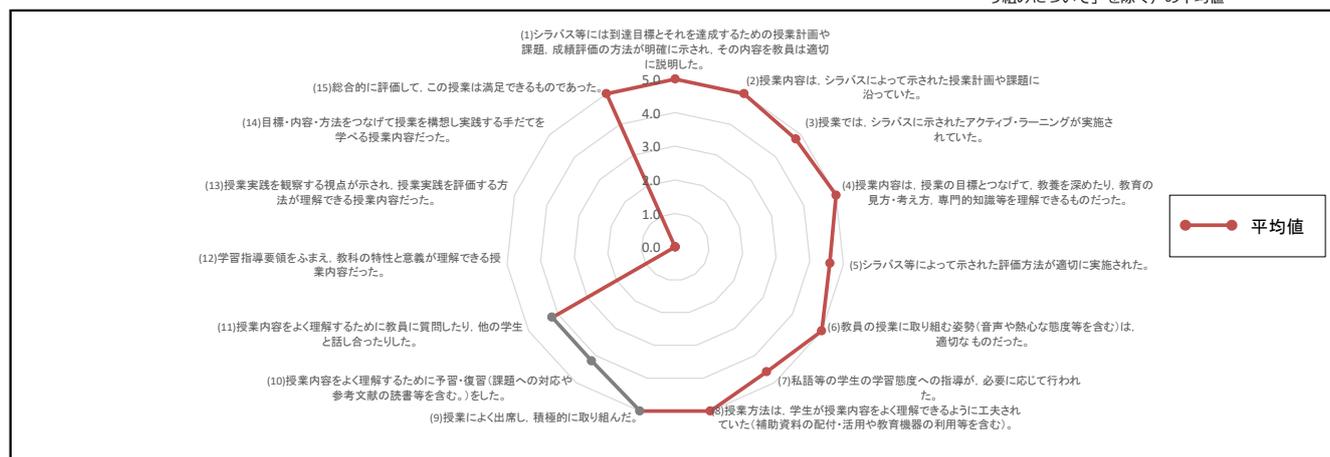
No.	540	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	保育原論	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	湯地 宏樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	0	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	0	2	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	0	2	0	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

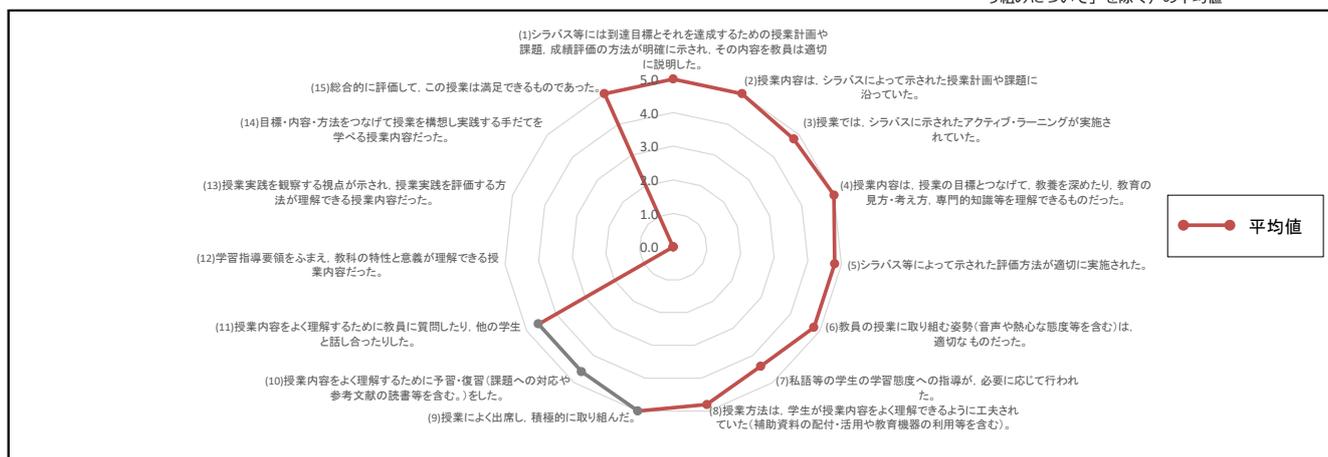
No.	541	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	社会的養護 I (新課程)	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は、適切なものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	0	0	1	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	2	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

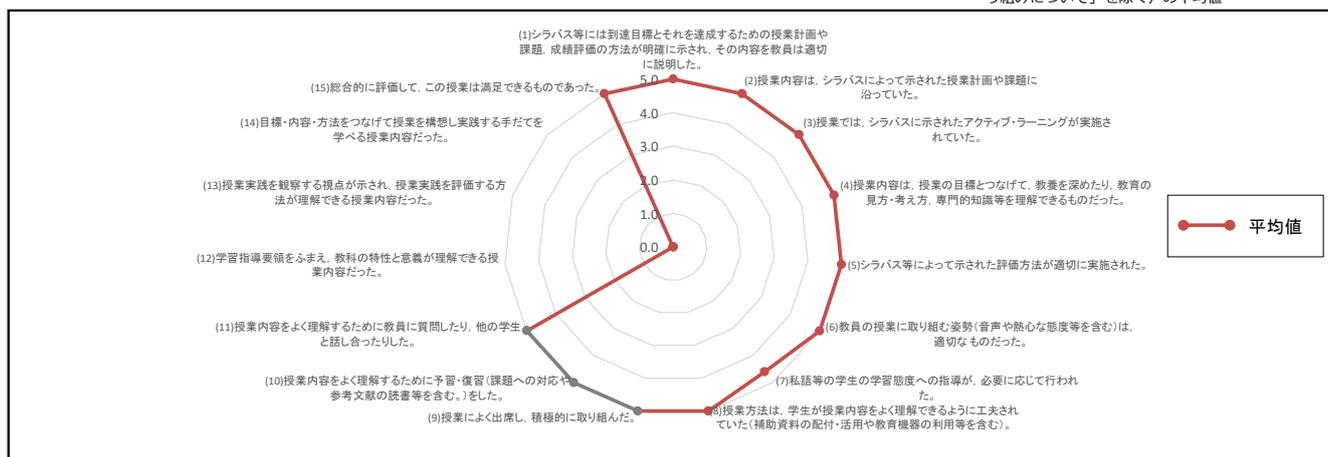
No.	542	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	社会福祉論	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	0	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

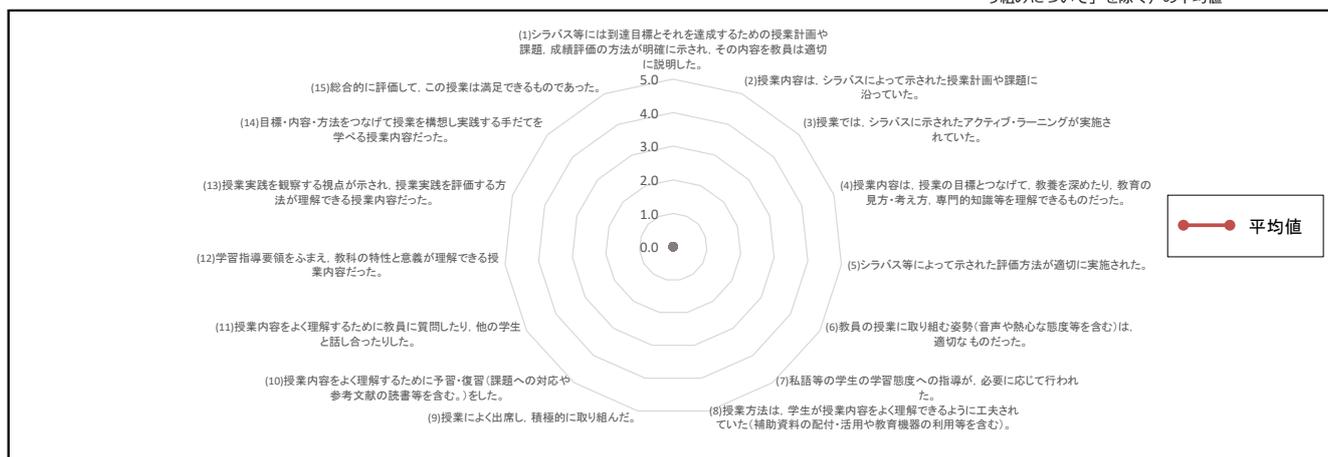
No.	543	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	子どもの理解と援助（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	田村 隆宏, 佐々木 晃				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2. 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3. あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4. 教育実践コア科目について	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

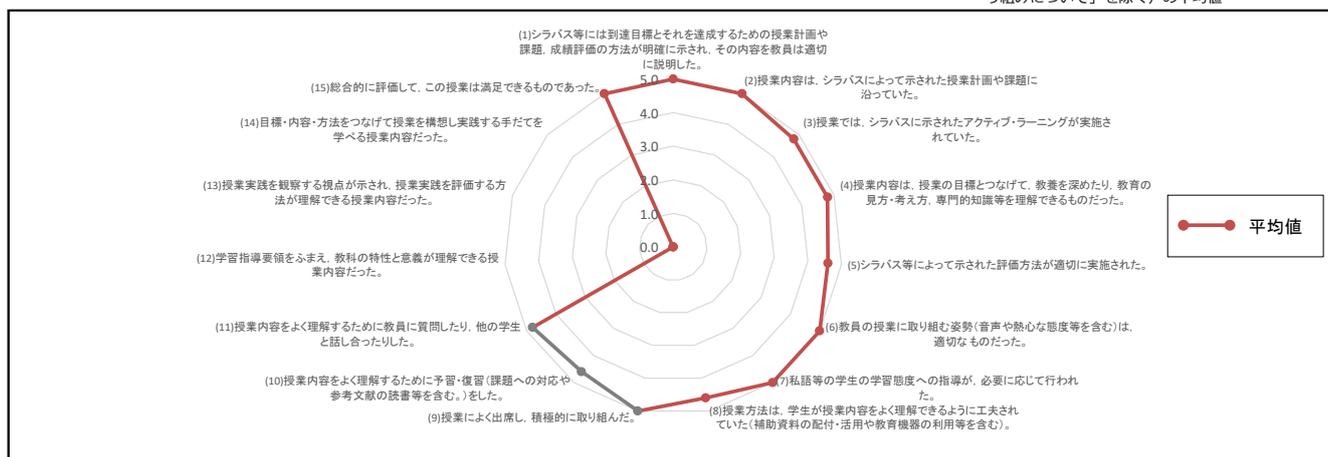
No.	544	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	子ども家庭支援の心理学（新課程）	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	0	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	2	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

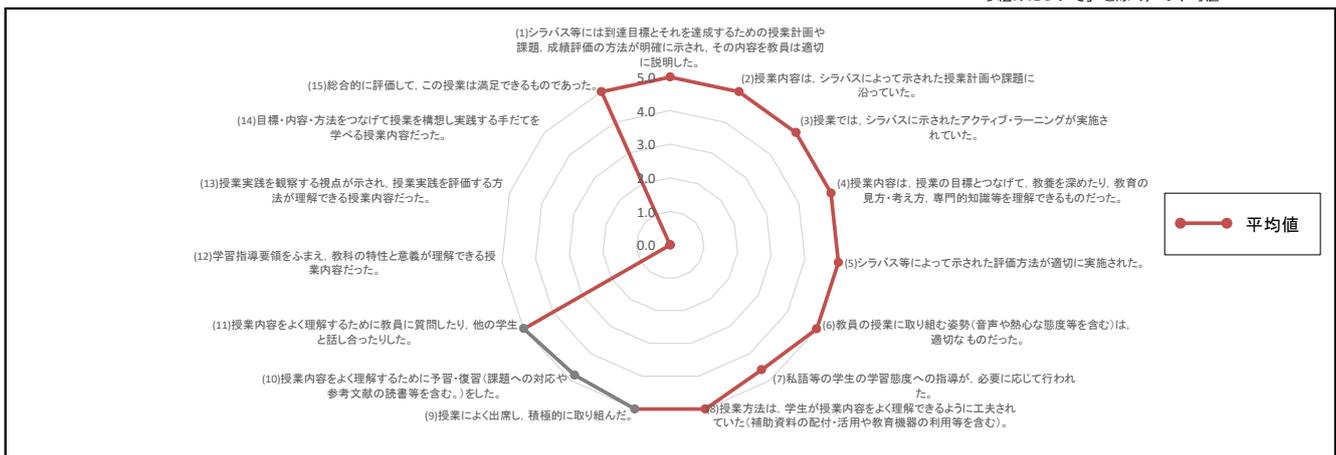
No.	545	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	子育て支援（新課程）	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	木村 直子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	0	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

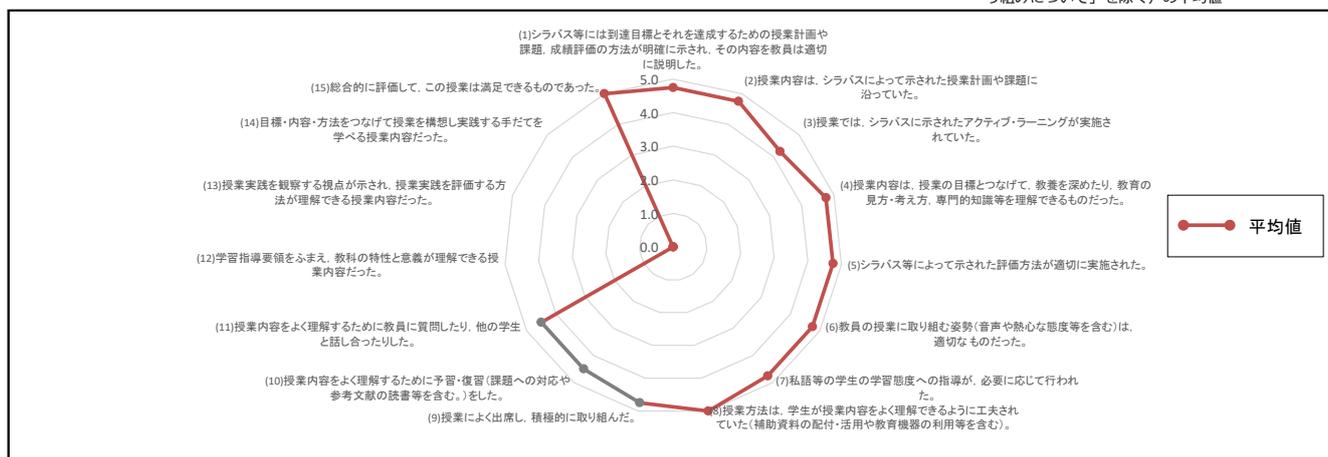
No.	546	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	子ども家庭福祉（新課程）	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	木村 直子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	2	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

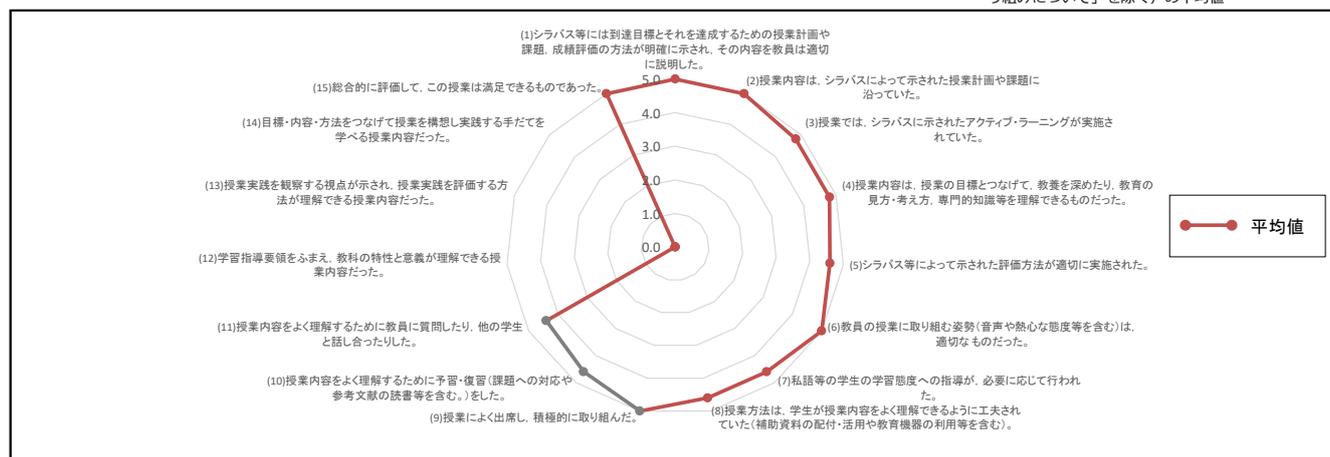
No.	547	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	子どもの保健（新課程）	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	伊藤 弘道				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	0	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	1	0	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

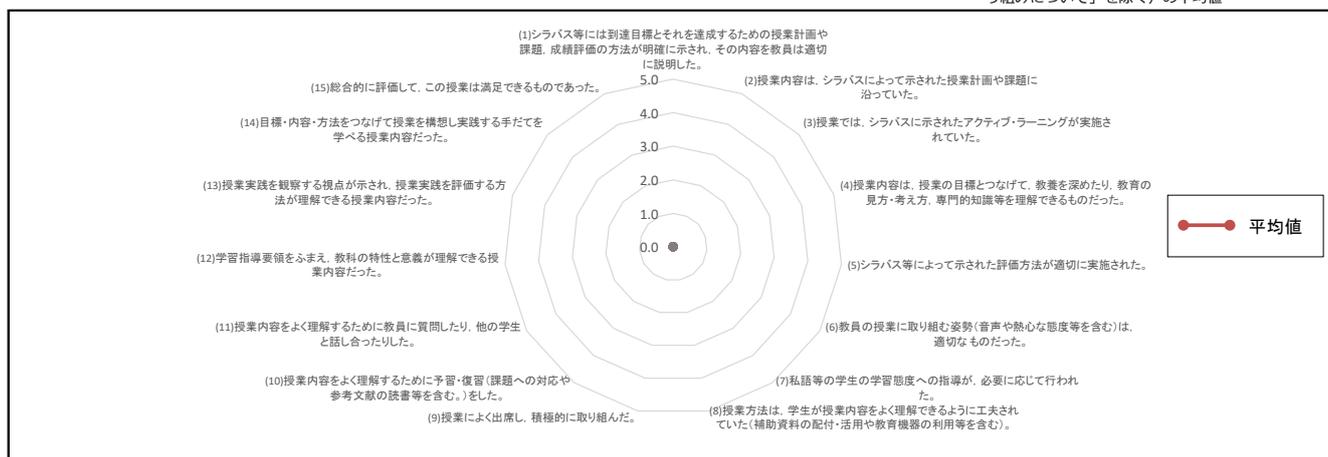
No.	548	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	子どもの健康と安全（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	小川 由紀子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1) シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2) 授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3) 授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4) 授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5) シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2. 授業の進め方について	(6) 教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7) 私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8) 授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3. あなたの授業への取り組みについて	(9) 授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10) 授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11) 授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4. 教育実践コア科目について	(12) 学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13) 授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14) 目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15) 総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

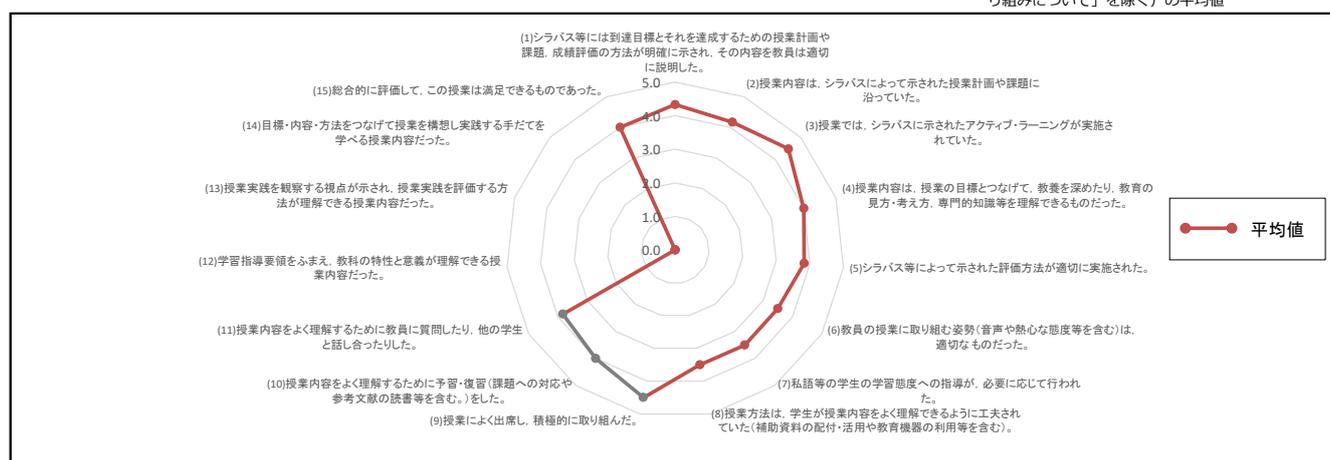
No.	549	評価実施日	令和4年12月21日		
授業科目名	子どもの食と栄養	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	馬場 公恵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	2	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	1	0	0	4.2
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	0	1	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	5	1	0	0	3.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	4	1	1	0	3.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	2	2	1	0	3.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	4	1	1	0	3.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	1	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	0	1	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	4	0	1	0	3.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	1	1	1	0	4.0

総合評価	3.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

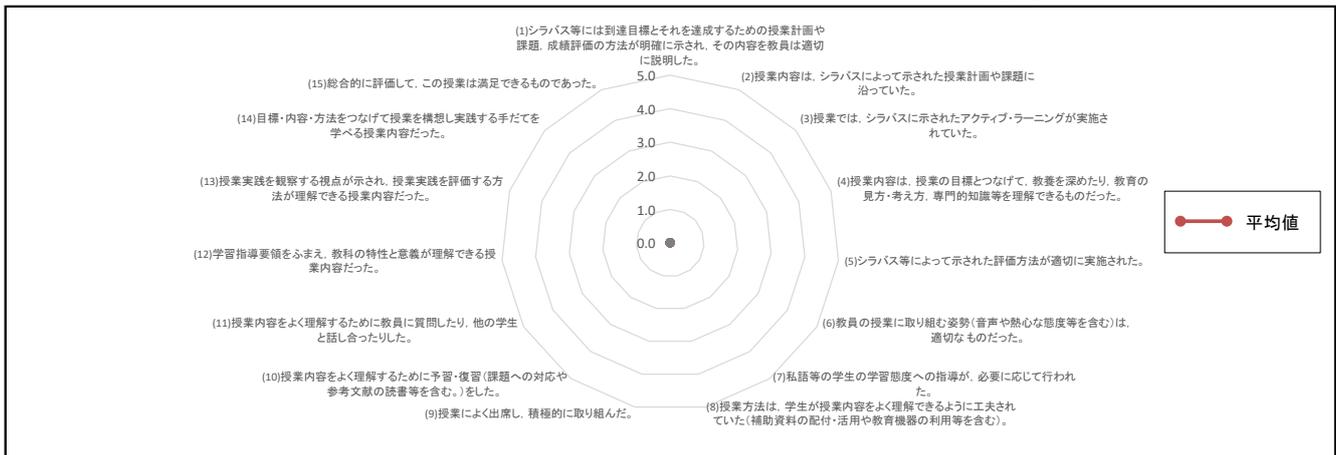
No.	550	評価実施日	令和4年8月29日		
授業科目名	子ども家庭支援論（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	田辺 昌吾				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

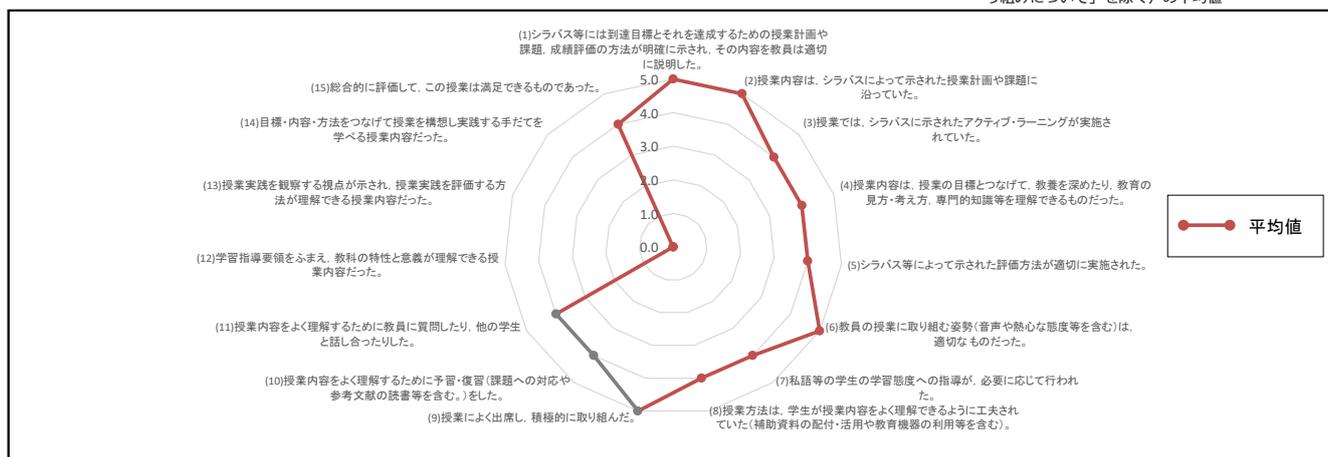
No.	551	評価実施日	令和4年8月23日		
授業科目名	社会的養護Ⅱ（新課程）	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	金子 龍太郎				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	4.0

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

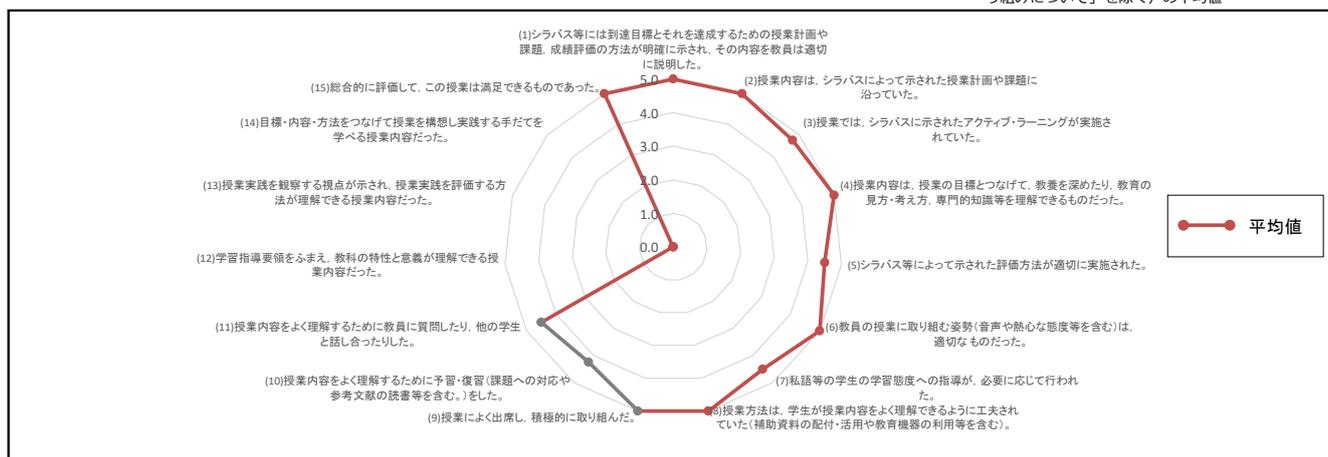
No.	552	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	乳児保育 I (新課程)	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	塩路 晶子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	0	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	1	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	0	1	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

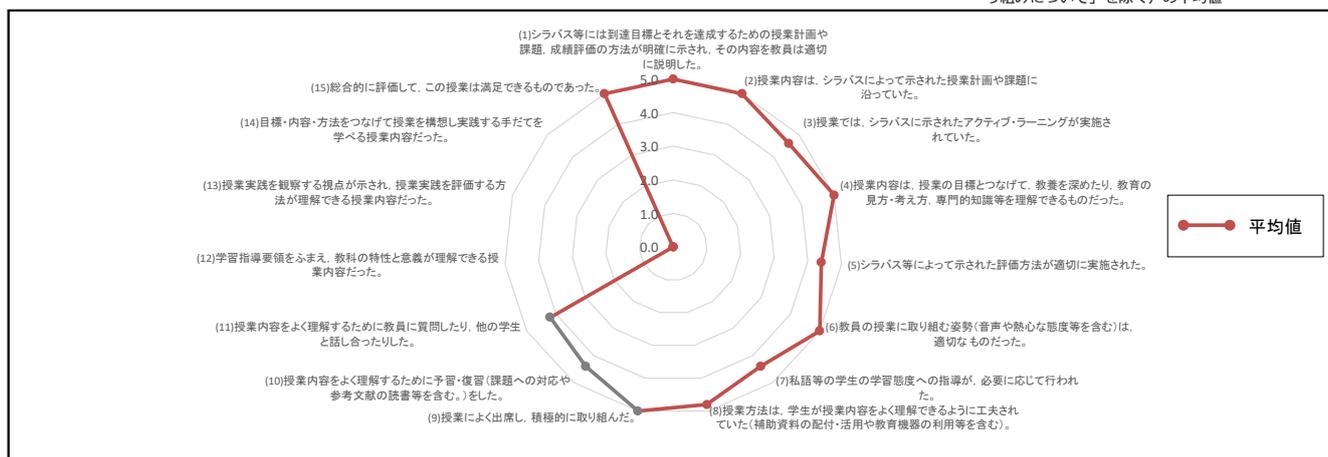
No.	553	評価実施日	令和4年11月30日		
授業科目名	乳児保育Ⅱ（新課程）	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	塩路 晶子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	1	0	0	4.4
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	4.4
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	4.8
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	2	1	0	0	4.2
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

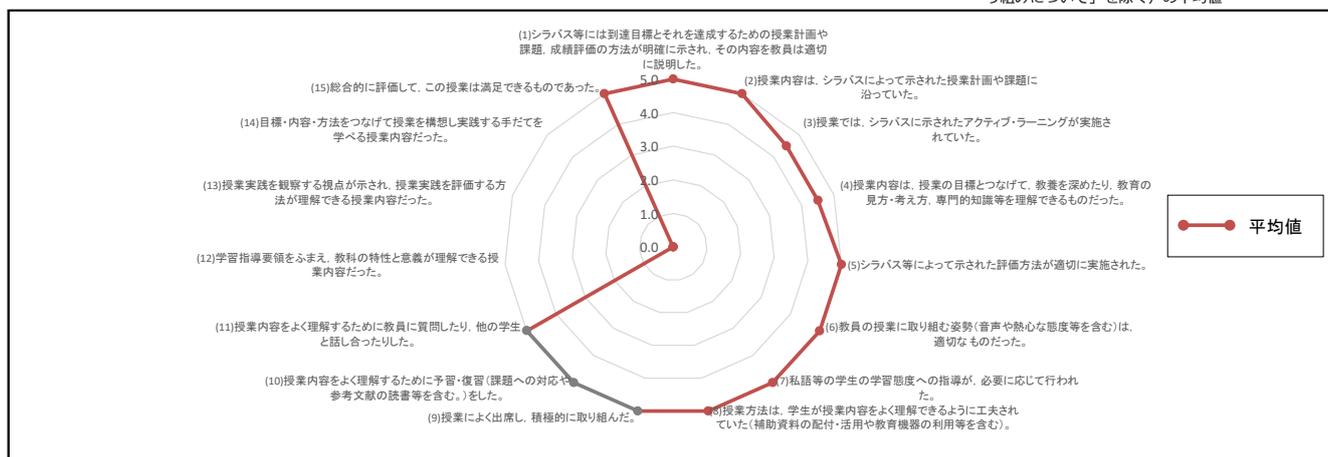
No.	554	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	乳幼児教育研究法 I	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	塩路 晶子, 佐々木 晃				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

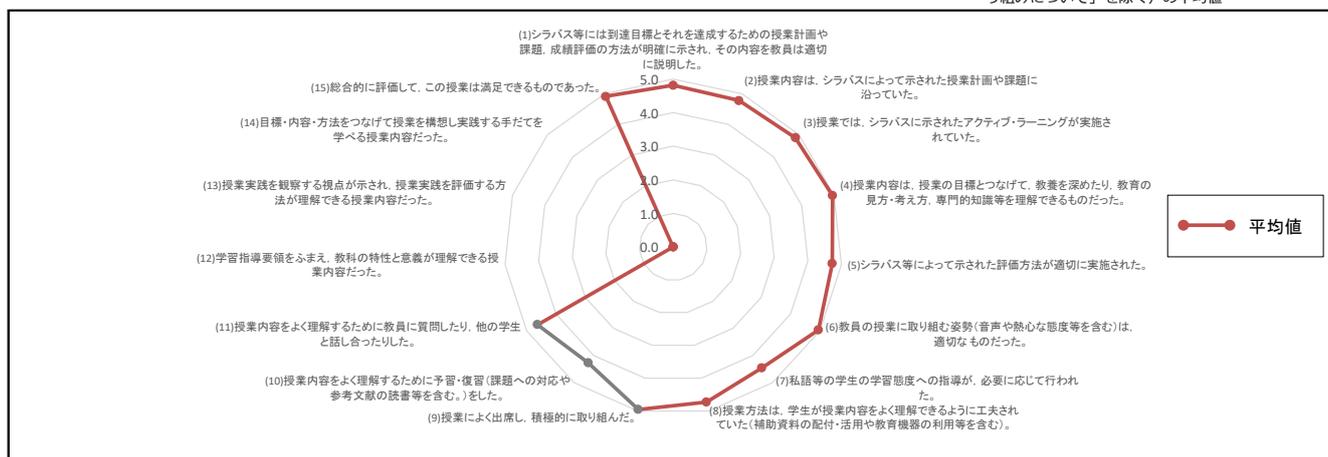
No.	555	評価実施日	令和4年8月25日		
授業科目名	国語学概論（音声言語・文章表現を含む。）		回答者数	22	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	刀田 絵美子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	18	4	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	5	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	19	3	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	21	1	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	17	4	1	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	21	1	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	14	4	4	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	17	4	1	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	21	1	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	9	2	1	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	14	8	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	21	0	1	0	0	4.9

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

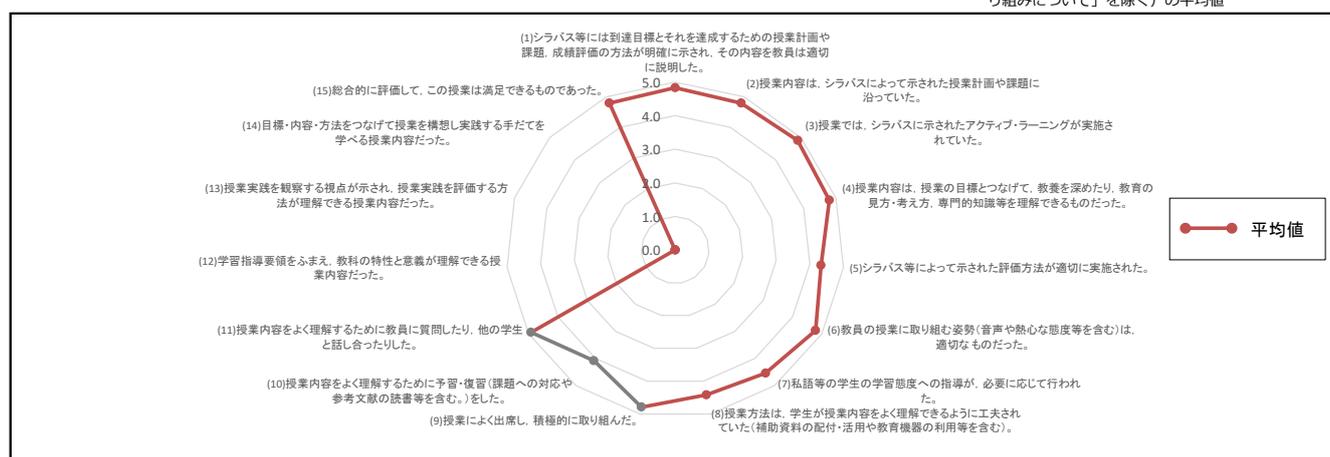
No.	556	評価実施日	令和4年12月20日		
授業科目名	国語学 I	回答者数	24	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	齊藤 学				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	20	4	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	19	5	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	21	3	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	19	5	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	6	5	0	0	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	19	5	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	16	5	3	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	7	2	1	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	20	3	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	6	6	0	1	4.1
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	22	2	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	20	3	1	0	0	4.8

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

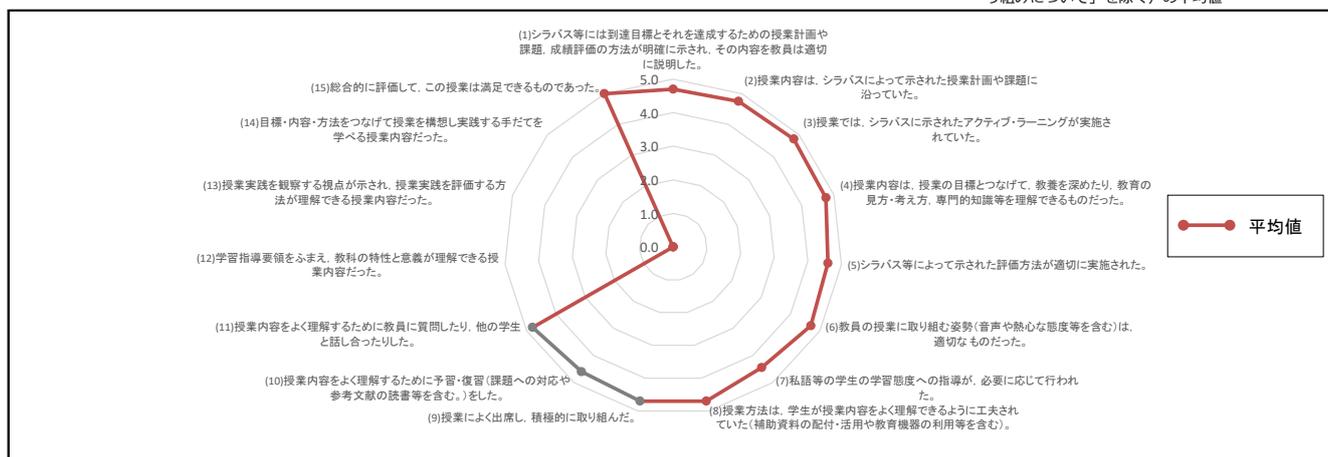
No.	557	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	国語学Ⅱ	回答者数	20	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	原 卓志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	15	4	1	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	5	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	16	4	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	15	5	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	14	4	2	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	15	4	1	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	12	5	3	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	4	1	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	16	2	2	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	6	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	16	4	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	20	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

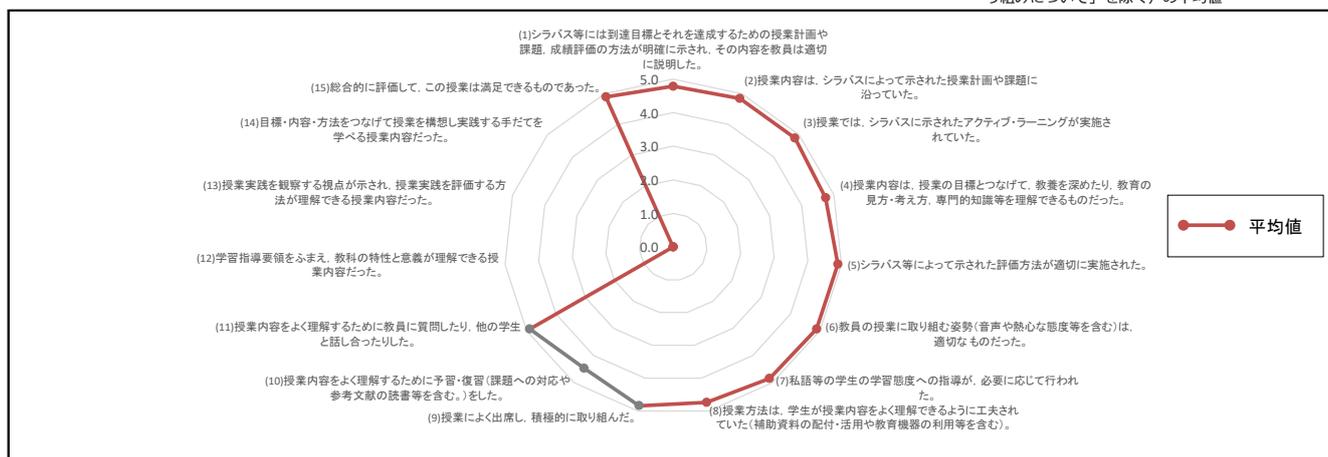
No.	558	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	国語学特論 I	回答者数	19	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	原 卓志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	15	4	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	3	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	16	3	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	15	3	1	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	17	2	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	17	2	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	16	3	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	5	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	16	3	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	4	1	0	1	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	17	2	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	17	2	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

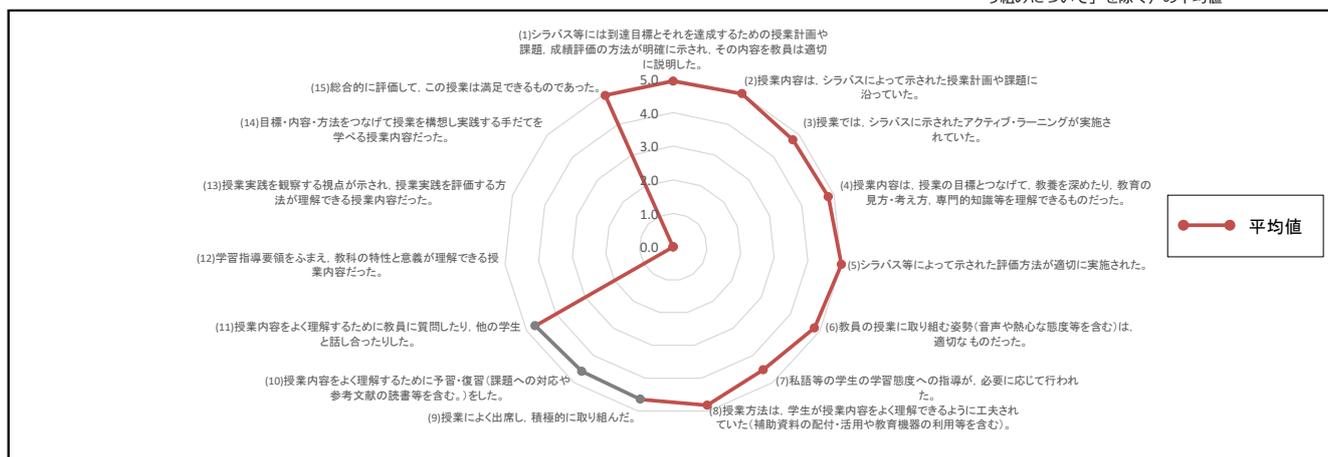
No.	559	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	語学・文学総合演習 I (国語学)		回答者数	17	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	原 卓志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	16	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	13	4	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	14	3	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	17	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	14	3	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	10	6	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	14	3	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	12	4	1	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	11	5	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	13	3	1	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	16	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

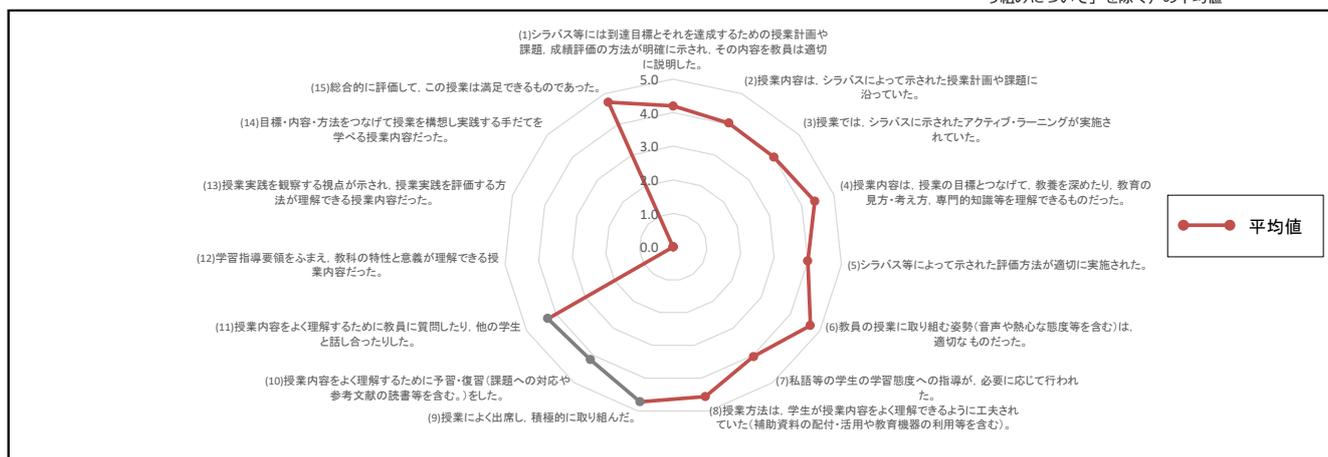
No.	560	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	国文学概論（国文学史を含む。）		回答者数	25	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	構 大樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	6	7	0	0	4.2
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	6	9	0	0	4.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	5	10	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	12	11	2	0	0	4.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	9	8	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	18	6	1	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	11	4	10	0	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	15	9	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	19	5	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	13	4	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	8	5	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	19	5	1	0	0	4.7

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

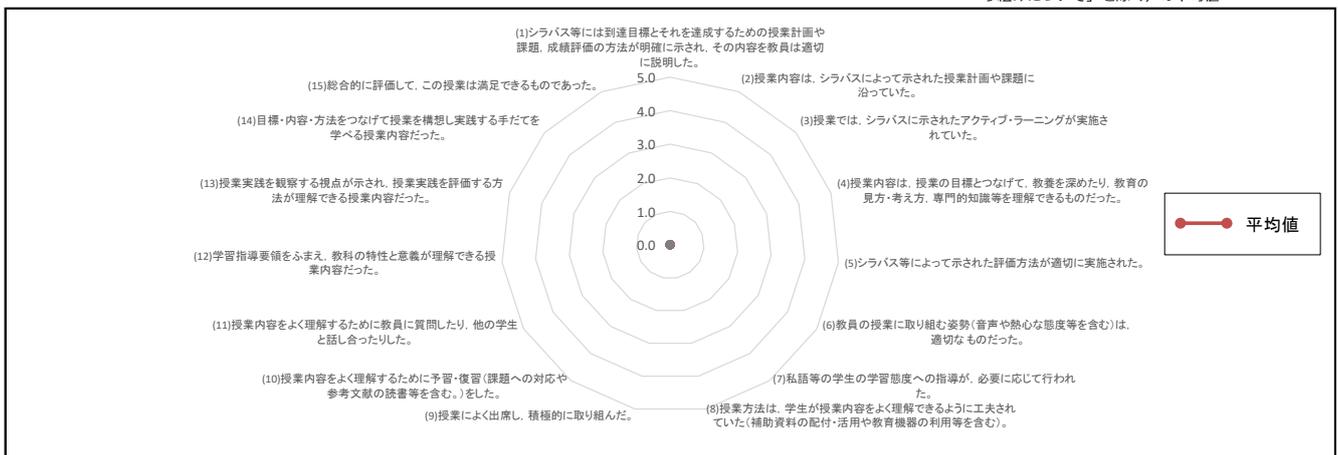
No.	561	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	国文学 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	館 健一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

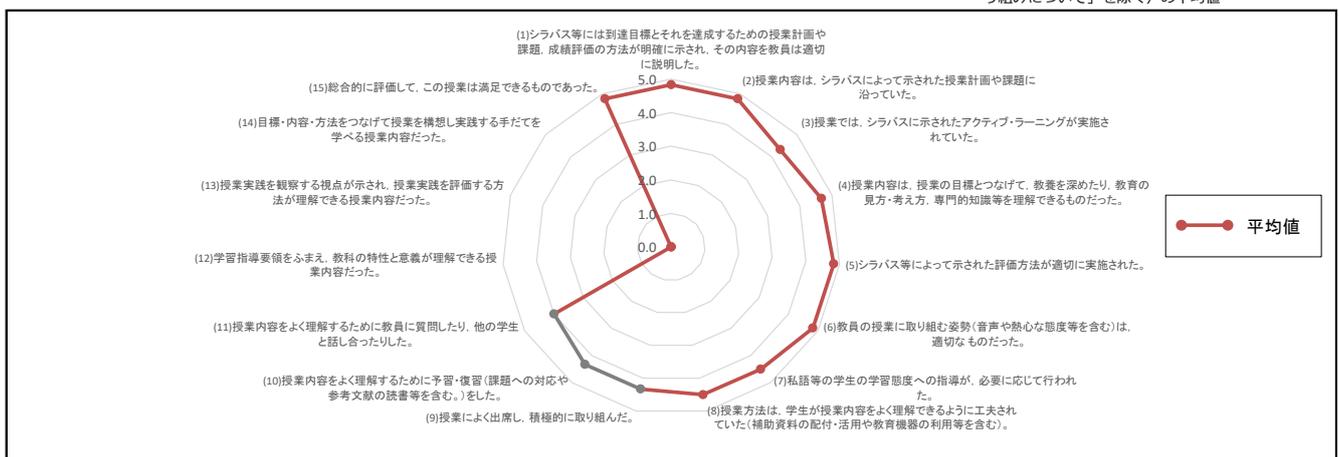
No.	562	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	国文学Ⅱ	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	平川 恵実子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	1	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	1	1	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	2	1	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	4	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	3	0	1	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

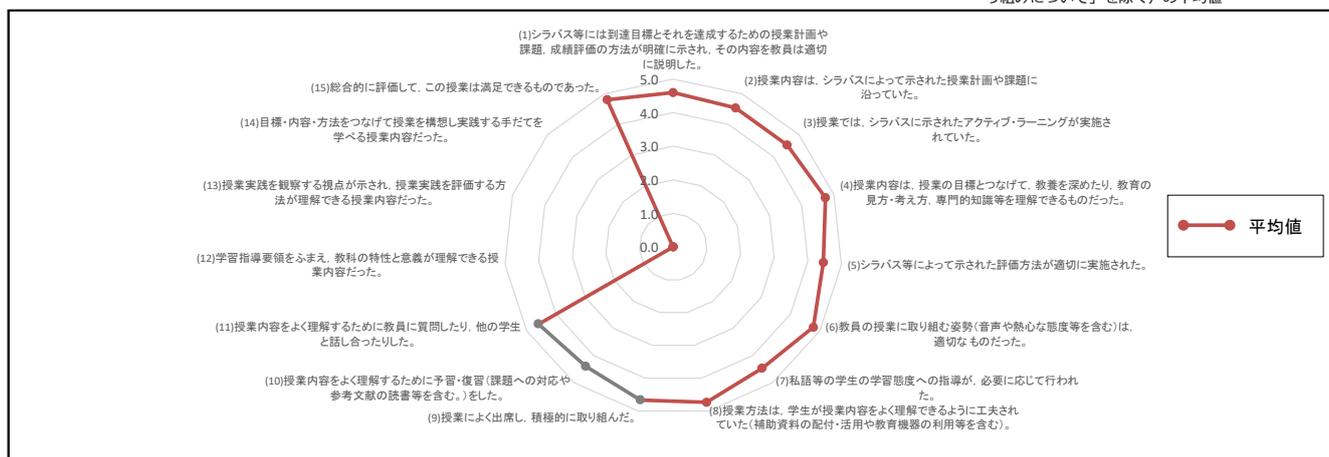
No.	563	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	国文学特論 I	回答者数	15	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	構 大樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	10	4	1	0	0	4.6
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	5	1	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	5	1	0	0	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	11	4	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	4	2	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	11	3	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	6	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	11	4	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	5	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	7	1	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	6	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	12	3	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

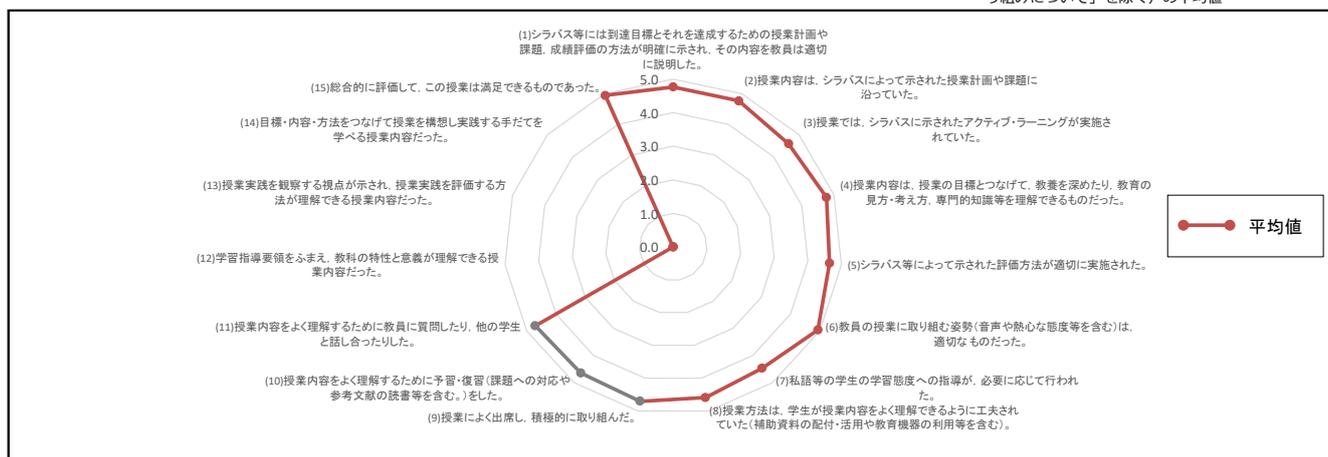
No.	564	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	国文学特論Ⅱ	回答者数	17	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	平川 恵実子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	14	2	1	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	4	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	7	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	14	2	1	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	2	2	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	16	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	11	3	3	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	2	1	1	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	5	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	11	6	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	5	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	16	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

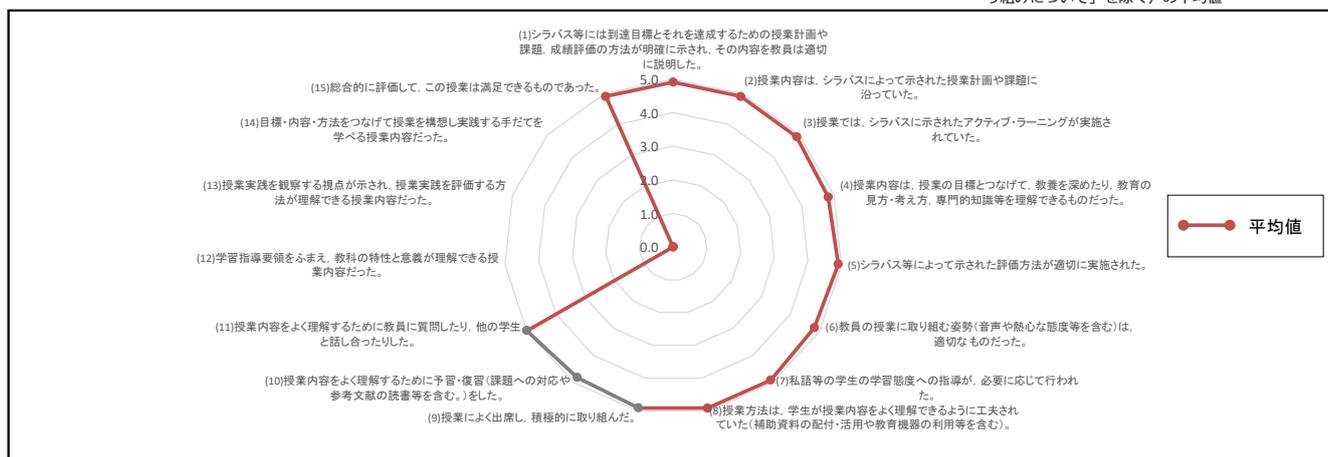
No.	565	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	語学・文学総合演習Ⅱ（国文学）		回答者数	11	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	平川 恵実子, 構 大樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	10	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	10	1	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	9	2	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	11	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

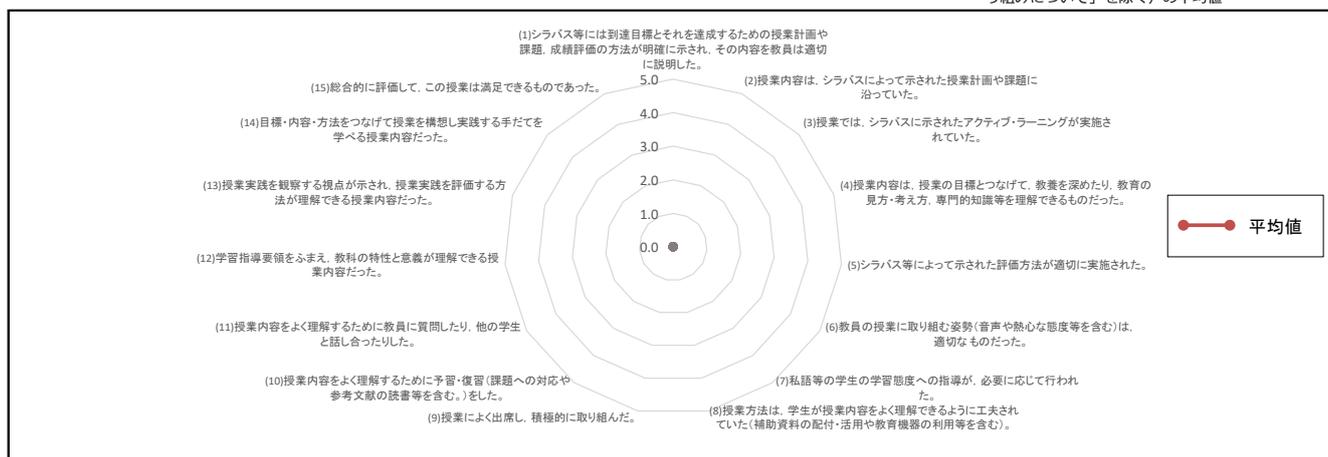
No.	566	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	漢文学概論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	佐伯 雅宣				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

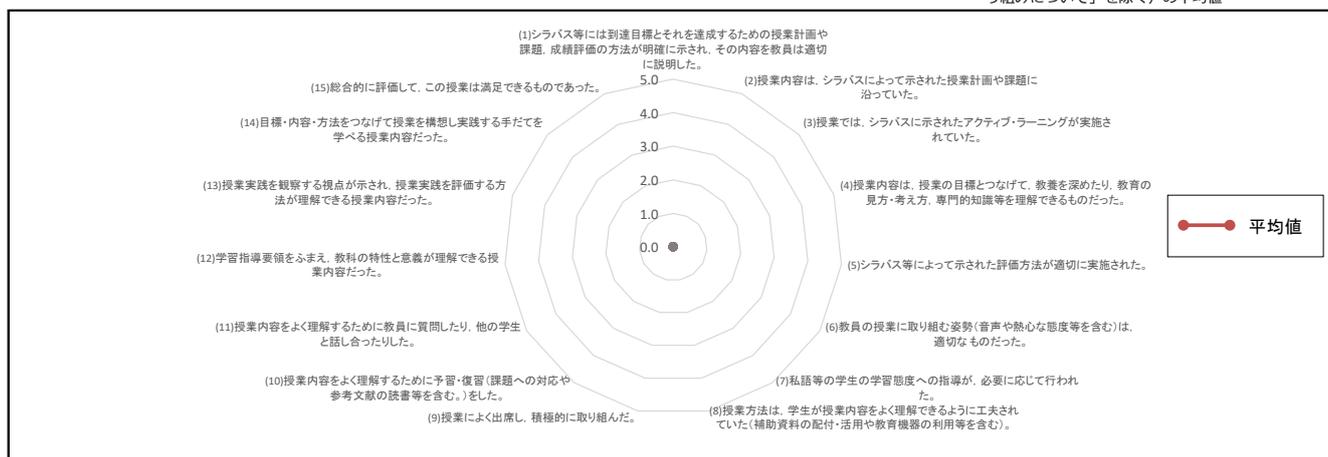
No.	567	評価実施日	令和4年8月29日		
授業科目名	語学・文学総合演習Ⅲ（漢文学）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	高西 成介				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

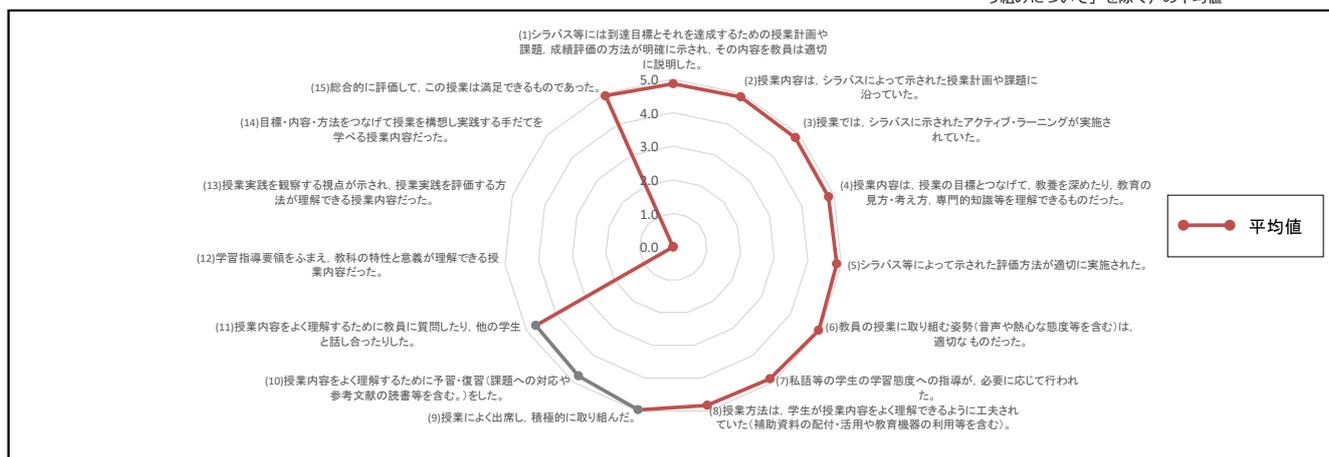
No.	568	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	書写 I	回答者数	29	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	黒橋 由加里				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	25	4	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	26	3	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	25	4	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	24	5	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	25	4	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	28	1	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	26	2	1	0	0	4.9
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	24	5	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	28	1	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	23	5	1	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	20	9	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	27	2	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

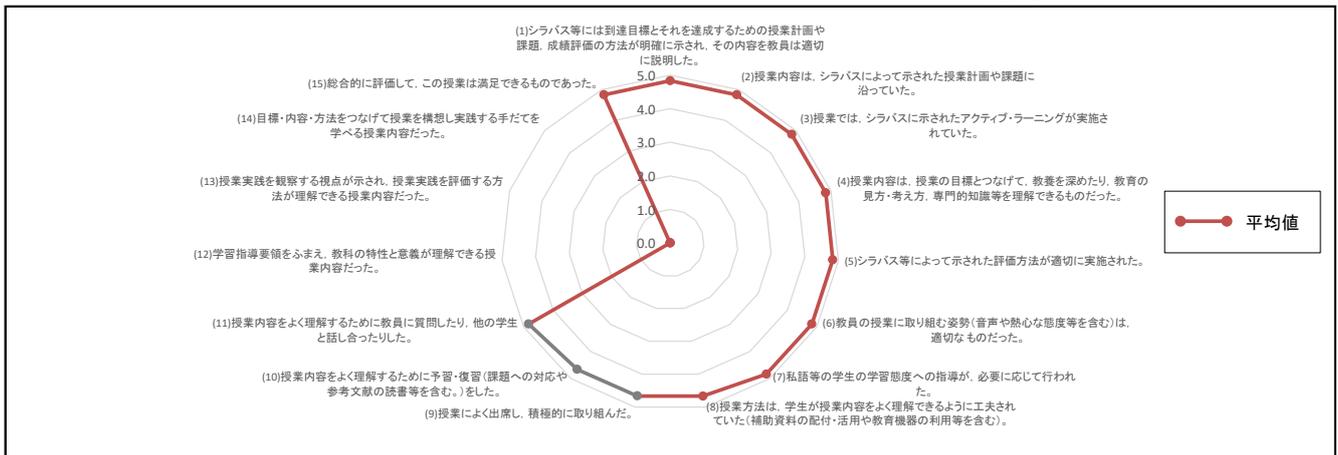
No.	569	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	書写Ⅱ	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	黒橋 由加里				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	2	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

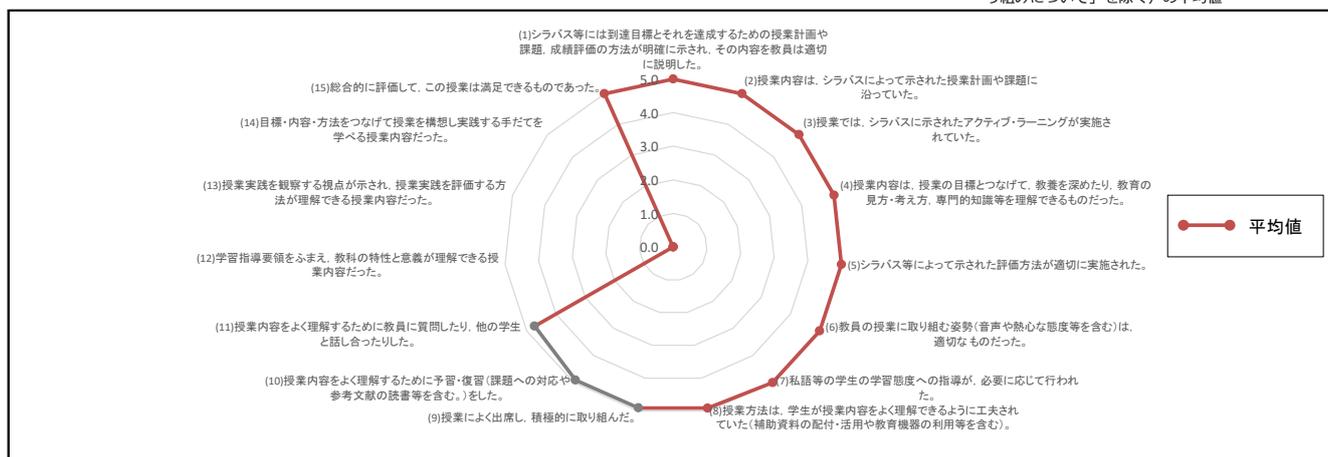
No.	570	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	書写Ⅲ	回答者数	11	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	黒橋 由加里				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	11	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	11	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	11	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	11	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	11	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	10	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	8	3	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	11	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

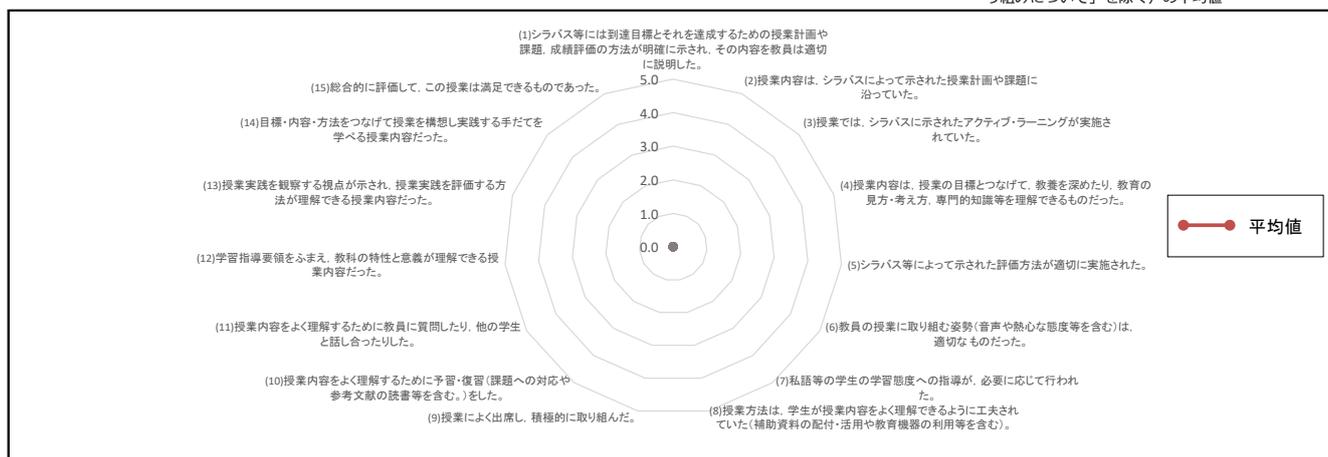
No.	571	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英語基礎研究	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	森山 倭成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

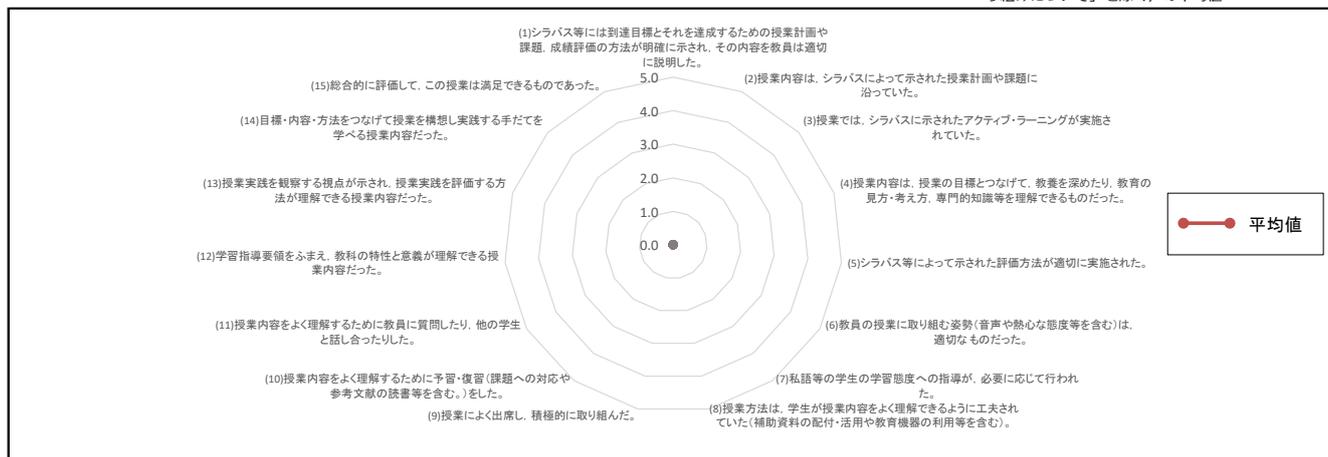
No.	572	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	英語学概論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	数下 克彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

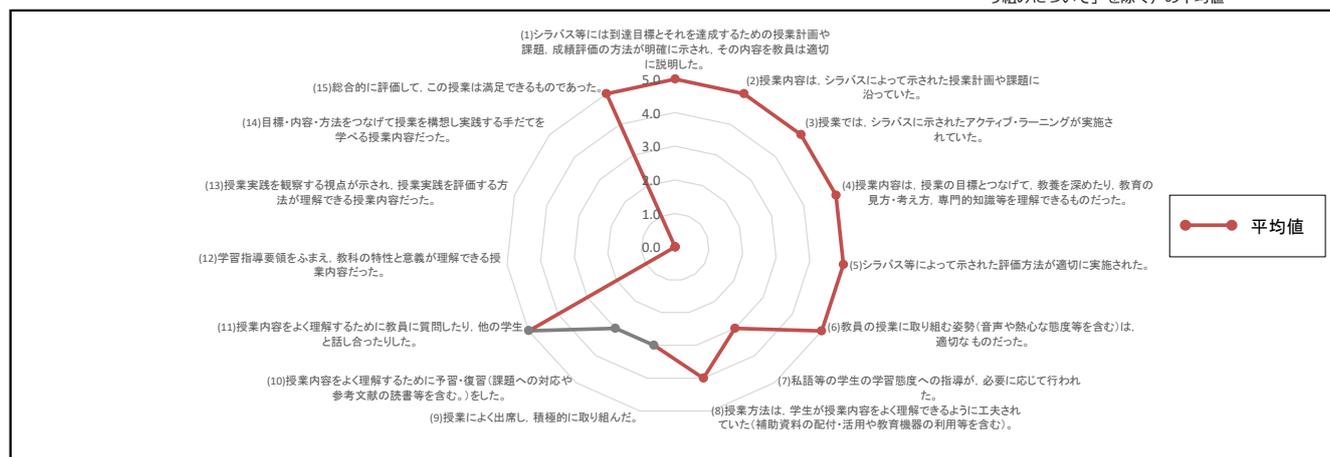
No.	573	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	学習英文法	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	数下 克彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	3.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	1	0	0	3.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	1	0	0	3.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

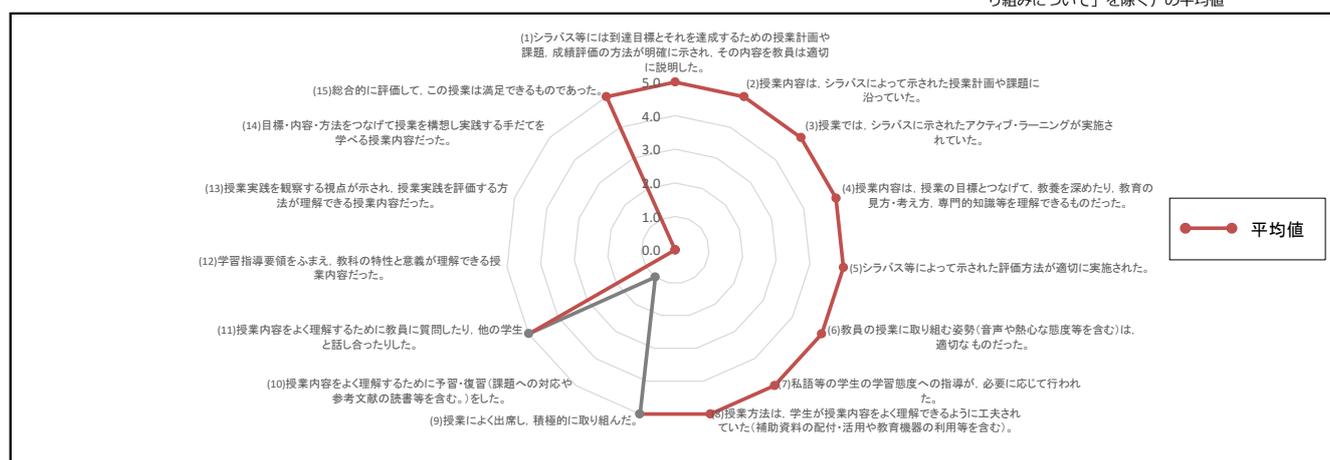
No.	574	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	英語音声学	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	森山 倭成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	1	1.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

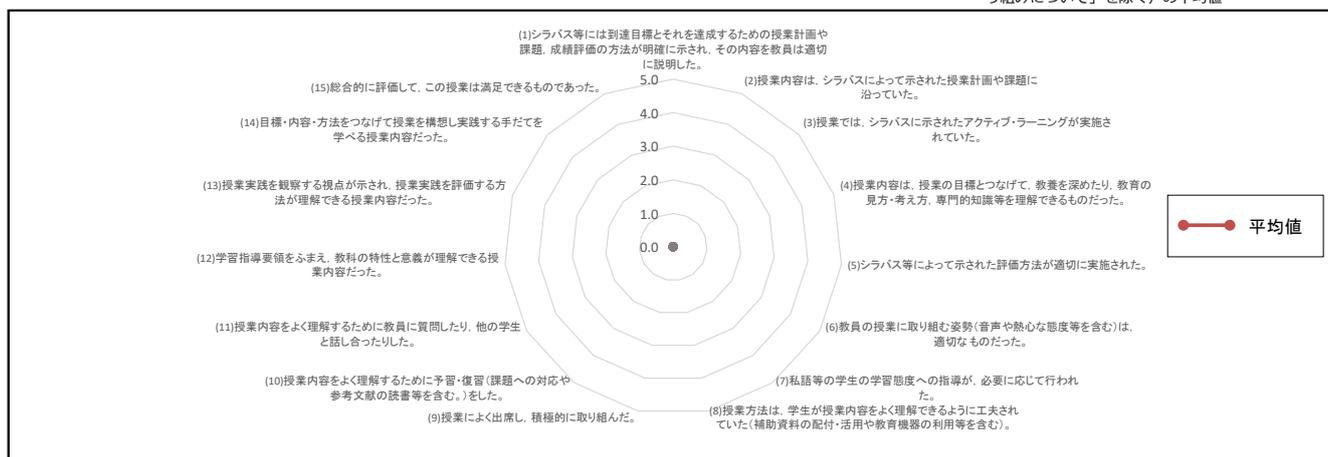
No.	575	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	英語学研究 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	数下 克彦				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

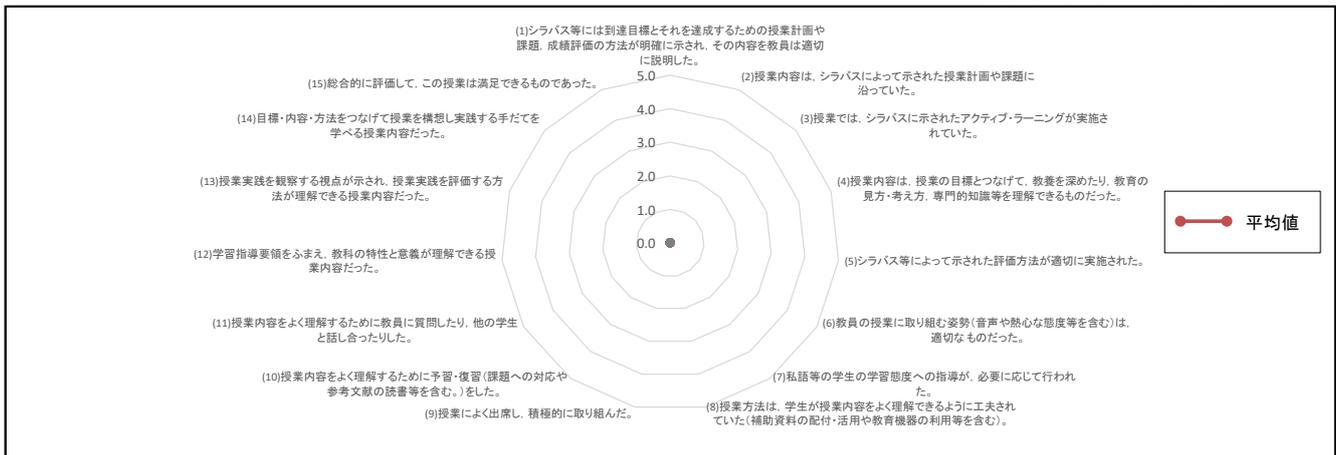
No.	576	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	英語学研究Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	森山 倭成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

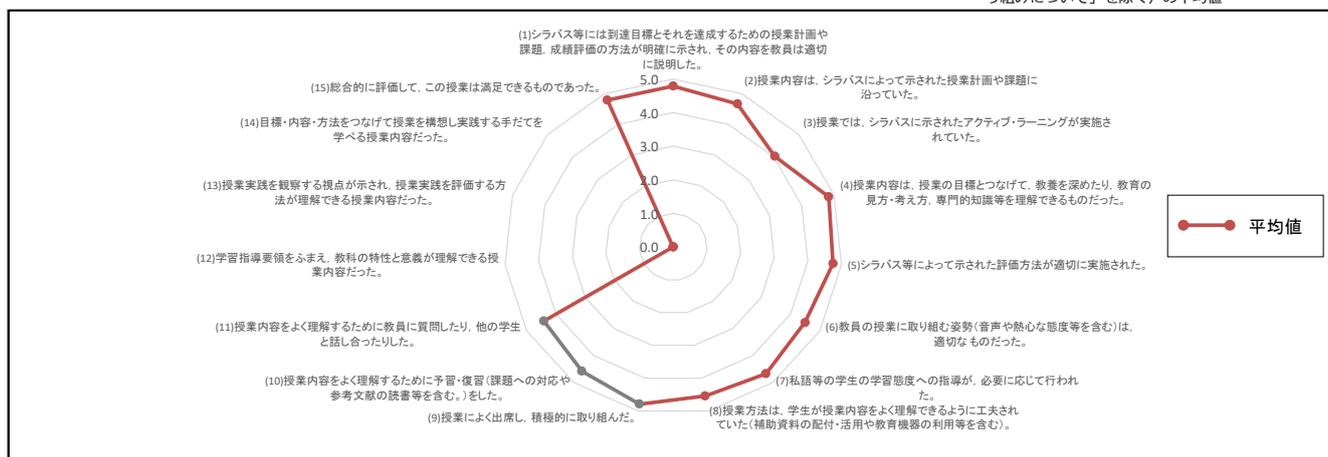
No.	577	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	英文講読	回答者数	24	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	前田 一平				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	20	3	1	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	17	6	1	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	14	2	4	3	1	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	20	4	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	18	6	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	17	4	1	2	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	19	3	1	1	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	5	3	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	20	3	1	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	15	8	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	17	3	1	3	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	19	5	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

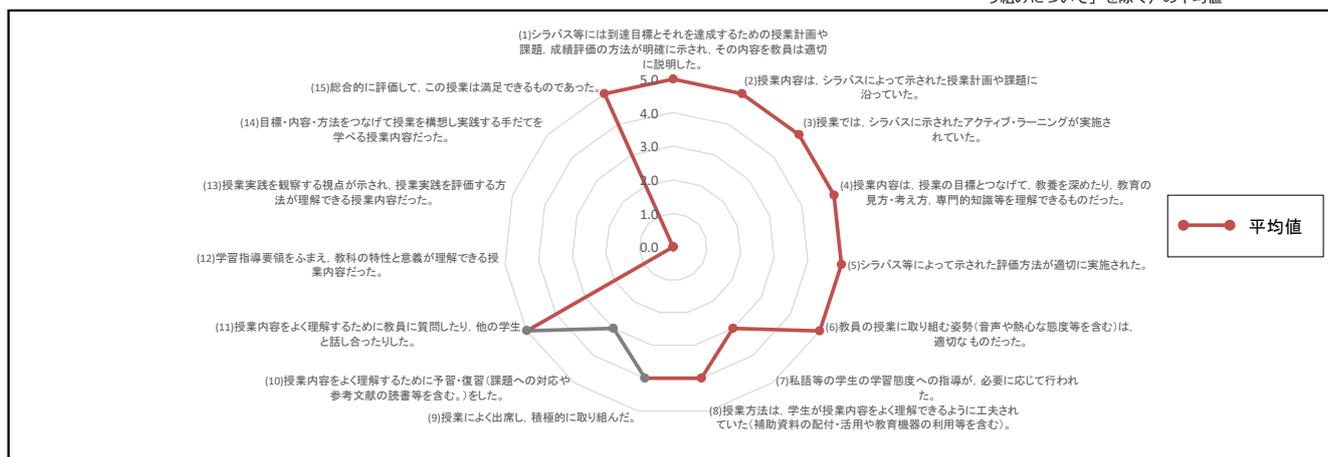
No.	578	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	英文学史	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	木口 圭子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	3.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	1	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	1	0	0	3.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

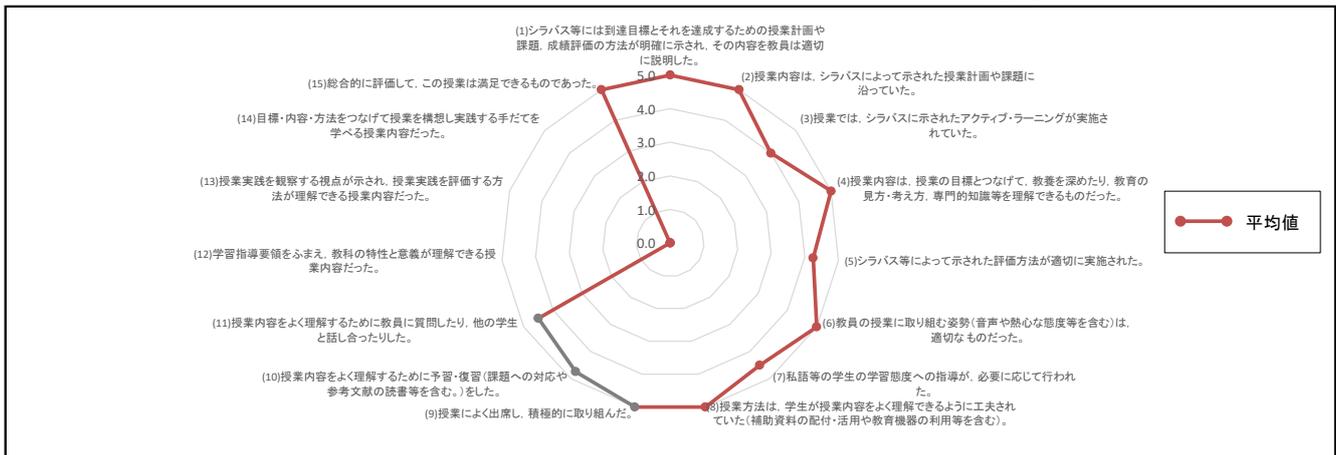
No.	579	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	米文学史	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	前田 一平				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	2	0	0	4.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	1	0	0	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	0	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	0	1	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

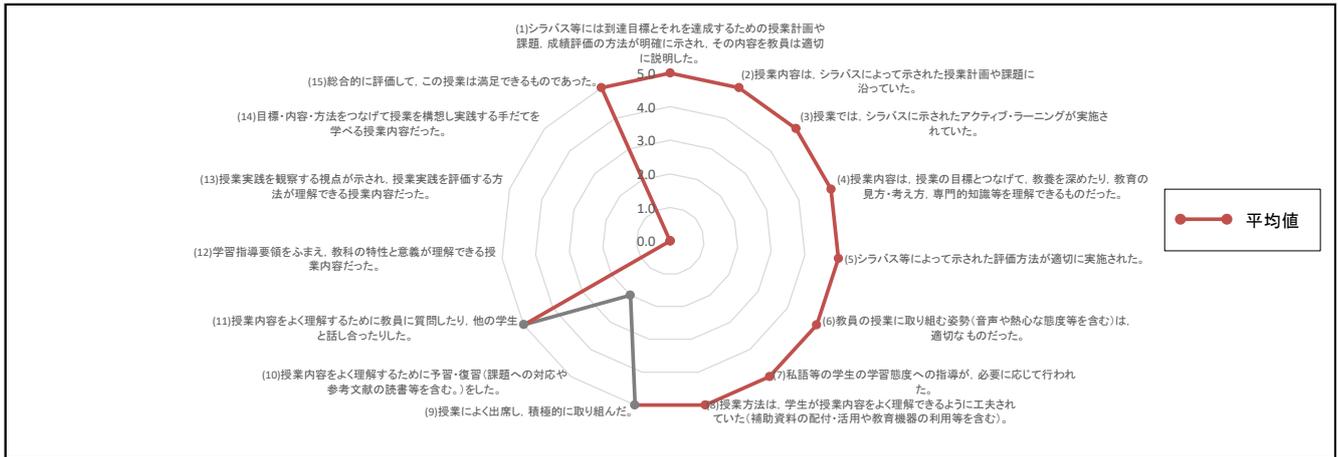
No.	580	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	英米文学研究 I	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	木口 圭子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	1	0	2.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

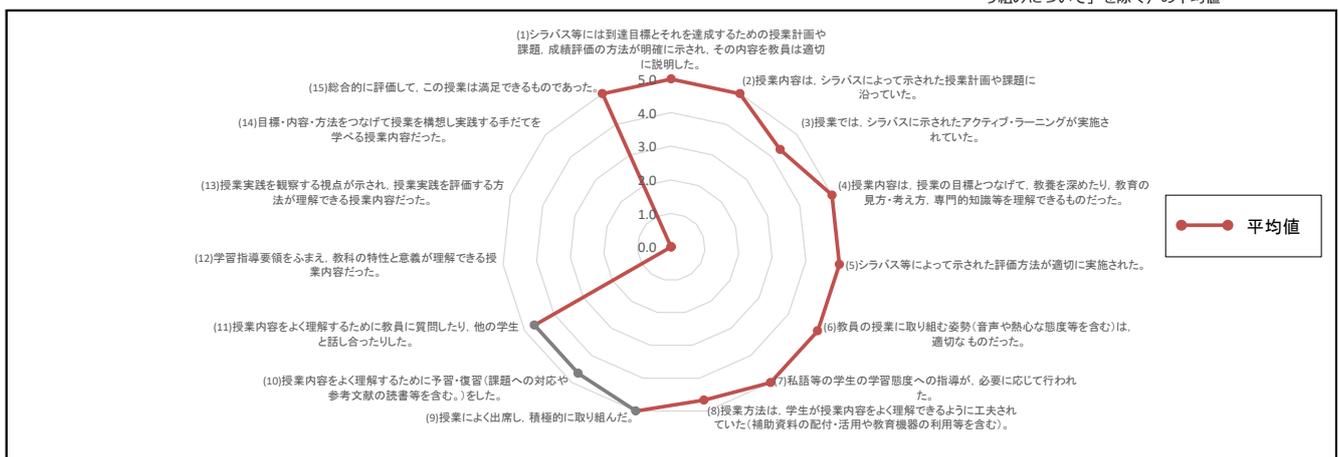
No.	581	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	英米文学研究Ⅱ	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	前田 一平				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

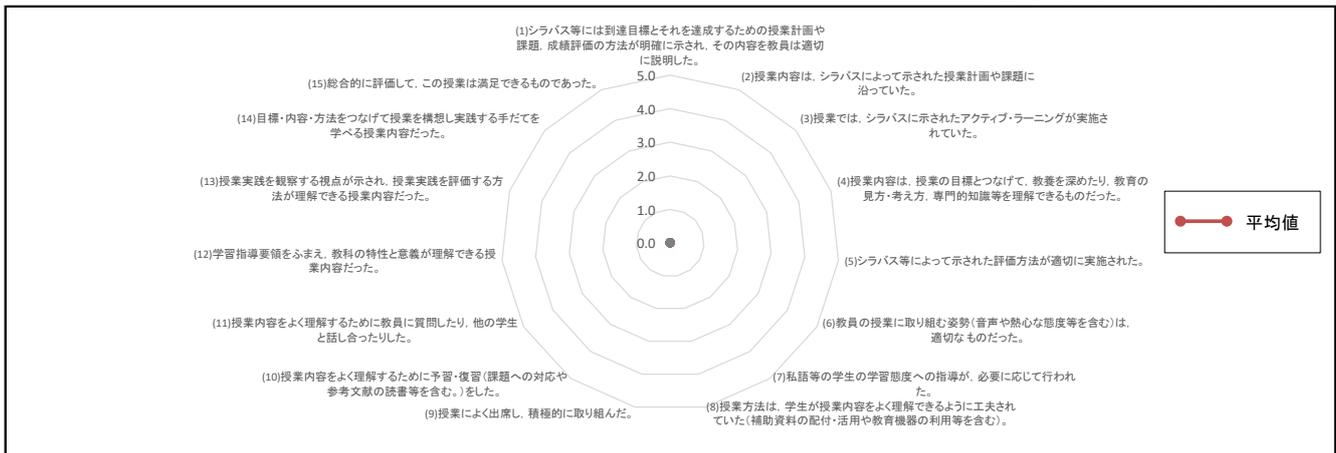
No.	582	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	英語オーラルコミュニケーション I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

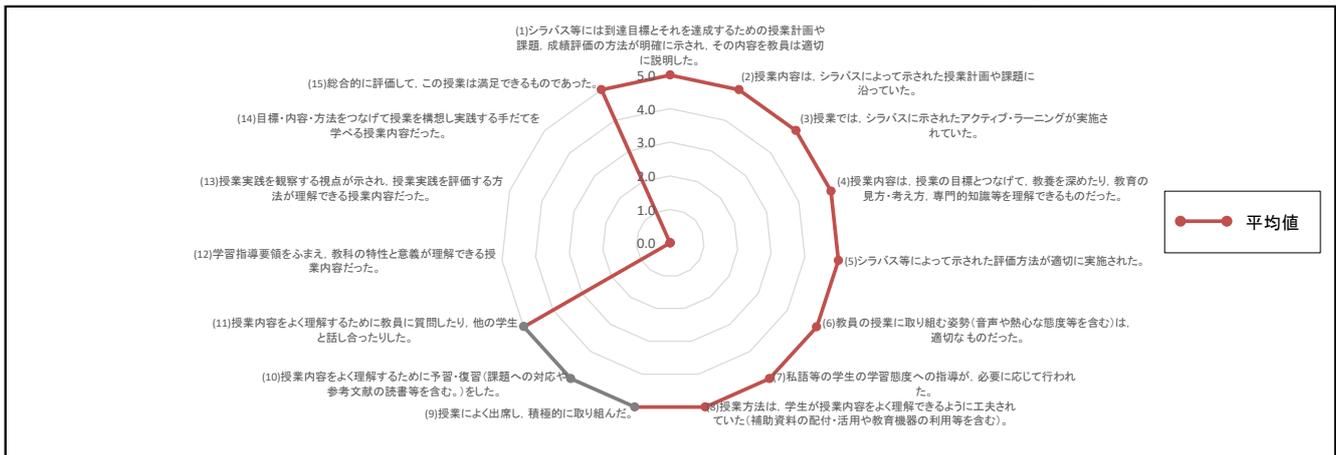
No.	583	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	英語オーラルコミュニケーションⅡ	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鎌田スザン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

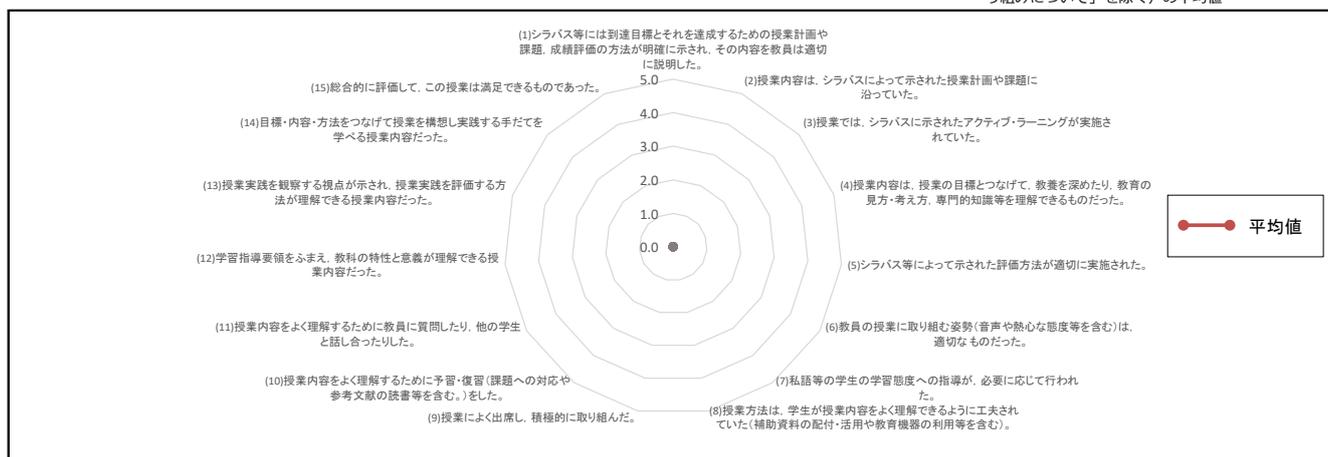
No.	584	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	ライティング I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

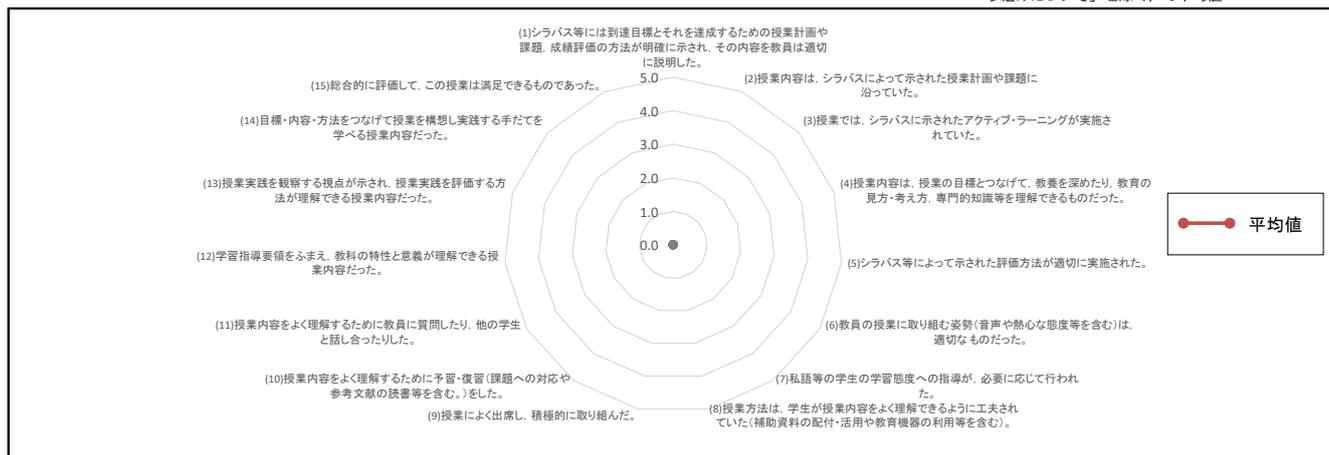
No.	585	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	ライティングⅡ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鎌田スザーン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

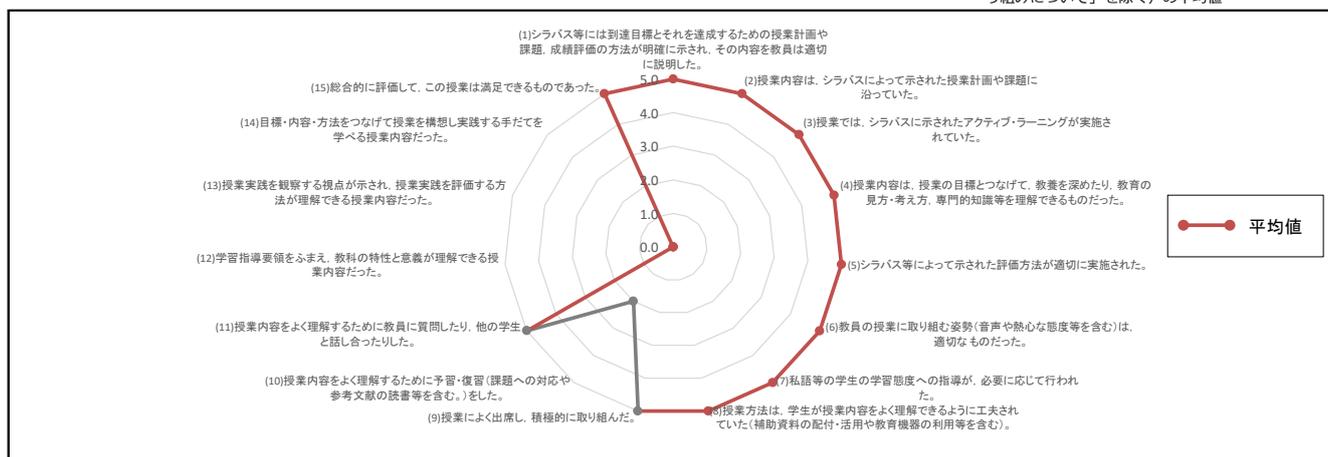
No.	586	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	比較文化研究 I	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鎌田スザン・リン				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	1	0	2.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

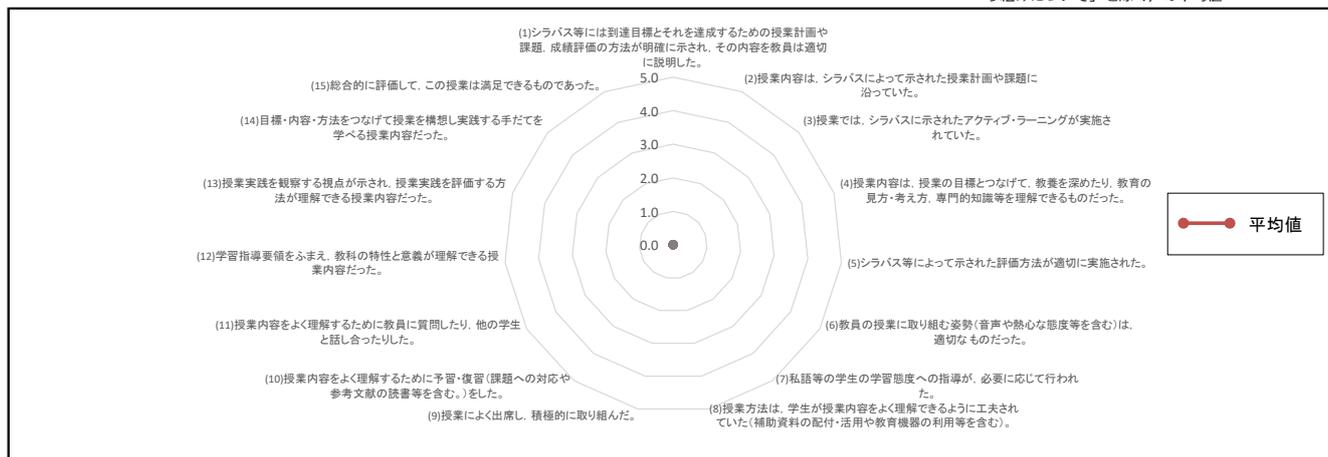
No.	587	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	比較文化研究Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	ジェラード マーシェソ				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

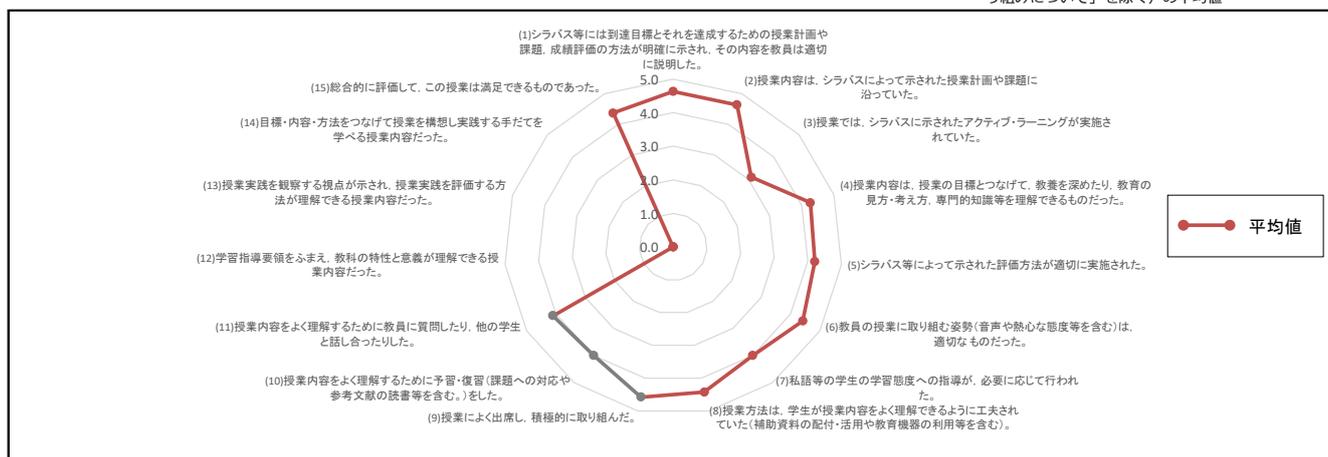
No.	588	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	日本史学概論	回答者数	19	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	町田 哲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	7	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	7	0	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	5	6	2	3.1
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	10	5	3	1	0	4.3
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	9	3	0	0	4.2
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	9	1	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	9	4	3	3	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	7	2	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	14	3	1	1	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	5	4	2	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	8	3	1	0	4.1
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	6	3	0	0	4.4

総合評価	4.2
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

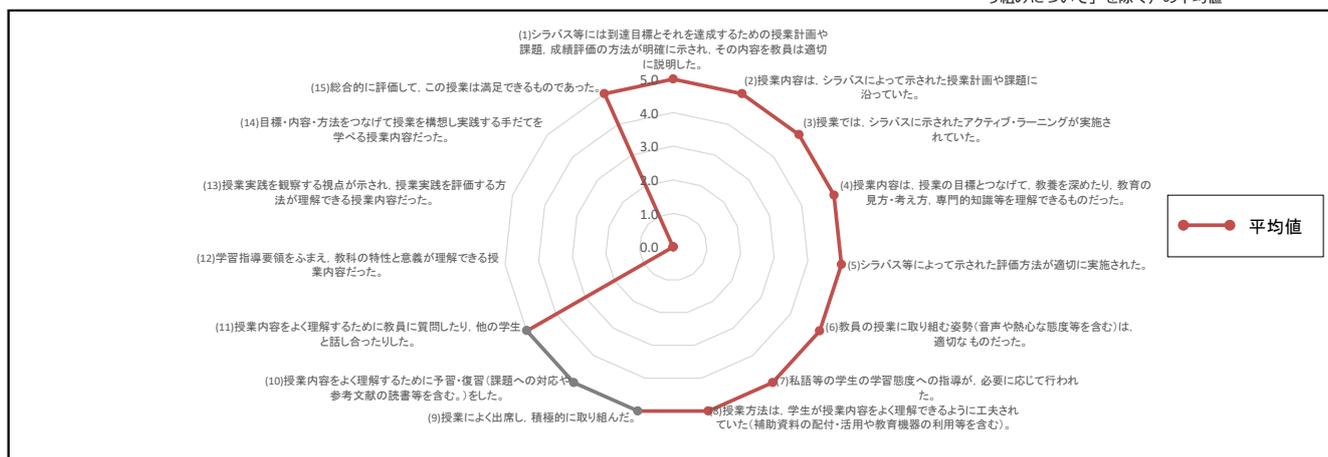
No.	589	評価実施日	令和4年8月25日		
授業科目名	日本史学特論 I (古代・中世)	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	衣川 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

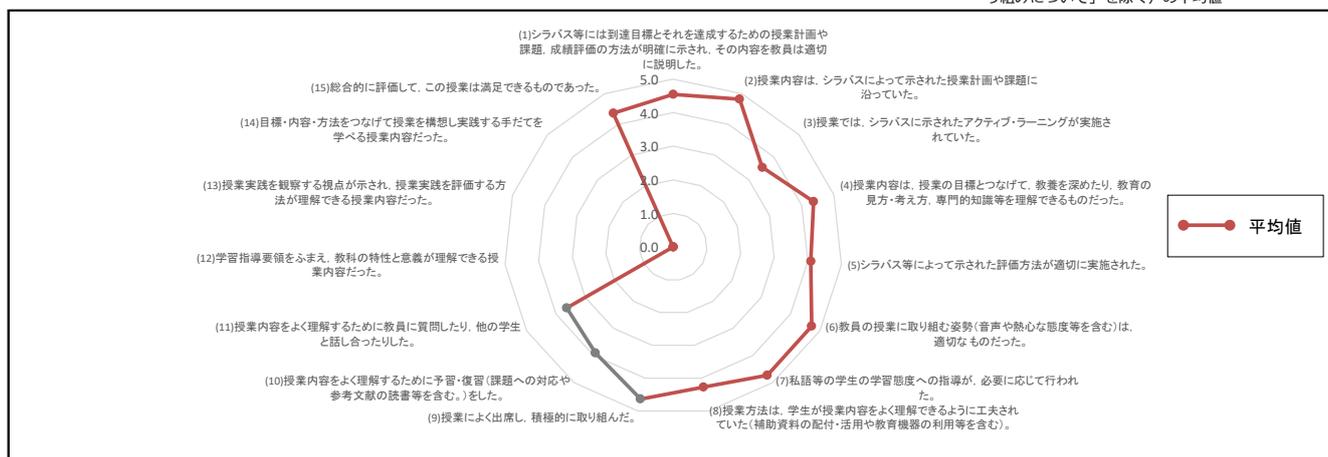
No.	590	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	日本史学特論Ⅱ（近世・近代）	回答者数	11	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	町田 哲				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	7	3	1	0	0	4.5
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	0	1	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	3	2	1	3.5
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	6	4	0	1	0	4.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	4	0	0	4.1
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	8	3	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	1	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	5	0	1	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	8	2	1	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	2	2	2	0	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	3	3	2	0	3.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	6	4	0	1	0	4.4

総合評価	4.4
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

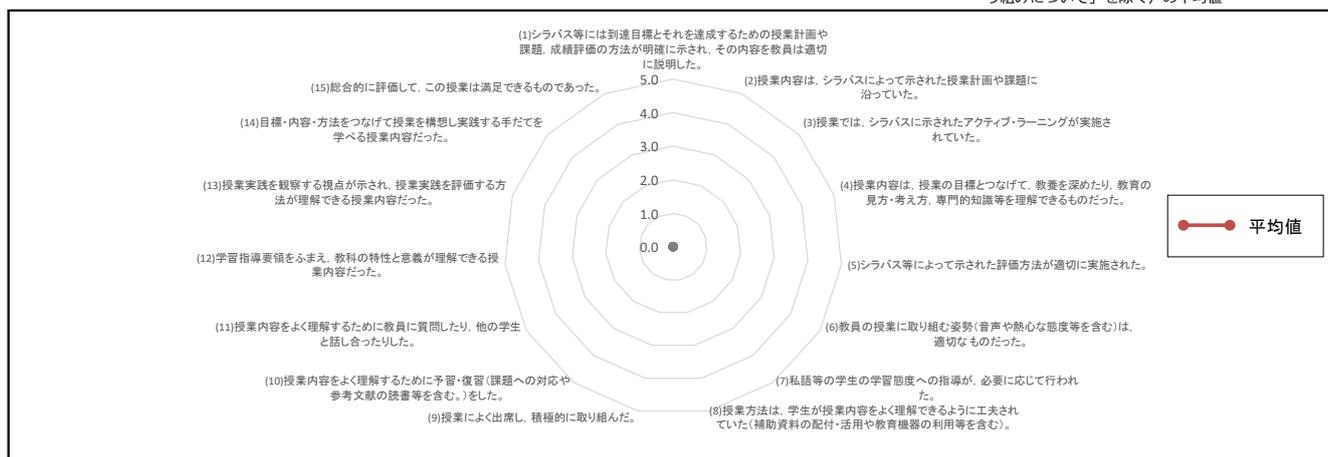
No.	591	評価実施日	令和5年6月9日		
授業科目名	外国史概論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	原田 昌博				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

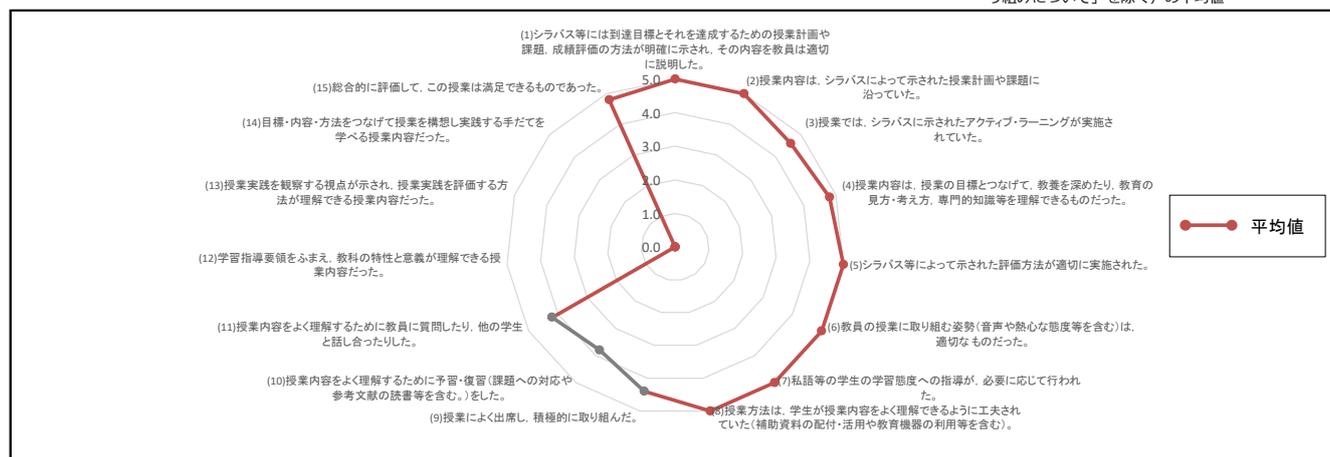
No.	592	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	外国史特論	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	原田 昌博				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	0	0	1	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	1	1	0	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	2	1	0	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

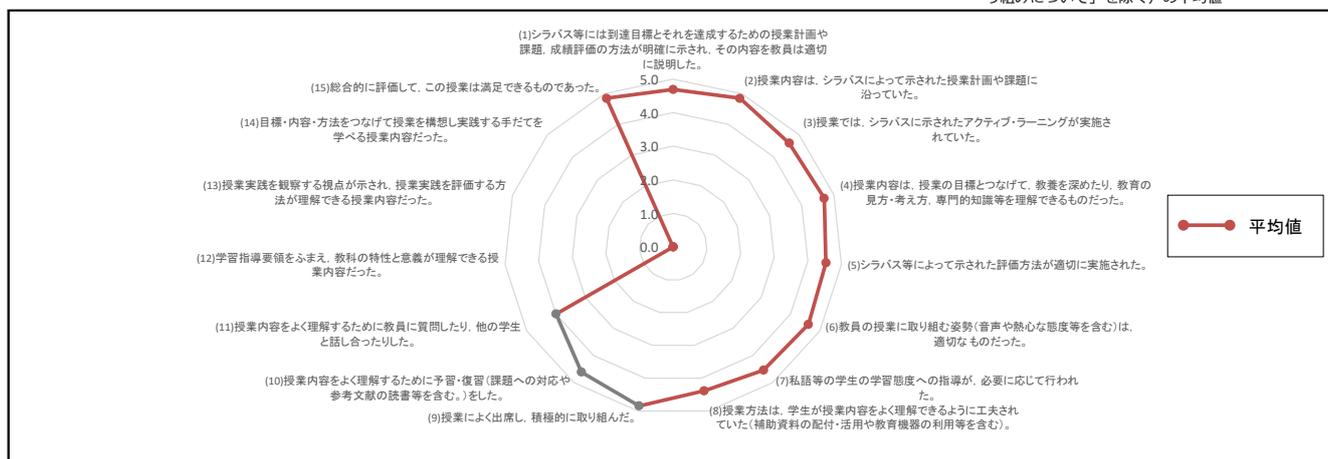
No.	593	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	史学演習	回答者数	13	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	町田 哲, 原田 昌博				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	9	4	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	3	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	10	2	1	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	9	3	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	9	2	2	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	8	0	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	11	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	8	5	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	8	1	1	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	11	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

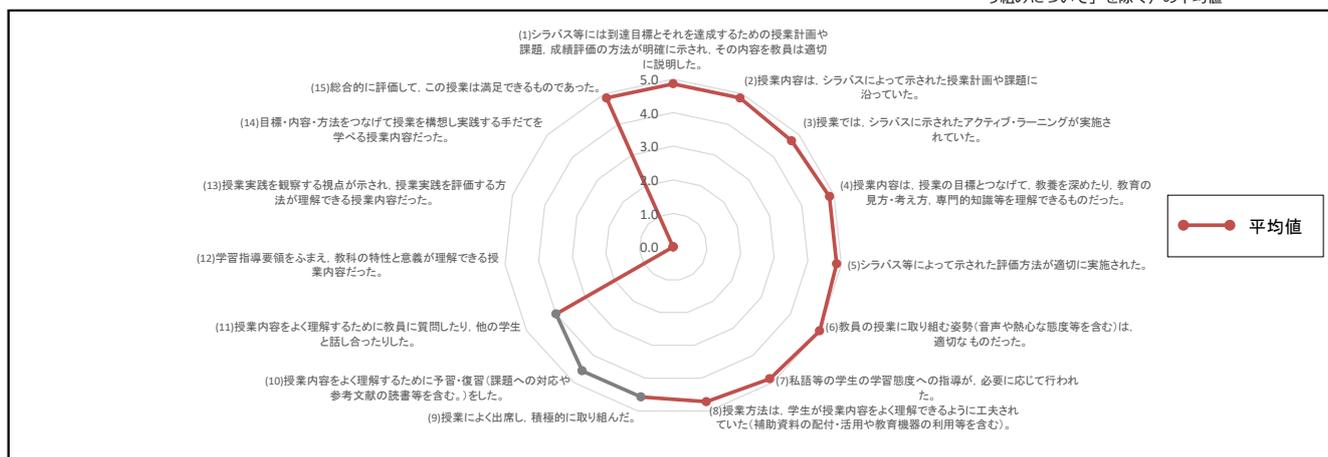
No.	594	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	史料講読	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	町田 哲, 原田 昌博				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	3	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	3	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	2	1	1	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

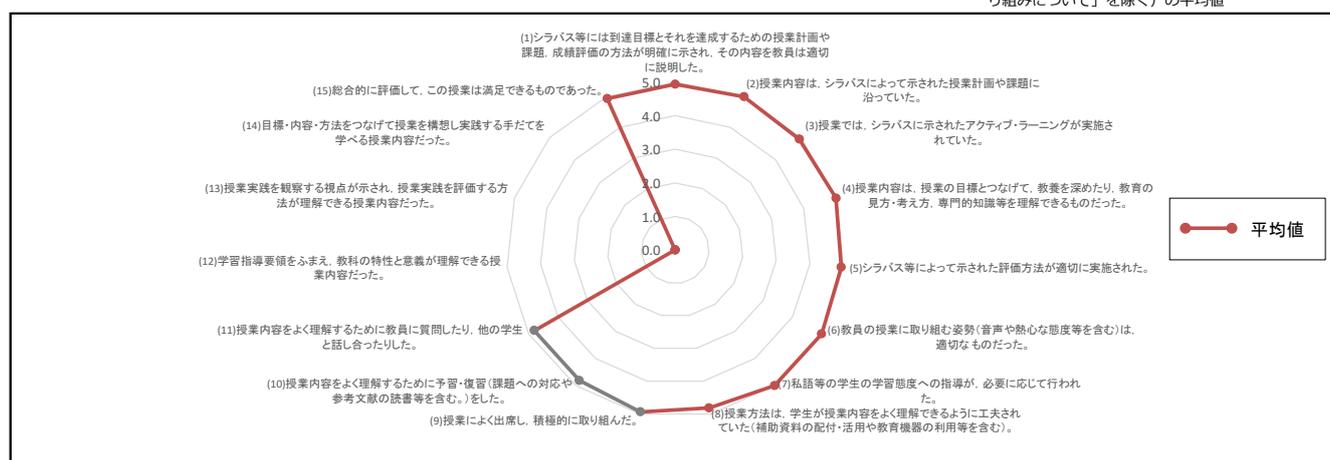
No.	595	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	人文地理学特論	回答者数	16	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	畠山 輝雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	15	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	15	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	16	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	15	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	16	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	16	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	13	3	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	15	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	13	3	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	13	3	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	15	1	0	0	0	4.9

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

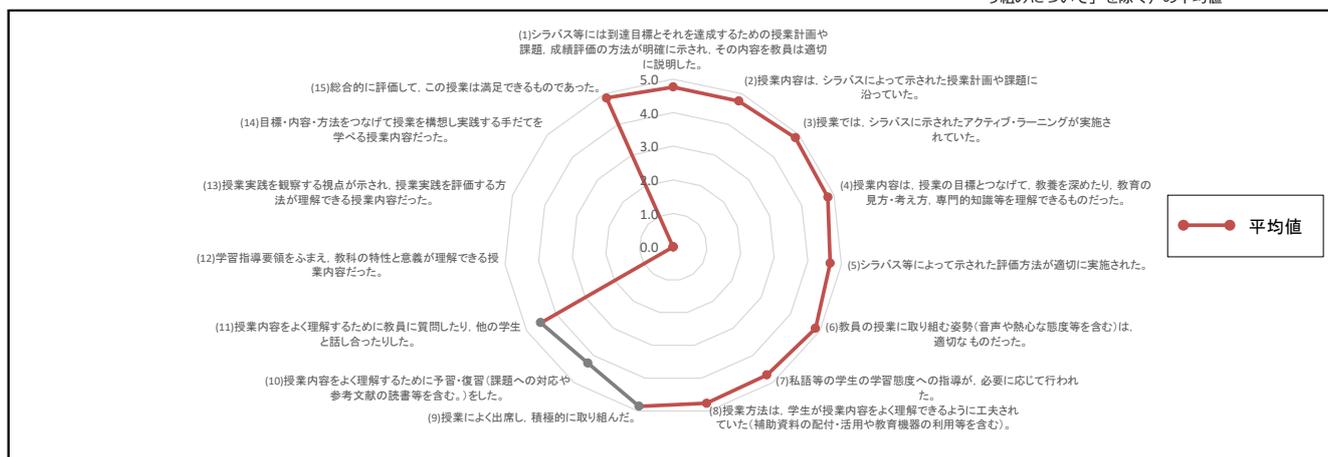
No.	596	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	地理学概論	回答者数	21	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	畠山 輝雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	16	5	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	16	5	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	18	3	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	17	4	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	15	5	1	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	18	3	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	15	6	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	16	5	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	18	3	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	11	2	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	8	1	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	18	3	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

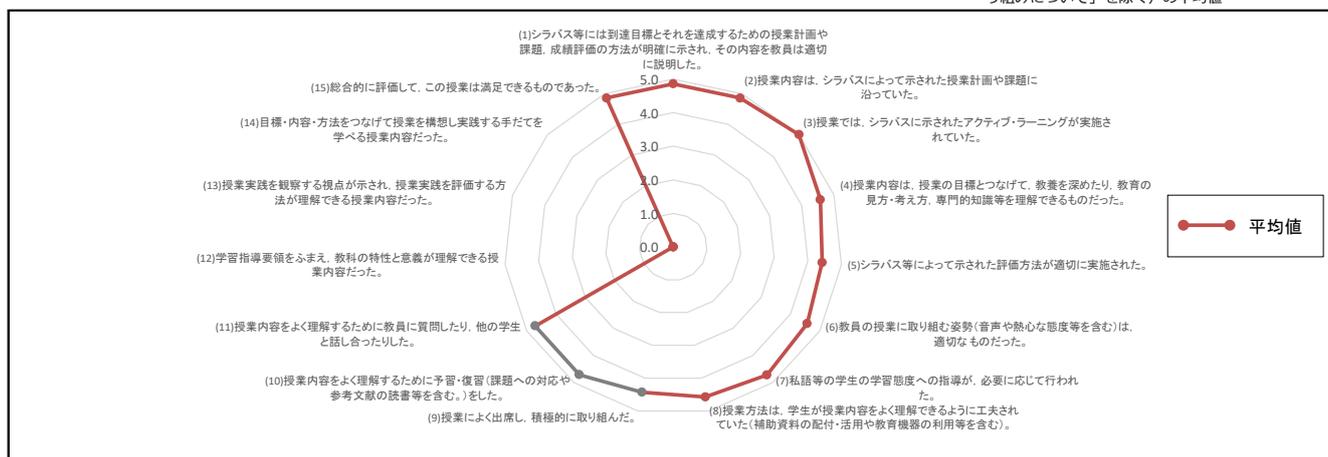
No.	597	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	地理学演習	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	畠山 輝雄, 立岡 裕士				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	0	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	2	1	0	0	4.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	1	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	0	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	3	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	1	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	2	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

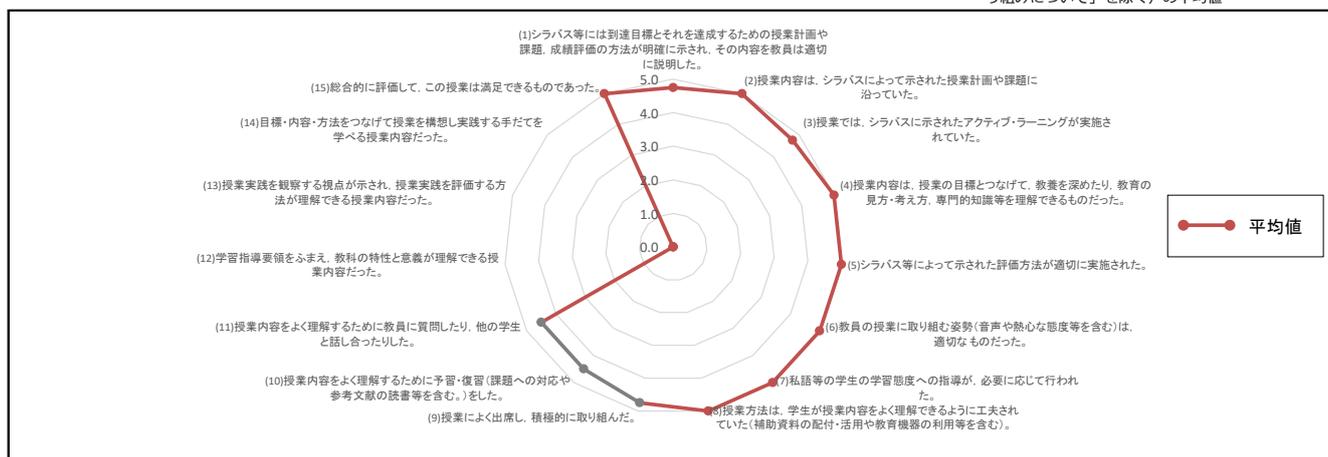
No.	598	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	地理学実習	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	畠山 輝雄, 立岡 裕士				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	2	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

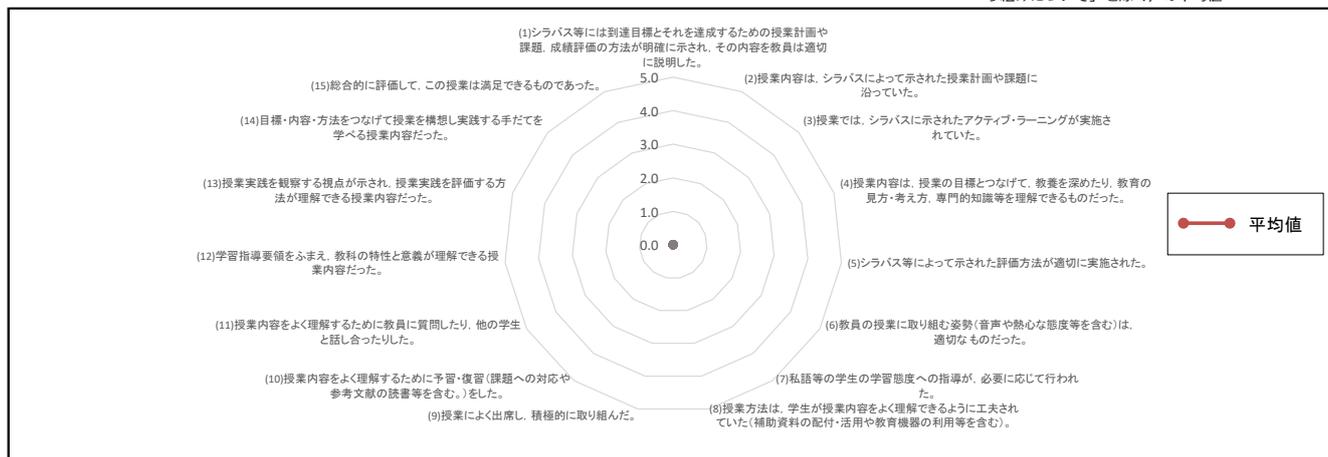
No.	599	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	地理学野外実習	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	畠山 輝雄, 立岡 裕士				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

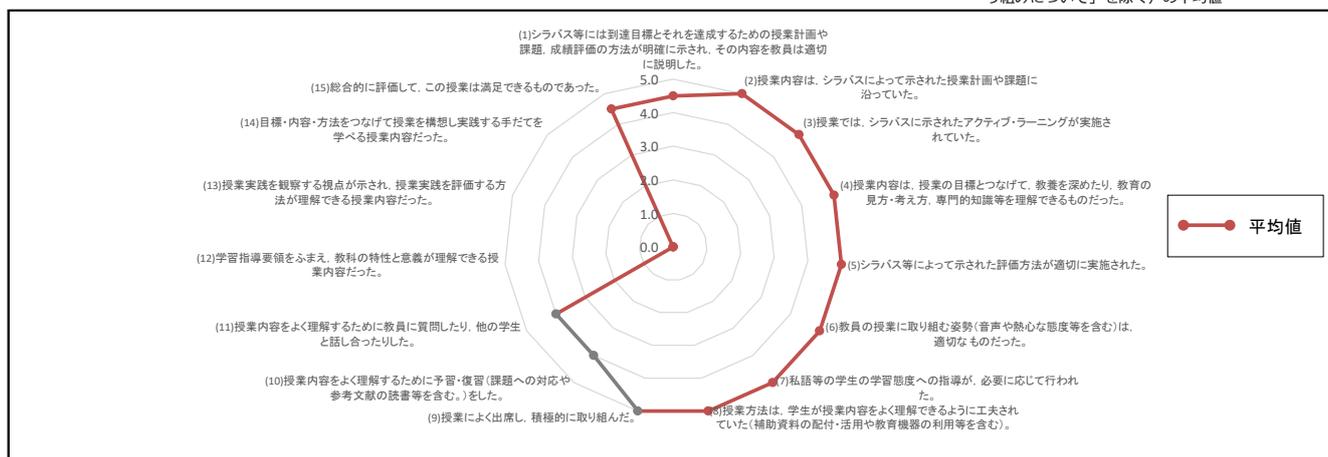
No.	600	評価実施日	令和4年11月30日		
授業科目名	地誌学概論	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	立岡 裕士				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	2	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	4.5

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

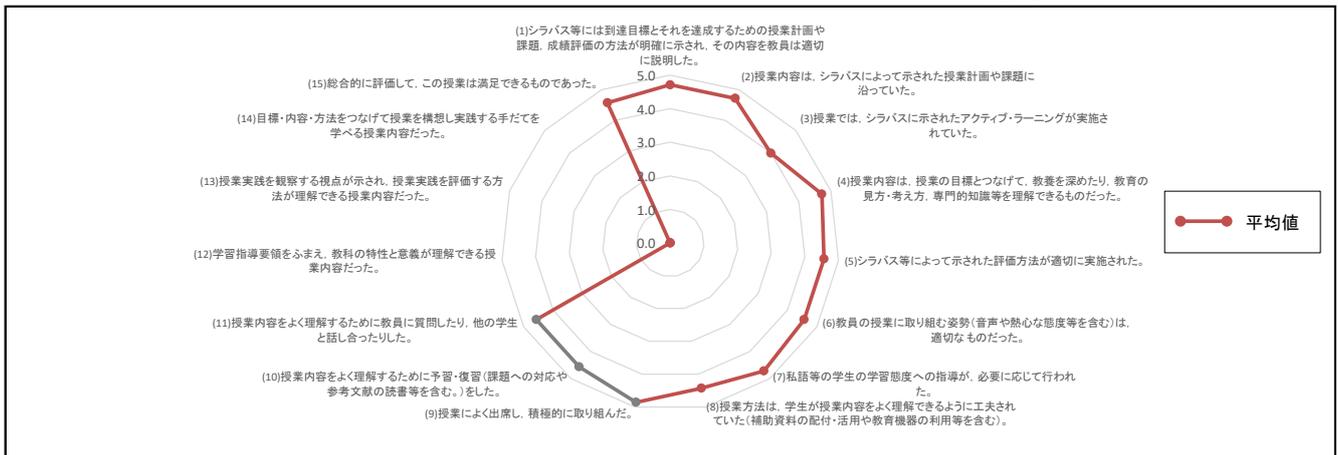
No.	601	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	地誌学特論	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	立岡 裕士				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	1	0	1	4.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	1	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	2	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	0	2	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	1	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	1	1	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	1	1	0	0	4.6

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

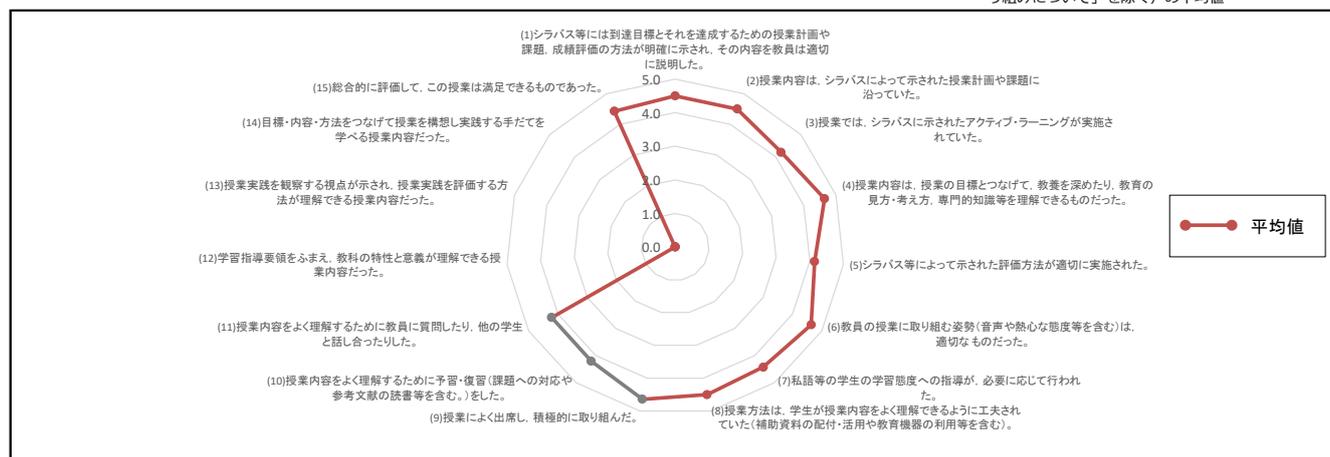
No.	602	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	地図学概論	回答者数	14	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	立岡 裕士				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	5	1	0	0	4.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	5	1	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	3	1	0	4.2
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	10	3	1	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	3	3	1	0	4.1
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	10	3	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	9	3	1	1	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	3	2	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	9	5	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	8	0	1	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	3	1	2	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	9	3	1	1	0	4.4

総合評価	4.4
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

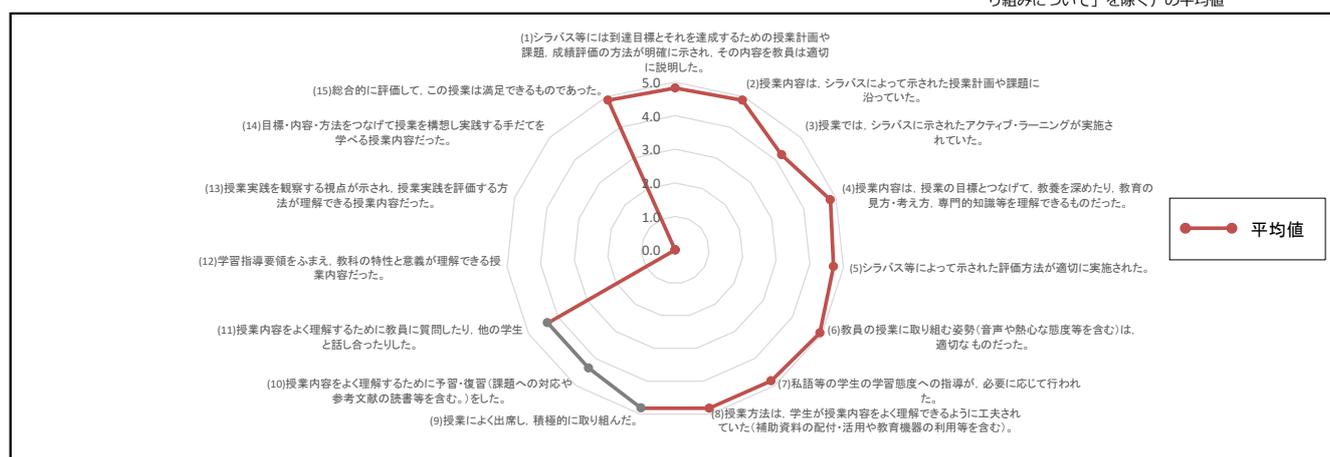
No.	603	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	法律学概論（国際法を含む。）	回答者数	17	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	麻生 多間				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	14	3	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	15	2	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	3	2	2	0	4.2
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	15	1	1	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	13	3	1	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	16	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	14	3	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	14	3	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	14	3	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	3	4	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	10	5	1	0	1	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	16	0	1	0	0	4.9

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

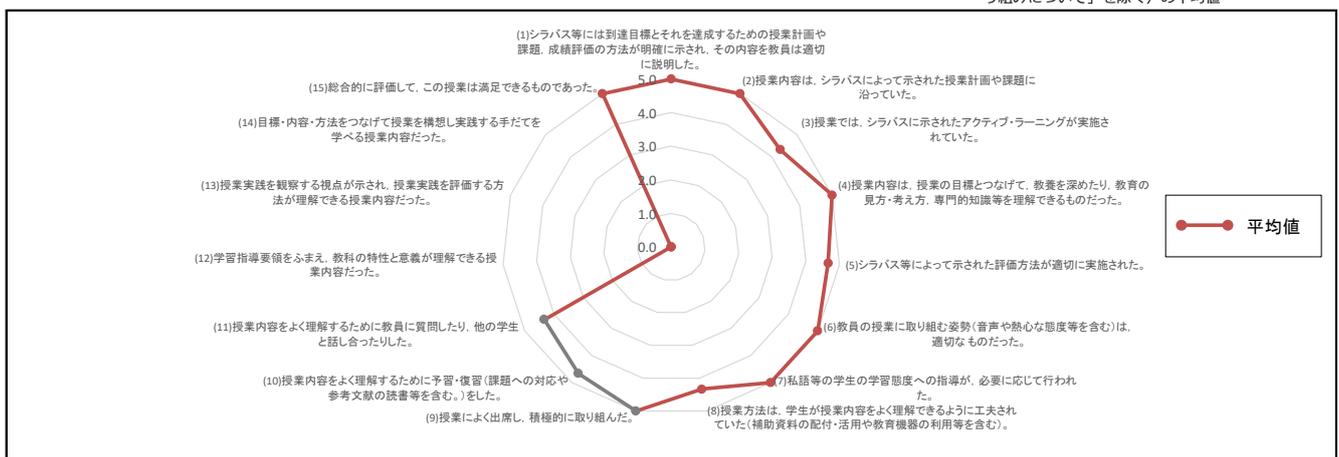
No.	604	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	法律学特論	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	麻生 多間				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	2	0	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	2	0	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

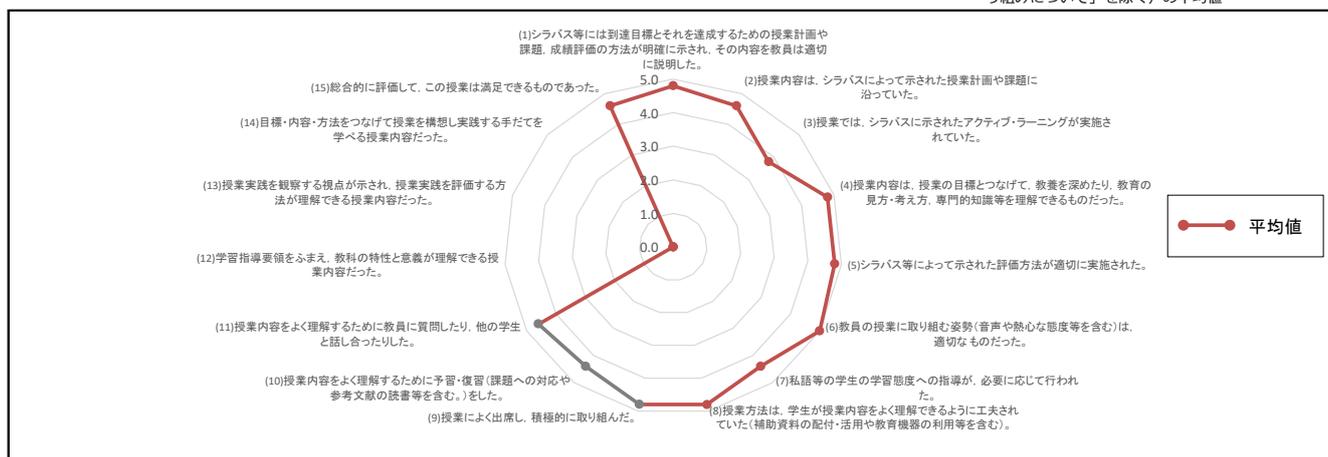
No.	605	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	法律学演習	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	麻生 多間				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	2	0	0	3.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	1	1	0	0	4.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	2	3	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	1	0	0	4.6

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

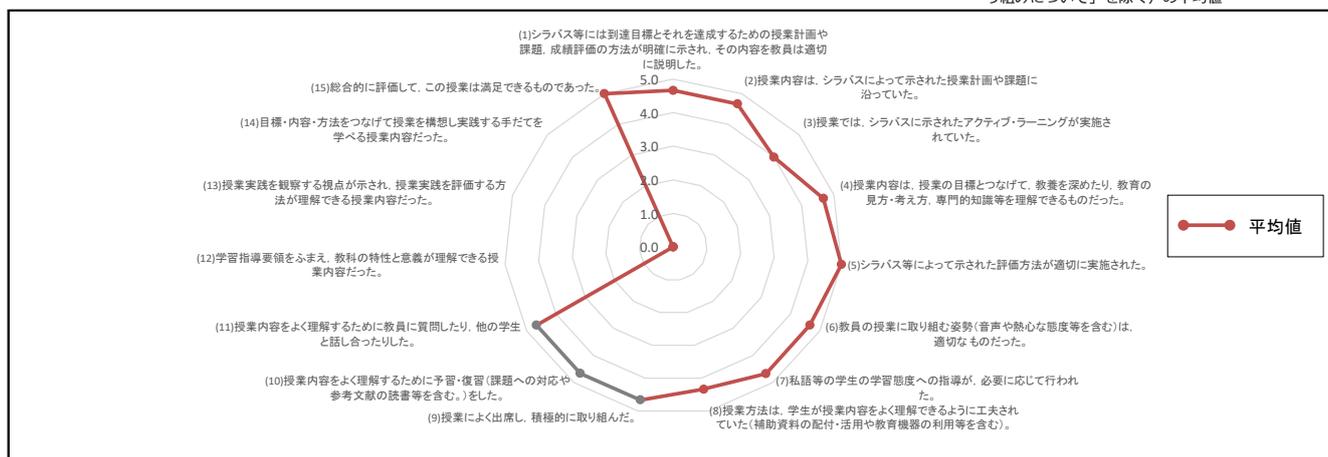
No.	606	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	社会学概論	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	2	0	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

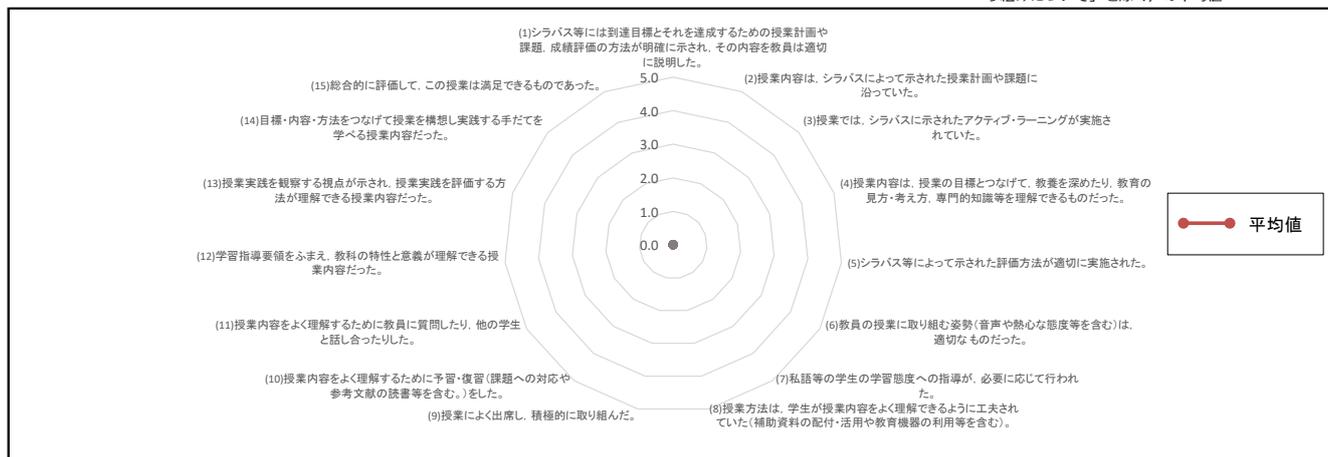
No.	607	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	経済学概論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	青葉 暢子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

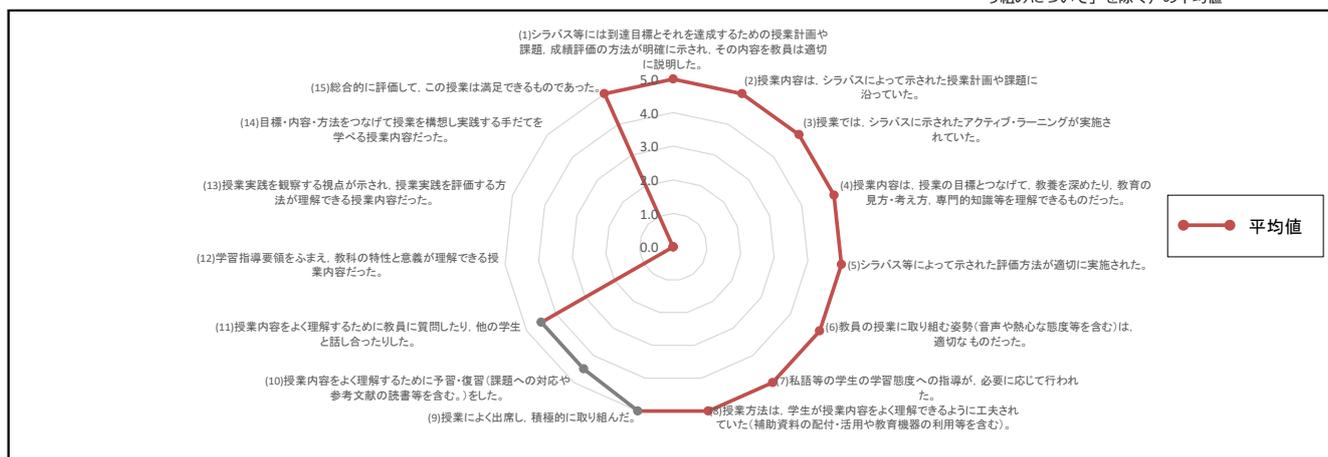
No.	608	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	社会学特論	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	眞野 豊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

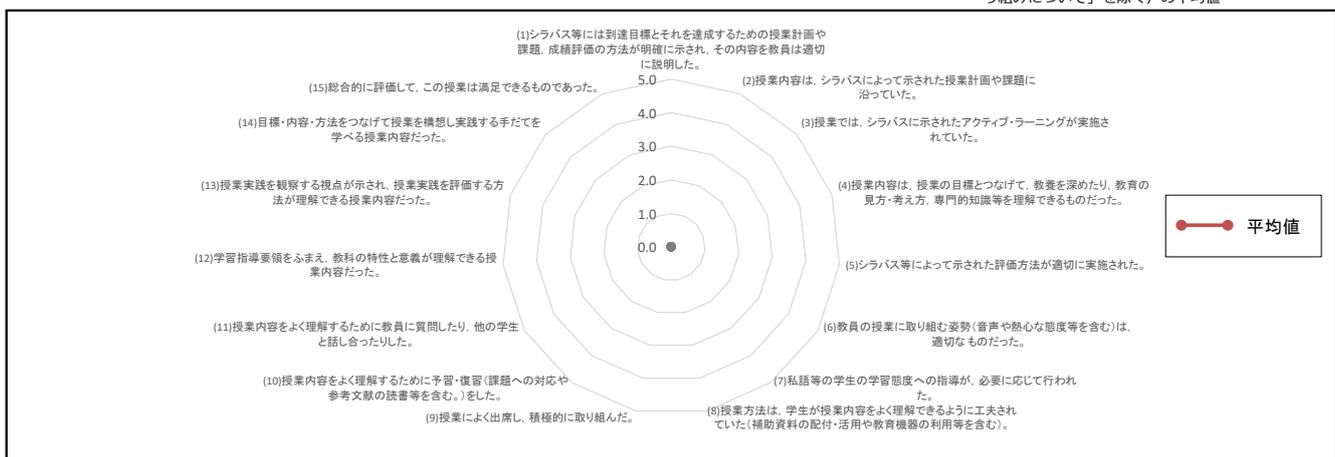
No.	609	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	経済学特論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	青葉 暢子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

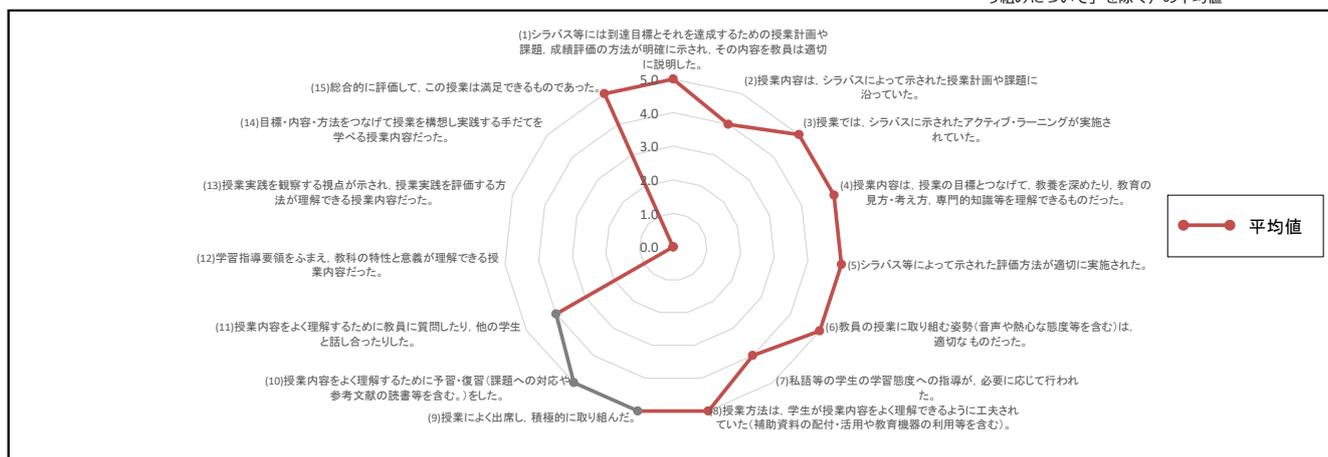
No.	610	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	経済学演習	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	青葉 暢子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

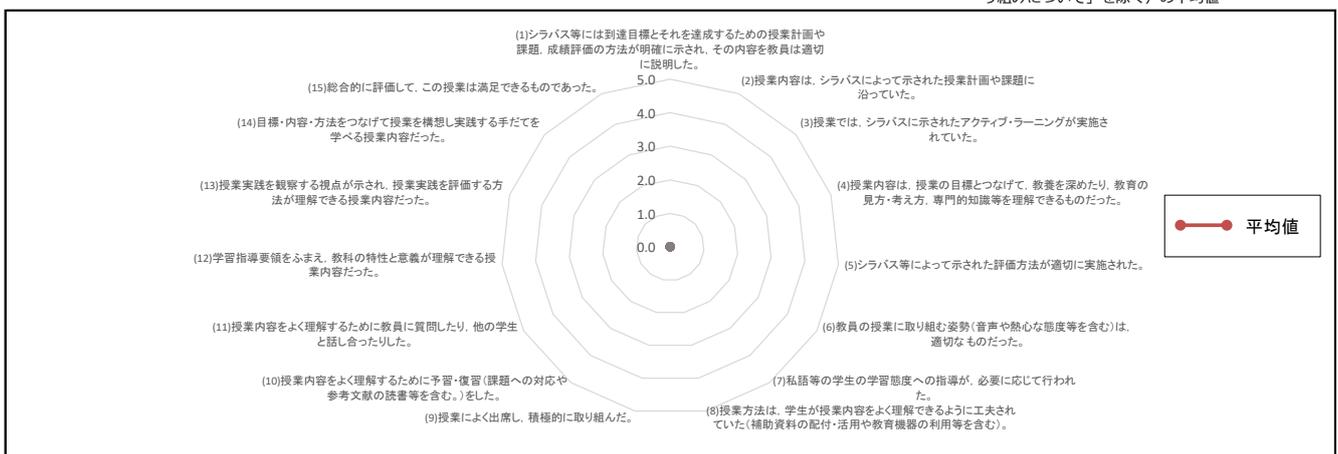
No.	611	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	情報経済論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	青葉 暢子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

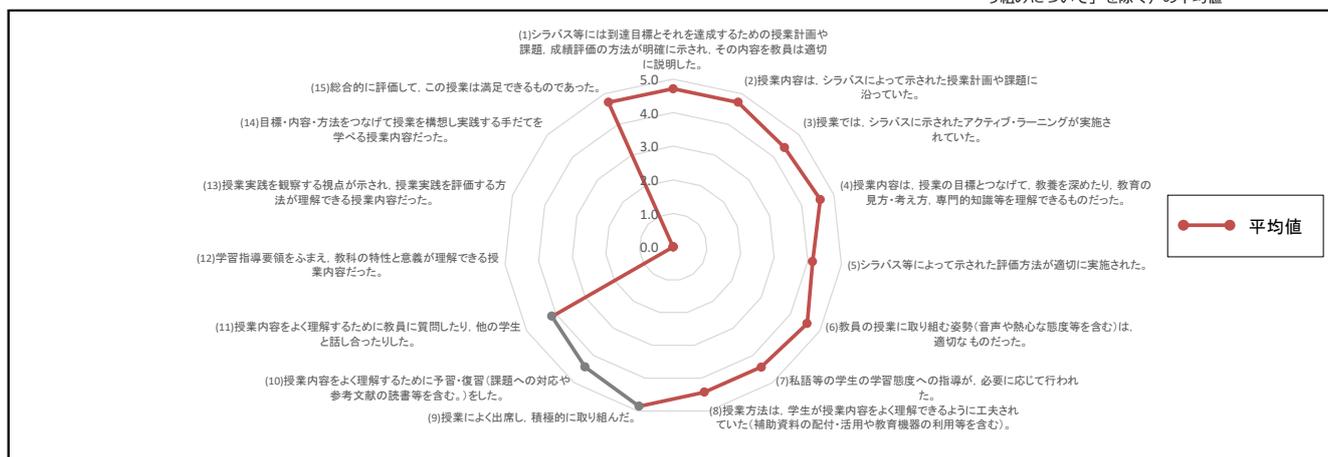
No.	612	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	哲学・倫理学概論	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	石田 三千雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	4	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	0	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	2	0	0	4.1
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	1	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	2	1	0	0	4.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	2	1	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	4	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	1	1	1	0	4.1
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	4.7

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

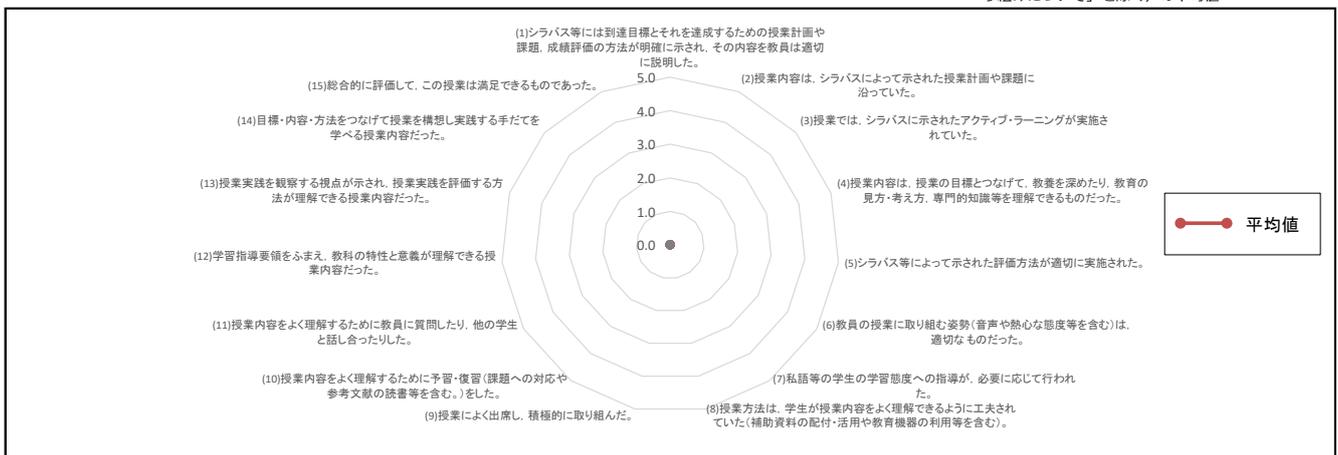
No.	613	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	哲学・倫理学特論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	石田 三千雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

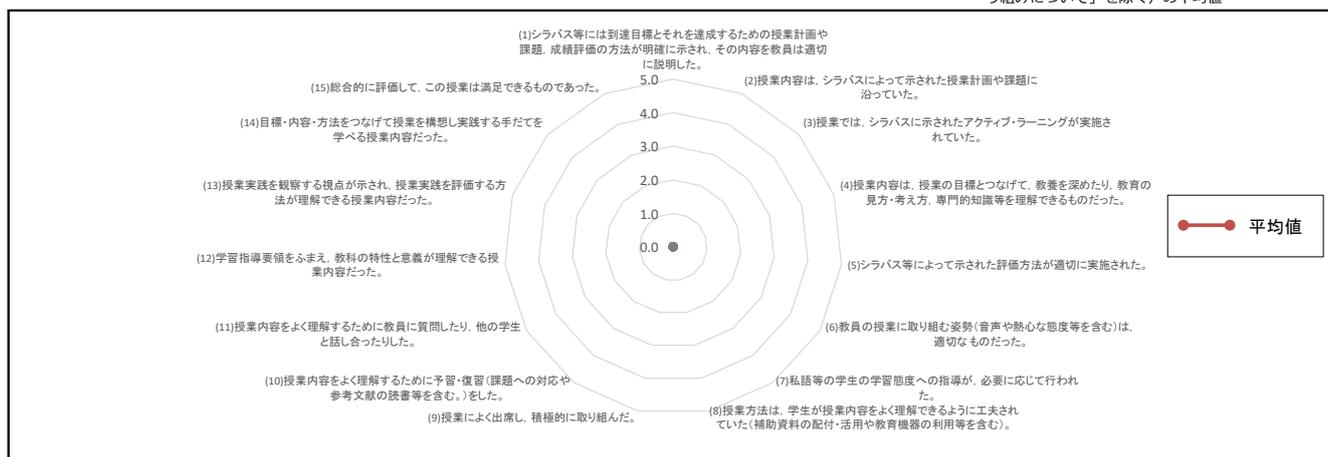
No.	614	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	哲学・倫理学演習	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	石田 三千雄				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

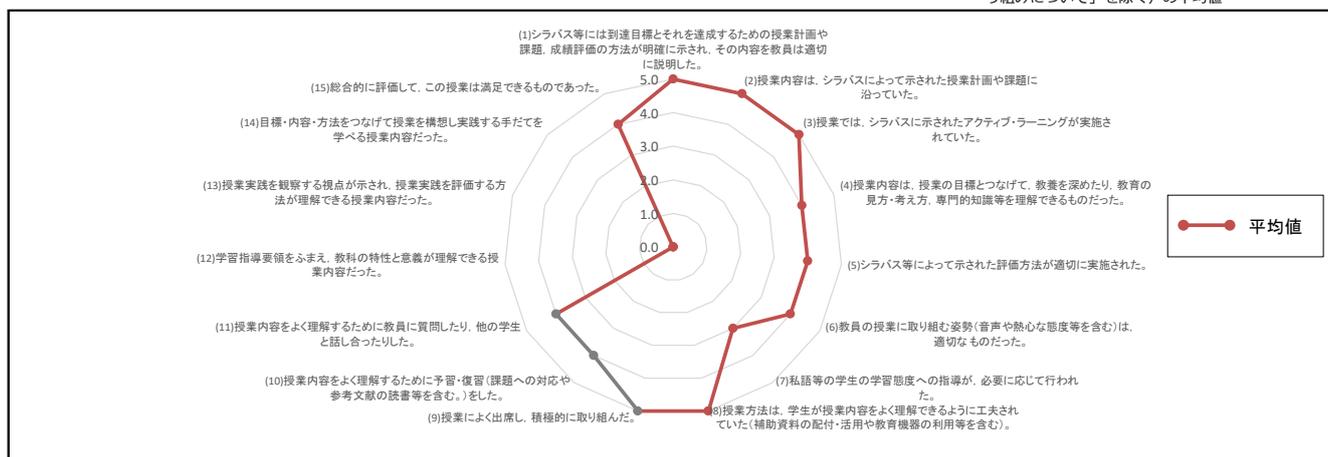
No.	615	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	代数学 I	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	守安 一峰				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	3.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	4.0

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

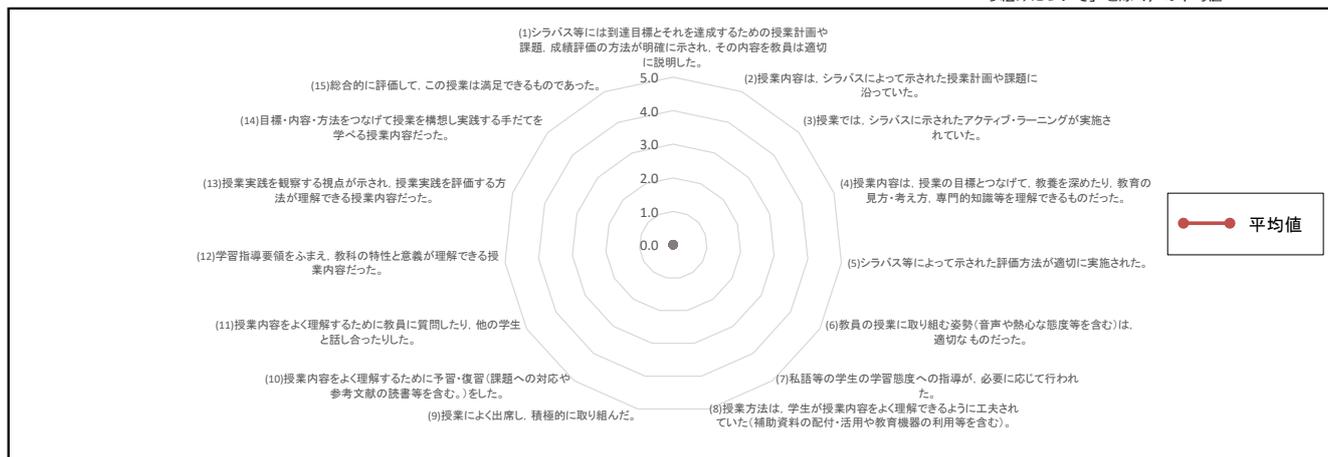
No.	616	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	代数学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	片山 真一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

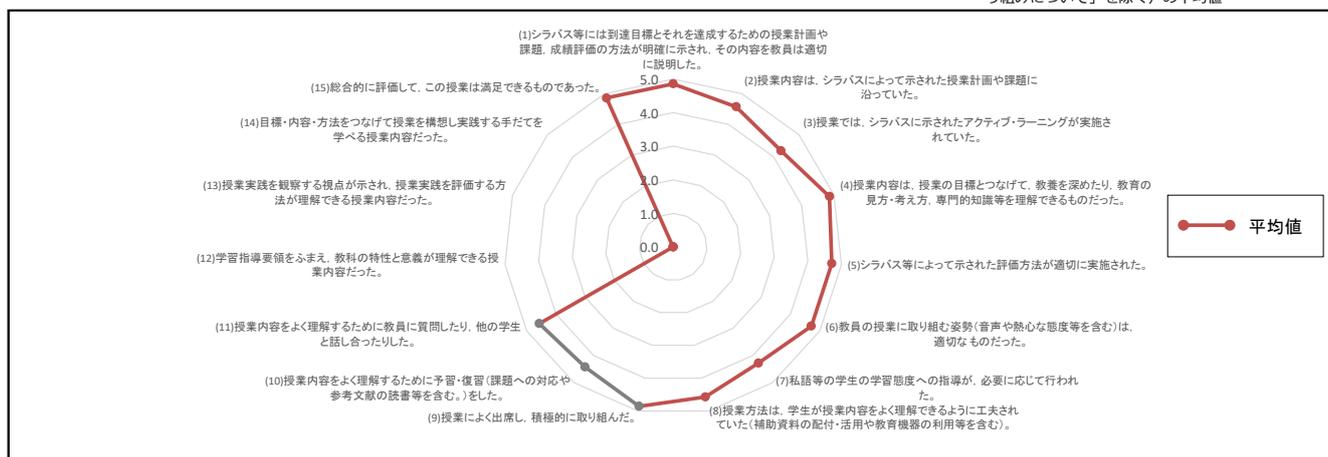
No.	617	評価実施日	令和4年8月28日		
授業科目名	代数学Ⅲ	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	平野 康之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	3	0	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	1	0	4.3
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	2	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	1	2	0	0	4.3
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	2	1	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

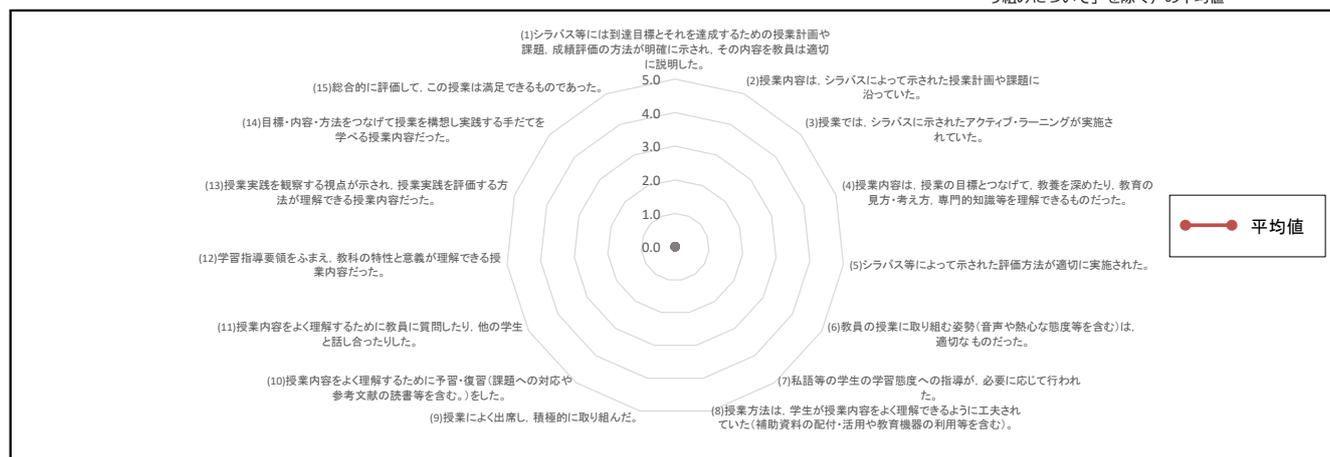
No.	618	評価実施日	令和4年12月25日		
授業科目名	代数学特論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	平野 康之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

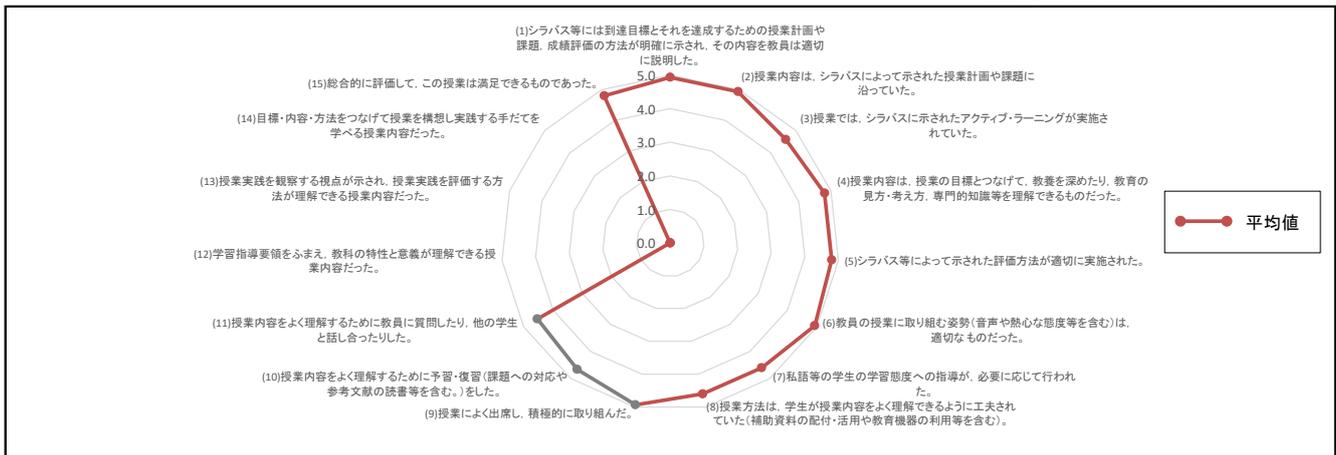
No.	619	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	幾何学 I	回答者数	15	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	14	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	14	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	2	2	0	0	4.6
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	12	3	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	3	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	14	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	11	2	2	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	4	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	14	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	11	3	1	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	10	3	2	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	12	3	0	0	0	4.8

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

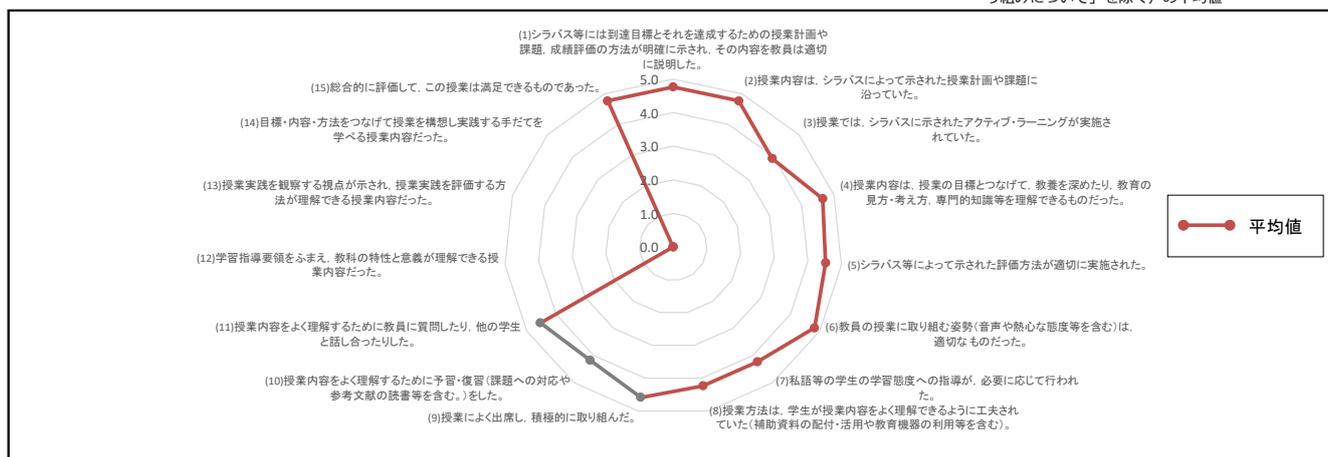
No.	620	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	幾何学Ⅱ	回答者数	17	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	13	4	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	13	4	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	8	3	0	1	3.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	12	4	1	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	8	0	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	14	3	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	5	4	0	0	4.2
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	5	2	0	1	4.2
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	11	5	1	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	10	2	0	0	4.2
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	8	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	13	4	0	0	0	4.8

総合評価	4.5
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

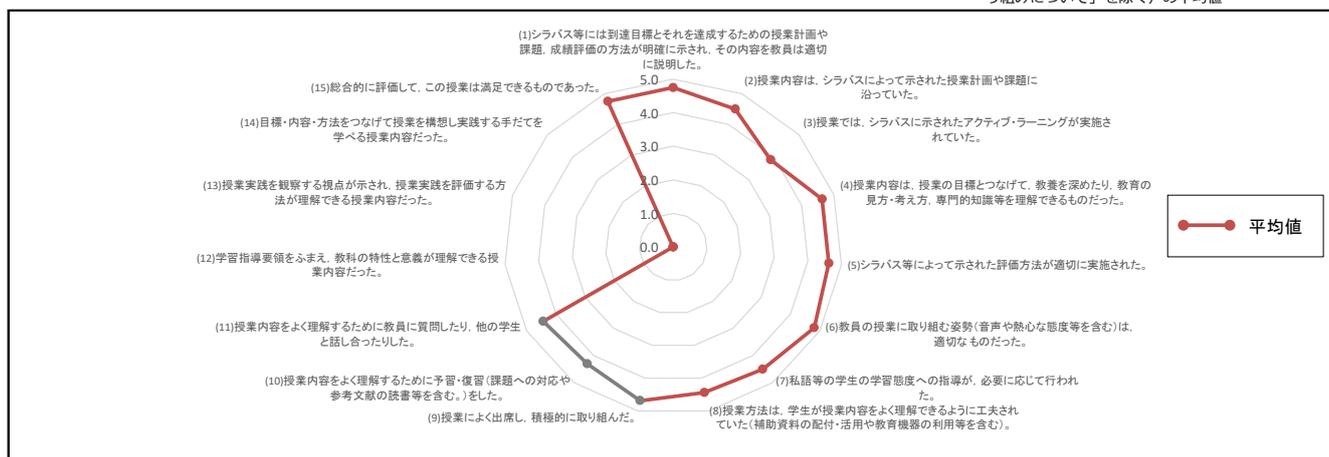
No.	621	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	幾何学Ⅲ	回答者数	16	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	4	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	8	0	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	7	0	1	2	3.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	11	4	1	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	2	2	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	13	3	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	11	4	0	0	1	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	6	0	1	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	3	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	7	2	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	5	2	0	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	14	1	0	1	0	4.8

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

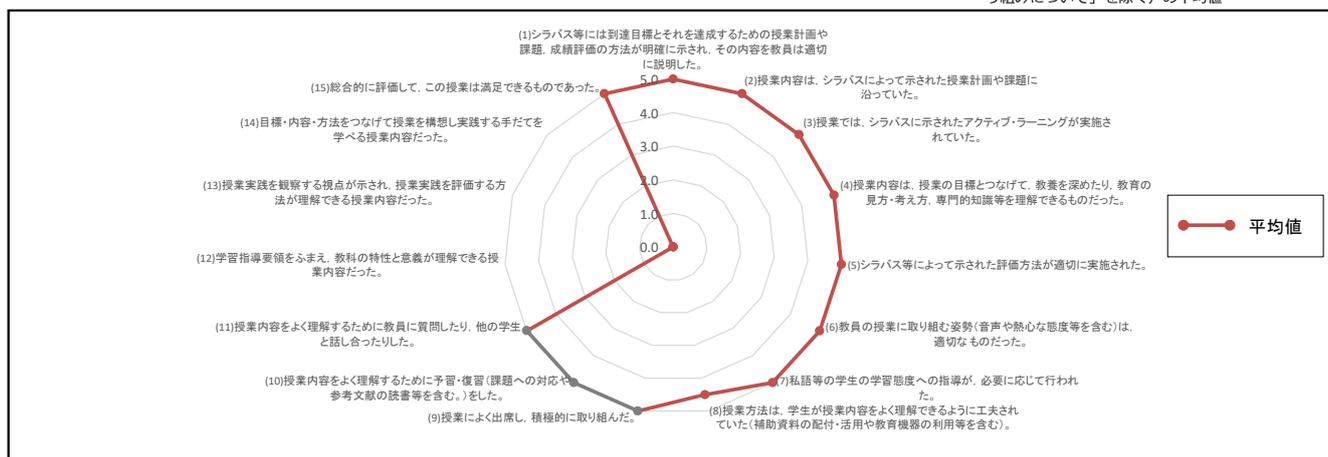
No.	622	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	幾何学特論	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山中 仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

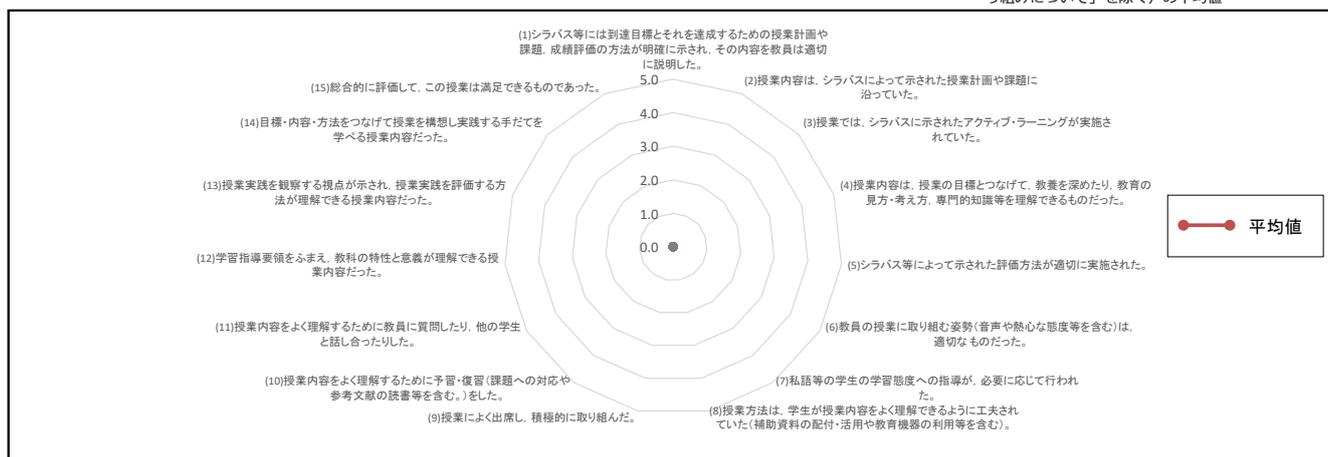
No.	623	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	解析学 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	関 行宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

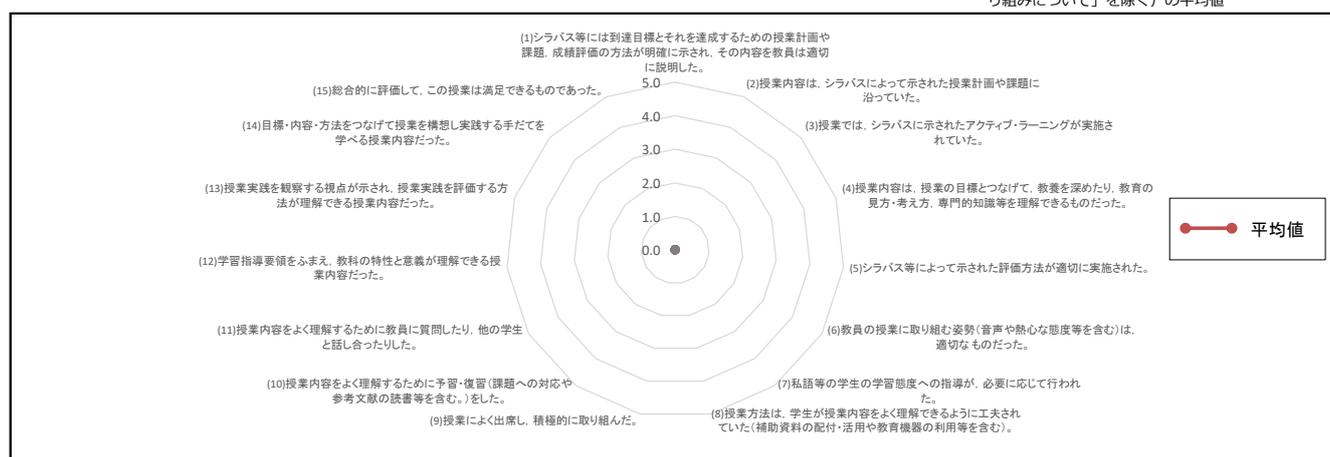
No.	624	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	解析学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	関 行宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

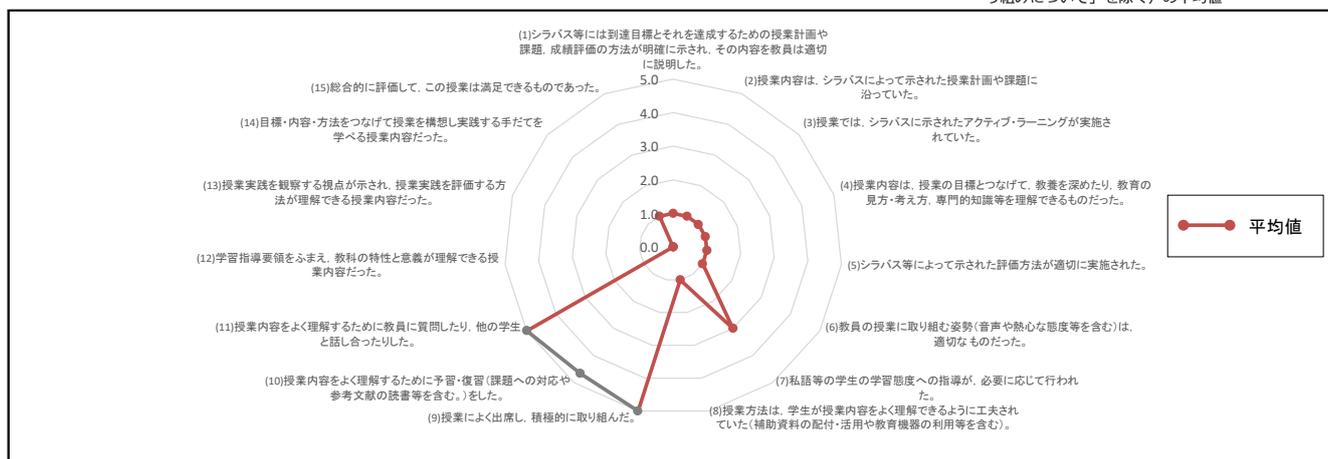
No.	625	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	解析学Ⅲ	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	関 行宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	3	1.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	3	1.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	3	1.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	3	1.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	3	1.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	3	1.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	1	0	1	3.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	3	1.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	3	1.0

総合評価	1.2
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

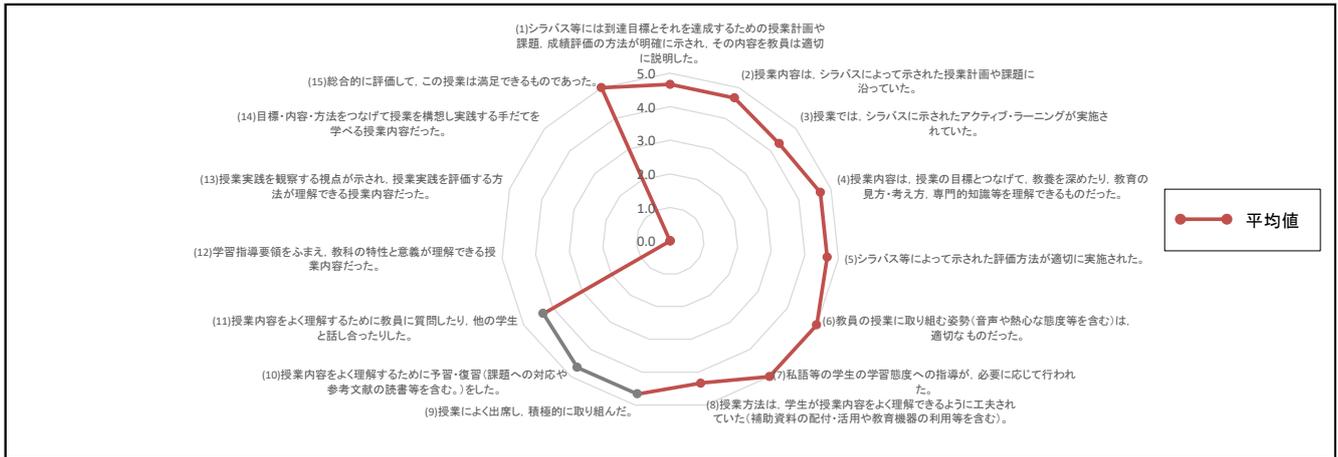
No.	626	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	解析学特論	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	関 行宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	0	1	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	0	1	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

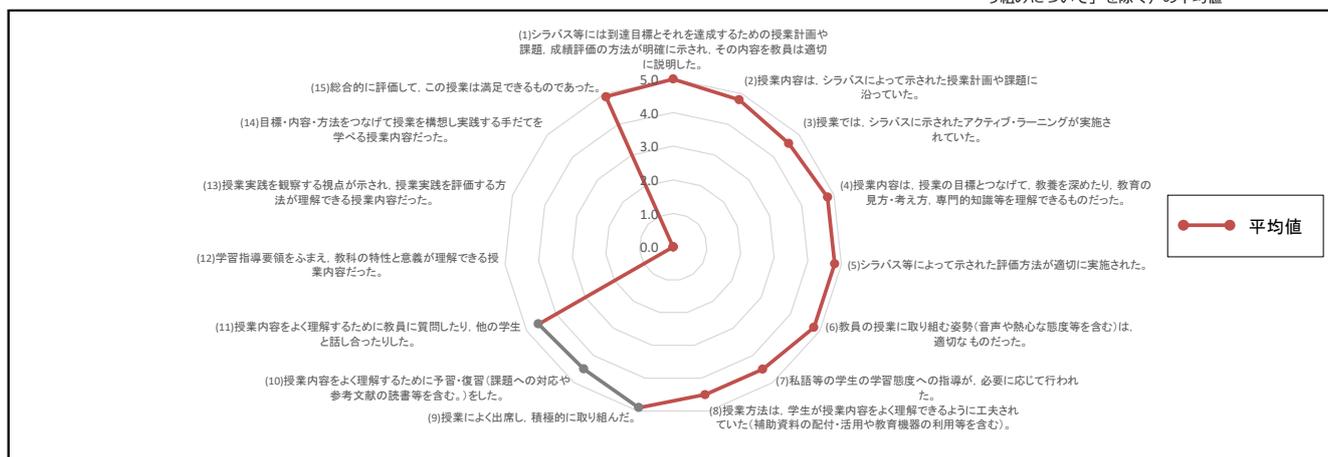
No.	627	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	確率・統計学	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮口 智成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	10	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	3	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	1	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	3	1	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	2	1	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

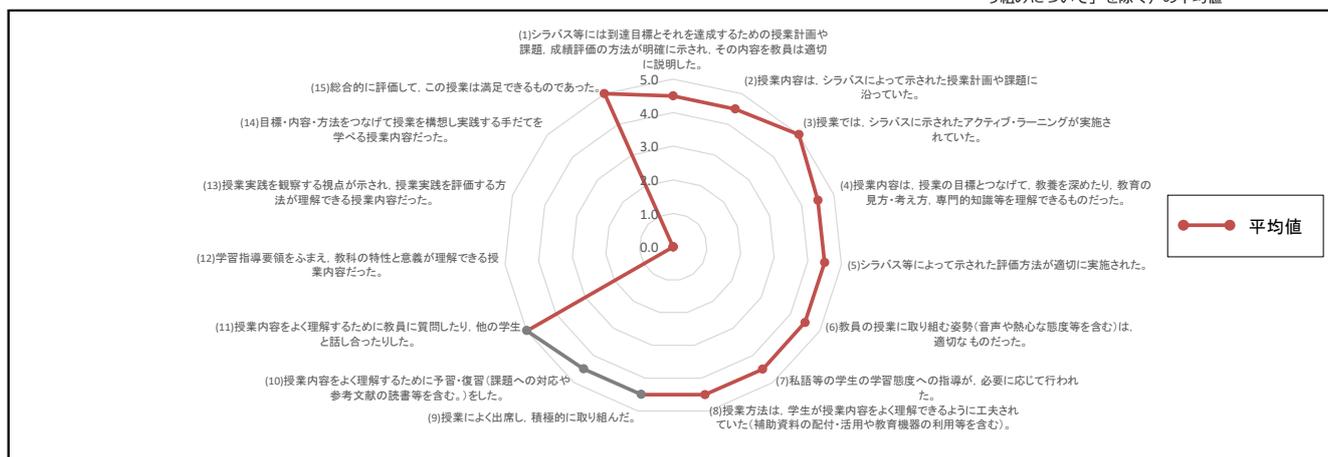
No.	628	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	確率・統計学特論	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮口 智成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

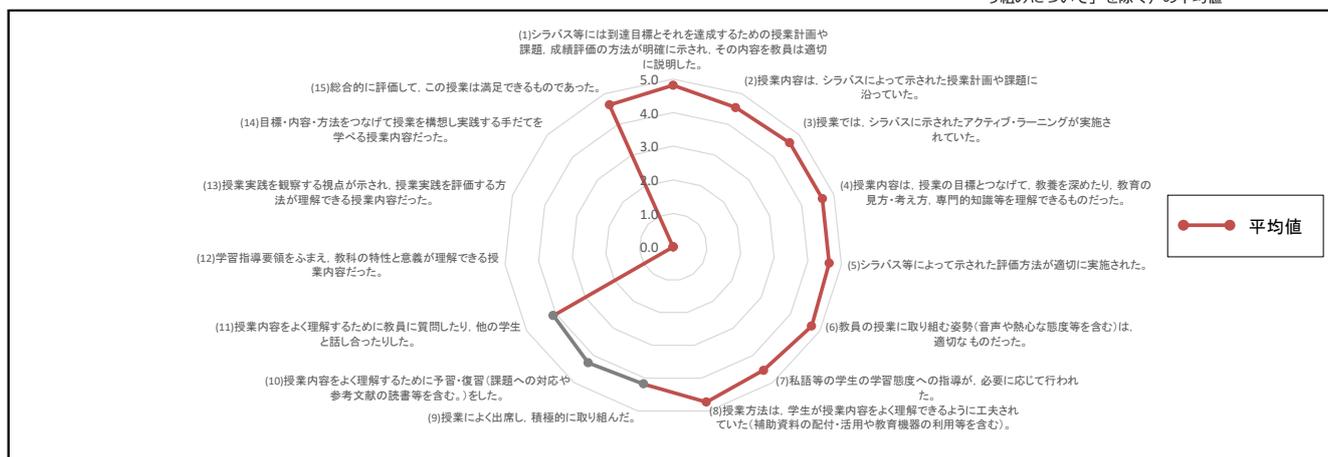
No.	629	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	計算数学	回答者数	11	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮口 智成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	5	0	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	4	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	1	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	4	0	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	3	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	3	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	3	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	3	1	0	1	4.2
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	4	0	0	1	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	2	2	0	1	4.1
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	4	0	0	0	4.6

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

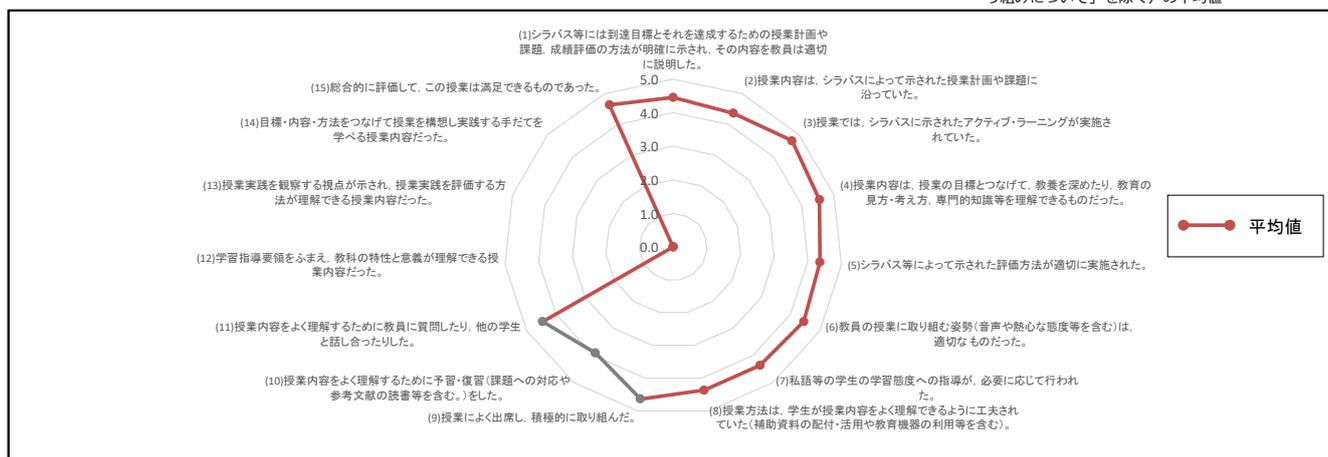
No.	630	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	基礎数学 I	回答者数	11	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮口 智成, 佐伯 昭彦, 早田 透, 秋田 美代, 山中 仁, 関 行宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	6	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	7	0	0	0	4.4
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	3	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	5	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	7	0	0	0	4.4
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	4	1	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	7	0	0	0	4.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	5	1	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	4	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	4	2	0	1	3.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	6	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	4	0	0	0	4.6

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

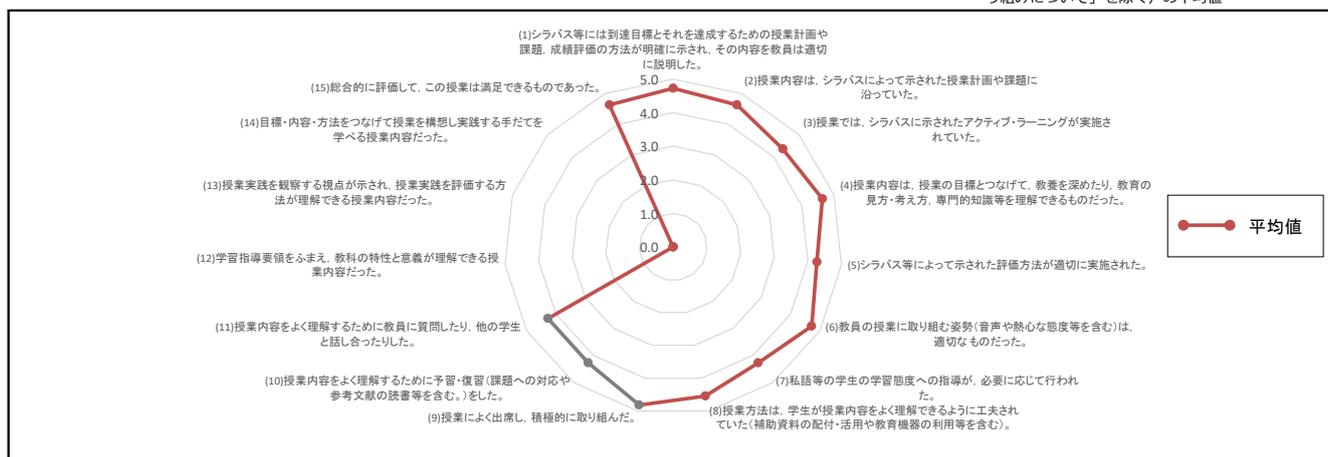
No.	631	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	基礎数学Ⅱ	回答者数	11	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮口 智成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	3	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	4	0	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	5	1	0	0	4.4
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	4	0	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	4	2	0	0	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	3	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	4	2	0	0	4.3
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	5	0	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	9	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	6	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	6	1	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	4	0	0	0	4.6

総合評価	4.5
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

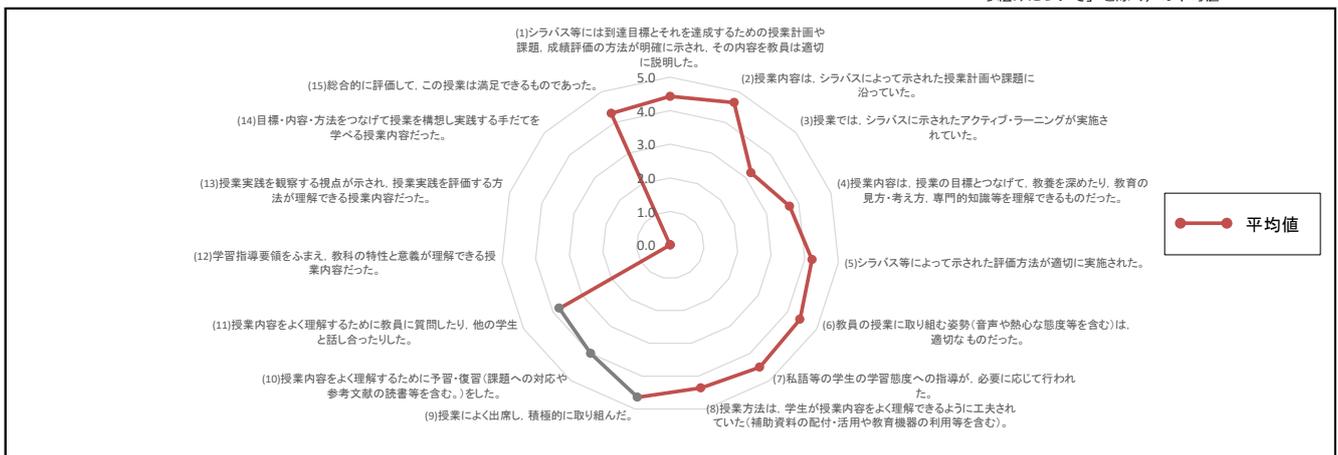
No.	632	評価実施日	令和5年6月6日		
授業科目名	中等理科（物理学分野）	回答者数	14	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	粟田 高明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	6	1	0	0	4.4
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	3	1	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	2	1	4	3.2
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	3	3	3	0	3.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	5	3	0	0	4.2
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	4	2	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	10	1	3	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	7	1	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	3	1	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	4	2	2	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	3	4	2	0	3.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	2	4	0	0	4.3

総合評価	4.2
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

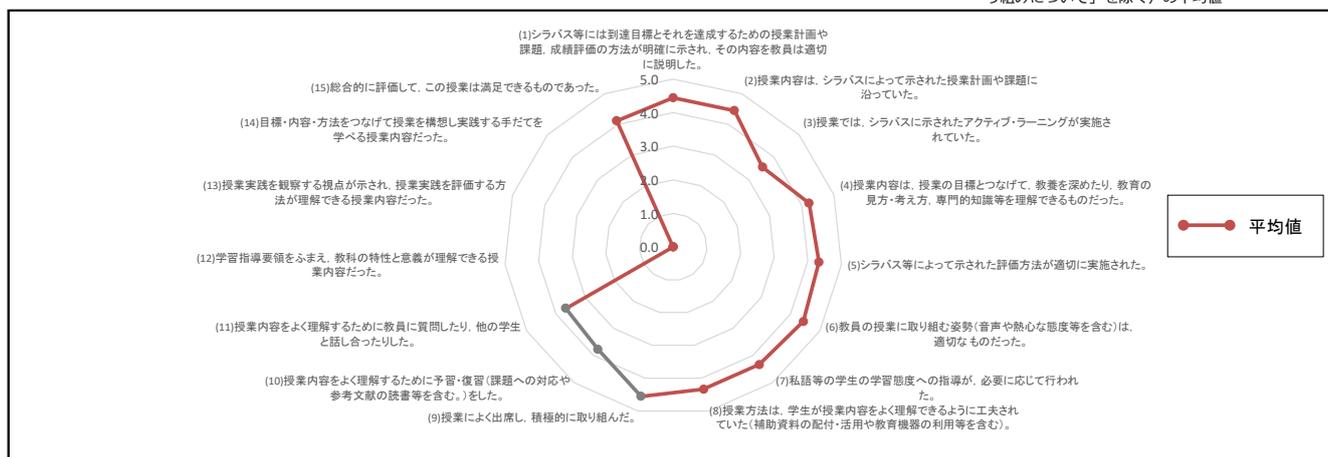
No.	633	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	物理学 I (新課程)	回答者数	9	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	粟田 高明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	5	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	5	0	0	0	4.4
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	2	1	1	3.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	3	2	0	0	4.2
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	4	1	0	0	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	2	0	1	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	2	2	0	0	4.3
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	2	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	4	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	3	2	0	1	3.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	3	0	3	0	3.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	3	1	1	0	4.1

総合評価	4.2
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

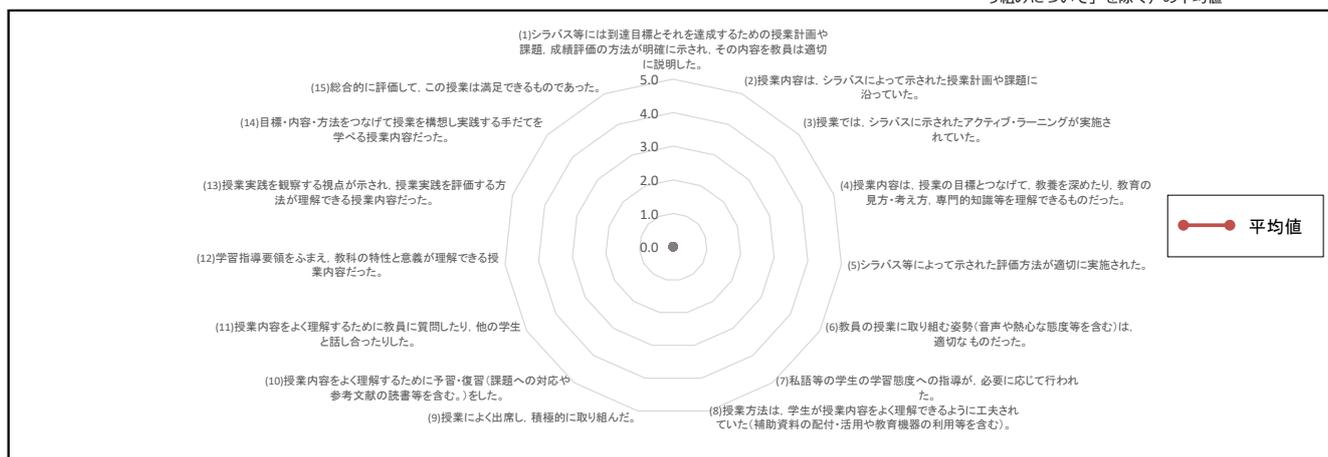
No.	634	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	物理学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	本田 亮				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

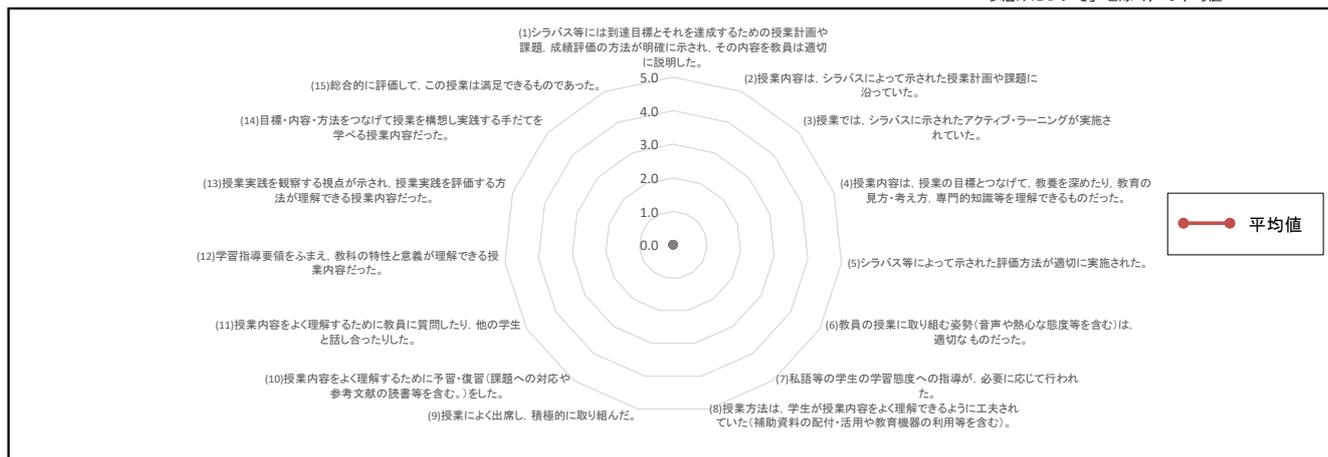
No.	635	評価実施日	令和4年12月1日		
授業科目名	物理学実験 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	本田 亮, 寺島 幸生, 栗田 高明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

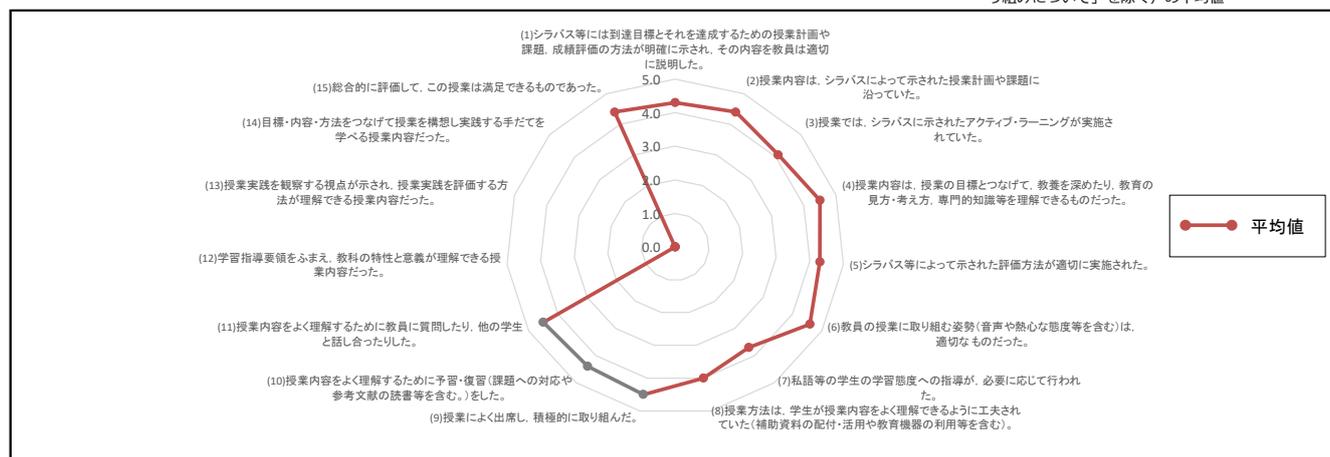
No.	636	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	物理学実験Ⅱ	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	本田 亮, 寺島 幸生, 栗田 高明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	5	1	0	0	4.3
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	4	1	0	0	4.4
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	7	1	0	0	4.1
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	1	2	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	3	0	0	4.3
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	2	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	3	3	0	1	3.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	4	3	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	5	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	4	1	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	3	1	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	6	0	0	0	4.4

総合評価	4.3
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

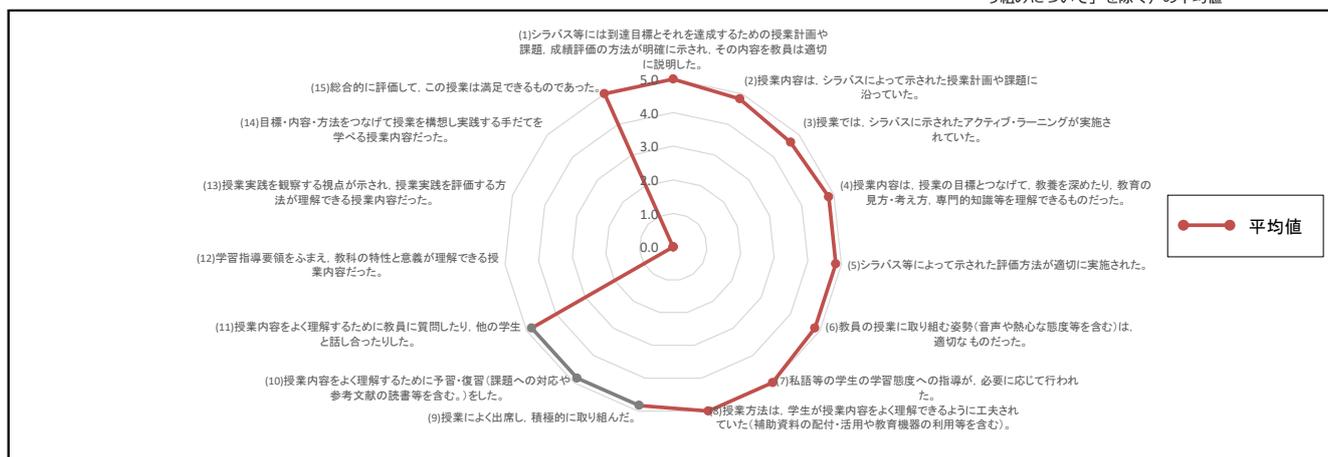
No.	637	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	中等理科（化学分野）	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	武田 清				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	2	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

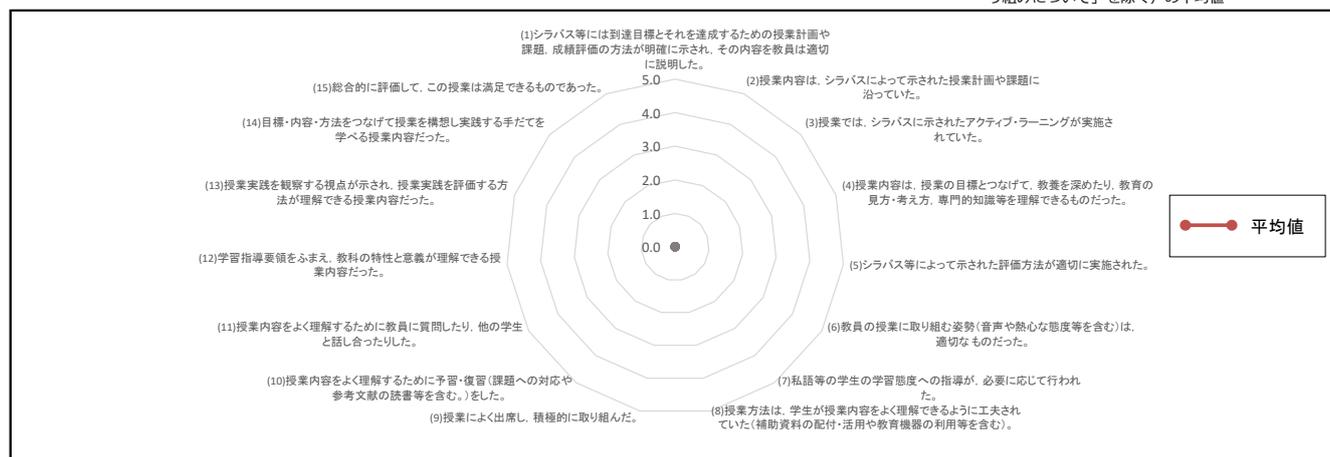
No.	638	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	化学 I (新課程)	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	胸組 虎胤, 早藤 幸隆				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

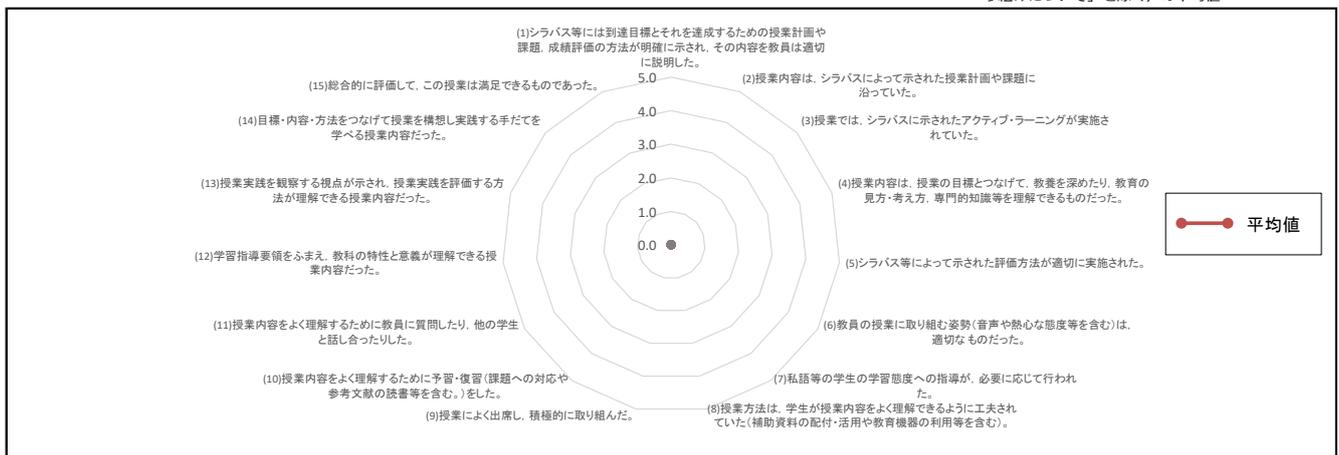
No.	639	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	化学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	胸組 虎胤, 早藤 幸隆				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

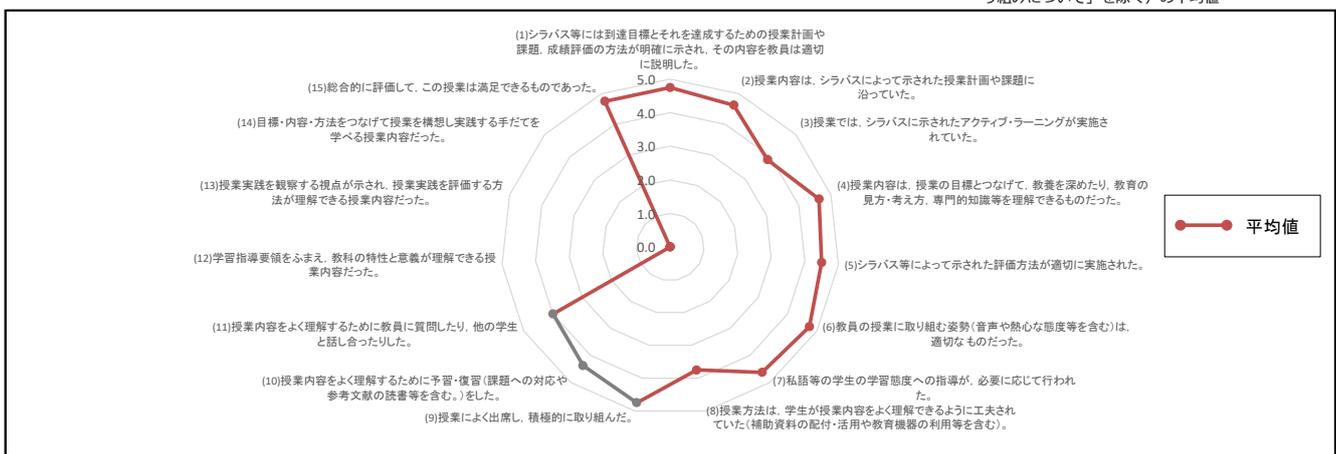
No.	640	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	化学Ⅲ	回答者数	8	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	武田 清				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	1	0	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	2	0	1	3.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	1	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	2	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	1	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	2	1	2	0	3.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	5	2	0	1	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	0	2	0	1	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

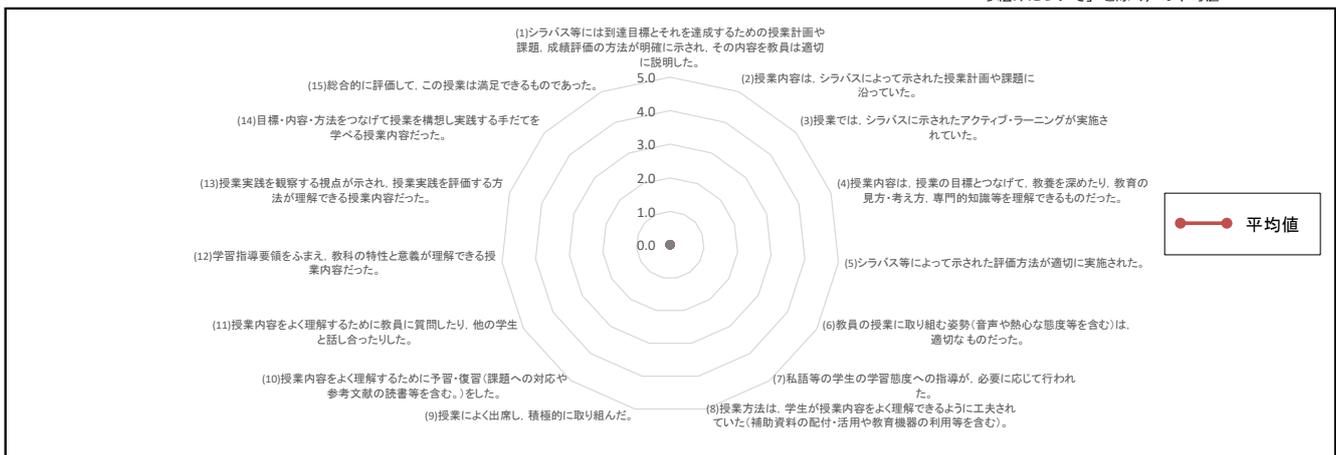
No.	641	評価実施日	令和4年6月9日		
授業科目名	化学実験 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	武田 清, 早藤 幸隆, 胸組 虎胤				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

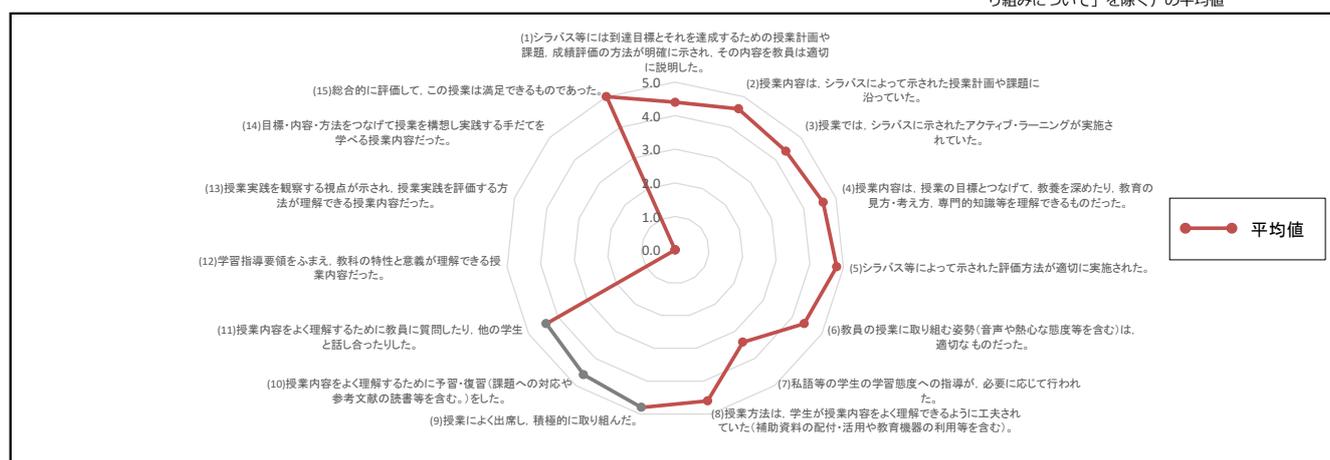
No.	642	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	化学実験Ⅱ	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	胸組 虎胤, 武田 清, 早藤 幸隆				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	3	0	0	0	4.4
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	1	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	2	0	2	0	3.4
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	2	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	2	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	3	0	0	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.5
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

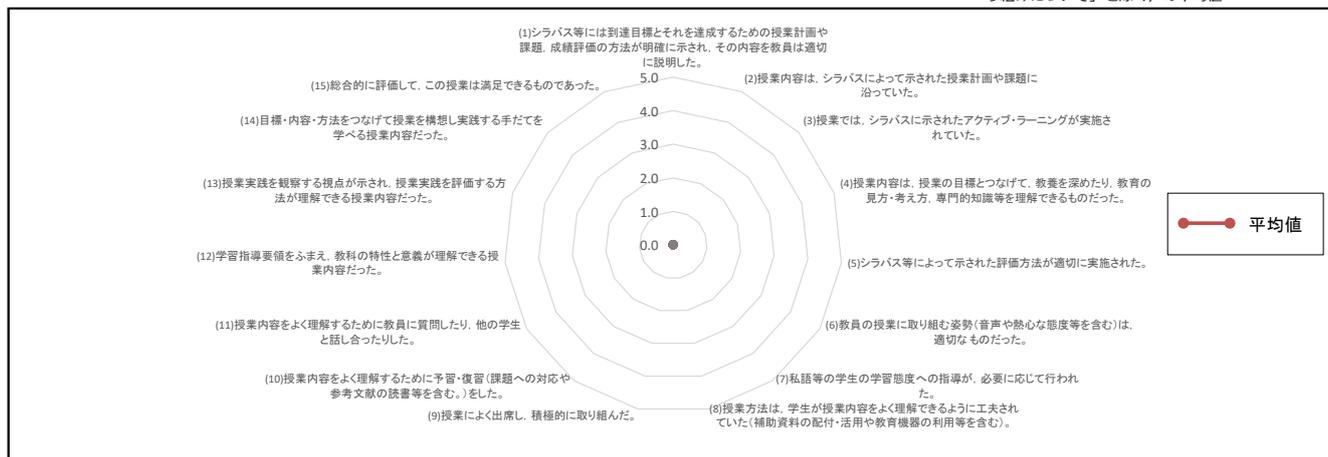
No.	643	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	中等理科（生物学分野）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	小汐 千春				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

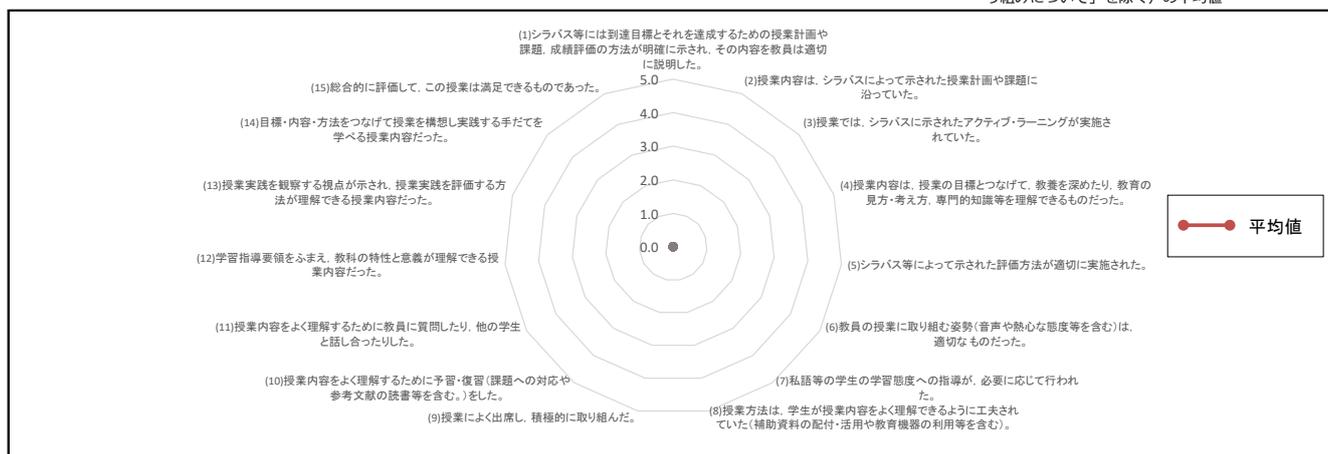
No.	644	評価実施日	令和4年8月25日		
授業科目名	生物学 I (新課程)	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	篠原 渉				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

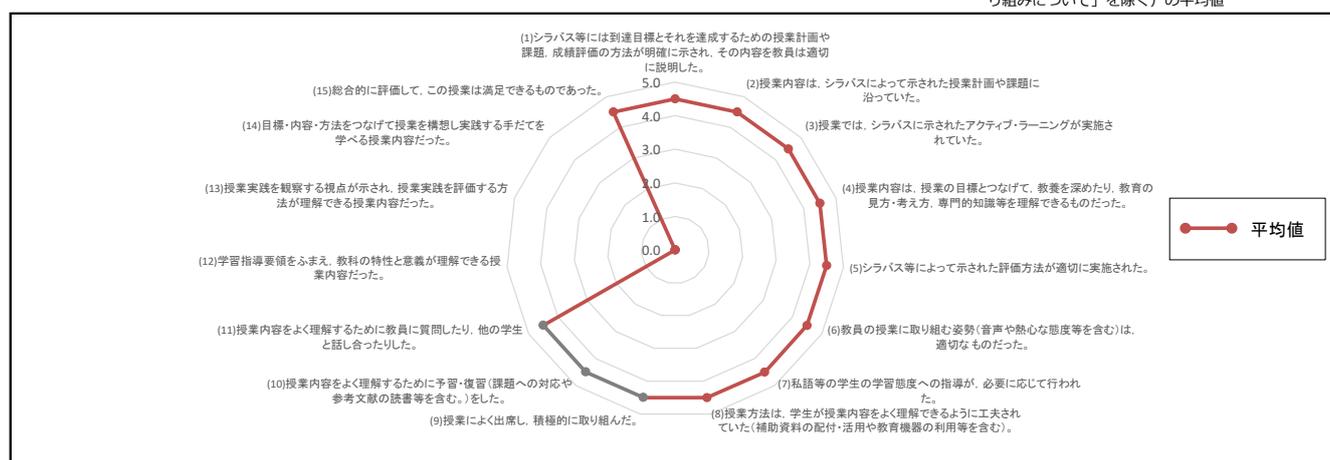
No.	645	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	生物学Ⅱ	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	工藤 慎一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	1	0	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	4.5

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

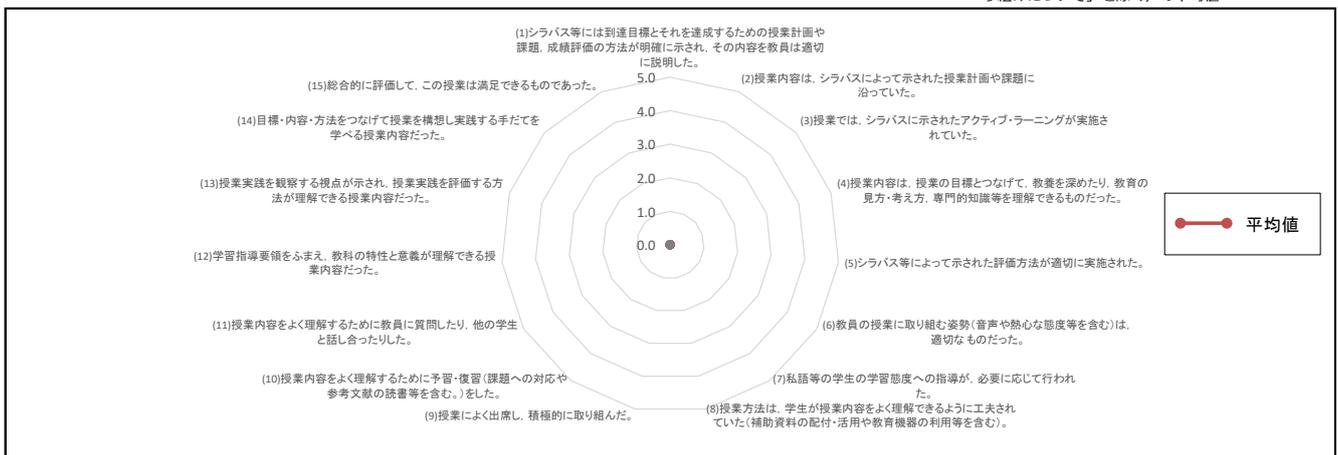
No.	646	評価実施日	令和4年6月9日		
授業科目名	生物学実験 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	工藤 慎一, 佐藤 勝幸, 小汐 千春				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

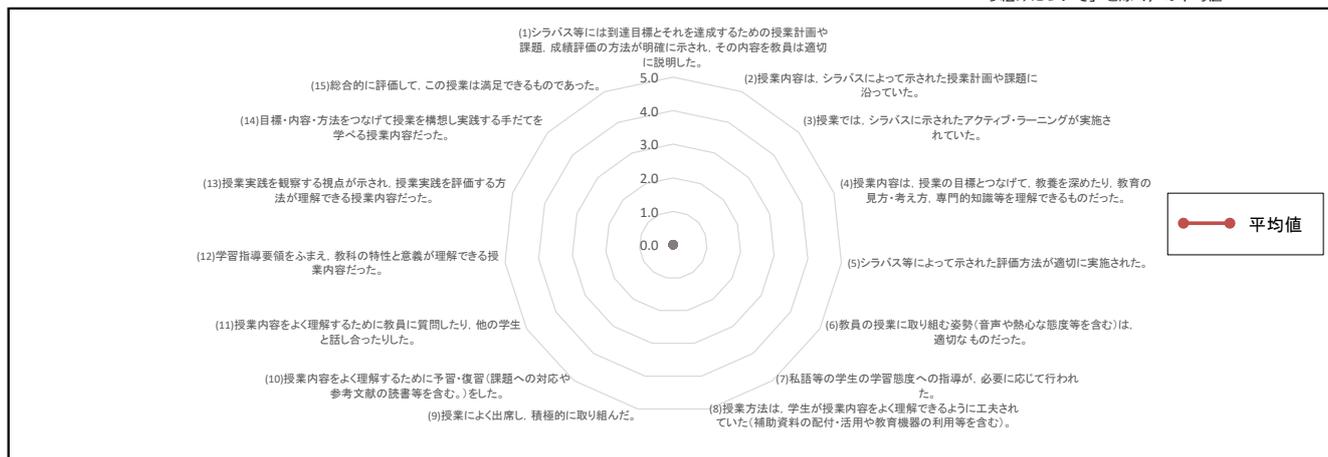
No.	647	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	生物学実験Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	佐藤 勝幸, 工藤 慎一, 小汐 千春				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

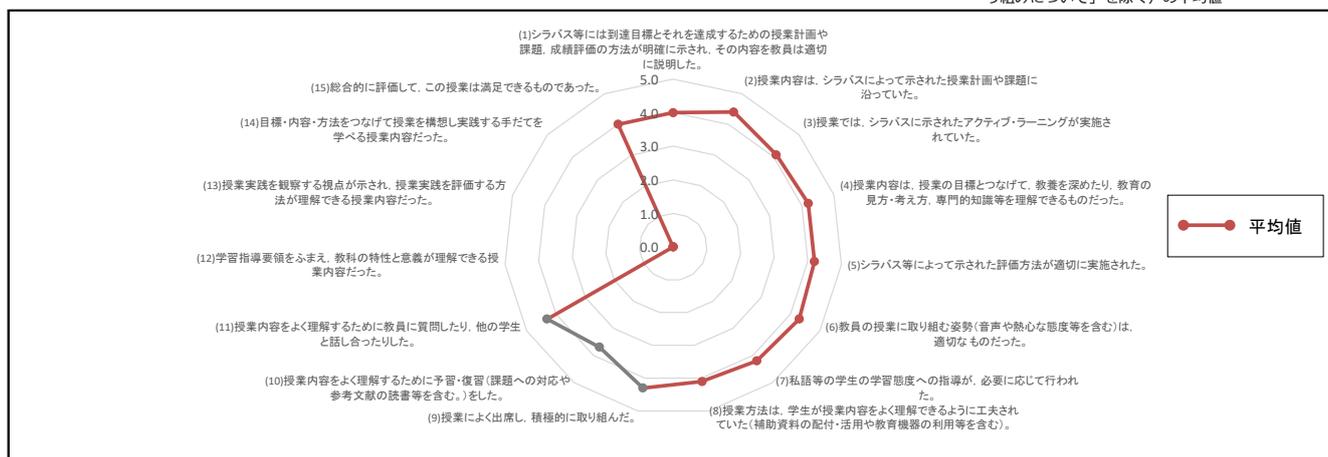
No.	648	評価実施日	令和4年8月29日		
授業科目名	中等理科（地学分野）	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	足立 奈津子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	2	2	0	1	4.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	0	0	1	4.4
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	1	0	0	2	4.1
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	4	0	0	1	4.2
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	2	1	0	1	4.2
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	3	0	0	1	4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	2	1	0	1	4.2
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	1	0	1	4.1
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	1	1	0	1	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	1	0	0	3	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	3	0	0	1	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	3	0	1	1	4.0

総合評価	4.2
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

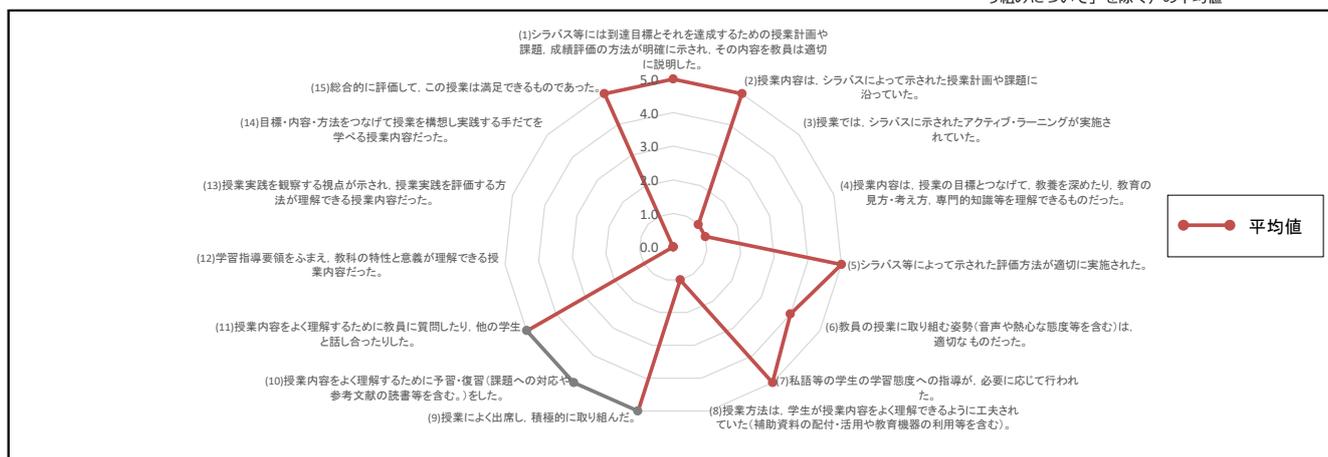
No.	649	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	地学 I (新課程)	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	1	1.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	1	1.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	1	1.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	3.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

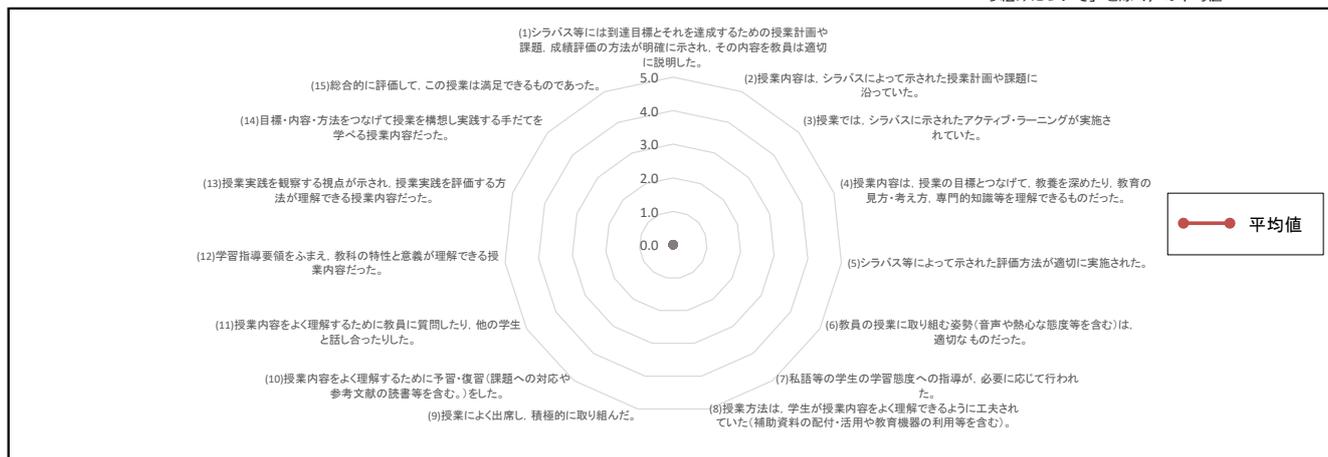
No.	650	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	地学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	福地 里菜				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

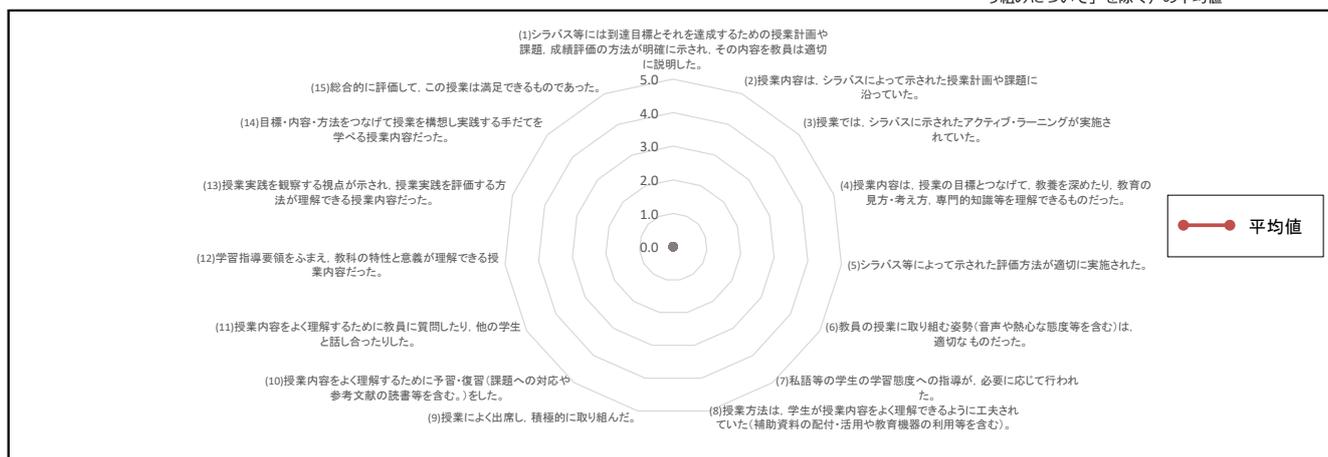
No.	651	評価実施日	令和4年12月1日		
授業科目名	地学実験Ⅰ（野外実習）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	福地 里菜, 小澤 大成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

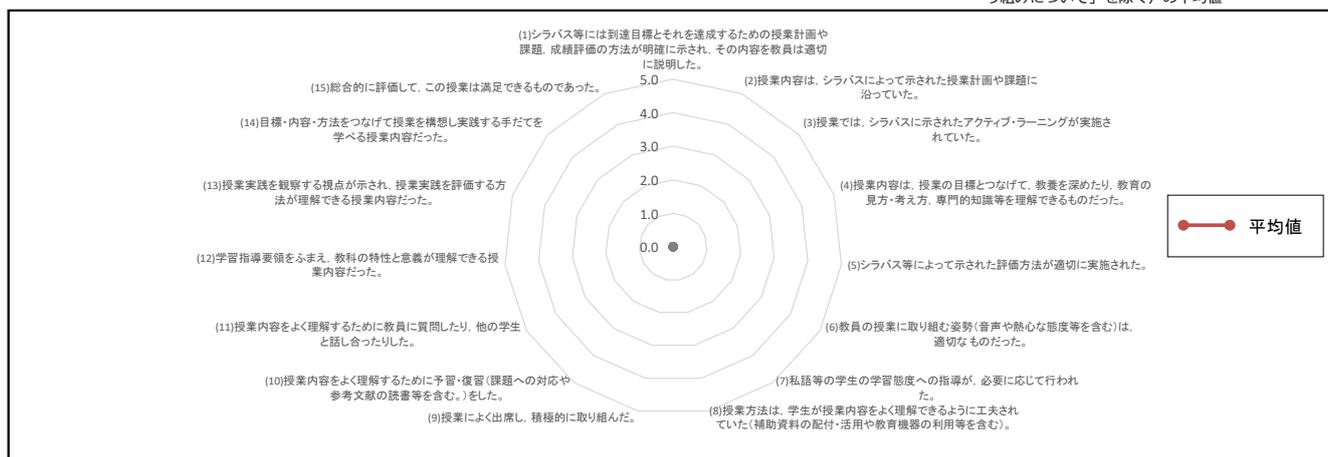
No.	652	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	地学実験Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	福地 里菜, 小澤 大成				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

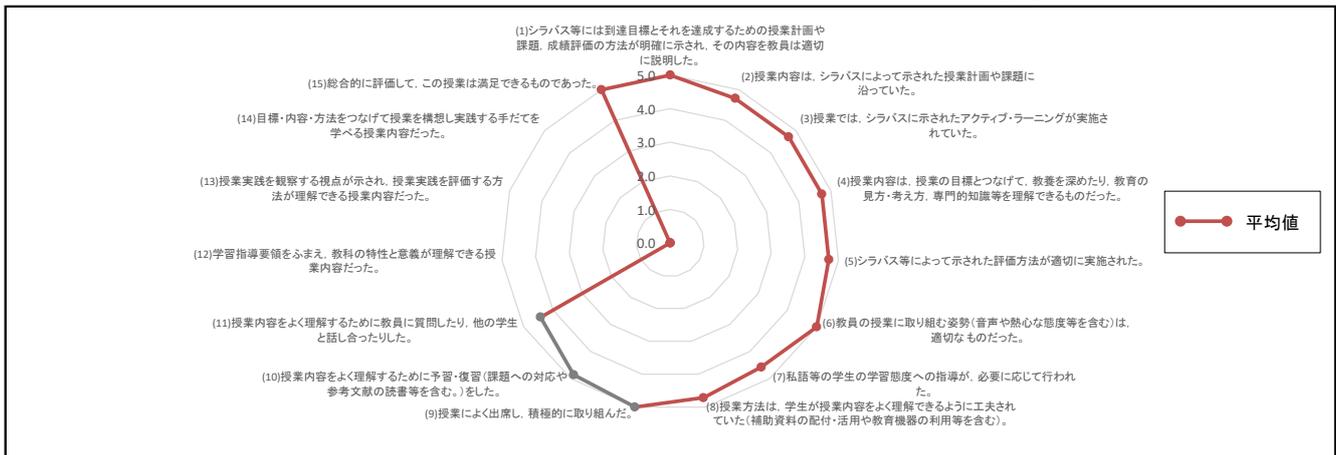
No.	653	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	ソルフェージュ	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山田 啓明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	2	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	2	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	1	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	4	0	0	0	4.4
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

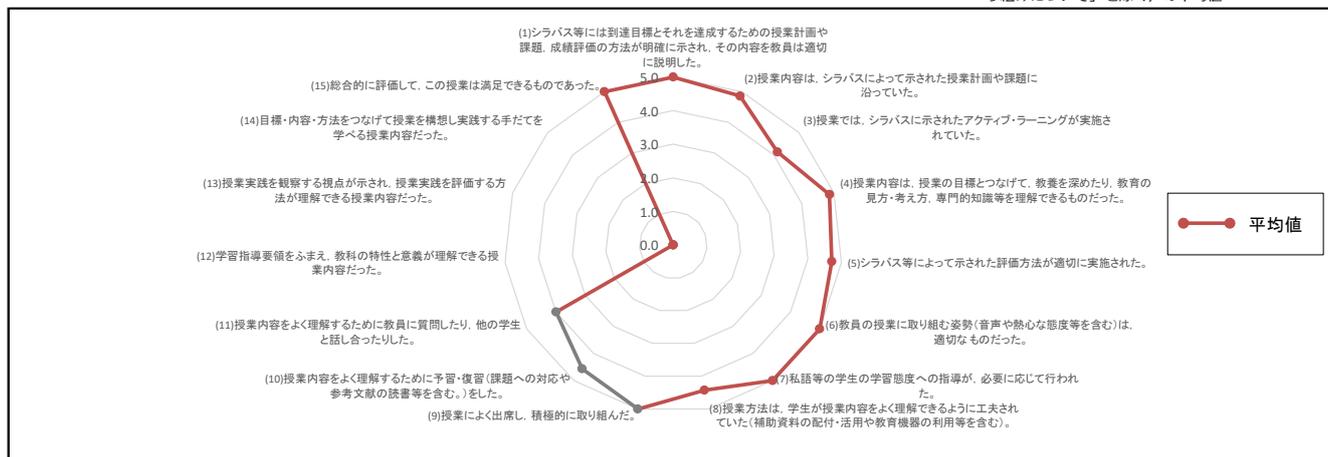
No.	654	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	声楽（合唱を含む。）	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	頃安 利秀, 真鍋 美恵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	3	0	1	0	4.1
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	2	1	0	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	4	3	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	5	1	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

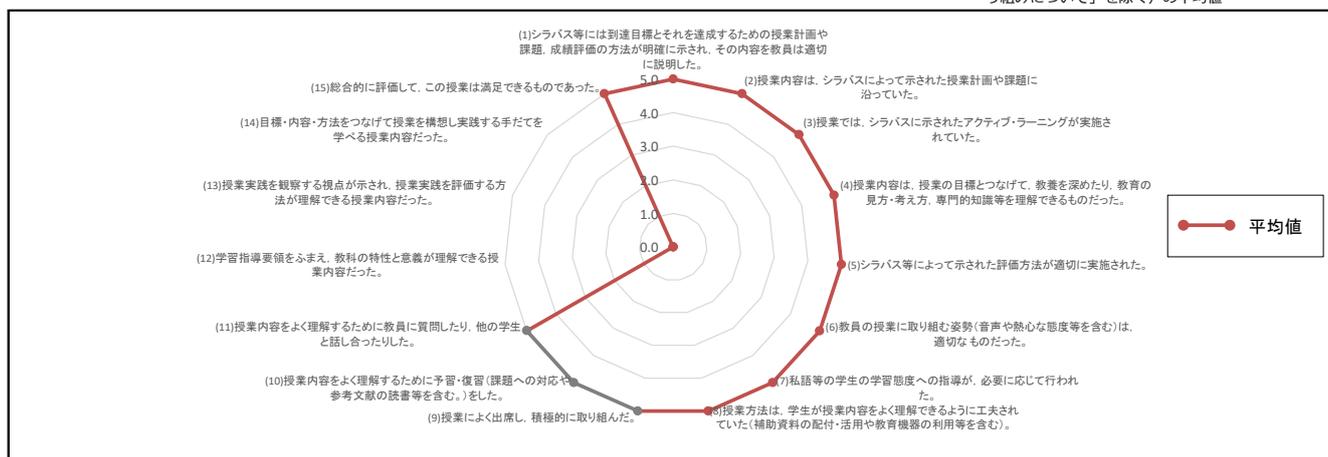
No.	655	評価実施日	令和4年12月1日		
授業科目名	日本の伝統音楽（日本の伝統的な歌唱を含む。）		回答者数	1	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	丸岡 安弥乃				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

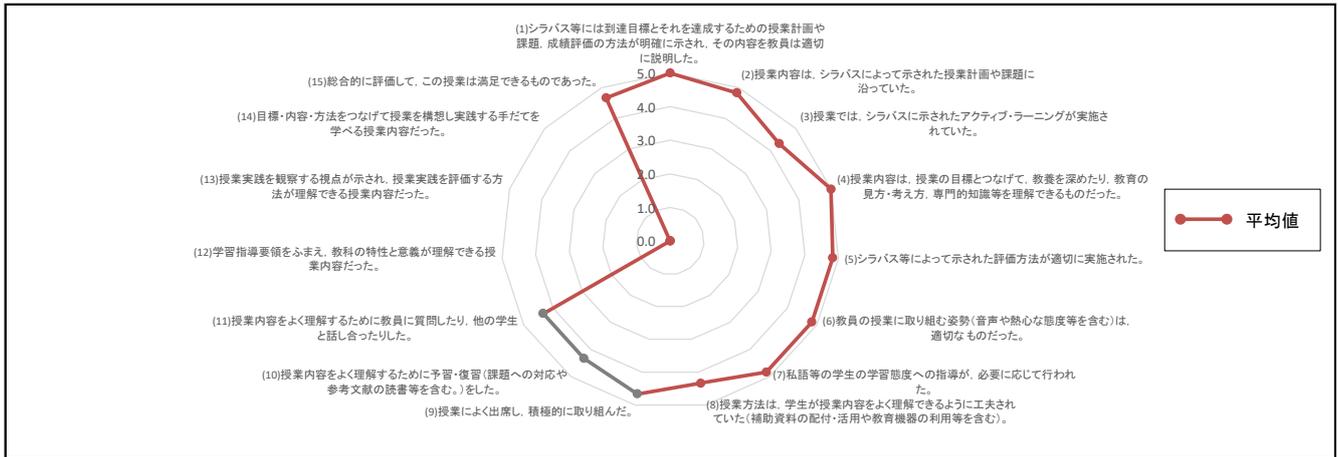
No.	656	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	音楽基礎 I	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	頃安 利秀				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	1	0	0	4.3
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	4	0	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	2	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	4	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	4	0	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	2	0	0	0	4.7

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

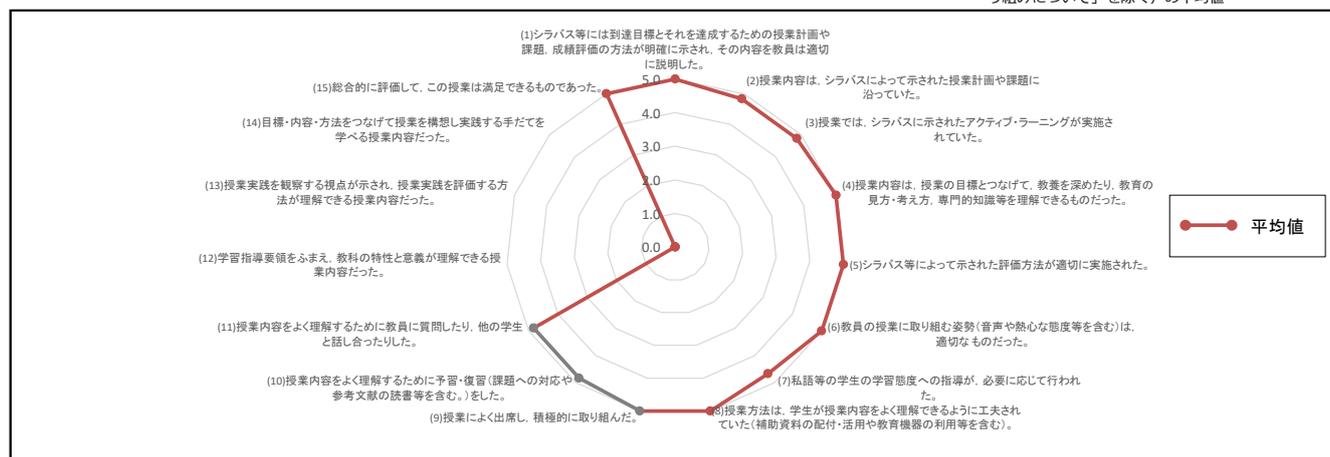
No.	657	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	声楽基礎Ⅱ	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	頃安 利秀				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	2	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

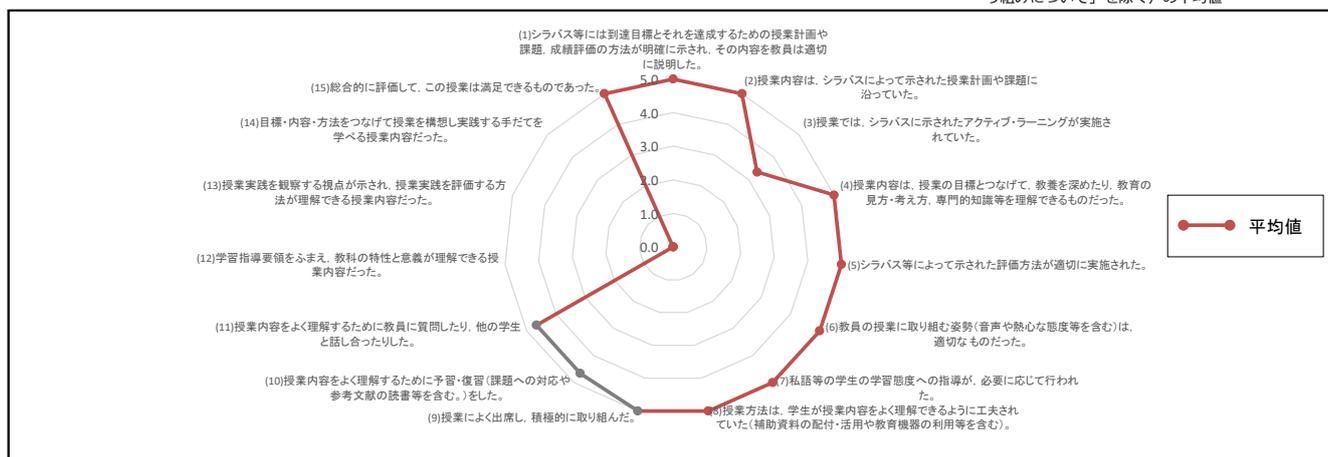
No.	658	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	器楽（合奏及び伴奏を含む。）	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	森 正, 山根 秀憲, 米田 佳子				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	1	3.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

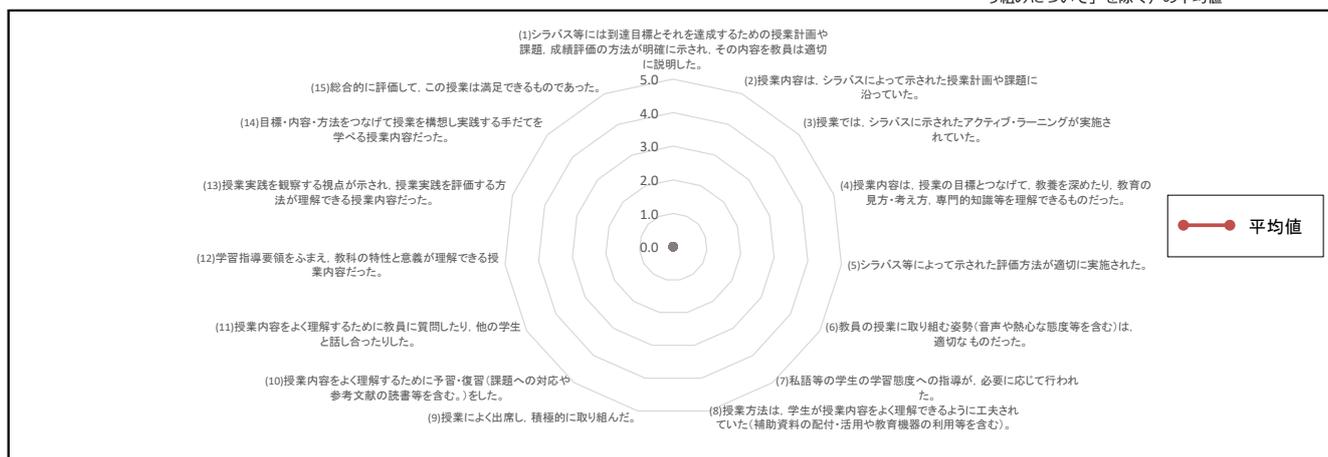
No.	659	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	日本の伝統音楽（和楽器）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	横山 佳世子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

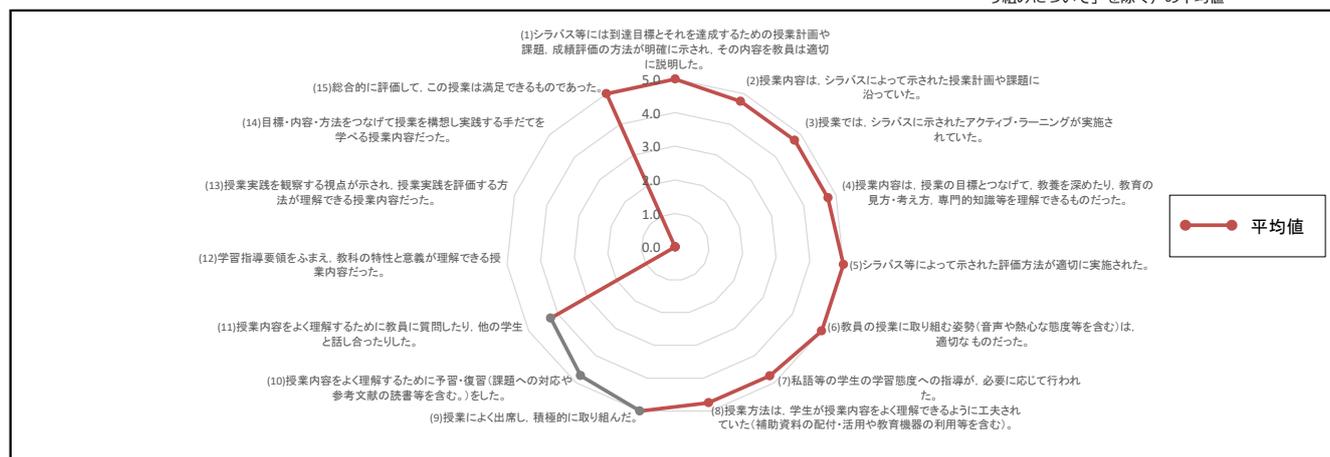
No.	660	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	ピアノ基礎 I	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	森 正, 米田 佳子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	3	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	3	0	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

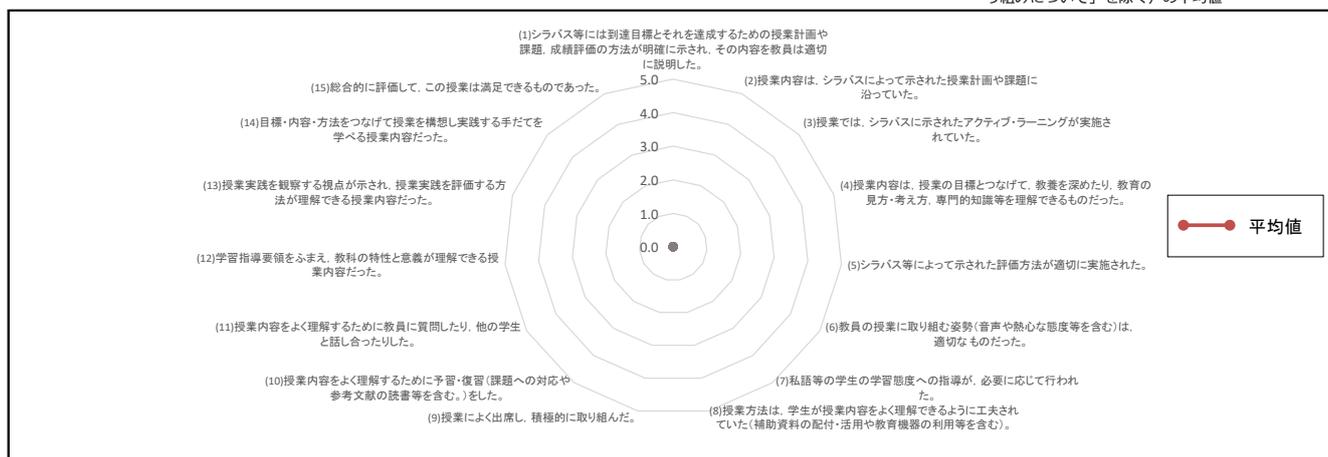
No.	661	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	ピアノ基礎Ⅱ		回答者数	0	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	森 正, 田中 巳穂				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

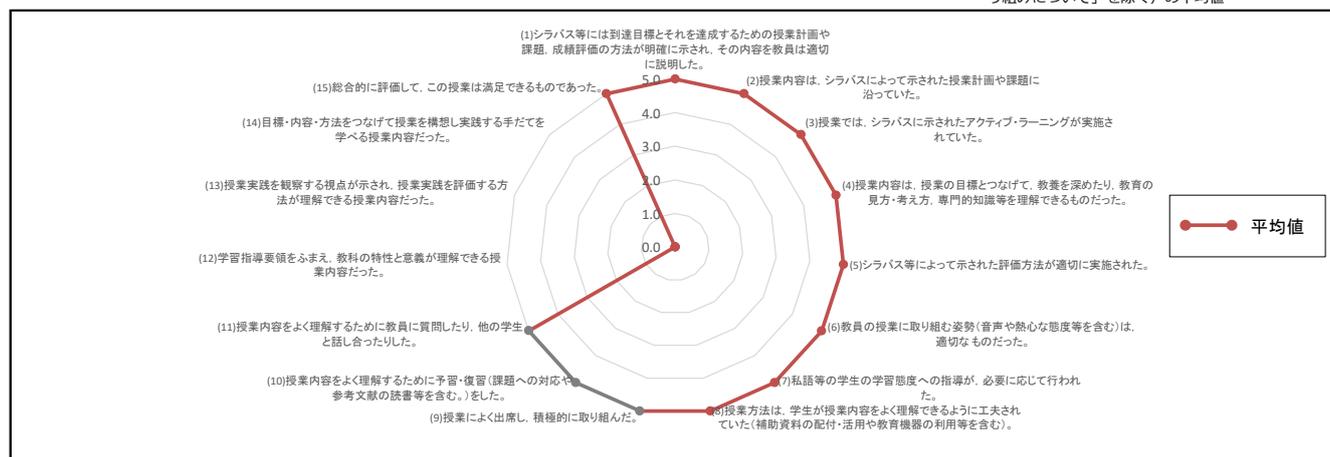
No.	662	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	ピアノ I	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	森 正, 田中 巳穂				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

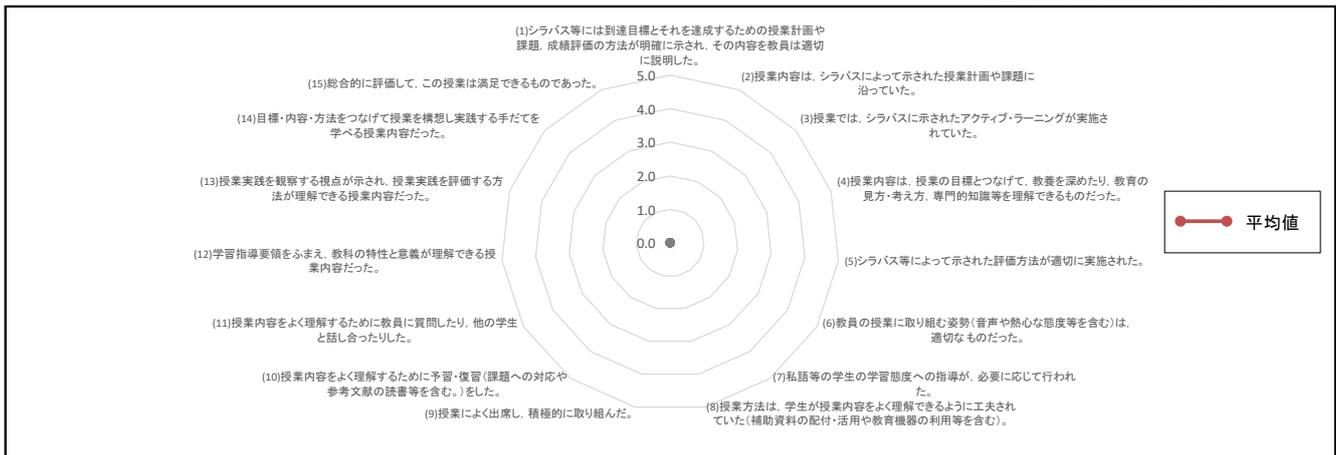
No.	663	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	管弦打楽器基礎 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山根 秀憲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

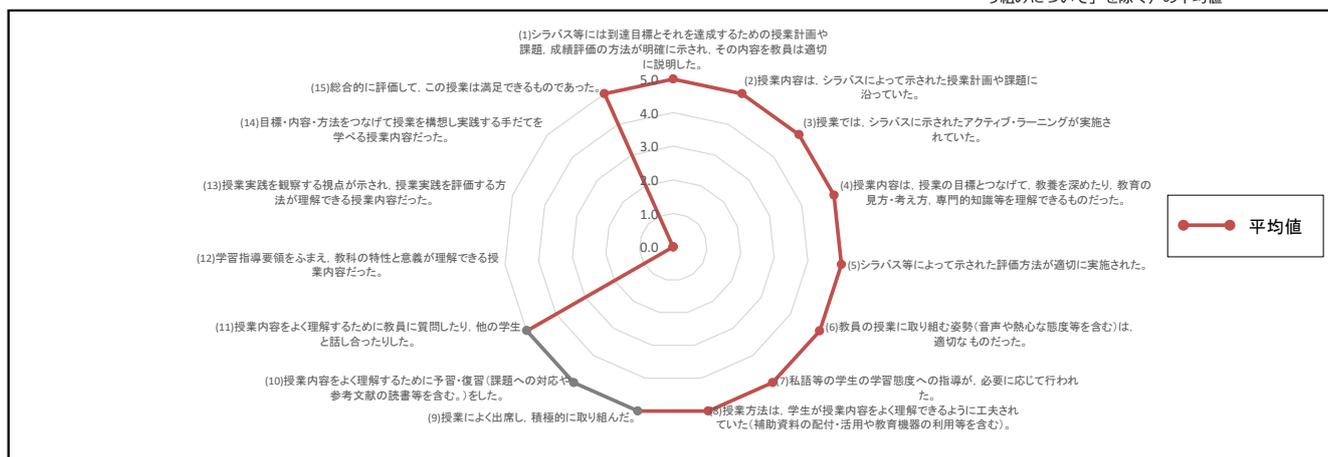
No.	664	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	管弦打楽器基礎Ⅱ	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山根 秀憲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

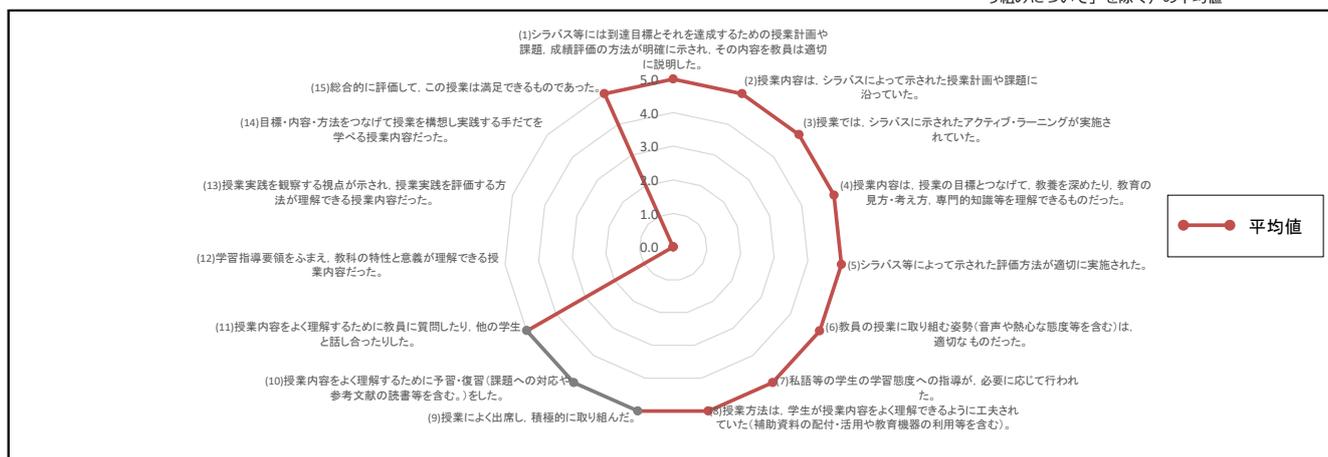
No.	665	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	管弦打楽器 I	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山根 秀憲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

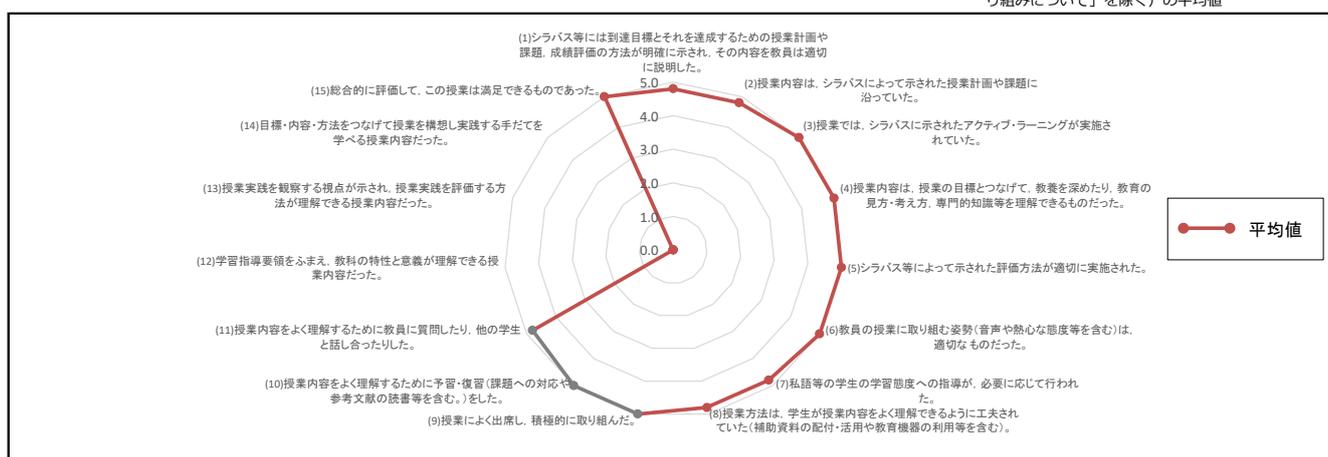
No.	666	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	指揮法	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山田 啓明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

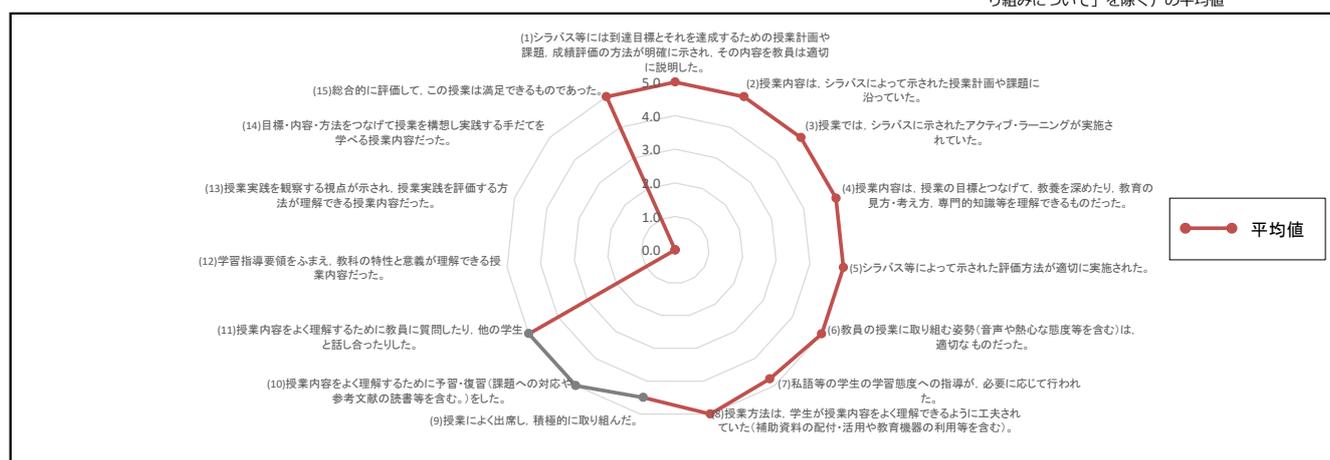
No.	667	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	指揮 I	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山田 啓明				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	0	1	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

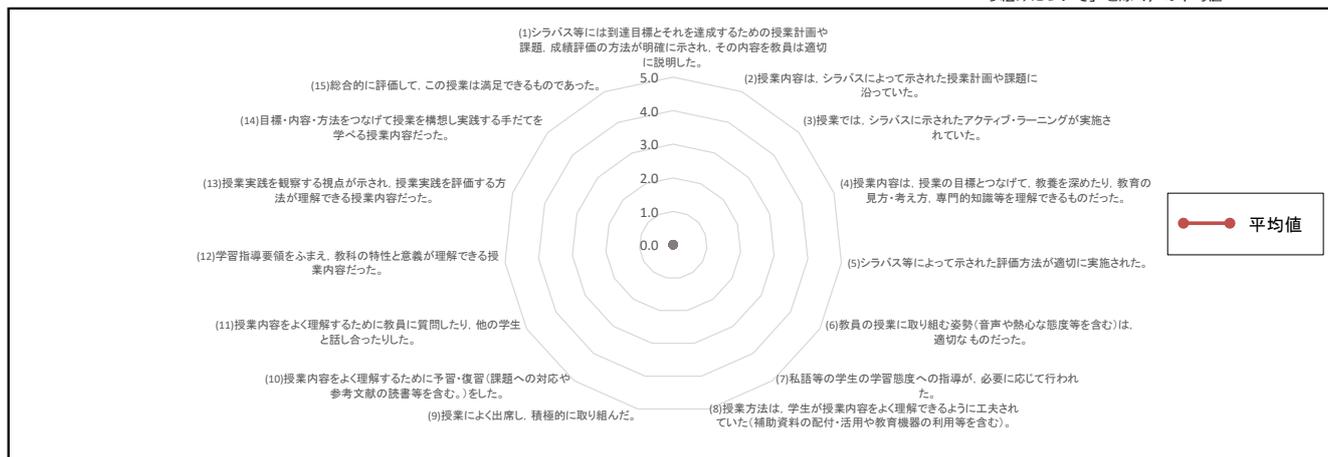
No.	668	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	合奏	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山根 秀憲				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

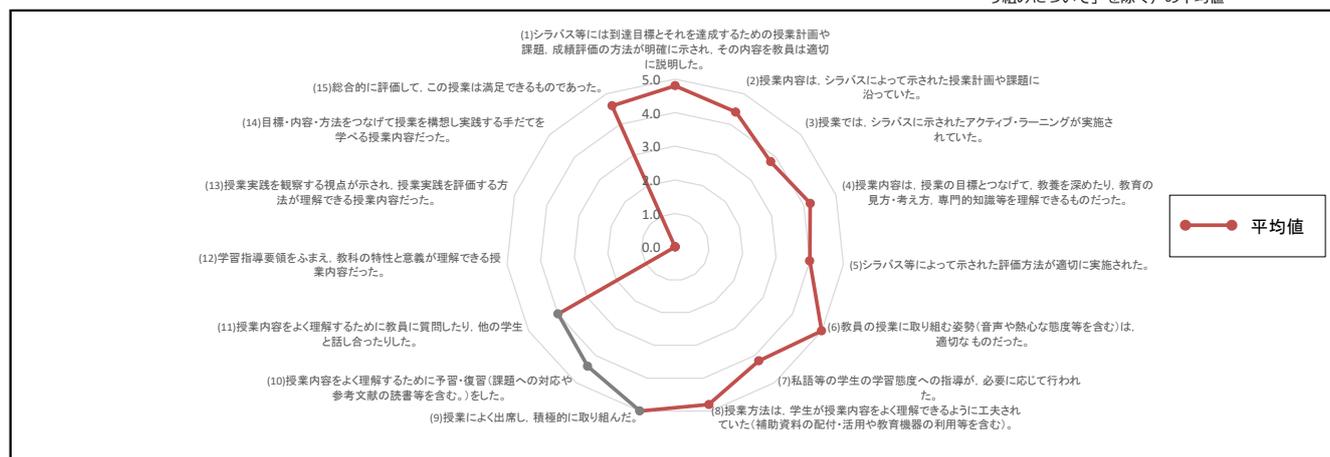
No.	669	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	音楽の理論と歴史	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	松岡 みち子, 高橋 美樹				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	1	0	0	4.4
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	2	2	0	0	3.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	2	2	1	0	0	4.2
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	2	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	2	1	0	0	4.2
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	1	2	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	4.6

総合評価	4.4
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

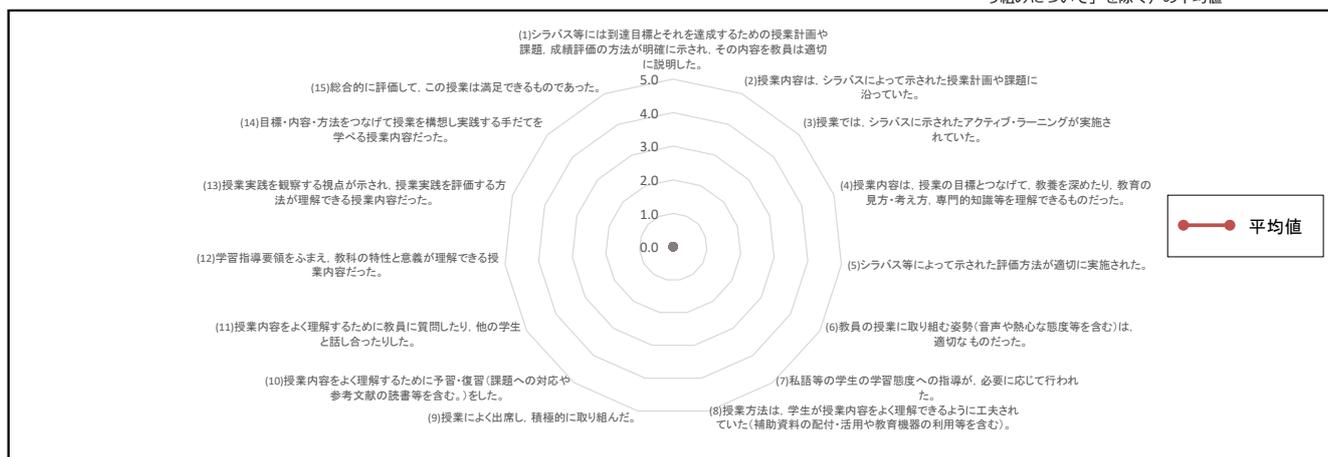
No.	670	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	音楽通論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	松岡 みち子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

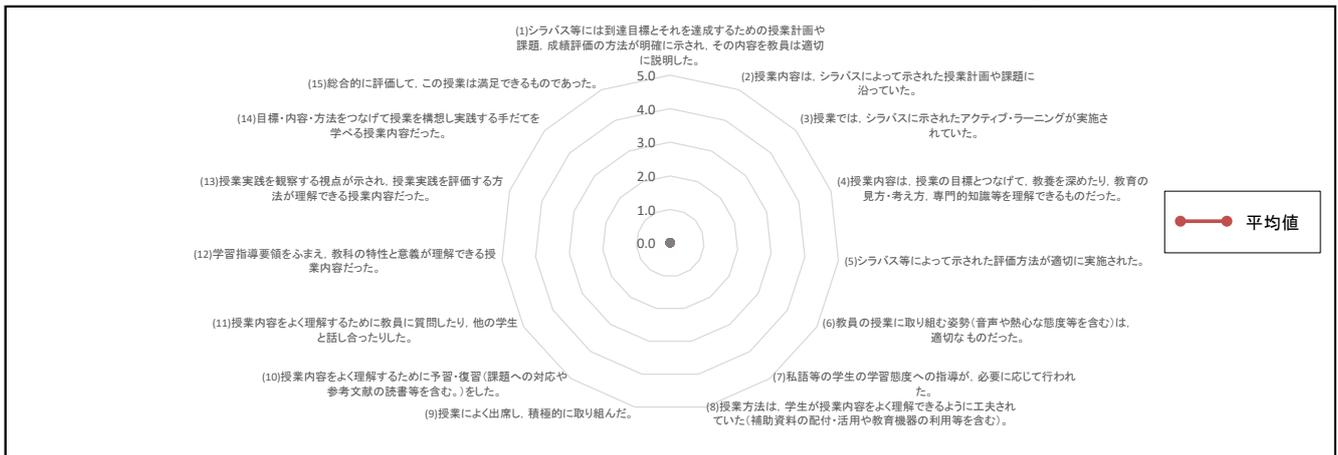
No.	671	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	作曲法	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	松岡 みち子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

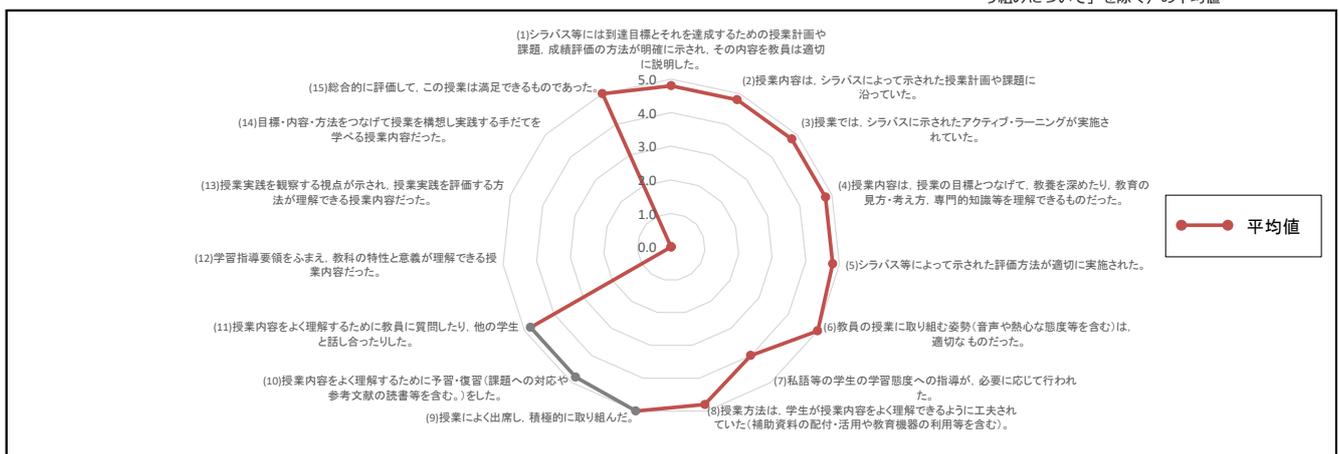
No.	672	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	絵画 I	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鈴木 久人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	2	1	2	0	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

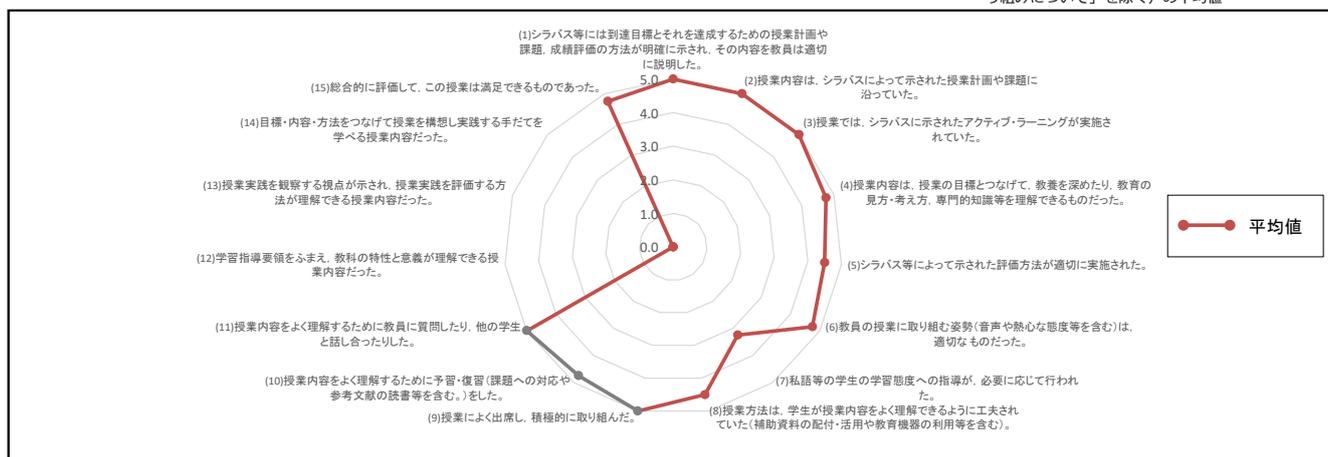
No.	673	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	絵画Ⅱ	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鈴木 久人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	2	1	0	3.3
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	0	1	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

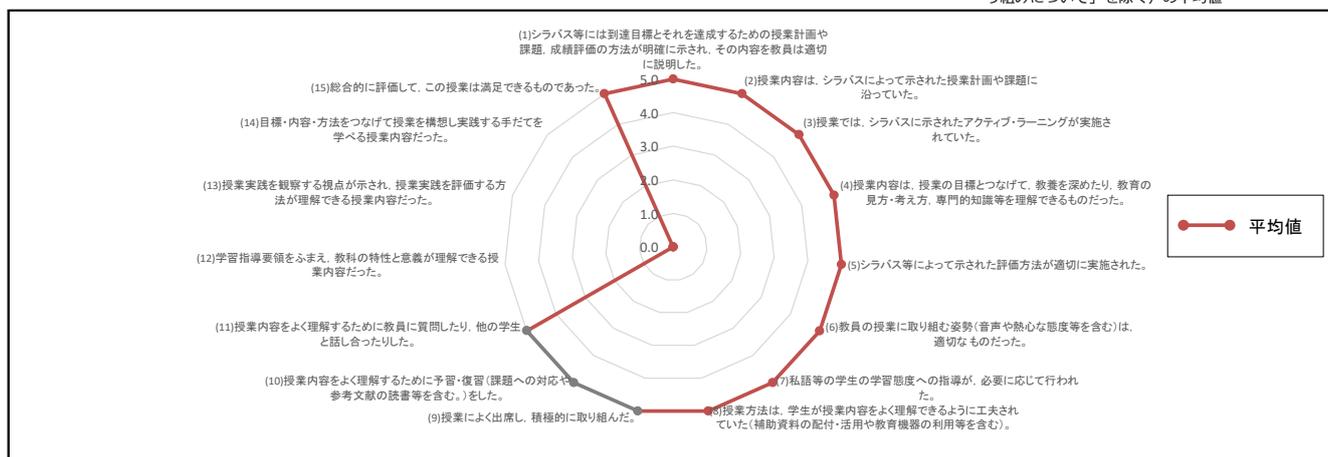
No.	674	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	絵画材料研究	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鈴木 久人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

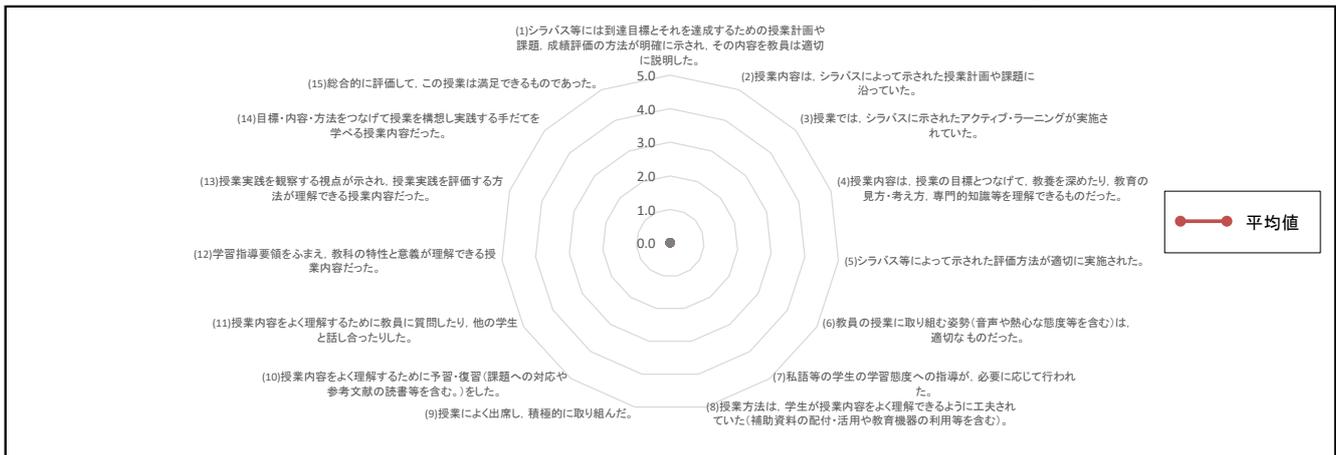
No.	675	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	絵画特別演習 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鈴木 良治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

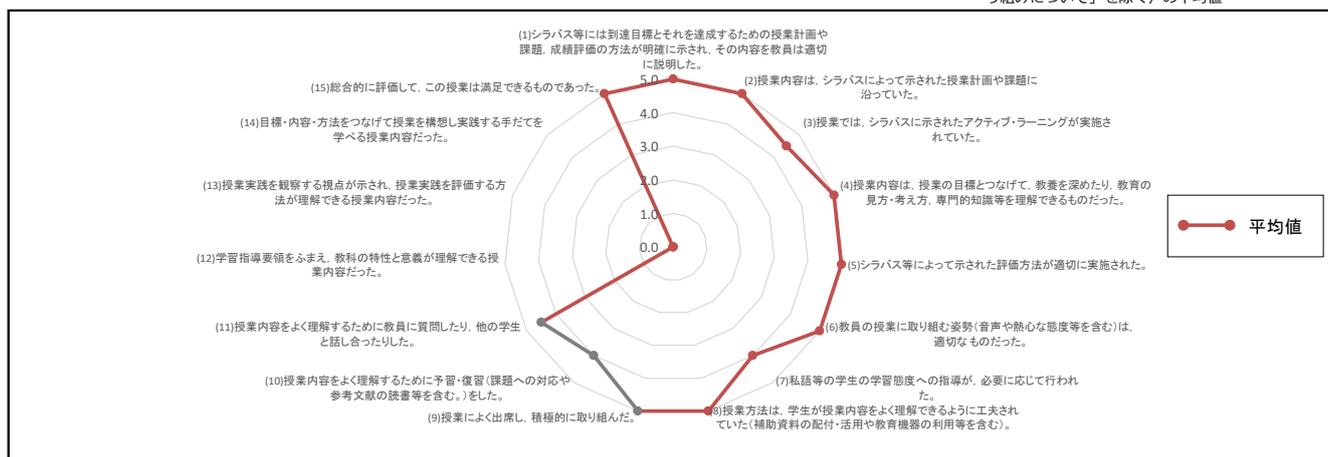
No.	676	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	絵画特別演習Ⅱ	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鈴木 良治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	0	1	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

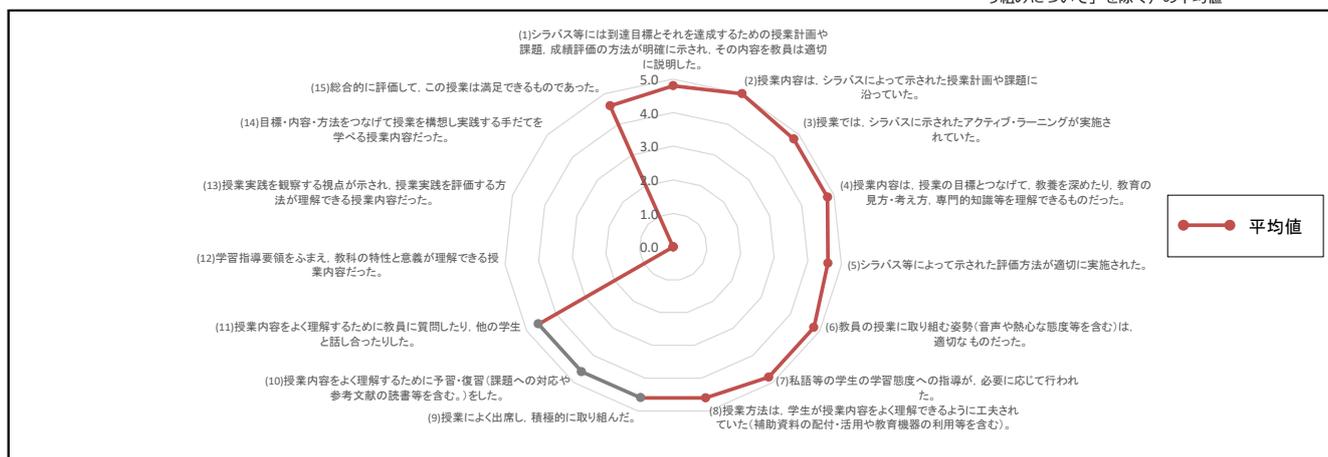
No.	677	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	素描	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	鈴木 久人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	2	0	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	1	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	0	1	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	2	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	4.6

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

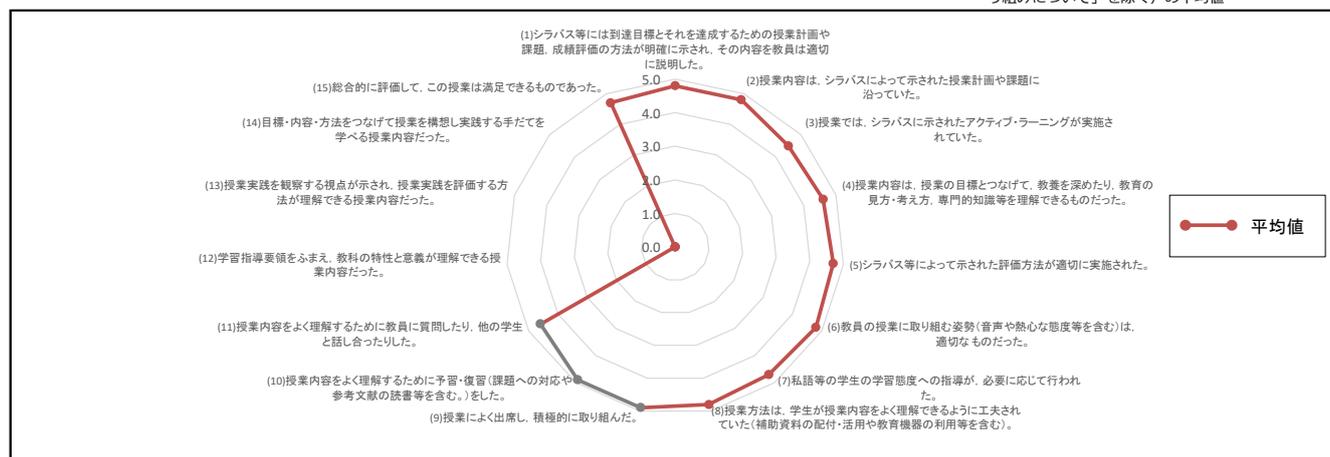
No.	678	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	彫刻 I	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	0	1	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	0	1	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	1	0	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	1	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	1	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	3	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	9	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	2	1	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	3	0	0	0	4.7

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

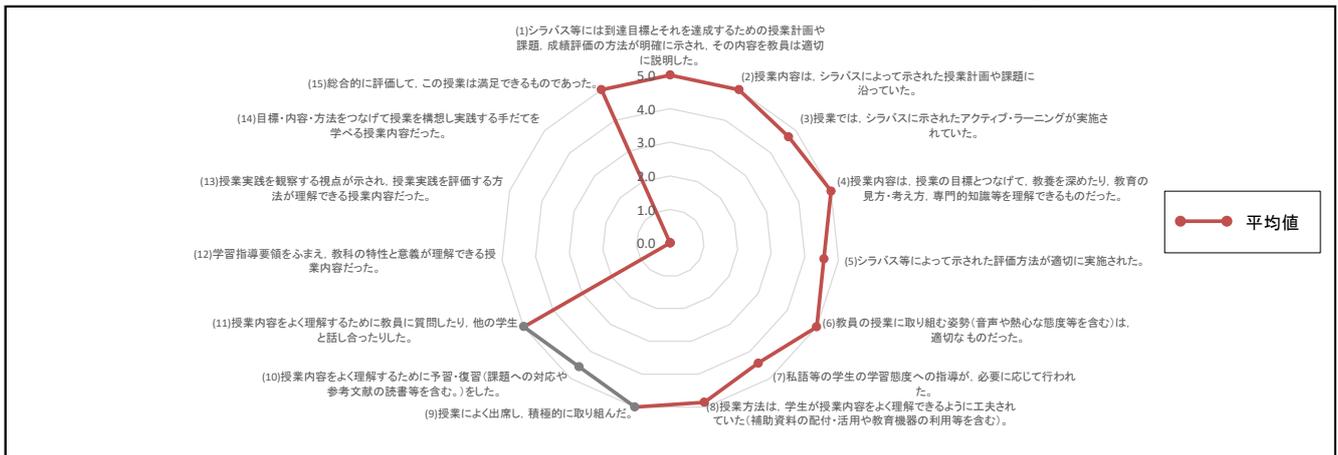
No.	679	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	彫刻Ⅱ	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	0	1	0	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	4	2	1	0	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	3	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

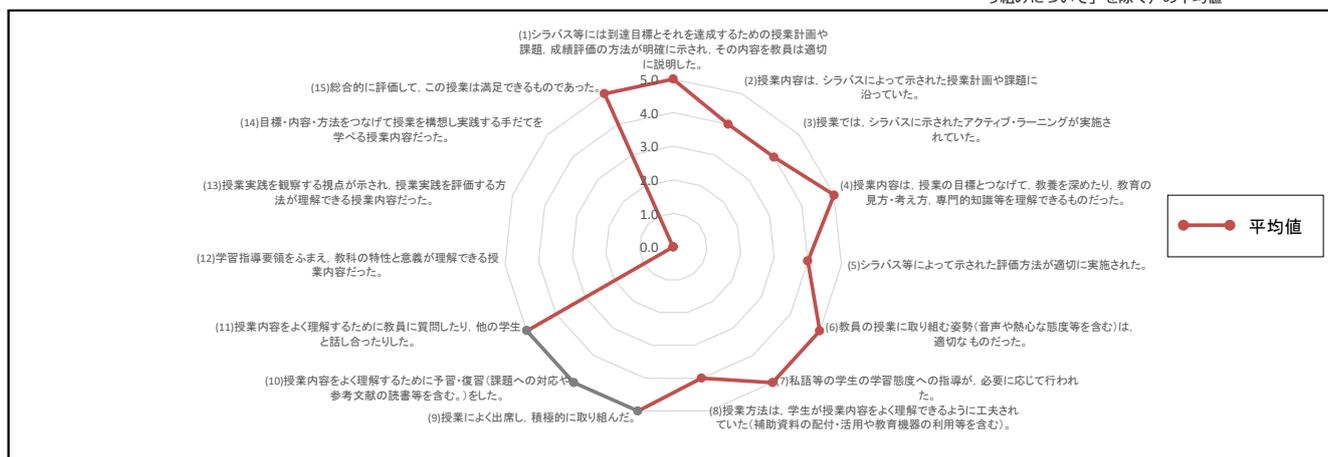
No.	680	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	彫刻特別演習	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	武内 優記				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	0	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	1	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

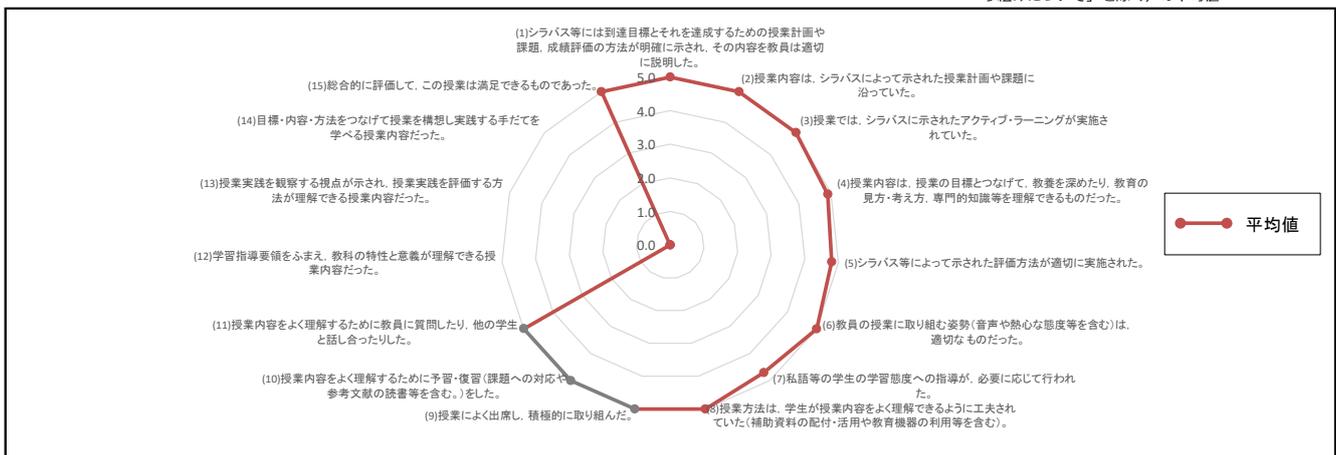
No.	681	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	構成・デザイン I	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	内藤 隆				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	10	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	10	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	9	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	10	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	8	1	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	10	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	10	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	10	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

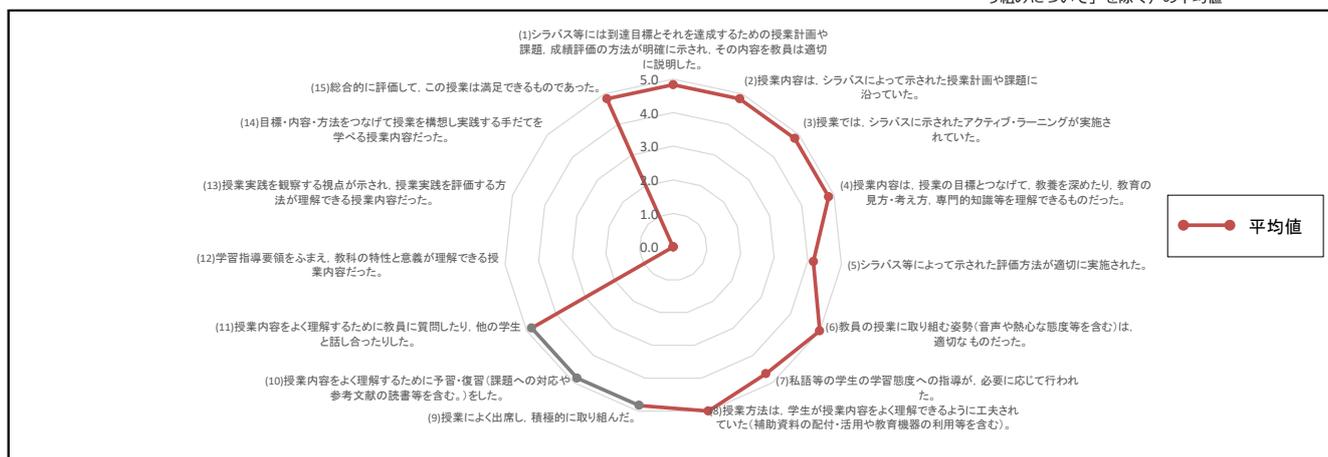
No.	682	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	構成・デザインⅡ	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	内藤 隆				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	2	0	0	4.2
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	0	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	6	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	5	1	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	5	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

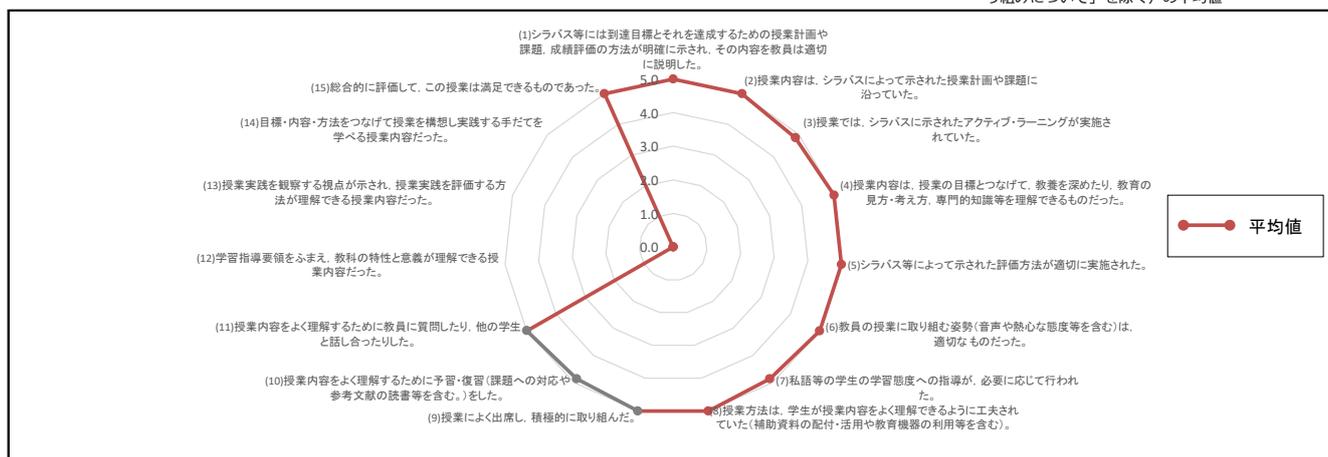
No.	683	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	工芸 I	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	栗原 慶				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	6	1	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	6	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

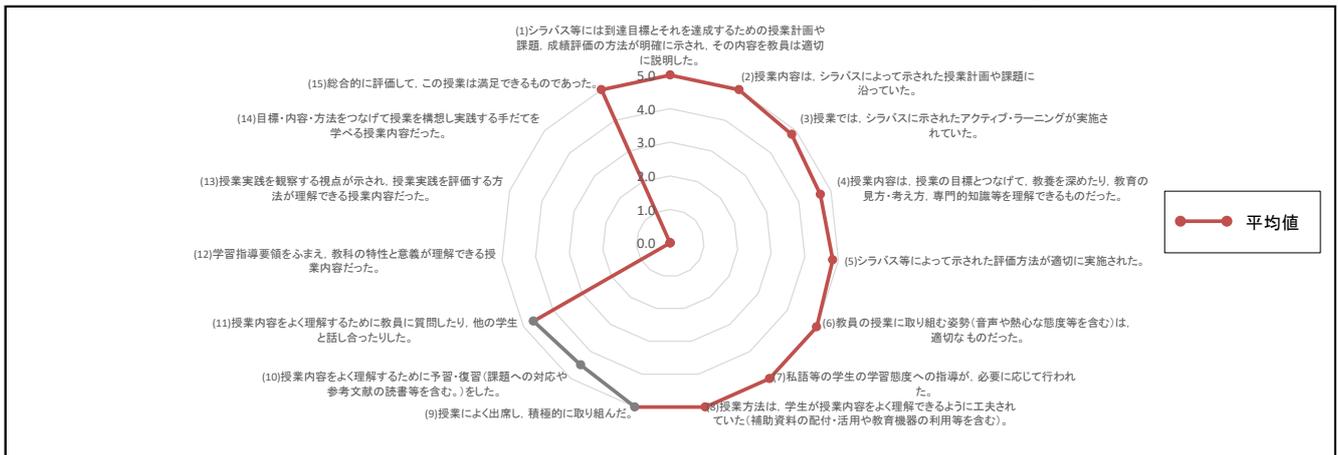
No.	684	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	工芸Ⅱ	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	栗原 慶				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	1	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	1	1	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

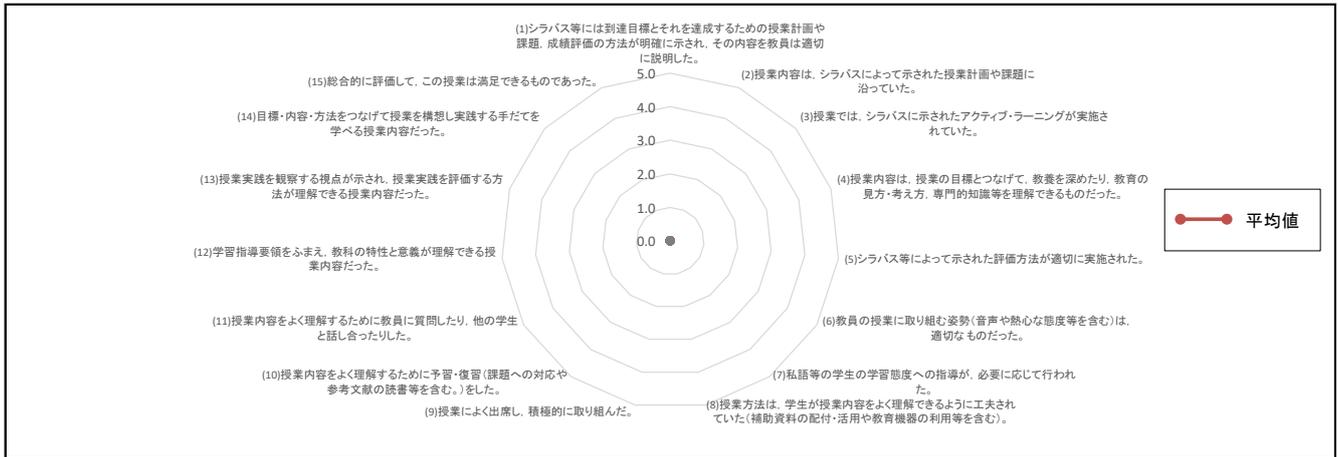
No.	685	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	美術理論・美術史 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	小川 勝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

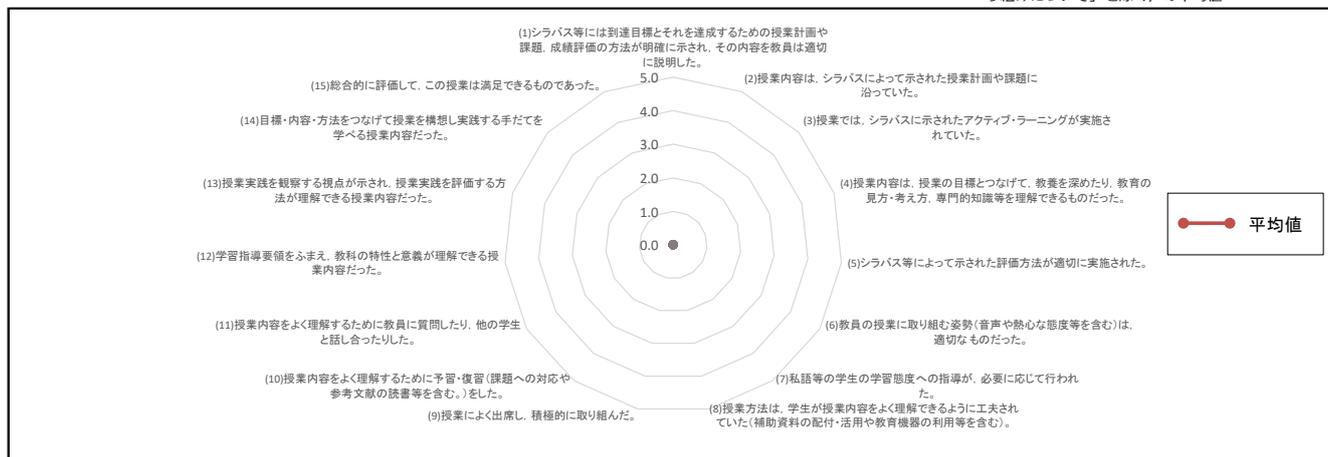
No.	686	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	運動方法 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	藤田 雅文				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

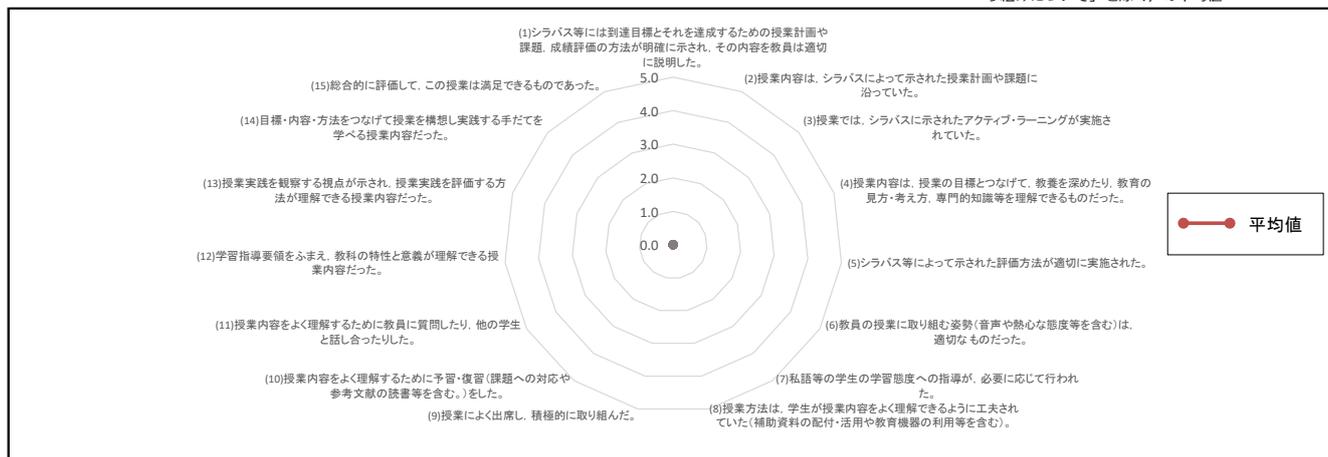
No.	687	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	運動方法Ⅳ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	土岡 大介				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

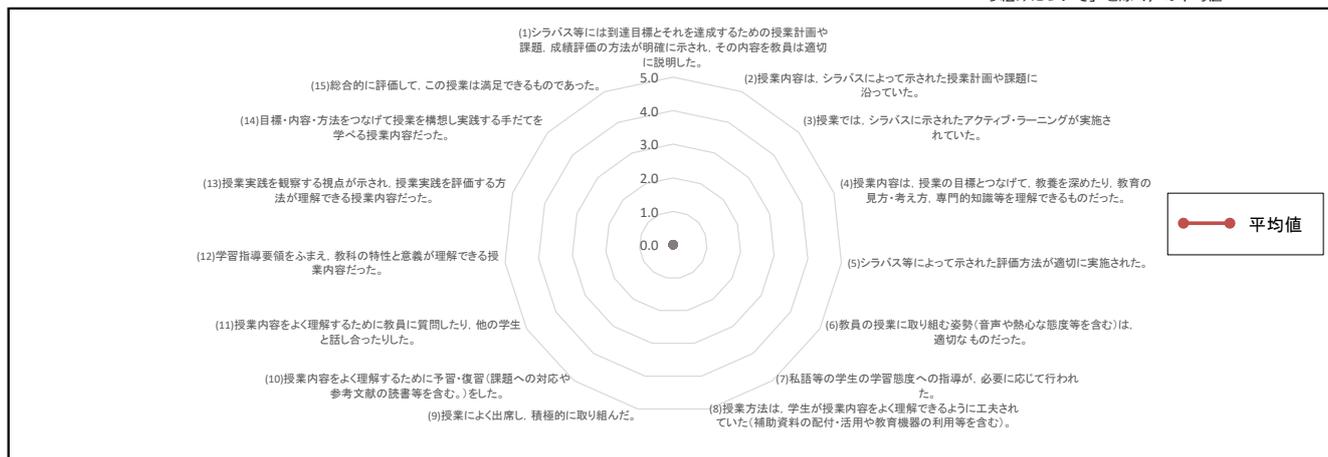
No.	688	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	運動方法V(新課程)	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	林 夏木, 南 隆尚, 泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

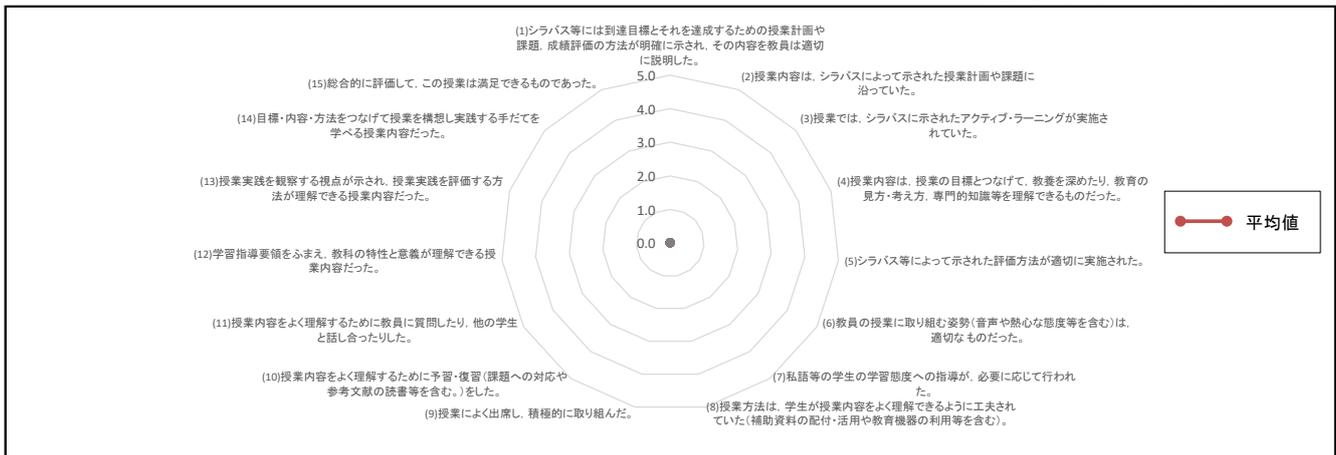
No.	689	評価実施日	令和5年2月16日		
授業科目名	運動方法VI	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	南 隆尚, 松井 敦典				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

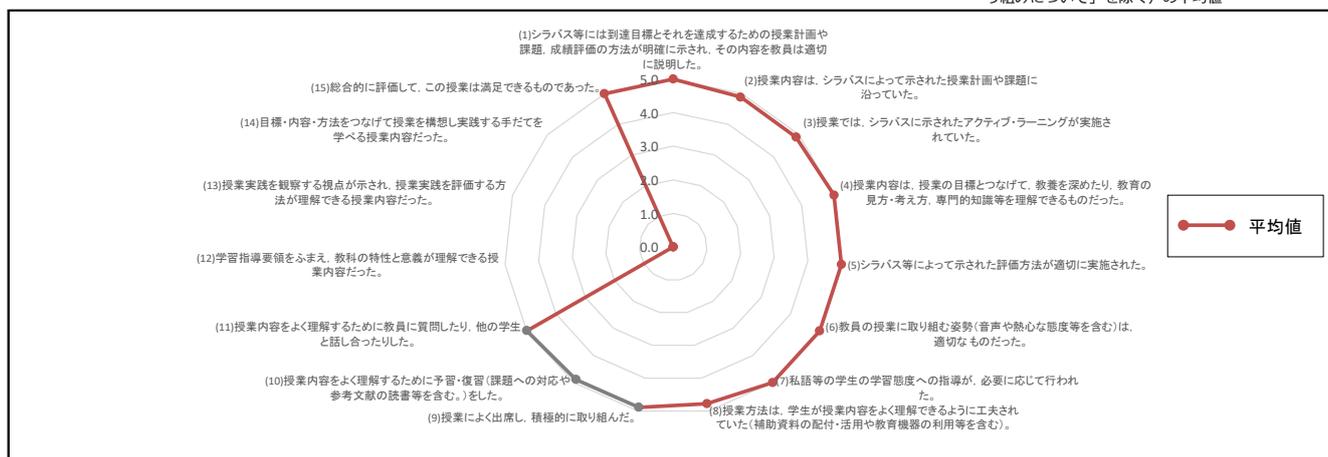
No.	690	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	運動方法Ⅶ（新課程）	回答者数	9	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	福多 雅英				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	9	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	1	0	0	0	4.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	9	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	9	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

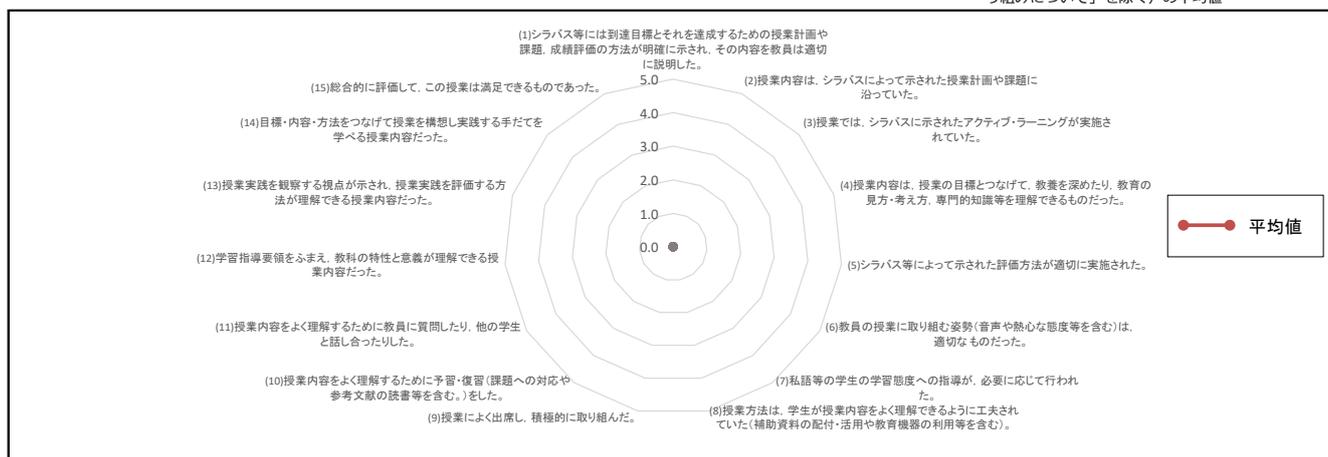
No.	691	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	運動方法Ⅷ（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	南 隆尚				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

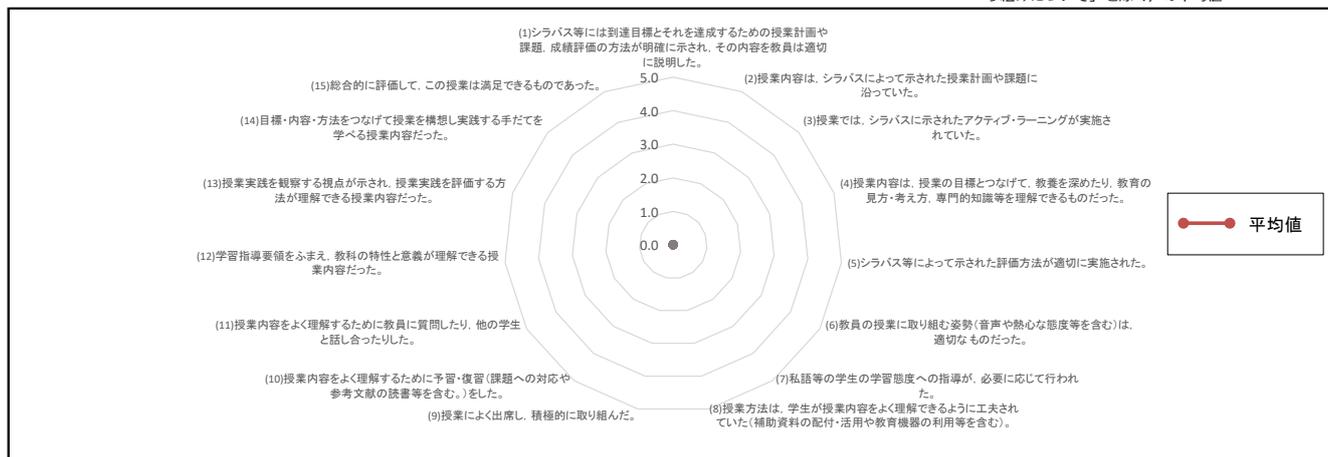
No.	692	評価実施日	令和5年6月9日		
授業科目名	体育哲学 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	綿引 勝美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

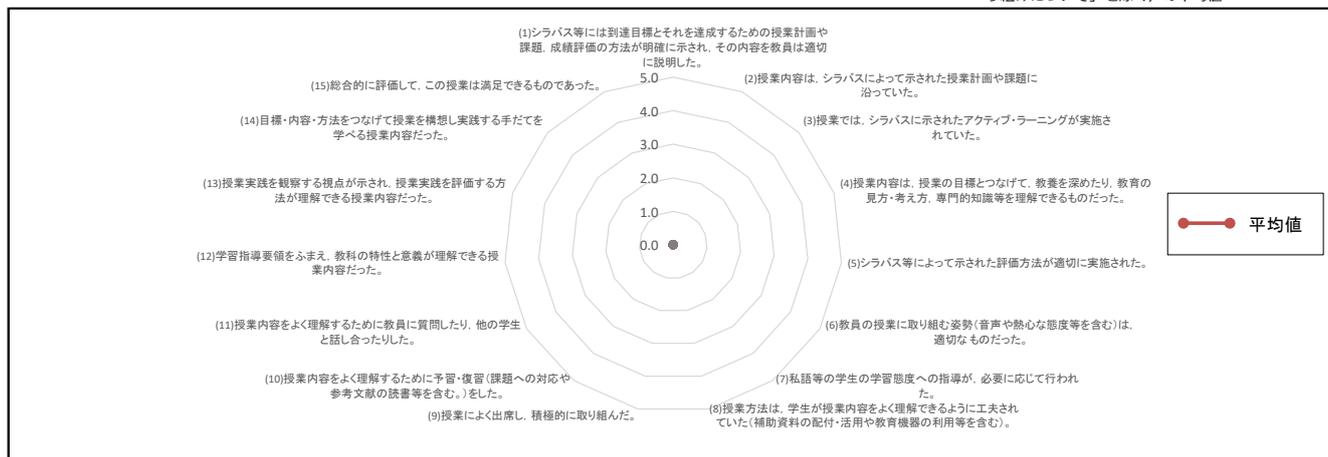
No.	693	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	体育哲学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	綿引 勝美				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

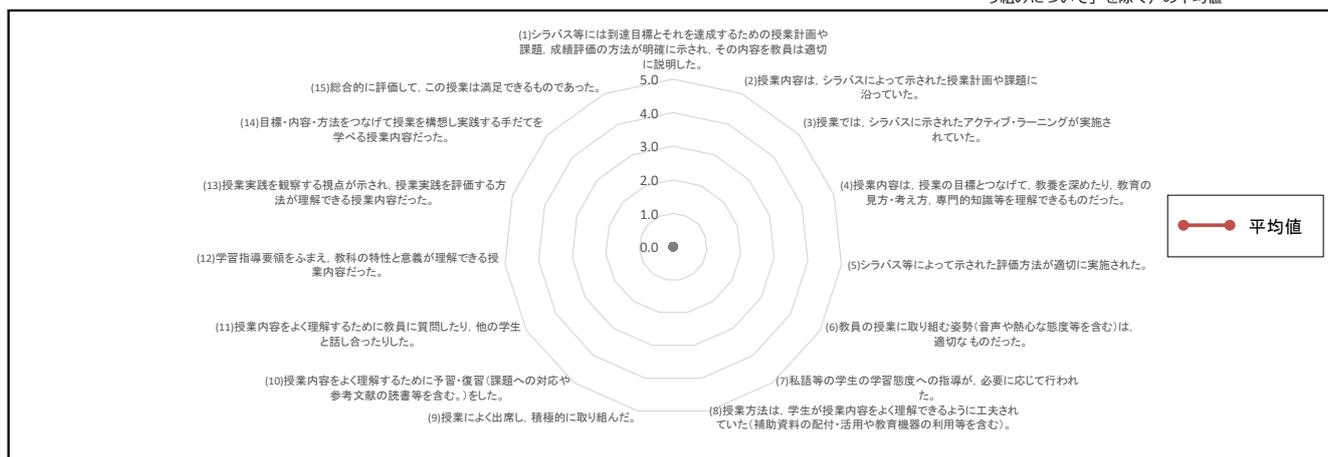
No.	694	評価実施日	令和4年8月23日		
授業科目名	体育心理学 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	中塚 健太郎				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

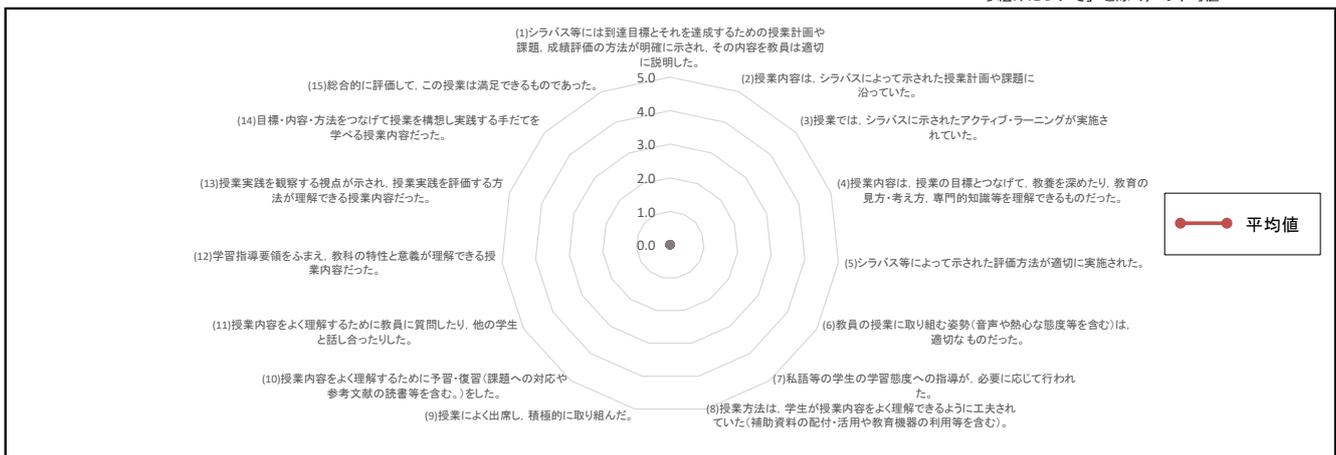
No.	695	評価実施日	令和4年8月27日		
授業科目名	体育心理学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	中塚 健太郎				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

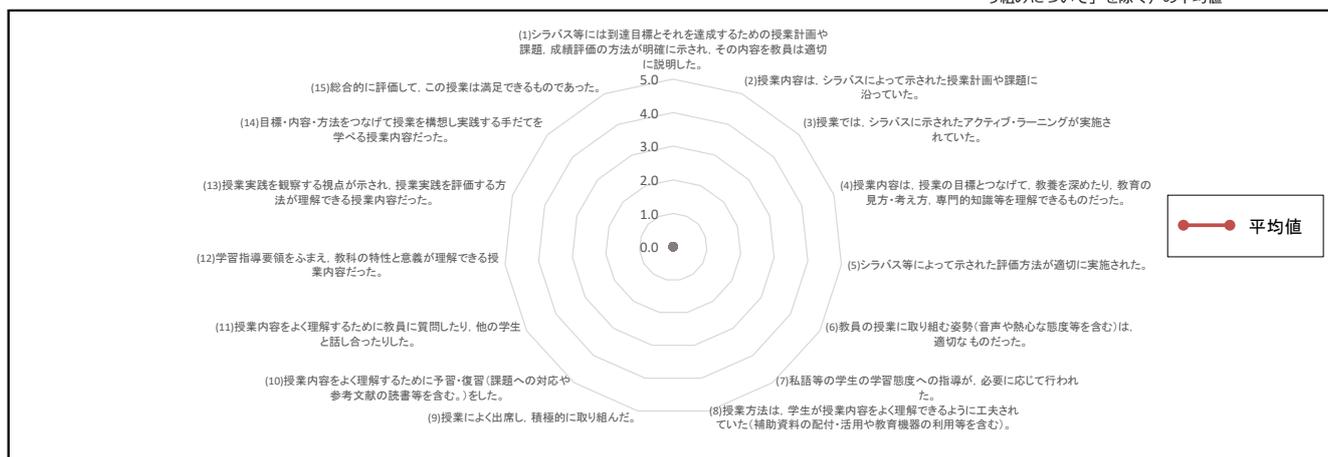
No.	696	評価実施日	令和4年11月28日		
授業科目名	体育経営管理学 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	藤田 雅文				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

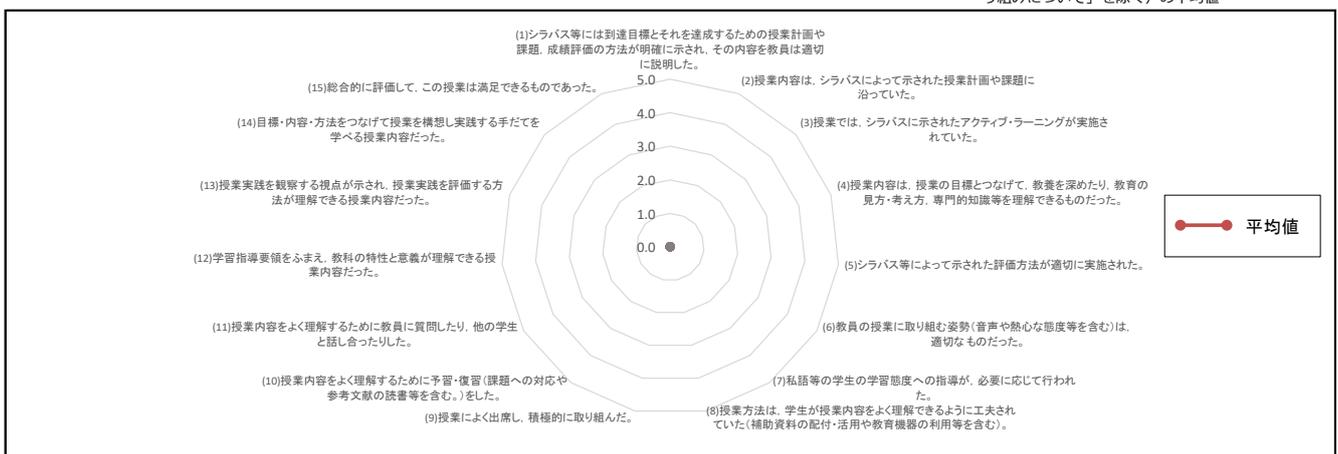
No.	697	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	体育経営管理学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	藤田 雅文				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

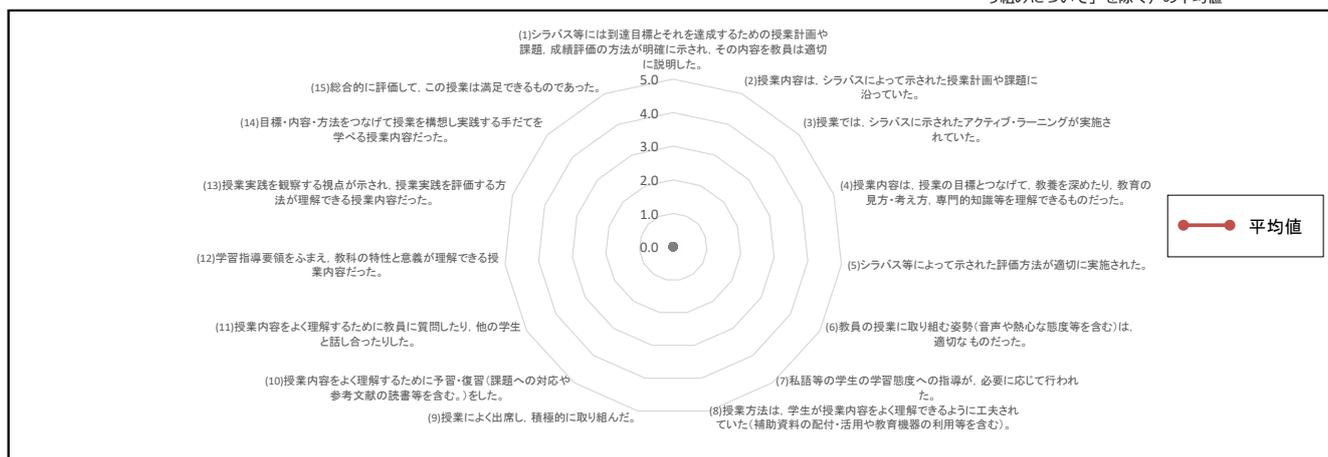
No.	698	評価実施日	令和4年8月25日		
授業科目名	体育社会学 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	佐藤 充宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

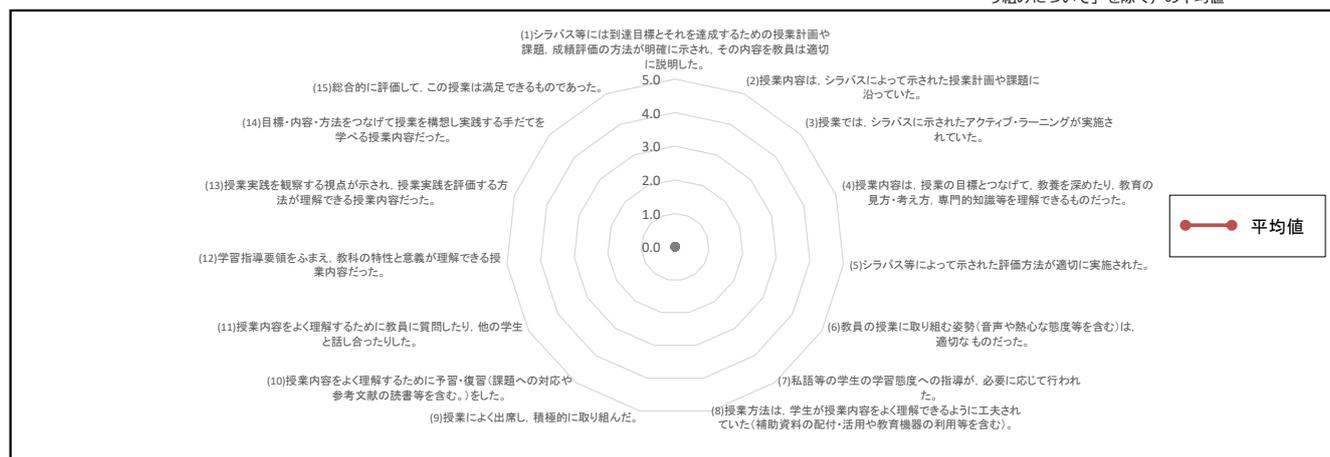
No.	699	評価実施日	令和4年12月18日		
授業科目名	体育社会学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	佐藤 充宏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

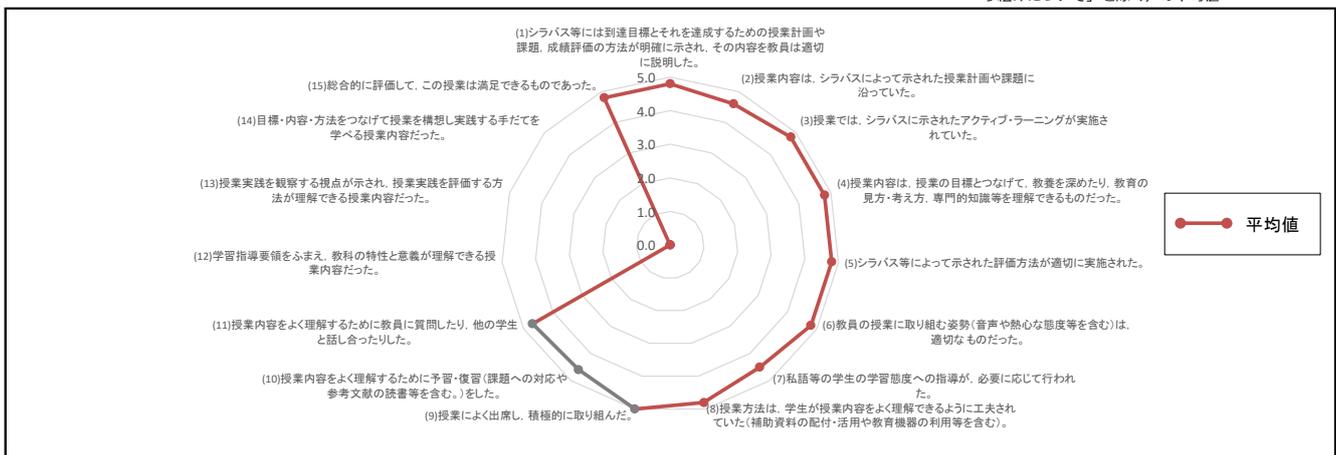
No.	700	評価実施日	令和4年11月28日		
授業科目名	運動学 I	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	松井 敦典				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	8	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	1	0	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	7	1	2	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	8	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	8	1	0	1	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	7	3	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	9	0	1	0	0	4.8

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

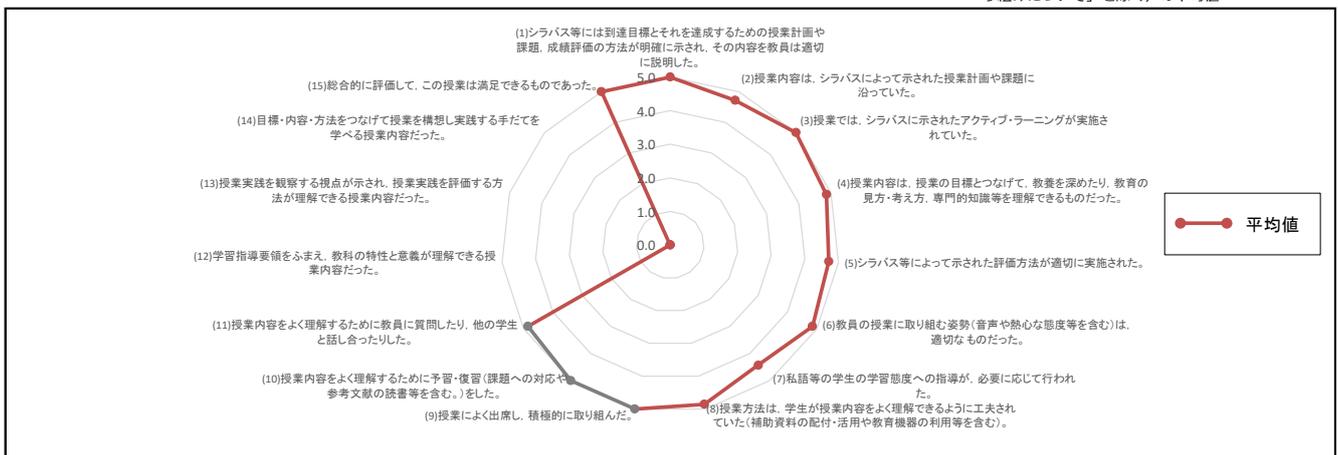
No.	701	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	運動学Ⅱ	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	松井 敦典				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	1	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	2	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	0	2	0	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	1	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

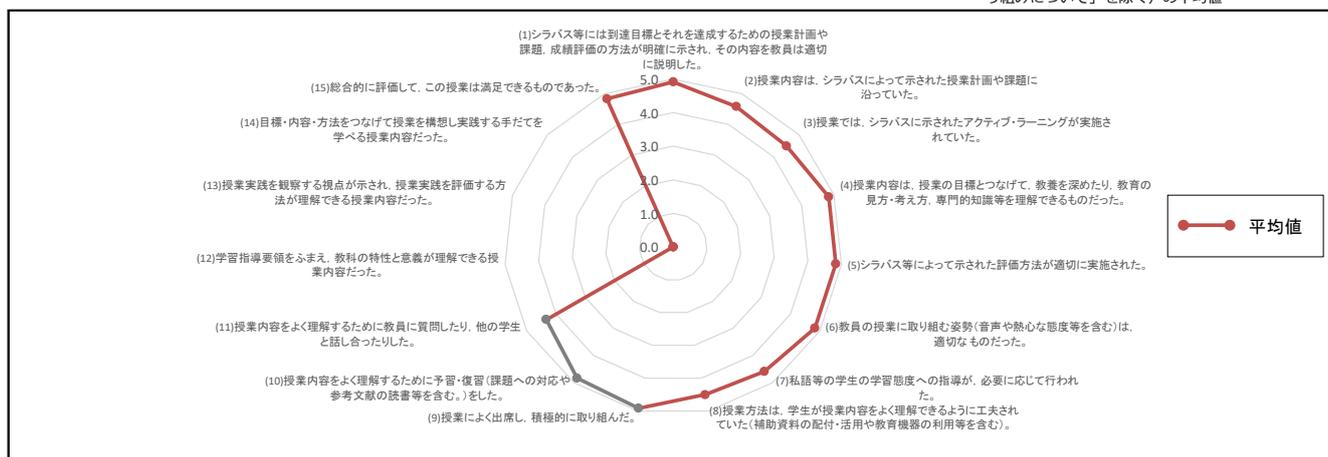
No.	702	評価実施日	令和4年12月1日		
授業科目名	生理学 I	回答者数	12	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	田中 弘之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	11	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	3	1	0	0	4.6
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	2	2	0	0	4.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	11	0	1	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	10	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	8	3	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	7	4	1	0	0	4.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	10	2	0	0	0	4.8
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	4	2	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	10	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

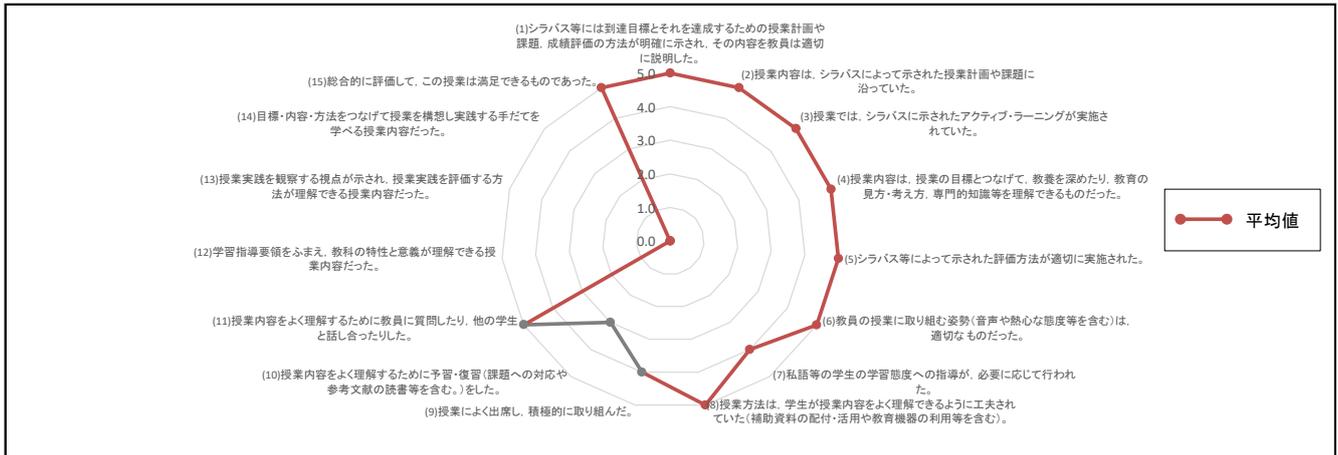
No.	703	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	生理学Ⅱ	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	田中 弘之				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	1	0	0	0	4.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	1	0	0	3.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

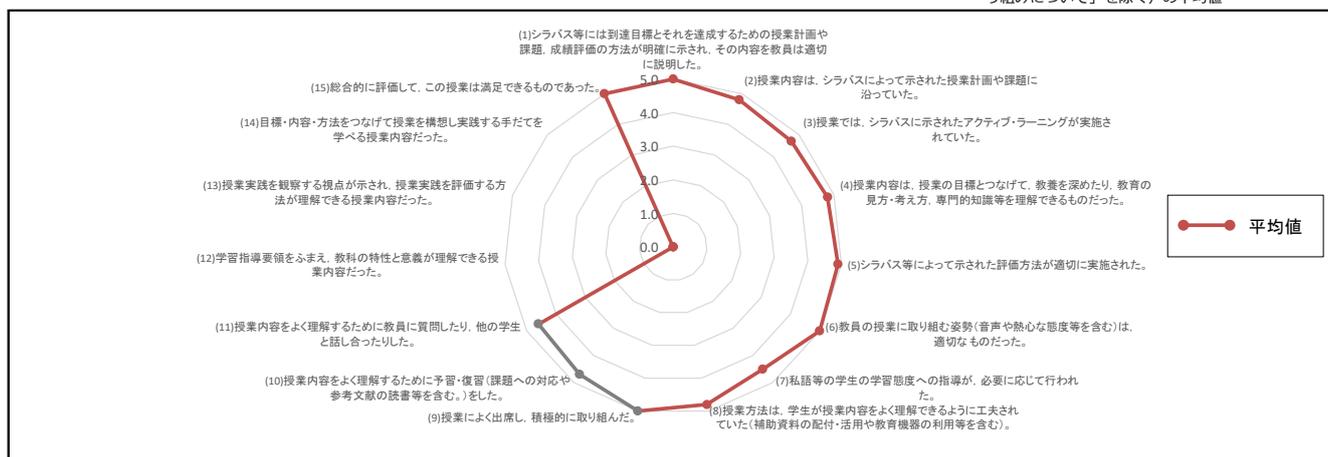
No.	704	評価実施日	令和4年11月29日		
授業科目名	衛生学・公衆衛生学 I	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	10	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	1	0	0	4.7
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	0	1	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	10	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	3	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	8	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	8	1	1	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	0	2	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	10	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

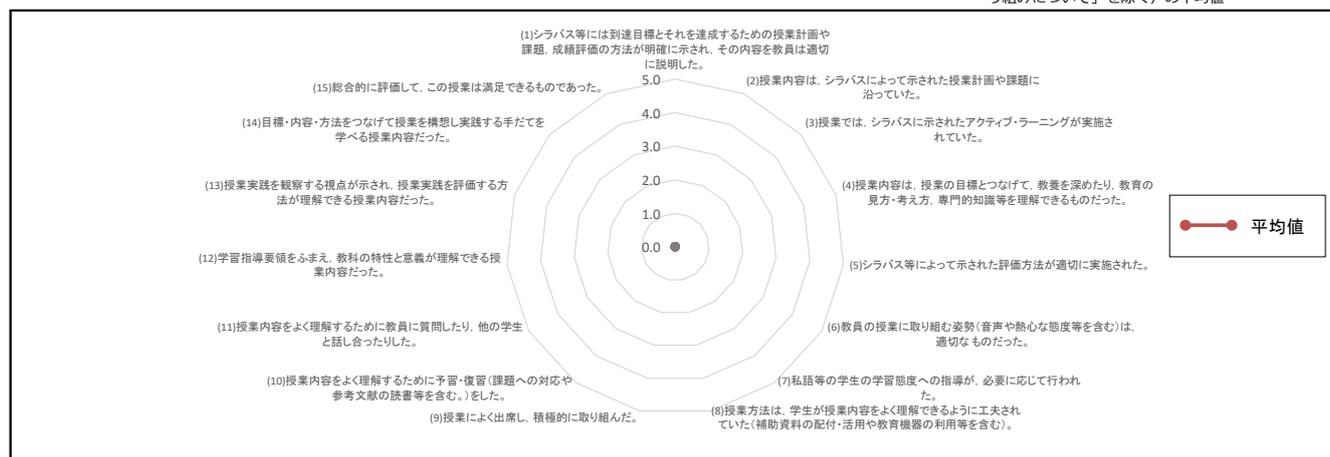
No.	705	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	衛生学・公衆衛生学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

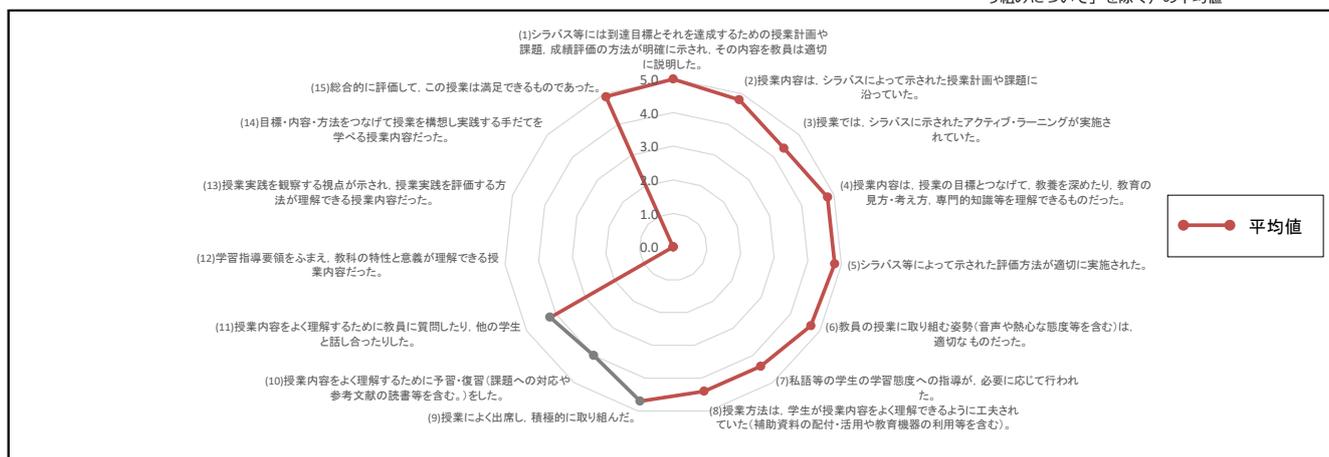
No.	706	評価実施日	令和4年11月28日		
授業科目名	学校保健 I	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	10	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	3	0	1	0	4.4
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	1	1	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	0	3	0	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	6	3	0	1	0	4.4
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	3	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	5	2	1	2	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	3	1	1	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

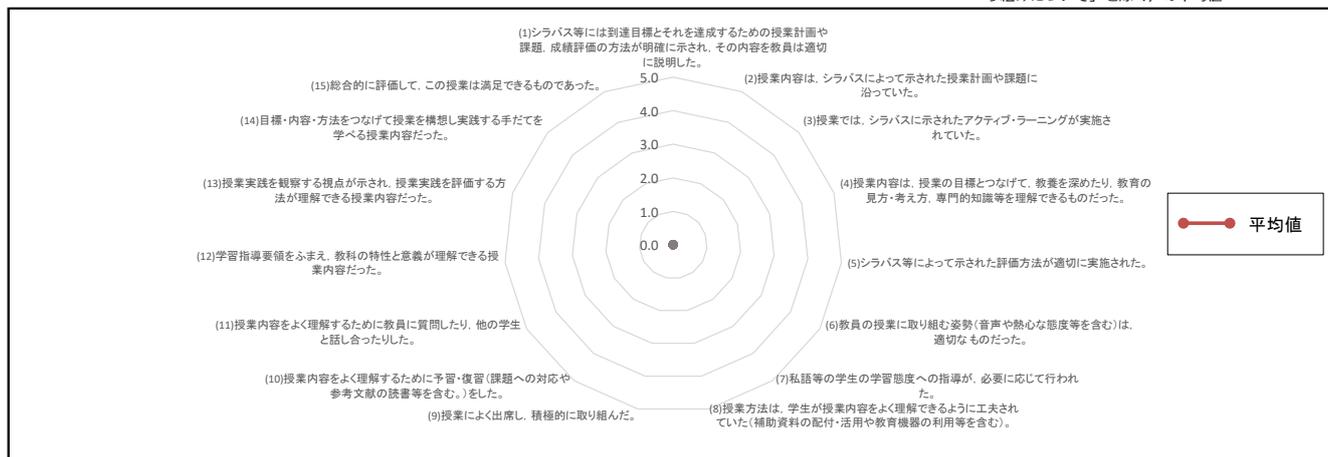
No.	707	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	学校保健Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	泉 彩夏				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

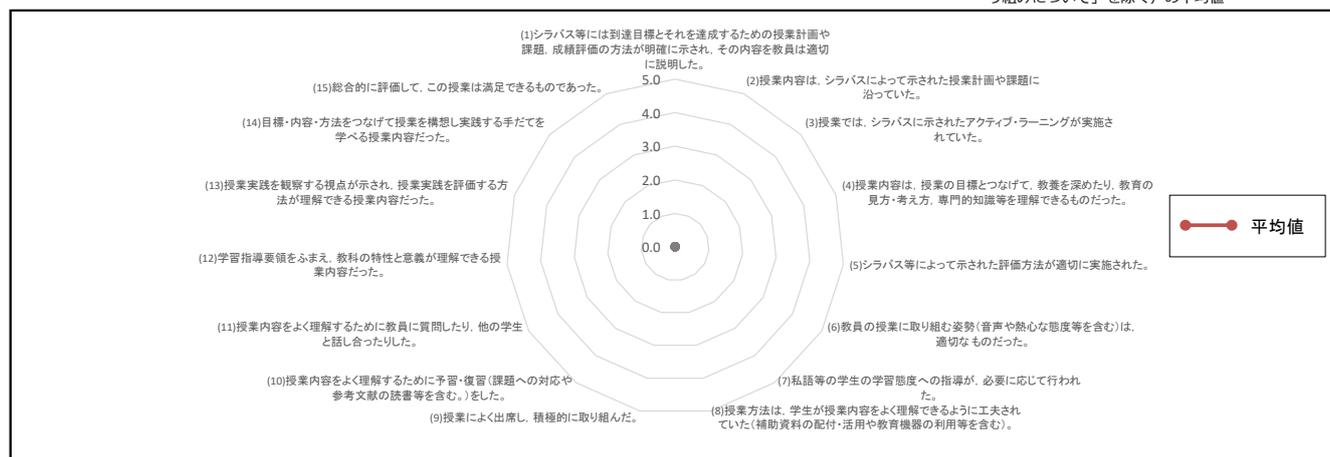
No.	708	評価実施日	令和5年6月9日		
授業科目名	材料加工学 I	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	米延 仁志, 尾崎 士郎				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

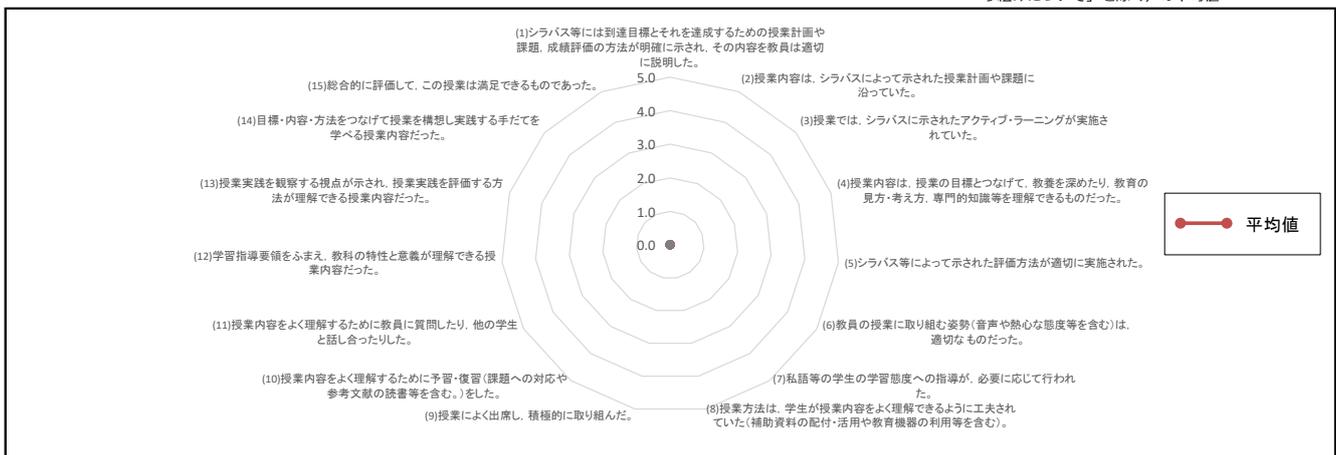
No.	709	評価実施日	令和5年6月9日		
授業科目名	材料加工学Ⅱ	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	米延 仁志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

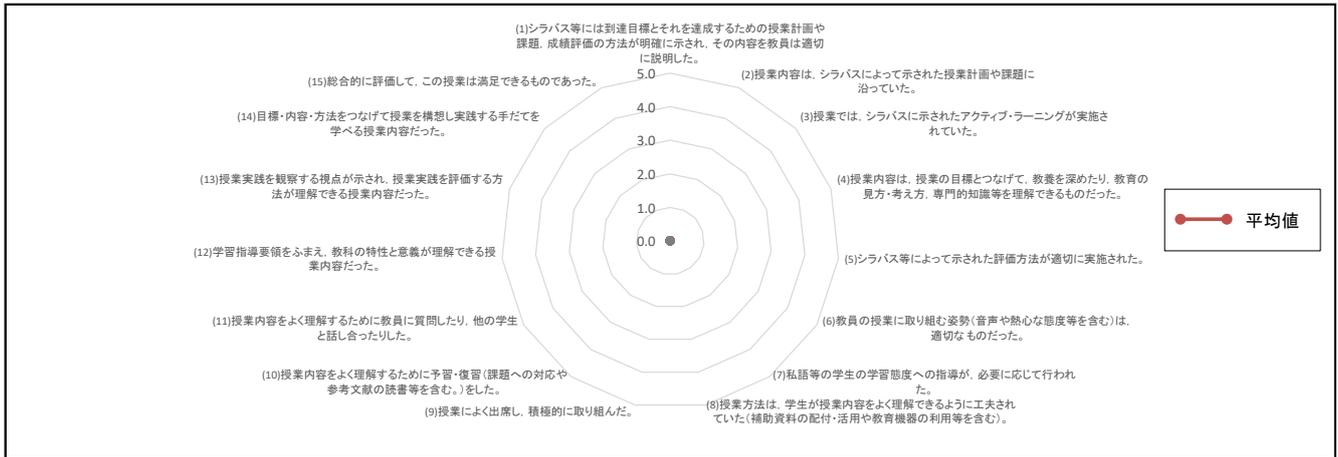
No.	710	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	工業材料概論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	米延 仁志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

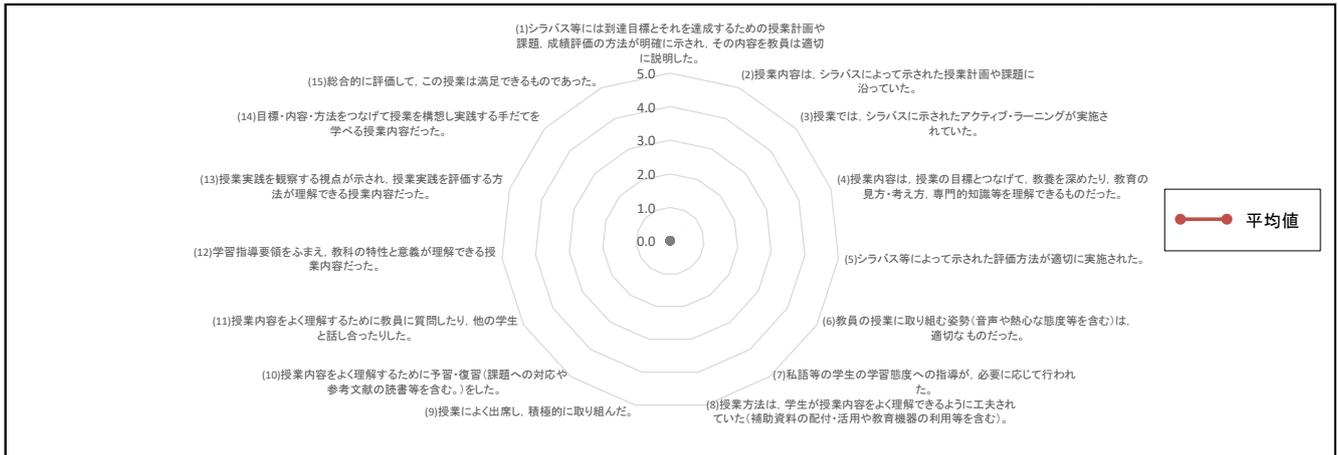
No.	711	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	機械基礎（実習を含む。）		回答者数	0	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮下 晃一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

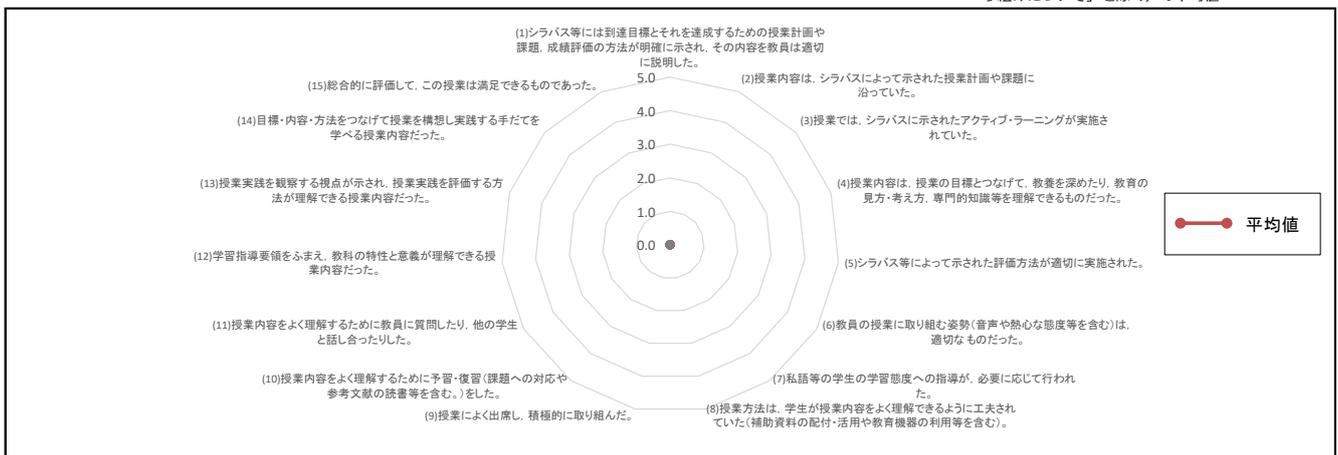
No.	712	評価実施日	令和5年2月7日		
授業科目名	機械工学（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮下 晃一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

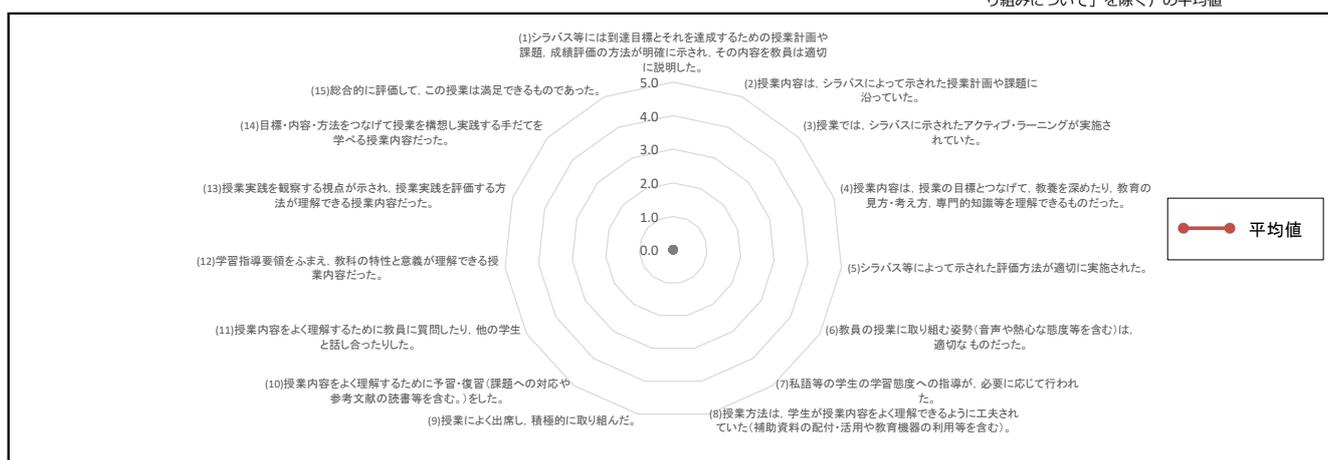
No.	713	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	設計製図	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮下 晃一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

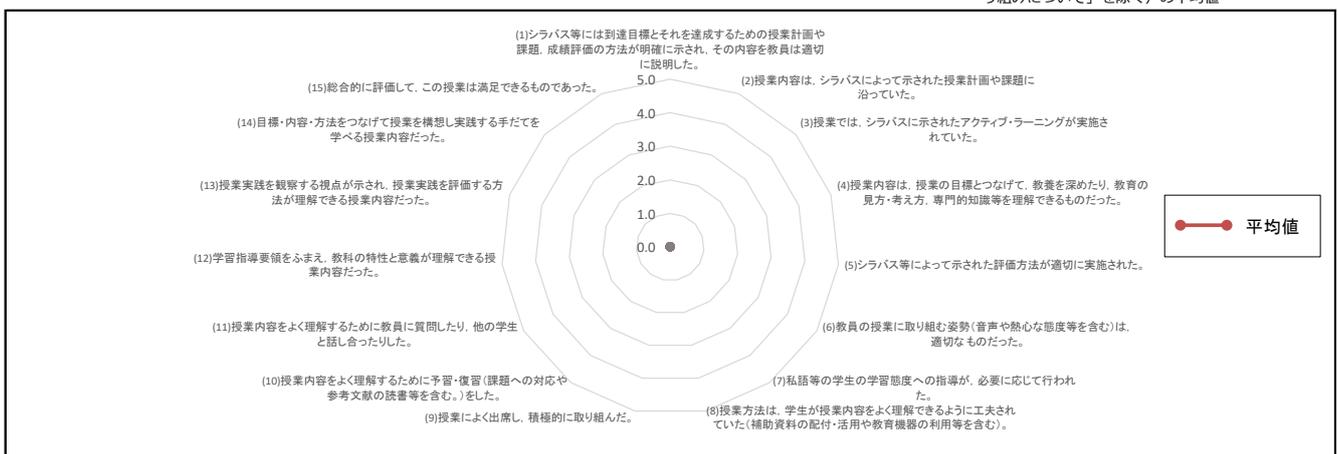
No.	714	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	電気基礎（実習を含む。）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮本 賢治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

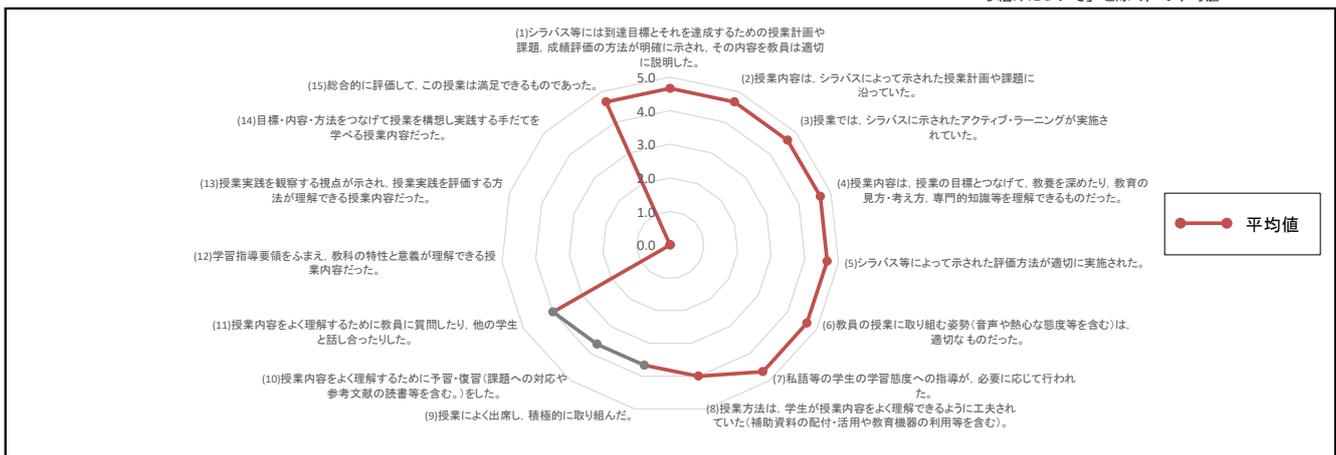
No.	715	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	電気工学	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮本 賢治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	1	1	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	1	0	1	0	3.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	1	0	1	0	3.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	1	1	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	4.7

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

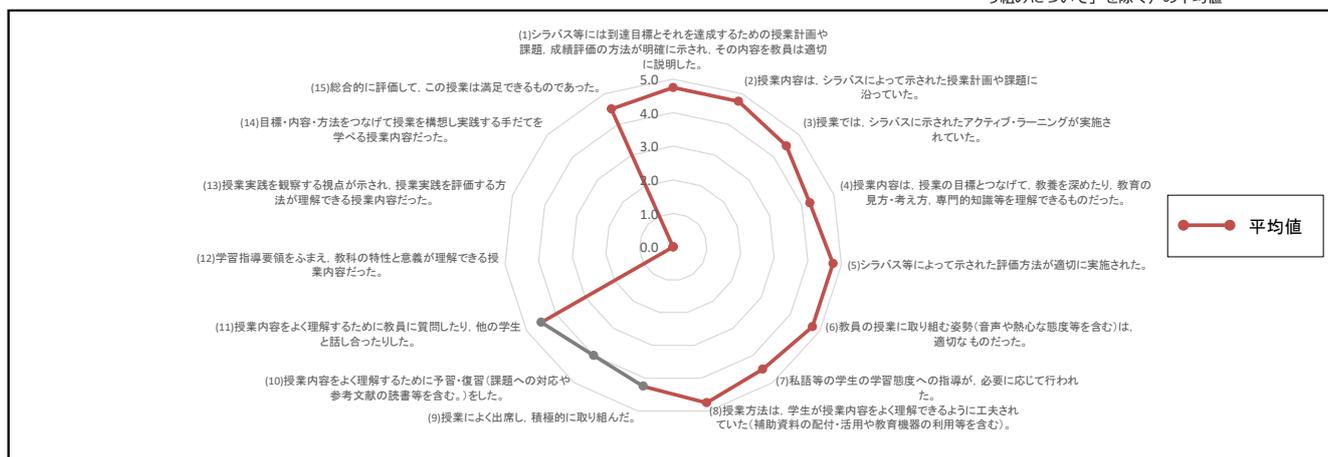
No.	716	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	電子工学	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	宮本 賢治				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	2	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	1	0	4.3
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	0	1	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	1	1	0	0	4.3
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	1	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	2	2	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	2	0	0	0	4.5

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

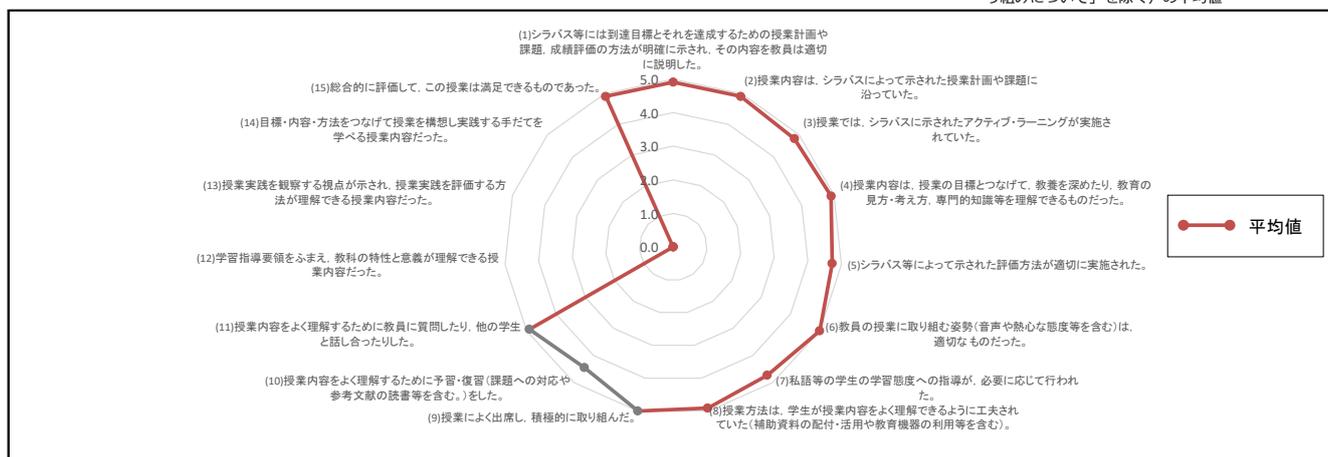
No.	717	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	情報技術基礎（実習を含む。）	回答者数	11	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	伊藤 陽介				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	10	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	10	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	10	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	3	0	0	0	4.7
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	11	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	9	1	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	1	0	0	0	4.9
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	11	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	3	0	1	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	10	1	0	0	0	4.9
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	10	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

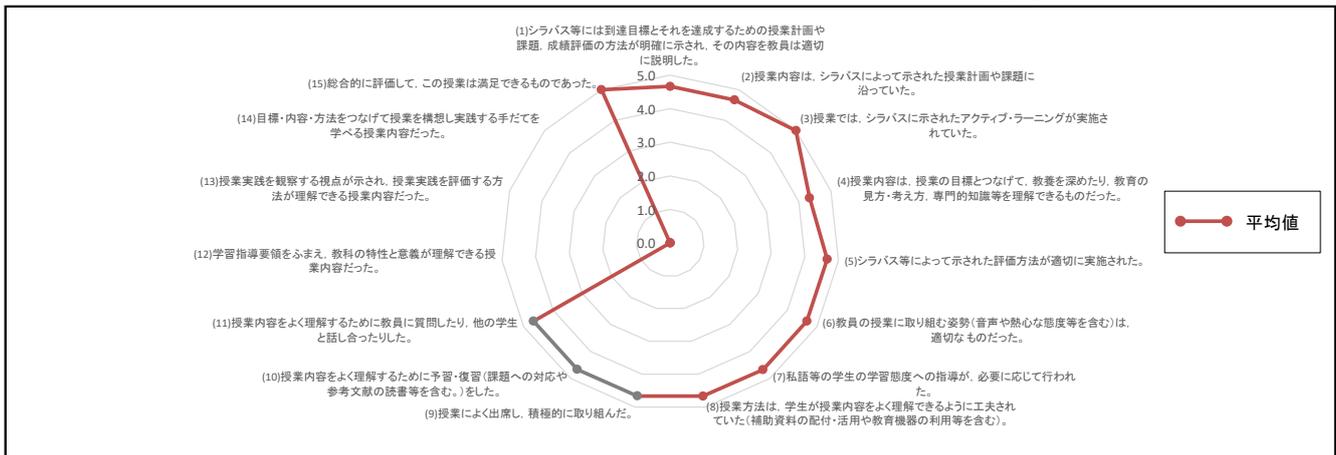
No.	718	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	情報処理	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	菊地 章, 阪東 哲也, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	2	0	0	0	4.3
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	1	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	1	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	1	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

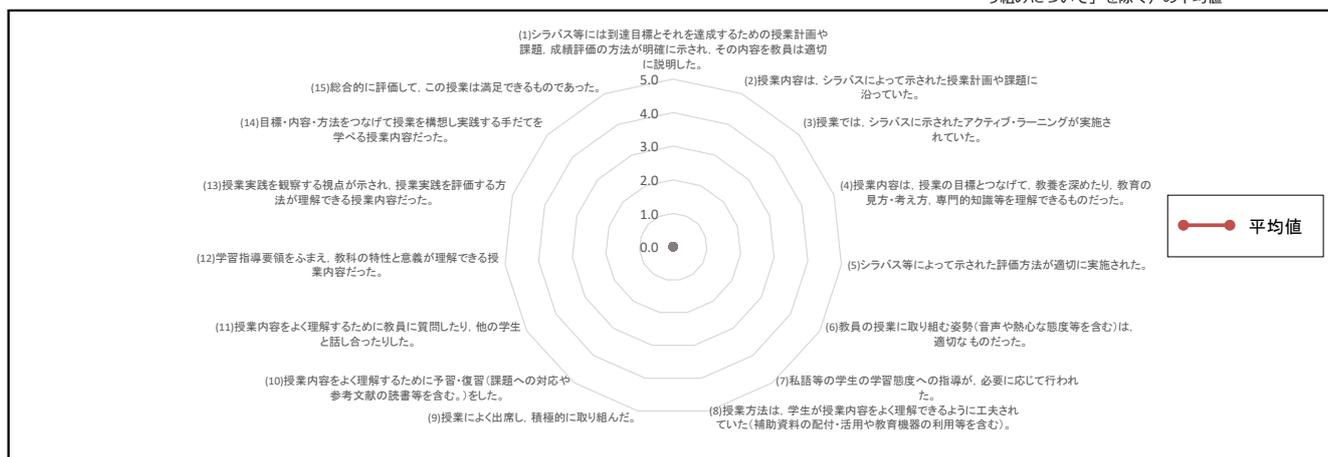
No.	719	評価実施日	令和4年7月27日		
授業科目名	栽培（実習を含む。）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	米延 仁志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

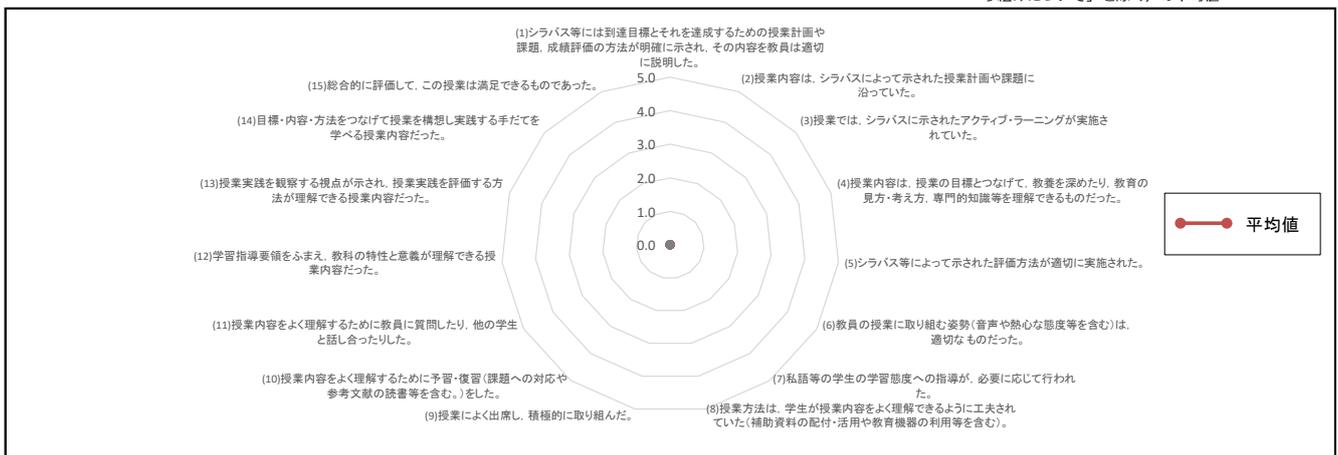
No.	720	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	生物システム工学（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	米延 仁志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

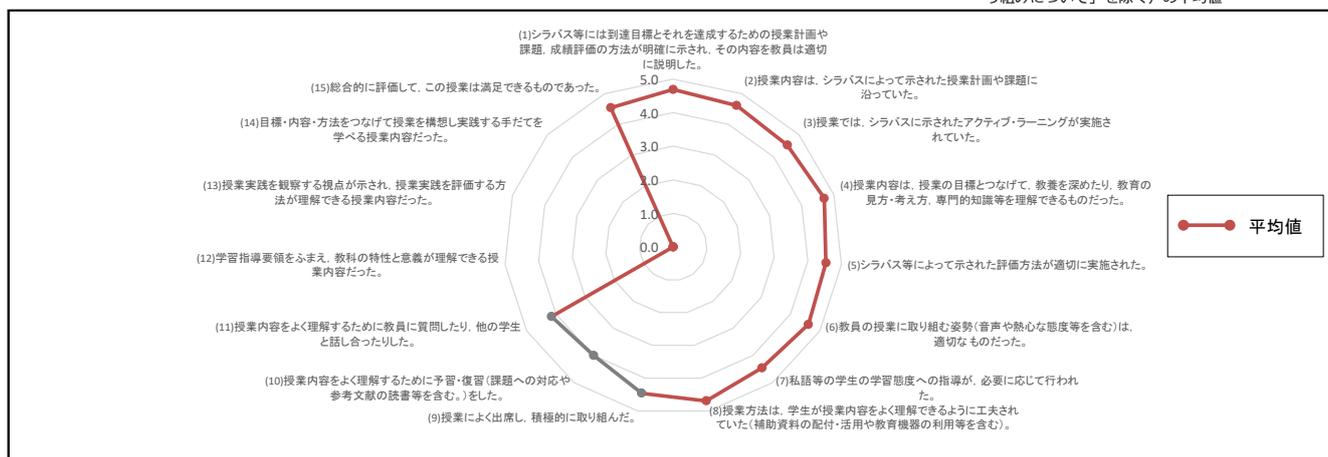
No.	721	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	情報社会と情報倫理	回答者数	13	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	竹口 幸志				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	4	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	5	0	0	0	4.6
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	6	0	0	0	4.5
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	4	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	4	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	5	0	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	8	3	2	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	4	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	5	1	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	5	4	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	5	3	0	0	4.2
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	6	0	0	0	4.5

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

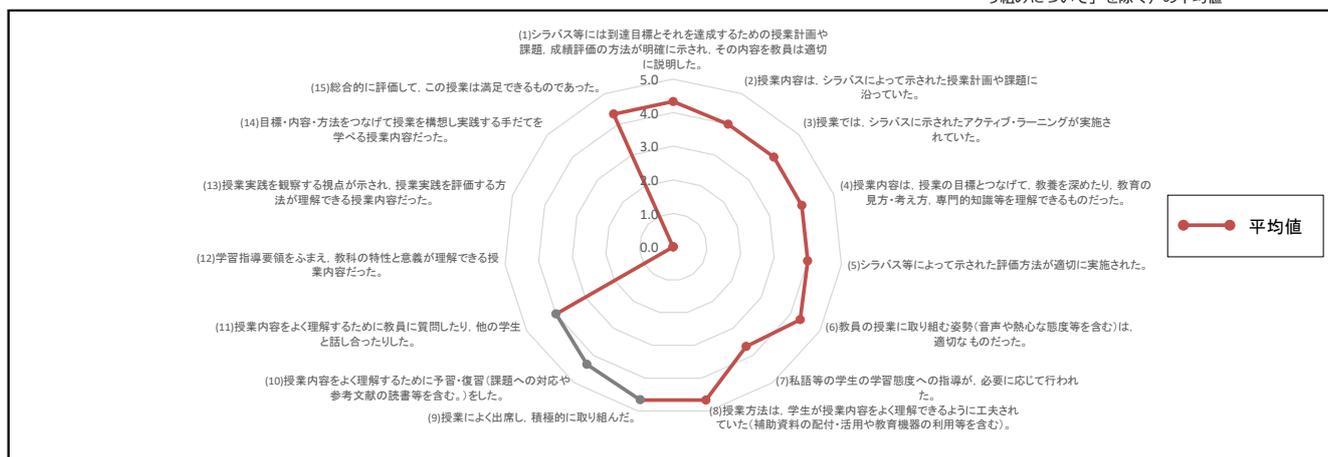
No.	722	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	情報エレクトロニクスとコンピュータ	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	2	0	0	0	4.3
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	3	0	0	0	4.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	3	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	3	0	0	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	3	0	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	2	0	0	0	4.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	2	1	0	0	3.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	3	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	2	0	0	0	4.3

総合評価	4.1
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

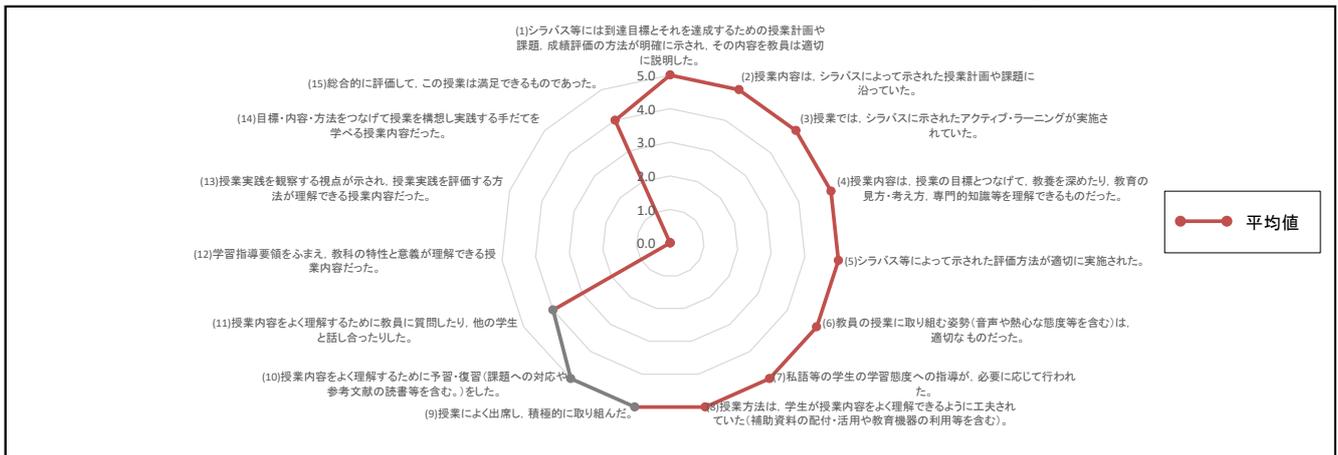
No.	723	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	ソフトウェア演習（実習を含む。）		回答者数	1	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	伊藤 陽介				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	1	0	0	0	4.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

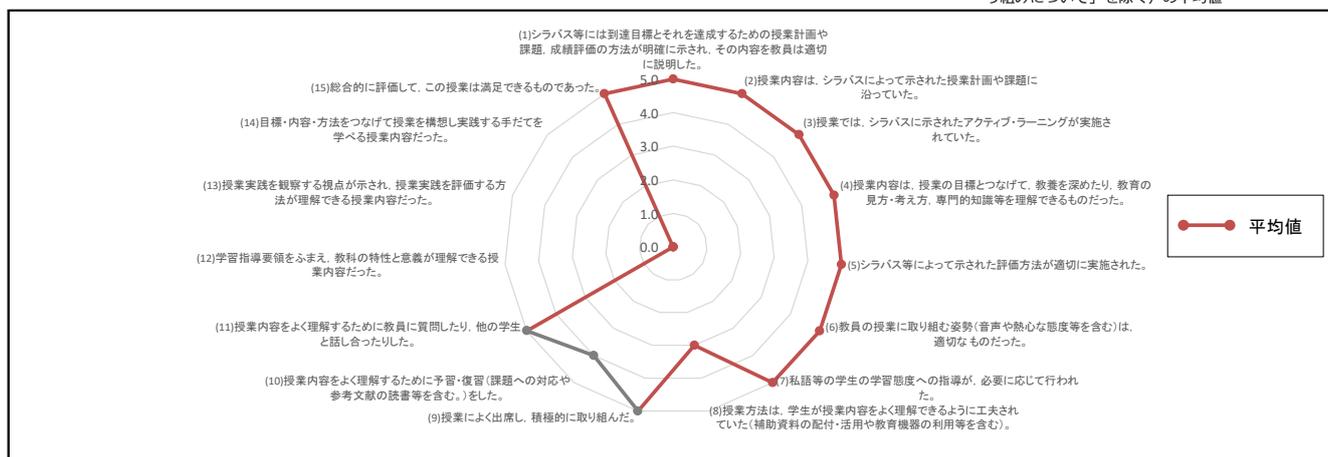
No.	724	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	情報回路とシステム制御（新課程）	回答者数	1	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	菊地 章, 伊藤 陽介				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	1	0	0	3.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

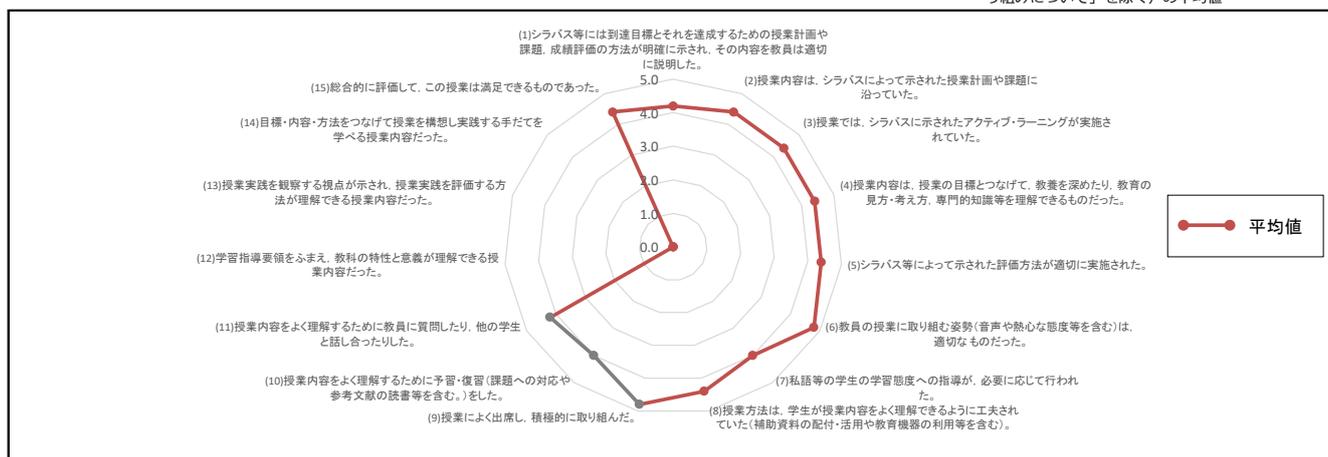
No.	725	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	情報システム（実習を含む。）	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	曾根 直人				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	1	4	0	0	0	4.2
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	0	0	0	4.4
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	3	0	0	0	4.4
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	2	3	0	0	0	4.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	3	0	0	0	4.4
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	1	3	1	0	0	4.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	3	0	0	0	4.4
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	1	2	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	3	1	0	1	0	4.2
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	2	3	0	0	0	4.4

総合評価	4.4
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

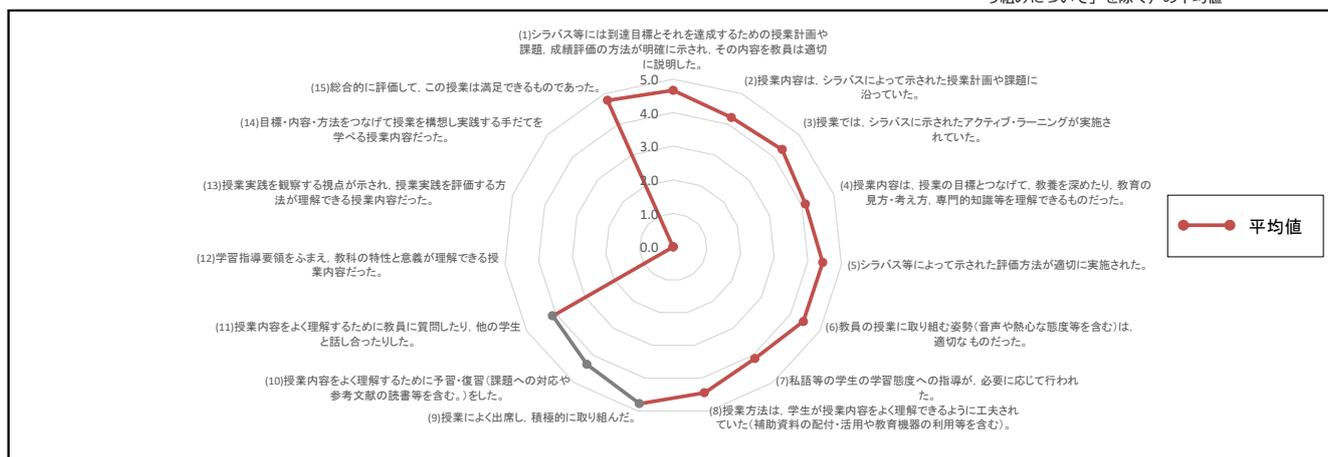
No.	726	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	情報技術（実習を含む。）	回答者数	9	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	伊藤 陽介				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	3	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	7	0	0	0	4.2
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	6	0	0	0	4.3
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	3	4	2	0	0	4.1
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	3	1	0	0	4.4
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	5	0	0	0	4.4
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	2	3	0	0	4.1
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	5	0	0	0	4.4
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	7	2	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	4	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	5	1	2	1	0	4.1
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.4
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

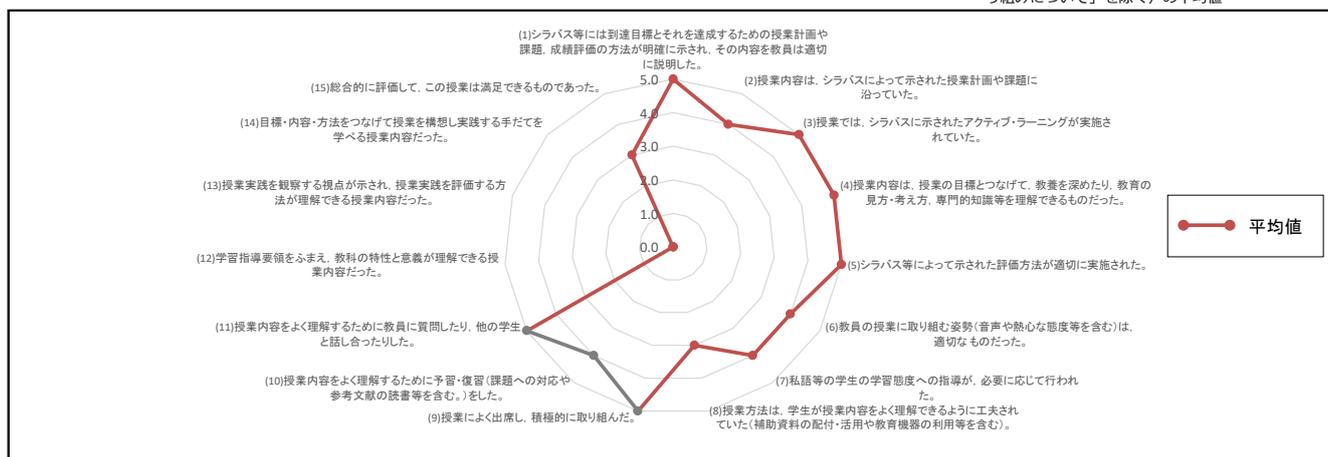
No.	727	評価実施日	令和4年7月26日		
授業科目名	情報通信（実習を含む。）		回答者数	1	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	菊地 章, 曾根 直人, 美井野 優				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	1	0	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	1	0	0	3.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む)をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	1	0	0	0	0	5.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	1	0	0	3.0

総合評価	4.2
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

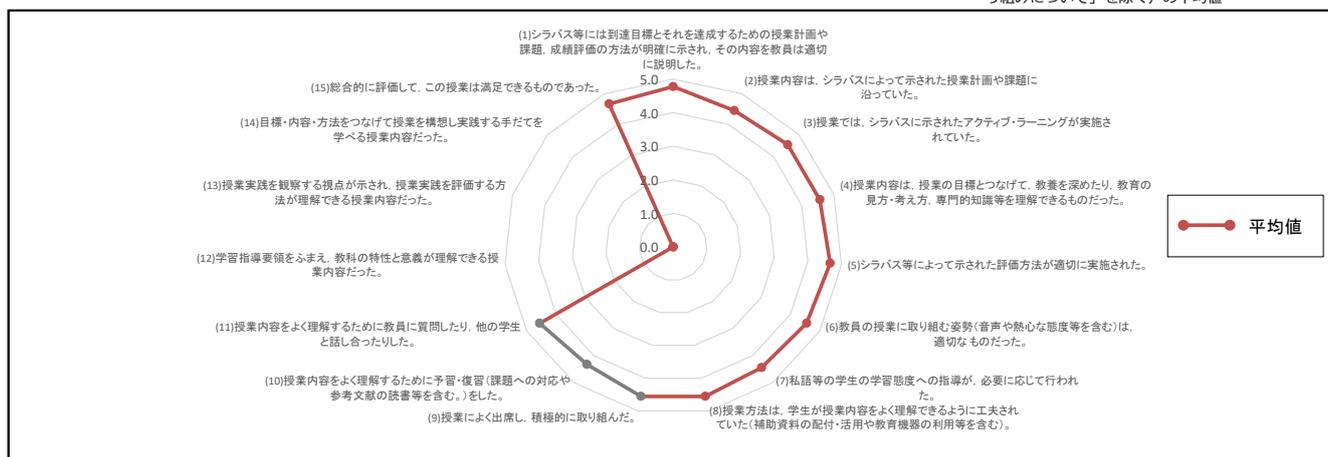
No.	728	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	情報ネットワーク演習（実習を含む。）		回答者数	9	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	曾根 直人				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	7	2	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	3	1	0	0	4.4
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	4	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	2	1	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	3	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	2	1	0	0	4.6
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	3	1	0	0	4.4
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	4	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	4	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	4	1	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	2	1	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	3	0	0	0	4.7

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

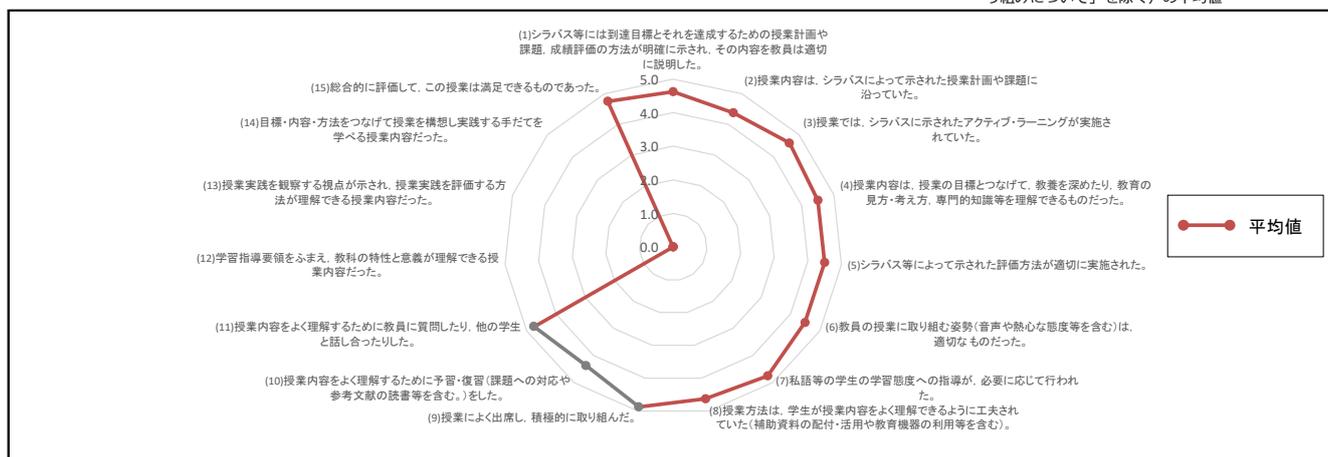
No.	729	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	マルチメディアと教育技術（実習を含む。）		回答者数	8	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	阪東 哲也				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	3	0	0	0	4.6
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	5	0	0	0	4.4
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	3	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	4	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	4	0	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	4	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	2	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	3	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	5	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	2	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

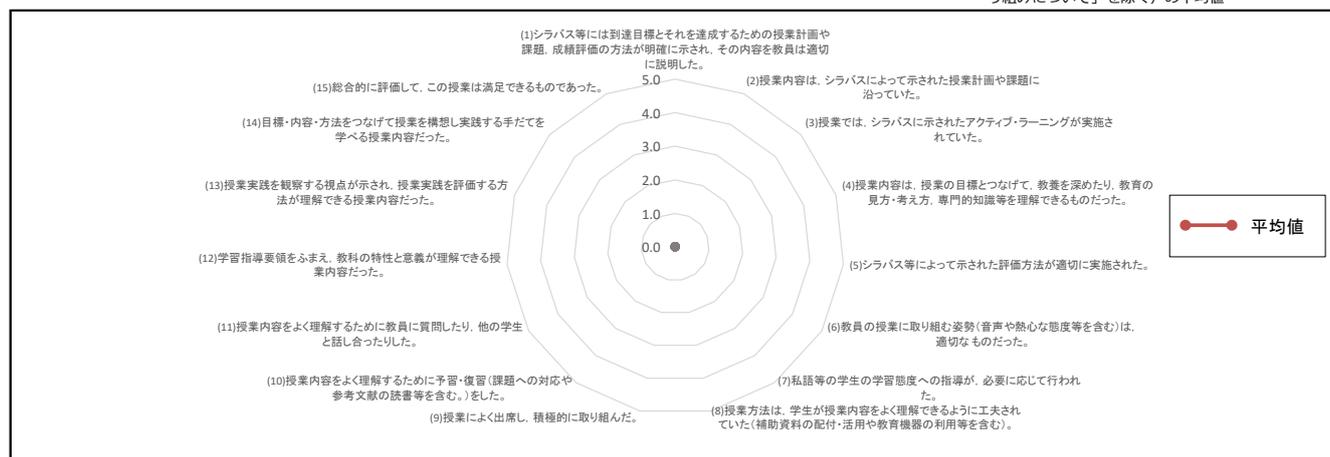
No.	730	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	マルチメディアとシミュレーション	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	菊地 章				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

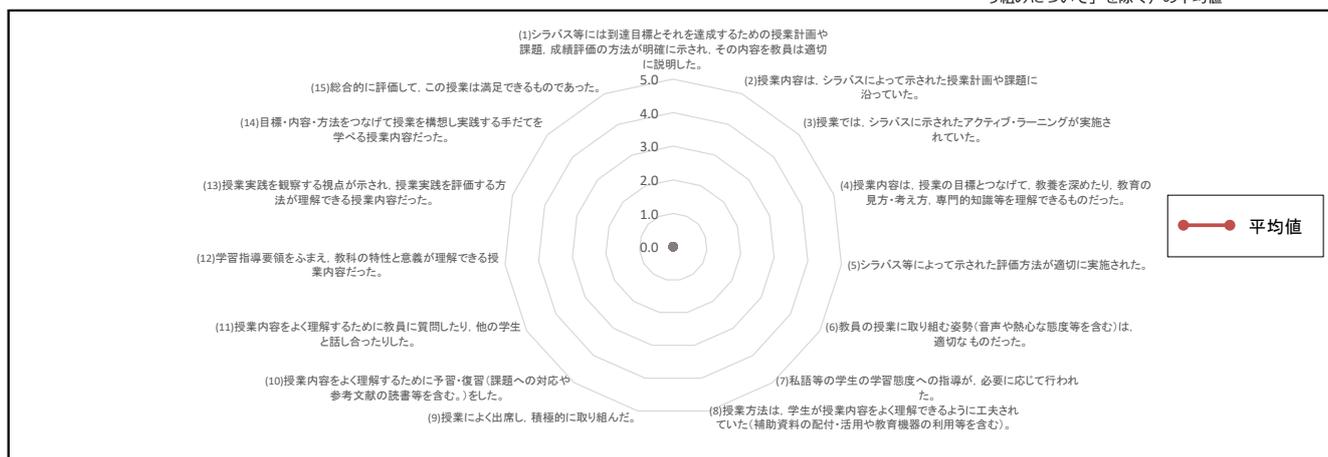
No.	731	評価実施日	令和4年8月26日		
授業科目名	情報と職業	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山口 直木				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

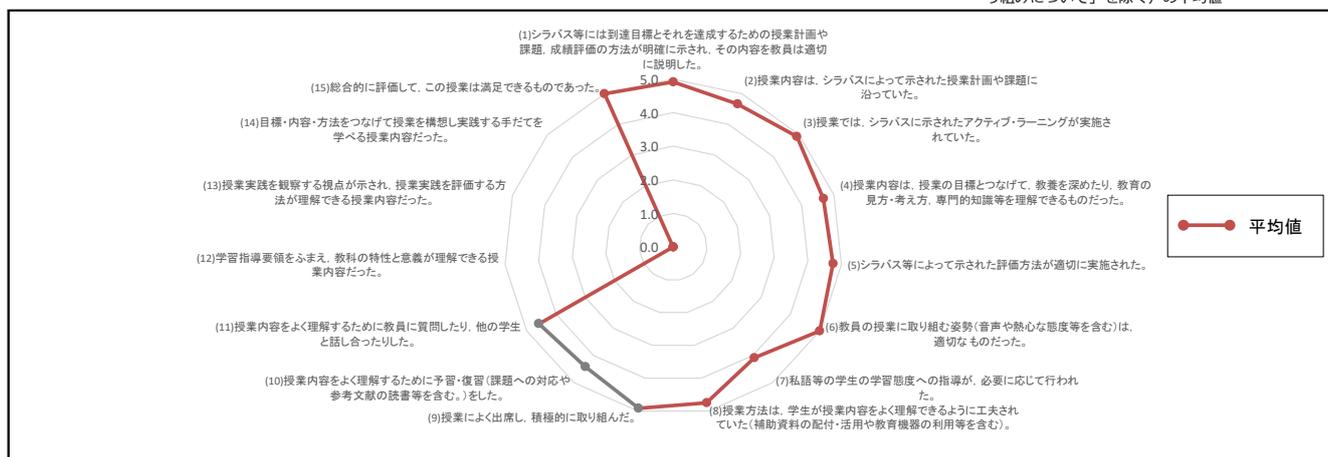
No.	732	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	家庭経営学概論	回答者数	12	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	11	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	8	4	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	11	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	4	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	9	3	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	12	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	3	4	0	0	4.1
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	3	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	11	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	3	2	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	5	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	12	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

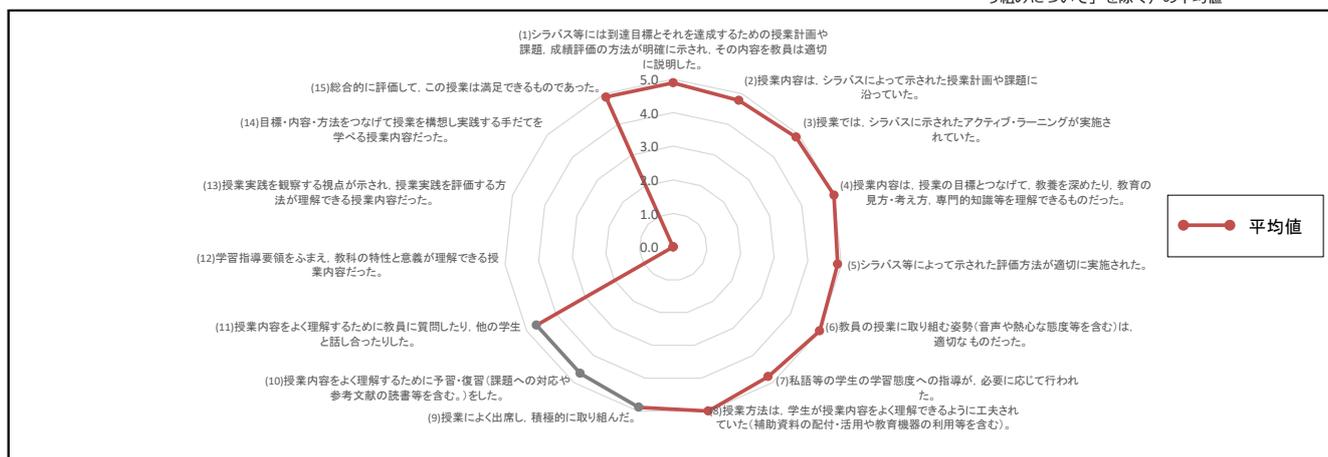
No.	733	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	家族論	回答者数	9	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	岡部 千鶴, 坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	9	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	9	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	2	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	9	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	6	3	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	3	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	8	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

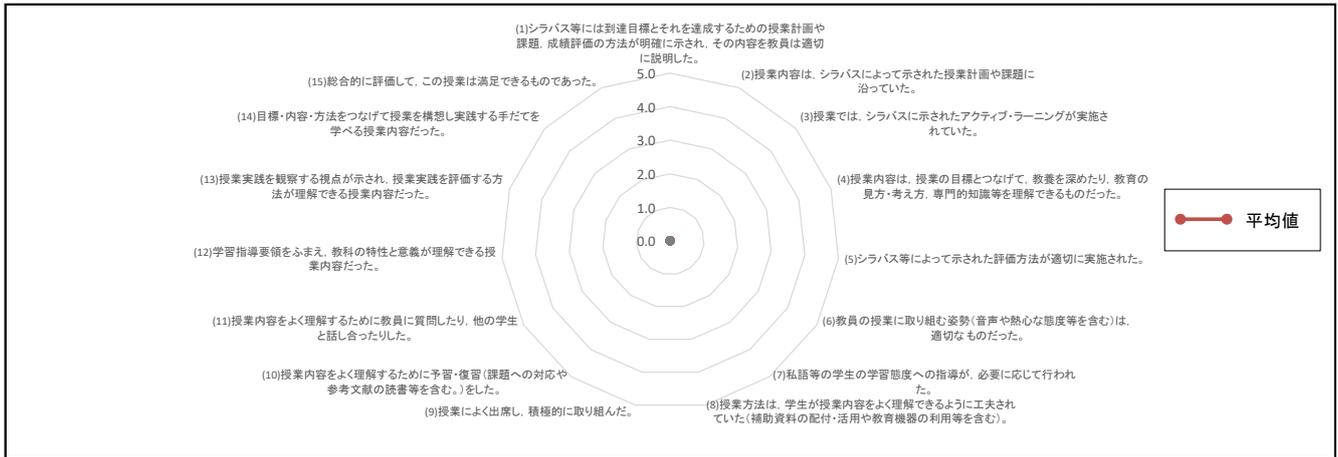
No.	734	評価実施日	令和5年2月8日		
授業科目名	消費生活論（新課程）	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

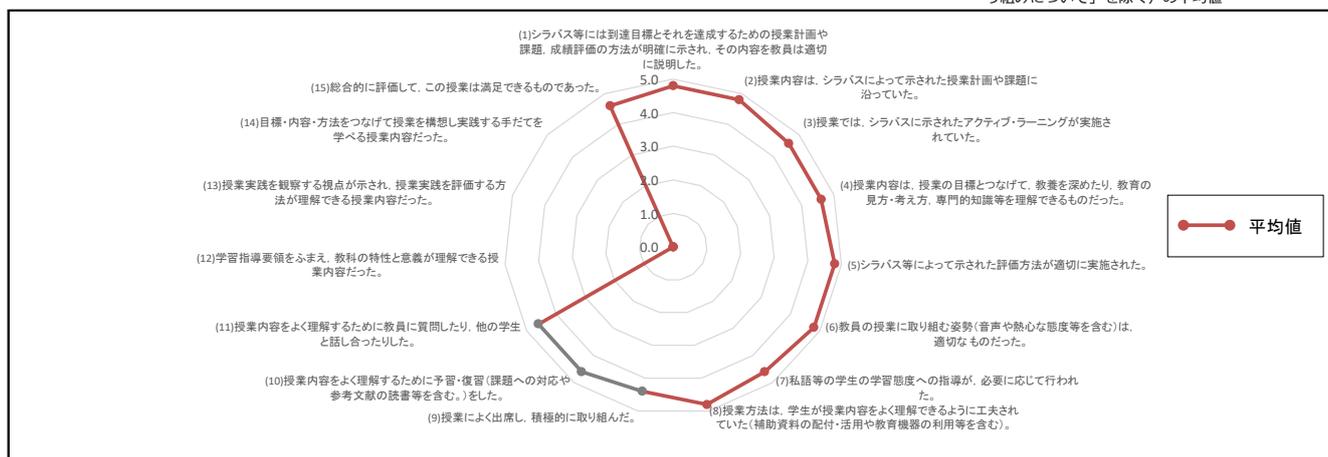
No.	735	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	家庭経営学演習	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	坂本 有芳				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	4	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	2	0	0	0	4.6
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	2	0	0	0	4.6
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	4	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	3	1	1	0	0	4.4
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	2	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	3	2	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	2	0	0	0	4.6

総合評価	4.7
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

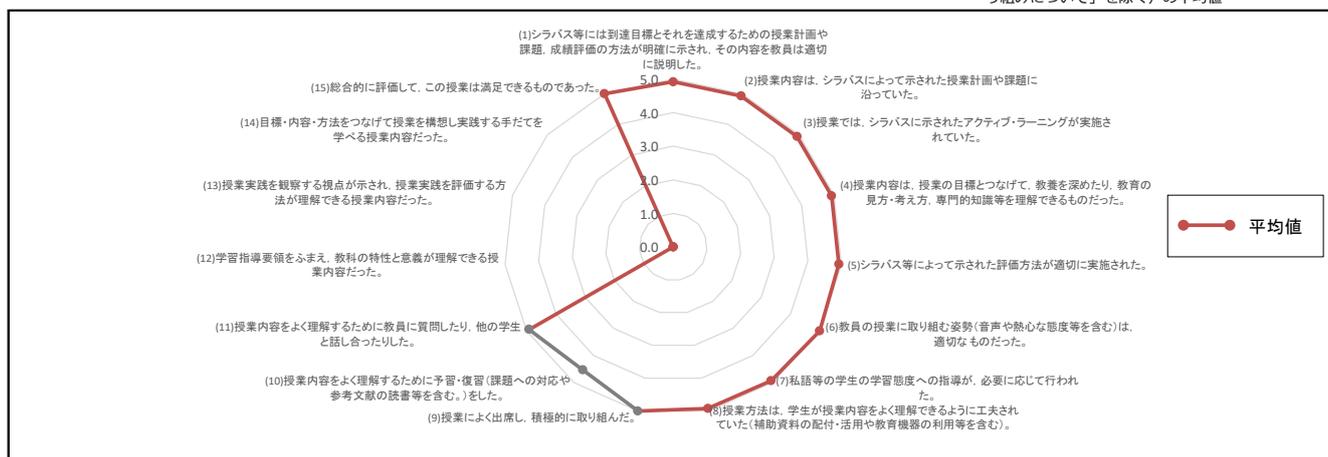
No.	736	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	被服学概論（被服製作実習を含む。）		回答者数	13	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	12	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	12	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	12	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	12	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	12	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	13	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	12	1	0	0	0	4.9
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	12	1	0	0	0	4.9
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	13	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	2	2	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	12	1	0	0	0	4.9
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	13	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

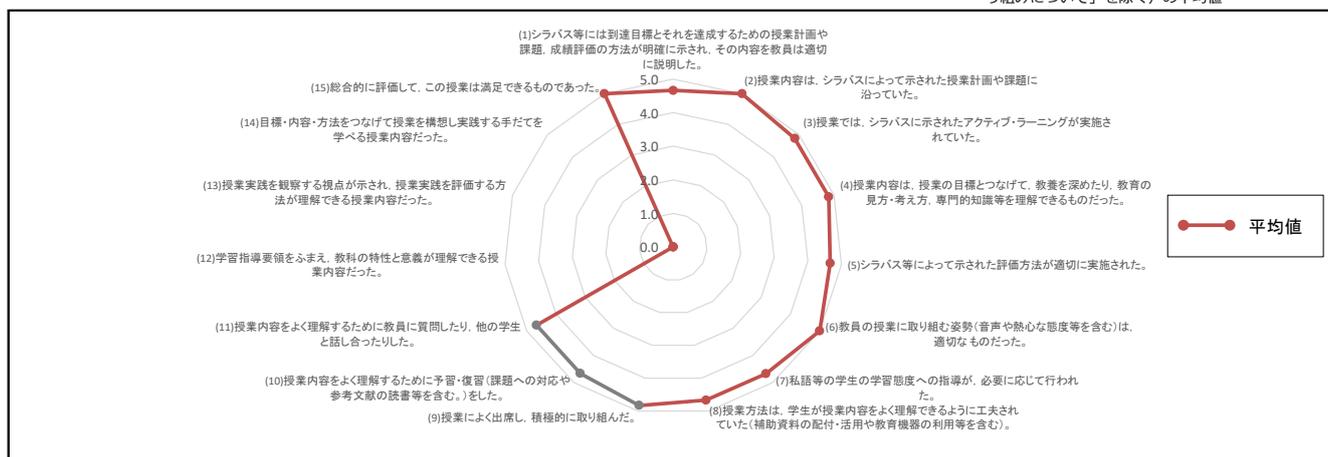
No.	737	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	衣生活学	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	1	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	6	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	0	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	4	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	2	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	2	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	6	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

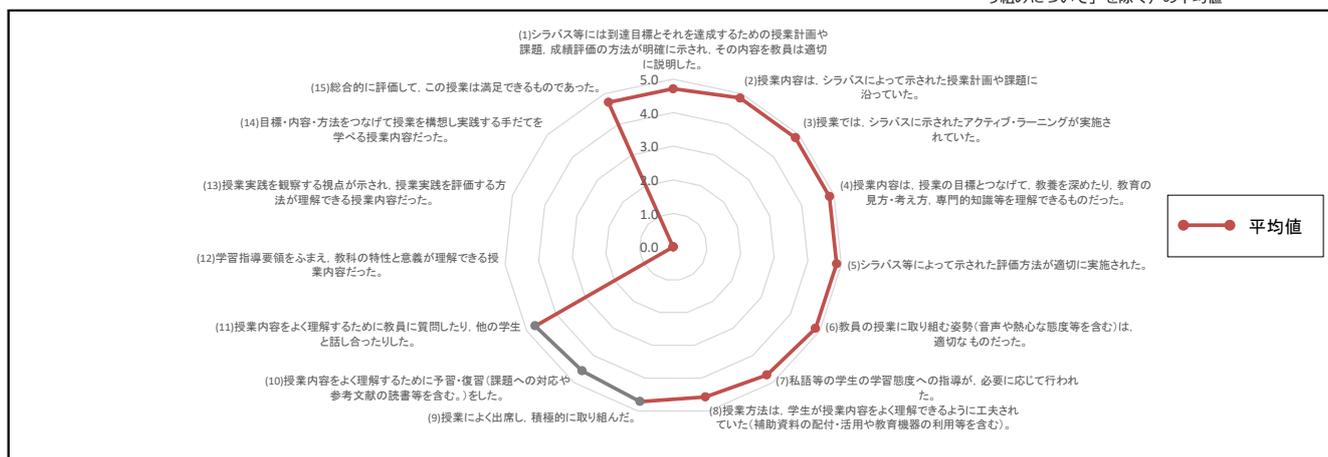
No.	738	評価実施日	令和4年12月1日		
授業科目名	被服学実験	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	2	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	5	2	0	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	3	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	6	0	1	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	3	0	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	5	2	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	2	0	0	0	4.7

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

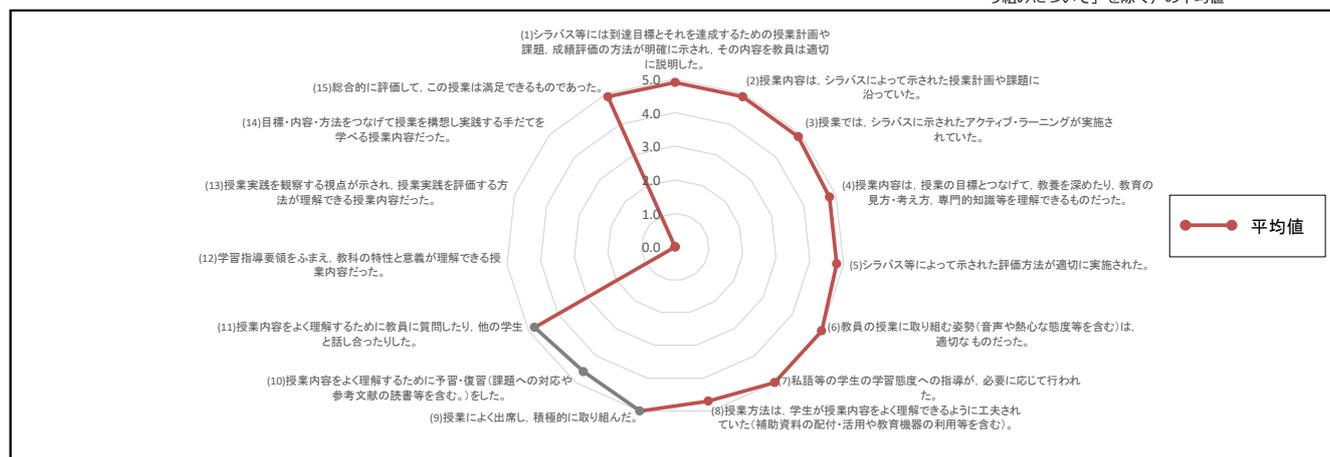
No.	739	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	被服構成実習	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	福井 典代				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	9	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	10	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	10	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	3	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	10	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	2	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	8	2	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	9	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.9
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

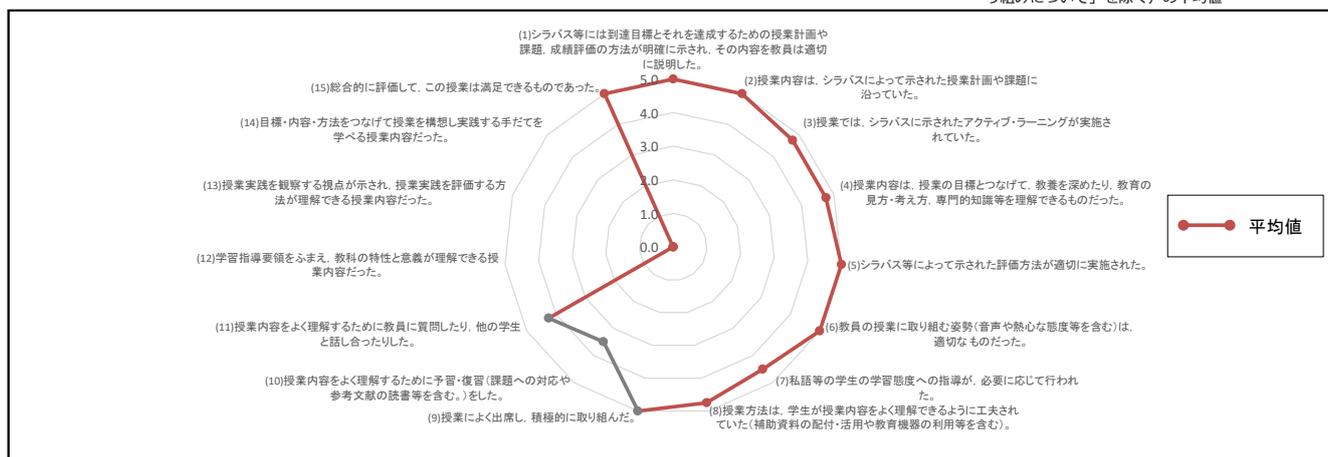
No.	740	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	食物学概論	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	西川 和孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	4	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	4	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	3	1	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	2	2	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	1	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	4	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	0	3	0	0	3.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	0	0	4.3
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

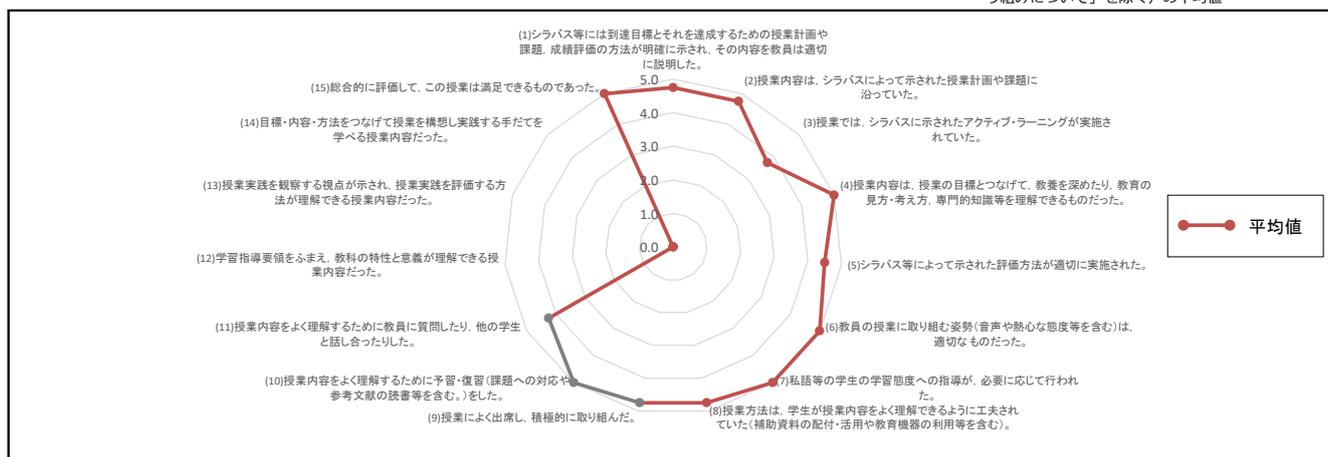
No.	741	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	食品栄養学（新課程）	回答者数	4	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	西川 和孝				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1. 授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	3	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	3	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	1	0	0	1	3.8
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	0	1	0	0	4.5
2. 授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	4	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	4	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	1	0	0	0	4.8
3. あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	3	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	2	1	1	0	0	4.3
4. 教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5. 授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	4	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

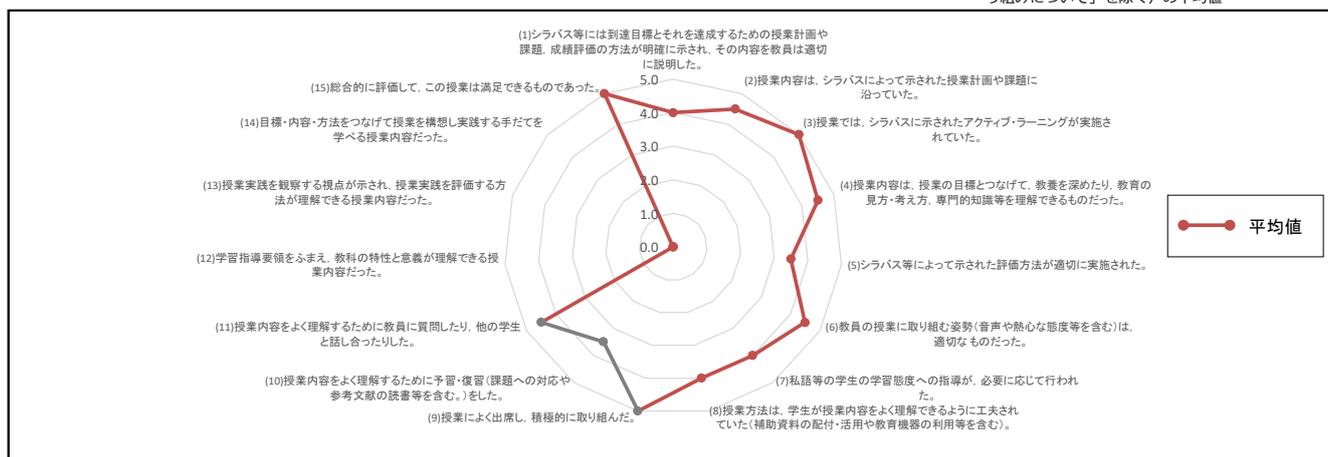
No.	742	評価実施日	令和4年6月7日		
授業科目名	調理実習	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	西川 和孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	2	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	1	1	0	0	3.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	2	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	2	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	1	1	0	0	3.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

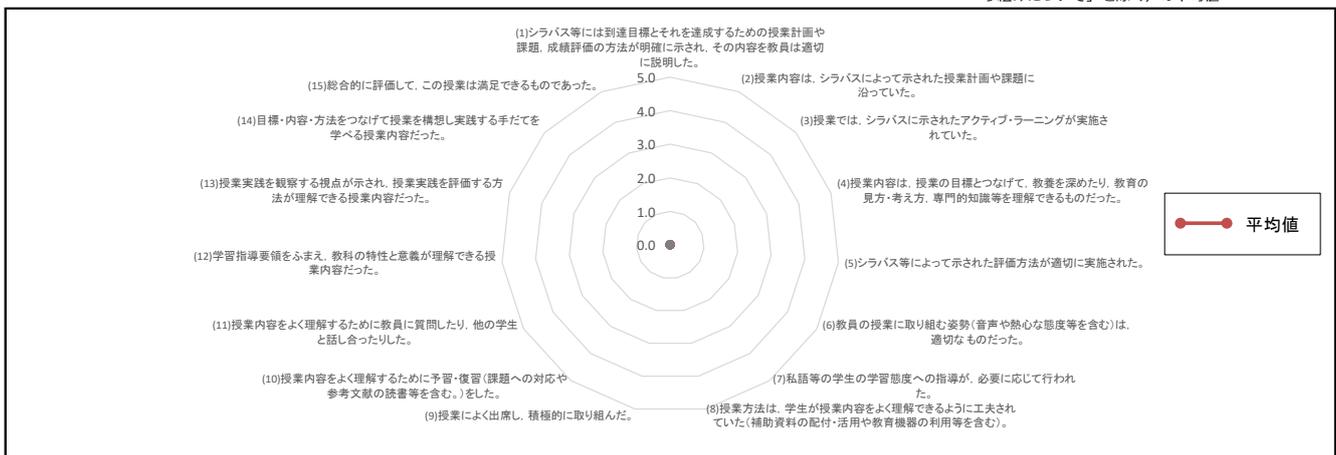
No.	743	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	食物学実験	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	西川 和孝				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

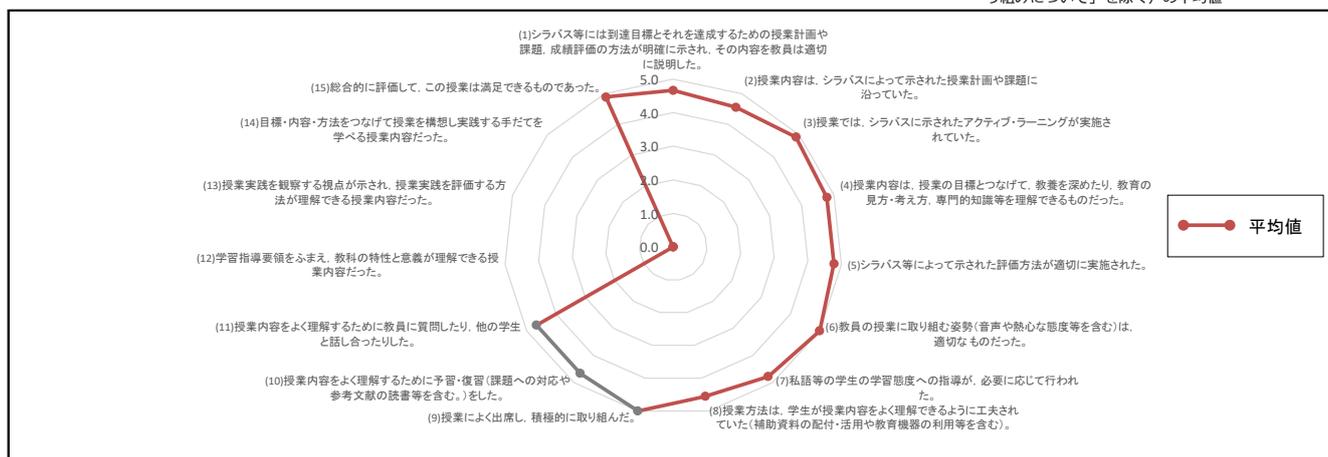
No.	744	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	住居学概論（製図を含む。）	回答者数	9	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	金 貞均				

（5：そう思う，4：ややそう思う，3：どちらとも言えない，2：あまりそう思わない，1：そう思わない）

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題，成績評価の方法が明確に示され，その内容を教員は適切に説明した。	6	3	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は，シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	2	1	0	0	4.6
	(3)授業では，シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	8	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は，授業の目標とつなげて，教養を深めたり，教育の見方・考え方，専門的知識等を理解できるものだった。	7	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	7	2	0	0	0	4.8
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は，適切なものだった。	9	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が，必要に応じて行われた。	7	2	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は，学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	4	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し，積極的に取り組んだ。	9	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	7	1	1	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり，他の学生と話し合ったりした。	6	3	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ，教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され，授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して，この授業は満足できるものであった。	8	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

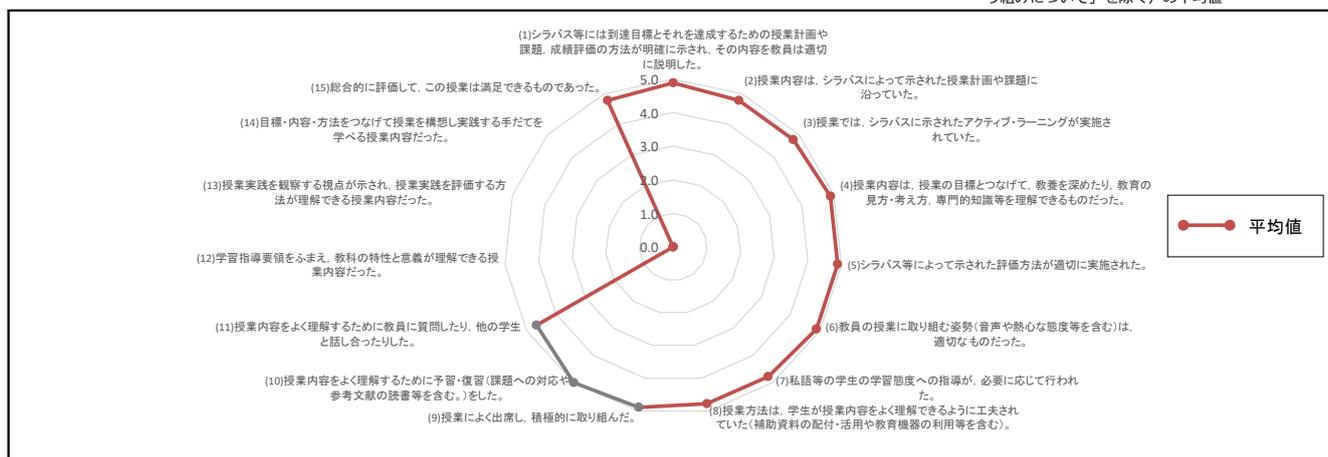
No.	745	評価実施日	令和4年7月25日		
授業科目名	住生活学	回答者数	9	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	金 貞均				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	8	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	2	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	2	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	8	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	8	1	0	0	0	4.9
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	8	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	7	2	0	0	0	4.8
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	7	2	0	0	0	4.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	8	1	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	9	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	6	3	0	0	0	4.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	7	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

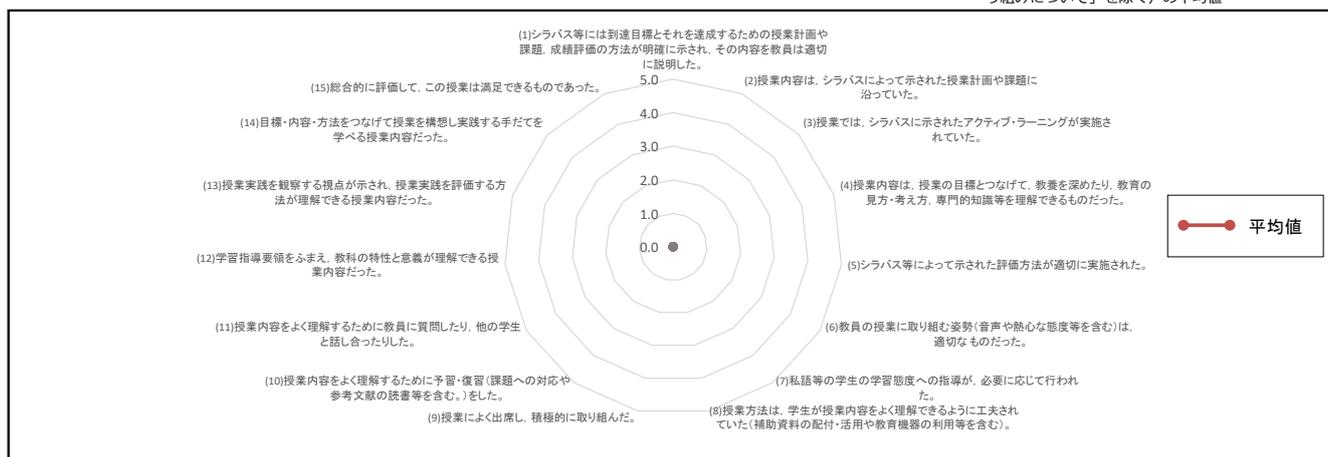
No.	746	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	住居設計・製図	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	金 貞均				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
-------------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

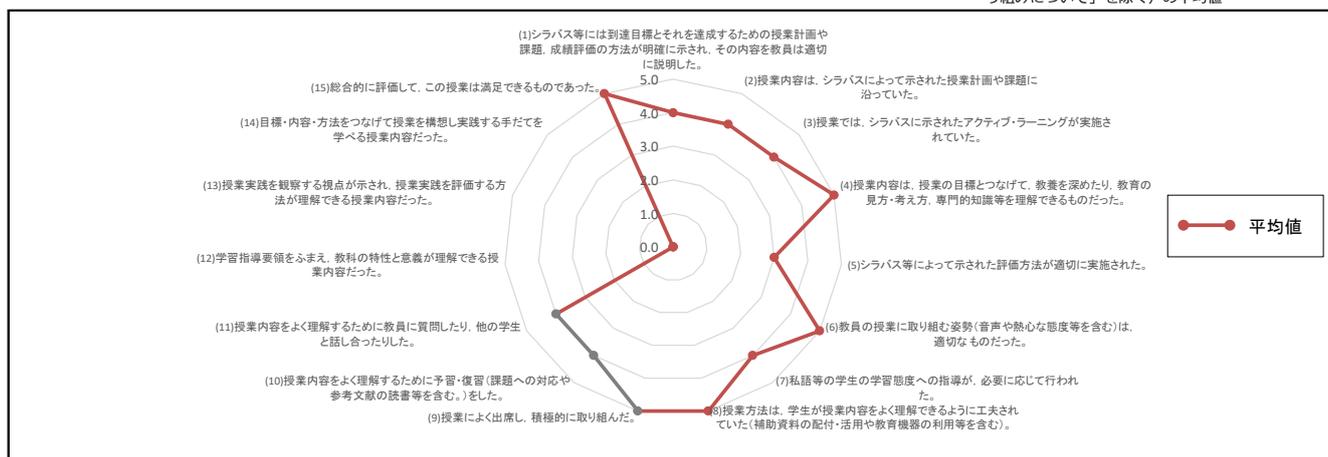
No.	747	評価実施日	令和4年8月24日		
授業科目名	保育学（実習及び家庭看護を含む。）		回答者数	1	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	磯部 香				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	0	1	0	0	0	4.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	1	0	0	3.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	0	1	0	0	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

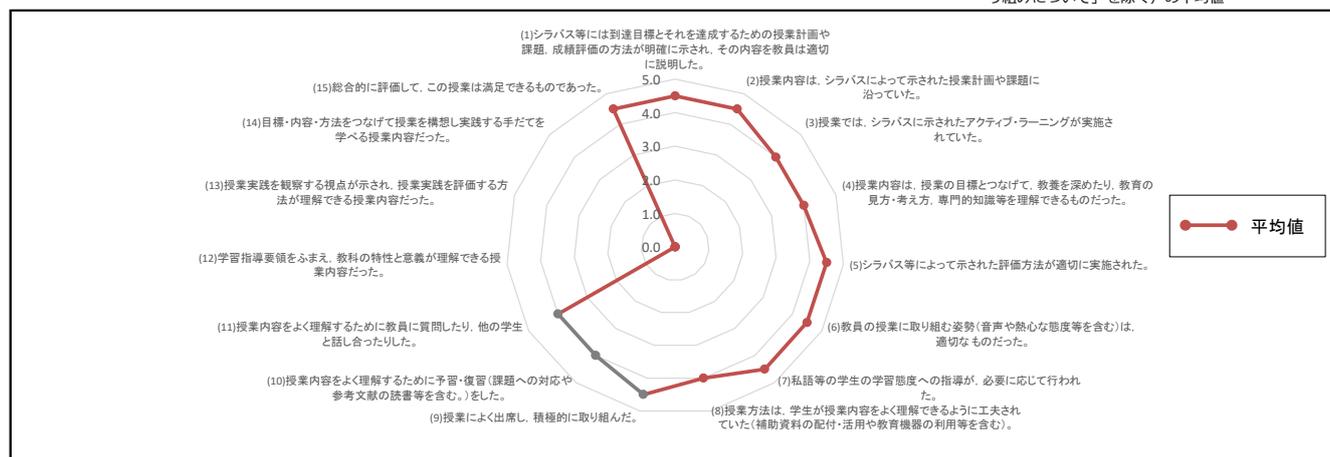
No.	748	評価実施日	令和5年2月6日		
授業科目名	家庭電気・機械及び情報処理	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	山本 耕司				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	1	0	0	0	4.5
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	1	0	0	0	4.5
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	2	0	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	0	2	0	0	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	1	0	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	1	0	0	0	4.5
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	1	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	0	2	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	0	2	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	2	0	0	0	4.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	1	0	0	0	4.5

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

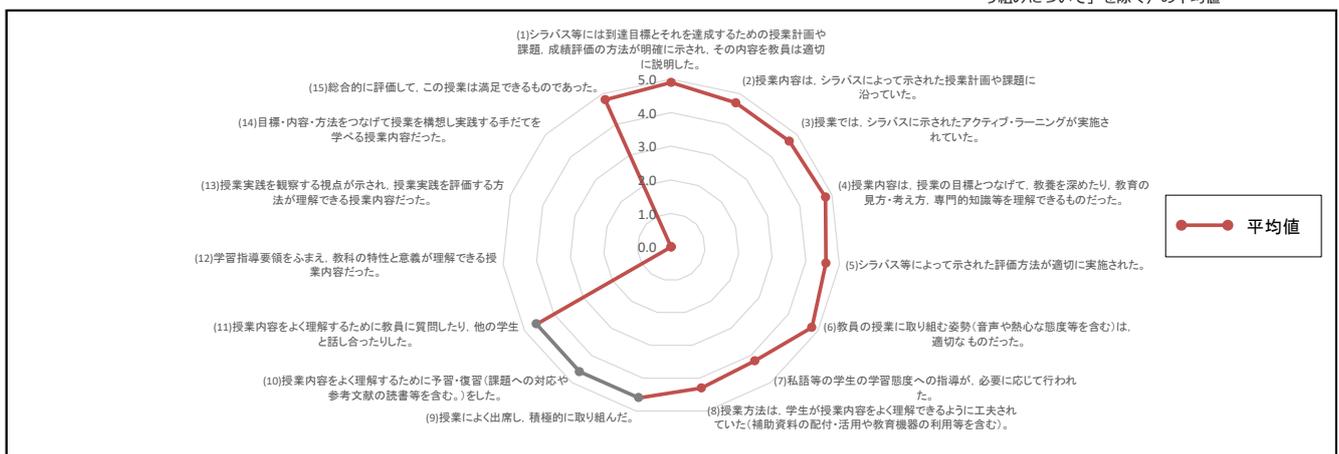
No.	749	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	障害児教育概説 I	回答者数	10	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	高橋 眞琴				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	9	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	7	3	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	7	3	0	0	0	4.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	6	4	0	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	8	2	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	2	3	0	0	4.2
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	3	7	0	0	0	4.3
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	6	4	0	0	0	4.6
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	7	2	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	6	4	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	8	2	0	0	0	4.8

総合評価	4.6
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

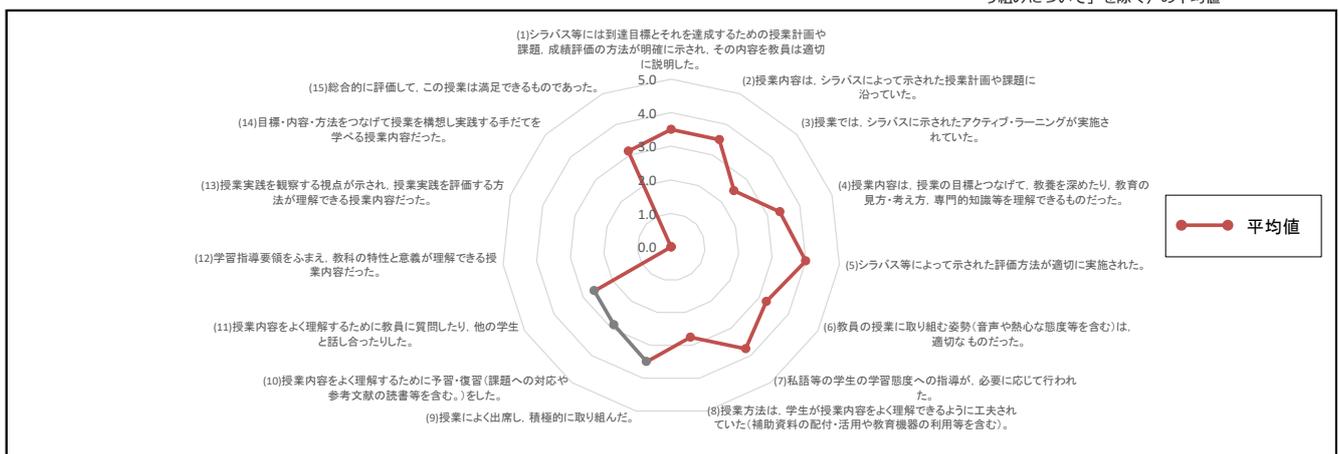
No.	750	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	知的障害者の心理		回答者数	8	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	島田 恭仁				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	3	2	0	2	1	3.5
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	3	1	1	1	3.5
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	4	1	2	2.5
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	5	0	0	2	3.4
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	3	4	0	0	1	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	4	0	2	1	3.3
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	3	2	2	0	1	3.8
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	3	2	1	2	2.8
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	2	3	1	1	1	3.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	4	1	1	2	2.9
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	4	0	1	3	2.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	2	1	1	2	3.1

総合評価	3.3
-------------	------------

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

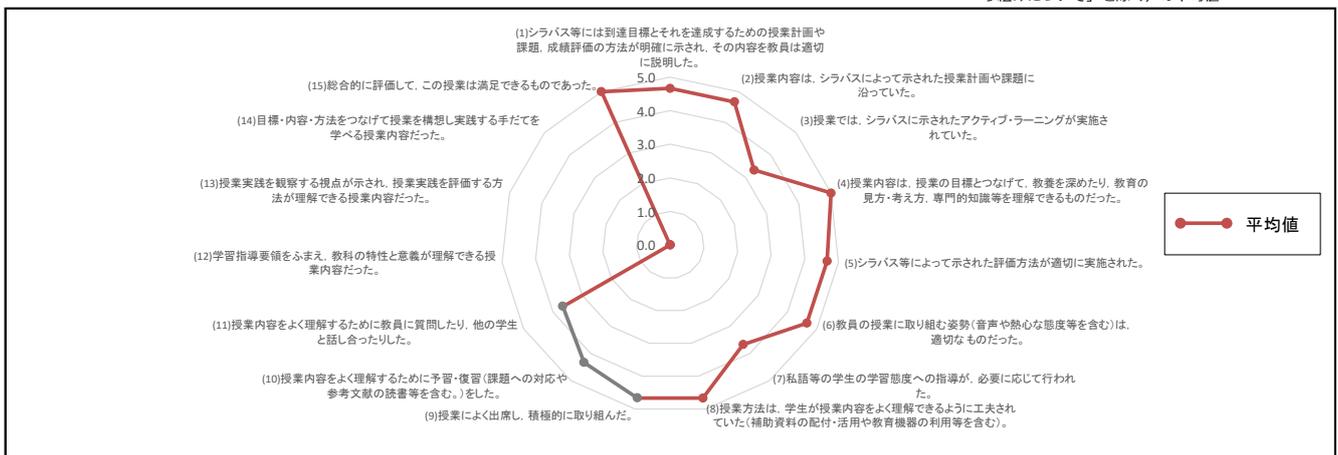
No.	751	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	知的障害者の生理・病理	回答者数	3	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	田中 淳一				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	1	0	3.3
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	3	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	2	0	0	3.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	2	1	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	1	0	0	0	4.7
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	1	2	0	0	0	4.3
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	1	0	3.7
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	3	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.5
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

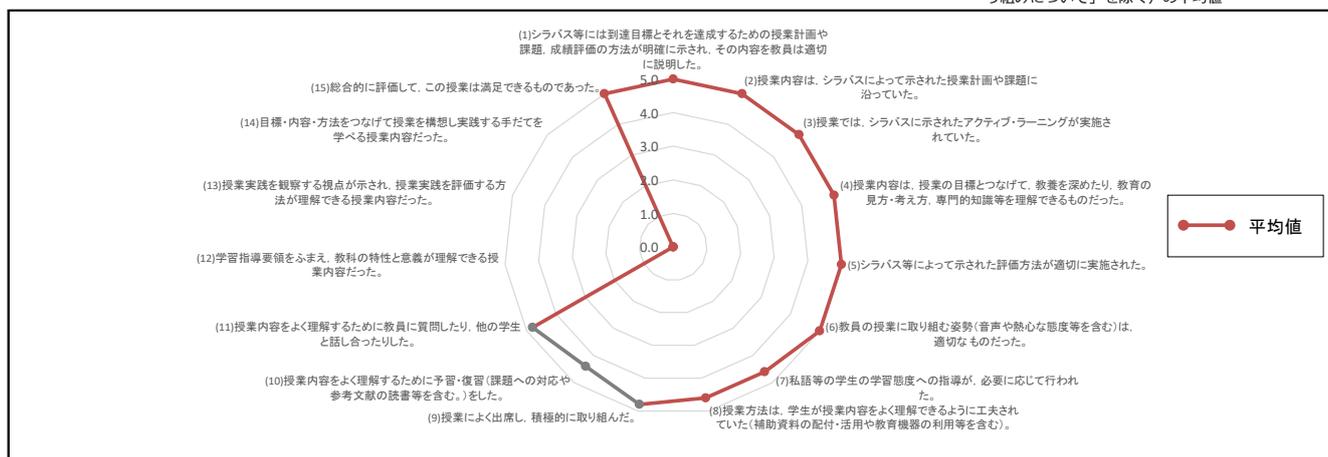
No.	752	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	知的障害教育 I	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	大谷 博俊				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	2	0	0	0	4.6
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	3	2	0	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	4	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	3	0	0	0	4.4
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	1	0	0	0	4.8
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

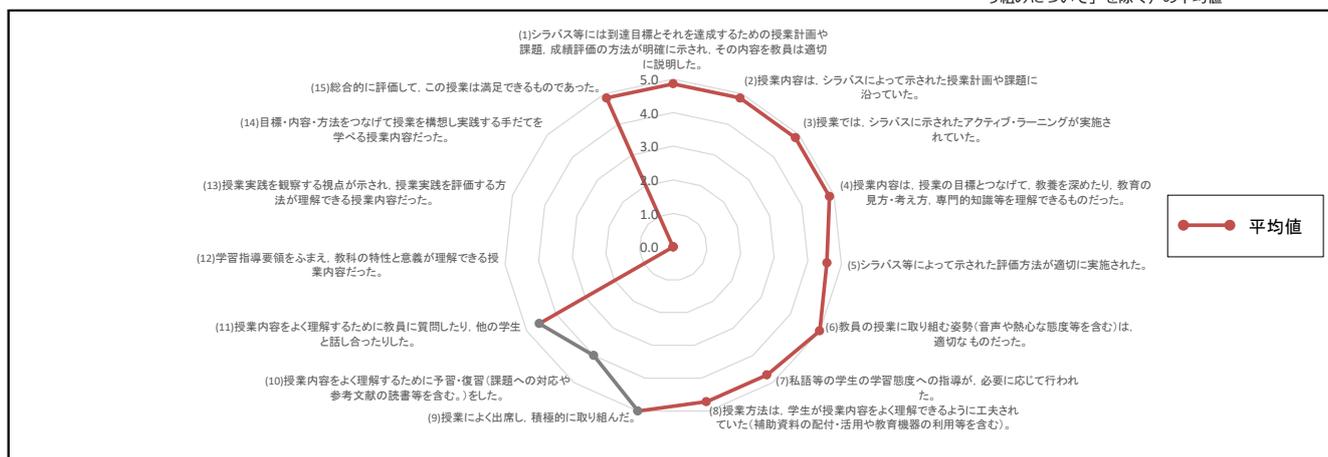
No.	753	評価実施日	令和5年2月9日		
授業科目名	知的障害教育Ⅱ	回答者数	7	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	高橋 眞琴				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	6	1	0	0	0	4.9
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	6	1	0	0	0	4.9
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	6	1	0	0	0	4.9
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	1	1	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	7	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	6	0	1	0	0	4.7
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	5	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	7	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	3	2	1	1	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	3	0	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	6	1	0	0	0	4.9

総合評価	4.8
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

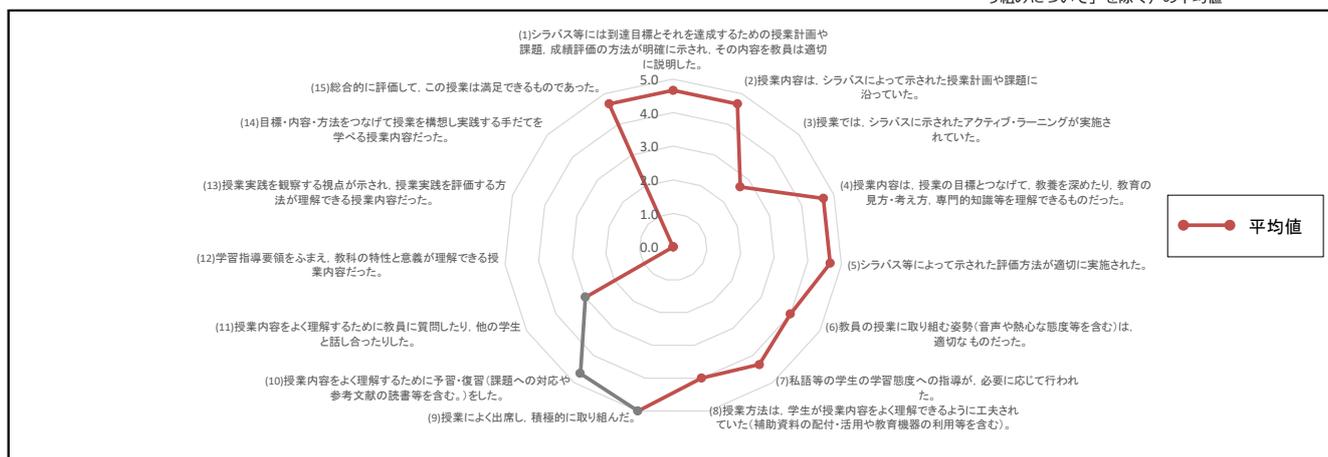
No.	754	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	肢体不自由者の心理・生理・病理		回答者数	3	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	伊藤 弘道, 高原 光恵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	2	1	0	0	0	4.7
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	1	0	0	0	4.7
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	1	0	2	0	2.7
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	2	1	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	1	0	0	0	4.7
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	1	1	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	1	2	0	0	0	4.3
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	3	0	0	0	4.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	3	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	2	1	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	1	1	1	0	3.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	2	1	0	0	0	4.7

総合評価	4.3
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

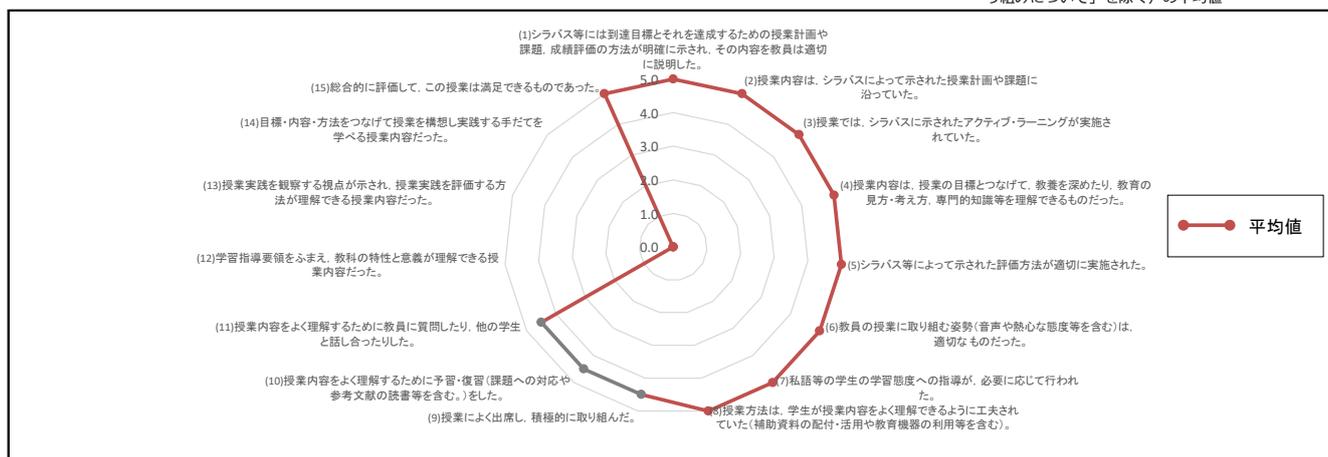
No.	755	評価実施日	令和4年8月25日		
授業科目名	肢体不自由教育		回答者数	2	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	須田 正信				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題,成績評価の方法が明確に示され,その内容を教員は適切に説明した。	2	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は,シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では,シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	2	0	0	0	0	5.0
	(4)授業内容は,授業の目標とつなげて,教養を深めたり,教育の見方・考え方,専門的知識等を理解できるものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	2	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は,適切なものだった。	2	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が,必要に応じて行われた。	2	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は,学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	2	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し,積極的に取り組んだ。	1	1	0	0	0	4.5
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	1	1	0	0	0	4.5
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり,他の学生と話し合ったりした。	1	1	0	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ,教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され,授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して,この授業は満足できるものであった。	2	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

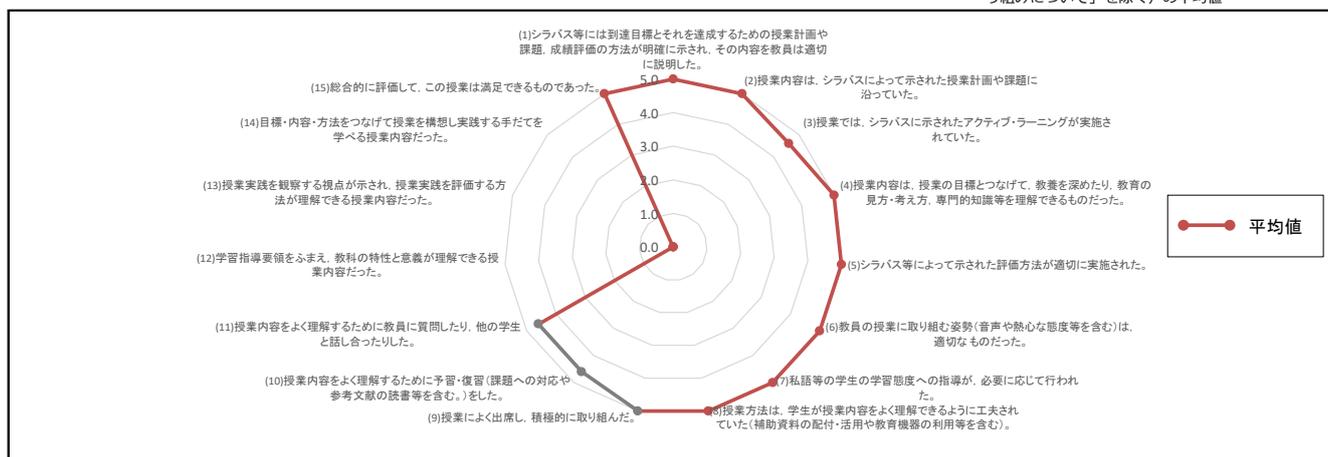
No.	756	評価実施日	令和4年7月29日		
授業科目名	病弱者の心理・生理・病理	回答者数	5	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	伊藤 弘道				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	5	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	4	0	1	0	0	4.6
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	5	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	5	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	5	0	0	0	0	5.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	5	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	5	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	4	0	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	4	0	1	0	0	4.6
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	5	0	0	0	0	5.0

総合評価	5.0
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

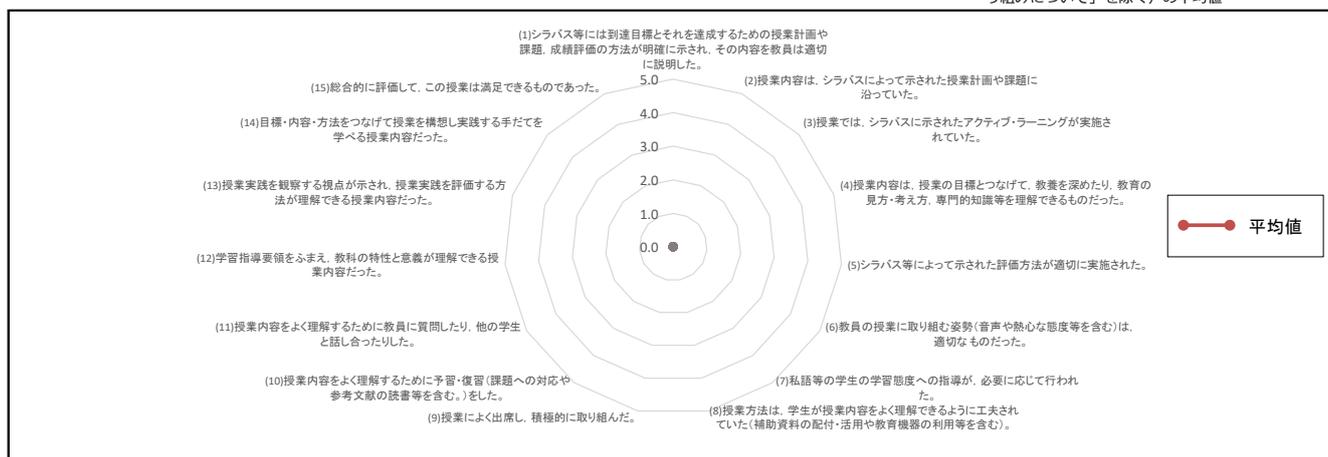
No.	757	評価実施日	令和4年8月28日		
授業科目名	病弱教育	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	武田 鉄郎				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

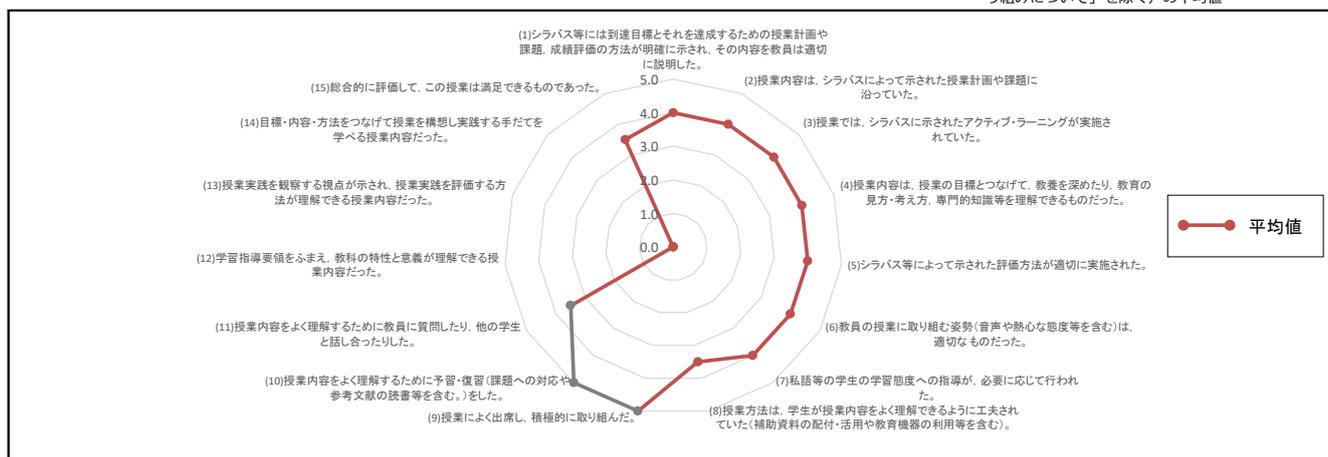
No.	758	評価実施日	令和5年2月3日		
授業科目名	重複・LD等の特性	回答者数	2	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	伊藤 弘道				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	1	0	1	0	0	4.0
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	1	0	0	4.0
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	1	0	1	0	0	4.0
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	1	0	0	4.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	1	0	0	4.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	1	0	1	0	0	4.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	1	0	1	0	0	4.0
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	1	0	0	1	0	3.5
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	2	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	2	0	0	0	0	5.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	0	1	1	0	0	3.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	1	0	0	1	0	3.5

総合評価	3.9
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

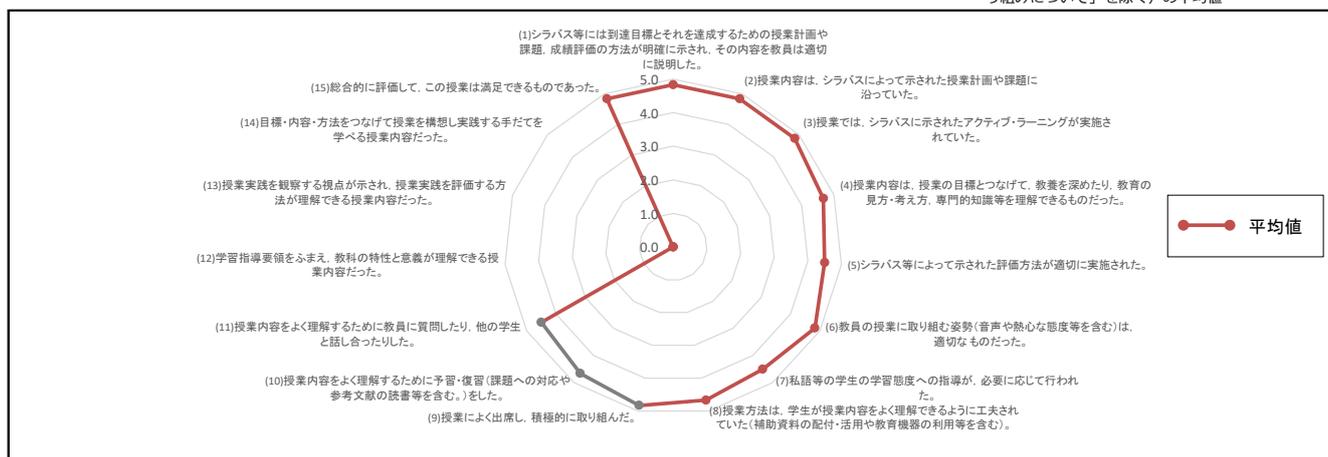
No.	759	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	重複・LD等教育総論	回答者数	6	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	森 慶子				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	5	1	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	5	1	0	0	0	4.8
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	4	2	0	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	4	1	1	0	0	4.5
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	5	1	0	0	0	4.8
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	3	3	0	0	0	4.5
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	4	2	0	0	0	4.7
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	5	1	0	0	0	4.8
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	4	2	0	0	0	4.7
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	4	1	1	0	0	4.5
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	5	1	0	0	0	4.8

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

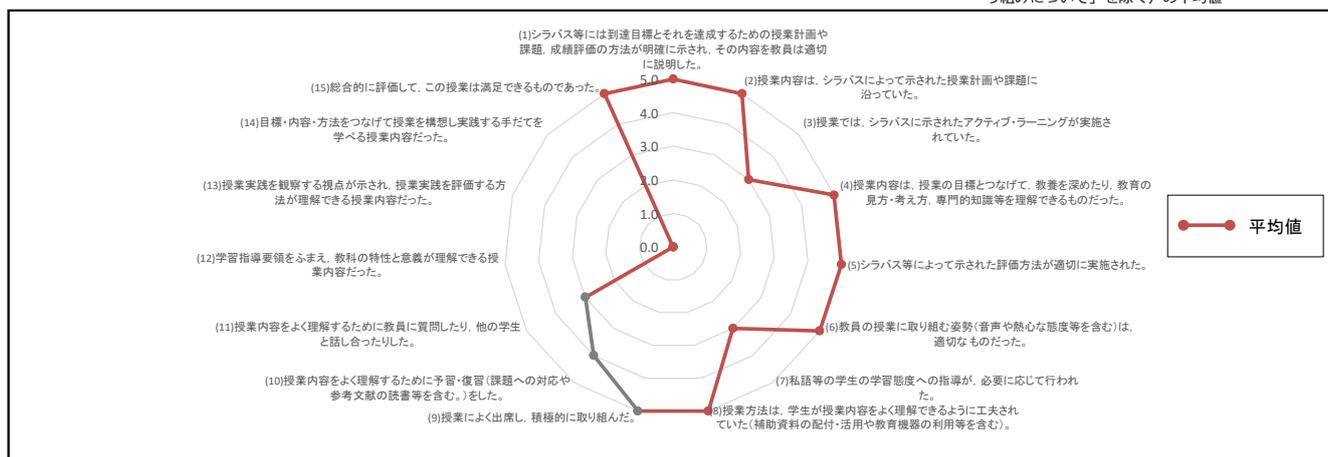
No.	760	評価実施日	令和4年7月28日		
授業科目名	視覚障害者の心理・生理・病理		回答者数	1	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	高原 光恵				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	1	0	0	0	0	5.0
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	1	0	0	0	0	5.0
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	1	0	0	3.0
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	1	0	0	0	0	5.0
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	1	0	0	0	0	5.0
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	1	0	0	3.0
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	1	0	0	0	0	5.0
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	1	0	0	0	0	5.0
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	1	0	0	0	4.0
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	1	0	0	3.0
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	1	0	0	0	0	5.0

総合評価	4.6
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

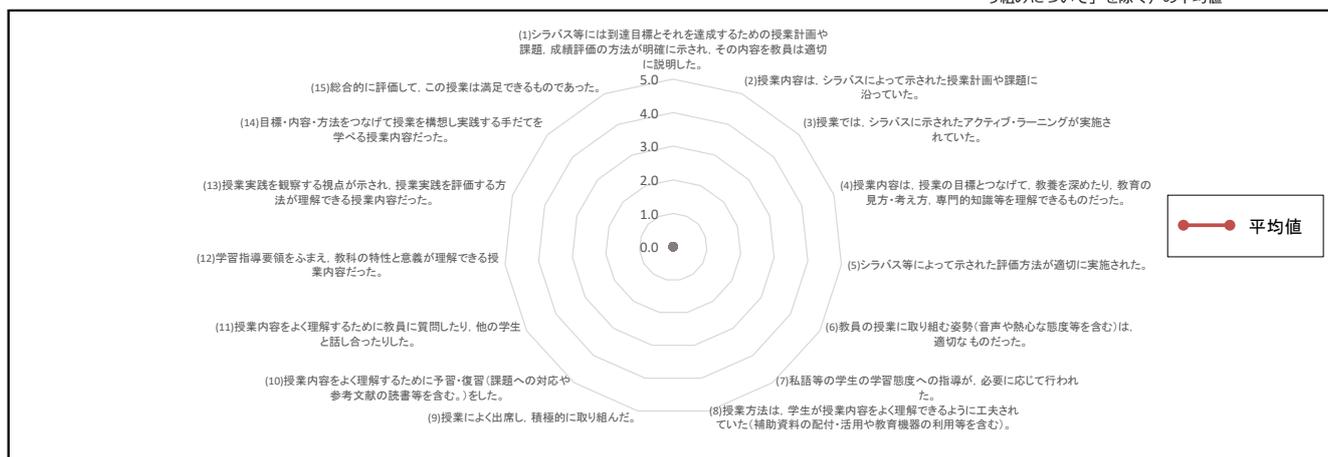
No.	761	評価実施日	令和4年8月25日		
授業科目名	聴覚障害者の心理・生理・病理		回答者数	0	人
区分	専修専門科目				
担当教員名	島田 亜紀				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

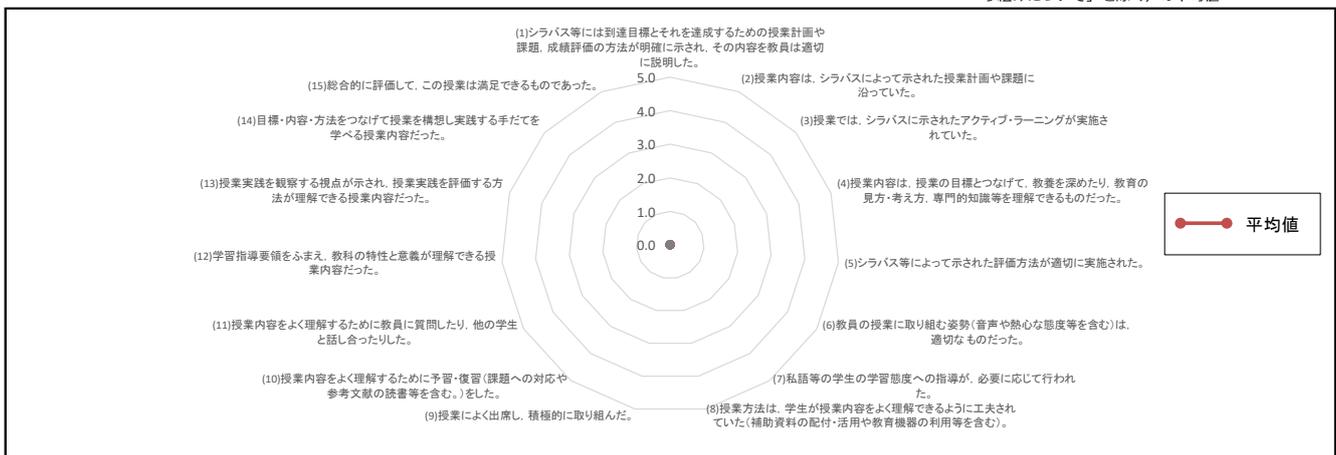
No.	762	評価実施日	令和4年12月21日		
授業科目名	視覚障害者教育論	回答者数	0	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	牟田口 辰己				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題, 成績評価の方法が明確に示され, その内容を教員は適切に説明した。	0	0	0	0	0	—
	(2)授業内容は, シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	0	0	0	0	0	—
	(3)授業では, シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	0	0	0	0	0	—
	(4)授業内容は, 授業の目標とつなげて, 教養を深めたり, 教育の見方・考え方, 専門的知識等を理解できるものだった。	0	0	0	0	0	—
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	0	0	0	0	0	—
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢(音声や熱心な態度等を含む)は, 適切なものだった。	0	0	0	0	0	—
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が, 必要に応じて行われた。	0	0	0	0	0	—
	(8)授業方法は, 学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた(補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む)。	0	0	0	0	0	—
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し, 積極的に取り組んだ。	0	0	0	0	0	—
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習(課題への対応や参考文献の読書等を含む。)をした。	0	0	0	0	0	—
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり, 他の学生と話し合ったりした。	0	0	0	0	0	—
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ, 教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され, 授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して, この授業は満足できるものであった。	0	0	0	0	0	—

総合評価	—
------	---

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



学校教育教員養成課程 授業評価アンケート調査結果の集計分析

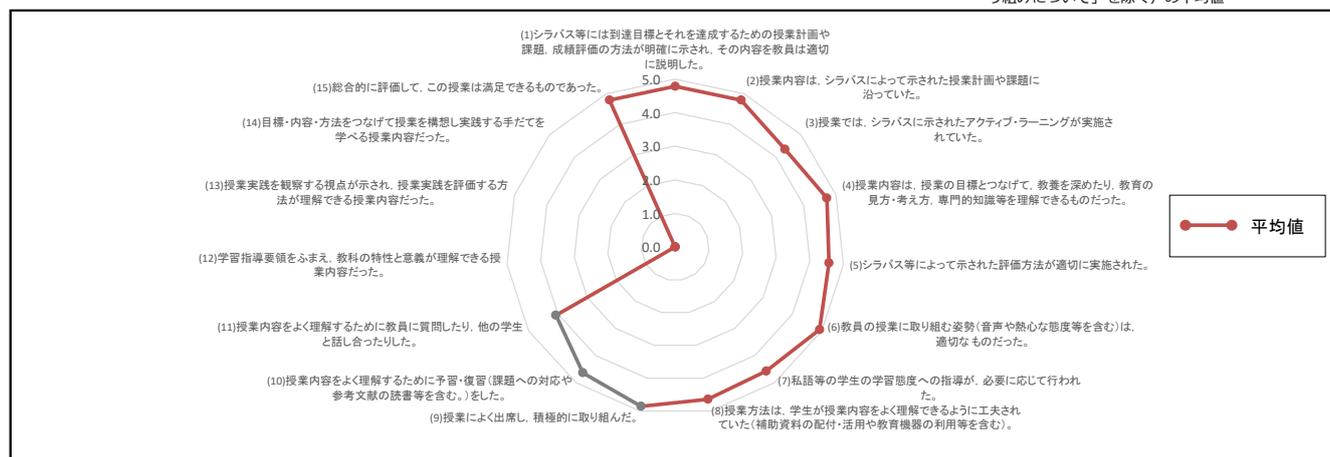
No.	763	評価実施日	令和4年12月18日		
授業科目名	聴覚障害者教育論	回答者数	14	人	
区分	専修専門科目				
担当教員名	加藤 哲則				

(5:そう思う, 4:ややそう思う, 3:どちらとも言えない, 2:あまりそう思わない, 1:そう思わない)

質問事項	評価選択人数					平均値	
	5	4	3	2	1		
1.授業の計画と内容について	(1)シラバス等には到達目標とそれを達成するための授業計画や課題、成績評価の方法が明確に示され、その内容を教員は適切に説明した。	11	3	0	0	0	4.8
	(2)授業内容は、シラバスによって示された授業計画や課題に沿っていた。	11	3	0	0	0	4.8
	(3)授業では、シラバスに示されたアクティブ・ラーニングが実施されていた。	9	2	2	1	0	4.4
	(4)授業内容は、授業の目標とつなげて、教養を深めたり、教育の見方・考え方、専門的知識等を理解できるものだった。	11	2	1	0	0	4.7
	(5)シラバス等によって示された評価方法が適切に実施された。	10	2	2	0	0	4.6
2.授業の進め方について	(6)教員の授業に取り組む姿勢（音声や熱心な態度等を含む）は、適切なものだった。	13	1	0	0	0	4.9
	(7)私語等の学生の学習態度への指導が、必要に応じて行われた。	9	4	1	0	0	4.6
	(8)授業方法は、学生が授業内容をよく理解できるように工夫されていた（補助資料の配付・活用や教育機器の利用等を含む）。	10	3	1	0	0	4.6
3.あなたの授業への取り組みについて	(9)授業によく出席し、積極的に取り組んだ。	12	2	0	0	0	4.9
	(10)授業内容をよく理解するために予習・復習（課題への対応や参考文献の読書等を含む。）をした。	10	3	1	0	0	4.6
	(11)授業内容をよく理解するために教員に質問したり、他の学生と話し合ったりした。	7	4	1	1	1	4.1
4.教育実践コア科目について	(12)学習指導要領をふまえ、教科の特性と意義が理解できる授業内容だった。						
	(13)授業実践を観察する視点が示され、授業実践を評価する方法が理解できる授業内容だった。						
	(14)目標・内容・方法をつなげて授業を構想し実践する手だてを学べる授業内容だった。						
5.授業に対する総合的評価について	(15)総合的に評価して、この授業は満足できるものであった。	12	1	1	0	0	4.8

総合評価	4.7
------	-----

*上記項目の平均値(大項目「3.あなたの授業への取り組みについて」を除く)の平均値



参考資料（報告書の概要）

01 報告書の位置付け

認証評価上の観点 (参考)	認証評価実施要項 (独)大学改革支援・学位授与機構)	【分析項目2-2-4】教育課程、施設及び設備、学生支援並びに学生の受入のそれぞれに関して、関係者(学生、卒業(修了)生、卒業(修了)生の主な雇用者等)から意見を聴取することが定められており、その結果を機関別内部質保証体制が確認する仕組みを設けていることを確認する。(※学生からの意見聴取については、授業評価アンケートも含む。)
学内の観点	鳴門教育大学の内部 質保証に関する方針	3. 内部質保証の手順① 自己点検・評価責任者は、自己点検・評価委員会において、別紙2のとおり各領域の質保証及び改善・向上責任者に対するデータ収集及び学内外の関係者の意見の活用による点検(モニタリング)を行う。 【別紙2(抜粋)】 「モニタリング対象データ例」→「関係者・外部者の意見を活用するデータ例」 →「■授業評価アンケート」

02 報告書の作成体制(※2022(令和4)年度)

大学院学校教育研究科教務委員会		
梅津正美	副学長	委員長
古川洋和	准教授	心理臨床コース
日下智志	講師	グローバル教育コース
幾田伸司	教授	国語科教育コース
山森直人	教授	英語科教育コース
伊藤直之	准教授	社会科教育コース
山中仁	講師	数学科教育コース
本田亮	教授	理科教育コース
宮本賢治	教授	技術・工業・情報科教育コース
金貞均	教授	家庭科教育コース
鉄口真理子	准教授	音楽科教育コース
鈴木久人	教授	美術科教育コース
南隆尚	教授	保健体育科教育コース
谷村千絵	准教授	教育探究総合コース
大谷博俊	教授	特別支援教育コース
塩路晶子	准教授	幼児教育コース
大林正史	准教授	学校づくりマネジメントコース, 生徒指導コース, 学習指導力・ICT教育実践 力開発コース
葛上秀文	教授	教員養成特別コース
湯口雅史	教育実習総合支援センター所長	
中内英雄	教務課長	

学校教育学部教務委員会		
山田芳明	特命補佐	委員長
木村直子	准教授	幼児教育専修
坂口純子	講師	特別支援教育専修
藤原伸彦	教授	学校教育実践コース
余郷裕次	教授	国語科教育コース
藪下克彦	教授	英語科教育コース
畠山輝雄	准教授	社会科教育コース
早田透	准教授	算数科・数学科教育コース
寺島幸生	准教授	理科教育コース
山田啓明	准教授	音楽科教育コース
武内優記	准教授	図画工作科・美術科教育コース
湯口雅史	教授	体育科・保健体育科教育コース
曾根直人	教授	技術科教育コース
西川和孝	教授	家庭科教育コース
湯口雅史	教育実習総合支援センター所長	
坂口純子	講師	教育実習総合支援センター
中内英雄	教務課長	
梅津正美	副学長	オブザーバー
-		
-		
-		

報告書
作成依頼

報告書(案)
作成・提出

報告書
作成依頼

報告書(案)
作成・提出

大学院生による授業評価専門部会		
古川洋和	准教授	グローバル教育コース
南隆尚	教授	保健体育科教育コース
大林正史	准教授	学校づくりマネジメントコース, 生徒指導コース, 学習指導力・ICT教育実践力開発コース

学生による授業評価専門部会		
木村直子	准教授	幼児教育専修
早田透	准教授	算数科・数学科教育コース
西川和孝	教授	家庭科教育コース

03 報告書の作成過程

年度	月	大学院学校教育研究科教務委員会 学校教育学部教務委員会	大学院生による授業評価専門部会 学生による授業評価専門部会
令和4年度	4月	 各専門部会の設置	 R4第1回専門部会
	5月	 授業評価実施（前期前半分）	
	6月		
	7月	 授業評価実施（前期後半分）	
	8月		
	9月	 授業評価実施（前期集中分）	
	10月		 R4第2回専門部会
	11月	 授業評価実施（後期前半分）	
	12月		
	1月	 授業評価実施（後期集中分）	
	2月	 授業評価実施（後期後半分）	
	3月	 R4授業評価集計・教員コメント依頼	 R4第3回専門部会
	令和5年度	4月	
5月			 R5第2回専門部会
6月			 本報告書(案)の作成
7月			
8月			 R5第3回専門部会
9月		 本報告書の確定・HP公表	
10月			
11月			
12月			
1月			
2月			
3月			

授業評価報告書 2022

発行日 2023(令和5)年9月11日

編集 鳴門教育大学大学院学校教育研究科教務委員会
鳴門教育大学学校教育学部教務委員会

発行 国立大学法人鳴門教育大学
住所 〒772-8502徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地
TEL 088-687-6194
URL <https://www.naruto-u.ac.jp/>